令和3年度決算

事業担当課による事務事業評価調書

豊後大野市

# 目 次

# 『事業担当課による事務事業評価調書』

Ι	基本的な考え方	3 P
Π	評価調書における各項目の説明	6 P
Ш	評価項目、評価対象事業の考え方及び今後の方向性	7 P
IV	課局別評価(事業の方向性)結果一覧表	8 P
V	事務事業評価調書	1 0 P
VЛ	细 巳 川 莎 体 対 色 从 東 敦 東 光 、 監 末	4 6 9 D
VI	課局別評価対象外事務事業一覧表	462P

## I 「事業担当課による事務事業評価」の基本的な考え方

### ●事務事業評価の目的

全ての業務は「手段」であって、活動することそのものに目的はなく、「成果」を生み出すことに「目的」があります。

しかし、業務を遂行した結果、どのような「成果」が生まれるのか、あるいは「行政 サービスの受け手がどのようになるのか」について、あまり意識をせずに業務を行って いるケースも見られます。

そこで「成果」を意識した計画立案を行うことや、「活動」した結果から生まれた「成果」について、担当職員や所属長等が「確認・共有化」を図るために、一次評価として担当係長が、二次評価として所属長等が事務事業を評価します。

また、担当職員自らが市民の目線で、実施した事業の目的や方法を客観的に見つめ直し、意識改革を図ります。

さらに、評価結果に基づき、目的達成のための課題や問題点を発見し、各課が主体的に 改善・改革方法を考え実行していきます。

### ○事務事業の効率性の向上

事務事業を予算の執行率や事業の進捗度という観点からだけでなく、事務事業の目的や目標を明確にし、その成果・結果を明らかにすることによって、当初設定した目標の達成度等を客観的に評価し、その結果を行政運営の改善につなげることにより、市民の満足度の高い行政サービスを効率的に提供します。

### ○事務事業の見直しと予算編成への反映

不要・不急あるいは効果の小さい事務事業を明確にすることによって、事務事業の整理・合理化・廃止及び予算編成への反映やその効率的な配分を図ります。

事務事業担当課は、当初予算編成時に示されるシーリング(事業充当一般財源の要求 上限額)の範囲内で、自ら積極的なマネジメント(事業の優先順位に伴う取捨選択やス クラップ・アンド・ビルド等)により予算編成を行いますが、その際(マネジメント時) の判断材料(優先順位等の根拠)として事務事業評価を活用することとします。

### ○行政の透明性と市民への説明責任

事務事業の目的、内容、達成度などを市民に公表することによって、行政の透明性の向上を図るとともに市民に対する説明責任を果たします。

### ○職員の意識改革

評価活動を通して、担当する事務事業の目的意識・目標達成意識やコスト意識の浸透など、職員の意識改革を図ります。



まちの将来像

人も自然もシアワセなまち

まちづくりの大綱 育ち合い、行動する、市民参画によるコミュニティづくり

基本理念

しごと・くらし・ひと・環境

#### 政策

# 豊かな生活を支える しごとがあるまち

#### 施策

- (1) 農業経営基盤を整備する
- (2) 多様な担い手を育成する
- (3) 農業生産基盤を整備する (4) ブランド化、販路拡大を強化する (5) 遊休農地の解消を推進する
- (6) 畜産業を支援する
- (7) 有害鳥獣対策を強化する

- (1) 林業経営体を支援する
- (2) 林業生産基盤を整備する

#### 3. 工業の振興

- (1) 企業誘致を推進する
- (2) 新たな産業を支援する

#### 4. 商業・サービス業の振興

- (1) 経営基盤を強化する
- (2) 商店街を活性化する
- (3) 中心市街地を活性化する

- (1) 新たな観光振興ビジョンを策定する(2) 観光情報発信を強化する
- (3) 観光拠点を整備する

#### 6. 雇用環境の向上

- (1) 雇用創出の拠点を整備する
- (2) 就業環境を充実する
- (3) 勤労者福祉を向上する

# 豊かな福祉社会の実現を 目指すまち

# **1. 保健・医療サービスの充実** (1) 健康づくり活動を推進する

- (2) 疾病予防を推進する
- (3) 地域医療環境を充実する

#### 2. 地域福祉の充実

- (1) 地域福祉活動を推進する
- (2) 災害時における地域福祉を支援する

- (1) 子育て支援サービスを充実する (2) 保育サービスを充実する
- (3) 男女の出会いの場を提供する

### 4. 高齢者福祉の充実

- (1) 介護サービスを充実する
- (2) 介護予防・地域包括ケアを充実する
- (3) 生きがいづくりを推進する

#### 5. 障がい者福祉の充実

- (1) 障がい者福祉サービスを充実する (2) 自立支援サービスを充実する

- 6 社会保障の充実 (1) 低所得者福祉を充実する
- (2) 国民健康保険制度の健全な運営を 推進する
- (3) 国民年金制度の健全な運営を 推進する
- (4)後期高齢者医療制度の健全な運営を 推進する

## 豊かな らしと安心を 実感できるまち

#### 1. 交通ネットワークの整備

- (1) 市道を整備する
- (2) 国道・県道の整備を促進する
- (3) 公共交通の整備を促進する
- (4) コミュニティバスの運行を推進する

#### 2. 上下水道の整備

- (1) 上水道等を整備する
- (2) 生活排水処理を推進する

#### 3. 住宅環境等の整備

- (1) 市営住宅を整備する
- (2) 住宅団地を整備する
- (3) 公園・緑地を整備する

#### 4. 土地利用・景観の整備

- (1) 都市計画区域を整備する(2) 地籍調査を推進する
- (3) 緑化を推進する

### 5. 環境衛生の推進

- (1) 汚水処理対策を充実する
- (2) 廃棄物対策を充実する
- (3) 葬斎場等の適正管理、公衆衛生を 推進する
- (4) 循環型社会を形成する

# 6. 移住・定住の促進

(1) 移住・定住を促進する

### 7. 交通安全・防犯対策の推進

- (1) 交通安全対策を推進する (2) 防犯対策を推進する
- (3) 消費者対策を充実する

### 8. 防災対策の充実

- (1) 防災体制を強化する (2) 災害危険区域を整備する
- (3) 災害対策を強化する

#### 9. 消防・救急体制の充実

- (1) 消防・救急体制を強化する
- (2) 消防施設を整備する

# 10. 情報管理、情報化の推進

- (1) 適正な情報管理を強化する
- (2) 公聴・広報活動を充実する (3) ケーブルテレビ事業を充実する
- (4) 携帯電話不感地域を狭める

#### 政策

# 豊かさをつなぐ協働によ るまちづくり

### 施策

#### 1. 地域コミュニティ活動の推進

- (1) 地域コミュニティを育成する (2) 地域を支える人材を育成する

2. 協働によるまちづくりの推進(1) 協働の仕組みづくりと意識を高揚する

### 3. 広域連携の推進

(1) 多様な広域連携を推進する

#### 4. 主体的で計画的な行財政運営の推進

- (1) 事務事業の点検と改善を強化する (2) 民間活力を推進する (3) 公共施設の適正配置と整備を強化する (4) 財政の健全な運営を図る (5) 市職員のレベル向上を目指す

#### 政策

# 豊かな心と学ぶ意欲を 育むまち

### 施策

#### 1. 学校教育の充実

- (1) 教育内容を充実する(2) 教育体制を充実する
- (3) 安心安全な教育環境をつくる(4) 就学環境を充実する(5) 高等学校を支援する

### 2. 生涯学習の推進

- (1) 生涯学習を推進する (2) 公民館機能を充実する
- (3) 図書館を整備する

- 3. スポーツの振興(1) 生涯スポーツを推進する(2) スポーツ施設を整備する
- (3) 競技スポーツを振興する

#### 4. 文化・芸術の振興

- (1) 文化・芸術活動を推進する (2) 文化活動施設を整備する
- (3) 友好都市との交流を推進する

**5. 文化財等の保存・継承** (1) 文化財等の保存・継承・活用を推進 する

- 6. 人権尊重社会の実現 (1) 人権が尊重される地域社会を実現す
- (2) 男女共同参画社会づくりを推進する

#### 政策

# 豊かな自然を未来に残し 伝えるまち

### 施策

- 1. ジオ・自然との共生 (1) 自然教育を推進する (2) 大地の恵み、ジオを継承する (3) 生物多様性を保全する

#### 2. 環境保全の推進

- (1) 環境保全対策を推進する(2) 自然保護対策を推進する

- (3) 環境美化活動を推進する(4) 景観を保全・形成する

## Ⅱ評価調書における各項目の説明

事業番号 枝番 ( 4	和 3 年度計	画 ) 総	合計画	画実施	計画	集 ( )	<b>使進</b> 担	一管理	里)						(様式1)
細事業と評価事 業の枝番	和 3 年度決	算) 事	務	事	業	評	価	調	書	課局名			係	名	
事業 事務	事業	細事業			細事業名	i		実	施計画事	業	評価事業	の実施計	画の事業名		了 終了年度 が予定され ているもの
総合計画体系図No.→(	)											△和 3	3 年度 主な	<b>-</b>	は記入
会計 一般 政 策 款 款 未 策	評価事業の総合計画後			$\overline{}$			個別			の位置づけ る市の個別	年度	市和 3	) 年長 土々	<b>威</b> 田石	当初予算額
項 予算所在 版策展開	策」・「施策」・「施策	の展開」の体系	<b>E</b>	<del>                                     </del>			計 画			一面	$\vdash$		評価事業	の主な厳出	
事業別 決算書 後期基本計画	SCANE -	過疎計画	総合	<b> </b>		コナ充当	名	期間	年	度 ~	年度		予算	の内容	
決算 A 事業目的・内容	計画のページ	•		•				В	車業計	画額・決算	1 類 筆				
事業の目的と内	dia Diam	Į.		主な活動	油宝结	Do		או	<u> </u>	事業費記			財源区	勺訳	(単位:千円)
	A Plan	<b></b>		工化心等	0大恨	DO				<b>学</b> 术 艮 市	国県	支出金	地方債	その他	一般財源
く事業の日間と	D	3						11	3計画 初予算						$\bot$
	K			工业中枢				11	算額		実施計画	事業に係	る事業費と財活	原内訳	}
事業の目的	-		※R4年度	活動実績 以降は、		、		ŧ⊢	4計画				年度まで記入 ~R4年度まで	尼入	
	R	4						当	初予算		·決算額				
								決	算 額						
								11	5 計画						
人人和 o 左连 o 取织力索 (引		15							初予算						
<令和3年度の取組内容(計	<u> </u>							┨┝	算額6計画						
取組内容	R	6						11	初予算						
ACAMITY								決	算 額						
								R	7計画						
	R	17						当	初予算						
	<u> </u>							4 —	算額						
			D3 ~	, R7	슬 닭			1	画額 初予算						
			K3	· K/				11	算額						
ST for the 155 for	15 12 14	o awar of the			書にお					***		T .	4   55		
評価指標名	<b>扫</b> 標個	の説明(算	出力法等。	)	合訂	画指標		実績値	単位	達成度 目標値	R3	R	4 R5	R6	R7
<b>C</b> 1						総合戦				実績値					
活動指標	************************************	化振々 しその	佐山ニム	. #. Z		個別計	Ш		%	達成率					
動 評価事業の業務の量を 指 説明 標 2	X1世16して衣9 /5の(の)	担保石とての	・昇田にか	פיימי		総合戦	略			目標値					
<del>                                    </del>						個別計	画								<b>—</b>
						総合計	画			設定した! ニ各年間			(二目標値)	こがする達	成家
D 1						総合戦			W.1 42	. цто	C-> > - 45			-/1/ 0/4	~~ <u> </u>
成果指標 果 <b>評価事業の目的を数値</b>	として表すための指標	名とその算出	にかかる	説明		個別計 総合計i				目標値					$\overline{}$
指						総合戦				実績値					
						個別計i	画		%	達成率					
E 評価対象外の理由	Ţ.	平価事業の分析	「(担当課)	※基準に	は別紙参照								(対象外事	¥は <b>F~</b> Ⅰ	欄未記入 可)
	評価項	項目/5つの	視点 (1	~5点7	で評価)	Che	ck					-次評価 価点	(係長) 評価点合計	二次評価評価点	i (課長等) 評価点合計
F 1. 市民満足(市民アンケ	ート)の向上が期待	できる事業に	内容となっ	っている	か					4 → 5		<del>加</del> 点	日日に見る	計価点	
評 2. 事業の優先度は高いと							1 →	2 -	→ 3 →	なっている 4 → 5	i	点		点	_
3. 事業計画どおりに事業			ノ、い、皮ブ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				2 -	→ 3 →	優先度高い 4 → 5		点		点	
価 ————									⇒ → 3 →	できた 4 → 5	;				
4. 活動指標の達成状況(						ł				推移した 4 → 5		点	点 ~25.4	点	
5. 成果指標の達成状況(	F/は計画とおり推移	しているか				ħ	隹移して			推移した		点	/25点	点	
								_				/# . ⊐h:	- m m + n + n +		空の記 日
G 【担当係長の】	気見・課題・改善策等	等】 ※今後	の事業の	進め方	Actio	n	Н	【担	当課長耶	職等の所見	】 ※計	<u>-</u> ш. сх.	善束寺を踏ま	えた課長職	寺の所見
G【担当係長の別	意見・課題・改善策等	等】 ※今後	の事業の	進め方	Actio	n	Н	【担	当課長耶	職等の所見	】 ※評	-1ш • сх	苦束寺を踏ま	えた課長職	寺の所見
G [担当係長の]	5見・課題・改善策等	等】 ※今後	の事業の	進め方	Actio	n	Н	【担	当課長耶	<b>戦等の所見</b>	<u>】 ※</u> 評	-1ш • сх	吉朿寺を踏ま	<b>それた課長</b> 職	寺の所見

評価事業の翌年度(担当課) ※確定ではない

I 令和5年度の事業の方向性

# Ⅲ 評価項目、評価対象事業の考え方及び今後の方向性

※事業担当課による評価

# 《評価項目》

評価項目	分析基準(1~5点で評価)
1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い
3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた
4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した

# 《評価対象事業の考え方》

※原則、市が実施する予算を伴う全事業。ただし、以下の義務的な事務事業等は評価対象外

#### 評価対象外の項目

- 1. 職員人件費、市議会議員報酬、特定の事務事業に属さない委員会委員報酬
- 2. 国等からの委託をうけて実施する事業(年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担)
- 3. 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難(生活保護、児童手当など)
- 4. 国県が河川、道路等を直轄で行う事業で、市がその経費の一部を法律等で負担しなければならない負担金事業
- 5. 繰出基準等に基づく他会計への繰出金(負担金補助金含む)
- 6. 市政選拳、災害復旧事業及び予備費
- 7. 事務管理費/特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
- 8. 公共施設(箱物)の新築や大規模改修
- 9. その他 (評価が困難な事務事業)

# 《今後の方向性》

	方向性の区分	判断基準
Α	現狀のまま継続	・現状の事業内容や経費などに変更が無く、今後も実施する事務事業 ・事業の目的を達成するためには、現狀どおりの事業手段で継続することが適当と認められる事務事業
В	見直しの上で継続 (1 拡 充)	・市民のニーズや社会情勢から事業を拡大していくことが適当と判断される事務事業 ・事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進すべき事務事業
В	見直しの上で継続 (2 手段等の改善)	・事業の対象や手段(活動内容)等を見直すことにより、成果が向上すると判断される事務事業
В	見直しの上で継続 (3 効率化/RPA等)	・電子化、民間委託や事務の見直し等により事務の効率化や経費削減が見込まれる事務事業
В	見直しの上で継続 (4 縮小)	・費用負担を軽減しても、成果及び市民サービスの低下をもたらさないと認められる事務事業 ・利用者、対象者の減少など市民ニーズの低下傾向がみられる事務事業 ・市民ニーズを上回るサービス提供となっている事務事業
В	見直しの上で継続 (5 統合)	・他の事業等と対象、手段、意図が類似し、統合することにより経費の削減や効率化が図られる事務事業
С	終了	・目的を達成した事業、評価年度で終了する事務事業 ・成果指標等の達成、補助団体等の発展的解消や事業期間が終了する事務事業
D	休止	・事業の成果や財政状況等により、一時的に休止がやむを得ないと判断される事務事業 ・暫定的に休止する事務事業(隔年または不定期に実施する事務事業)
E	廃 止	・実施の妥当性が認められないまたは実施の必要性が低い事業、成果が認められない事務事業 ・利用者、対象者の減少などにより市民ニーズが著しく低下した事務事業

# IV 課局別評価(事業の方向性)結果一覧表

担当	課局係名	評価対象				価対象の令 直しの上で紅		業の方向性	<u> </u>			評価対象
		事業数	継続	拡充	5日 手段等 の改善	型Uのエで 効率化/ RPA等	縮小	統合	終了	休止	廃止	外事業
	総務係	5										5
	ケーブルテレビ管理係	1	1									
	人事給与係	4	4									
総務課	広報広聴係	2	1	1								
	情報推進室情報推進係	5	3					1	1			
	防災対策係	12	10						2			
	管財係	3	3									
	行革推進係	1	1									
財政課	財政係	3	2									1
	契約検査/財政係	1	1									
税務課	収納管理係	2	2									
	企画調整係	15	10			2						3
	地域振興係	34	18	3	4		1		8			
まちづくり推進課	文化芸術振興係	4	4									
	朝倉文夫記念館係	3	3									
	戸籍住民係	4			1							3
	国保年金係	3										3
市民生活課	健康づくり支援係	8	6									2
	親子健康係	10	8									2
	食育推進係	2	2									
	清掃センター係	2	2									<u> </u>
環境衛生課	環境衛生係	11	6		2		2					1
	白鹿浄化センター係	1	1									
	人権·部落差別解消推進 係	7	7									
人権·部落差別解消推 進課課	***	1	1									
	隣保館係	8	4		1		1		2			
	生活保護係	10	6		2	1					1	<u> </u>
社会福祉課	福祉監査係	10	5	1								4
	障がい支援係	32	23									9
	こども支援係	35	21	1					1			12
子育て支援課	家庭支援係	24	4	6	3						1	10
	緒方保育園	4	2									2
	いきいき高齢者係	20	19								1	
高齢者福祉課	地域包括ケア推進係	3	3									
	介護保険係	2										2

# IV 課局別評価(事業の方向性)結果一覧表

		評価対象			評	価対象の令	介和5年度事	業の方向性	<u> </u>			
担当	課局係名	事業数	継続			直しの上で紅	迷続	T	終了	休止	廃止	評価対象 外事業
			和丕祁冗	拡充	手段等 の改善	効率化/ RPA等	縮小	統合	常。」	1/4/1	斧ഥ	ハチ木
	担い手支援係	22	17	2					2		1	
	畜産振興係	15	12						1	1	1	
農業振興課	農政企画係	9	8						1			
	農業再生協議会	1	1									
	農業振興係	19	7	2	5	1						4
	地籍調査係	1	1									
農林整備課	基盤整備係	15	7					1	3	1		3
辰怀笙順味	林業振興係	21	17		1				1	1	1	
	農林企画係	3	3									
<b>英工組以</b> ===	経済振興係	13	11				1		1			
商工観光課	観光振興係	12	7	1	2				1			1
	建設企画係	5	3									2
7h =n =m	道路保全係	14	8				1					5
建設課	道路建設係	9	6				1		1	1		
	都市計画建築係	10	6	1	1					2		
上下水道課	工務係/管理係	7	1									6
【教育委員会】												
	教育総務係	11										11
学校教育課	学校教育係	44	18	1	3							22
	学校給食係	2	1									1
	スポーツ推進係	10	6									4
社会教育課	図書館係	4	4									
<b>在云</b> 教育誌	文化財係	5	2									3
	社会教育係	18	11		2				1			4
【その他部局】												
議会事務局	議会係	3	3									
会計課	会計管理係	1				1						
選挙管理委員会事務 局	選挙係	3	1									2
監査事務局	監査係	1	1									
農業委員会事務局	農地管理係	4	2									2
【消防本部】								· ·	·	· ·		
総務課	消防保安係	2	1	1								
	総務係	5	3		1				1			
A =1		F0.	051	00	00	_	-	_	0.7	_	•	100
合 計		581	351	20	28	5	7	2	27	6	6	129

2001	1								_					書 ( 身 	_		_	)		1		A -L -'		1 .	1		(様式1)
業		(,	令和	3 年	度	決り	<b>草</b> )	Ę	F	務	事	•	ŧ	評	価	訓	問	書	課月	<b>哥名</b>	議	会事務月	司	係名		議会	会係
	議会運営	事業					細	事業	議会	会運'	営事務						実施	計画	事業	議会運行	営事務	事業				終了 年度	なし
総合言	計画体系図		295 ) 豊かる	なかつ	たぐ	<b>玄</b> 価	にト	スす	たづく ちづく	'n					1							会和 3	2 年度	€ 主な歳	出名新	: 1	当初予算額
									-						. 個 別	期間	1	4	<b></b>	,	年度			<u> </u>	. ш. ш. т.		73, 618
1						_	-		j める						- 計		_										23, 886
1								<u> </u>	П	総	合戦略			ロナ充当	名	期間	1	4	<b>⋷度 ~</b>		年度			負担金			20, 798
11															J LLI												5, 935
	A 事業目	的・内	容・実	:積			. T									7 1	BI	指集者	画額	- 決算	<b>須等</b>			財源内	訳	()	· (位:千円)
	事業の	目的とに	内容								主な流	舌動実	績						事	業費計	国県	支出金	地				一般財源
		市政に	対する	些相构	能能の	Г	和	コロナ  2年かり	禍の影 ら引き約	響に。	より、県 止となっ	外出張った。 ス	、委員	会の行政 イン会議等	視察が全 その増加	7	R 3	計画		132, 560							132, 560
を図ると	ともに、	積極的	に情報	を公	開しる	R3	に タ	伴い、ブレック	議会もト端末	ICTの を用い	推進に目れたペー	反組み、 パーレ	令和: ス会議	3年9月定 養を試行。	例会からまた多く		当初	予算		132, 560							132, 560
まと 汉映	ドレた開ル	-14 し/こ碑	<b>太</b> 工座	1 & 1 J	ソ。	ı	ツ	ト 中継	酸云店を令和	助を対4年第	コつ しも 1回定例	会より	別、年開始し	ト芸蔵のイ	ンターイ		決〔	算 額		120, 583							120, 583
																	R 4	計画		137, 331							137, 33
						R4	ı										当初	]予算		137, 331							137, 331
						ı											決〔	算額									
																	R 5	計画		143, 297							143, 297
						R	5										当初	予算									
			画)>														決〔	算額									
			務調查														R 6	計画		135, 456	i						135, 456
養会図書	室機能の	充実化				Re	6										当初	予算									
X 22 111 25	<b>3</b> · > /· <b>3</b> / <b>1</b> ·																決〔	算額									
																	R 7	計画		134, 893							134, 893
						R7	7										当初	予算									
						L											決〔	算額									
						ı											計員	画 額	(	683, 537							683, 537
						ı			R	3 ~	~ R	7 合	計				当初	予算	:	269, 891							269, 891
																╝	決〔	算額		120, 583							120, 583
	1 11 11 11 第元代図る反形 13 会会の書	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	施策展開 ① 後期基本計1 11 A 事業目的・内事業の目的という。 本事業の目的という。 本書 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	施策展開 ①協働の 後期基本計画 76 後期基本計画 76 4 事業目的・内容・実事業の目的と内容 業の目的> 元代表制の下、市政に対するもとともに、積極的に情報を必要を反映した開かれた議会運営を反映した開かれた議会運営を受い審査及び所管事務調査 (会) 国書室機能の充実化	施策展開 ①協働の仕組を 後期基本計画 76 P 111 A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 業の目的> 元代表制の下、市政に対する監視機 と図るとともに、積極的に情報を公 と図るとともに、積極的に情報を公 を反映した開かれた議会連営を行	1 施策展開 ①協働の仕組みづく 後期基本計画 76 P □ 11 A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 業の目的>元代表制の下、市政に対する監視機能のと図るとともに、積極的に情報を公開した図るとともに、積極的に情報を公開した意を反映した開かれた議会連営を行う。	1 施策展開 ①協働の仕組みづくりと後期基本計画 76 P □ 過 11	1 施策展開 ①協働の仕組みづくりと意記 後期基本計画 76 P □ 過疎計 11 A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 集の目的>元代表制の下、市政に対する監視機能のと図るとともに、積極的に情報を公開しと図るとともに、積極的に情報を公開した図るとともに、積極的に情報を公開した関かれた議会運営を行う。 R3 年度の取組内容(計画)> E例会・臨時会の運営資金の審査及び所管事務調査機会図書室機能の充実化 R6 R6	1 施策展開 ①協働の仕組みづくりと意識を高  後期基本計画 76 P □ 過疎計画  11	1	1	施策展開 ①協働の仕組みづくりと意識を高める   後期基本計画 76 P	1	1	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	1	1	1       施 策 2 協働によるまちづくりの推進       別計画         1       施策展開 ①協働の仕組みづくりと意識を高める         後期基本計画 76 P ② 過疎計画 ② 総合戦略 ② コロナ充当       別間         11       本 事業目的・内容・実績         事業の目的と内容 度 度 まな活動実績       まな活動実績         薬の目的>元代表制の下、市政に対する監視機能のたば似をともに、積極的に情報を公開した(単い、薬金もにの推進に対象)、全の場り 近倒の方と図るとともに、積極的に情報を公開した(単い、薬金を活動を切ったらうため、本会議のインターネット中継を令和4年第1回定例会より開始した。       R3         R3       不4         84       当初、決当         R4       日本会議会が大の主な多くのおよる活動を知ったらうため、本会議のインターネット中継を令和4年第1回定例会より開始した。       来4         85       日本会議会の書を及び所管事務調査機会の書室機能の充実化機会活動の同知       R6         86       日本会議会活動の同知       R7         87       日本会議会活動の同知       R7         87       日本会話を表記するにより、実施を表記するというないのでは、またまなど	1       施 策 2 協働によるまちづくりの推進         1       施策展開 ①協働の仕組みづくりと意識を高める         後期基本計画 76 P □ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当       別間 図	施 策 2 協働によるまちづくりの推進   施策展開 ①協働の仕組みづくりと意識を高める   後期基本計画 76 P   過疎計画   総合戦略 □ コロナ充当   別間 年度	1	施策展開	施 策 2 協働によるまちづくりの推進   施策展開	施 策 2 協働によるまちづくりの推進   一	1	1	1

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
	議会運営に関する情報のH		□ 総合戦略		口	目標値	100	100	100	100	100
С	1 P (ホームページ) 更新回 数	令和3年度の議会HPの更新回数	□ 個別計画	109	Ш	実績値	111				
活	剱				%	達成率	111.0				
動指			○ 総合戦略			目標値					
標	2 _		── □ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
		A see a few days and a second of the second	総合計画		□	目標値					
D	1 本会議の傍聴者数	令和3年中の定例会、臨時会の傍聴者数 の累計	□ 総合戦略	69	ī	実績値	110				
成		- 314	□ 個別計画		%	達成率					
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率		·			
Е	評価対象外の理由 0評価対	·象	<u> </u>			<u> </u>	·	( <b>x</b>	対象外事業は	F~ I 欄未	記入 可)
							/	7証価 (係具	<u>-</u> )	少極価 (1)	里巨笙)

次評価(係長) [次評価(課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 5点 4点 1 → ∠ 優先度低い → 2 → 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 3 点 3 点 評 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 19 点 5点 18 点 5点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 /25点

G	【担当係長の意見・認	果題・改善策等】	※今後の事業の進め方等	手
和3年度はこ	コロナ禍の影響により	り、関連団体の	会議(全国市議会議長会、	九州市議会

令和3年度はコロナ禍の影響により、関連団体の会議(全国市議会議長会、九州市議会議長会等)や委員会の行政視察が中止となり、予算や事業の執行が出来なかった。本年度は新型コロナの感染状況を注視しながら、感染対策を講じた上で各種会議・研修や行政視察を実施する予定である。定例会、臨時会の運営、委員会の審査及び所管事務調査に係る業務等を適切に進めてい

コロナの影響による制限下の活動等となったことから、計画どおりに事業を推進できなかった。変化する環境等も想定した事業の実施方法の見直し等が適時必要である。

H 【担当課長職等の所見】

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和5年度の事業の方向性

3	事業番号	枝番 ( 令和	3 年度言	十画	i) #	8合計画	画実施	計画	書(多	<b>東進</b>	步	管理	E)						(様式1)
	2002	1 (令和	3 年度 🦻	<b>上</b> 算		事 務	事	業	評	価	ā	周	書	課局名	議	会事務	局 係	名 請	養会係
事		議会運営事業			細事業	議会会請	議録調製	事務				実施	画信部	事業 議会会	議録訓	製事務	事業	終年	
会計		計画体系図No.→ ( 275 ) 政 策 III 豊かな	よくらしと多	さ心を	実感で	きるまち				1 [.						令和	3 年度 主な	歲出名称	当初予算額
款	1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							- 個 別	期	習		年度 ~	年度	筆耕翻		~~~	2, 37
項	1	110 111 12 111 11X E	広報活動を							計画	7931	,					検索システム	申田料	779
·····································	1	後期基本計画 71			東計画	□ 総会	合戦略		ロナ充当	名	期			年度 ~	年度	-	識システム等		54:
決算	11	XW21111 11	·   □				- 12			J L						会議録	検索システム	更新業務委託	27
		A 事業目的・内容・実	續								_	В:	事業計	画額・決算	額等	料	B+35	h =0	
		事業の目的と内容		年度			主な活動	协実績						事業費計		支出金	財源[ 地方債	その他	(単位:千円) 一般財源
<	事業の目的	的>	Th) = //e_A		定例会	4回、臨時	会2回の	本会議	会議録の	つ作成	┪	R 3	3 計画	3, 96		<u> Ди</u>	7673 BC	( 0) [2	3, 968
し、	議録に番 保存する	<ul><li>議経過・議決結果を正 る。また、作成した会議 ージ)等で公開し、いつ</li></ul>	・雌に作成 録をHP	R3	本会議	会議録のス	ホームペ	ージ公	開		١	_	切予算	· ·					3, 968
でき	るように	こする。									١	決	算 額	1					2, 55
	これらによ ≩加を推進	こり、 市民への情報公開	と市政へ								┪	R 4	4 計画	<u> </u>	-				3, 96
				R4							١	当衫	切予算	1					3, 660
											١	決	算 額	1					
											1	R 5	5計画	3, 96	68				3, 968
				R5							١	当衫	切予算						
<	令和3年	度の取組内容(計画) >									١	決	算 額	i					
		<ul><li>議録の作成</li><li>議録のホームページ公</li></ul>	.盟								1	R 6	6計画	3, 96	68				3, 968
	不五賊五	(戦略のハーコー フム	נוק	R6							١	当衫	切予算						
											١	決	算 額	i					
											1	R 7	7 計画	3, 96	68				3, 968
				R7							١	当衫	切予算						
											١	決	算 額	i					
											٦	計	画額	19, 84	10				19, 84
						R3 ~	~ R7	合 計			١	当衫	切予算	7, 62	28				7, 628
											╛	決	算 額	2, 55	54				2, 554
			T													1	. 1		1
		評価指標名	指標	票値σ	)説明(第	算出方法等	(	各語	十画指標	R 2	2 実	績値.	単位	達成度	R3	ŀ	R4 R5	R6	R7
c	1 会議録	录作成回数(会議録H	定例会年4	um	哈哇ムハ	ナ年9同程6	n <del>d:</del>		総合戦	.略		7	回	目標値 実績値		6			
活	' P 更新	所回数)	足的五十	rici /	四三八八八	4年0回往点	又		個別討	画		` <b>ŀ</b>	%	達成率		0			
動									総合戦	吸				目標値					
指標	2 _													実績値					
									個別計	ш			%	達成率					
			A 24 /A . 1.	,	0 171-	48 ±\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	^ ** AI A		総合討	画			回	目標値					
D	1 会議録	录HP閲覧件数	会議録ホー 閲覧件数	-22	\-\varphi(c)	掲載したま	云譲郷の		総合戦		1,	479		実績値					
成果									個別計	-		_	%	達成率					
指	,								総合計					目標値					
標	2 —								総合戦			ŀ	%	実績値					
									個別計	岡			70	连从平					
E	評価対	象外の理由   0評価対	付象														(対象外	i業は <b>F~I</b> ‡	(未記入 可)
			評化	価項目	目/5つ	の視点(1	1~5点で	で評価)							iii	一次評価 F価点	i(係長) 評価点合計	二次評価 評価点	(課長等) 評価点合計
F	1. 市民	R満足(市民アンケート)	の向上が期	待で	きる事業	大容とな	っている	か		なって	いた	いしょ	⇒			5 点		5 点	
評		きの優先度は高いと思う <i>だ</i>				美内での優先	先度)		-	優先月	变低	い	⇒			5 点		5 点	-
価	3. 事業	禁計画どおりに事業を進め	めることがで	きた	:か				-	できな	かっ	た	⇒	→ 4 → 5 できた		5 点		5 点	
Щ	4. 活動	カ指標の達成状況(率)は	計画どおり推	移し	ているか	,			]	1 - 推移し <sup>7</sup>				→ 4 → 5 推移した	$\dashv$	5 点	25 点	5 点	25 点
1	5 成果		計画どおり推	移し	ているか	Ŋ					→ 2	2 →	3 -	+ 4 → 5 推移した		5点	/25点	5点	✓25 g
	0. /2021	(111   ) ( ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (																	

I 令和 5 年度の事業の方向性

**G** 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等本会議会議録の作成と検索システムの情報の追加・更新を適時行っており、市民への情報公開を適切に行っている。

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

事業は、計画どおり、適時適切に行われている。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

事	¥番号		枝番		(令和	3	年!	复計	- 画	)	総1	合計	画多	し 施	計画	事	(兼	進	捗'	管理)									(様式1)
	2003		1		(令和	3	年』	度 決	算	)	事	矜	ş ;	事	業	評	F ·	価	Ī	周書	課月	<b>司名</b>	議	会事務	局	係名		議	会係
事	業	譲	会運	営事業						細事	業	議会な	ぎより	編集	<b>発行</b>	事業				実施計画	事業	議会だ』	こり解	幕集発行	事業			終了 年度	
	総合	信	画体系	図No.→	( 274 )	)																							
会計	一般		政	策	Ⅲ 豊か	なく	らし	と安	心を	実感	できる	ろまち	)					個						令和	3 年度 主	な歳と	出名称		当初予算額
款	1		施	策	10 情報	设管理	11. 情	報化	の推	進								別	期	間	年度 ~		年度	印刷製	本費				2, 736
項	1		施策	展開	②広聴	• 広	報活動	りをす	定実*	する								計画						議会広料	報点字版・	音声版	反作成委	託	369
目	1		後其	胡基本	計画 7	1 F	>		過政	計画		糸	総合戦	略		コロナ	充当	名	期	間	年度 ~		年度						
決算	11	Ā	事業	目的	• 内容 •	実績														B 事業計	┢画額	・決算者	等						
			市業/	V E W	と内容				年				÷+	· 江 1	助中结	E					市	業費計			財	源内部	R T	()	単位:千円)
			•						度				土。	よ/占り	動実績	₹					<b>*</b>	未頁訂	国県	支出支	地方侵	į	その作	<u>t</u>	一般財源
<b>&lt;</b> II 議	事業 <b>の</b> 目 会の考	的 え	I> や活動	大況:	を広く市	民に	情報	提		0	広報	紙の網司(記	扁集・ 宮例号	発行 - 4 回	j i	時号1	同)			R3計画		3, 105							3, 105
供す	るため	た	広報紅	を発行 (まっ	行する。 ムページ	また	、発規制	行	R3	0	広報	紙点記	院版・	音訴	CD	の発行	ř		١	当初予算		3, 105							3, 105

事業の目的と内容	年	主な活動実績		事業費計		財源内	n訳	(単位:千円)
	度	土な沿動夫模		争未負訂	国県支出金	地方債	その他	一般財源
<b>&lt;事業の目的&gt;</b> 議会の考えや活動状況を広く市民に情報提		<ul><li>○ 広報紙の編集・発行 年5回(定例号4回、臨時号1回)</li></ul>	R 3計画	3, 105				3, 105
供するため、広報紙を発行する。また、発行した広報紙をHP(ホームページ)に掲載し	R3	○ 広報紙点訳版・音訳CDの発行	当初予算	3, 105				3, 105
供するため、広報紙を発行する。また、発行した広報紙をHP (ホームページ) に掲載し、いつでも閲覧できるようにする。		広報紙PDF版・音訳版のホームページ掲載	決 算 額	2, 206				2, 206
の参加を推進する。			R 4計画	2, 958				2, 958
	R4		当初予算	3, 043				3, 043
			決 算 額					
			R 5計画	3, 105				3, 105
	R5		当初予算					
<令和3年度の取組内容(計画)>			決 算 額					
○ 広報紙の編集・発行 年5回(定例号4回、臨時号1回)			R 6計画	2, 958				2, 958
○ 広報紙点訳版・音訳CDの発行	R6		当初予算					
広報紙PDF版・音訳版のホームページ掲載			決 算 額					
			R 7計画	3, 105				3, 105
	R7		当初予算					
			決 算 額					
			計画額	15, 231				15, 231
		R3 ~ R7 合 計	当初予算	6, 148				6, 148
			決 算 額	2, 206				2, 206

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		ы	目標値	5	4	5	4	5
С	1 広報紙発行回数	定例会号年4回 臨時会号年1回	□ 個別計画	4	口	実績値	5				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 =		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値					
D	1 -		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値				·	·
			□ 個別計画		%	達成率					

E 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1~9点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline results & r$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点	16 点	5 点	16 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	— 点	∕25点	点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 「議会だより」を定例会・臨時会の開催にあわせて適時発行しており、議会での各議員 の対応などの情報を広く市民に提供・発信している。インターネット中継の開始により、 VOD配信と併せた広報誌の活用が求められる。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

・・ トピコは X PN マッツ が見 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 広報紙を計画どおりに発行できている。今後も、市民が議会の必要情報をすぐに得られるよう、他媒体との連動などの効果的手段を積極的に活用していく必要がある。

I 令和5年度の事業の方向性

事	業番号		枝番		(令	和	3	年	度	計	画
	3004		1		(令	和	3	年	度	決	算
事	業	紿	終一組	设管理	事業						į
	総合	計	画体系図	図No.→	( 30	1)					
会計	一般		政	策	IV ±	豊か	さる	·	なぐ	協信	動に
款	2		施	策	4 主	<b>:</b> 体的	りで	計画	画的/	な行	財政
項	1		施策原	展開	①庁	内の	人	づく	( b ·	• 組	織~
目	1		後期	基本	計画	80	) [	О		]	過疎
決算	12	٦	本世	目的・	. 内家	9.5					
		_	一十木	, נוח	r11#	r 2	<b>₹</b>				<b>/</b> -
			事業の	目的	と内容	容					年 度

1	<b>事業番号</b>	枝番	(令和:	3 年	度計	一画	)約	信合翁	画実	施計[	画書	兼)	進	步乍	理)									(様式1)
	3004	1	(令和:	3 年	度涉	算	) 事	∓ 矜	<b>事</b>	業		评	価	誹	書	課局名		総	<b>答課</b>		係名	5	人事	給与係
事	業	総務一般管	<b>管理事業</b>			斜	田事業	職員研	研修事業						実施計画	事業 職員	研修事	業					終了 年度	
· · · ·		計画体系図N		_								ı				· ·								
会計		l	策 IV 豊かさ						)				個									<b>送出名称</b>	_	当初予算額
款	2	l ———	<b>策</b> 4 主体的					推進					計-	期間	]	年度 ~	年	٦Ė		多委託料 	+ 			1, 999
項	1	施策展			り・A				AA A What		70.1	- <del></del> \( \lambda \)	画名	40.00				II E	通旅費					544
月 決算	1		本計画 80	Р	Ш	過疎	計画	#	総合戦略		コロフ	充当		期間	]	年度 ~	年	⊒ ¦Ë	師謝ネ					190
八开	12	A 事業目	的・内容・実	橨										<b>—</b> 6	B 事業計	画額・決	<b>算額等</b>	美	費弁作					100
		事業の目	的と内容			年度			主な流	舌動実績	責					事業費	計	18+	ا مالا		財源内			単位:千円)
<:	事業の目	目的>				汉	<ul><li>市独日</li></ul>	自研修	886名					┪┟	R3計画	i o	925	県支	田玉	地方	)頂	その		一般財源 2,695
	種研修を図る		員の資質向上	及び育	能力	R3			人材育成	センタ	一研作	修 17	1名	Н	当初予算								230	2, 695
,,,,,,		0				No								- 11	決算額		925						230	1, 511
					ŀ									╂	R 4計画	1	511 925						230	2, 695
						R4								╂	当初予算		905						230	2, 675
						11.4								╂	決算額		500						200	2,010
														┨┠	R 5 計画	-	925						230	2, 695
						R5								╂	当初予算		020						200	2,000
<	令和3年	年度の取組内	内容(計画)>											ш	決 算 額								-	
• 市	独自研	修												╗	R 6計画	-	925						230	2, 695
		治人材育成 カデミー研	センター研修 修			R6								H	当初予算									
														Η	決算額									
														╂	R 7 計画		925						230	2, 695
						R7								╂	当初予算									
														Ш	決算額	i								
					ľ									71	計画額	14,	625					1,	150	13, 475
								R3	~ R	7 合	計			Ш	当初予算	5,	830						460	5, 370
														Ш	決算額	į 1,	511							1, 511
	ı	評価指標	<b>亜</b> 夕	ı	+5+	「佐の	説明(第	5山七江	- 年 )		各計画	5 七 <del>/</del>	Īp a	<b>,</b> 中组	養値 単位	達成度	l R:	<sub>2</sub>	R4	<u>,</u> Т	R5		R6	l R7
		計画相	<del>*</del> 1		1H 15	に辿り	<b>近明 (</b> 身	非山刀広	<b>ज</b> /	<u> </u>			+	2 天祁	10年10月	目標値	IV.	7	1/4	+	11.0	+	110	1 17
С	1 各種	研修機会の	提供	市独5回、	自研修	多 治人ホ	才育成セ	ニンター	-研修			総合戦田			7 回	実績値		7						
活	13.12.	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	200	1回、	市町	村アス	カデミー	-研修	1回			固別計画	Đ		%	達成率	10	00.0						
動指										Г	- 総	総合戦田	8			目標値								
標	2 —											国別計画				実績値								
												277711			%	達成率								
_												総合計画			名	目標値								
D	1 研修	受講者数		各種	研修の	)受講	者数					総合戦田		1, 4	111	実績値	1.	, 057				_		
成果										<u> </u>		国別計画	+		%	達成率  目標値						_		
指標	2 —										_	総合計画 総合戦⊪				実績値				-				
175	-											s ロ 戦闘 国別計画			%	達成率				-				
=	<u> </u> === 1== -	<b>니</b> 쥬 씨 ^ ㅠ-	b 0 === /== /	ı.zz								- 111 E								/41	A + +	#4-		+=11 -
E	a平(曲)	対象外の理由	■ 0 評価対	了家																				未記入 可)
					評値	西項目	/5つ0	の視点	(1~5)	点で評価	<b>插</b> )						 	一次 評価		(係長		二次記		(課長等) 評価点合計
F	1. 市	民満足(市)	民アンケート)	の向.	上が期	待でき	きる事業	内容と	なってい	るか		7				→ 4 → なってい			点	計Ш点	Tā口		点点	计测点合新
評	2. 事	業の優先度に	ま高いと思うか	い(同	じ成果	指標部	<b>设定事業</b>	内での	優先度)				1 →	→ 2	→ 3 -	→ 4 → 優先度高	5	4	4 点		ľ	4	点	
	3. 事	業計画どお	りに事業を進め	りるこ	とがで	きたか	jγ						1 →	→ 2		俊先度局 → 4 → できた	5		4 点		ŀ		1点	
価	4. 活	動指標の達用	或状況(率)は計	+画ど;	おり推	移して	ているか	١								→ 4 →		2	4 点	1	17 _	Δ	1点	17 -

H 【担当課長職等の所見】 G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市独自研修について、年度毎に職員の資質の向上につながる研修を企画し実施する。また、大分県自治人材育成センターが実施する研修を有効活用し、多分野の研修への参加を 促進する。 市独自の研修は、多数の職員が受講し良好であった。また、大分県自治人材育成センターが実施する研修に対しても多くの職員が出席し成果があった。引き続き、多くの職員に対して、研修の機会を提供していく。

令和5年度の事業の方向性

4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

推移した

推移していない ⇒

1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推

4点

17 点

/25点

4点

17点

/25点

11,900 4, 598

1, 499

#	業番号		枝番		(	令和	3	年	度	H	画	)	総	合計	画	実施	計画	画書	• (	兼	進技	一管	理)									(様式	1)
	4001		1		( •	令和	3	年	度	決	算	)	事	彩	务	事	業		評	佃	ī	調	書	課局	名		総務課		係名	3	人事	F給与係	Ş
事	業	福和	厚生	事業	皂						i	細事		メン? 支援!		ヘルフ	マ相談 しんしん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	事業	逐及び	職場	復帰	· ·	『施計画	事業	メンタル	レヘハ 業	レス相談	事業及	び職場	復帰	終年		: L
	総合	計画	体系区	3 No. →	• (	305	)				1				. ,,,																		
会計	一般	j	ケ	策	IV	豊カ	ゝさを	<u>}</u>	な。	ぐ協	動に	よる	まち	づくり	)						個						令和	3 年度	主な崩	<b>&amp;出名</b> 和	<b>j</b>	当初予	算額
款	2	1	包	策	4	主体	的で	計i	画的	な行	財政	<b>汝運</b> 焓	営の推	進							別	期間	:	年度 ~		年度	ストレ	スチェ	ック業務	<b>秀</b> 託料			1,078
項	1	1	<b>も策</b> 居	展開	1	庁内(	の人	づ.	くり	<ul><li>維</li></ul>	織~	づくり	)								計 - 画						メンタ	ルヘル	ス相談業	務委託	料		637
目	1		後期	基本	計画	<b>=</b> 8	0	Р	[		過鴊	計画			総合軍	戦略			ナ充当	<b>5</b>	名	期間		年度 ~		年度	安全衛	生産業団	医報酬				540
決算	13		- 44	- 44	_								1														職員職	場復帰	等面談業	終委託	料		110
						容・	美權			1	年	1										זוד	3 事業i \			現寺	-		財源内	頭		(単位:न	(円)
		事	業の	目的	الح	内容					皮				主	な活!	動実績	責						事美	<b>養計</b>	国県	支出支		方債	その		一般則	
	業の目 同衛生			朝/崖	乃で	ドノ入主刃	小班	抽印	1. r	. [		合同	衛生	委員:	会 8	8回開	催 57	- <i>b</i>				F	₹3計画		2,380	)						2	, 380
るカ	ウンセ	リン	グを	実施	し、	職員	の健	康	管理	È	R3	メン	タル	ヘル	ス相	淡事業	É	3 A	ı			ì	当初予算		2, 380	)						2	, 380
及い	山事と:	<b></b>	/ノ 叫 <sub>-</sub>	<b>ルを</b> 1	凶る	0 0				١		12回	開催	述べれ	相談:	者数4	4名					ž	央 算 額	i	1, 499							1	, 499
										ı												F	R 4 計画	i	2, 380							2	, 380
										١	R4											ì	当初予算		2, 218							2	, 218
										١												ž	央 算 額	i									
										ı												F	R 5 計画		2,380	)						2	, 380
										١	R5											ì	当初予算										
<=	3和3年	₽度の	)取組	内容	言) 宅	画)	>			١												ž	央 算 額	i									
	司衛生				間外	、勒鍪	を行	- ^	た暗	b												F	R 6計画		2,380	)						2	, 380
員に	対するi こ80時i	面談	(衛生	主管F	理者	-)				- 1	R6											È	当初予算										
員に	対する	面談	(産)	業医)	)	<i>到1</i> 力	11 ج	ر.	/ 느래	`												ž	央 算 額	i									
• ス	トレス・	チェ	ックり	の実力		-61 F	4	- 24-		Ī												F	マラ計画		2, 380	,						2	, 380
· 公	ストレス	師に	よる	カウン	ンセ			談		1	R7											ì	当初予算										
· 休	職者等(	の職	易復り	帚支挂	援																	ş	+ 質額										

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	660	660	660	660	660
С	1 衛生活動開催数	各課等の事業場単位で、所属長が主体と なって実施する衛生活動の開催回数	個別計画	390	ī	実績値	660				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略		口	目標値	12	12	12	12	12
標	2 カウンセリングの実施	「職員サポート相談会」の実施回数	□ 個別計画	12	ī	実績値	12				
					%	達成率	100.0				
			□ 総合計画		口	目標値	12	12	12	12	12
D	1 合同衛生委員会の開催回数	別途、委員会を設置している市民病院を 含めた市の合同衛生委員会の開催回数	□ 総合戦略	12	ī	実績値	8				
成		I O TO TO THE TAXA OF THE TAX	□ 個別計画		%	達成率	66. 7				
成 果 指			□ 総合計画		仕	目標値	36	36	36	36	36
標	2 カウンセリング相談件数	毎月実施する「職員サポート相談会」の 実施に伴う相談件数	□ 総合戦略	48	<u>†</u>	実績値	44				
			□ 個別計画		%	達成率	122. 2				

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	1点		1点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	4点		4 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	17点	4 点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

G 【担当体長の息見・課題・改善束寺』 ※ 今後の事業の進め力寺

合同衛生委員会は、コロナ禍の影響もあり、月1回の対面開催及び書面開催の形態を活用しつつ、職員の健康管理及び職場
環境の改善等に貸するよう実施した。今後も労働安全衛生法に基づき必要な会議を開催することはもとより、会議の内容が固
定化する傾向にあるため、衛生管理者を有効活用しながら委員会の充実を図る。
ストレスチェック事業は、今和3年度に事業実施を要領を見直し実施した。正規職員はもとより会計年度任用職員を対象に575
名の受検実績を得た。高ストレス者については、産業医への相談の斡旋を行いメンタルヘルスの維持に活用できた。衛生管理
者が危険度が高いと判断する職員への面診を通年実施し、メンタルへルスの維持に活用できた。衛生管理
の対シルヘルス和談事業は、公認の理師が専門知識を活用し相談者が抱える悩み事や困り事を解決することと併せ、相談者の相談内容は完全報塞という形態をとっているため、職員からの相談中等は完全報密という形態をとっているため、職員からの相談中なほかに表しましている。適切なアドバイスによりメンタルヘルスの維持・改善に有効であるため、今後も継続して実施する。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 合同衛生委員会及び職場巡視、メンタルヘルスチェック、面談の実施を図っていくことができた。メンタルによる病休者等が増加する中で引き続き、充実を図っていく。

11,900

4, 598

1,499

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 総務課 人事給与係 (令和 3 年度決算) 事 係名 4002 1 務 価 事 業 福利厚生事業 細事業 職員健診事業 実施計画事業 職員健診事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 305 ) 策 Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 令和 3 年度 主な歳出名称 会計 一般 政 当初予算額 個別計 期間 検査健診委託料 款 策 4 主体的で計画的な行財政運営の推進 年度 ~ 年度 6, 177 2 項 施策展開 ①庁内の人づくり・組織づくり 1 名 目 後期基本計画 80 P 🗌 過疎計画 □ 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 決算 13 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額 決算額等 財源内訳 (単位:千円) 年度 事業の目的と内容 主な活動実績 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 事業実施により、職員の健康管理を図る。 正規職員 486名 会計年度任用職員 65名 R 3計画 6, 177 6, 177 6, 177 R3 当初予算 6, 177 決 算 額 5, 494 5, 494 R 4 計画 6, 170 6, 170 当初予算 R4 8,698 8,698 決 算 額 R 5計画 6,170 6, 170 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 職員健診事業 R6計画 6, 170 6, 170 ・正規職員 ・会計年度任用職員 R6 当初予算 決 算 額 R 7 計画 6, 170 6, 170 R7 当初予算 決 算 額 計画額 30,857 30,857 当初予算 14,875 14,875 R3 ~ R7 合 計 決 算 額 5, 494 5, 494

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値					
С	1 周知件数	事業対象者への受診周知件数	□ 個別計画	560	1	実績値	575				
活					%	達成率					
活動指			総合戦略			目標値					
標	2 —		── □ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
D	1 受診率	受診対象者の受診率	□ 総合戦略	99.8	/0	実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	<b> </b>						<b>(</b> \$	対象外事業	は <b>F~I欄</b> st	未記入 可)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	評価)				_% == /=	v評価 (係县	Ę)	二次評価(	

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1~9点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	1点		1点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	21 点	5点	21 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年度健診対象者全員が受診した。今後も職員の健康増進のため、事業を継続する。	引き続き、受診率100%を維持する。

I 令和5年度の事業の方向性

事業番号 枝番 (令和 3	年度計	画)(象	<b>総合計画実</b>	施計画	画書 (	兼進打	步管	理)								(様式1)
4003 1 <b>(令和 3</b>	年 度 決	算) 導	事 務事	業	評	価	訓	書	課局	名	Ŕ	総務課		係名	人事	事給与係
事 業 福利厚生事業		細事業	職員互助会事	業				実施計画	事業 耶	战員互助	」会事	業			終年	
総合計画体系図No.→ ( 305 ) 会計 一般 政 策 IV 豊かさを 款 2 施 策 4 主体的で記 項 1 施策展開 ①庁内の人へ	計画的な行	財政運営の				個 別 計 画	期間	<u>.</u>	年度 ~		年度		年度 主		1名称	当初予算額 2,49
目 1 後期基本計画 80 P 決算 13	i 🗌 i	過疎計画	総合戦略		コロナ充当	名	期間	1	年度 ~		年度					
A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容	4	Ę.	主かる	舌動実績				B 事業計		• <b>決算都</b> < 費計	等		財	源内訳		(単位:千円)
	J.	理 車 今	への参加 3回				┪┟	D 0 = 1 =			国県	支出金	地方債	i	その他	一般財源
福利厚生事業を実施する豊後大野市	職員互 健康増 <b>c</b>	3	10万参加 5円				Ш	R3計画 当初予算	<u> </u>	2, 499						2, 49
助会に対する負担金を交付し、会員の 進、相互親睦及び社会貢献事業等の活! 与する。	動に寄	3					Н	決 算 額		2, 499						2, 49
	-						╢	R 4計画		2, 499						2, 49
	R	4					Ш	当初予算	:	2, 499						2, 49
							Ш	決 算 額	i							
							Ш	R 5 計画	i	2, 499						2, 49
	F	5					Ш	当初予算	-							
< 令和3年度の取組内容(計画) > ・職員互助会負担金の支出	<u> </u>						41	決算額								
							Ш	R 6計画		2, 499						2, 49
	,	6					Н	当初予算 決 算 額								
	-						╢	及 升 母 R 7 計画		2, 499						2, 49
	F	7					Ш	当初予算		2, 100						2, 10
							Ш	決 算 額	į							
							11	計画額	į	12, 495						12, 49
			R3 ~ R	7 合	計		Ш	当初予算	•	4, 998						4, 99
								決 算 額	į	2, 499						2, 49
評価指標名	指標個	の説明(釘	算出方法等)	â	各計画指標	票 R2	2 実績	養値 単位	達成	变	R3	R4	1	R5	R6	R7

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合単	战略	口	目標値	3	3		3	3 3
С	1 理事会への参加	参加回数	□ 個別言	+画 3	쁘	実績値	3				
活					%	達成率	100.0				
動指			│	<b></b> 比略		目標値					
標	2 _		□ 個別言	+ mi		実績値	3				
					%	達成率					
			□ 総合言	+画	千	目標値	2, 499	2, 499	2, 49	99 2, 49	9 2, 499
D	1 適正な負担額	互助会事業費に対する負担額	□ 総合単	<b>战略</b> 2,499	円	実績値	2, 499				
成			□ 個別言	<del> </del>  画	%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計	一画		目標値					
標	2 —		□ 総合単	战略		実績値					
			□ 個別言	一画	%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	· l象						(	対象外事態	業は <b>F~I欄</b>	未記入 可)
			5T /T \				-2	欠評価 (係:	長)	二次評価	(課長等)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	評価)				一 浮		長)	二次評価 評価点	
F	1. 市民満足(市民アンケート)	評価項目/5つの視点(1~5点で の向上が期待できる事業内容となっているか		1 → 2 - なっていない	⇒	なってい	評価 5 る				
F 評				なっていない 1 → 2 - 優先度低い	⇒ → 3 ⇒	なってい。 → 4 → ! 優先度高し	評価 5 る 5 い	i点 評価		評価点	
· 評		の向上が期待できる事業内容となっているか (同じ成果指標設定事業内での優先度)		なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった	⇒ 3 → 3 → ⇒ ⇒	なってい。 → 4 → ! 優先度高! → 4 → ! できた	評価 5 る 5 い 5	1点		評価点	
	2. 事業の優先度は高いと思うか	の向上が期待できる事業内容となっているか (同じ成果指標設定事業内での優先度) )ることができたか	N	なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった 1 → 2 - 推移していない	⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3	なってい。 → 4 → !  優先度高い → 4 → !  できた → 4 → !  推移した	評価 5 る 5 い 5 5	i点 評価 1 点 2 点		評価点 2点 3点	評価点合計
· 評	<ol> <li>事業の優先度は高いと思うか</li> <li>事業計画どおりに事業を進め</li> </ol>	の向上が期待できる事業内容となっているか (同じ成果指標設定事業内での優先度) )ることができたか  画どおり推移しているか	N	なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった 1 → 2 -	⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3	なってい。 → 4 → !  優先度高い → 4 → !  できた → 4 → !  推移した	評価 5 3 5 い 5 5 5	i点 評価 1 点 2 点 3 点	点合計	評価点 2点 3点 3点	(課長等) 評価点合計 14 点 /25点
価	2. 事業の優先度は高いと思うか3. 事業計画どおりに事業を進め4. 活動指標の達成状況(率)は計5. 成果指標の達成状況(率)は計	の向上が期待できる事業内容となっているが、(同じ成果指標設定事業内での優先度) つることができたか 計画どおり推移しているか 計画どおり推移しているか 課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	N	なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった 1 → 2 - 推移していない 1 → 2 - 推移していない H 【担	⇒ → 3 ⇒ → 3 ⇒ → 3 ⇒ → 3 ⇒ → 3	なってい。 → 4 → ! - 優先度高! → 4 → ! - できた → 4 → ! - 推移した → 4 → ! - 推移した - 推移した - 推移した - 推移した	評価 5 る 5 い 5 5 : : : :	i点 評価 1点 2点 3点 3点	i点合計 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	評価点 2点 3点 3点 3点	評価点合計 14 点 /25点
価	2. 事業の優先度は高いと思うか3. 事業計画どおりに事業を進め4. 活動指標の達成状況(率)は計5. 成果指標の達成状況(率)は計	の向上が期待できる事業内容となっているかい(同じ成果指標設定事業内での優先度) つることができたかけ回どおり推移しているかけ回どおり推移しているか	N	なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった 1 → 2 - 推移していない 1 → 2 -	⇒ → 3 ⇒ → 3 ⇒ → 3 ⇒ → 3 ⇒ → 3	なってい。 → 4 → ! - 優先度高! → 4 → ! - できた → 4 → ! - 推移した → 4 → ! - 推移した - 推移した - 推移した - 推移した	評価 5 る 5 い 5 5 : : : :	i点 評価 1点 2点 3点 3点	i点合計 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	評価点 2点 3点 3点 3点	評価点合計 14 点 /25点
価	2. 事業の優先度は高いと思うか3. 事業計画どおりに事業を進め4. 活動指標の達成状況(率)は計5. 成果指標の達成状況(率)は計	の向上が期待できる事業内容となっているが、(同じ成果指標設定事業内での優先度) つることができたか 計画どおり推移しているか 計画どおり推移しているか 課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	N	なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった 1 → 2 - 推移していない 1 → 2 - 推移していない H 【担	⇒ → 3 ⇒ → 3 ⇒ → 3 ⇒ → 3 ⇒ → 3	なってい。 → 4 → ! - 優先度高! → 4 → ! - できた → 4 → ! - 推移した → 4 → ! - 推移した - 推移した - 推移した - 推移した	評価 5 る 5 い 5 5 : : : :	i点 評価 1点 2点 3点 3点	i点合計 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	評価点 2点 3点 3点 3点	評価点合計 14 点 /25点
価	2. 事業の優先度は高いと思うか3. 事業計画どおりに事業を進め4. 活動指標の達成状況(率)は計5. 成果指標の達成状況(率)は計	の向上が期待できる事業内容となっているが、(同じ成果指標設定事業内での優先度) つることができたか 計画どおり推移しているか 計画どおり推移しているか 課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	N	なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった 1 → 2 - 推移していない 1 → 2 - 推移していない H 【担	⇒ → 3 ⇒ → 3 ⇒ → 3 ⇒ → 3 ⇒ → 3	なってい。 → 4 → ! - 優先度高! → 4 → ! - できた → 4 → ! - 推移した → 4 → ! - 推移した - 推移した - 推移した - 推移した	評価 5 る 5 い 5 5 : : : :	i点 評価 1点 2点 3点 3点	i点合計 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	評価点 2点 3点 3点 3点	評価点合計 14 点 /25点

令和5年度の事業の方向性

⇨

22, 153

110,765

42, 259

79,662

150,015

事業番号		枝番
5001		1
事業	財	政管理

事	業番号	枝番	(令和3年	度計画	11 ) 彩	6合計画	実施計画	<b>乗) 晋</b> 但	進	罗管埋)						(1*1.1)
	5001	1	(令和 3 年	度決算	事 (	務	事 業	評	価	調書	課局名		財政課	係	名具	才政係
事	業	財政管理	事業		細事業	基金運営管	<b>萱理事業</b>			実施計画	画事業 基金	運営管	理事業		終年	
	総合	計画体系図	No.→ ( 311 )													
会計	一般	政	策 IV 豊かさをつ	なぐ協働に	こよるまち	ちづくり			個	第2次豊後2 期基本計画	大野市総合	計画後	令和 3	3 年度 主な	歳出名称	当初予算額
款	2	施	策 4 主体的で計画	画的な行則	政運営の	推進				期間 R3		7 年度	財政調整	整基金積立金		7, 241
項	1	施策展	開 ②健全な財政道	運営と財政	:基盤の強	化			画				1	金積立金		3, 736
目	2	後期	基本計画 80 P		疎計画	□ 総合単	战略 🗌	コロナ充当	名	期間	年度 ~	年度	公共施設	投整備基金積	立金	8, 478
決算	14	A 18 18 1	的・内容・実績				•			D ##	計画額・決	<b>生物</b>	地域振り	興基金積立金		2, 698
		A <b>予</b> 未日	1177 77 谷 * 天積	-						7 P = #	:町関観・次	异银守		財源	力記	(単位:千円)
		事業の	目的と内容	年度		主	な活動実績	į		$\parallel \cdot \mid$	事業費	計国	県支出金	地方債	その他	一般財源
<b>&lt;事</b>	業の目	<b>的&gt;</b> おける財派	原調整や突発的な災	宝か	財政調	整基金残高		7,067千円 7,011千円		R 3計	画 22,	153			22, 153	
どに	対応す	るため、貝	す政調整基金及び減 とともに、公共施設	債基 R3	公共施	投整備基金列	浅高 4,88	2,556千円		当初予	算 22,	153			22, 153	
基金を基金	週上に をはじ	理用り つくめとする特	こともに、公共施設 持定目的基金を有効 可能な財政運営を図 スの提供を行う	整備 に活	地域振り	興基金残高	2, 84	8,357千円		決 算	額 229,	677			79, 662	150, 015
安定	ること 的な行	で、特続 <sup>に</sup> 政サービス	可能な財政連貫を図 スの提供を行う	» 、						R 4計	鱼 22,	153			22, 153	
				R4						当初予	算 20,	106			20, 106	
										決 算	額					
										R 5計	画 22,	153			22, 153	
				R5	i					当初予	算					
			内容(計画)>							決算	額					
・当り	初予算》 攻調整	編成におい 基金の繰り	ヽて、財源不足調整の 、を見込む。また、ラ	のた 対象						R 6計	画 22,	153			22, 153	
事業・基	に対し、	て目的基金 から生じた	を見込む。また、 を充当する。 と利子の積立をする。	R6						当初予	算					
· 前	年度決集金に	鼻の実質収	文支額1/2以上を	財政	<u> </u>					決 算	額					
H/HJ TELS	45 JE (-/	1タボン								D 7 =1	<del>т</del> 00	150			00 150	

当初予算 決 算 額 R 7 計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

22, 153

110, 765

42, 259

229,677

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値					
С	1 —		□ 個別計画			実績値					
活					%	達成率					
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		ш	目標値	2, 920, 123				
D	1 財政調整基金残高を標準財 政規模の20%以上	R3年度標準財政規模 14,600,615千円×20%=2,920,123千円	□ 総合戦略	5, 864, 547	田	実績値	5, 957, 067				
成	7.7.	11,000,010	□ 個別計画		%	達成率	204.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε

	   評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	許価項目グランが無(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 1. 本:	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 1 優先	→ 2 → 3 → 4 → 5 先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 1 でき	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\rightarrow$ 2 $\rightarrow$ 3 $\rightarrow$ 4 $\rightarrow$ 5 していない $\Rightarrow$ 推移した	— 点	12 点	—— 点	12 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	→ 2 → 3 → 4 → 5 していない ⇒ 推移した	3 点	/25点	3 点	/25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

第3年度の決算額は229、677千円となっている。
内訳は財政調整基金は利子分21、205千円、減債基金は利子分3、109千円と普通交付税再算定による増加分(臨時財政対策債償還基金費分)150、014千円、公共施設整備基金は利子分53、086千円、地域振興基金は利子分2、262千円となっている。
これは予算額に対し1、000%超の決算額となっているが、減債基金積立分の普通交付税の増加分が大きな要因となっており、例外的な年度となっている。
今後については、自主財源の乏しい本市において、近年の大規模災害の発生や普通交付税の減少、また将来の公債費の償還等への備えも必要となる。そのためある一定程度の蓄えは必要となるが、これらの基金を計画的に活用するためのルール作りの検討の必要があると考える。

#### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

国、地方ともに少子高齢化に伴う社会保障関係経費及び扶助費の増加、公債費 の累積など今後厳しくなる財政状況に対応するため、適正な基金管理を行う必要

### 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

5, 896

2,948

財政係

係名

	5002		1	(令	ŧ0	3 4	羊度	決!	<b>算</b> )	事	務	事	業	評	ſ	西	誹	書	課	局名	,	財政課	_
事	業	財政	管理事	<b></b>					細事業	į	車結財	務諸表	作成事	業				実施計画	事業	連結財務	务諸表	作成事	<b>以</b> 未
	総合	計画	本系図No	→ ( 316	)					•													
会計	一般	Ę	策	IV 豊	とかる	きを・	つなく	"協働	による。	まちつ	づくり							欠豊後ナ 本計画		総合計画	i後	令和	3
款	2	挤	策	4 主	体的	で計	画的:	な行用	財政運営	の推	進					別				R7	年度	財務書	i i
項	1	挤	策展開	②健:	全な	財政	運営	と財政	女基盤の	強化						画							
目	2		後期基本	画信	80	Р		通	<b>通疎計画</b>		総·	合戦略		コロナチ	产当	名	期間		年度 ~	_	年度		
決算	14	Δ 3	業目的	,内宛	. =	2.68			1									R 車費	計画館	・決算者	19年		-
						C 4994.		年	E			- L 1-	-=14	+			٦٢	<del></del>			N 17		
		争	業の目的	りと内容	ř			度	Ę			主な活	動美術	镇					事	業費計	国県	支出支	Ī
⟨事	業の目的な其	的>	表づき財	<b> </b>	なれ	= ਜ₹ •	小表		連結り表	財務詞	诸表等	の作成	<ul><li>ホー</li></ul>	- ふペー	ジでの	り公	11	R3計ī	画	2, 948			Ī
l. !	財政の	見え	る化を推	進する	۱۱ ت	- <i>p</i> , <u>C</u>	22	R									П	当初予算	算	2, 948			Γ
																	Н	決 算 額	頦	2, 948			Γ
								$\vdash$									╁	R 4計ī	-	2, 948			Γ
									1									н г н	<b>-</b> 1	4, 540			

R5

R6

R7

<令和3年度の取組内容(計画)> 総務省からの「統一的な基準による地方公会 計マニュアル」に基づき財務書類の作成を委

計マニュ//」 託 <連結対象>
・一般会計
・公営企業会計(6会計)
・公営事事務組合 (3会計)
・一部事務組合など4団体5会計)
・豊後大野市土地開発公社
・豊後大野市農業農村振興公社
・ぶんごおおのエナジー

				•					•	
		Anton o	v. da 20 1. m	P 400 A 1	111					ı
	個	弗2期	2次豊後大野 基本計画	野市総合計画	後	令和 3	3 年度 主	な歳出名	称	当初予算額
	別	期		度 ~ R7	年度	財務書類	質作成支援	業務委託料	ł	2, 948
	計 画									
当	名	期	間 年	度 ~	年度					
			B 事業計	画額・決算額	等					
				事業費計			財法	原内訳		(単位:千円)
		_		于木貝印	国県	支出金	地方債	その	D他	一般財源
シでの	2公	ı	R 3計画	2,948						2, 948
		ı	当初予算	2, 948						2, 948
		ı	決算額	2, 948						2, 948
		1	R 4計画	2, 948						2, 948
		ı	当初予算	2, 948						2, 948
		ı	決算額							
		1	R 5計画	2, 948						2, 948
		ı	当初予算							
		ı	決算額							
		1	R6計画	2, 948						2, 948
		ı	当初予算							
		ı	決 算 額							
		1	R 7計画	2, 948						2, 948
		ı	当初予算							
			決 算 額							
		1	計画額	14, 740						14, 740

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		口	目標値	1				
С	1 対象決算の翌年度までに連 結財務諸表の作成する		個別計画	1	쁘	実績値	1				
活	1117/4 22 HB 24 - 117/44 7 G				%	達成率	100.0				
動指標			□ 総合戦略		□	目標値	1				
標	2 わかりやすい財務諸表の作成	わかりやすい財務諸表を作成し、公表する	□ 個別計画	1	Ш	実績値	1				
	795				%	達成率	100.0				
			□ 総合計画		口	目標値	1				
D	1 連結財務諸表の完成と公表		□ 総合戦略	1	ш	実績値	1				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値	1				
標	2 公表周知	市のホームページに掲載し、公表周知を 図っている。	□ 総合戦略	1	口	実績値	1				
			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
		<u>'</u>									

当初予算

決 算 額

5,896

2,948

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	/25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 外部委託による財務書類作成支援により簡易な分析、公表を行っているが、施 設単位などといったセグメント分析にまでは至っていない。 担当職員も含め係全体のスキルアップが必要。

令和5年度の事業の方向性

事業番号	枝番
5003	1

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

	5003	1		(令和	3	年』	度涉	美算	5003       1       (令和 3 年度決算) 事務事         3 業       財政管理事業       細事業       財政管理事務費													課	係:	名 契	段約検査	查/財政係
事	業	財政管理	事業					i	細事業	財政管	管理事	务費					実	施計画	事業 財政	管理事	務事業	450			終了年度	
会計	総合	計画体系図				t. ~ t	ゝかわ	(紙)>	よるまち	· ベノ 10	)					П.				-11-61	] [A:	in 2 /2	度 主な	<b>塩山</b> 夕	<b>#</b>	当初予算額
款	2	施	策								,				_	1101			f財政改革 *#. ≈		入	し・契約	· <b>及 エ</b> な			820
項	1	施策展	-						数運営の 基盤の強	-					$\dashv$	計 —	47 [11]	R2	<sup>年度</sup> ~ ℝ	7 +13		光料 別製本費				700
目	2	-		計画			西 C <i>y</i>		計画			Ø □	<del>-</del>	ロナ充	· ж	画名。	朝間		年度 ~	年度	181 -		型電子入村	しシスラ	テム負	650
決算		1友州:	<b>垫</b>		00	Р		加加	に回	#	総合戦田	fi L		ול ל ווו	:=	7	취태		+及 ~	+13	担金公	を を施設マ	ネジメン			
八开	14	A 事業目	的	・内容・	実制	ŧ			ı								В	事業計	↑画額 決	算額等	用	4				621
		事業の	目的	と内容				年 度			主な	活動	実績						事業費	計	旧士山	د ام	財源内			単位:千円)
	事業の目							汉	・入札	<ul> <li>契約管</li> </ul>	管理シン	ステノ	みび	県共同	司利用	型	Ь	3計画	i o	926	県支出	1金 1	也方債	70	の他	一般財源 3,926
		財政基盤の 運営を行う		立を図り	り、言	十画的	で	R3	電子入								l⊢									
-	,,,,,,,	~~~	. 0					No	・入札		管理シ	ステム	を使	用し、	契約	J管	l <del> </del> −	i初予算 : 算 額	1	926						3, 926
									理を行っ	7/Co							╌	4計画		607		+				4, 263
								R4									l⊢		-,	263						
								Ν4									l <del> </del> −	i初予算 : 算 額	-	263						4, 263
																	┨┣	5計画		000		+				4 909
								R5									l <del> </del> −	i初予算		263						4, 263
	会和った	∓度の取組	内灾	(計画)				NJ									┡	: 算額								
		料管理シス 約管理シス				利用	型										╌	6計画		262						4, 263
電子	入札シ	ステムを使	三用し	ン、入村	しを幇	抗行す	る	R6									I	初予算		263						4, 203
・入 理を	札・契	約管理シス	ステュ	ムを使用	月し、	契約	管	NO									┡	: 算額								
<ul><li>公</li></ul>	共施設	マネジメン 繕計画等の	/ <b>卜</b> :	ノステム	ムを使 空理え	用した	`										۱⊢	7計画		263						4, 263
12,791	ロン・ムシン	he hi i i i 건 · ·	الجا ،	HH J, & E	E	- 11 / (	٥	R7									I I	初予算	-,	203						4, 203
								11.7									I	: 算額	-							
																	╌	- 画額	•	978						20, 978
										R3	~ F	R7 4	숙 計				<u> </u>	初予算	,	189						8, 189
																	l <del> </del> −	: 算額	1	607						3, 607
_	ı	57 /T 14	I = 0				11-12	=#-	=W pp (##	F. 11 - 4- 34	Arts.		de a		. 1==			- W (1	\*-E-&	I					<b>D</b> 0	
		評価指	標名				扫特	間の	説明(第	出力法	:寺)		合	計画指	標	R 2 }	美額個	単位	達成度	R3		R4	R5	200	R6	R7
С	1 入札	劫行				R2実績	害/北米	Hr.						総合	戦略		400	件	目標値 実績値		316 316	30	) .	300	300	300
	. / (/ L	15(1)			-	IX 2 JC/ly	9411.9	^					~	個別	引計画		100	%	達成率		0.0					
活動					$\dashv$									松△	戦略				目標値		300	30	o :	300	300	300
指標	2 契約	管理			I	R2実績	責件数	¢							引計画		372	件	実績値		300					
	<u> </u>													旧方	יםו 🕮			%	達成率	10	0.0					
														総合	画信				目標値							
D	1 —														戦略				実績値		$\perp$		1			1
成果					_										計画			%	達成率		_			_		
指															計画				目標値							
標	2 —														戦略			%	実績値  達成率							
$\sqsubseteq$				1									Ш	100万	計画			70	廷戍平	<u> </u>			1			1
E	評価	対象外の理	由	0 評値	<b>西対</b>	象																	対象外事	業は <b>F</b>	~ I 欄	未記入 可)
							評値	西項目	<b>1</b> /5つ0	の視点	(1~5	点で	評価)									評価(係				(課長等)
		-#P /±			1.5	<u>~ + ·</u>									1	<b>→</b>	2 -	→ 3 -	→ 4 →		評価点		西点合計	評化	西点	評価点合計
F	1. 市	民満足(市	氏ア	ンケー	· F) (	の同上	か期	付で	ざる事業	内容と	<b>なって</b> [	いるか	`		な	ってい	ない	⇒		る	3	点			3点	
評	評 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)											個	<b>E</b> 先度(	低い	⇒	優先度高	い	3	点			3 点				
/a=	3. 事	業計画どお	りに	事業を	進め	ること	がで	きた	か							→ きなか			→ 4 → できた		3	点			3 点	
価	4. 活	動指標の達	成划	: 況(率)	は計画	画どお	らり推	移し	ているか						1		2 -	→ 3 -	→ 4 → 推移し <i>t</i> :	5	3	点	12 点		3 点	12点
	5. 成	. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか . 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか											1		2 -	→ 3 -	→ 4 → 推移した	5 .	_	点	/25点	/	- 点	/25点		

I 令和 5 年度の事業の方向性

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

・入札・契約管理システム及び県共同利用型電子入札システムを使用し、入札を適正に執行することができた。 ・入札・契約管理システムを使用し、適正に契約管理を行うことができた。 ・入札・契約管理システムを使用し、適正に契約管理を行うことができた。 今後も入札・契約管理システム及び県共同利用型電子入札システムを使用し、適正な入札 執行、契約管理を行う。

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 日 【担当訴技職等の別兄】 ※計画・改善束等を踏まれた訴技職等の別兄 入札・契約管理システム及び大分県共同利用型入札システムを利用することで 、適正に入札を執行することが出来た。 市の入札・契約管理システムは今後も改良につとめ、より効果的な利用促進を図 ることが必要と思われる。

事	業番号		枝番
5	5005		1
事	業	財i	政管理
	総合	計画	■体系[
会計	一般		政

		ı																•• •			·									(様式・	<b>1</b> \
事業都			枝番														<b>*</b> ( :														
500	5		1	(	令和	3	4	- 度	决	算	) ]	F	務	事	業	Ę	評	佃	l	調	書	課局名	i ]	,	財政課		係名	<u> </u>	行革	推進係	
事 業		財政	汝管理事	業						紐	事業	行革	5推進	事業							実施計画	事業 財政	女改革	生推進	事業				終 <sup>-</sup> 年月		l
	総合	計画	体系図No	→ (	316	)						•																			
会計 一	般	į	政 策	1	IV 豊力	かさ	をつ	なぐ	協賃	かにJ	こるま	ちづく	り							豊後	长大野市行	財政改	革指針	#	令和 3	年月	度 主な詞	裁出名科	<u>F</u>	当初予算	氧額
款 2	,		施策		4 主体	的で	で計	画的な	行	財政	運営の	推進						4	别:	期間	R2 #	度 ~	R 7	年度	行政改革	革審議	6会委員幸	役酬			56
項 1			施策展開	(	2)健全	な則	<b></b>	運営と	財	攻基:	盤の強	化							画						費用弁例	É					24
<b>a</b> 2	,		後期基本	本計	画   8	30	Р		ì	過疎言	十画		総合	戦略			コナ充当	<b>Ĺ</b>	名	期間	年	度 ~		年度	消耗品勢	P.					10
<b>決算</b> 1-		Δ	事業目的		内窥。	宝衫															B 事業計	- 画館。 3	4 管 桁	鉱	普通旅	費					8
						<u> </u>	<u> </u>		4	Ŧ			_	+ + > >=		<b>*</b>				٦٢	D TAN			4.43			財源内	訳		単位:千	円)
			事業の目的	rj 2	门谷				J.	隻				王なた	動実網	滇				11		事業費	で計	国県	支出金:	地	方債	その	他	一般財	源
<b>&lt;事業</b> ( 限られた	行	才政	資源の有	一効	活用を	:図り	りな	がら	Γ		<ul><li>事務</li><li>健全</li></ul>	事業部化判案	戸価 ( 丘比達	(令和) 《等閣	2年度2 係書報	決算	に基づ	づく) 公表		П	R 3計画		103								103
、「事業	€Øì	異択	と集中」れた健全	な	どによ	; b.	財	政収	F	13	1/2	.101319	1201	4 124	71 D 79	X []	1 ///			П	当初予算		103								103
ようにす	-る。	_	N U I C INC.	0	X1 - XZ	= 111 /	, .	C 2	ı											П	決 算 額		6								6
									Γ											П	R 4 計画		103								103
									F	4										П	当初予算		103								103
									ı											П	決 算 額										
									Г											П	R 5計画		103								103
									F	25										Ш	当初予算										
			の取組内						ı											П	決 算 額										
			(令和24 率等関係						Г											П	R6計画		103								103
			支の見通		AR** 11	<i>P</i> ~\		20	F	6										П	当初予算										
									ı											Ш	決算額										
									Г											11	R 7計画		103								103
									F	27											当初予算										_
									1												決 算 額										
									r											11	計画額		515								515
												R3	· ~	R7	合	計				lf	当初予算		206								206

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指	標 R2実績	直 単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			── 総合	<b>i戦略</b>		目標値					
С	1 —		□ 個別	計画		実績値					
活				101112	%	達成率					
動指			□ 総合	ì戦略		目標値					
標	2 _		□ 個別	計画		実績値					
				741124	%	達成率					
		NI files and the Market Land of the American Control of the Contro	✓ 総合	計画	%	目標値	100	100	100	100	100
D	1 経常収支比率	決算における経常収支比率を100%以内 に抑える	□ 総合	<b>戦略</b> 92.	1 /0	実績値	87				
成		, ,,,,,	□ 個別	引計画	%	達成率	_				
果指		事務事業評価などを通じ、起債残高の計	✓ 総合	計画	億	目標値	250	250	250	250	250
	2 起債残高	画的な減少に努める。 (決算統計事務本表参照)	□ 総合	戦略 250.		実績値	252. 3				
		(伏昇帆計事務平衣参照)	□ 個別	計画	%	達成率	-				

決算額

6

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目ともの税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	—— 点	12 点	点	12 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	/25点	3 点	/25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

「担当味び思見・課題・改善表等」 次っなの事業の進め方等 行財政改革の推進、議入規模に見合った財政規模への転換を図るとともに、 歳出の抑制及 び基金の有効活用等により、効率的な財政運営に努めることを目的としている。 そのため事務事業評価については、各事業についてより客観的な視点から判断できるよう に、また調書作成等の負担の軽減を図り、評価内容のブラッシュアップに努める。 地方行政サービス改革の取組状況調査生類作成や健全化判断比率等の関係書類の作成、公 表については、今後も県や国のスケジュールに合わせて実施をしていく。

経常収支比率に収すの所充 経常収支比率については87.0%で前年度と比較して5.1%改善した。起債残高は、防災行政無線整備事業等の実施により前年度から微増している。今後も、小中一貫校千歳小中学校新築事業や全天候型体育施設整備事業、緒方保育園建替事業等の大型事業に合併特例債を活用する予定であることから、起債残高は増加する見込みであるが、元利償還金の推移等に留意した持続可能な財政運営に努める。

令和5年度の事業の方向性

事業番号	枝番
6001	1

事	業番号	枝番	(令和	3 年度	計画	)約	合計	画実施	計画相	兼)書	進	捗曾	理)								(様式1)
	6001	1	(令和	3 年度	決 算	- ) 事	務	事	業	評	価	調	書	課局名		会	計課	係名		会計管	<b>達理係</b>
事	業	会計管理事業	\$1			細事業	会計管	管理事業				545	実施計画	事業 会計	管理	事業				終了 年度	なし
会計	総合	計画体系図No		さをつなぐ	弦価に	・トスまむ	うづくり									4	計和 3 年	度 主か歳	出夕新	<u>ч</u>	当初予算額
款	2	施策		で計画的な							個別	期間		年度 ~		年度	1411 0 —	汉 工 3 成	шчи	.  =	170 7 开取
項	1	施策展開		財政運営と							計画										
目	3	後期基本	計画 80	Р 🗌	過政	東計画	#	総合戦略		け充当	名	期間		年度 ~		年度					
決算	15	A 事業目的	・内容・場	2.48E									B 喜業i	計画額・決	重額	·等					
		事業の目的		- 104	年				$\neg \Gamma$	<del>- +*</del>	事業費		,		財源内	沢	(単位:千円)				
< 3	<b>■業の目</b>		70170		度	<ul><li>・告針及</li></ul>	び給針を	<b>土 ひ</b> 加 す		(哉入・)	兔出)	┩┟	D 0 = 1 =			国県支	出金 地	也方债	その	他 -	一般財源
		多の適正かつ	迅速な執行	fを行う。	R3	<ul><li>支払に</li></ul>	伴う伝見	票審査	W1 WE	(MX/C N	жш/	۱ŀ	R 3計画								19, 120
					къ	<ul><li>決算の</li><li>窓口収</li></ul>	調製 【納業務					11	当初予算 決 算 客		-						19, 120 15, 976
						<ul> <li>経理事</li> </ul>	務説明会	会の実施				-II-	ハ チ <sup>ロ</sup> R 4 計画								19, 120
					R4							┨┠	当初予算	- 10,							18, 963
													決算を	頁							
												71	R 5 計画	19,	120						19, 120
					R5							Ш	当初予算	草							
	< 令和3年度の取組内容(計画) > ・ 造計及び造計外租金の出納・保管(造入・											決算を	頁								
・歳計及び歳計外現金の出納・保管(歳入・歳出)									Ш	R 6計画	19,	120						19, 120			
· 基	<ul><li>・支払に伴う伝票審査</li><li>・基金の運用・管理</li></ul>		R6							11	当初予算										
· 窓	算の調集	<b>養務</b>										-11-	決 算 客								
• 経	性事務記	说明会の実施			R7							11	R 7 計画	,	120						19, 120
					K/							11	当初予算 決 算 客								
													計画客		600						95, 600
							R3	~ R7	合 計			11	 当初予算	,	-						38, 083
												11	決算を								15, 976
		評価指標名	3	指	標値σ	説明(算	出方法	等)	各計	画指標	R 2	2 実績	値 単位	達成度		R3	R4	R5	+	R6	R7
С	1 紅畑	説明会の実施		年2回実	thi					総合戦闘	Š		2 回	目標値 実績値		2	2		2	2	2
活	雅里里	沈明云の天旭		十 2 回关	旭					個別計画	Ī		<sup>2</sup> %	達成率							
動指										総合戦闘	ķ.			目標値		1	1		1	1	1
	2 公金	管理運営委員	会の開催	年1回						個別計画			1 🗓	実績値							
													%	達成率							
_	1 126-71	いってはかさ	:⊒Ar An r⊞							総合計画				目標値				1	-		
	- 週上	かつ迅速な事	伤处埋							総合戦略個別計画			%	実績値 達成率				1	+		
成果									+=	総合計画	+		+~	 目標値					+		
指標	2 —									総合戦略				実績値					+		
										個別計画			%	達成率							

Ε 評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) 0評価対象

		評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次許仙	1(休女)	—火計皿	(林女寺)
		計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民	アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は	高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおり	に事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restance & \rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成	状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成	状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

「支払に伴う伝票審査」について、経理事務説明会を実施して適正な事務執行を周知して いるが、伝票作成上の不備が一定数あった。 他の事業目標については、適切に実施できた。

引き続き経理事務説明会を実施するとともに、庁内ネットワーク等を利用して適正な事務 執行をはかる。 また、令和5年度より運用を開始する電子決裁へ向けて課内で対応を協議し、職員等に対 してはマニュアルを作成して適正な事務の執行について周知・徹底をはかる。

## H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

- ・歳計及び歳計外現金の出納・保管(歳入・歳出)については、適切な事務処理ができている。 ・支払に伴う伝票作成については、電子決裁化に向けてマニュアルを作成し、周知徹底を図る。 ・基金の運用・管理については、一括運用管理の検討が必要です。事務の効率化・基金の有効化。

### 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

B. 見直しの上で継続-3 効率化/RPA等

12, 176

114, 396

事業番号	枝番
7001	1

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

7001	1	(令和	3 年 度 決	算)	事	務	事	業	評	価	調	書	課局名	財政課	係名	管貝	才係	
事業	財産管理	車業		細事業	ŧ E	け産維持	<b>毕管理</b> 事	- 業			実力	施計画事	事業 財商	E維持管理事業		終了	た	2

	総合計画体系図No.→	(	317	)	
--	-------------	---	-----	---	--

会計	一般	政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり	個 豊後大野市行財政改革指針	令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
款	2	施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進	期間 R2 <sup>年度</sup> R7 <sup>年度</sup>	光熱水費	39, 800
項	1	施策展開	③社会インフラの老朽化等への適切な対応	第1期豊後大野市公共施設等 総合管理計画	清掃委託料	27, 866
目	4	後期基本	計画 80 P <u>過疎計画</u> 総合戦略 <u>コロナ充当</u>	A   期間   H27   <sup>年度</sup> ~ R6   <sup>年度</sup>	市有財産維持補修工事請負費	13, 000
決算	16				庁舎設備保守点検委託料	5, 869

869 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額 決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 庁舎等内の秩序や安全の保持及び災害時の防災拠点としての役割を果たすため、庁舎機能が適正に稼働するための建物や付属設備の保守管理、良好な衛生環境維持のための清掃合名権検査、施設修繕等の維持管理に関する各種検査を、施設修繕等の維持管理に関する方る値業務を専門業者に委託をしながら実施でまた。また、市が管理する施設等の災害共済保険等の業務を一括契約し行政効率の向上を図る 旧大野高校跡地法面保護工事を実施 R 3計画 134, 486 110, 367 14, 264, 800円 駐車場等へ注意喚起の看板設置 R3 当初予算 110, 367 134, 486 24, 119 2,310,000円 決 算 額 126, 572 12, 176 114, 396 R 4 計画 110, 367 24, 119 134, 486 R4 当初予算 129,077 21,898 107, 179 決 算 額 R 5計画 125, 193 20,000 105, 193 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 本庁や支所等の光熱水費及び消耗品等(トイレットペーパー・ゴミ袋・照明器具等)の必要経費を執行するとともに、庁舎の電気設備、空調設備、エレベータ設備、自動ドア、消防設備、冷暖房設備などの保守点検及び消掃委託等業務を専門業者に委託し実施した。 R6計画 125, 393 20,000 105, 393 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 105, 593 125, 593 20,000 R7 当初予算 決 算 額 計画額 645, 151 108, 238 536, 913 R3 ~ R7 合 計 当初予算 217, 546 263, 563 46,017

決 算 額

126, 572

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値					
С	1 —		│			実績値					
活					%	達成率					
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		│			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画			目標値	37, 155	39, 252	39, 252	39, 252	39, 252
D	1 光熱水費の削減	目標値を前年度の決算額とする。	□ 総合戦略	37, 155		実績値	39, 252				
成			□ 個別計画		%	達成率	105. 6				
果指			□ 総合計画			目標値			·		
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値		·			·
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)	
	計画項目/50の代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点		
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点		
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \text{restance} & \Rightarrow & \text{rest.} \end{array}$	3 点		3 点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した		11 点	—— 点	11点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 #我  ナ	2点	∕25点	2 点	∕25点	

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 ※今後の事業の進め方等 庁舎等施設の円滑かつ効率的な管理を行い、計画的な維持管理、改修等により 快適な施設運営に努める。特に、施設の改修等については、ランニングコストを 十分考慮し費用対効果を検証する。 市有財産の老朽化による修繕や遊休地の管理(草刈り等)の範囲が増えてき 用途廃止財産の公募や遊休地の売却を進め、財産維持管理費の抑制を図る。

#### 令和5年度の事業の方向性

_			
事業番号	枝番		
7002	1		
事業	産管理		

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

	7002	1		(令和	3 年度	決 算	)事	務	事	業	i	評	価	調	書		課局名	J	材政課	ļ	係名	i	管則	財係
事		財産管理計画体系図				¥	細事業	財産処分	分事業					実	施計画	画事:	業 財産処	分事業					終了 年度	なし
会計	一般	政	策		をつなぐ†	嘉働に	よるまち	らづくり					個	豊後に	大野市	行則	<b></b> 才政改革指	針	令和	3 年度	主な劇	战出名称	1	当初予算額
款	2	施	策	4 主体的	で計画的な	:行財政	女運営の	推進					T 1 1	期間	R2	年度	~ R7	年度	市有建	物解体	工事請負	費		177, 500
項	1	施策展	開	③社会イ	ンフラの老	朽化等	等への適	切な対応					画		引豊後プ 管理計		市公共施	設等	市有建	物解体	工事設計	委託料		10,000
目	4	後期	基本	計画 80	P	過疎	計画	□ 総合	合戦略		٦ロ:	ナ充当					~ R6	年度	不動産	鑑定登	記委託料			5, 400
決算	16	A 事業目	的	・内容・実	積									Е	事業	計画	額・決算	額等	アスペ	スト定	量分析委	託料		2, 100
		事業の	目的	と内容		年			主な活	動実績				1			事業費計				財源内	-		単位:千円)
<1	<b>事業の目</b>					度	建物解析	本工事(			IΠ	手哉り	<b>、</b> 早館	╽┝	0 =1 =	$\downarrow$		国県	支出金		方債	その他	<del>-</del> +	一般財源
耐震	性がなく	く老朽化し	ったが	施設につい 解体を行う	て、合併	R3	、旧家	音診療所、	旧清	支影)	ΙН	1 /// 2	Y 1-7 KH	I⊢	R 3 計區 4 初予第	-	195, 00	-		+	8, 100		02	16, 798 16, 798
普通	財産の引		隻等:	を行い、維		IλΟ								I⊢	き算を	_	195, 00 138, 17	-		-	8, 100 8, 500	1'	02	9,674
- 70			-0											┨┣	8 4 計區	_	195, 00			-	8, 100	10	02	16, 798
						R4								I⊢	4初予算	-	189, 54	-		-	2, 200		02	17, 244
														Ħ	き算る	額								
														F	8 5 計画	画	237, 56	60		21	1,900	10	02	25, 558
						R5								뇔	4初予9	算								
			内容	家(計画)>										Ħ	・算を	額								
(売		度等の分争	登記	記及び不動	産鑑定)									I⊢	86計[		109, 06	60		8	6, 900	10	02	22, 058
(旧		殳場、旧∃	歳	公民館、旧	家畜診療	R6								I⊢	4初予第	-								
P/T 、	旧清川す	又けて)												╌	き 算 名 R フ 計 i	_								
						R7								I⊢	4初予第	-							_	
						Ι( )								I⊢	を算を	-								
														⇃⊢	十画名	-	736, 62	:0		65	5, 000	40	08	81, 212
								R3 ~	- R7	合	Ħ			뇔	4初予第	算	384, 54	:6		35	0, 300	2	04	34, 042
														浔	・ 算 額	額	138, 17	4		12	28, 500			9, 674
		評価指	標名	i	指	標値の	説明(算	[出方法等	)	<b>名</b>	計画	画指標	R 2	実績値	直 単位	i	<b>達成度</b>	R3		R4	R5	R6	1	R7
_											] #	総合戦	.略			_	目標値							
	1 —										] 1	個別計	·画		%	1 -	実績値 <sub>達成率</sub>							
活動										1	1 4	総合戦	回久		+		目標値							
指標	2 _											<sup>爬口戦</sup> 個別計				E	実績値							
											'	凹刀口口			%	ì	達成率							
6	1 7-1-4-	m ### LL			### / I	tal Net						総合計			件	-	目標値		4	7		3	5	
	1 建物(	ノノ州年14			解体工事	件数				1 -		総合戦 個別計		2	%	-	実績値 達成率	100.	0					
成果 #										1	_	総合計	_				目標値	100.	1	1		1	1	1
指標	2 普通則	財産処分	(売:	却等)	普通財産	処分(	(売却等)	件数			ŕ	総合戦	略		件	E	実績値							
											1	固別計	画		%	ì	達成率							
Е	評価対	対象外の理	由	0評価対	才象															(文)	<b>才象外事</b>	業は <b>F~</b> 1	欄	未記入 可)
					<u> </u>	価項目	1/500	D視点(1	~5占	で評価	)							_	-次評値	<b>西(係長</b>	ŧ)	二次評	画 (	課長等)
													1 →	2 -	→ 3	<b>→</b>	4 → 5	割	価点	評価)	信合計	評価点	_ +	評価点合計
F	1. 市員	民満足(〒	「民ブ	<b>ア</b> ンケート)	の向上が非	明待で	きる事業	内容とな <sup>.</sup>	っている	<b>るか</b>			なってし	いない	⇒	t,	なっている 4 → 5		3 点		-	3 я	<del>1</del>	
評	2. 事第	業の優先度	は高	いと思うだ	か(同じ成身	<b>果指標</b> 語	設定事業	内での優先	先度)				優先度	低い	⇒	£	憂先度高い		4 点		-	4 A	į.	
価	3. 事第	業計画どま	391	こ事業を進&	<b>かることが</b> つ	できたが	か					-	できなカ	ヽった	⇒		4 → 5 できた		4 点			4 <b>s</b>	Ħ	
щ	4. 活動	動指標の遺	成七	状況(率)は言	画どおり	推移し⁻	ているか					1	1 → 推移して				4 → 5 推移した	-	一 点		14 点	— s	Ħ	14 点
	5. 成身	果指標の遺	成七	状況(率)は言	†画どおり扌	推移し⁻	ているか					1	1 → 推移して				4 → 5 推移した		3 点		/25点	3 #	Ħ	/25点
		G 【担:	当係	長の意見・	課題・改善	策等】	※今後	その事業の	進め方	等			Н				等の所見	*1	平価・3	<b>大善策等</b>	を踏ま	えた課長罪	戦等の	の所見
		画に沿って	(事)		解体工事を							- 1	年度まっ とともに	予定の でに角	つないが 解体する 逼迫する	施設る。維	等につい 未利用地	ては、	原則、 につい	合併特	例債の 財源の	活用期限 確保につ	であいて	る令和6 意識する 的に処分
													していぐ	、业多	<i>ξ1</i> ,1•α) ·									

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

I 令和 5 年度の事業の方向性

なし

(単位:千円)

一般財源 26, 463 26, 463

18,820

26, 463 31, 384

27, 306

31,671

24, 509

136, 412 57,847

18,820

事業番号		枝番	
7003		1	
事業	財	産管理	里事業

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼准捗管理)

公用車管理事業

		,	4.0				- `		· - ·	_,				
7003	1	(令和 3年度決算)	事	務	事	業	評	価	調	書	課局名	財政課	係名	管財係
		<u>-</u> '											•	

総合計画体系図No.→	(	317	)	

会計	一般	政策	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
款	2	施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
項	1	施策展開	③社会インフラの老朽化等への適切な対応
目	4	後期基本	計画 80 P

細事業

豊後大野市行財政改革指針 個 別計 期間 R2 <sup>年度</sup> ~ R7 <sup>年度</sup> 第1期豊後大野市公共施設等 総合管理計画 名 期間 H27 <sup>年度</sup> ~ R6

実施計画事業 公用車管理事業

当初予算額 令和 3 年度 主な歳出名称 燃料費 10,000 車輌購入費 6,637 4,700 自動車損害保険料 3, 963

			Time I to I is a		1121	IC U				1
決算 16	、事業目的・内容・実績				B 事業計	・画額・決算額	自動車	損害保険料		
	事業の目的と内容	年度	+ t: i	動実績		事業費計		財源区	小訳	(
		度	土な活	1		争未負訂	国県支出金	地方債	その他	Ī
<b>&lt;事業の目的</b> 公用車の使用	についてけ 私用車に比べ	てよ	<購入> 軽貨物バン 2台		R 3計画	27, 465			1,002	Ī
り適正な管理ため、「豊後	と安全運転の確保が求めら 大野市庁用自動車等管理規 業を遂行する。	れる R3 程 L	軽自動車乗用 6台 <廃車>		当初予算	27, 465			1,002	
に基づいて事	業を遂行する。	1353	軽自動車乗用 9台		決 算 額	19, 717			897	
					R 4 計画	27, 465			1,002	Ī
		R4			当初予算	31, 386			2	I
					決 算 額					
					R 5計画	27, 308			2	Ī
		R5			当初予算					Ī
	度の取組内容(計画) >				決 算 額					Ī
①車検等の実 ②修繕の実施	施				R6計画	31,673			2	Ī
(3)車両の申新		R6			当初予算					Ī
⑤自動車損害 求手続きを行	持管理業務 保険(任意)の加入・解約 さ	· 請			決 算 額					Ī
水子がらて11					R 7 計画	24, 511			2	Ī
		R7			当初予算					Ī
					決 算 額					Ī
					計画額	138, 422			2,010	Ī
			R3 ~ R7	合 計	当初予算	58, 851			1,004	Ī
					決 算 額	19, 717			897	Ī

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値					
С	1 —		□ 個別計画			実績値					
活					%	達成率					
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
		冬年度の公田車の年間垂車率80% (75~	総合計画		%	目標値	80	80	80	80	80
D	1 公用車の年間乗車率	各年度の公用車の年間乗車率80% (75~ 85%を目標の幅とする)を適正台数確保	□ 総合戦略	81.9	/0	実績値	78. 8				
成		の目標値とする。	□ 個別計画		%	達成率	98. 5				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restance & \rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—— 点	12 点	—— 点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

公用車の適正な維持管理(車検、修繕)を行った。保険会社(共済)を変更したことにより、保険料(共済)掛金の削減や事務量を低減した。公用車の更新基準に基づき、原則、登録から13年以上または走行距離13万キロメートルを超えた車両については廃車を行った。公用車の適正な配置を行うため、車両の新規購入を行った。

法定点検・日常点検等により故障等を未然に防ぐことが重要である。特に、公 用車の車検切れについては、車検予約の財政課への報告を課す等、再発防止策の 徹底を図る。

### 令和5年度の事業の方向性

120, 182

ふるさと応援基金積立金

事業番号	枝番
301001	1

項 1 施策展開 ②健全な財政運営と財政基盤の強化

事	業番号	枝	番	(令和	3 年	度計	画)	総	合計區	画実施	計画	書	(兼)	售捗	管理	) _							(标:	式 1 )
3	01001	1		(令和	3 年	度 決	算)	事	務	事	業	評	佃	ī	調	書	課局名	まち~	づくり推進	課	係名	地域	振興	系
事	業	ふるさ	ドと応援	景寄附金事	業		細事	業	ふるさと	と応援等	所金事	業			実施	計画事	業ふる	さと応接	爰寄附金事美	¥		終了 年度		なし
	総合	計画体	系図No.→	( 306 )																				
会計	一般	政	策	IV 豊か	さをつ	つなぐ協	働による	まち	づくり					個					令和 3 4	年度	主な歳出名	称	当初于	予算額
款	2	施	策	4 主体的	りで計	画的な行	·財政運	営の推	推進		·				期間	年月	变 ~	年度	ふるさと叙	<b>内税業</b>	務委託料		15	29, 662

画

名

目 後期基本計画 80 P 総合戦略 ~ コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 4 過疎計画 ふるさと納税サイト使用料 14, 784 決算 17 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 当市にゆかりのある方をはじめ、市外の方か ら広く寄附金を募集し応援してもらうことに より、財源を確保し各種事業を実施する。 また、返礼品の周知を通じて豊後大野市の 魅力を発信し、地元特産品のPR及び販路拡 大による地域経済の活性化を図る。 ・国の制度に沿ったふるさと納税事務の執行 ・企業版ふるさと納税の開始とそれに伴うホームページとチ ラシの作成 ・返礼品登録事業所数 (80箇所→106箇所) ・返礼品登録数 (266品→378品) ・臨時交付金を活用した商品開発補助事業や広報活動に対す る補助事業の実施 R 3計画 270,582 30,400 R3 当初予算 30,400 270, 582 240, 182 決 算 額 243, 590 8,645 115, 578 119, 367 R 4計画 30,000 280,000 250,000 R4 当初予算 270,602 240, 269 30, 333 決 算 額 R 5計画 30,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・ふるさと納税のPR(商工会との連携、ホームページ等の活用) ・返礼品の充実を図る ・寄附金の収納、財政調整基金への積立て ・企業版ふるさと納税の発信 R6計画 30,000 300,000 270,000 R6 当初予算 決 算 額 R 7 計画 310,000 280,000 30,000 R7 当初予算 決算額 計 画 額 1, 450, 582 1, 300, 182 150, 400 R3 ~ R7 合 計 当初予算 60,733 541, 184 480, 451 決 算 額 243,5908,645 115, 578 119, 367

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		社	目標値	85	90	95	100	105
С	1 返礼品登録事業者	返礼品登録事業者数	個別計画	80	11.	実績値	106				
活					%	達成率	124.7				
動指			総合戦略		멾	目標値	280	290	300	310	320
標	2 登録返礼商品	登録返礼商品数	□ 個別計画	266	ПП	実績値	378				
					%	達成率	135. 0				
			総合計画		件	目標値	15,000	15,000	15,000	15, 000	15,000
D	1 寄附件数	ふるさと納税寄附件数	□ 総合戦略	14, 394	1	実績値	13,627				
成			□ 個別計画		%	達成率	90. 9				
果指			□ 総合計画		千	目標値	240,000	250,000	260,000	270,000	280,000
標	2 寄付金額	ふるさと納税寄附金総額	□ 総合戦略	274, 664	円	実績値	228, 467				
			□ 個別計画		%	達成率	95. 2				

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	/25点	3 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

昨年度は、これまで行ってきたふるさと納税返礼品の充実、新規の提供事業者や新たな返礼品の選定に加え、臨時交付金を活用した、返礼品の新規開発やパッケージの刷新(令和2年度繰越)や、提供事業者が、ホームページの作成やSNSを活用した広告活動を行う取組に対する補助事業、企業版ふるさと納税に新たに取組んだ。これらの取組の成果として、豊後大野市商工会が令和3年12月に開催したオンライン商談会では、成約数が大幅に増えるなど少しずつではあるが成果が出ており、取組を通じ市内の返礼品提供事業者や商工会との連携が深まっている

。 合和4年度は、これまでの取組を活かしつつ新たな返礼品提供サイトの検討や、楽器寄附に取 組むことで、豊後大野市を応援していただける方を増やす必要がある。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 【担当課長職等の所見】

事業者の支援につながる特産品等の充実を図り市の魅力発信を図る。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

B. 見直しの上で継続-1 拡充

_									
事	業番号		枝番						
8	8001								
事	業	安	全・気						
	総合	計画	1体系						

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(令和3年度決算) 事務事 掌評価調書 課局名 総務課

係名 防災対策係

	0001	י שוינד)	, T IZ //	\ <del> 31-</del> /	T 10 T	*	pT.	IIMI		_	环形石	ЛуС	177 IVA	DK-	1 1973	CVI W IV
事	業	安全・安心まちづくり拍	推事業	細事業	交通安全対策	事業			実	施計画	事業交通安全	全施設整	整備事業			了 度 なし
会計	一般	計画体系図No.→ ( 240 ) 政 策 Ⅲ 豊かな	くらしと安	心を実感で	ぎきるまち			T [_T					<b>令和 3 年</b>	度 主な	裁出名称	当初予算額
款	2		全・防犯対策					_   個     別   ‡	期間		年度 ~	年度	交通安全施		10設整備工事	6,000
項	1		全対策を推済					計画					請負費 消耗品費			343
目	5	後期基本計画 64		過疎計画	総合戦略		コロナ充当	夕	期間		年度 ~		修繕料			40
上 決算	18	ØMÆÆTIE 01	·   □	起來们自	100 1340		,,,,,,	ئلــا لـ	·V11-1				15/10/11			1,
7751		A 事業目的・内容・実i	綾						В	事業	画額・決算額	領等				<u> </u>
		事業の目的と内容		年 度	主な活	動実績					事業費計	<b>98</b> -	EIII A	財源内		(単位:千円)
<1	業の目	的>			事業を行った。					3計画	- C 000		5出金 5	也方債	その他	一般財源
交通	事故等7	から市民を守り、安心し きる施設整備を行う。	て生活す	カー	ブミラー新設 5	6 基 1 基			I			1				6, 383
9	2 11- C 6	この地区正備で11万。		ガー	ドレール設置 3億	箇所				初予算	-,	1				6, 383
				直路目	自線設置 1	箇所			┨┝	: 算 額		1				5, 04
									<b>I</b>	4 計画	-,					6, 38
				R4					ш	初予算						6, 383
									┨┝	: 算 額						
									II	5計画						6, 383
				R5						初予算						
		<b>■度の取組内容(計画)&gt;</b> −の設置							決	: 算 額	Į.					
カー	ブミラー	-の購入							R	6計画	6, 383					6, 383
	白線の記 ドレーノ	设置 シの設置		R6					当	初予算	Ĭ					
									決	: 算 額	Ĩ.					
									R	フ計画	6, 383					6, 383
				R7					当	初予算	Į					
									決	: 算 額	Į.					
									計	- 画 額	31, 915					31, 91
					R3 ~ R7	合 i	†		当	初予算	12,766	i				12, 766
									決	: 算 額	5,044					5, 044
		評価指標名	指標	栗値の説明(	算出方法等)	各	計画指標	R 2 5	実績値	i 単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
_	4 .2			- *r.10=0.0	a Maria		総合戦	略	0.0	基	目標値	60		0	60	60 60
	1 カー:	ブミラーの設置	ガーソミラ	ラー新規設置	<b>直固所</b> 数		個別計	·画	66	%	実績値	56	+			
活動						+_				70	目標値	93. 3				
指標	2 _						総合戦	.略			実績値					
175							個別計	画		%	達成率					
						V	総合計	画		6.1	目標値	62	6	2	61	61 60
D	1 人身	事故発生件数	人身事故発	<b>É生件数</b>			総合戦	略	63	件	実績値	42	:			
成							個別計	画		%	達成率	67. 7				
果指							総合計	画			目標値					
標	2 —						総合戦	略			実績値					
							個別計	画		%	達成率					
Е	評価対	対象外の理由 0評価対	象											(対象外事	業は <b>F~I</b>	#未記入 可)
												Ι -	次評価(係	(長)	二次評価	(課長等)
			評値	西項目/5つ	Oの視点 (1~5点	で評価)								西点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市县	民満足(市民アンケート)	の向上が期	待できる事	業内容となっている	るか	-	1 → なってい			→ 4 → 5 なっている		5 点		5点	
	2 事	業の優先度は高いと思うか	・ (同じ成果	指標設定事	業内での優先度)			1 →	2 -	→ 3 -	→ 4 → 5		5点		5点	1
āŤ					来F1 C07 展光1文/			優先度 <sup>6</sup> 1 →			優先度高い → 4 → 5					-
価	3. 事	業計画どおりに事業を進め	ることがで	きたか			-	できなか	いった	⇒	できた		5点		5 点	
	4. 活動	動指標の達成状況(率)は計	画どおり推	移している	か			1 → 推移して			→ 4 → 5 推移した	1	4 点	24 点	4 点	24 点
	5. 成	果指標の達成状況(率)は計	一画どおり推	移している	か			1 → 推移して			→ 4 → 5 推移した		5 点	/25点	5点	∕25 €
		G 【担当係長の意見・i	理題・小羊の	在生1 火点	*終の事業の准歩士	生	]:					.v. ≡π	压. 과 <i>羊</i> 畑	生大味士	ラナー部=脇	生の託目
交通		G 【担当係長の意見・記 策に必要な事業であり、					<b>る。</b>				職等の所見】 こめに必要な事				<b>んた林長</b> 城	サい川兄

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

I 令和 5 年度の事業の方向性

4, 166

1,420

4	事業番	를	枝番	(	令和	3	4	厚度	i ill	画	)	総	合言	十匪	実	施言	十画	書	兼)	進	步乍	理)									(村	<b>様式 1</b> )
	8001		2	(	令和	3	年	厚度	決	算	)	事	7	务	事		業	評	•	西	訓	書		課局名		総務課		係	名	防災	く対策	<b>策係</b>
事	業	安	全・安心	ます	うづく	り推済	進	事業		i	細事業	ŧ	交通	安全	対策	事業	101				Ī	実施計画	画事	業 運転免詢	許証目	自主返納	支援即	助成事業	E .	終年		なし
			体系図No.						_								_			_												
会計	一般	<b>   -</b>	-21 21	`	Ⅲ豊⊅	かなく	( }	っしと	:安	心を	実感`	でき	るま	ち						個						令和	3 年月	度 主な	歳出名和	<b></b>	当礼	刀予算額
款	2	∐ L	施第	ž.	7 交通	安全	·	防犯	対策	色の打	推進									別計	期間	]	年度	₹ ~	年度	運転免	許証自	主返納	支援助成	金		2,500
項	1		施策展開	<b>1</b> (	<ol> <li>交通</li> </ol>	安全	対:	策を	推進	しする	5									画						通信運	般費					83
目	5		後期基	本計	画(	64	Р			過政	計画			総合	戦略		] :	コロナオ	色当	名	期間	]	年度	₹ ~	年度							
決算	18	ַ ֶּ	事業目的	<b>h</b> -	中域。																	n <b>市会</b>	er e	画額・決算額	45 Oct							
						天物	_		$\neg$	年											٦ [	<u>D 字末</u> \	AT IS		現寺	-		財源区	勺訳		(単位	:: 千円)
		3	事業の目	的と	内容					度				:	主な活	動	<b></b>							事業費計	国则	東支出金	地	方債	その	)他	l –	般財源
(軍事	事業の	<b>目的</b> )	>  主返納る	シ老	ラでし	ヽろ喜	·龄	老の	,						x納者 支給			1万円:	分の	タク	71	R3計i	画	2, 583	:							2, 583
免許	F返納征	色の利	動手段	シ支	援する	らこと	て	'自主	Ξ.	R3		か、	/ \/	<i>ST</i> C	. 义和	UIL	-0				Ш	当初予算	算	2, 583	3							2, 583
事故	との抑制	制を図	る。同野な	∃ /J*	加古石	1 < 13	· つ	父进	2												Ш	決算額	額	1, 420								1, 420
									r												71	R 4 計画	画	2, 583								2, 583
									-	R4											Ш	当初予算	算	1, 583								1, 583
									-												Ш	決算額	額									
									ı												11	R 5計i	画	2, 583	;							2, 583
									-	R5											Ш	当初予算	算									
<	令和3	年度	の取組内	容(	(計画)	>			-												Ш	決算額	額									
自主	返納者	r~0.	タクシー	一券	、バス	、券の	支	給。													11	R 6計區	画	2, 583								2, 583
									-	R6											H	当初予算	算									_,
																					ш	決算額	-+									
									-												┨╂	R 7計i		2, 583	+							2, 583
										R7											╢	当初予算		4, 505								2, 505
										11.7											ш	決算を	-+		-							
									ŀ								_					<b>次异</b> 6		12 015	-							12 015

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値	180	180	180	180	180
С	1 支給者数(自主返納者の内 の申請者数)	タクシー券、バス券の支給者数	個別計画	180	人	実績値	160				
活	1 111 11 200				%	達成率	88. 9				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		件	目標値	62	62	61	61	60
D	1 人身事故件数	人身事故件数	□ 総合戦略	63	11	実績値	42				
成			□ 個別計画		%	達成率	67. 7				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

当初予算

決 算 額

4, 166

1,420

R3 ~ R7 合 計

E 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	24 点	4 点	24 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 運転免許証自主返納者のうち支援事業に申請する方の割合が把握できていない ため、活動指標の設定が適正か判断できないが、免許証返納後の移動手段の確保 の支援は必要と考えるため継続 運転免許証の自主返納を考えている高齢者の免許返納後の移動手段を支援することで自主 的な返納を促し、高齢者が加害者となる交通事故の抑制を図っていることから継続する。

令和5年度の事業の方向性

なし

3,000

1,350

当初予算額

(単位:千円)

一般財源

350

350

63

350

350

350

350

350

1,750

700

63

20,000

8,000

1,700

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 (令和 3 年度決算) 事 総務課 係名 防災対策係 8002 1 務 価 事 業 安全・安心まちづくり推進事業 細事業 防犯対策事業 実施計画事業 防犯灯LED化事業 総合計画体系図No.→ ( 244 ) 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 令和 3 年度 主な歳出名称 会計 一般 政 交通安全施設・防犯施設整備工事 請負費 別計 期間 款 策 7 交通安全・防犯対策の推進 年度 ~ 年度 2 項 施策展開 ②防犯対策を推進する 1 消耗品費 名 目 5 後期基本計画 64 P □ 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 決算 18 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額 決算額等 財源内訳 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 <事業の目的> 犯罪等から市民を守り、安心して生活することができる施設整備を行う。 LED防犯灯新規設置 78 基 LED防犯灯購入 0基 ※防犯灯具200基の寄付があったため購入 数は0基(給付件数は162基) R 3 計画 4,350 4,000 R3 当初予算 4, 350 4,000 決 算 額 1,763 1,700 R 4 計画 4, 350 4,000 R4 当初予算 4,350 4,000 決 算 額 R 5 計画 4,350 4,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 LED防犯灯の設置 LED防犯灯の購入 R6計画 4,350 4,000 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 4,350 4,000 R7 当初予算

R3 ~ R7 合 計

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		基	目標値	90	90	90	90	90
С	1 LED防犯灯の設置	LED防犯灯新規設置数	個別計画	94	ンド	実績値	78				
活					%	達成率	86. 7				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		<b>作</b> :	目標値	51	50	50	50	50
D	1 犯罪認知件数	豊後大野署管内刑法犯認知件数	□ 総合戦略	53	J. 1.	実績値	55				
成			□ 個別計画		%	達成率	107.8				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

21,750

8,700

1,763

| | 評価対象外の理由 | O 評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)	
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0$	5 点		5 点		
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点		
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restance & \rightarrow & rest. \end{array}$	5 点		5 点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	23 点	4 点	24 点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	4 点	∕25点	5 点	∕25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
防犯対策に必要な事業であり、今後も自治会からの要望もあることから継続する。	防犯灯設置は、防犯対策に必要であることから継続

令和5年度の事業の方向性

400

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 (令和 3 年度決算) 事 総務課 防災対策係 8002 2 務 価 係名 事 業 安全・安心まちづくり推進事業 細事業 防犯対策事業 実施計画事業 犯罪被害者等見舞金事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 246 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 犯罪被害者等見舞金 款 期間 年度 400 2 7 交通安全・防犯対策の推進 年度 ~ 項 施策展開 ②防犯対策を推進する 1 名 5 後期基本計画 64 P コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 過疎計画 総合戦略 決算 18 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額·決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 **<事業の目的>** 犯罪被害者へ見舞金を支給し、被害の早期回 犯罪被害者への見舞金の支給がなかった。 R 3 計画 400 200 復、及び軽減を図る。 R3 当初予算 200 200 400 決 算 額 R 4 計画 200 400 200 R4 当初予算 400 200 200 決 算 額 R 5 計画 400 200 200 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 犯罪被害者への見舞金の支給。 R6計画 400 200 200 遺族見舞金 300千円 重傷病見舞金 100千円 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 200 400 200 R7 当初予算 決 算 額 計画額 1,000 1,000

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値					
С	1 見舞金の給付	支給件数	□ 個別計画		1	実績値					
活					%	達成率					
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 =		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		件	目標値					
D	1 犯罪被害者等見舞金申請者 数	申請者数	□ 総合戦略		1	実績値					
成	~.		□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
			•	•			•		•		

R3 ~ R7 合 計

当初予算

決 算 額

400

800

評価対象外の理由 | 0評価対象 (対象外事業はF~【欄未記入 可) Ε 一次評価 (係長) 二次評価 (課長等)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 → 4 → 5  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3$ 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 3点 評 優先度低い 優先度高い 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 5点 3点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 23 点 3点 15点 推移していない ⇒ 推移した → 3 → 4 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 /25点 3点 /25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
今後も犯罪被害者へ見舞金を支給し、被害の早期回復及び軽減を図ることは必要であることから継続する。	犯罪被害者への支援は必要であることから継続

令和5年度の事業の方向性

					4n 4 =1 <del></del> · ·		<u></u>	.,,										( <del>1</del> ≭- <b>+</b> ∗ \
		3年度   3年度			総合計画実施 事 務 事	計画業	書(兼:		管理 調	里) 書	課局名		総	務課	1	系名	防災	( <b>様式 1</b> ) 対策係
事	業 安全・安心まちづく!	) 推進事業		細事業	防犯対策事業				実	施計画	事業 防犯	電話機	等購	入補助	事業		終了年度	
会計款	<del>                                     </del>	) ^なくらしと5 安全・防犯対			できるまち			個別期	期間		年度 ~	年月	1 ⊢	<b>介和 3</b> :			名称	当初予算8
項目	<del></del>	対策を推進す	る	東計画	□ 総合戦略		コロナ充当	計画	期間		年度 ~	年月	-					,
決算	A 事業目的・内容・	実績	l	1					В	事業	計画額・決	<u>算額等</u>	L		B+:1	内訳		単位:千円)
	事業の目的と内容		年度		主な活動	大人					事業費	計画	県支	出金	地方債	_	その他	一般財源
<b>&lt;</b> 特殊	<b>事業の目的&gt;</b> 詫詐欺等による被害防止を図る	ため、特殊			作欺等被害防止機能 入等に要する経費の				R	3 計画	1, (	000		500				50
詐欺	、等被害防止機能付き電話機及 に要する経費を助成する。	び機器の購	R3	0	(特に女) の胚質の	1m-93 C	2 0 11 11	<i>,</i> , _	当	初予算	1,0	000		500				50
7 ( )	ILX / DELX COMA / DO								決	算額	<b>5</b> 2	47		124				12
									R	4 計画	1, (	000		500				50
			R4						当	初予算	1,0	000		500				50
									決	算額	1							
									R	5計画	1,0	000		500				50
			R5						当	初予算	Ī							
<:	令和3年度の取組内容(計画)	>							決	算 額	Į.							
	:詐欺等被害防止機能付き電話 :入等に要する経費の補助。	機及び機器							R	6計画	1,0	000		500				50
V > 514	八寸に女 デジ(性質・ジョルの)。		R6						当	初予算	Į.							
									決	算額	<b>1</b>							
									R	7 計画	1, (	000		500				50
			R7						当	初予算	<u> </u>							
									決	算 額	Į							
									計	画額	5, (	000	2	, 500				2, 50
					R3 ~ R7	合 計	ŀ		当	初予算	2,0	000	1	,000				1,00
									決	算 額	1 2	47		124				12
	評価指標名	指	標値の	説明(	(算出方法等)	各	計画指標	R 2 §	<b>実績値</b>	単位		R3		R4	_	R5	R6	R7
С	1 25 11.11.11.11	特殊詐欺	等被領	き防止*	幾能付き電話機及び		総合戦略		40	件	目標値 実績値		50		50	50	50	5
	1 補助件数	機器の購	入等に	こ要する	る経費の補助件数		個別計画		46	%	達成率	-	26					1
活動						+				70	目標値		52. 0					
指	2 _						総合戦略				実績値							
1示	_						個別計画			%	達成率							
							総合計画				目標値		51		50	50	50	) 5
D	1 犯罪件数	豊後大野	署管区	対刑法を	<b>氾認知件数</b>		総合戦略		53	件	実績値		55					
成				. / 1 - 1 - 1 - 1			個別計画			%	達成率	10	7.8					
果						T	総合計画				目標値							
ᄕ	i .																	

י ו	1 犯罪件数	豊後大野著管内刑法犯認知件数		総合戦闘	各 53		美積値	55				
成				個別計i	画	%	達成率	107.8				
果指				総合計画	画		目標値					
標	2 —			総合戦闘	各		実績値					
				個別計画	画	%	達成率					
E	評価対象外の理由 () 評価対	対象								(対象外事	業はF~I欄	未記入 可)
		部体符ロフラの切上(1 ロドマ	=					-2	マ評価 (係	(長)	二次評価	(課長等)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	音平1四)					評価	点評	西点合計	評価点	評価点合計
F	450000											
評	評 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)											
価	3. 事業計画どおりに事業を進む	めることができたか		-	1 → 2 → できなかった	⇒	→ 4 → ! できた		5 点		5 点	
ІШ	4. 活動指標の達成状況(率)は	計画どおり推移しているか		推	1 → 2 → 挂移していない		→ 4 → ! 推移した		3 点	22 点	3 点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか											
	G 【担当係長の意見・	課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等			H 【担	当課長	職等の所見	】 ※評価	16・改善策	等を踏ま	えた課長職等	の所見
増加	の傾向にある特殊詐欺等による	被害防止を図るため必要であることから継	続する	00	特殊詐欺被	害を『	方止するた	めには必要	であるこ	とから継	続	

I 令和 5 年度の事業の方向性

⇨

	業番号	_	番								総合計画写							理)	[T				1			(様式 1)
	9002			( 4	令和	3	年月	度 決	算	) ]	事務	事	莱	評	<sup>2</sup> 1	<b>5</b>	調	書	課局名		総務課		係名		広報	広聴係
事	業	広報』	広聴事業	É					Ą	細事業	広報事業						実	施計画	事業 広報詞	忠事業					終了 年度	なし
		計画体	系図No								I.						_									
会計	一般	政	策	Ш	豊か	なく	らし	と安	心を	実感で	きるまち					個					令和	3 年月	ま 主な歳	出名称	i	当初予算額
款	2	施	策	+			里、情									別計	朋間		年度 ~	年度	印刷製	本費				12, 256
項	1		策展開	-			報活重									画名。					市報点	字版・	音声版作	<b>戈委託</b> 料	<b>가</b>	902
目	6	Ť	<b>货期基本</b>	計世	u 71	1	Р	Ш	過疎	計画	総合戦	略		コロナラ	充当	_ }	期間		年度 ~	年度						
決算	19	Α¥	業目的	・内	容・	実績	l										В	事業	計画額・決算	額等						
		事業	の目的	うとは	容				年度		主力	な活動詞	実績						事業費討	+ -	+1114	116	財源内			単位:千円)
<1	事業の目	的>						-	戊	年12回	広報誌発行						-	3計画	13, 1		支出金	地	方債	その	14	一般財源
市の	情報を 誌を発	正確・		市民	に提付	供す	るたと		R3	年12回	市報点字版及	び音声	版の	発行	1		⊩	は初予算							14	13, 144 17, 907
また	、視覚に	障がい	者等通	常のため	市報	では	情報	を	No								⊩	多算多		-					12	10, 407
及び	音声版:	を発行	する。	7000	(-,	114 TM	OW 1 /	_									I⊢	3 4 計画	<del>'</del>						12	13, 146
									R4								⊩	4初予算	,	-					12	11, 183
																	I⊢	2 算 名		,,,					12	11, 100
								F									IН	8.5計画	-	58					12	13, 146
									R5								I⊢	····· á初予算								,
<=	令和3年	[度の]	取組内?	字(計	画) >	>											決	き算を	Į.							
年12	回の広韓	報誌発 報点字	行版及び	立書	出の	% 行		F									F	8 6計画	13, 1	58					12	13, 146
4-12	回v>川13	取尽于	NXXX U	日戸	ルスマンラ	光门			R6								놸	4初予算	Į							
																	決	き算を	Į							
																	F	マカ計画	13, 1	58					12	13, 146
									R7								¥	4初予算	Į							
																	決	き算を	Į							
								Γ									計	十 画 名	65, 79	90					62	65, 728
											R3 ~	R7 ੬	台計	t			놸	<b>á初予</b> 算	29, 1	16					26	29,090
																	決	き 算 客	10, 4	19					12	10, 407
																•										
		評	西指標名	3		+		指標	値の	説明(	算出方法等)		各語	計画	指標	R 2 §	<b>E</b> 績値	単位		R3	_	R4	R5	+	R6	R7
С	1 市報	<b>松</b> //	1*6				<b>右起 ₹</b>	经证	米ケ	年単位	-)			総	合戦略		12	回	目標値 実績値		12 12	12	1	2	12	12
	1月学校:	<b>朮1</b> JĽ	<b>一</b>				口牧先	-11円	1奴	十半世	-)			個	別計画		12	%	達成率	100	-					
活動						$\dashv$								40				7.0	目標値		12	12	1	2	12	12
指標	2 市報	点字版	及び音	声版	発行	Ī	<b></b>	字版	及び	音声版	発行回数(年	単位			合戦略		12	2 回	実績値		12					12
	凹剱					ľ							Ш	個)	別計画			%	達成率	100	. 0					
														総	合計画			拉口	目標値	16, 0	00 10	6,000	16, 00	0 1	6, 000	16, 000
D	1 市報	発行部	数			ī	<b></b>	行部	数 (	月単位	()			総	合戦略	1	6, 300	部	実績値	16, 0	00					
成果						$\perp$									別計画			%	達成率	100						
指	。市報	点字版	及び音	吉加	発行		打報 占	字版	及び	音声版	発行部数(月	単位			合計画			部	目標値		10	10	1	0	10	10
標	2 部数		./ <b>~</b> ∪ Ħ	ישו	VIII	)	14 ±12/17/	, , /UK		H / · //X		1-17-			合戦略		10	%	実績値		10					
				_									Ш	値	別計画			70	连以竿	100	· U					l
E	評価対	対象外	の理由	0	評価	対象	象															<b>(</b>	対象外事業	iは <b>F</b> ~	~ Ⅰ 欄:	未記入 可)
								評価	陌日	/5つ	の視点(1~	5 点で	評価)								一次評価					課長等)
i	1											1	/							. =:	価点	= ± / ±=	ェ스타	=∓ /≖		評価点合計

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	許価項目/5つの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
ТШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	24 点	5 点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	/25点	5 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
広報誌は、今後のデジタル化を見据え、ページ削減を実施。それに伴い、大幅なレイアウトの見直しを行い、より読みやすい広報誌になるよう工夫した。
特集は年6回。特集の内容は、子育てや体操教室など、市の事業や取組を分かりやすく紹介した。
特集のない月には、地域振興協議会にスポットをあて記事を掲載。裏表紙では、「大分の野菜畑 豊後大野」と題して、園芸重点10品目とそれを栽培する野菜農家の方々を紹介。その他、女性の活躍にスポットをあてた「ぶんごおおの生き活品さ女性」を掲載している。
これまで掲載されていた「豊後大野のキラリ人」は継続し、様々な分野で活躍する豊後大野市民を幅広く取り上げることができた。
今後の課題として、高齢化率の高い豊後大野市で広報誌の急速なデジタル化は困難であることから、そのタイミングを見計らう必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

広報誌は、今後のデジタル化を見据え、ページ削減を実施しており、大幅なレイアウトの見直しを行い、より読みやすい広報誌になるよう工夫した。 今後の課題として、高齢化率の高い豊後大野市で広報誌の急速なデジタル化は困難であることから、そのタイミングを見計らう必要がある。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

1,362

6,810 2, 724

1,362

事業番号   枝番   (令和 3 年度計画 ) 総合計画実施計画書 (兼進捗管理) (権式 1)   (令和 3 年度計画 ) 総合計画書 (兼進捗管理) (令和 3 年度決算 ) 事 務 事 業 評 価 調 書 課局名 総務課 係名 広報広聴係																																
事業         広報広聴事業         細事業         広報事業         実施計画事業         ホームページ管理事業         終了 なし 整合計画体系図Mm・(274)         なし 登計 一般 事態 かなくらしと安心を実感できるまち         数 第 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち         個別 計画 第 10 情報化の推進         期間 4度 ~ 4度         中和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 ホームページ保守管理委託料 1,362         1,362         中本 第 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2	事	業番号	<del>-</del>	枝番		( -	令和	3	年	度:	H D	画 )	. ;	総合	計画	実	拖計	画	書	兼	進	步管	理)									(様式1)
##		9002		2		( 4	令和	3	年	度》	夬 匀	車 )	. :	事	務	事	j	集	評	1	西	訓	書	課	局名		総務課		係名	広	報点	<b>広聴係</b>
会計 一般       政策 即 豊かなくらしと安心を実感できるまち       財職 年度 ~ 年度       本東目的・内容・実績       中華 中央	事	業	広	報広聴	事業							細	事業	戊	報事業	É							実施計画	事業	ホーム	~-;	グ管理事	業				なし
放		総	合計區	画体系図N	Vo.→	(	274 )	)																								
款 2 項 1       施 策 10 情報管理、情報化の推進 施策展開 ②広聴・広報活動を充実する       期間 年度 ~ 年度       財源内駅 (単位:千円) 国県支出金 地方債 その他 一般財源 下の情報を正確・迅速に市民に提供するため公式ホームページを運用する。       日本業日的と内容 度度 ○ 日本の代表 日	会計	一般		政	策	Ш	豊カ	なく	らし	と3	え心	を実	感て	きる	まち						個						令和	3 年度	主な歳	出名称	뇔	当初予算額
項 1       簡	款	2		施	策	10	情報	<b>设管理</b>	E、f	青報イ	との	推進								T	別	期間	1	年度 '	~	年度	ホーム	ページ係	守管理	委託料		1, 362
日   日   日   日   日   日   日   日   日   日	項	1	11	施策展	開	2),	広聴	• 広:	報活	動を	充美	ミする	5								画											
A 事業目的・内容・実績         事業の目的と内容       度       主な活動実績       事業費計       財源内訳       (単位:千円)         本事業の目的> 市の情報を正確・迅速に市民に提供するため公式ホームページを運用する。       A 課、各支所が市政情報を掲載       R3       R4       R3       R3       R3       R4       R3       R3       R4       R3       R3       R3       R4       R3       R3       R4       R3       R3       R3       R4       R3	目	6	11	後期基	基本	計画	7	1 F	>		過	疎計	画		総合	計戦略		] =	ロナ充	当	名	期間	]	年度 4	~	年度						
事業の目的と内容     年度     主な活動実績     事業費計     財源内訳 (単位:千円)       <事業の目的> 市の情報を正確・迅速に市民に提供するため公式ホームページを運用する。     各課、各支所が市政情報を掲載     R3     R4     R3     R4     R4     R3     R4     R3     R4     R5     R4     R5     R4     R5	決算	19	ַ ַ	事業日	的	· 内	窣•	実績															B 喜業ii	十画ま	1・決算	類等						
事業の目的と内容     度     主な活動美額     国県支出金     地方債     その他     一般財源       <事業の目的〉 市の情報を正確・迅速に市民に提供するため 公式ホームページを運用する。     R3     各課、各支所が市政情報を掲載     R3計画 1,362 当初予算 1,362     1,362 決算額 1,362     1,362 1,362       R4 計画 1,362 当初予算 1,362     1,362 2     1,362 3     1,362 3       ※算額 1,362 当初予算 1,362     1,362 3     1,362 3       ※算額 1,362     1,362 3     1,362 3       ※算額 1,362     1,362       ※算額 1,362     1,3											年	:																	財源内	訳	(単	位:千円)
市の情報を正確・迅速に市民に提供するため 公式ホームページを運用する。  R3  R4  R4  R5  R4  R5  R5  R5  R6  R7  R8  R8  R8  R8  R8  R8  R8  R8  R8			4	事業の自	目的	۲ع	內容				度					王なた	動美	領						事	¥ 業費計	国	皇世世皇	地方	債	その他		一般財源
R3 当初予算 1,362 1,362 決算額 1,362 決算額 1,362 1,362 2 3,362 3 3,36	古の	業の情報な	目的.	> 迅速	il. Ti	井戸	に提	仕っ	スた	か	Г	名	課、	各支	所が同	「政情	報を打	掲載				71	R 3 計画	Ī	1, 36	2						1, 362
R4 R4計画 1,362 1,362 1,362 当初予算 1,362 1,362 決算額 R5計画 1,362 1,362 1,362 注初予算 2 1,362 2	公式	ホーノ	,~-	ジを運	用一	ナる	0	<i>/</i> /	2/		R	3										Ш	当初予算	Ε	1, 36	2						1, 362
R4 当初予算 1,362 1,362 1,362 決算額 R5計画 1,362 1,362 当初予算 2 1,362 当初予算 2 1,362 3 1																						Ш	決算額	į	1, 362	2						1, 362
大 算 額   R5 計画 1,362   1,362   3,36											Г											71	R 4 計画	Ī	1, 362	2						1, 362
R5 R5 計画 1,362 1,362 当初予算 2 2 3 3 4 2 3 4 3 4 2 3 4 3 4 2 3 4 3 4											R4	1										Ш	当初予算	Ε	1, 362	2						1, 362
R5 当初予算																						H	決算額	į								
<令和3年度の取組内容(計画)>       決算額         各課・各支所による市政情報の掲載       R6計画 1,362       1,362											Г											71	R 5 計画	Ī	1, 36	2						1, 362
<令和3年度の取組内容(計画)>       決算額         各課・各支所による市政情報の掲載       R6計画 1,362       1,362											R!	5										H	当初予算	Ε								
各課・各支所による市政情報の掲載 R 6 計画 1,362 1,362	<4	∮和3	年度	の取組	内容	(計	画) )	>														- 11		_								
3,33											H	+										-11		_	1 36	9					+	1 362
											R/	,										ш		_	1, 50							1, 302

決 算 額 R 7 計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

1,362

6,810

2,724

1,362

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		1	目標値	268	268	268	268	268
С	1 ホームページ記事作成者	ホームページ記事作成者(令和3年6月末)	個別計画	268	人	実績値	283				
活		710			%	達成率	105.6				
動指標			□ 総合戦略			目標値					
標	2 =		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		,	目標値	430,000	430,000	430,000	430, 000	430,000
D	1 ホームページ閲覧者	ホームページ閲覧者数	□ 総合戦略	526, 097	人	実績値	979, 555				
成果			□ 個別計画		%	達成率	227. 8				
果			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
Е	評価対象外の理由 0評価対	· *象						<del>(</del> <del>)</del>	対象外事業に	<b>まF~I欄</b> ≉	₹記入 可)

R3 ~ R7 合 計

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 1 -> 2 -> 3 -> 4 -> 5 3 点 市民法兄(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか

	G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】	※評価・改	善策等を踏ま	えた課長職等	の所見
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	推移していない ⇒ 推移した	5 点	/25点	5 点	∕25点
		$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$				
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	推移していない ⇒ 推移した	5 点	23 点	5 点	23 点
ТШ	a 活動化構の法律此次(本)は計画におり扱うしていてい	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$			- 1	0.0
価	3. 争未計画とありに争未を進めることができたが	できなかった ⇒ できた	ыс		э <del>ы</del>	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$	5点		5点	
評	2. 学来の変元及は同いと応りが、(同じ成末拍係改定学来内での変元及)	優先度低い ⇒ 優先度高い	жс		л c	
=-	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$	5点		5点	
F	T. TECHNIC (TEXT) 17 OFFICE MINICE STATES	なっていない ⇒ なっている	0 M			

コロナウイルス関連の情報を迅速かつ的確に掲載。 サウナページの新設やふるさとに援寄附金ページの強化。 豊後大野市ブランド認証のスライド画像、プロモーション動画のスライド画像を新規に作成。 コロナ禍になり、ホームページへの訪問者数が急増。令和3年度は979,555人と前年度比で453,458人も 増えており、市民が公式ホームページを情報取得の重要なツールとして活用していることが伺えた。 今後も市民が見やすいホームページ運用に努めるが、現ホームページは平成27年度にリニューアルされ てから6年が経過しているため、検索機能など不便な点もある。 デジタル化が叫ばれる昨今、今後はホームページがデジタル自治体となれるよう、リニューアルを視野 に入れて検討していく必要がある。

R7

コロナ禍により、、ホームページへの訪問者数が急増した。市民が公式ホームページを情報取得の重要なツールとして活用していることが伺えた。 今後も市民が見やすいホームページ運用に努め、リニューアルされてから6年が経過しているため、リニューアルを視野に入れて検討していく必要がある。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ B. 見直しの上で継続-1 拡充

事	業番号	枝	番	(令和	3	年 度	計	画)	á	総合	計画	実施	計画	書(	兼:	進技	步管	理)
2	82001	1		(令和	3	年 度	決	算)	3	事	務	事	業	評	ſī	6	調	#
事	業	新エネ	ルギー	-導入促進	事業	4		細	事業	新	エネル	レギー導	入促進	事業			身	₹施計i
	総合	計画体系	系図No.→	( 400 )														
会計	一般	政	策	VI 豊か	な自	然をオ	ミ来に	残し	伝え	るま	ち				Ī	個	豊後	大野市
款	2	施	策	2 環境仍	2全6	の推進											期間	H29

	美施計画事業	新エネルキュ	导人仰	EÆ	争業		
是行	後大野市新エネョン	ベルギービ	令和	3	年度	主な歳出名和	<b>T</b>

課局名 まちづくり推進課

終了 なし

当初予算額

企画調整係

係名

款	2		施 策	2 環境保全の	推進							別計	期	間 H29 年	度 ~ R8	年度	託料	リングハブ施設		6, 296
項	1		施策展開	①環境保全対	策を推済	進する	5					画	豊ラ	後大野市分散な	型エネルギーイ ・マスタープラ	ンフン	新エネノ 礼金	レギービジョン	/推進委員謝	128
目	7		後期基本	計画 100 P	~	過疎	計画		総合戦略		コロナ充当	名			度 ~					
決算	20	_	事業目的	・内容・実績										B 喜業計	画額・決算額	等				
			事業の目的			年			± t::	活動実績	<b>.</b>			\ \	事業費計			財源内	<b></b> 村訳	(単位:千円)
	W			CNA		度							_		<b>学</b> 术良司	国県	支出金	地方債	その他	一般財源
抽力	業の目 或資源	など	舌用したエス	ネルギーの地産	地消				エナジー ハブ施設		『略会議の 『理委託	開催		R3計画	6, 528					6, 528
型シス定した	ステム <sup>に</sup> と「豊	を植後す	構築するた≀ 大野市新エン	め、平成28年度 ネルギービジョ ルギーインフラ	に策 ン	R3								当初予算	6, 528					6, 528
「豊イジェ	多大野!	市タマン	が 数型エネルスタープラ	ルギーインフラ ン」に基づきエ	プロ ネル									決算額	6, 461				13	6, 448
			進する。	, (-a c -	-1-2 •									R 4計画	6, 528					6, 528
						R4								当初予算	6, 428					6, 428
														決 算 額						
														R 5計画	6, 528					6, 528
						R5								当初予算						
			の取組内容		ā									決 算 額						
				んごおおのエナ 産地消等の推進										R 6計画	6, 528					6, 528
・ サ/ 施言	イクリン <b></b>	ング	ブハブ施設 単委託	関連事業		R6								当初予算						
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	~~~~													決 算 額						
														R 7 計画	6, 528					6, 528
						R7								当初予算						
														決 算 額						
													٦	計画額	32, 640					32, 640
								R3	~ R	7 合	計			当初予算	12, 956					12, 956
														決 算 額	6, 461				13	6, 448

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値					
С	1 —		個別計画			実績値					
活					%	達成率					
動指標			□ 総合戦略			目標値					
標	2 =		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		%	目標値	50	50	50	50	50
D	1 ぶんごおおのエナジー再エ ネ電源調達割合	再エネ電源調達割合 (年間平均)	□ 総合戦略	24	70	実績値	16				
成			□ 個別計画		%	達成率	32. 0				
成果指標			□ 総合計画		ı	目標値	2,500	3,000	3, 500	4,000	4,500
標	2 サイクリングハブ施設利用 者数	施設利用者数 (年間)	□ 総合戦略	1,936	八	実績値	2, 232	·			
			□ 個別計画		%	達成率	89. 3				

 E
 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I 欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	—— 点	12 点	—— 点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	/25点	3 点	∕25点

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

12, 315

4,670

1,962

事	業番号	. ;	技番	( -	令和	3	年	变言	十画	i)	総	合計	画実	₹施	計画	書	(兼	進	捗飠	育耳	里)								(様式1
	11001		1	( 4	和	3	年	度 涉	<b>美</b>	[ )	事	矜	} <b>=</b>	事	業	評	Ī	価	割	Ħ	書	課局	各量	きちつ	がくり推	進課 係	各 :	地域	振興係
事	業	公共	交通事業	<b></b>						細事	業	路線ノ	ベス運	行補	助事業	É				実	施計画	事業路	線バス	ス運行	補助事業	ž		終了年度	
	総合	計画	本系図No	→ (	180 )																								
会計	一般	I	女 策	Ш	豊か	なく	. Ġl	と多	き心を	と実感	でき	るまち	)					<b>/</b> ⊞	豊和形成	多大	野市地	域公共	交通網	罔	令和 3	年度 主な	歳出名称		当初予算
款	2	ħ	<b>策</b>	1 3	交通さ	ネッ	トワ	ーク	の整	備								別	期間	攻訂 間	「凹 H29 4	<b></b>	R3	年度	路線バス	ス運行補助金			54, 7
項	1	ħ	施策展開	3/	公共交	を通	の整	備を値	足進	する								計画				共交通							
目	7		後期基本	上計画	ī 52	2	Р	~	過過	東計画		糸	総合戦略	略		コロナョ	充当	名	期間			<b>≢度~</b>		年度					
決算	21	l																											
			<b>事業目的</b>			実種			年											梬	<u> 學業</u> 計	画額・		子		財源内	訳		単位:千円
		事	業の目的	りと内	]容				度				主な	に活動	力実績							事業	費計	国県	支出金:	地方債	その作	也	一般財源
	事業の目 の地域		交通網の	維持	確保 2	を目	的上	1.		路線	バス 敗幼	補助金 16系統	之 大!		田バン 壬四	ζ				R	3 計画	5	4, 705		5, 790	46, 400			2, 5
て、		スの	軍行継続						R3		三線				6千円					当	初予算	5	4, 705		5, 790	46, 400			2, 5
冊切	並を又	щу	ວ <sub>°</sub>																	決	算 額	5	1, 762		12,800	37,000			1, 9
																				R	4計画	5	5, 000		6,000	46, 550			2, 4
									R4											当	初予算	4	9, 463		7, 008	40, 300			2, 15
																				決	算 額								
																				R	5計画	5	5, 000		6,000	46, 550			2, 45
									R5											当	初予算								
<-	令和3年	∓度0	取組内	容(計	画)>	>														決	算 額								
	バス補 路線16		大野竹 45,527		ス															R	6計画	5	5, 000		6,000	46, 550			2, 45
	三線	オマ形じ	45, 527 9, 178=						R6											当	初予算								
																				決	算 額							$\dashv$	
										1										R	7計画	5.	5, 000		6,000	46, 550		$\dashv$	2, 45
									R7											当	初予質				, -	,			*

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	45, 527	45, 527	45, 527	45, 527	45, 527
С	1 臼三線を除く路線バスへの 補助	補助金額 (目標値 R3年度支出額)	□ 個別計画	41, 214	円	実績値	45,626				
活		7.50			%	達成率	100.2				
動指		Library A store	□ 総合戦略		千	目標値	9, 178	9, 179	9, 180	9, 181	9, 182
	2 臼三線への補助	補助金額 (目標値 R3年度支出額)	□ 個別計画	1, 775	円	実績値	6, 136				
					%	達成率	66. 9				
			総合計画		千	目標値	54, 705	54, 706	54, 707	54, 708	54, 709
D	1 路線バス補助金	利用促進事業等実施に伴う補助額の低減 (目標値 R3年度支出額)	□ 総合戦略	42, 989	円	実績値	51, 762				
成			□ 個別計画		%	達成率	94. 6				
成果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

274, 705

104, 168

51, 762

29,790

12, 798

12,800

232,600

86, 700

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価 (係長)		二次評価 (課長等)		
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点		
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点		
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点	

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 豊後大野市地域公共交通計画に基づき、地域公共交通網の維持確保に努めるとともに、モニタリング調査結果や事業者との調整を行いながら、運行内容の見直しを等を図る必要がある。 運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 まちづくり推進課 地域振興係 11002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 公共交通事業 細事業 地域公共交通活性化事業 実施計画事業 地域公共交通計画策定業務委託事業 なし 総合計画体系図No.→ 豊後大野市地域公共交通網 形成計画 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R3 地域公共交通計画策定業務委託料 款 策 年度 5,670 2 1 交通ネットワークの整備 豊後大野市地域公共交通計 項 1 施策展開 ⑤公共交通網の整備を推進する 画 画 名 7 コロナ充当 R4 <sup>年度</sup> ~ R8 目 後期基本計画 52 P 過疎計画 総合戦略 決算 21 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 豊後大野市における地域公共交通の利用実態 市地域公共交通計画(素案)策定 R 3 計画 5,670 2,500 3, 170 調査結果や市民アンケート調査結果等を通じて、地域の実態に即した交通体系の構築を目的に、令和8年度を計画目標年度とした豊後大 2,000 R3 当初予算 4,710 6,710 決 算 額 4, 705 4, 705 野市地域公共交通計画を策定する。 R 4 計画 2,000 4,000 2,000 R4 当初予算 4,000 2,000 2,000 決 算 額 R 5 計画 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 市地域交通計画の策定 R6計画 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 R7 当初予算 決 算 額

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
С			総合戦略		式	目標値	1				
	1 利用状況の整理	過去10年間の利用状況の整理	□ 個別計画	1	10	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略		世	目標値	1,000				
	2 住民アンケートの実施	地域内在住の1,000世帯を対象に実施		1,000	帯	実績値	1,000				
				미떽	%	達成率	100.0				
			総合計画		式	目標値	1				
D	1 市地域交通計画の策定	市地域交通計画の策定	□ 総合戦略		<b>  戦略</b>	14	実績値	1			
成			□ 個別計画		1 %	達成率	100.0				
成果指標			□ 総合計画		式	目標値		1			
	2 市地域公共交通利便増進計 画の策定	市地域公共交通利便増進計画の策定	□ 総合戦略	1	式	実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
$\overline{}$											

R3 ~ R7 合 計

計画額

当初予算

決 算 額

9,670

10,710

4,705

4,500

4,000

5, 170

6,710

4,705

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)			ī(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1~9点で計画	,	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \\ x_{0} \rightarrow \\ x_$	3 点		3 点	
評	平 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
ПШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	/25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 新型コロナ感染防止対策の影響で、対面での協議会を開催することができず、協議会委員 と対面での十分な議論ができなかったため、国の指導もあり令和3年度は素案の策定まで

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。

やこる んた。 今和 4 年度は、パブリックコメントをおこなったうえで、 7 月までに計画を策定する。 今後は計画に基づき事業を進める必要がある。

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-4 縮小

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 (令和 3 年度決算) 事 課局名 まちづくり推進課 地域振興係 11002 2 務 価 係名 事 業 細事業 地域公共交通活性化事業 実施計画事業 コミュニティバス運行管理委託事業 公共交通事業 なし 総合計画体系図No.→ 豊後大野市地域公共交通網 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 形成計画 別計 款 策 期間 H29 年度 ~ R3 年度 コミュニティバス運行管理委託料 78, 100 2 1 交通ネットワークの整備 豊後大野市地域公共交通計 項 1 施策展開 ④コミュニティバスの運行を推進する 画 画 名 7 ✓ 過疎計画 コロナ充当 R4 <sup>年度</sup> ~ R8 目 後期基本計画 52 P 総合戦略 決算 21 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 市にとって最適な交通ネットワークを構築 41路線 R 3 計画 78, 100 12,883 4, 321 3,096 コミュニティハハ 41 PRIPRY 大野犬飼線実証運行 (1月~3月) あいのりタクシー 5区域の運行 時刻表作成・配布 (R4年3月) 本市に か同に こって取過な グロイントソーク を情楽し、市民が利用しやすい生活交通手段の確保を図るため、コミュニティバスなどの地域公共交通の充実を図る。 R3 当初予算 12, 883 3,096 78, 100 57,800 4, 321 77, 683 決 算 額 17, 545 55, 500 3, 930 708 R 4 計画 65, 550 3, 450 85, 000 12,000 4,000 R4 当初予算 85,000 13, 799 67,600 3,601 決 算 額 R 5 計画 12,000 65, 550 4,000 3,450 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 コミュニティバス 41路線 あいのりタクシー 5区域の R6計画 85,000 12,000 65, 550 3, 450 4,000 5区域の運行 運行見直しに伴う時刻表作成・配布 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 85,000 12,000 65, 550 4,000 3,450 R7 当初予算 決 算 額 16, 896 計画額 418, 100 60,883 320,000 20, 321 当初予算 3,096 R3 ~ R7 合 計 163, 100 26,682 125, 400 7, 922 決 算 額 77,683 17,54555, 500 3,930 708

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
		── 総合戦略		地	目標値	3	3	3	3	3		
C	1 公共交通の充実	コミュニティバス・あいのりタクシー時 刻表等配布地区数	□ 個別計画	3	X	実績値	7					
活		7020 0 Ha III. 2 P. 2			%	達成率	233. 3					
動指			□ 総合戦略			目標値						
	2 _		□ 個別計画			実績値						
					%	達成率						
			<ul><li>✓ 総合計画</li><li> 総合戦略</li><li> 個別計画</li></ul>	✓ 総合計画		Į.	目標値	25, 090	26, 350	27,610	28, 870	30, 140
D	1 コミュニティバス・あいの りタクシーの利用者数	令和元年度利用者数 30,139人 最終(令和7年度)利用者数 30,140人		23, 831	人	実績値	22, 660					
成	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	32/14 (19/14/1 1/2/ 1/3/14 1/3/4 00) 110/1			%	達成率	90.3					
果岩			□ 総合計画			目標値						
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値						
			□ 個別計画		%	達成率						

E 評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価(係長)		二次評価	(課長等)	
	計画項目グランの税点(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

**G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等** コミュニティバス、あいのりタクシーを含めた公共交通利用者が年々減少していることから、令和4年度に策定した地域公共交通計画に基づき利用促進策に取組むとともに、運行内容の見直しを検討する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。

I 令和5年度の事業の方向性

▶ B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 まちづくり推進課 地域振興係 11002 3 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 細事業 地域公共交通活性化事業 実施計画事業 コミュニティバス関係業務委託事業 公共交通事業 なし 総合計画体系図No.→ 183 豊後大野市地域公共交通網 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 形成計画 別計 款 策 期間 H29 年度 ~ R3 コミュニティバス関係業務委託料 2 1 交通ネットワークの整備 年度 3,706 豊後大野市地域公共交通計 項 1 施策展開 ④コミュニティバスの運行を推進する 画 画 名 7 ~ コロナ充当 R4 <sup>年度</sup> ~ R8 目 後期基本計画 52 **P** 過疎計画 総合戦略 決算 21 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 [大野竹田バス(株)] ・学生割引定期「ジモテキ」販売開始 ・路線バス運行ルートの見直し 「高校・大学] ・バスラッピング等利用促進事業の実施 <事業の目的> 公共交通利用者の維持・増加を目的とした公 R 3 計画 3,706 206 共交通利用促進の取組を行う。 R3 当初予算 206 3,706 3,500 [市]アンケート調査や利用状況の調査等 決 算 額 3, 144 1,900 1, 244 R 4 計画 3, 500 200 3, 700 R4 当初予算 3,700 1,400 399 1,901 決 算 額 R 5 計画 3,700 3,500 200 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 「大野竹田バス(株)」 ・エリア定期券(仮称)」販売 ・路線パス運行ルートの見直し 「高校・大学」 ・体験乗車やバスラッピング等利用促進事業 R6計画 3,700 3,500 200 R6 当初予算 決 算 額 の実施

R 7計画

当初予算 決 算 額計 画 額

当初予算

決 算 額

3,700

18, 506

7,406

3, 144

3,500

17,500

4,900

1,900

200

1,006

2, 107

1,244

399

	評価指標名	指標値の説明 (算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			── 総合戦略		式	目標値	1	1	1	1	1
С	1 バス交通などの維持と利用 促進	行政、市民、事業者の協働による利用促 進事業を行う。	☑ 個別計画	1	10	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
	5 = a., b.,		✓ 総合計画		Į.	目標値	25, 090	26, 350	27,610	28, 870	30, 140
D	1 コミュニティバス・あいの 1 りタクシーの利用者数	令和元年度利用者数 30,139人 最終(令和7年度)利用者数 30,140人	□ 総合戦略	23, 831	人	実績値	22,660				
成		1,000	□ 個別計画		%	達成率	90.3				
成果指			□ 総合計画		,	目標値	26, 121	26, 121	26, 121	26, 121	26, 121
標	2 路線バス利用者	令和2年度輸送人員 26,121人	□ 総合戦略	26, 121	八	実績値	23, 964				
			□ 個別計画		%	達成率	91. 7				

R3 ~ R7 合 計

■ 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業は F~ I 欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	/25点	3 点	/25点

## G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

アンケート調査や利用状況の調査等

令和3年度は、高校生の通学時における公共交通の利用を促す取組として、三重総合高校と大分大学と連携し取組を行った。大野竹田バス(株)には学生割引定期の導入やバスルートの変更の提案を行い制度導入につながった。また、三重総合高校がバスの利用促進に取組んでいることをPRするため、ラッピングバスの図案作成に取組み、8月から市内各所を運行することになった。今後は、導入した割引定期の利用を促す取組をおこなう必要がある。また、コロナで自粛していた公共交通の利用実態と利用促進を目的とした集落調査を再開し、市民の公共交通利用促進策の検討に大学等と連携して取組む必要がある。

## H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。

## I 令和5年度の事業の方向性

⇨

11002   4   (令和 3 年度計画)   総合計画実施計画書(兼進抄管理)   様式1)   11002   4   (令和 3 年度計画)   総合計画実施計画書(兼建抄管理)   様式1)   本 務 事 業 評 価 調 書   課品 まらづくり推進課 係名 地域接興係																																							
# 章 公共交通事業 地域公共交通活性化事業 地域公共交通活性化事業 実施計画事業 公共交通運行モニタリング等業務委託 祭7 女足		事業者	番号	枝番	į	( 4	令和	3	年	度	計	- 画	)	1	総合	合言	十圓	可実	€施	計	画	書	(	兼	進:	捗	管	理)											(様式1)
接着		1100	)2	4		(4	和	3	年	度	決	算	)	7	事	7	务	Ą	事	j	集	Ē	Ŧ	1	Ш	Ī		書	Ľ		٠	_	,					域扱	長興係
会計 一般 数 2 2 版 集 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 施 策 1 交通ネットワークの整備 施 策 1 交通ネットワークの整備 接地主フ (	luli	- 業		公共交	通事業	*					_		細	事業	J	也域	公卦	<b>共交</b> :	通行	5性化	化事	業					実	<b>薬施計画</b>	事業	公共交 事業	通道	<b>重行</b> 日	Eニタ	リング	等業務	务委託			なし
版				画体系		_																		_		ıttı	///	l me -bald	t. 1-15	v 11 -4-2	2 Am	<b>—</b> —							
複   1	会計	H —	般	政	策	Ш	豊か	なく	ら	しと	:安	心を	実	感で	きる	5ま`	ち									形			也域	公共交迫	自網	1 1							当初予算額
項 1   施策展開 ⑤公共交通網の整備を推進する   一	款	2	2	施	策	1 3	交通さ	ネッ	トワ	7-	クロ	り整付	備																						ニニタ	リンク	等来机	ř.	5,00
1	項	1		施策	展開	54	公共交	を通過	網の	)整(	備を	·推ì	佳す	る											画			大野市地	也域	公共交ì	<b>重計</b>								
本業自的・内容・実権	目	7	•	後	胡基本	計画	i 52	2 <b>F</b>	>	V	]_	過政	村	画			総台	) 戦	略		:	コロナ	充ӭ	当	名			R4 4	年度	~ R8	年	度							
事業の目的と内容     佐     主な活動実績     事業費計     財源内訳 (単位:千円)       本市で運行されているコミュニティバス・あいのりタクシー及び民間路線バスを対象として、利用制向間画金、利用者滴足度を把握すると同時に、運行にあたっての課題把握、コミニティバスへの利用値に変の検討を行い、豊後大野市全体の交通ネットワークとして更なる利便住した、利用者増加を目指した検証(モニタリング)を行う。     本利 書る適と度調査・あいのりタクシーの課題と改善策の検討・報告書     R4     R3計画 5,000	決算	2		_ mir =0		. do:	d	-																				***	⊥கா	45、沙仙	#65 <b>0</b> 6								
本書の目的  本市で連行されているコミュニティバス・あいのりタクシー及び民間路線バスを対象として、利用制向調査、利用者満足度調査・あいのりタクシーの課題と改善策の検討・報告書かりまとめ   本ののののでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して								天模			Т	丘						. ,									r	<u> </u>							財源ロ	<b>为訳</b>		(単	位:千円)
本市で運行されているコミュニティバス・あいのカタクシー及び民間路線バスを対象として、利用動向調査、利用者滴足度調査・あいのカタクシーの課題と改善策の検討・報告書 5,000 4,700 300 300 300 300 300 300 300 300 300				事業(	の目的	]と内	容					度						主な	:沽!	動実	績								1	事業費計	亘	1県3	支出金	地方	債	7	の他		一般財源
いのりタクシー及び民間路線バスを対象として利用動向調査、利用者満足度を把握すると同時に、運行にあたっての課題把握、コニティバスへの利用促進策の検討を行い、要後大野市全体の交通ネットワークとして更なる利便性向上、利用者増加を目指した検証(モニタリング)を行う。       83       ・利用者適足度調査・あいのりタクシーの課題と改善策の検討・表にのりタクシーの課題と改善策の検討・報告書       第4       2,000       24         保4       R4       <					いろコ	3 -1	ニティ	ィバ	ス	<ul><li>あ</li></ul>	Т				ユニ	ニテ	イノ	ベス	及て	バ路線	線ノ	バスの	の利	用事	协向		F	3計画	ī	5, 00	00			4	4, 700				300
と同時に、運行にあたっての課題把握、コミニティバスへの利用促進策の検討を行い、豊後大野市全体の交通ネットワークとして更なる利便性向上、利用者増加を目指した検証(モニタリング)を行う。     R4       R4     R4計画 5,000 4,700 30 当初予算 4,000 3,800 200 決算 額	110	つりら	クシ	一及で	ド民間!	路線	バスる	を対	象	とし		R3		利用						о не	1 7/	he fe	tr as	TV =	. 1		놸	当初予算		5, 00	00			4	4, 700				300
豊後大野市全体の交通ネットワープをして更なる利便性向上、利用者増加を目指した検証(モニタリング)を行う。       R4       R4計画 5,000 4,700 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 3	ا ک	引時に	- 、 運	行にあ	たつ	ての	課題打	把握	. =	コミ	١					リタ	クン	/—(	ひび	未起	20	人普列	板の	快声	1		決	と 算 額	į	2, 24	4				2,000				24
R4	豊後	长大里	市全	体のな	通ネ	ット	ワー	クと	じっ	て更																7	F	R 4計画	i	5, 00	00				4, 700				30
* クキ和3年度の取組内容(計画) >       R5       R5計画 5,000 4,700 300 300 300 300 300 300 300 300 300							を目打	指し	たれ	<b>负証</b>	۱	R4															놸	当初予算		4, 00	00			:	3, 800				200
R5 当初予算											١																決	と 算 額	į										
<0令和3年度の取組内容(計画)>       決算額         ・コミュニティバス及び路線バスの利用動向調査・利用者滴足度調査・あいのりタクシーの課題と改善策の検討・報告書取りまとめ       R6         R7       裏方のののは内容(計画)>         R6       第額         R7       裏方のののは内容(計画)>         R6       第額         R7計画 5,000 4,700 300 300 300 300 300 300 300 300 300											ı															1	F	35計画	ī	5, 00	00			4	4, 700				300
・コミュニティバス及び路線バスの利用動向調査・利用者滴足度調査・シャックシーの課題と改善策の検討・報告書取りまとめ       R6         R6       R7       R6計画 5,000 4,700 300 300 300 300 300 300 300 300 300											١	R5															놸	4初予算											
調査 ・利用者滴足度調査 ・あいのりタクシーの課題と改善策の検討 ・報告書取りまとめ  R6  R7  R6	<	令和	3年	度の取	組内容	字(計	画) >	>			١																決	と 算 額	į										
調査			ニテ	イバス	及び	路線	バスの	の利	用重	协向	ŀ															┪	F	₹6計画	ī	5, 00	00			4	4, 700				300
- あいのりタクシーの課題と改善策の検討 - 報告書取りまとめ  R7  R7  R7  R7	· 禾	引用者									١	R6															꼬	4初予算		-,-					-,				
R7計画 5,000 4,700 300 当初予算 決 算 額						題とは	<b>汝善</b> 第	策の	検診	寸	١																▙		+										
R7 当初予算											ŀ															-	<u> </u>		`	5.00	10				1 700	<u> </u>		-	300
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·												R7															▙		1	5,00	,,,			-	1, 100	1			300
												11.7															▙		+		+								
計 画 額 25,000 23,500 1,500											ŀ															-	H		_	05.00	10			0.	. 500			+	1 50
P3 ~ P7 会 計																D2			<b>-</b> 7	_	-	т.					_		`-		-								

C 1 5						単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
l c l1 3	A	バス停、路線別の利用状況の把握とコミ	総	合戦略		式	目標値	1	1	1	1	1
1 - 1,	利用期间调宜、利用有個定	ュニティバス車内における利用者満足度調査の実施	✓ 個	別計画	1	17	実績値	1				
活		調査の美胞				%	達成率	100.0				
動指			□ 総:	合戦略			目標値					
標 2	-			別計画			実績値					
						%	達成率					
			総総	合計画		判	目標値	1	1	1	1	1
D 1	事業評価の評価結果	地域公共交通確保維持改善事業における 地方運輸局等における二次評価結果	総	合戦略	2	定	実績値	1				
成		FEDOLE INVOICE TO THE PROPERTY OF THE PROPERTY	✔ 個	別計画		%	達成率	100.0				
成 果 指 標 2			□ 総1	合計画			目標値					
標 2	=		□ 総1	合戦略			実績値					
			□ 個5	別計画		%	達成率					

決算額

2, 244

2,000

 E
 評価対象外の理由
 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	/25点	3 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
地域の特性や実情を把握し、最適な公共交通ネットワークを確保・維持していくためにモニタリング調査を継続していくことが必要である。	運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。

I 令和 5 年度の事業の方向性

事	業番号	枝番	(	令	和 3	年	度言	一画	) #	総合計	画実加	色計画	書	(兼)	捷抄	管3	理)						1		(様式1)
1	1002	5	(	令和	Д 3	年	度涉	算	) ]	事 務	事	業	評	佃	i i	調	書	課局名	まちつ	ざくり 扌	推進訊	係名	i 地	域技	<b>辰則係</b>
事	業 2	公共交通事	事業					ŧ	細事業	地域公	〉共交通	舌性化事	業			実	施計画	事業 大分	空港利用	促進期	成会負	担金事		終了 年度	なし
<b>∆</b> =1		十画体系図N				/ h 1	1.7	· P. +.	中心云	きるまち				<b>—</b> [						Δín	2 / = 0	± ++,4	e ili di Th	$\overline{+}$	Vhマダダ
会計款	<u>一般</u> 2			Ⅲ 豆 1 交i			_			さるより	•				個別期	問		年度 ~	年度		-	医 主な菌	会負担金	+	当初予算額 291
項	1	施策展	-											<del>-  </del>	計一	i i Pi		+1X	+/X	スガエ	regiji.	[JCJE79]/X	五州二亚	+	291
<u> </u>	7	後期基				_			計画		合戦略	П	コロナ充	<b>—</b> † I	名期	間		年度 ~	年度					+	
決算	21																							+	
		4 事業目	的·	内容	・実績	<u>t                                     </u>		年								B	事業計	画額・決	<u>車額等</u>	<u> </u>		財源内	訳	()	単位:千円)
		事業の目	的と	内容	!			度			主な活	動実績						事業費	国県	支出金:	地	方債	その他		一般財源
大分		際化及び		路線	の充実	ミを推	進		負担金	の支出						R	3計画	2	91					floor	291
する	ことを目	的とする	0					R3								$\vdash$	i初予算	-	91					$\downarrow$	291
															_		算 額	<u> </u>	27					$\downarrow$	227
																-	4計画		00					$\downarrow$	300
								R4								$\vdash$	初予算		75					+	275
															_	H	:算 額 :5計画	1	100					+	200
								R5								$\vdash$	初予算		800					+	300
<4	↑和3年月	度の取組内	内容	(計画)	) >			110								$\vdash$	: 算額	<b>-</b>						+	
		加及び負													$\dashv$	$\vdash$	6計画	1	300					+	300
								R6								当	初予算							$\top$	
																決	: 算額	i						1	-
																R	7計画	3	00					T	300
								R7								当	初予算								
																決	: 算額	i							
																計	- 画 額	1, 4	91					$\downarrow$	1, 491
										R3	~ R7	合 i	†			$\vdash$	初予算	-	666					4	566
																決	: 算額	. 2	27					丄	227
		評価指標	票名				指標	震値の	説明(乳	算出方法:	等)	名	計画指	標	 R 2 実	:績値	1 単位	達成度	R3		R4	R5	R6		R7
												İ		戦略				目標値		1	1		1	1	1
С	1 期成会	会への参加	ı			期成	会への	り出席	5回数					引計画		1	回 -	実績値							
活動													11277	70112			%	達成率							
指	n												総合	戦略				目標値							
標	2 —												個別	計画			%	実績値						—	
												$\top$	総合	計画			千	目標値	30	00	300	3	00	300	300
D	1 負担金	金の支出				期成	会から	の負	担金請	求額			総合	戦略		227		実績値	2:						
成													個別	計画			%	達成率	75.	7					
果指													総合	計画				目標値							
標	2 —													戦略				実績値							
													個別	計画			%	達成率						_	
Е	評価対	象外の理目	∄	0 評	価対	泉															(5	対象外事:	業は <b>F~</b> Ⅰ	欄月	未記入 可)
							評	西項目	/5つ	の視点(	1~5点	で評価	)							- 次評価 「価点		長) 点合計	二次評(評価点	_	課長等)評価点合計
F	1. 市民	満足(市)	民ア	ンケー	- <b>ト</b> )	の向.	上が期	待で	きる事業	美内容とな	よってい	るか						→ 4 → 5 なっている		3 点			3 #	ā	
評	2. 事業	の優先度(	は高	いと思	きうか	(同)	じ成果	指標	設定事業	美内での(	憂先度)			1 優	→ <i>2</i> 先度低	2 - い	→ 3 <b>-</b>	→ 4 → 5 優先度高い	7	3 点			3 ♬	ā	
価	3. 事業	計画どお	りに	事業を	進め	るこ	とがで	きた	か					でき	なかっ	った	⇒	→ 4 → 5 できた		3 点			3 点	ä	
ІШ	4 活動	指標の達用	 北北	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 (+=+i	<u>-</u> 画 ど :	おり推	移し	ているか	n\		-		1	→ 2	2 -	→ 3 -	4 → §	5	3 点	1	15 -	3 #	<u>.</u>	15 ⊨

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 新型コロナ感染防止対策の影響で、国際線の運体や県協議会の総会が書面議決となるなど、利用促進に係る取組が進まない状況であった。今後は、感染状況の推移や宇宙港の取組状況の推移を注視する必要がある。 大分空港が「宇宙港」として人工衛星基地の拠点となったことにより、利用者 空港の利便性も図りながら関連する新たな産業の創出に努める。

令和5年度の事業の方向性

5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

 $\Rightarrow$ 

推移していない ⇒

 $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない  $\Rightarrow$  推移した

A. 現状のまま継続

推移した

3点

3点

15 点

/25点

3点

15 点

/25点

		11			_	•				An A								t dela	<b></b>										(様式 1	. \
<u> </u>	業番号	枝番		(令和												• • •			_		-m r	I	2- 2-	S & In In	//. \			101.1-15		_
1	1002	6		(令和	3	年月	艾万	火導	. )	争	矜	<b>子</b>	j.	業		抨	価	Ē	調	書	課局	<b>高名</b>	まちく	づく り扌	E 進 形	係	名	地域	振興係	_
事	業	、共交通	事業						細事業	地	地域な	公共交i	通活'	性化	事業				実	施計画	事業	バス停	コンラ	スト事	業			終了年度		
<b>∧</b> =1				( 183		ו הי	1. //	+ N +	the state of	: +. 7	++						7 -	典	<b>後</b> 士	で野市地	hlid	北方涌	紹	A 10	0 5	<del>*</del> **	# 11.77	14	W +n = #	
会計	一般	政	.,.	Ⅲ 豊次						. s a	まり							固 形	成計	画				-		度 主な	威山石	<b>个小</b>	当初予算	-
款項	2	施佐笠		1 交通 ④コミ						生士っ	,						- 1	IT -	间	H29	年度 ~	R3	年度	記念品	117					114
	7	施策原								世9る		~ ~ ## m	<i>p</i>		70-	L <del>//</del> 1/	-i 12	画 名 # #	88		fr.de		在在							_
月 決算	21	仮别	本本	計画	04 H		<b>V</b>	迴以	東計画		] #	総合戦略	合	Ш	лн,	ナ充当	JL	期	[日]	-	年度 ~		年度							_
八升		事業	目的・	内容・	実績														В	事業計	画額	・決算	額等							_
		事業の	目的	と内容				年度				主な	活動	力実績	ŧ				`		事	業費計	軍順	支出金	+++	財源[		の他	単位:千円 一般財法	
	業の目的				h m nh				バス	亨コン	ケフ	ストの	実施	・表	彰				R	3計画	ī	11-	-	ХШЖ	-	// 反		07 IE		114
バス	利用者の停を市地	域公共	交通活	5性化協	議会	におい	77	R3		足度の 間利用	)高↓  者σ	バス( り多い/	亭 バス <sup>,</sup>	1箇 停	所 4停留	所			⊢	初予算	-	114	1							114
で表	彰するな を進める	ど、集i 。	洛里位	立でのバ	ベス停	の維持	符												決	算額	Į	104	1						1	104
																			R	4計画	Ī									_
								R4											当	初予算	Ε									
																			決	算 額	Į									
																			R	5計画	Ī									
								R5											当	初予算	[									
	和3年			(計画)	>														決	算額	Į									
	専コンテ 和3年度			:し、4	年度	以降原	堯												R	6計画	Ī									
止。								R6											当	初予算	Ε									
																			決	算額	Į									
																			⊢	7計画	-									_
								R7											$\vdash$	初予算	-									
																			⊢	算額	_									_
										_	- 0	_							-	画額		114	-							114
										F	₹3	~ F	₹ /	台	計				-	初予算		114								114
																			决	算額	ŧ	104	ŧ		<u> </u>				1	104
		評価指	旨標名				指標	票値の	)説明(	算出	方法	等)		1	各計画	11指標	F	₹2実	績値	単位	達成	度	R3	1	R4	R5		R6	R7	_
Ĭ														ĪΓ		総合戦	略			バス	目標	値		3						

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		バス	目標値	3				
С	1 表彰するバス停留所数	乗継ぎ拠点の環境改善の取組み数	☑ 個別計画	3	停	実績値	2				
活					%	達成率	66.7				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		口	目標値	1				
D	1 バス停コンテストの開催	施策実施状況	□ 総合戦略	1	凹	実績値	1				
成			✔ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランが流(しょうは一直)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 1	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 指	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市民にコミュニティバスへの愛着や利用を促す取組として事業効果はあったものの、前計画(市地域公共交通網形成計画)の終了に伴い、バス停コンテスト事業は終了する。	市民の意識向上につながり、事業の効果もあったため終了とする。

I 令和 5 年度の事業の方向性

C.終了

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 まちづくり推進課 7 (令和 3 年度決算) 事 地域振興係 11002 務 価 係名 事 業 公共交通事業 細事業 地域公共交通活性化事業 実施計画事業コミバス車両購入事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 183 ) 豊後大野市地域公共交通網 形成計画 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R3 款 策 1 交通ネットワークの整備 手数料 83 2 項 施策展開 ④コミュニティバスの運行を推進する 1 豊後大野市公共交通計画 自動車損害保険料 14 名 7 後期基本計画 52 P □ 過疎計画 コロナ充当 期間 R4 <sup>年度</sup> ~ R8 目 総合戦略 4,834 決算 21 自動車重量税 17 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額 決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 老朽化したコミュニティバス車両を更新し、 運行の継続を図る。 車両更新 1 台 ワゴンタイプ(14人乗)ディーゼル車 R 3計画 4, 948 4,400 548 R3 4, 400 当初予算 669 5,069 決 算 額 4,842 4, 400 442 R 4 計画 R4 当初予算 決 算 額 R 5 計画 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決算額 車両更新 1台 ワゴンタイプ(14人乗)ディーゼル車 R6計画 5, 100 2,500 2,600 当初予算 R6 決 算 額 R7計画 R7 当初予算 決 算 額 計画額 10,048 6,900 3, 148 当初予算 4, 400 R3 ~ R7 合 計 669 5,069 決 算 額 4,842 4,400 442 指標値の説明 (算出方法等) 評価指標名 各計画指標 R3 R4 R5 R7 R 2 実績値 単位 達成度 R6 両の更新について、バスタイプは100万キロ、マクロバスタイプは60万キロ、ワゴンタイプは40 キロ (ガソリン車は30万キロ)を目安に検討す 、不具合がない場合は、以降5万キロ経過年に再 診する。車両の更新を定期的に行うことで、運 の締結を2007 目標値 □ 総合戦略 式 コミュニティバスの運行継 C 実績値 続 □ 個別計画 % 達成率 100.0 活 動 目標値 □ 総合戦略 実績値 標 □ 個別計画 % 達成率 目標値 総合計画 D 総合戦略 実績値 個別計画 % 達成率 ᄨ 目標値 総合計画 指標 実績値 総合戦略 達成率 個別計画 % 評価対象外の理由 Ε 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1~9点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & $	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
ПШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	12 点	3 点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—— 点	∕25点	点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
車両点検状況を注視しつつ、車両の長寿命化を図るとともに、更新が必要な場合は、各種 補助制度等を活用し車両の小型化や環境に配慮した車両への更新を検討する必要がある。	公共交通体系の整備の検討により、適正な車両の確保をする。また、車両の小型化、環境対応型の車両の検討を図る。

令和 5 年度の事業の方向性

															_														/ <del>  * _ t</del>
4	業番号	枝番	(	令和	3	年』	变言	上画	i )	総	合記	ĦŪ	画実)	施計i	画書	兼)	進	步管	理	)									(様式1)
	11002	8	(	令和	3	年月	度 涉	く算	. )	事		務	事	業	ţ	評	価	訓		書	課局	名	まちつ	づくり推	推課	条4	3	地域	振興係
事		公共交通							細事	業	地垣	太公:	共交通	活性化	事業				実施	計画等	事業	タクシ	ーチク	ット発	行支援	爰事業		終了 年度	
会計		計画体系図		180 ) I 豊か	t> 1	È I	レカ	:1\.3	宇宙	北でコ	・スす	· t-												会π	? 在日	隻 主な前	争山夕新	;	当初予算額
款	2			1 豆//・ 交通さ						54 C C	: 34	ره.					個別	期間	1	4	度 ~		年度	タクシ	ーチケ	ット発行			3700 F 60
項	1	施策展		父典な													計画					共交通		補助金					3, 900
	7		基本計		2 F	-1			東計画	ŧī	П	<b>经</b> :	合戦略	<b>V</b>	70	ナ充当	名	画期間	d F	<b>4</b> 年	度 ~	R8	年度						
決算	21	12.791	26/T III	<b>=</b> 02		Ш		N-2 M	<b>Т</b> ПП	=		INC)	LI +2,#II			7 76 -	<u> </u>	MILE	, K	4 '		К							
		A 事業目	的・	内容・5	支積		- 1		1									<b>-</b> -	В	指集計	画額	・決算	額等			04.1E.4			*
		事業の	目的と	内容				年度					主な流	動実網	責						事	<b>養計</b>	国埠	支出金	抽	財源内 方債	その		単位:千円) 一般財源
-tr-10	事業の目的	的>	£ >4	- L » =	37. ABL	2 777	) <u>1</u>		0					ーチケ	・ット			┪┟	R 3	計画		5, 90	_	5, 000	-65	کور د ر	( 0)	ت,	900
てい	るタクシ	7イルス原 ノー業界の	の事業	継続を	支援	する	た	R3		( ]	プレミ	・ア	000円 2,00	0円)				╂		予算		5, 90	_	5, 000				1	900
タク	シーの利	予市商工会 引用促進0	りためし	こ行う、	プ	レミ	ア		0:	2, 000	ヤッ	ト販	克売					╌		算額		4, 21	_	4, 200					11
ム付につ	タクシー いて、補	-チケット    助金を3	トの発行 を付する	行等に頭 る。	要す	る経	費											╢		計画		5, 90		4,000					1, 900
								R4										╂	当初	予算		5, 90	_	4,000					1, 900
																		Ш	決り	章 額									
																		11	R 5	計画									
								R5										Ш	当初	予算									
<	令和3年	度の取組	内容(	計画) >														Ш	決り	章 額									
Οブ		イタクシ 3,000円		ケット														71	R 6	計画									
$\bigcirc$ 2	(プレミ 000セッ	ア 2,0	00円)					R6										Ш	当初	予算									
O2,	000 6 9	ト州スクロ																Ш	決り	算額									
																		11	R 7	計画									
								R7										Ш	当初	予算									
																		Ш	決り	算額									
																		71	計画	画 額		11, 80	0	9,000					2, 800
											R3	} ^	~ R	7 合	計			П	当初	予算		11,80	0	9,000					2, 800
																		][	決り	算額		4, 21	1	4, 200					11
$\overline{}$		評価指	標名		Т		指標	<b>順値</b> の	説明	月(第	[出方]	法等	;)		各計	画指標	R 2	2 実絹	貞値 貞	単位	達成	度	R3	F	R4	R5		R6	R7
F					t									1	7	総合戦闘	各		T.	0/	目標		1	00	100		İ		
С	1 チケッ	, ト完売			5	<sub>アレミ</sub>	アノ	<b>ムタ</b> :	クシ	ーチ	ケット	への	完売			個別計画		1	00	%	実績	値	1	00					
活																间的背	믹			%	達成	率	100	. 0					
動					T																日煙	l <del>.t.</del>							1

$\overline{}$													
			総合	戦略	%	目標値	100	1	00				
С	1 チケット完売	プレミアムタクシーチケットの完売		計画 100	/0	実績値	100						
活				n e	%	達成率	100.0						
動指			□ 総合	戦略		目標値							
	2 —		個別	計画		実績値							
				*1-0	%	達成率							
			□ 総合	計画		目標値							
D	1 —		□ 総合	戦略		実績値							
成				計画	%	達成率							
果指			□ 総合	計画		目標値							
標	2 —		□ 総合	戦略		実績値							
			□ 個別	計画	%	達成率							
Ε	評価対象外の理由 0 評価対	<b> </b> 象							(対象外事	業は <b>F~I</b> 棉	未記入 可)		
	·						-2	欠評価(	係長)	二次評価	(課長等)		
		評価項目/5つの視点(1~5点で		評価	点 評	P価点合計	評価点	評価点合計					
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっている。	か	1 → 2 - なっていない	5 გ	3 点		3 点					
評	2. 事業の優先度は高いと思うか	い (同じ成果指標設定事業内での優先度)		1 → 2 - 優先度低い	→ 3 →	→ 4 → ! 優先度高し		3 点		3 点			
_	3. 事業計画どおりに事業を進め	りることができたか		1 → 2 − できなかった		→ 4 → ! できた		3 点		3 点			
価	4. 活動指標の達成状況(率)は言	†画どおり推移しているか		1 → 2 - 推移していない		→ 4 → ! 推移した		3 点	12点	3 点	12 点		
	5. 成果指標の達成状況(率)は記	†画どおり推移しているか		1 → 2 - 推移していない	· 3		5	点	/25点	点	/25点		
	G 【担当係長の意見・	課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	<u> </u>	1		,_,_		面・改善:	策等を踏ま	えた課長職等	の所見		
G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和3年度は臨時交付金を活用し、利用者が減少しているタクシー需要の喚起を促す取組をおこなった。令和4年度も引続き交付金を活用した取組をおこなうが、事業にあたっては、運行会社と協力し、利用者ニーズや利用実態を把握し、今後の公共交通施策につなげる必要がある。													
	I 令和 5 ±	F 度 の 事 業 の 方 向 性		<b>⇒</b> B. 見直	i しの	)上で継続	売-1 拡	充					
	-42-												

事業番号     枝番     (令和3年度)       11002     9       (令和3年度)		<ul><li>総合計画実</li><li>事務 事</li></ul>		兼進: 価	_	管理) 周 書	課局名	ミちつ	がくり推済	進課 係	名	地域振	( <b>様式 1</b> ) 長興係
事業 公共交通事業	Á	田事業 地域公共交通	通活性化事業			実施計画	業 路線バ	ス広報	業務委託	事業		終了 年度	R3
総合計画体系図No.→ ( 180 ) <b>  一般                                   </b>	安心を	実感できるまち		個					令和 3	年度 主な	歳出名称	: \(\frac{1}{2}\)	当初予算額
2 施 策 1 交通ネットワーク	の整備	前		別	期	間 年	度 ~	年度	路線バス	広報業務委	託料		3,00
1 施策展開 ③公共交通の整備を	促進す	- る		計画									
7 後期基本計画 52 P 🗌	過疎	計画	トロン・カード とこと とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり	当	期	間 年	度 ~	年度					
章 21 A 事業目的・内容・実績						R 車章計	画額・決算額	19年					
事業の目的と内容	年	÷+:	活動実績			<u> </u>	事業費計			財源「	<b>为訳</b>	(単	单位:千円)
	度						尹未貝司	国県	支出金	地方債	その	他	一般財源
(事業の目的> 市内広域にわたり運行する路線バスにラッ		・ラッピングフィ/ ・ラッピングを施し	レムの作成および <sub>レ</sub> たバスの運行	りまけけ	١	R3計画	3,000	1	2,800				200
ングを施し、公共交通利用促進やアフターロナを見据えた市内各所への関心を高める	R3				١	当初予算	3,000		2,800				200
ともに、魅力の波及を図る。					4	決算額	2, 992		2,800				19
					١	R 4 計画							
	R4				١	当初予算							
					4	決算額							
	R5				١	R 5計画							
(令和3年度の取組内容(計画)>	κo				١	当初予算 決 算 額							
・ラッピングフィルムの作成および貼付け					┨	R 6計画							
・ラッピングを施したバスの運行	R6				١	当初予算							
					١	決 算 額							
					┪	R 7計画							
	R7				١	当初予算							
					١	決 算 額							
					٦	計画額	3, 000		2,800				20
		R3 ~ F	27 合 計		١	当初予算	3,000		2,800				200
						決算額	2, 992		2,800				192

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		式	目標値	1				
С	1 ラッピングバスの運行	ラッピングバス車両数 4台 運行日数 143日(7ヶ月)	□ 個別計画	1	10	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値					
D	1 -		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/500代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	12 点	3点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	— 点	/25点	点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年度は臨時交付金を活用し、事業者支援とともに市の施策をPRする事業に取組んだ。特に「サウナ宣言」をラッピングした車両については、多くのメディアに取り上げられるなど、十分な効果が発揮できた。今後も、事業者との連携を図りつつ、必要に応じて対応していきたい。	進に努める。

I 令和5年度の事業の方向性

事業番号	枝番	(	(令	和 3	年	度	計	画	)	総	合	計画	可実	施	計画	書	()	進	捗'	管理	)									(様式	1)
12001	1	1	令	和3	3 年	度	決	算	)	事		務	事	Į.	業	割	F	価	Ē	周	書	課局	易名 る	きちつ	づく り	推進課	係	名	地域	<b>【振興係</b>	
事業	矢川ダム	関連リ	也域	長興事	業			á	細事詞	<b>業</b>	矢川	ダ.	ム関連	山地	或振り	興事業	500			実施	計画	事業	矢川ダ	ム関連	〔地域	<b>辰興事業</b>			終 <sup>-</sup> 年月		4
総合 会計 一般	計画体系図		•	7 ) とかな	2 E	1.1	- 1/mi	`\を	'Tank	でき	・スキ	: <b>5</b>						ī	/10	111 25 7	- med	: Life I. P	hana sta	diá	会和	3 年度	± #	`能出夕	. 称	当初予算	首女
款 2	施			ガネ、			_		_	( 0	. D 4	. 9						個別		ダム 間   H1			振興計	年度		ダム対策を				יו מוב	20
項 1	施策原			辿不∶ 道を割			9 0)	arey	III									計画	·	PJ HJ	14 -	F/X -		T/X	費用:		X 1 1 2	X J J   MI	VII.		1
目 7		基本言	<u> </u>			Г	7 :	過硅	計画		П	総合	<b>今戦</b> 略	ķ [	$\overline{}$	コロナ	充当	名		38	ź	<b>⋷度 ~</b>		年度		ダム関連は	也城机	風基金	植立金		1
<b>決算</b> 22	12,771		-					~~				1101	1 120	1 '				J <u>L</u>	////							正搬費					_
	A 事業	<u>目的・</u>	内容	・実	實		_	_											_	B	集	画額	・決算	<b>須等</b>	22111		8十%百	内訳		<u> </u> (単位:千	ш,
	事業の	目的と	∶内ឱ	\$			j	年 度					主な	活動	実績							事	業費計	国県	支出金		90 ///5 5債		の他	一般財	
<b>&lt;事業の目</b> 矢川ダム関連	的> [[]][[]][][][][][][][][][][][][][][][]	Mr. Elante	i) ≠ []	· ベキ・	le ka	+ 41	十		・矢	:川ゟ	ブムメ	1策	<u> </u>	30	開催					R 3	計画		240						- ,-		24
た事業の進収	状況や	基金の	从如	W. I	関係	機関	l I	R3	· 欠	: 1:7 :川ゟ	アンガン	计策多	~要点 委員会	《解	定川	何けた	協議	è	۱	当初	予算		240								24
への要望活動 において、国	也元関係	と協	議を	行う。	水安	114													۱	決爭	算額		59								5
							Г													R 4	計画		224								22
							ſ	R4											۱	当初	予算		224								22
																			۱	決爭	算額										
							Г												1	R 5	計画										
							ı	R5											۱	当初	予算										
<令和3年				<u>(</u> į			L													決爭	算額										
・矢田ダムネ ・県上木事務	分所へ要	君書提	Ш																۱	R 6	計画										
・矢田ダムメ	策委員:	合解散	に向	けた	弘議		F	R6											۱	当初	予算										
							L													決爭	算額										
							ı													R 7	計画										
							ı	R7												当初	予算										
							L														算額										
																				計画	画 額		464			1					46

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7			
			□ 総合戦略		[11]	目標値	1	1						
С	1 矢田ダム対策委員会の開催	矢田ダム関連地域振興事業について、対 策委員会にて説明する。	個別計画	1		実績値	1							
活					%	達成率	100.0							
動指		HILE SAW LONG STILLING IN INC.	総合戦略		[11]	目標値	1	1						
標	2 県上木事務所へ要望書提出	県所管事業の早期完成について、要望を 行う。	□ 個別計画	1	14.41	実績値	1							
					%	達成率	100.0							
			総合計画		三	目標値	1	1						
D	1 矢田ダム対策委員会の開催	矢田ダム対策委員会の開催数	□ 総合戦略	1	וייו	実績値	1							
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0							
成果指標			□ 総合計画			目標値								
標	2 —		□ 総合戦略			実績値								
			□ 個別計画		%	達成率		·						
E	E 評価対象外の理由 0 評価対象       (対象外事業はF~I欄未記入可)													

R3 ~ R7 合 計

当初予算

決 算 額

464

59

464 59

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 1 → 2 → 3 → 4 → 5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 3点 F なっている → 4 → 5 なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 3 点 3 点 評 優先度高い 優先度低い ・ 4 → 5 できた ・ 4 → 5 → 2 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 3点 できなかった 1 → 2 → 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 3点 15 点 15点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 3点 /25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市道牛音線の供用開始が令和4年度7月末の予定のため、この時期をもって委員会を解散するよう協議会に再度済る必要がある。また、関連する条例の廃止については令和4年9月議会に提案するよう準備を行う必要がある。	対象事業の完了により終了する。

I 令和 5 年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 まちづくり推進課 (令和 3 年度決算) 事 地域振興係 15001 1 務 価 係名 事 業 定住促進事業 細事業 定住促進住宅補助事業 実施計画事業 移住奨励金給付事業 総合計画体系図No.→ ( 231 ) 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 策 6 移住・定住の促進 別計 移住奨励金 款 期間 年度 100 2 年度 ~ 項 施策展開 ①移住・定住を促進する 1 名 7 後期基本計画 62 P ✓ 過疎計画 ✔ 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 決算 23 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 集落の維持や活性化、各分野の担い手確保の ため、地域を担う人材となる移住者に対し奨 励金を交付し、移住・定住を促進する。 ・移住奨励金交付 1件 R 3 計画 100 100 R3 当初予算 100 100 決 算 額 100 100 R 4 計画 R4 当初予算 決 算 額 R 5 計画 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・移住奨励金の交付 (R2年度に事業終了により経過措置のみ) R6計画 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 R7 当初予算 決 算 額 計画額 100 100 当初予算 R3 ~ R7 合 計 100 100 決 算 額 100 100 各計画指標 R2 実績値 単位 達成度

	評価指標名	指標他の説明(昇出力法寺)	<b>谷計</b> 画指標	R 2 美積個	単位	達队及	КЗ	K4	КĐ	Κb	K/
			□ 総合戦略		件	目標値	1				
C	1 奨励金の交付件数	奨励金の交付件数(年度末)	個別計画	7		実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 —		│ ── │			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		Į.	目標値	60	70	80	90	100
D	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	✓ 総合戦略	53	人	実績値	96				
成			□ 個別計画		%	達成率	160.0				
果			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
		·									

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 移住施策として事業効果はあったものの、制度見直しに伴い経過措置分を残し、事業終了とする。 今後は空き家の活用を促す新たな移住施策に取組むことで、移住者の確保に取組むととも に、制度の周知に取組む必要がある。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 移住定住策として事業効果はあったが、空き家の活用促進にシフトするため、 終了とする。

令和5年度の事業の方向性

C. 終 了

	事	業番号		枝番		(	令	和	3	年,	度	計	画	)	1	総合	i	十個	可写	尾が	百計	画	書	( 🖠	ŧi	焦担	步管	理)											(様式1)
	15	5001		2		(	令和	ī	3	年	度	決	算	)	3	Į.	1	务	7	事	4	業	評	F	偛	6	誹	1	ŧ	課局	3名 경	きっ	づく り	推進課	侈	名	地地	或振	興係
ą	事	業	定	住促	進事業	<b></b>						_		細事	業	Ę	定住	促进	進住	宅衫	甫助	事業	16.					実施計	画:	事業	定住住名	三補助	事業	(持ち家	取得	/県外)		了度	なし
_			計画		図No		231				_				D	_									<b>-</b> 1							_						Ι.	
会詞	-	一般	┇┖	政	策	Ι	I #	かな	? <	Ġί	'ځ	安	心を	実履	蒸で	きる	ま	ち								個							令和	3 年度	主な	は歳出名	称	¥	初予算額
款		2		施	策	6	移	住・	定信	主の	促进	焦														別計	期間	]	ź	¥度 <b>~</b>		年度	定住任	主宅補助金	È				2, 10
項	į	1	┇┖	施策	展開	(1	)移(	主・力	定信	È&	足追	重す	-る													画													
目		7		後非	胡基本	1言	画	62	Р	•	~	]	過政	iti	画	·		総合	合戦	略		] :	コロナ	充当		名	期間	]	ź	年度 ~		年度							
決犯	算	23	] _	<b>*</b>	目的		to sales	. +	48																			- <b>-</b>	**	Liai de	・決算額	5 Oct							
									粮			Т															٦ [	<del>D == :</del>	未们			7	-		財源	内訳		(単	位:千円)
			4	事業(	の目的	96	内容	ř					年 度						主な	は沽	動実	<b>ミ</b> 績							\	事	業費計	国県	支出会	<b>並</b> 地方	債	そ	の他	-	一般財源
Λ<	(事	<b>業の</b> 目 数少に	的。  上 ブ	<b>&gt;</b>	この維	. 持.	半ら	냆活	性和	(k	各	T		:	HP 囲め	等·	での	情報	<b>设発</b>	信	こよ	る制	度周  る補	知	久力	:/-	11	R 3計	画		2, 100		1,05	0					1, 05
分!	野0	対担い	手码	[保の	ため	Ų	県外	から	の	移住	世		R3		2件	191	上日	ا ده	LT	1487	J1C.	<b>^</b> 1 9	.σ. III	179/17	正义	.13	П	当初予	5算		2, 100		1,05	0					1, 05
部	たり	りのの	仕るも	のの。	梁へ	!押ノ	ハに	ほの	賃)	HI ()																	П	決 算	額		1,500		75	0					75
												r															11	R 4計	一画		2, 400		1, 20	0					1, 20
													R4														II	当初予	5算		900								90
																											H	決 算	額										
												H															╫	R 5計	+ 画		2,900		1, 45	0					1, 45
													R5														H	当初予			2,000		1, 10	<u> </u>					1, 10
	′슦	和3年	王度	の取	組内2	交 (i	計画	) >																			11	決 算											
- 1	青朝	発信	によ	る制	度周	知						H															-11	ス チ R 6計			3, 200		1, 60	0		-			1, 60
・! 付	県夕	移住	者の	住宅	取得	にす	付す	る補	助台	金の	交		R6														н	当初予			3, 200		1,00	U					1,00
, ,													ΝŪ														н									1		-	
												ŀ															41	決 算						_		-		1	
																											11	R 7計			3, 700		1, 85	0		1			1, 85
													R7														н	当初予	-										
												L							_								4 6	決 算											
																											Ш	計画	額		14, 300		7, 15	0					7, 15

	評価指標名	指標値の説明 (算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	4	5	6	7	8
С	1 助成金の交付件数	助成金の交付件数(年度末)	□ 個別計画		11	実績値	2				
活					%	達成率	50.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		ı	目標値	60	70	80	90	100
D	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	✓ 総合戦略	53	人	実績値	96				
成			□ 個別計画		%	達成率	160.0				
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
				•			•		•	•	

R3 ~ R7 合 計

当初予算

決 算 額

1,050

750

3,000

1,500

1,950

750

E 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(109点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3}	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 移住施策として事業効果はあったものの、制度見直しに伴い経過措置分を残し、事業終了 とする。 今後は空き家の活用を促す新たな移住施策に取組むことで、移住者の確保に取組むととも に、制度の周知に取組む必要がある。

I 令和5年度の事業の方向性

3	業番号	枝番	(全和	3 午 唐	計画	. \ \$	総合計画実	体計	面章 (3	事准:	址(	専細)									(様式1)
<u> </u>	15001	3		3 年度		_	多日日四天 事務事			価	ין עפנ ב		: 1	果局名	まち~	づくり推	進課	係名	3	地域技	長興係
	1		·		T								—	<u> </u>						終了	
事	·	定住促進事				細事業	定住促進住	它補助事	事業			実施計	画事第	定住住	宅補郥	力事業(持	寺ち家!	取得/県	県内)	年度	なし
会計	総合	計画体系図No		なくらしと	安心を	・実感で	きるまち			T E						令和 3	3 年度	主な農	<b></b> 出名和	ħ :	当初予算額
款	2	施第		定住の促進		. , , , , ,				個 別	期	間	年度	~	年度	定住住			~		3, 90
項	1	施策展閉	- 17 122	定住を促進						計画											
目	7	後期基	— 本計画 62	P	過政	東計画	☑ 総合戦闘	各 🗌	コロナ充当	1 2		I	年度	~	年度						
決算	23					I.															
			<u>的・内容・写</u>	- 模	年		N- 1-	v=1 -	4+			B ##		額・決算				財源内	]訳	<u>i</u> )	単位:千円)
		事業の目	的と内容		度		王な	活動実	積				1	事業費計	国県	金出支具	地方	債	その	他	一般財源
人口		よる集落の綿	維持や地域活				発信による制! 移住者の住宅!		計する補助会	论交付		R 3計	画	3, 90	0						3, 900
			め、市外から や購入に係る		R3	1 2					١	当初予	算	3, 90	0						3, 900
部を	助成する	るもの。	1,117, 11, 11, 1	2,7,14								決 算	額	6, 40	0						6, 400
											١	R 4計	画	4, 20	0						4, 20
					R4						١	当初予	算	90	0						900
											_	決算	額								
											١	R 5計		4, 50	0						4, 500
					R5						١	当初予									
		<b>■度の取組内</b> こよる制度♪	]容(計画) > <sup>国知</sup>	•	_						4	決算									
			号に対する神	輔助金の交							١	R 6計		5, 50	0						5, 500
11					R6						١	当初予									
					_						4	決 算									
					D.7						١	R 7計		5, 50	0						5, 500
					R7						١	当初予 決 算									
											-	計画		99.00	0						23, 60
							R3 ~ F	7 合	<del>=</del> +		١	当初予		23, 60							4, 800
							K3	( )	п		١	決 算		6, 40	-						6, 400
								,									ı				
		評価指標	名	指	標値σ	説明()	算出方法等)		各計画指標	R	2 実	遺値 単位		成度	R3	R		R5		R6	R7
1				1									1 🗏	煙値		7	0		0	10	1/

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	7	8	9	10	10
С	1 助成金の交付件数	助成金の交付件数(年度末)	個別計画	10	11	実績値	12				
活					%	達成率	171.4				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		Į.	目標値	60	70	80	90	100
D	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	✓ 総合戦略	53	人	実績値	96				
成果			□ 個別計画		%	達成率	160.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	·\$	<u> </u>	·			·	( <b>x</b>	対象外事業は	t <b>F~ I 欄</b> 未	記入 可)

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点  $\begin{array}{cccc}
\hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0} & \hline
x_{0$ 1 → ∠ 優先度低い → 2 → 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 優先度低い ⇒ 優先度高い
1 → 2 → 3 → 4 → 5
できなかった ⇒ できた
1 → 2 → 3 → 4 → 5 3 点 3 点 評 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 3点 15 点 15 点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3 点 /25点 3 点 /25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
移住施策として事業効果はあったものの、制度見直しに伴い経過措置分を残し、事業終了とする。 今後は空き家の活用を促す新たな移住施策に取組むことで、移住者の確保に取組むととも に、制度の周知に取組む必要がある。	移住定住策として事業効果はあったが、空き家の活用促進にシフトするため、 終了とする。

I 令和 5 年度の事業の方向性

7,500 1,500

1,200

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 まちづくり推進課 地域振興係 15001 4 (令和 3 年度決算) 事 務 業 価 係名 事 業 定住促進事業 細事業 定住促進住宅補助事業 実施計画事業 定住住宅補助事業(Uターン促進) なし 総合計画体系図No.→ ( 231 ) 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 策 6 移住・定住の促進 別計 款 期間 年度 定住住宅補助金 1,500 2 年度 ~ 項 施策展開 ①移住・定住を促進する 1 名 7 後期基本計画 62 P コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 過疎計画 ~ 総合戦略 決算 23 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額·決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 過疎化、少子高齢化等が深刻化する本市への ロターンを促進し、地域力の維持や地域への 定住を支援するため、ロターン者に対する多 世代住宅改修に対する助成を行う。 ・情報発信による制度周知 ・Uターン促進多世代住宅補助金交付 1件 R 3 計画 1,500 1,500 R3 当初予算 1,500 1,500 決 算 額 1,200 1,200 R 4 計画 1,500 1,500 R4 当初予算 決 算 額 R 5 計画 1,500 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・情報発信による制度周知 ・Uターン促進多世代住宅補助金の交付 R6計画 1,500 1,500 当初予算 R6 決 算 額

R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

1,500

7,500

1,500

1,200

	評価指標名	指標値の説明 (算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	1	1	1	1	1
С	1 補助金の交付件数	補助金の交付件数(年度末)	── ── 個別計画		IT	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		I	目標値	60	70	80	90	100
D	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	✔ 総合戦略	53	人	実績値	96				
成			□ 個別計画		%	達成率	160.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 移住施策として事業効果はあったものの、制度見直しに伴い経過措置分を残し、事業終了とする。 今後は空き家の活用を促す新たな移住施策に取組むことで、移住者の確保に取組むととも に、制度の周知に取組む必要がある。 移住定住策として事業効果はあったが、空き家の活用促進にシフトするため、 終了とする。

令和5年度の事業の方向性

R7

C. 終 了

3,000

2,000

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 まちづくり推進課 地域振興係 15002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 業 価 係名 事 業 定住促進事業 細事業 定住促進空き家対策事業 実施計画事業 空き家成約奨励金給付事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 231 ) 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 策 6 移住・定住の促進 別計 空き家成約奨励金 款 期間 年度 1,500 2 年度 ~ 項 施策展開 ①移住・定住を促進する 1 画 名 7 後期基本計画 62 P コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 過疎計画 ~ 総合戦略 決算 23 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 市内に存在する空き家の有効活用を通じた、 地域活性化や移住定住を促進するため、空き 家バンク制度を通じた物件の成約の際に物件 所有者に奨励金を交付するもの。 ・情報発信による制度周知 ・空き家成約奨励金の交付 20件 R 3 計画 1,500 1,500 R3 当初予算 1,500 1,500 決 算 額 2,000 2,000 R 4 計画 1,500 1,500 R4 当初予算 1,500 1,500 決 算 額 R 5 計画 2,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・情報発信による制度周知 ・空き家バンクの活動促進 ・空き家成約奨励金の交付 R6計画 2,000 2,000 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 2,500 2,500 R7 当初予算

どき家バンク新規物件登録 改	空き家バンク新規物件登録数(年度末)	<ul><li>総合戦略</li><li>□ 個別計画</li></ul>	34	件	目標値	35	35	40	45	50
どき家バンク新規物件登録 女	空き家バンク新規物件登録数(年度末)	□ 個別計画	34	14						
					実績値	29				
				%	達成率	82. 9				
		□ 総合戦略			目標値					
=					実績値					
				%	達成率					
		□ 総合計画		/H-	目標値	20	20	25	25	30
<b>空き家バンク成約件数</b>	空き家バンク成約件数(年度末)	□ 総合戦略	20	11	実績値	26				
		□ 個別計画		%	達成率	130.0				
		□ 総合計画		IH-	目標値	15	15	20	20	25
<b>愛励金交付件数</b>	奨励金交付件数(年度末)	□ 総合戦略	16	14	実績値	20				
		□ 個別計画		%	達成率	133. 3				
			□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 総合計画 □ 総合計画 □ 総合戦略 □ □ □ □ 総合戦略 □ □ □ 総合戦略 □ □ □ 総合計画 □ 総合計画 □ 総合計画 □ 総合戦略 □ □ 総合戦略	さ家バンク成約件数       空き家バンク成約件数(年度末)       微合計画         一 総合前画       個別計画         一 総合計画       総合計画	個別計画   96   総合計画   件	実績値       9%     達成率       総合計画     株舎財産       さ家バンク成約件数     学き家バンク成約件数(年度末)       個別計画     株舎財産       協別計画     総合計画       総合計画     株舎財産       が金交付件数     株舎財産       が金交付件数     株舎財産	度別計画     実績値       96     達成率       一般合計画     件     目標値     20       実績値     26       個別計画     変成率     130.0       一般合計画     日標値     15       実績値     20       総合戦略     16	関別計画     実績値       % 達成率       一 総合計画     件     目標値     20     20       実績値     26     実績値     26       個別計画     % 達成率     130.0       一 総合計画     日標値     15     15       対励金交付件数     (年度末)     総合戦略     16     本     実績値     20	図別計画   実績値	個別計画   実績値

R3 ~ R7 合 計

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

9,500

3,000

2,000

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランが流(しょうは一直)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 1	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 指	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 移住者からニーズの多い市内の空き家の活用を促す新たな移住施策に取組むことで、移住 者の確保に努めるとともに、空き家バンク制度を活用した県外移住者や空き家所有者に対 し制度の周知に取組む必要がある。 移住定住策として空き家の活用を推進する。

令和5年度の事業の方向性

事業番号 枝番 ( 令和	10 3 年度	計 画	)約	合组	計画実	施計画	事(	兼進	步作	<b>章理)</b>							(様式1)
15002 2 (令和	] 3 年度 i	夬 算	) 事	<b>.</b>	務事	業	評	価	刮	書	課局名	ミち つ	がくり 推	進課	係名	地址	或振興係
事 業 定住促進事業			細事業	定住	:促進空き	家対策	事業			実施計画	事業 定住住等 越/(リ	芒補助 県外)	」事業(不 )	「動産/	家財/	´引 終 年	で なし
総合計画体系図No.→ ( 231			ata D. a S		,					•							T =
	かなくらしとタ		実感でき	きるま	.ち			個		_				年度 🗄	E な 歳 と	出名称	当初予算額
	E・定住の促進							别 <del>—</del> 計	期間	- 4	度 ~	年度	定住住宅	E補助金			20
	・定住を促進		[					画名		_							
目 7 後期基本計画	62 P V	過政	村画	~	総合戦略		コロナ充憲		期間	- 4	度 ~	年度					
決算 23 A <b>事業目的・内容</b>	・実績								_	B 事業計	画額・決算額	等					
事業の目的と内容		年度			主な	活動実績	i				事業費計			• • • •	源内部	-	(単位:千円)
<事業の目的>		反	<ul><li>情報</li></ul>	発信に	よる制度	手周知			-	R3計画	200		支出金	地方信	į	その他	一般財源
市内に存在する空き家の有効活月 或活性化や移住定住の促進を図		R3	<ul><li>空き</li></ul>	家家則	対道具等を を者分)	L分補助:	金交付			当初予算	200		100				10
家バンク制度を活用した県外移住 所有者に対し、仲介手数料補助、	主者や空き家	ΝJ	ON	71.1214	- 11/1/	0 11				決算額	300		150				15
の処分費用に対する補助、引越 なう。	し補助をおこ	_							-	八 并 版 R 4計画	400		200				20
۵./٥		R4								当初予算	300		150				15
										決算額			100				10
									1	R 5計画	400		200				20
		R5								当初予算							
<令和3年度の取組内容(計画)	>									決算額							
・情報発信による制度周知 ・空き家バンクの活動促進										R6計画	400		200				20
・空き家家財道具等処分補助金の	D交付	R6								当初予算							
										決 算 額							
										R 7 計画	600		300				30
		R7								当初予算							
										決 算 額							
										計画額	2,000		1,000				1,00
				R3	~ R	7 合	計			当初予算	500		250				25
										決算額	300		150				15

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	20	20	25	25	30
С	1 空き家バンク成約件数	空き家バンク成約件数(年度末)	個別計画	20	11	実績値	26				
活					%	達成率	130.0				
動指			総合戦略		件	目標値	2	2	2	2	3
標	2 補助金交付数	補助金交付件数(年度末)	個別計画		1	実績値	3				
					%	達成率	150.0				
			✓ 総合計画		Į.	目標値	60	70	80	90	100
D	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	✔ 総合戦略	53	人	実績値	96				
成			□ 個別計画		%	達成率	160.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの発展(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline results & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	∕25点	3 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 家財道具の処分費用に対する補助を除き、仲介手数料や引越し費用を助成する制度については、制度見直しにより廃止した。制度見直しに伴い、家財道具の処分については、空き家バンク登録時点でも活用できるよう要件変更したことから改めて制度の周知を図る必要がある。
 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 移住定住策として事業効果はあったが、空き家の活用促進にシフトするため、仲介手数料と引越し費用の助成については終了とする。
 中介手数料と引越し費用の助成については終了とする。

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

事	業番号	÷	枝番		( 4	令和	<b>D</b> 3	:	年	度	Ħ	F I	ij	)	総	合	計	画	実	包言	一直	1	<b>F</b> (	兼	進	捗	管	理)											(:	様式 1
]	5002		3		( 4	和	1 3	:	年	度	決	<b>.</b> 9	Ţ	)	事		矜	ş	事	;	業	1	評	1	西	İ	調	書	課	局名	<b>5</b>	きちつ	づく	り推	進課	係	名	地	域振	興係
事	業	定任	主促進	事業									紐	事第	ŧ	定	住促	2進2	Eð	家対	策	事業					9	実施計画	事業	定(	住住5	它補助	助事	業(	空き家	改修	(県外		§了 =度	なし
		1 —	体系図							_	_					•																								
会計		┨┝	ひ	策			かな	_	_	_		心	を3	医感	でき	るる	まち	)							個								H	-	3 年度		歳出名	3.称	当	初予算額
款	2	4 ⊢	施	策	_	-	· 万				_														別計		間		年度	~		年度	ű	住住:	宅補助4	È				2, 40
項	1	╽┝	施策团		· ·		• <b>定</b>	- '-	_	_		_				_			-					_	画名															
目 14.6%	7	ļL	後期	基本	計画	į (	62	Р		~	<u></u>	過	疎	計画		~	彩	総合単	略	L		JD:	ナ充	当	Ľ	期	間		年度	~		年度								
決算	23	A	事業[	]的	内:	容・	実権	ŧ																			E	3 事業計	十画者	<b>1</b> · :	決算額	領等	L							
		Ilul	業の	目的	と内	容						年						主	な泪	動多	€績								ılıı	業	費計					財源				立:千円
-1	<b>事業の目</b>	165				_					4	度	4	. 桂	却又	<i>٤ l</i> ⇒	1× 1	こる作	il me	EEI Arm							H							出金	地ブ	債	そ	の他	-	-般財源
市内	に存在 性化や	する	空き											<ul><li>空</li></ul>	きる	改	修裤	助会	きの	交付							F	R 3 計画	`-		2, 400	-		, 200						1, 20
家バ	ンク制	度を	活用	したり	農外	移住	と者に	ر د خ	すし	. e		R3	1	(県	クトを	<b>&gt;</b> 1土:	白久	子)	3	14-							Н	当初予算	+		2, 400	-		, 200						1, 20
棚助	金を交	11J 79	る。								ŀ		4														Ľ	央 算 額	_		2,000	-		, 000			-			1, 00
																											┢	R 4 計画	-		2,000	-	1	, 000						1, 00
												R4	1														Н	当初予算			, 800			900					-	90
											ŀ		+													_	Н	央 算 額	-								-		-	
																											┢	R 5 計画	-	2	2, 000		1	, 000						1,00
	\ T= 0 A		o π= //		/=1	<del></del> \						R5	1														Н	当初予算	_											
	<b>計和3年</b> 報発信					囲)	>				ŀ		+													_	F	央 算 額	_										+	
<ul><li>空</li></ul>	き家がき家改	ンク	の活動	协促过	É							ъ.															┢	R 6計画		2	2, 000		1	, 000					-	1, 00
土	己亦以	197111	1993 JTC 0	/XI	1							R6	1														Н	当初予算												
											ŀ		+													_	Н	央 算 額	-	_										
												D 7															┡	R 7計画		2	2, 800		1	, 400						1, 40
												R7															┢	当初予算											-	
											ŀ															_	ш	<b>決算額</b>	-				_						1	=
																_	2		_			=1					Н	計画額	-		, 200	-		, 600			-			5, 60
																К	ა	~	R/	2	î Ì	āŤ					Н	当初予算	_		1, 200	-		, 100			-			2, 10
1											- 1															1	λ	夬 算 額	ŧ	2	2, 000	1	1	, 000						1,00

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		件	目標値	20	20	25	25	30
С	1 空き家バンク成約件数	空き家バンク成約件数(年度末)	□ 個別計画	20	1	実績値	26				
活					%	達成率	130.0				
動指			□ 総合戦略		件	目標値	3	3	3	3	4
標	2 補助金の交付件数	補助金の交付件数(年度末)	□ 個別計画	2	Ť	実績値	3				
					%	達成率	100.0				
			✓ 総合計画		Į.	目標値	60	70	80	90	100
D	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	✔ 総合戦略	53	人	実績値	96				
成			□ 個別計画		%	達成率	160.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率			·		

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの税点(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restance & & \\ \hline restance & & \\ \hline \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
移住者からニーズの多い市内の空き家の活用を促す新たな移住施策に取組むことで、移住者の確保に努めるとともに、空き家バンク制度を活用した県外移住者や空き家所有者に対し制度の周知に取組む必要がある。	移住定住策として、空き家活用を推進する。

令和5年度の事業の方向性

⇨

9,050

6,625

事	業番号	ţ	枝番		(令和	3	年	度	計	画	)	総合	計画	実施	計	画書	(	兼進	抄	管	理)										(様式1)
1	5002		4		(令和	3	年	度	決	算	)	事	務	事	業	ţ	評	価		調	書	誹	局名	ま	ちつ	らくり 推	進課	係名	3	域技	辰興係
事	業	定任	主促進	事業						ń	田事業	定	住促進	生空きる	京対策	事業	i i			¥	<b>『施計画</b>	事業	定住	住宅	補助家改	事業( <sup>2</sup> 修(県	不動産	/家財		終了 年度	なし
	4/2	と計画	体系図	No	( 231	)														L			Rex /	工C	<b>外以</b>	IB(木r	1) )			十尺	
会計	一般	1		策	Ⅲ 豊/	かな。	くら	しと	:安i	ふを	実感で	きる	まち					ПГ.								令和 3	年度	主な岸	<b></b> と出名称		当初予算額
款	2	11	施	策	6 移住	: • 定	(住)	の促	准									-	3) I #	朋間		年度	~		年度	定住住	它補助金	È			4, 750
項	1	11:	施策展		①移住				_	る								<b>-</b>   i	計 — 画											+	
目	7	1 🖯	後期	基本	計画(	62	Р	V	<u> </u>	過疎	計画	<b>V</b>	総合	戦略	П		ナ充当	-1 I	z	朋間		年度	~		年度						
決算	23	┧┕					!																								
	A 事業目的・内容・実績								- 1	<b>-</b>										Ę	3 事業計 、	十画	額・決	算額	等			財源内	1 ED	( E	単位:千円)
	事業の目的と内容								年度			:	主な活	動実網	責						틕	業費	計 -	国県	支出金	地方		その他	1	一般財源	
<b>&lt;</b> 事	業の	的	m++<	3 M 7	有効活用	117 1	- T	Lile	T		• 情報	発信に	よる制	度周知    8 件	]					F	₹3計画	Ī	4,	750						+	4, 750
域活	性化や	移住	全住の	)促过	ョッパロル 単を図る 十外移自	っため	5,	文型を	۱ ا	R3	・空き	家家則	/	z off 等処分補 F数料補	助金	7件	ŧ			ì	当初予算	<u> </u>	4,	750							4, 750
那有	ンク制 者に対	捜を  し、	活用し 補助st	ンた r えをろ	り外移日 を付する	E者へ う。	2또	さ豕	1		(経派	措置)	1 作	- 数47年      経過措		1 件	Ļ.			ž	央 算 額	1	6, 0	625							6, 625
									r		- 7116	(具/円1	的亚	(作生儿里7日	(旦/	1	<u> </u>			F	₹4計画	Ī	5, 3	300							5, 300
									ı,	₹4										ì	当初予算	<u> </u>	4, 3	300							4, 300
									ı											ž	央 算 額	Į								T	
									t											F	₹5計画	ij	6,	200							6, 200
									П	R5										ì	当初予算	Ī								T	
<1	3和3:	年度の	の取組	内容	(計画)	>			Т											ž	央 算 額	1								+	
· 情	<b>设発信</b>	によ	る制度	周矢	1				r											F	₹6計画	Ī	6,	600							6,600
・空空	き家ひき	シグ 修補	い 活動の	が 交付	# 計 前助金の 前助金の 措置対				1	₹6										ì	当初予算	Į.	,								
・空	さ 豕 豕 助 産 契	対値	具等处 介手数	Ŀ分育 ζ料有	用助金σ 用助金σ	) 交付 ) 交付	Г Н		ı											ž	央 算 額	1									
· 与li	返費用	補助	金の交	で付					H											H	R 7 計画	_	7.	500						$\dashv$	7, 500
					措置対	象の	み)		Ι.	7										Ι,	4 加 字 笛	+	.,							+	,

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

30, 350

9, 050

6,625

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	20	20	25	25	30
С	1 空き家バンク成約件数	空き家バンク成約件数(年度末)	個別計画	20		実績値	26				
活					%	達成率	130.0				
動指			□ 総合戦略		件	目標値	13	12	14	15	17
標	2 補助金の交付件数	補助金の交付件数(年度末)	□ 個別計画	24	- ' '	実績値	17				
					%	達成率	130.8				
			✓ 総合計画		Y	目標値	60	70	80	90	100
D	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	☑ 総合戦略	53		実績値	96				
成			□ 個別計画		%	達成率	160.0				
成 果 指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(109点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
仲介手数料や引越し費用を助成する制度については、制度見直しにより廃止した。制度見直しに伴い、家財道具の処分については、空き家パンク登録時点でも活用できるよう要件変更したことから改めて制度の周知を図る必要がある。	移住定住策として、空き家活用を推進する。

令和5年度の事業の方向性

R7

 $\Rightarrow$ 

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 まちづくり推進課 地域振興係 15002 5 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 定住促進事業 細事業 定住促進空き家対策事業 実施計画事業 定住住宅補助事業 (店舗開設) なし 総合計画体系図No.→ ( 231 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 定住住宅補助金 款 策 期間 年度 1,000 6 移住・定住の促進 年度 ~ 項 1 施策展開 ①移住・定住を促進する 名 目 7 後期基本計画 62 P 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 過疎計画 ~ 決算 23 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額·決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 県外からの移住者が本市で生計維持するため に店舗等を開設するための費用を支援し、地 域雇用の創出や経済振興を図る。 ・情報発信による制度周知 ・交付要綱の見直し R 3 計画 1,000 500 R3 500 当初予算 500 1,000 決 算 額 R 4 計画 500 1,000 500 R4 当初予算 決 算 額 R 5 計画 500 500 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・情報発信による制度周知 ・補助金の交付 ・交付要綱の見直し R6計画 1,000 500 500 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 500 1,000 500 R7 当初予算 決 算 額 計画額 5,000 2,500 2,500 当初予算 1,000 500 R3 ~ R7 合 計 500 決 算 額 各計画指標 R3 R4 R5 R7 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) R 2 実績値 単位 達成度 R6 目標値 □ 総合戦略 С 補助金の交付件数 補助金の交付件数(年度末) 実績値 □ 個別計画 % 達成率 目標値 □ 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 日標値 総合計画 60 70 80 100 **D** 1 市外からの移住者数 実績値 各種移住施策による移住者数(年度末) ~ 総合戦略 53 96

	11.71.1. 2 . 12 122 12 294			110 1 174.1				0.0				
成				個別計画	<u> </u>	%	達成率	160.0				
成果指標				総合計画	ū		目標値					
標	2 —			総合戦略	3		実績値					
				個別計画	Ī	%	達成率					
E	評価対象外の理由 0 評価対	†象								(対象外事	業は <b>F~I椎</b>	未記入 可)
		証件でロットのの相上 / 1 「上本	=π /π \						マ評価	(係長)	二次評価	(課長等)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	評1四)					評価	点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているだ	)\	t	1 → 2 → なっていない	• 3 · ⇒	→ 4 → ! なってい		3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか	、 (同じ成果指標設定事業内での優先度)			1 → 2 → 優先度低い	• 3 · ⇒	→ 4 → : 優先度高		3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進め	りることができたか		7	1 → 2 → できなかった	• 3 · ⇒	→ 4 → ! できた	5	3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計	†画どおり推移しているか		推	1 → 2 → 移していない	⇒	推移した		3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は記	†画どおり推移しているか		推	1 → 2 → 移していない		→ 4 → ! 推移した		3 点	/25点	3 点	/25点
	G 【担当係長の意見・						長職等の所見	L】 ※評価	5・改善	善策等を踏ま	えた課長職等	等の所見
県の希望	制度改正に伴い、市の補助制度 する場合は、県の補助事業を案	を廃止した。今後、本市への移住希望者が 内するなど制度の周知が必要である。	店舗開	設を	県事業の活	用推改	進を行う。					
•												

I 令和 5 年度の事業の方向性

C.終了

	事業番号	<b></b>	3 年度 i 3 年度 i			合計画実施 務事	計画往			`	里)	課局名	3-	<b>た</b> べ	くり推	(住)田	係名		Hh Hait H	(様式 1) 長興係
	15002	6 (令和	3 年度 2	大昇	<b>) 尹</b>	一一一一	未	a <del>t</del> 1	<b>5</b> 1	調			_	_						反興係
事		定住促進事業		i	細事業	定住促進空き家	対策事業	<b></b>		実	施計画	事業 提(	主住宅	補助	事業(県	具外移位	主者就刻	<b>業支</b>	終了 年度	なし
会計		計画体系図No.→ ( 231 ) 政 策 Ⅲ 豊かな	よくらしと多	安心を	実感でき	るまち								$\neg$ [	令和 3	年度	主な歳	出名称	1	当初予算額
款	2	施 策 6 移住·	定住の促進						個別期	間		年度 ~		年度	定住住宅	E補助金				1,000
項	1	施策展開 ①移住・	定住を促進	する					計 画											
目	7	後期基本計画 62	P	過政	計画	✔ 総合戦略		コナ充当	名期	間		年度 ~		年度						
決算		A 事業目的・内容・実	績							В	事業	計画額・2	<b>火算</b> 額	等						
		事業の目的と内容		年度		主な活動	加実績					事業費	計	-	± Δ		財源内			単位:千円)
	事業の目的			反	<ul><li>情報発</li></ul>	8.信による制度周	知			P	3 計画	ī 1	, 000	国県	支出金 500	地方	愩	その	也	一般財源 500
の倉	]出を支援	JⅠJターンによる起業 €するため、(移住者居	住支援事	R3						$\vdash$	初予第		, 000		500					500
業(を	特家取得. )県のオ	助成、空き家改修補助常 え人マッチングサイトを ニ対して移住支援金を交	穿)を活用 通じて就							$\vdash$	算額		, 000							
業し	た者等に	二対して移住支援金を交	付する。						$\dashv$		4計画	-	, 000		500		+			500
				R4						当	初予算	Į 1,	, 000		750					250
										決	算額	Ę.								
										R	5計画	Ī 1,	, 000		500					500
				R5						当	初予算	<u> </u>								
		度の取組内容(計画)>								$\vdash$	算額	+								
	往支援金									$\vdash$	6計画	-	, 000		500					500
				R6						$\vdash$	初予第									
				_					_	H	算 額 フ計画	1	000		500					500
				R7						$\vdash$	初予第		, 000		500					500
				1						$\vdash$	算額									
										Н	画額		, 000		2,500					2, 500
						R3 ~ R7	合 計			当	初予算	1	, 000		1, 250					750
										決	算額	1								
			I we	<b>=</b> #-0	-54 pg (#r	11. 4.24 66.5		·     画指標	I		l w u l	***		<b>D</b> 0	1 24					I 23
		評価指標名	1日1	宗胆の	説明(昇	出方法等)	合品			領怛	里12	達成度 目標値		R3	R4	1	R5	1	R6	R/
С	1 補助分	金の交付件数	補助金の	交付件	+数(年度	末)		総合戦略			件	実績値		-	L	1		1	1	1
活								個別計画			%	達成率								
活動指								総合戦略				目標値								
標	2 —							個別計画				実績値								
			1					総合計画			%	達成率				50	-	10	00	100
D	1 市外 7	からの移住者数	久種移住	お筆に	・トス我仕	三者数(年度末)	<b>V</b>	総合戦略		53	人	目標値 実績値		90	+	70		80	90	100
	. 11171.72	7-9-4-9 IL-11 W	口里沙江	四水(	- Y J J J J T	- 1 数(干及水)		個別計画		00	%	達成率		160.0	+					
成果指								総合計画	_			目標値								
標	2 —							総合戦略				実績値								
								個別計画			%	達成率								
E	評価対	†象外の理由 ○評価対	寸象													(対:	象外事業	能は <b>F</b> へ	· I 欄 =	未記入 可)
		•		/m - = =		10 E / 2 = 1	- 5 T / \								次評価	(係長)	)	二次記	平価(	課長等)
1	1		評	価項E	1/5つの	)視点(1~5点7	で評価)									表現は上				部 圧 上 人 引

 $\Rightarrow$ 

1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

県の制度改正に伴い、交付要綱の見直しを行った。今後も県外からの移住者の起業・就業 を支援するための制度の周知が必要である。

令和5年度の事業の方向性

2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)

3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか

4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

評

価

評価点

3点

3 点

3点

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

 $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 

A. 現状のまま継続

推移した

推移した

移住定住策として就業支援策を推進する。

推移していない ⇒

1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推

評価点合計

15 点

/25点

評価点

3点

3 点

3点

評価点合計

15 点

/25点

3, 790

1, 212

4	事業番号		枝番		( 4	<b>合和</b>	3	年	度言	十画	i )	総	合計	画多	と 施	計画	事	( )	ŧ進:	捗钅	管理	重)									(村	<b>美式 1</b>
	15002		7		( 4	和	3	年	度涉	<b>美</b>	: )	事	矜	ş 1	事	業	Ē	Ŧ	価	i	周		課局	高名 ま	きちつ	<b>うくり</b>	推進課	係	名	地域	<b>【振</b> 师	具係
事	業	定信	E促進	進事業	*						細事	業	定住仍	足進空	き家	対策	事業				実別	<b>拖計画</b>	事業	移住情幸 業	8発信	・移信	注定住に	フェア参	多加事	終五年		なし
				⊠No.—	_	32 )																									1	
会計	一般	l	攺	策	Ш	豊か	なく	らし	~と多	で心を	:実感	でき	るまち	)					個							令和	3 年月	隻 主な	歳出名	称	当初	7)予算
款	2	1.	色	策	6 ₹	多住	· 定	住の	促進										別計	期	間	ź	₹度 ~		年度	広告料						4
項	1	1.	施策原	展開	1)#	多住	· 定	住を	促進	する									画							守委請						3
目	7		後期	基本	計画	62	2 F	>	•	過四	東計画		<b>火</b>	給合戦	略		コロナ	充当	名	期	間	£	₹度 ~		年度	移住作委託	・定住促 <del>〔</del> 料	進ポー	タルサイ	卜制		3
決算	23	]	de dik	- *	- da	do .	-																- Tar 46	24.46*4		移住	フェアブ	ース出鳥	展料			2
	A 事業目的・内容・実績									年										_	↖	争来们	T	・決算額	貝寺			財源区	力訳		(単位	:千円
	事業の目的と内容									度				主な	よ活!	助実績	Į						事	業費計	国県	支出玄	<b>赴</b> 地	方債	₹(	の他	-;	般財源
< 	<b>事業の目</b> ]ある地	<b>的</b> >	想め	古の	松△	45172	- 大坪	空え	. р				ルサイ		ぶん	ごお:	おの暮	事らし	チ帖	٦	R:	3 計画		1, 909								1, 90
RÌ	. 本市	~D	聞い	を高	める	t- x).	ゥ	ェブ	`ተታ	R3	• s	NS	、 更 ま る	5情報						1	当	初予算		1,909								1, 90
イト住々	等を活べント	用し に参	た情加し	報発 、移	信に	取組 促進	む。 する	また。	.移				連サイ ーディ					主相診	ķ	1	決	算 額		1, 212								1, 2
																				┪	R ·	4 計画		880								8
										R4										1	当	初予算		1, 881								1, 88
																				1		算額	-	-,								
																				┪	-	5計画	1	880								88
										R5										1	_	初予算	-	000								
_	令和3年	= 唯 /	D 田豆幺	B rth %	≽ /≣∔	画)~				110										1		算額										
	ァ <b>州・</b> ・ ペータル							し手	帖		-									-	-	身 報 6計画	1	000			-		-			- 00
1 0	運営、	更新						-		DC										1	_		-	880								88
· 彩	住相談	会等	$\sim$ $o$	参加						R6										1	-	初予算	-									
	を 住 関連						主相	談												4		算額					-					
1											1										п.	ᄀᆖᅪᇒ	1	000	1				1		1	

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
			□ 総合戦略	総合戦略 70,864 回 % 個別計画 70,864 年	П	目標値	72,000	73, 200	74, 400	75, 600	76, 800	
С	1 専用サイトのアクセス数	専用サイトのアクセス数(年度末)	70, 864		ī	実績値	82,711					
活					%	達成率	114. 9					
動指			□ 総合戦略		ИН:	目標値	1,500	1,550	1,600	1,650	1,700	
標	2 移住相談件数	移住相談件数(年度末)	□ 個別計画		17	実績値	1,853					
					%	達成率	123. 5					
		✓ 総合計画		Į.	目標値	60	70	80	90	100		
D	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	✓ 総合戦略	53	<b>战略</b> 53	$\wedge$	実績値	96				
成			□ 個別計画		%	達成率	160.0					
成 果 指			□ 総合計画			目標値						
標	2 —		□ 総合戦略			実績値						
			□ 個別計画		%	達成率						

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/500代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
100	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	/25点	3 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新型コロナ感染防止対策の影響で、移住相希望者への情報提供はインターネットを経由したものに変化しており、ネットを活用した情報発信の重要度は増している。今後は移住先として選ばれる様、積極的な情報発信に加え、ウィズコロナで本格化していくと想定する移住希望者への対面でのアプローチが必要である。	移住定住の情報発信は重要であり、またニーズも多いことから積極的に活用する。

令和5年度の事業の方向性

R7

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

5, 429

3, 790

1, 212

事業番号 枝番 408001 1 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(令和 3 年度決算) 事務事業評価調書

調 書 課局名 まちづくり推進課 係名

地域振興係

事	業	関係人口創出事業	細事業	関係人口創出事業	実施計画事業	関係人口創出事業	終了 年度	なし

総合計画体系図No.→ ( 235 )

策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 款 策 6 移住・定住の促進 2 施 項 施策展開 ②関係人口の創出・拡大と取り込み 1 目 7 後期基本計画 62 P ✓ 過疎計画 ✓ 総合戦略 コロナ充当

個 期間 年度 ~ 年度 期間 年度 ~ 年度 
 令和 3 年度 主な歳出名称
 当初予算額

 工事設計監理委託料
 11,603

 拠点施設工事請負費
 92,951

 拠点施設庁用器具費
 4,642

 関係人口等ネットワーク形成事業
 3,000

		B 事業計	画額・決算額	T-acilel	コ等ネットワー	-ク形成事業	3,000
年	<b>ナ</b> れば動字は		古光弗弘		財源内	]訳 (	(単位:千円)
度	土な石馴夫模		争未复訂	国県支出金	地方債	その他	一般財源
	旧歴史民俗資料館を改修し、多機能型の拠点 施設を整備した。また、新たた施設の条例を	R 3計画	114, 913	69, 614		30, 000	15, 299
R3	制定し、指定管理制度を導入のため、選定及	当初予算	114, 913	69, 614		30, 000	15, 299
	い伏足を行った。また、市和4年度から美地 する事業プログラムを策定した。	決 算 額	114, 226	71, 844		7	42, 375
		R 4計画	30,000	15, 000			15, 000
R4		当初予算	34, 758	16, 250			18, 508
		決算額					
		R 5計画	30,000	15, 000			15, 000
R5		当初予算					
		決 算 額					
		R 6計画	30,000	15, 000			15,000
R6		当初予算					
		決 算 額					
		R 7計画	5, 000				5, 000
R7		当初予算					
		決 算 額					
		計画額	209, 913	114, 614		30,000	65, 299
	R3 ~ R7 合 計	当初予算	149, 671	85, 864		30,000	33, 807
		決 算 額	114, 226	71, 844		7	42, 375
	R3 R4 R5	度       主な活動美報         R3       旧歴史民俗資料館を改修し、多機能型の拠点 施設を整備した。また、新たな施設の条例を 可決定を行った。また、今和4年度から実施 する事業プログラムを策定した。         R4       R5         R6       R7	年度       主な活動実績         R3       旧歴史民俗資料館を改修し、多機能型の拠点を網定とし、指定管理制度を整備した。また、新たな施設の発向を収決定を行った。また、新たな施設の場定及収決定を行った。また、新たな施設の場定及収決定を行った。また、新たな施設の場定及収決する事業プログラムを策定した。         R4       2         R5       2         R6       2         R7       2         R8       2         R9       2         R9       2         R9       3         R9       3         R9       3         R9       3         R9       3         R9       3         R9       4         R9       3         R9       4         R9       4         R9       5         8       6         8       7         8       8         8       8         8       8         8       8         8       9         9       3         8       9         9       3         9       3         9       3         9       3         8       3         9       3         10	年度       主な活動実績       事業費計         R3       旧歴史民俗資料館を改修し、多機能型の拠点 施設を整備した。また、新たな施設の条例を切び決定を行った。また、令和4年度から実施する事業プログラムを策定した。       R3 計画 114,913 当初予算 114,913 決 算 額 114,226 R4計画 30,000 当初予算 34,758 決 算 額 R5計画 30,000 当初予算 決 算 額 R6計画 30,000 当初予算 決 算 額 R6計画 30,000 当初予算 決 算 額 R7計画 5,000 当初予算 7,000 当初予算 7,000 当初予算 7,000 当初予算 7,000 第 7,	B 事業計画額・決算額等         季業費計画額・決算額等       委託科         事業費計画額・決算額等       事業費計画県支出金         R3 加定し民俗資料館を改修し、多機能型の拠点	B 事業計画観・決算観等         対源体 事業費計 国限支出金 地方債 国果支出金 地方債         R3 前庭と民俗資料館を改修し、多機能型の拠点 施設を整備した。また、命和な施設の条例を が決定を行った。また、令和4年度から実施する事業プログラムを策定した。         R4       R4       R3計画 114,913 69,614 30,000 15,000 34,758 16,250 34,758 16,250 34,758 30,000 15,000 34の予算 34,758 16,250 34,758 30,000 15,000 34の予算 34,758 30,000 34,758 30	Teg

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			マ 総合戦略		Y	目標値		1, 300	1, 300	1, 300	1, 300
С	1 利用者数(累積)	拠点施設の利用者数 (年度末)	□ 個別計画 96		人	実績値					
活				達成率							
動指			✓ 総合戦略		į,	目標値		100	100	100	100
	2 参加者数 (累積)	拠点施設で行うセミナー等の参加者数 (年度末)	□ 個別計画		人	実績値					
					%	達成率					
			総合計画		件	目標値		3	5	7	7
D	1 事業創出数(累積)	拠点施設の利活用による新規事業創出数 (年度末)	✔ 総合戦略	177	11	実績値					
成		(12.10)	□ 個別計画		%	達成率					
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの発展(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline results & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	∕25点	3 点	/25点

I 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 まちづくり推進課 (令和 3 年度決算) 事 業 係名 地域振興係 13005 1 務 価 事 業 地域コミュニティ支援事業 細事業 コミュニティ助成事業 実施計画事業 コミュニティ助成事業 なし 総合計画体系図No.→( 287 豊後大野市地域コミュニティビジョン 策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 策 1 地域コミュニティ活動の推進 期間 H25 年度 ~ コミュニティ助成事業助成金 款 年度 22,000 2 項 施策展開 ①地域コミュニティを育成する 1 名 目 7 後期基本計画 74 P □ 過疎計画 ~ 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 決算 26 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額 決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 一般財源 国県支出金 地方債 その他 <事業の目的> コミュニティ活動に必要な施設整備や備品購入等への支援を行う。 ・コミュニティセンター助成事業・一般コミュニティ助成事業・地域づくり助成事業 1 団体 2 団体 1 団体 R 3計画 22,000 R3 当初予算 22,000 22,000 に助成金を交付。 決 算 額 21,900 21,900 R 4 計画 R4 当初予算 決 算 額 R 5 計画 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・助成を希望する事業の募集・助成金の交付 R6計画 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 R7 当初予算 決 算 額 計画額 22,000 22,000 R3 ~ R7 合 計 当初予算 22,000 22,000 決 算 額 21,90021,900

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	5	5	5	5	5
С	1 申請数	申請があった団体数	個別計画	7	14	実績値	4				
活					%	達成率	80.0				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 _		個別計画			実績値					
					%	達成率					
	1 採択団体 採択された団体数	総合計画			目標値	5	5	5	5	5	
D		採択された団体数	□ 総合戦略	5		実績値	4				
成 果			□ 個別計画		%	達成率	80.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの税点(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restance & & \\ \hline restance & & \\ \hline \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
引続き事業の周知を図るとともに、助成金を活用した活動を希望する団体には引続き情報 提供をおこなう必要がある。	地域コミュニティ活動が活性化するよう、希望する団体には引き続き情報提供を行う。

I 令和5年度の事業の方向性

507

2,535 1,079

8

18,000

60,000

16,000

7,500

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) (令和 3 年度決算) 事 課局名 まちづくり推進課 地域振興係 13006 1 務 価 係名 事 業 地域コミュニティ支援事業 細事業 小規模集落対策事業 実施計画事業 小規模集落対策委託事業 なし 総合計画体系図No.→( 287 豊後大野市地域コミュニティビジョン 策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 H25 年度 ~ 小規模集落対策事業委託料 款 策 年度 7,707 2 1 地域コミュニティ活動の推進 項 1 施策展開 ①地域コミュニティを育成する 画 名 7 ~ コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 74 P 過疎計画 ~ 総合戦略 決算 26 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 高齢化率が50%を超える旧小学校区単位に設 R 3 計画 7,707 707 7,000 ・ 7 回降 フークショップ等の開催 ・ 大野町東部・南部 ・緒方町小富士 ・ 三重町菅尾 計2 立された地域振興協議会に、地域の課題把握や協議会の運営等を行う地域支援員を配置し、住民が安心して暮らせる地域づくりの体制 707 R3 当初予算 7,000 7, 707 決 算 額 7,508 7,500 8 の整備を図る。 R 4 計画 107 10, 107 10,000 R4 当初予算 9,372 9,000 372 決 算 額 11,307 R 5 計画 11,000 307 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 小規模集落対策事業業務委託の締結 R6計画 14,907 14,000 907 (契約内容) |契約内容| |地域振興協議会の設置 |地域づくり計画に基づく活動の実施 |地域支援員の配置 |一クショップ等の開催

当初予算 決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

18,507

62, 535

17,079

7,508

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		協業	目標値	8	9	10	12	15
С	1 配置数	地域支援員配置数(令和7年度末)	個別計画	7	協議会	実績値	7				
活					%	達成率	87. 5				
動指			総合戦略		□	目標値	12	12	14	14	15
標	2 開催数	ワークショップ等開催数 (年度末)	個別計画	10	ī	実績値	20				
	9	%	達成率	166. 7							
		✓ 総合計画		協議会	目標値	8	9	10	12	15	
D	1 設置数	地域振興協議会設置数(令和7年度末)	✔ 総合戦略	7	会	実績値	7				
成			□ 個別計画		%	達成率	87. 5				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 高齢化率が50%を超える旧小学校区単位に設立された地域振興協議会には、地域の課題把握や協議会の運営等を行う地域支援員を配置し、住民が安心して暮らせる地域づくりの体制整備のための支援を、引続きおこなう必要がある。また、地域振興協議会設立に向けて住民間の合意形成のために話し合いを続けている地域については、引続き設立支援に向けた取組を継続する必要がある。 市民への支援体制の整備を検討し、引き続き支援を行う。

令和5年度の事業の方向性

R6

R7

事業番号	枝番	(令和:	3 年度!	計画	) #	総合i	計画場	₹施言	計画	書(3	兼進	**************************************	管理	里)									(様式1)
13006	2	(令和(	3 年度 2	夬 算	) ]	<b>j</b>	務	事	業	評	価	Ī	周	書	課局名	i s	ちづ	くり推	進課	係名	i	地域技	辰興係
事業	地域コミ	ュニティ支援事	<b>事業</b>	i	細事業	小規	見模集落	対策事	事業				実	施計画	事業 地址	或づく	り交付	寸金事業	É		-	終了 年度	なし
総合会計 一般		No.→ ( 288 ) 策 IV 豊かさ	をつなぐ情	協働に	よるま	ちづく	ŋ					豊イ	後大ビジ	野市地	也域コミ	ュニテ	·	令和 3	年月	度 主な歳	出名和	<b></b>	当初予算額
款 2		<b>策</b> 1 地域コ									另 言		間	H25	年度 ~		年度	地域づく	くり交	付金			9, 54
項 1	施策展				-						運	Z											
目 7 決算 26	後期。	<b>基本計画</b> 74	P	過码	計画	V	総合戦	略		コロナ充当		期	間	-	年度 ~		年度						
	A 事業目	的・内容・実	植	1	1								В	事業計	画額・2	<b>决算額</b>	等						
	事業の	目的と内容		年度			主な	活動	実績						事業到	費計	田旧 =	支出金	+sh	財源内 方債	訳 その		*位:千円) 一般財源
<事業の目	的>			~	地域で	ぎくりる	を付金の	交付対	対象:	7団体			R	3計画	i 9	, 546	四尔人	<u>хшж</u>	냰	刀頂		9, 000	11X 121 113 541
設立された	地域振興協	習える旧小学校  協議会に、地域→	づくり計	R3								- 1	┡-	初予算		, 546						9, 000	546
援し、地域の	の創意・コ	ばづくり交付金 大・責任によ	により支 る特色の									- 1	決	算 額	+	, 981						3, 300	68
ある地域づ	くりの展開	目を凶る。										1	R	4 計画	i 12	, 446					12	2,000	44
				R4								- 1	当	初予算	10	, 299					10	0,000	299
													決	算 額	į								
													R	5 計画	Ī 13	, 946					13	3,000	940
				R5								- 1	当	初予算	Ī								
< 令和3年 ・地域づく		内容(計画)>										_	決	算額	Į								
・ 地域・フへ・	り文刊金い	次刊										- 1	⊩	6 計画		, 446					18	3,000	440
				R6								- 1		初予算	_								
				_								-	H	算額	1								0.44
				R7								- 1	-	7 計画 初予算		, 946					22	2, 000	946
				1(7								- 1		算額	-								
												-	H	画額	-	, 330					74	1,000	3, 33
						R3	3 ~ 1	R7 1	合 計	t		- 1	⊢	初予算	-	, 845						9, 000	845
												- 1	決	算 額	į 8	, 981					8	3, 300	683
	評価指	標名	指	漂値の	説明(	算出方	法等)		各	計画指標	R	2実	績値	単位	達成度	-	R3	R4	1	R5		R6	R7
C 1 交付	件数		地域づく 末)	り交付	<b>十金</b> 交付	什数	(令和7年	F度		総合単			7	協議会	目標値 実績値		7		9		10	12	15

_	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R 2 実績値	畄位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
c	1 交付件数	地域づくり交付金交付件数(令和7年度	総合戦	各 7	協議会	目標値	8 7	9		<u> </u>	12 15
活	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	末)	□ 個別計画	II .	%	達成率	87. 5				
動 指			□ 総合戦闘	各		目標値					
標	2 —		□ 個別計區	<u> </u>		実績値					
		1	レ 総合計画	5	協	達成率 目標値	0	0		10	10 15
D	1 設置数	地域振興協議会設置数(令和7年度末)			議会	実績値	8	9		10 1	12 15
成	- 以巨数	地域派與励哦云以巨数 (17411十段本)	個別計画		会 %	達成率	87. 5				
果			□ 総合計画	1		目標値					
指標	2 —		□ 総合戦闘	Š.		実績値					
			□ 個別計画	<u> </u>	%	達成率					
Е	評価対象外の理由 0評価対	対象						(5	対象外事	業は <b>F~I</b> 札	未記入 可)
		 評価項目/5つの視点(1~5点で	≕(盃)				一次	評価(係:	長)	二次評価	(課長等)
		計画項目グランの抗点(1~5点)					評価点	評価	点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているか	11	1 → 2 → なっていない	⇒ 3 -	→ 4 → 5  なっている	3	点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うが	か(同じ成果指標設定事業内での優先度)		1 → 2 → 優先度低い	3 -	→ 4 → 5 優先度高い	3	点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進む	めることができたか		1 → 2 → できなかった	3 -	→ 4 → 5 できた	3	点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は	計画どおり推移しているか		1 → 2 → 移していない		→ 4 → 5 推移した	- 3	点	15 点	3 点	15点
				1 -> 2 ->	3 -	<del>1</del> 1 <del> </del>	1		<u> </u>		1

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 地域振興協議会の取組に対し引続き支援を行う必要がある。 また、拠点整備について、新たな補助制度をつくる必要がある。 市民のニーズに対応し、更に支援を続ける。

I 令和 5 年度の事業の方向性

5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

 $\Rightarrow$ B. 見直しの上で継続-1 拡充 /25点

/25点

施 策 1 地域 施策展開 ①地域	) いさをつなぐ板 コミュニティ	島働に	<b>畑事業</b> よるまち		集落対策	策事業	<b>評</b>	価	調	<b>一</b> 実施計画	事業小	規模集	落等支	援補助	事業		終了 年度	なし
政     策     IV     豊力       施     策     1     地域       施策展開     ①地域	コミュニティ		よるまち	づくり													十段	
施 策 1 地域 施策展開 ①地域	コミュニティ		よるまち	づくり														
施策展開 ①地域		活動 σ						個	イビ	大野市地 ジョン		ュニテ	`   <del>{</del>	令和 3	年度 主な	歳出名称	ì	当初予算額
1								別:	期間	H26	年度 ~		年度 /	小規模集	落等支援事	業補助金		7, 60
	コミュニティ		<del></del>					画名										
後期基本計画 7	74 P 🗌	過疎	計画	ン 総	合戦略	Ш	コロナ充当		期間		年度 ~		年度					
A 事業目的・内容・	実績									3 事業計	画額	決算額	<b>等</b> L					
事業の目的と内容		年度			主な活	動実績	ŧ				事業	費計	田旧士	山仝				位:千円) 一般財源
的>	w do motto		小規模集	[落支援	事業費	補助金			┪┝	R3計画	1	7. 600		_	地力頂	- ( 0)	•	1, 600
也域づくりの推進を図	るため、地	R3	・押請し	∄体: 5 ∄体: 2	団体 団体				I۱					-				1, 600
誰持及び活性化を考え	、活力ある								ž	夬 算 額	i (	6, 005	4	1, 739				1, 266
hオストレで典かわっ	ミューティ								ī	R 4計画	,	7,600	6	5, 000				1,60
≛を図ることかでさる フーク・コミュニティ	推進枠	R4							ì	当初予算		7,600	6	i, 000				1,600
JJ文									à	夬 算 額	İ							
									I۱			7,600	6	5, 000				1,600
<b>克尔斯尔士</b> 克(利亚):		R5							I⊩									
<b>度の取組内容(計画)</b>    )案内周知	>								┨╟			7 600		. 000				1 000
)ヒアリング		R6							I⊢			7,600		5, 000				1, 600
	画策定支援	No							I۲		-							
)進捗管理 『業の事業完了支援									┨╟			7, 600	6	5, 000				1, 600
		R7							1	当初予算								
									à	夬 算 額	i							
									ī	計画額	3	8,000	30	, 000				8, 000
				R3	~ R7	合	計		Ì	当初予算	1	5, 200	12	2,000				3, 200
									à	夬 算 額		6, 005	4	, 739				1, 266
一角 合作 成 値 門 大重 ブ ガ	事業の目的と内容	事業の目的と内容	事業の目的と内容	事業の目的と内容	事業の目的と内容	事業の目的と内容    本度   まな活   か	事業の目的と内容	事業の目的と内容	事業の目的と内容	事業の目的と内容    本	事業の目的と内容   年度   主な活動実績	事業の目的と内容   年度   主な活動実績   事業     事業	事業の目的と内容   年度   主な活動実績   事業費計   第	事業の目的と内容     年度     主な活動実績       第において、地域による自発的かは域づくりの推進を図るため、地域でくりの推進を図るため、地域ではあったできる。計画では対する取組みに対する取組みに対する取組みに対する取組みに対する取組みに対する取ることができる。一ク・コミュニティ推進枠を含えたができる。一ク・コミュニティ推進枠を移向して関係を図ることができる。一方を図る。一方を図ることができる。一方を図ることができる。一方を図る。 「方を図る。 「方を	事業の目的と内容     集度     主な活動実績       がにおいて、地域による自発的かし域づくりの推進を図るため、地域でもの推進を図るため、地域でもの推進を図るため、地域ではあるとできかなっまーディ組織等が自ら集落と指力ある。出所では対しる配置のようとができる。一ク・コミュニティを図ることができる。一ク・コミュニティ推進枠で表す。大変枠枠     R4     R3 前画 7,600 6,000 分の 6,000 分別 額 6,000 分別 額 6,000 分別 第 額 6,005 4,739 内の 6,000 分別 第 6,000 分別 第 7,600 6,000 分別 第 7,600 6,000 分別 第 7,600 6,000 分別 第 6       度の取組内容(計画) > 案内周知     R6     R6     R6     R6     R6     R7       選連が管理業の事業完了支援     R7     R7     R7     R3 一 R7 合計     R7     日本の事業計画 第 7,600 6,000 分別 7,600 6,000	事業の目的と内容   度   主な活動実績   事業費計   国県支出金 地方債   国県支出金 地方債   国県支出金 地方債   国界支出金 地方債   日本	# 東	事業の目的と内容   度   まな活動実績   事業費計   財源内訳 (申

活				JāT 🕮 I	%	達成率	250.0				
動指			□ 総合	戦略		目標値					
標	2 —		個別	計画		実績値					
				ппе	%	達成率					
			□ 総合	計画	件	目標値	2	2		2	2
D	1 採択件数	採択件数	□ 総合	<b>戦略</b> 2		実績値	2				
成			□ 個別	計画	%	達成率	100.0				
果指			□ 総合	計画		目標値					
標	2 —		□ 総合	·戦略		実績値					
			□ 個別	計画	%	達成率					
	評価対象外の理由 ()評価対	<del> </del>						(5	対象外事態	業は <b>F~I欄</b>	未記入 可)
E	日本の の 日本の の 日本の の 日本の の 日本の の 日本の の 日本の の 日本の の 日本の の 日本の の 日本の 日本	]									,
E	11個/J\$/70/2日 0 計圖/A		~ 5 点で評価)					マ評価 (係)		二次評価	
E	OFF IIII	評価項目/5つの視点(1・	~5点で評価)		. 0	. 4 . 5	評価		長)		(課長等) 評価点合計
F	О д г падх			1 → 2 -		→ 4 → 5 なっている	評価				
	1. 市民満足(市民アンケート)	評価項目/5つの視点(1~	ているか		⇒	なっている	評価	点評価		評価点	
F 評	1. 市民満足(市民アンケート)	評価項目/5つの視点(1~ の向上が期待できる事業内容となっ )(同じ成果指標設定事業内での優先	ているか	なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった	⇒ 3 · ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	なっている → 4 → 5	評価	点評価		評価点	
F	1. 市民満足(市民アンケート) 2. 事業の優先度は高いと思うが	評価項目/5つの視点(1~ の向上が期待できる事業内容となっ い(同じ成果指標設定事業内での優先 かることができたか	ているか	なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった 1 → 2 - 推移していなし	⇒ 3 → 3 → 3 → 3 → 3 → 3 → 3 → 3 → 3 → 3	なっている → 4 → 5 優先度高い → 4 → 5 できた → 4 → 5 推移した	評価 : : : : : : :	点 評価 3 点 3 点		評価点 3 点 3 点	
F 評	1. 市民満足(市民アンケート) 2. 事業の優先度は高いと思うだ 3. 事業計画どおりに事業を進め	評価項目/5つの視点(1~の向上が期待できる事業内容となっい(同じ成果指標設定事業内での優先のることができたか	ているか	なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった 1 → 2 -	⇒ 3 · ⇒ ⇒ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	なっている → 4 → 5 優先度高い → 4 → 5 できた → 4 → 5 推移した	評価	点 評価 3 点 3 点 3 点	点合計	評価点 3点 3点 3点	評価点合計
F 評	1. 市民満足(市民アンケート) 2. 事業の優先度は高いと思うだ 3. 事業計画どおりに事業を進る 4. 活動指標の達成状況(率)は記	評価項目/5つの視点(1 の向上が期待できる事業内容となっい(同じ成果指標設定事業内での優先 かることができたか 十画どおり推移しているか 十画どおり推移しているか	でいるか	なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった 1 → 2 - 推移していない 1 → 2 - 推移していない H 【担	⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3	なっている → 4 → 5 優先度高い → 4 → 5 できた → 4 → 5 推移した → 4 → 5 推移した ・ # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	評価	点 評価 3 点 3 点 3 点 3 点 3 点 i・改善策等	点合計 - 15 点 /25点	評価点 3点 3点 3点 3点	評価点合計
F 評 価	1. 市民満足(市民アンケート) 2. 事業の優先度は高いと思うだ 3. 事業計画どおりに事業を進め 4. 活動指標の達成状況(率)は記 5. 成果指標の達成状況(率)は記	評価項目/5つの視点(1 の向上が期待できる事業内容となっい(同じ成果指標設定事業内での優先 かることができたか 十画どおり推移しているか 十画どおり推移しているか	でいるか 度)	なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった 1 → 2 - 推移していない 1 → 2 - 推移していない H 【担	⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3	なっている → 4 → 5 - 優先度高い → 4 → 5 - できた → 4 → 5 - 推移した → 4 → 5 - 推移した	評価	点 評価 3 点 3 点 3 点 3 点 3 点 i・改善策等	点合計 - 15 点 /25点	評価点 3点 3点 3点 3点	評価点合計
F 評 価	1. 市民満足(市民アンケート) 2. 事業の優先度は高いと思うだ 3. 事業計画どおりに事業を進め 4. 活動指標の達成状況(率)は記 5. 成果指標の達成状況(率)は記	評価項目/5つの視点(1 の向上が期待できる事業内容となっい(同じ成果指標設定事業内での優先のることができたかけ画どおり推移しているかけ画どおり推移しているかけ画どおり推移しているかけ悪どおり推移しているかは課題・改善策等】 ※今後の事業の過	でいるか 度)	なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった 1 → 2 - 推移していない 1 → 2 - 推移していない H 【担	⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3 ⇒ 3	なっている → 4 → 5 優先度高い → 4 → 5 できた → 4 → 5 推移した → 4 → 5 推移した ・ # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	評価	点 評価 3 点 3 点 3 点 3 点 3 点 i・改善策等	点合計 - 15 点 /25点	評価点 3点 3点 3点 3点	評価点合計

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

36,000

12,000

2,200

400

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 まちづくり推進課 地域振興係 13009 1 (令和 3 年度決算) 事 務 業 評 価 係名 事 業 地域コミュニティ支援事業 細事業 地域コミュニティ支援事務費 実施計画事業 ふるさとまつり実行委員会補助金 なし 総合計画体系図No.→( 295 策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 ふるさとまつり実行委員会補助金 款 策 2 協働によるまちづくりの推進 期間 年度 2 年度 ~ 6,200 項 施策展開 ①協働の仕組みづくりと意識を高める 1 名 7 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 76 P 総合戦略 決算 26 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 交流と賑わいのある生き生きとした豊後大野の魅力を、市内外へ発信するために、「豊後大野市ふるさとまつり」を市全体のまつりと位置付け、地域の活性化及び一体感の醸成を図ることを目的に開催する。 コロナ禍に伴い開催中止 R 3 計画 6, 200 200 6,000 R3 当初予算 200 6,200 6,000 決 算 額 R 4 計画 500 7,500 8,000 R4 当初予算 6,200 6,000 200 決 算 額 R 5 計画 8,000 7,500 500 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・コロナ過における実施の協議(中止含) ・R4年度以降のふるさとまつりの検討 R6計画 8,000 7,500 500 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 500

6 6
12,000

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの発点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline results & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	∕25点	3 点	/25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 ※今後の事業の進め方等 ふるさとまつりの開催にあたっては、これまでの開催方法を見直し、感染症対策に留意するとともに、行政側のブースを減らし、民活を誘導するようブースを増やすなど、民間主導と行政は側面的支援に徹するよう方向転換をすることが必要である。また、アフターコロナに対応した事業実施が必要である。 ーコロナに対応した、事業実施を行う。

令和5年度の事業の方向性

R7

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

8,000

38, 200

12, 400

当初予算 決 算 額

計画額

当初予算

決 算 額

6,000

2,400

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 まちづくり推進課 地域振興係 13009 2 (令和 3 年度決算) 事 務 業 評 価 係名 事 業 地域コミュニティ支援事業 細事業 地域コミュニティ支援事務費 実施計画事業 提案型まちづくり活動補助事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 292 策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 2 協働によるまちづくりの推進 期間 年度 提案型まちづくり活動補助金 2 年度 ~ 3,000 項 施策展開 ①協働の仕組みづくりと意識を高める 1 画 名 7 □ 過疎計画 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 76 P 総合戦略 決算 26 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 **<事業の目的>** 市民活動団体の先駆性や柔軟性を生かした 事業アイデアの募集 (R3.3.1~4.16) 追加募集 (R3.6.28~7.9) 提案した団体へのヒアリング 7団体 審査委員会の開催 (書類審査2回、プレゼンテーション審 R 3 計画 3,000 イデアやノウハウによって、より効果的な地域の課題解決や活性化、市民サービスの向上 R3 当初予算 3,000 3,000 ・採択団体の選定・通知 ・補助金の交付 決 算 額 2,400 2,400 R 4計画 3,000 3,000 R4 当初予算 3,000 3,000 決 算 額 R 5 計画 3,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 事業アイデアの募集
 提案団体へのヒアリング
 審査委員会の開催
 採択団体の選定・通知
 補助金の交付
 事業への着手 R6計画 3,000 3,000 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 3,000 3,000

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	5	6	6	6	6
С	1 提案団体数	提案団体へのヒアリング実施回数	□ 個別計画	7	1	実績値	7				
活					%	達成率	140.0				
動指			□ 総合戦略		□	目標値	2	2	2	2	2
標	2 開催数	審査委員会等の開催数	□ 個別計画	2	ш	実績値	3				
					%	達成率	150.0				
			□ 総合計画		件	目標値	3	6	6	6	6
D	1 採択数	提案団体の採択数	□ 総合戦略	5	1	実績値	4				
成			□ 個別計画		%	達成率	133. 3				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

当初予算 決 算 額

計画額

当初予算

決 算 額

15,000

6,000

2,400

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの税点(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restance & & \\ \hline restance & & \\ \hline \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 ※今後の事業の進め方等 この事業をキッカケに新しい団体も設立されており、社会的な使命を達成することを目的 とした市民活動団体が増えていくことは、本市の魅力を非常に高めていると考えている。 採択された団体が事業終了後も継続的・発展的な活動が行えるように、団体の活動を把握 しながら、状況に応じて国や県等の事業を団体に情報提供など行っていくことが必要であ 市民のニーズに対応し、適正に事業実施をする。 また、事業開始から5年経過したことから事業内容の見直しを行う必要がある。

令和5年度の事業の方向性

R7

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

13012	_ 1 . 🗔			•	T 4	支言	-	4 /	•	440 F	1 13		天师	也計	画書	- ()	下進:	<b>沙</b> 门		<b>E</b> /									(様式1)
- 414	2 1	(	令和	3	年月	隻 泫	夬 舅	<b>T</b> )	)	事	矛	务	事	業	ŧ	評	価	Ē	周	書	課月	<b>高名</b>	まちつ	づく りき	推進課	係:	名	地域	振興係
事 業	地域コミ	ュニテ	ィ支援	事業	É			細	事業	坩	也域	活動	支援	事業					実加	施計画:	事業	地域活 )	動支援	事業	地域お	こし協	易力隊	終了年度	
総	8合計画体系図									ı I											1							1	
計一般	政政	策 I	V 豊かる	さを	つな	ぐり	協働に	こよ	さま	ちつ	5< 1	ŋ					個								3 年度			称	当初予算額
<b>款</b> 2	施	-+	地域コ														別計	期	間	4	年度 ~		年度		度任用項		H		99
項 1	施策展		②地域を			_					,			_		1	画名								等借上料		<b>宇</b> 仁田昭	1日公	33
目 7		基本計	画 74	Р	<u>'</u>		過	疎計	画	L		総合草	<b>戦略</b>	Ш		ナ充当		期	間	4	年度 ~		年度	)		マロ 十万	人门工用	(以)	18
26	A 事業E	的・	内容・実	種															В	事業計	画額	・決算	額等	期末手	·当				12
	事業の	目的と	内容				年度					主	な活	動実	績						事	業費計			1	財源内		,	単位:千円)
<事業の	)目的>						及		+#11 ti	むおゝ	1 :	セカト		3夕	差任	1名	退任	4	_	0=1=	-	1 00	-	支出金	地力	「債	その	の他	一般財源
8市地域2	から本市に利 の開発、販売	多住し	、地域フ R 等の#	ブラ: hば:	ンド・	や 1.	R3		うは	っ、す	きち	がく観光	り推え	<b></b> 生課	退任	·1名 ·3名	石工	۱	_	3計画 初予算	-	1, 89	-						1, 899
を援や農権	林水産業への力活動」を行	り従事	、住民支	え援え	など	の	кэ		,	J , [F	1]	防たノムド	ж		11日	.041		۱	_	がア昇 算額	+	1, 89	-						1, 89
E・定着		14.74	アワ、A	2496	100,	Æ	_											-	-	身 做 4計画	<u> </u>	1, 71 4, 06	+						4, 06
							R4											۱	_	初予算	-	4, 42							4, 421
							11.4											۱	_	算額	-	1, 12	1						1, 12
							$\vdash$											┪	H	5計画	+	4, 06	8						4, 068
							R5											۱	┢	初予算		1,00							1, 00.
<令和3	3年度の取組	内容(	計画) >															۱	決	算 額	i								
	力隊交流事業 着後のフォロ																	1	R	6計画	1	4, 06	8						4, 068
新規募集	集に向けた要	要項作用	成				R6											۱	当	初予算									
																		۱	決	算 額	i								
																		٦	R	7計画		4, 06	8						4, 068
							R7											۱	当	初予算									
																			決	算 額	i								
																		1	計	画 額	i	18, 17	1						18, 17
										ı	₹3	~	R7	合	計			۱	当;	初予算		6, 32	0						6, 320
																			決	算 額	i	1, 71	4						1, 71

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
С	4 pla 24 pla (24) = 1 pla 1 1 1 1 1 TIT life	Little David V. or TEMP to be	□ 総合単	战略	口	目標値実績値	2	2		2	2 2
	1 定着定住に向けた研修	人材育成のための研修参加	□ 個別言	一画	%	達成率					
活動指			□ 総合単	战略		目標値					
標	2 —		□ 個別言	一	%	実績値					
			総合記	一	"	目標値	1				1
D	1 定住数	地域おこし協力隊任期後の定住数	総合単		人	実績値	1				1
成		PENNA COMPANIENTE NO CERNA	□ 個別言		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合言	画		目標値					
標	2 —		□ 総合戦	略		実績値					
			□ 個別言	画	%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	<b>対象</b>						(	対象外事	業はF~Ⅰ欄	未記入 可)
							一次	マ評価 (係:	長)	二次評価	(課長等)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	<b>計(曲)</b>				評価	点 評価	点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているか	),	1 → 2 - なっていない	→ 3 →	→ 4 → 5 なっている		3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか	い(同じ成果指標設定事業内での優先度)		1 → 2 - 優先度低い	→ 3 →	→ 4 → 5 優先度高い		3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進め	りることができたか		1 → 2 - できなかった	⇒	できた	= ;	3 点		3 点	
ш	4. 活動指標の達成状況(率)は計	†画どおり推移しているか		1 → 2 - 推移していない	⇒	→ 4 → 5 推移した	- ;	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計	†画どおり推移しているか		1 → 2 - 推移していない		→ 4 → 5 推移した	- :	3 点	/25点	3 点	∕25点

I 令和 5 年度の事業の方向性

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

現在活動中の隊員の多くが活動終了後の定住を希望していることは、非常に良い傾向である。今後は地域おこし協力隊の業務内容を明確化するとともに、活動を「見える化」することが必要である。

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

市民のニーズに対応し、適正に事業実施をする。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 まちづくり推進課 (令和 3 年度決算) 事 企画調整係 10001 1 務 業 価 係名 事 業 企画事業 細事業 自治基本条例関連事業 実施計画事業 自治推進委員会事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 292 策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 当初予算額 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 別計 自治推進委員会委員報酬 款 期間 年度 249 2 2 協働によるまちづくりの推進 年度 ~ 項 施策展開 ①協働の仕組みづくりと意識を高める 1 費用弁償 58 名 目 7 後期基本計画 76 P □ 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 通信運搬費 26 決算 27 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 自治基本条例(豊後大野市まちづくり基本 条例・平成24年3月)は、広範囲な市民理解と 合意を得ることが必須であり、さらには市全 体への浸透を図ると同時に市外からの認知と 理解を得る必要があるため、市民等への啓発 を推進する。 自治推進委員会の開催 5回 R 3 計画 333 333 R3 当初予算 333 333 決 算 額 236 236 R 4 計画 333 333 を推進する。 豊後大野市自治推進委員会の所掌事務は、 ①条例の運用状況に関すること、②条例による自治の推進の検証に関すること、③条例の 見直しに関すること、④その他自治の推進に 関すること。 R4 当初予算 291 291 決 算 額 R 5 計画 333 333 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・自治推進委員会(任期2年、現在9名)の開 R6計画 333 333 催(年6回予定) ※R3.9月に委員改選 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 333 333 R7 当初予算 決 算 額 計画額 1,665 1,665 R3 ~ R7 合 計 当初予算 624 624 決 算 額 236 236

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	6	6	6	6	6
С	1 自治推進委員会の開催回数	開催回数(年間)	□ 個別計画	5	ш	実績値	5				
活					%	達成率	83. 3				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
	<u> </u>		個別計画		<b>%</b> 0	<b>達</b> 成率					L

E 評価対象外の理由 ○評価対象 (対象外事業は F~ I 欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(199点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline retarrow &                                  $	4 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	12 点	3 点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点	∕25点	—— 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
まちづくり基本条例は市政運営の最高規範とされるので、他の条例の制定等や運用にあたっては、まちづくり基本条例の趣旨を最大限尊重し整合性を図る必要がある。	自治基本条例の趣旨に基づき、効果的な事業実施に努める。

I 令和5年度の事業の方向性

**→** A. 到

事美	業番号	枝番		(令	和 3	3 年	■度	計	画	) ;	総合	計画	画実	施計i	画書	: (兼	進	捗徻	管理	!)							<b>.</b>		(様式1)
10	0003	1		(令	<b>≨</b> □ 3	年	度	決	算	) ]	事	務	事	業	ŧ i	評	価	訓	問	書	課局:	名 寸	ミちづ	くり推	推課	係名	ž	企画	調整係
事		企画事業							糸	事業	過	疎対領	<b>策事業</b>						実施	計画	事業 過	疎対領	货事業					終了 年度	
会計款項	総合計 一般 2 1	+画体系図 政 施 施策風	策策	IV 豊 4 主	皇かさ 体的で	で計	画的	な行	財政	よるま (運営の への通	の推進	É					計画	発用	後大里 展計画	珂	過疎地域 年度 ~				過疎地	<b>ミ主な</b> 域振興協			<b>当初予算額</b> 294 20
目 決算	7 27	後期	基本語	計画	80	Р		] ;	過疎	計画		総合	含戦略		JD:	ナ充当	名	期間		:	年度 ~		年度	人口減 会負担	少に立 金	ち向かう	自治体	全重2	10
		4 事業目				<u> </u>		T :	ŧ l				->- L- >-		+			ا ٦	B 1	有集事	画額・		<b>真等</b>			財源内	訳	<u>(</u> )	単位:千円)
		事業の	目的。	と内装	¥				· 隻					<b>5動実</b> 網				_			争業	費計	国県	支出金	地	方債	そ(	の他	一般財源
令和		1日施行												持続的		計画( 步管理	令和3	3	R 3	計画	Ī	324							324
大野市	1過疎地	する特別  域持続的	内発用	副信	i (令和	づく 和3 <sup>生</sup>	豊後 F度~	_ I	3										当初	]予算	Ĭ .	324							324
令和7年	年度)(	の推進に	取り;	組む。				L											決〔	算額	į	307							307
																		П	R 4	計画	Ī	324							324
								F	₹4										当初	]予算	Ī	250							250
								L											決〔	算額	į								
								ı											R 5	計画	Ī	324							324
								ı	₹5										当初	]予算	Ī								
		度の取組				L: /	Λ ±==	Ĺ											決〔	算額	į								
		過疎地域 F度)の					<b>宣和</b> 。	3											R 6	計画	i	324							324
								F	₹6										当初	]予算	Ī								
								L											決〔	算額	į								
																		П	R 7	'計画	Ī	324							324
								ı	R7									П	当初	]予算									
																			決〔	算額	į								
																			計i	画額	į	1,620							1,620
											R	3 ~	R	7 合	計			П	当初	]予算		574							574
																			決〔	算 額	Į	307							307
		評価指	5標名				#	5標(	直の 記	说明()	复出プ	方法等	)		各計画	<b>五指標</b>	R 2	2 実終	<b>結値</b>	単位	達成度	F	R3	I 6	84	R5		R6	R7
		1 1-										,,	-	<u> </u>				1			目標値	_		+ -					
C 1	_															総合戦略				ŀ	実績値								
活																固別計画	1		ı	%	達成率	<u> </u>							
動指														Г		総合戦略	ķ		1		目標値	1							
	_															固別計画					実績値	Ī							
															1	쁘게하다	1			%	達成率	<u> </u>							
															í	総合計画	<u> </u>				目標値	1							
<b>D</b> 1	_															総合戦略	各		L		実績値	_							
成 _														[	_	固別計画	+			%	達成率	_							
果指																総合計画	Ū			L	目標値	_							
標 2	_															総合戦略			F	-	実績値			-					
															1	固別計画	Ū			%	達成率	<u> </u>							<u></u> _
E	評価対	象外の理	由	0 評	価対	象																			(文)	象外事	業は <b>F</b>	~ I 欄	未記入 可)
			,																				_	-次評価	(区上	Ξ \	- y	を製紙 (	課長等)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)

※今後の事業の進め方等

1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか

「豊後大野市過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和7年度)」の進捗管理を行い、必要に応じて計画見直しを行う必要がある。

令和5年度の事業の方向性

2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)

3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか

4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

【担当係長の意見・課題・改善策等】

評

価

→ 4 → 5

なっていない

優先度低い **→** 2

できなかった

推移していない ⇒

1 → 2 → 3 → 推移していない ⇒

なっている 4 → 5

優先度高い

できた

推移した

推移した

7年度までの計画に基づき事業を実施し、適時、進捗管理を行う。

4 **→** 5

【担当課長職等の所見】

評価点 評価点合計

3 点

点

10 点

/25点

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

評価点

3点

3 点

点

評価点合計

9点

/25点

 $\Rightarrow$ 

事業番号	枝番
10004	1
事業	企画事

Ą	<b>事業番号</b>	枝番	•	日 3 年				8合計	_	色計曲		_		步管	理)	_					1			(休工)
	10004	1	(令和	13年	F 度 🦻	<b>上算</b>	)	<b>下</b> 務	事	業	評	F	価	調	書	課	局名	まちづく	くり推	進課	係名	3	企画	調整係
事	業	企画事業				វាំ	細事業	地域創	生事業					J	€施計画	事業	地域創	生事業					終了 年度	
会計		計画体系図№			つなぐ協	動に	よるます	ちづくり									まち・ひ	٤ ع١	令和 3	年度	き 主な詞	<b></b>	各称	当初予算額
款	2	施策	4 主体	体的で計	画的な	行財政	)運営の	推進					別		ごと創生 R3			年度	草刈等氢	委託料				50
項	1	施策展開	3社会	ミインフ	ラの老	朽化等	等への適	i切な対応	<i>i</i>				計 - 画					4	サイクル	レイベ	ント委割	料		20
目	7	後期基本	計画	80 P		過疎	計画	✓ 総	合戦略		コロナき	充当	名	期間		年度 ・	~	年度	愛媛大ら 金	}交流	市町村道	携事	業負担	10
決算	27	A 事業目的	. 内容 .	. 安維			•								2 車番1	計画数	質・決算権	<b>有效</b>						
		事業の目的				年			主か汗	動実績				֓֞֓֞֓֞֓֓֞֓֓֡֓֓֡֡֡֓֡֡֡֡֡֡֡	<del>) 于本</del> (		<b>本                                    </b>	96.43			財源内	訳	(	単位:千円
	*** O O		JC MA			度	(A) dett.	-1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1				A =	00 MJ	┧┟	_	<b>→</b>	*未良司	支県国	出金	地:	方債	そ	の他	一般財源
		ひと・しごと						市広域圏 . 27)等	事業サ/	イクリン	ンク大	会の	開催	I⊢	3計画		653	3						65
<b></b> 野豆	(令和3年	市まち・ひと ≤度~令和7年 戦略推進委員	・しこと度)につ	と創生総ついて、	豊後	R3								I⊢	当初予算	-	953							95
証・	見直し	戦略推進安貝 等を行い、地	会におり	かて計画 事業の推	の検  進を									4 F	<b>央算</b>		681	+						68
図る	0					D4								т⊢	R 4 計画 当初予算	-	853	-						1 00
						R4								ΙН	ラ 初 ア デ 央 算 名	_	1, 093	1						1, 09
														<b>-</b> F	へ <u>チェ</u> R 5 計画	-	853						-	85
						R5								I⊢	当初予算	_	000							- 00
< '	令和3年	F度の取組内容	容(計画)	>										ž	<b>央 算 名</b>	頁								
		市総合戦略推 広域圏事業サ												ī	₹6計画	E I	853	;						85
イド	の開催	交流事業の実		. , , ,	. 1 /	R6								ì	当初予算	草								
2	.ng/	人加手术小人	ne.											ż	夬 算 匒	頁								
														F	マフ計画	E .	853							85
						R7								È	当初予算	草								
														4 1-	央 算 名	_								
								_ •						H	计画 名		4, 065							4, 06
								R3	~ R7	合 7	計			I⊢	当初予算 夬 算 額	-	2, 046	-						2, 04
		評価指標名	Z			要値の	<b>最初(</b> 個	拿出方法等	左)		計画信	<b></b>	Тьо	宇結	直単位	·達F	<b>龙度</b>	R3	R4	4	R5		R6	l R7
		ראוםנשוום			1017	不同の	D[9] (¥	+ш/л/Д¬	7	1 -			+	大根			票値	2		2	110	2		2
С	1 総合	戦略推進委員	会の開催	崔開	催回数	(年間	])					合戦			4 □		漬値							
活	四数										」 値	別計画	Щ		%	達月	<b></b>							
動指											] 総·	合戦略	各				票値							
標	2 _										] 個:	別計画	ΞĪ		0.4		漬値 * ボ					_		
										V	繰-	合計區	<u> </u>		%		ず で で で で で で で で で で で で り で り で り で り	21		21		21	21	1 2
D		都市広域圏で	の連携	事	<b>隽事業</b> 数	女 (累	.計)			<u> </u>		合戦略		1	事 業		<b>漬値</b>	17		21		21		2
成	*業数											別計画			%	達用	<b></b>	81. 0						
果指											総	合計画	1			目相	票値							
標	2 —										総	合戦略	各				<b>漬値</b>							
											固	別計画	9		%	達月	<b>戊率</b>							
E	評価対	対象外の理由	0 評値	価対象																文)	寸象外事	業は	F~I欄	未記入 可
					評(	価項目	/5つ	の視点(	1~5点	で評価	)							— : 評価	欠評価 fi占		長) 点合計		次評価 (	(課長等) 評価点合語
F	1. 市	民満足(市民	アンケー	ト) のぼ	句上が期	待で	きる事業	真内容とな	いってい	<b>るか</b>		-	1 →		→ 3 -		→ 5 っている	- H	3点	, pm1		н	3点	
· 評	2. 事	業の優先度は	高いと思	うか(同	司じ成果	指標	設定事業	(内での優	長先度)					2	→ 3 -	→ 4		1	3 点				3 点	
価	3. 事	業計画どおりに	こ事業を	進めるこ	ことがで	きたが	か					-	できなが	かった	: ⇒	7	→ 5 できた		3 点				3 点	
Щ	4. 活	動指標の達成な	伏況(率)	は計画と	どおり推	移し <sup>-</sup>	ているか	`		-		推	移して	いな	→ 3 ·	推	移した		3 点		15 点		3 点	15 <sub>g</sub>
<u></u>	5. 成	果指標の達成な	状況(率)	は計画と	どおり推	移し	ているか	`							→ 3 -		→ 5 移した	<u> </u>	3 点		/25点		3 点	/25

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 「第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和3年度~令和7年度)」の豊後 大野市総合戦略推進委員会における検証・見直し等については、効果的・効率的な検証方 法にて行い、事業推進を図る必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき事業実施を行う。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

8,750

2, 750

1,558

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 (令和 3 年度決算) 事 課局名 まちづくり推進課 地域振興係 305001 1 務 価 係名 事 業 少子化対策結婚支援事業 細事業 婚活支援事業 実施計画事業 婚活支援事業 総合計画体系図No.→ ( 137 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 婚活支援事業委託料 款 施 策 3 結婚・出産・子育て支援の充実 期間 年度 3,500 2 年度 ~ 項 施策展開 ③結婚に向けた取組を支援する 1 名 7 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 42 P ~ 総合戦略 決算 28 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額·決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供 して結婚のきっかけづくりを行い、本市の人 口減少の抑制へとつなげる。 ・個別相談会 7回 ・婚活セミナー・イベント 9回 ・婚活サポーター育成・指導 3回 ・婚活サポーター先進地研修 臼杵市 R 3 計画 3,500 1,750 1,750 R3 当初予算 1,750 3,500 ・婚活講演会 1回 決 算 額 3, 116 1,558 1,558 R 4 計画 1,750 1,750 3, 500 R4 当初予算 3,000 1,000 2,000 決 算 額 R 5 計画 1,750 1,750 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・個別相談会の開催 ・婚活セミナーの開催 ・婚活サポーター育成・指導等の取組 ・婚活サポーター ・婚活サポーター ・婚活サポーター ・情報交換会の開催 R6計画 3,500 1,750 1,750 R6 当初予算 決 算 額

R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

3,500

17,500

6,500

3, 116

1,750

8,750

3,750

1,558

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	3	3	3	3	3
С	1 開催回数①	個別相談会の開催回数	□ 個別計画	3	ī	実績値	7				
活					%	達成率	233. 3				
動指			□ 総合戦略		口	目標値	3	3	3	3	3
標	2 開催回数②	婚活セミナー・婚活イベントの開催回数	□ 個別計画	3	ī	実績値	9				
					%	達成率	300.0				
			総合計画		I	目標値	64	64	64	64	64
D	1 相談者数	個別相談会の相談者数	□ 総合戦略	22	$\wedge$	実績値	7				
成			□ 個別計画		%	達成率	10. 9				
成果指			□ 総合計画		7	目標値	56	56	56	56	56
標	2 参加人数	婚活セミナー・婚活イベントの参加人数	□ 総合戦略	43	人	実績値	115				
			□ 個別計画		%	達成率	205. 4				

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 新型コロナ感染状況の影響で、参加をためらう方が多く、事業実施が難しい状況が続いている。また、参加者からの意見として、同じ市内で身近な人と遭遇するかもしれないといった理由で市が行う婚活を敬遠する方も多いことから、近隣市と連携した取組を行うことや、近隣市が行っている市民活動による婚活を後押しする取組み等を検討する必要がある 婚活支援は、少子化対策の重要な事業ととらえており、今後も適正に事業の実施を行う。

令和5年度の事業の方向性

R7

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

1																																	. 1 14	
事業番号	枝番	(	令和	3	年	度	計	画	)	総	合	ΗĪ	更実	施言	计画	書	( 🗦	庚道	扬	管	理	)											(様	式 1)
305002	1	(	令和	3	年	度	決	算	)	事	į	務	事	F	業	部	Ŧ	価		調		書	課	<b>高名</b>	ま	5-	づく り	推过	進課	係	名	地域	振興	!係
事業	少子化対	计策結婚	香支援事	事業				á	田事業	ŧ	結婚	新	生活才	て援事	業					S.	実施	計画	事業	結婚	新生	活支	援事	業				終五年		R7
	計画体系						_																											
会計 一般	政	-113	II 豊カ	ゝな福	<b>a</b> 社	社会	の美	€現	を目打	旨す	まち	1						1	固										年度			称	当初	予算額
款 2	施		3 結婚															—   5     i	别   : ::::::::::::::::::::::::::::::::::	期間		ź	F度 ~		:	年度	結婚	新生	活支援	事業権	甫助金			4, 50
項 1	施策原		3結婚(		_	:取組	且を	支护	まする																									
目 7	後期	基本計	画 4	2 I	Р		j	過疎	計画		~	総	合戦略	<b>F</b>		コロナ	充当	] [	<u> </u>	期間		ź	F度 ~	•	:	年度								
決算 28	A 事業	目的・	内容・	実績	F																3 1	事業計	画額	・決	算額	*								
	事業の						1	Ŧ					主な	注動?	主結									業費					ļ	オ源ロ	小訳		(単位:	: 千円)
<b>/</b>	•	, , , , ,	. ۲ 1 📅				J.	隻	1.	/ <b>3</b> 1	2 )-	- 0 0				I alle i a	- 61.5			↓			Ľ	<b>本</b> 只	п	国県	支出	金	地方	債	そ	の他	—舟	段財源
<事業の目的 結婚を希望す	-る男女								生活	を好	かる	際	歳以1 に係る	5経費					鲊	L	R 3	計画		4,	500		2, 2	50						2, 25
に結婚に踏み 出すための支	接とし	て、引	越費用	や新			F	3	300∓	-円	×4件	=:	1, 200	千円						1	当初	予算		4,	500		2, 2	50						2, 25
得に係る経費	、家賃	等を補	助する	0			L													,	夬 뱤	算額		1, 2	200		6	00						60
																					R 4	計画		4,	500		2, 2	50						2, 25
							F	₹4												3	当初	予算		3,	117		2, 00	00						1, 11
							L													,	夬 뱤	算額												
																					R 5	計画		4,	500		2, 2	50						2, 25
							F	₹5												ŝ	当初	予算												
<令和3年							L													ž	夬 뱤	算額												
夫婦ともに 生活を始める	際に係	る経費	を補助	に対	· L 、	新															R 6	計画		4,	500		2, 2	50						2, 25
300千円×1	15件=4,	500千	円				F	86												ŝ	当初	予算												
																				ž	夬 缜	算額												
																					R 7	計画		4,	500		2, 2	50						2, 25
							F	R7												ŝ	当初	予算												
																				;	夬 뱤	算額												
							Г													1	H I	画 額		22,	500		11, 2	50						11, 25
											R3	-	~ R	7 4	<b>≙</b> i	i <del>†</del>					当初	予算		7,	617		4, 2	50						3, 36
																				;	夬 第	算 額		1, 2	200		60	00						60
1																				-											•			

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		ı	目標値	15	15	15	15	15
С	1 申請件数	申込者数 (年度末)	個別計画		人	実績値	4				
活					%	達成率	26. 7				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 =		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		Į.	目標値	15	15	15	15	15
D	1 対象者数	補助金交付対象者数 (年度末)	□ 総合戦略		人	実績値	4				
成			□ 個別計画		%	達成率	26. 7				
果指		105組(会和元年	✓ 総合計画		組	目標値	105	105	105	105	105
標	2 婚姻数推計值	105組(令和元年 大分県人口動態総覧・市町村別	✔ 総合戦略	105	<b></b>	実績値	93				
		令和2年10月)	✔ 個別計画		%	達成率	88. 6	·			

E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業は F~ I 欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
国の支援制度に則した事業に令和3年度から取組んだ。今後も市民に対し、事業の周知を図る必要がある。	国の動向もみながら、今後も適正に事業の実施を行う。

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

-	業番号	枝番		3 年度1		-	<sup>念</sup> 合計画実			_	_			. Г			2 to 1/6	NA AM	<i></i>	lot-1-		様式1)
	17001	1		3 年度	1		事務 事				価	訓			1	ちづく			係名	地垣		興係
争		電源立地地域 計画体系図No.→		<b>企</b> 事業		細事業	電源立地地地	<b>或対策</b> 交	₹付金	争業			美施計	<b>当</b> 事	業電源立均	也地域系	東父包	「金事業		年		なし
会計	一般	政 策		よくらしと5	安心を	実感で	きるまち			Ī	個					-	令和 3	年度 主	な歳と	出名称	当;	初予算額
款	2	施策	8 防災対	策の充実							別	期間	]	年度	₹ ~	年度	大分県発 負担金	電関係市	町村振	<b>東協議会</b>		18
項	1	施策展開	③災害対	策を強化す	る						計 <del>-</del> 画							源地域連	絡協議	会負担金		17
目	9	後期基本	: 計画 66	Р 🗌	過政	東計画	総合戦略	各 🗌	]D	ナ充当	名	期間	]	年度	₹ ~	年度 中	<b></b> ・ 通旅費	}				19
決算	30							· .									通信運搬	費				3
		A 事業目的	・内容・実	- 権	年							ן ר	B 事業	計画	国額・決算額			財	原内部	7	(単作	立:千円)
		事業の目的	と内容		度		主な	活動実績	績						事業費計	支県国	出金	地方債	-	その他		-般財源
	事業の目用施設の	<b>的&gt;</b> の立地及び周:	辺地域の公	土施設敷			対象の小型動え					11	R 3計	画	57							57
備等	に係る事	事業を行うこ 外別を関	とで、地域	の活性化	R3	業の進	捗管理等をおる	こなった	:。ま	た交付	金の	П	当初予	算	57							57
乙壮	氏の値を	正の同工を凶	<b>ි</b>			継続及なった	び確保のため、	国へ0.	)要望	活動を	おこ	П	決 算	額	35							35
												11	R 4 計	画	57							57
					R4							П	当初予	算	38							38
												П	決算	額								
												П	R 5計	画	57							57
					R5							П	当初予	算								
		度の取組内容										П	決算	額								
	源立地均 進捗管理	也域対策交付? 理	金実施事業	(2事業								Ш	R 6計	画	57							57
<ul><li>県</li></ul>	への交付	- 寸金業務 実施事業の抽品	出、選定		R6							П	当初予	算								
• 関	連協議会	会を通じた国	への要望活	動								Ш	決算	額								
												Ш	R 7計	画	57							57
					R7							Ш	当初予:	算								
												IJ	決算	額							L	
												Ш	計画	額	285							285
							R3 ~ F	R7 合	計			Ш	当初予	算	95							95
												IJ	決算	額	35						L,	35
		評価指標名	<b>1</b>	指	標値σ	)説明(1	算出方法等)		各計區	画指標	R 2	実絹	賃値 単位	+	-	R3	R4	ı I	R5	R6	工	R7
								[	i	総合戦略	各		件	-	目標値	2		2	2	2	2	2
	1 交付s 	金事業実施数		交付金事	業実績	<b>陋数(年</b>	度末)	] [		個別計画	E I		2	-	実績値 達成率	2					+	
活動				-							-		%	-	目標値	100.0					+	
指	2 _								i	総合戦略	各			-	実績値						+	
125								[		個別計画	回		%	-	達成率					+	+	
				1						総合計画	EI .		74	-	目標値	2		2	2	2	2	2
D	1 公共力	施設や車両等	の整備数	公共施設、	や車両	5等の整	備数(年度末)	[	i	総合戦略	各		2 件	3	実績値						T	
成								[	<u> </u>	個別計画	画		%	ì	達成率							
果指								[		総合計画	<u> </u>				目標値						$\perp$	
標	2 —							[	_	総合戦略				+-	実績値						4	
								[	1	個別計画	i i		%	ì	達成率						丄	
E	評価対	対象外の理由	0 評価対	才象														(対象を	ト事業	は <b>F~I#</b>	未言	記入 可)
			•	評	価項	目/5つ	の視点(1~5	点で評値	価)							— : 評価	欠評価	(係長) 評価点合	計	二次評価評価点	_	長等) 価点合計
F	1. 市月	民満足(市民)	アンケート)	の向上が期	明待で	きる事業	美内容となってし	いるか							4 → 5	pT/III	3点			3点	ari	
-							美内での優先度)				1 →	2	, ⇒ → 3	$\rightarrow$	なっている 4 → 5 優先度高い		3 点		$\vdash$	3点	1	
-	3. 事章	業計画どおりに	こ事業を進ん	カることがつ	できた	か					1 →	2	→ 3		4 → 5		3 点		$\vdash$	3点	1	
価	_												<i>t</i> : ⇒ 3	<b>→</b>	できた 4 → 5				$\vdash$		1	
	4. 活動	動指標の達成物	大况(楽)は言	⊤画とおり扌	Ě移し	ているた	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			推	移して	いた	il\ ⇒		推移した	<u> </u>	3 点	15	点	3点		15 点
	5. 成身	果指標の達成物	犬況(率)は言	†画どおりキ				→ 3 → 3	<b>→</b>	4 → 5 推移した	ł	3 点	/2	点	3 点		/25点					

【担当係長の意見・課題・改善策等】

H 【担当課長職等の所見】

引き続き、適正に事業を実施する。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

※今後の事業の進め方等

_	業番号	枝番						_		計画書(兼	_ `			_ [-								(様式 1
	18001	交流促進事		3	年度》	_	細事業	1	<b>事</b> 交流促進事		曲	調		· <u> </u>	国際キ		がくり推	進課	係名		終了	開整係 なし
-	·			`			MM X	四例之	X1/11 JULIUS # 7	*			<b>∠</b> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ロチホ		100	丁.木				年度	, , , ,
会計		計画体系図No.  政 策			と学ぶ意	音欲す	・音かま	<u></u>									<b>今和</b> 3	3 年度	ま 主な歳	出名彩	ī :	当初予算額
款	2	施策			おの振興		. 17 25 6				個 別	期間	1	年度	~	年度	講師謝	-	× ± 0 ///×	шър	,	1017
項	1	施策展開	- 2412		州の振典		生する				計	חומל	u	干汉		+/2	消耗品到					-
目	10		本計画(				計画		総合戦略	コロナ充当	画名	期間	4	年度	~.	年度	施設等任					,
決算		及州至	本計画 :	90 F		旭山		#			Ш	初旧	u	+/X		+/2						-
八开		A 事業目的	り・内容・	実績			ı						B 專類	計画	領・決算	額等	印刷製	个貨				-
		事業の目	的と内容			年度			主な活動	実績				=	事業費計		·· ^	Left .	財源内			位:千円
<1	事業の目	的>				及	キャン	プ				┪╽	- 0 = I	_	2.1		支出金	地	方債	その	他	一般財源
感	受性豊か	nな子どもた けることで、	こちが新し	い感気	覚や異		小学生	6名参加	(※1日の)	みの開催)		П	R3計		21							21
るこ	とを目的	りとする。	国际口沿	人们地出了	E 150)	R3						Ш	当初予	-	21							21
												41	決算			1						
												Ш	R 4計	画	21	1						21
						R4						Ш	当初予	·算	20	1						20
												Ш	決 算	額								
												Ш	R 5計	画	21	4						21
						R5						Ш	当初予	·算								
		度の取組内		>								П	決 算	額								
		キャンプ E5、6年生を		АРІ	口学生							Ш	R 6計	画	21	4						21
や市	・県国際	· 交流員等 2	ともに交	流体	験を行	R6						П	当初予	·算								
う。												П	決 算	額								
												11	R 7 計	·画	21	1						21
						R7						П	当初予	·算		_						
												ш	決 算									
												-11	計画		1, 07	)						1, 07
								Б3	~ R7	스 닭		Н	当初予		41.	-						41
								KJ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			П		-		-						41
												IJ	決 算	頟		I						
		評価指標	名		指相	票値σ	説明(第	算出方法	等)	各計画指標	R 2	実約	黄値 単位	立 達	成度	R3	R	4	R5		R6	R7
					-					□ 総合戦略	i	_			標値							
С	1 —									┃	i				績値							
活動											$ldsymbol{f eta}$		%	_	成率							
指										□ 総合戦略	i				標値							
標	2 —									□ 個別計画	i			_	績値							
				_									%	_	成率					_		
										総合計画			一人		標値	4	20	20	2	0	20	2
D	1 国際	キャンプ参加	加児童数	参	\$加児童	数				総合戦略				美	績値 ***		6			-		
成										□ 個別計画			%	達	成率	30.	0					

,,,														
果指					総合計i	画		目標値						
標	2 —				総合戦闘	略		実績値						
					個別計i	画	%	達成率						
E	E       評価対象外の理由       (対象外事業はF~I欄未記入可)											未記入 可)		
			評価項目/5つの視点(1~5点で	e=== /== \					-2	た評価 (係	(長)	二次評価 (課長等)		
						評価	点評	西点合計	評価点	評価点合計				
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか						. 3 .	→ 4 → なってい		3 点		3 点		
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)					1 → 2 → 優先度低い	→ 3	→ 4 → 優先度高		3 点		3 点		
価	3. 事業計画どおりに	事業を進め	つることができたか		_	1 → 2 → できなかった	→ 3	→ 4 → できた	5	2 点		3 点		
Щ	4. 活動指標の達成状	(深) (率) は計	画どおり推移しているか		<b>ł</b>	1 → 2 → 推移していない	⇒	→ 4 → 推移した		点	10 点	— 点	12 点	
	5. 成果指標の達成状	<b></b>	1 → 2 → 推移していない		→ 4 → 推移した		2点	/25点	3 点	/25点				
G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H								職等の所見		i・改善策	等を踏ま	えた課長職等	等の所見	
参加めに	者の募集に苦慮して\  は一過性のイベントに	事業につい	て、村	食討も必要										

令和5年度の事業の方向性

⇨ B. 見直しの上で継続-3 効率化/RPA等

事業番号	<del></del>	3 年度									理)									(様式1)
18001	2 (令和	夬 算	)事	務	事	業	評	西	調	書	課局	高名 ま	きちつ	づくり推進課 係名				企画調整係		
事業	交流促進事業		į	細事業 国際交流促進事業						実	<b>『施計画</b> 』	事業[	国際交流	<b>允員活</b>					終了 年度	
	款     2     施     策     4 文化・芸術の振興       項     1     施策展開     ③友好都市との交流を推進する       目     10     後期基本計画     90     P     過疎計画     総合戦略							コロナ充当	計 画 名	期間期間		年度 ~ 年度 ~		年度年度	令和 3       会計年度       社会保険       外国青年       費用弁償	任用職 料(会 招致事	員報酬 計年度	任用職員		<b>当初予算</b> 8 3,36 52 16
	事業の目的と内容		年度			主な活動	助実績					事	業費計	同旧	支出金	地方	け源内	内訳		単位:千円) 一般財源
導等を行う	目的> 売関係事務等の補助のため う外国青年招致事業(JET レ、地域において国際交流 奈交流員を配置する。	プログラム		文化講座	教室 全 座 2回 ンライン		(両協会	)通訳等		ii S	R 3計画 当初予算 央 算 額 R 4計画	i	4, 229 4, 229 2, 577 5, 000			1673	ĮĘ.	7 07	16	4, 22 4, 22 2, 57 5, 00
<令和3	<令和3年度の取組内容(計画)>				R4 R5						当初予算 額 早 5 計	i i	4, 463 5, 000							4, 46 5, 00
・国際交流 ・地域住長 ・民間国際 、参画	・国際交流関係事務の補助 ・地域住民に対する語学指導への協力 ・民間国際交流団体の事業活動に対する助言									il S	R 6計画 当初予算 快 算 額 R 7計画	i	5,000							5, 00
					R7						当初予算	i	,							
		R3 ~ R7 合 計						뇔	十 画 額 当初予算 央 算 額		24, 229 8, 692 2, 577							24, 22 8, 69 2, 57		
	評価指標名	指	漂値の	説明(篁	<b>〕</b> 出方法等	<b>;</b> )	各	計画指標	R 2 3	実績値	直単位		·度	R3	R4		R5		R6	R7
	IN IN IDEA MANAGEMENT (ALTHOUGH AT					総合戦略	<del>                                     </del>	X13K11		目標								<u> </u>		
ا م ا	51 -t- M/4-M/1		(- PP)				$\Box$	心口形門	ľ		口	中华	late		0			-		1

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
С	1 活動事業数	事業数 (年間)	総合戦略		口	目標値 実績値	9				
活動指			□ 総合戦略		%	達成率 目標値					
標	2 —		□ 個別計画		%	実績値					
			総合計画			目標値					
D	1 活動事業参加者数	加者数 参加者数 (年間)	□ 総合戦略		実績値	400					
成			□ 個別計画	%		達成率					
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	■ 評価対象外の理由 ① 評価対象 (対象外事業は <b>F~I欄</b> 未記入 可)										

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 → 4 → 5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない 1 → 2 → なっている → 4 → 5 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 3 点 3 点 評 優先度低い 優先度高い → 4 → 5 できた → 4 → 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった ⇒ 1 → 2 → 3 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 3点 15 点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した 15 点 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 /25点 3 点

	_
G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見	
韓国機張郡等との交流における翻訳通訳や先方との連絡調整のほか、国際交流協会事業の 文化講座(料理教室等)の開催や公民館の韓国語教室講師として市民に語学指導や異文化 交流を行う上で必要な事業 (人材) である。 アフターコロナに向けてのインバウンド対応や国際化の推進に積極的に取組む。	D

I 令和 5 年度の事業の方向性

18001   3	事	業番号	枝番	1	<i>(</i> 소 또	£π ?	生度	4 庫	) 松	<b>全計画</b> 字型	面性神	童 (夢	准址:	答耳	<b>田</b> )									(様式1)
数字   1   1   2   2   2   2   2   2   2   2			_	4	-									-		課局	高名 ま	まちづ	くり推	進課	係名	i	企画詞	周整係
数	事	業	交流促进	進事業				i	細事業	国際交流促進	事業			実想	施計画	事業[	国際交流	<b>売協会</b>	事業					なし
株   1   1   1   1   1   1   1   1   1	소타						心と学ぶる	子分か	· 査ねまち										会和 ?	<b>年度</b>	主か昔	: 出夕新	ī :	<b>当</b> 却
		-							HUAD				個別期	間		年度 ~						6 III 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
10   後期基本計画 90 P   過避額   総合報画   20 P   過避   10 P   20									進する				計 —											
本業日的   内容・実務	目		後其	基本	計画	90	Р	過頭	計画	総合戦略		ロナ充当	夕	間		年度 ~		年度						
事業の目的と内容   接 生な活動実績	決算												1 1											
#集の目的と内容 度 左右浩映集機			A 事業	目的・	内容:	・実績	<u>t                                     </u>	左						B	事業	計画額	・決算額	領等			財源内	訳	( ji	単位·千円)
(大名)   1.537   1.5			事業の	目的	と内容					主な活	動実績			`		事	業費計	国県					一般財源	
#数大野市国際交流協会(学校17年19月設立 1,537				<b></b>	巨紫た日	1 関 年	ている		豊後大野	F市国際交流協会	会運営補	助金交付		R	3 計画	<u> </u>	1,537							1, 537
R4	豊後	大野市[	国際交流	協会	(平成1	17年1	0月設立	R3						当	初予算	草	1,537							1, 537
R4   当初予算 1.537   1.537	理解・	事業活場や国際原	助を文援 感覚を高	する、 め、[	」とで、 国際人の	の育品	式の国際 成を図る							決	算 割	頁	478							478
大学   1 (大学 本業) (協会主催)   本業数 (年間)   本業数 (年間)   大学 (協会主催)   本業数 (年間)   大学 (協会主催)   本業数 (年間)   大学 (協会主催)   本業数 (年間)   大学 (協会主催)   大学 (本学 (本学 (本学 (本学 (本学 (本学 (本学 (本学 (本学 (本	0													R	4 計画	1	1, 537							1, 537
R5								R4						当	初予算	草	1, 537							1, 537
														決	算 額	頁								
◆ 参称3 年度の取組内容(計画)														R	5 計画	亘	1,537							1, 537
- 豊後大野市国際交流協会への産営補助 R6 R7 R7								R5							初予算	草								
R6   1,537														決	算 額	頁								
大学 報   1,537   1,5	• 豊	<b>後大野</b> で	市国際交	流協会	きへの追	軍営権	甫助							R	6計画	回	1,537							1, 537
R7								R6						当	初予算	草								
R7														決	算 額	頁								
大算額       R3 ~ R7 合計       東部価指標名     指標値の説明 (算出方法等)     各計画指標 R2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R6 R7       日 技術業後 (協会主催)       事業数 (年間)       総合戦略 日報値 図別計画       2 一       日本会戦略 (協会主催)       上 交流事業参加者数 (協会主催)     参加者数 (年間)       総合戦略 (国別計画 (日標値 (国別計画 (日標値 (国別計画 (日標値 (国別計画 (日標値 (国別計画 (日標値 (国別計画 (日標値 (国別計画 (日標値 (国別計画 (日標値 (国別計画 (日標値 (国別計画 (日標値 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標値 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日標 (国別計画 (日紀計画 (														R	7 計画	亘	1, 537							1, 537
計画額 7,685     7,685       当初予算 3,074     3,074       決算額 478       中華教 (年間)       整合戰略 图別計画 图 2 —       上 交流事業数 (協会主催)     事業数 (年間)     総合戰略 图別計画 图 2 —     日標値 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7								R7						当	初予算	草								
R3 ~ R7 合計   当初予算 3,074   3,077   3,077   4   77   77   77   77   77   77														決	算 額	頁								
注														計	画割	頁	7, 685							7, 685
Part									R3 ~ R7 合 計					当初予算 3,074									3, 074	
Table   Tab														決	算額	頁	478							478
C     1 交流事業数 (協会主催)     事業数 (年間)     一級合戦略	$\overline{}$		輕価:	<b>治煙</b> 夕			指	湮値の	逆明 (管)	出方法等)	<b>人</b>	計画指標	R2宝	结值	単位	達成	度	R3	R4	ı	R5		R6	R7
C 方流事業数 (協会主催)     事業数 (年間)     事業数 (年間)     事業数 (年間)     事業数 (年間)     事業数 (年間)     事業数 (協会主催)     事業数 (年間)     完成事業 (協会主作品)     事業数 (協会主作品)     事業数 (協会主作品)     事業数 (年間)     完成事業 (協会主作品)     事業数 (年間)     完成事業 (本)     上 (日本)			ы т т т т т т т т т т т т т т т т т т т	1 W 1			,,,,	ж <b>ш</b> • >						-1× III			_		+	-+		_		
Part	С	1 交流	事業数(	協会	主催)		事業数(	年間)						3	回									
## 2 -	活											個別計画			%	達成	率	100.	)					
D 成果指標     全力     上級	動指											総合戦略				目標	値							
Part	標	2 _														実績	値							
D 成果指標)     参加者数(協会主 参加者数(年間)     総合戦略												四分百四			%	達成	率							
(大) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本		六达:	* ± 36 \$> for # 32. (   15   5   ).									総合計画			Ι,			50	)	500	50	00	500	500
開業指標     2 -     総合計画     目標値     実績値       一個別計画     % 達成率     (対象外事業はF~I欄未記入可)		1 催)	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)			参加者数	川者数(年間)						650					+			_			
指標     2 -     2 -     ※6 戦略 図別計画     実績値     実績値       E 評価対象外の理由 0評価対象     (対象外事業はF~I欄未記入可)	成果										1 1				%			130.	)			+		
E 評価対象外の理由 0評価対象     0評価対象       (対象外事業はF~I欄未記入可)	指	2 —																	+			+		
E 評価対象外の理由 0評価対象       (対象外事業はF~I欄未記入可)	尔	-													%				+			+		
	_	== · ·		m _i		/ / ·	4					四川田				~/~	·							L
	<u>E</u>	評価対	対象外の3	埋由	0 評(	価対	象													(対				

		評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
		計画項目/5つの視点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1.	市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0$	3 点		3 点	
評	2.	事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3.	事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction &                                   $	2 点		3 点	
Щ	4.	活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	14 点	3 点	15 点
	5.	成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	/25点	3 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
文化講座や国際情勢セミナーの開催、広報誌の発行など協会が自主的主体的に活動している。外国人材の受入れ・共生に向けて市と連携して取り組む事業もあり、今後の事業継続のためには引き続きサポートする必要がある。	アフターコロナを見据え、国際化の推進のため、引き続き支援する。

I 令和5年度の事業の方向性

_	<b>業番号</b> 18001	枝番 4			3 年度:			_			†画: 業			管理 調	里)	課局名	まち	っづく	り推	進課	係名	<b>3</b> 企i	(様式	
事	業 3	を流促進!	事業				細事業	国際	<b>奈流促</b>	進事業	<u> </u>			実力	施計画	事業 中国	荊州▷	区交流	事業				了た度	なし
ᄼᆋ		画体系図N			な心と学ぶ	空分せ	. 去す。ま	+								<u> </u>		7 [2	λ≠n 2	左曲	· + +>#	<b>遗出名称</b>	₩₩₩	乙倍或
会計款	一般 2				芸術の振興		目むま	9					個別期	間		年度 ~	年	1 -	所 <b>们</b> 3		・土仏原	5四名孙	当初予	7 昇部
項	1	施策展			市との交流		隹する						計一	111-1		T-04			ZIH XZI	13.54				- 1
目	10			画 90			村画	П	総合戦	略		ロナ充当	夕	間		年度 ~	年	度						
決算	31																	_  -						
	,	事業目			<b>三利政</b>	年								B	<u>事業</u>	十画額・決		<b>-</b>			財源内	 ]訳	(単位:	千円)
		事業の目	目的と	内容		度			主な	は活動す	<b>実績</b>					事業費	計旦	県支	出金	地フ	方債	その他	一般	財源
Γ		交流協定			三10月1日)		表敬訪	問実施	立なし					R	3 計画	Ī	14							14
		中国荊州				R3								当:	初予算	[	14							14
※東	日本大震 成30年12	災以来、 月に区長	交流z :以下記	が途絶え 坊間団が	ていたが 来日。そ									_	算額									
の際を訪	交わした 問予定だ	覚書によ ったが、	り令利 新型:	和元年度 コロナウ	Eは荊州区 アイルス感									-	4 計画	-	14							1.
染拡	大のためいては未	延期とな	って	<b>以降、</b> 訪	問時期等	R4								-	初予算		14							14
(覚、双	書内容) 方の民間	1~2年に 交流に向	:一度の ]けての	の行政間 の協議	相互訪問									$\vdash$	算額	-	1.4							
						R5								$\vdash$	5 計画 初予算		14							14
< 2	↑和3年	度の取組[	内容(	計画) >		No								-	算額									
		へ表敬訪			定)									$\vdash$	6計画	-	14							14
						R6								-	初予算									
														決	算 額	Į								
														R	7計画	ī	14							14
						R7								当	初予算	[								
														決	算 額	į								
														計	画額	ĺ	70							70
								R3	3 ~	R7 合	計			-	初予算		28							28
		評価指	堙夕		T ±5	煙値の	〕説明(』	<b>管</b> 出 <b>右</b> :	法等)	T	久章	十面 埃 煙	₽º≢	医结体	単位	達成度	R	3	R	4	R5	R6	.	R7
		計場付	床口		1 相	赤  世リ	/nπ·yh(	<b>并</b> 山刀》	<b>瓜</b> 哥)		台			視旭	中山	達成度 目標値	R	J	rt.	•	сл	100		K /
С	1 —											総合戦略				実績値						1		_
活											Ш	個別計画			%	達成率								
動指												総合戦略				目標値								
標	2 _											個別計画			%	実績値 達成率						+		
					1						П	総合計画			90	目標値						+		
D	1 —											総合戦略				実績値							+	
成												個別計画			%	達成率								
果指												総合計画				目標値								
標	2 —											総合戦略				実績値								
												個別計画			%	達成率								
E	評価対	象外の理	<b>d</b> (	) 評価対	対象															(対	象外事	業は <b>F~I</b>	<b>第</b> 未記入	. 可)
					評	価項目	1/5つ	の視点	i (1~	5 点で言	評価)						F	一次評価		(係長	(·) (·)	二次評価評価点	(課長等	
F	1. 市民	満足(市	民アン	ケート)	の向上が	期待で	きる事業	*内容」	となって	いるか						→ 4 →			3点	口下山山方	w that	3 点	可巡点	, □ ē l
-					か(同じ成績								→	2 →	→ 3 -	なってい → 4 →	5		3点		-	3点	-	
評								Kr1 CU	ッ	-/						優先度高 → 4 →					ŀ		1	
価					めることが <sup>-</sup> 							7	きなか	った	⇒	できた → 4 →			1点		ŀ	3点	-	

令和5年度の事業の方向性

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

平成30年度から再開した中国荊州区との交流について、新型コロナウイルス感染症の影響で表敬訪問が実現できず、交流内容の協議ができていない。本格的な交流再開には十分な調整が必要である。

4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

推移していない ⇒

1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推

推移した

推移した

国内外の情勢等も含め、適正に事業を実施する。

点

7点

/25点

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

9点

/25点

_	「業番号 18001	<b>技番</b> 5	•		年度			_	計画実 務 事				価	調		課局名	まち	づく	り推	進課	係名	4 企	画調	整係
事	業	交流促进	<b>生事業</b>				細事業	国際	<sup>於</sup> 交流促進	事業				P	実施計画	事業 韓国相	幾張郡	『交流	事業				終了 年度	なし
会計	総合	合計画体系[			心と学ぶ意	子分え	されま	t-										7 4	≥€n ?	年度	主か岩	<b>&amp;</b> 出名称	71	<b>新初予算</b> 額
款	2	施	-11-		にて子がた		. HUJ	9					個別	期間		年度 ~	年月	- 1 ⊢	を流事業			<b>х</b> ш <del>п</del> т	+=	1,40
項	1	<b>┥┝</b> ᆖ	——————————————————————————————————————		iとの交流		隹する						計 画	MILEI				⊣ ⊢	己念品代		-			5
	10	+		·画 90			東計画		総合戦略	П	コロナヨ	充当	夕	期間		年度 ~	年月	<del> </del>	肖耗品費					2
決算	31																	ì	通信運搬					1
		A 事業	目的・I	内容・実績	<u>†</u>	左	I							7	B 事業i \	計画額・決算	<b>車額等</b>	5 L			財源内	1章尺	(単	位:千円)
		事業σ	目的と	内容		年度			主な流	舌動実績	ŧ					事業費詞	† =	県支	出金	地方		その他		一般財源
< ij	事業の目 浩川村	<b>目的&gt;</b> で「左位	協力官	言」(平原	<b>七15年9日</b>		オンラ	インろ	を流会(日 テイ受入中	韓両協	会役員	(等)		11	R 3 計画	Ī 1, 4	95							1, 49
19日	) を締	結し、豊郡との交	後大野	市に引き糺	迷いでい	R3	×.v.—	ムヘッ	/ 1 文八中	TE.				3	当初予算	1,4	95							1, 49
の神	国恢派	何との父	(川 尹 未)	)										ž	決 算 割	1								
														П	R 4 計画	1, 2	95							1, 29
						R4								i	当初予算	1, 4	95							1, 495
														ž	決算額	1								
															R 5 計画	1,4	95							1, 495
						R5								Ė	当初予算	Ī								
		年度の取締			· /\•/									,	決算都	Į								
· 示定)	ームス	アイ父流	(一般)	受入予定	E(※木										R 6計画	1, 2	95							1, 29
						R6								Ė	当初予算	Ι								
														į	決算割	1								
														ΙĿ	R 7 計画	-, -	95							1, 495
						R7								ΙĿ	当初予算									
														4 1-	決算額	+								
								_,		- ^	=1			Ιŀ	計画割	., ., .	_							7, 07
								R	3 ~ R	/ 台	計			ΙĿ	当初予算 決 算 額	-	90							2, 990
		評価打	旨標名		指	票値の	)説明(ĵ	算出方	法等)		各計画排	指標	R 2	実績	値単位	達成度	R	3	R4	ı T	R5	R6		R7
											総	合戦	各			目標値								
С	1 —										_   個!	別計画	<b>■</b>			実績値								
活動													-		%	達成率							_	
指	2										総	合戦	各			目標値								
標	2 _										個	別計画	画		%	実績値 達成率								
										<u> </u>	総	合計區			70	目標値				_				
D	1 —											合戦				実績値								
成												別計画			%	達成率								
果指											総1	合計區	ΘĪ.			目標値								
標	2 —										総1	合戦	各			実績値								
											] 個5	別計画	<u> </u>		%	達成率								
E	評価	対象外の3	里由	0 評価対	象															(対	象外事	業は <b>F~I</b>	欄未	記入 可)
																	ı	—z	欠評価	(係長	)	二次評値	五 (誤	長等)
					<u>評</u>	価項目	1/5つ	の視点	(1∼5)	点で評価	<u>fi</u> )						╚	評価		評価点		評価点	_	F価点合計
F	1. 市	民満足(	市民アン	/ケート)	の向上が其	月待で	きる事業	其内容	となってい	るか					→ 3 -	→ 4 → 5 なっている			3 点			3 点	į	

評 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 3 点 3 点 → 4 → 5 優先度高い → 4 → 5 できた → 4 → 5 優先度低い 1 → 2 → 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった ⇒ 1 → 2 → 3 → 推移していない ⇒ 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか - 点 — 点 7点 9点 推移した  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない  $\Rightarrow$  推移した 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 /25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市日韓国際交流協会(清川町)が主体となり、隔年のホームステイ交流を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響で2年間実施できていない。交流再開の時期を見計らう必要がある。	国内外の情勢等も含め、適正に事業を実施する。

I 令和5年度の事業の方向性

	業番号 18001	<b>枝番</b>			3 年度		_	合計画実施 - 務 事	6計画書 ( 業 評	兼通		管理 調	里)	課局名	3 z	ちつ	がくり推	進課	係名	企画	(様式1) 町調整係
事	業	交流促進	事業				細事業	国際交流促進事	事業			実加	<b>施計画</b>	事業 韓[	国益山	市交	流事業			終年	ア なし
		計画体系図				44.07.1				<b>—</b> [											T =
会計			策		な心と学ぶ		育むまち				個						<u> </u>		主な歳と	出名称	当初予算
款	2		策		・芸術の振り		# L 7				計 —	間		年度 ~		年度	通信運搬	投費			
項	1	施策展			市との交流			□ 40 A White		<b>→</b> 13	画名。										
目	10	<b>佐</b> 期基	<b>基本</b>	計画 90	) P  _	迎以	<b>軟計画</b>	総合戦略	コロナ充 	<b>=</b> ]	共	間		年度 ~		年度					
決算		A 事業目	的・	内容・	実績	,						В	事業計	画額・2	決算額	等					
		事業の目	目的:	と内容		年度		主な活	動実績					事業到	費計		<u> </u>		財源内部		(単位:千円
< 7	事業の目	的>				反	表数計	問実施なし				_	の計画		1.4	国県	:支出金	地方	万債	その他	一般財源
ΙE	三重町0	り真名野長			山市に伝わ 始まったも	D0	24 9A II/J	-1,7CME-0-U				_	3計画	_	14						
ので	[ to to		₹1	(平成17:	年8月22日)	R3							初予算	-	14						
						_						_	算額	-							1
ん祭	りに相を	で交流を	行っ	っていた	町のらいで が、平成28	P.4						_	4計画	_	14						ļ .
年の止め	益山市と 、市長家	この協議に 沈任時の訪	: より 5問々	)、隔年 <sup>)</sup> :記念事	での訪問は 業の際での	R4						_	初予算	-	14						1
		) 替えてい											算額	-							
						DE							5計画		14						]
	^ T= ^ <del>/-</del>	rt o 15-40.		(=1 <del></del> ) >		R5						_	初予算	_							
<,	が和3年	度の取組	内容	(計画) >	•							_	算額								
						DC							6計画		14						1
						R6						_	初予算	-							
													算額	1							
						D7							7計画		14						]
						R7						_	初予算	-							
													算額	1							
									A =1				画額	-	70						1
								R3 ~ R7	合 計			_	初予算	-	28						2
												決	算 額	Į							
		評価指	標名		指	標値の	〕説明(算	〔出方法等〕	各計画指	標	R 2 身	<b>ミ績値</b>	単位	達成度	<u> </u>	R3	R4	1	R5	R6	R7
					1				総合					目標値	_		i	1			İ
С	1 —													実績値							
活									個別	可凹			%	達成率							
動指				-					□ 総合	戦略				目標値							
	2 —								□ 個別					実績値							
													%	達成率	_						
_									総合					目標値	_		1				
	1 —								総合				6.	実績値			-	_			
成果					1				□ 個別 □ wo	_			%	達成率	_		-			1	
指	2 —								総合					目標値 実績値	_		1	-			
慌									総合				%	達成率	_		-				-
	l				1				□ 個別	可凹			/0	生水平			1	- 1		1	

成					10万元	쁴	70	连灰平					
果					総合計	E I		目標値					
指標	2 —				総合戦闘	各		実績値					
					個別計i	画	%	達成率					
E	評価対象外の理由	0 評価対	·象								(対象外事	業は <b>F~I椎</b>	未記入 可)
			評価項目/5つの視点(1~5点で	=					-:	次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
			評価項目/5つの税点(1~5点で	計1四)					評価	点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民7	アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているだ	)\		1 → 2 → なっていない	• 3 ·	→ 4 → なってい	5 る	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高	高いと思うが	(同じ成果指標設定事業内での優先度)			1 → 2 → 優先度低い	⇒ 3	→ 4 → 優先度高		3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに	こ事業を進め	)ることができたか			1 → 2 → できなかった	• 3 ·	→ 4 → できた		3 点		3 点	
ПШ	4. 活動指標の達成物	状況(率)は計	ー画どおり推移しているか		Ħ	1 → 2 → 移していない		→ 4 → 推移した		・点	9 点	—— 点	9点
	5. 成果指標の達成物	状況(率)は計	ー画どおり推移しているか		Ħ	1 → 2 → 移していない		→ 4 → 推移した	_	· 点	/25点	— 点	∕25点
	G 【担当係	長の意見・詞	<b>課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等</b>			H 【担	当課長	職等の所見	見】 ※評値	西・改善	善策等を踏ま	えた課長職等	手の所見
777 (1)	00年の光山土しの物を	生リテト り	宣伝ぶの計明は止め 士臣並に吐の計明め	÷1 4 ±	AHC 00	日中かの体	売れ かた こ	会 4 立	工)~ 市 米 →		L 7		

G 【担当保長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
平成28年の益山市との協議により、隔年での訪問は止め、市長就任時の訪問や記念事業の際での訪問等に切り替えている。

国内外の情勢等も含め、適正に事業を実施する。

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

7 交流促		(令和	2 年 F						. –		地市	凹音	トしま	進	夕官	(理										
			5 T E	医涉	(算	)	事	7	务	事	ŧ	ŧ	評	価	訓	<b>8</b> 1		課局	名	きちづ	くり推	進課	係名	í	企画	調整係
	進事業					細事業	ŧ [	国際	交流	促進	事業				ſ	実施計	画事	業夕	国人村	才受入	・共生	事業委	託事業	•	終了年度	なし
8合計画体系															!										1	
政 政		V 豊かな	ひと学	ぶ意	欲を	育む	まち							個							令和 3					当初予算額
施														別計	期間	1	年月	<b>美~</b>		年度	外国人村	<b>才受入</b> ,	・共生事	業委託	料	1,00
				_			_							画名												
_	期基本記	十画 90	Р		過政	計画			総合	戦略		70	ナ充当	1	期間		年月	<b>美~</b>		年度						
	関的・	内容・実	續													B 事	集計i	画額・	決算額	順等						
事業	の目的と	上内容			年				Ė	上な活	動実	績						事業	費計					-		単位:千円)
					芨	. 8	<b>水</b> 転	かっ							┪┟						支出金	地方	債	その	D他	一般財源
向にあるタ					D0	•=	ーズ	調査	15	事業	所	of TILles	이ল		Ш					1	501					500
ら地域住民	マン関わ	ろ機会を	・増やし		КЗ	- 11/	) ~ ,	/ 1	, ^	イル	1 9.	2 1U 11S	到回		Ш											500
地域の一覧 を目指す。	<b>見こし</b> し	より谷り	10-7-9	`											╢					+	180					18
					D.4										Н						500					50
					K4										Ш				1,000		500					500
															╢				500							500
					R5										Н	-	_		500	1						500
3 年度の取	組内容	(計画) >			110										Н											
教室の開催		(11 11 )													╢				500							500
	トルアッ	プ研修			R6										Н	-										
															П											
															11				500							500
					R7										П	当初予	算									
															П	決 算	額									
															11	計画	額		2, 500							2, 50
								R3	~	R7	合	計			Ш	当初予	算		2,001		1,001					1,000
															Ш	決 算	額		361		180					183
	施 策 後 事業 るめに計画にたい地で あり の 開作 を 室 の の 開作 を 室 査 の の 開作 を で の に の に の に の に の に の に の に の に の に の	施策展開 後期基本 本事業の目的の から 目前によった は上間 では かい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい	施策展開 ③友好都後期基本計画 90  A 事業目的・内容・実事業の目的と内容 の目的 > 入のにより、大のにと関わるとと関わると関わてより、としてより、存在した。と関わてより、それには、と関わてより、それには、と関わてより、を目指す。	施策 4 文化・芸術の担施策展開 ③友好都市との交後期基本計画 90 P  A 事業目的・内容・実績事業の目的と内容  1	施策展開 ③友好都市との交流:  後期基本計画 90 P (参期基本計画 90 P) (参期基本計画 90 P) (参加基本計画 90 P) (参加基本計画 90 P) (参加基本計画 90 P) (参加基本 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	施策 4 文化・芸術の振興 施策展開 ③友好都市との交流を推注 後期基本計画 90 P □ 過過  A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 自向にある外国人市民が、地域社会でいくために必要な日本語能力を身にら地域住民と関わる機会を増やし、地域の一員としてより暮らしやすくを目指す。  R4  R5  R6  R7  R7  R7  R7  R7  R7  R7  R6	施 策 4 文化・芸術の振興  施策展開 ③友好都市との交流を推進する 後期基本計画 90 P □ 過疎計画  A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 度  同目的> 向にある外国人市民が、地域社会でいくために必要な日本語能力を身にら地域住民と関わる機会を増やし、地域の一員としてより暮らしやすくを目指す。  R4  R5  R4  R5  R6	施 策 4 文化・芸術の振興  施策展開 ③友好都市との交流を推進する  後期基本計画 90 P □ 過疎計画 □  A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 度  7目的〉 向にある外国人市民が、地域社会でいくために必要な日本語能力を身に、の地域に民と関わる機会を増やし、地域の一員としてより暮らしやすくを目指す。  R4  R5  R4  R5  R6  R7	施 策 4 文化・芸術の振興  施策展開 ③友好都市との交流を推進する  後期基本計画 90 P □ 過疎計画 □  A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 度  7目的> 向にある外国人市民が、地域社会でいくために必要な日本語能力を身にした地域に民と関わる機会を増やし、地域の一員としてより暮らしやすくを目指す。  R4  R5  8 年度の取組内容(計画) > 数室の開催 調査 ティアスキルアップ研修  R6	施 策 4 文化・芸術の振興	施 策 4 文化・芸術の振興	施 策 4 文化・芸術の振興	施 策 4 文化・芸術の振興  施策展開 ③友好都市との交流を推進する  後期基本計画 90 P □ 過疎計画 □ 総合戦略 □ □ □  A 事業目的・内容・実績  事業の目的と内容 年度  事業の目的と内容 年度  事業の目的と内容 年度  事業の目的と内容 年度  事業の目的と内容 年度  「・日本語教室の開催 12回・ニーズ調査 15事業所・ボランティアスキルアップ研修地域の一員としてより暮らしやすくを目指す。  R4  R5  R4  R6  R6	施 策 4 文化・芸術の振興  施策展開 ③友好都市との交流を推進する  後期基本計画 90 P □ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当  A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容	施 策 4 文化・芸術の振興	施 策 4 文化・芸術の振興     施策展開 ②友好都市との交流を推進する     後期基本計画 90 P	施 策 4 文化・芸術の振興     施策展開 ③友好都市との交流を推進する     後期基本計画 90 P □ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当  A 李集目的・内容・実績 事業の目的と内容	施策展開 ③友好都市との交流を推進する 後期基本計画 90 P □ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当 名 期間 年	施 策 4 文化・芸術の振興   加制	施 策 4 文化・芸術の振興	施策 4 文化・芸術の振興	施策展開 ③友好都市との交流を推進する 後期基本計画 90 P	施策展開 ③友好都市との交流を推進する	施策展開   ③友好都市との交流を推進する   一	施 策 4 文化・芸術の振興     施策展開 ③友好都市との交流を推進する     後期基本計画 90 P □ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当    日本業計画観・決算観等    本業    日本語教室の開催 12回    ・	施策 4 文化・芸術の振興   小田本語教室の開催 12回   1.001   1.

_									1		
	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	票 R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合	戦略	口	目標値	50	70	9	90 12	150
С	1 日本語教室開催回数	教室開催回数 (年間)	□□■個別	計画	ī	実績値	12				
活				11   124	%	達成率	24. 0				
動指			総合	戦略		目標値					
標	2			計画		実績値					
				11   124	%	達成率					
			✓ 総合	計画	人	目標値	500	750	9	50 1, 40	0 1,750
D	1 日本語教室等の外国人受講 者数	教室参加人数(年間延べ人数)	□ 総合	戦略	八	実績値	37				
成			□ 個別	計画	%	達成率	7. 4				
果指			□ 総合	計画		目標値					
標	2		□ 総合!	<b>戦略</b>		実績値					
			□ 個別	計画	%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	  象						(	対象外事	業はF~I橌	未記入 可)
							一次	(評価 (係	長)	二次評価	(課長等)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	評価)				評価	点 評価	点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているか	),	なっていない	⇒	→ 4 → 5 なっている		1点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか	い (同じ成果指標設定事業内での優先度)		1 → 2 → 優先度低い	⇒	→ 4 → 5 優先度高い		3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進め	うることができたか		1 → 2 → できなかった	⇒	できた	- 3	3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計	†画どおり推移しているか		1 → 2 → 推移していない	⇒	推移した		3 点	16 点	3 点	15 点
1				1 1 1 1			1	1			

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 まちづくり推進課 企画調整係 18002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 交流促進事業 細事業 地域間交流促進事業 実施計画事業 台東区交流イベント事業 なし 総合計画体系図No.→( 369 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 策 4 文化・芸術の振興 別計 款 期間 年度 普通旅費 410 2 年度 ~ 項 1 施策展開 ③友好都市との交流を推進する 画 台東区交流イベント業務委託料 350 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 10 後期基本計画 90 P 過疎計画 総合戦略 130 決算 31 費用弁償 65 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 旧朝地町が昭和62年から始めた東京都台東 ※台東区との交流事業中止 R 3 計画 1,007 1,007 区との友好都市交流事業。 1,007 R3 当初予算 1.007 決 算 額 119 119 R 4 計画 1,007 1,007 R4 当初予算 1,005 1,005 決 算 額 R 5 計画 1,007 1,007 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・隅田川花火大会友好都市交流(10月) ・ふるさとPRフェスタ出店(10月) R6計画 1,007 1,007 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 1,007 1,007 R7 当初予算 決 算 額 計画額 5, 035 5,035 2,012 R3 ~ R7 合 計 当初予算 2,012 決 算 額 119 119

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		□	目標値	2	2	2	2	2
С	1 交流事業数	事業数 (年間)	□ 個別計画	2	Ш	実績値					
活					%	達成率					
活動指標			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		1	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
D	1 交流事業参加者数	参加者数 (年間)	□ 総合戦略		八	実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0 評価	対象						(ξ	対象外事業に	<b>ţ F ~ Ⅰ 欄</b> ∄	記入 可)

二次評価 (課長等) 一次評価 (係長) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $\rightarrow$  2  $\rightarrow$  3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 3点 評 優先度低い 優先度高い 3 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 3点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 1点 9点 3点 15点 推移していない ⇒ 推移した → 3 → 4 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 1点 /25点 3点 /25点 推移した

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から台東区との交流事業のほとんどが 中止となっている。今後の交流方法等について考える必要がある。 アフターコロナを検討し、適正に事業実施をする。 アフターコロナを検討し、適正に事業実施をする。

I 令和 5 年度の事業の方向性

➡ B. 見直しの上で継続-3 効率化/RPA等

事業番号		枝番
19001		1
事業	行	攻事

32

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

証 価 調

主 課局名 総務課

情報推進室情報推進

1	9001	1	(令和	3 年	度決	算)	事	務	事	業	評	価	調	書	課局名	総務調	Ę	係名	情報推進等	医情報推定 系
事	業	行政事務	務情報化推進	事業		細事業	差	甚幹電算	事務事	業			実力	施計画哥	事業 基幹	電算事務事業			終了 年度	なし
	総合	計画体系図	<b>図No.</b> → ( 283	)												-				

策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 個別計 款 施 策 10 情報管理、情報化の推進 2 項 施策展開 ⑤行政デジタルシフトの推進 1 画 名 目 11 後期基本計画 71 P ☑ 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 決算

当初予算額 令和 3 年度 主な歳出名称 期間 ソフトウェア使用料 年度 ~ 年度 95, 449 システム改修業務委託料 16,607 7, 304 J-LIS交付金 4, 163

		B 事業計	画額・決算額	等 ——			
年	主た活動実績		<b>車業弗計</b>		財源内	n訳	(単位:千円)
			尹未貝司	国県支出金	地方債	その他	一般財源
	通常の電算システム、機器管理事業は通年通り。 行政手続オンライン化については国のスケジュールに沿って	R 3計画	139, 097	1,064			138, 033
R3	計画し、令和4年度中の構築となった。 AIツールの活用については、いくつかの業務で実運用が開 かできた	当初予算	13, 079	1,064			12, 015
	別途、業務改善ツールとして「Kintone」を導入し活用推進 を行った。	決 算 額	133, 842	1, 500		33	132, 309
		R 4計画	140,000				140, 000
R4		当初予算	192, 701	10, 563			182, 138
		決 算 額					
		R 5計画	140,000				140, 000
R5		当初予算					
		決 算 額					
		R6計画	140,000				140, 000
R6		当初予算					
		決 算 額					
		R 7計画	140, 000				140, 000
R7		当初予算					
		決 算 額					
		計 画 額	699, 097	1,064			698, 033
	R3 ~ R7 合 計	当初予算	205, 780	11,627			194, 153
L		決 算 額	133, 842	1,500		33	132, 309
	R3 R4 R5	度       土々活動美報         高常の電算システム、機器管理まは通年通り。       行政手続オンライン化については国のスケジュールに沿って計画し、合和4年度中の構築となった。         R3 かけった。       からまた。         M1シさた。       がいきれいくつかの業務で実運用が開始を行った。         R4       R5         R6       R7	年度       主な活動実績         R3 前面常の電算システム、機器管理事業は通年通り。 行政手続オンライン化については国のスケジュールに沿って 計画し合和4年度中の構築となった。 A1 ツールの活用については、いくつかの業務で実運用が開 別途、業務改善ツールとして「Kintone」を導入し活用推進 と行った。       2 初予算 決算額 R4計画 当初予算 決算額 R5計画 当初予算 決算額 R6計画 当初予算 決算額 R7計画 当初予算 決算額 R7計画 当初予算 決算額 R7計画 当初予算 決算額 R7計画 当初予算 決算額 R7計画 当初予算 決算額         R7       2 初予算 決算額 R7計画 当初予算 決算額 R7計画 当初予算 決算額 R7計画 当初予算 決算額	事業費計   事業費計   事業費計   事業費計   事業費計   日本	事業費計   国県支出金   国際支出金   国際支出金   国際支出金   国際	年度     主な活動実績     財源の       R3     前番の電算システム、機器管理事業は通年通り。 行政手続オンライン化については国のスケジュールに沿って 計画し、一般の活用については、いくつかの業務で実運用が開始できた。 別途、業務改善ツールとして「Kintone」を導入し活用推進 を行った。     R3計画 139,097 1,064 当初予算 13,079 1,064 当初予算 13,079 1,064 当初予算 192,701 10,563 決算額 R5計画 140,000 当初予算 決算額 R6計画 140,000 当初予算 決算額 R7計画 140,000 当初予算 決算額 R7計画 140,000 当初予算 決算額 R7計画 140,000 当初予算 決算額 R7計画 140,000 当初予算 決算額 R7計画 140,000 当初予算 決算額 R7計画 140,000 当初予算 決算額 R7計画 140,000 当初予算 決算額 R7計画 140,000       R7     田額 699,097 1,064 当初予算       財源の 国際支出金 地方債 当初予算 決算額 R5計画 140,000       日本の子算 決算額 R7計画 140,000 当初予算 決算額 計画額 699,097 1,064 当初予算       日本の子算 決算額 計画額 699,097 1,064 当初予算 205,780 11,627	東京

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		業務	目標値	26	35			
С	1 行政手続電子申請化数	市民の行政手続きの電子申請化数(国推進の子育て、介護、被災者支援等)	□ 個別計画	13	務	実績値	3				
活					%	達成率	11.5				
動指			□ 総合戦略			目標値	5	10			
標	2 AI-OCR、RPA活用人材の育成	AI-OCR、RPA活用人材の育成	□ 個別計画	1		実績値	2				
					%	達成率	40.0				
			総合計画		件	目標値	100	1,000			
D	1 行政手続き電子申請件数	行政手続き電子申請件数 (ぴったりサービス利用件数)	□ 総合戦略	2	11	実績値	1				
成		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	□ 個別計画		%	達成率	1.0				
果指			□ 総合計画		業務	目標値	5	10			
標	2 AI-OCR、RPA活用業務数	AI-OCR、RPA活用業務数	□ 総合戦略	1	務	実績値	7				
			□ 個別計画		%	達成率	140.0				

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	19 点	4点	19点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	/25点	4 点	∕25点

## 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

/ールについては、業務改善効果の大きいRPA活用業務が通常業務5業務で実活用でき効率化が図れた。 財政課からの提案で導入した「Kintone」については、業務改善に有効でり積極的に活用推進を行い、令和4年もライ の拡大導入を目指して取り組んが

## 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

行政手続オンライン化については、本番稼働は延期となったが準備作業は進んでいる。 AIツールについては、業務改善効果の大きいRPA活用業務が通常業務5業務で実 活用でき効率化が図れている。 また、財政課からの提案で導入した「Kintone」については、業務改善に有効でり積 極的に活用推進を行い、令和4年もライセンスの拡大導入を目指して取り組み、業務改 善に貢献していく。

## 令和 5 年度の事業の方向性

事	業番号		枝番		(	令和	3	年	度	計	画	)	総	合	計画
1	19002		1		(	令和	3	年	度	決	算	)	事		務
事	業	行	政事系	务情報	化	推進事	業				ŕ	細事	業	情報	報ネッ
	総合	計画	画体系[	図No.→	(	284 )									
会計	一般		政	策	II	I 豊か	なく	Ġ	しと	安	心を	実感	でき	るす	きち

4	業番号	1	枝番	(令和	3 年度	計 画	) 統	信合:	画実加	<b>拖計</b> 區	画書(	兼	隹捗	管理	理)									(様式1)
	19002		1	(令和	3 年度 2	夬 算	)事	務	事	業	評	偛	6	調	書	課局	名		総務課		係名	情報		室情報推進 係
事	業	行	政事務情	報化推進事	業		細事業	情報ネ	ベットワ	一ク管	理事業			実	施計画哥	事業 情	報ネッ	ノトワ	ーク管理	理事業			終了 年度	なし
	総1	合計區	画体系図№	→ ( 284 )																				
会計	一般		政 策	Ⅲ豊か	なくらしと多	と心を	実感でき	きるまち					個I	CT環	境整備事	事業			令和 3	4年度	主な歳と	出名称		当初予算額
款	2		施 策	10 情報	管理、情報化	ヒの推	進						別計	期間	R2 #	度 ~	R3	年度	情報NW	呆守業務	委託料			9, 994
項	1		施策展開	⑤行政ラ	゛ジタルシフ	トの打	<b></b>						画						イント	ラネット	保守委託	料		2, 750
目	11		後期基本	<b>本計画</b> 71	P	過政	計画	マ 総	合戦略		コロナ充	当	名	期間	年	度 ~		年度	インター	ーネット	使用料			1, 323
夬算	32	] .																	電柱共	架料				1, 245
		Α_	學業日的	]・内容・5	<b>毛模</b>	年								ır	事業計			<b>日寺</b>			<b></b>	7	()	単位:千円)
		Ŧ	事業の目的	内と内容		度			主な活	動実績	ŧ					事業	費計	国県	支出支	<i></i>		その		一般財源
★庁	支承	1的.	> 	引(市内小口	白学校筌の		例年通り情 く、GIGAス	報ネットワ クール事業	ーク全体の( 等に関連し	呆守管理に た必要な変	こついては大 変更や対策は	きな問題 しっか	題もな 9 対応	R	3計画		7, 562							17, 562
接続	を含む	) き	と結ぶ情報	ネットワー	ークの円滑	R3	した。 庁舎内Wi-F 、災害時避	i環境整備に 難場所にな	こついては、 る各公民館	本庁及び	支所、出先機 環境整備(	関をは	じめ 総務係	当	初予算		7, 562							17, 562
な理	営管理	0					の庁舎等建	築予算を利	用)を行い	年度内に完	と了した。			決	算 額	]	4, 533							14, 533
														R	4計画	1	9,000							19,000
						R4								当	初予算	4	4, 205							44, 205
														決	算額									
														R	5計画		9,000							19,000
						R5								当	初予算		-							
<=	<b>介和 3</b> :	年度	の取組内	容(計画) >										決	算額									
				各支所、出										H	6計画		9,000							19,000
						R6								I⊢	初予算		,							10,000
														Ι⊢	算額									
																	0.000							10.000
							1							ΙK	7計画		9,000	1						19,000

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

93, 562

61,767

14,533

93, 562

61,767 14, 533

	評価指標名	指標値の説明 (算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		筃	目標値	14	14	14	14	14
С	1 庁舎内Wi-Fi環境整備箇所	本庁及び支所、出先機関のWi- Fi環境整備	□ 個別計画	2	所	実績値	14				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
		庁全内会議において支重や久出生機関聯	総合計画		会議	目標値	5	10	20	30	40
D	1 庁舎内リモート会議数	庁舎内会議において支所や各出先機関職 員が本庁舎に集まらずにリモート会議を	□ 総合戦略		議	実績値	10				
成		行う	□ 個別計画		%	達成率	200.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可) 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	22 点	5 点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

## 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

G [担当係長の意見・課題・改善業等] ※今後の事業の進め万等 ICT利用環境整備として庁舎内Wi-Fi整備を実施し、執務場所をはじめ各会議室、支所や公民館においても利用環境が整った。 またそれに伴い、コロナ禍で普及したオンライン会議利用も増大し、本市が会議ホストとなって実施するオンライン会議も多く行われている。(令和3年度実績としてホスト、ゲスト 合わせて平均3.3会議/日でオンライン会議が利用されている) 庁舎内部の会議(庁内連絡会議等)におけるオンライン会議については、多く活用されていないようであるが、市民も加えた本庁、支所間を結ぶオンライン会議(健康教室等)は多く 開催され、好評であった。

#### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

ICT利用環境整備として庁舎内Wi-Fi整備を実施し、執務場所をはじめ各会議室、支所や公民館においても利用環境が整った。 また、それに伴いオンライン会議が、本庁支所職員間はもちろんのこと、市民等を交えて実施できたことは大きな成果であった。

今後においては、更に活用方法等を模索しながら利便性の向上を目指していく。

## 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

50

7,500

36, 374

12,782

5,536

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 情報推進室情報推進 課局名 (令和 3 年度決算) 事 19003 1 務 価 総務課 係名 事 業 行政事務情報化推進事業 細事業 情報化推進事務費 実施計画事業 情報化推進事務事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 286 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 ICT環境整備事業 別計 策 10 情報管理、情報化の推進 期間 R2 <sup>年度</sup> ~ R3 款 GISライセンス料 2 年度 5,022 項 施策展開 ⑤行政デジタルシフトの推進 1 ペーパーレス会議利用料 1,210 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 11 後期基本計画 71 P ☑ 過疎計画 ~ 総合戦略 OA機器廃棄業務委託料 決算 32 駐車場等使用料 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 庁舎内共通業務に関する統合型サービス利用 R 3 計画 6, 374 6, 374 できた。 た、活用のための研修会を開催でき、実運用を開始することができた。 ーパーレス会議システムは課長クラスの会議でも有効活用ができているが、保レベルやその他庁内会 6, 374 R3 当初予算 6,374 決 算 額 5, 536 5, 536 R 4計画 7,500 7, 500 R4 当初予算 6,408 6,408 決 算 額 R 5 計画 7,500 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ペーパーレス会議室システムの導入庁舎内統合型GISシステムの一元管理化業務データー元管理ツールの検証 R6計画 7,500 7,500 R6 当初予算 決 算 額

	評価指標名	指標値の説明 (算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		台	目標値	200	200	200	200	200
С	1 タブレット、リモートパソコン導入	・議員用、管理職用ペーパーレス会議用 ・リモートワーク、WEB会議活用	□ 個別計画	5	口	実績値	205				
活					%	達成率	102.5				
動指標	Mil The color of the color	L-10EH Afternoon	□ 総合戦略		ライ セン	目標値	35	80	100	100	100
標	2 業務データー元管理ツール 導入	クラウド型データー元管理ツール (KINTONE想定)	□ 個別計画		Z	実績値	35				
					%	達成率	100.0				
			総合計画		会	目標値	5	10	20	30	40
D	1 ペーパーレス会議数実績	ペーパーレス会議数実績 ※議会、庁内連絡会議等	□ 総合戦略		議	実績値	10				
成			□ 個別計画		%	達成率	200.0				
成果指		   クラウド型データー元管理ツールを利用	□ 総合計画		業務	目標値	3	10	30	40	50
標	2 データー元管理業務数	し複数年情報レコードが管理された業務数	□ 総合戦略		務	実績値	3				
			□ 個別計画		%	達成率	100.0				

R3 ~ R7 合 計

R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

7,500

36, 374

12, 782

5, 536

評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	4点		4 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	19 点	4 点	19点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

## 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

ペーパーレス会議の導入に当たっては、ほぼ予定通りの実運用が開始できた。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

ペーパーレス会議の導入に当たっては、議会も積極的に取り組んでいただいたため、ほぼ 予定通りの実運用が開始できた。 タブレットやモバイルパソコンの活用に関してもスムーズに運用が行えている。 細事業として区別しているが、基幹電算事務事業に統合しても問題ない内容と思われる

タブレットやモバイルパソコンの活用に関してもスムーズに運用が行えている。 細事業として区別しているが、基幹電算事務事業に統合しても問題ない内容と 思われる。

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-5 統合

19005			V T 13%	一川	<b>/ 承</b>	6 P	計画系	実施言	计画		大连:	罗 目	理)									様式 1)
	1	(令和	3 年度 2	夬 算	) =	<b>F</b>	務	事	業	評	価	調	書	課局	名	糸	総務課		係名	情報推	推室性 係	青報推進
事業行	<sub>了政事務情</sub>	報化推進事業	ž.		細事業	I C	CT環境	竟整備事	事業			9,	実施計画	事業	ノモート	ワー	ク整備事	業			終了 年度	R3
総合計		→ ( 284 )									, .											
会計 一般		Ⅲ 豊かな				きるま	ち				個						令和 3	年度 主	Eな歳出	1名称	当	初予算額
款 2	施策	10 情報管									別計	期間		年度 ~		年度	機械器具	<b>人</b> 費				12, 2
項 1	施策展開	⑤行政デ									画											
目 11	後期基準	本計画 71	P	過政	計画		総合戦	比略		コロナ充当		期間	:	年度 ~		年度						
<b>と</b> 算 32 A	事業目的	・内容・実	續										B 事業計	十画額	- 決算都	(等						
	事業の目的	カと内容		年			<b>‡</b> ;	な活動	実績					事等	美費計		-		源内訳		_	立:千円
<事業の目的				度	職昌田	エバイ				、(設定、	国辺	┩┢	D 0 EU E	_			支出金	地方侵	ŧ	その他	+-	-般財源
リモートワー B会議等利用	ク対応及び	ドペーパーレ 岩末道ス	ス会議、W	D0	機器もその他	含む)					/HJ 7/2	╌	R 3計画		12, 237		11, 300					93
D Z 18% 47 (17) [1	C /   / P 3	11/1/17/		หง	-C 071E	, 101	界児宝	加加加坡	<b>有</b> 合只件 。	八寸		╌	当初予算	+	12, 237		12,000					23
													決 算 額 R 4 計画	+	11, 380		11, 300				-	8
				R4								╌	当初予算									
				11.4								╌	ラガッタ 決 算 額	+								
				_								-11-	<u>へ チ 略</u> R 5 計画	+					-			
				R5								11	当初予算	+								
<令和3年度	きの取組内	容(計画) >		110								11	決算額	-								
												-11-	R 6計画	+					+			
				R6								╌	当初予算	-								
												11:	決算額	į								
												11	R 7 計画	i								
				R7									当初予算									
													決算額	į								
													計画額	į	12, 237	]	11,300					93
						R3	· ~	R7 f	合 言	<del>'</del> †			当初予算		12, 237	1	12,000					23
												1	決算額	į	11,380	]	11,300					8

	評価指標名		指標値の説明	(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
					総合戦略			目標値					
С	1 —				□ 個別計画			実績値					
活							%	達成率					
動指					総合戦略			目標値					
標	2 —				個別計画			実績値					
							%	達成率					
					総合計画			目標値					
D	1 —				□ 総合戦略			実績値					
成果					□ 個別計画		%	達成率					
果					□ 総合計画			目標値					
指標	2 —				□ 総合戦略			実績値					
					□ 個別計画		%	達成率					
Е	評価対象外の理由	0 評価対	- 象	_				•	•	(\$	対象外事業(	<b>まF~I欄</b> オ	表記入 可)
	п. д. 323371 чу-д д	O 11 1 1 1 1 1	<i>→</i>							.,		- 104-1	

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 → 4 → 5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっている 4 → 5 なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 5点 5 点 評 優先度高い 優先度低い 後. 4 → できた 4 → 5 'た 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった 1 → 2 -価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 点 13 点 - 点 13 点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 推移していない ⇒ 4 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 /25点 推移した

G 【担当係長の意見・課題・改善策寺】 ※今後の事業の進め方寺	H 【担当課長職等0.
コロナ感染対策によるICT活用のための環境整備については、令和2年、3年度にかけて	コロナ感染対策による
実施。	度にかけて実施。
リモートワークやオンライン会議など活用しやすい環境を整備することができた。	リモートワークやオン
本事業は令和3年度にて終了となる。	た。
	本事業は合和3年度に、

の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 [CT活用のための環境整備については、令和2年、3年

ライン会議など活用しやすい環境を整備することができ

て終了となる。

I 令和5年度の事業の方向	I	令	和	5	年	度	の	事	業	の	方	向	性
---------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

 $\Rightarrow$ C. 終 了

事業番号		枝番
20002		1
事業	地	域情
総合	計画	1体系

	<b>業番号</b>	枝番		和 3 年 ] 3 年				於合計画実施 孫	施計画書 ( 業 評	兼進価	<b>捗</b> 1	_	里)	課局	名	糸	※務課		係名	.   情		( <b>様式 1</b> ) 室情報推進
			と推進事業			1	事業	携帯不感地域				_	色計画	<u> </u>	ļ		解消事業	É	1		終了年度	なし
	総合	計画体系図	<b>lo.→ (</b> 281	)																		
会計	一般	政	策 Ⅲ 豊	かなくら	しと安	で心を知	実感でき	きるまち		1	古						令和 3	年度	主な劇	<b>选出名</b> 和	Ť :	当初予算額
款	2	施	策 10 情	報管理、	情報化	2の推注	焦			カラ 言		I		年度 ~		年度	鉄塔土地	也借上料	料			60
項	1	施策展	開 ④携帯	青電話不愿	感地域?	を狭め	る			Ī	画						立木伐採	<b>聚委託</b> 料	타			10
目	11	後期基	基本計画	71 P		過疎	計画	□ 総合戦略	□ コロナ充語	<b>4</b> 4	期間	ii)		年度 ~		年度	火災等保	<b>保険料</b>				7
決算	33	△ 車業日	的・内容	- 宝緒								R	主章	- 田瀬	· 決算都	鉱						
						年		+ +\ \	私中体			<u> </u>	<del>7</del> 7						財源内	l訳	1)	単位:千円)
			目的と内容			度			動実績					争习	美費計	国県:	支出金	地力	方債	その	他	一般財源
く!! 携帯	<b>■業の目</b> Ⅰ 電話不愿	<b>的&gt;</b> 紫地域に対	し、市で彗	整備した	光ケ	i	民間携帯内携帯電	電話サービス事業者 話不感地域はエリア	により、国に報告 的にはすべて解消	してい <i>†</i> となっ <i>†</i>	き市 き。	R:	3 計画	Ū	775							77
ーブ	ルインフ	7ラを利用	した携帯で 格差是正る	電話アン	テナ	R3	ビス事業	の受信状況が良くな 者へ報告も行ってい	ろ.			当礼	初予算	Ī	775							775
IIA IE.	2 1EVE C	2 I EXXX 61	пижен	2 121 0		i	ょたてい. いただく	地域の利用者からも よう協力いただいて	いる。	表有 1 1	<b>生形</b> は	決	算 額	Į	657							65
												R 4	4 計画	Ī	775							77
						R4					Ш	当礼	初予算	Ī	775							77
											Ш	決	算 額	Į								
												R!	5 計画	Ī	775							77
						R5					Ш	当礼	初予算	Ī								
			内容(計画)									決	算 額	Į.								
民間で、	携帯電話 当市携帯	5サービス 5電話不感	事業者に。地域の基準	よる自主! 也局建設!	事業 が進							R (	6 計画	Ī	775							779
んで	おり、そ	の進捗等	事業者との業者につい	り情報共	有。	R6					Ш	当礼	初予算	Ī								
不感	地域等の	情報提供	を行う。		.,,,,						Ш	決	算 額	Į								
												R.	7 計画	Ī	775							77
						R7					Ш	当礼	初予算	Ī								
												決	算 額	Į								
												計	画額	Į	3, 875							3, 87
								R3 ~ R7	合 計		Ш	当礼	初予算	Ī	1,550							1, 550
												決	算 額	Į.	657							657
												1										
		評価指	標名 ————		指標	※値の	況明 (算	出方法等)	各計画指	崇 F	2実績	領値	単位	達成		R3	R4		R5	+	R6	R7
С	1 市内排	携帯電話り	ービス提信	共 市内	内携帯電	直話サ	ービス	提供業者数(R2.	4	戦略		,	社	目標 実績・			1	4		4	4	,
	業者数			)					□ 個別	計画		3	%	達成		100.	1			+		
活動				_						Wh m/r		_	,0	目標		100.	1			+		
指				- 1					総合	戟略			L	- 1/4	-		1					l .

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		社	目標値	4	4	4	4	4
С	1 市内携帯電話サービス提供 業者数	市内携帯電話サービス提供業者数 (R2.4)	個別計画	3	1	実績値	4				
活	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
	III. III. T. T. T. D. L. I. B. Ber VIII. Beller		✓ 総合計画		筃	目標値	6	6	6	6	6
D	1 携帯電話不感地域解消箇所数	携帯電話不感地域総務省報告数(R2.4) 不感地域 6か所	□ 総合戦略	1	所	実績値	6				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	19 点	4点	19点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	/25点	4 点	∕25点

# 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

を間居住エリアに対する携帯電話不感地域解消事業は国としてもサービス事業者の自主事業での取り組みを依頼しており当市としては、そういった事業所に市が整備した光ファイバー網の芯線の貸出にてサポートしている(令和3年は依頼無し)市としては、携帯電話サービス事業者の自主事業で必要があれば、可能なサポートを提供している状況。

本事業としては、主にこれまで事業実施した基地局の管理が主な業務内容となる。

## 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

市としては、携帯電話サービス事業者の自主事業で必要があれば、可能なサポートを実施するが、令和3年度は無かった。 本事業としては、主にこれまで事業実施した基地局の管理が主な業務内容とな

## 令和5年度の事業の方向性

なし

事業番号		枝番		(	令和	0	3
21001		1		(	令和	ı	3
事 業	ケ	ーブル	レテレ	ビ	管理	事	業
総合	計画	■体系	⊠No.→	(	279	)	

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

ケーブルテレビ管理事業

(令和	3 年 度 決 算 )	事	務	事	業	評	価	調	書	課局名	総務課	係名	ケーブルテレビ管理 係
													•

総合計	計画体系図No.→	(	279	)	

会計	一般	政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち	. 1
款	2	施 策	10 情報管理、情報化の推進	5
項	1	施策展開	③ケーブルテレビ事業を充実する	Ī
目	12	後期基本	計画 71 P   過疎計画   総合戦略   コロナ充当	1

細事業

期間 年度 年度 ~ 年度 期間 年度 ~

実施計画事業

ケーブルテレビ管理事業

令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 ケーブルテレビ運営業務委託料 105, 577 ブルテレビ関係機器更新工事 97, 900 請負費 自主放送番組制作業務委託料 38, 481 21. 914

決算   34     A 事業目的・内容・実績			B 喜葉計	画額・決算額	ケーブ	ルテレビ施設管	管理委託料	21, 914
事業の目的と内容	年度	主な活動実績	7 7 7 7 7 7	事業費計		財源内	讨訳	(単位:千円)
	度	エなが勤夫順		<b>学</b> 未頁司	国県支出金	地方債	その他	一般財源
<b>&lt;事業の目的&gt;</b> コミュニティ情報の基盤となる番組制作及び		週間!情報トレインを中心とした自主放送番 組を制作し、市民への情報提供を行った。	R 3計画	348, 796	700		318, 242	29, 854
ケーブルテレビ設備・機器の維持・更新を行い、行政情報の伝達及びテレビ放送等の安定	R3	組を制作し、市民への情報提供を行った。 テレビ放送や通信サービス等を安定供給する ため、伝送路の維持管理、設備・機器の保守	当初予算	348, 796	700		318, 242	29, 854
したサービス提供を行う。		及び更新を行った。	決 算 額	378, 433	800		249, 267	128, 366
			R 4計画	347, 985			318, 242	29, 743
	R4		当初予算	349, 734			326, 980	22, 754
			決 算 額					
			R 5計画	347, 985			318, 242	29, 743
	R5		当初予算					
<令和3年度の取組内容(計画)>			決 算 額					
行政情報と放送番組等サービスを安定供給するため、伝送路の維持管理、設備・機器の保			R 6計画	347, 985			318, 242	29, 743
守及び更新を行う。	R6		当初予算					
			決 算 額					
			R 7計画	347, 985			318, 242	29, 743
	R7		当初予算					
			決 算 額					
			計 画 額	1, 740, 736	700		1, 591, 210	148, 826
		R3 ~ R7 合 計	当初予算	698, 530	700		645, 222	52, 608
			決 算 額	378, 433	800		249, 267	128, 366

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	97, 900	97, 900	97, 900	97, 900	97, 900
С	1 ケーブルテレビ設備・機器 更新		□ 個別計画	95, 700	円	実績値	95, 700				
活					%	達成率	97.8				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		%	目標値	89	89	89	89	90
D	1 ケーブルテレビ加入率		□ 総合戦略	88. 4	/0	実績値	88. 5				
成			□ 個別計画		%	達成率	99. 4				
果指		·	総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	22 点	5点	22点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	/25点	3 点	∕25点

## 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

## 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

ケーブルテレビが開局し10年が経過し、今後のケーブルテレビの運営形態について検討する必要がある。指定管理者制度の導入や国のガイドラインを参考に民間移行できる部分は運営形態の見直しを行っていく。

## 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

事業番号	枝番
23001	1

(様式1) (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 まちづくり推進課 文化芸術振興係 (令和 3 年度決算) 事 事 業 評 務 価 係名 事 業 文化振興事業 細事業 総合文化センター自主事業 実施計画事業 総合文化センター自主事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 364 ) 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 当初予算額 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 豊後大野市文化振興計画 別計 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R8 文化芸術振興事業補助金 款 2 策 4 文化・芸術の振興 160 項 施策展開 ①文化・芸術活動を推進する 1 画 県美展巡回展負担金 80 総合文化センター運営審議会委員 報酬 名 目 13 後期基本計画 90 P 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 33 決算 35 県美展市長賞負担金 15 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 市民に文化芸術鑑賞機会を提供するため、幅広い年代に応 けた各種事業を実施した。 ・受託事業:7事業の内 2事業 2回開催 入場者数: 692人 ・自主事業:10事業の内10事業 50回開催 入場者数:2,795人 <事業の目的> 市民に文化芸術鑑賞機会を提供するため、 幅広い年代に向けた各種事業の実施 R 3 計画 298 298 R3 当初予算 298 298 決 算 額 228 228 R 4 計画 300 300 R4 当初予算 298 298 決 算 額 R 5 計画 300 300 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 受託事業 R 6計画 受託事業 ・第17回絵本原画展 ・ぶんごおおのMusic Festa ・第16回芸術祭 ・「HOKORIプロジェクト」 300 300 当初予算 R6 決 算 額 えいとびあ寄席 R7計画 300 自主事業
・寺子屋えいとびあ
・プレミアムコンサートシリーズ
・エンターテイメントシリーズ
・次世代育成シリーズ
・エイトピアおおの探検隊
・エイトピアおおの大ホールひとりじめ
・エイトピア映画上映会 300 R7 当初予算 決 算 額 計画額 1, 498 1,498 当初予算 R3 ~ R7 合 計 596 596 決 算 額 228 228

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		Į.	目標値	7,000	7,000	7, 000	7,000	7,000
С	1 総合文化センター自主事業 入場者数	自主事業の入場者数	個別計画	2, 909	人	実績値	2, 795				
活	7 V				%	達成率	39. 9				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 _		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		口	目標値	48	48	48	48	48
D	1 文化活動の活性化自主事業 の数	自主事業の回数	□ 総合戦略		ī	実績値	50				
成			□ 個別計画		%	達成率	104. 2				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評	曲(係長)	二次評価	(課長寺)
	計画項目グランの税点(199点で計画)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 1 なっ	$\rightarrow$ 2 $\rightarrow$ 3 $\rightarrow$ 4 $\rightarrow$ 5 でいない $\Rightarrow$ なっている		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 1 優男	→ 2 → 3 → 4 → 5 法度低い → 優先度高い		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 1 でき	→ 2 → 3 → 4 → 5 なかった ⇒ できた 3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 1 推移し	→ 2 → 3 → 4 → 5 していない ⇒ 推移した	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか <u>1</u> 推移し	→ 2 → 3 → 4 → 5 していない ⇒ 推移した	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの自粛ムードが続き、各施設の利用は低調のまま推移した。文化活動(受託·自主事業)への影響は当面続くと思われるが、一刻も早く新型コロナの終息を願いつつ、各施設のイベントが通常どおりの規模で再開すれば、入場者を呼び戻し事業の展開ができる。	引き続き、事業の支援を行うとともに、適正に事業の実施を行う。

令和5年度の事業の方向性

なし

829

330

263

184

当初予算額

(単位:千円)

350

349

200

350

200

350

1,450

2, 050

1,700

-般財源

1,720

1,720

1,462

3, 300

1,391

2, 150

3, 300

2, 150

12,620

3, 111

朝倉文夫記念館係

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 まちづくり推進課 23002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 業 価 係名 事 業 文化振興事業 細事業 朝倉文夫記念館自主事業 実施計画事業 朝倉文夫記念館自主事業 総合計画体系図No.→ 364 ) 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 豊後大野市文化振興計画 別計 期間 H29 年度 ~ R8 款 策 4 文化・芸術の振興 印刷製本費 2 年度 項 1 施策展開 ①文化・芸術活動を推進する 記念品代 名 コロナ充当 年度 ~ 目 13 後期基本計画 90 P 過疎計画 総合戦略 期間 決算 35 通信運搬費 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 〈事業の目的〉 朝倉文夫記念館及び文化ホールで自主事業を 行うことにより、市民への美術鑑賞の機会を 提供し、美術に関する感性を醸成する。また 、美術制作を楽しんでいる市民に発表の場を 提供し、文化活動を支援する。 ・県内作家による個展2回、県内のアマチュア作家を対象 した美術コンクール 1回、大分県美術協会との共催事業 1回開催 入場者教 計2,074人 ・外に出る美術館 6回実施 参加者数131人 ・朝倉文夫・兄弟等に関する調査 6回実施、小冊子「朝倉文夫 第5集」の発行 R 3 計画 2,070 R3 当初予算 2.070 決 算 額 1,811 R 4 計画 3, 500 R4 当初予算 3,091 決 算 額

R3 ~ R7 合 計

R5

R6

R7

<令和3年度の取組内容(計画)>

1回開催

同展)

・県内作家による個展2回、共催展(県美展巡

回版月 1回開催 ・県内のアマチュア作家を対象とした美術コンクール 1回 ・外に出る美術館事業 10か所程度 ・朝倉文夫・兄弟等に関する調査及び小冊子 発行

				決	算者	頁 1,	811			349	1, 462
	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R 2 実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
С	1 朝倉記念館鑑賞型事業の入 場者数	朝倉記念館鑑賞型事業の入場者数 自主事業の入場者数	□ 個別計画	1,460	人	実績値	2,074				
活動					%	達成率	103. 7				
動指		用倉記念館参加型事業の参 自主事業におけるワークショップや、外 に出る美術館事業の参加者数	総合戦略		Į.	目標値	300	300	300	300	300
指標	2 朝倉記念館参加型事業の参加者数		□ 個別計画	695	人	実績値	131				
					%	達成率	43.7				
	and the second s		□ 総合計画		口	目標値	3	2	3	2	3
D	1 文化活動の活性化自主事業の数	自主事業の数	□ 総合戦略	2	쁘	実績値	3				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R 5 計画

当初予算

決 算 額

R6計画

当初予算 決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

3,500

2,500

14,070

5, 161

評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 0 評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	4 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	16 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5  推移していない ⇒ 推移した	2 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 さまざまな美術の鑑賞や体験の機会、また、作品制作を楽しんでいる市民に発表の機会を提供することにより、市民の豊かな感性を育むため必要な事業と考える。今後はホームページやSNS等を有効に活用した広報で集客を図るとともに、長年実施している事業については内容の見直しも行いたい。 施設の情報発信により、市民が利用しやすい環境づくりを進め、適正に事業の 実施を行う。

令和5年度の事業の方向性

なし

当初予算額

3,900

朝倉文夫記念館係

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 まちづくり推進課 (令和 3 年度決算) 事 業評 係名 23003 1 務 価 事 業 文化振興事業 細事業 大分アジア彫刻展事業 実施計画事業 大分アジア彫刻展事業 総合計画体系図No.→ ( 364 ) 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 豊後大野市文化振興計画 策 4 文化・芸術の振興 別計 大分アジア彫刻展負担金 款 2 期間 H29 年度  $\sim$  R8 年度 項 施策展開 ①文化・芸術活動を推進する 1 名 目 13 後期基本計画 90 P □ 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 決算 35 B 事業計画額·決算額等 A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年	主な活動実績		事業費計		財源内	別	(単位:千円)
	度			<b>中</b> 木貝미	国県支出金	地方債	その他	一般財源
<b>&lt;事業の目的&gt;</b>  日本近代彫刻の基礎を築いた本市出身の彫塑		・実行委員会、第16回大分アジア彫刻展作品募集 応募総数172点	R 3計画	3, 900			3, 000	900
家朝倉文夫を顕彰し、アジアの新進彫刻家の登音門となる彫刻展を開催する。彫刻展を開	R3	・第一次及び第二次番食会、専門会員会を美施 ・関連事業として、巨大猫制作第3弾「立ち上がる猫」の作 品制作を宝施 細監書数 2642人	当初予算	3,900			3, 000	900
家朝倉文夫を顕彰し、アジアの新進彫刻家の登竜門となる彫刻展を開催する。彫刻展を開催する。彫刻展を開催する。彫刻展を開催する。彫刻展を開てまたとで、地方から全国・世界へ向けて文化情報の発信を行う。		・ 第一次及び第二次審査会、専門委員会を実施 ・ 関連事業として、巨大端制作第3弾「立ち上がる猫」の作 品制作を実施 観覧者数 2642人 ・ 「立ち上がる猫」制作風景写真展1回、過去の入賞作品を 展示する紹介展 県内外で5回開催	決 算 額	3, 900			3, 000	900
スに旧報や元白を刊り。			R 4計画	6, 900				6, 900
	R4		当初予算	6, 900			6,000	900
			決 算 額					
			R 5計画	3, 900				3, 900
	R5		当初予算					
<令和3年度の取組内容(計画)>			決 算 額					
・実行委員会(7月) ・第16回大分アジア彫刻展作品募集(8月~12			R 6計画	6, 900				6, 900
月) ・過去の入賞作品を展示する紹介展(県内外5	R6		当初予算					
筒所程度)			決 算 額					
・第一次・第二次審査会(2月) ・専門委員会(2月)			R 7 計画	3, 900				3, 900
	R7		当初予算					
			決 算 額					
			計画額	25, 500			3,000	22, 500
		R3 ~ R7 合 計	当初予算	10,800			9, 000	1,800
			決 算 額	3, 900			3,000	900
				•	•		•	

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
	1 彫刻展本展等の入場者数 彫刻展本展、関連事業等の入場者数	総合戦略		ı	目標値		2,500		2,500			
С		彫刻展本展、関連事業等の入場者数	個別計画	1, 619	人	実績値	2,642					
活					%	達成率						
動指			総合戦略		Y	目標値	300		300		300	
標	2 彫刻展の応募者数	彫刻展の応募者数	□ 個別計画	311	311	入	実績値	172				
					%	達成率	57. 3					
		総合計画		口	目標値							
D	1 文化活動の活性化事業の数	自主事業の数	□ 総合戦略	5	ш	実績値	6					
成			□ 個別計画		%	達成率						
果指標			□ 総合計画			目標値						
標	2 —		□ 総合戦略			実績値						
			□ 個別計画		%	達成率						

 E
 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I 欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	2 点	16 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5  推移していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 朝倉文夫の顕彰とアジア地域在住の新進彫刻家の輩出を目的とした特色ある彫刻展であり、平成4年度から大分県と共催で実施している。作品を通じて市民が彫刻に親しみ、国際文化に触れる機会を提供するため、必要な事業である。今回は、新型コロナ等の影響を受け、応募数が減少したため、今後、作家への周知方法や募集内容に見直しが必要と考える。

I 令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 まちづくり推進課 文化芸術振興係 23004 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 文化振興事業 細事業 神楽会館自 主事業 実施計画事業 神楽会館自 主事業 なし 総合計画体系図No.→( 364 ) 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市文化振興計画 別計 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R8 款 策 事務運営事業委託料 2 4 文化・芸術の振興 年度 8,200 項 1 施策展開 ①文化・芸術活動を推進する 燃料費 125 名 後期基本計画 90 P コロナ充当 期間 年度 ~ 消耗品費 目 13 過疎計画 総合戦略 80 決算 35 丁数料 52 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 郷上芸能の拠点施設としての役割を担い、 各団体の公演実績を重ね、郷上芸能の継承と 団体の育成をめざしている。 神楽一般公演、特別講演を実施(実施8回、 4回はコロナで中止)した。 ・公演回数:8回 人場者数:932人 R 3 計画 8,509 6,094 2, 415 R3 当初予算 6,094 8, 509 2, 415 決 算 額 7, 232 982 6, 250 R 4 計画 8,500 8,500 R4 当初予算 8,509 2, 415 6,094 決 算 額 R 5 計画 8,500 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・毎月の神楽公演開催 ・郷上芸能の継承と育成 ・多日的ホール運営 R6計画 8,500 8,500 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 8,500 8,500 R7 当初予算 決 算 額 計画額 42, 509 2, 415 40,094 R3 ~ R7 合 計 当初予算 4,830 17,018 12, 188 決 算 額 7, 232 982 6, 250 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R7 R6 目標値 2, 400 2, 400 2, 400 2, 400 2,400 神楽会館自主事業の人場者 数 □ 総合戦略 C 自主事業の人場者数 553 実績値 932 □ 個別計画 % 達成率 38.8 目標値 □ 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 総合計画 目標値 12 12 12 12 12 文化活動の活性化自主事業 D 自主事業の回数 総合戦略 実績値 個別計画 % 達成率 66.7 ᄨ 目標値 総合計画 指 実績値 総合戦略 標 個別計画 % 達成率 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

ſ		評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
		許価項目/5つの代点(1~5点で計画)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
	F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline                                  $	3 点		3 点	
	ΊШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
		5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	/25点	3 点	∕25点

	G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
、各施れるが	年度は、新型コロナウイルス感染拡入防止のため、イベントの自粛ムードが続き 費の利用は低調のまま推移した。神楽会館(自主事業)への影響は当面続くと思わ - 刻も早く新型コロナの終息を願いつつ、各施設のイベントが通常どおりの規模 ければ、人場者を呼び戻し事業の展開ができる。	

令和5年度の事業の方向性

176,878

96, 997

52

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 まちづくり推進課 文化芸術振興係 24001 1 (令和 3 年度決算) 事 務 係名 事 業 文化振興施設管理事業 細事業 総合文化センター管理事業 実施計画事業 総合文化センター管理事業 なし 総合計画体系図No.→( 367 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市文化振興計画 別計 策 4 文化・芸術の振興 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R8 総合文化センター指定管理委託料 款 77, 781 2 項 施策展開 ②文化活動施設を整備する 1 総合文化センター改修工事請負費 16, 500 名 目 コロナ充当 期間 年度 ~ 13 後期基本計画 90 P 過疎計画 総合戦略 剪定業務等委託料 2,830 決算 36 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 **〈事業の目的〉**文化施設や郷土の作家作品等を後世に引き継ぐとともに、市民の主体的な文化活動を積極的に推進するため、文化施設環境を整備する。 国県支出金 地方債 その他 一般財源 施設の利用者の安全確保に やすい施設整備を行った。 ・敷地内の樹木剪定 ・舞台照明設備改修工事 ・WiーFi環境整備工事 安全確保に努め、市民等が利用し R 3計画 97, 114 97, 114 R3 当初予算 97, 114 97, 114 決 算 額 99, 049 2,000 52 96, 997 R 4 計画 97,000 97,000 R4 当初予算 79, 764 79, 764 決 算 額 R 5 計画 97,000 97,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・エイトピアおおの小ホール舞台照明設備改 R6計画 97,000 97,000 修工事 ・総合文化センター敷地内の樹木剪定 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 97,000 97,000 R7 当初予算 決 算 額 計画額 485, 114 485, 114

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
	1 総合文化センターの利用者 数		総合戦略	目標値	62,000	62,000	62, 000	62,000	62,000		
С		総合文化センターの利用者数	□ 個別計画	22, 311	人	実績値	25, 737				
活	~.				%	達成率	41.5				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
			%	達成率							
		✓ 総合計画		I	目標値	62,000	62,000	62,000	62,000	62,000	
D	1 年間利用者数	総合文化センターの年間利用者数	□ 総合戦略	22, 311		実績値	25, 737				
成			□ 個別計画		%	達成率	41. 5				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

当初予算

決 算 額

176,878

99,049

2,000

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 総合文化センターは、経年劣化による修理や改修工事が増加しており、優先度を考慮し 一リングを行いながら修繕計画を見直し、計画を基に設備等の修繕を行う。 ーコロナ後の利用者増を図り、計画的な施設の改修の取組む。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 (令和 3 年度決算) 事 価 課局名 まちづくり推進課 朝倉文夫記念館係 24002 1 務 係名 事 業 文化振興施設管理事業 細事業 朝倉文夫記念公園管理事業 実施計画事業 朝倉文夫記念公園管理事業 なし 総合計画体系図No.→( 367 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市文化振興計画 別計 策 4 文化・芸術の振興 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R8 文化ホール改修工事請負費 款 45, 430 2 年度 項 1 施策展開 ②文化活動施設を整備する 朝倉文夫記念公園施設管理委託料 4, 985 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 13 後期基本計画 90 P ☑ 過疎計画 総合戦略 調査設計監理委託料 4,000 決算 36 展示品購入費 1,000 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 文化施設や郷土の作家作品等を後世に引き継ぐとともに、市民の主体的な文化活動を積極的に推進するため、文化施設環境を整備する ・記念公園及び各施設の管理 ・文化ホール地下水対策工事 ・吊り橋奥土間コン修繕 R 3 計画 14, 262 64,082 R3 当初予算 14, 262 64,082 49,820 ・朝倉文夫、兄弟らの作品・資料収集 決 算 額 57, 721 1, 248 56, 473 R 4 計画 50,000 50,000 R4 当初予算 14, 585 1,009 13,576 決 算 額 R 5 計画 50,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・記念公園及び各施設の管理 ・文化ホール地下水対策工事 ・吊り橋奥土間コン修繕 ・朝倉文夫、兄弟らの作品・資料収集 R6計画 50,000 50,000 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 50,000 50,000 R7 当初予算 決 算 額

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		Į.	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
С	1 朝倉文夫記念館の来館者数	朝倉文夫記念館の来館者数	個別計画	3, 176	人	実績値	3, 523				
活					%	達成率	58. 7				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 =		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		,	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
D	1 年間利用者数	朝倉文夫記念館の来館者数	□ 総合戦略	3, 176	八	実績値	3, 523				
成			□ 個別計画		%	達成率	58. 7				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

計画額

当初予算

決 算 額

264, 082

78, 667

57,721

214, 262

27, 838

56, 473

50, 829

1,248

 E
 評価対象外の理由
 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		3 点	
ТШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2 点	14 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2点	/25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市民が利用しやすい文化施設環境の整備を行い、施設の長寿命化を図っている。また、朝倉文夫やその兄弟の作品や資料を後世に引き継ぐための管理、収集を行った。経年劣化により施設の維持や改修には多額の費用を要するが、当市の文化振興に寄与するため、優先順位や実施方法等を検討しながら今後も適切に管理する必要がある。

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

事業番号		枝番	
24006		1	
事業	文	化振卵	Į施

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

2	24006	1	(令和	3 年度》	夬 算	)	務	<b>事業</b>	評	価	調	書	課局名	まちづ	くり推進	課 係:	名 文化語	芸術振興係
事	業	文化振興施	設管理事業	É		細事業	神楽会館管理	理事業			実	<b>薬施計画</b>	事業 神楽:	会館管理	事業		終年	
	総合	計画体系図No	.→ ( 367 )														-	ix
会計	一般	政 第	t V 豊か	な心と学ぶ意	意欲を	育むます	ò			個		大野市ス	文化振興計	画	令和 3 4	拝度 主な	歳出名称	当初予算額
款	2	施第	4 文化	・芸術の振興						別計	期間	H29	年度 ~ R	9 年度	神楽会館施	設管理委託	托料	933
項	1	施策展開	②文化流	舌動施設を整	備する	5 -				画名					舞台設備操	作業務委託	壬料	370
目	13	後期基	本計画 90	) P 🗌	過政	村画	総合戦闘	格	1ロナ充当	<u> </u>	期間		年度 ~	年度	自家用電気	工作物保留	安管理委託料	350
決算	36	A 事業目的	り・内容・	実績							В	事業	十画額・決	<b>車額等</b>	施設警備委	託料		198
		事業の目			年		± な	活動実績			$\neg  \vdash$		事業費			財源区	内訳	(単位:千円)
/1	¥の目		-,-,,,		度	七七三八	の有効利用及び		の生会	佐伊テ	⊣⊢			国県	と出金	地方債	その他	一般財源
文	化施設。	や郷土の作品である。	家作品等を	後世に引き	D0	努め、	市民等が利用				ΗË	3計画	-, -				1, 050	
極的		するため、			К3	を図っ ・神	た。 楽会館楽屋入	口屋根設置	工事			á初予算	-	-			1, 050	
る。					_							と 算 額	1				310	
					R4						Ⅱ	4 加玄僧	-, -	-			1 050	5, 600
					11.4							当初予算 と 算 額		13			1, 050	4, 529
					┢							、		500				5, 600
					R5						Ⅱ	· 初予算		100				3,000
<=	3和3年	■度の取組内	容(計画) >	>							Ⅱ	と算額	_					
• 施	設の有効	動利用、市1			Н						-	₹6計画	+	600				5, 600
揼児	の整備				R6						业	当初予算						,
											決	と 算 額	Į					
											R	R 7 計画	Ī 5, 6	600				5, 600
					R7						놸	当初予算	Ξ					
											決	と 算 額	Į					
											計	十画額	28,0	20			1,050	26, 970
							R3 ~ F	R7 合 計	ŀ		놸	<b>á初予</b> 算	11, 1	.99			2, 100	9, 099
											決	落 算 乡	6, 2	36			310	5, 926
		評価指標	名	指	票値の	)説明(算	算出方法等)	各	計画指標	₹ R	2 実績値	直単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
_							算出方法等)	各	計画指標総合単			人	目標値	R3	<del>                                     </del>			1
	1 神楽:	<b>評価指標</b> 会館の利用		指植 神楽会館(			拿出方法等)	各i		战略	<b>2 実績値</b> 2, 914	人	目標値	14, 000 4, 497	14, 00			1
活動	1 神楽:						算出方法等)		総合単個別記	战略 十画		人	目標値 実績値 達成率	14, 000	14, 00			1
活動指	1 神楽:						章出方法等)		総合単総合単総合単	战略 十画 战略		人	目標値	14, 000 4, 497	14, 00			1
活動指							拿出方法等)		総合単個別記	战略 十画 战略		人	目標値 実績値 達成率 目標値	14, 000 4, 497	14, 00			1
活動指							算出方法等)		総合単総合単総合単	战略 十画 战略 十画		人 % %	目標値 実績値 目標値 実績値	14, 000 4, 497	14,00	00 14,	000 14, 0	14,000
活動指標	2 —				の利用	用者数			総個別記載の個別記載の個別記載の個別記載の個別記載の記載の記載を表現しています。	战略 十		人 % %	目実達目実達目実達 目実	14, 000 4, 497 32. 1 14, 000 4, 497	14, 00	00 14,	000 14, 0	14,000
活動指標 D 成	2 —	会館の利用		神楽会館	の利用	用者数			総個別に対象をは、一般に対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、	战	2, 914	· 人· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	目 実 達 目 実 達 目 実 達 目 実 達 日 実 達 日 実 遺 に 本 値 値 を 乗 値 値 を 乗 産 値 値 を 乗 産 を 乗 産 を 乗 を 乗 を 乗 を 乗 を 乗 を 乗 を 乗	14, 000 4, 497 32. 1	14, 00	00 14,	000 14, 0	14,000
活動指標 D 成果指	2 _ 1 年間	会館の利用		神楽会館	の利用	用者数			総個別名前衛門的公司	<b>8</b>	2, 914	人 % %	目実達目実達目実達日実達日実達 目標値値率値値率値値率値値率値値率	14, 000 4, 497 32. 1 14, 000 4, 497	14, 00	00 14,	000 14, 0	14,000
活動指標 D 成果指	2 —	会館の利用		神楽会館	の利用	用者数			総個総の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の	<b>8</b>	2, 914	人 % %	目実達目実達目実達日実達日実達日実績成標額 (車車)	14, 000 4, 497 32. 1 14, 000 4, 497	14, 00	00 14,	000 14, 0	14,000
活動指標 D 成果指標	2 — 1 年間2 2 —	会館の利用: 利用者数	者数	神楽会館の神楽会館の	の利用	用者数			総個別名前衛門的公司	<b>8</b>	2, 914	4 % % % % 4 人	目実達目実達目実達日実達日実達 目標値値率値値率値値率値値率値値率	14, 000 4, 497 32. 1 14, 000 4, 497	14, 00	00 14,	000 14, 0	00 14,000
活動指標 D 成果指	2 — 1 年間2 2 —	会館の利用	者数	神楽会館の神楽会館の	の利用	用者数			総個総の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の	<b>8</b>	2, 914	4 % % % % 4 人	目実達目実達目実達日実達日実達日実績成標額 (車車)	14, 000 4, 497 32. 1 14, 000 4, 497 32. 1	14, 00	00 14, 00 14, 00 14, 00 (対象外事	000 14,00 000 14,00	00 14,000
活動指標	2 — 1 年間2 2 —	会館の利用: 利用者数	者数	神楽会館の神楽会館の対象	の年間	用者数			総個総の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の	<b>8</b>	2, 914	4 % % % % 4 人	目実達目実達目実達日実達日実達日実績成標額 (車車)	14, 000 4, 497 32. 1 14, 000 4, 497 32. 1	14,00	00 14, 00 14, 00 14, 00 (対象外事	000 14,00 000 14,00	00 14,000
活動指標	2 — 1 年間 2 — 評価文	会館の利用: 利用者数 対 <b>象外の理</b> 由	者数 □ ○評価	神楽会館の神楽会館の対象	の利用の発展できます。	用者数 引利用者 ヨグ5つの	数		総個総の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の	the state of the s	2,914 2,914 → 2 -	4 / % % % 4 / % %	目実達目実達目実達日実達日実達日実績成標額 (車車)	14, 000 4, 497 32. 1 14, 000 4, 497 32. 1	14,00	00 14, 100 14, (対象外事系長)	000 14,0 000 14,0 3業はF~I4	00 14,000 14,000 14,000 (課長等)
活動指標 D 成果指標 E	2 — 1 年間 2 — 評価文	会館の利用: 利用者数 対象外の理由 民満足(市長	1 ○ 評価	神楽会館( 神楽会館) 対象 評() の向上が其	の年間価項目	用者数 引利用者 ヨ/5つ0 きる事業	数 の視点(1~5		総個総の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の	機能 機能 機能 機能 機能 機能 機能 機能 機能 機能	2, 914 2, 914 2, 914 7, 10 to	4 / % % % % 4 / % %	目実達値 実達目実達目実達日実達 日実達が標値 実達は極率値 はなる。 日実達がある。 日実達がある。 日実達がある。 日実達がある。 日実達がある。 日実達がある。 日実達がある。 日実達がある。 日実達がある。 日実達がある。 日実達がある。 日実達がある。 日実達がある。 日実達がある。 日実達がある。 日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、	14, 000 4, 497 32. 1 14, 000 4, 497 32. 1	24,00 14,00 14,00	00 14, 100 14, (対象外事系長)	000 14,00	00 14,000 14,000 14,000 (課長等)
活動指標 D 成果指標 E F	2 — 1 年間 2 — 評価文 1. 市員 2. 事事	会館の利用: 利用者数 対象外の理由 表満足(市長	者数  1 ○評価  ミアンケート  は高いと思う	神楽会館( 神楽会館) 対象 評() の向上が其	の年間価項目	目 / 5つ0 きる事業 設定事業	数 の視点 (1~5 内容となって)		総個総の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の	                         	2,914  2,914  2,914  2,  1,02  2,	4	目実達値 実達目実達目実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実	14, 000 4, 497 32. 1 14, 000 4, 497 32. 1	次評価 (f	00 14, 100 14, (対象外事系長)	000 14,00 000 14,00 二次評価 評価点 3点	00 14,000 14,000 14,000 (課長等)
活動指標 D 成果指標 E F	2 — 評価文 1. 市區 2. 事該 3. 事該	会館の利用: 利用者数 対象外の理由 民満足(市庫 業の優先度に 業計画どおり	者数 □ ○ 評価 ミアンケート は高いと思う リに事業を進	神楽会館(神楽会館(か) か(同じ成男	の利用の存在では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	用者数 引利用者 ランラン きる事業 か	数 の視点 (1~ 5 内容となって 内での優先度		総個総の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の	We   We   We   We   We   We   We   We	2,914  2,914  2,914  2,914  2,914  2 - tivativ  → 2 - teg低い → 2 - to	4	目実達値 実達値 実達値 実達値 実達値 実達値 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	14, 000 4, 497 32. 1 14, 000 4, 497 32. 1	14,00 14,00 次評価 (作 五点 評 3 点 3 点	14, 10 14, 10 14, (対象外事 系長) 価点合計	000 14,0 000 14,0 二次評価 評価点 3点 3点	00 14,000 14,000 14,000 (課長等)
活動指標 D 成果指標 E F 評	2 — 1 年間 2 — 評価文 2 . 市 5 2 . 事 3 3 . 事 3 4 . 活 5	会館の利用: 利用者数 対象外の理由 表満足(市目 業計画どおり 動指標の達成	者数 O 評価 ペアンケート は高いと思う けに事業を進 式状況(率)は	神楽会館の 対象 評か (同じ成場) あることがで	の利用の年間でで標本を	目 を る事業 か ているか	数 の視点 (1~ E 内容となって 内での優先度		総個総の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の	We   We   We   We   We   We   We   We	2,914 2,914 2,914 2,914 2	4 / % % % % % % % % % % % % % % % % % %	目実達値 実達目実達目実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日ままで100mmのでは、100m	14, 000 4, 497 32. 1 14, 000 4, 497 32. 1 評 5 5 5 5	次評価 (f	00 14, 100 14, (対象外事系長)	000 14,0 000 14,0 000 14,0 二次評価 評価点 3点 3点 3点	00 14,000 14,000 14,000 (課長等)
活動指標 D 成果指標 E F 評	2 — 1 年間 2 — 評価文 2 . 事事 4 . 活動 5 . 成態	会館の利用 利用者数 対象外の理由 民満足(市自 業の優先度に 業計画どおり 動指標の達成	者数  ○ 評価  ミアンケート  は高いと思う  に事業を進  は状況(率)は	神楽会館・神楽会館・神楽会館・か (同じ成別・か (同じなり) 計画 どおり 計計画 どおり 計	の利用のおります。	目/5つできる事業か ているか	数 の視点 (1~5 内容となって) 内での優先度		総個総の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の別の名の	We   We   We   We   We   We   We   We	2,914 2,914 2,914 2,914 2,914 2,914 2,914 2,914 2,914 2,914 2,914	4	目実達値 実達値 実達値 実達値 実達値 実達値 実達が標値 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	14, 000 4, 497 32. 1 14, 000 4, 497 32. 1 章 5 5 5 5 5	次評価 (f 面点 評 3 点 3 点 3 点 3 点	15 点 /25点	3 点 3 点 3 点 3 点 3 点 3 点	14,000 14,000 14,000 (課長等) 評価点合計 15点 / 25点
<ul><li>活動指標</li><li>D 成果指標</li><li>E</li><li>F 評価</li><li>神</li></ul>	2 — 1 年間 2 — 評価文 2 — 3 . 事事 4 . 活動 5 . 成身	会館の利用語 利用者数 対象外の理由 民満足(市民 業計にでいる。 東指標の達成 ほ、劣化等に	者数  O 評価  Rアンケート  は高いと思う  が状況(率)は  な状況(率)は  系長の意見	神楽会館(神楽会館(神楽会館)か(同じ成別ではありばまりります。 かい (同じなります) かい (記述 おりばままります。 はままままままままままままままままままままままままままままままままままま	の利用のおります。	用者数 引利用者 ョン5つの きる事業 か ているか ※今後	数 の視点 (1~ E 内容となって 内での優先度		総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 圏 は 高 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単	W	2,914  2,914  2,914  2,914  2,914  2 - tovator  contact con	4 96 96 96 4 96 96 96 96 97 97 97 97 97 97 97 97 97 97	目実達値 実達値 実達値 実達値 実達値 実達値 実達が標値 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	14, 000 4, 497 32. 1 14, 000 4, 497 32. 1 章 5 5 5 5	次評価 (4	10 14, 10 14, 10 14, 10 15 点点 15 点点 25点 変等を踏ま	000 14,0 000 14,0 000 14,0 二次評価 評価点 3点 3点 3点	14,000 14,000 14,000 (課長等) 評価点合計 15点 / 25点
<ul><li>活動指標</li><li>D 成果指標</li><li>E</li><li>F 評価</li><li>神</li></ul>	2 — 1 年間 2 — 評価文 2 . 事事 4 . 活動 5 . 成場	会館の利用語 利用者数 対象外の理由 民満足(市民 業計にでいる。 東指標の達成 ほ、劣化等に	者数  O 評価  Rアンケート  は高いと思う  が状況(率)は  な状況(率)は  系長の意見	神楽会館(神楽会館(神楽会館)か(同じ成別ではありばまりります。 かい (同じなります) かい (記述 おりばままります。 はままままままままままままままままままままままままままままままままままま	の利用のおります。	用者数 引利用者 ョン5つの きる事業 か ているか ※今後	数 の視点 (1~5 内容となって 内での優先度		総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 圏 は 高 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単	W	2,914  2,914  2,914  2,914  2,914  2 - tovator  contact con	4 96 96 96 4 96 96 96 96 97 97 97 97 97 97 97 97 97 97	目実達 目実達 目実達 目実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 イン・ (監・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14, 000 4, 497 32. 1 14, 000 4, 497 32. 1 章 5 5 5 5	次評価 (4	10 14, 10 14, 10 14, 10 15 点点 15 点点 25点 変等を踏ま	3 点 3 点 3 点 3 点 3 点 3 点	14,000 14,000 14,000 (課長等) 評価点合計 15点 / 25点
<ul><li>活動指標</li><li>D 成果指標</li><li>E</li><li>F 評価</li><li>神</li></ul>	2 — 1 年間 2 — 評価文 2 — 3 . 事事 4 . 活動 5 . 成身	会館の利用語 利用者数 対象外の理由 民満足(市民 業計にでいる。 東指標の達成 ほ、劣化等に	者数  O 評価  Rアンケート  は高いと思う  が状況(率)は  な状況(率)は  系長の意見	神楽会館(神楽会館(神楽会館)か(同じ成別ではありばまりります。 かい (同じなります) かい (記述 おりばままります。 はままままままままままままままままままままままままままままままままままま	の利用のおります。	用者数 引利用者 ョン5つの きる事業 か ているか ※今後	数 の視点 (1~5 内容となって 内での優先度		総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 圏 は 高 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単	W	2,914  2,914  2,914  2,914  2,914  2 - tovator  contact con	4 96 96 96 4 96 96 96 96 97 97 97 97 97 97 97 97 97 97	目実達 目実達 目実達 目実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 イン・ (監・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14, 000 4, 497 32. 1 14, 000 4, 497 32. 1 章 5 5 5 5	次評価 (4	10 14, 10 14, 10 14, 10 15 点点 15 点点 25点 変等を踏ま	3 点 3 点 3 点 3 点 3 点 3 点	14,000 14,000 14,000 (課長等) 評価点合計 15点 / 25点
活動指標 D 成果指標 E F 評 価 神	2 — 1 年間 2 — 評価文 2 — 3 . 事事 4 . 活動 5 . 成身	会館の利用語 利用者数 対象外の理由 民満足(市民 業計にでいる。 東指標の達成 ほ、劣化等に	者数  O 評価  Rアンケート  は高いと思う  が状況(率)は  な状況(率)は  系長の意見	神楽会館(神楽会館(神楽会館)か(同じ成別ではありばまりります。 かい (同じなります) かい (記述 おりばままります。 はままままままままままままままままままままままままままままままままままま	の利用のおります。	用者数 引利用者 ョン5つの きる事業 か ているか ※今後	数 の視点 (1~5 内容となって 内での優先度		総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 圏 は 高 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単 言 単	W	2,914  2,914  2,914  2,914  2,914  2 - tovator  contact con	4 96 96 96 4 96 96 96 96 97 97 97 97 97 97 97 97 97 97	目実達 目実達 目実達 目実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 イン・ (監・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14, 000 4, 497 32. 1 14, 000 4, 497 32. 1 章 5 5 5 5	次評価 (4	10 14, 10 14, 10 14, 10 15 点点 15 点点 25点 変等を踏ま	3 点 3 点 3 点 3 点 3 点 3 点	14,000 14,000 14,000 (課長等) 評価点合計 15点 / 25点

A. 現状のまま継続

I 令和 5 年度の事業の方向性

なし

当初予算額

(単位:千円)

一般財源

18,512

18, 512

10, 946

18,000

18,450

18,000

18,000

18,000

18,000

18,000

18,000

90, 512

90, 962

10,946

14,000

1,914

628

400

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 枝番 課局名 税務課 収納管理係 (令和 3 年度決算) 事 係名 27001 1 務 価 事 業 税務総務事業 細事業 税務総務事業 実施計画事業 税務総務事業 総合計画体系図No.→( 309 策 IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 別計 期間 市税過誤納還付金 款 年度 ~ 年度 4 主体的で計画的な行財政運営の推進 項 施策展開 ②健全な財政運営と財政基盤の強化 2 会計年度任用職員報酬 名 大分県軽自動車税連絡協議会負担 目 後期基本計画 80 P 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 決算 38 普通旅費 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 **<事業の目的>** 税務管理行政の円滑な遂行 税務の管理に関する事業 R 3計画 18,512 R3 当初予算 18, 512 決 算 額 10,946 R 4 計画 18,000 R4 当初予算 18, 450 決 算 額

R3 ~ R7 合 計

R 5計画

当初予算

決 算 額

R6計画

当初予算

決 算 額 R 7計画

当初予算

決算額 計画額

当初予算

決 算 額

18,000

18,000

18,000

18,000

18,000

18,000

90, 512

90, 962

10,946

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
С	1 過誤納金の減少	前年度実績	個別計画	12, 199	円	実績値	7, 409				
活					%	達成率	61.7				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値					
D	1 適正な課税資料の収集		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε

		評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
		計画項目グランの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1.	市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2.	事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3.	事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
Щ	4.	活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5.	成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
税務の管理に関する事業として適正に実施されている。	税務管理行政の円滑な遂行に寄与できていると考えます。今後も、税制改正等に適時に対応した対応をしていきたい。また、DXへの取り組みも推進していきたい。

令和5年度の事業の方向性

<令和3年度の取組内容(計画)>

公平・公正かつ適正な課税・徴収を行うため の事務を行う。

R6

R7

事	業番号		枝番		(令和	3	年	度			
2	28003		1		(令和	3	年	度			
事	業	賦	課徴	又事業							
	総合	計画	画体系	図No.→	( 309 )						
会計	一般		政	策	IV 豊か	さき	とつか	> ኗ			
+4			₩-	hte		, .	-1				

事業番号 校番 (节和3 年度 計画) 総合計画美施計画書					k) 1	走	抄飞	3 埋	!)								(17)	20 1 /										
2	28003		1	( -	令和 (	3 年	度	決 算	:) ]	事	務	事	業		評	価	訓	Ħ	書	課局名		税務詞	果	係:	名	収納	管理	係
事	業	賦詞	課徴収事	業					細事業	賦部	果徴収事	業						実施	計画	事業 賦課	數収事	業				終了年度		なし
<b>∧=</b> 1		1 —	i体系図№				. 4. //1	カ風い	- L 7 -	+ -11/	'n					T [						<b>△</b> 10	0 5	- <del>-</del>	#= 11. <i>E</i> :	, 14-	V/ ÷π 3	7 At 45
会計	一般	┨┝	政 策		豊かさ						9					個								度 主な 影・オル:				予算額
款	2	┨┝	施策	+-	主体的											別 計	⊦ <del>  ``</del>	ij	4	F度 ~	年度	務委	託料			11794514		42, 460
項	2	┦┝	施策展開		健全な見				- 1	<b>単化</b>		- 1	_			画 名						l		価替業務委	き託料			16, 781
目 :: **	2	ĮL	後期基本	本計画	₫ 80	Р		過四	東計画		総合戦	略	Ш	]D	ナ充当	IJĽ	期間	1	4	F度 ~	年度	手数	料					12, 340
決算	39	J	事業目的	) - 内	容・実	績												в	事業計	画額・決	車額等	通信	運搬費					9, 491
			事業の目的					年			±+	>:午1	助実績	ŧ				$ egin{array}{c} $		事業費				財源内	小訳	-	単位:	千円)
	= 111 - =			17 6 1	110			度									_			<b>中</b> 未良	'' 国!	県支出:	金士	也方債	そ	の他	一般	財源
行政		継続	節かつ多	定的	」に供給	する	ため		市県氏。軽自	・税の版  動車科	は課業務 この賦課	。造業務	記覧	産税 民健	の賦 康保隊	県業務 食税σ	5	R 3	計画	100, 5	30					4, 784	9	5, 746
税収	を確保	する	0 0					R3	賦課業 等。	終。清	帯納者に	対す	る催	告及	び徴収	2業務	Š	当初	]予算	100, 5	30					4, 784	9	5, 746
									.,, 0								_	決〔	算額	87, 7	13					5, 223	8	32, 490
																	Ш	R 4	計画	60,0	00						6	50, 000
								R4									Ш	当初	]予算	87, 3	54					4, 460	8	2, 894
																		決〔	算 額									
																		R 5	計画	60,0	00						6	0,000
								R5									Ш	当初	]予算									
			の取組内														Ш	決〔	算 額									
			適正な課 オルソ画			行う	0										Ш	R 6	計画	60,0	00						6	0,000
/4/ 4	3 2 340.	40	.,	1120011	7-7-0			R6									Ш	当初	]予算									
																	Ш	決〔	算 額									
																	П	R 7	計画	60, 0	00						6	0,000
								R7									Ш	当初	]予算									
																	Ш	決〔	算 額									
																		計正	画 額	340, 5	30					4, 784	33	35, 746
										R3	· ~	R7	合	計			Ш	当初	]予算	187, 8	84					9, 244	17	8, 640
																	Ш	決〔	算額	87, 7	13					5, 223	8	2, 490
			評価指標	<u></u>		ı	指	<b>堙値</b> σ	)説明(	<b></b> 質出方	法等)			ķ <u>i</u> +i	画指標	ĪŖ	2 実糸	書値し	単位	達成度	R3		R4	R5		R6		R7
			#1 I= 7 = 1/2				7	N	. 150 77	,, —,,			<del>   </del>	_		+	- 241	_		目標値		97	9		97	9	+	97
С	1 収納	率の	向上			収え	入税額	/調簿	定税額					_	総合戦		96	5. 8	% -	実績値	97.	85						
活														] 1	個別計	画		ı	%	達成率	100	0. 9						
動指													Ī	7 ;	総合戦	略			/H-	目標値		13	1	3	13	13	3	13
	2 納税	に対	する啓発	Ě									1-	_	個別計			13	件	実績値		13						
															四刀引口				%	達成率	100	0.0						
														] ;	総合計	画				目標値								
D	1 税収	の確	<b>雀</b> 保											] ;	総合戦	略		L		実績値					_			
成果														_	個別計	_		_	%	達成率					_			
指														_	総合計					目標値					_			
標	2 —														総合戦			F	0/	実績値					_			
														1	個別計	画			%	達成率					Щ			
E	評価:	対象	外の理由	0	評価対	象																		(対象外事	業は	F~I欄	未記入	(可)
							⊕π	/# **	B / F ~	on to the	. (1	5 ±	76 ≣Ti /™	5)						_		一次評	価(係	(長)	=	次評価	(課長	等)
							部		H/ 55	,の保京	(1~	い点	に計価	u /								評価点	評化	西点合計	評	価点	評価,	点合計
F	1. 市	民満	足(市民	アン	ケート)	の向	引上が!	胡待で	きる事	業内容。	となって	いる	か		-		<u>→ 2</u> ていな			4 → 5 なっている		3 点	i			3 点		
評	2. 事	業の	優先度は	高い	 と思うか	) (E	間じ成り	果指標	設定事	業内での	の優先度	()				1 .	→ 2	$\rightarrow$	3 -	4 → 5	5	3 点	į			3 点		
-	o =	-#¥-⊕1	一面 じわ ロ	ı-	<del>*</del> + # u	h z -	- 1. 48-	z±+	. <b>.</b> .						$\dashv$		:度低し → 2		⇒ 3 -	優先度高い → 4 → 5			_			<del>-</del>		

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	許価項目グランの税点(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
ΊШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	∕25点	3 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
	本市の貴重な自主財源である税収の確保、税負担の公正性の確保のため、公平・公正かつ適正な課税の下、徴収率の向上に寄与できていると考えます。今後も、同様の取り組みを一層進めていくとともに、時代の要請に応じた固定資産情報システム及び収納システム、並びに市民サービス向上のため納税システムの構築にも努めていきたい。また、DXへの取り組みも推進していきたい。

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 (令和 3 年度決算) 事 課局名 市民生活課 戸籍住民係 29001 1 務 価 係名 事 業 戸籍住民基本台帳事業 細事業 戸籍、住民基本台帳等管理事業 実施計画事業 個人番号カード交付事務事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 271 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 地方公共団体情報システム機構交 策 10 情報管理、情報化の推進 別計 款 期間 年度 2 年度 ~ 25,696 項 施策展開 ①適正な情報管理を強化する 3 画 会計年度任用職員報酬 3, 497 名 社会保険料(会計年度任用職員分 □ 過疎計画 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 71 P 総合戦略 668 決算 40 期末手当(会計年度任用職員分) 438 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額·決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 行政手続きの簡素化など市民の利便性の向上を図るとともに、行政側の事務処理をスムーズに公平公正に行うことができるよう、マイナンバーカードの交付を実施する。 ・マイナンバーカードの申請支援 ・マイナンバーカードの交付 R 3計画 33, 731 32,618 1, 113 R3 当初予算 32, 618 33, 731 1, 113 決 算 額 17,500 17, 489 11 R 4 計画 7, 300 7,300 R4 当初予算 7, 267 7, 267 決 算 額 R 5計画 7,300 7,300 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決算額 ・マイナンバーカード申請支援・マイナンバーの交付 R6計画 7,300 7,300 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 7,300 7,300 R7 当初予算

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		日	目標値	120	120	120	120	120
С	1 マイナンバーカード申請支 援	マイナンバーカード申請支援の実施回数 (年度末・のベ日数)	個別計画	60	I	実績値	230				
活	****				%	達成率	191.7				
動指標		マイナンバーカードの時間外交付宝施日	総合戦略		日	目標値	25	25	25	25	25
標	2 マイナンバーカード時間外 交付	マイナンバーカードの時間外交付実施日数	□ 個別計画	19	I	実績値	28				
	~~~	(年度末)			%	達成率	112.0				
			□ 総合計画		%	目標値	66.8	100			
D	1 マイナンバーカード交付	マイナンバーカード交付率 (年度末)	□ 総合戦略	22.8	/0	実績値	36. 2				
成			□ 個別計画		%	達成率	54. 2				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

62, 931

40, 998

17,500

61,818

39, 885

17, 489

1, 113

1, 113

11

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
100	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	16 点	5点	16点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	2 点	∕25点	2 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 マイナンバーカードの交付については、適切な交付前処理及び交付ができた。 申請支援については、本庁・支所・市民病院で実施。 交付率は前年度からは増加したものの目標には及んでいない。 総務課情報推進係とともに出張申請支援等を実施し、適切な交付によりマイナンバーカードの普及に努める。 【担当課長職等の所見】

交付率は前年度からは増加したものの目標には及んでいない。 総務課情報推進係とともに出張申請支援等を実施し、適切な交付によりマイナ ンバーカードの普及に努める。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 選挙管理委員会事務 課局名 係名 31001 1 (令和 3 年度決算) 事 価 强举係 事 業 選挙啓発事業 細事業 選挙啓発事業 実施計画事業 選挙啓発事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 選挙管理委員会委員報酬 款 策 期間 年度 149 10 情報管理、情報化の推進 年度 ~ 項 ②広聴・広報活動を充実する 4 施策展開 消耗品費 100 名 2 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 71 P 総合戦略 通信運搬費 18 決算 42 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 **▽事業の目的>**特行機関から独立し、選挙に関する事務を管理、また選挙が公正に行われることを目的とする。

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」
「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」

「ないった」
「ないった」
「ないった」
「ないった」

「ないった」
「ないっ 国県支出金 地方債 その他 一般財源 啓発活動の実施 ・啓発ポスター募集 ・広報誌作成 R 3 計画 267 267 R3 当初予算 267 267 明るい選挙推進協議会開催 決 算 額 174 174 R 4計画 267 267 R4 当初予算 267 267 決 算 額 R 5 計画 267 267 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 選挙管理委員会(定時登録)3月.6月.9月.12 R6計画 267 267 月開催 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 267 267 R7 当初予算 決 算 額 計画額 1, 335 1,335 R3 ~ R7 合 計 当初予算 534 534 決 算 額 174174 指標値の説明(算出方法等) 評価指標名 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R6 R7 目標値 300 300 300 300 300 □ 総合戦略 C 啓発ポスターの募集人数 実績値 個別計画 % 達成率 目標値 総合戦略 回 実績値 2 模擬投票の開催数 標 個別計画 % 達成率 総合計画 月標値 80 80 80 80 80 % D 投票率 総合戦略 80 実績値 個別計画 % 達成率 ᄨ 目標値 総合計画 指 実績値 総合戦略 標 % 達成率 個別計画 Ε 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

-次評価(係長) 二次評価 (課長等)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3 点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 3点 評 優先度低い 優先度高い 2 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 3点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 15 点 3点 15点 推移していない ⇒ 推移した 3 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 3 点 /25点 推移していない 推移した

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】	※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
明るい選挙推進協議会による街頭啓発活動、学校で行う出前授業等がコロナの影響で出来 なかった。	現状のまま継続	
今後も状況を見ながら対応が出来るように準備は整えておく。		

令和5年度の事業の方向性

_	業業番号	枝番	•	3 年度1										<b>₽</b> [=		覧とプ	- 声致 E	=	15.50	.	E/:	(様式1)
	39001	1	(节和	3 年度 2	<b>大 异</b>	)事	形	事	業	評	価	調			課局名		[事務]	可	係名	1		查係
事		監査委員事業			i	細事業	監查	委員事業				:	実施計	画事第	<b>業</b> 監査委	員事業					終了 年度	
会計		+画体系図No 政 策	1	をつなぐ惨	名働に	よるまた	っづくり	)			<b>П</b> .						<b>今和 3</b>	年度	ま 主な歳	出名	称	当初予算額
款	2	施策	-	で計画的な							個 別			年度	~	年度	監査委員			ош п	13	2, 112
項	6	施策展開		人づくり・			7,				計画						消耗品費	ŧ				400
目	1	後期基本	計画 80	Р 🗌	過頙	計画	f	総合戦略		コロナ充当	名	期間		年度	~	年度	費用弁修	İ				231
決算	46	A 事業目的	. m. abo . abo	48								1	- <b>-</b>	b all mi	額・決算	#6 9tr	研修会等	等負担	金			118
				494	年			ナか江	断中结				<del></del>						財源内	訳	(.	単位:千円)
	±₩0□₩	事業の目的	アンスト		度	0 61		主な活		1) > 0	D. 1: -	4			事業費計	国県	支出金	地	方債	その	の他	一般財源
普通		団体の財務				〇 決算	算審查	出納検査	6 月	から3 から8	月まで	·Ⅱ⊦	R 3計		3, 007	7						3, 007
及い	経宮に係	る事業の管	埋等を監査	する。	R3			・行政監査 団体等監査		から3   から3		· II⊦	当初予		3, 007	-						3, 007
													決 算 - 4 = 1		2, 626	-						2, 626
					R4							- 1 -	R 4計 当初予		3, 000	-						3, 000
					K4							- 1 -	ヨ初ア		2, 922	4					$\longrightarrow$	2, 922
												-11	<u> </u>		3, 000	n						3,000
					R5							- 1 -	当初予		0,000							
<=	令和3年月	度の取組内容	字(計画)>									- 11	一 // / 決 算									
	例月現金 決算審査	出納検査		3月まで 8月まで								╗	R 6計	画	3,000	0						3,000
Ō	定期監査	・行政監査 団体等監査	9月から	3月まで	R6							ᆘ	当初予	算								
	X1 以1反功	四体4严正	071%-0	3712								Ш	決 算	額								
													R 7計	画	3, 000	)						3, 000
					R7								当初予	算								
												┵	決 算	額								
												Ш	計画	額	15, 007	7						15, 007
							R3	~ R7	合 言	it		- 11	当初予		5, 929							5, 929
												JL	決算	額	2, 626	3						2, 626
		評価指標名	3	指标	票値の	説明(算	<b>I</b> 出方法	(等)	各	計画指標	₹ R	2 実績	値 単位	_		R3	R4	4	R5		R6	R7
_	. 定期・	行政監査実	施対象部	本庁支所	の全部	『署及び/	小中学	校、幼稚園		総合單	銭略		. 課	! —	標値	5-	-	54		54	54	1 54
C	署数	115/111215	WENT PARTY	、学校支						個別言	計画	ŧ	54 %		E 積値 E 成率	100.						
活動									+	40 A 2	źb mez		団	_	標値		5	6		6	6	6
指標	2 財政援 象団体	要助団体等監 ***	查実施対	財政援助しの	団体等	監査実施	を計画し	に基づくも	.				8 体		<b>E</b> 績値							
		* 75%								個別言	TШ		%	達	直成率	16.	7					
	空期.	行政監査に	ナンナスを加	Bb-木 米·坎	たいるい	~ 5th/	+ +6+	应 沙辛。		総合言	計画		課	į E	標値							
D		11以監査に 指・注意部		監査業務を				間、		総合単			16	天	<b>ミ</b> 積値	2	1					
成果										個別記 総合記			%	_	を は は は は は は は は は は は は は は は は は は は							
指	2 —									総合単				_	2 1 点 iii							+
122										個別言			%	達	直成率							
E	評価対	象外の理由	0評価対	+ 分														(対	1象外事	業は F	-~ [欄	未記入 可)
			о ит падух.	, , , , ,												T =	次評価					(課長等)
				評	価項目	/ 5つ0	の視点	(1~5点	で評価)	)							西点		点合計			評価点合計
F	1. 市民	満足(市民)	アンケート)	の向上が其	   待で	きる事業	内容と	なっている	 るか		なって	こいなし	,، ⇒	な	4 → 5 よっている	<u> </u>	3 点	·			3 点	
評	2. 事業	の優先度は高	高いと思うか	い(同じ成界	見指標:	設定事業	内での	優先度)				→ 2 度低い			4 → 5 <b>E</b> 先度高い		3 点				3 点	
	3. 事業	計画どおりに	こ事業を進め	りることがて	きた	か							→ 3 E ⇒	→ <i>'</i>	4 → 5 できた		3 点				3 点	
価	4. 活動	]指標の達成物	犬況(率)は言	十画どおり推	養し	ているか					1 -	→ 2		→ <i>i</i>	4 → 5 推移した		3 点		14 点		3 点	14 点

5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

### 2点 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

/25点

2点

/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

G 【担当係長の意見・課題・故善業等】 ※今後の事業の進め万等
①各課の協力の下、定期監査を前倒しで実施したことにより、衆議院選挙業務の支援を円滑に実施することができた。
②しかしながら、衆議院選挙の日程がなかなか決まらず、衆議院選挙の時期に通常行う予定であった、財政援助団体等監査を実施することができなかった。
③ 8年ぶりに住民監査請求の監査を実施し、法定の期限内に請求人に対し監査結果を通知することができた。
④ 突然提出される住民監査請求に対応するため、情報収集に努めるとともに、法や判例、行政実例等の理解を深めたい。
⑤ 令和4年度は、参議院選挙が執行されるため、決算審査を前倒しするなど、業務の平準化を図り、参議院選挙業務の支援を円滑に行いたい。

選挙業務の支援にかかわらず、計画どおりに監査を実施すること。 各種監査をはじめ、住民監査請求等に対応するため、平素から情報収集に努めるとともに法令や判例などの理解を深めるなど研鑚を積むこと。 引き続き選挙業務の支援に努めること。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 (令和 3年度決算) 事 課局名 40001 1 務 価 社会福祉課 係名 福祉監查係 事 業 細事業 実施計画事業 遺族会援護事業 社会福祉総務事業 遺族会援護事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 遺族会補助金 507 3 2 地域福祉の充実 年度 ~ 年度 項 1 施策展開 ①地域福祉活動を推進する 自動車等借上料 327 名 B 後期基本計画 40 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 追悼式祭壇作成委託料 110 決算 47 消耗品費 52 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** (単位:千円) 財源内訳 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 -般財源 <事業の目的> 市遺族会連合会が実施している戦没者遺族の ・市遺族会連合会への運営補助金の交付・戦没者に対する追悼及び慰霊に関する事業 (市戦没者追悼式は縮小開催。県戦没者追悼 R 3 計画 1,013 1,013 回過版云座日云が美麗している戦役有過飲石 福祉の向上や英霊顕彰の活動等に要する費用 を一部補助することにより、戦争体験を伝え ることなど恒久平和の実現に関わる活動につ ながる。また、戦没者の追悼及び慰霊事業を 実施する。 R3 当初予算 1,013 1.013 式は中止) 決 算 額 674 32 642 R 4 計画 1,013 1,013 R4 当初予算 1,025 1,025 決 算 額 R 5 計画 1,013 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・市遺族会連合会への運営補助・戦没者に対する追悼及び慰霊に関する事業 (市戦没者追悼式・大分県戦没者追悼式) R6計画 1,013 1,013 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,013 1,013 R7 当初予算 決 算 額 計画額 5,065 5,065 当初予算 R3 ~ R7 合 計 2,038 2,038 決 算 額 674 32 642 評価指標名 各計画指標 R2実績値 単位 R3 R4 R5 R6 R7 指標値の説明(算出方法等) 達成度 目標値 □ 総合戦略 回 C 遺族会連合会役員会議 遺族会連合会役員会議数 実績値 個別計画 % 達成率 100.0 目標値 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 総合計画 月標値 44 44 44 44 44 遺族会連合会役員会議参加人数(延べ人数) D 役員会議参加人数 総合戦略 実績値 48 % 達成率 109. 1 個別計画 ᄨ 目標値 総合計画 指 実績値 総合戦略 標 % 達成率 個別計画

Ε 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) -次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点

評価点合計 → 2 3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっている なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 評 3点 優先度低い 優先度高い 2 3 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 19 点 5点 19点 推移していない ⇒ 推移した <del>→</del> 3 → 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 /25点 /25点 推移した

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 連合会の会員数が減少しているため、補助金額の見直し等も今後の課題となると考えるが、、係やひ係でつくる青年部が軌道にのるまでは、引き続き変更ない内容での支援が必要。 県・市戦没者追悼式については、感染症の状況等による開催内容の変更を行ったが、開催の計画等については、これまでどおりの実施内容で取り組みたい。 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

連合会の会員数が減少する中、補助金額の見直し等も今後の課題となると考えるが、引き続き変更ない内容での支援が必要。 県・市戦没者追悼式については、これまでどおりの実施内容で取り組みたい。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 社会福祉課 福祉監査係 40002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 業 価 係名 事 業 社会福祉総務事業 細事業 社会福祉協議会支援事業 実施計画事業 豊後大野市社会福祉協議会補助事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 123 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 豊後大野市社会福祉協議会補助金 款 策 期間 年度 55,000 3 2 地域福祉の充実 年度 ~ 項 1 施策展開 ①地域福祉活動を推進する 画 名 後期基本計画 40 P コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 過疎計画 総合戦略 決算 47 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> :会福祉協議会は地域福祉の推進を図るこ 運営補助金の交付 市地域福祉推進大会への補助(縮小開催) R 3 計画 55,000 55,000 を目的とした団体であり、地域共生社会の実 現に向けた取組みを進める上で社協が実施す る地域福祉事業の実施に対して予算の範囲内 で補助金を交付する。 R3 当初予算 55,000 55,000 決 算 額 55,000 55,000 R 4 計画 55,000 55,000 R4 当初予算 55,000 55,000 決 算 額 R 5 計画 55,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決算額 社協が実施する地域福祉のための各種事業に 係る費用に対して行なう補助。 R6計画 55,000 55,000 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 55,000 55,000 R7 当初予算 決 算 額

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		筃	目標値	7	7	7	7	7
С	1 地区社協の設置及び運営支 援	地区社協の設置数	□ 個別計画	7	所	実績値	7				
活					%	達成率	100.0				
動指標			┃			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		口	目標値	1				
D	1 地区社協の連絡会の開催	連絡会の開催回数	□ 総合戦略		ш	実績値	1				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率		·			
		<u>'</u>									

R3 ~ R7 合 計

計画額

当初予算

決 算 額

275,000

110,000

55,000

275,000

110,000

55,000

 E
 評価対象外の理由
 ①評価対象

 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの代点(「でラ点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	19 点	5 点	19 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市社協の実施事業の精査及び運営補助金以外の、市より委託等行っている事業で交付されている人件費との充当状況の重複確認などを実施し、関係課と交付内容の正当性について 協時協議を行っていく。 場係課と交付内容の正当性について随時協議を行っていく。

I 令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3年度決算) 事 社会福祉課 福祉監査係 40002 2 務 価 係名 事 業 社会福祉総務事業 細事業 社会福祉協議会支援事業 実施計画事業 地域福祉推進大会補助事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 123 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 年度 地域福祉推進大会補助金 250 3 2 地域福祉の充実 年度 ~ 項 1 施策展開 ①地域福祉活動を推進する 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 1 後期基本計画 40 P 過疎計画 総合戦略 決算 47 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 地域福祉の意識を高め身近に感じることを目 表彰式のみの縮小開催。 R 3 計画 250 250 的に開催される地域福祉推進大会の運営に要する経費について、予算の範囲内で補助金を R3 当初予算 250 250 決 算 額 78 78 R 4計画 250 250 R4 当初予算 250 250 決 算 額 R 5 計画 250 250 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 市地域福祉推進大会の運営補助。 R6計画 250 250 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 250 250 R7 当初予算 決 算 額 1, 250 計画額 1,250 R3 ~ R7 合 計 当初予算 500 500 決 算 額 78 78 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) 各計画指標 R2実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R6 R7 目標値 12 4 13 12 12 12 □ 総合戦略 C 地域福祉推進大会関係団体 関係団体数 体 実績値 個別計画 達成率 92.3 目標値 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 総合計画 月標値 300 300 300 300 300 D 地域福祉推進大会参加者 参加者人数 総合戦略 25 実績値 個別計画 % 達成率 ᄨ 目標値 総合計画 指 実績値 総合戦略 標 % 達成率 個別計画 Ε 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

-次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 3点 評 優先度低い 優先度高い 2 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 3点 できた できなかった 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 15 点 3点 15点 推移していない ⇒ 推移した 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 3点 /25点 推移していない 推移した

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
2 カ年連続の縮小開催となったが、通常開催の場合、市民向けの研修の一環として、講会を開催しており、講師招聘費用等もあるため、引き続き同額の補助が必要。	演 新型コロナ感染症対策により縮小開催となっているが、通常開催の場合、市民向けの研修の一環として、講演会を開催しており、講師招聘費用等もあるため、引き続き同額の補助が必要。

I 令和 5 年度の事業の方向性

	3 年度記3 年度記						事( 評	兼進技 価		管理)	課局名	礻	上会福祉	:課	係名	<u>.</u>		( <b>様式 1</b> ) 左査係
事 業 社会福祉総務事業			細事業	避難行	<b></b>	援者対策	<b>策事業</b>			実施計画事	事業 避難	行動要	支援者対	策事業			終了 年度	なし
	いな福祉社会の 福祉の充実	実現	を目指す	まち				個 別 計	期	間 年	度 ~	年度	遊離行	3 <b>年度</b> 動要支援				<b>当初予算額</b>
項     1     施策展開     ②災害       目     1     後期基本計画     4	時における地 0 <b>P</b> 🗌		业を支援で <b>計画</b>		総合戦略		コロナ充当	画	期	間 年	度 ~	年度	庁用器 消耗品					229
47	実績	年							1	B 事業計	画額・決	算額等	通信運		<b>財源内</b>	訳	(単	5:
事業の目的と内容		度				<b>5動実績</b>					事業費	計国	県支出金			その		一般財源
<b>&lt;事業の目的&gt;</b> 平常時から避難行動要支援者に関			・避難行からの情	動要支 報提供	援者の把 を行なう	握及び名 旨の意思	簿の作成 確認の実	、平常時 施。		R 3計画		760						760
把握や関係者との情報共有等を行 災害時の避難・誘導の支援体制を	なうことで 整備する。	R3	・協力員要支援者	への支持	援体制の	推進をは	かった。		-	当初予算		760						76
			・個別避 署との検	難計画 討会議	作成準偏 を開催し	にあたっ た。	ては万円	の関係部	ì	決算額		664						66
									ı	R 4計画		535						53
		R4							١	当初予算	1,	932						1, 932
									┨	決 算 額 R5計画		535						
		R5							١	当初予算		030						53
<令和3年度の取組内容(計画))	>	110							١	決 算 額								
<ul><li>避難行動要支援者の把握及び名</li></ul>	簿の作成								1	R 6計画		535						539
・平常時からの情報提供を行なう認		R6							ı	当初予算								
・協力員の設置について(自治委頼)	貝へ協力依								ı	決 算 額								
• 個別避難計画作成準備									1	R 7計画		535						535
		R7							ı	当初予算								
									╛	決 算 額								
									1	計画額	2,	900						2, 90
				R3	~ R	7 合	計		ı	当初予算	2,	692						2, 692
									ı	決算額		664						664

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		寸	目標値	5	5	5	5	5
С	1 避難行動要支援者名簿の情 報提供先	平時からの情報提供に同意した方の名簿 情報の提供先の数	個別計画	5	体	実績値	5				
活	,,,,,				%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
	white card are lated to be the all-		✓ 総合計画		%	目標値	66	68	70	72	75
D	1 避難行動要支援者名簿の情 報提供同意者	支援関係者への平時からの情報提供同意 者の割合	□ 総合戦略	66	70	実績値	55				
成			□ 個別計画		%	達成率	83. 3				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0 評価対	· · · ·		•			•	(4	t 象 外 事 業 i	t <b>F ~ Ⅰ 欄</b> 未	·記入 司)

(対象外事業はF~I欄未記入 可) 評価対象外の理由 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 個別避難計画作成のため、今後さらに関係機関等と連携し事業の推進を図ることが重要となる。 平常時からの情報提供及び計画作成の同意についての取組を引き続き進めていく。 個別避難計画作成のため、関係機関等と連携が更に重要となる。 常日頃より情報提供及び計画作成の同意についての取組を引き続き進めていく。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ B. 見直しの上で継続-1 拡充

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 福祉監査係 40005 1 (令和 3年度決算) 務 価 社会福祉課 係名 事 業 細事業 社会福祉関係総務事務費 実施計画事業 社会福祉関係総務事務事業 社会福祉総務事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 年度 地域福祉計画策定業務委託料 3 2 地域福祉の充実 年度 ~ 3,300 項 1 施策展開 ①地域福祉活動を推進する 地域福祉計画策定委員出務謝礼金 276 名 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 40 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 254 決算 47 行旅病人行旅死亡人援護費 227 B 事業計画額·決算額等 A 事業目的・内容・実績 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 -般財源 第4期地域福祉計画の策定 第11回特別 形態金支給業 (2カ年目) 社会福祉法人監査はコロナ感染症の拡大のため、予定して た3カ所の実施ができず1カ所のみの実施となった 行旅死亡人の取扱い1件 地域共生社会構築連携会議2回開催、作業部会の設置 (3部 <事業の目的> 地域福祉全般に係る各種事業(地域福祉計画 に関すること・社会福祉法人監査に関すること と・特別弔慰金等援護事務に関すること・行 旅病人行旅死亡人に関すること)を実施する 4, 359 R 3 計画 357 4,002 R3 当初予算 357 4,002 4, 359 決 算 額 4, 102 407 20 3,675 R 4 計画 426 692 266 R4 当初予算 838 382 456 決 算 額 R 5 計画 692 266 426 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 第4期地域福祉計画の策定業務 R6計画 692 266 426 ・第11回特別弔慰金支給業務 ・社会福祉法人監査業務 ・行旅病人行旅死亡人に係る救護及び援護業 当初予算 R6 務 決 算 額 地域共生社会構築連携(庁内)会議業務 R 7計画 692 266 426 R7 当初予算 決 算 額 計画額 7, 127 1,421 5,706 当初予算 813 4, 384 R3 ~ R7 合 計 5, 197 決 算 額 4, 102 407 20 3,675

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		筃	目標値	3	4	3	3	4
С	1 社会福祉法人指導監査の実施	実施法人数	個別計画	4	ᆵ	実績値	1				
活	2				%	達成率	33. 3				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		箇所	目標値	2	3	2	2	3
D	1 社会福祉法人指導監査での 文書指摘	社会福祉法人指導監査での文書指摘がな かった法人数	□ 総合戦略	4	所	実績値	1				
成		7 7 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	□ 個別計画		%	達成率	50.0				
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 Ε (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価	1 (係長)	二次評価	(課長寺)
	計画項目グラフの代点(1~9点で計画)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 1 → なってい	2 → 3 → 4 → 5 ない ⇒ なっている 3点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 1 → 優先度(	2 → 3 → 4 → 5 tい ⇒ 優先度高い 3点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 1 → できなか	2 → 3 → 4 → 5 った ⇒ できた 3点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 1 → 推移しているか	2 → 3 → 4 → 5 Nない ⇒ 推移した 4点	17 点	4 点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 1 → 推移しているか	$2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ いない ⇒ 推移した 4点	/25点	4 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

本年度は地域福祉計画の策定年度であったため、策定にかかる業務がこの社会福祉関係総 務事務事業の主な事業であった。 戦没者特別弔慰金支給事業が来年度請求期間の最終年度となるため、勧奨事務等への取組 が重要となる。 また、コロナウイルス感染症拡大の影響で実施できなかった社会福祉法人指導監査につい

ては、来年度実施予定の法人に加えて実施する。

### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

地域福祉計画の策定年度であったため、策定にかかる業務が主な事業であった。 戦没者特別弔慰金支給事業が来年度請求期間の最終年度となるため、勧奨事務 等への取組が重要となる。 また、コロナウイルス感染症拡大の影響で実施できなかった社会福祉法人指導 監査については、来年度実施予定の法人に加えて実施する。

#### 令和5年度の事業の方向性 I

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 社会福祉課 生活保護係 40007 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 社会福祉総務事業 細事業 生活困窮者自立支援事業 実施計画事業 住居確保給付事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 163 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 6 社会保障の充実 期間 年度 住居確保給付金 333 3 年度 ~ 項 施策展開 ①低所得者福祉を充実する 1 名 後期基本計画 48 P 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 1 過疎計画 決算 47 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 休業・離職等により住居を失った又はそのお それのある者に対し、住まいを確保し、安心 して就職活動ができるよう、家賃に充てるた めの費用を支給することにより自立の促進を 申請に基づく給付事業であるが、申請がなか R 3 計画 333 84 R3 84 当初予算 249 333 決 算 額 R 4 計画 84 333 249 R4 当初予算 333 84 249 決 算 額 R 5 計画 333 249 84 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 申請に基づく給付金の支給 84 R6計画 333 249 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 84 333 249 R7 当初予算 決 算 額 計画額 1,665 1,245 420 498 84 R3 ~ R7 合 計 当初予算 666 84 決 算 額 各計画指標 R3 R4 R5 R7 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) R 2 実績値 単位 達成度 R6 目標値 □ 総合戦略 С 給付対象者 対象者数 (年度末) 実績値 □ 個別計画 % 達成率 目標値 □ 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 総合計画 目標値 D 総合戦略 実績値 個別計画 % 達成率 ᄨ 目標値 総合計画

工作四躬行日立又版仏に至う、心穴ず未り うしめる。   工作四躬行日立又版仏に至う、心穴ず未り うしめる。	专給	<b>実続けたいが 生活促進に至る前の段陛の自立支援第の論ルを図るため 事業を継続</b>	<ul><li>上 子兄誰に云る前の即即の白。</li></ul>	5 古塚竿の卍	ルナーツァモル	古光ナ、砂砂	出上 アルボ
支給実績はないが、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、事業を継続 する必要がある。			工作体度に主る前の段階の日1	4.又饭來炒浊	16を図るため	)、争果を極度	院する必要
	生活	困窮者自立支援法に基づく必須事業の一つである。 実績はないが、生活促業に至る前の段階の自立支援等の論化を図るため、事業を継続	生活困窮者自立支援法に基づく	《必須事業の	一つである。	・ 古光ナ.伽ら	は ナマ ツ 亜
		5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	T → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点	∕25点	— 点	∕25点
15   反里指標の達成状況(※)は計画とおり推移しているか	щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	推移していない ⇒ 推移した	3 点	13 点	3 点	12 点
4. 活動指標の達成状況(率)は計画とおり推移しているか 推移していない ⇒ 推移した 3 点 13 点 3 点 12 点 1 → 2 → 3 → 4 → 5	価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
3. 事業計画とおりに事業を進めることができたか	評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点	

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)

総合戦略

個別計画

なっていない

実績値

達成率

→ 4 →

なっている

(対象外事業はF~I欄未記入 可)

評価点

3点

二次評価 (課長等)

評価点合計

-次評価(係長)

3点

評価点 評価点合計

%

指

標

Ε

F

評価対象外の理由

0評価対象

1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 社会福祉課 生活保護係 40007 2 (令和 3 年度決算) 事 係名 事 業 社会福祉総務事業 細事業 生活困窮者自立支援事業 実施計画事業 子どもの学習・生活支援事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 163 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 会計年度任用職員報酬 款 策 6 社会保障の充実 期間 年度 1,083 3 年度 ~ 項 施策展開 ①低所得者福祉を充実する 1 講師謝礼金 480 名 社会保険料(会計年度任用職員分 後期基本計画 48 P □ 過疎計画 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 1 総合戦略 216 決算 47 施設等使用料 159 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額·決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 貧困の連鎖を防止するため、生活困窮世帯の 子どもに対する学習支援をすることを目的と する。 支援対象世帯に、学習支援、関係機関との情 報共有や連絡調整を実施した。 R 3計画 2, 382 1, 191 R3 1, 191 当初予算 2, 382 1, 191 決 算 額 1,747 873 874 R 4 計画 1, 191 2, 382 1, 191 R4 当初予算 2,367 1, 184 1, 183 決 算 額 R 5計画 1, 191 1, 191 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・支援対象世帯に学習ボランティアを派遣 ・学習支援員を中心とした関係機関との情報 共有 R6計画 2, 382 1, 191 1, 191 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 2,382 1, 191 1, 191 R7 当初予算 決 算 額 計画額 11,910 5,955 5, 955 2, 374 R3 ~ R7 合 計 当初予算 2, 375 4,749 決 算 額 1,747 873 874 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4  $\overline{\phantom{a}}$ 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) R5 R6

			11 体性等的的 (异国为14 17		八百八根區		~ ////	110	 110	11.0	11.7
C 活	1 1 1 1 1 1 1	ディア	学習ボランティア登録者数 (年度末)	<ul><li>総合戦略</li><li>個別計画</li></ul>	8	人 %	目標値 実績値 達成率	6			
動指標		支援	支援対象者 (年度末)	総合戦略	10		目標値実績値	7			
-						%	達成率				
				□ 総合計画			目標値				
D	1 —			□ 総合戦略			実績値				
成				□ 個別計画		%	達成率				
果指				□ 総合計画			目標値				
標	2 —			□ 総合戦略			実績値				
				□ 個別計画		%	達成率				

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3$  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 4 点 3点 評 優先度低い 優先度高い - 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった ⇒ 1 → 2 → 3 できた 価 4 -12 点 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 3点 14 点 推移していない ⇒ 推移した

	5. 成果指標の達成状況(率)は計画とおり推移しているか	推移していない ⇒ 推移した	— 点	/25点		/25
	G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】	※評価・改	善策等を踏ま	えた課長職等	の所見
子ど	困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。学習支援を中心に生活困窮世帯の もが抱える課題の解決を図ることで、貧困の連鎖を防止することに寄与する事業であ 不登校や進路等、目に見える成果に表れないが、今後も継続する必要がある。	生活困窮者自立支援法に基づく 困窮世帯の子どもが抱える課題の に寄与する事業であるため、今後	解決を図る	ことで、貧困		

令和5年度の事業の方向性

Ε

評価対象外の理由

0 評価対象

A. 現状のまま継続

(対象外事業はF~I欄未記入 可)

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3年度決算) 事 40007 3 務 価 社会福祉課 係名 生活保護係 事 業 細事業 実施計画事業 生活困窮者自立相談支援事業委託事業 社会福祉総務事業 生活困窮者自立支援事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 生活困窮者自立相談支援事業委託 別計 款 策 期間 年度 3 6 社会保障の充実 年度 ~ 11,324 項 1 施策展開 ①低所得者福祉を充実する 画 名 B 後期基本計画 48 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 決算 47 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に 豊後大野市社会福祉協議会に委託し事業を実 施した。また、関係者の情報共有と支援内容 の協議を行った。 R 3 計画 11, 324 6,750 生活因網有所化なる多様で後日的な同題に少いて、生活困窮者からの相談に応じ、さまざま情報提供及び助言を行うとともに、さまざまな支援を一体的かつ計画的に行うことをより、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的とする。 R3 当初予算 6,750 11, 324 4, 574 決 算 額 8,537 6, 402 2, 135 R 4計画 6, 750 4,574 11, 324 R4 当初予算 11, 478 4,728 6,750 決 算 額 R 5計画 6,750 11, 324 4,574 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・豊後大野市社会福祉協議会に委託 ・自立相談支援会議を開催し、関係者の情報 共有と支援内容の協議を行う。 R6計画 6,750 11, 324 4,574 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 11, 324 6,750 4,574 R7 当初予算 決 算 額 計画額 56,620 33, 750 22,870 当初予算 13,500 R3 ~ R7 合 計 22, 802 9, 302 決 算 額 8,537 6,402 2, 135 R7 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) 各計画指標 R 2 実績値 単位 R3 R4 R5 R6 達成度 目標値 □ 総合戦略 C 自立相談 相談件数 (年度末) 182 実績値 12 個別計画 % 達成率 目標値 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 総合計画 月標値 D 総合戦略 実績値 % 達成率 ᄨ 目標値 総合計画 指 実績値 標 総合戦略 % 達成率 個別計画 Ε 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) -次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点合計 評価点 評価点

3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっている なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 評 5点 優先度低い 優先度高い 2 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 3点 12点 14 占 推移していない ⇒ 推移した <del>→</del> 3 → 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 /25点 推移した 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

生活困窮者自立支援法に基づく必須事業の一つである。複合的な課題を抱える 生活困窮者に対して、包括的な支援を今後も継続して提供する必要があるととも に、関係職員が研修でスキルの向上を図るなど、さらに事業の充実に努める必要

生活困窮者自立支援法に基づく必須事業の一つである。複合的な課題を抱える生活困窮者 に対して、包括的な支援を今後も継続して提供する必要があるとともに、関係職員が研修 でスキルの向上を図るなど、さらに事業の充実に努めるべきである。

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 社会福祉課 生活保護係 40007 4 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 社会福祉総務事業 細事業 生活困窮者自立支援事業 実施計画事業 家計改善支援事業委託事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 163 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 家計改善支援事業委託料 款 策 期間 年度 957 3 6 社会保障の充実 年度 ~ 項 1 施策展開 ①低所得者福祉を充実する 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 48 P 過疎計画 総合戦略 決算 47 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 クリーンコープ生活協同組合おおいたに委託 し事業を実施した。 <事業の目的> 家計収支の均衡が取れていないなど、 R 3 計画 957 深間なりの場所はないないないない。 課題を抱える生活の調客者からの相談に応じ、 家計の視点から必要な情報提供や専門的な助 言・指導等の支援を行うことにより、早期に 相談者の生活が再生されることを目的とする R3 当初予算 638 957 319 決 算 額 270 179 91 R 4計画 957 638 319 R4 当初予算 957 319 638 決 算 額 R 5 計画 638 319 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・グリーンコープ生活協同組合おおいたに委 R6計画 957 638 319 託 記・家計再生プランの作成を通じて家計収支の 均衡を図るなどの出納管理の支援を行い、自 ら家計を管理できるよう支援を行う。 ・滞納や負債を把握し、債務整理の調整等の ませた。 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 957 638 319 R7 当初予算 決 算 額 計画額 4, 785 3, 190 1,595 1,276 当初予算 638 R3 ~ R7 合 計 1,914 決 算 額 270 179 91 R4 R5 R7 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R6 目標値 □ 総合戦略 C 家計改善支援 支援対象者数 (年度末) 実績値 □ 個別計画 % 達成率 目標値 □ 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 総合計画 月標値 D 総合戦略 実績値 個別計画 % 達成率 ᄨ 目標値 総合計画 指標 実績値 総合戦略 個別計画 % 達成率 **証価対象外の理由** ○ 証価対象

E	評価対象外の理由   0評価対象			(対象外事	業は <b>F~I</b> 根	未記人 可)
	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	許価項目グラフの税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & $	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline                                  $	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	13 点	3点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	点	∕25点	点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め万章	
生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。生活困窮者の多くが 問題を抱えていることを踏まえれば、事業の必要性は大きい。	家計に関わる 生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。家計に関わる事案を抱 えていることを踏まえれば、事業の必要性は大きい。

I 令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 40007 5 務 価 社会福祉課 係名 生活保護係 事 業 細事業 生活困窮者自立支援事業 実施計画事業 生活困窮者支援食料支給事業 社会福祉総務事業 なし 総合計画体系図No.→( 163 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 年度 生活困窮者支援食料支給事業費 3 6 社会保障の充実 年度 ~ 100 項 1 施策展開 ①低所得者福祉を充実する 画 名 B 後期基本計画 48 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 決算 47 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 緊急に支援が必要な生活困窮者に対し食料を 実績なし R 3 計画 100 現物支給することにより、その福祉の向上に 資することを目的とする。 R3 当初予算 100 100 決 算 額 R 4 計画 100 100 R4 当初予算 100 100 決 算 額 R 5 計画 100 100 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 豊後大野市社会福祉協議会により生活福祉資金 繁急小口資金)の借入申込書が受理された者で、貸付金の交付までに緊急に支援が必要な生活困窮者等に対し、食料の支援を行う。 R6計画 100 100 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 100 100 R7 当初予算 決 算 額 計画額 500 500 当初予算 R3 ~ R7 合 計 200 200 決 算 額 指標値の説明(算出方法等) R7 評価指標名 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R6 目標値 □ 総合戦略 C 生活困窮者支援食料支給 支援対象者数 (年度末) 実績値 □ 個別計画 達成率 % 目標値 総合戦略 実績値 標 □ 個別計画 % 達成率 総合計画 月標値 D 総合戦略 実績値 % 達成率 個別計画 ᄨ 目標値 総合計画 指 実績値 総合戦略 標 % 達成率 個別計画 Ε 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) -次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 → 2 3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない なっている

※今後の事業の進め方等

優先度低い

できなかった

 $\Rightarrow$ 

-105-

推移していない ⇒

E. 廃 止

3 → 4

→ 3 → 4

【担当課長職等の所見】

2点

3点

11点

/25点

2点

3点

生活困窮者支援事業の窓口である社会福祉協議会においてフードバンク事業を 行っていることもあり、当該事業の利用に至らないケースがある。事業の廃止を 含めた見直し・検討が必要である。

11 占

/25点

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

優先度高い

できた

推移した

推移した

5

2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)

生活困窮者支援事業の窓口である社会福祉協議会においてフードバンク事業を行っていることもあり、当該事業の利用に至らないケースがある。セーフティネットの意義はあるが近年実績がないことがあり、事業の廃止を含めた見直し・検討が必要である。

令和5年度の事業の方向性

3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか

4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

【担当係長の意見・課題・改善策等】

評

価

	事	業番号		枝番		(	令	和:	3 :	年月	变	計	画	)	兼	谷台	計	匝	其	施	計	画	書	()	進	捗	僧	理)										(;	様式 1)
	4	0007		6		(	令和	和:	3 :	年!	变:	决	算	)	4	F	矛	务	Ą	F	牚	ŧ	評	į	価		調		部	₹局4	3	社	会福祉	課	係	名	生活	5保	護係
	事	業	社:	会福	<b>让総</b>	務事	業						į	細事	業	4	:活	困算	胃者	<b>á</b> 4	7.支护	爰事	業				200	実施計画	事業	就	労準値	肯支援	事業委	託事業			終年		なし
_	1	総合									<u> </u>	_													1 -	1													
Ŀ	計	一般	$\vdash$	攻	策	+		きかな				のヨ	ミ現	をト	指	すま	ち								1								-	3 年度			称	当	初予算額
$\vdash$	款	3	-	施	策		_	会保	_				_												牙言	リ   其 十 <del> </del>	間		年度	~		年度	就労準	備支援	事業委	託料			1, 34
H	項	1			展開	L`	J 1-0	折得?			を充		_		_	_				_	_				日名	z I													
_	目	1		後	月基ス	本計	画	48	Р			;	過码	計画	1	L	i	総合	戦	各	Ш		ロナ3	色当	J Ľ	<b>"</b> 其	朋間		年度	~		年度							
ð	算	47	Α	事業	目的	) - F	内容	・実	櫎																			B 事業計	十画	額·:	決算客	等						_	
			1	業	り目的	内上	内容	2				T	年						主な	活1	動実	結							Į.	事業	費計				財源	<b>为訳</b>			立:千円)
L	/車	業の目										Ľ	叓	17.	-2-1		pil						施し	+_			Ļ		$\downarrow$				支出金		与債	そ	の他	+-	-般財源
	一般就	就労に行 を目的る	<b></b>	する								I.		9-	- //		`		/ VC:	公司	L U,	天	旭し	/=0			╟	R 3 計画	-		, 347		898				449	-	
1	シ成で 子とi	を回なる	とこう	し、ニュ	生た	1リーシ	ヘムョン	を登め	んるこ	a、' こと	他が	ľ	3														H	当初予算	+		, 347		898				449	-	
~	7仕:	云参川は	3 77	<b>(</b> 仁)	196	) 文:	发刀	り、	駅:	万14	駚	L															H	決算額	_		, 347		898				449		
V	ナた扌	目の機会 支法や知	印調	の習	得等	を	通じ	て、	生	舌困		١.															╟	R 4 計画	-		, 347		898				449		
1	針の	自立の位	足進	を図	るこ	٤ ا	を目	的と	する	5		ľ	₹4														H	当初予算		]	, 344		896				448		
												L															H	決算額	_										
												I.															I⊢	R 5 計画	_	]	, 347		898				449		
				_								ľ	₹5														L	当初予算	-										
١.		<b>和3年</b> -カース				- "			FIX	生市		L															H	決算額	_										
木	F築T	が、由れ お、大名	市市	<b>、</b> 国	東市	î. İ	豊後	高田	市、	曹	後	ı															l ⊩	R 6計画	-	1	, 347		898				449		
b	5島村	寸) の7	7市	1 県	で共	同	委託	0				f	₹6														╟	当初予算											
J.	追り、「	っに就労 日常生活	庁に 舌、	踏み 社会	出せ:自立	ない	が生	活困る支	窮る援	を行	対う	L															H	決算額	_										
0												1															┞	R 7 計画	4	]	, 347		898				449		
												1	₹7														H	当初予算	+										
												L															ŀ	決算額	-										
												1															ш	計画額	`-		5, 735		4, 490				2, 245	-	
												1				-	₹3	~		۲۶	合	計	-					当初予算			691	1	1.794	I			897		

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		Y	目標値					
С	1 就労準備支援	支援対象者数 (年度末)	□ 個別計画	2	^	実績値	1				
活					%	達成率					
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

E 評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	13 点	3 点	13点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	— 点	/25点	点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。単にハローワークで職業相談や職業訓練では解決できず、複合的な課題がある者に対しては当該事業が必要である。また、対象者が単年度で一般就労に移行するものではなく、成果は乏しいが継続する必要がある。また、対象者が単年度で一般就労に移行するものではなく、成果は乏しいが継続する必要がある。また、対象者が単年度で一般就労に移行するものではなく、成果は乏しいが継続する必要があるため、今後は協力企業を増やすことが必要である。

I 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

決 算 額

1, 347

898

449

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 福祉監査係 41002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 業 価 社会福祉課 係名 事 業 民生·児童委員関係事業 細事業 民生・児童委員関係補助金 実施計画事業 民生児童委員協議会補助事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 年度 民生児童委員協議会補助金 7,031 3 2 地域福祉の充実 年度 ~ 項 1 施策展開 ②災害時における地域福祉を支援する 名 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 40 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 決算 48 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 **<事業の目的>** 市民生児童委員協議会の運営に資するため、 民児協で主催した合同研修会の開催、また、 各町単位の研修会、部会活動、主任児童委員 活動等の事業を実施し、市の関係する事業に R 3 計画 7,031 7,031 予算の範囲内で補助金を交付する。 R3 当初予算 7,031 7. 031 も積極的に協力、参加した。 決 算 額 7,031 7,031 R 4 計画 7,031 7, 031 R4 当初予算 7,031 7,031 決 算 額 R 5 計画 7,031 7,031 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 民児協が相互の研鑚を深めるために実施する 全体の研修会または、各町単位の研修会、部 会活動、主任児童委員活動等の事業実施に係 る補助。 R6計画 7,031 7,031 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 7,031 7,031 R7 当初予算 決 算 額 計画額 35, 155 35, 155

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		□	目標値	2	2	2	2	2
С	1 市民児協主催の研修会	研修会の開催回数	個別計画			実績値	1				
活					%	達成率	50.0				
動指標			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
	Legisla in America		□ 総合計画		Y	目標値	210	210	210	210	210
D	1 市民児協主催の研修会への 参加	研修会の延べ参加者数	□ 総合戦略		八	実績値	130				
成			□ 個別計画		%	達成率	61. 9				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
		•	•	•			•				

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	16 点	3点	16 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点	/25点	4 点	/25点

## 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

コロナ禍で研修会の実施が1回だけだったが、引き続き活動に必要な制度等について、環境が整い次第通常の開催ができるよう市としても協力が必要である。また、地域共生社会の実現に向けて、民生委員児童委員においては、その職務を発揮できるよう引き続きの支援と連携体制が必要と考える。

【担当課長職等の所見】

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

当初予算

決 算 額

14,062

7,031

14,062

7,031

コロナ禍で研修会の実施が1回となったが、引き続き活動に必要な制度等について、知識を深めることは重要であるため、環境が整い次第通常の開催ができるよう市としても協力が必要である。また、地域共生社会の実現に向けて、地域の力で解決できる活動も求められている中、民生委員児童委員においては、その職務を発揮できるよう引き続きの支援と連携体制が必要と考える。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 障がい支援係 社会福祉課 43001 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 細事業 障害者相談支援事業 実施計画事業 障害者相談支援事業 地域生活支援事業 なし 総合計画体系図No.→ 第6期障がい福祉計画・第2 期障がい児福祉計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 R3 年度 ~ 款 施 策 期間 地域生活支援事業委託料 3 5 障がい者福祉の充実 年度 20,000 R5 項 1 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 名 2 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 46 P 過疎計画 総合戦略 決算 50 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 ◆事業の目的> 障がいのある人や障がいのある人を介護する 人などからの相談に応じ、必要な情報を提供 や助言、障がい福祉サービスの利用の接接など での必要な支援を行うとともに、との施力 をでしている。 をの早期発見のための関係機関を行うの終調を その早期発見のための関係機関を行う。 をなど、特に値とし地域における相談支援事業収 また、特を配置し地域における相談支援事業収 までしたする専門的な指導・助言、情報向けた として対している。 ・提供、人材育成の支援、地域移行に向けた しているといる。 ・投機、人材で成の支援、地域移行に向けた しているといる。 2ヶ所の相談支援事業所と委託契約を行い、 門的知識を有する相談員が対応を行った。 R 3 計画 20,000 12,728 R3 当初予算 7, 272 12,728 20,000 決 算 額 20,000 6, 599 13, 401 R 4計画 12, 728 7, 272 20,000 R4 当初予算 20,000 13, 262 6, 738 決 算 額 R 5 計画 20,000 7, 272 12,728 能の強化を図る。 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 2ヶ所の相談支援事業所と委託契約を行い、専 門的知識を有する相談員が対応を行う。 R6計画 20,000 7, 272 12,728 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 20,000 7, 272 12, 728 R7 当初予算 決 算 額 計画額 100,000 36, 360 63,640 当初予算 14,010 R3 ~ R7 合 計 40,000 25, 990 決 算 額 20,000 6,599 13, 401

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		筃	目標値	2	2	2	2	2
С	1 委託相談支援事業所	委託相談支援事業所数	✓ 個別計画	2	所	実績値	2				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
果			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1・ラー・ラー・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 折	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	17 点	4 点	16 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	点 点	∕25点	点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

管害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者及び事業内容が定められているので、それに沿って社会福祉法人が設置している指定一般相談支援事業所に事業を委託している。国・県の補助事業であり、当面は現行の形で推移予定。

障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者及び事業内容が定められているので、それに沿って社会福祉法人が設置している指定一般相談支援事業所に事業を委託している。国・県の補助事業であり、今後も現行で移行する。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 (令和 3 年度決算) 事 社会福祉課 障がい支援係 43003 1 務 価 係名 事 業 地域生活支援事業 細事業 日常生活用具給付事業 実施計画事業 日常生活用具給付事業 なし 総合計画体系図No.→( 158 第6期障がい福祉計画・第2 期障がい児福祉計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 策 5 障がい者福祉の充実 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R5 地域生活支援事業費 款 年度 12,903 3 項 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 1 名 目 2 □ 過疎計画 期間 年度 ~ □ 総合戦略 決算 50 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 障がい者等に対して、日常生活用具を給付す ることにより、日常生活の便宜を図り福祉の 増進を図る。 申請受付、給付決定、支払業務等 R 3 計画 12,903 7,098 R3 当初予算 5, 805 7,098 12,903 決 算 額 12, 259 5, 402 6,857 R 4 計画 12, 903 5, 805 7,098 R4 当初予算 12,521 5, 634 6,887 決 算 額 R 5計画 12,903 5,805 7,098 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 申請受付、給付決定、支払業務等 R6計画 12,903 5,805 7,098 当初予算 R6 決 算 額 7, 098 R 7計画 12,903 5,805 R7 当初予算 決 算 額 計画額 64, 515 29,025 35, 490 当初予算 11, 439 13, 985 R3 ~ R7 合 計 25, 424 決 算 額 12, 259 5,402 6,857 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R7 R6 目標値 □ 総合戦略 C 実績値 □ 個別計画 達成率 動 目標値 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率

								-					
					総合計画	Ī	件	目標値	1,085	1,085	1,08	5 1,085	1, 085
D	1 支給件数		日常生活用具支給件数		総合戦略	965	11	実績値	996				
成				~	個別計画	Ū	%	達成率	91.8				
果 指					総合計画	Ī		目標値					
標	2 —				総合戦略	5		実績値					
					個別計画	Ī	%	達成率					
Е	評価対象外の理由	0評価対	<b>対象</b>							(	対象外事業	は <b>F~I欄</b>	未記入 可)
				== /== \					-2	欠評価 (係	長)	二次評価(	(課長等)
			評価項目/5つの視点(1~5点で	評価)					評価	i点 評価	<b>西点合計</b>	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民7	アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているだ	)\	7.	1 → 2 → よっていない	⇒	なってい	_	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高	高いと思うか	い(同じ成果指標設定事業内での優先度)			1 → 2 → 優先度低い	⇒	優先度高	い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに	に事業を進め	りることができたか		7	1 → 2 → ごきなかった	⇒	できた		4 点		4 点	
Щ	4. 活動指標の達成物	状況(率)は記	†画どおり推移しているか			1 → 2 → 移していない		→ 4 → 推移した		点	15 点	— 点	15 点
	5. 成果指標の達成物	状況(率)は記	†画どおり推移しているか			1 → 2 → 移していない		→ 4 → 推移した		3 点	/25点	3 点	/25点
	G 【担当係	長の意見・	課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等			H 【担	当課長	長職等の所見	見】 ※評価	・改善策	等を踏まえ	た課長職等	の所見
障害 。 てい	者総合支援法によるはの要綱で支給の対象。 る。全体的にはストー	地域生活支 となる用具 マの申請が	援事業のうち、必須事業の一つとして規定 や対象者が定められているので、それに沿 主である。必要不可欠な事業として継続し	されて って糸 ていく	いる 計付し さ そ	障害者総合 れている。 れに沿って	支援注 市の引 給付し	去による地 要綱で支給 しており、	域生活支援 の対象とな 必要不可欠	事業のう る用具や な事業と	ち、必須事 対象者が足 して継続し	事業の一つと Eめられてい こていく。	こして規定 いるので、

I 令和5年度の事業の方向性

2,813

14,065

5, 413

2, 355

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 障がい支援係 43004 1 務 価 社会福祉課 係名 事 業 細事業 移動支援事業 実施計画事業 移動支援事業 地域生活支援事業 なし 総合計画体系図No.→ 第6期障がい福祉計画・第2 期障がい児福祉計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 R3 年度 ~ 款 施 策 地域生活支援事業費 3 5 障がい者福祉の充実 年度 5, 112 項 1 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 名 2 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 46 P □ 過疎計画 総合戦略 決算 50 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 屋外での移動が困難な障がい者等に対し、 ②約を締結した9事業所に委託して事業を実 R 3 計画 5, 112 2,813 施した 外出の為の支援を行い、地域における自立生活・社会参加を促す。 R3 当初予算 2, 299 2,813 5, 112 決 算 額 4,210 1,855 2, 355 R 4計画 2, 299 2,813 5, 112 R4 当初予算 4,727 2,600 2, 127 決 算 額 R 5 計画 5, 112 2, 299 2,813 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 本事業におけるサービスの内容は、次に掲げるもので、利用対象者の日常生活上必要と認められる移動支援とする。 (1) 官公庁や金融機関への外出、公的行事への参加、生活必需品の買い物等社会生活上必要不可欠な外出 (2) その他対象者の社会参加を図る上で、市民が終じ、以前し認めままの。 R6計画 5, 112 2, 299 2,813 R6 当初予算

決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額

計画額

当初予算

決 算 額

5, 112

25, 560

9,839

4,210

2, 299

11, 495

4,426

1,855

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値					
С	1 —		□ 個別計画			実績値					
活					%	達成率					
動指			総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		時	目標値	2,700	2,700	2,700	2, 700	2, 700
D	1 事業利用延べ時間		□ 総合戦略	1,932	間	実績値	1,679				
成			✔ 個別計画		%	達成率	62. 2				
果指			□ 総合計画		ı	目標値	30	30	30	30	30
標	2 実利用人数		□ 総合戦略	27	八	実績値	25				
			✔ 個別計画		%	達成率	83. 3				

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 Ε 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	   評価項目/5つの視点(	1~5点交额体)	一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの代無(	1.5 分無で計画)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容とな	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
評	平 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優	2. 生き     1 → 2 → 3 → 4 → 5       優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
ПШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—— 点	14 点	—— 点	14 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	/25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者と事業内容等が定められており、適切な事業運営が確保できると 認められる社会福祉法人等に変託している。コロナ禍で外出を控える傾向が見られるが、 事業を継続して、障がい者等の地域での自立生活や社会参加の促進を図る。

をいたがあるもの 長が特に必要と認めるもの 前項のサービスの提供範囲は、原則として1日 の範囲内で用務を終えるものに限るものとす

R7

障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者と事業内容等が定められており、適切な事業運営が確保できると認められる社会福祉法人等に委託している。障がい者等の地域での自立生活や社会参加の促進を図るため、事業の継続が必要。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 社会福祉課 障がい支援係 43005 1 務 業 価 係名 事 業 地域生活支援事業 細事業 訪問入浴サービス事業 実施計画事業 訪問入浴サービス事業 なし 総合計画体系図No.→( 158 第6期障がい福祉計画・第2 期障がい児福祉計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 R3 年度 ~ 款 策 地域生活支援事業費 614 3 5 障がい者福祉の充実 年度 R5 項 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 1 名 2 □ 過疎計画 期間 年度 ~ 目 総合戦略 決算 50 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 訪問入浴介護員を派遣し、訪問入浴サービス を提供した。 <事業の目的> 訪問による居宅での入浴サービスを提供し、 身体障がい者の身体の清潔の保持及び心身機 能の維持等を図り、もって日常生活の支援、 福祉の増進を図る。 R 3 計画 614 338 R3 当初予算 276 338 614 決 算 額 908 400 508 R 4 計画 338 614 276 R4 当初予算 1,996 1,099 決 算 額 R 5 計画 276 338 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 訪問入浴介護員を派遣し、訪問入浴サービス を提供する。 R6計画 614 276 338 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 614 276 338 R7 当初予算 決 算 額 計画額 3,070 1,380 1,690 当初予算 1, 173 R3 ~ R7 合 計 2,610 1,437 決 算 額 908 400 508

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		箇所	目標値	1	1	1	1	1
С	1 実施箇所数		☑ 個別計画	1	所	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 =		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		Į.	目標値	1	1	1	1	1
D	1 実利用者数		□ 総合戦略		人	実績値	1				
成			✔ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 () 評価対象
 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	20 点	4点	20 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者及び事業内容が定められており、適切な事業運営が確保できると認められる民間事業所に事業を委託している。介護保険法の適用を受けられない日常生活を営むことに支障のある在宅の身体障がい者を対象としており、必要な事業として今後も継続していく。

障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者及び事業内容が定められており、適切な事業 運営が確保できると認められる民間事業所に事業を委託している。介護保険法の適用を受けられない日常生活を営むことに支障のある在 宅の身体障がい者を対象としており、今後も事業として継続が必要。

I 令和5年度の事業の方向性

事業番号 枝番 (令和3年度)	<b>計画</b>	)(彩	総合計	画実	を計i	画書(	(兼)	生抄	<b>步管</b>	理)								(†	様式 1)
43007 1 (令和 3 年度)	夬 算	)	事 務	事	業	評	佃	ī	調	書	課局	名	社会	福祉調	艮 1	系名	障が	い支	泛援係
事業 地域生活支援事業	i	細事業	日中-	一時支援	事業				実	施計画	事業日	中一時	<b></b> 宇支援事	事業			終年	了 度	なし
総合計画体系図No.→ ( 158 )								- 12	Arte o Aldri	Der 10.	ter to a t	- m							
会計 一般 政 策 II 豊かな福祉社会の		を目指す	ナまち				_    -	個目	期障力	障がい ぶい児福	高祉計画	ii .			年度 主			当社	初予算額
款     3     施     策     5     障がい者福祉の充								別   ; 計  -	期間	R3	年度 ~	R5	年度 :	地域生活	支援事業	委託料			4, 28
項 1 施策展開 ①地域生活支援事業							<b></b> 11	画名											
<b>B</b>   2   <b>後期基本計画</b>   46 <b>P</b>   <b>D</b>	過码	計画		総合戦略		コロナ充	当		期間	-	年度 ~		年度						
決算  50   A 事業目的・内容・実績									В	事業計	画額 -	決算額	<b>等</b>						
事業の目的と内容	年度			主な温	動実網	<b>5</b>			$\mathbb{I}$		事業	費計		1	****	內訳			立:千円)
	芨	除されてい	者等を-				上重しの	<del>1</del> 10.	┨┝				医県支		地方債		その他	_	般財源
障がい者等の日中における活動の場を確保し 日常的に介護している家族の一時的な休息		を提供	するととな訓練を	時によ	社会に	適応する	う動いるため	977 (T)	IÈ	3計画		4, 282		1,926					2, 350
を支援する。	К3	但吊切	/よ訓練を	ど打つに	0					初予算	-	4, 282		1,926					2, 350
									┨┝	算額		7, 124		3, 139					3, 98
	D.4								Ⅱ	4計画		7, 200		3, 240					3, 96
	R4									初予算	-	0, 238	4	4, 606					5, 632
									┨┝	等額	-	<b>5</b> 000		2 242					0.00
	R5								╌	25計画 3初予算		7, 200	,	3, 240					3, 96
   <令和3年度の取組内容(計画)>	сл									: 類 額									
障がい者等を一時的に預かり、日常活動の場									┨┝	6計画	-	7, 200		0.040		+			2.00
を提供するとともに、社会に適応するための 恒常的な訓練を行う。	R6								╌	初予算		7, 200	,	3, 240					3, 96
	11.0									: 算額									
										7 計画	1	7, 200		3, 240				-	3, 960
	R7								Ⅱ	初予算		7, 200		3, 240					3, 900
	11.7								11	: 算額									
									4 🛏	一画額		3, 082	1.	4, 886		+		$\vdash$	18, 19
			R3	~ R7	一合	計			I	初予算		4, 520		6, 532					7, 98
			110		п	н1			11	: 算額		7, 124		3, 139					3, 98
<u> </u>									ئا ل	. 21 112	-	,		,					-,

1.1			R5	R6	R7
11	目標値	11	11 11	. 11	11
9	実績値	9			
81. 8	達成率	81.8			
	目標値				
	実績値				
	達成率				
20	目標値	20	20 20	20	20
25	実績値	25			
125.0	達成率	125.0			
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	実績値				

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/5)の代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \hline retarrow center & \hline \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	20 点	4 点	20点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	5 点	∕25点	4 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

■ LEコINKWがあた。 MRM・W音楽等』 ※7 版の事業の進め力等 障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。 市の要綱で対象者が定められており、適切な事業運営が確保できる指定障害福祉サービス事業所及び社会福祉法人等に事業を委託している。コロナ禍でも利用者が増えており、 今後も必要な事業として継続していく。

障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で対象者が定められており、適切な事業運営が確保できる指定障害福祉サービス事業所及び社会福祉法人等に事業を委託している。利用者が増えており、今後も必要な事業として継続する。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

事業番号		枝番	( 4
43009		1	(♠
事業	地	域生活	舌支援事業

令和 3 年度計画 ) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

4	13009	1	(令和	3 年度》	と 算	)事	務	事	業	評	価	調	書	課局名	社	会福祉	課	係名	ら 障か	さいき	え 援係
事	業	地域生活支持	爰事業		i	細事業	自動車引	<b></b>	事業			Silv.	実施計画	事業 自動	車改造助	成事業				冬了 F度	なし
		計画体系図No													1					1	
会計	一般	政策		な福祉社会の		を目指す	まち				個別	#200							最出名称 	当	初予算額
敦項	3	施策展開		い者福祉の充 生活支援事業		きがい短さ	ルサード	フの玄宝			- 計	期間		年度 ~	年度	地東生	店 <b>文</b> 援	事業補助	J金 		200
月	2		<ul><li>計画 4</li></ul>			計画	_	<del></del>		ロナ充当	画名	期間		年度 ~	年度						
上 決算	50				~_~	NH1 II		177-1				l									
		A 事業目的		実績	年							7 4	B 事業i	画額・決				財源内	1訳	(単位	立:千円)
		事業の目的	りと内容		度			主な活動				$\perp$		事業費	計	支出支	地	方債	その他	_	般財源
身体		者に対して、1				市内に住受けてい	E所を有し いる上肢、	し、身体P 下肢又P	章害者 は体幹	手帳の 機能障	交付を 害者で		R 3 計画	i	200						200
		を助成し、身 を促進する。	体障がい.	者の社会活	R3	あって、動車の改		鋼の要件に する費用の				╌	当初予算	-	200						200
													決 算 額 D 4 計画		50						50
					R4							Ⅱ	R 4 計画 当初予算		200						200
					11.4							╌	決算額	-	200						200
												$\dashv$	R 5 計画	+	200						200
					R5							Ш	当初予算	:							
		度の取組内										;	決算額	i							
受け	ている	を有し、身体と肢、下肢又	け休酔機能	能暗宝者で								Ш	R 6計画	i	200						200
動車	(、実がの改造)	施要綱の要件 に要する費用	に該当するの一部を	るものへ目 助成する。	R6							Ⅱ	当初予算								
												-11-	決 算 額 R 7 計画		200						200
					R7							Ⅱ⊢	当初予算		200						200
												j	決算額	i							
												7	計画額	i 1,	000						1,000
							R3 ~	- R7	合 計	-			当初予算	:	400						400
												;	決算額	į	50						50
		評価指標	ž	指標	票値の	説明(算	出方法等	)	各調	計画指標	₹ R2	2 実績	値単位	達成度	R3	F	R4	R5	R6		R7
		評価指標	名	指植	票値の	説明(算	出方法等	)	各調	計画指標総合単	+	2 実績	値単位	目標値	R3	F	R4	R5	R6	I	R7
	1 —	評価指標	<u> </u>	指植	票値の	説明(算	出方法等	)	各調		战略	2 実績		目標値	R3	F	R4	R5	R6		R7
活動	1 —	評価指標	ጀ	指机	票値の	説明(算	出方法等	)		総合単個別割	战略 十画	2 実績	値 単位	目標値	R3	F	R4	R5	R6		R7
活動指	1 —	評価指標	<u>S</u>	指相	票値の	説明(算	出方法等	)	各iii	総合単	战略 十画 战略	2 実績	%	目標値 実績値 音標値 実績値	R3	F	R4	R5	R6		R7
活動指		評価指標	2	指核	票値の	説明(算	出方法等	)		総合単総合単総合単個別記	战略 十画 战略 十画	2 実績		目標値 実績値 写績値 実成 産 産 産 産 産 産 産 産 産 産 産 産 産 産 産 産 産 産	R3			R5		2	
活動指標	2 —	評価指標/ 中改造助成件		指相	票値の	説明(算	出方法等	)		総合単総合単	战略 十画 杜略 十画		%	目標値 実績値 音標値 実績値	R3	2 1	2	R5	R6	2	R7 2
活動指標 D 成	2 —			指核	票値の	説明(算	出方法等	)		総合開業を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	战略 十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		% % %	目標値 実績成率 目標値 実積成率値 実積成率値	R3	2 1		R5		2	
活動指標 D 成果指	2 — 1 自動:			指相	票値の	説明(算	出方法等	)		総個総合別名の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の			% % % %	目実達目実達日実達日実達日実達の標値を		2 1		R5		2	
活動指標 D 成果指	2 —			指核	票値の	説明(算	出方法等	)		総個 総個 総総個総総個総総個総総個総総のの 音 単言 言 単言 音 単言 音 単言 音 単言 音 単元 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	战 十		% % % %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達の標績成標績成標績成標績成標績		2 1		R5		2	
活動指標 D 成果指標	2 — 1 自動: 2 —	車改造助成件			票値の	説明(算	出方法等	)		総個総合別名の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の	战 十		% % % % 4 %	目実達目実達日実達日実達日実達の標値を		2 1	2		2		2
活動指標 D 成果指	2 — 1 自動: 2 —				票値の	説明(算	出方法等	)		総個 総個 総総個総総個総総個総総個総総のの 音 単言 言 単言 音 単言 音 単言 音 単言 音 単元 の の の の の の の の の の の の の の の の の の			% % % % 4 %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達の標績成標績成標績成標績成標績	50	2 1 1 . 0	2	<b>才象外事</b>	2 2 業は <b>F~I</b>	欄未言	2 2 記入 可)
活動指標 D 成果指標	2 — 1 自動: 2 —	車改造助成件		対象		説明(算				総個 総個 総総個総総個総総個総総個総総のの 音 単言 言 単言 音 単言 音 単言 音 単言 音 単元 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	战 計 大		% % % % %	目実達目実達目実達目実達目実達	50	2 1	2 (交	<b>才象外事</b>	2	欄未訂	2 2 記入 可)
活動指標 D 成果指標	2 — 1 自動: 2 — 評価文	車改造助成件	0評価	対象	価項目	<b>ヨ</b> /5つの	⊋視点 (1	~ 5点で	評価)	総個 総個 総総個総総個総総個総総個総総のの 音 単言 言 単言 音 単言 音 単言 音 単言 音 単元 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	戦略 画 略画 国路画 1 つって	→ 2 Uvsti	% % % % %	目実達目実達目実達目実達目実達 値値率値値率値値率値値率 1つ	50	2 1 1 . 0 0	2 (交	寸象外事	2 2 業は <b>F~I</b> 二次評価	欄未訂	2 2 記入 可) 長等)
活動指標 D 成果指標 E F	2 — 1 自動: 2 — 評価文	車改造助成件 対象外の理由 民満足(市民	数 0評価 アンケート	対象	価項目	ヨ/5つの	)視点 (1	~ 5 点で っているが	評価)	総個 総個 総総個総総個総総個総総個総総のの 音 単言 言 単言 音 単言 音 単言 音 単言 音 単言 音 単元 を のいます かいしょう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう かいしゅう しゅうしゅう	戦略 画 は 戦略 画 1 な 1 仮先 画 1 仮 1 仮 2 に の 1 の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の 2 に の	→ 2 いな2 ほい・2	% % % % % % % % % % % % % % % % % % %	目実達目実達目実達目実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達 4 な 4 な 4 な 4 な 4 な 4 な 4 な 4 な 4 な 4	50 55 5 5 5 11	2 1 0	2 (交	寸象外事	業は <b>F~I</b> 二次評価 評価点	欄未訂	2 2 記入 可) 長等)
活動指標 D 成果指標 E F 評	2 — 1 自動: 2 — 評価文 1. 市員 2. 事事	車改造助成件 対象外の理由 民満足(市民 業の優先度は	ひ評価アンケート	対象	価項目	ョ/5つ <i>の</i> きる事業に 設定事業	)視点 (1	~ 5 点で っているが	評価)	総個 総個 総総個総総個総総個総総個総総のの 音 単言 言 単言 音 単言 音 単言 音 単言 音 単言 音 単元 を のいます かいしょう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう かいしゅう しゅうしゅう		→ 2	% % % % % % % % % % % % % % % % % % %	目実達目実達目実達目実達目実達日実達日実達日実達は は値を値値率値値率値値率値値率	50 50	2 1 1 0 一次評価点 3 点	2 (交	寸象外事	2 業は <b>F~I</b> 二次評価 評価点	欄未訂	2 2 記入 可) 長等)
活動指標 D 成果指標 E F	2 — 1 自動: 2 — 評価文 1. 市即 2 . 事事 3 . 事事	車改造助成件 対象外の理由 民満足(市民 業の優先度は 業計画どおり	である。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	対象 評へ) の向上が判	価項目で 標指標 きた	ョ/5つの きる事業に 設定事業に か	)視点 (1	~ 5 点で っているが	評価)	総個 総個 総総個総総個総総個総総個総総のの 音 単言 言 単言 音 単言 音 単言 音 単言 音 単言 音 単元 を のいます かいしょう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう かいしゅう しゅうしゅう	成略 画 機 画 国	→ 2 いない → 2 変低い → 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2	% % % % % % % % % % % % % % % % % % %	目実達目実達目実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達 1 て1 た1 度 1	50 55 5 5 LV 5 5	2 1 1 . 0 一次評価	(交) (条人) (条人)	寸象外事	2 業は <b>F~I</b> 二次評価 評価点 3 点	欄未記録	2 2 記入 可) 長等)
活動指標 D 成果指標 E F 評	2 — 1 自動: 2 — 評価文 2 . 事: 3 . 事: 4 . 活:	車改造助成件 対象外の理由 民満足(市民 業の優先度は 業計画どおり 動指標の達成	数 0 評価 アンケート 高いと思う に事業を進 状況(率)に	対象 評 か の向上が期 が (同じ成果 進めることがで	価項目 相待で きた きた	ョ <i>/5つの</i> きる事業i 設定事業i か ているか	)視点 (1	~ 5 点で っているが	評価)	総個総総個総総個総総個総総個制計 自 言 単言 言 単言 言 単言 言 単言 言 単言	戦略 画   大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	* 2 いなし * 変低い * 2 * かった * 2	% % % % % % % % % % % % % % % % % % %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日ませた。 ↑ C → E → + + + + + + + + + + + + + + + + +	50 50 50 55 55 55 55	2 1 1 0	2 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	才象外事 長) 点合計	2 業は <b>F~I</b> 二次評価 評価点 3 点 3 点	欄未課評	記入 可) 長等) 価点合計
活動指標 D 成果指標 E F 評	2 — 1 自動: 2 — 評価文 1. 市臣 2. 事: 3. 事: 4. 活動 5. 成!	車改造助成件 対象外の理由 民満足(市民 業の優先度は 業計画どおり 動指標の達成 果指標の達成	数 の評価 アンケート 高いと思う に事業を追 状況(率)に	対象 評 か (同じ成果 きめることがでは計画どおり指	価項目で 標 た し し	ョン5つの きる事業に 設定事業に か ているか ているか	か視点 (1 内容とな 内での優!	~ 5 点 で っているか 先度)		総個総総個総総個総総個総総個制計 自 言 単言 言 単言 言 単言 言 単言 言 単言	R	→ 2 · いなじ → 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・	% % % % % % % % % % % % % % % % % % %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達日実達日実達日実達日実達日実達日まき 4 なる 4 なる 4 で 4 推移 4 なん 4 で 4 推移 4 なん 4 で 4 推移 4 なん 4 で 4 推移 4 なん 4 で 4 推移 4 なん 4 で 4 推移 4 なん 4 で 4 推移 4 なん 4 で 4 推移 4 なん 4 で 4 推移 4 なん 4 で 4 推移 4 なん 4 で 4 推移 4 なん 4 で 4 推移 4 なん 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 を 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 を 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 を 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 を 4 で 4 推移 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 推移 4 で 4 を 4 で 4 推移 4 で 4 を 4 で 4 推移 4 で 4 を 4 で 4 推移 4 で 4 を 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 推移 4 で 4 本 4 で 4 本 4 で 4 推移 4 で 4 本 4 で 4 本 4 で 4 本 4 で 4 本 4 で 4 本 4 で 4 本 4 を 4 で 4 本 4 で 4 本 4 で 4 本 4 で 4 本 4 で 4 本 4 で 4 本 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 本 4 で 4 本 4 で 4 本 4 で 4 本 4 で 4 本 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 で 4 を 4 を	50 50 55 55 11 55 55 55 55 55 55 55 55 55 55	2 1 .0 一次評価 3点点 3点点 3点点 3点点	(交) ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	対象外事 (表) (点合計) 12 点 (ノ25点	業は <b>F~I</b> 二次評価 評価点 3点 3点	欄未記(課評)	記入 可) 長等) 価点合計
活動指標 D 成果指標 E F 評 価 9 体	2 — 1 自動 2 — 評価文 1. 市! 2. 事事 4. 活動 5. 成身	車改造助成件 対象外の理由 民満足(市民 業 の優先度は 業計画どおり 動指標の達成 果指標の達成 <b>G</b> 【担当係	数 アンケート : に事業を進 状況(率)に 長の意見:	対象  対象  かの向してがります。  がのもことができます。  は計画といるできます。  は計画といるできます。  はまれてはいます。  はまれてはいます。	価項目で標たしし し	ョ/5つの きる事業! か ているか ているか ※今後	o視点 (1 内容とな 内での優 <sup>2</sup>	~ 5 点で っているが 先度)		総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個	R	・ 2 いない ・ 2 低い ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2	% % % % % % % % % % 3 - 1 3 - 2 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 1 - 3 - 1 - 3 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	目実達目実達目実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達 4 な 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	50 55 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 7 8 8 8 8 8 8	2 1 1 0 2 1 2 1 3 3 点 点 3 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点	(交) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京	12 点 / 25点	2 業はF~I 二次評価 評価。 3 点。 3 点。 3 点。	棚未記(課評)	2 記入 可) 長等) 価点合計 12 点 / 25点 所見
活動指標 D 成果指標 E F 評 価 9 体	2 — 1 自動 2 — 評価文 1. 市! 2. 事事 4. 活動 5. 成身	車改造助成件 対象外の理由 民満足(市民は 動指標の達成 ほ 【担当係の を で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	数 アンケート : に事業を進 状況(率)に 長の意見:	対象  対象  かの向してがります。  がのもことができます。  は計画といるできます。  は計画といるできます。  はまれてはいます。  はまれてはいます。	価項目で標たしし し	ョ/5つの きる事業! か ているか ているか ※今後	o視点 (1 内容とな 内での優 <sup>2</sup>	~ 5 点で っているが 先度)		総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個	R	・ 2 いない ・ 2 低い ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2	% % % % % % % % % % % % % % % % % % %	目実達目実達目実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達 4 な 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	50 55 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 7 8 8 8 8 8 8	2 1 1 0 2 1 2 1 3 3 点 点 3 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点	(交) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京	12 点 / 25点	2 業はF~I 二次価点 3点 3点 3点 えた課長	棚未記(課評)	2 記入 可) 長等) 価点合計 12 点 / 25点 所見
T動指標	2 — 1 自動 2 — 評価文 1. 市! 2. 事事 4. 活動 5. 成身	車改造助成件 対象外の理由 民満足(市民は 動指標の達成 ほ 【担当係の を で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	数 アンケート : に事業を進 状況(率)に 長の意見:	対象  対象  かの向してがります。  がのもことができます。  は計画といるできます。  は計画といるできます。  はまれてはいます。  はまれてはいます。	価項目で標たしし し	ョ/5つの きる事業! か ているか ているか ※今後	o視点 (1 内容とな 内での優 <sup>2</sup>	~ 5 点で っているが 先度)		総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個	R	・ 2 いない ・ 2 低い ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2	% % % % % % % % % % % % % % % % % % %	目実達目実達目実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達 4 な 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	50 55 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 7 8 8 8 8 8 8	2 1 1 0 2 1 2 1 3 3 点 点 3 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点 点	(交) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京	12 点 / 25点	2 業はF~I 二次価点 3点 3点 3点 えた課長	棚未記(課評)	2 記入 可) 長等) 価点合計 12 点 / 25点 所見

A. 現状のまま継続

I 令和 5 年度の事業の方向性

21, 291

21, 291

106, 455

43, 921

22,059

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 障がい支援係 (令和 3 年度決算) 事 課局名 43011 1 務 価 社会福祉課 係名 事 業 細事業 地域活動支援センター事業 実施計画事業 地域活動支援センター事業 地域生活支援事業 なし 総合計画体系図No.→ 第6期障がい福祉計画・第2 期障がい児福祉計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 R3 年度 ~ 款 施 策 期間 地域生活支援事業委託料 24, 441 3 5 障がい者福祉の充実 年度 R5 項 1 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 画 名 2 年度 ~ 目 後期基本計画 46 P 過疎計画 総合戦略 期間 決算 50 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 就労等が困難な障がい者等を通所させ、創作 的活動又は生産活動の機会の提供、社会との 交流の促進等を図る。 1) 地域活動支援センターⅡ型 基礎的事業(地域活動支援センターの基本事業として、利 用者に対し、創作的活動文技は生産活動の機会の提供等地域の 実情に応じた支援を行った。加えて、地域において雇用、就 労が困難な在宅障害者等に対し、機能訓練、社会適応訓練及 び入浴サービス等の支援を行った。 R 3 計画 24, 441 21, 291 R3 当初予算 3, 150 21, 291 24, 441 24, 989 決 算 額 2,930 22,059 R 4計画 21, 291 3, 150 24, 441 R4 当初予算 25, 780 22,630 3, 150 決 算 額 R 5計画 24, 441 3, 150 21, 291 R5 当初予算

決 算 額

R6計画

当初予算 決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

3, 150

3, 150

15,750

6,300

2,930

24, 441

24, 441

122, 205

50, 221

24, 989

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		筃	目標値	4	4	4	4	4
С	1 委託施設数		☑ 個別計画	4	所	実績値	4				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		Į.	目標値	22	22	22	22	22
D	1 事業利用者数		□ 総合戦略	22	人	実績値	22				
成			✔ 個別計画		%	達成率	100.0				
成果指標			総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 Ε 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	5点		5 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	25 点	5 点	25 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

<令和3年度の取組内容(計画)>

〈令和3年度の取組内容(計画)〉
(1) 地域活動支援センターⅡ型
基礎的事業(地域活動支援センターの基本事業として、利用者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供等地域の実情に応じた支地域において雇用、就労が困難な在宅障害者等に対し、機能訓練、社会適応訓練及び入浴サービス等の支援を行う。
(2) 地域活動支援センターⅢ型
基礎的事業に加えて、作業訓練、社会適応訓練等を中心とする事業を行い、小規模作業所として5年以上の運営実績がある法人等が実施する。

R6

R7

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で事業内容等が定められており、適切な事業運営が確保できる社会福祉法人等に事業を委託している。地域において就労が困難な障がい者等に対して、自立と生きがいを高める必要不可欠な事業である。今後も現在の予算規模で継続していく。

障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で事業内容等が定められており、適切な事業運営が確保できる社会福祉法人等に事業を委託している。地域において就労が困難な障がい者等に対して、自立と生きがいを高める必要不可欠な事業であるため、今後も継続していく。

令和5年度の事業の方向性

1,595

1, 444

292

181

2,079

10, 395

4, 162

1,859

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 障がい支援係 43013 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 社会福祉課 係名 事 業 細事業 聴覚障害者支援事業 実施計画事業 聴覚障害者支援事業 地域生活支援事業 なし 総合計画体系図No.→ 第6期障がい福祉計画・第2 期障がい児福祉計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 R3 年度 ~ 款 施 策 地域生活支援事業委託料 3 5 障がい者福祉の充実 年度 R5 項 1 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 画 会計年度任用職員報酬 名 社会保険料(会計年度任用職員分 2 期間 年度 ~ 目 □ 過疎計画 総合戦略 決算 50 期末手当 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 意思疎通を図ることに支障がある障がい者が、自立した日常生活又は社会生活を営めるよう支援を行い、意思疎通の円滑化を図る。 ・手話通訳者設置事業 ・手話通訳者及び要約筆記者派遣事業 ・手話奉仕員養成研修事業 R 3 計画 3,780 2,079 1,701 R3 当初予算 2,079 3,780 以上事業を行った。 決 算 額 3, 323 1,464 1,859 R 4計画 1,701 2,079 3, 780 R4 当初予算 3,785 2,083 1,702 決 算 額 R 5 計画 3,780 1,701 2,079 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 · 手話通訳者設置事業 R6計画 3, 780 1,701 2,079

> 当初予算 決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

3,780

18,900

7, 565

3, 323

1,701

8,505

3, 403

1,464

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		事	目標値	2	2	2	2	2
С	1 手話奉仕員養成研修	手話奉仕員養成研修事業数		2	業	実績値	2				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略		件	目標値	101	101	101	101	101
標	2 手話通訳者及び要約筆記者 派遣	手話通訳者及び要約筆記者派遣数	✔ 個別計画	78	11	実績値	85				
					%	達成率	84. 2				
			総合計画			目標値					
D	1 =		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 Ε 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価(係長)		二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	20 点	5点	20 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	— 点	/25点	点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。社会福祉課に手話通訳者1名を週4日配置するとともに手話通訳者及び要約筆記者の派遣を社会福祉法人大分県聴覚障害者協会(以下、協会という。)に委託し実施している。また、協会に委託し実施している手話講習会の受講者数はコロナ禍でも増えている。聴覚障がい者等の社会参加を促進するため、今後も必要不可欠な事業として実施していく。

・手話通訳者及び要約筆記者派遣事業 ・手話奉仕員養成研修事業

R6

R7

障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。社会福祉課に手話通訳者1名を週4日配置するとともに手話通訳者及び要約筆記者の派遣を社会福祉法人大分県聴覚障害者協会(以下、協会という。)に委託し実施している。聴覚障がい者等の社会参加を促進するため、今後も必要不可欠な事業として実施していく。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和5年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

【担当課長職等の所見】

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 社会福祉課 障がい支援係 43014 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 地域生活支援事業 細事業 その他地域生活支援事務費 実施計画事業 成年後見制度利用支援事業 なし 総合計画体系図No.→( 158 第6期障がい福祉計画・第2 期障がい児福祉計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 R3 年度 ~ 款 策 手数料 120 3 5 障がい者福祉の充実 年度 R5 項 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 1 地域生活支援事業補助金 84 名 2 □ 過疎計画 期間 年度 ~ 目 □ 総合戦略 決算 50 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額·決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 成年後見制度の利用が必要と認められる障が 成年後見支援センターの職員と連携し、制度 の相談及び支援に取り組んだ。 R 3 計画 204 113 い者に対して、成年後見制度利用の申立てに 要する経費や後見人の報酬を助成するなど、 成年後見制度の利用を支援する。 R3 当初予算 91 113 204 決 算 額 R 4 計画 113 204 91 R4 当初予算 204 91 113 決 算 額 R 5 計画 204 91 113 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 成年後見支援センターの職員と連携し、制度 の相談及び支援に取り組む。 R6計画 204 91 113 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 204 91 113 R7 当初予算 決 算 額 計画額 1,020 455 565 182 当初予算 226 R3 ~ R7 合 計 408 決 算 額

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	1	1	1	1	1
С	1 成年後見制度利用支援	成年後見制度助成件数	☑ 個別計画		1	実績値					
活					%	達成率					
動指			総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
				%	達成率						
			総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

(対象外事業はF~I欄未記入 可) 評価対象外の理由 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価 (係長)		二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	12 点	3 点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	— 点	/25点	— 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 【担当課長職等の所見】 事業所から身寄のいない利用者についての相談があった。その利用者は本人に家庭裁判所 に申立てをする経済力と判断能力等があったため、市の制度を必要としなかった。今後も 必要な事業として成年後見支援センターと連携して成年後見制度の利用促進を図っていく 経済力・判断力が必要な方に対して、今後も必要な事業として成年後見支援センターと連携して成年後見制度の利用促進を図る。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 (令和 3年度決算) 事 課局名 43014 2 務 価 社会福祉課 係名 障がい支援係 事 業 細事業 その他地域生活支援事務費 実施計画事業 自動車運転免許取得助成事業 地域生活支援事業 なし 総合計画体系図No.→ 第6期障がい福祉計画・第2 期障がい児福祉計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 R3 年度 ~ 款 策 期間 地域生活支援事業補助金 3 5 障がい者福祉の充実 年度 100 R5 項 1 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 画 名 B 2 過疎計画 総合戦略 期間 年度 ~ 決算 50 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 身体障がい者に対して免許の取得に要する費 用の一部を助成することにより、身体障がい 者の就労等社会活動への参加を促進する。 市内に住所を有する身体障害者手帳を保持する者で、その他実施要綱の要件を満たす者へ、第一種普通自動車運転免許の取得に要する、 R 3 計画 100 100 R3 当初予算 100 100 費用の一部を助成した。 決 算 額 100 100 R 4 計画 100 100 R4 当初予算 100 100 決 算 額 R 5 計画 100 100 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 市内に住所を有する身体障害者手帳を保持する者で、その他実施要綱の要件を満たす者へ、第一種普通自動車運転免許の取得に要する 費用の一部を助成する。 R6計画 100 100 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 100 100 R7 当初予算 決 算 額 計画額 500 500 当初予算 R3 ~ R7 合 計 200 200 決 算 額 100 100 各計画指標 R7 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R6 目標値 □ 総合戦略 C 実績値 □ 個別計画 達成率 % 目標値 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 総合計画 月標値 件 D 免許取得助成件数 総合戦略 実績値 ~ % 達成率 100.0 個別計画 ᄨ 目標値 総合計画 指 実績値 標 総合戦略 % 達成率 個別計画 Ε 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) -次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点合計 評価点 評価点 3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5

令和5年度の事業の方向性

身体障がい者の就労等社会参加を促進するために必要な事業。ただし、国・県の補助事業 でないため、今後も現行の予算内で事業を実施していく。

1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか

2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)

3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか

4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

【担当係長の意見・課題・改善策等】

評

価

☆ A. 現状のまま継続

なっていない

優先度低い

できなかった

2

推移していない ⇒

3 → 4

<del>→</del> 3 →

【担当課長職等の所見】

なっている

優先度高い

できた

推移した

推移した

5

3点

点

身体障がい者の就労等社会参加を促進するために必要な事業であるため、今後 も事業を実施する。

18 占

/25点

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

5点

3点

点

17点

/25点

※今後の事業の進め方等

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 障がい支援係 43014 4 務 価 社会福祉課 係名 事 業 地域生活支援事業 細事業 その他地域生活支援事務費 実施計画事業 理解促進研修・啓発事業(福祉教室) なし 総合計画体系図No.→ 第6期障がい福祉計画・第2 期障がい児福祉計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 R3 年度 ~ 款 策 講師謝礼金 3 5 障がい者福祉の充実 年度 90 R5 項 1 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 名 2 期間 年度 ~ 目 □ 過疎計画 総合戦略 決算 50 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合える 共生社会を目指し、障がいに対する理解の促 進を図る。 地域の団体や学校等によびかけし、障がい福 祉教室を開催した。 R 3 計画 90 50 40 R3 50 当初予算 40 90 5 決 算 額 10 5 R 4 計画 50 90 40 R4 当初予算 90 40 50 決 算 額 R 5 計画 90 40 50 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 地域の団体や学校等によびかけし、障がい福 祉教室を開催する。 R6計画 90 40 50 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 50 90 40 R7 当初予算 決 算 額 計画額 450 200 250 80 当初予算 100 R3 ~ R7 合 計 180 決 算 額 10 5 5 評価指標名 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 指標値の説明(算出方法等) R5

	計画拍標石	担保値の試明 (昇山ガ広寺)	行前四指标	RZ美積胆	中四	连队及	Nο	114	ΝJ	IVO	IV/
			総合戦略		□	目標値	1	1	1	1	1
С	1 障がい福祉教室	障がい福祉教室開催	✓ 個別計画	1	123	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
活動指標			総合戦略			目標値					
標	2 =		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対							<b>(</b> \$	対象外事業に	ま <b>F~I欄</b> ≉	<b></b> (記入 可)

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $\rightarrow$  2  $\rightarrow$  3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3 点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 3点 評 優先度低い 優先度高い - 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できた できなかった 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 12点 3点 12点 推移していない ⇒ 推移した → 3 → 4 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 /25点 推移した

G	【担当係長の意	意見・課題・	改善策等】	※今後の事業の進む	め方等
				おいて職員及び な活動ができてい	
対する理解の促進					ハヤム・。    古ハ・ハ

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和3年度は聴覚障がい者が入所する養護老人ホームにおいて職員及び入所者 を対象とした障がい福祉教室を開催した。障がいに対する理解の促進を図るため 、今後も必要な事業として継続していく。

令和5年度の事業の方向性

1,662

1,662

8,310

3, 248

1,381

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3年度決算) 事 社会福祉課 障がい支援係 43015 1 務 価 係名 事 業 地域生活支援事業 細事業 障害程度区分認定等事務事業 実施計画事業 障害程度区分認定等事務事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 障害者自立支援認定審査会委員報 R3 年度 ~ 款 策 期間 816 3 5 障がい者福祉の充実 年度 R5 項 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 1 画 手数料 700 名 2 期間 年度 ~ 目 □ 過疎計画 総合戦略 69 決算 50 地域生活支援事業委託料 40 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に定める障害支援区分認定のために調査を実施し、医師の意見書を求め、それらの内容に基づいて認定審査会を開催する。 豊後大野市障害者自立支援認定審査会を定期 的に開催した。 R 3 計画 1,662 1,662 R3 当初予算 1,662 1,662 決 算 額 1,381 1,381 R 4 計画 1,662 1,662 R4 当初予算 1,586 1,586 決 算 額 R 5 計画 1,662 1,662

当初予算

決 算 額

R6計画

当初予算 決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

1,662

1,662

8,310

3, 248

1,381

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値	12	12	12	12	12
С	1 豊後大野市障害者自立支援 認定審査会	豊後大野市障害者自立支援認定審査会開 催数	個別計画	12	口	実績値	12				
活	PO / C IN TAIN	1000			%	達成率	100.0				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 _		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値		·			
			□ 個別計画		%	達成率					
_				_				_		_	

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価 (係長)		二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5 点	
/m:	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	5 点		5 点	
価	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	20 点	5点	20 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	点	/25点	点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R5

R6

R7

<令和3年度の取組内容(計画)>

豊後大野市障害者自立支援認定審査会を定期的に開催。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 【担当課長職等の所見】 市町村は、介護給付費等の支給対象となる障害福祉サービスの支給申請があった場合、障害支援区分の認定を行うこととされており、その判定を行う審査会の運営及び認定に係る医師意見書等の聴取、認定調査に関する事務事業があり公正に行えた。障害者総合支援法に基づく義務的な事業のため、今後も継続する。

市町村は、介護給付費等の支給対象となる障害福祉サービスの支給申請があった場合、障害支援区分の認定を行うこととされており、その判定を行う審査会の運営及び認定に係る医師意見書等の聴取、認定調査に関する事務事業がある。令和3年度は障害支援区分の不服申立てはなく、公正に行うことができた。障害者総合支援法に基づく義務的な事業のため、今後も継続していく。

令和5年度の事業の方向性

850

340

38

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 障がい支援係 (令和 3 年度決算) 事 43016 1 務 業 価 社会福祉課 係名 事 業 細事業 巡回支援専門員派遣事業 実施計画事業 巡回支援専門員派遣事業 地域生活支援事業 なし 総合計画体系図No.→ 第6期障がい福祉計画・第2 期障がい児福祉計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 R3 年度 ~ 款 施 策 期間 地域生活支援事業委託料 306 3 5 障がい者福祉の充実 年度 R5 項 1 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 画 名 2 期間 年度 ~ 目 過疎計画 総合戦略 決算 50 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 ≪事業の目的> 発達の面で気になる子どもについて、発達障がいに関する知識を有する専門員が子育で支援施設等へ巡回支援を実施し、施設等の職員を施設等へ巡回支援を実施し、障がいや特性の早期把握、早期発見、早期対応のための助量がの支援を行う。 子育て支援施設等の支援を担当する職員や障がい児 の保護者に対し、巡回による支援を基本とし、子育 て支援施設等からの派遣依頼に応じて専門員を派遣 した。また、必要に応じて、その他の方法(特定の 場所を拠点とした面談や講習)による支援を行った R 3計画 306 170 R3 当初予算 136 170 306 決 算 額 30 38 R 4 計画 170 306 136 R4 当初予算 306 170 136 決 算 額 R 5 計画 306 136 170 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 子育て支援施設等の支援を担当する職員や障がい児の保護者に対し、巡回による支援を基本とし、子育て支援施設等からの派遣依頼に応じて専門員を派遣する。また、必要にて、その他の方法(特定の場所を拠点とした面談や講習)による支援を行う。 R6計画 306 136 170 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 306 136 170

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	1	1	1	1	1
С	1 委託事業所数		☑ 個別計画	1	14	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
				%	達成率						
			総合計画		件	目標値	18	18	18	18	18
D	1 巡回支援専門員の派遣		□ 総合戦略	4	77	実績値	4	1 1 1 1 1 00.0 0 0 18 18 18 18 4			
成			✓ 個別計画		%	達成率	22. 2				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

1,530

612

68

680

272

30

評価対象外の理由 0評価対象 Ε (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価 (係長)		二次評価	(課長等)
	計画項目/5)の代点(1~5点で計画)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	13 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	1点	∕25点	3 点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で事業内容及び実施方法等が定められており、適切な事業の運営が確保できる団体に事業の実施を委託している。コロナ禍で外部の人の派遣を控える傾向がみられるが、専門機関につながっていない発達の面で気になる子どもの支援に幅広い視点からアドバスコナラ電波は人なが、と思 、専門機関につなかっている イスする事業は今後も必要。

### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で事業内容及び実施方法等が定められており、適切な事業の運営が確保できる団体に事業の実施を委託している。専門機関につながっていない発達の面で気になる子どもの支援に幅広い視点からアドバイスする事業であり今後も必要。

## 令和5年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 (令和 3 年度決算) 事 社会福祉課 障がい支援係 44002 1 務 価 係名 事 業 障害福祉サービス事業 細事業 在宅重度障害者住宅改造助成事業 実施計画事業 在宅重度障害者住宅改造助成事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 158 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 策 5 障がい者福祉の充実 在宅重度障害者住宅改造助成金 款 期間 年度 ~ 年度 800 3 項 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 1 名 目 2 後期基本計画 46 P □ 過疎計画 期間 年度 ~ 年度 □ 総合戦略 決算 51 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額 決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 障がい者が生活しやすくするため住宅改造に 要する費用の助成を行い、障がいがあっても 自立した生活を送ることができるよう支援す 市報やホームページで制度の周知を実施した 400 R 3 計画 800 400 R3 当初予算 400 400 800 決 算 額 R 4 計画 400 800 400 R4 当初予算 800 400 400 決 算 額 R 5 計画 400 400 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・制度の周知(市報) R6計画 400 400 ·窓口対応 ·現地調査 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 400 800 400 R7 当初予算 決 算 額 計画額 4,000 2,000 2,000 当初予算 800 R3 ~ R7 合 計 800 1,600 決 算 額 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) 各計画指標 R3 R4 R5 R7 R 2 実績値 単位 達成度 R6 目標値 □ 総合戦略 C 実績値 □ 個別計画 % 達成率 目標値 □ 総合戦略 実績値 標 □ 個別計画 % 達成率 総合計画 目標値 件 D 1 助成件数 在宅重度障害者住宅改造助成件数 総合戦略 実績値 ~ 個別計画 % 達成率 ᄨ 目標値 総合計画 指標 実績値 □ 総合戦略

					個別計画	%	達成率				
Е	E       評価対象外の理由       ① 評価対象         (対象外事業はF~I欄未記入 可)										
		一次評	価 (係長)	二次評価	(課長等)						
		評価項目/5つの視点(1~5点で評価)								評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民)	アンケート)	の向上が期待できる事業内容となって	こいるか	1 → 2 なっていない	→ 3	→ 4 → 5 なっている	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高	高いと思うか	い(同じ成果指標設定事業内での優先度	₹)	1 → 2 優先度低い	→ 3 ⇒	→ 4 → 5 優先度高い	3点		3 点	
/ <del>==</del>	3. 事業計画どおりに	こ事業を進め	)ることができたか		1 → 2 できなかった	, J	→ 4 → 5 できた	1点		1点	
価	4. 活動指標の達成物	犬況(率)は計	†画どおり推移しているか		1 → 2 推移していな	→ 3	→ 4 → 5 推移した	— £	8点	— 点	8点

1Ш	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	8点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した 1点 /25点 1点	/25点
	•		
	G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所	所見
県の	補助事業を活用した事業。65歳未満の本事業の相談者が令和3年度はいなかった(障	県の補助事業を活用した事業であるが、65歳未満の相談者がいなかった	- (暗が
		いのある方でも65歳以上の方は高齢者福祉課の住宅改造事業の対象となる	
ある	方が自宅で安心して生活するために段差の解消等、そのための改修経費は多額を要す	がいのある方が自宅で安心して生活するために段差の解消等、そのための	)改修経
るこ	とから、今後も必要な事業として継続していく。	費は多額を要することから、今後も事業として継続が必要。	

I 令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 障がい支援係 44003 1 務 価 社会福祉課 係名 障害福祉サービス事業 事 業 細事業 重度心身障害者医療費給付事業 実施計画事業 重度心身障害者医療費助成事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 年度 重度心身障害者医療費助成金 3 5 障がい者福祉の充実 年度 ~ 120,000 項 1 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 名 目 2 □ 過疎計画 総合戦略 期間 年度 ~ 年度 決算 51 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 心身に一定の障がいを持つ重度心身障害者に 対し、その医療費の一部を助成することで保 健の向上及び福祉の増進を図る 申請受付、助成決定、支払業務等 支給対象者数1,159人 R 3計画 120,000 59,999 給付件数25,670件 R3 当初予算 60,000 59, 999 120,000 決 算 額 105,838 52,644 549 52, 645 R 4計画 60,000 120,000 60,000 R4 当初予算 110,400 55, 199 55, 200 決 算 額 R 5 計画 60,000 60,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決算額 申請受付、助成決定、支払業務等 R6計画 120,000 60,000 60,000 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 120,000 60,000 60,000 R7 当初予算 決 算 額 計画額 600,000 300,000 299, 999 当初予算 115, 200 R3 ~ R7 合 計 230, 400 115, 198 決 算 額 105,838 52,644 549 52,645

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値					
С	1 —		個別計画			実績値					
活					%	達成率					
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		ı	目標値	1, 200	1, 200	1, 200	1, 200	1, 200
D	1 受給者数	重度心身障害者医療費受給者数	□ 総合戦略	1, 204	人	実績値	1, 159				
成			□ 個別計画		%	達成率	96. 6				
果			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 () 評価文	计象						(\$	対象外事業に	t <b>F ~ Ⅰ欄</b> 未	記入 可)

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点  $\rightarrow$  2  $\rightarrow$  3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 4 点 4点 なっている なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 4 点 4 点 評 優先度低い 優先度高い 3 - 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 4点 できなかった できた 価

4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 点 16 点 点 16点 推移していない ⇒ 推移した → 3 → 4 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 /25点 推移した 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

県の補助事業を活用した事業。医療機関の受診が多い重度心身障がい者に対して医療費を 助成することは、精神的、経済的負担を軽減する。重度心身障がい者が地域で安心して暮 らすために今後も必要な事業である。

県の補助事業を活用した事業。医療機関の受診が多い重度心身障がい者に対して医療費を助成することで、精神的、経済的負担を軽減。重度心身障がい者が地域で安心して暮らすために今後も必要な事業である。

令和5年度の事業の方向性

	事業番号 44004	<b>枝番</b>		13 年度 13 年度		_	浴合計画実施 基 務 事		(兼) 個	_	管理 調	里) 書	課局名	,	社会福	a祉課	係名	障がい	( <b>様式1</b> ) >支援係
事	業	障害福祉	サービス事	業		細事業	身体障害児(	者)補装具給何	寸事業		実施	施計画	事業 身体	<b>下</b> 障害児	! (者)	補装具編	給付事業	終了年度	
会計		計画体系図政	No.→ ( 158 策 Ⅱ 豊/	) かな福祉社会	の実現	を目指す	ナまち						•		令	和 3 年	度 主な歳!	出名称	当初予算額
款	3			い者福祉の	充実		<u> </u>			個別	期間		年度 ~	年			(者) 補装具		13, 800
項	1	施策展				障がい福	祉サービスの充	実		計 画					1				
目	2	後期	基本計画	46 P [	過過	東計画	総合戦略	□ コロナ充	当	名其	期間		年度 ~	年	<b>妾</b>				
決算		A 車番目	的・内容・	- 中#		•					_	<b>東帝</b>	計画額・汐	. 管箱等					
			1913 - 191 <del>4  </del>  目的と内容		年		+ t>=	· 動中结			ורֿ	<del>7</del> **					財源内証	R (	単位:千円)
	ま 巻 の口・		日的こ内谷		度	4.3+-		5動実績			<u> </u>		事業費	Į ii	県支と	出金 地	方債	その他	一般財源
身体		ては損なれ		機能を補完・			付、給付決定、 数 者:87件	支払業務等			I	3 計画		800	10,				3, 450
代を	がする用具 別用を支給	具について	、購入又に	は修理に要し けい環境の中 きるよう支援	R3		児:8件				I	初予算	·   '	800	10,	-			3, 450
で目する	立した生	E店を送る	うことができ	きるよう支援	$\vdash$						<b>!</b> ⊢	算額	_	363		431			932
					D.4						I	4計画	,	800	10,				3, 450
					R4						╌	初予第	_	800	10,	350			3, 450
					$\vdash$						╌	算 額 5計画	_	900	10,	250			2 450
					R5						┖┣	初予第		800	10,	350			3, 450
<	<b>令和3年</b>	度の取組	内容(計画)	>	No						╌	算額							
			支払業務等								╌	6計画	_	800	10,	350			3, 450
					R6						┖┣	初予算			,				-,
											決	算 額	Į.						
											R	7 計画	13,	800	10,	350			3, 450
					R7						当:	初予算	Ĭ						
											決	算 額	Į.						
											計	画額	<b>§</b> 69,	000	51,	750			17, 250
							R3 ~ R7	合計			当:	初予算	27,	600	20,	700			6, 900
											決	算額	8,	363	7,	431			932
		評価指	標名	指	5標値σ	説明(算	算出方法等)	各計画指	標	R 2 写	実績値	単位	達成度	R	3	R4	R5	R6	R7
								□ 総合	戦略				目標値						
С	1 —							□ 個別	計画				実績値	-				1	
活動	-											%	達成率					1	1
指標	2 _							□ 総合	戦略				目標値 実績値					1	1
「「「「「「「」	_							□ 個別	計画			%	達成率						
								□ 総合	画信			111.	目標値		130	130	130	0 130	130
	1			1								4/工						-	1

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R 2 実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦闘	各		目標値					
С	1 —		<u> </u>	≣i		実績値					
活					%	達成率					
動指			□ 総合戦闘	各		目標値					
標	2 =		┃ ┃	<b></b> ■		実績値					
					%	達成率					
1_			│		件	目標値	130	130	) 1:	30 13	0 130
P	1 給付件数	身体障害児(者)補装具給付件数	総合戦闘	<u> </u>		実績値	95				
成果			□ 個別計		%	達成率	73. 1				
指			総合計画	_		目標値					
標	2 —		総合戦略	_		実績値					
			□ 個別計員	<u> </u>	%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	象						(	対象外事:	業は <b>F~Ⅰ欄</b>	<b> </b> 未記入 可)
			=== /== \				- <i>3</i>	マ評価 (係	長)	二次評価	(課長等)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	· 高平1四 /				評価	点 評価	<b>五点合計</b>	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているだ	) <sup>1</sup>	1 → 2 → なっていない	→ 3 -	→ 4 → 5  なっている	- !	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか	い (同じ成果指標設定事業内での優先度)		1 → 2 → 優先度低い	· 3 ·	→ 4 → 5 優先度高い	- !	5 点		5 点	
,	3. 事業計画どおりに事業を進め	)ることができたか		1 → 2 → できなかった	- 3 -	→ 4 → 5 できた	- ;	3 点		3 点	
価	4. 活動指標の達成状況(率)は計	†画どおり推移しているか	#	1 → 2 → 移していない		→ 4 → 5 推移した	_	点	16 点	— 点	16 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は記	†画どおり推移しているか	#	1 → 2 <del>-</del> 移していない		→ 4 → 5 推移した		3 点	/25点	3 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 法令に定められた事務であり、障がいのある方が日常生活や就労がしやすくなり、自立と 社会参加に繋がる必要不可欠な事業。今後も継続して実施していく。 不可欠な事業として、今後も継続が必要。

I 令和 5 年度の事業の方向性

44004 2		3 年度 2		_		計画書(兼 業 評		調	書	課局	i名	社会	会福祉部	<b>#</b>	係名	障がし	い支援係
事業障害	■			細事業	身体障害児(者	首) 補装具給付事	業	実	施計画	事業卓	経度・中	中度聴	覚障がい	・児支:	援事業	終了年度	
	系図No.→ ( 158 ) 策 Ⅱ 豊かれ	な福祉社会の	り字目	1 * . 日 忙 寸	-±+								会和 2	左由	主な歳	山夕祈	当初予算額
会計     一般     政       款     3     施	策 5 障がい			2年日1日9	<b>より</b>		個別	期間		年度 ~		年度				<b>山石</b> 柳 具費給付費	ヨ彻で昇奇
	策展開 ①地域生			章がい福祉	祉サービスの充実 かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしょう かんしょ かんしょ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゃ かんしゃ かんしゅう かんしゅう かんしゃ かんしゅ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんり ない かんしゅ かんしゅう かんしゅう かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ	<b></b>	計画								.,		_
目 2 後	<u></u> 対基本計画 46	Р	過頭	<b>非計画</b>	□ 総合戦略	□ コロナ充当	夕	期間		年度 ~		年度					
<b>等</b> 51	<b>半日</b> め、内容、生				I.		1	_	<b>+</b>	<b>弘本の表現</b>	. 油 葡萄						
	業目的・内容・実 *の日的に中容	: 将與	年		++\=	<b>励中结</b>		ול	<u> 字录</u>	計画額		<b>東寺</b>			財源内詞	沢	(単位:千円)
	の目的と内容		度		主な活			<u> </u>		争求	養計	国県	支出金	地方	債	その他	一般財源
	れない軽度・中度			申請受付給付件数	寸、給付決定、ラ 故 1件	<b>艾払業務等</b>		R	3計画	画	60		30				3
<ol> <li>早期からの言</li> </ol>	聴器の交付を行う 語発達やコミュニ	ケーショ	R3					l ⊢	初予算		60		30				3
/能刀の獲得及ひ	学力向上を支援す	<b>る</b> 。						┨┝	: 算 客		77		38				3
			R4					I⊢	4計画		60		30				3
			Κ4					I⊢	i初予算 :算 客		60		30				30
								┨┣	5計画		60		30				3
			R5					I⊢	初予算				00				
<令和3年度の	な組内容(計画)>							l ⊢	: 算 客								
□請受付、給付決	定、支払業務等							R	6計画	画	60		30				3
			R6					坐	初予算	草							
								決	: 算 客	頂							
								R	7計画	画	60		30				3
			R7					I⊢	初予算								
								⇃⊢	: 算 客								
					D2 - D7	A =1		H	- 画 客		300		150				15
					R3 ~ R7	Ti at		l ⊢	i初予算 : 算 8		120 77		60 38				6
評・	<b>西指標名</b>	指标	票値σ	説明(算	出方法等)	各計画指標	R 2	実績値	単位	達成原	度	R3	R4	ı	R5	R6	R7
						□ 総合戦闘	Š			目標(	直						
C 1						□ 個別計画	<u> </u>			実績化							
活							-		%	達成著目標係							
指   2						総合戦闘	Š			実績							_
17%						□ 個別計画	1		%	達成							
		İ				総合計画	9			目標(	直		1	1		1	1
D 1 給付人数		補聴器給係	寸児重	重数		□ 総合戦闘	<u>\$</u>		人	実績(	直		1				
成		ļ				□ 個別計画	+		%	達成	_	100.	0	_			_
里						□ 総合計画	1		1	目標	_		-				4
指							7			王 4年 1	百						
成 果 指 標 2						総合戦略 個別計画			%	実績位				+			

E	評価対象外の理由	0評価対象			(対象外事	業は <b>F~I</b> #	■未記入 可)
		評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
		計画項目/50の代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民ア	アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高	高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに	こ事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline                                  $	4点		4 点	
Щ	4. 活動指標の達成状	状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—— 点	17点	—— 点	17点
	5. 成果指標の達成状	状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	/25点	5 点	∕25点

						近りした				
								*		
G [	担当係長の意見・課題・改善	策等】 ※今後の事業	の進め方等	Н	【担当課長職	職等の所見】	※評価・改	<b>対善策等を踏ま</b>	えた課長職等	の所見
県の補助事業を活月接している。 補聴者できる事業であり、	目し、身体障害者手帳の交付 号を利用することによって、 今後も継続が必要。	対象とならない軽度 言語の習得、教育等	又は中度の難聴児を支 で健やかな成長が期待	難聴児を	前助事業を活か 対援していい できる事業	用し、身体障る。補聴器を であり、今後	·利用するこ	)交付対象とな とによって、 要。	らない軽度 言語の習得	又は中度の

I 令和 5 年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 社会福祉課 障がい支援係 44005 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 障害福祉サービス事業 細事業 特別障害者手当等給付事業 実施計画事業 特別障害者手当等給付事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 5 障がい者福祉の充実 期間 年度 特別障害者手当等給付費 24, 905 3 年度 ~ 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 項 1 名 2 期間 年度 ~ 年度 目 □ 過疎計画 総合戦略 決算 51 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額·決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 特別障害者手当:精神又は身体に著しく重度 の障がいを有し、日常生活において常時特別 の介護を必要とする特別障がい者に対して手 当を支給することにより特別障がい者の福祉 コニュニュスのス 市報やホームページ等で制度を周知。申請受付、給付決定、支払業務等を実施。 R 3計画 24,905 18,678 6, 227 R3 当初予算 18,678 6, 227 24,905 5, 095 決 算 額 20, 381 15, 286 の向上を図る。 R 4 計画 24, 905 6, 227 18, 678 障害者福祉手当:常時介護を必要とする重度 障がい児に対して、手当を支給することによ り特別障がい児の福祉の向上を図る。 R4 当初予算 23,500 5,875 17,625 決 算 額 R 5計画 24,905 18,678 6,227 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決算額 申請受付、給付決定、支払業務等 R6計画 24, 905 18,678 6, 227 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 24,905 18,678 6, 227 R7 当初予算 決 算 額 計画額 124, 525 93, 390 31, 135 当初予算 36, 303 R3 ~ R7 合 計 48, 405 12, 102 決 算 額 20, 381 15, 286 5,095 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R6 R7 日標値

			総合	戦略							
С	1 —					実績値					
活				前四	%	達成率					
活動指			□ 総合	戦略		目標値					
標	2 —					実績値					
					%	達成率					
			□ 総合	計画	件	目標値	952	95	2 9	952	52 952
D	1 支給件数	特別障害者手当等支給件数	□ 総合	戦略 904	1111	実績値	856				
成			□ 個別	計画	%	達成率	89. 9				
果指			□ 総合	計画		目標値					
指標	2 —		□ 総合	戦略		実績値					
			_		%	達成率					
			□ 個別	計画	%	连队华					
E	評価対象外の理由 0評価対	対象	個別	計画	%	连队平			(対象外事	 業は <b>F~Ⅰ</b> ‡	編未記入 可)
E	評価対象外の理由 0評価対			計画	90	<b>達成</b> 学	— Z	欠評価 (係			(課長等)
E	評価対象外の理由 〇評価対	】 対象 評価項目/5つの視点(1~5点で		計画	90	<b>建</b> 成平	一次評価	欠評価 (係			
E	O H1 [hat)		評価)	計画 1 → 2 - なっていない		達成学   → 4 → 5 なっている	評価	欠評価 (係	長)	二次評価	(課長等)
	1. 市民満足(市民アンケート)	評価項目/5つの視点(1~5点で	評価)	1 -> 2	→ 3	→ 4 → 5	評価	欠評価 (係	長)	二次評価評価点	(課長等)
F 評	1. 市民満足(市民アンケート)	評価項目/5つの視点(1~5点での向上が期待できる事業内容となっている。 か(同じ成果指標設定事業内での優先度)	評価)	1 → 2 - なっていない 1 → 2 -	→ 3 → ⇒ → 3 → ⇒	→ 4 → 5 なっている → 4 → 5 優先度高い	評価	文評価 (係 i点 評( 4 点	長)	二次評価 評価点 4 点	(課長等)
F	1. 市民満足(市民アンケート) 2. 事業の優先度は高いと思う	評価項目/5つの視点(1~5点での向上が期待できる事業内容となっているが の向上が期待できる事業内容となっているが か(同じ成果指標設定事業内での優先度) めることができたか	評価)	1 → 2 - なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった	→ 3 · ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	→ 4 → 5 なっている → 4 → 5 優先度高い → 4 → 5 できた	評価	文評価 (係 i点 評( 4 点 4 点	長)	二次評価 評価点 4点 4点	(課長等)

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づく事業。市報やホームページ等で制度の周 知に努めている。今後も在宅で重度の障がいをもち常時介護を必要とする人の生活を支援 するため、必要不可欠な事業として継続していく。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づく事業。市報やホームページ等 で制度の周知に努めている。今後も在宅で重度の障がいをもち常時介護を必要と する人の生活を支援するため、必要不可欠な事業。

令和5年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 障がい支援係 (令和 3年度決算) 事 44006 1 務 価 社会福祉課 係名 事 業 障害福祉サービス事業 細事業 身体障害者自立支援医療費給付事業 実施計画事業 身体障害者自立支援医療費給付事業 なし 総合計画体系図No.→ 会計 一般 政 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 年度 身体障害者自立支援医療費給付費 90,620 3 5 障がい者福祉の充実 年度 ~ 項 1 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 155 名 2 年度 目 過疎計画 総合戦略 期間 年度 ~ 決算 51 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額·決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 -般財源 <事業の目的> 障がい児者が、心身の障害の状態の軽減を図り自立した日常生活または社会生活を営むための必要な医療を指定自立支援医療機関から受けた場合に支給し、医療費の自己負担の軽減を図る。 申請受付、給付決定、支払業務等 R 3 計画 90,775 22,810 R3 当初予算 67, 965 22,810 90. 775 決 算 額 92, 325 70,418 21, 907 R 4 計画 22,810 90, 775 67, 965 R4 当初予算 94,042 23,617 70, 425 決 算 額 R 5 計画 90,775 67,965 22,810 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 申請受付、給付決定、支払業務等 R6計画 90,775 67, 965 22,810 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 90,775 67,965 22,810 R7 当初予算 決 算 額 114, 050 計画額 453, 875 339, 825 当初予算 138, 390 R3 ~ R7 合 計 184, 817 46, 427 決 算 額 92, 325 70,41821,907 各計画指標 R4 R7 評価指標名 指標値の説明 (算出方法等) R 2 実績値 単位 R3 R5 R6 達成度 目標値 □ 総合戦略 C 実績値 個別計画 % 達成率 目標値 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 3, 062 総合計画 月標値 3,062 3,062 3,062 3,062 身体障害者自立支援医療費支給件数 (育成医療:59、更生医療:2,753、療 (育成医療:59、 養介護医療:250) 3, 062 D 支給件数 総合戦略 実績値 2, 989 個別計画 % 達成率 97.6 ᄨ 目標値 総合計画 指 実績値 総合戦略 標 % 達成率 個別計画 Ε 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) -次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 5 点 なっていない なっている

評価点合計 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 5点 5点 評 優先度低い 優先度高い 2 4 5 事業計画どおりに事業を進めることができたか 5点 できた できなかった 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 点 20 点 点 20点 推移していない ⇒ 推移した 3 5 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 /25点 5点 /25点 推移していない 推移した

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
法令に定められた事業である。今後も継続して取り組む。	法令に定められた事業であるため、今後も継続する。

I 令和 5 年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 障がい支援係 課局名 (令和 3 年度決算) 事 社会福祉課 係名 44009 1 務 価 事 業 障害福祉サービス事業 細事業 デイケア等交通費助成事業 実施計画事業 デイケア等交通費助成事業 なし 総合計画体系図No.→( 158 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 当初予算額 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 精神障害者デイケア等交通費助成 策 5 障がい者福祉の充実 別計 期間 款 年度 ~ 年度 1,000 3 項 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 1 名 目 2 後期基本計画 46 P 🗌 過疎計画 総合戦略 期間 年度 ~ 年度 決算 51 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額 決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 在宅の精神障がい者がデイケア等へ通所する ための交通費を助成することによりデイケア 等の利用を促進し、精神障がい者の福祉の増 進を図る。 申請受付、支給決定、支払業務等 R 3計画 1,000 1,000 R3 1,000 当初予算 1,000 決 算 額 561 R 4 計画 1,000 1,000 R4 当初予算 1,000 1,000 決 算 額 R 5計画 1,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 申請受付、支給決定、支払業務等 R6計画 1,000 1,000 当初予算 R6 決 算 額 R 7 計画 1,000 1,000 R7 当初予算 決 算 額 計 画 額 5,000 5,000

				ĒΤ	画 發	5,00	0				5, 000
		R3 ~ R7	合 計	当	初予算	2,00	0				2,000
				決	算 額	<b>§</b> 56	1				561
	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			- - □ 総合戦略	3		目標値					
С	1 —		個別計画			実績値					
活					%	達成率					
動 指			□ 総合戦略	š		目標値					
標	2 _		□ 個別計画	Ī	-	実績値					
		I	<u> </u>	-	%	達成率 目標値	100	100	13	0 100	100
D	1 支給件数	デイケア等交通費支給件数	総合戦略		件	実績値	130	130	13	0 130	130
成	· 人和11 纵	7 年 7 年 7 世 頁 7 相 日 数	個別計画	1	%	達成率	66. 9				
果指			□ 総合計画	1		目標値					
拒 標	2 —		□ 総合戦略	i i		実績値					
			□ 個別計画	Ī	%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	<b> </b>						(	対象外事業	ŧは <b>F~I欄</b>	未記入 可)
		 評価項目/5つの視点(1~5点で	で評価)					マ評価(係:		二次評価(	
	1	の向上が期待できる事業内容となっている:	4)	1 → 2 -	→ 3 -	→ 4 → 5	評価		i点合計		評価点合計
F			7,	iっていない 1 → 2 -		なっている → 4 → 5		4点	-	4点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか	N (同じ成果指標設定事業内での優先度)		優先度低い	⇒	優先度高い	,	4点		4点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進め	りることができたか	7	きなかった	⇒	→ 4 → 5 できた		3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は記	†画どおり推移しているか		1 → 2 - 移していない		→ 4 → 5  推移した	_	点	14 点	— 点	14 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は記	†画どおり推移しているか		1 → 2 - 移していない		→ 4 → 5 推移した	- ;	3 点	∕25点	3 点	∕25点
	G 【担当係長の意見・i	課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	<u> </u>	H 【担	当課長	職等の所見	※評価	・改善策	等を踏まえ	た課長職等	の所見
は精	市の単独事業。市内に精神科の病院がないため、精神障がい者を経済的に支援を行うこと は精神障がい者の福祉増進につながる重要な事業である。新型コロナウイルスで影響で支 給件数が減少傾向にあるが、今後も事業を継続して精神障がい者を支援する必要がある。				福祉堆	病院がないた 9進につなか 受するために	る重要な	事業である	を経済的に る。市の単	二支援を行う 単独事業では	うことは精 はあるが、

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

(様式1) (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 枝番 社会福祉課 課局名 障がい支援係 (令和 3 年度決算) 事 44010 1 務 価 係名 事 業 障害福祉サービス事業 細事業 配食サービス事業 実施計画事業 配食サービス事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 158 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 策 5 障がい者福祉の充実 期間 配食サービス委託料 款 年度 519 3 年度 ~ 項 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 1 名 目 2 後期基本計画 46 P □ 過疎計画 総合戦略 期間 年度 ~ 年度 決算 51 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 食事の確保が困難な障がい者に対して、定期 的に居宅を訪問して栄養のバランスをとれた 食事を提供するとともに、安否を確認するこ とにより、住み慣れた地域社会の中で引き続 き生活していくことを支援し、福祉の向上を 図る。 申請受付、支給決定、支払業務等 R 3 計画 519 519 R3 当初予算 519 519 決 算 額 265 265 R 4 計画 519 519 R4 当初予算 519 519 決 算 額 R 5 計画 519 519 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 申請受付、支給決定、支払業務等 R6計画 519 519 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 519 519 R7 当初予算 決 算 額 計画額 2, 595 2,595 当初予算 1,038 R3 ~ R7 合 計 1,038 決 算 額 265 265

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値					
С	1 —		□ 個別計画			実績値					
活					%	達成率					
動指			総合戦略			目標値					
標	2 =		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		ı	目標値	5	5	5	5	5
D	1 利用人数	配食サービス利用実人数	□ 総合戦略	2	八	実績値	3				
成			□ 個別計画		%	達成率	60.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	—— 点	12 点	—— 点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	/25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市の単独事業で、65歳未満の在宅の障がい者の食の支援を行っている。今後も高齢者福祉 課と連携して配食サービスの提供を図っていく。	65歳未満の在宅の障がい者の食の支援を行っていることから、市の単独事業であるが、今後も高齢者福祉課と連携して配食サービスの提供を図っていく事が必要。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 障がい支援係 (令和 3年度決算) 事 社会福祉課 44011 1 務 価 係名 障害福祉サービス事業 事 業 細事業 障害福祉サービス事業 実施計画事業 介護給付・訓練等給付事業 なし 総合計画体系図No.→ 第6期障がい福祉計画・第2 期障がい児福祉計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 R3 年度 ~ 款 策 障害福祉サービス費 1, 211, 178 3 5 障がい者福祉の充実 年度 R5 項 1 施策展開 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実 画 名 2 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 46 P □ 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 決算 51 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 障がい者が自立した日常生活又は社会生活を 営むことができるよう、必要な障害福祉サー ビスに係る給付を行い、福祉の増進を図る。 申請受付、給付決定、支払業務等を遅滞なく 実施した。 R 3計画 1, 211, 178 908, 383 302, 795 R3 当初予算 908, 383 302, 795 1, 211, 178 決 算 額 1, 156, 991 867, 744 289, 247 R 4計画 302, 795 1, 211, 178 908, 383 R4 当初予算 1, 203, 242 300,811 902, 431 決 算 額 R 5計画 1, 211, 178 908, 383 302, 795 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 申請受付、給付決定、支払業務等 R6計画 1, 211, 178 908, 383 302, 795 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 302, 795 1, 211, 178 908, 383 R7 当初予算 決 算 額 計画額 6, 055, 890 4, 541, 915 1, 513, 975 R3 ~ R7 合 計 当初予算 1,810,814 2, 414, 420 603, 606 決 算 額 1, 156, 991 867,744 289, 247 指標値の説明 (算出方法等) R3 R4 R5 R7 評価指標名 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R6 目標値 □ 総合戦略 C 実績値 □ 個別計画 % 達成率 目標値 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 5, 568 総合計画 月標値 5,376 5, 568 5,568 5, 568 日中活動系サービス利用延 D 総合戦略 4,847 実績値 4, 760 ~ 個別計画 % 達成率 88. 5 ᄨ 目標値 総合計画 指標 実績値 総合戦略 % 達成率 個別計画 Ε 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

-次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 4点 4点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 5点 5点 評 優先度低い 優先度高い 2 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 3点 3点 できた できなかった 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 点 点 15点 15 点 推移していない ⇒ 推移した 3 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 3点 /25点 推移していない

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法に基づく障がい者等に必要不可欠な事業。障がい者等の安定した暮らしの実現に貢献しており、今後も継続実施が必要である。	障害者総合支援法に基づく障がい者等に必要不可欠な事業。障がい者等の安定 した暮らしの実現に貢献しており、今後も継続して行うことがが必要。

I 令和5年度の事業の方向性

	44011 5 (令和 3 年度)			合計画実施 務事	業		五調		課	局名	社会	福祉課	ţ	係名	障がい	支援係
事	<b>業</b> 障害福祉サービス事業	細	事業	障害福祉サービ	ス事業		:	実施計画	事業	障害児通	通所給付	<b>计通所給</b>	付事	ř	終了年度	
会計	総合計画体系図No.→ ( <sup>157</sup> ) -般	実現を	目指す	まち				期障がい 気がい児		計画・第	2	令和 3	年度	主な歳出	l名称	当初予算額
款	3 施 策 5 障がい者福祉の充領	夷						R3			年度	障害福祉	サービ	て費		166, 30
項	1 施策展開 ①地域生活支援事業別						画名									
目 夬算	2 <b>後期基本計画</b> 46 P 51	過疎計	画	総合戦略		ロナ充当	期間		年度 -		年度					
\ <del></del>	A 事業目的・内容・実績							B 事業	計画都	・決算額	<b>等</b>			+ 1E -th = 11		*
	事業の目的と内容	年 度		主な活動	実績				事	業費計	国県支	出金	地方	財源内訳 ·債	その他	単位:千円) 一般財源
<b>&lt;</b> I	事業の目的> いが見出され、早期に療育が必要である	受力	おおお	、障がい児通所支持 等デイサービス、ℓ	援(児	童発達支援 第35問支援	RI X INC	R3計i	画	166, 412		4, 723			<b>4</b> 1,=	41, 689
子ど	でもが、障がい児通所支援や相談支援体制 で実により、適切な時期に適切な療育を受	R3 階	がい児	君相談支援等)の	給付費	を支給した		当初予	算	166, 300	124	4, 723				41, 577
t S	ことができるようにする。							決算	額	166, 412	129	9, 833				36, 579
								R4計i	画	166, 300	124	4, 723				41, 57
		R4						当初予	算	179, 644	134	4, 733				44, 911
								決算	額							
								R 5計i	画	166, 300	124	4, 723				41,577
		R5						当初予	算							
	令和3年度の取組内容(計画)>						[	決算	額							
(課	者へ障がい児通所支援(児童発達支援、 後等デイサービス、保育所等訪問支援、							R6計i	画	166, 300	124	4, 723				41,577
こが	い児相談支援等)の給付費を支給する。	R6						当初予	算							
								決算	額							
								R7計i	画	166, 300	124	4, 723				41, 577
		R7						当初予	算							
								決算	額							
								計画	額	831, 612	623	3, 615				207, 997
				R3 ~ R7	合 計			当初予	算	345, 944	259	9, 456				86, 488
								決算	額	166, 412	129	9, 833				36, 579
							Ī						1			
<u> </u>	評価指標名 指標	値の説	.明(算	出方法等)	各	計画指標	R2実績	値 単位	+		R3	R4	_	R5	R6	R7
С	1 -					総合戦略				票値 責値						
						個別計画		%		東個						
活 動					+_			70		票値						
指						総合戦略				責値			+			
1256						個別計画		%		<b>龙率</b>						
						総合計画		<del> </del>	_	票値	600		600	600	600	600
D	1 児童発達支援利用延人数					総合戦略	5	29 人	実終	責値	690					
戉					~	個別計画		%	達原	<b>艾</b> 率	115.0			_		
目	-L-3H-44 Mr / 11 1 1 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1					総合計画		Y	目相	票値	1,380	1,	380	1,380	1, 380	1, 380
	2 放課後等デイサービス利用 延人数					総合戦略	1, 3	22		責値	1, 455					
	1				V	個別計画		%	達月	戊率	105.4					

	計画/33/10/全面   し計画/3家			(人) 外ハチ	*101 - 10	
	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した		19 点	点	19 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点
					•	

G 【担当係長の息見・課題・改善束寺】 ※今後の事業の進め方寺	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善束等を踏まえた課長職等の所見
児童福祉法に基づき実施している。今後も必要な事業として継続していく。	児童福祉法に基づき実施していることから、今後も必要な事業として継続。

I 令和 5 年度の事業の方向性

なし

200

50

16

千円)

268

268

35

268

269

268

268

268

1,340

537

35

-般財源

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 人権・部落差別解消推 准課 人権 · 部落差別解消 推進係 課局名 係名 46001 1 (令和 3年度決算) 務 価 事 業 細事業 差別をなくす市民のつどい事業 実施計画事業 差別をなくす市民のつどい事業 人権·部落差別解消推進事業 総合計画体系図No.→ 豊後大野市人権教育・啓発 基本計画(改定版) 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 施 策 期間 H29 年度 ~ 講演委託料 3 6 人権尊重社会の実現 豊後大野市部落差別解消推 項 ①人権が尊重される地域社会を実現する 1 施策展開 消耗品費 進教育·啓発基本計画 名 期間 H30 年度 ~ B 4 後期基本計画 94 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 託児業務委託料 決算 53 食糧費 B 事業計画額·決算額等 A 事業目的・内容・実績 財源内訳 (単位: 年 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 〈事業の目的〉 大分県では、部落差別問題の早期解決を目指 すことを目的に、同和対策審議会答申があっ た8月を「部落差別等あらゆる不当な差別をな 別をなくす市民のつどい」講演会 絆創膏の会 大湾 昇さん 出会いと表現~あることをないことにしない~ R 3 計画 268 R3 当初予算 268 3/27~28 市内3会場で実施予定だったが、コロナ禍のため中止。 横断幕等の掲示と、人権パネル展(教科書無償化の運動、市 内7公民館で2ヶ月間巡回)による啓発活動を行った。 くす運動月間」と定め、啓発活動を集中的に 実施しています。 豊後大野市においても、この趣旨に則り、部 決 算 額 35 この趣旨に則り、部 R 4 計画 268 落差別をはじめあらゆる差別の解消とお互いの人権が尊重された地域社会の実現を目的に R4 当初予算 269 「差別をなくす市民のつどい」を市内3会場で行います。 決 算 額 R 5 計画 268 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額

R6計画

当初予算

決 算 額

R 7計画

当初予算

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

268

268

1, 340

537

35

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		숲	目標値	3	3	3	3	3
С	1 講演会の実施箇所数	市内3会場で実施	個別計画	2	会場	実績値					
活					%	達成率					
動指標			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		Į.	目標値	460	480	500	520	540
D	1 参加者数	講演会への参加者数 (令和7年度末)	□ 総合戦略	453	人	実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画		0/	目標値	84	86	88	90	92
標	2 アンケート結果	アンケート結果で関心・理解が深まった割合(令和7年度末)	□ 総合戦略	82. 3	%	実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
Е	評価対象外の理由 0評価:	対象					<u> </u>	(\$	対象外事業(	<b>↓F~Ⅰ欄</b> ≉	⇒記入 可)

R3 ~ R7 合 計

-次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点 → 2 3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 5点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 5点 評 5点 優先度低い 優先度高い 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 19 点 3点 19点 推移していない ⇒ 推移した

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

じめの問題等に詳しい大湾さんの議演会を計画していたが、コロナ禍のため中止した

。 代わりに、部落解放運動の成果であり、私たちの生活に大きな影響を与えた「教科書無償化の運動」に ついての人権啓発パネル展を市内7会場で実施することにより、市民啓発を進めることができた。 また、大湾さんには、12月に大分市に講演に来られた合間の時間を使って、大飼中学校と大野中学校で 地域人権教育・啓発推進協議会と合同での講演会を低価格で実施していただき、生徒や地域の大人の人 権意識を高めることができた。

成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

「差別をなくす市民のつどい」講演会 講師 絆創膏の会 大湾 昇さん

~ ○ 18月27日(金)18:30~エイトピア ②8月28日(土)10:00~神楽会館 ③8月28日(土)13:30~隣保館

演題 出会いと表現~あることをないことにしない

その他、市報やCATV等を活用した広報・啓発 活動 (人権啓発パネル展)

R6

R7

講師

今後も、部落差別問題を中心課題として、あらゆる差別の解消に向け講演会やパネル展などを実施し、 正しい理解と人権感覚を養っていきたい。

3点 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

/25点

3点

/25点

顕在化する人権課題に対応できるよう差別のない社会を目指して、 ウイルス感染症の状況を考慮しながら、様々な啓発を進めていく必要

### 令和5年度の事業の方向性 I

A. 現状のまま継続

→ 3 → 4

193

965

387

135

(対象外事業はF~I欄未記入 可)

/25点

事	業番号		支番		( 4	<b>合和</b>	3	年	度:	H E	<b>i</b> )	糸	公合	計画	写実	施言	+画	書	(主	连進	捗	管 3	理)										(様	(1)
4	6002		1		( 4	和	3	年	度	夬 3	<b>(</b> )		_	務	事		業	評	_	価		調	書	課	局名	人格		落差別 進課	川解消推	係名	<u>ا</u>		落差 進係	別解消
事	業	人権	· 部	客差	別解	7消推	進事	業			細事	事業	人	権を守	宇る市	民の	つと	い事	業			実	施計画	事業	人権	を守	る市」	民のつ	どい事	業		終了年度		なし
			本系図			76 )															Litte	///	mer da 1	I for als	<i>u</i> :									
会計	一般	J		策	V	豊か	な心	と当	i ぶき	<b>意欲</b>	を育る	むま゛	ち							個	基	後き	、野市人 ∤画(改	、権勢	数育・リ 仮)	啓発		令和	3 年度	主な崩	战出名	尓	当初	予算額
款	3	方	t	策	6 /	人権導	尊重	生会	の実	現										月言		間	H29 4	年度 '	~	4	年度	講演委	託料					200
項	1	方	<b>地策展</b>	開	1)	(権が	が尊重	重さ	れる	地域	社会	を実	渓現す	る						匝	Ī							消耗品	費					35
目	4		後期基	基本	計画	94	4 F	•		過	疎計	画		総合	<b>含戦略</b>		] :	コロナき	充当	1 2	期	間	4	年度 ・	~	4	年度	講師譲	扎金					30
決算	53	A 7	<b>下業</b> 目	的	- 内:	· 5	字籍														•	В	事業計	+ imi #	<b>酒・決</b> 1	直額		実費弁	貸					21
			業の				~ 104			年					++\:	工作	かく生					Ē					·-			財源内	訳	(	単位	: 千円)
			果の日	日的	214	谷				度					主なえ	古劉ラ	<b>長</b> 頼							4	業費	šΤ	国県:	支出金	地方	債	その	)他	—£	般財源
1948	<b>業の目</b> (昭和2	23) :	年12月	101	日に	国連,	で採	択さ	ħ		「人 12月 第17	、権を守る  4日(土 部 人権	市民の〜 ) 10時〜 標語・ボ	つどい」 ・エイト1 'スター表』	ピアおおの 形式						П	R	3計画	i	2	293		100	)					193
7- [	世界人	権官	重」 な	和2	会して	7 1	12月	4日 🤊	526	R3	, ,				形式 写麻耶さん		w 1 Abrah	h ote				当	初予算		2	293		100	)					193
国民	までを	意識	の高揚	たり	呼び	かけ	てい	ハる。	4 \ 4		· 11	7/17 大 1/17 大 2/2 朝地 2/3 米毎	r 地域人作 例 石川 色 谷口が コ・大野	観教育・ 英雄さん「 大枝さん「 大波見る	発推進協議 「部落差別 つながるい ん「出会い	概云により とわたし いのち・・・ いと表祖・	○人権誘う 一、がるこ	理 員によるst 心」 ・レルかい	多様な性	につい	c c	決	: 算額	i	2	41		106	5					135
別の	解消と、	、お	互いの	)人材	権がこ	尊重:	され	た地	域			2/0 /00	7(2)	ДИЛ	70 - 1424	C 3K56	0,00			U-2.4		R	4計画		2	93		100	)					193
社会どい	の実現   事業	を目や人	的に、 潅講阵	「 等	人権: を行	を守っ う。	る市	民の	9	R4												当	初予算		2	94		100	,					194
																						決	: 算額	i										
																					┪	R	5計画	:	2	293		100	,					193
										R5	;											当	初予算											
<4	3和3年	E度0	)取組	内容	₹(計i	画) >	>														- 1		算額	_										
「人	雀を守る	る市」	そのつ	どし	رد.					$\vdash$	+										$\dashv$	H	6計画		9	293		100	,					193
	日 (土 人権							3D		R6	.										- 1	┢	初予算	-		,,,,		100						133
第2部	人権	講演	会計	講師	i Ĥ	西麻	耶さ	ん		11.0											-1	_	加卢	_										

決 算 額

R 7 計画

当初予算 決算額 計画額

当初予算

決 算 額

293

1, 465

587

241

100

500

200

106

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
	***	***	総合戦略		口	目標値	7	7	7	8	8
С	1 講演会、人権講座の開催回 数	講演会、人権講座の開催回数(令和7年 度)	一     個別計画	7	ī	実績値	4				
活					%	達成率	57. 1				
動指			│ │ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		ı	目標値	200	220	250	270	300
D	1 参加者数	つどいの参加者数(令和7年度)	□ 総合戦略	175	人	実績値	297				
成			□ 個別計画		%	達成率	148. 5				
果指			□ 総合計画		%	目標値	94. 5	95	95	95	95
標	2 アンケート結果	つどいのアンケート結果で関心・理解が 深まった割合(令和7年度)	□ 総合戦略	94	%	実績値	89				
		7.00	□ 個別計画		%	達成率	94. 2				

R3 ~ R7 合 計

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 5点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 評 5点 5点 優先度低い 優先度高い → 4 **→** 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 4 点 23 点 4点 23 点 推移していない ⇒ 推移した

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

「あきらめない心」

Ε

5.

評価対象外の理由

0 評価対象

成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

そのほか、各地域人権教育・啓発推進協議会 による人権講座

ペラリンピックでご活躍された中西麻耶さんの講演は、障がいのある方の思いとして、当事者意識に立つことの大切さや、人生を人と比べず、夢に向かって一歩勇気を踏み出そうといった前向きな言葉が参加者の共感をうみました。人権標語・光スターの優秀賞の表彰も含めたアンケート調査でも、人権問題に関する関心や理解が深まった方が89%、満足度も91%と講評でした。また、各地域人権教育・啓発推進協議会による人権講座においても、専門の講師により市民の人権意識の高揚を図ることができました。

今後も、市民の人権意識の高揚を図るため、様々な人権課題を解決していくことにつながる講演 会や講座等を開催します。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

/25点

顕在化する人権課題に対応できるよう差別のない社会を目指して、新型コロナ ウイルス感染症の状況を考慮しながら、市民の人権意識の高揚を図る取り組みを 進めることが必要である。

### 令和5年度の事業の方向性 I

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推

なし

352

84

568

86

当初予算額

人権 · 部落差別解消 推進係

係名

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 人権・部落差別解消推 進課 (令和 3 年度決算) 事 評 46003 1 務 業 価 事 業 人権·部落差別解消推進事業 細事業 人権ポスター、標語募集事業 実施計画事業 人権ポスター、標語募集事業 総合計画体系図No.→ ( 376 豊後大野市人権教育・啓発 基本計画(改定版) 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 策 6 人権尊重社会の実現 別計 款 施 期間 H29 年度 ~ 印刷製本費 3 年度 項 施策展開 ①人権が尊重される地域社会を実現する 1 記念品代 名 胡胆 年中 ~ 人佐門顕護師団会議論社会 目 4 後期基本計画 94 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 決算 53 A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 主な活動実績 度 <事業の目的> 市民にとって幅広く「人権」について考える 市民の人権意識の高揚を図るこ とを目的に、「人権を守り、差別をなくす」 標語及びポスターを募集する。 「人権を守り、差別をなくす」 【募集期間】 市内小中高校 5月1日~9月30日 一般その他 8月1日~9月30日 R3

R4

R5

R6

R7

<令和3年度の取組内容(計画)> 「人権を守り、差別をなくす」標語及びポス

市人権問題講師、美術指導経験者による審査により、優秀賞と入選作品を選び、12月の「人権を守る市民のつどい」で表彰する。 優秀賞・入選作品のポスターやリーフレットを作成し、市内各学校や公共施設等に掲示。 リーフは市内全戸配布。

マール要集 【募集期間】 市内小中高校 5月1日<sup>~</sup>9月30日 一般その他 8月1日<sup>~</sup>9月30日

の 募集

ススターに170人、標語に2538人が取り組んでいただき、審査により優秀賞12 より入篷の点を表彰した。 予賞、入篷の作品は、ボスターやリーフレットにして、全戸配布や学校・ 共施設等に掲示し、呼発した。

R3 ~ R7 合 計

		~	八山田山	AZIMPHPIZI ZA MXII	41.10.715	50
	B 喜葉計	画額・決算額	消耗品	費		10
1	77.00	事業費計		財源区	<b></b> 村訳	(単位:千円)
l		尹未其司	国県支出金	地方債	その他	一般財源
1	R 3計画	521	237			284
ı	当初予算	521	237			284
ı	決 算 額	317	231			86
l	R 4計画	521	237			284
ı	当初予算	521	237			284
ı	決 算 額					
l	R 5計画	521	237			284
ı	当初予算					
ı	決 算 額					
l	R 6計画	521	237			284
ı	当初予算					
ı	決 算 額					
١	R 7計画	521	237			284
	当初予算					
l	決 算 額					
1	計画類	2 605	1 185			1 420

474

231

1,042

317

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		募集の周知回数(市報、HP、校長会、差	総合戦略		口	目標値	4	4	5	5	6
С	1 募集の周知	募集の周知回数(市報、HP、校長会、差別をなくす市民のつどい等令和7年度)	□ 個別計画	4	ī	実績値	4				
活		7417年度)			%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略		回	目標値	1	1	1	1	1
標	2 審査会	審査会の回数(令和7年度末)	□ 個別計画	1	Ш	実績値	1				
					%	達成率	100.0				
			総合計画		枚	目標値	127	131	134	137	140
D	1 応募数	ポスター応募総数 (年度末)	□ 総合戦略	124	111	実績値	150				
成			□ 個別計画		%	達成率	118. 1				
果指			□ 総合計画		点	目標値	2, 590	2,600	2,610	2, 620	2,630
	2 応募数	人権標語応募総数 (年度末)	□ 総合戦略	2, 579	从	実績値	2, 538	·			
			□ 個別計画		%	達成率	98. 0				

当初予算

決 算 額

評価対象外の理由 Ε 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	22 点	4点	22点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

・中学生を中心に2500点以上の標語の応募があった。市民の皆さんが、身近な「人権」について考えるきっかけになっていると思われる。今年度の標語・ボスターともにオリンピック・パラリンピックで新たな課題に気づいたり、新型コロナがもたらした長い萎縮の日々と人権課題、いじめや命に関するもの、ネットやスマホの問題、性の多様性などを敏感に捉えた作品が多く出されていた。人権を守る市民のつどいで、優秀賞のみ表彰したが、参加者からは好評であった。優秀作品のポスターやリーフレットを全戸配布等しているので、今後も市民が身近なところで人権感覚を磨き直すいいきっかけになると考える。

### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

差別のない明るい地域社会の実現に向けて、市民にとって幅広く「いて考えるきっかけとなり人権意識の高揚を図るため引き続き効果的な取り組みを推進していく必要がある。

## 令和 5 年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 人権・部落差別解消推 進課 人権 · 部落差別解消 推進係 係名 46004 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 事 業 細事業 人権研修事業 実施計画事業 人権研修事業 人権·部落差別解消推進事業 なし 総合計画体系図No.→ 豊後大野市人権教育・啓発 基本計画(改定版) 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 H29 年度 ~ 款 施 策 講師謝礼金 45 3 6 人権尊重社会の実現 年度 項 1 施策展開 ①人権が尊重される地域社会を実現する 実費弁償 40 名 B 4 後期基本計画 94 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 決算 53 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 各種団体や企業に人権研修を呼びかけ、その研修に講 館を派遣したり、講師の紹介を行う。 令和3年度は、派遣か9件、紹介が7件となっている。コ ロナ禍のため、計画していたが、中止になっている。 市内47社には、人権研修の講師派遣制度について毎年 案内を出している。 **<事業の目的>** 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と R 3 計画 85 85 互いの人権が尊重された地域社会の実現のために、人権研修講師の派遣や紹介等を行う。 R3 当初予算 85 85 決 算 額 R 4 計画 85 85 R4 当初予算 85 85 決 算 額 R 5 計画 85 85 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 各種団体や企業に人権研修を呼びかけ R6計画 85 85 研修に講師を派遣したり、講師の紹介を行う R6 当初予算 。 人権問題講師の育成(県の研修会等)。

決 算 額 R7計画

当初予算 決 算 額計 画 額

当初予算

決 算 額

85

425

170

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		社	目標値	47	48	49	50	51
С	1 各種団体や企業への呼びかけ数	各種団体や企業への人権研修呼びかけ数 (令和7年度末)	□ 個別計画	47	仁	実績値	47				
活					%	達成率	100.0				
動指			│ │ │ 総合戦略		Į,	目標値	12	12	13	13	13
標	2 人権問題講師数	人権問題講師の人数(令和7年度末)	□ 個別計画	12	人	実績値	12				
					%	達成率	100.0				
			□ 総合計画		□	目標値	21	22	25	27	29
D	1 講師の派遣・紹介数	人権研修の講師派遣・紹介数	□ 総合戦略	20	Ш	実績値	16				
成			□ 個別計画		%	達成率	76. 2				
成果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

#### -次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点合計 評価点 評価点 → 2 → 3 $\rightarrow$ 4 $\rightarrow$ 5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっている なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 評 3点 優先度低い 優先度高い 2 3 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 17点 5点 17点 推移していない ⇒ 推移した → 3 → 4 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 3点 /25点 推移した

## G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

Ε

評価対象外の理由

0 評価対象

R7

団体や企業への人権研修は、組織としてい研修として非常に重要であるが、合和3年度はコロナ禍で人を集めること自体が難しく、計画していても中止になる団体が多かった。結果として、講師派遣が9件、紹介が7件に止まった。実施した団体や企業では、部落差別解消推進法に周知や、あらゆる差別の解消に向けた正しい理解と、人権意識の高揚が図られた。また、社会福祉協議会では、役員に研修を行い、その後、役員が支部員に同じ研修を進めるといった形がとられるなど人権リーダーが育っていく可能性を感じた。今後も、市内の団体や企業に人権研修の重要性を理解していただきながら、講師派遣制度の紹介も重ねていきたい。

## H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

85

425

170

(対象外事業はF~I欄未記入 可)

顕在化する人権課題に対応できるよう差別のない社会を目指して、新型コロナ 昔 ウイルス感染症の状況を考慮しながら、企業や団体への人権研修事業を進めてい 解 くとともに、人権問題講師の育成は重要な課題であり今後も取り組みを推進して いく必要がある。

## I 令和5年度の事業の方向性

⇨

100

500

200

53

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 人権・部落差別解消推 推理 人権 · 部落差別解消 推進係 (令和 3 年度決算) 事 係名 46005 1 務 業 評 価 社会を明るくする運動推進委員会補助 事業 事 業 細事業 人権·部落差別解消推進事務事業 実施計画事業 人権·部落差別解消推進事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 382 豊後大野市人権教育・啓発 基本計画(改定版) 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 策 6 人権尊重社会の実現 別計 期間 H29 年度 ~ 款 施 3 年度 100 項 施策展開 ①人権が尊重される地域社会を実現する 1 画 名 □ 過疎計画 期間 年度 ~ 目 4 後期基本計画 94 P 総合戦略 コロナ充当 決算 53 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更 R 3 計画 100 100 社会を明るくする運動メッセージ伝達式 キャンペーンの実施 キャンペーン車等による市内広報、市内小中学校へ社明作文の依頼と啓発用品 毎45 生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい社会を築くことを目的に、"社会を明るくする運動"を推進する。 R3 当初予算 100 100 |配布 |豊後大野市大会(社明作文の発表、講演会)の実施 7月11日エイトビアおおの | 広報注動 決 算 額 53 53 R 4 計画 100 100 R4 当初予算 100 100 決 算 額 R 5 計画 100 100 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 社会を明るくする運動豊後大野市推進委員会 を組織している(会長は市長)。 R6計画 100 100 ○社会を明るくする運動メッセージ伝達式 ○キャンペーンの実施 ハーレークラブによる広報、キャンペーン 車等による市内広報、市内小中学校へ社明作 文の依頼と啓発用品の配布 ○豊後大野市大会(社明作文の発表、講演会 )の実施 7月11日エイトピアおおの ○広報活動 当初予算 R6

決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

100

500

200

53

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	3	3	4	4	4
С	1 広報活動	広報車等による広報回数(令和7年度)	個別計画	3	ш	実績値	3				
活					%	達成率	100.0				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 _		│ ── │			実績値					
					%	達成率					
		alle (C. L. man, L. L. A. (Calabath, A.) (S. L. Jake Mr. (	総合計画		Į.	目標値	140	150	350	160	165
D	1 参加者数	豊後大野市大会(講演会)の参加者数( 令和7年度)	□ 総合戦略	320	八	実績値	123				
成			□ 個別計画		%	達成率	87. 9				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 Ε 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	24 点	5点	24 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動である。豊後大野市では、保護司会、更生保護女性会、BSS会、協力雇用主会が多年にわたって更生保護関係団体として、この地域活動に取り組んでいただいている状況。市が10万円、保護司会が13万円の予算を出し合って、社会を明るくする運動豊後大野市推進委員会として啓発活動や講演会等を実施しており、令和3年度も7月の強調月間を中心に、各種事業を行い、市工程的の(世本学問人会 して啓発
古動で
講演云 民理解の促進を図った

R7

74に連を図った。 月に再犯防止推進計画も地域福祉計画に包含する形で策定した。 更生保護関係団体と協力しながら、安全で安心なまちづくりを推進したい。 また、3月に

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

安全で安心なまちづくり推進のため、より効果的な啓発活動を実施するととも に関係団体と協力しながら取組を推進していく必要がある。

令和5年度の事業の方向性

款 3 施 策 6 人権尊重社会の実項 1 施策展開 ①人権が尊重される 後期基本計画 94 P □ 決算 53 本事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 <事業の目的> 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お	意欲を 現 地域社	細事業 育むまち	人権・部		業 解消推		個別計	基		、権教育・ (定版)	人権教	令和 3	生協議会補助 年度 主な	力 助事業 歳出名称	終了年度	
総合計画体系図No→(376) 会計 一般 政 策 V 豊かな心と学ぶ。 款 3 施 策 6 人権尊重社会の実 施策展開 ①人権が尊重される 目 4 後期基本計画 94 P □ 決算 53 A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 <事業の目的> 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お	意欲を 現 地域を 過頭	育むまち	見する				個別計	基	发大野市人 本計画(改	、権教育・ (定版)	啓発	令和 3	年度 主な	歳出名称	年度	なし 当初予算額
会計 一般	現地域社 過頭	土会を実	現する	戦略			別計	基	本計画 (改	(定版)		1				 当初予算額
款 3 施 策 6 人権尊重社会の実項 1 施策展開 ①人権が尊重される 8 後期基本計画 94 P □ 決算 53 A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 マーネッの目的> 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お	現地域社 過頭	土会を実	現する	戦略			別計	基	本計画 (改	(定版)		1				ヨ物ア昇部
項 1 施策展開 ①人権が尊重される 接期基本計画 94 P □ 決算 53 A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 <事業の目的> 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お	地域社過頭	1		戦略			計				年月	地域人村	<b>E</b> 教育啓発推	<b>严励</b>	則	1, 260
目 4 決算 53 A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 <事業の目的> 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お	過頭	1		戦略			画		" H29 "	F-04.		金				1, 200
A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 <事業の目的> 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お	年度															
事業の目的と内容 <事業の目的> 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お	年度			、事業目的・内容・実績												
<b>&lt;事業の目的&gt;</b> 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お	度							1	B 事業計	画額・決	:算額等		財源	力訳	(1)	単位:千円)
部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お			Ė	Eな活動	助実績					事業費	計	県支出金	地方債	その作		一般財源
		7町の均 地域ぐ2	b域人権教 るみでの自	育・啓主・白	発推進 発的な	協議会に 人権学習	よる!・啓		R 3 計画	1,	260					1, 260
互いの人権が尊重された地域社会の実現を目的に、地域ぐるみ(町毎)での自主的な学習	R3	発活動を	と 行ってい 大表による	る。				П	当初予算	1,	260					1, 260
・啓発活動を支援する。			すも行って		開発 ご 小口	献し、母	2175		決 算 額		831					831
								П	R4計画	1,	260					1, 260
	R4							П	当初予算	1,	260					1, 260
								_	決算額							
								П	R 5計画	1,	260					1, 260
	R5							П	当初予算							
< 令和3年度の取組内容(計画) > 各町の地域人権教育・啓発推進協議会による	_							-	決算額							
地域ぐるみでの自主・自発的な人権学習・啓 発活動。	De							П	R 6計画	1,	260					1, 260
各町の代表による連絡会議を組織し、連携・ 情報共有を行う。	R6							П	当初予算 決 算 額							
11 TK/N 13 C 11 7 0	$\vdash$							-	水 并 俄 R 7計画		260					1, 260
	R7							П	当初予算	1,	200					1, 200
								П	決算額							
								1	計画額		300					6, 300
			R3 ~	R7	合 計			П	当初予算	1	520					2, 520
								Ш	決 算 額		831					831

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	2	2	2	2	2
С	1 連絡協議会の開催数	連絡協議会の開催回数(令和7年度)	個別計画	2	ī	実績値	2				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		Į.	目標値	1,070	1,200	1, 400	1,600	1,800
D	1 講座・講演会等の参加者数	講座・講演会等の参加者数(令和7年度)	□ 総合戦略	1, 056	八	実績値	1, 264				
成			□ 個別計画		%	達成率	118. 1				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	24 点	5 点	<sup>24</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

## G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 地域ぐるみでの自主・自発的な人権学習・啓発活動は重要であり、差別のない 明るい地域社会の実現に向けて、引き続き取り組みを推進していく必要がある。

地域人権教育・啓発推進協議会は平成21年度より各町単位で設置されている。この協議会は、部落差別問題をはじめあらゆる差別の解消に向け、地域ぐるみで自主的な学習・啓発活動を実践することにより、人権尊重の精神に富んだ明るく住みよいまちづくりに寄与することを目的にしている。各町で地域のことをよく知っている団体代表や、人権擁護委員、人権問題講師団、福祉団体等の方々が委員となり、各町独自の啓発活動や講演会などを行い、様々な差別の解消に向け尽力いただいている。令和3年度はコロナ禍のため、計画しても中止された事業が多かった。

今後も自治会やサロン、学校、職場など地域の小さい単位での集まり等を利用して、地域ぐるみで自主 的な学習・啓発活動を実践することによって、差別のない明るいまちづくりを進めていただきたい。な お、各町協議会の役員による連絡協議会を年2回開催し、情報共有や連携を深めていく。

I 令和5年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

 $\Rightarrow$ 

事	業番号	枝番		( 4	和	3	年	度:	H B	町 )	#	総合	計	画	美	他言	†	書	(兼	進捗	冒	理)				L/r: J.	,	In the same of	4		Lhe .t.		式 1)
4	16005	3		(令	和	3	年	度》	决争	T)	Ę	F	矜	F	事	;	業	評	. 1	西	調	書	Ē	果局名	i A	権・剖	落差別 進課	解消費	係:	名 <sup>人</sup>	.権・剖 推	洛差別 進係	川解准
事	業	人権・部	落差	別解	消推的	進事	事業			細事	業	人	.権	• 部落	客差	別解	消挡	推進事	務事	<b></b>		実施計画	画事第	₹ 部落	客解放	同盟	連絡協	議会補	前助事業	48	終了年度		なし
		画体系図			80 )															F 1#	to 200	/ L. mz -1-	. 1 4/-	₩1.→c	⊒k an								_
会計	一般		策		豊かな					を育る	むま	5								個 差	吉本	(大野市 (計画(	改定	版)	<ul><li></li></ul>			-	ま 主な			当初 <sup>-</sup>	
款	3		策		権尊				_	-41 A	a. rt	l	- 7							計		H29 後大野市			紀治4	年度	部落解	放同盟	連絡協調	義会補助	J金		1, 20
項	1	施策展			(権が)			れる				・現す		<b>~^~</b>	th mæ		_	コロナき	-z - 114	名	佳拳	汝育・啓	発基	本計									
目 決算	53	後期	<b>基本</b>	計画	94	F	<u> </u>		適	疎計	Щ		#	総合単	<b>攻哈</b>	L		コロナナ	τĦ	д	明间	H30	牛度	~		年度							
八开		事業目	的:	内	実・実	積															1 5	B 事業	計画	額・注	<b>快算都</b>	等							
		事業の	目的	と内	容				年度					主	な記	動到	実績						. :	事業費	計	国但	支出金	₩	財源区 方債	9訳 その		単位:	千円) 財源
<1	業の目的	勺>	.1 7	, <u>-</u> 44-F	ul as An	1201/	1	. has	·~	運	動団	体は	·	邻落差	<b>差別</b>	問題	のデ	<b>こ全解</b>	消に「	句け	İt	R3計	画	1	, 200	国示	ХШЖ	تاء	刀良	( )	7 IE		1, 20
互い	差別をは の人権が	尊重され	した出	也域社	生会の				R3	研	修会	等に	参力	加して	てい	る。	令和	: とも 113年月	に、』 実はコ	↑種ロナ	lŀ	当初予	算		, 200								1, 20
的に	、運動団	体の活動	りをゞ	ス′抜″	する。							り活 運動						á。 と行っ	てい	<b>5</b> 。	lt	決 算	額		164								16
																					ll	R 4計	画	1.	, 200								1, 20
									R4												ll	当初予:	算	1	, 200								1, 20
																						決算	額										
																						R 5計	画	1	, 200								1, 20
									R5	i												当初予:	算										
	<b>令和3年</b> 月 団体は、					(光)	た店	11+													lŀ	決算											
、様	団体は、 々な啓発 会等に参	活動に取	ひ組																		lŀ	R 6計		1	, 200								1, 20
市は	、運動団	体と定期		を行	ずい、	情	報交	換	R6												lŀ	当初予	_										
寺で	行ってい	<b>ට</b> ං							_												lŀ	決 算	-		200								1 00
									R7												lŀ	R7計 当初予		1	, 200								1, 20
									K/												lŀ												
																					۱ŀ			6	000								6,00
												R	23	~	R7	7 슫	<b>1</b>	i <del>l</del>			lŀ	当初予	算										2, 40
																					lŀ	決 算	額		164								16
												R	₹3	~	R	7 é	Å1 [	<del>†</del>				決 算 計 画 当初予 決 算	額算		, 000 , 400 164								
		評価指	標名					指	標値の	の説明	明(红	算出フ	方法	等)			各	·計画	旨標	R 2 9	実績	値 単位	達	成度		R3	F	R4	R5		R6	1	R7
						75	ままり	田休	ь <i>п</i>	空曲	协丝	:i司#4	r (/	<b>-</b>	在:	<sub>6</sub>		総	合戦略			口	-	標値			2	2		2		2	
	1 運動団	体との気	三期接	協議			里野(	纠件	(0)	定期	肋韺	凹数	( (~	11 VII (	4-13	Z.		個	別計画	ī		2		<b>製養値</b>	-		-					-	
活動						+										4				_		%	_	標値	-		-			_		+	
指	2 _																		合戦略	i i			-	操他 系績値								-	
尓						1												100	na = 1 <del>a</del>	:I		- 1			1		1			- 1		- 1	

	評価指標名	指標他の説明(昇田万広寺)	<b>合</b> 計凹指標	RZ美額個	甲四	莲队贤	หง	K4	ся	KO	R/
С	1 YES [7] [4] 1 o chuld 24	運動団体との定期協議回数(令和7年度	□ 総合戦略		口	目標値	2	2	2	2	2
活	1 運動団体との定期協議	末)	□ 個別計画	2	%	実績値 達成率					
動指標			────────────────────────────────────			目標値					
標	2 —		個別計画			実績値					
					%	達成率					
	1 1/c 3- 3/2 30 → 10.2 A febr		総合計画		口	目標値	2	2	3	4	5
D	1 人権を学ぶ子ども会等への 参加	人権を学ぶ子ども会等地域の子どもたち との関わりへの参加回数 総合戦略		2	ī	実績値	6				
成			□ 個別計画		%	達成率	300.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
		<u> </u>	•			•		•		,	

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次訓	価 (係長)	二次評価	(課長等)
	計価項目/5つの代息(1~5点で計価)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 1 - なって	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	ī	4 点	
割	1.2    事業の優先度は高いと思うか(同じ成里指煙設定事業内での優先度)	→ 2 → 3 → 4 → 5 度低い → 優先度高い	i	5 点	
個	- 13 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	ī	3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 1 - 推移し	ightarrow 2 $ ightarrow$ 3 $ ightarrow$ 4 $ ightarrow$ 5 Tいない $ ightarrow$ 推移した	19点	2 点	19 点
	15   成単指標の達成状況(薬)は計画どおり推移  でいるか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	/25点	5 点	∕25点

## 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

人権を尊重し、あらゆる差別のない住みよい社会の実現をめざすため、部落解放同盟大分県連合会大野支部が行う事業に対し、補助金を交付している。令和3年度はコロナ禍のため、各種研修会等が中止となったため多くの活動ができていないが、高校生人権学習会や大野中の人権を学ぶ子ども会、甘藷植え付け体験などの地域交流事業等に積極的に参加いただき、地域の子どもたちを励ましていただいている

人権に関する状況は複雑化・多様化しており、お互いの人権が尊重された地域 社会を実現するため、関係団体との連携は不可欠であり活動の支援は必要である

。 諸事情により運動団体との定期協議はできていないが、役員との連絡を取り合う中で情報交換等をしている。 今後も、部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向け、運動団体の活動に対し、予算の範囲内で支援し たいと考えている。

令和5年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

 $\Rightarrow$ 

5, 515

1,648

853

事業番号 枝番 (令和3年度)	十画	) 絹	自信合領	画実旅	医計画	画書	(兼	進技	步管	理)							(様式1)
47001 1 (令和 3 年度)	美算	)事	務	事	業	評	i fi	6	調	書	課局名	人権・	部落差別 進課	解消推	係名	男女却	共同参画係
事 業 男女共同参画事業	i	細事業	男女共	同参画社	土会啓	発事業			3	実施計画	事業 男女共	:同参画	社会啓	発事業		終年	
総合計画体系図No.→ ( 383 )			1								1					1	
会計 一般 <b>政 策</b> V 豊かな心と学ぶ意	欲を	育むまた	5							欠豊後大野 本計画(	野市男女共	同参	令和	3 年度 3	主な歳	出名称	当初予算額
<ul><li>款 3</li><li>施 策 6 人権尊重社会の実</li></ul>	現							別	期間		度 ~ R7	年度	講師謝	礼金			230
項 1 施策展開 ②男女共同参画社会~	づくり	)を推進	する					計 画					女性団	体連絡協調	義会補具	助金	150
目 4 後期基本計画 94 P □	過頙	計画	<b>V</b> 総	合戦略		コロナ3	色当	名	期間	年	度 ~	年度	男女共命	同参画推动	生協議:	会委員謝礼	138
決算 54 A 事業目的・内容・実績		,								D <b>古金</b> 型	·画額·決算	<b>参</b>	実費弁	償			105
·	年			L	51 <del></del> 4+	-			٦ŕ	<u>9 字录前</u>				郥	排原内	<del></del> 訳	(単位:千円)
事業の目的と内容	度			主な活	動美績	Ī					事業費計	国师	是出去	地方	責	その他	一般財源
<事業の目的> 男女共同参画社会の実現に向けて、人権尊		○第15回男女 実行委員等関 ○男女共同参	共同参画市民の 係者31人 画啓発講座等のB	つどいを開催 開催	参加者 一	般171人			76	R 3計画	92	23					923
重・男女平等の意識を育てる啓発・教育を推 進する。	R3	<ul><li>市民講座</li><li>・施課後のコート放課後の</li></ul>	1回 参加者13 ンサート 参加者 ャレンジ教室 5 ーシップ・ファ	3人 者 一般158人 5カ所 参加者	実行委員等 93人	等関係者13人	TOT BOTTOM . O.O.	_	3	当初予算	92	23					923
λΕ· 9 ° ο ο		参加者703人		<,,-,,,E	1.言明改件人	NAME OF SEC.	1011165 GF 291	ш	ž	決 算 額	85	53					853
									Ī	R 4計画	77	'3					773
	R4								ì	当初予算	72	25					725
									ž	決 算 額							
									Ī	R 5計画	77	'3					773
	R5								ì	当初予算							
<令和3年度の取組内容(計画)>									ž	決 算 額							
○「第15回豊後大野市男女共同参画市民のつ どい」を開催する。									7	R 6計画	77	'3					773
日時 令和3年10月16日 講師 小野アンリさん	R6								3	当初予算							
演題 LGBTQを知っていますか? ○男女共同参画啓発講座等を開催する。									ž	決 算 額							
市民講座 年6回程度									76	R 7 計画	2, 27	'3					2, 273
放課後チャレンジ教室 年7回程度	R7								3	当初予算							

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	16	17	18	19	20
С	1 啓発講座や講演会の回数	年度ごとの啓発講座や講演会の実施回数	□ 個別計画	9	ī	実績値	8				
活					%	達成率	50.0				
動指		ななばみ 人 エロ人はエロットリッグ FIJI	✓ 総合戦略		%	目標値	38	41	44	47	50
標	2 各種審議会等委員の女性登 用率	重審議会・委員会等委員の女性登用状 関査(毎年実施)   「	34. 5	70	実績値	36. 4					
	, ,			%	達成率	95.8					
	41 A A Unit 22 - 4 B 1 28 F		✓ 総合計画		%	目標値					30
D	1 社会全体において男女が平 等と感じる割合	令和7年度に実施する市民意識調査(5年 に1度実施)	□ 総合戦略	17. 5	/0	実績値					
成 果			✓ 個別計画		%	達成率					
果 指	「男は仕事」女は家庭」と		□ 総合計画		%	目標値					75
標	「男は仕事、女は家庭」と 2 いう考え方に同調しない人 の割合	令和7年度に実施する市民意識調査 (5年 に1度実施)	□ 総合戦略	72. 1	/0	実績値					
	の割合		✔ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次	評価(係長)	二次評価	(課長等)
	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	評価	点 評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	点	5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)		点	5 点	
一個	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 1 → 2 できなかっ		点	3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	→ 3 → 4 → 5 ない ⇒ 推移した	点 18点	2点	18 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか #A T T N		点 /25点	3 点	∕25点

# 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

その他 年2回程度

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

5, 515

1,648

853

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

全和3年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため市民講座等が計画していたにも関わらず、中止せざるを得ない状況があった。 今後は、感染症の情勢を見ながら対策を講じつつ、啓発活動を継続する。また、令和3年度はパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入を控え事業説明や研修を多く行っている。引き続き、繰り返し研修等を行うことと、あらゆる場面で男女共同参画の視点を持つためにも、参加者が固定化しないよう様々な団体等に働きかけていく必要がある。

第2次基本計画(改訂版)の施策を着実に実行するため、市民や各団体等を対象に、より効果的な啓発事業を実施するとともに、関係課が連携し、調整・協議を行いながら取り組みを推進していく必要がある。

## 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 人権・部落差別解消推 推課 (令和 3 年度決算) 事 係名 隣保館係 48001 1 務 価 事 業 隣保館管理運営事業 細事業 隣保館運営事業 実施計画事業 地域交流事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 378 豊後大野市人権教育·啓発基 本計画(改定版) 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 当初予算額 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 別計 策 6 人権尊重社会の実現 期間 H29 年度 ~ 講師謝礼金 款 10 3 年度 項 施策展開 ①人権が尊重される地域社会を実現する 1 実費弁償 名 目 5 後期基本計画 94 P □ 過疎計画 コロナ充当 期間 年度 ~ 12 総合戦略 決算 55 通信運搬費 10 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額 決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 **〈事業の目的〉**第2種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む相談事業や文化・教育及びり権に関わる学習会を通じて部落差別問題をはじめさまざまな人権課題の解決に取り組む ・交流促進ヨガ教室(4回 延べ272人) ・地域交流促進事業(甘藷植付け及び収穫体 験、おいも収穫祭 延べ132名) ・休日開館(25日) R 3 計画 36 27 9 R3 27 9 当初予算 36 2 決 算 額 32 30 R 4 計画 27 9 36 R4 当初予算 134 100 34 決 算 額 R 5 計画 36 27 9 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 自立支援等のための訪問活動を実施し地域福祉の推進を図る 休日開館や各種クラブ活動、レクリエーション、教養、文化活動等各種講座を開催し、 地域住民相互の交流・促進を図る R6計画 27 36 当初予算 R6

	住民相互の交流・促進を図る					決	字算 客	頁					
・交	談事業(随時) 流促進講座(ヨガ教室)4回開			R	7 計画	i :	36	27			9		
	童館児童と地区住民の交流 藷植付け収穫体験		R7			<u></u>	4初予算	Į					
植	付け体験 令和3年6月30日 藤体験	予定				決	を算を	Į.					
お	いも収穫祭 令和3年11月2	0 日予定				— I E	画客		30	135			45
・休	日等開館 24日開館予定		R3 ~ R7 €	수 닭		_ I <u> </u>	· 一 · á初予算		70	127			43
						_ I	子算客		32	2			30
	評価指標名	指相	票値の説明(算出方法等)	各言	十画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
					総合戦略		口	目標値	12	12	1:	2 1:	2 12
С	1 広報啓発活動	隣保館だ。	よりの発行回数		個別計画	12		実績値	12				
活							%	達成率	100.0				
動 指		六达 市 类 /	つ参加者数(甘藷植付け収穫体		総合戦略		人	目標値	120	120	120	120	120
標	2 参加者数	験、おい			個別計画	130	)	実績値	132				
							%	達成率	110.0				
_	4 70.7~1~10				総合計画		□	目標値	12	12	1:	2 12	2 12
D	1 発行回数	事業晋及6	ため隣保館だより発行回数		総合戦略	12	%	実績値	12				
成果					個別計画総合計画		90	目標値	100. 0	120	120	) 120	120
指標	2 参加者数		足進のため休日開館を含む交流		総合戦略	130	人	実績値	138	120	12	120	120
175	- 9/h-1 W	事業の参加	旧者数		個別計画	100	%	達成率	115. 0				
E	評価対象外の理由 0 評価対	<b>」</b> 対象			10231111					(5	対象外事業	は <b>F~I標</b>	未記入 可)
	·								->	ない (係・)	<b>長</b> )	二次評価	(課長等)
		評	価項目╱5つの視点(1~5点で	評価)					評価	点 評価	点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期	待できる事業内容となっているか	`				→ 4 → 5 なっている		5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うだ		1		→ 3 ·	→ 4 → 5		5 点		5 点			
価	3. 事業計画どおりに事業を進め	めることがて	きたか		で	きなかった	⇒	→ 4 → 5 できた		4 点		4 点	
ш	4. 活動指標の達成状況(率)は	計画どおり推	移しているか			→ 2 - ßしていない		→ 4 → 5 推移した	$\dashv$	5 点	24 点	5 点	24 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は	計画どおり推	移しているか			→ 2 - §していない		→ 4 → 5 推移した		5 点	/25点	5 点	/25点
	G 【担当係長の意見・							職等の所見				た課長職等	
	務所への移転、コロナ禍の影響 いても状況に応じて事業を推進	る。			レス感染症の る人権課題に								

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の過	D進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
仮事務所への移転、コロナ禍の影響で縮小したり実施出来なかった事業 においても状況に応じて事業を推進する。	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、相談事業や交流事業を進めることで顕在化する人権課題に対応できるよう差別のない社会を目指していく必要がある。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

隣保館管理運営事業 計画体系図No.→ ( 378 政 策 V 豊 施 策 6 人		i	細事業	隣任	<b>務</b> 保館運営	<b>事</b>	<b>業</b>	評	価	調	書	課	局名	権・部済	客差別解 進課	<sup>挥</sup>	名	隣(	呆館係
a計画体系図No.→( 378   政 策 V 豊   施 策 6 人	3 ) 豊かな心と学ぶ意				呆館運営	営事業	¥.			I									
政 策 V 豊 施 策 6 人	<b>豊かな心と学ぶ意</b>	賃欲を	苔わす								実施計画	画事業	調査研究	13事業				終了 年度	
施 策 6 人		似と							7.	典系	2.大眠市	人 振 巻	(育・啓列	×   [.	A.T. 0	## <b>*</b>	ال طد د	7 16	小和豆体红
		邗	HDA	6						基本	画信		()	1		年度 主	-	占孙	<b>当初予算額</b> 84
	権が尊重される		+ 今を生	₹現す.	ろ				— 計 画	T -	н н29	+/x		<b> </b>	<b>実費弁償</b>		4		6
後期基本計画	94 P 🗆		計画	П	総合単	比略		コロナ充憲	- I 2		1	年度 ~							22
区州至州山口	71 · L	200	МП		110 H T	~FG				79315				— ⊢		- 曹			3
A 事業目的・内容	・実績	-								— r	B 事業	計画都	・決算器		@ III X 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		ich #R		(単位:千円)
事業の目的と内容	\$	度			主	な活	動実績					事	業費計	国県支	出金				一般財源
的>  短が重要の振過であ	ス隊促結し1									7	R 3計	画	115		86				29
福祉事業の施設であ 福祉のまちづくりの	拠点となるよ	R3	相談(	(388回	1)					Ш	当初予	算	115		86				29
有しに連呂店動に取 や文化・教育及び人	り組む 権に関わる学									Ш	決 算	額	25		14				11
て部洛差別問題をは の解決に取り組む	じめさまさま									71	R 4計	画	115		86				29
		R4								Ш	当初予	算	157		117				40
										Ш	決算	額							
											R 5計	画	115		86				29
		R5								Ш	当初予	算							
											決 算	額							
集を行うとともにあ	らゆる隣保館									Ш	R 6計	画	115		86				29
となる地域の実態把 活の実態を調査し、	握するため地 生活の改善向	R6								Ш	当初予:	算							
及び研究事業調査研	究会3回開催									_	決算	額							
情に応じた実能調査	の実施									Ш	R 7計	画	115		86				29
11.70 0 70 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	, , , , ,	R7								Ш									
										—		_							
					_	_				Ш					430				145
				R	3 ~	R7	合言	it		Ш									69
											決算	額	25		14				11
	A 事業目的・内容 事業の目的と内名  (的) 事業にある。 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 的> 福祉事業の施設である隣保館とし 福祉のまちづくりの拠点となるよ 着した運営活動に取り組む や文化・教育及び人権に関わる学 て部落差別問題をはじめさまざま	本 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容  (的) 福祉事業の施設である隣保館とし 福祉のまちづくりの拠点となるよ 着した運営活動に取り組むりる学 で部落差別問題をはじめさまざま の解決に取り組む  (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	本 事業目的・内容・実績  事業の目的と内容  (あ)  (高社事業の施設である隣保館とし福社のまちづくりの拠点となるよ者した運営活動に取り組むをつくび人権に関わる学での解決に取り組む  (お)  (お)  (お)  (お)  (お)  (お)  (お)  (お	A 事業目的・内容・実績	本 事業 の	本 事業目的・内容・実績     事業の目的と内容	本 事業目的・内容・実績	本	■ 事業の目的と内容	本業目的・内容・実績	A 事業目的・内容・実績         事業の目的と内容       年度       主な活動実績         (的)       福祉事業の施設である隣保館とし福祉のまちづくりの拠点となるよ着した運営活動に取り組む       R3         イ本業日の手の進設である隣保館とし福祉のまちづくりの拠点となるようで文化・教育及び人権に関わる学で部落差別問題をはじめさまざまの解決に取り組む       R4         展4       当初予決算         R4       当初予決算         R5       R6         B 事業の目的と内容       R 3 計画・         A 第2       R 4 計画・         当初予       決算・         B 事業の目的と内容       R 3 計画・         第2       R 4 計画・         当初予       決算・         日本の政組内容(計画) > 次算・       次算・         日本の政権を指面) > 次算・       R 6 計画・         日本の政組内容(計画) > 次算・       次算・         日本の政組内容(計画) > 次算・       次算・         日本の政組内容(計画) > 次算・       次算・         日本の政権に関わるなどの政策に対し、       R 6 計画・         日本の政権に関わるなどの政策に対し、       R 7 計画・         日本の政権に関わるなどの政策に対し、       R 7 計画・         日本の政策に対した。       R 7 計画・         日本の政策に対し、       R 7 計画・         日本の政策に対し、       R 7 計画・         日本の政策に対し、       R 7 計画・         日本の政策に対し、       R 7 計画・         日本の政策に対し、       R 7 計画・         日本の政策に対し、       R 7 計画・         日本の政策に対し、       R 7 計画・	A 事業目的・内容・実績         事業の目的と内容       年度       主な活動実績         事業の目的と内容       年度       主な活動実績         (内) 福祉事業の施設である隣保館とし福祉のまちづくりの拠点となるよ者した運営活動に取り組む       R3         展3       開査研究会 (1回) 相談 (388回)         R4       当初予算 決算額 R 4計画 当初予算 決算額 R 5計画 当初予算 決算額 R 6計画 当初予算 決算額 R 6計画 当初予算 決算額 R 6計画 当初予算 決算額 R 7 計画 当初予算 決算額 R 7 計画 当初予算 決算額 R 7 計画 当初予算 決算額 R 7 計画 当初予算 決算額 R 7 計画 当初予算 決算額 R 7 計画 当初予算 決算額 R 7 計画 当初予算 決算額 R 7 計画 当初予算 決算額 R 7 計画 当初予算 決算額 R 7 計画 当初予算 決算額 R 7 計画 当初予算 決算額 R 7 計画 S 2 計画 M 3 計画額 R 7 計画 M 3 計画額 M 3 計画額 M 3 計画額 M 3 計画額 M 3 計画額 M 3 計画額 M 3 計画額 M 3 計画額 M 3 計画額 M 3 計画 M 3 M 3 M 3 M 3 M 3 M 3 M 3 M 3 M 3 M	A 事業目的・内容・実績         事業の目的と内容       度       主な活動実績       事業費計画額・決算額         節〉 個社事業の施設である隣保館とし福祉のまらづらの拠点となるようとて部落差別問題をはじめさまざまの解決に取り組む       R3       日前後(388回)       R3       日前の予算       日15         内容(計画) 大算額       R4       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業       日前の事業	A 事業目的・内容・実績         事業の目的と内容       度       主な活動実績       事業費計 国現3         簡か 高裕主業の施設である隣保館とし稿とかるようで名落差別問題をはじめさまざまの解決に取り組む・       R3       R3       R3 計画 115 当初予算 115 当初予算 115 当初予算 157 決算額 R4計画 115 当初予算 157 決算額 R4計画 115 当初予算 157 決算額 R5計画 115 当初予算 157 決算額 R5計画 115 当初予算 157 決算額 R6 B7 25 R6計画 115 当初予算 272 当初予算 272 当初予算 決算額 R7 計画 115 当初予算 決算額 R7 計画 115 当初予算 決算額 R7 計画 115 当初予算 決算額 R7 計画 115 当初予算 決算額 B7 計画 115 当初予算 決算額 B7 計画 115 当初予算 272 当初予算 272 当初予算 272	A 事業目的・内容・実績         事業の目的と内容       年度       主な活動実績       事業費計       国県支出金         商ン 福祉事業の施設である隣保館とし 福祉のまどなくりの拠点となるようできで語所がに取り組む。 や文化・教育及び人権に関わる学で窓落差別問題をはじめさまざまの解決に取り組む。       R3       田談 (388回)       R3       R3       R4       日前談 (388回)       R4       R4 計画 115 86       当初予算 157 117       決算額       R4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86       B4 計画 115 86 <td< td=""><td>  本業目的・内容・実権   本業目的・内容・実権   本業   本業   本業   本業   本業   本業   本業   財務   本業   財務   本業   財務   国東支出金   地方債   国東支出金   地方債   国東支出金   地方債   国東支出金   地方債   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日</td><td>  A 事業目的・内容・実績   日本</td><td>  本業目的・内容・実績</td></td<>	本業目的・内容・実権   本業目的・内容・実権   本業   本業   本業   本業   本業   本業   本業   財務   本業   財務   本業   財務   国東支出金   地方債   国東支出金   地方債   国東支出金   地方債   国東支出金   地方債   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	A 事業目的・内容・実績   日本	本業目的・内容・実績

	$\setminus$	評価指標名	指標他の説明(昇田万広寺)	台市	T凹拍標	R2美額個	中四	莲队及	หง	K4	ся	ΚO	R/
			カンション・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン		総合戦略		口	目標値	2	2	2	2	2
٥	)	1 開催回数	社会調査及び研究事業調査研究会の開催 回数		個別計画	2		実績値	1				
汨					旧加高阳		%	達成率	50.0				
重排	边台				総合戦略		口	目標値	480	480	480	480	480
桿		2 相談件数	来館・訪問等による受付件数		個別計画	480	Ш	実績値	388				
					旭加司巴		%	達成率	80.8				
					総合計画		I	目標値	1,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	>	1 利用者延べ人数	人権啓発の拠点活動利用者数(令和7年 度)		総合戦略		人	実績値	1,068				
月			~		個別計画		%	達成率	106.8				
男 指	見旨				総合計画		ī	目標値	600	600	600	600	600
桿		2 相談件数	定期訪問活動回数		総合戦略		旦	実績値	653				
					個別計画		%	達成率	108.8				
_													

 E
 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I 欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \hline retarrow center & \hline \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	22 点	3 点	22点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	5 点	∕25点	5 点	∕25点

## G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

調査研究会を1回実施した。今後も資料の収集などに時間を要することが別込まれる。 相談事業については、2年度は給付金申請に関する相談が多かったが、3年度は健康相談が 7割を占めている。単身高齢者などへの重点的な訪問をするなど、今後も地域の状況を把 握し、適確な支援に繋げていくことが必要と考えられる。

相談事業や調査研究事業は、隣保館事業の軸となるものであり本事業の必要性は非常に高い。実態調査については地域と協議しながら実施に向けて取り組む必要がある。

# I 令和 5 年度の事業の方向性

	事業番号 48001	<b>枝番</b>				3 年度 [ 3 年度 ]		-		計画実務事			事(兼 評	進	捗管 調		) <del>=</del>	課局名	人権		差別解消	肖推   係	夕	15% A	(様式 1) 
						) 十段。	<del></del>		<del>-</del>	-			at	Т			_			進		in.	П	終了	,
事		隣保館管 計画体系図					i	細事業	隣保	· と館運営事	業				O. P.	実施	計画	事業 ふれ	あい教	收室事業	<b></b>			年度	
会計		政	śjNü.→ 策			心と学ぶ	意欲を	育むま	ち					個	豊後	大野	市人	権教育・	啓発	令	和 3 :	年度 主な	歳出	名称	当初予算額
款	3	施	策	6 人	権尊重	重社会の実	現							別				(定版) F度 ~	年	度講	師謝礼金	Ž			180
項	1	施策原	展開	①人:	権が尊	9重される	地域社	土会を第	<b></b> 現する	3				計画						消	耗品費				51
目	5	後期	基本	計画	94	P _	過政	計画		総合戦略			ナ充当	名	期間		ź	F度 ~	年	度通	信運搬費	ř .			40
決算		A 事業	目的	・ 内容	・実	養										в	集計	・画額・決	算額等	É	動車等借	<b>手上料</b>			77
		事業の	目的	と内容	容		年度			主なえ	舌動実績	ŧ					_	事業費	計	国県支出	H:œ	財源 地方債		の他	単位:千円) 一般財源
(2)	事業の目的 種社会福	<b>的&gt;</b>	の描言	ひでお	、スぱん	兄館 レー		・ふれ	あい教	室事業	(4教室3	2回	210人)		٦ŀ	R 3	計画	;	377		283	-077 54			94
て、	人権・福 は域に密着	晶祉のま	ちづく	くりの	)拠点。	となるよ	R3								Ш	当初	予算	:	377		283				94
相	談事業や	文化・	教育』	及び人	権に	関わる学										決爭	額	4	258		16				242
	権課題の														Ш	R 4	計画	:	377		283				94
							R4								- 11	当初		;	384		288				96
															-11	決 9									
							R5								- 11	R 5 当初		;	377		283				94
<	令和3年	度の取組	日内容	: (計画	īi) >		ΝĐ								- 11	ョが 決									
各種	体験活動					売の促進									-11	R 6			377		283				94
	れあい教				東北岩	₩· <del>/~</del>	R6								- 11	当初									
	理教室・編み教室					y至 崔予定										決 舅	1 額								
															1[	R 7	計画		377		283				94
							R7									当初	予算								
																決り									
									Б.0		7 ^	<b>=</b> 1			- 11		朝マケ	-,	885		415				470
									R3	~ R	/ 合	āΤ			- 11	当初決り		1	761 258		571 16				190 242
	ı	評価打	旨標名			指	標値の	説明(:	算出方法	法等)		各計	画指標	TR 2	2 実績	値単	1位	達成度	R	3	R4	R5		R6	R7
												_	総合戦	1		T.		目標値		40		40	40	4	-
С	1 開催回	回数				ふれあい	教室の	開催回	数			_	個別計		3	33	□	実績値		32					
活動													四刀打口			_	%	達成率		80.0					
指	2	<b>y</b> 161.				ふれあい	₩e÷ a		***				総合戦闘	略	9.0	50	人	目標値 実績値		230	23	30	230	230	230
標	2参加者	1 数				~>4000V	<b>教主</b> り	沙加石	奴				個別計i	画	21	-	%	達成率		210 91. 3					
													総合計i	画		İ	ı	目標値		230	2	30	230	23	230
D	1 参加者	<b>皆数</b>				ふれあい	教室の	参加者	数(令	和7年度	:) [		総合戦闘	咯	25	50	^_	実績値		210					
成果												_	個別計i	_		4	%	達成率		91.3					
指	2 アンケ	1 6t-	Ħ			アンケー	ト調査	から習	熟度、	満足度の	割し	_	総合計画				% -	目標値 実績値		70 70		70	70	70	70
保		/ <b>一</b> 下桁:	未			合							総合戦略個別計画			H	%	達成率	1	00.0			-		
E	評価対	象外の理	曲	0 評	平価対	<del></del> 象							ш233411									(対象外導	業は	F~I標	
								1/50	の担占	(1~5	占で証は	F.)								一次	評価(	孫長)	=	次評価	(課長等)
	1 ==	2 満 兄 / =	± E ¬	7 \ , / <del>-</del>	_ k)	の向上が						u /	Т					→ 4 →		評価。	点	価点合計	ā	平価点	評価点合計
F 評						(同じ成績					- W N,			1 -	→ 2	$\rightarrow$	3 -	なってい. → 4 →	5		点点		<u> </u>	5点	
"						ることが										$\rightarrow$	3 -	優先度高 ◆ 4 → できた	5		点			4点	
価	4. 活動	1指煙のご	幸成州	空(落	z) /+ ≘+	画どおりま	住秘	ているも	is.									• 4 →		1	点	99 -		4点	99 🛌

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 コロナ禍の影響で予定通りに実施できなかったが、継続して参加する方が多かった。参加者を対象に実施した人権学習では意識の高さを確認できた。今後も人権啓発及び交流の推進のため、参加者の要望にも対応しながら事業を継続する。  H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、隣保館設置目的を踏まえ人権啓発と交流促進事業の推進が必要である。	Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点4点	22 点 /25点	4点 4点	<sup>22</sup> 点 /25点
	コロ者を			犬況を考慮し			

I 令和5年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

	事業番号	<b>枝番</b>	( 令和 (令和								計画業	i書(兼 評 (	進抽	步管 調	理) 書	<b>:</b> [	課局名	人権・部	『落差』 作課	]解消扌	態 係名	<u>,                                    </u>	隣保	(様式1)
事	業	<b>华</b> 保館管理	里運営事業				細	事業	隣保飢	官運営事業				95	実施計画	画事	業出前隣	保館事	10.10				終了年度	なし
	総合計	·画体系図M	o.→ ( 378 )	)		 																		· ·
会計	一般	政	<b>策</b> V 豊か	な心	と学る	意欲	を育	むまち	5					基本	計画(	(改定		発	令和	3 年	隻 主な崩	出名	称	当初予算額
款	3		<b>策</b> 6 人権										別計	期間	H29	年度	₹ ~	年度	講師謝	礼金				178
項	1	施策展			_								画名						実費弁					25
目	5	後期基	本計画 9	4 P	L	過	疎計	画		総合戦略	Ш	コロナ充当		期間		年度	₹ ~	年度	消耗品					16
決算	55	事業目	的・内容・	実績											3 事業	計画	画額・決算	額等	通信運	搬費				6
		事業の目	的と内容			年				主な活動	加実績						事業費計				財源内			単位:千円)
/1	事業の目的					度	_	1 治療	口給市出			隣保館7回、	$\triangle$	┩┝		$\downarrow$		国県	支出金	地	方債	そ(	の他	一般財源
第2	種社会福	祉事業の	施設である づくりの拠				戸			と (2地区1 上べ138人)	0凹,	姓  木昭(巴、	. "□"	Ⅱ⊢	R 3計i		22		169					56
う地	域に密着	した運営	活動に取り	組む		110	3								当初予		22	-	169	1				56
習会	砂事業や	又化・教部落差別	育及び人権 問題をはじ	に関す	ける子まざま	·	-							4 F	夬 算 {		14	-	9					132
な人	.権課題の	解決に取	り組む			D.4	.							Ⅱ⊢	R 4計i		22	-	169	1				56
						R4	٠							11	当初予		22	0	165					55
						_	-							⊣H	ス 男 i R 5 計i		0.0	-	1.00					FC
						R5								Ⅱ⊢	当初予1	-	22	Б	169					56
/	会和2年₹	まの形 組に	内容(計画))			Nε	<b>'</b>							ПΕ	ョ が ア : 央 算 :									
			、軽スポー		通して	-								4 F	スチョ R 6計i		22	-	169					56
高齢交流	者の健康を図るこ	保持や人 とを目的	権意識の高 とし開催	揚及で	が住民	R6	,							Ⅱ⊢	当初予算			5	109					50
民間施	保健師に	よる健康	相談、血圧	測定等	等を実	· ·	<b>'</b>							Ⅱ⊢	夬 算 名									
• 出	前隣保館		集会所)、	まちた	よかサ	-								-11-	ス <u>チ</u> 1 R 7 計i		22	-	169					56
5	月から1		予定			R7	,							Ⅱ⊢	当初予算	=	22	0	109					50
9	同交流会 月29日	開催予定				11.7								Ⅱ⊢	夬 算 4									
						$\vdash$								-1 -	计画		1, 12	5	845					280
									<b>R</b> 3	~ R7	수 1	<b>:</b> +		Η	当初予算		44	-	334					111
									100	107	ц :	"		▮⊢	夬 算 4	-+	14	-	9					132
														ا لـ	л <del>л</del> 1	MPR.	11	<u> </u>		<u> </u>				102
		評価指	票名	$\top$	ŧ	旨標値	の説	明(算	[出方法:	等)	各	·計画指標	R 2	実績	値 単位	i	達成度	R3		R4	R5		R6	R7
				$\top$							T	総合戦略				+	目標値		27	27		27	27	
С	1 開催回	数				呆館、 7 年度		なか	サロンの	)開催回数	_			2	7 回	3	実績値		24					
活動					( 14 / H	· 17/2	./					個別計画	1		%	ì	達成率	88.	9					
動指												総合戦略	Š				目標値							
	2 —											個別計画	ū				実績値							
				_							<u> </u>				%	+-	達成率							ļ
		161		Щ	前迷想	早館	すた	ナンカンチ	ナロン参	⋧加者数(		総合計画			□	_	目標値		27	27		27	27	27
ן ט	1 参加者	数		二円	コリタギン	では、	ょり	1.411.	, - / 9	加口奴(	1 1	総合戦略	5		1 –	1 3	実績値		24		l			1

	計逥拍係右	拍标順の説明(昇山万広寺)	谷計画指標	RZ美粮胆	中世	连队及	КS	Ν4	кə	ΝO	K/
			総合戦略		口	目標値	27	27	27	27	27
С	1 開催回数	出前隣保館、まちなかサロンの開催回数 (令和7年度)	□ 個別計画	27	Щ	実績値	24				
活					%	達成率	88. 9				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		ы	目標値	27	27	27	27	27
D	1 参加者数	出前隣保館、まちなかサロン参加者数( 令和7年度)	□ 総合戦略		口	実績値	24				
成		17 T T (Z)	□ 個別計画		%	達成率	88. 9				
果指			□ 総合計画		%	目標値	80	80	80	80	80
標	2 アンケート結果	アンケート調査から習熟度、満足度の割合	□ 総合戦略		%	実績値	80				
			□ 個別計画		%	達成率	100. 0				
Е	評価対象外の理由 0評価対	· *\$					<u> </u>	(対	対象外事業は	t F~I欄未	記入 可)
	- H1 (Jenz 4)										

_						
	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/500機点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
	F 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 1. ない	1 → 2 → 3 → 4 → 5 つていない ⇒ なっている	5 点		5 点	
	記事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)     コー優	1 → 2 → 3 → 4 → 5 憂先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 1で:	1 → 2 → 3 → 4 → 5 きなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4 活動均煙の達成状況(家)け計画どおり堆移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 BUTいない ⇒ 推移した	4 点	22 点	4 点	22 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか ##3	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ ターファングロー 単独した	4 点	∕25点	4 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ福の影響で予定どおりの実施が出来なかったが、今後も相談事業や文化・教育及び人権に関わる学習会など参加者に密着した内容で事業を継続する。	高齢者の人権意識の高揚や住民交流を図るため地域のニーズを適確に把握し効果的な事業推進を進める必要がある。

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

4	業番号	枝番		(令	和:	3 4	年度	ΕĪ	十画	· )	紁	合!	計画	事	施計	画	書(	兼治	€捗	管	理)									(:	様式 1 )
	48001	5			和(						事		··· 務	事		集	評	価		調	書	課月	司名 /	権・音	『落差 進課		推	係名	隣	保負	 官係
事	業	<b>华</b> 保館管	理運′	営事	業					細事	業	隣保	<b>R館</b> 道	重営事	業					J	₹施計画	事業	フィー	ルドワ	ーク	事業	•			了度	なし
A =1		画体系図					1 224	>> +	. n	<b>→</b> -1	ىد بد	ı							ш	144	大野市人	佐紗	- 去。改	菜菜	۸ ۲۰			- 4- 45 · I		I	
会計款	一般				<b>豊かな</b>					育む	まり								固 基	本	計画(改	定版	)	年度		謝礼金		主な歳出	i名称	=	初予算額
項	3	施策展			権尊 権が尊	_		_		44	と宝玉	日十二	Z.					<del>-</del>   i	it	jiej	H29 4	年度 ~		牛皮		運搬費					1
目	5	後期			94		. 0 4 1	/つ. コ		北云で		7£9 4		<b>今戦略</b>		1 -	ロナ充	<b>⊣</b> 13	画名 #	間	4	年度 ~	,	年度	- '	<b>準</b> 恢复 等委託	松				3
決算	55	区7012	<b>坐</b> 本日	пш	94		l	_	No h	KII	'	<u> </u>	WO E	1 +X #1		_	1H / /L:	il L	79.	) lej				7.00	燃料		1-1				
775		<b>事業目</b>	的•	内容	・実	橨														E	3 事業計	画額	・決算	領等	KNAT	<u> </u>		VE =-		( ) ) (	
		事業の	目的と	ヒ内위	\$				年度					主なえ	舌動実	績						事	業費計	国阜	支出	全 ·	知 地方信	源内訳	その他	_	位:千円〕 −般財源
<1	業の目的	)>	4 on +6	-=n	: + 7	DAR 10	1 &+ 1		-					ーク研	修「	むら	を歩い	て」	(1	F	33計画	i	113	+		39	ין ניכים.	~	60	+-	1
して	2種社会 、人権・	福祉のま	ミちつ	うく り	の拠	点と	こなる	5	R3			ヾ138, -ルト		ーク研	修講	師団	会議	(4回)		⊩	当初予算		113			39			60	-	1
相	地域に密談事業や	文化・参	女育及	び人	権に	関れ	つる言	ź												ž	央 算 額	į	27	,		8					1
	を通じて 権課題の				にじめ	さす	₹ <b>2</b> 5	Ė											$\neg$	ī	₹4計画	i	113	3		39			60	)	1
									R4											ì	当初予算		193	3	Ç	91			48	3	5
																				ž	央 算 額	į									
																				F	₹5計画	i	113	3	;	39			60	)	1
									R5											ì	当初予算	:									
	令和3年原																			ž	夬 算 額	į									
	差別問題 めるため																			F	₹6計画	i	113	3		39			60	)	1
を行									R6											È	当初予算										
開催	ィールド																			ž	央 算 額	į									
• 隣	保館主催 0月14	人権講座	の開	催																F	マフ計画	İ	113	3	:	39			60	)	1
1	0714	н, 2л	113	μ⊿	凹川川	IE J	Æ		R7											Ì	当初予算	:									
																				ž	央 算 額	į									
																				Ī	計画 額	į	565	5	19	95			300	)	7
												R3	} ~	R	7 合	Ē	t			Ì	当初予算		306	-	13	-			108	3	6
																				ž	央 算 額	į	27	7		8					1
																						•		•		1		•		•	
		評価指	標名					指相	票値の	説明	(算	出方	法等	)		各	計画指	票	₹2実	<b>溪積</b>	直単位	達成	度	R3		R4		R5	R6		R7
		-								2	r 44		14	# 1 5	3 /W		総合	戦略			□	目標	値	1	0	2	0	20		20	2
С	1 開催回	数				フ回	ィー 数	ル	ドワー	ーク句	†修及	とび丿	\権i	<b>構座</b> 開	僧催	П	個別			2	7	実績	-	1	2						
活																					%	達成	率	120.	0						

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	10	20	20	20	20
С	1 開催回数	フィールドワーク研修及び人権講座開催 回数	個別計画	27	ī	実績値	12				
活					%	達成率	120.0				
動指		A SVETT A SVETT	│ │ 総合戦略		回	目標値	3	3	3	3	3
標	2 開催回数	フィールドワーク研修講師団会議開催回数	個別計画	3	Ш	実績値	4				
					%	達成率	133. 3				
			□ 総合計画		回	目標値	10	20	20	20	20
D	1 開催回数	フィールドワーク研修及び人権講座開催 回数	□ 総合戦略		亘	実績値	12				
成			□ 個別計画		%	達成率	120.0				
果指		フィールドワーク研修及び人権講座アン	□ 総合計画		%	目標値	80	80	80	80	80
	2 アンケート結果	フィールドワーク研修及び人権講座アンケート結果で理解が深まった割合	□ 総合戦略		%	実績値	80				
		(令和7年度末)	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
E	評価対象外の理由 0評価対						•	( <del>*</del>	対象外事業(	<b>↓F~Ⅰ欄</b> 未	記入 可)

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 5点  $\begin{array}{cccc}
\hline
c v & 5 & 5 \\
\hline
c v & 5 & 5 \\
\hline
c & 2 & 3 & 4 & 5
\end{array}$ なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 5点 5 点 評 優先度低い 優先度高い  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ できなかった ⇒ できた  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 23 点 5点 23 点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 /25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 コロナ禍の影響及び地域との調整のため、フィールドワーク研修が実施できない期間があった。 今後の事業継続に向けては、地域の理解を進め、フィールドワーク講師団との協議のうえ 内容の見直しも検討しながら取り組む。 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

地域内の現地研修には地域の理解と協力が必要である。内容について見直しを含め検討するとともにフィールドワーク研修講師団と協議しながら慎重に進めていくことが必要である。

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

 $\Rightarrow$ 

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 人権・部落差別解消推 進課 隣保館係 (令和 3年度決算) 事 係名 48002 1 務 価 事 業 隣保館管理運営事業 細事業 隣保館管理事業 実施計画事業 隣保館管理事業 なし 総合計画体系図No.→ 豊後大野市人権教育・啓発 基本計画(改定版) 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 H29 年度 ~ 修繕料 3 6 人権尊重社会の実現 年度 100 項 ①人権が尊重される地域社会を実現する 1 施策展開 隣保館施設管理委託料 724 名 5 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 94 P 過疎計画 総合戦略 200 決算 55 自家用電気工作物保安管理委託料 159 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 第2種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む隣保館の維持及び修繕を実施し建物の管理に関する業務や貸館を行う 隣保館解体工事に伴い令和3年9月1日から 1, 235 R 3 計画 75 1,040 反事務所へ移転 ・施設警備委託 R3 当初予算 75 1,040 1. 235 120 決 算 額 441 35 401 R 4 計画 1, 235 75 1, 160 R4 当初予算 282 75 207 決 算 額 R 5 計画 1,235 75 30 1, 130 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 隣保館解体工事に伴い令和3年9月1日から 仮事務所へ移転予定のため効率的な移転対策 R6計画 1,235 75 30 1, 130 R6 当初予算 を行う 移転後、貸館事業は一時中止となるが、よ りきめ細かな人権啓発、交流機会の推進を図 決 算 額 る ・施設管理及び修繕 R 7計画 1, 235 75 30 1, 130 ・施設管理委託 R7 当初予算 決 算 額 計画額 6, 175 375 210 5, 590 1,517 150 当初予算 R3 ~ R7 合 計 120 1,247 決 算 額 441 35 5 401

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		館	目標値	1	1	1	1	1
С	1 人権啓発、交流機会の推進	隣保館数	個別計画	1	民日	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略		Y	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
標	2 人権啓発、交流機会の推進	利用者数	□ 個別計画	5, 270	入	実績値	1,068				
					%	達成率	106.8				
			□ 総合計画		館	目標値	1	1	1	1	1
D	1 人権啓発、交流機会の推進	隣保館数	□ 総合戦略		日	実績値	1				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画		ı	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
標	2 人権啓発、交流機会の推進	利用者数	□ 総合戦略		人	実績値	1,068				
			□ 個別計画		%	達成率	106.8				

E 評価対象外の理由 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価 (係長)		二次評価 (課長等)	
			評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	25 点	5点	<sup>25</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	/25点	5 点	∕25点

I 令和5年度の事業の方向性

➡ B. 見直しの上で継続-4 縮小

•	枝番(令	和3年度	計 画	) 総合計画実施	<b>拖計画書</b> (兼	進捗	管理)	) _	,	. 16.		francis ( f. 1		1	(様式1)
48003	1 (令	和 3 年度 2	夬 算	)事務事	業が評し	西言	周 :		課局名	人権・音	『落差別』 進課	解消推	係名	隣	保館係
事業	<b>磷保館管理運営事</b>	業	i	<b>細事業</b> 隣保館改修事	業		実施記	十画事	業隣保館	改修事	業			終 <sup>-</sup> 年月	
総合計 一般	+画体系図No.→ ( 379	9 ) 豊かな心と学ぶ意	音欲を	査むまち		豊	後大野	市人村	を 教育・啓	:発	今和 3	1 年度	主な歳と	H.名称	当初予算額
款 3		権尊重社会の実		1, 3 0, 3		別期	本計画 間 H2:	(改知 Di 年B	定版) ₹ ~	年度	隣保館角				75, 00
項 1		権が尊重される	_	t会を実現する		計 画	112	,			隣保館角	<b>F</b> 体工事	設計委計		3, 00
<b>a</b> 5	後期基本計画	94 P 🗌	過疎	計画 総合戦略	コロナ充当	名期	間	年月	₹ ~	年度	測量調面	至委託料			1, 69
等 55											隣保館	反事務所	改修工事	菲負費	1, 30
	4 事業目的・内容	・実績	年				B #	栗計画	画額・決算				財源内部	7	(単位:千円)
	事業の目的と内容	\$	度	主な活	動実績				事業費計	国県	支出金	<i></i>		<u>、</u> その他	一般財源
<b>&lt;事業の目的</b> 3年社会福	<b>内&gt;</b> 5祉事業の施設であ	ス隣保館とし		<ul><li>解体工事設計委託</li><li>解体工事請負費</li></ul>			R 3	計画	81, 52	5	678	73	, 400		7, 44
<ol> <li>人権・福</li> </ol>	音祉のまちづくりの 音した運営活動に取	拠点となるよ	R3	・仮事務所改修工事請	負費		当初 <sup>:</sup>	予算	81, 52	5	678	73	, 400		7, 44
地域に名有 保館はコミ	ロに埋呂信動に取 コニテイセンター 158年に開設され	・を併設した施					決 算	額	31, 49	0		27	, 000		4, 49
老朽化に伴	纟い、解体工事を施	í江し、令和4					R 4	計画							
	『建築 〕推進と利用者の処	遇の向上を図	R4				当初 <sup>:</sup>	予算							
0							決 第	額							
							R 5	計画							
			R5				当初 <sup>:</sup>	予算							
	度の取組内容(計画						決 算	額							
工事を行う	伴う建物等解体工	事設計及び解					R 6	計画							
保館解体工 保館仮事務	[事 [所改修工事		R6				当初 <sup>:</sup>	予算							
保館解体工   量調査委託	事設計委託						決算	額							
,,	-						R 7	計画							
			R7				当初 <sup>-</sup>	予算							
							決算	額							
							計画	i額	81, 52	5	678	73	, 400		7, 44
				R3 ~ R7	合 計		当初 <sup>-</sup>		81, 52		678	73	, 400		7, 44
							決算	. 額	31, 49	0		27	,000		4, 49
	評価指標名	指	票値の	説明(算出方法等)	各計画指標	R 2 実	績値 単	位:	達成度	R3	R	4	R5	R6	R7
					□ 総合戦略	i	li li	1	目標値		2	2			
	· 開催回数	隣保館運	営審議	会の開催回数	個別計画	l	2		実績値		2				
C 1 審議会	MIE MAN						9	_	達成率	100.	_				
舌	()/IIEC 9A								目標値		3	3			
舌				Life and a man high	□ 総合戦略	i		<b>□</b>							
H HX		関係機関	等との	協議回数	<ul><li>○ 総合戦略</li><li>○ 個別計画</li></ul>		6	1	実績値						
舌		関係機関	等との	協議回数	□ 個別計画	i	6 9	6	実績値			1			
舌動	]数				個別計画	i	6 9	可 6 事	実績値 達成率 目標値		1	1			
5	]数	関係機関生工程表の近			□ 個別計画	i	6	可 6 事 業	実績値		1 1	1			
1 進捗状	]数				□ 個別計画 総合計画 総合戦略	i	6	事	実績値 達成率 目標値 実績値		1 1	1			
1 進捗状 d. d. d. d. d. d. d. d. d. d. d. d. d.	]数				個別計画 総合計画 総合戦略		6	6 事 6	実績値 達成率 目標値 実績値 達成率		1 1	1			

	評価対象外の理由   0 評価対象			(刈豕外事	. 耒 は F ~ 1 個	木記入 可)
	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/5つの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
ТШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	19 点	3 点	19 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

					•		
	G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	н	【担当課長職等の所見】	※評価・	・改善策等を踏ま	えた課長職等	の所見
ず、	工事については、作業工程の変更などがあったため、3年度中に終了することが出来 4年度への繰越しとなった。仮事務所への移転については、令和3年9月より業務を行 とが出来た。	、作業工程	半う工事等は計画どお 程等変更に伴い3年度中 で4年度中に完了するよ	には完了	せず繰越事業と	ヾ、解体工事( なる。解体Ⅱ	こついては 事から建

I 令和 5 年度の事業の方向性

C.終了

1 隣保館管理道	(令和(	3 年度			事		3 <b>~</b> "		画書 (			生/		1.46: -	· # 头 n i i	444 MC 173	-		
隣保館管理道	<b>業</b>					務	事	業	評	価	調	書	課局名	人権・台	『落差別》 進課	<sup>鲜消雅</sup> 係	名	隣保:	館係
	重営事業		i	細事第	<b>業</b> 隊	华保館	建設事業	業			PIN T	実施計画	事業 隣保館	自建設事	業			終了 年度	R4
計画体系図No		3 1 3% 5%	* N .	1. ·	1. 1.						曲丝	十賦去!	<b>佐粉</b> 杏.i	i4 4%	A == 0		15.11.5.71		
				育む	まり					個別	基本	計画(改	(定版)				成出名称	=	当初予算額 11,33
	, .,,			十今を	全現っ	ナス				- 計	刑间	H29 *	F度 ~	平及					2, 33
-					Г		<b>含戦略</b>	П	コロナ充	-   Z	期間	4	<b></b>	年度	20 M Mil 王	1. A. 17. D. 11. T. 1			2,00
		積	任								7 5	3 事業計 〜				財源	内訳	(単	益位:千円)
事業の目的	りと内容		度				主な活	動実績	ŧ				事業費詞	国県	支出金	地方債			一般財源
				工事	設計委	託					70	R 3計画	13, 6	69		10, 700	)		2, 96
冨祉のまちづ 昏した運営活	くりの拠点 動に取り組	となるよ む。	R3								3	当初予算	13, 6	69		10, 700	)		2, 96
ミュニテイセ	ンターを併	設した施									ž	夬 算 額	5, 2	23		5,000	)		22
半い、解体工	事を施工し	、令和4										R 4 計画	155, 0	00	73, 125	77, 700	)		4, 17
り推進と利用	者の処遇の	向上を図	R4								- 1 ⊩			23	73, 125	72, 800	3,0	00	14, 89
											<b>⊣</b> ⊢		-					_	
			חר								I⊩								
中の取組 中の	カ/弘南) へ		Кb								- 1 ⊩								
		地質調査									-11-							-	
			R6								- 1 ⊩								
											- 1 ⊩								
											4 F							+	
			R7									当初予算							
											;	夬 算 額							
											1	計画額	168, 6	69	73, 125	88, 400	)		7, 14
					F	₹3 ~	- R7	合	計		i	当初予算	177, 4	92	73, 125	83, 500	3,0	00	17, 86
											3	夬 算 額	5, 2	23		5, 000	)		22
	施策 開 本	施策 第 6 人権尊 施策展開 ①人権が1 後期基本計画 94 本 事業目的・内容・実事業の目的と内容的品社事業の施設でのの取りを活動した三58年に開発した三58年に用するを施工した。日58年に出するを施工した。日58年といれば、194年といる。日58年に出する。日本のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	施策 6 人権尊重社会の実施策展開 ①人権が尊重される後期基本計画 94 P □ 本事業目的・内容・実績事業の目的と内容的とはである隣保館としる話した運営活動がに取りが組む。 は、ユニティとは、カース・大田では、大阪解体工事を施工し、令和4 直建築の推進と利用者の処遇の向上を図	施策展開 ①人権尊重社会の実現 施策展開 ①人権が尊重される地域が後期基本計画 94 P □ 過過 本事業目的・内容・実績 事業の目的と内容	施策展開 ①人権が尊重される地域社会を 後期基本計画 94 P □ 過疎計画	施策展開 ①人権が尊重される地域社会を実現で 後期基本計画 94 P □ 過疎計画 □ A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 度	施策展開 ①人権が尊重される地域社会を実現する 後期基本計画 94 P □ 過疎計画 □ 総名  本事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 度  本事業の施設である隣保館とし 品社のまちづくりの拠点となるよ 含した運営活動に取り組む。 ミュニテイセンターを併設した施 によい、解体工事を施工し、令和4 自建築 の推進と利用者の処遇の向上を図  たり実施設計委託及び地質調査  R6  R7	施策展開 ①人権が尊重される地域社会を実現する 後期基本計画 94 P □ 過疎計画 □ 総合戦略  A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 度 まな活動に取った内容・実績 事業の施設である隣保館とし 語社事業の施設である隣保館とし 語社のまちづくりの拠点となるよ 言した運営活動に取り組む。 ミュニテイセンターを併設した施 によい、解体工事を施工し、令和4 自建築 の推進と利用者の処遇の向上を図  R4  R5  度の取組内容(計画)>  C件う実施設計委託及び地質調査  R6	施策展開 ①人権が尊重される地域社会を実現する 後期基本計画 94 P □ 過疎計画 □ 総合戦略 □  A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 年度 まな活動実績 事業の施設である隣保館とし 語社事業の施設である隣保館とし 語社のまちづくりの拠点となるよ 言した運管活動に取り組む。 にユニテイセンターを併設した施 によい、解体工事を施工し、令和4 自建築 の推進と利用者の処遇の向上を図 R4  R5  度の取組内容(計画)>  C件う実施設計委託及び地質調査 R6	施策展開 ①人権が尊重される地域社会を実現する 後期基本計画 94 P □ 過疎計画 □ 総合戦略 □ □□ 3□→充  本 事業目的・内容・実績  事業の目的と内容	施策展開 ①人権が尊重される地域社会を実現する 後期基本計画 94 P □ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当  A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容	施策 6 人権尊重社会の実現     施策展開 ①人権が尊重される地域社会を実現する     後期基本計画 94 P ② 過疎計画 ② 総合戦略 ② コロナ充当 図 期間	施策展開 ①人権が尊重される地域社会を実現する 後期基本計画 94 P □ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当  A 事業目的・内容・実権 事業の目的と内容 度 主な活動実績  事業の目的と内容 度 主な活動実績  おショニティセンターを併設した施品とものまたいの拠点となるよど、コニティセンターを併設した施品を発展に開設され活用してきたとい、解体工事を施工し、令和4 自建築の推進と利用者の処遇の向上を図  R4  R5  R6  R7  R7  R3 ~ R7 合 計  ■ 描述予算 決算額 R7  R3 ~ R7 合 計  ■ 描述予算 決算額 R7  R3 ~ R7 合 計  ■ 初予算 決算額 R7  R3 ~ R7 合 計	施策展開 ①人権が尊重される地域社会を実現する   後期基本計画 ② A 事業目的・内容・実績   事業の目的と内容   年度   主な活動実績   事業費品   日本業計画 ② A 事業目的・内容・実績   事業の目的と内容   年度   主な活動実績   事業費品   日本業計画 ② A 事業目的・内容・実績   事業費品   日本業計画 ② A 事業目的・内容・実績   事業費品   日本業計画 ② A 事業目的・内容・実績   事業費品   日本業計画 ② A 事業目的・内容・実績   事業費品   日本業計画 ② A 事業目的・内容・実績   事業費品   日本業計画 ② A 事業目的・内容・実績   事業費品   日本業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ② A P 事業計画 ③ A P 事業計画 ③ A P 事業計画 ③ A P 事業計画 ③ A P P 事業計画 ③ A P P 事業計画 ③ A P P 事業計画 ③ A P P 事業計画 ③ A P P 事業計画 ③ A P P 事業計画 ③ A P P 事業計画 ③ A P P 事業計画 ③ A P P P 事業計画 ③ A P P P 事業計画 ③ A P P P 事業計画 ③ A P P P 事業計画 ③ A P P P 事業計画 ③ A P P P 事業計画 ③ A P P P 事業計画 ③ A P P P P P P P P P P P P P P P P P P	施 策 6 人権尊重社会の実現	施 策 6 人権尊重社会の実現	施策展   6 人権導重社会の実現	施策展開   ①人権が奪重される地域社会を実現する   接頭基本計画   総合戦略   □ロナ充当   機構   H29   年度   東京日的と内容   東京日的と内容   東京日的と内容   東京日的と内容   東京日的と内容   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなるように選引活動に取り組むた。   第8   第8   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなるように選引活動に取り組むた。   第9   第8   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなるように対しています。   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなる   東京日からなどの   東京日からなどの   東京日からなどの   東京日からなどの   東京日本の大田の本の大田の本の大田の本の大田の本の大田の本の大田の本の大田の本の大田	施 策 6 人権尊重社会の実現

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	3	3			
С	1 協議回数	関係機関等との協議回数	□ 個別計画		IJ	実績値	2				
活					%	達成率	66. 7				
活動指標			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		事	目標値	1	1			
D	1 進捗状況	工程表の進捗度	□ 総合戦略		業	実績値	1				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対							<b>(</b> †	対象外事業に	ま <b>F~I欄</b> #	F記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの発点(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_0 \leftarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 $	5 点		5 点	
==	   2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	r #		5点	-
評	2. 争未の後元及は向いとぶりが(同し成米相係改定争未内での後元及)	優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 H	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & resu$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	20 点	3 点	20点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 #辞していない ⇒ #辞した	3点	/25点	3 点	/25点

						雅物しているい	. –	性物した				1
	•											
	G	【担当係長の意見	見・課題・改善策等】	※今後の事業の進め方等		H 【担	3当課長耶	戦等の所見】	※評価・改	善策等を踏ま	えた課長職等	₹の所見
10V	審議会におては、反映	いても説明を行ってきるよう今後も	った。そのなかで出る 協議を行う。	・野支部に事業の説明を行いれた意見の中で対応が可能 これた意見の中で対応が可能 こできるよう事務を進める。	なものに	補助金事業末完成、令系必要がある。		ため県と協議 6初より新隣(				令和4年度 終を進める

I 令和 5 年度の事業の方向性

**☆** C.終 了

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 (令和 3 年度決算) 事 課局名 いきいき高齢者係 50001 1 務 価 高齢者福祉課 係名 事 業 細事業 はり、きゅう治療費助成金 実施計画事業 はり、きゅう治療費助成事業 老人福祉総務事業 なし 総合計画体系図No.→( 144 老人福祉計画及び第8期介護 保険事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 R3 款 施 策 はり、きゅう治療費助成金 3 4 高齢者福祉の充実 年度 ~ 年度 3, 200 R5 項 2 施策展開 ②介護予防・地域包括ケアを充実する 印刷製本費 33 名 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 44 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 通信運搬費 決算 57 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> はり、きゅう、マッサージの施設を利用する 者の経費を助成することにより、健康保持と 福祉増進に寄与する。 70歳以上高齢者数は、令和4年3月末現在で12, 233人であり、うち7.0%に当たる857人が、は り・きゅう治療費助成金を利用した。利用者 一人当たりの利用回数は、3.2回(2,770回÷85 7人734を R 3 計画 3, 239 2,448 R3 当初予算 2,448 3, 239 79 決 算 額 2,804 650 2, 154 R 4 計画 2, 448 3, 239 791 R4 当初予算 3, 238 669 2,569 決 算 額 R 5 計画 3, 239 791 2,448 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・利用券交付申請者に対し「はり、きゅう等 R6計画 3, 239 791 2, 448 施設利用券」交付 ・指定施術担当者からの、助成金請求書に基 づき支払を行う R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 3, 239 791 2,448 R7 当初予算 決 算 額 計画額 16, 195 3,955 12, 240 当初予算 6, 477 5,017 R3 ~ R7 合 計 1, 460 決 算 額 2,804 650 2, 154

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値	900	900	900	900	900
С	1 実利用者数	年間申請者数	☑ 個別計画	805	人	実績値	857				
活					%	達成率	95. 2				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 _		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restance & \rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	12 点	3 点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	— 点	/25点	点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 70歳以上高齢者の7.0%に当たる857人が、はり・きゅう治療費助成金を利用したことから、高齢者の健康保持と福祉の向上に寄与したと考える。健康保持、医療費の抑制にも効果がある事業であるため、積極的に広報をすることにより、年間利用者数の増加に努めたい 医療費の

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 70歳以上高齢者の7.0%に当たる857人が、はり・きゅう治療費助成金を利用したことから、高齢者の健康保持と福祉の向上に寄与したと考えるが、健康保持、医療費の抑制にも効果があるため、積極的に広報をすることにより、年間利用者数の増加に努める必要がある。

I 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

2, 543

1,009

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 いきいき高齢者係 50002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 高齢者福祉課 係名 事 業 細事業 敬老祝品支給事業 実施計画事業 敬老祝品支給事業 老人福祉総務事業 なし 総合計画体系図No.→ 老人福祉計画及び第8期介護 保険事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 R3\_ 款 施 策 記念品第 3 4 高齢者福祉の充実 年度 ~ 年度 800 R5 項 2 施策展開 ③生きがいづくりを推進する 敬老祝品配送業務委託料 286 名 後期基本計画 44 P コロナ充当 期間 年度 ~ 目 過疎計画 総合戦略 136 決算 57 通信運搬費 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 80歳及び100歳に到達した高齢者に対して、敬 老祝品を支給することにより長寿を祝福し敬 老の意を表す。 80歳に達した481人に三重総合高校のジャムセット(お祝いメッセージ入り)を送付し、100歳に達した32人に羽毛布団と祝辞を持参した。 R 3 計画 1,229 1, 229 R3 当初予算 1,229 1,229 決 算 額 1,009 1,009 R 4 計画 1, 229 1, 229 R4 当初予算 1,314 1,314 決 算 額 R 5 計画 1,229 1,229 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・80歳祝品:基準日 (9/1)において80歳に達した方に対し、800円相当の祝品を送付する。 ・100歳祝品:100歳の誕生日を迎えた方に対し、10000円相当の祝品と祝辞を持参する。 R6計画 1,229 1,229 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,229 1,229

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		前年度の9/2以降の80歳到達から、当該	総合戦略		Y	目標値	490	500	500	500	500
С	1 80歳到達者	年度の基準日 (9/1) において80歳に達	☑ 個別計画	476	入	実績値	481				
活		した方の人数	▶ 個別計画		%	達成率	98. 2				
動指		Media for the hands and his asset for the real hands a	総合戦略		40	目標値	40	40	40		
標	2 100歳到達者	当該年度において100歳の誕生日を迎え られた方の人数	☑ 個別計画	39	40	実績値	32				
					%	達成率	80.0				
			□ 総合計画			目標値					
D	1 -		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

6, 145

2,543

1,009

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	2 点	11 点	3 点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	— 点	/25点	点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 長寿を祝う本事業は、高齢者福祉の目的である生きがいや喜びに繋がっている。高齢者世帯数は、令和4年3月末現在で7,319世帯、全体の40%を超え年々増加している。高齢者の健康保持や生きがいづくりのため、今後も80歳及び100歳に到達した高齢者に対して、敬老祝品を贈呈する。

R7

長寿を祝う本事業は、高齢者福祉の目的である生きがいや喜びに繋がっており 今後も80歳及び100歳に到達した高齢者に対して、敬老祝品を贈呈する。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和5年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

【担当課長職等の所見】

578

4

事	業番号		枝番		( 4	和	3	年』	度計	画	)	総合	ョ信	実施	計	画書	(	兼迫	捗	管	理)								(様式1)
	50003		1		(令	和	3	年』	度涉	集算	)	事	務	事	ヺ	ŧ	評	価		調	書	課局名	高師	齢者福祉	上課	係名	いき	いき	高齢者係
事	業	老	【福祉	Ŀ総務	事業					·	細事業	<b>t</b>	aんり <i>A</i>	レピック	ケ					身	<b>ミ施計画</b>	事業 ねん	りんピ	ック事業				終了 年度	なし
	総合	計画	体系	☑No.→	( 15	2 )				1												I.							
会計	一般	j	攺	策	Π :	豊かる	な福	祉社	会の	実現	を目打	旨すま	ち					_	表 	人	福祉計画 事業計画	及び第8期	別介護	令和 (	3 年度	主な歳	出名称	뇔	当初予算額
款	3		施	策	4 高	齢者	首福神	业の	充実									_ 5			R3 #		5 年度	自動車	借上料				176
項	2		施策原	展開	34	きか	ジトノヘ	づく	りを打	<b>進</b>	する							l i	Ē .					食糧費					102
目	1		後期	基本	計画	44	. F			過政	画信		総合	計戦略			ナ充当	á	3 #	間	年	度 ~	年度	通信運	般費				11
決算	57	_	車坐	目的	• 内室	2.5	包練													-	2 車業計	画額・決	首類等						
					と内		~ 194			年				主な活	#4 eb	<b>4</b> 主				r	<del></del>				ļ	財源内記	R	(単	i位:千円)
			.,.	日的	C 1/3	er —				度										L		事業費	国	県支出金	地方	債	その他	ļ ·	一般財源
様々	<b>事業の目</b> な分野	で参	加す	るこ	とがっ	ごきる	5 F	豊の	玉		会議	の参加	」りんĿ □や参加	1申込6	り集糸	りなと	、大	会に「	勻	F	3計画	2	289						289
の生	りんピ	ック づく	」に りと	参加 <sup>*</sup> 地域》	するこ 舌動⊄	:とで )仲間	で、i 間づ	高齢くり	者 を	R3	け準り	備を進 大会す	生めてい	ヽたが、 ゞ中止る	コロレない	コナ福った。	め影	響に.	ţ	È	当初予算	2	289						289
目指	す。										,,,	, , , ,		,						ž	央 算 額		4						4
																				F	₹4計画	2	89						289
										R4										È	当初予算	2	89						289
																				ž	央 算 額								
																				F	R 5計画	2	289						289
										R5										È	当初予算								
<=	令和3年	F度(	の取糸	且内容	引信)	i) >														ž	央 算 額								
																				F	₹6計画	2	289						289
										R6										È	当初予算								
																				ž	央 算 額								
											l										ᄀᄀᄘᇔ								000

	参加協議団体数	<ul><li>○ 総合戦略</li><li>○ 個別計画</li></ul>	14	団体	目標値 実績値	15	15	15	15	15
	参加協議団体数		14		実績値					ì
				04						
				90	達成率					
		□ 総合戦略			目標値					
-		□ 個別計画			実績値					
				%	達成率					
		□ 総合計画		华	目標値	83	83	83	83	83
`護認定新規甲請者の半均 ■齢	介護認定新規申請者の平均年齢	□ 総合戦略	83. 1	<b>历</b> 义	実績値	83. 4				
		□ 個別計画		%	達成率	100.5				
		□ 総合計画			目標値					
-		□ 総合戦略			実績値		·			
		□ 個別計画		%	達成率					
言り北西	<b></b> 養認定新規申請者の平均 命	<ul><li>養認定新規申請者の平均 介護認定新規申請者の平均年齢</li></ul>	<ul><li>● 総合計画</li><li>● 総合計画</li><li>● 総合計画</li><li>● 総合計画</li><li>● 個別計画</li><li>● 総合計画</li><li>● 総合計画</li><li>● 総合戦略</li></ul>	世報の表示 (個別計画)	一   96   88.1   歳   歳   歳   歳   歳   歳   歳   歳   ま   ま	個別計画   96 達成率   96 達成率   96   達成率   96   達成率   96   達成率   97   1   1   1   1   1   1   1   1   1	図別計画   96   達成率   96   達成率   96   達成率   96   達成率   97   98   98   98   98   98   98   98	図別計画   96 達成率   100.5   2 接続値   100.5   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接値   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位   2 接位	個別計画   96 達成率   96 達成率   96   達成率   97   98   98   98   98   98   98   98	値別計画   96 達成率   96 達成率   96 達成率   96 達成率   97

R3 ~ R7 合 計

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

1,445

578

4

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	2 点	14 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	3 点	∕25点	3 点	/25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

大会に向け準備を進めていたが、コロナ禍の影響により、大会すべてが中止となったが、高齢者の豊かな技術等を発揮できる場づくりの充実のため、今後も事業の継続が必要である。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

【担当課長職等の所見】

様々な競技に参加することができるねんりんピックは、今後も広く広報するとともに、参加についても支援が必要である。高齢者の豊かな技術等を発揮できる場づくりの充実の放め、今後も事業の継続が必要である。ここ数年連続で開催が中止となっているため、競技団体の役員交代などにより、参加要請がスムーズに行えない。また、大会事務局が示す参加要請数に満たない競技がある。このため、大会開催の周知、競技団体への参加要請を早めに行う。

# 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

440

176

22

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 いきいき高齢者係 50004 1 務 価 高齢者福祉課 係名 事 業 細事業 権利擁護事業 実施計画事業 権利擁護対応専門相談事業委託事業 老人福祉総務事業 なし 総合計画体系図No.→ 老人福祉計画及び第8期介護 保険事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 R3\_ 款 策 権利擁護対応専門相談事業委託料 88 3 4 高齢者福祉の充実 年度 ~ 年度 R5 項 2 施策展開 ②介護予防・地域包括ケアを充実する 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 44 P 過疎計画 総合戦略 決算 57 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、困難事例の専門職への相談や、関係機関等の対応力向上のための研修に対する講師派遣依頼を行う 高齢者虐待防止ネットワーク連絡会を開催し 、大分高齢者虐待対応専門職チーム(弁護士 ・社会福祉士)による講演を行った。 R 3 計画 88 88 R3 当初予算 88 88 決 算 額 22 22 R 4 計画 88 88 R4 当初予算 88 88 決 算 額 R 5 計画 88 88 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・高齢者虐待防止ネットワーク連絡会開催時 における講師依頼を行う。 ・高齢者虐待等における困難事例対応のため 「大分高齢者虐待対応専門職チーム(弁護 士・社会福祉士)」の派遣依頼を行う。 R6計画 88 88 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 88 88 R7 当初予算

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
С	1 虐待防止ネットワーク連絡 会の開催回数	虐待防止ネットワーク連絡会の開催回数	個別計画	1	ī	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

440

176

22

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
/m:	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
価	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	12 点	3点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	点	/25点	点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 高齢者虐待等における困難事例対応のため、今後も大分県高齢者虐待対応専門職チームへの派遣依頼は必要である。また、高齢者虐待防止ネットワーク連絡会を開催し、今後も大分高齢者虐待対応専門職チームに講師派遣依頼を行う。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

高齢者虐待防止ネットワーク連絡会を開催し、大分高齢者虐待対応専門職チー、(弁護士・社会福祉士)による講演を行った。 高齢者虐待等における困難事例対応のため、今後も大分県高齢者虐待対応専門 成チームへの派遣依頼は必要である。

令和5年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

【担当課長職等の所見】

9, 374

2, 479

事	業番号		技番		( 4	<b>令和</b>	3	年	度:	ΗĪ	画	) #	谷合	計画	実が	計	画	<b>=</b> (	兼	生捗	管	理)							(	(様式1)
	50004		2		(4	和	3	年	度	夬匀	ŧ.	) 📮	Į.	務	事	牚	ŧ	評	佃	i	調	書	課局名	凊	<b>5齢者福</b> 祖	上課	係名	いき	いき	高齢者係
事	業	老丿	、福祉	総務	等業	444					細	事業	権	利擁護	事業						身	実施計画 🖺	<b>事業</b> 成年	後見支	援センタ	一委託	事業		終了 年度	なし
	総合	計画	体系区	] No. →	( 1	.48 )							- 1								_		ı							
会計	一般	ī	友	策	П	豊か	な権	<b>ā</b> 祉礼	土会の	り実	現を	:目指	すます	5								福祉計画 事業計画	i及び第8詞 i	朝介護	令和	3 年度	主な歳	出名称	<b></b>	i初予算額
款	3	1	ŧ.	策	4 7	高齢を	者福	祉の	充実													. , ,		5 <sup>年</sup>	成年後	見支援セ	ンター	委託料		4, 339
項	2	1	拖策用	閕	21	<b>~</b> 護	予防	· 地	域包	括ク	ア	を充実	する							画										
目	1		後期	基本	計画	4	4 1	Р		逅	疎言	画		総合	戦略		ا⊏	コナ充当	á	名	朋間	4	F度 ~	年	度					
決算	57	_					-								-									*****	_					
			事業目				夹積			年	Т											3 <b>季栗</b> 町 〜	画額・決		·		財源内	R	(単	位:千円)
		事	業の	目的	と内	容				良				3	主な活	動実	績						事業費	計旦	県支出金	地方		<u>*`</u> その他		一般財源
[中]	事業の目 年後見	的>	カ利目	⊞ml	兄准	ア胆・	ナス	<b>注</b> 須	ŧ.	Г	H H	皇後大	野市	成年後	見支担	爰セン	ノター	ーを設	置した	<i>}</i> ′	F	R 3 計画	4,	339	743					3, 596
に基	づき、:	法基	本計画	斬で え	示さ;	れる	中核	機具	1	R:	3 1	豆仮八	野川、相	以 云 恒 談 業 務	程	要云 に申 立	支撑	ゼレル 爰2件、	市	は	ì	当初予算	4,	339	743					3, 596
し高齢	成年後 者や精	見文 伸・	发セン知的	ノグ 章がし	一を	設直 で判	し、 断能	認力力	派不		り 読	礼人養 養11回	成講	巫 8 厄 った。	」、運営	書協請	養会2	回、打	旦当者	会	ž	夬 算 額	3,	073	594					2, 479
	な方々 機関と								えの	H											F	R 4計画	4,	339	743					3, 596
										R4	ı										ì	当初予算	7,	345	1, 567					5, 778
																					ž	夬 算 額			-,					·
										Н											F	R 5 計画	4.	339	743					3, 596
										R!	5										<u> </u>	当初予算	-,							-,
< 4	合和3年	E度d	)取紙	内容	R (計	画) >	>														I⊫	央 算 額								
• 曹	後大野	市成	王後 見	1.支持	爰七:	ンター	ーを	設置	il	┢	+										<u> </u>	R 6計画	4	339	743				_	3, 596
・市	後大野民後見	下社 人養	会福祉 龙講座	止協語 区を見	義会( 開催	こ委託 し市!	託す 民後	る。 見人	<i>.</i> の	R	,										I⊢	当初予算	1,	000	. 10					0,000
育成	及び支	爰を:	テい.	後身	見活真	助の新	新た	な担	111	l ''`											l ⊩	夬 算 額								
1 /1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	_ H	H / 0							⊢	+										L	天 <u>异 积</u> R 7 計画	4	220	7.40					3, 596
										1											'		4,	339	743	I			- 1	ა, აყი

				単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		総合戦略		Į.	目標値	5	5	5	5	5
市民後見人養成講座修了者	過去の実績から算出		6	八	実績値	11				
				%	達成率	220.0				
		□ 総合戦略			目標値					
-					実績値					
				%	達成率					
		総合計画			目標値					
-		□ 総合戦略			実績値					
		□ 個別計画		%	達成率					
		□ 総合計画			目標値					
-		□ 総合戦略			実績値					
		□ 個別計画		%	達成率					
	_	-		□     □					Manage	

R3 ~ R7 合 計

デ価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
/m:	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		4 点	
価	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	13 点	4点	16点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	点	/25点	点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

成年後見支援センターを設置し、制度の周知や相談体制の充実に取り組んだ。判断能力が不十分な認知症高齢者等が財産管理等の必要性がある場合、成年後見支援センターは重要でがら住み慣れた地域において安心して暮らしていくため、成年後見支援センターは重要である。相談を受ける中で、成年後見制度への関心は高いが、具体的な内容については理解がなく、今後も地域や団体等での学習の機会を利用して、知識の普及・啓発に努めます。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

21,695

11,684

3,073

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

3,715

2,310

594

成年後見支援センターを社会福祉協議会に委託し設置した。判断能力が不十分な認知症高齢者等が財産管理等の必要性がある場合、成年後見制度などを利用しながら住み慣れた地域において安心して暮らしていくため、成年後見支援センターは重要であり、そのための制度の周知や相談体制の充実に取り組むなどの事業が行えた。

# 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 高齢者福祉課 いきいき高齢者係 50005 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 老人福祉総務事業 細事業 老人福祉事務費 実施計画事業 老人福祉事務事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 148 老人福祉計画及び第8期介護 保険事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 当初予算額 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 別計 期間 R3 年度 ~ 款 策 地域福祉基金積立金 874 3 4 高齢者福祉の充実 年度 R5 項 施策展開 ②介護予防・地域包括ケアを充実する 2 燃料費 100 名 目 □ 過疎計画 コロナ充当 期間 年度 ~ 94 後期基本計画 44 P 総合戦略 決算 57 自動車捐害保険料 22 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> ・地域福祉基金利子積立 地域福祉基金の定期預金利息648, 093円を積み R 3 計画 1, 116 242 立てた。 所管する公用車1台の維持管理として、車検等 を適正に行った。 · 公用車維持管理 242 R3 当初予算 874 1, 116 決 算 額 813 648 165 R 4 計画 874 242 1, 116 R4 当初予算 1,015 839 176 決 算 額 R 5 計画 1, 116 874 242 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 · 地域福祉基金利子積立 · 公用車維持管理 R6計画 1, 116 874 242 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 242 1, 116 874 R7 当初予算 決 算 額 計画額 5, 580 1,210 当初予算 2, 131 R3 ~ R7 合 計 1,713 418 決 算 額 813 648 165

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略			目標値					
С	1 =					実績値					
活			┃		%	達成率					
活動			□ 総合戦略			目標値					
指標	2 _					実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
			□ 総合計画	i		目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			個別計画	i	%	達成率					
成果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
	1						<u> </u>				
E	評価対象外の理由 0評価対	<b> </b>							(対象外事	業は <b>F~I橌</b>	未記入 可)
		57 (F-57 )	== /== \				一次	評価(	(係長)	二次評価	(課長等)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	計(曲)				評価点	ā Ē	评価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているか	1\	1 → 2 →	· 3 · ⇒	→ 4 → 5 なっている		点		3 点	
-	0 事業の原件をは立いし田ミナ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				$\rightarrow 4 \rightarrow 5$			ŀ	o.=	
評	2. 争耒の復尤及は高いと思うが	い(回し放来指標設定事業内での優先度)		憂先度低い	⇒	優先度高い	_	点		3 点	
/	3. 事業計画どおりに事業を進め	りることができたか		1 → 2 → きなかった	⇒ 3	→ 4 → 5 できた	3	点		3 点	
価	4. 活動指標の達成状況(率)は言	+画どおり推移しているか		1 → 2 →		→ 4 → 5		点	0 -	— 点	9点
			推	多していない 1 → 2 →		推移した → 4 → 5			9点		
	5. 成果指標の達成状況(率)は計	†画どおり推移しているか	推	<u> </u> 多していない		推移した	_	点	/25点	—— 点	∕25点

令和5年度の事業の方向性

豊後大野市地域福祉基金条例第4条に基づき運用益金の処理を行った。また、一般介護予防事業に使用している所管する公用車1台の維持管理を行った。今後も適正に事務事業を行う。

【担当係長の意見・課題・改善策等】

A. 現状のまま継続

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

公用車1台の維持管理をおこなうなど、適正な事務事業を行えた。

※今後の事業の進め方等

13, 205

5, 155

2,410

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 いきいき高齢者係 51001 1 務 価 高齢者福祉課 係名 事 業 細事業 在宅老人福祉事業 実施計画事業 老人クラブ補助事業 在宅老人福祉事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 152 老人福祉計画及び第8期介護 保険事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 R3 年度 ~ 款 策 老人クラブ補助金 3 4 高齢者福祉の充実 年度 7,921 R5 項 2 施策展開 ③生きがいづくりを推進する 名 2 後期基本計画 44 P コロナ充当 期間 年度 ~ 目 総合戦略 決算 58 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 康づくり、学習活動、社会奉仕活動等を通 老人クラブ連合会の地域助け合い事業及び健康づくり事業、体制強化事業並びに単位老人クラブ(81クラブ)に対し、経費の一部を助成し、老人クラブ会員相互の親睦と高齢者の福祉地進去の。 **<事業VPII)** 健康づくり、学習活動、社会奉忙活動する他 じて、その知識や経験を活かして地域豊かに する社会活動に取組んでいる老人クラブの活 は、主婦オス R 3 計画 7,921 2,641 R3 当初予算 5, 280 2,641 7. 921 祉増進を図った。 決 算 額 6,730 4,320 2,410 R 4計画 2,641 7,921 5, 280 R4 当初予算 7,540 2,514 5,026 決 算 額 R 5 計画 7,921 5, 280 2,641 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・豊後大野市老人クラブ連合会への補助金交 R6計画 7,921 5, 280 2,641 付 ・豊後大野市単位老人クラブへの補助金交付 ・老人クラブの加入促進のため、広報等に取 R6 当初予算 組む 決 算 額

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		クラ	目標値	86	86	86	86	86
С	1 老人クラブ数	老人クラブ数	個別計画	86	ブ	実績値	81				
活					%	達成率	94. 2				
動指			総合戦略		口	目標値	2	2	2	2	2
	2 市報等広報掲載回数	市報等広報掲載回数	個別計画	2	Ш	実績値	2				
					%	達成率	100.0				
			総合計画		歳	目標値	83	83	83	83	83
D	1 介護認定新規申請者の平均 年齢	介護認定新規申請者の平均年齢	□ 総合戦略	83. 1	<b>厉</b> 文	実績値	83. 4				
成果	1 61		□ 個別計画		%	達成率	100.5				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(109点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	/25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 自身の健康保持、教養を高める学習活動、社会奉仕活動等を通じての生きがいづくりなど、地域の支え合い活動を担うべく老人クラブの活動は重要であり、そうした活動への補助など行えているが、クラブ数、加入率ともに減少傾向にあるなど課題は多い。

自身の健康保持、教養を高める学習活動、社会奉仕活動等を通じて、生きがいづくりを目指すことはもとより、地域の支え合い活動を担うべく老人クラブの活動は、ますます重要になっている。このため、今後も事業の継続が必要である。クラブ数、加入率ともに減少傾向にあるため、積極的に広報することにより、加入者の増加に努めたい。

R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

7,921

39,605

15, 461

6,730

5,280

26, 400

10, 306

4,320

令和5年度の事業の方向性

<b></b>																							(1 <del>14</del> -15-4-)
_	¥番号	枝番	(令和 3										_	)		1 .							(様式1)
	51002	1	(令和 3	年度》	夬 算	)事	事 彩	<b>务</b> 事	業	評	価	誹		書	課局名	青	<b>高齢</b> 者	首福祉	課	係名	3 V	きいき	高齢者係
事	業	主宅老人福祉	上事業			細事業	在宅	高齢者住	宅改造	助成事業			実施	計画	事業 在宅	こ高齢者	全住宅	改造助	成事	業		終了 年度	なし
A -1		画体系図№				L3 H 146	1 . 1. 2.				7 -	±2 1	妇女	Lahin	画及び第8	₩△₩						-, I.	
会計		政策	Ⅱ豊かな			を目指す	<b>すまち</b>				個別	保険	食事第	自信学	<u> </u>		1			<b>主な</b> 宅改造助			当初予算額
款 項	3	施策展開	4 高齢者福 ②介護予防			マセム女宝	·+ z				計	7731-	ı R	.3	年度 ~	R5 <sup>年</sup>	医	定					1, 99
目	2		計画 44		-	お計画		総合戦略		コロナ充当	画名		<b>a</b>		年度 ~	年	-	通信運搬	(資)				
決算		该州基本	前四 44		迴鸣	Kalm		花口製哈		コロノルヨ	┚┖	刔旧	ıj		+皮 ~	-	及						
<i>//</i> \ <i>3</i> F		事業目的	・内容・実績	<b>*</b>	ı							r	В	集	画額・※	·算額等	<b>,</b> L			n i ver -t			v=:
		事業の目的	と内容		年度			主な活	動実績	ŧ				\	事業費	計	国国本	出金	抽	財源内 方債		の他	単位:千円) 一般財源
<1	事業の目的	5>	^=#= <b>X</b>	4-4-7-b-m		段差解	消5件、	便器取	≸1件、	手すり取付	寸1件ℓ	り	R 3	計画	i 2.	001	1/1/2	999	,,,	کرا د		716	1, 002
局断図る	在の日立ために、	を又抜し、	介護者の負担 宅を改造する に対し、改造	旦軽減を	R3	改造工-	事費用(	の一部を	助成し	た。		Ш	当初	予算	-	001		999					1, 002
ある	と認めら 場合に必	れる高齢者 要な費用の	に対し、改造 一部を助成っ	貴上事を する。								Ш	決〔	算額	-	625		812					813
												71	R 4	計画	Ī 2,	001		999					1,00
					R4							Ш	当初	予算	2,	000		999					1, 00
												Ш	決〔	算額	į								
												Ш	R 5	計画	Ī 2,	001		999					1, 002
					R5							Ш	当初	予算	ī.								
		度の取組内容										41	決〔	算額	i								
・申	請書類の	住宅改造助) 審査	<b>以</b> 争									Ш	R 6	計画	i 2,	001		999					1, 002
· I	助金の交 事の進捗	管理			R6							Ш	当初	予算									
• 県	補助金の		、実績報告等	阜、補助								41		算額									
金交	付要綱に	基づき処理	する。		D.7							Ш		計画		001		999					1, 002
					R7							Ш		予算									
					<u> </u>							41		算 額 郵	- 1	005		005				+	F 01:
							D3	~ R	ı	<del>=1</del>		Ш		의 ↔ 〕予算		005		, 995					5, 010 2, 000
							K3	. K		п		Ш		算額		625	1	812					2, 00.
												_	<i>//</i> -	т ш	,	020		012					010
		評価指標名	3	指	票値の	説明(算	拿出方法	等)		各計画指標	R	2 実績	責値 🛓	单位	達成度	R	3	R4		R5		R6	R7
										総合戦	略		T	件	目標値		5		5		5	5	
С	1 利用物	件数		予算の範	囲内				[	_ / 個別計	画		8		実績値	1	7						
活											$\perp$			%	達成率	1	40.0						

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	5	5	5	5	5
С	1 利用物件数	予算の範囲内	☑ 個別計画	8	11	実績値	7				
活					%	達成率	140.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値					
D	1 -		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値		·			
			□ 個別計画		%	達成率					

(対象外事業はF~I欄未記入 可) 評価対象外の理由 0評価対象

	   評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランが無(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 1. なっ	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	→ 2 → 3 → 4 → 5 先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 1 でき	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	→ 2 → 3 → 4 → 5 していない ⇒ 推移した	3 点	12 点	4 点	14 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	→ 2 → 3 → 4 → 5 していない ⇒ 推移した	— 点	/25点	—— 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
高齢者等が自宅において暮らしやすい生活ができるようにするため、今後も高齢者の自立を支援し、介護者の負担の軽減を図る。	段差解消5件、便器取替1件、手すり取付1件の改造工事補助が実施できた。 今後も高齢者の自立を支援し、介護者の負担の軽減を図り、高齢者等が自宅に おいて暮らしやすい生活ができるよう事業の周知を図る。

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

1, 391

320

125 57

149

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 (令和 3 年度決算) 事 課局名 いきいき高齢者係 51003 1 務 業 価 高齢者福祉課 係名 事 業 細事業 緊急通報装置設置事業 実施計画事業 緊急通報装置設置事業 在宅老人福祉事業 なし 総合計画体系図No.→( 144 老人福祉計画及び第8期介護 保険事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 R3 款 策 緊急通報サービス利用事業委託料 472 3 4 高齢者福祉の充実 年度 ~ 年度 R5 項 2 施策展開 ②介護予防・地域包括ケアを充実する 手数料 424 名 2 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 44 P 過疎計画 総合戦略 通信運搬費 25 決算 58 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> ひとり暮らし高齢者等に対して緊急通報装置 を通した見守りサービスを提供することによ り、急病・事故等の際における不安感の緩和 を図り、緊急時に迅速かつ適切な対応を図る ひとり人暮らし高齢者等の世帯に緊急通報装置 を貸与することにより、高齢者の日常生活にお ける不安感を解消し、急病・災害などの緊急時 に迅速に対応した。実利用者は109人、日常生 活の相談は26件、緊急通報は4件であった。 R 3 計画 921 25 25 R3 当初予算 921 896 決 算 額 469 320 149 R 4 計画 25 921 896 R4 当初予算 527 495 32 決 算 額 R 5 計画 921 896 25 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・市報等で周知を行う。・委託事業者との契約及び支払事務等・利用者からの申請に基づき決定、廃止等・電波法の改正により使用不能となる機器の R6計画 921 896 25 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 25 921 896

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		Į.	目標値	15	15	15	15	15
С	1 新規利用者数	新規利用者数の推移による数値	☑ 個別計画	8	人	実績値	15				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略		Y	目標値	110	110	110	110	110
標	2 実利用者数	実利用者数の推移による数値	□ 個別計画	111	人	実績値	109				
					%	達成率	99. 1				
			総合計画			目標値					
D	1 -		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

4,605

1,448

469

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restance & \rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	12 点	3 点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	— 点	/25点	点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 【担当課長職等の所見】

コールセンターによる24時間365日の体制で日常生活の相談から毎日の安否確認等も行っており、在宅生活を送るうえでの安心感に繋がっているため、今後も事業の継続が必要である。緊急時に駆けつけることのできる近隣者の協力支援も必要であることから、今後も事業内容の理解のために周知を行う。

ひとり人暮らし高齢者等の世帯に緊急通報装置を貸与することにより、高齢者 の日常生活における不安感を解消し、急病・災害などの緊急時に迅速に対応でき

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 いきいき高齢者係 51004 1 (令和 3 年度決算) 事 務 評 価 高齢者福祉課 係名 事 業 細事業 在宅老人福祉事業 (委託事業分) 実施計画事業 へき地サロン送迎事業 在宅老人福祉事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 152 老人福祉計画及び第8期介護 保険事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 策 4 高齢者福祉の充実 別計 期間 R3 年度 ~ 款 在宅老人福祉事業委託料 224 3 年度 R5 項 2 施策展開 ③生きがいづくりを推進する 通信運搬費 2 名 2 後期基本計画 44 P コロナ充当 期間 年度 ~ 目 過疎計画 総合戦略 決算 58 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額·決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> へき地で開催されるサロンに参加するため移動する方法を支援することにより、要介護状態になることを予防し、地域社会において自立した生活が送ることができる。 へき地で開催されるサロンに参加するため、 タクシーによる送迎を延べ利用者51名に行っ R 3 計画 226 2 R3 当初予算 2 226 224 決 算 額 119 100 19 R 4 計画 2 226 224 R4 当初予算 226 224 2 決 算 額 R 5 計画 226 224 2 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・僻地サロン送迎事業・対象者への利用券の交付・事業者からの請求に基づく支払・タクシー事業者委託契約事務 R6計画 226 224 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 2 226 224 R7 当初予算 決 算 額 計画額 1, 130 1,120 10 当初予算 R3 ~ R7 合 計 4 452 448 決 算 額 119 100 19

					下 异 1	月 11	J			100	19
	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績(	直単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
O	1 実施サロン数	実施サロン数	□ 総合単		箇 2 所	目標値	2	2		2	2 2
	1 夫旭リロン奴	夫施サロン数	□ 個別言	一画	2 171 %	達成率	100.0				+
活動					70	目標値	60	60		60 6	60 60
指標	2 延べ利用者数	延べ利用者数	□ 総合¥	4	7 人	実績値	51	00	,	0	0 00
ly.	ZE 13/11 1 3X	- 1,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	□ 個別言	一画	%	達成率	85. 0				
			── 総合言	画	1_	目標値	20	20	6	20 2	0 20
D	1 サロンの開催回数	サロンの開催回数 (2箇所合計)	□ 総合単	<b>战略</b> 1	3 回	実績値	13				
成			□ 個別言	一画	%	達成率	65. 0				
果指			□ 総合計	-画		目標値					
標	2 —		□ 総合単	略		実績値					
			□ 個別計	-画	%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	象						<b>(</b> \$	対象外事	業は <b>F~Ⅰ欄</b>	未記入 可)
		証体をロットのの根と(1)による	≣π/ <b>π</b> \				一次	平価 (係長	€)	二次評価	(課長等)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	計1四)				評価点	評価	点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているか	`	なっていない	, ⇒	→ 4 → 5 なっている	3	点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか	(同じ成果指標設定事業内での優先度)		優先度低い	⇒	→ 4 → 5 優先度高い	2	点		2点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進め	)ることができたか		1 → 2 できなかった		→ 4 → 5 できた	3	点		2 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計	h画どおり推移しているか		1 → 2 推移していなし		→ 4 → 5 推移した	2	点	12 点	2点	11点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計	h画どおり推移しているか		1 → 2 推移していな(		→ 4 → 5 推移した	2	点	/25点	2 点	∕25点
$oxed{oxed}$				推移している	,, –	推修した					

I 令和5年度の事業の方向性

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

事業の廃止に向けて、地域住民の支え合い活動によりサロン送迎ができないかと、地域振 興協議会と協議・検討を行っている。

**▶** E. 廃 止

【担当課長職等の所見】

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

要介護状態になることを予防し、地域社会において自立した生活が送ることができるよう、へき地で開催されるサロンに参加するため移動すの支援を行っているが、事業の廃止に向けて、地域住民の支え合い活動によりサロン送迎ができないかと、地域振興協議会と協議・検討を行っている。

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3年度決算) 事 51007 1 務 価 高齢者福祉課 係名 いきいき高齢者係 事 業 細事業 配食サービス事業 実施計画事業 配食サービス事業 在宅老人福祉事業 なし 総合計画体系図No.→( 144 老人福祉計画及び第8期介護 保険事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 R3 款 策 配食サービス委託料 3 4 高齢者福祉の充実 年度 29,000 R5 項 2 施策展開 ②介護予防・地域包括ケアを充実する 通信運搬費 85 名 2 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 44 P 過疎計画 総合戦略 印刷製本費 83 決算 58 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 食事の確保が困難な高齢者に対し、バランス の取れた食事の提供と安否確認を行うことで 地域での生活を支援する。 配食サービス事業者と契約し、食事の確保が 困難な高齢者 (実利用者239名) に対し、バラン スの取れた食事の提供と安否確認を行った。 29, 168 R 3 計画 1,668 R3 当初予算 1,668 29, 168 27,500 決 算 額 27, 858 25, 100 2,758 R 4 計画 27, 500 1,668 29, 168 R4 当初予算 29, 168 27,500 1,668 決 算 額 R 5 計画 29, 168 27,500 1,668 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・配食サービス事業申請の受付・審査・決定 ・変更・廃止等 R6計画 29, 168 27,500 1,668 ・配食サービス事業所からの請求に基づく支 R6 当初予算 仏 ・配食サービス事業所指定事務 ・配食サービス事業所委託契約事務 決 算 額 R 7計画 29, 168 27,500 1,668 R7 当初予算

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		総合戦略		Y	目標値	400	400	400	400	400
1 実利用者数	実利用者数		390	人	実績値	239				
		▶ 個別計画		%	達成率	59.8				
		総合戦略		舎	目標値	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
2 利用食数	利用食数	─ 個別計画	66, 807	K	実績値	67,672				
				%	達成率	96. 7				
		総合計画			目標値					
1 —		□ 総合戦略			実績値					
		□ 個別計画		%	達成率					
		□ 総合計画			目標値					
2 —		□ 総合戦略			実績値		·			
		□ 個別計画		%	達成率					
1	実利用者数 利用食数	実利用者数     実利用者数       引用食数     利用食数	実利用者数       総合戦略         之間別計画         総合戦略         之間別計画         総合計画         総合戦略         個別計画         総合財略         総合計画         総合計画         総合財略         総合財略         総合財略	実利用者数     二     総合戦略     390       利用食数     一     総合戦略     66,807       一     一     総合計画       一     一     総合戦略       回別計画     一       総合戦略     回別計画       一     総合計画       総合計画	実利用者数     二     総合戦略     390     人       V     個別計画     66,807     食       V     個別計画     66,807     食       V     個別計画     66,807     食       96     総合戦略     日     66,807     食       日     総合財画     日     総合財画     96       日     総合計画     日     総合財画     96       日     総合財画     日     総合財画     96       日     総合財画     日     総合財際     日	実利用者数     上     総合戦略     1     目標値       実績値     %     達成率       日標値     実績値       ※合戦略     (4)     日標値       実績値     %     達成率       日標値     実績値       総合計画     日標値       総合計画     9%     達成率       日標値     実績値       総合計画     9%     達成率       日標値     実績値       総合計画     実績値       総合計画     実績値	実利用者数     一     総合戦略     390     日標値 239       実績値 239     239       %6 達成率 59.8       日標値 70,000       実績値 67,672       %6 達成率 96.7       協別計画       総合戦略     日標値 実績値 96.80       協別計画     96     達成率 96.7       協合戦略     国別計画 96     達成率 目標値 実績値 96.80       総合計画 総合計画 総合戦略     実績値 96.80     実績値 96.80	実利用者数     一     総合戦略     少     目標値 239 字積値 239 字積値 239 字積値 239 字       2 利用食数     総合戦略 図別計画     日標値 70,000 70,000 字積値 66,807 字積値 67,672 字積値 67,672 字積値 67,672 字積値 67,672 字積値 70,000 字積値 60,807 字積値 60,807 字積値 70,000 字積値 60,807 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積値 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字積 70,000 字列 70,000	実利用者数     上     日標値     400     400     400       実績値     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239     239 <th>実利用者数     上     総合戦略     190     上     目標値     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400</th>	実利用者数     上     総合戦略     190     上     目標値     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400     400

R3 ~ R7 合 計

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

145, 840

58, 336

27,858

137, 500

55,000

25, 100

8,340

3, 336

2,758

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	2 点	11 点	2点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	— 点	/25点	点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 市周辺部及び山間部においては、過疎・高齢化により、自分で料理をすることが困難で、かつ、買い物も不自由な高齢者がいる。在宅で自立した生活を支援するため、今後も事業の継続が必要である。自立または改善の可能性が高い高齢者に対しての支援のあり方や総合事業との連携を検討していく。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 食事の確保が困難な高齢者に対し、バランスの

配食サービス事業者と契約し、食事の確保が困難な高齢者に対し、バラ 取れた食事の提供と安否確認を行った。 在宅で自立した生活を支援するため、今後も事業の継続が必要である。

令和5年度の事業の方向性

600

100

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 (令和 3 年度決算) 事 課局名 いきいき高齢者係 51008 1 務 評 価 高齢者福祉課 係名 事 業 細事業 高齢者世帯リフォーム支援事業 実施計画事業 高齢者世帯リフォーム支援事業 在宅老人福祉事業 なし 総合計画体系図No.→( 144 老人福祉計画及び第8期介護 保険事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 齢者世帯リフォーム支援事業補 別計 期間 R3 款 策 600 3 4 高齢者福祉の充実 年度 ~ 年度 R5 項 2 施策展開 ②介護予防・地域包括ケアを充実する 名 2 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 44 P 過疎計画 総合戦略 決算 58 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 高齢者の暮らしの安全確保のためバリアフリ 一改修工事等行った住宅の所有者に対し、規 定の補助金を交付する。 高齢者のために行う浴室改修工事(1件)に対し 、補助金を交付した。 R 3 計画 600 300 R3 当初予算 300 300 600 決 算 額 200 100 100 R 4 計画 300 600 300 R4 当初予算 600 300 300 決 算 額 R 5 計画 300 300 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・市報、市HP及び市内居宅支援事業所への R6計画 600 300 300 周知 周知 ・申請受付・審査・決定通知等、補助金交付 要綱に基づき処理する。 ・県補助金の申請、請求、実績報告等、補助 金交付要綱に基づき処理する R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 600 300 300

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	2	2	2	2	2
С	1 利用物件数	予算の範囲内	☑ 個別計画	1	11	実績値	1				
活					%	達成率	50.0				
動指			総合戦略		口	目標値	2	2	2	2	2
標	2 市報等広報回数	市報等広報回数	□ 個別計画	2	ī	実績値	2				
					%	達成率	100.0				
			総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

3,000

1,200

200

1,500

600

100

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2 点	11 点	2点	11点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	— 点	/25点	点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 高齢者のいる世帯に対しバリアフリー改修工事の費用を補助すること 全確保や住環境の向上を図るため、今後も事業の継続が必要である。 フレットを窓口に設置することにより、利用者の増加に努めたい。 とにより、暮らしの安 。今後も広報及びパン

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 高齢者のために行う浴室改修工事(1件)に対し、補助金を交付した。暮らしの 安全確保や住環境の向上を図るため、今後も事業の継続が必要であるが、事業の 周知等が必要である。今後も広報及びパンフレットを窓口に設置することにより 、利用者の増加に努めたい。

令和5年度の事業の方向性

R7

事	業番号	ħ	支番		( 4	令和	П 3	} :	年	度	. 1	ΗĪ	画	)	彩	合	H	画	実	施	Hi	画		(∄	東道	捗	僧	理)												(様式	;1)
5	1010		1		( 4	和	1 3	} :	年	度	ž	夬 匀	Ţ	)	事	Į.	彩	F	事		業	ţ	評	Ē	価		調	書	į	課局	名	擶	粒-	者福祉	课	1	系名	地	或包括	ケア推	進化
事	<b>*</b>	在宅	老人	福祉	事業	Y.					_		糸	事	業	泌	知明	ii j	防挡	他为	计策	HC)	Ÿ.				1	実施計画	i事	業認	知症	高齢者	冶化	<b>引人赔偿</b>	貨責任	:保険	宇業	3	終了年度		こし
	総合記	计画体	本系図								_														7 -		2 1	Garan St.	1.5.17	~ 18/o	ro Hu Z	:II:	1 -								_
会計	一般	政		策			かな		-	_	•		見	٤	指了	ナま	5								4 1	固化	呆除	、福祉計画 注業計画	hj				l ⊦	令和 3		_				当初予	
款	3	於		策			沿着								1112	- フ									7   6	i	朝間	R3	年度	~	R5	年度	-	認知症品	師省	個人則	lift[[]	①任保	灰		23
項 目	2	-	策 後期		-		11	_	_	収′				どり 計画		9 6		総合	MA disc		_	71	ロナチ	<del>/-</del> 1/	4 12	画名。	朝間		年度			年度									
決算	58		医   円	<b>本</b> 平	5112	1 -	44	_		_	_	ᄱ	以本	可凹	1		Ą	₩ <b>□</b>	<b>半</b> 义吓	1	_	٦١	4/)	, i	JL	#	위 IEI		十尺			牛皮	l								
<i>/</i> \ <i>T</i>		A I	業目	的	内	容・	実	責			_	ı															1 5	B 事業i	計画	額 -	決算	領等	L			n i ve		_			=
		事	業の	目的	と内	容						年度						Ė	こな	舌動	実績	責								事業	費計	国場	見る	を出金	地	財源 方債	京内部	その	1	単位: <del>-</del> 一般則	
<b>&lt;事</b>	業の目的	约>	N III S	S 1%: 5	نارخ	みぎ Ji	11 J ~	<b>計</b> :	z li	1216	_	Г		合和	144	:3]]	木	の登	録	íta7	8夕	で、	Щ	年)	ĮΙ	ŋ	İ	R 3計画	i i		232	-	11.2			7 7 7 7			230	,,,,,	
賠償	三回暦41 責任保険 た在宅生	このも	大阪メ	小銀1	rb.	する	5こ	- ع	で、	安	:	R	3	りぞれ、	廃	昭加 II: 6	。 名·	一段であ	ろ。	7 [15]	別()	1700	ス材に	从记	人1	.2	lŀ	当初予算	Į		232	2							230		-
	C11:45/1-	HI18	£ 154	いる。	トソ	<b>V</b> ⊆ 9	10,	_ (	٥ -																			決算額	頁		142	2							141		
																												R 4 計画	1		232	:							230		
												R₄	1															当初予算	Ĭ		232	2							230		
																											Ш	決算額	Ą												
																												R 5 計画	<u> </u>		232	2							230		
												R!	5														Ιŀ	当初予算	_												
	(和 3 年) 保険対						>					_															H	決算額	_								_				
km.4	IN PXXXI	1351	1023	C 1.1.0	. 11	ノ。						_															Ιŀ	R 6計画	4		232	2					_		230		
												Re	Ó														lŀ	当初予算	-												
												_															H	決算額	_		00/	_					_		000		
												R.	,														lŀ	R 7計画 当初予算	-		232						-		230		
												K.	'														╟	決 算 額	`+			-									
												$\vdash$															1 F	<b>八 弄 6</b> 計 画 額	_		1, 160	)					+	1	, 150		1
																F	23	~	R	7	合	計					lŀ	当初予算	_		464	+					-		460		
																											lŀ	決算額	_		142	+							141		

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R 2 実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		豊後大野市老人福祉計画及び第8期介護	総合戦略		Y	目標値	70	75	80	85	90
С	1 保険対象者の数	保険事業計画での保険対象者の日標設定	☑ 個別計画	74	人	実績値	78				
活		をしている。			%	達成率	111.4				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値					
D	1 -		□ 総合戦略	:		実績値					
成			□ 個別計画	i	%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
		-									

 E
 評価対象外の理由
 ① 評価対象
 (対象外事業はF~I欄未記入可)

 一次評価(係長)
 一次評価(係長)
 二次評価(課長等)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画場合との対象を		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 指	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点	14 点	4 点	14 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 折	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	点	∕25点	点	∕25点

I 令和5年度の事業の方向性

**⇔** A. .

寻	業	番号	:	支番		(令	和	3 :	年月	ŧ	十画	i)	*	総合	計画	実別	包計	画	書(	兼法	焦扎	步管	理)								(†	<b></b>
	510	010		2		(令和	ū	3 :	年月	Eä	も美	[ )	Ą	事	務	事	ヺ	ŧ	評	偛	6	訓	書	ŧ [	課局名	启	齢者福祉	上課	係名	地域包护	舌ケブ	ア推進係
													- 414	1								T			/		\\\\/	W -=		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	7	, ,
事	3	業	在名	老人	福祉	事業						細事	業	認	知症予	·防推;	<b>生対</b> 第	<b></b>	業				実施計画	曲事	業認知症	ミカフ	エ連宮事	業委託-	事業	年		なし
A -1				本系図				. Lee	6141	^ ~		T . 2	- IIA	11)						<b>—</b> [	-	±× 1	선 산 기	antri i	及び第8期	△維	1 0 ==					
会計		一般	_		策	Ⅱ豊					実り	見をト	∃指`	すまり	j						個	保険	事業計	画		刀 喪		3 年度			当社	切予算額
款	_	3	力		策	4 高額	.,														計	期間	R3	年	度 ~ R5	年月	認知症	カフェ運	営事業	委託料		2, 230
項	_	2	_	<b>並策展</b>		②介記		-	_	2包			1	- / -		-				41	画名											
目		2		後期	基本	計画	44	Р			過	陳計回	画	~	総合	戦略	Ш		ロナ充語	当	П	期間		年	度 ~	年月						
決算		58	A I	事業 目	的·	·内容	・実	橨															B 事業	i Hi	画額・決算	<b>[額等</b>						
			車	業の	目的	と内容					年					主な活	動宝	結							事業費計	ŀ			財源内	訳	(単位	ī:千円)
	F 44	の目			ц н л	C 1 7 12					度			ell on Elv					I A 3- 11	J.	lo	41		$\searrow$		国	県支出金	地方	債	その他	+-	般財源
WHO	zj	ると	、討	知症	予防	(認知	症	の進	行を	遅		再	ロフィ 開後:	荷の京も感染	管で、症対領	たして	て参加	を見り 数の	l合わせ )調整で は2班	を行	り、い、	Ш	R3計i		2, 23	30				2, 220		10
りせ、令	る和	こと) 元年(	に 3月	は他名 こ閣譲	すとり 実決に	の交流 どされ	が有 た「	効な認知	とされ	れ 施	R3	隔泊	周でる	参加と	制限を	<b>と設け</b> つ	て実施	il,	年間で	*参加	者7	7	当初予	算	2, 23	30				2, 220		10
策推及が	進明	大綱」 記され	に、	おいて ハます	: t.	認知	症力	フェ	ェの <sup>-</sup>	普		9	8 人。	とヘク	ツノロ	(19)	への麥	·加(	ぎあった	-0		41	決算	額	1, 92	29				1, 900		29
本	市	におい	いて	も認矢	10症の	り予防· するた																Ш	R 4計i	画	2, 23	30				2, 220		10
		設置			, C ;	, .D/C	٠,٠	pu.	₩/Ш.	~	R4											Ш	当初予	算	2, 23	30				2, 230		
																						_	決算	額								
																						Ш	R5計i	画	2, 23	30				2, 220		10
											R5											Ш	当初予	算								
						(計画				п												┨┃	決算	額								
認知を行				没置し	、 疳	∌週 1	日以	上	つ開き	艾												Ш	R6計i	画	2, 23	30				2, 220		10
											R6											Ш	当初予	算								
																							決算	額								
																						71	R7計i	画	2, 23	30				2, 220		10
											R7	1											当初予1	笛								

		指標値の説明(算出方法等)	台市	  画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
				総合戦略		Į.	目標値	800	800	800	800	800
C 1	認知症カフェの参加者延べ     人数	市が委託している「カフェひなたぼっこ」 の延べ利用者数		個別計画	771	人	実績値	798				
活	,			旧刀引凹		%	達成率	99.8				
動指標 2				総合戦略			目標値					
標 2	2 –			個別計画			実績値					
				凹刀引凹		%	達成率					
		認知症カフェの参加者が増加することに伴い、		総合計画		I	目標値	900	900	900	900	900
<b>D</b> 1	認知症カフェのスタッフ延   ベ人数	認知症カフェの参加者が増加することに伴い、 ボランティアスタッフの増加も見込まれます。 社会の中で役割を持つことが認知症予防に資す るとされるため、「カフェのなたぼっこ」にお		総合戦略	880	人	実績値	779				
成	,	けるスタッフ延べ人数を評価指標とした。		個別計画		%	達成率	86.6				
成果指標 2				総合計画			目標値					
標 2	2 —			総合戦略			実績値					
				個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

決算額 計画額

当初予算

決 算 額

11, 150

4,460

1,929

11, 100

4, 450

1,900

50

10

29

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの税点(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & $	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline                                  $	3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	16 点	3 点	16 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

# 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

コロナ禍であるが、感染症対策を施し認知症カフェを開催することで、認知症の予防や認知症の方本人・家族の相談窓口としての機能を果たすことができた。本事業は、認知症の進行を遅らせ、住み慣れた自宅で安心して暮らすために認知症の方本人・家族の居場所相談窓口として重要な役割りを持っている。 今後もカフェの開催を継続できるように、委託事業者の指導及び支援を行っていく。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

H 【担当課長職等の所見】

230

90

24

当初予算額

(単位:千円)

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 (令和 3 年度決算) 事 高齢者福祉課 51013 1 務 価 係名 地域包括ケア推進係 事 業 在宅老人福祉事業 細事業 地域包括ケアシステム事業 実施計画事業 コミュニティーカフェ運営事業 総合計画体系図No.→( 147 老人福祉計画及び第8期介護 保険事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 別計 期間 R3\_ 款 策 消耗品費 3 4 高齢者福祉の充実 年度 ~ 年度 R5 項 施策展開 ②介護予防・地域包括ケアを充実する 2 画 講師謝礼金 名 2 コロナ充当 年度 ~ 目 総合戦略 実費弁償 決算 58 B 事業計画額・決算額等 A 事業目的・内容・実績 任 財源内訳

古世の日始し中南	年	ナムに転車体		古光 典 = 1		别源区	刀品化	(単位:十円)
事業の目的と内容 	度	主な活動実績		事業費計	国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 住み慣れた地域で、高齢者の方がこころとか		コロナ禍で7か所のカフェが休止と感染症対策 を施しての実施を断続的に行った。 再開時に安心して開催できるように感染症対	R 3計画	321			321	
らだの健康を保つため、自立した生活を継続し、元気なころから通う地域拠点とする居場	R3	再開時に安心して開催できるように感染症対 策の助言や指導などの支援を行った。	当初予算	321			321	
ちだの健康を保つため、自立した生活を継続 し、元気なころから通う地域拠点とする居場 所(コミュニティカフェ)の充実を推進しま す。		深の場合へ指導などの人族を行うた。	決 算 額	65			31	34
			R 4計画	321			321	
地域住民が主体となって週一回の通いの場が介護予防や高齢者の支え合いを重視し、継	R4		当初予算	321			321	
続して運営できるように行う			決 算 額					
			R 5計画	321			321	
	R5		当初予算					
<令和3年度の取組内容(計画)>			決 算 額					
現在、各町1か所、計7か所のコミュニティカフェが週1回以上、介護予防等に取り組める			R 6計画	321			321	
場所を、継続して運営できるように支援を行う。	R6		当初予算					
, o			決 算 額					
			R 7 計画	321			321	
	R7		当初予算					
			決 算 額					
			計画額	1, 605			1, 605	
		R3 ~ R7 合 計	当初予算	642			642	
			決 算 額	65			31	34

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		箇所	目標値	7	7	7	7	7
С	1 コミュニティカフェの開設 数	各町に1か所開設しているコミュニティ カフェを継続運営する。	□ 個別計画	7	所	実績値	7				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略		人	目標値	5,000	5,000	5, 000	5, 000	5,000
標	2 コミュニティカフェ参加者 延べ人数	7か所のコミュニティカフェの延参加者 の実数	│	4, 910		実績値	5, 513				
	,				%	達成率	110.3				
	A 3#30 July 10 July 4 July 4 77 15		総合計画		歳	目標値	83	83	83	83	83
D	1 介護認定新規申請者の平均 年齢	介護認定新規申請者の平均年齢	□ 総合戦略	83. 1	历义	実績値	83. 4				
成			□ 個別計画	i	%	達成率	100.5				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの視点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \red{0.05cm}  &                                  $	4 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	17点	3 点	16点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 #我! ていない ⇒ #我! た	4 点	∕25点	3 点	∕25点

# 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

住み慣れた地域で、高齢者の方がこころとからだの健康を保つため、自立した生活を継続し、元気なころから通う地域拠点とする居場所(コミュニティカフェ)を各町1か所整備を行ない、継続的に開催できるように支援を行なってきた。 休止期間、閉じこもりがちになった高齢者が多かったとの話も聞き、継続的に開催できる居場所の必要性を確認でき、本事業は高齢者が多心して地域で済み続けるために必要であ

◇。 今後は継続して開催できるように支援をするとともに、コミュニティカフェが介護予防の 地域拠点として、活動を小地域に広げていくことを視野に入れて支援を行なって行く。

# 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

住み慣れた地域で、高齢者の方がこころとからだの健康を保つため、自立した生活を継続し、元気なころから通う地域拠点とする居場所づくりとしてコミュニティカフェの充実を推進しているが、コロナ禍で7か所のカフェが休止と感染症対策を施しての実施を断続的に行うなど、充分なけ場でが行えない時期もあった。高齢者が安心して地域で済み強力に必要な事業であり、現在は安心して開催できるように感染症対策の助言や指導などの支援を行い、全てのカフェが感染症対策を施し再開し、地域の高齢者の居場所として機能している。

# 令和 5 年度の事業の方向性

570

228

29

哥	業番	号	枝番	ŧ	(	令和	3	年	度	H i	画 )	1	総合	計画	1	施計	画	書(	兼道	捗'	管	理)								(様:	式 1 ]
	5101	3	2		( -	令和	3	年	度:	决:	算 )	7	事	務	事	· •	業	評	価	Ī	周	書	課局名		高齢	含者福祉	課	係名	いきい	き高齢	令者任
事	業	在	E宅老	人福祉	止事	業					細	事業	地	域包排	舌ケア	シス	テム	事業			実	施計画	事業 サロ	ン等	<b>拿介護</b>	予防派遣	豊事業委	託事業	終年		なし
	£	(全計	·画体系	図№.—	→ (	150 )															_		l e								
会計			政	策		豊か	な権	<b>冨祉</b>	社会(	の実	現を	目指	すま	ち					,	老	人名	B祉計画 B 2013	[及び第8]	期介	護	令和 3	年度 主	な歳出	名称	当初	予算額
款	3		施	策	4	高齢	者福	社の	)充集	Č.									1 5	刂│期∣	陝与 間	事業計画 R3		₹5	年度	サロン等	<b>拿介護予防</b>	派遣事	業委託料		1:
項	2	1	施策	展開	+-	生きた	-	-			生する									+ ├─		No									
B	2		後期	胡基本	計画	■ 4·	4	Р		遊	疎計	画		総合	)戦略		1 =	ロナ充動		訓期	間	£	<b></b>		年度						
決算	58	_   !																													
			事業	目的	・内	容・智	実種	t		Τ.											문	事業計	画額・決	算額	等	<u> </u>		源内訳		/ NA /-L	7 m
			事業の	の目的	5 b p	内容				4 月	<u> </u>				主な流	舌動実	績				`		事業費	計	国旧	支出金	地方侵		その他	(単位:	十円 財源
. <1	事業の	月的	1>							Ë					こボラ	ンテ	ィア	登録講	師を2	4	R	3計画		114	国水	X III W	767J J		114		C 741 1111
レッナー	活動	を実	会がい 施する	闭体	に女	FL. 1	市社	-協は	てボ	R		派遣	した	0							⊢	初予算		114					114	-	
ランの講	ティ	ア登	録して託を行	いる	講師	等を	派遣	する	5際	"	<b>^</b>										⊢	等 額		29					29	1	
*> µ13	-HIP DIX	AL 94	на с т.	, , ,						H	-									$\dashv$	H	2.4計画		114					114	-	
										R.	.										┡	初予算									
										K.	*										F	等 額		114					114		
										L	_									_	<u> </u>										
										L											⊢	5計画		114					114		
										R	)										⊢	初予算									
			<b>隻の取</b> 潰に係					フドゴ	7 ±1.	L										_	H	等 額	-								
いる	<b>政</b> (研)	1111/JC.	■ (⊂7オ	る安	百七个十	·0.7天7	的汉	עיט.	C1A												⊢	86計画		114					114		
										R	ô										当	4初予算									
																					決	等額									
																					R	7計画		114					114		
										R	7									- 1	坐	4初予算									

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		П	目標値	50	50	50	50	50
С	1 講師派遣回数	講師派遣回数 (年間)	個別計画	26	旦	実績値	24				
活					%	達成率	48.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
	A attended to the total and the control of		総合計画		83	目標値	83	83	83	83	83
D	1 介護認定新規申請者の平均 年齢	介護認定新規申請者の平均年齢	□ 総合戦略	83. 1	00	実績値	83. 4				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.5				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 Ε (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価(	(課長等)
	評価項目/5つの税品(「~5点で評価)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 1 なっ	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	→ 2 → 3 → 4 → 5 - た度低い → 優先度高い	3 点		3 点	
価	13  事業計画どおりに事業を進めることができたか  ────	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
ТШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか <u>1</u> 推移し	→ 2 → 3 → 4 → 5 していない ⇒ 推移した	2 点	14 点	2 点	14 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 1 # # 2 !	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	∕25点	3 点	∕25点

# 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

# H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

社会福祉協議会がいきいきサロン事業に基づいた活動を実施する団体に対し、 市社協にボランティア登録している講師等を派遣する際の講師派遣委託を行っているが、コロナ禍の影響、リーダーの高齢化等により存続が難しくなっているサロンも少なくないため、今後も社会福祉協議会と連携しながらリーダー及び後継者の育成強化に努める必要がある。

# 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

570

228

29

2, 920

696

Ą	¥番号	ļ.	枝番		( 余	和	3	年	度	計	画	)	¥	総合	計	画写	し がまり とうしゅう とうしゅう しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅう しゅうしゃ しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	百計	画	書	(身	<b>長道</b>	捗	管	理)										(‡	<b></b>
	51013		3		(令	和	3	年	度	決	算	)	耳	F	務	4	事	į	集	評	F	価	1	調	1	F	課局名	高齫	冷者	福祉	:課	係	名	いきい	き高	齢者
事	業	在	它老人	福祉	:事業						á	細事:	業	地	域包	括ケ	アシ	ンス・	テム	事業	Ė			実	施計ī	画手	事業 サロン	事業補	前助事	事業				終 <sup>-</sup> 年		なし
	<b>松</b> 4	- 計画	体系図	1Nn →	( 15	50 )																												1 7.	^	
会計		7	政	策	_	豊か	な福	私	社会	のほ	現	を目	指	すま	ち							Ι,	老	人社	E 証 計	画	及び第8期ク	護	令:	和 3	年度	主な	歳出	名称	当神	切予算
款	3	1  -	施	策	4 点	<b>新齢</b> 者	~ / / / /	ねしの	) 赤 ′	<b></b>												1 1	が は かんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょ はんしょう はんしょう はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	と険き 開間	事業計 R3		度 ~ R5	年度	+	ロンヨ	<b>事業補</b>	助金				1, 3
項	2	4	施策風		3)4			_			進す	- ろ											+ ├─		КО		KO									-,-
III	2	1  -	後期						Г			計画	ī		44	合戦	略		1 -	コロナ	<b>杂</b>		z I	間		年	度 ~	年度								
決算		┧┖	12.791	2E-7T-1	ш	- 11			_			шш	<u>'   _</u>		440	, LI 124	ти		, -			IJL		311-3												
<i>/</i> \31	00	Α	事業	的	• 内容	¥ • §	电積																	멷	事業	計	画額・決算	領等	<u> </u>							
		틕	業の	目的	と内:	容				:	年 度					主な	よ活!	動実	績					`			事業費計			1		財源区				在: 千円
< 2	事業の目	自的	<u>,                                      </u>							Ľ		典谷	4-1-1	略古	自主	的介	·雑日	6.Rts	汗耐	空垣	i Bh Z	なん	. <del> -</del>	-	\ = I	_		+	技具	金出金	地力	方債	1	の他	_	般財源
要介	護及び	要支	援狀的	態に	なるお	るそれ	しの	ある	高高			要級	別に	基づ	き、	社会	福和	上協:	議会	が行	うり	きし	À	Ė	3計	_	1, 320	-						1, 320		
町台	が居宅 ができ	るよ	う、「	計	りにか	一護	上的	を直	が等		R3	ざり助金	rロ えを	グサ交付	業にした	· 登郵 · 。	: L ~	( ( · ·	<b>る</b> 14	11団1	<b>本</b> (亡.	対し	佣	$\vdash$	4初予		1, 320	)						1, 320		
を行 補助	ってい	る 付す	体に、  る。	予算	算の筆	<b>色囲</b> P	勺に	おり	いて	L													_	決	算	額	696							696		
			- 0																					F	84計	画	1, 320							1,320		
										ı	₹4													븰	初予	算	1,600							1,600		
																								決	・算	額										
																								F	5計	画	1, 320	)						1,320		
										ı	R5													놸	初予	算										
<	令和34	年度	の取組	内容	引制	画) >																		決	・ 算	額										
	会福祉録して									r													╗	F	86計	画	1, 320	)						1, 320		
に従	い補助	金を	交付。	たる。	U , 11	41797.71	LX	1.1.35	C /NPI	ı	₹6													놸	初予	算										
																								決	: 算	額										
										H													$\dashv$	F	7計	画	1, 320	,						1, 320		
										١,	R7													7	4初予	質	2,02	1					1	-, -20		

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		筃	目標値	145	145	145	145	145
С	1 サロン数	サロン数	個別計画	147	所	実績値	141				
活					%	達成率	97. 2				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		個別計画			実績値					
					%	達成率					
	A athen to be to the beautiful and the		□ 総合計画		歳	目標値	83	83	83	83	83
D	1 介護認定新規申請者の平均 年齢	介護認定新規申請者の平均年齢	□ 総合戦略	83. 1	万义	実績値	83. 4				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.5				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

決算額 計画額

当初予算

決 算 額

6,600

2,920

696

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

地域の高齢者が身近なところで気軽に集まることができるサロンは、ひとり暮らしや閉じ こもりがちな高齢者が、定期的な交流を通じて生きがいや楽しみを持つことができるよう、また、活動の活性化が図られるよう、今後も事業の継続が必要である。コロナ禍の影響、リーダーの高齢化等により存続が難しくなっているサロンも少なくないため、今後も社会福祉協議会と連携しながらリーダー及び後継者の育成強化に努めます。

社会福祉協議会が行ういきいきサロン事業に登録している141団体に対し補助を を交付し、高齢者の居場所づくりに後見しているが、コロナ禍の影響、リーダー の高齢化等により存続が難しくなっているサロンも少なくないため、今後も社会 福祉協議会と連携しながらリーダー及び後継者の育成強化が必要。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 いきいき高齢者係 51015 1 務 業 価 高齢者福祉課 係名 事 業 細事業 居宅介護用品券交付事業 実施計画事業 居宅介護用品券交付事業 在宅老人福祉事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 148 老人福祉計画及び第8期介護 保険事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 R3\_ 款 策 居宅介護用品券交付事業費 1,630 3 4 高齢者福祉の充実 年度 ~ 年度 R5 項 2 施策展開 ②介護予防・地域包括ケアを充実する 印刷製本費 54 名 2 コロナ充当 期間 年度 ~ 53 目 後期基本計画 44 P 過疎計画 総合戦略 決算 58 通信運搬費 50 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 居宅で家族等から介護を受ける高齢者等の介護用品購入に係る費用に対し、ひと月5,000円の給付券を交付することにより、家族等の経済的負担を軽減するとともに、住み慣れた地域で生活することを支援する。要介護4以上の要介護高齢者及び家族介護者とある。 介護用品購入に係る費用に対し、ひと月5,000 円の給付券を実利用者30名に交付した。 R 3 計画 1,787 87 87 R3 当初予算 1,787 1,700 決 算 額 1,031 900 131 R 4 計画 1,700 87 1, 787 もに非課税世帯に属する方が対象。 R4 当初予算 2, 198 2, 100 98 決 算 額 R 5 計画 1,787 87 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・申請に基づく、決定・廃止事務等・事業所からの請求に基づき支払い 87 R6計画 1,787 1,700 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 87 1,787 1,700 R7 当初予算 決 算 額 計画額 8, 935 435 当初予算 185 R3 ~ R7 合 計 3, 985 3,800 決 算 額 1,031 900 131

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値	50	50	50	50	50
С	1 実利用者数	実利用者数	☑ 個別計画	217	人	実績値	30				
活					%	達成率	60.0				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 —		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成 果			□ 個別計画		%	達成率					
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	   評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1~9点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 1 な	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 1/6	1 → 2 → 3 → 4 → 5 憂先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 1 で	1 → 2 → 3 → 4 → 5 きなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推移	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 移していない $\Rightarrow$ 推移した	2 点	11 点	3 点	13 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推移	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 移していない $\Rightarrow$ 推移した	—— 点	∕25点	—— 点	∕25点

**G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等** 居宅において要介護高齢者の介護を行う家族介護者の経済的負担の軽減と要介護高齢者が 住み慣れた地域で生活することを支援するため、今後も事業の継続が必要である。令和3 年度からは、介護を受ける本人及び家族等が市民税非課税世帯の方を対象とした。 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

居宅において要介護高齢者の介護を行う家族介護者の経済的負担の軽減と要介護 高齢者が住み慣れた地域で生活することを支援するために必要な事業である。

I 令和5年度の事業の方向性

事業番号	<del>                                     </del>	3 年度					_			_		理)					<u> </u>		T	(様式1)
52001	1 (令和	3 年度 2	夬 算	)	事	務 4	事	業	評	価	調	書	課局	名	高齢	<b>皆福祉</b> 談	Ŗ.	係名	いきいき	き高齢者の
事 業 老	<b></b> 人施設措置事業			細事業	養護	老人ホ	ーム措	<b>告置事</b> 差	É		J	実施計画	事業 老	(人ホー	-ム入戸	措置事	業		終了年度	
	画体系図No.→ ( 148 )	>편된무슨	り字形	1 ± , 🗆 + Ŀ	u-1:+						老人	福祉計画	町 乃 てド省	色8期介	誰	<b>△</b> ∓⊓ 2	左由 🕆	► <b>た</b> 塩 山	夕新	少加又答案
会計 一般 款 3	0- <del></del>	☆福祉社会の 福祉の充実		18 H 18	19 まり					個別	保険	事業計画 R3	町		1	<b>令和 3</b> 老人ホー.			i石仦	当初予算8 103,68
項 2		防・地域包		アを布置	主する					計画	79] [F]	K3	+x ·	R5	+/2	E)(A)	G/(// 1	100		105,00
<b>国</b> 3	後期基本計画 44			刺動		総合戦	略「	7 30	コナ充当	名	期間		年度 ~		年度					
· 決算 59			~_~	маты		W- 11 0W			.,,,,,,	ш										
Α	事業目的・内容・実	!績	年								7 5	3 事業i 〜	画額・	決算額	等		E#	源内訳	(	単位:千円)
	事業の目的と内容		度			主な	は活動領	実績					事業	費計	支県国	出金	地方信		その他	一般財源
<b>&lt;事業の目的</b> 居字において	I <b>&gt;</b> 養護を受けることが困	難か高齢		老人福	畐祉法第 ∖ホーム ĕ荘に34	511条に	基づき	、要(	呆護老人 年2日ま	を養田左	Ī	R 3 計画	10	)3, 689					16, 340	87, 34
者を公の責任の安定を確保	において養護し、高齢	者の生活	R3	で常第	とボ こ34 英荘に34	人、三	国寮に	16名を	措置し	ている	ì	当初予算	10	3, 785					16, 340	87, 44
の女足を催休	y 3.			0							à	夬 算 額	<b>1</b> 7	78, 958					15, 524	63, 43
											F	R 4 計画	10	3, 689					16, 340	87, 34
			R4								ì	当初予算	Į (	95, 330					15, 294	80, 03
											à	夬 算 額	Į							
											F	R 5 計画	10	3, 689					16, 340	87, 34
			R5								Ì	当初予算	Ī							
	度の取組内容(計画) >										à	夬 算 額	Ę							
議で措置の適る	所判定審査票を基に入 否を判断しますが、事	前に本人									F	R 6計画	10	3, 689					16, 340	87, 34
、家族、ケア <sup>-</sup> でケース会議	マネ、民生委員及び関 を開催し、他に利用で	係機関等 きる支援	R6								È	当初予算	<u> </u>							
や施設はない	か検討する。										à	夬 算 額	Į							
											F	R 7 計画	1 10	3, 689					16, 340	87, 34
			R7								È	当初予算	Ī							
											à	夬 算 額	Į							
											ā	計画額	5	18, 445					81, 700	436, 74
					R3	~	R7 €	合 計			È	当初予算	19	99, 115					31, 634	167, 48
											à	夬 算 額	Į 7	78, 958					15, 524	63, 43
(加田以下まります。)	V 1988 1 7 W.		R7		R3	~	R7 €	숙 計			F 3	R 7 計画 当初予第 決 算 額 計 画 額	1 10 1 10 1 5 1 51 1 19	18, 445 99, 115					81, 700 31, 634	
$\overline{}$	評価指標名	指	悪値の	)説明(	算出方法	法等)		各計	画指標	I <sub>R 2</sub>	実績	値 単位	達成原	ŧ	R3	R4		R5	R6	R7
	- 124 K. H	,,,,,				/				+	> \10K	施	目標信		2	<u> </u>	2	2		2
C 1 利用施	設数	市内施設	数						総合戦			2 設	実績		2		_		<u> </u>	1
活								V	個別計	画		%	達成	率	100.0					
動		1							総合戦	14			目標信	直						1

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R 2 実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦闘	ķ	施	目標値	2	2		2	2 2
С	1 利用施設数	市内施設数	個別計画	2	<b>⇒.</b> m.	実績値	2				
活				4	%	達成率	100.0				
動指			総合戦闘	<u>\$</u>		目標値					
標	2 _		┃	31		実績値					
				1	%	達成率					
			□ 総合計画	1		目標値					
P	1 —		総合戦略	各		実績値					
成果			□ 個別計画	1	%	達成率					
指			総合計画			目標値					
標	2 —		総合戦略	1	0.4	実績値					
			□ 個別計画	11	%	達成率					
E	評価対象外の理由 0 評価対	象						(	対象外事	業はF~I根	未記入 可)
			一次	評価 (係:	長)	二次評価	(課長等)				
		評価項目/5つの視点(1~5点で					評価.	点 評価	点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているか	)\	1 → 2 → なっていない		→ 4 → 5 なっている	- 3	点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか	、(同じ成果指標設定事業内での優先度)		1 → 2 → 優先度低い	→ 3 - ⇒	→ 4 → 5 優先度高い		点	ľ	3 点	
	3. 事業計画どおりに事業を進め			1 → 2 →	3 -			点	-	3 点	
価	, , , , , , , , , , , , , , , , ,			できなかった 1 → 2 →		できた → 4 → 5			-		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計	画どおり推移しているか	推	移していない	⇒	推移した	- 3	点	12 点	3 点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計	h画どおり推移しているか	_	1 → 2 → 移していない		→ 4 → 5 推移した	_	点	/25点	—— 点	∕25点
	- G 【担当係長の意見・i	課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	i	H 【担	当課長	職等の所見	※評価	・改善策等	等を踏ま	えた課長職等	の所見
けて		り、身寄りがなく自力で暮らせない等家庭 して、今後も必要に応じて養護老人ホーム	への入所措 生		いくこ	ことが困難な	高齢者等	に対して、		で暮らせない応じて養護	

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

4	業番号	枝番		(令和	o 3	年度	計画		合計画実	施計画	書(兼	進揚	步管	理)									(様式 1
	54001	1		•		年度						— Б	調	#	課局	名	高虧	者福祉	:課	係名	i いきい	ハき	高齢者
事	業	老人施設管	管理	事業				細事業	高齢者福祉施	i 設管理事	業		美	施計画		青川高歯 委託事業		活福祉	センタ	一指定		終了 年度	なし
A -1		計画体系図				=1111 A	- rh+r	1.5 H (6.1	. 1. 1.				* 1 :	/ 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기	面ななが	第8期介	.⇒#	A == .					
会計	一般				-	福祉社会(		と日指す	まり			個	保険	事業計画	画						<b>と出名称</b> ンター指定		当初予算
款	3		_			社の充実		フナ ナウ-	h-7			計-	期間	R3	年度 ~	R5	年度	管理委	托料				6, 4
項	2 5	施策展				・地域包		-		Π -	7D+**	画名	#0 BB		-								
月 決算			10年	計画	44	Р	迎以	村画	総合戦略	<u> </u>	コロナ充当		期間		年度 ~		年度						
仄异	61	A 事業目	的・	内容·	実制	ŧ							_ <u>E</u>	3 事業	計画額	・決算を	事						
		事業の目	目的。	と内容			年度		主な氵	舌動実績					事	業費計		±	I al	財源内			単位:千円
<1	事業の目	的>					反	   清    高	命者生活福祉セ	ハンターム	つば茄笠を	> 曹	┪┝	0 =1 =	=	0.400		支出金	地	方債	その他	+	一般財派
劣悪	な住宅	環境や高齢 生活には不	によ	る身体	本虚弱	弱等のた *の思り	D0	後大野市	<b>卜社会福祉協議</b>	会に指定	管理者とし	て	ΙĿ	マ3計画	_	6, 400	-					12	6, 35
	とは自然	分でできる					КЗ	月末現在	高齢者に住居 Eで入居者は4.	を 挺供し 人であった	/に。 TJ /N14 た。	4-3	I⊢	当初予算		6, 400					- 2	28	6, 37
平	成31年月	度~令和3年	年度	までの	3年間	1、豊後	_						┨┝	央 算 客	_	6, 400	1						6, 40
	巾住会f ている。	<b>福祉協議会</b>	;(⊆ti	正官均	里有と	さして指	D.4						ΙĿ	2 4 計画	_	6, 400					4	12	6, 3
							R4						I⊢	当初予算		6, 400							6, 40
							_						┨┝	<b>央算</b> 客	-								
							DE						I⊢	マ 5 計画		6, 400					4	12	6, 35
	\ T= 0 #	- 古 0 玉 40 -		(=1 <del></del> )			R5						I⊢	当初予算									
		<b>■度の取組</b> Ⅰ 业施設管理				· 機器	_						┨┝	<b>央算</b> 客	-								
等の	更新及(	び修繕等 たの更新等			D BX III.	1 1/24 HH							I⊢	マ 6 計画		6, 400					4	12	6, 35
<ul><li>指</li></ul>	定管理料	斗の年度協	定統	結			R6						ΙĿ	当初予算	_								
		斗の支払 び負担金徴	収等	に関す	トる事	孫	_						<b>-</b> I⊢	央 算 客	-								
													۱Ŀ	マフ計画	-	6, 400					4	12	6, 35
							R7						ΙĿ	当初予算	_								
													┩┝	<b>央 算 客</b>	_							+	
													ΙĖ	计画客	-	32, 000					21	-	31, 79
									R3 ~ R	/ 合言	ř		I⊢	当初予算	_	12,800					- 2	28	12, 77
													5	央 算 客	迫	6, 400							6, 40
		評価指	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			+6-	<b>価</b> 体α		出方法等)	l de	計画指標	I D 0	中往	* 24.4-	本式	<b>#</b>	R3	R	4	R5	R6		<b>D</b> 7
		a T I J J B 1	IN T		$\dashv$	181	ᆙ	・ルレ・ツコ (昇	<b>—</b> ///ДЧ/	1			<b>◇</b> ·根Ⅱ	- + 12	目標				•	110	INU		R/
c	1 —										総合戦略				実績								<del>                                     </del>
活											個別計画			%	達成								
動					十					$\Box$	総合戦略				目標	値							
指標	2 _														実績	値							
											個別計画			%	達成	率							
											総合計画				目標	値							
D	1 —										総合戦略				実績	値							
成											個別計画			%	達成								
果指											総合計画				目標								
標	2 —										総合戦略				実績								
											個別計画			%	達成	率							<u> </u>
Е	評価文	対象外の理	ф	○並ん	II 74.4	<b>4</b>													( \$	・	* / · · · · · · ·	増二	未記入 可

E	評価対象外の理由 ()評価対象			(对家外事	·業はF~I布	未記人 可)
	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの発点(1~9点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
ТШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—— 点	9 点	—— 点	9点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—— 点	/25点	点 —	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
家族の援助が困難な状況で、独立した生活に不安のある高齢者に対して、今後も居宅を提供することにより、福祉の増進を図る。	家族の援助が困難な状況で、独立した生活に不安のある高齢者に対して、居宅を提供し福祉の増進を図っており、地域の高齢者を守っていくうえで必要な事業である。。

I 令和5年度の事業の方向性

### ### ### ### ### ### ### ### ### ##			_		施計画書 (兼					الحاجب	( <del>                                     </del>	am			(様式 1
### 2	54001 2 (令和 3 年)	<b>艾 決 </b>	事		栗 評	曲	調	課	局名	局断	者福祉	課	係名	いきいき	き高齢者の
放	事 業 老人施設管理事業		細事業	高齢者福祉施	設管理事業		実施計	画事業			活福祉も	<b>ミンター</b>	指定管理		
株式		- 今の宝	目を日指す	まち		老	人福祉計	·画及で	ド第8期介	護	会和 3	午度 :	主か能出	夕称	<b>当</b> 初予管数
理 2			<u>де піп ў</u>			個保	<b> 険事業計</b>	画			犬飼高調	合者生活和			8, 20
日   5   検視基本計画   44 P   過越計画   動会戦略   コロケ虫   4   対流内状   (保位・千円   東京の目的)と内容   方   東京の目的と内容   方   東京の目的と内容   方   東京の目的との内容   方   東京の目的との内容   方   東京の目的との内容   方   東京の目的との人が表現   東京の日の日本の   方   東京の日の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	The state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the s		アを充実す	トる		計—	Ко		Νō		官埋安計	七科			-,
A 事業目的・内容・実施		_			コロナ充当	夕	間	年度	~	年度					
本事の目的と内容   在	1	午					B專類			独等		財	源内訳	(	単位:千円
#200				主な活	動実績			事	業費計	国県	支出金:				一般財源
8月   10   12   13   14   15   15   15   15   15   15   15	<b>&lt;事業の目的&gt;</b> お悪な住宅環境や高齢による身体虚弱等の	た	犬飼高齢 豊後大野	諸生活福祉セ 市社会福祉協	ンターふれあい荘 議会に指定管理者	等を とし	R 3計	画	8, 200					28	8, 17
20	め自立した生活には不安があるが、身の周	り R3	て指定し	、高齢者に住	居を提供した。令		当初予	算	8, 200					42	8, 15
R 4	する。		371 A 961.	エくハ台名は0	/ ( W ) / L 。		決 算	額	8, 200					48	8, 15
R4   当当予第   8,200   99   8,10     R5   R6   R6   R7     R6   R7   R7   R8   R8   R8     R7   R8   R8   R8   R8   R8     R7   R8   R8   R8   R8   R8   R8     R8   R8	大野市社会福祉協議会に指定管理者として						R 4計	画	8, 200					28	8, 17
R5   R5 計画 8,200   28 8,17   当初予算   注 類	EU (VIS)	R4					当初予	算	8, 200					96	8, 10
R5							決 算	額							
本の							R 5計	画	8, 200					28	8, 17
- 高齢者福祉施設管理計画による設備・機器 内容		R5													
Ro		90													
指定管理科の年度協定   接合報路   大導	等の更新及び修繕等								8, 200					28	8, 17
R7   R7   R7   R7   R7   R7   R7   R7	<ul><li>指定管理料の年度協定締結</li></ul>	R6													
Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch   Branch		_					<u> </u>								
大字 報									8, 200					28	8, 17
計画 額 41,000		R7													
R3 ~ R7 合 計   当初予算   16,400		_					*****								
決算額   8,200   48   8,16     決算額   8,200   48   8,16     計標値の説明(算出方法等)   各計画指標   R 2 実績値   単位   達成度   R3   R4   R5   R6   R7				-0 -						1					
評価指標名 指標値の説明(算出方法等)   各計画指標 R2実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R6 R7				R3 ~ R.	合計		<u> </u>			1					
C     1 -     一     2 -     日標値 字積値 字積値 字積値 字積値 字積値 字積値 字積値 字積値 字積値 字積							决 昇	頟	8, 200					48	8, 15
C     1 —     実績値	評価指標名	指標値	の説明(算)	出方法等)	各計画指標	R 2 実	€績値 単位	達月	成度	R3	R4	1	R5	R6	R7
B  B  B  B  B  B  B  B  B  B  B  B  B					総合戦闘	Š		目相	票値						
Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family   Family	<b>C</b> 1 -				個別計画	ī		実績	責値						
指標     2 -     一個別計画     字積值     字積值       96 達成率     一個別計画     96 達成率     目標值       0 成果指標     2 -     一級合計画     目標值       2 -     一級合計画     日標值       2 -     一級合計画     日標值       2 -     一級合計画     日標值       2 -     一級合計画     日標值       2 -     一級合計画     日標值	活					1	%	_							
	指				□ 総合戦闘	š									
D     1 —       成果指標     2 —         総合計画     実績値       一級合計画     1 標値       一級合計画     1 標値       実績値     1 総合計画       実績値     1 未分割	標   2 —				□ 個別計画	ū	04								
D     1 —     総合戦略     実績値       成果指標     2 —     総合戦略     目標値       総合戦略     実績値     実績値					□ 総会計画	ī	9/0	+							1
	<del>                                     </del>														
	D   1 -				- ***		04								1
					個別計画	Ī	90								
□ 個別計画 % 達成率	成					+	90	_							
<u> </u>	成 思 罪				□ 総合計画	ī	90	目相	票値						

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & r$	3 点		3 点	
ТШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$		9 点	— 点	9点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	点 —	∕25点	点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	Н	【担当課長職等
家族の援助が困難な状況で、独立した生活に不安のある高齢者に対して、今後も居宅を提供することにより、福祉の増進を図る。	家族の技	爰助が困難な状 冨祉の増進を図

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 家族の援助が困難な状況で、独立した生活に不安のある高齢者に対して、居宅を 提供し福祉の増進を図っており、地域の高齢者を守るうえで必要な事業である。

-	事業番号 54001	<b>枝番</b>	· ·-	和 3 年度 i 和 3 年度 i		_	総合計 事			画書( <b>)</b> き 評	<b>東進</b>		管理 調	里) 書	課局名		高齢者	音福祉	課(	系名し	いきいき	(様式1) 三高齢者係
事	業	老人施設	管理事業			細事業	高齢者	者福祉施	設管理	里事業			実別	拖計画	事業 朝地	地憩い	の村指	定管理	<b> </b> 委託事業	•	終了年度	
会計款項目		施施策展	<b>策</b> 4 高	かな福祉社会の 齢者福祉の充実 護予防・地域包	括ケ		きする	総合戦略		コロナ充当	一 語	固別計画を	:険事	業計画 R3		R5 :	1 -		年度 主:			当初予算額 6,400
決算		▲ 事業目	的・内容	<u> </u>		 							В	<b>東章</b>	計画額・流	+ 筆類						
	,		目的と内容		年度			主な活	5動実	績				<del></del>	事業費	計	国県支	出金	財派地方債	内訳	の他	単位:千円)
/ 劣悪	事業の目1 な住宅環	<b>的&gt;</b> 環境や高齢	による身を	体虚弱等のた		朝地憩祉協議	いの村原 会に指定	居住部門 定管理者	等を豊として	豊後大野市神 に指定し、高	士会补 5齢ネ	畐	R:	3 計画	6	, 400					70	6, 330
め自のこ	立した生とは自分	上活に は不	安がある	が、身の周り に住居を提供	R3	に住居		した。令		3月末現在			当	初予算	6	, 400					70	6, 330
	成31年度			03年間、豊後		10.27		-0					_	算額		, 400						6, 400
	F市社会権 ノている。		に指定管:	理者として指	D.4								_	4 計画	-	, 400					70	6, 330
					R4								-	初予算 算 額	-	, 400						6, 400
												$\dashv$	_	身 <sup>磁</sup> 5計画	_	, 400					70	6, 330
					R5								_	初予算		, 400					70	0, 550
<	令和3年	度の取組	内容(計画	·) >									-	算額								
	齢者福祉		計画によ	る設備・機器									R	6 計画	<u> </u>	, 400					70	6, 330
<ul><li>指</li></ul>	定管理先	たの更新等 その年度協			R6								当	初予算	Ĭ							
<ul><li>指</li></ul>	定管理料	1の支払	収等に関っ	する 重終									決	算 額	Į.							
,	近泊及り	/ 只 這 亚 因	(4人寸(二))	) の手切									R	7 計画	6	, 400					70	6, 330
					R7								当	初予算	Ĭ							
													<u> </u>	算額								
							- •							画額		, 000					350	31, 650
							R3	~ R	/ 合	計				初予算 算 額		, 800					70	12, 730 6, 400
	T	=37; 1·m +1···	<del></del>	100		.54 OP /*	<b>∝</b> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	out \		<b>∂</b> =1, <del>       </del>	. 1.						Da.			) 	DC.	
		評価指	<b>標名</b>	指	崇値の	説明(算	异出万法	:寺)	+	各計画指標	T	₹2美	〔積値	単位	達成度目標値	1	R3	R4		R5	R6	R/
С	1 —									○ 総合戦				}	実績値							
活										個別計	画		ŀ	%	達成率							†
動指										□ 総合戦	略				目標値							
標	2 —									□ 個別計					実績値							
<u> </u>									_					%	達成率	<u> </u>						<u> </u>
1	1			1						総合計	画				目標値			l				1

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度目標値	R3	R4 R	5 R6	R7
C 活	1 —		□ 個別計[		%	実績値				
動指標	2 _		□ 総合戦 □ 個別計			目標値				
D	1 —		□ 総合計[ □ 総合戦		%	達成率 目標値 実績値				
成果指標	2 —		□ 個別計[□ 総合計]□ 総合戦	1	%	達成率 目標値 実績値				
E	評価対象外の理由 0評価対	象	□ 個別計圓	<u> </u>	%	達成率		(対象外	事業はF~I柞	未記入 可)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	評価)				一次評· 評価点	価(係長) 評価点合記	二次評価 計 評価点	(課長等) 評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているだ	5\	1 → 2 → なっていない		→ 4 → 5 なっている	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか	(同じ成果指標設定事業内での優先度)		優先度低い	⇒	→ 4 → 5 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進め	ることができたか		できなかった	⇒	→ 4 → 5 できた	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計	-画どおり推移しているか		移していない	⇒	→ 4 → 5 推移した	—— 点	9 点	— 点	9点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計	画どおり推移しているか	<u> </u>	1 → 2 → 移していない		→ 4 → 5 推移した	—— 点	/25	点 — 点	∕25点
家族	=	果題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 た生活に不安のある高齢者に対して、今後		H 【担 族の援助が		職等の所見】			まえた課長職等	

I 令和 5 年度の事業の方向性

	業番号 54001	<b>枝番</b>		和 3 年度1		_		を計画書(兼 ・業 評	進列	步管 調	埋 <i>)</i> 書	課局	高名	高齢	者福祉	課	係名	いきい		<b>様式 1</b> )  5齢者傷
			管理事業			細事業	高齢者福祉施調				<b>上</b> 『施計画	ㅡ	生活支援					終年	7	なし
			No.→ ( 148					1		-tz [ -t	교신하고	ロロンド	なom A	±#.					I	
会計	一般	政		豊かな福祉社会の		見を目指す	「まち		個別	保険	事業計画	町	第8期介			年度 主			当社	初予算額
款項	3	施策原		齢者福祉の充実 護予防・地域包		アた女字	+ z		計	期間	R3	年度 ~	R5	年度		いの村改修 のば苑ボイ				8, 03
月目	5		基本計画	1 =		東計画	タ 総合戦略	コロナ充当	画名	期間		年度 ~		年度	請負費 犬飼高齢	命者生活福				7, 70
決算	61	12.79	<b>坐</b> 本 们 凹	44 -	No Pi	本口凹				79][1]		+0.		+100	工事請負	1費				1, 41
7 1 71		A 事業	目的・内容	・実績	· .	1				٦.	事業	十画額	・決算額	<b>等</b>		R-I	%F ch =0	1	( HK /-	- TM
		事業の	目的と内容	\$	年度		主な活	動実績				事	業費計	国県	支出金		源内訳	<u>:</u> その他	_	z:千円) ·般財源
<	業の目	的>	h. (955:	玉\		生活支持	爰ハウス改修工	事、朝地憩いの村	<b></b>	F	₹3計画	ī	17, 543	山水	<u>ДШж</u>	برا دری۔		( 0)	+-	17, 54
伴う:	施設設備	前の更新.	工事等を行	所)の老朽化に ∵い、入居者の	R3	上事、	ス詞局齢者生活を みつば苑ボイラー	冨祉センター改修 −取替え工事、清 改修工事を行った。	⊥事 川高	11	当初予算		17, 543						1	17, 54
女生	及び施設	マの長寿	命化を図る	0		齢者生活	古福祉センターに	<b>攻修工事を行った</b> 。		I⊢	と 算 額	-	16, 913							16, 91
										F	R 4 計画	Ū.	17, 543							17, 54
					R4					놸	当初予算	Ī	34, 620		13, 000					21, 620
										Ħ	と 算 額	Ę								
										F	R 5 計画	Ī	17, 543							17, 54
					R5					븰	当初予算	Ī								
			日内容(計画							Ħ	と 算 額	Į								
	の長寿命 事を行う		め計画的な	施設設備の更						F	₹6計画	Ī	17, 543							17, 54
					R6					븰	当初予算	Ι								
										Ħ	中 算 額	Į								
										F	R 7 計画	Ī	17, 543							17, 543
					R7					Ⅱ	当初予算	+								
											と 算 額									
								۵ =۱		ΙĿ	+ 画 額		87, 715							87, 71
							R3 ~ R7	合 計		I⊢	当初予算	-	52, 163		13,000					39, 16
										Э	と 算 額	Į	16, 913							16, 91
			17.6								.Iwa	and D					-			
$\rightarrow$		評価打	標名	指	<b>漂値</b> σ	い訳明(第	[出方法等)	各計画指標	R 2	美績値	■ 単位			R3	R4	+	R5	R6	_	R7
c	1 —							□ 総合戦略	Š			目標 実績				-+				
活								□ 個別計画	Ī		%	達成								
動									2		1	目標								
指標	2 _							総合戦略				実績	値							-
								□ 個別計画			%	達成	率							-
								□ 総合計画	Ī			目標	値							
D	1 —							□ 総合戦略				実績								
成果								個別計画	-		%	達成							_	
指	0							総合計画			] }	目標							_	
標	2 —							総合戦略			0/	実績							-	
								□ 個別計画	1		%	達成	华							

E	評価対象外の理由 0評価対象			(対象外事	業は <b>F~I</b> 欄	未記入 可)
	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの代点(1~9点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline                                  $	3 点		2 点	
100	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—— 点	9 点	点	9点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	点	/25点	点	∕25点

						性物していない	_	性がした				
	•											
	G	【担当係長の意見	・課題・改善策等】	※今後の事業の進め方等	等	H 【担	当課長	職等の所見】	※評価・改	善策等を踏ま	えた課長職等	の所見
って	者生活福祉 いる。令和 寿命化を図	2年度に策定した。	の老朽化が進んで 高齢者福祉施設管理! 的な修繕等を行って	計画により、入居者の安	全及び施設	高齢者生活福 必要になって 者の安全及び が、財政的な	いる。 施設の	令和2年度に 長寿命化を図	策定した高齢  るため、今	後計画的な修	管理計画によ	り、入居

I 令和 5 年度の事業の方向性

400

200

200

188

200

200

200

200

200

1,000

400

188

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 \_ こども支援係 課局名 (令和 3 年度決算) 事 価 56005 1 務 子育て支援課 係名 子育て支援従事者スキルアップ事業委 託事業 児童福祉事務費 事 業 児童福祉総務事業 細事業 実施計画事業 総合計画体系図No.→ ( 134 第3次豊後大野市子ども・子 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 育て支援事業計画 別計 期間 R2 年度 ~ 款 策 3 結婚・出産・子育て支援の充実 年度 3 R6 項 3 施策展開 ②保育サービスを充実する 画 名 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 42 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 決算 63 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 子どもを安心して育てることができる体制を 整備するため、子育て支援従事者のサービス の質の向上研修を実施する。 子育で支援従事者のスキルアップを図るため の研修を実施した。《放課後児童支援員資質 向上研修(4回開催、98人参加)、保育の質の向 R 3 計画 400 R3 当初予算 200 400 上研修(1回開催、83人参加)》 決 算 額 375 187 R 4 計画 400 200 R4 当初予算 400 200 決 算 額 R 5 計画 400 200 R5 当初予算

決 算 額

R6計画

当初予算 決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

200

200

1,000

400

187

400

400

2,000

800

375

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		□	目標値	2	2	2	2	2
С	1 研修開催	研修を開催した回数	□ 個別計画	1	Ш	実績値	3				
活			▶ 個別計画		%	達成率	150.0				
動指標			│ │ │ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		Į.	目標値	200	200	200	200	
D	1 参加人数	研修会への参加人数	□ 総合戦略	215	八	実績値	181				
成			✔ 個別計画		%	達成率	90. 5				
成果指標		Familia and a San San San San San San San San San S	□ 総合計画		%	目標値	70	70	70	70	70
標	2 研修内容の理解度	「理解できた」「だいたい理解できた」 と回答した人数/参加人数	□ 総合戦略	71. 6	70	実績値	75. 5				
			✔ 個別計画		%	達成率	107. 9				
Е	評価対象外の理由 () 評価							(\$	対象外事業に	ţ <b>F~Ⅰ欄</b> ≉	₹記入 可)

R3 ~ R7 合 計

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点  $\rightarrow$  2  $\rightarrow$  3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか なっている なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 3点 評 優先度低い 優先度高い 2 3 - 4 5

3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 19 点 5点 19点 推移していない ⇒ 推移した 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 4点 /25点 /25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 子育で支援従事者の資質向上のための研修を、教育保育協議会及び放課後児童 クラブ連絡協議会に委託して行い、一定の成果を上げている。 今後においては、研修内容を更に検討し理解度を上げていくよう努めなければ ならない。 令和3年度はコロナ禍での研修であったため、参加人数に制限をかけたことから、目標 人数を下回った。 研修内容についての理解度は目標を達成できたが、研修内容を検討し、さらに理解度を 上げていく必要がある。

令和5年度の事業の方向性

<令和3年度の取組内容(計画)>

子育て支援従事者の質の向上を図ることを目 的に開催する研修会等を実施する事業者に委

R6

R7

420

4	業番	号	枝番	i	(	令和	1 3	£	F <b>15</b>	E I	H	画	)		総	:合	i fi	十直	۹ ا	実力	施	計	画	ī	ŧ	()	ŧi	焦扎	步作	音:	理)												(梼	(1 )
	5600	5	3		(	令和	3	£	卢度	Εż	夬	算	)		事		₹.	务		事		ヺ	ŧ		評		佃	ī	i	周	書	i	課局名		子育	育て支	泛援	課	係	名	,	どど	も支	援係
事	業	J	見童福	祉総利	务事	業					٦		細	事業	ŧ	児	宣	福祉	止事	事務	費									実	施計画	事	業保育	所等	<b>等業</b> 種	努効率	化拊	進事	業補足	<b></b>	業	終年		なし
			画体系	図No			)				Ξ										_	_					7 F	- 1	fata -		ulla co. I i		I 12:	_										
会計	-	般	政	策	Ι	[ 豊	かな	留社	上社:	会0	り争	ミ現	を	目扌	旨す	ま	ち											個			豊後大! を援事業			ь·	子			年度					当初	]予算額
款	3		施	策	3	結如	出・者	達	· 子	-育	て	支	爰0	)充	実												11	別計	期間	間	R2 4	年度	~ R	6	年度	保育金	) 所等	業務多	<b>効率化</b>	推進	<b>事</b> 莱祖	助		2, 430
項	3		施策	展開	2	保育	゙゙゙゙゙サー	٠Ľ	スを	: 充	実	する	5															画																
目	1		後	胡基本	計	画	42	Ρ	[		j	過政	計	画				総合	単	略					ナ弁	色当		名	期間	間	4	年度	~		年度									
決算	63		集事	4	- 1	h sia																								_	事業計	上面	795 . 2h	***	5 4ds									
											Τ	年					_													↱	<u> </u>	Ì			R W				財源	内訳			(単位	: 千円)
			事業(	の目的	اع	内容						叓							主	な記	与動	実	績										事業費	計	国県	支出	金	地フ	5債	T	その作	也		般財源
タ.様	事業の	D目的 育霊	<b>5&gt;</b> 要に対	t広す	スナ	= xh	恝7	2	Ji d	<u> </u>	Γ		保テ	育	所令	い かん	おし	いて	CI	CTを //4兄	と活	開	し; 生(	た。	業務	5支	接流	ノス 3 程		R	3計画	Ī	3,	090		1,9	60			Т				1, 130
園等	や症	後児	保育が	一設に	おい	ντİ	CT1Ł	を	<b>催進</b>	L	Ţ	3	育	施	で (	3カ	派)	) »°		\\	Ħ,	フリマ	于(.	1//	*1711)	, ;	カトリン	LIN		当	初予算	Ε	2,	430		1,5	20			1				910
整備	を行	きる。		. 月 乀	S) (	/.	)4 (° 8	4 6	垛り	권	l																			決	: 算額	į	1, 2	260		8	40			1				420
											r						_				_	_	_							R	4計画	ī	3, 0	000		2, 0	00			1				1,000
											ļ	R4																		当	初予算	Ε	3, 0	000		2, 0	00			1				1,000
											l																			決	: 算額	į								+				
											r						_				_	_	_							R	5計画	ī	3.	000		2, 0	00			+				1,000
											b	35																		当	初予算	[								$\top$				
<-	令和	3 年)	度の取	組内	字(言	計画)	>				l																			決	算額	1								+				
• 私	立認	定こ	ども園	のIC	T等	を活	用し			シ	H						_				_	_	_							R	6計画	ī	3	000		2, 0	00			+				1,000
• 私	立保	育所	に係る 等が実	施す	る石	肝修る	シオン	/ラ	イン		١,	R6																		┡	初予算	+	0,	-		2,0	00			+				1,000
で受経費	講で	きるし補	環境を助する	つく	るた	こめに	こ必要	اع ق	なる	5	ľ																				等額	+					-			+				
	後児	施設	の業務		テノ	ゝ導え	人に存	そる	経費	ř	H		-																-	Ë	7計画	-	2 1	000		2, 0	00			+				1,000
(-)	U THI	ショソ	ه له.								,	R7																		<u> </u>	初予算	_	٥, ١	ouu		۷, 0	VV			+				1,000
											ľ	1																		⊩		+					-			+				
											F								_					_					4	⊢	算額	+					0.0			+				F 100
1																														計	画 額	Į	15,	090	1	9, 9	60			1			l	5, 130

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		カュ	目標値	5				
С	1 事業対象となる施設	補助金対象施設数		1	所	実績値	4				
活					%	達成率	80.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		か	目標値	5				
D	1 補助金対象施設件数	補助金件数	□ 総合戦略	1	所	実績値	4				
成			✔ 個別計画		%	達成率	80.0				
成果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

当初予算

決 算 額

5, 430

1,260

3,520

840

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	19 点	4点	19点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 保育所等に欠席の連絡や保護者への連絡などを行うことのできるソフトの導入や、病児保育のネット予約ができるシステムの導入により業務の効率化を図ることができた。病児保育のICT化は、令和3年度ですべての施設に導入済みとなったため、今後は、保育所等のICT化のみとなる。 病児保育について、令和3年10月から広域化・ICT化を行い、県内全域で利用しやすいシステムとなり、忙しい保護者にとって一定の成果を上げている。 今後においては、保育所等のICT化導入を支援して、保護者及び事務の軽減を図るために工夫を凝らしたシステム導入に努めていかなければならない。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

事業番号	枝番 ( 令和	3 年度!	計 画	) 総	合計画実施	計画書(兼	進捗	管理	)								(様式 1)
56005	4 (令和	3 年度 2	夬 算	事	務事	業が評し	6 i	調	書	課局名	子育	育て支援	課	係名	<b>ن</b> ک	ども	支援係
事 業	児童福祉総務事業			細事業	児童福祉事務費			実施	計画	事業 認可外 助事業	保育旅	<b>西設衛生</b>	<ul><li>安全</li></ul>	対策事		終了 年度	R7
総合 総合 総合	計画体系図No.→ ( 136 政 策 Ⅱ 豊力	) ^な福祉社会の	の実現	を目指す	まち					野市子ども	・子	令和 3	4 年度	主な説	战出名称	<u>ग</u>	<b>á初予算</b> 額
款 3		・出産・子育					別期	て支援 間 R:	養事業 2		年度		呆育施記		安全対策事		2
項 3	施策展開 ②保育	サービスを充	実す	る			画画					JK 1111-74	12.				
<b>1</b>	後期基本計画 4	2 P	過四	東計画	総合戦略	□ コロナ充当	名期	間		年度 ~	年度						
<b>夬算</b> 63	A 事業目的・内容・	実績						в∎	1章1	画額・決算	類等						
	事業の目的と内容	~12	年		主な活』	加宝结			- A-H	事業費計				財源内	訳	(単	位:千円)
<事業の目	<b>м</b> \		度				<b>z</b> ∃0.				国県	支出金	地刀	<b>与债</b>	その他	-	一般財源
多様な保育課	需要に対応するために	認可外保育	D.O.	断を実施	値するために必要	る未就学児に健康 ことなる経費に対し		R 3				10					1
ができる環境	て、子どもを安心して 竟を整備する。	日くのここ	К3	助した。	《実施施設1かり	۶۱ <i>۱</i> //		当初			-	10				-	1
							_	決 ş R 4	-	_	-	10				-	1
			R4					当初			-	10					
			Ν4					決第			,	12					
			_				_	R 5		-	1	10				+	1
			R5					当初				10					
<令和3年	度の取組内容(計画)	>						決 第									
忍可外保育的	施設を利用する未就学	児に対する						R 6	計画	Ī 20	)	10					1
<sup>建康</sup> 砂断をま 甫助する。	E施するために必要と	なる経質を	R6					当初	予算	Ε							
								決り	草額	Į							
								R 7	計画	Ī 20	)	10					1
			R7					当初	予算	Ī							
								決爭	草額	Į							
								計画	画額	100	)	50					5
					R3 ~ R7	合 計		当初	予算	40	)	22					1
								決り	章 額	20	)	10					1
<u> </u>		1				T = 1 = 1 = 1 = 1			T	nt 5 to 1							
$\rightarrow$	評価指標名	1百1	崇100	) 説明(昇	出方法等)	各計画指標				達成度 目標値	R3	R	1	R5	R6	1	R7
C   1 事業女	対象となる施設	補助金対	象施言	少数		総合戦略			かり	実績値		1	1		1	1	
1.70	1 sk C · s O //Elix	1111-23 35 71	5)	~ 2/		✔ 個別計画			%	達成率	100	_					
活 動 指						□ 総合戦略				目標値							
標 2 —						個別計画				実績値							
							<u> </u>		%	達成率							
_						総合計画			か	目標値		1	1		1	1	
D 1 補助何	牛数	補助金件	数			総合戦略		_ F	所	実績値		1	_			_	
成 果						✓ 個別計画		+	%	達成率 目標値	100	. 0	_			-	
指 2 —						総合計画 総合戦略			}	実績値			-				
12K						□ 個別計画		-	%	達成率		+					
							ı			• •					1		

 $\Rightarrow$ 

評価項目/5つの視点(1~5点で評価)

1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

認可外保育施設を利用する未就学児に対する健康診断を実施することで、安心して子どもを育てることのできる環境を整備することができた。

令和5年度の事業の方向性

2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)

3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか

4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

評

価

一次評価 (係長)

3 点

5点

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 認可外保育施設を利用する未就学児に対して健康診断費用の補助をすることで、安心して子どもを育てることのできる環境を整備することができ、一定の成果を上げている。 今後も引き続き、環境整備に努めなければならない。

 $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 

 $\begin{array}{ccc} x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_{0} & \text{to } x_{0} \\ \hline x_$ 

 $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$   $\mathbb{Q}$ 

A. 現状のまま継続

推移した

推移していない ⇒

1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 評価点 評価点合計

21 点

/25点

二次評価 (課長等)

4点

4 点

5点

4点

21 点

/25点

評価点 評価点合計

当初予算額

(単位:千円)

一般財源

180

30

25

12

247

247

145

250

408

2,400

250

2,500

5,647

655

145

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 \_ こども支援係 課局名 (令和 3 年度決算) 事 子育て支援課 56006 1 務 業 評 価 係名 事 業 児童福祉総務事業 細事業 子ども・子育て支援総務事業 実施計画事業子ども・子育て支援総務事業 総合計画体系図No.→ ( 133 第3次豊後大野市子ども・子 育て支援事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 策 3 結婚・出産・子育て支援の充実 別計 期間 R2 年度 ~ 款 子ども・子育て会議委員報酬 3 年度 R6 項 施策展開 ①子育て支援サービスを充実する 3 画 費用弁償 名 □ 過疎計画 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 42 P 総合戦略 決算 63 託児業務委託料 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額·決算額等 財源内訳 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 〈事業の目的〉 子ども・子育て会議を開催し、支援事業の進 捗状況を確認するとともに、子育て支援の重 要性に対する関心や理解を深め、子育てサー ビスにつながる事業の充実を図る。 子ども・子育て会議を2回開催し、教育・保育 の量や提供体制等について検証・協議した。 R 3 計画 247 R3 当初予算 247 決 算 額 145 R 4 計画 250 R4 当初予算 408 決 算 額

R 5 計画

当初予算

決 算 額

R6計画

当初予算 決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

2,400

250

2,500

5, 647

655

145

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計	画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		地域子ども・子育て支援事業の「量の見		総合戦略		事	目標値	30	30	30	30	30
С	1 地域子ども・子育て支援事 業数値目標の検証	地域子ども・子育て支援事業の「量の見 込み」と「確保方策」を設定しており、 事業が円滑に実施されているか数値目標 の検証が必要である。		個別計画	30	業	実績値	30				
活	New Property of the Paris	の検証が必要である。		间加加計画		%	達成率	100.0				
活動指標				総合戦略			目標値					
標	2 —		_	個別計画			実績値					
				间加引計画		%	達成率					
				総合計画		ы	目標値	2	3	2	2	2
D	1 子ども子育て会議	子ども子育て会議の開催数		総合戦略	2	口	実績値	2				
成				個別計画		%	達成率	100.0				
成果指標				総合計画			目標値					
標	2 —			総合戦略			実績値					
				個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 0 評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1~9点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		4 点	
ПШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	21 点	5点	22 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 「子ども・子育て会議」は、子ども・子育て支援法第77条第1項の規定に基づき設置している機関で、教育・保育の量や提供体制、教育・保育施設の利用定員等に関して意見を聴き、子ども・子育て支援事業計画(キラキラこどもプラン)に反映させている。

R5

R6

R7

<令和3年度の取組内容(計画)>

子ども・子育て会議の開催と地域子ども・子 育て支援事業数値目標の検証

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 【担当課長職等の所見】

「子ども・子育て会議」を開催し、保護者や学識経験者・事業従事者等の意見を聴き、事業数値目標等の検証・協議を行い一定の成果を上げている。 今後においても、子ども・子育て支援事業計画(キラキラこどもプラン)に反映させていくため、教育・保育の量や提供体制等について検証・協議していく必要がある。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 こども支援係 (令和 3 年度決算) 事 子育て支援課 56008 1 務 業 価 係名 事 業 児童福祉総務事業 細事業 ブックスタート支援事業 実施計画事業 ブックスタート支援事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 133 第3次豊後大野市子ども・子 育て支援事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 期間 R2 年度 ~ 別計 款 策 年度 記念品代 360 3 3 結婚・出産・子育て支援の充実 R6 項 施策展開 ①子育て支援サービスを充実する 3 名 □ 過疎計画 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 42 P 総合戦略 決算 63 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 赤ちゃんが生まれた家庭に絵本を贈り、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心触れ合う時間を持つきっかけを作る。 出産祝い品として絵本を136セット贈呈した。 R 3 計画 360 60 60 R3 当初予算 300 360 決 算 額 310 300 10 R 4計画 60 360 300 R4 当初予算 360 300 60 決 算 額 R 5 計画 360 300 60 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 親子の絆づくりを目的に出産祝品として絵本を保護者に贈呈する。 R6計画 360 300 60 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 60 360 300 R7 当初予算 決 算 額 計画額 1,800 1,500 300 R3 ~ R7 合 計 当初予算 720 600 120 決 算 額 310 300 10

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		セッ	目標値	170	170	170	170	170
С	1 絵本購入セット数	絵本購入セット数(年度末)	☑ 個別計画	170		実績値	170				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		セッ	目標値	160	165	165	170	170
D	1 絵本配布セット数	絵本配布セット数	□ 総合戦略	160		実績値	136				
成			✔ 個別計画		%	達成率	85. 0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 ①評価対象
 (対象外事業はF~I欄未記入可)

 一次評価(係長)
 二次評価(課長等)

	₩ ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ±	§項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次許仙	1(休女)	—火計皿	(林女寺)
	高十1µ	1項目/500税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期	待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果	指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることがで	きたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction &                                   $	3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推	移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	16 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推	移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
出生数の減少により令和3年度は136セットの贈呈となったが、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心触れ合う時間を持つきっかけづくりに寄与できた。

出生数の減少により令和3年度は136セットの贈呈となったが、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心触れ合う時間を持つきっかけづくりに寄与できた。

現児家庭全戸訪問の際に保健師が育児指導とともに手渡しており、一定の成果を上げている。
一令後においても、赤ちゃんと保護者が絵本を介して心触れ合う時間のきっかけ作りの支援に努めなければならない。

I 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

900

900

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 こども支援係 子育て支援課 56009 1 (令和 3 年度決算) 事 務 評 価 係名 事 業 児童福祉総務事業 細事業 子育て世帯リフォーム支援事業 実施計画事業 子育て世帯リフォーム支援事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 133 第3次豊後大野市子ども・子 育て支援事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 育て世帯リフォーム支援事業補 期間 R2 年度 ~ 款 年度 3, 300 3 3 結婚・出産・子育て支援の充実 R6 項 施策展開 ①子育て支援サービスを充実する 3 画 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 42 P □ 過疎計画 総合戦略 決算 63 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 子育て世帯の住宅環境の向上や三世代同居による子育て及び世代間支援を図るため、市内の子育て世帯が行う持ち家の改修工事の一部を補助する。 子どものための改修工事等に対し補助した。 《子育て支援型1件、三世代同居支援型2件》 R 3 計画 3,300 1,650 R3 1,650 1,650 当初予算 3,300 決 算 額 1,800 900 R 4 計画 1, 275 2, 550 1, 275 R4 当初予算 3,300 1,650 1,650 決 算 額 R 5計画 1,275 1,275 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 子育て世帯リフォーム支援事業の周知と改修 工事の一部を補助する。 R6計画 2,550 1, 275 1,275 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 2,550 1,275 1,275 R7 当初予算 決 算 額 計画額 13,500 6,750 6,750 3, 300 3, 300 R3 ~ R7 合 計 当初予算 6,600

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	20	20	20	20	20
С	1 相談件数	子育て世帯リフォーム支援事業の相談	☑ 個別計画	18		実績値	13				
活					%	達成率	65. 0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		── ─────個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		件	目標値	5	4	4	4	4
D	1 補助金交付	子育て世帯リフォーム支援事業補助金の 交付件数	□ 総合戦略	3	77	実績値	3				
成		X111176	✓ 個別計画		%	達成率	60.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(「でも点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	16点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 【担当課長職等の所見】 子育て世帯の住宅環境の向上や三世代同居による子育て及び世代間支援を図る とができ、一定の成果を上げている。 今後においては、市民に向けて更に周知を図っていく必要がある。 補助金交付件数が目標5件に対し3件となった。これは、補助金申請前に工事が完了した 申請要件を満たす工事ができないなどの理由で申請しなかったことによるものである。

令和5年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

決 算 額

1,800

900

当初予算額

4, 391

132

20

こども支援係

4	¥番号	枝番	(令和3年度計	画)総	合計画実施	施計画 <b>書</b> (	兼進捗	· <b>管理</b> )					
	56010	1	(令和 3年度決			業評		調書	課局名	子育	育て支援課	係名	2 کا
事	業	児童福祉総務	务事業	細事業	子育てほっと	クーポン活用事	業	実施計画	<b>事業</b> 子育	てほっと	:クーポン活用	事業	á
	総合	計画体系図No	→ ( 133 )		•								
会計	一般	政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の	実現を目指す	まち		個質	第3次豊後大野 第7支援事業	野市子ども 計画	も・子	令和 3 年度	主な歳出	名称
款	3	施策	3 結婚・出産・子育で	で支援の充実			1 1 2 . 1 '		ie ~ R	6 年度	子育てほっとク	ーポン交付	寸金
項	3	施策展開	①子育て支援サービス	を充実する			画				子育てほっとク 守委託料	ーポンシス	ステム保
目	1	後期基本	計画 42 P	過疎計画	□ 総合戦略	□ コロナ充	当名	期間 4	度 ~	年度	消耗品費		

決算 63 通信運搬費 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額·決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 子育て家庭の経済的負担等の軽減を図るとと もに各種子育てサービスなどの利用促進を図 るため、クーポンを配布する。 地域の子育て支援サービスが利用できるク ポンを交付した。《172人、337冊》 R 3計画 4, 548 2, 353 R3 当初予算 2, 195 2,353 4,548 決 算 額 3,603 1,878 1,725 R 4 計画 2, 195 2, 353 4, 548 R4 当初予算 4,537 2, 190 2, 347 決 算 額 R 5計画 2, 195 2,353 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 クーポンの配布と利用のあったクーポンの換 金を行う。 R6計画 4,548 2, 195 2, 353 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 2, 353 4,548 2, 195 R7 当初予算 決 算 額 計画額 22, 740 10,975 11,765 当初予算 4, 385 4,700 R3 ~ R7 合 計 9,085 決 算 額 3,603 1,878 1,725

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		冊	目標値	327	327	327	327	327
С	1 クーポン交付冊数	クーポン交付冊数 (年度末)	☑ 個別計画	327	1111	実績値	337				
活					%	達成率	103. 1				
動指			総合戦略		個	目標値	15	16	16	17	17
	2 利用可能サービスの拡充	利用可能サービス数(令和7年度末)	✓ 個別計画	15	필	実績値	15				
					%	達成率	100.0				
			総合計画		千	目標値	2, 197. 5	2, 197. 5	2, 197. 5	2, 197. 5	2, 197. 5
D	1 クーポン換金額	クーポン換金額 (年度末)	□ 総合戦略	2, 197. 5	円	実績値	3, 447. 5				
成			✔ 個別計画		%	達成率	156. 9				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	21 点	5 点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	/25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和3年度に「おむつ・ミルクの購入」と「産後ケア事業」のサービスを追加した。クーポンの利用実績では、「おむつ・ミルクの購入」が全体の65.2%、「インフルエンザ予防接種」が15.3%を占めた。今後、利用できるサービスや提供者をどう増やしていくかが課題となる。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

大分県が実施している「おおいた子育でほっとクーポン」であり、子育て家庭の経済的負担等の軽減を図ることができ、一定の成果を上げている。 今後においては、利用できるサービスや提供者を更に増やしていくことに努めなければならない。

令和 5 年度の事業の方向性

7, 150

1,000

244

20

426

当初予算額

(単位:千円)

8,000

一般財源

こども支援係

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 子育て支援課 56013 1 務 価 係名 事 業 児童福祉総務事業 細事業 子育て応援券給付事業 実施計画事業 子育て応援券給付事業 総合計画体系図No.→ ( 133 第3次豊後大野市子ども・子 で支援事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 別計 期間 R2 年度 ~ 款 策 子育て応援給付金 3 3 結婚・出産・子育て支援の充実 年度 R6 項 3 施策展開 ①子育て支援サービスを充実する 画 子育て応援券運営業務委託料 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 42 P 過疎計画 総合戦略 決算 63 消耗品費 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 |粉ミルクや授乳関連用品など、子育てに必要 |な用品を購入できる券を発行した。《144人、 |430冊》 <事業の目的> 子育でに必要な川品の購入費川等を補助する ことで子育て家庭の経済的負担を軽減し、市 内で安心して子育てができる環境をつくる。 R 3 計画 8, 426 R3 当初予算 8,426 決 算 額 5, 962 R 4 計画 8, 426 R4 当初予算 8,083 決 算 額 R 5 計画 8,426

426 8,000 5,800 162 426 8,000 7,800 283 8,000 426 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 利川可能川品及びサービスの周知と応援券を R6計画 8, 426 426 8,000 少付する. R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 8,426 8,000 426 R7 当初予算 決 算 額 計画額 42, 130 40,000 2, 130 当初予算 709 R3 ~ R7 合 計 16, 509 15, 800 決 算 額 5,962 5,800 162

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		<u> </u>	目標値	474	474	474	474	474
С	1 応援券交付冊数	応援券交付冊数(年度末)	☑ 個別計画	474	IIII	実績値	430				
活					%	達成率	90.7				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 —		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		千	目標値	4, 561	4, 561	4, 561	4, 561	4, 561
D	1 応援券換金額	応援券換金額(年度末)	□ 総合戦略	4, 561	円	実績値	4,806				
成			✔ 個別計画		%	達成率	105.4				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	4 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	21 点	3 点	22 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	5 点	∕25点	5 点	/25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

応援券の交付冊数は、出生数の減少により目標を達成していないが、保護者からは大変喜ばれている。 合和元年度までは一律2万円だったが、合和2年度から第1子2万円、第2子3万円、第3子4 万円、第4子以降5万円と内容を充実させている。また、応援券を利用できる期間が満1歳までとなっているが、応援券は子育てほっとクーポンと違い、お尻拭きなどのベビー用品の購入に使えるため、現時点で1年という期間の延長を望む声はない。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

市の独自事業として、子育て家庭の経済的負担の軽減に寄与し保護者からの評判も良く、一定の成果を上げている。 今後においても、市内で安心して子育てができるよう、継続して事業に努めなければならない。

令和5年度の事業の方向性

1, 255

253

157

75

649

649

490

840

645

840

840

840

4,009

1,294

490

当初予算額

一般財源

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 家庭支援係 57001 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 子育て支援課 係名 事 業 子ども・子育て支援事業 細事業 要保護児童対策事業 実施計画事業 要保護児童対策事業 総合計画体系図No.→ 第3次豊後大野市子ども 子育て支援事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 別計 款 策 期間 R2 年度 ~ 会計年度任用職員報酬 3 3 結婚・出産・子育て支援の充実 年度 R6 社会保険料(会計年度任用職員分 項 施策展開 ①子育て支援サービスを充実する 3 名 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 42 P 過疎計画 ~ 総合戦略 コロナ充当 決算 64 費用弁償 (会計年度任用職員分) A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 <事業の目的> 児童福祉法に基づき要保護児童対策地域協議 要保護児童対策地域協議会の代表者会議、実務者会議、児相連絡会、ケース会議を行い情報交換、支援方針の見直し等を行った。支援 R 3 計画 1,947 会を設置し、機能強化を図るため、家庭相談 員を配置し専門性を強化し相談業務の実施及 び児童虐待の予防、対策を行う。 R3 当初予算 1, 298 1.947 の実施状況の進行管理と関係機関との連絡調 決 算 額 1,708 1, 218 R 4計画 2, 520 1,680 R4 当初予算 1,933 1, 288 決 算 額

R 5 計画

当初予算

決 算 額

R6計画

当初予算

決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額

計画額

当初予算

決 算 額

2,520

2,520

12,027

3,880

1,708

1,680

1,680

1,680

8,018

2,586

1,218

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		支援対象児童等について関係機関の連携	□ 総合戦略		回	目標値	70	70	70	70	70
С	1 各機関の連携による支援	し、支援内容を検討するケース会議等開	 ✓ 個別計画	68	쁘	実績値	55				
活		催数 (年度末)			%	達成率	78. 6				
動指			□ 総合戦略		件	目標値	100	100	100	100	100
標	2 児童虐待相談	家庭児童相談室で扱った児童虐待相談件数	☑ 個別計画	104	IT	実績値	132				
					%	達成率	132.0				
		すべてのケースについて定期的な状況の	□ 総合計画		口	目標値	12	12	12	12	12
D	1 実務者会議の開催	フオロー、支援方針の見直し、関係機関	□ 総合戦略	12	Щ	実績値	12				
成		との情報交換の開催	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 Ε 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		4 点	
100	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	20 点	4 点	20 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	∕25点	4 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 虐待の危険度や緊急度の判断等伴うものが多く、支援の内容の検討に苦慮した。虐待通報等に対する緊急対応や、その後の支援、関係機関との連携等を適切に実施するために、 人員体制の確保強化や専門職による体制の充実が望まれる。

R5

R6

R7

<令和3年度の取組内容(計画)>

・ケース記録、共同管理台帳の作成 ・緊急受理会議、ケース検討会議 ・児童虐待対応研修 ・実際保護児童等に関する情報共有システムの

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

児童福祉法第25条に基づき設置しており、関係機関と連携し、一定の成果を上げている。取扱案件が複雑化及び増加傾向にあり、今後においては、専門的な人員体制により組織を更に強化し、関係機関との連携及び支援や見守りが必要である。

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-1 拡充

1, 255

253

157

75

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 子育て支援課 家庭支援係 57002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 係名 事 業 子ども・子育て支援事業 細事業 子ども家庭総合支援拠点事業 実施計画事業子ども家庭総合支援拠点事業 総合計画体系図No.→ ( 131 第3次豊後大野市子ども・ 子育て支援事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 策 3 結婚・出産・子育て支援の充実 会計年度任用職員報酬 款 期間 R2  $^{\text{年度}}$  R6 3 年度 社会保険料(会計年度任用職員分 項 施策展開 ①子育て支援サービスを充実する 3 画 名 目 後期基本計画 42 P □ 過疎計画 コロナ充当 期間 年度 ~ ✓ 総合戦略 決算 64 費用弁償 (会計年度任用職員分) A 真凿日的。内容。宝籍 p. 真囊計画類, 決質頻繁

A 學業日的 · 內容 · 美積		1		<b>画観・沢昇都</b>	(T			
事業の目的と内容	年	主な活動実績		事業費計		財源内	訳	(単位:千円)
7	度	土な石勁夫傾		<b>学</b> 未良司	国県支出金	地方債	その他	一般財源
<b>&lt;事業の目的&gt;</b> すべての子どもの権利を擁護し、子どもとそ		子どもの実情の把握、関係機関への情報の提 供 相談等の対応 関係機関との総合調整を	R 3計画	1,778	889			889
の家庭及び妊産婦を対象に、実情の把握、子ども等に関する相談全般から通所・在字支援	R3	供、相談等の対応、関係機関との総合調整を 行った。児童記録表の作成、特定妊婦等への 支援業務を行った。	当初予算	1,778	889			889
の家庭及び妊産婦を対象に、実情の把握、大きを の家庭及び妊産婦を対象に、実情の把握、大き ども等に関する相談全般から通所・在宅支援 を中心としたより専門約な相談対応や必要な 調査、訪問等による継続的なソーシャを別した		又扱未物を刊りた。	決 算 額	1,715	889			826
2 未伤を11 フため、丁とも多庭秘古又仮拠点			R 4計画	2, 320	1, 160			1, 160
を設置する。	R4		当初予算	1, 764	882			882
			決 算 額					
			R 5計画	2, 320	1, 160			1, 160
	R5		当初予算					
<令和3年度の取組内容(計画)>			決 算 額					
・子ども家庭支援全般に係る業務 実情の把握、情報の提供、相談等への対応、			R6計画	2, 320	1, 160			1, 160
総合調整	R6		当初予算					
・要支援児童、要保護児童、特定妊婦への支援業務 相談、通告の受付、受理会議、調査、支援、			決 算 額					
相談、題言の支持、支達去議、調査、文後、 指導、児童記録表の作成			R 7 計画	2, 320	1, 160			1, 160
	R7		当初予算					
			決 算 額					
			計画額	11, 058	5, 529			5, 529
		R3 ~ R7 合 計	当初予算	3, 542	1,771			1, 771
			決 算 額	1,715	889			826

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		継続的関与の必要な有無等、個別ケース	総合戦略		口	目標値	70	70	70	70	70
С	1 ケース会議	について関係機関で協議を行い、当面の 方針や調査の範囲等を決定する受理会議	個別計画	68	피	実績値	55				
活		の開催数(年度末)			%	達成率	78. 6				
動指			総合戦略		件	目標値	100	100	100	100	100
	2 児童虐待相談	児童虐待相談件数	── ── 個別計画	104		実績値	132				
				%	%	達成率	132.0				
		支所単位でより細かた単位における子ど	総合計画		口	目標値	28	28	28	28	28
D	1 個別支援会議の開催	支所単位でより細かな単位における子ど もの情報交換、状況把握、問題点の確認	□ 総合戦略	28	ij	実績値	28				
成		の個別支援会議の開催数	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) 0 評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	20 点	4 点	20 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	/25点	5 点	∕25点

# 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

支援の方針や見直し、専門職の不在時の対応など支援の経過を残すためにもケースに関する記録がないと適切な対応ができないため児童記録票の作成が大切だが、受理した段階での児童記録票の作成はできなかった。支援拠点には雇用する職員の職務は、実情の把握や相談対応、総合調整、調査及び支援等多岐にわたり専門性を求められていて、効果的・計画的な人材育成に努める必要がある。

# 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

子どもの実情の把握、関係機関への情報提供、相談対応等行い、一定の成果を 上げている。 今後においては、複雑で増加傾向にあるケースに対して相談や支援などの対応 に専門性が求められており、効果的・計画的な人材育成に努めなければならない

# 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ B. 見直しの上で継続-1 拡充

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 \_ こども支援係 課局名 子育て支援課 57003 1 (令和 3 年度決算) 事 務 業 価 係名 事 業 子ども・子育て支援事業 細事業 地域子育てサポート事業 実施計画事業 地域子育てサポート事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 129 第3次豊後大野市子ども・子 育て支援事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 期間 R2 年度 ~ 策 3 結婚・出産・子育て支援の充実 別計 款 火災保険料 87 3 年度 R6 項 施策展開 ①子育て支援サービスを充実する 3 託児業務委託料 46 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 42 P □ 過疎計画 ~ 総合戦略 講師謝礼金 40 決算 64 消耗品費 20 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 地域子育てサポート事業・・・子育ての手助けを して欲しい人「よろしく会員」と手伝いが出 来る人「まかせて会員」が相互援助活動を行 うことにより子育て支援を行う。 「まかせて会員」(14人)が「よろしく会員」 88人)を地域の中で援助した。《預かり57件、 R 3 計画 193 65 65 R3 当初予算 128 193 決 算 額 145 96 49 R 4 計画 65 193 128 R4 当初予算 173 59 114 決 算 額 R 5 計画 193 128 65 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 会員間の相互援助活動の連絡・調整や「まか せて会員」養成講習会を実施する。 R6計画 193 128 65 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 65 193 128 R7 当初予算

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C活動指標	1 よろしく会員登録者数	よろしく会員登録者数 (年度末)	総合戦略	83	Y	目標値	83	85	85	90	90
			☑ 個別計画		人	実績値	88				
					%	達成率	106.0				
	2 _		総合戦略			目標値					
			□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 相互援助活動の実施数 村	相互援助活動の実施数(年度末)	総合計画		件	目標値	55	55	60	60	65
			□ 総合戦略			実績値	75				
			✔ 個別計画		%	達成率	136. 4				
			□ 総合計画			目標値					
	2 —		□ 総合戦略			実績値		·			
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

640

242

96

366

145

325

124

49

評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価 (係長)		二次評価(課長等)		
	計画項目グランの代点(109点で計画)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \hline retarrow center & \hline \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	22 点	4 点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	/25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 現時点で需要と供給のバランスは保たれている。令和2年度までは65件程度であったも のが合和3年度は10件ほど増加した。今後、需要が伸びていけば、「まかせて会員」の確 保が課題となる。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

緊急度が高く市民から必要とされている事業であり、一定の成果を上げている。 今後においては、需要の伸びを想定して、更なる「まかせて会員」の確保に努 めなければならない。

令和5年度の事業の方向性

307

1,535

480

96

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 子育て支援課 家庭支援係 57011 1 務 業 価 係名 事 業 子ども・子育て支援事業 細事業 子育て短期支援事業 実施計画事業 子育て短期支援事業 なし 総合計画体系図No.→ 第3次豊後大野市子ども 子育て支援事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 \_\_R2 年度 ~ 別計 款 策 3 結婚・出産・子育て支援の充実 期間 子育て短期支援事業委託料 679 3 年度 R6 項 施策展開 ①子育て支援サービスを充実する 3 画 名 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 42 P 過疎計画 ~ 総合戦略 コロナ充当 決算 64 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 保護者の疾病その他の理由により家庭において子どもを養育することが一時的に困難となった場合等に、児童養護施築等において一定期間、養育・保護を行うことにより、これらの子ども及びその家庭の福祉の向上を図る。 保護者が出産、就労等の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合、実施施設において保護をおこなった。3施設と委託契約し、利用の際は事前に見学、利用の申請の受付、可否決定、通知、実施施設へ委託、経費の支払を行った。 R 3 計画 679 372 307 R3 当初予算 372 307 679 決 算 額 423 327 96 R 4 計画 307 679 372 R4 当初予算 515 173 342 決 算 額 R 5 計画 679 372 307 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 実施施設との委託契約 R6計画 679 372 307 利用の申請受付 ・実施施設の受入れ状況等の審査、可否決定 R6 当初予算 、通知 ・実施施設へ委託、利用 ・実施施設への経費の支 ・里親活用に向けて準備 決 算 額

R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

679

3, 395

1, 194

423

372

1,860

714

327

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		日	目標値	108	108	108	108	108
С	1 短期入所生活援助利用	短期入所生活援助事業延べ利用日数(年 度末)	☑ 個別計画	63	I	実績値	143				
活					%	達成率	132. 4				
動指			□ 総合戦略		筃	目標値	3	4	4	4	4
標	2 委託実施施設	短期入所生活援助事業を委託した実施施 設数(年度末)	☑ 個別計画	3	所	実績値	3				
					%	達成率	100.0				
			総合計画		Į.	目標値	5	5	5	5	5
D	1 利用児童数	短期入所生活援助事業を利用児童数	□ 総合戦略	4	人	実績値	5				
成			✔ 個別計画		%	達成率	100.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			☑ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	20 点	3 点	20 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

## 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

利用の申請があった場合、実施施設の受入れ可能な場合は速やかに決定を行い、利便を考慮し弾力的運営に努めた。しかし、実施施設が市外のため利用者の自宅から実施施設の間の送迎等負担となった。利用中、学校への登校が困難なため就学前の利用者のみだった。今後、市内の里親等へ本事業の委託をし、利用中も保育所や学校への通学を配慮する必要がある。

## 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

家庭において児童の養育が一時的に困難となったときに、施設で養育・保護を行ったことで、児童の福祉の向上に一定の成果を上げている。 今後においては、利用件数が増えてきており、子育て中の家庭にとって必要な事業であることから、実施施設の開拓に努める必要がある。

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

事	業番号	÷	枝番		( <del>4</del>	和	3	年	度	計	画	)	総	合	計画	実	施	計画	<b>I</b>	<b>F</b> (:	兼通	鱼扬	步管	理)								(	様式1)
5	7012		1		(令	和	3	年	度	決	算	)	事		務	事	:	業		評	偛	5	訓	書	課	局名	子育	育て支援	課	係名	こと	₽2	支援係
事	業	子。	£ 5 ·	子育	で支	援事	業				i	細事業	<u> </u>	地均	或子育	で支	接	如点 3	事業				Ī	実施計画	事業	家庭訪問	引型-J	子育て支持	爰事業委託	<b>£</b> 事		了度	なし
		. =1 ==	470		( 13	21 \													- //-												- 4	及	
会計	- 船	1 -	妆糸≥ 攺	śjNo.→ 策	-		かね	三計	· 十 <i>全</i>	: の i	主現	を目れ	占す	主							ו ד	1	第3	次豊後大	野市	i子ども・	子	<b>令和</b> 3	3 年度 主	な歳	出名称	当	初予算額
款	3	┥┝	<del>么</del> 施	策	-							爰の充		0							+			で支援事業 ■ R2			年度				事業委託料	╁	3, 288
項	3	┥┝	施策原		1	., ,.		_				た実す									<b>→</b> I	計 画	7771	· 1\2		NO		7.02.001			7,78,2,8011		0,200
目	1	╁┝			計画				Г			計画	_	<b>V</b>	総合	戦略	1	$\overline{}$		ナ充当	<b>-</b> 1 ∣	夕	期間	1	年度 ・	~	年度						
上 決算	64	┧┕	IX.79.	100-1-							~_~	, n i D			400	177-1	Г,			, ,,,,			7771	•									
		Α	事業	目的	• 内容	¥ • 5	実績	<u> </u>				1											7 5	B 事業計	<u>計画都</u>	領・決算者	等	ļ	DT.4		-n	/ NY	u ====
		틕	業の	目的	と内!	容					年 度					主な流	舌動	実績							專	事業費計	雨峰	是世金	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	原内	<u>訳</u> その他	_	位:千円) -般財源
< 事	業の目	1的>	•							+		ホー.											11	R 3計画	ī	3, 288		2, 192	2677 庚		( 0) [5	+	1,096
し、	等から 悩みを	聞い	たり	、共	に行動	<b></b> 助す.	るこ				R3	ともし	に、ター	傾耶 -4人	恵や協 、訪	易働等 問件為	の? 数8f	舌動る 牛(訪	を行 i間[	つた。 3数6	。( 9回)	新》	н	当初予算	-	3, 288	-	2, 192					1,096
々に	地域や	他の	親と	の交流	流を促	足す。	D																н	決算額	-	3, 306		2, 204					1, 102
										-													41	R 4計画		3, 306		2, 204		-			1, 102
											R4												н	当初予算	-	3, 306		2, 204	1, 0	00			102
											11.7												н	決 算 額	-	0,000		2, 204	1, 0	00			102
										F													-11	R 5計画	-	3, 306		2, 204					1, 102
											R5												н	当初予算	-	3, 300		2, 204		-			1, 102
//	3和3	生床	万田で名	日内坂	s (≣∔īc	<b>च्</b> । ∼					NO												ш	決 算 額									
家庭	訪問型	子育	て支持					所	こ委	-													╂	R6計画	-	2 200		0.004		-		+	1 100
託し	て実施	する	0								R6												H	当初予算	-	3, 306		2, 204		-		-	1, 102
											ΝŪ												н	ラ 例 ア 昇 決 算 額									
										H													41		_	0.000		0.001		$\dashv$		-	1 100
											דח												ш	R 7 計画	_	3, 306		2, 204		-		-	1, 102
1											R7												П	当初予算	1					- 1			

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活	1 家庭訪問型子育て支援事業 の継続	家庭訪問型子育て支援施設	<ul><li>総合戦略</li><li>✓ 個別計画</li></ul>	1	か 所 %	目標値 実績値 達成率	1 1 100. 0	1	1	1	1
動指	2 —		□ 総合戦略 □ 個別計画		%	目標値 実績値 達成率					
D 成	家庭訪問型子育て支援事業 1 ボランティア養成講座の開 催	ホームビジター養成講座の開催数	<ul><li>総合計画</li><li>総合戦略</li><li>✓ 個別計画</li></ul>	9	回 %	目標値 実績値 達成率	9 9 100.0	9	9	9	9
果指標	2 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画		%	目標値 実績値 達成率					

R3 ~ R7 合 計

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

16, 512

6, 594

3,306

11,008

4, 396

2,204

1,000

5, 504

1, 198

1, 102

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	5 点		5 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	23 点	5 点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

本市で実施している「ホームスタートやしの実」は、日本初のホームスタート事業に取り組んだ団体の一つであり、毎年、ホームビジター養成講座を開催し、現在50人が登録されている。そのホームビジターが、転入や産後などで地域等から孤立する可能性のある家庭を訪問し、悩みを聞いたり、共に行動することで徐々に地域や他の親との交流を促すなど、子育て世代を応援する重要な取組の一つである。

転入や産後などで地域等から孤立する可能性のある家庭を訪問し、育児不安の解消等に一定の成果を上げている。子育て支援に重要な取組の一つであり、今後においても定期的に養成講座、フォローアップ研修、運営委員会を開催して組織の充実を図り、子育て世代を応援していくよう努めなければならない。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

11,328

56, 453

11,769

11,327

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 \_ こども支援係 課局名 57012 2 (令和 3 年度決算) 事 務 業 価 子育て支援課 係名 事 業 子ども・子育て支援事業 細事業 地域子育て支援拠点事業 実施計画事業 地域子育て支援センター委託事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 131 第3次豊後大野市子ども・子 育て支援事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 R2 年度 ~ 款 策 3 結婚・出産・子育て支援の充実 地域子育て支援センター委託料 33, 421 3 年度 R6 項 施策展開 ①子育て支援サービスを充実する 3 画 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 42 P 過疎計画 ~ 総合戦略 決算 64 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 直営の支援センターを2か所設置するとともに、 4か所に支援センター事業を委託し、子育で中の親の孤独感や不安感、負担の増大等に対応することで、地域の子育で中の親子の交流 促進や育児相談等を行う。 市内4か所に支援センター事業を委託し、子育 てに関する相談や親子の交流の場の提供等を 行った。 R 3 計画 33, 421 22, 280 11, 141 R3 当初予算 22, 280 11, 141 33, 421 決 算 額 33, 980 22,653 11, 327 R 4 計画 11, 328 33, 980 22, 652 R4 当初予算 33,980 10,700 628 22,652 決 算 額 R 5 計画 33,980 22,652 11,328 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 支援センター事業を委託し実施する。 R6計画 33, 980 22,652 11,328 R6 当初予算 決 算 額

R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

33, 980

169, 341

67, 401

33, 980

22,652

112,888

44, 932

22,653

10,700

	評価指標名	指標値の説明 (算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			✓ 総合戦略		か	目標値	4	4	4	4	4
C	1 地域子育て支援拠点数	地域子育て支援拠点数(年度末)	✔ 個別計画	4	所 %	実績値	100. 0				
活動指					,,	目標値	100.0				
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		人	目標値	6,000	6,000	6,000	6, 000	6,000
D	1 利用人数	利用人数(年度末)	✓ 総合戦略			実績値	5, 125				
成			✔ 個別計画		%	達成率	85. 4				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 Ε 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(109点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \hline retarrow center & \hline \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	19 点	5 点	20 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	/25点	3 点	/25点

# 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

# 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

「子育て支援センター」は、子育て相談や子育て情報の提供のほか、親子の交流を図る場を提供する総合的な子育て支援拠点である。令和2年度と3年度は、新型コロナの影響により利用人数は減少しているが、収束に向かうにつれて増加していくと予想している。

新型コロナの影響により閉鎖した時期もあり利用人数が減少しているが、子育て中の親子に、子育て相談、子育て情報の提供、親子の交流を図る場を提供して、一定の成果を上げている。 今後においても専門的職員を置く子育て支援の拠点として、子育て相談や地域の親子の交流の場等の提供に努めなければならない。

# 令和5年度の事業の方向性

			***		_ 14_ = 1				· ·							(様式1)
				合計画身							<b>→</b> →	III	±m		_ 10:	.,,
57013 1 (令和	3 年度決	(第)	事	務	事	業 評	価	ī		課局名	一十年	すて支援	課	系名	28	も支援係
事業 子ども・子育て支援事業	Ě	細	事業	保育対策等	促進事	業			実施計画	事業 病後児	保育事	<b>事業委託事</b>	業		終了年度	
総合計画体系図No.→ ( 135 ) 会計 一般 政 策 II 豊かな	る福祉社会の	実現を	・目指す	まち				第3	次豊後大野	野市子ども	• 子	令和 3	年度 主	よ歳出名	3称	当初予算額
	出産・子育	て支援の	の充実				個 別		て支援事業 <sup>間 R2 <sup>4</sup></sup>		年度	病児・非	後児保育	<b>工業委託</b>	料	31, 26
	ービスを充写		7-7-1				— 計 画		112	Ro		病児保育	· 広域利用負	担金		5
目   1   後期基本計画   42	Р	過疎計	一画	☑ 総合戦	略	コロナ充	当	期	<b></b>	F度 ~	年度					
決算 64											***					
A 事業目的・内容・実	模	年						1	B 學業計	画額・決算			財源	内訳	(	(単位:千円)
事業の目的と内容		度		主な	活動実	績				事業費計	国県	支出支具	地方債	そ	の他	一般財源
<b>&lt;事業の目的&gt;</b> 病気の回復期の児童を一時預かりす	ることで			病児保育施設 よりする事業					R 3 計画	31, 31	0	20,840			500	9, 970
、保育所等に入所している児童等の 仕事等社会的活動と子育て等の家庭	保護者の		があっ		2 % 111	U ,	00)(1)	,	当初予算	31, 31	0	20,840			500	9, 970
両立を応援する。								╛	決 算 額	21, 30	7	16, 261			166	4, 88
									R 4計画	31, 25	7	20, 018			500	10, 73
		R4						١	当初予算	51, 849	Э	34, 532			300	17, 017
									決算額							
								١	R 5計画	31, 25	7	20, 178			500	10, 579
		R5						١	当初予算							
<令和3年度の取組内容(計画)>	**-}- 7								決算額							
病児保育を行う保育所等に委託し実	虺りる。							١	R6計画	31, 25	7	20, 178			500	10, 579
		R6						١	当初予算							
								_	決算額							
								١	R 7計画	31, 25	7	20, 178			500	10, 579
		R7						١	当初予算							
								4	決算額							
				_ •				١	計画額	,		101, 392			2, 500	52, 44
				R3 ~	マ/ 合	計		١	当初予算	83, 15	-	55, 372			800	26, 987
								_	決算額	21, 30	(	16, 261			166	4, 880
評価指標名	指揮 指揮	悪値の説	明(算)	出方法等)		各計画指	標 <b>I</b> R:	2 実	请値 単位	達成度	R3	R4	ı F	·5 T	R6	R7
可顺沿示句	7日1万	に追い武	ッ] (弁)	日/1/4/		百四四田	17 T	<u>د کر</u>	を 中口	土水区	IVO	1\4	, l '		NU	11.7

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			── 総合戦略		カュ	目標値	3	3	3	3	3
С	1 委託実施施設	病児・病後児保育事業を委託した施設数 (年度末)	☑ 個別計画	3	所	実績値	3				
活		,,,,,,			%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		Į.	目標値	700	700	700	700	700
D	1 利用人数	利用人数 (年度末)	□ 総合戦略	687	八	実績値	589				
成			✔ 個別計画		%	達成率	84. 1				
成果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
	証価計算列の理由 0 証価型	4.4	•		,	•	•	(+	+色以声类1-	t C ~ 1 個 #	===1 ==1

E 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	18 点	5点	22点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	/25点	4 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍で利用者数が減少しているが、収束に向かうにつれて増加していくと予想している。	令和3年10月から、広域化・ICT化を行ったことにより、県内全域でスマホから予約しできるようになる等利便性があがり、一定の成果を上げている。今後においても、保護者の仕事等社会的活動と子育ての両立の応援に努めなければならない。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 こども支援係 子育て支援課 57013 2 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 子ども・子育て支援事業 細事業 保育対策等促進事業 実施計画事業 一時保育事業 なし 総合計画体系図No.→ 第3次豊後大野市子ども・子 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 育て支援事業計画 別計 期間 R2 年度 ~ 款 策 3 結婚・出産・子育て支援の充実 保育対策事業補助金 2,340 3 年度 R6 項 3 施策展開 ②保育サービスを充実する 名 目 後期基本計画 42 P コロナ充当 期間 年度 ~ 過疎計画 ~ 総合戦略 決算 64 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 保育所等を利用していない家庭において、− 時的に家庭での保育が困難となった場合に、 児童を一時的に預かる。 iか所の私立保育所等で延べ174人の子どもを R 3 計画 2,340 908 160 1,272 - 時保育を行った R3 1,272 当初予算 160 2.340 908 決 算 額 313 313 R 4 計画 160 2, 340 1, 272 908 R4 当初予算 2,340 872 1,468 決 算 額 R 5 計画 2,340 1,272 908 160 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 一時保育を行う事業所に対し補助金を交付す R6計画 2,340 1, 272 908 160 る。 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 160 2,340 1,272 908 R7 当初予算 決 算 額 計画額 11,700 6,360 4,540 800 2,740 1,032 R3 ~ R7 合 計 当初予算 4,680 908 決 算 額 313 313

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		か	目標値	10	10	10	10	10
С	1 実施施設	一時保育事業を実施した私立の施設数( 一年度)	☑ 個別計画	8	所	実績値	6				
活					%	達成率	60.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		Į.	目標値	350	350	350	350	350
D	1 利用人数	一時保育を利用した人数(一年度)	□ 総合戦略	236	人	実績値	174				
成			✔ 個別計画		%	達成率	49. 7				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値		·			
			□ 個別計画		%	達成率					
	57 m + 1 67 m + 1 - 37 m + 1		•								=== = \

 E
 評価対象外の理由
 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍で利用人数が減少しているが、感染が収束に向かうにつれて増加していくと予想している。

保育所等を利用していない家庭において、何らかの理由で子どもをみられないときに、日中一時的に保育所等が預かることで子育て支援に一定の成果を上げている。

今後においては、本事業に対する補助基準が国基準を大幅に下回っているため人員の確保に苦慮していることから、補助基準の見直しについて検討していく必要がある。

I 令和5年度の事業の方向性

⇒ B. 見直しの上で継続-1 拡充

4	¥番号	枝番		•				<sup>8</sup> 合計画実施	計画	書(兼	進捗	管	理)					,			様式1)
	57013	3		(令和 3	年度》	夬 算	) 事	事 務事	業	評	西	調	書	課局名	子育	て支援	課	係名	こと	`もま	支援係
事	業	子ども	・子育	て支援事業			細事業	保育対策等促進	事業			217	実施計画	事業預かり	保育事	業				了 度	なし
会計	総合 一般	計画体系	図No.→ 策	( 135 ) II 豊かな	福祉社会0	り宝瑪	を目指す	ナまち			ŝ	第3%	欠豊後大	野市子ども	· 子	<b>今和 3</b>	4 年度	主な歳	出名称	当	初予算額
款	3	施		3 結婚・出							個	育て	支援事業 R2	(計画				生事業費		╀	13, 920
項	3			②保育サー	,,		, , , , ,	=			計一画	******	N2	NO.			14 3 1/2/2	- 7 /4//	111.79.111		
B	1	後期		計画 42			村画	✓ 総合戦略	<u> </u>	コロナ充当	夕	朝間		年度 ~	年度						
決算	64		,, ,								ш										
		A 事業	目的·	・内容・実績	<u> </u>							ו ו	B 事業計	画額・決算	額等			財源内	÷0	( ) 14 /	± . エm)
		事業0	D目的	と内容		年度		主な活動	実績					事業費計	国県	支出金	地方		<u>ボ</u> その他	_	並:千円) -般財源
< I	業の目	的>	TT 416 4	· 中长 )	7 124			私立保育所等で延	べ3, 2	234人の子	ども	İĖ	R 3 計画	i 13, 92		9, 280	-0/.	7 (2	C 47 12	+	4, 640
保護	者の置	かれてい		と実施し、 竟に応じ適り		R3	を預か	り保育を行った。				lŀ	当初予算	13, 92	0	9, 280					4, 640
を促	進する。	0										ll:	決算額	-	-	7,003					3, 197
												lŀ	R 4 計画	-		9,600					4, 800
						R4						lŀ	当初予算	*	-	9, 280					4, 640
												H	決算額	i							
												ll	R 5 計画	14, 40	0	9,600					4, 800
						R5						lt	当初予算								
<=	令和3年	∓度の取:	組内容	(計画)>								H	決算額	i							
預か付す		を行う保	育所等	等に対し補助	力金を交							lt	R 6計画	14, 40	0	9,600					4, 800
11 9	చ.					R6						lt	当初予算								
												H	決算額	i							
												ll	R 7 計画	14, 40	0	9,600					4, 800
						R7						l	当初予算								
												H	決算額	i							
												ll	計画額	i 71, 52	0 4	7,680					23, 840
								R3 ~ R7	合言	+			当初予算	27, 84	0 1	8, 560					9, 280
												H	決算額	i 10, 20	0	7,003					3, 197
		評価	指標名		指标	票値σ	)説明(第	拿出方法等)	各	計画指標	R 2 5	実績	値単位	達成度	R3	R	4	R5	R6		R7
									Ιп	総合戦闘	ξ.		か	目標値	1;	3	13	]	13	13	13
С	1 実施	施設			預かり保 (一年度)	育事業	美を実施	した私立の施設数		個別計画			7 所	実績値	,	7					
活										凹刀口口	1		%	達成率	53.	9					
動指										総合戦闘	Š			目標値							
標	2 —								Ιп	個別計画	ū			実績値							
													%	達成率							
_	1 40 0	1 *4.			7X ) 10 M -	د ب	dma >	[ W. / Fr		総合計画			。人	目標値	4,000		, 000	3, 90	3, 9	00	3, 800
D	1 利用	人数			預かり保7	育を木	川用した。	人数(一年度)		総合戦略		3, 80	<sup>09</sup> %	実績値	3, 23	-					
成果									<u></u>	個別計画 総合計画	+		70	目標値	80.	,				+	
指	2 —									総合戦略				実績値		+					
12%										個別計画			%	達成率							
E	評価等	対象外の	理由	0 評価対	象						-		-	I_		1	(対	象外事	業は <b>F~I</b> i	# 未 !	記入 可)
一	а г іші /		±Щ	り計画列	<b>水</b>										1 _	·次評価			二次評価		
					評	価項目	1/5つ(	の視点(1~5点で	評価)							西点	評価点		評価点	_	価点合計
l _ l	1 =	民港兄 (	<b>士尼</b> 刁	25.6 15	の白 トが#	ロ往って	キュ 車業	内容となっているが	<b>5</b> 5		1 →	2	→ 3 -	→ 4 → 5		3 点			4点		

	100 11-00 4.4.					
	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		4点	
١.		$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$		-		1
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
/ <del>=</del>	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
価	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	/25点	3 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍で利用人数が減少しているが、感染が収束に向かうにつれて増加してい 思している。	くと予 幼稚園機能部分で希望者を対象に、通常の教育時間の前後や長期休業期間に教育活動を行うことで、一定の成果を上げている。感染が収束に向かうにつれて増加していくと予想しており、今後においても必要な事業である。

I 令和 5 年度の事業の方向性

*****		0 <del></del>		٠ 46	~ ^ ~		<del></del>	==== /	<del>*</del> *#	- 4:F 4	We rec	• \								(様式 1)
事業番号 57013	<del></del> - :	3 年度! 3 年度!			_	T 画 美			兼理 価		_	≝) 書	課局名	子	・育て支援	:課	係名	<b>E</b>	こども	支援係
事業	子ども・子育て支援事	<b></b> 業	i	細事業	保育	対策等仮	足進事業				実施	計画	事業 延長	保育事	業		·		終了年度	なし
総合 会計 一般	計画体系図No.→ ( 135 )  政 策 II 豊かれ	な福祉社会の	り実現	を目指す	すまち				— ТГ.	第3	3次豊	後大野	野市子ど	も・子	令和	3 年 5	度 主なば	表出名	称	当初予算額
款 3		出産・子育							f	則期	て支担 間 F	援事業 R2 <sup>4</sup>		26 年月	1		業補助金			22, 14
項 3	施策展開 ②保育サ	ービスを充	実する	5					直	T										
<b>a</b> 1	後期基本計画 42	Р	過頙	計画	~	総合戦略	<b>S</b>	コロナ充当	<b>4</b>	期間	間	4	₹度 ~	年月	ŧ					
決算 64	A 事業目的・内容・実	: 4#									B I	車量計	画額・決	首類等	,					
	事業の目的と内容	194	年			± tr:	活動実績	書				<del></del>	事業費				財源内	訳	<u>(</u> )	単位:千円)
<事業の目			度	10か記	の利士			** 353人の§	到旧)~	ZīŪ				王	]県支出金	地	方債	そ(	の他	一般財源
	8様化に伴い、開所時間	を超えて	R3	長保育			チで処へ	`aaa <i>)</i> (√/ <u>/</u>	対元(二	. 処		3計画			14, 762					7, 383
工作区区	NH 7 00		КJ									可予算 算 額	,		14, 762 8, 980					7, 38
										-		昇 破 1計画			15, 633					4, 26 7, 81
			R4									7予算	,		15, 758					7, 880
												算額	-		10, 100					.,
											R 5	5計画	23,	450	15, 633					7, 81
			R5								当初	7予算								
	度の取組内容(計画) >										決:	算 額								
延長保育を行する。	<b>行う保育所等に対し補助</b>	金を交付									R6	6計画	23,	450	15, 633					7, 81
			R6								当初	刀予算								
										_		算額				L				
			D7									7計画	23,	450	15, 633					7, 817
			R7									刀予算 算 額								
			_							-		异 額	115,	945	77, 294	_				38, 65
					R3	~ R	7 合	計				7予算	45,		30, 520					15, 26
							_					算額	-		8, 980					4, 26
																			ļ	
	評価指標名	指	漂値の	説明(拿	算出方法	去等)		各計画指標	票 F	7 2 実	績値	単位	達成度	R3	В	R4	R5		R6	R7
		7 E 10 -	+ viv. •		.2 .71 .	on Marin V	,,   [	総合	戦略			か	目標値		12	12		12	12	1.
C 1 実施が	<b></b> 位設	延長保育 一年度)	争乗を	: 実施し	に私立	.の施設委		一 個別!	計画		10	所	実績値		10					

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		カュ	目標値	12	12	12	12	12
С	1 実施施設	延長保育事業を実施した私立の施設数( 一年度)	✓ 個別計画	10	所	実績値	10				
活					%	達成率	83. 3				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		Į.	目標値	450	450	450	450	450
D	1 利用人数	延長保育を利用した人数(一年度)	□ 総合戦略	366	人	実績値	353				
成果			✔ 個別計画		%	達成率	78. 4				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0 評価対	<del> </del>    象						(\$	対象外事業は	F~Ⅰ欄未	記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
/ <del>=</del>	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
価	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	4点	19点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	3 点	/25点	4 点	/25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 コロナ禍で利用人数が減少しているが、感染が収束に向かうにつれて増加していくと予想している。
 およれで利用人数が減少しているが、感染が収束に向かうにつれて増加していくと予想している。
 およれで利用人数が減少しているが、感染が収束に向かうにつれて増加していくと予想して行う保育であり、保護者の仕事等社会的活動と子育での両立の支援に、一定の成果を上げている。コロナ感染が収束に向かうにつれて増加していくと予想しており、今後においても必要な事業である。

I 令和 5 年度の事業の方向性

53, 385 21, 354

14,877

目	業業番号	枝	番	( 4	和	3	年	度	計	画	)	総	合!	計画	実別	包計i	画書	(	兼	ᆂ捗	管	理)							(様式1)
	57013	5		(令	和	3	年	度	決	算	)	事		務	事	業	ŧ	評	佃	i	調	書	課局名	子育	育て支援	課係	名	こど	も支援係
事	業	子ども	・子育	育て支	援事	業				糸	田事美	集	保育	育対策	等促进	<b>進事業</b>	ŝ				実	<b>E施計画</b>	事業 特別支	援保育	育事業			終年	
	総合	計画体:	系図No	→ ( 1	35 )																_		ı					1	
会計	一般	政	策	Π	豊か	な福	祉社	生会	の第	現	を目	指す	まち	)					TI			:豊後大! 支援事業	野市子ども	• 子	令和 3	年度 主な	歳出名	称	当初予算額
款	3	施	策	3 糸	吉婚・	出)	産・	子育	育て	支援	曼の方	定実								別其			<sup>≇度</sup> ~ R6	年度	保育対策	<b>货等促進事業</b>	補助金		10, 67
項	3	施领	(展開	②保	よ育 サ		ビス	をす	iz実`	する	)									計 — 画									
目	1	後	期基本	計画	42	2 F	>		ì	過疎	計画		~	総合	戦略		7	ナ充当	á	名 其	朋間	4	<b>車度 ~</b>	年度					
決算	64	_																											
		A 事	集目的	• 内容	学・9	叉横			Т,	Ŧ.												3 事業計	├画額・決算 │	額等	<u> </u>	財源	内部		(単位:千円)
		事業	の目的	りと内	容					隻				3	主な活	動実績	責						事業費計	国県	是世金	地方債		の他	一般財源
(1) (1)	事業の目 を必要。	<b>的&gt;</b>	日本の	5. ÷	ð. 1	白ィノテ	Ezz Y	£1.	T		8か月	近の	保育	所等;	が障か	い児	を受	け入れ	しるた	_め	F	3計画	10, 67	7					10, 67
を有	する者(	の保育	听にお	ける	受入オ	れを	促進	隹し、	. F	23	(二月散	貝を	こノル四	CUI	人の	회児を	1保育	ぼした。	•		뇔	当初予算	10, 67	7					10, 67
健常がい	児を同れ	星度の 全な発	呆育を 達を図	実施る。	するこ	2 2	で、	障													ž	と 算 額	14, 87	7					14, 87
									H												F	R 4計画	10, 67	7					10, 67
									F	4											<u> 된</u>	当初予算	10, 67	7					10, 67
																					ž	中 算 額							,
									F												F	35計画	10, 67	7					10, 67
									F	25											뇔	当初予算							
<:	令和3年	度の耳	2組内2	容(計i	画) >																ž	と 算 額							
障が	い児を住	保育す	るため	に職員	員を力	加配	した	園													F	₹6計画	10, 67	7					10, 67
に対助す	し、障力	いい児	人当為	こり月	領74	, 14	0円?	ど伸		86											┡	当初予算	,				1		21,01
									ľ												I⊫	と 算 額					1		
									H												H	7. 升版		7			+		10, 67
									F	27											┡	· / BI III 当初予算	10, 0,				1		10,01
ľ									10.0	. ,												- 1/2 1 2+	1	1			1		1

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			── 総合戦略		カュ	目標値	6	6	6	6	6
С	1 実施施設	特別支援保育事業を実施した施設数(一 年度)	☑ 個別計画	8	所	実績値	8				
活					%	達成率	133. 3				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		Į.	目標値	10	10	10	10	10
D	1 受入人数	補助の対象となった園児数(一年度)	□ 総合戦略	17	八	実績値	17				
成			✔ 個別計画		%	達成率	170.0				
成 果 指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
	<b>証価対象外の理由</b> ○ 証価対	4.	•	<u> </u>	,			(+	+各以事業1-	t C ~ 1 個 #	-=11 =T\

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	22 点	5点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	/25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 平成14年度までは国の補助事業として実施していたが、平成15年度から一般財源化され、現在は市単事業として実施している。 利用人数は、8園で17人の利用となっているが、障がい児の特性に応じた集団生活を通じて児童の心身の健全な発達を促すためにも必要な事業である。

障がい児が集団生活を通じて心身の健全な発達を促すためにも必要な事業であり、一定の成果を上げている。同年代の児童においても優しさ思いやりを育んでいくなど、今後においても必要な事業である。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

53, 385

21, 354

14,877

78

390

147

72

4	事業番号	÷	枝番	(	令和	3	年!	变計	- 画	)	総合	計信	画実	施計	一画:	<b>書</b> (	兼道	<b>生</b> 抄	管:	理)									(様式1
	57015		1	(	令和	3	年!	隻 決	算	)	事	務	事	: ;	業	評	価	i <b>!</b>	調		課局	名	子育	育て支援	課	係名	i	家庭	支援係
事	業	子。	ごも・子	育て	支援事	業			i	細事第	=	子育で	世代包	括支	援セ	ンター	事業		実	施計画	事業 乳	児家属	医全戸	訪問事	業			終了年度	
	総合	計画	体系図No.	→ (	131 )	1			1										_		1								
会計	一般		攺 策	į I	豊か	な福	祉社	:会の	実現	を目	旨すま	きち					Ш			豊後大野 ズ援事業		ども・	子	令和 3	年度	主な農	出名科	ī.	当初予算額
款	3		施 第	3	結婚	· 出	産・-	子育~	て支担	爰の充	実						113	別期計	間		度 ~	R6	年度	消耗品	費				1-
項	3		施策展開	1	)子育~	て支持	爰サー	ービン	くをす	た実す	る						- I li	画						印刷製	<b>本費</b>				8
目	1		後期基	本計	画 4	2 F	-		過疎	計画	·	/ 総	合戦略		] ]	ロナ充筆	<u>'</u>	名 期	間	4	度 ~		年度						
決算	64	-					<u> </u>																						
		Α	事業目的	9 • P	マー	実績		- 1	<b>/</b> -	1									B	事業計	画額・	決算額	<b>領等</b>			財源内	記		単位:千円
		릑	業の目	的と	内容				年 度				主な流	舌動多	€績						事業	費計	国県	支出金	地方		その		一般財源
<:	事業の目	的〉		5 + 3	4-88 J	7	ナー	<i>a</i>		すべ	ての乳	児のい	る家庭	(122	戸) を	お問し	支援	を	R	3計画		230		152			-		7
孤立	化を防	ぐた	いる家屋 めに、そ	一のた	居宅に	おい	て様	Þ	R3	報提信	共を行	い、育	児に関	するホ	目談に	支援に応じ、	心身の	)様	业	初予算		230		152					7
要な	情報提	供を	聞き、こ 行うとと	- \$16	こ支援	が必	要な	家		応会記	義を開	堤の把 催し、	姪を行	ハ、東スの抗	公安に	応じて つなげ	クーノること	· 対 : が	決	算額		221		149					-
庭に	対して	は適	切なサー	ービン	ス提供	に結	びつ	け		出来7	۲.							$\dashv$	Ë	4計画		230		152					
育成	できる	環境	整備を図	333	ことを	目的	とす	る	R4										-	初予算		203		134					6
0									11.4										$\vdash$	算額		200		194					
								-										$\dashv$	-	5計画		230		150					7
									R5										-			230	1	152					
	^ <del>-</del> 4		40 -	<u> </u>	> >				кэ											初予算									
			<b>D取組内</b> 不安や悩				診	-										_	-	算額									
<b> ・</b> 字	育て支	接に	関する情	<b>事報</b> 視	子供			-t-c											-	6計画		230	1	152					7
環境	の把握		保護者0						R6										F	初予算									
検討	援が必	要な 機関	家庭に対 との連絡	けする 各調素	5提供 <sup>、</sup>	サー	ビス	の											決	: 算額									
	問の連			. 19. 2.11	_					l									R	7計画		230		152					7

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

1, 150

433

221

760

286

149

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		%	目標値	100	100	100	100	100
С	1 乳児家庭訪問率	対象家庭に対する乳児家庭訪問数(年度末)	☑ 個別計画	100	/0	実績値	100				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		│ │ │ │ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
D	1 子育て情報の提供実施	訪問家庭に対する子育て支援に関する情報の提供数(年度末)	□ 総合戦略	100	/0	実績値	100				
成			✔ 個別計画		%	達成率	100.0				
成果指			□ 総合計画		,	目標値	120	120	120	120	120
標	2 産後うつ検討数	産後うつ検討会でのハイリスク妊婦の支援延検討数(年度末)	□ 総合戦略	149	人	実績値	128				
			✔ 個別計画		%	達成率	106. 7				

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	23 点	4 点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 母子保健法に基づく新生児訪問指導を併せて事業を実施した。保護者の心身の様子を把握して、産後ケア等のサービスにつなげることができた。ホームスタートや養育支援訪問事業による支援に適切に結びつけることができた。今後も母子保健等連携し事業を実施していきたい。訪問時の保護者等への対応には今後も十分配慮していく必要がある。

R7

保健師らの全戸訪問で必要に応じて産後ケアやホームスタート等各種支援に適切に結びつけることができ、一定の成果を上げている。 育児不安軽減にもつながり、今後においても必要な事業である。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

【担当課長職等の所見】

259

1,216

338

53

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3年度決算) 価 家庭支援係 57015 2 事 務 子育て支援課 係名 事 業 細事業 子育て世代包括支援センター事業 実施計画事業 家庭訪問型子育て支援事業委託事業 子ども・子育て支援事業 なし 総合計画体系図No.→ 第3次豊後大野市子ども 子育て支援事業計画 会計 一般 政 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 施 策 期間 家庭訪問型子育て支援事業委託料 388 3 3 結婚・出産・子育て支援の充実 年度 ~ 年度 R2 R6 項 ①子育て支援サービスを充実する 3 施策展開 画 150 名 年度 ~ 目 後期基本計画 42 P 過疎計画 V 総合戦略 コロナ充当 期間 決算 64 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 -般財源 《事業の目的》 乳児家庭全戸訪問事業等により把握した保護 者の養育を支援することが特に必要と認められる児童若しくは保護者に監護させることが 不適当であると認められた児童及びその保護 不可は出産後の養育について出産前において 支援を行うことが特に必要と認められる妊婦 に対し、その養育が適切に行われ養育に関する 相談、指導、助言その他必要な支援を行うこ (育児家事援助 43件)食事、衣類、生活環境等、 不適切な養育状態にある家庭に、民間団体を活用し 育児家事援助等の支援の提供を行った。(専門 的相談支援 92件)妊娠期からの継続的な支援を必 要とする家庭に、助産師等による訪問支援を行った R 3 計画 538 180 R3 当初予算 358 180 538 決 算 額 347 294 53 R 4 計画 259 775 516 R4 当初予算 470 158 312 相談、指導、助言 とを目的とする。 決 算 額 R 5 計画 775 516 259 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 産後間もない養育者に対し、育児不安の解消や養育技術の提供等のため相談や支援を行う。
訪問等により支援が必要であると認めた妥良への支援内容の決定。訪問支援者との経過の把握、進行管理や、支援の終結決定の判断、委託先への委託料の支払。 R6計画 775 516 259 R6 当初予算 決 算 額

R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

775

3,638

1,008

347

516

2, 422

670

294

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		世	目標値	4	5	5	6	6
С	1 育児家事援助支援利用世帯 数	育児家事援助支援を利用した世帯数	☑ 個別計画	2	帯	実績値	4				
活	<i>~</i> ·		▶ 個別計画		%	達成率	100.0				
動指		対象家庭への具体的支援の内容。期間	総合戦略		口	目標値	8	8	8	10	10
標	2 ケース検討会議	対象家庭への具体的支援の内容、期間、 方法、計画の策定等ケース検討会議の開	- - 個別計画	4	1	実績値	7				
		催数 (年度末)			%	達成率	87.5				
		保健師、助産師等による家庭訪問し、養育に関する相談、指導、助言、養育技術	□ 総合計画		件	目標値	95	95	94	93	92
D	1 家庭訪問	育に関する相談、指導、助言、養育技術 の提供等の支援	□ 総合戦略	63	77	実績値	92				
成		専門的相談支援 (年度末)	✔ 個別計画		%	達成率	96.8				
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 Ε (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	19 点	3 点	19 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

不適切な養育状態にある家庭 民間団体と2か所委託契約を結

出産後間もない時期の養育者には、専門的相談支援ということで保健師、助産師、栄養士等が相談・支援を行った。食事、衣類、生活環境等について、不適切な養育状態にある家庭や、福祉サービスにつながっていない児童のいる家庭に対し、民間団体と2か所委託契約を結んで、育児・家事援助に重点を置いた必要な支援につなぐことができた。今後、虐待のおそれやそのリスクを抱える家庭や、ヤングケアラーの家庭に対しても、養育環境の維持・改善等の支援が必要である。支援の対象や訪問支援者等の拡充・検討に努めたい。

## 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

出産後間もない時期の養育者及び生活環境等支援が必要な養育状態にある家庭 について、必要な支援につなぐことができたことで一定の成果を上げている。 今後においては、支援の対象や訪問支援者等の拡充・検討に努めなければなら

### 令和5年度の事業の方向性 I

B. 見直しの上で継続-1 拡充

1,034

5, 170

1,681

事	業番号	枝	番	(令	和 3	年	度計	- 画	)	総合	計画	実別	包計	一画	書(	兼:	進揚	一管	理)								(様式1)
Ę	7015	3		(令	<b>№</b> 3	年	度 決	算	)	事	務	事	;	業	評	ſï	ħ	調	書	課局名	Ī	一育て支援	課	係名	i 家	庭	支援係
事	業	子ども	<b>ー</b> ・子育	育て支担	爰事業			ź	細事業	子	育て世	t代包排	括支	援セ	ンター	-事業		<b></b>	<b> </b>  施計画	<b>事業</b> 利用 ネ	子支援	爰事業(母-	子保健	型)		終了年度	なし
	<b>総合</b>	計画体	を図Nn —	<b>→ (</b> 131	)																					牛皮	
会計	一般	政	策		かな	福祉社	生会の	実現	を目指	すま	ち						個	第3	次豊後大 て支援事	野市子ど	£ •	令和 3	3 年度	主な歳	出名称	È	当初予算額
款	3	施	策	3 結	婚・日	出産・	子育で	て支担	爰の充	実							別		R2 <sup>年</sup>		年	会計年	度任用職	員報酬			2, 252
項	3	施领	(展開	①子:	育て支	で援サ	ービフ	スをす	た実す	る						╗	計 画					社会保証)	倹料 (会	計年度	任用職員分	ì	416
目	1	後	期基本	計画	42	Р		過疎	計画	~	総合	戦略		] ]	ロナ充	当	名	期間	4	度 ~	年	度 期末手	当				282
決算	64	A 事:	数目的	. 内容	. 🕳	*													2 車番料	·画額·決	作相等	費用弁付	賞(会計	年度任	用職員分)		120
						<b>94</b>		年				<b>+</b> +> +	#± d	5 é ±				֓֓֞֓֓֞֓֓֓֓֓֓֓֓֡֡֡֓֓֡֓֡֡֡֓֡֓֡֓֡֡֡֡֡֡֡֡֡֡	<u>&gt; 于末印</u>			<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		財源内	訳	(単	単位:千円)
		•	O H B	と内容	ř			度				主な活								事業費詞	Ī	国県支出金	地方	債	その他		一般財源
母子	■業の目 保健に	関する	相談に	対応す	るたる	め母子	保		・妊娠に関す	期からる相談	子育て	期にわ	た支	までの接を	ひ母子(	米健や する者	育児が利	F	R 3計画	3, 1	00	2,066					1,034
まで	を設置 の様々	なニー	ズに対	して総	合的村	泪談支	え援	R3	州できる	する好	にご産を作り	選足し 早期に	、旧程虚	和佐 し、 が必可	異氏機関 関係機関	・ヌ 関と協	抜し、	È	当初予算	3, 1	00	2,066				_	1,034
を提の専	供する。 門職が	、保健	師、助 ての妊	産師、 産婦等	臨床の状況	心理士 兄を維	:等 *続:		の支援	をした	。母子	·手帳の	交付	数 (1	18人)	7 (3	.灰.、	-	夬 算 額	3, 2	12	3, 210				_	2
的にて支	把握し 援プラ	、必要 ンを作	に応じ 戎する	て関係ことに	機関。	と協力 好産	5婦											ΙĿ	R4計画	3, 1		2,066				_	1, 034
等に	対しき	め細や	かな支	援を実	施する	5.	3,7,1	R4										Ιŀ	当初予算	3, 8	77	3, 230				_	647
							-											H	夬 算 額		_					+	
																		ΙĿ	R 5 計画	3, 1	00	2, 066				_	1, 034
				_ /- / _				R5										ΙĿ	当初予算							_	
	<b>全和3年</b>					※ 支接	<b>}</b> . −											H	夬 算 額							_	
情報:	是供、」	助言、有	呆健指	道				R6										ΙĿ	R6計画	3, 1	00	2, 066				+	1, 034
· 支	宝畑、 援プラ 婦人科、	ンの策)	Ē			佐 油		Κb										ΙĿ	当初予算							-	
調整	ハロノヘイナ、	、床连	カマぼ)	アド17文[美]	C Æ1	乃、브	± л9¤											λ	夬 算 額		+					+	

決 算 額 R 7 計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

3, 100

15, 500

6,977

3, 212

2,066

10,330

5, 296

3,210

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		母子手帳の交付数に対して、母子健康手	総合戦略		%	目標値	100	100	100	100	100
С	1 支援プランの作成率	帳交付時に支援プランを作成率(年度末	☑ 個別計画	100	/0	実績値	100				
活		)	▶ 個別計画		%	達成率	100.0				
動指			総合戦略		口	目標値	750	700	700	700	700
標	2 経過確認入電	経過確認のための延電話入電回数(年度 末)	ー ✓ 個別計画	614		実績値	641				
					%	達成率	85. 5				
			総合計画		Į.	目標値	50	40	40	40	70
D	1 育児指導数	沐浴指導、パートナーへの育児指導、妊婦体験、乳房ケア等面談回数(年度末)	□ 総合戦略	73	人	実績値	111				
成			✔ 個別計画		%	達成率	222.0				
成 果 指			□ 総合計画		,	目標値	130	130	120	120	120
標	2 産後うつ検討数	産後うつ検討会でのハイリスク妊婦の支援検討数(年度末)	□ 総合戦略	149		実績値	128			·	
			✔ 個別計画		%	達成率	98. 5				

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可) 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	5 点		4 点	
100	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	23 点	4 点	22 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

□ LEコIKROIST・課題・収音本寺」 ※予仮の争業の運め力寺
助産師が中心に特定妊婦、産後うつの方への対応など、多様なニーズに対応してくれた。コロナの影響でパパママ広場が昨年度から開催できていないが、心身の不調や育児不安のある方や、希望する妊婦さんへ、個別で育児技術支援(111名)を開催した。妊娠期の過ごし方や、子どものとの関わり方等、きめ細かな支援を行ってくれた。メンタル支援を要する妊婦さんには、産後も引き続き訪問やカウンセリングをしてくれた。メンタル支援を要する妊婦さんには、産後も引き続き訪問やカウンセリングをしてくれた。降床心理士も相談業務(55件)発達相談会等業務(71件)かじか業務(27件)。今後も引き続き円滑かつ効果的に事業が行えるように努めたい。

### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

財産師等専門職が妊娠期から子育て期までの様々な相談に応じ、サービスの情報提供や支援プランの策定等を行ったことにより、配慮が必要な家庭への支援に一定の成果を上げている。 今後についても、引き続き円滑で効果的に事業が行えるように努めていかなければならない。

# 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

775

3,875 1, 550

647

事	業番号	÷	枝番		(令和	П 3	年	度計	画	) i	総合	計画	実施	計画	画書	(兼:	進	步乍	理)								(様式1)
į	7015		4		( 令和	1 3	年	度涉	集算	) ;	事	務	事	業	評	ſi	西	訓	書	課局名	子-	育て支援	課	係名	1	家庭	支援係
事	業	7.	ども・ヨ	<b>7.</b> 本	ア士坪	市坐			Τ.	細事業	7.5	ケナ#	-4-51 to	5.士松、	センタ	_ 申 4	Ł	Ī	宇体計画	事業 幼児精	次伸言	<b>沙車</b>			<u> </u>	終了	なし
7	<i>_</i>					- //-				<b>仙</b>	1	F C L	-1 (124)	立义1仮	ピンク	尹ヲ	Ŕ		天旭前回=	<b>学未</b> 初元相	伍 )是 :	クザ禾				年度	なし
会計	一般	1 -	i体系図N 政	0.→ 策	( 131 II 典:		로치나ネ	+ 今 σ	宝珥	を目指	オキな	÷						第:	3 次豊後大	:野市子ども		令和 3	2 年度	主か前	- 出名称	1.	当初予算額
款	3	⇃┝								爰の充当	,						個別	子育期間	育て支援事 R2 **		年度	幼児精乳					679
項	3	┥┝	施策展							を実する							計画	7931-	' KZ	07 ~		実費弁作		- ЖЩ1	1911 10 322		96
目	1	1  -	後期基		<u> </u>	42 I				計画	·	総合	戦略	П	コロナダ	:当	名	期間	1 4	<b>F度 ~</b>	年度	22,2718					
決算	64	╽┕															<u> </u>		-								
		Α	事業目	的•	内容・	実績				1								<b>-</b> 1 r	B 事業計	・画額・決算	額等			財源内	±D.	(1	単位:千円)
		틕	事業の目	的。	△内容				年度			É	主な活	動実績	Ī					事業費計	田山	見支出金	地方		その		一般財源
									汶													ポスロエ	地刀	71貝			一般别源
⟨∄	事業のE 特応健	<b>的</b> シ 診え	> ·宇施 ì	≠	旧字科	至. %	海陰	宇宝	坟	新型コの相談	ロナウ 会け由	イルス 止レ1	感染症	拡大防	止のた	め9月。	と1月		R3計画	77	_	<b>卡又</b> 山並	地力	7 頂	(0)	IE.	一般知 <i>识</i> 775
幼児の早	精密健 期発見	診を 、支	実施し援・相	談を	行い、	子ど	もの	)成	R3	の相談	今け中	止とし	ナガ	11日に	臨時の	日談会	を盟	a	R3計画 当初予算	77 77	5	<b>一</b>	地力	1頃	- ( 0)		
幼児 の早	精密健 期発見	診支を	実施し援・相親の理	談を	行い、	子ど	もの	)成		の催し を を を は り に は り に り に り に り に り に り に り に り に	会は中 年度内 診で要	止とし に計9 精密と うち18	たが、 回の相 判断さ	11月に  談会を れ医療	止のた 臨時の 実 関 に で 後 フ オ ロ	目談会 た。 R つなが	を開 3 の	期 ) :		77	5 5	<b>长又山並</b>	ле <i>7</i> 3	7 1貝	- (0)		775
幼児 の早	精密健 期発見 達に関	診支を	実施し援・相親の理	談を	行い、	子ど	もの	)成		の催し を を を は り に は り に り に り に り に り に り に り に り に	会は中 年度内 診名名の	止とし に計9 精密と うち18	たが、 回の相 判断さ	11月に  談会を れ医療	臨時の 実施し 機関に	目談会 た。 R つなが	を開 3 の	期 ) :	当初予算	77	5 5 7	<b>未又山並</b>	地力	J (B	- ( 0 )		775 775
幼児 の早	精密健 期発見 達に関	診支を	実施し援・相親の理	談を	行い、	子ど	もの	)成		の催し を を を は り に は り に り に り に り に り に り に り に り に	会は中 年度内 診名名の	止とし に計9 精密と うち18	たが、 回の相 判断さ	11月に  談会を れ医療	臨時の 実施し 機関に	目談会 た。 R つなが	を開 3 の	期 ) :	当初予算 決 算 額	77 64 77	5 5 7	<b>示又山</b> 並	地力	7 (良	- ( 0 )		775 775 647
幼児 の早	精密健 期発見 達に関	診支を	実施し援・相親の理	談を	行い、	子ど	もの	)成	R3	の催し を を を を を は り に は り に り に り に り に り に り に り に り に	会は中 年度内 診名名の	止とし に計9 精密と うち18	たが、 回の相 判断さ	11月に  談会を れ医療	臨時の 実施し 機関に	目談会 た。 R つなが	を開 3 の	) 1.83	当初予算 決 算 額 R 4計画	77 64 77	5 5 7	<b>,又山</b> 並	地力	7 (0)	- ( 0 )		775 775 647 775
幼児 の早	精密健 期発見 達に関	診支を	実施し援・相親の理	談を	行い、	子ど	もの	)成	R3	の催し を を を を を は り に は り に り に り に り に り に り に り に り に	会は中 年度内 診名名の	止とし に計9 精密と うち18	たが、 回の相 判断さ	11月に  談会を れ医療	臨時の 実施し 機関に	目談会 た。 R つなが	を開 3 の	) 1.83	当初予算 決 算 額 R 4計画 当初予算	77 64 77 77	5 5 7 5	<b>,又山</b> 並	PE 77	710			775 775 647 775
幼児 の早	精密健 期発見 達に関	診支を	実施し援・相親の理	談を	行い、	子ど	もの	)成	R3	の催し を を を を を は り に は り に り に り に り に り に り に り に り に	会は中 年度内 診名名の	止とし に計9 精密と うち18	たが、 回の相 判断さ	11月に  談会を れ医療	臨時の 実施し 機関に	目談会 た。 R つなが	を開 3 の	) 1.83	当初予算 決 算 額 R4計画 当初予算 決 算 額	77 64 77 77	5 5 7 5	<b>景文山並</b>	<b>РЕ</b> 77	710			775 775 647 775 775
幼の長援	精期達制	診、すな <b>を</b> 支るけ	·実施・の 取組P の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	談解を 内容	·行い、 · (計画)	子一貫 >	ものた	)成	R3	の催し を を を を を は り に は り に り に り に り に り に り に り に り に	会は中 年度内 診名名の	止とし に計9 精密と うち18	たが、 回の相 判断さ	11月に  談会を れ医療	臨時の 実施し 機関に	目談会 た。 R つなが	を開 3 の	) (8)	当初予算 決 算 額 R4計画 当初予算 決 算 額	77 64 77 77	5 5 7 5	- マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マ	<u>яв</u> ,77	719			775 775 647 775 775
幼の長援 ・・ ジ 幼事	精期達制 冷 児業密発にに 和精出 名 密務に	診、すな	:実施・相乗のでは、	教解を	行深め (計画) 制要付	子一 > 、調	もした	)成 上支	R3	の催し を を を を を は り に は り に り に り に り に り に り に り に り に	会は中 年度内 診名名の	止とし に計9 精密と うち18	たが、 回の相 判断さ	11月に  談会を れ医療	臨時の 実施し 機関に	目談会 た。 R つなが	を開 3 の	) (8)	当初予算額 R 4計画 当初予算額 R 5計画 部分 第 部 部 部 部 部 部 部 部 部 部 部 部 部 部 部 部 部	77 64 77 77	5 5 7 5 5 5	- ド文山本	AE /7	719			775 775 647 775 775
幼の長援 ・・、 く 幼事連	精期達制 令 児業絡密発にに 和 精出調健見関つ 3 密務整	ぎ、すな	で実援親るの 取り 利用 は相理 かり 利用 番目 から かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい かい	教解を 内容 アプログラ アファイン アイア アイア アイア アイア アイア アイア アイア アイア アイア ア	·行深 (計画) (計の)	子一 > 、調	もした	)成 上支	R3	の催し を を を を を は り に は り に り に り に り に り に り に り に り に	会は中 年度内 診名名の	止とし に計9 精密と うち18	たが、 回の相 判断さ	11月に  談会を れ医療	臨時の 実施し 機関に	目談会 た。 R つなが	を開 3 の	) (8)	当初算額 田野額 田野額 田野額 田野額 田野額 田野額 田野額 田野額 田野額	77 64 77 77 77	5 5 7 5 5 5	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	AE /7	710			775 775 647 775 775

R 7 計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

775

3,875

1,550

647

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	10	10	10	10	10
С	1 発達相談会実施	発達相談会実施回数 (年度末)	☑ 個別計画	8	ш	実績値	9				
活			▶ 個別計画		%	達成率	90.0				
動指			□ 総合戦略		į,	目標値	80	80	80	80	80
標	2 発達相談会利用者	発達相談会を利用した幼児延人数(年度 末)	✓ 個別計画	50	八	実績値	56				
					%	達成率	70.0				
		幼児健診フオローとして相談会を利用し	総合計画		%	目標値	70	70	70	70	70
D	1 幼児健診フオロー数	た人数/幼児健診(1歳半検診・3歳半	□ 総合戦略	67	/0	実績値	69				
成		検診)で要精密と判断された人数	✓ 個別計画		%	達成率	98. 6				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & & &$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restance & \rightarrow & rest. \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	22 点	3 点	20 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	4 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 幼児精密健診を実施することにより、早期発見、支援につなげることができている。臨 床心理士が個別に発達相談に応じたり、医療機関につなぐために必要に応じて検査をした り、個々の子どもへきめ細やかな支援ができている。

R7

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

事業番号     枝番     (令和3年度計画)     総合計画実施計画書(兼進捗管理)       57015     5     (令和3年度決算)     事務事業評価調書     課局名     子育て支担	爰課 係名 3 年度 主な歳 児健診委託料	終年	
	3 年度 主な歳	終年	了なし
		年	度   <sup>なし</sup>
事 業 子ども・子育て支援事業 <b>細事業</b> 子育て世代包括支援センター事業 <b>実施計画事業</b> 妊婦乳児支援事業		出名称	4 加 子 笛 刻
総合計画体系図№→ ( 131 )		出名称	4 57 字 管线
個   子育て支援事業計画	児健診委託料		コカア昇1
37 0 MA MAR ME 17 CAROLAN	JUNERY SCHOOL		19, 7
項   3     施策展開   ①子育て支援サービスを充実する       画     画     妊婦乳	児健診助成金		66
目 1   後期基本計画 42 P   ☑ 過疎計画   ☑ 総合戦略 □ コロナ充当   名 期間 年度 ~ 年度   手数料			29
	保健指導事業委託	託料	4
<b>主</b>	財源内語	訳	(単位:千円
事業の目的と内容 度 主な活動美額 国県支出金	地方債	その他	一般財源
<b>〈事業の目的〉</b> 妊婦の健康の保持増進を図り、安全・安心な   ・ 妊婦健康診査 (2, 154件)   ・ 新生児聴覚検査 (145件)   R 3 計画 20,707	18, 700		2,00
妊娠・出産に資するため妊婦健康診査を実施	18, 700		2,00
する。時胎や胎児の健康確保を図る上で、定期的な健康診査の受診を勧奨する。聴覚障害は早期に発見され適切な支援を行われた場合	14, 200		3
【は、聴覚障害による音声言語発達等への影響 ┃   ┃	16, 753		2, 85
が最小限に抑えられることから早期発見・早 期療育が図られるよう全ての新生児を対象と R4 当初予算 18,561	16, 700		1, 86
して出生時に医療機関での健診を実施する。			
R5計画 19,612	16, 753		2, 85
R5 当初予算			
<令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額			
・国保連、助産所へ委託料、手数料の支払事 務 R6計画 18,517	15, 768		2, 74
・償還払いの処理 R6 出れる質			
・母子手帳交付時受診券交付       ・転入、転出妊婦への受診券の差し替え         ・転入、転出妊婦への受診券の差し替え       決算額			
R7計画 18.517	15, 768		2,74
R7	22,130		

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	2, 380	2, 310	2, 310	2, 240	2, 240
С	1 妊婦乳児健康診査費	妊婦乳児健康診査費延件数(年度末)	☑ 個別計画	2, 287	1	実績値	2,770				
活			▶ 個別計画		%	達成率	116. 4				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		│ │ │ │ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		Y	目標値	166	164	162	160	158
D	1 母子手帳の交付	母子手帳の交付数 (年度末)	□ 総合戦略	150	八	実績値	118				
成			✓ 個別計画		%	達成率	71. 1				
成 果 指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

計画額

当初予算

決算額

96,965

39, 268

14, 234

83,742

35, 400

14, 200

13, 223

3, 868

34

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1~9点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ $x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	23 点	4 点	<sup>22</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
母子保健法の規定に基づき、今後も妊婦健康診査について積極的な把握、受診勧奨、早期の支援に努めていきたい。国の2分の1の補助もあるので多胎児を妊娠した妊婦へ追加で受診する健康診査の費用を補助して、多胎妊婦の負担軽減も図っていきたい。	定められた検診をきちんと受けてもらうこと及び妊婦の経済的負担の軽減に一定の成果を上げている。 今後については、検診回数が多い多胎児妊婦への支援に努めていきたい。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

B. 見直しの上で継続-1 拡充

	基業番号     枝番     (令和3年度)       57015     6				業	評価		日生/		果局名	子育	て支援	課	係名	こど	も支援係
事	業 子ども・子育て支援事業		細事業	子育て世代包括	舌支援セ	ンター事業	É	実施計	画事第	美子育で3	支援情	報サイト	卜業務	委託事業	終年	
<b>∆</b> =1	総合計画体系図No.→ (131)	- A T	TH + D + 14-	L-1-1-			第:	2 歩 典 谷	<b>小</b> 眼目	<b></b> お子ども・	ユ	A.T. 0	<i></i>	A 4 4 1 1	1. D. II-	ルセス体が
会計款							個 育	て支援 間 R2	事業計	画				<b>主な歳</b> と 吸サイト業		当初予算額
項	3     施     策     3 結婚・出産・子       3     施策展開     ①子育て支援サー						計	#J R2	牛皮	~ R6	牛皮	1 11 ()	<1友I円 Ŧ	<b>双</b>	3万安市14年	1, 90
目		_	<b>疎計画</b>	✓ 総合戦略		ロナ充当	画名 期間		年度	~	年度					
決算				100 H 154H		H / / L I	7411									
., (),	A 事業目的・内容・実績	Τ.	1					B <b>事</b> :	集計画	額・決算額	<b>須等</b>				1	(## TE)
	事業の目的と内容	年度		主な活	動実績				,   ;	事業費計	国直:	支出金	地方	財源内部	: その他	(単位:千円) 一般財源
<1	事業の目的>	_	年間16,	466件のアクセス	いうち	85. 74%が	新規	R 3言	一画	1,980		又山业	257	刀段	1, 980	
	所や各種保育サービスに関する情報提供  用に向けての支援等を行う。	: R:		ーであった。				当初引		1, 980					1, 980	
								決算		1, 980	1				1, 900	8
								R 4言		660	1					66
		R4	4					当初引	算							
								決 算	額							
								R 5言	一画	360					360	
		R	5					当初予	算							
<:	令和3年度の取組内容(計画)>							決 算	額							
	所や各種保育サービスに関する情報の掲 更新をする。							R 6書	一画	360					360	
454 1	2.01 C 7 0 0	R	6					当初引	算							
								決 算	額							
								R 7言	画	360					360	
		R	7					当初予	算							
								決 算	額							
								計画	額	3, 720					3, 060	66
				R3 ~ R7	合 計	•		当初予	算	1,980					1, 980	
								決 算	額	1, 980					1,900	80
	評価指標名	旨標値	の説明(算	江出方法等)	各調	计画指標	R2実績	積値 単・	-		R3	R4	4	R5	R6	R7
С	1 アカウラ粉 w 1.11.	L m	アカトコ当	·		総合戦略	20	450 件	: —	標値	17, 000	+				
٦	1 アクセス数 Webサイ	r W	アクセス数		V	個別計画	30, 4	458		根	96. 9					
·-						6/1 A 2/2 m/a				標値	90.	,				
活動						総合戦略				·····································						
指	2 _					個別計画		%	· 達	成率						
指	2 —															
指						総合計画		0		標値	86	)				
指	1 新申ューボーの割合 WEBサイ	トに	アクセスし	た新規ユーザー		総合計画総合戦略	8	4.6	. —	標値	85. 7					
指標 D 成	WPD III.	トに	アクセスし	た新規ユーザー			8	4.6	美	程 積値 基成率		1				
指標 D 成果指	1 新規ユーザーの割合 WEBサイ の割合	トに	アクセスし	た新規ユーザー		総合戦略 個別計画 総合計画	8	4. 6	実       目	議値 成率 標値	85. 7	1				
指標 D 成果指	1 新申ューボーの割合 WEBサイ	トに	アクセスし	た新規ユーザー		総合戦略 個別計画 総合計画 総合戦略	8	4. 6	美 章	積値 成率 標値 積値	85. 7	1				
指標 D 成果指	1 新規ユーザーの割合 WEBサイ の割合	トに	アクセスし	た新規ユーザー		総合戦略 個別計画 総合計画	8	4. 6	美 章	議値 成率 標値	85. 7	1				
指標 D 成果指	1 新規ユーザーの割合 WEBサイ の割合	トに	アクセスし	た新規ユーザー		総合戦略 個別計画 総合計画 総合戦略	8	4. 6	美 章	積値 成率 標値 積値	85. 7	1	(対	象外事業	ئF <b>~ I</b> #	■未記入 可)
指標 D 成果指標	1 新規ユーザーの割合     WEBサイの割合       2 ー     評価対象外の理由					総合戦略 個別計画 総合計画 総合戦略	8	4. 6	美 章	積値 成率 標値 積値	85. 7 <sup>4</sup> 99. 7	1				<b>順</b> 未記入 可) (課長等)
指標 D 成果指標	1 新規ユーザーの割合     WEBサイの割合       2 ー     評価対象外の理由			た新規ユーザー の視点 (1~5点	で評価)	総合戦略個別計画総合計画総合戦略個別計画		4.6	実	積値 成率 標値 積値	85. 7 <sup>4</sup> 99. 7	7		)		

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(109点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	16 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
WEBサイト「なないろ」は令和3年度までの契約で終了し、令和4年度からは母子手帳アプリ「母子モ」へ移行する。	各種保育サービスに関する情報を掲載、必要に応じて更新をして一定の成果を上げた。令和4年度から、妊娠期から子育て期まで必要な時に適切な子育て支援情報が取得できる母子手帳アプリ「母子モ」へ移行したことで、費用が減少し内容は更に充実した。 今後においても、最大限活用できるよう情報の更新に努めなければならない。

I 令和 5 年度の事業の方向性

C.終了

1,636

496

420

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 7 (令和 3 年度決算) 事 家庭支援係 57015 務 業 評 価 子育て支援課 係名 事 業 子ども・子育て支援事業 細事業 子育て世代包括支援センター事業 実施計画事業 産後ケア事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 133 第3次豊後大野市子ども・ 子育て支援事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 3 結婚・出産・子育て支援の充実 期間 R2 年度 ~ 産後ケア事業委託料 495 3 年度 R6 項 施策展開 ①子育て支援サービスを充実する 3 画 名 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 42 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 決算 64 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 分娩施設退院後から一定の期間、病院において助産師等の看護職が中心となり、母子に促進して母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を言いたにより、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援することで、産後うつ病や育児不安、児童虐待などの問題を未然に防ぐことを目的とする。 乳児訪問や産婦健診等から、支援が必要な妊婦を早期に把握し、産後ケアの利用につなげることができた。宿泊型(11回・実2人) デイサービス型(13回・実7人) R 3 計画 495 248 R3 当初予算 247 248 495 決 算 額 667 247 420 R 4計画 347 693 346 R4 当初予算 495 248 247 決 算 額 R 5 計画 346 347 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・県医師会、助産師会と委託契約・利用相談、事業説明、利用意向確認、申請 R6計画 693 346 347 ・刊/川田時、マンニー 受理 ・承認、不承認審査、予約確定、通知 ・キャンセルや変更の把握 ・利用料の支払、利用者アンケートの実施 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 347 693 346

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		ı	目標値	3	5	5	5	5
С	1 産後ケア利用者	産後ケア利用者数 (年度末)	☑ 個別計画	2	人	実績値	9				
活					%	達成率	300.0				
動指			総合戦略		箘	目標値	3	3	3	3	3
標	2 産後ケア利用医療機関	産後ケアを受入れてくれる(紹介してく れる)産科医療機関数(年度末)	✓ 個別計画	2	所	実績値	9				
					%	達成率	300.0				
			総合計画		Į.	目標値	3	5	5	5	5
D	1 利用満足度	利用後のアンケートでの満足したと回答 した人数	□ 総合戦略	2	人	実績値	9				
成		0107090	✓ 個別計画		%	達成率	300.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

3, 267

990

667

1,631

494

247

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/500代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		4 点	
100	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	23 点	5点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点	/25点	5 点	/25点

## 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

産後ケアを必要とする母子に対し、心身のケアや育児のサポート等の産後ケアの利用につなげることができた。しかし本市は現在出産後4か月までとしているため、今後利用回数等は現状のままで、利用できる期間を出産後1年以内に拡充していきたい。市内に利用出来る産婦人科がなくなったので、その対策等今後検討していく必要がある。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

産後ケアを必要とする生後4か月未満の乳児と母親に対し、産後の母親の身体的回復と心理的な安定のため保健指導等を行い、一定の成果を上げた。 今後においては、市内に利用できる産婦人科がなくなったことから、利用期間の拡充等検討していく必要がある。

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-1 拡充

840

4, 407

1,824

125

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3年度決算) 事 家庭支援係 57015 8 務 価 子育て支援課 係名 事 業 子ども・子育て支援事業 細事業 子育て世代包括支援センター事業 実施計画事業 産婦健診事業 なし 総合計画体系図No.→ 第3次豊後大野市子ども 子育て支援事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 R2 <sup>年度</sup> ~ 款 策 期間 妊婦乳児健診委託料 3 3 結婚・出産・子育て支援の充実 年度 1,800 R6 項 ①子育て支援サービスを充実する 3 施策展開 画 妊婦乳児健診助成金 50 名 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 42 P ~ 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 35 決算 64 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 産婦の産後うつや自殺予防、新生児への虐待 予防等を図るため、産後2週間・産後1か月 など出産後間もない時期の産婦に対する健康 診査による費用を助成することにより、 の初期段階における母子に対する支援を強化 し、妊娠期から子音で期にわたる切れ目のない。 地域における全ての産婦を対象に、産後2週間、産 後1か月の産婦健康診査2回分に係る費用について 、助成を行った。産婦健康診査の結果報告から、 以体の精神状態の把握等を行い、支援が必要と判 断される産婦に対し、産後ケア事業を実施した。 R 3 計画 1,885 943 R3 当初予算 942 943 1.885 決 算 額 1,050 925 125 R 4 計画 1, 783 892 891 い支援体制を整備する。 R4 当初予算 1,681 881 決 算 額 R 5 計画 1,783 891 892 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・国保連、助産所へ委託料、手数料の支払事 R6計画 1,681 841 840 ・償還払いの処理 R6 当初予算 決 算 額

R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

1,681

8,813

3,566

1,050

841

4, 406

1,742

925

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		口	目標値	12	12	12	12	
С	1 市内の産婦人科との定期連 絡会開催数	定期連絡会の開催回数	個別計画	12	ш	実績値	8				
活	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				%	達成率	66. 7				
動指			□ 総合戦略		件	目標値	240	240	220	220	210
標	2 産婦健診受診数	産後2週間・産後1か月の産婦健診受診 数	個別計画		1	実績値	210				
					%	達成率	87. 5				
			総合計画		件	目標値	5	5	5	5	5
D	1 産婦人科からの情報提供数	精神面でのフオローが必要となる産婦の スクーリング数	□ 総合戦略		11	実績値	17				
成		2 2 2 2	□ 個別計画		%	達成率	340.0				
成果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値			·		·
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	5 点		4 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	21 点	3 点	21 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	3 点	∕25点	4 点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

産婦健康診査を2回実施し、実施期間から結果報告を受けて、支援が必要な産婦の把握をすることができた。令和3年度当初からのスタートのため、令和3年4月以降に母子手帳を交付した方には受診券のついかものを交付していたが、それ以前への交付者は産婦健診の受診券のみ送付したが、紛失する方も多かった。県内市町村で対応がラバラだったため産婦人科との連絡調整に時間不足でした。令和4年度以降はほとんどの市町村が事業を実施するので円滑にいくと思われます。支援が必要な産婦の把握につながっている。

R7

### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

産後2週間・1か月の産婦健診費用について助成を行い、健診結果報告から支援が必要と判断される産婦に対しては産後ケア事業を実施するなど、一定の成果を上げることができた。 今後についても、退院直後の産婦の健診支援について現状のまま継続する必要

がある。

# 令和5年度の事業の方向性

2, 113

731

194

寻	業番号		枝番		(令	和	3 4	年月	医計	画	)	総合	計画	画実別	百計	画	書 (	兼	進	步管	理)									(様式1)
	57015		9		(令	和	3 4	年月	<b>E</b> 決	算	)	事	務	事	į	業	評	ſ	<b>5</b>	調	書	課局名	i	子言	で支援	課	係名	i	家庭	支援係
事	業	子と	:'t.	子育	で支持	爰事	業			į	細事業	· 7	・ 育てt	世代包括	舌支	援セ	ンター	-事美	É		実施計画	<b>事業</b> 幼児	己療育	<b></b> 支援	事業				終了 年度	なし
		画信	体系區	⊠No.→																		m= 1	10.1							
会計	一般	I ⊢	攺	策	II 를	豊かる	な福	祉社	会の	実現	を目指	ますま	ち							子育	次豊後大 て支援事	業計画	F. P.	•	令和 3	年度	主な歳	出名称		当初予算額
款	3	1	色	策	3 結	婚•	出産	€•∃	产育で	支拉	爰の充	実							別計.	期間	R2 4	₹度 ~	R6	年度	幼児健認	<b>沙事業出</b>	務謝礼	金		280
項	3		<b>施策</b> 原	展開	①子	育て	支援	きサー	- ビス	をす	定実す	る						Ц	画						実費弁例	Ĕ				45
目	1		後期	基本	計画	42	P			過疎	計画	V	総合	計戦略		] =	ロナ充	当	名	期間	4	<b>拝度~</b>		年度						
決算	64	_	本書	日的	• 内容	. 4															B 事業計	一面頼。と	上首都	奎						
							< 198L			年				<u> </u>	er 🕁	7./±				٦٢	<u> </u>			47			財源内	訳	(.	単位:千円)
			.,.	日的	と内容	<b>*</b>				度				主な活	虭兲	<b>ミ積</b>				ЦL		事業費	で計	国県	支出金	地方	債	そのイ	也	一般財源
<b>く!</b> 療育	■業の目 機関受	<b> 的&gt;</b> 診や	訓練	を必	要とす	つるり	見は多	多く、			きらき	きら巻 レそσ	対室を <sup>2</sup> )保護	F4回実 そに関	施、	3歳 健師	児クラ よりき	ス0 iをt	)子 i)け	71	R 3計画		325							325
訓練	機関受まで待まのま	機期	間が応し	長かてい	ったり	、木	ながた	よく	家ろ	R3	てもに	うい2: 生土 1	2名(記	者に園 に国 に に に 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	のヨ	参加	があった	た。	作		当初予算		325							325
、 飛	育機関	TX CC	My C	さな	八甲、	地域	或でク	シビ	で		教室に	こ年2	可以上	の参加	者に	34名	とからいた。	) - ) /	-0		決 算 額		194							194
も原	月又1仮	で制	α) (	V · \	(C 0)				Γ											11	R 4 計画		447							447
										R4										Ш	当初予算		406							406
																				Ш	決 算 額									
									Ī											11	R 5 計画		447							447
										R5										Ш	当初予算									
<:	令和3年	₽度の	り取糸	且内容	引言(計画	<u>(</u>														H	決 算 額									
・幼	児療育 業出務	参加	者の	予約	受付、	調恵	色桂井	0担4	H-											11	R 6計画		447							447
、連	絡調整					יייי (	、1月辛	NIE1		R6										胩	当初予算									
・幼	児療育 務謝礼	文援 金、	事業(	か実施	他 の支払	事務	务		- 1											11	決算額									
									ŀ											-11	P7計画		447							447

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		1	目標値	30	100	100	100	100
С	1 ミニ児童発達・プレ授業体 験参加者	ミニ児童発達支援・プレ授業体験参加者 数(年度末)	個別計画		人	実績値	58				
活	W(2 / W				%	達成率	193. 3				
動指			総合戦略		件	目標値	20	20	60	70	80
標	2 個別相談対象者	教室参加者のうち専門職が個別に対応し た件数(年度末)	✓ 個別計画		Т	実績値	25				
			▼ 間が日間		%	達成率	125. 0				
			総合計画		月	目標値	5	5	3	3	3
D	1 医療機関等への受診期間月数	教室参加後、療育機関・医療機関へ受診 した月数	□ 総合戦略		Л	実績値	1				
成	~-	3107136	□ 個別計画		%	達成率	20.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

2, 113

731

194

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	23 点	5 点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

# 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

令和3年度から新規の事業としてスタートしたが、プレ授業 (36名)、きらきら教室 (22名) 共に事業効果は高いと感じます。プレ授業については、作業療法士さんから個別のアドバイスをもらえたり、日頃から子どもの様子に周囲から指摘をうけ精神的にきつい思いをしていた保護者や、なかなかどこにもつながっていなかった子どもさんが医療機関等につながったり、今後も就学前の支援や園への支援等拡充しながら続けていきたい。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和3年度から新規事業として、作業療法士が加わりか学校就学の前年にプレ授業、園に通う3歳児にきらきら教室を開催し、保護者からの相談を受けたり療育機関につなげることができたりと、一定の成果を上げている。今後については、療育機関受診や訓練を必要とする児童や保護者の育児不安の解消のため、支援の拡充に努めなければならない。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

B. 見直しの上で継続-1 拡充

162

810

324

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 家庭支援係 57015 11 (令和 3 年度決算) 事 務 業 価 課局名 子育て支援課 係名 事 業 子ども・子育て支援事業 細事業 子育て世代包括支援センター事業 実施計画事業 医療的ケア児保育支援モデル事業 なし 総合計画体系図No.→ 第3次豊後大野市子ども・ 子育て支援事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 3 結婚・出産・子育て支援の充実 期間 R2 年度 ~ 協議会委員謝礼金 102 3 年度 R6 項 施策展開 ①子育て支援サービスを充実する 3 画 消耗品費 50 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 42 P 過疎計画 ~ 総合戦略 実費弁償 10 決算 64 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 **▽事業の目的>** 保育所等において医療的ケア児の受け入れを 可能とするための体制を整備し、医療的ケア 児の地域生活支援の向上を図る。 医療的ケア児の保育園の受入れについてケー ス会議は行ったが、検討会の設置にまでは至 らなかった。 R 3 計画 162 162 R3 当初予算 162 162 決 算 額 R 4 計画 162 162 R4 当初予算 162 162 決 算 額 R 5 計画 162 162 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・医療的ケア児の受入れについて検討・関係機関との連絡体制の構築 ・施設や保護者との調整 ・施設計画の策定 R6計画 162 162 R6 当初予算 施設計画の来検討会の設置 決 算 額

R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

162

810

324

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
С	1 検討会の設置	医療的ケア児の受入れについて検討会の 設置(年度末)	☑ 個別計画		Ш	実績値					
活					%	達成率					
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		%	目標値		100	100	100	100
D	1 医療的ケア児の受入れ	医療的ケア児の保育所等への入所希望に 対して、受入れ可能数(年度末)	□ 総合戦略		/0	実績値					
成		7,50 11 711230 (1 50)19	✔ 個別計画		%	達成率					
成果指標			総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

# 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 令和3年度は対象状の転出により実績はないが、今後においても、医療的ケア児及びその家族が希望する地元の保育所等に入所し、地域の子どもたちと生活できるよう支援するために、必要な事業である。多職種連携による支援情報集約と相談支援の体制づくりについて検討していかなければならない。

令和3年度医療的ケア児の保育園への入所等について、検討会を開催する予定だったが、対象時が令和2年度末に転出し、新たな入園希望者がおらず検討会の設置には至らなかった。今後、保育園入所のみならず医療的ケア児及びその家族に対する支援に関して、医療、保健、福祉、教育等の関係機関との連絡調整を行い、多職種連携による支援情報集約と相談支援の拠点化が必要である。事業の手段を改善して、拡充が望ましいと考える。

# 令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

2,016

2,016

8,064

1,517

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 (令和 3 年度決算) 事 課局名 家庭支援係 57023 1 務 業 評 価 子育て支援課 係名 事 業 細事業 支援対象児童等見守り強化事業 実施計画事業 支援対象児童等見守り強化事業 子ども・子育て支援事業 なし 総合計画体系図No.→ 第3次豊後大野市子ども 子育て支援事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 支援対象児童等見守り強化事業補 \_\_R2 年度 ~ 別計 款 策 3 結婚・出産・子育て支援の充実 期間 3 年度 5,950 R6 項 施策展開 ①子育て支援サービスを充実する 3 画 名 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 42 P 過疎計画 ~ 総合戦略 ~ コロナ充当 決算 64 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 新型コロナウイルス感染症の影響により、子 どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリス クが高まる恐れがあることを踏まえ、支援ニ ーズの高い子ども等を見守り、必要な支援ニ つなげることができる体制の強化を推進する ため、子どもの居宅を訪問するなどし、食事 の提供等を通じた子どもの見守り体制を強化 する。 子ども食堂と連携して、週2回の食事の提供を行い、子どもの状況把握を行った。年間99日、1日コローナのため臨時に中止にした。要対協の構成メンバーにいれた子ども食堂と相互連携し、毎月情報共有をし、地域における子どもの見守り体制の強化を支援し、 R 3 計画 5,950 R3 当初予算 5, 950 5. 950 決 算 額 4,370 4,370 R 4計画 2,016 2,016 R4 当初予算 4,550 1,517 3,033 決 算 額 R 5 計画 2,016 2,016

当初予算

決 算 額

R6計画

当初予算 決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

2,016

2,016

14,014

10,500

4,370

5,950

8,983

4,370

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	100	50	50	50	50
С	1 週2回の食事の提供	食事の提供回数 (年度末)	✓ 個別計画	60	凹	実績値	99				
活					%	達成率	99. 0				
動指			□ 総合戦略		世帯	目標値	800	800	800	800	800
	2 食事の提供世帯数	食事の提供延世帯数	□ 個別計画		帯	実績値	824				
					%	達成率	103.0				
	→ 101 + □ <del>- 1</del> 10 + 1 + 4		総合計画		食	目標値	3, 500	4,000	4,000	4,000	4,000
D	1 子どもの見守りのための食 事の提供	支援対象児童への食事の提供数(年度末)	□ 総合戦略		及	実績値	3, 351				
成			✓ 個別計画		%	達成率	95. 7				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 Ε 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)	
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	5 点		5 点		
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		5 点		
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	5 点		5 点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	24 点	4 点	22点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	∕25点	3 点	∕25点	

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R5

R6

R7

<令和3年度の取組内容(計画)>

・情報提供(月1回) ・配食の連絡調整

回)

・弁当の提供、子ども等の状況の把握(週2

見守りの必要な子どもの居宅を訪問し、継続的な関わりが必要な家庭に対し食事提供を行うなど生活状況の把握をすることができた。更に必要な家庭には家事援助等の支援結ぶことができたことで一定の成果を上げている。 今後についても継続して支援を行い、ヤングケアラーの家庭に対しても、この事業を支援策として多機能的支援につなげていかなければならない。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

【担当課長職等の所見】

要保護児童対策協議会の支援対象児童として登録されている子どもの居宅を訪問し、状況の 把握や、食事の提供を行うことで、生活環境の把握ができ、養育支援訪問事業等で、家事援助 等の支援に結ぶことが出来た。支援が必要であるにも関わらず行政の支援につながっていない 家庭など、継続的な関わりが必要な家庭に対し食事を提供することで保護者が支援を受入れや すくなった。 すくなった。 今後は、ヤン: にしていきたい。 ングケアラーと言われるケアを担う子どもの家庭に対しても、この事業が支援策

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

事業番号	枝番
59001	1

会計

款

項

目

決算 66

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

こども支援係 (令和 3年度決算) 事 業評 課局名 子育て支援課 係名 事 業 放課後児童健全育成事業 細事業 放課後子どもプラン推進事業 実施計画事業 放課後児童健全育成事業 なし

総合計画体系図No.→ ( 132 )

一般		政	策	П	豊かな	福祉	止社会の	実現を目	指すまち			個
3	Ī	施	策	3 糸	吉婚・	出産	・子育	て支援の充	5実			另
3	Ī	施策	展開	①¬	育て	支援	サービ	スを充実す	-る			ı
1	Ī	後其	月基本	計画	42	Р	V	過疎計画	~	総合戦略	コロナ充当	4

令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 放課後児童健全育成事業委託料 92, 414 会計年度任用職員報酬 8,882 費用弁償 (会計年度任用職員分) 949 期末手当 741

A 事業目的·内容·実績			B 事業計	画額・決算額		741		
事業の目的と内容	年	主な活動実績		事業費計		財源内	訳	(単位:千円)
	度	工な心勁天恨		尹未良司	国県支出金	地方債	その他	一般財源
<b>⟨事業の目的⟩</b> 保護者が労働等により、昼間家庭にいない小		13か所の放課後児童クラブで634人の登録児童 を受入れを行った。	R 3計画	103, 397	68, 904	29, 200		5, 293
学生に対し、放課後や長期休みに適切な遊び や生活の場を与え、健全な育成を図る。	R3		当初予算	103, 397	68, 904	29, 200		5, 293
( = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	ı		決 算 額	103, 014	65, 530	28, 400		9, 084
			R 4計画	116, 000				116, 000
	R4		当初予算	118, 461	78, 962	34, 400		5, 099
			決 算 額					
			R 5計画	122,000				122, 000
	R5		当初予算					
<令和3年度の取組内容(計画)>			決 算 額					
委託または直営により放課後児童健全育成事 業を行う。			R 6計画	128,000				128, 000
	R6		当初予算					
			決 算 額					
			R 7 計画	134, 000				134, 000
	R7		当初予算					
			決 算 額					
			計画額	603, 397	68, 904	29, 200		505, 293
		R3 ~ R7 合 計	当初予算	221, 858	147, 866	63,600		10, 392
				103, 014	65, 530	28, 400		9, 084

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦	洛	カュ	目標値	13	13	13	13	13
С	1 放課後児童クラブ施設数	放課後児童クラブの施設数	☑ 個別計	13	所	実績値	13				
活				ш,	%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦	洛		目標値					
標	2 _		□ 個別計	南		実績値					
				=4	%	達成率					
			─ 総合計	画	Į.	目標値	550	550	550	500	500
D	1 登録人児童数	年間の登録人児童数	□ 総合戦	格 651	八	実績値	634				
成			✔ 個別計	画	%	達成率	115.3				
果指			□ 総合計	画		目標値					
標	2 —		□ 総合戦	各		実績値					
			□ 個別計	画	%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	許価項目グランの税点(1~9点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		4 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	22 点	4点	22 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点	∕25点	5点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
核家族化や共働き世帯の増加に伴い、放課後児童クラブの需要は高まっているが、放課 後児童クラブの支援員や補助員の確保が課題となっている。	保護者が労働等で昼間家庭にいない小学生に対し、放課後や長期休みに適切な 遊びや生活の場を与えることができたことで、一定の成果を上げている。 今後においては、高まる需要に対し支援員や補助員の確保について努めていか なければならない。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

接合計画体系図M - (122   22	事	業番号		技番	(	令和	П 3	年	度	Ħ	画	)	船	合約	計画	写実	施計	画書	(	兼進	捗	管	理)									(様式1)
数		59001		2	(	令和	1 3	年	度	決	算	)	事	F	務	事	美	ŧ	評	価	į	調		課局名		子育	で支援	課	係名	3	こども	っ支援係
会計 一般 数 策 II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 施 策 3 結婚・出産・子育で支援の充実 施 策 3 結婚・出産・子育で支援の充実 施 策 3 結婚・出産・子育で支援の充実 施 2	事	業	放護	後児童	<b>直健</b> 全	全育成	事業					細事	業	放記	課後-	子ども	プラン	/推進	事業			実	施計画	<b>事業</b>	<b>果後児</b>	童ク	ラブ巡回	回派遣:	事業委	託事		
横		総合	計画	体系図N	lo.→ (	132	)																									
放   3	会計	一般	I	女 :	策	Ⅱ 豊:	かな礼	畐袓	L社会	会の	実現	を目	指写	ナまち	ó					╛					€	子						当初予算額
類   3   機類   1   1   機類   1   2   で	款	3	方	te :	策 :	3 結婚	・出・	産	· 子	育	(支	援の	充実	:						另	期	間	R2 4		R6	年度		見童クラ	プ巡回	派遣事	業委	210
本業目的・内容・実績	項	3	方	地策展	開(	D 子育	で支	援	サー	ビフ	くを	充実	する							匪	Ī											
本業自的・内容   集度   まな活動実績   本業の目的と内容   集度   まな活動実績   東来の目的と内容   集度   まな活動実績   東来の目的と大変を決していまる巡回 が正確を実施して支援を担当する職員や児童の保護者に対し、確かいべ特性の早期把連、 判別が応のための助言等の支援を行う。   日本	Ш	1		後期基	[本計	画	42	Р	[	/	過政	計画	回	~	総合	合戦略		コロ	ナ充当	i     <sup>2</sup>	期	間	4	年度 ~		年度						
事業の目的と内容         集度         主な活動実績         事業費計 国県支出金 地方債 その他 一般財活の記憶を発電 108 第次 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日本 200 日	決算			<b>5</b> # 0	۸.	rh ska																-	***	Liminate . M	h (40) #15	- Auto-						
本事の目的と内容   度							大物	<u> </u>			年											r	<u> 字未日</u> \			<del></del>			財源内	]訳	()	単位:千円)
放譲後児童グラブへの作業療法士による巡回 派遣を実施し、支援を担当する職員を児童の 保護者に対し、障がいや特性の早期把握、早 期対応のための助言等の支援を行う。  R4  R4  R4  R5  R6  R7  R7  R8  R8  R8  R8  R8  R8  R8  R8			事	業の旨	的と	内容					度					主な	古動実	績						事業質	E at	国県	支出金	地方	債	その	他	一般財源
R3 R3 B4 B4 B4 B4 B4 B4 B4 B4 B4 B4 B4 B4 B4				ブへの	作業	療法-	ナ:によ	: る	巡回	ī									(クラ)	ブ当た	-	R	3計画		216		108					108
期対応のための助言等の支援を行う。  R4  R4  R4  R5  R6  R7  R7  R8  R8  R8  R8  R8  R9  R8  R8  R8  R9  R8  R8	派遣	を実施	し、	支援を	担当	する耶	鉄員や	児	童の	)	R3		T-202	2070	///65	■ルッ	·// C/	-0				<b></b>	4初予算		216		108					108
R4 当初予算 216 108 1 1 次 算 額								_17/E	` +	-												決	等 額	i	144		96					4
R5										ı											1	R	4計画	i	216		108					10
R5       R5計画       216       108       1         当初予算       決算額       次算額       R6         R6       R6       216       108       1         当初予算       決算額       1         以算額       R7       216       108       1         当初予算       決算額       R7       216       108       1         当初予算       決算額       1       200       1         当初予算       決算額       1       200       1         決算額       1       200       540       5											R4											<b></b>	4初予算		216		108					108
(今和3年度の取組内容(計画)>       大き 額       大き 額         内線後児童クラブを対象に希望調査を行い、巡回アドバイザーを派遣する。       R6       R6       R6       R6計画 216 108 118         R7       R7       R7       R7計画 216 108 118       1 108 11         ※ 算額																						決	等 額	1								
<0 和3年度の取組内容(計画)>       決算額         放課後児童クラブを対象に希望調査を行い、 巡回アドバイザーを派遣する。       R6         R6       216         B7       216         R7       216         B8       108         当初予算       216         当初予算       216         決算額       216         決算額       216         計画額 1,080       540         540       540										ı											1	R	₹5計画		216		108					108
放課後児童クラブを対象に希望調査を行い、 巡回アドバイザーを派遣する。       R6       R6計画       216       108       1         要初予算       決算額       R7計画       216       108       1         サンクラ ・ 大算額       ・       108       1         サンクラ ・ 大算額       ・       ・       ・         計画額       1,080       540       540											R5											<b></b>	4初予算									
R6     R6     H 6 計画     216     108     108       当初予算     決算額     R7 計画     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216     108     1       B7     216 <t< td=""><td>&lt;=</td><td>含和3年</td><td>F度0</td><td>取組</td><td>内容(</td><td>計画)</td><td>&gt;</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>決</td><td>等 額</td><td>i</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>	<=	含和3年	F度0	取組	内容(	計画)	>															決	等 額	i								
R6     当初予算     注 第 章       R7     R7     R7       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX       EX     EX     EX     EX       EX     EX     EX     EX       EX     EX     EX     EX       EX     EX     EX     EX       EX     EX     EX     EX <tr< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>間査を</td><td>行</td><td>V١,</td><td>ı</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>R</td><td>6計画</td><td></td><td>216</td><td></td><td>108</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>108</td></tr<>							間査を	行	V١,	ı											1	R	6計画		216		108					108
R7 計画 216 108 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	WEI .	, , ,	1 /	2 VIV	AB 7	ە <i>ب</i> ە					R6											<b></b>	4初予算									
R7     当初予算       決 算 額     計 画 額 1,080 540																						決	等 額	i								
決算額       計画額 1,080 540										ı											┪	R	7計画		216		108					108
計画額 1,080 540 5											R7											<b>业</b>	初予算									
																						決	等 額	1								
R3 ~ R7 合 計 当初予算 432 216 2										ŀ											┪	計	上 画 額	1,	080		540					540
														R	3 ~	R	7 合	計			-1	<b>业</b>	4初予算		432		216					216
<b>決 算 額</b> 144 96																						決	・ 算額	i	144		96					48

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	8	8	8	8	8
С	1 派遣事業の実施回数	巡回派遣の実施回数	☑ 個別計画	5	1	実績値	6				
活					%	達成率	75. 0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		Į.	目標値	30	30	30	30	30
D	1 参加児童数	1クラブ当たりの平均参加児童数	□ 総合戦略	28	$\wedge$	実績値	25				
成			✓ 個別計画		%	達成率	83. 3				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 ①評価対象

 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)	
	計画項目グランの代点(109点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		4 点		
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点		
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	17点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	/25点	

# G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 令和3年度は8クラブの希望があったが、新型コロナの影響等によりアドバイザーとの日程調整ができなかったクラブが2つあり、結果として6クラブへの派遣となった。 令和3年度は新型コロナの影響により希望どおりの箇所数とならなかったが、支援を担当する職員や児童の保護者に対し、障がいや特性の早期把握、早期対応のための助言等の支援を行い一定の成果を上げている。今後においても作業療法士による巡回派遣を継続して行い、担当職員や保護者に対し、必要な助言や支援を行っていかなければならない。

I 令和 5 年度の事業の方向性

事業番号 59001	<b>枝番</b>	( 令和 3 年 ( 令和 3 年			) 総合計画実施記 ) 事 務 事	計画書(第 業 評	東進技 価	步管課		課局名	子育	て支援	課係	ቋ ፦		( <b>様式 1</b> ) 支援係
[		建全育成事業	- 12 1/2	1	# <b>127                                   </b>		IIIII		. –	<b>工業</b> 保護者負				<del>-   -  </del>	という 終了 年度	なし
総合会計 一般	計画体系図№.  政 策	T' '	上社会の気	実現る	を目指すまち		個		次豊後大野 て支援事業	予市子ども・ 計画	子	令和 3	年度 主な	歳出名称	当	<b>当初予算</b> 額
款 3 項 3		3 結婚・出産 ①子育て支援・					計画	期間	∄ R2 <sup>年</sup>	<u></u>	年度	保護者負	担金減免事	<b>業補助金</b>		86
目 1 決算 66	後期基本	本計画 42 P	<b>v</b>	過疎	計画  ・ 総合戦略	コロナ充当	名	期間	年	度 ~	年度				+	
		・内容・実績		年				7 [	B 事業計	画額・決算額	<b>[等</b>		財源内	加	(単	位:千円)
	事業の目的	的と内容		度	主な活動	実績				事業費計	国県	支出金	地方債	その他	Τ-	一般財源
<b>&lt;事業の目</b> 放課後児童	<b>的&gt;</b> クラブを利用	引する児童の保護	者の		37人の対象児童に667,478 減免を行った。	円の保護者負	担金の	1	R 3計画	864		432				43
経済的負担?	を軽減するた	め 保護者負担	金の	R3	PAJE 2 11 27Co			Ш	当初予算	864		432				43
クラブの利用支援する。	用促進を図り	り円滑な放課後、児童の健全育	成を						決 算 額	668		333				33
又1及りつ。								Ш	R 4計画	864		432				43
			1	R4				Ш	当初予算	864		432				43
									決 算 額							
								Ш	R 5計画	864		432				43
				R5				Ш	当初予算							
	度の取組内							Ш	決算額							
対象となる係	未護有へ助放	(1) Do.						Ш	R6計画	864		432			$\perp$	43
				R6				Ш	当初予算						$\perp$	
								Ш	決算額							
								Ш	R 7計画	864		432			$\perp$	43
				R7				Ш	当初予算						$\perp$	
								41	決算額							
								Ш	計画額	4, 320		2, 160			$\perp$	2, 16
					R3 ~ R7 1	合 計		Ш	当初予算	1,728		864				86
								IJL	決 算 額	668		333				33

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		1	目標値	45	45	45	45	45
С	1 減免対象児童数	保護者負担金の減免対象児童数		39	人	実績値	37				
活				%	達成率	82. 2					
動指			総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		円	目標値	700,000	700,000	700,000	700, 000	700,000
D	1 減免額	保護者負担金の減免額	□ 総合戦略	622, 715		実績値	667, 478				
成			✔ 個別計画		%	達成率	95. 4				
果			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I 欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1・ラスで計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
ТШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	16 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	∕25点	3 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 保護者負担金の減免申請期間を通年とする要綱改正を行ったこととから、より利用しやすい制度となったため申請数が増えることが予想される。 保護者負担金の一部を助成することによって利用促進を図り、児童の健全育成の支援に一定の成果を上げている。要綱改正を行い、より利用しやすい制度となったことから、今後においては申請数が増えることが予想され、児童の健全育成に努めなければならない。

I 令和 5 年度の事業の方向性

(対象外事業はF~I欄未記入 可)

事業番号	枝番	(令和 3
61001	1	(令和 3
事業	效育・得	<b>R</b> 育施設運営事業

Ε

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

3	子育て支援課	係名	こども支援係

(令和 3年度決	算)	事	務	事	業	評	価	調	書	課局名	子育て支援課	係名	こどもえ	支援係
投運営事業	細事	業	教育・保	中施設	'運営事	業		実	施計画等	業 教育	<ul> <li>保育施設運営事業</li> </ul>		終了年度	なし

計画体系図No.→	( 134 )												
政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の	実現を目指す	まち			個	第3次	豊後力	大野市子 業計画	ども・・	子	令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
施 策	3 結婚・出産・子育	て支援の充実				別	期間	R2	年度 ~	R6	年度	保育所運営費	1, 130, 72
施策展開	②保育サービスを充実	実する				画							
後期基本	計画 42 P	過疎計画	□ 総合戦略		コロナ充当	名	期間		年度 ~		年度		
A 事業日的	. 内郊 . 安排						-	**	<b>計画報</b>	计管板	- Auto-		
Que.	政 策 施 策 施策展開 後期基本	政策     II 豊かな福祉社会の       施策     3 結婚・出産・子育       施策展開     ②保育サービスを充分	政策     II 豊かな福祉社会の実現を目指す       施策     3 結婚・出産・子育で支援の充実       施策展開     ②保育サービスを充実する       後期基本計画     42 P     図 過疎計画	政策       Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち         施策       3 結婚・出産・子育て支援の充実         施策展開       ②保育サービスを充実する         後期基本計画       42 P       図 過疎計画       総合戦略	政策       Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち         施策       3 結婚・出産・子育て支援の充実         施策展開       ②保育サービスを充実する         後期基本計画       42 P         ☑ 過疎計画       □         総合戦略       □	政策       Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち         施策       3 結婚・出産・子育て支援の充実         施策展開       ②保育サービスを充実する         後期基本計画       42 P       ☑ 過疎計画       □ 総合戦略       □ コロナ充当	政策       II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち       個別         施策       3 結婚・出産・子育で支援の充実         施策展開       ②保育サービスを充実する         後期基本計画       42 P       ☑ 過疎計画       □ 総合戦略       □ コロナ充当	政策       II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち       個別育でする         施策 3 結婚・出産・子育で支援の充実       漁業展開 ②保育サービスを充実する         後期基本計画 42 P       図 過疎計画	政策       Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち       傷育で支援事         施策 3 結婚・出産・子育で支援の充実       別期間 R2         施策展開 ②保育サービスを充実する       総合戦略 □ コロナ充当	政策       II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち       個別別間       第3次豊後大野市子育で支援事業計画別別間         施策 3 結婚・出産・子育で支援の充実       漁業計画       別別間       R2 年度 ~         後期基本計画 42 P       必過疎計画       総合戦略       コロナ充当	政策       II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち       備属する支援事業計画         施策 3 結婚・出産・子育で支援の充実       海線計画       国際のおります       関別期間 R2 年度 ~ R6         施策展開 ②保育サービスを充実する       総合戦略       コロナ充当	政策       Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち       第3次豊後大野市子ども・子 育て支援事業計画 別計 計画         施策 3 結婚・出産・子育て支援の充実       別計 調間 R2 年度 ~ R6 年度         後期基本計画 42 P       図 過疎計画       総合戦略       コロナ充当	政策       II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち       第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ~ R6 年度       令和 3 年度 主な歳出名称 保育所運営費         施策 開 ②保育サービスを充実する       後期基本計画 42 P       図 過疎計画

		B 事業計	画額・決算額	等			
年	主た活動実績		車業毒計		財源内	訳	(単位:千円)
	土な石助夫根		<b>学</b> 未良司	国県支出金	地方債	その他	一般財源
	教育・保育を必要とする小学校就学前の子ど もを、市内15扇、市外7園に委託し教育・保育	R3計画	1, 130, 728	807, 577	17, 112	4, 517	301, 522
R3	を行った。	当初予算	1, 130, 728	807, 577	17, 112	4, 517	301, 522
		決算額	1, 029, 462	753, 961	10, 176	6, 460	258, 865
		R 4計画	1, 120, 439	799, 501	17, 100	4, 471	299, 367
R4		当初予算	1, 040, 487	740, 391		6, 576	293, 520
		決 算 額					
		R 5計画	1, 109, 233	791, 505	17, 100	4, 426	296, 202
R5		当初予算					
		決 算 額					
		R 6計画	1, 098, 138	783, 589	17, 100	4, 381	293, 068
R6		当初予算					
		決 算 額					
		R 7計画	1, 087, 155	775, 753	17, 100	4, 337	289, 965
R7		当初予算					
		決 算 額					
		計画額	5, 545, 693	3, 957, 925	85, 512	22, 132	1, 480, 124
	R3 ~ R7 合 計	当初予算	2, 171, 215	1, 547, 968	17, 112	11, 093	595, 042
		決 算 額	1, 029, 462	753, 961	10, 176	6, 460	258, 865
	R3 R4 R5 R6	度       主な活動美報         教育・保育を必要とする小学校就学前の子どもを、市内15園、市外7園に委託し教育・保育を行った。         R4         R5         R6         R7	年度       主な活動実績         R3       教育・保育を必要とする小学校就学前の子どもを、市内15園、市外7園に委託し教育・保育と行った。         R4       当初予算決算額         R5       日本         R6       当初予算決算額         R7       日本         R7       日本         R3 へ R7 合計       日本	年度       主な活動実績       事業費計         R3 を介った。       R3 計画 1,130,728         当初予算 1,130,728       当初予算 1,130,728         決 算 額 1,029,462       R 4計画 1,120,439         出初予算 1,040,487       決 算 額 R 5計画 1,109,233         当初予算 決 算 額 R 6計画 1,098,138       当初予算 決 算 額 R 6計画 1,098,138         R7       R7         R8       R7         R8       R7         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9         R9       R9	大学   1	東度     主な活動実績     事業費計 国見支出金 地方債 国見支出金 地方債 国見支出金 地方債 国見支出金 地方債 国見支出金 市内15 園、市外7 園に委託し教育・保育 さんで、市内15 園、市外7 園に委託し教育・保育 当, 130, 728 807, 577 17, 112 当初予算 1, 130, 728 807, 577 17, 112 決算額 1, 029, 462 753, 961 10, 176 R 4 計画 1, 120, 439 799, 501 17, 100 当初予算 1, 040, 487 740, 391 決算額 R 5 計画 1, 109, 233 791, 505 17, 100 当初予算 決算額 R 6 計画 1, 098, 138 783, 589 17, 100 当初予算 決算額 R 6 計画 1, 098, 138 783, 589 17, 100 当初予算 決算額 R 7 計画 1, 087, 155 775, 753 17, 100 当初予算 決算額 R 7 計画 1, 087, 155 775, 753 17, 100 当初予算 決算額 R 7 計画 3, 087, 155 775, 753 17, 100 当初予算 決算額 R 7 計画 3, 087, 125 17, 125 17, 127, 126 17, 127       R7     R3 ~ R7 合計 当初予算 2, 171, 215 1, 547, 968 17, 112	事業費計   財源内訳   日標支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   その他   日票支出金   地方債   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日票支出金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日本金   日

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		カュ	目標値	20	20	20	20	20
С	1 委託施設数	入所を委託する市内外の教育・保育施設 数	✓ 個別計画	24	所	実績値	22				
活					%	達成率	110.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 —		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		Y	目標値					
D	1 待機児童	待機児童数(4月1日時点)	□ 総合戦略		人	実績値					
成			✔ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 4点 F なっている → 4 → 5 なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 5点 3点 評 優先度高い 優先度低い **→** 2 · 4 → 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 3点 できなかった 1 → 2 → できた 4 → 5 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 3点 15 点 18点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 推移していない ⇒ 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 3点 3点 /25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
教育・保育ニーズに対応できるよう、教育・保育の量と提供体制の適正化を図る必要がある。	管内・外の教育・保育施設へ運営費を交付し、教育・保育サービスの充実を図り子育てしやすい環境整備を整えることに一定の成果を上げている。 今後においては、教育・保育ニーズに対応できるよう、量と提供体制の適正化を図る必要がある。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 家庭支援係 (令和 3 年度決算) 事 業評 子育て支援課 係名 64004 1 務 価 事 業 母子家庭等自立支援事業 細事業 母子寡婦福祉会補助金 実施計画事業 母子寡婦福祉会補助事業 総合計画体系図No.→ ( 133 第3次豊後大野市子ども・ 子育て支援事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 当初予算額 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 個別計 策 3 結婚・出産・子育て支援の充実 母子寡婦福祉会補助金 款 期間 R2  $^{\text{年度}}$   $\sim$  R6  $^{\text{年度}}$ 90 3 項 施策展開 ①子育て支援サービスを充実する 3 名 目 3 後期基本計画 42 P ☐ 過疎計画 □ 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 決算 71 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額 決算額等 財源内訳 (単位:千円) 年度 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 国県支出金 地方債 その他 一般財源 **<事業の目的>** 母子寡婦福祉会の活動支援 R 3計画 90 90 R3 当初予算 90 90 決 算 額 R 4 計画 R4 当初予算 決 算 額 R 5計画 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 R6計画 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 R7 当初予算 決 算 額 計画額 90 当初予算 90 R3 ~ R7 合 計 90 決 算 額 評価指標名 R4 指標値の説明 (算出方法等) 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R5 R6 R7 目標値 □ 総合戦略 C 実績値 □ 個別計画 % 達成率 目標値 □ 総合戦略 実績値 標 □ 個別計画 % 達成率 目標値 総合計画 D 実績値 総合戦略 個別計画 % 達成率 成

果 指 標						総合計画	Ī.		目標値					
標	2 —					総合戦略	Š		実績値					
						個別計画	1	%	達成率					
E	評価対象外の理由	0評価対象	ţ									(対象外事	業は <b>F~I</b> #	未記入 可)
			評価項目/	∕5つの視点(1~5点で	評価)					ーツ 評価	文評価 占	(係長) 評価点合計	二次評価評価点	(課長等) 評価点合計
F	1. 市民満足(市民ア)	ンケート)の	向上が期待でき	る事業内容となっているだ	ייל	7	1 → 2 → よっていない	3 →	→ 4 → なってい.	5	1点		1点	
評	2. 事業の優先度は高し	いと思うか(	同じ成果指標設	定事業内での優先度)			1 → 2 → 優先度低い	⇒	優先度高	۱,۱	1点		1点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか						$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$			_	1点		1点	
Щ	4. 活動指標の達成状況	況(率)は計画	どおり推移して	いるか		推	1 → 2 → 移していない	⇒	推移した		点	3 点	点	3点
	5. 成果指標の達成状況	況(率)は計画	どおり推移して	いるか			1 → 2 → 移していない		→ 4 → 推移した		点	∕25点	—— 点	∕25点
	G 【担当係長	の意見・課題	通・改善策等】	※今後の事業の進め方等			H 【担:	当課長	長職等の所見	1】 ※評値	頭・改善	善策等を踏ま	えた課長職等	等の所見
令	和2年度末で母子寡婦福	E社会が解散	したので、令和	13年度の事業はない。			令和2年度末	で日	:子寡婦福祉	Ŀ会が解散〕	した。	令和3年度の	事業実績な	L.

 $\Rightarrow$ 

E. 廃 止

令和 5 年度の事業の方向性

I

4点

4 点

4点

20 点

/25点

事業番号	枝番
66001	1

3	事業番号	枝番 (令和	3 年度	画	) 兼	総合計	画実加	施計i	画書	兼	進	步管	理)	_								(様式1)
	66001	1 (令和	3 年度 🤉	夬 算	)	事務	事	業	ŧ į	评(	西	調	書	F	課局名	子育	て支援	課	係名	i	こども	支援係
事	業	児童館管理運営事業		i	細事業	児童館	直運営事	業				Nic	実施計i	画事	業 児童館	運営事	業				終了 年度	
会計		計画体系図No.→ ( 132 ) 政 策 II 豊かな	·福祉社会の	の宝田	た日也・	ナエナ						第37	か 豊後・	大斯	市子ども	• 子	△和 1	) 年度	ま 主な歳	出夕	私	当初予算額
款	3	221 212	出産・子育									育て	支援事 R2	業	計画				職員報酬		14/14	9,117
項	3	- 110	支援サービ								計画	70311-3	NΔ		~ ко				児童館運		<b>务委託</b>	3, 900
B	4	後期基本計画 42			計画		合戦略		לחב	⊦充当	名	期間		年	度 ~	年度	朝地児園	童館指	定管理委	託料		3, 74
決算	<u>74</u>				<u> </u>						ш						大野児	童館施	設整備工	事請負	負費	1, 70
		A 事業目的・内容・実	模	年								$\neg  \vdash$	<u>B 事業</u>	R AT I	画額・決算				財源内	訳	()	単位:千円)
		事業の目的と内容		度			主な活	動実績	積			$\perp$			事業費計	国県	支出金	地:	方債	そ(	の他	一般財源
児童		見及びその保護者相互の			5か所 <i>0</i> の遊び	の児童館* の場や親	で延べ1  子の交	1,450 <i>)</i> 流の場	人に対 景を提	けし、児 供した。	宣等	r F	R 3計	画	26, 42	7	1,754					24, 673
	つくり、∄ と図る。	母親クラブ等の地域組織	活動の育	R3								Ш	当初予	·算	26, 42	7	1,754					24, 673
												-11-	決 算		24, 98	6	1, 527					23, 459
												11	R 4 計		26, 42	-	1, 754					24, 67
				R4								I⊩	当初予		25, 77	3	3, 174					22, 599
												-11-	決 算 R 5 計		00.40	7	1 754					04 677
				R5								11	当初予		26, 42	1	1, 754					24, 673
<	令和3年	度の取組内容(計画) >		No								11	決算									
		営を委託や直営により行	う。									-11-	R 6計		26, 42	7	1, 754					24, 673
				R6								H	当初予	·算			,					
													決 算	額								
												11	R 7計	画	26, 42	7	1,754					24, 673
				R7								:	当初予	·算								
												_	決 算	額								
													計画	額	132, 13	5	8,770					123, 36
						R3	~ R7	合	計			11	当初予	-	52, 20	_	4,928					47, 272
												ا لـ	決 算	額	24, 98	6	1,527					23, 459
		評価指標名	T +5+	悪値の	<b>1</b> =	算出方法等	<b>*</b> /		各計画	51 to 1 ms	Ind	<b>.</b> 中结	値 単位	l	達成度	R3	T R	4 1	R5		R6	R7
$\vdash$	+	11   四   11   不 口	J 381	水胆の	ר) נפיזעי	<b>开山</b> 刀瓜 <sup>¬</sup>	च /	<del></del>			t	- 大恨	カン	+	目標値		5	5	No	5	5	
С	1 児童館	館管理運営事業の継続	児童館施	設数					_	8合戦略			5 所	·	実績値		5			_		<u> </u>
活								•	<b>√</b> 1	固別計画	1		%		達成率	100.	0					
動指										総合戦略	Š				目標値							
標	2 —								fi	固別計画	Ī			_	実績値							
	<u> </u>									^ 스 티 표	<u> </u>		%	+	達成率			=		00		
D	1 旧会	館利用人数	旧会給利用	H 1 #	fr.					総合計画 総合戦略		11, 42	。 人	-	目標値 実績値	11, 50	+	, 500	11, 5	00	11, 500	11, 500
成	・ル里	ми т 11/11 / <i>N 9</i> Х	児童館利用	ロ八岁	^			- 1 -		でロ 戦略 固別計画		11,4	%	+	達成率	11, 45 99.				$\dashv$		
果指									_	%合計画	+		$\top$	+	目標値					$\dashv$		
標	2 —								#	総合戦略	i				実績値							
										固別計画	i		%		達成率							
E	評価対	対象外の理由 0評価対	才象															<b>(</b>	対象外事	業は F	~ [欄	未記入 可)
Ī		<u> </u>	277	/# *# T	1/5=	の相上 /		±:=π !-	TT \							-	-次評価	(係長	€)	=3	欠評価(	課長等)
			評	価項目	1/5つ	の視点(	1~5 €	れで評価	曲)								価点		点合計		_	評価点合計

令和5年度の事業の方向性

児童館は、地域のすべての子どもたちの遊びなどの拠点施設である。5か所の児童館のうち、三重町以外の4館は、放課後児童クラブを併設しており、児童館と放課後児童クラブの子どもたちの交流が行われている。しかし、児童館の中で、年間の利用者数が平均で1人や3人の児童館があることや、職員の確保が困難となっている状況から、今後、児童館のあり方を検討する必要がある。

1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか

2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)

3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか

4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

【担当係長の意見・課題・改善策等】

F

評

価

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

 $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 

便先度低い ⇒ 優先度高い 1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた 1 → 2 → 3 → 4 → 5

なっていない

推移していない ⇒

1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推

 $\begin{array}{cccc}
\hline
c v & 5 & 5 \\
\hline
c v & 5 & 5 \\
\hline
c & 2 & 3 & 4 & 5
\end{array}$ 

H 【担当課長職等の所見】

推移した

3 点

4 点

4点

19 点

/25点

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

※今後の事業の進め方等

事	業番号		枝番		(	令和	1 (	3 4	年	度	計	画	)
6'	7001		1		(	令和	(	3 4	年	度	決	算	)
事	業	公	立教育	育・傷	よ 育	施設	管理	運	営	事業	S.	ń	田事業
	総合	計画	■体系	図No.—	<b>,</b> (	135	)						

款

項

目

決算 75 総合計画実施計画書 (兼准捗管理)

令和	3 年 度 決 算 )	事	務	事	業	評	価	調	書	課局名	子育て支援課	係名	緒方保育園

(13/14 0 1 22 27)	21. / 3.	123	T -	т и	limi	14"	_	1011113 H	1 11 ( ) ( 120,10)	P.14 I	4 H > 3 P I 4	13100
							-		•			
保育施設管理運営事業	細事業	公立教育	<ul> <li>保育施</li> </ul>	設管理運営	営事業	実	施計画事	業 公立	教育・保育施設管理運営	営事業	終了	なし

一般 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 施 策 3 結婚・出産・子育て支援の充実 施策展開 ②保育サービスを充実する 3 5 後期基本計画 42 P ✓ 過疎計画 ✔ 総合戦略 コロナ充当

第3次豊後大野市子ども・子 育て支援事業計画 期間 R2 <sup>年度</sup> R6 <sup>年度</sup> 別計 画 名 期間 年度 ~

当初予算額 令和 3 年度 主な歳出名称 給食調理業務委託料 24,038 会計年度任用職員報酬 16, 306 7,042 光熱水費 2, 354

A 事業目的・内容・実績			B 争来町	画額・決算額				
事業の目的と内容	年	主な活動実績		事業費計		財源内	訳	(単位:千円)
争業の日的と内台	度	土な冶助夫根		尹未貝司	国県支出金	地方債	その他	一般財源
〈事業の目的〉 幼児期の教育・保育は人格形成の基盤と生涯		園児一人ひとりの発達状況に応じた保育・教 育を実施した。また保護者や地域のニーズに	R 3計画	62, 020	5, 904	1,980	4, 278	49, 858
にわたる学習の基礎を培う極めて重要なもの	R3	関介 ハロシックの光度水のに心した保育・収 育を実施した。また保護者や地域のニーズに 応え、一時保育、延長保育、病後児保育事業 を実施した。さらに、職員はスキルアップの ための研修に参加した。	当初予算	62, 020	5, 904	1, 980	4, 278	49, 858
であり、子どもたちへの質の高い教育・保育の実施に努めます。また、保護者や地域の子育てカの向上を支援するため、保育サービス		を 美地 した。 さらに、 城員は ハギル アップ の ための 研修に参加 した。	決算額	54, 738	5, 159	1, 424	4, 003	44, 152
の拡充を図ります。			R 4計画	62, 020	5, 904	1, 980	4, 278	49, 858
	R4		当初予算	59, 774	6, 122		3, 913	49, 739
			決算額					
			R 5計画	62, 020	5, 904	1,980	4, 278	49, 858
	R5		当初予算					
<令和3年度の取組内容(計画)>			決 算 額					
・子どもの健全育成の支援 ・多様な保育サービスの充実			R6計画	62, 020	5, 904	1,980	4, 278	49, 858
3 M. S.M. 17 3 3 3 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2	R6		当初予算					
			決算額					
			R 7計画	62, 020	5, 904	1, 980	4, 278	49, 858
	R7		当初予算					
			決 算 額					
			計画額	310, 100	29, 520	9, 900	21, 390	249, 290
		R3 ~ R7 合 計	当初予算	121, 794	12,026	1,980	8, 191	99, 597
	L		決 算 額	54, 738	5, 159	1, 424	4,003	44, 152

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		Į.	目標値	80	80	80	80	80
С	1 入所者数	年度末(3月31日時点)の在園児数	☑ 個別計画	81	人	実績値	78				
活					%	達成率	97. 5				
動指			□ 総合戦略 □ 総合戦略			目標値					
標	2 _		☑ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
	「安心して子どもを預ける	緒方保育園保護者アンケートの「保育園のこと」に関する 項目で、「安心して子どもを預けることができる」の設問 で、A(とてもそう思う)、B(そう思う)と回答した割 合。	総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
D	「安心して子どもを預ける 1 ことができる」と回答した	で、A (とてもそう思う)、B (そう思う) と回答した割合。 品の (とてもそう思う) B (そう思う) C (	□ 総合戦略	100	/0	実績値	96. 5				
成	割合	※回答は、A (とてもそう思う)、B (そう思う)、C ( あまりそう思わない)、D (そう思わない)、E (よくわ からない)、F (該当しない)の6択	✔ 個別計画	i	%	達成率	96. 5				
果指	「子ども一人一人を理解し	緒方保育關保護者アンケートの「保育園のこと」に関する項目で、「子ども一人一人を理解し、大切に保している」の設問で、A(とてもそう思う)、B(そう思う)と回答した割合。※回答は、A(とてもそう思う)、	□ 総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
標	2、大切に保育している」と 回答した割合	いる」の改同じ、A (としもでう思う) 、B (でう思う)   と回答した割合。※回答は、A (とてもそう思う) 、	□ 総合戦略	91. 2	/0	実績値	91. 2				
	凹合した割官	B (そう思う)、C (あまりそう思わない)、D (そう思わない)、E (よくわからない)、F (該当しない)の6択	□ 個別計画		%	達成率	91. 2				

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	22 点	3 点	20 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	4 点	∕25点	3 点	∕25点

# 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

在園児や各種保育サービスの利用者数は、急速に進行する少子化とコロナ禍の影響等で減少しているが、園児一人ひとりの発達段階に応じた保育・教育や、核家族化や保護者の就労形態の多様化等に対応した各種事業が実施できた。特に、近年は、支援が必要な子どもが増えており、保育士は研修等を受講しスキルアップに努めながら、関係機関と連携を取り合い、個々の発達状況・特性にあった保育を育を実施している。また、食育にも力を入れており、園庭で栽培した野菜を給食の食材の一部として使用することで、園児は野菜が育つ様子や収穫した野菜が給食へと変わっていく過程を学び、食を身近に感じ興味を深めている。さらに、毎月1回避難訓練を実施し、閻児は災害から安全に避難し身を守ろ方法を学んでいる。今後も地域の方々との交流等、様々な経験を通じて豊かな人間性をもった園児の育成を目指してきたい。

# 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

市内唯一の公立保育園として、関係機関と連携を取り合い、個々の発達状況・特性にあった保育・教育を実施し、一定の成果を上げている。 今後においても、職員のスキルアップを図り、保護者のニーズに応えながら、 地域とともに豊かな人間性をもった園児の育成に努めていかなければならない。

# 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

事業番号	枝番
67002	1

事業番号	枝番	(令和	3 年度	計画 )	総合言	画実	色計画	書(	兼進:	步管理	里)				(1	様式 1
67002	1	(令和	3 年度	大算 )	事	<b>务</b> 事	業	評	価	調	書	課局名	子育て支援課	係名	緒方保	育園
事業	公立教育	f・保育施設管	管理運営事業	細事業	地域	子育て支	援拠点事	業		実	施計画	事業 地域	成子育て支援拠点事業 で表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表		終了 年度	なし
4/\ A	51 <del>== 14 ==</del> 5	mu. / 190 \										•	·			

	1460 ロ	间四冲术区110.~	7 ( 123 )											
会計	一般	政 策	Ⅱ 豊かな福祉	止社会の実	現を目指	すまち	)		個		、豊後) 支援事			_
款	3	施策	3 結婚・出産	・子育てき	支援の充乳	起			別計	期間	R2	年度	~	į
項	3	施策展開	①子育て支援	サービスを	を充実する	5			画					
目	5	後期基本	計画 42 P		國疎計画	~	総合戦略	コロナ充当	名	期間		年度	~	
決算	75													

も・子 当初予算額 令和 3 年度 主な歳出名称 会計年度任用職員報酬 1,209 年度 社会保険料(会計年度任用職員分 243 152 費用弁償(会計年度任用職員分) 72

A 事業目的・内容・実績			B 事業計	画額・決算額	[等   二二	(云川千茂 )	L/11/1945-(7)/	12
事業の目的と内容	年	主な活動実績		事業費計		財源内	訳	(単位:千円)
	度			尹未貝司	国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 地域の子育て家庭に対する育児支援を行うため、身近な地域で、奈思不安についての相談		地域における子育ての拠点として、在宅親子 や出産予定がある夫婦等の交流の場づくりや 、育児に関する情報提供や育児相談等が実施	R 3計画	1,845	1, 230			615
め、身近な地域で、育児不安についての相談 ・助言その他の援助や、親子の交流の場の提 供を目的に、子育て支援センターの運営に努	R3	、育児に関する情報提供や育児相談等が実施 できた。	当初予算	1,845	1, 230			615
供を目的に、子育で支援センターの運営に努 めます。		C = 1-0	決 算 額	1,620	1,054			566
W 4 9 0			R 4計画	1,845	1, 230			615
	R4		当初予算	1, 914	1, 276			638
			決 算 額					
			R 5計画	1,845	1, 230			615
	R5		当初予算					
<令和3年度の取組内容(計画)>			決 算 額					
<ul><li>・園行事への参加</li><li>・誕生会</li></ul>			R6計画	1,845	1, 230			615
<ul><li>・ 親子クッキング</li></ul>	R6		当初予算					
・茶話会 ・避難訓練 ・父親支援事業			決 算 額					
<ul><li>・遠足</li></ul>			R 7 計画	1, 845	1, 230			615
• 育児相談 • 家庭教育学級	R7		当初予算					
			決 算 額					
			計画額	9, 225	6, 150			3, 075
		R3 ~ R7 合 計	当初予算	3, 759	2, 506			1, 253
			決 算 額	1,620	1,054			566

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		日	目標値	240	240	240	240	240
С	1 子育て支援センター開所日 数	子育て支援センター利用日数	☑ 個別計画	213	П	実績値	229				
活	*		▶ 個別計画		%	達成率	95. 4				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
	tot I bereite en la lette hande villa		✓ 総合計画		Į.	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
D	1 地域子育て支援拠点事業の 充実	延べ利用者数(大人、子ども)	✔ 総合戦略	1, 253	人	実績値	1, 469				
成			✔ 個別計画		%	達成率	97. 9				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代紙(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか た	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか て	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推	1 → 2 → 3 → 4 → 5 移していない ⇒ 推移した	4 点	21 点	3 点	19 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか推	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ i移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	∕25点	3 点	∕25点

# 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

身近な地域で子育て家庭に対する育児支援を行うため、育児不安についての相談・助言等援助や親子交流の場の提供を行い、一定の成果を上げている。 今後においては、在宅親子が気軽に立ち寄ってもらえるよう利用者の増加に努めなければならない。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

新型コロナウイルス感染症拡大等により開所日数の減少や利用者の来所控え等があり、利用者数はコロナ禍前に比べると減少している。しかし、家庭で孤立しがちな子育て中の親子の定期的な来所や出産予定がある夫婦の利用等もあり、利用者の交流の場づくりや子育でに関する情報提供・相談対応等が実施できた。今後の課題は、利用者の増を図ることであり、子育で支援センターを利用したことがない在宅親子が気軽に立ち寄ってもらえるような環境づくりを行うほか、保健師の新生児訪問や乳幼児健診の際等に更に周知に努めていきたい。

# 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 社会福祉課 生活保護係 68001 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 生活保護総務事業 細事業 生活保護適正実施推進事業 実施計画事業 診療報酬明細書点検等充実事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 162 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 レセプト点検業務委託料 款 策 期間 年度 1, 122 3 6 社会保障の充実 年度 ~ 項 施策展開 ①低所得者福祉を充実する 4 手数料 24 名 後期基本計画 48 P コロナ充当 期間 年度 ~ 目 過疎計画 総合戦略 決算 76 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 **<事業の目的>** 診療報酬明細書の点検強化等を実施する 点検業務を委託し、月点検・縦覧点検を実施 R 3 計画 1, 146 287 により、医療扶助の適正化を図ることを目的とする。 R3 当初予算 859 287 1, 146 決 算 額 997 757 240 R 4 計画 287 859 1, 146 R4 当初予算 1,094 275 819 決 算 額 R 5 計画 1, 146 859 287 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・点検業務を委託し、月点検、縦覧点検を実 R6計画 1, 146 859 287 施する。 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 287 1, 146 859 R7 当初予算 決 算 額 計画額 5, 730 4, 295 1,435 1,678 R3 ~ R7 合 計 当初予算 2, 240 562 決 算 額 997 757 240 **夕到雨北插** 50束体 光丛 法武安

	評価指標名	指標値の説明(昇出万法寺)	各計画指標	R 2 実績値	甲四	達成度	R3	K4	R5	R6	R/
C 活	1 点検実施	月点検実施月数	総合戦略	12	月 %	目標値 実績値 達成率	12				
動 指	2 点検実施	縦覧点検実施月数	<ul><li>総合戦略</li><li>個別計画</li></ul>	4	月 %	目標値 実績値 達成率	4				
D 成	1 点検件数	月点検件数	総合計画 総合戦略 個別計画	12, 163	件 %	目標値 実績値 達成率	11, 334				
成果指標	2 点検件数	縦覧点検件数	<ul><li>総合計画</li><li>総合戦略</li><li>個別計画</li></ul>	3, 620	件 %	目標値 実績値 達成率	3, 383				

**E** 評価対象外の理由 0 評価対象
 (対象外事業は**F~I欄未記**入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの視点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  $	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	16 点	3 点	16点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 #我! ていない ⇒ #我! た	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

レセプトを活用し、健康管理の対象者、頻回受診者、後発医薬品の使用割合が低い者、重 複調剤の防止が徹底されていない者、他法他施策を活用できる者などを適切な支援につな げるため継続が必要である。

健康管理の対象者等レセプトを活用し、適切な支援につなげるため継続が必要。

I 令和5年度の事業の方向性

5,805

2, 304

424

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 社会福祉課 生活保護係 68002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 評 価 係名 事 業 生活保護総務事業 細事業 生活保護受給者就労支援事業 実施計画事業 生活保護受給者就労支援事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 162 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 被保護者就労支援事業委託料 款 策 6 社会保障の充実 期間 年度 3 年度 ~ 4,642 項 4 施策展開 ①低所得者福祉を充実する 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 48 P 過疎計画 総合戦略 決算 76 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 被保護者の就労の支援に関する問題について 豊後大野市社会福祉協議会に委託し、生活保 護現業員と共に対象者の訪問を実施した。 4,642 R 3 計画 3,481 1, 161 、被保護者からの相談に応じ、必要な情報の 提供及び助言を行うことにより、被保護者の 自立の促進を図ることを目的とする。 1, 161 R3 当初予算 3, 481 4,642 決 算 額 1,762 1, 338 424 R 4 計画 1, 161 4, 642 3, 481 R4 当初予算 4,569 1, 143 3, 426 決 算 額 R 5 計画 3, 481 1, 161 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・豊後大野市社会福祉協議会に委託 ・生活保護現業員と共に対象者を訪問し、情 報提供や就労活動の支援を行う。 R6計画 4,642 3, 481 1, 161 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 4,642 3,481 1, 161 R7 当初予算 決 算 額

	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		総合戦略		0/_	目標値					
訪問支援	対象者への訪問支援の実施率		60	/0	実績値	60				
				%	達成率					
		総合戦略			目標値					
_		_			実績値					
			%	達成率						
		総合計画		0/	目標値					
就労達成	対象者の就労率	□ 総合戦略	25	/0	実績値	25				
		□ 個別計画		%	達成率					
		□ 総合計画			目標値					
_		□ 総合戦略			実績値					
		□ 個別計画		%	達成率					
7	光労達成	大学達成 対象者の就労率	対象者への訪問支援の実施率	対象者への訪問支援の実施率	が問支援 対象者への訪問支援の実施率 60 70 96 96 96 96 96 96 96 96 96 96 96 96 96	対象者への訪問支援の実施率	対象者への訪問支援の実施率	対象者への訪問支援の実施率	対象者への訪問支援の実施率	対象者への訪問支援の実施率

R3 ~ R7 合 計

計画額

当初予算

決 算 額

23, 210

9, 211

1,762

17, 405

6,907

1,338

(対象外事業は**F~I欄**未記入 可) Ε 評価対象外の理由 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)	
	計画項目グランの代紙(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点		
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点		
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	16 点	3 点	16 点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点	

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 有効な就労支援によって、就労や増収が実現し生活保護から脱却することを目標であるが、対象者の高齢化等が進んでいることから、手法を見直すことが必要である。

適正かつ有効な就労支援によって、就労や増収が実現し生活保護から脱却することを目 とするが、就労に向けて課題を抱える者の増加や対象者の高齢化が進んでいることから、 手法を見直したうえで継続が必要である。

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

なし

3,860

971

719

654

7,718

7,718

17,652

7, 718

8, 105

7,718

7,718

7, 718

38, 590

15,823

17,652

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 社会福祉課 生活保護係 68003 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 生活保護総務事業 細事業 生活保護事務費 実施計画事業 生活保護事務事業 総合計画体系図No.→ ( 162 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 生活保護システム使用料 款 策 期間 年度 3 6 社会保障の充実 年度 ~ 項 4 施策展開 ①低所得者福祉を充実する 通信運搬費 名 目 後期基本計画 48 P コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 過疎計画 総合戦略 決算 76 内科嘱託医報酬 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 **<事業の目的>** 生活保護の適正な運営を確保することを目的 収入資産調査の充実強化により認定事務の適 正化を図った。職員研修はコロナ禍により中 止されたため不参加。 R 3 計画 7,719 R3 当初予算 7,719 決 算 額 17,652 R 4 計画 7, 719 R4 当初予算 8, 106 決 算 額 R 5 計画 7,719 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・収入資産調査の充実強化等による認定事務 R6計画 7,719 

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		%	目標値					
С	1 収入資産調査	収入資産調査の実施率	── ──────────────────────────────────	100	/0	実績値	100				
活					%	達成率					
動指			総合戦略		%	目標値					
標	2 職員研修	職員研修参加率	□ 個別計画	100	70	実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

当初予算

決 算 額

R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

7,719

38, 595

15,825

17,652

評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの抗点(「・・・」は、一・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	13 点	3 点	13点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	点	∕25点	— 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 生活保護事務の効率化と省力化をめざし、DX推進を行う必要がある。 生活保護事務の効率化と省力化を図るため、台帳等のDX推進を行うことが必要。

令和5年度の事業の方向性

R6

R7

B.見直しの上で継続-3 効率化/RPA等

239, 999

1, 208, 250

6, 287

496, 140

188, 146

/25点

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 69001 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 社会福祉課 係名 生活保護係 事 業 細事業 実施計画事業 生活保護 (扶助費) 事業 生活保護事業 生活保護費 なし 総合計画体系図No.→ ( 162 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 年度 扶助費 1, 035, 715 3 6 社会保障の充実 年度 ~ 項 4 施策展開 ①低所得者福祉を充実する 名 2 年度 目 後期基本計画 48 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 決算 77 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 生活に困窮する者に対し、その困窮の程度に 応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最 低限度の生活を保障するとともに、自立を助 長すること目的とする。 <sup>上活保護法及び保護基準に基づく保護費支給</sup> R 3計画 1,035,715 787, 460 248, 254 R3 当初予算 787, 460 248, 254 1,035,715 決 算 額 900, 194 705, 761 6, 287 188, 146 R 4計画 239, 999 1,000,000 760,000 R4 当初予算 1,033,451 247,886 785, 564 決 算 額 R 5計画 1,000,000 760,000 239, 999 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 生活保護費の支給 R6計画 1,000,000 760,000 239, 999 ・保護世帯の訪問調査 ・新規申請受付 ・返還金の徴収 R6 当初予算

決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

1,000,000

5, 035, 715

2,069,166

900, 194

760,000

3, 827, 460

1,573,024

705, 761

	評価指標名	指標値の説明 (算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		%	目標値	80	80	80	80	80
С	1 訪問計画	訪問格付に応じた訪問計画の達成率	個別計画	114. 1	70	実績値	100				
活					%	達成率	125.0				
動指			□ 総合戦略		%	目標値	100	100	100	100	100
標	2 保護決定	法定期限までの保護決定	□ 個別計画	100	/0	実績値	100				
					%	達成率	100.0				
			総合計画		%	目標値	32	32	32	32	32
D	1 徴収率	生活保護費返還金徴収率 (年度末)	□ 総合戦略	29	/0	実績値	9.8				
成			□ 個別計画		%	達成率	30. 6				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) 一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点  $\rightarrow$  2  $\rightarrow$  3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5

1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっている なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 4 点 4 点 評 優先度低い 優先度高い 3 - 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 4点 19 点 4点 19点 推移していない ⇒ 推移した → 3 → 4

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

/25点

生活保護法に基づく最後のセーフティネットとして、制度の運用は細心かつ迅速な対応が 求められる。様々な理由で生活に困窮している人々に対して、当該事業やその他自立支援 制度により重層的なセーフティネットを構成しており、必要不可欠な事業である。

成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

生活保護法に基づく最後のセーフティネットとして、制度の運用は細心かつ迅速 な対応が求められる。様々な理由で生活に困窮している人々に対して、当該事業 やその他自立支援制度により、必要不可欠な事業である。

推移した

令和5年度の事業の方向性

なし

当初予算額

553

60

食育推進係

事業番号	枝番	(令和	3 年度	計画	) 終	合計画実施	包計画	書(兼	進捗	管理	)			
72001	1	(令和	3 年度	決 算	) 事	務事	業	評	価	調	書	課局名	i	
事業	食育推進事業	440			細事業	食育推進事業				実施	計画事	業食育	育推進	事
総合	計画体系図No.→	( 113 )		•								•		
会計 一般	政 策	Ⅱ 豊か	な福祉社会	の実現	見を目指す	まち			個運		後大野	市食育	推進	計
款 4	施 策	1 保健・	<ul><li>医療サー</li></ul>	ビスの	充実						26 年	度 <b>~</b>	R5	年
項 1	施策展開	①健康~	づくり活動を	を推進す	する				画					
<b>1</b>	後期基本	計画 38	3 P 🗆	過過	東計画	□ 総合戦略		コロナ充当	名,	期間	年	度 ~		年月
決算 79	A 事業目的	・内容・導	実績							в	業計	画額・シ	<b>央算額</b>	等
	事業の目的	と内容		年度			動実績					事業費	計	玉
<b>&lt;事業の目</b> 生活習慣病な	<b>的&gt;</b> など、市民一	人ひとりフ	が日常的に		・関係機関料送付)負	と連携しながら、食   音作業部会(年3回   進業部会のた。   進業を図った。   進速   海水ーン」を実施し、   で発を目的にケーブ	育推進協議: :内1回資料	会(年2回:F ·送付)を開催	内1回資 し、食	R 3	計画		718	
食生活を通じできる					育計画の指 ・人権、部 食育キャン	⊧運を図った。 『落差別解消推進課の √ペーン』を実施し、『	【男女共同:	市民のつどい】 塩レシピを配る	にて「 がした。	当初	予算		718	
(6.9)					<ul><li>市民への</li><li>を行った。</li></ul>	)啓発を目的にケープ	レテレビや	市報で食育の作	青報提供	決り	章 額		251	

R4

R5

R6

R7

<令和3年度の取組内容(計画)>

・関係機関と連携しながら、食育推進協議会 (年2回)食育作業部会(年3回)を開催予 定で食育計画の推進を図る。 ・人権、部落差別解消推進課の【男女共同市 民のつどい】にて「食育キャンペーン」を実 施予定。参加者へ減塩の方法など推進する。 ・市民への啓発を目的にケーブルテレビや市 報で食育の情報提供をおこなう。

,	y l	訂 年	度 ~	年度	普迪旅舞	r .		42
		B 喜業計	画額・決算額	<u>—</u>	消耗品費	ř		40
	1	7 7 7 11		1.43		財源区	勺訳	(単位:千円)
			事業費計	国県	支出金	地方債	その他	一般財源
ř		R 3計画	718				500	218
٦		当初予算	718				500	218
供		決算額	251				160	91
		R4計画	718				500	218
		当初予算	662				500	162
		決算額						
		R 5計画	718				500	218
		当初予算						
		決算額						
		R6計画	718				500	218
		当初予算						
		決算額						
		R7計画	718				500	218
		当初予算						
		決算額						
		計画額	3, 590				2, 500	1,090
		当初予算	1, 380				1, 000	380
		決算額	251				160	91

市民生活課

食育推進事業

年度 R5

係名

令和 3 年度 主な歳出名称 食育推進事業委託料

食育推進協議会委員謝礼金

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
	食生活改善推進協議会へ委	放課後チャレンジクラブ(小学校)や地	総合戦略		Y	目標値	300	1,000	1,000	1,000	1,000
С	1 託している【食育推進事業】への参加数	放課後チャレンジクラブ (小学校) や地域のサロンで実施予定の食育推進事業への参加延べ人数 (年度末)	□ 個別計画	251	八	実績値	318				
活	】 への参加数	の参加延へ入数 (年度末)			%	達成率	106. 0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
	6 T) - 11	会和5年度に実施する【第3次食育推進	総合計画		%	目標値			95		
D	1 食育に関心を持っている人 の割合	令和5年度に実施する【第3次食育推進 計画】でのアンケート(成人の20~65歳	□ 総合戦略	80	/0	実績値					
成		未満を対象とし無作為)	□ 個別計画		%	達成率					
果指	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					·

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

毎年、食育推進協議会や作業部会で、活動を共有しながら方針について話し合い食育を推進している。今後も関係課や関係機関、団体と協力して市民への啓発を行う必要である。活動指標の食育推進事業への参加延べ人数については、令和元年度までは、1,000人を超えていたが、コロナ禍の影響で人数が減少している。今後も感染症の影響を受け参加人数に増減があると思われるが、感染対策をとりながら目標値を目指した事業を実施していき

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

新型コロナウイルス感染ウルルエ ベ町畑・W曽本寺を暗まるに謀長職寺の所見 新型コロナウイルス感染防止を図りながら、食育推進協議会や作業部会、キャンペーンや市報等を通じ第2次食育計画の推進を図った。今後においては、令和5年度第3次食育計画に向け、アンケート調査、食育推進協議会及び作業部会で検討をかさねていきたい。

令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 価 食育推進係 72002 1 (令和 3年度決算) 務 市民生活課 係名 事 業 細事業 食生活改善事業 実施計画事業 食生活改善事業 食育推進事業 なし ( 113 総合計画体系図No.→ 第2次豊後大野市食育推進計 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 画 別計 H26 年度 ~ 款 策 期間 食生活改善推進協議会補助金 245 4 1 保健・医療サービスの充実 年度 R5 項 1 施策展開 ①健康づくり活動を推進する 画 自動車等借上料 70 名 コロナ充当 年度 ~ 目 後期基本計画 38 P 総合戦略 期間 年度 20 決算 79 講師謝礼金 17 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 -般財源 1. 豊後大野市食生活改善推進協議会の活動支援を行った。 食推協の各支部のリーダーを対象に研修を行う・自主研修の 実施支援・総会及び交流会の開催支援 役員会の実施 2. 新規の豊後大野市食生活改善推進員の育成(食生活改善指 増者諸習会の策励と行った。 講習会の周知(チラシ設置 、市報、HP) 講習会の開催(年10回・修了者11名) <事業の目的> 市民が主体的に健康づくりや生活習慣病の予 R 3 計画 352 352 が大学、健康管理に取り組み、生涯にわたり 対策、健康管理に取り組み、生涯にわたり 健康でゆたかな人生を送ることができるよう 、市民への食育の推進に取り組む。食育を 、市民への食育の推進に取り組む。食育を豊 後大野市食生活改善推進協議会の活動支援と R3 当初予算 352 352 決 算 額 269 269 R 4 計画 352 352 、新規会員の育成を行う。 R4 当初予算 277 277 決 算 額 R 5 計画 352 352 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 1. 豊後大野市食生活改善推進協議会の活動支 R6計画 352 352 揺 食推協の各支部のリーダーを対象に研修を R6 当初予算 117 ・自主研修の実施支援 ・総会及び交流会の開催支援 ・役員会の実施 決 算 額 R 7計画 352 352 2. 新規の豊後大野市食生活改善推進員の育成 (食生活改善指導者講習会の実施) ・講習会の周知 (チラシ設置、市報、HP) ・講習会の開催 (年10回) 当初予算

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7						
			□ 総合戦略		口	目標値	4	5	5	5	5						
С	中央研修会の開催回数 中央研修会の開催回数と自主研修の開催 回数の合計(年度末)	□ 個別計画	5	ī	実績値	2											
活					%	達成率	50.0										
動指		□ 総合戦略		Y	目標値	8	10	10	10	10							
標	2 新規の豊後大野市食生活改 善推進員の育成	豊後大野巾食生活改善推進員の新規加入 者数 (年度末当初)	豊後大野市食生活改善推進員の新規加入 者数(年度末当初)	□ 個別計画	6	人	実績値	10									
	BILLERY PIN			%	達成率	125.0											
	▲上江北芝提供 □ ** (/ *   佐 *   / *	食生活改善推進員数 (年度当初)	総合計画		ı	目標値	203	200	200	200	200						
D	1 食育活動者の数	(会員平均年齢72.8歳で会員の高齢化が	(会員平均年齢72.8歳で会員の高齢化が	(会員平均年齢72.8歳で会員の高齢化が	(会員平均年齢72.8歳で会員の高齢化が	(会員平均年齢72.8歳で会員の高齢化が	(会員平均年齢72.8歳で会員の高齢化が	(会員平均年齢72.8歳で会員の高齢化が	─ 総合戦略 21	□ 総合戦略 210	人	実績値	203				
成果		みられる)	✔ 個別計画		%	達成率	100.0										
果ぉ		各支部での伝達講習会開催回数 (研修会の開催回数×7支部。ただし、三重支部	□ 総合計画			目標値	36	45	45	45	45						
指標	2 各支部での伝達講習会開催 の開催 に1回の	の開催回数×7支部。ただし、三重支部 は1回の研修会後に3回の伝達講習会を行	□ 総合戦略	34	口	実績値	17										
		っている。)	□ 個別計画		%	達成率	47. 2										

R3 ~ R7 合 計

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

1,760

629

269

1,760

629

269

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	/25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

食生活改善推進協議会の支援を行い、推進員が地域で積極的に活動できるように支援しており、食育の推進ができている。新規の推進員の育成にも力を入れ、10名の推進員の養成ができている。今後も食育、健康づくりを推進するため事業の継続を必要とする。

コロナ禍で調理実習が計画どおりに実施できなかったが、三役会や理事会、支部長会等集合型で開催し、短時間でも会員の学びの場及び交流の場を設けることができた。食育推進委託事業では、参加者が会食を控えていることから、会員お弁当にして持ち得ってもらう等配慮しながら地域の交流の場に出向いていく回数普及を行った。今後におみずのは、感染対策を行いながら地域に出向いていく回数 を増やし、会食を通じ食育の普及につとめていけるように支援していく。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 価 親子健康係 75001 1 (令和 3 年度決算) 事 務 市民生活課 係名 事 業 精神保健事業 細事業 精神保健相談事業 実施計画事業 精神保健相談事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 114 ) 第2次豊後大野市健康づく り計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 H26 <sup>年度</sup> ~ R5 臨床心理士出務謝礼金 219 4 1 保健・医療サービスの充実 年度 豊後大野市自殺対策行動計 項 1 施策展開 ①健康づくり活動を推進する 画 消耗品費 10 画 名 後期基本計画 38 P コロナ充当 目 総合戦略 期間 H31 <sup>年度</sup> ~ R5 決算 80 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的>
・精神障がいをもった方が、地域の中で安心して暮らせるよう、相談しやすい環境づくりをおこなう。
・精神に関する病気になったときに、重症化しないで、早期に医療にかかることができるよう、啓発を行う。 )精神保健相談事業 ・精神保健相談延261件・訪問指導延456件・電話 R 3 計画 229 ・精神障がい者家族会への支援・アルコール依存症家族会と断酒会の支援を行った。 R3 当初予算 229 229 決 算 額 213 212 R 4 計画 229 229 R4 当初予算 229 229 決 算 額 R 5 計画 229 229 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ○精神保健相談事業 R6計画 229 229 ・市民の心の健康づくりに関する相談や精神 開放が記憶器 フックに関する情報 (相談 代 相談 代 相談 代 相談 代 相談 に 前 けての 相談 、 訪問の 実施 ・ 精神障がい者家族会への支援・アルコール 関連問題に関する健康教室の実施 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 229 229 R7 当初予算 決 算 額 計画額 1, 145 1, 145 当初予算 458 R3 ~ R7 合 計 458 決 算 額 213 212

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7						
			総合戦略		Į.	目標値	136	136	136	136	136						
С	1 精神保健相談を受けた件数	数 保健師が精神保健相談を受けた件数(保 健事業実績報告より算出 訪問指導分)	□ 個別計画	136	人	実績値	456										
活					%	達成率	335.3										
動指			総合戦略		口	目標値	7	7	7	7	7						
標	2 アルコール関連問題に関す る健康教室開催数 アルコール関連問題に関する健康教室開 催数	□ 個別計画		ш	実績値	13											
		100.094			%	達成率	185. 7										
		総合計画		ı	目標値	30	31	32	33	34							
D	1 こころの相談会利用者数	年間のこころの相談会利用者数	F間のこころの相談会利用者数	<b>年間のこころの相談会利用者数</b>	<b>年間のこころの相談会利用者数</b>	年間のこころの相談会利用者数	年間のこころの相談会利用者数	年間のこころの相談会利用者数	年間のこころの相談会利用者数	□ 総合戦略 30 <sup>2</sup>	八	実績値	34				
成			□ 個別計画		%	達成率	113. 3										
果指		□ 総合計画		目標値													
標	2 —		□ 総合戦略			実績値		·									
			□ 個別計画		%	達成率											

 E
 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I 欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/500代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	/25点	3 点	/25点

I 令和5年度の事業の方向性

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 親子健康係 75002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 市民生活課 係名 事 業 精神保健事業 細事業 自殺対策事業 実施計画事業 自殺対策事業 なし 総合計画体系図No.→ (114) 豊後大野市自殺対策行動計 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 画 別計 款 策 期間 H31 年度 ~ R5 会計年度任用職員報酬 726 4 1 保健・医療サービスの充実 年度 第2次豊後大野市健康づく り計画 項 1 施策展開 ①健康づくり活動を推進する 画 消耗品費 303 名 コロナ充当 目 後期基本計画 38 P 総合戦略 期間 H26 年度 ~ R5 講師謝礼金 190 決算 80 通信運搬費 149 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 自殺に関する地域全体の意識関心を高め、自 殺のない町を目指した住みやすい地域づくり 、個別相談の支援体制などの充実を図る。 人材養成事業:自殺対策連絡協議会2回・委員会1回・作業 会2回開催。・ゲートキーバー養成研修会2回24名参加 普及客等業:自殺対策キャンペーン1,300人グッズ配布 電話相談事業:豊後大野市こころのホットラインによる電 R 3 計画 1,644 104 R3 当初予算 826 104 1,644 714 決 算 額 1,509 700 390 419 R 4計画 104 1,644 714 826 R4 当初予算 3, 194 714 878 1,602 決 算 額 R 5 計画 1,644 826 714 104 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ○人材養成事業:自殺対策連絡協議会・委員会 ・作業部会を開催。・ゲートキーパー養成研 R6計画 1,644 826 714 104 ・ 下来歌云を開催。・ クートギーハー 養成 が 修会等 ○普及啓発事業:自殺対策キャンペーン ○電話相談事業:豊後大野市こころのホット ラインによる電話相談 ○こころの相談会 ○こころの健康教室 R6 当初予算 決 算 額

R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

1,644

8, 220

4,838

1,509

826

4, 130

2, 428

700

714

1, 428

390

104

520

982

419

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
	1 ゲートキーパ受講者数 年間のゲートキーパ受講者数	総合戦略		Į.	目標値	30	30	30	30	30	
С		✓ 個別計画	115	人	実績値	40					
活					%	達成率	133.3				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 =		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画			目標値	14. 4	14. 4	14. 4	14. 4	14. 4
D	1 自殺死亡率(人口10万人対	厚生労働省 地域における基礎資料より 自殺者数/人口10万人対	□ 総合戦略	22. 6		実績値	14. 4				
成	,	1700 1 307 7 (1 1 1 2 7 7 7 )	✓ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指		5年間の自殺に係る標準化死亡比	□ 総合計画			目標値	100	100	100	100	100
標	2 自殺SMR値	□ 総合戦略	88		実績値	94. 4	·		·	·	
		目標とする。	✔ 個別計画		%	達成率	94. 4	·		·	

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)	
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	/25点	3 点	/25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

自殺対策連絡協議会や作業部会等で方針を話し合い自殺対策に取り組んでおり、今後も 関係各課、関係機関と協働して取り組む必要がある。令和3年度は特にアルコール対策に 力を入れ、市民への啓発に力を入れてきた。令和にはいって高齢者が占める自殺の割合が 増えたことから、今後は高齢者への対策に力をいれる必要がある。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

豊後大野市の自殺の状況から、アルコール関連問題で自殺をされた方が20%いたことより、自治委員、民生児童委員、各町のこころをつなぐ仲間づくり推進委員会等を対象に健康教室を実施し、地域での声かけ見守りを依頼。また、啓発グッズを作成し各町キャンペーン時や、支所窓口、トキハインダストリー店舗で配布し悩みを相談できる相談先を普及啓発した。今後においても、関係機関や関係団体と連携しながらこころの健康づくりを推進していく必要がある。

# 令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 \_ こども支援係 課局名 (令和 3 年度決算) 事 子育て支援課 73001 1 務 価 係名 事 業 子ども医療費助成事業 細事業 子ども医療費助成事業 実施計画事業 子ども医療費助成事業 なし 総合計画体系図No.→ 第3次豊後大野市子ども・子 育て支援事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 R2 年度 ~ 款 策 3 結婚・出産・子育て支援の充実 子ども医療費助成金 年度 108,840 4 R6 項 施策展開 ①子育て支援サービスを充実する 1 3,631 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 子ども医療費助成基金積立金 目 後期基本計画 42 P ✔ 過疎計画 総合戦略 114 決算 81 通信運搬費 31 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** (単位:千円) 財源内訳 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 子どもに係る医療費の一部を助成することにより、その疾病の早期発見と治療を促進し、子どもの保健の向上を図るとともに保護者の子育て支援に寄与する。 中学生までの医療費を延べ3,316人、42,771件 の助成を行った。 R 3計画 112,668 35,026 35, 026 R3 当初予算 20, 888 112,668 56, 754 決 算 額 96, 909 20,803 46, 236 29,870 R 4 計画 25, 850 87,000 17, 050 44, 100 R4 当初予算 105, 102 73, 936 9, 126 22,040 決 算 額 R 5 計画 87,000 17,050 25,850 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 市内在住の0歳~15歳(中学校卒業まで)の乳幼児、児童の保険診療分の医療費を助成する R6計画 87,000 17,050 44, 100 25,850 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 25,850 87,000 17,050 44, 100 R7 当初予算 決 算 額 計画額 460,668 89,088 233, 154 138, 426 当初予算 R3 ~ R7 合 計 217, 770 42,928 130, 690 44, 152 決 算 額 96, 909 20,803 46, 236 29,870

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
С	1 助成件数 現物給付・償還払い助成件数	41, 997	11	実績値	42,771						
活			✓ 個別計画		%	達成率	106. 9				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		Į.	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
D	1 助成対象者	助成対象者数	□ 総合戦略	3, 405	人	実績値	3, 316				
成			✔ 個別計画		%	達成率	110.5				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの視点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	22 点	5点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 子ども医療費助成事業の市独自分として、乳幼児は入院時食事療養費、小中学生は通院 ・調剤・歯科・入院時食事療養費を助成しているが、今後、県や他市の状況をみながら高 校生まで対象を拡大することを検討する時期がくると考えている。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

子どもの保健の向上を図るとともに保護者の子育て支援に寄与することで、一 定の成果を上げることができた。 今後においては、市独自助成分について、県や他市の状況をみながら対象年齢 拡大等を検討する必要がある。

令和5年度の事業の方向性

1,585

640

332

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 健康づくり支援係 74001 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 市民生活課 係名 事 業 地域医療推進事業 細事業 救急医療対策事業 実施計画事業 小児救急医療対策事業費補助事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 小児救急医療対策事業費補助金 款 施 策 期間 年度 633 4 1 保健・医療サービスの充実 年度 ~ 項 施策展開 ③地域医療環境を充実する 1 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 38 P 過疎計画 総合戦略 決算 82 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 輪番制方式により診療を行う市内の医療機 関に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、休日等における小児救急 患者の医療の確保を図る。 ・小児救急医療対策事業費補助 休日における小児救急患者の診療(豊後大野市民 病院的時~12時、みやわき小児科8時45分~12時)に 対し、基準事業費(2,930円/時間)を市民病院及び みやわき小児科に補助した。 R 3 計画 633 316 317R3 当初予算 316 317 633 決 算 額 648 316 332 R 4計画 317 633 316 R4 当初予算 644 323 321 決 算 額 R 5 計画 633 316 317 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 • 小児救急医療対策事業費補助 ・小尺教急医療対策事業費補助 休日における小児教急患者の診療(豊後大野 市民病院9時~12時、みやわき小児科8時45分 ~12時)に対し、基準事業費(2,930円/時間) を市民病院及びみやわき小児科に補助する R6計画 633 316 317 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 317 633 316 R7 当初予算

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		%	目標値	100	100	100	100	100
С	1 小児救急医療対策事業費補 助金交付決定率	小児救急医療対策事業費補助金 補助金交付決定数/補助金申請数	□ 個別計画	100	/0	実績値	100				
活	,,_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
		小児初期救急医療体制整備事業報告書( 豊後大野市民病院・宮脇小児科)の年間	総合計画		Į.	目標値					
D	1 休日等における年間小児患 者延べ数	豊後大野市民病院・宮脇小児科)の年間 患者延べ数	□ 総合戦略	1,609	八	実績値	1,614				
成	3		□ 個別計画		%	達成率					
果指標			□ 総合計画			目標値					•
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

3, 165

1,277

648

1,580

637

316

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 輪番制方式により診療を行う市内の医療機関に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、休日等における小児救急患者の医療の確保が図られているため、今後も事業は継続していく。令和2年度以前は小児救急休日診療件数は3,500件を超えていたが、2年度、3年度は約1,600件と減少し、コロナ感染症や出生数等の減少が影響していると思われる。 保護者が、休日でも身近な場所で安心してこどもの受診ができるように、今後 も小児科への助成を行っていく必要がある。

令和5年度の事業の方向性

181

373, 285

1,866,225

751, 172

368, 595

4,564

22,820

9, 101

4,512

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 市民生活課 健康づくり支援係 74002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 地域医療推進事業 細事業 地域医療対策事業 実施計画事業 地域医療対策事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 病院事業特別会計負担金 款 策 1 保健・医療サービスの充実 期間 年度 377, 668 4 年度 ~ 項 ③地域医療環境を充実する 1 施策展開 病院統合整備基金積立金 名 目 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 後期基本計画 38 P 過疎計画 決算 82 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 地域医療の中核を担う市民病院の安定した経 地域医療の中核を担う市民病院への繰出基準 等に基づく運営費等に対する補助を行った。 R 3計画 377, 849 373, 285 4, 564 地域医療の中核を担力川氏別院の女足した程 管を維持し、市民が安心して医療が受けられる体制づくりを進めていくため、地域医療の 中核を担っている市民病院に対し地方債償還 費分、及び交付税算入分を基準額に準じて地方。 R3 当初予算 373, 285 377, 849 4, 564 決 算 額 373, 107 4,512 368, 595 R 4 計画 4, 564 373, 285 377, 849 切するもの。 (交付税対象区分:二次救急医療、小児医療 、へき地医療、感染症医療など) 普通交付税、特別交付税で算入される額、国 の地方公営企業への繰出基準に基づいた補助 R4 当初予算 382, 424 4,537 377, 887 決 算 額 R 5 計画 377, 849 4,564 373, 285 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 地域医療の中核を担う市民病院への繰出基準 等に基づく運営費等に対する補助を行う。 R6計画 377, 649 4, 564 373, 085 当初予算 R6 決 算 額

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			○ 総合戦略		%	目標値	50	50	50	50	50
С	1 救急搬送のおける市内への 搬送率	豊後大野市消防署年間搬送数より 市内搬送件数/搬送件数	個別計画	58.8	70	実績値	58. 9				
活	PMC 1	111 1200 11 300 1200 11 300			%	達成率	117.8				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 _		│ │ │ │ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
		医科入院外	総合計画		%	目標値	50	50	50	50	50
D	1 市内医療機関受診率	医科入院外 市内医療機関受診件数/受診件数	□ 総合戦略	64. 2	70	実績値	64. 5				
成		(国民健康保険資料より)	□ 個別計画		%	達成率	129.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

377, 849

1,889,045

760, 273

373, 107

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市民が安心して医療が受けられる体制づくりを進めていくため、今後も継続していく。	地域医療の中核を担っている市民病院に対し、今後も運営費の助成を行っていく必要がある。

令和5年度の事業の方向性

R7

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

<u> </u>																			/4* <u>-</u> 1: - \
事業番号 枝番 (	令和 3 年度言	一画	) 兼	合計	画実加	施計画	書(	兼	售捗	管	理)								(様式1)
71002 1	令和 3 年度》	美算	)	<b>下</b> 務	事	業	評	佂	5	調	書	課局名		市民生活	課	係名	各	見子位	健康係
事 業 母子保健事業		i	細事業	幼児領	建診事業					ᢖ	<b>ミ施計画</b>	事業 1歳67	か月	<ul><li>3歳児優</li></ul>	建康診查	逐事業		終了 年度	
総合計画体系図No.→(									1.00	***	ut the co. I	mz -l- 6t et						-	
	Ⅱ 豊かな福祉社会の	実現	を目指す	ナまち				_	個	)計i	画	野市健康へ			3 年度	主な詞	歳出名称		当初予算額
款 4 施 策 3	3 結婚・出産・子育	て支持	爰の充実									<sup>i度</sup> ~ R5		g 幼児健	診委託料	4			2, 166
項 1 施策展開 🤇	D子育て支援サービ	スをラ	を実する						面 5		次豊後大 て支援事	:野市子ども :業計画		幼児健	診事業出	務謝礼	L金		541
目 1 後期基本計	·画 42 P	過政	計画		合戦略		コロナ充	当				<sup>i度</sup> ~ R6	年	度消耗品	費				228
決算  83   <b>A 事業目的・</b>	<b>力突。宝繕</b>										2 車登計	・画額・決算	超驾	医薬材	料費				118
		年			<u> </u>					ווֹ	<del>- 子本川</del>		T			財源内	n訳	(	単位:千円)
事業の目的と	内谷	度			土な活	動実績						事業費計	[3	国県支出金	地方	債	その他	1	一般財源
<b>&lt;事業の目的&gt;</b>	施が義務づけられ		少人数し	こて幼児像	レス感染症 建康診査を	シ実施し:	た。 1 点	を6か	月児	F	₹3計画	3, 14	0:						3, 140
ている健診(対象は1歳6か 医師、歯科医師の診察、発	3月児、3歳児)。 育発達チェック	R3	: 22回2	38名受診	受診(受 (受診率	99. 2%)	未受診	児の押	握	È	当初予算	3, 14	0						3, 140
子育てへの助言と支援を行いる。	うために実施して		と精密を 達相談会	食査が必要 会を勧め、	要な幼児に フォロー	こは、医	寮機関σ た。	)受診	や発	ž	大 算 額	2, 34	3						2, 343
V '3.										F	R 4計画	2, 50	0						2, 500
		R4								È	当初予算	2, 63	2						2, 632
										ž	央 算 額								
										F	₹5計画	2,50	0						2,500
		R5								È	当初予算								
<令和3年度の取組内容(	計画)>									ž	央 算 額								
新型コロナウイルス感染症がら、ル人物にて効児健康	感染対策を講じな 診本を実施してい									F	₹6計画	2,50	0						2, 500
がら、少人数にて幼児健康 る。1歳6か月児健診は月 健診は月に2回実施。今年月	1回実施。3歳児	R6								ì	当初予算								
【健診から3歳児健診へと移行	行する予定。精密									ž	+ 算額								
検査が必要な幼児には、医療 達相談会の参加を勧奨してい	僚機関の受診や発 いる。									F	R 7計画	2, 50	0						2, 500
		R7								ì	当初予算								
										ž	央 算 額								
										ī	十 画 額	13, 14	:0						13, 140

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		%	目標値	100	100	100	100	100
С	1 対象者への周知	対象者への通知数・通知回数・勧奨数	個別計画	100	/0	実績値	100				
活					%	達成率	100.0				
動指	コロナ処でも適切か日齢に		│ │ 総合戦略		%	目標値	100	100	100	100	100
標	コロナ禍でも適切な月齢に2 応じて実施できた幼児健康	幼児健診実施回数/感染対策と適切な月 齢を考慮した幼児健診予定回数	□ 個別計画	100	/0	実績値	100				
	診査実施率				%	達成率	100.0				
			□ 総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
D	1 幼児健診未受診者の状況把 握率	未受診者の状況把握数/未受診者数	□ 総合戦略	100	/0	実績値	100				
成	,		□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					·
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの税点(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline $	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

## G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

幼児健康診査は母子保健法に定められた事業であり、感染対策をとりながら受診率も維持できている。また、未受診者把握、要精密者へのフォローも行っている。今後も感染対策を講じながら事業の継続が必要である。

## H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

カ児健康診査では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、 大数制限を行う一方開催回数及びスタッフは増員して開催し高い受診率をあげている。ロゴホーム・AIOCRを導入し、入力事務の事務量削減につとめることができた。今後においても、全員の児の健康状態や家庭状況を把握し、1人1人の子どもにあったサービスや対応をしていく。

### 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

当初予算

決 算 額

5, 772

2, 343

5,772

2, 343

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 親子健康係 71002 2 (令和 3 年度決算) 事 務 価 市民生活課 係名 事 業 細事業 幼児健診事業 実施計画事業 5歳児すこやか相談会事業 母子保健事業 なし 総合計画体系図No.→ 第3次豊後大野市子ども 子育て支援事業計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 R2 年度 ~ 款 策 3 結婚・出産・子育て支援の充実 期間 5歳児相談会診療支援負担金 250 4 年度 R6 5歳児すこやか相談会事業出務謝 項 ①子育て支援サービスを充実する 1 施策展開 183 名 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 42 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 消耗品費 10 決算 83 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 5歳児を対象に、医療・保健・福祉・教育等 の連携により発達相談会を実施することで、 発達障がい等の早期発見・早期支援の防等に ので、登後では、幼児とはもが安心に で、豊後大野市すべてのさらにそそが ででは一体制の充実を図る。また、引きにそそが 認定こども園・保育所・幼稚園等との連携相 認定ことども園・保育所・幼稚園等との連携相 談会につながるよう努める。 ・5歳児すこやか相談会連絡会3回開催 ・5歳児すこやか相談会の実施(計3日間)コロナ で2回中止となり、12月の発達相談会に医師を派遣 対象者204名、利用者30名(14.7%)・ ・要精密・要医療児については、発達相談会で経過 をみたり、医療機関の受診勧奨等を行い支援した。 R 3 計画 443 443 R3 当初予算 443 443 決 算 額 194 194 R 4計画 443 443 R4 当初予算 515 515 決 算 額 R 5 計画 443 443 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・5歳児すこやか相談会連絡会の開催(2回 R6計画 443 443 ・5歳児すこやか相談会の実施(計5日間) ・療育・医療機関との情報共有、受診勧奨 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 443 443 R7 当初予算 決 算 額 計画額 2, 215 2, 215 当初予算 R3 ~ R7 合 計 958 958 決 算 額 194 194

連絡会の開催回数											
連絡会の開催回数			総合戦略		口	目標値	2	2	2	2	2
	関係機関との連絡会の開催回数		個別計画	2	ī	実績値	3				
			凹刃引凹		%	達成率	150.0				
	5歳児すこやか相談会の周知回数(個別	Ιп	総合戦略		П	目標値	1	1	1	1	1
5 成兄うこやか相談会への安	通知、園経由・地区担当保健師からの声		個別計画	1	ī	実績値	1				
N 1995	<i>M</i> <sub>2</sub> ())		四沙们四		%	達成率	100.0				
	5歳児すこやか相談会で要観察、要精密		総合計画		0/	目標値	100	100	100	100	100
5歳児すこやか相談会のフォーロー実施率	施率		総合戦略	100	/0	実績値	100				
	5歳兄相談俊ノオロー美施件数/5歳兄相談 会フォロー判定件数		個別計画		%	達成率	100.0				
			総合計画			目標値					
_			総合戦略			実績値					
			個別計画		%	達成率					
51	成兄9 こやか相談会への交 診勧奨 5歳児すこやか相談会のフォ ロー実施率	診勧奨 カけ) カけ)   5 歳児すこやか相談会で要観察、要精密、 要医療になった者に対するフォロー実施率   5歳児相談後フォロー実施件数/5歳児相談		議児すこやか相談会への受   通知、 園経由・地区担当保健師からの声   個別計画   「個別計画   「	Max	議児すこやか相談会への受   通知、 園経由・地区担当保健師からの声   個別計画   1   1   1   1   1   1   1   1   1	5歳児すこやか相談会への受診が対型       5歳児すこやか相談会の周知回数 (個別) 通知、園経由・地区担当保健師からの声かけ)       1       回 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 場合 建成率         5歳児すこやか相談会で要観察、要精密 要医療になった者に対するフォロー実施率 5歳児相談後フォロー実施件数/5歳児相談 会フォロー判定件数       総合計画 個別計画 場合計画 は合計画 は合計画 は合計画 は合計画 は合計画 は合計画 は合計画 は	5歳児すこやか相談会への受 診御奨       5歳児すこやか相談会の周知回数(個別 適知、園経由・地区担当保健師からの声 かけ)       一個別計画       1       実績値       1         5歳児すこやか相談会で要観察、要精密 次要医療になった者に対するフォロー実施率       一総合計画 ※会戦略 5歳児相談後フォロー実施件数/5歳児相談 会フォロー判定件数       一個別計画       100       実績値       100         6歳児すこやか相談会のフォ が正率 5歳児相談後フォロー実施件数/5歳児相談 会フォロー判定件数       個別計画       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2	5歳児すこやか相談会への受 診御奨       5歳児すこやか相談会の周知回数(個別 通知、園経由・地区担当保健師からの声 かけ)       「個別計画       1       実績値       1         5歳児すこやか相談会で要観察、要精密 かけり       「要接値       100.0       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100	5歳児すこやか相談会への受 診勧奨       5歳児すこやか相談会の周知回数(個別 通知、園経由・地区担当保健師からの声 かけ)       「個別計画       1       実績値       1       実績値       1       100.0       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       2       2       2       2       2       2       2       2       100       100       100       100       2       2       2       2       2       2       2       2       2       3       2       2       3       2       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3       3	5歳児すこやか相談会への受 診御奨       5歳児すこやか相談会の周知回数(個別 通知、園経由・地区担当保健師からの声 かけ)       「個別計画       1       実績値       1       1       実績値       1       1       96       達成率       100.0       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100       100

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

コロナ感染症の影響で2回中止した分については、発達相談会等で相談を受けている。 要精密者の支援も丁寧にしており、就学につながっている。子育て支援課、社会福祉課 学校教育課、保健所と連絡会を開催し、情報共有し、事業の見直しを行っており、今後 各課が連携して実施していく必要がある。 今後も

子ども1人1人が安心して就学が迎えられるように、関係課、関係機関と情報の 共有・連携を図った。令和4年度は医師派遣が4日間から2日間になることから、 対象者の選定方法を検討し、残り3日は市の発達相談会及び心理士による個別の 対応をしていく必要がある。

令和5年度の事業の方向性

4	事業番号	枝番	(令和	3 年 月	<b>[計</b> [	<b>i</b> )	総合	計画実	施計區	画書	(兼:	進捗	管理	哩)								(様式	式1)
	71002	3	(令和	3 年度	<b>表</b>	<b>(</b> )	事	務事	業	評	佰	<b>5</b>	調	書	課局名		市民	生活課		係名	親子	健康	系
事	業	母子保健	事業			細事業	幼児	見健診事業	É				実	施計画	事業   視力	コスク	リーニ	-ング検3	查委託事	事業	終五年		なし
会計			No.→ ( 133 ) 策 Ⅱ 豊か	か垣址社	今の宝	目を日均	ミナキナ	_				穿	· 2次	マ豊後フ	大野市健原	妻づく		令和 3 :	年度 主	た告出	夕称	当初刊	3. 笛蛇
款	4		策 3 結婚								_	個しり	計画	ī i	年度 ~			見力スクリ				ן מרב	25:
項	1		開①子育つ								-	面角	自3万	欠豊後	大野市子。			,,,,,,	-	, Dean,			
目	1	後期	基本計画 42	2 P [	過	疎計画		総合戦略	<u> </u>	コロナガ	产当	<b>4</b> 1	子育て 胴間	て支援 <sup>3</sup> R2	事業計画 年度 ~	R6 4	手度						
決算			** *** .			J.			I .														
			<u>的・内容・</u>	天模	年	.		->- L.					4	<del>李来</del> : _	計画額・汐		<del>7</del> ⊢		財	原内訳		(単位:	千円)
			目的と内容		度				活動実績						事業費	計	国県支	出金	地方債	į .	その他	一般	財源
視力		-ニング核	査により疾	病の早期乳	ě	1歳67	か月 健診	診、3歳児 沙受診者1	56名 3	要精密3:	。 名		R	3計画	1	252							252
見、	早期治療	そを行う。			R3	3歳児 要精犯	健診受 密児に~	:診者238名 ついては、	5 要精 精密券	密4名 を発行	し、受	診		初予算		252							252
					<u> </u>	勧奨る	を行った							算 額		231							231
													_	4 計画		200							200
					R4									初予第		210							210
					$\vdash$								<u> </u>	:算 額 5計画		200							200
					R.S								_	ⅰ初予第		200							200
<	<b>令和3年</b>	度の取組	内容(計画) >	<b>&gt;</b>	11.0									: 算 額									
1歳6	か月児、	3歳児を	対象とした幼	児健康診									$\vdash$	6計画	+	200							200
密児	に対して	リーニンは精密券	グ検査を実施 を発行し、	他し、要和 受診勧奨を	ቹ R6	;							_	初予算		200							
行う	0												決	: 算 額	Į.								
													R	7計画	1	200							200
					R7	,							当	初予算	Į								-
													決	: 算 額	Ą								
													計	· 画 額	<b>1</b> ,	, 052							1, 052
							R	3 ~ R	7 合	計			当	初予算	Į	462							462
													決	算 額	Ą	231							231
		評価指	標名		指標値	の説明(	(算出方	法等)		各計画指	旨標	R 2 実	<b>ミ績値</b>	単位	達成度		R3	R4		R5	R6		R7
			て視力スク					施回数/幼		総合	合戦略			%	目標値	1	100	1	00	100	10	0	100
С	1 リーニ 割合	ニング検査	Eを実施した	健康診	查実施	回数(1点	歳6かり	月児、3京	歳児 □ □		訓計画		100		実績値		100						
活動				+										%	達成率 目標値	-	100.0					+	
指	2 _										合戦略				実績値	-						-	
"										個別	訓計画			%	達成率								
				左左の	日田文	目が与	ないがっ	びつく指標	. I	総合	合計画			%	目標値		100	1	00	100	10	0	100
I -	<ol> <li>更精藥</li> </ol>	スフォロー	- 児の精密受	7大がり (ノ	一州光	フ亡、 イロガ	パレポロし	ハ マス 1日代	r ⊂   _	_		l .		<b>1</b> √0	ch 4± /±					_		1	

C 活	幼児健診において視力スク 1 リーニング検査を実施した 割合	視力スクリーニング検査実施回数/幼児 健康診査実施回数(1歳6か月児、3歳児)	総合戦略個別計画	100	% %	目標値 実績値 達成率	100 100 100. 0	100	100	100	100
動指	2 —		総合戦略個別計画		%	目標値 実績値 達成率					
D 成	1 要精密フォロー児の精密受 診割合	疾病の早期発見、治療に結びつく指標と して精密検査受診率 精密検査受診児数/要精密児数	総合計画 総合戦略 個別計画	91. 7	%	目標値 実績値 達成率	100 71. 4 71. 4	100	100	100	100
成果指標	2 —		総合計画 総合戦略 個別計画		%	目標値 実績値 達成率					

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	許価項目グラフの税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restriction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 #我! ていない ⇒ #我! た	3 点	/25点	3 点	∕25点

## 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

幼児健診受診者全員に視力スクリーニング検査を実施し、要精密児については受診勧奨を行い、早期診断、早期治療に結びついている。 市内小児科医の協力があり、検査もスムーズに実施できている。県内で3歳児健診での機 都を使用したスクリーニングを実施する自治体は増えてきたが、1歳6か月健診のスクリーニング実施は県下でも少数である。今後も精密者への受診勧奨を行い、服疾患の早期発見、早期治療に結びつける必要がある。

# H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

視覚の感受性の高い時期 (1歳半頃) に、本人が表現する必要のない他覚的視力検査で、早期に弱視・斜視・近視などを発見し治療につなげることができた。今後においても、継続して視力スクリーニング検査を行っていく必要がある。

### 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

1,325

530

80

事業番号	枝番	(令和	3 年	度計	- 画	) (	総合計	画実	布計画	画書	(兼	鱼捗	管	理)							(様式1)
71006	1	(令和	3 年	度決	算	) ]	事 務	事	業	評	個	6	調	書	課局名	市	民生活詞	果(	系名	親一	子健康係
+ 444		All c			Ι.	/m → 414		-t- xIII					T		+# 2+4	+- M/4		!!	-	終	7
事業	:子保健事 :	莱			ì	細事業	愛育会	等業					j	€施計曲€	事業 愛育会事	事 莱				年	
	画体系図No										<del></del>	42	t o	か曲忽上	- FFT 士 フ 15 4	. 1					I =
会計 一般	政 策		な福祉	社会の	実現	を目指	すまち					個一	子育	て支援事	野市子ども 業計画	•		年度 主	な歳出名	称	当初予算額
款 4	施策	0 //H//H			.,	J. 7 - 7						別其計	朝間	R2 4	F度 ~ R6	年度	愛育会	委託料			180
項 1	施策展開	①子育~	て支援す	サービン	スをヲ	充実する	5					画名。					自動車等	<b>等借上料</b>			75
<b>1</b>	後期基本	<b>本計画</b> 43	2 <b>P</b>		過頙	画信	#	合戦略		コロナ充	5当	T #	朝間	4	F度 ~	年度	講師謝	1.金			10
<b>決算</b> 83 🛕	事業目的	1 - 内窓 - :	宝繕											3 車量計	・画額・決算額	<b>西</b> 生					
			~ th.		年			++\1					ÌĖ	<del></del>	事業費計			財源	内訳		(単位:千円)
	事業の目的	りと内谷			度				動実績	Į			L		争未負訂	国県	支出金	地方債	そ	の他	一般財源
<b>&lt;事業の目的</b> 愛育会は地域	の子育ての	ボランテ	ィアと	して		・分班! ・定期#	長会議6回・ 総会及び会	各班会議 員研修会(	実施 り実施				F	₹3計画	265	5					265
、子育て中のいて様々な悩	保護者が、 みや不安な	子どもやわる	子育て	につ 孤立	R3	・新規会・市委託	総 会員 が会員 手業 他域 交流 に に に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。	ための愛す	育会員養原 と と は に に に に に に に に に に に に に に に に に	戎講習会 ]113名参	か年1년	開催 助成	Ì	当初予算	265	5					265
することがなけとなる機会	いよう、柞	互に交流	するき	つか		事業:1	也與父孤ル	(正争業10□	4339名≫	·//II • /PI //	小门动	旧画	à	大 算 額	80						80
む親子が集え	る場を提供	<b></b> もしている。	, 市は	豊後									F	R 4計画	265						265
大野市愛育会 愛育会員が市	に親子交流 民対象に事	『事業を委』 『業実施)	託(対	象:	R4								<u> </u>	当初予算	265						265
													ž	央 算 額							
													ī	R 5計画	265	;					265
					R5								ì	当初予算							
<令和3年度	きの取組内	容(計画) >	>										ž	+ 算額							
・分班長会議、				ľ									1	₹6計画	265	;					265
<ul><li>定期総会及</li><li>新規会員募</li></ul>	集のための	:云の開催  愛育会員	養成講	習会	R6								<u> </u>	当初予算							
の開催(年1)・市委託事業		事業(年9	9回×20	0000									ΙĿ	大 算 額		1					
円) ・県助成事業				-										マチ 取	265	+					265
は105,000円を			( 14 J.H.C	· 1 /2	R7								I⊢	当初予算		}					200

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	14	14	14	14	14
С	1 分班長会議と班会議の開催 回数	分班長会議(年6回)と班会議(各班年 1回以上×8班)の開催回数の合計	個別計画	19	ī	実績値	36				
活					%	達成率	257. 1				
動指			│ │ 総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
標	2 会員研修会の開催回数	会員研修会(年1回)開催回数	□ 個別計画	1	ī	実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	det and the death of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test of the test	年度計画に沿って 報子交流事業・地域	□ 総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
D	1 親子交流事業・地域交流促 進事業の実施割合	年度計画に沿って、親子交流事業・地域交流促進事業の実施できた割合(感染対	□ 総合戦略	100	/0	実績値	100				
成		策のため中止した分は除く)	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

新型コロナ感染症の影響で、開催できなかった親子交流事業もあるが、感染対策を講じながら愛育会のビーアールも含めた事業運営ができている。行政としては愛育会からの相談対応や育成を行っており、活動が健康づくりや子育で支援に結びつくように支援している。また、新規会員養成をし、少しずつではあるが、新規会員を増やし、会の活動が維持できるような体制づくりを行っている。今後も自主的な活動が継続できるように支援する必要がある。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集合型の親子交流事業の実施回数は 減少したが、分班長会議や各班会議にて地域課題について情報の共有を行い、地 域での声かけに役立てた。今後においては、子育で支援課、子育で支援でンター 、児童館等に事業の協力を求め支援者の負担の軽減を図りながら、愛育会の育成 につとめていく必要がある。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

【担当課長職等の所見】

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

1, 325

530

80

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

65

30

4	事業番号	를 -	枝番		(令和	1 3	年	度	計	画	)	総	合計[	画実	施計	画	• (	兼進	捗旬	管理	里)								(村	<b>兼式 1</b>
	71008		1		(令和	3	年	度	決	算	)	事	務	事	当	ŧ	評	価	ī	周	#	課局名	í	市」	民生活訓	果 係	名	親子	子健原	表係
事	業	母	子保健事	事業						糸	事業	¥ ,	周産期	等保健	事業					実力	施計画	事業す	くすく	ひろ	ば運営事	<b>事業</b>	•	終年		なし
	æ.	合計画	画体系図N	lo.→	( 133	)														<u> </u>								<u> </u>	~	
会計	1			策	Ⅱ豊壮	かなれ	冨祉	社会	の美	現	を目打	当する	まち					個				野市子	ども・	•	令和 3	年度 主な	歳出名	称	当礼	切予算額
款	4	1	施	策	3 結婚	· H	産	· 子ī	育て	支援	の充	実						別	期			業計画	R6	年度	通信運搬	<b>设費</b>				
項	1	1	施策展	開	①子育	て支	援+	ナート	ごス	を充	実す	る						計画			110									
目	1	<b>-   -</b>	後期基	本	計画 4	12	Р		ì	過疎:	計画	Г	総	合戦略		7	コナ充当	- 2		間	4	F度 ~		年度						
決算	83	┧┖							_																					
		<u> </u>	事業目	的	・内容・	実和	<u>t                                     </u>			<del>-</del> T										본	事業計	画額・	<b>夬算</b> 都	<b>等</b>		財源	内部		(単/:	:千円
		4	事業の目	的	と内容				<u></u>	主				主な流	舌動実	績						事業	貴計	国県	支出金	地方債		の他		般財源
<	事業の	目的:	>	ক। ।	П 1. Э <i>а</i> г	, (□ ⇒t	#: ∃ <b>z</b> .	<i>-</i> > -l-,L	╁		奇数月	にすぐ	くすくひん	ろばを開   施31約2	催予定	であっ	たが、衤	所型コロ	ナ	R	3計画		13		777	- 275 50	<u> </u>			]
象し	/、離乳	し食る	歯のお	手え	見とそσ 入れ等σ	) 育児	を有 記に	ど対関す	ŀ	23	<ul><li>子育</li><li>継続</li></ul>	て支持	爰センタ・ フー必要:	一や児童	館の紹介	て 粉	安参加/	への勧奨	を	当	初予算		13							
ğ	きた、成	え 長・	<b>評職か</b> 発達の	確認	忍の場と	:する	5 E	とも	ı	ľ	行なっ	た。	- 心み へ協力を? ながった。	导ること	で、地域	或で子	育てをり	見守る体	:制	決	算額									
に、	参加者	前∃	この交流	のり	易となる	よう	努	める	H	_	O(1)	1~~)/	£734つ /こ。						-	R	4計画		13				+			
									Į,	₹4										当	初予算		17							1
									Г	`										_	算額									
									H	1									-		5計画	1	13							
									,	₹5										<u> </u>	初予算		10							
_	今和3	午度	の取組に	力灾	(計画)	>			Γ	.0										_	算額									
•	が対月に	すく	すくひ	るに	ずを開催	する	) 。		H	_									-		6計画		13							
・ <sub>子</sub> う。	育て支	援せ	ニンター	やり	見童館の	紹介	<b>トを</b> 行	行な	١,	86											初予算		13							
<ul><li>総</li></ul>			·必要な ·行なう		象者に対	して		教室	ľ												算額									
• 愛	育会員	〜	力を得	るこ	ことで、	地域	して:	子育	⊦										-		身 級 7計画		10							
(8	元寸で	中中	リンく り	* \*	ノなり つ	0 0			١,	87										_			13							1
1									1	1										=	初予算			l						

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		すくすくひろば開催について周知回数(	総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
С	1 教室参加の周知	個別通知、要フォローに対しては地区担 当保健師より電話や訪問にて参加勧奨を	□ 個別計画	1	ī	実績値	1				
活		行なう)			%	達成率	100.0				
動 指			総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
		すくすくひろばへの参加率(参加組数÷	総合計画		%	目標値	60	60	60	60	60
D	1 教室参加率	対象組数) R3年度は感染対策上、先着12	□ 総合戦略	56. 3	70	実績値	44. 9				
成果		組に制限して実施予定。	□ 個別計画		%	達成率	74. 8				
果指		赤ちゃん訪問時等でのEPDS高値であった 者・育児支援者がいない・ハイリスクの方等	□ 総合計画		0/	目標値	100	100	100	100	100
標	2 要フォロー者への教室参加 への声かけ実施割合	者・育児支援者がいない・ハイリスクの方等  、要フォロー者の教室参加の声かけ実施	□ 総合戦略	100	%	実績値	100		·		
	7 11 17 24 24 17	数/要フォロー者数	□ 個別計画		%	達成率	100.0				

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 新型コロナ感染症の影響で開催回数は減ったが、参加者には栄養や歯科保健の情報提供ができた。また、参加できなかった方には、ホームページでの情報発信や個別相談対応ができた。今後も乳児期に必要な健康情報を提供するとともに、保護者の仲間づくり、子育て支援センターや愛育会の見守り等につなげていく必要がある。 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

教室に参加できない保護者のために、講義内容を収録したYouTubeを市ホームページにアップし離乳食と歯科保健の正しい普及につとめた。保護者は、コロナ禍で外出を控えていた事から、育児を学ぶ場や交流の場を希望しており、今後においても感染対策を行いながら開催していくことが必要である。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

決算額 計画額

当初予算

決 算 額

65

30

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 71008 2 (令和 3 年度決算) 事 務 価 課局名 市民生活課 係名 親子健康係 事 業 細事業 周産期等保健事業 実施計画事業 妊婦歯科健康診査事業 母子保健事業 なし 総合計画体系図No.→ 第3次豊後大野市子ども・ 第3次豊後大野市子ども・ 1757年 会計 一般 政 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 R2 年度 ~ R6 款 策 妊婦歯科健診委託料 1 保健・医療サービスの充実 年度 275 4 第2次豊後大野市健康づく 項 1 施策展開 ②疾病予防を推進する 画 印刷製本費 27 計画 名 H26 年度 ~ B 後期基本計画 38 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 R5 決算 83 通信運搬費 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** (単位:千円) 財源内訳 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 -般財源 <事業の目的> 口腔内が不衛生になりやすい妊娠期に、歯科 健診を勧めることで、う歯・歯周病の口腔内 疾患の発見や、適切な治療へつなげることを 母子健康手帳交付時に妊娠中の歯科保健に R 3 計画 309 309 いて説明し、医療機関で受けられる妊婦歯科 健診の受診券を交付した。受診者47名(受診 R3 当初予算 309 309 率40.1%) 決 算 額 155 155 R 4計画 303 303 R4 当初予算 309 309 決 算 額 R 5 計画 297 297 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 母子健康手帳交付時に妊娠中に歯科健診を委 託歯科医療機関で受けられる受診券を交付す R6計画 292 292 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 287 287 R7 当初予算 決 算 額 計画額 1, 488 1,488 当初予算 R3 ~ R7 合 計 618 618 決 算 額 155 155 各計画指標 指標値の説明(算出方法等) R 2 実績値 単位 R3 R4 評価指標名 達成度 R5 R6 R7 目標値 100 100 100 100 100 □ 総合戦略 妊婦への歯科保健実施数/母子手帳発行数(妊婦数) C 妊婦への歯科保健指導率 100 実績値 100 個別計画 % 達成率 100.0 目標値 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 総合計画 月標値 40 41 42 44 43 % 妊婦歯科健診を受けた人の 妊婦歯科健診受診者数/母子手帳発行数 D 総合戦略 実績値 (妊婦数) % 達成率 100.3 個別計画 ᄨ 目標値 総合計画 指 実績値 標 総合戦略 % 達成率 個別計画

Ε 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) -次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点合計 評価点 評価点 → 2 3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 評 3点 3点 優先度低い 優先度高い 2 3 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 3点 15点 15 点 推移していない ⇒ 推移した <del>→</del> 3 → 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 /25点 3点

**G** 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 母子手帳交付時に歯科保健について説明し、歯科健診を実施することで、母親自身が歯 科保健に関心を高め、適切な治療に結びついている。妊娠中に歯科保健への意識を高める ことで乳児期、幼児期の歯科保健につながるため今後も事業の継続が必要である。

妊娠中は、身体のさまざまな変化の影響で口腔環境が悪くなり、虫歯菌や歯菌病菌が体内に入り込むと早産などのリスクが高くなるため、母子手帳交付時に歯科受診券を発行し歯科検診の受診勧奨を行った。今後においても、継続して妊婦への歯科健診の受診勧奨を行っていく。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

I 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

【担当課長職等の所見】

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 市民生活課 健康づくり支援係 76001 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 細事業 定期予防接種事業 実施計画事業 定期予防接種事業 予防接種事業 なし 総合計画体系図No.→ 豊後大野市新型インフルエンサ 対策行動計画 (H27年3月策定) 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別 期間 款 策 1 保健・医療サービスの充実 年度 ~ 予防接種委託料 4 79,883 Ħ 第3次豊後大野市子ども・子育て支援 事業計画「きらきらこどもプラン」 項 1 施策展開 ②疾病予防を推進する 画 通信運搬費 488 名 2 コロナ充当 目 後期基本計画 38 P 過疎計画 総合戦略 R2 <sup>年度</sup> ~ R6 印刷製本費 449 決算 84 手数料 360 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 ○乳幼児:Hib(ヒプ) 575名、小児肺炎球菌574名、B型肝炎414名、 4 種混合599名、結核 (BCG) 143名、MR (麻しん・風しん) 532名、 木姫277名、日本脳炎447名、一種混合151名、ロタウイルス283名 ○小中高生:ヒトッピローマウイルス感染症(子宮頭がん)83名 ○高齢者:インフルエンザ系,750名、高齢者除炎薬菌520 ○成人男性(537、4.2~854、4.1生):風しん抗体検査205名・予防接種67名 <事業の目的> 伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予 R 3 計画 81, 495 52, 397 防するために、予防接種を行い、公衆衛生の 向上及び増進に寄与する。また、予防接種に よる健康被害の迅速な救済を図る。(予防接 52, 397 R3 当初予算 2, 598 81, 495 26, 500 決 算 額 63,843 584 24, 500 38, 759 R 4計画 52, 400 82,000 27,000 2,600 R4 当初予算 85, 297 29,600 53, 791 1,906 決 算 額 R 5 計画 82,000 2,600 27,000 52,400 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 次の対象疾病について対象となる市民へ予防 接種(委託医療機関における個別接種)を実 R6計画 82,000 2,600 27,000 52, 400 接種 (委託医療機関における個別接種) を実施する。 ・配する。 ・乳幼児:Hib(ヒプ)、小児肺炎球菌、B型肝 炎、4種混合、結核 (BcG)、MR (麻しん・風 しん)、水痘、日本脳炎 ・小中高生:ヒトバピローマウイルス感染症 (子宮頸がん) ・高齢者:インフルエンザ、高齢者肺炎球菌 ・成人男性 (S37.4.2~S54.4.1生):風しん 抗体検査・予防接種 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 82,000 2,600 27,000 52, 400 R7 当初予算 決 算 額 261, 997 計画額 409, 495 12,998 134, 500 4,504 当初予算 R3 ~ R7 合 計 166, 792 56, 100 106, 188 決 算 額 63,843 584 24, 500 38, 759

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		幼児健診の受診者に対し、接種状況を確	総合戦略		%	目標値	100	100	100	100	100
С	1 定期予防接種の接種勧奨を 行う	認の上、未接種のワクチンについては勧	個別計画	100	70	実績値	100				
活	1	奨を行う。			%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 =		個別計画			実績値					
					%	達成率					
		接種率=MR 1 期ワクチン接種者数/対象 者数	総合計画		%	目標値	95	95	95	95	95
D	1 MR 1 期予防接種率	※「麻しん風しん予防接種	□ 総合戦略	100	70	実績値	85				
成		第1期・第2期対象者に関する調査票 (厚生労働省健康局結核感染症課)」より	□ 個別計画		%	達成率	89. 5				
成果指		接種率=MR 2期ワクチン接種者数/対象 者数	□ 総合計画		%	目標値	95	95	95	95	95
標	2 MR 2 期予防接種率	※「麻しん風しん予防接種	□ 総合戦略	102. 5	70	実績値	97. 2				
		第1期・第2期対象者に関する調査票 (厚生労働省健康局結核感染症課)」より	□ 個別計画		%	達成率	102. 3				

 E
 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	評価項目/5つの税点(1~5点で評価)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
100	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	15 点	3点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	3 点	/25点	3 点	∕25点

## G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

予防接種法に基づいた定期予防接種を実施しているため、事業の継続は今後も必要。MR ワクチン予防接種については、機会をとらえ何度も接種勧奨をしており、今後も接種勧奨 を必要とする。

## H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

R 子宮頸がんワクチンについては、国の方針により、積極的勧奨をこれまで差し 控えてきたこともあって接種人数が少なくなっている。令和4年4月より接種対 象者に対する積極的勧奨が再開されることから、個別通知や正しい知識の普及啓 発につとめていく必要がある。

### I 令和5年度の事業の方向性

_				
事	業番号		枝番	
7	76004		1	
事	業	1.1	妨接和	(de)
	総合	計画	1体系	図No
会計	一般		政	策
款	4		施	策

Ą	業番号	÷	枝番	(令和	3 年 度	計画	)(彩	念合計画写	実施言	计画		<b>手(</b> 身	進物	管	理)									(様式1)
	76004		1	(令和	3 年度	決 算	)	事 務	事	業	Ī	評	価	調	書	課局名		刊训	生活制	K.	係名	i 似	康づく	り支援係
事	業	下	防接種事業	Ě			細事業	任意予防接	接種事業	V:				実	<b>ミ施計画</b>	事業 任意	子队	接種事	業				終了 年度	
会計	総合 一般	1 [	i体系図No 政 策		な福祉社会	:の'EA	を日指	ナキち						第3次	豊後大野市		·	∠揽 4	÷≨∏ 3	在度	主な意	世出名]	紘	当初予算額
款	4	┨┝	施策		<ul><li>・医療サー</li></ul>			, 40						事業計 期間		i f ども・ f  きらこどもフ  年度 ~		1 1	信意予以			•ш-п-п	7,	4, 354
項	1	<del>1</del> ├-	施策展開	+	-   へ								計 — 画		N2	1	10		小防接和					1,655
目	2			計画 38		_	輔画	総合戦	略		JD;	ナ充当	夕	期間		年度 ~			5耗品費		<u> </u>			4
決算	84	╏																_						
				<u>・内容・</u>	<u>実績</u>	年								┐┌╴	3 事業1	十画額・決		<b>等</b> 一			財源内	訳	(.	単位:千円)
			事業の目的	ひと内容		度		主な	な活動	実績				<u>l</u> L		事業費	計	国県支	出金	地力	方債	その	)他	一般財源
伝染		があ	る疾病の		まん延を予		<ul><li>○乳幼</li><li>○乳幼</li></ul>	児:おたふく 児~小中学生	かぜ14 :: 子ど	18名 `もの	つイン	ンフル	エンザ	F	R 3 計画	Ī 6,	013							6, 013
防す	るため . 及び増	に、 進に	予防接種 寄与する	を行い、: 。また、	公衆衛生の 予防接種に 。	R3	1,594年 〇成人	~ (妊娠を希望	する女	性質	ř.)	: 風し	ん27名	븰	当初予算	6,	013							6, 013
※11	意予防	接和	は予防接	種法によ	るものでは	-								┨╟	央 算 額		651							2, 651
ない。	が、そ [日本小]	の日 児科	的や重要  学会HP	性は定期	接種と同様 種と任意接									I۱	R 4 計画	-,	100							6, 100
種の	ワクチ	ン」	より)			R4								I⊢	当初予算	-	928							5, 928
														4 F	央 算 額 R 5 計画		100						-	C 100
						R5								I۱	当初予算	-,	100						-	6, 100
<	令和3年	生度(	の取組内容	字(計画)>	>	No								ΙĿ	文 算 額								-	
次の	対象疾	病に	ついて対	象となる」	市民へ予防接種)を実									4 F	R 6計画		100							6, 100
仮を	る。	大が	恢  災にわ	U 31mm11	医性) を天	R6								뇔	当初予算	:					-			
〇乳	幼児~	小山	学生:子	どものイ	ンフルエン									ž	央 算 額	į								
Q)Y	人(好的	娠を	希望する	女性等)	: 風しん									F	R 7 計画	i 6,	100							6, 100
						R7								뇔	当初予算									
														ä	央 算 額	į								
								_						I⊢	十画額	. —	413							30, 413
								R3 ~	R/ £		計			I⊢	当初予算	<u> </u>	941							11, 941
														D	央 算 額	۷,	651							2, 651
	I		評価指標名	z	1 4	<b>会押値</b> の	<b>○言谷田 (管</b>	算出方法等)		夕	<b>√</b> 計畫	画指標	R 2	宇结仏	直単位	達成度		R3	R4		R5	_	R6	R7
			正   四 ] 日1末 1							<u> </u>	_		1	大根		目標値		100		100		00	100	1
С	1 おた	ふく	かぜ予防	接種の周	クチン/	ト接種の	り方を対	おたふくか 象に毎月通知	ll。(			総合戦		100	0 %	実績値		100		100				, 100
活	All				合和2年	度123/	し・令和	3年度146人)			1	個別計	曲		%	達成率		100.0						
動指	21.101	A le V	urb as bloom	Activities (1 × 14 ×	幼児健認	》時に担	逐種状況	確認の上、木	接種		] #	総合戦	略		. %	目標値		100		100	1	00	100	100
標	2 郊光	挺形	緋の接種	侧哭人虺	のワクチ 接種勧奨			御奨を行う。 と診者数			] 1	個別計	画	10	0	実績値		100				$\perp$		
											] <b>\$</b>	総合計	南		%	達成率 目標値		100.0		90		90	90	90
D	1 おた	ふく	かぜ接種	<b> </b> 本	おたふく			組より				総合戦			%	実績値		101. 36		90		50		90
成					接種児数	以/刈梁	児奴				] 1	個別計	画		%	達成率		112.6						
果指											] <b>糸</b>	総合計	画			目標値								
標	2 —										] *	総合戦	咯			実績値						4		
											] ([	固別計	画		%	達成率						$\perp$		1
E	評価を	対象	外の理由	0 評価	対象															(対	象外事	業は <b>F</b>	~ I 欄:	未記入 可)
						評価項目	<b>1</b> /5つ	の視点(1~	5点で	評価	)								v評価					(課長等)
	1 ±	<b>E</b> :#	.足 / 走足	アンケー				*************************************				Т	1 →	2	→ 3 -	→ 4 →	5	評価		評価。	<b>点合計</b>	評価		評価点合計
F								■内容となって  美内での優先度						2 ·	→ 3 -	なってい → 4 →	5		3点				3点3点	
評	_				しん (同じ版			、ri C Ⅵ 废儿原	K./					2 .	→ 3 -	優先度高 → 4 →	5		3 点		ŀ		3点	
価					計画どおり			١				+		2 ·	→ 3 -	できた → 4 →	5		3 点		<u>,                                    </u>		3点	1.5
					は計画どおり									2 ·	→ 3 -	推移し7 → 4 →	5		3点		15 点 /25点		3点	15 点 /25点
	J. 190								<b>¼</b> +₩			[ <del>]</del>	1移して			推移した				£ hdr hite	ļ	= + ==		
		G	【担当係	技の息見	・課題・改善	5.束寺】	※今1	後の事業の進む	の力寺				н	L Ŧ.	ㅂ彐詸長	職等の所	兄】	※評値	□・収割	5束寺	を踏ま	んに課	支喊寺	の川兄

任意接種費の負担軽減により、接種率を高め疾病予防につながっているため、今後も事業の継続が必要である。 おたふくかぜワクチンの効果は、接種後2週間後から90%前後の方に抗体ができると言われている。成人して感染すると、小児より重症化しやすく、妊娠初期の場合は流産、死産しやすいことから、今後も無償でワクチン接種を受けられる体制が必要である。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 価 健康づくり支援係 77001 1 務 市民生活課 係名 健康づくり増進事業 事 業 細事業 健康増進事業 実施計画事業 健康増進事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 112 第2次豊後大野市健康づくり 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 計画 別計 H26 年度 ~ 款 策 期間 検査検診委託料 4,671 4 1 保健・医療サービスの充実 年度 R5 項 1 施策展開 ①健康づくり活動を推進する 画 会計年度任用職員報酬 2,026 名 社会保険料(会計年度任用職員分 2 後期基本計画 38 P コロナ充当 年度 ~ 目 総合戦略 期間 376 決算 85 通信運搬費 357 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 ≪事業の目的≫ 生活習慣病の予防、重症化予防の為、豊後大 野市健康づくり計画に基づき健康増進事業の 各種事業を実施し、市民の健康増進および生 活習慣病予防を推進する。 健康教育の実施 53回/年 956名 健康相談の実施 450月/年 486名 前間清輝 72月/年 69名 ・ 基本機能の4歳末満の市民 120名 ・ 後保護世帯 9名 ・ 作取したりを検診 225名 ・ 所次ワイルス検診 113名 ・ 歯肉疾患機能 R 3 計画 8, 146 2,406 R3 当初予算 1,940 2,406 8, 146 3,800 決 算 額 6,821 1,940 3, 132 1,749 R 4計画 2, 406 8, 146 1,940 3,800 R4 当初予算 9,489 3,800 3,543 2, 146 決 算 額 R 5 計画 8, 146 1,940 3,800 2,406 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 以下の健康増進事業に取組む R6計画 8, 146 1,940 2, 406 3,800 健康教育の実施 20回/年 250名 健康相談の実施 50回/年 620名 訪問指導 100回/年 R6 当初予算

決 算 額 R7計画

当初予算

決 算 額計 画 額

当初予算

決 算 額

8, 146

40,730

17,635

6,821

1,940

9,700

4,086

1,940

3,800

19,000

7,600

3, 132

2,406

12,030

5, 949

1,749

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		地域保健事業報告実績値	□ 総合戦略		口	目標値	20	20	20	20	20
С	1 健康教育実施回数	健康教育(健康教室)回数 保健師・栄養士・歯科衛生士等	☑ 個別計画	19	ш	実績値	53				
活		保健即・未養工・圏科衛生工等			%	達成率	265.0				
動指		地域保健事業報告実績値	│ │ │ 総合戦略		口	目標値	50	50	50	50	50
標	2 健康相談実施回数	健康相談回数	☑ 個別計画	49	Ш	実績値	45				
		保健師・栄養士・歯科衛生士等			%	達成率	90.0				
		脳血管疾患標準化死亡比(保健所報「標準化死亡比(過去5年平均)」より抜粋)	✓ 総合計画			目標値					
D	1 脳血管疾患標準化死亡比	R2実績値(男性95.6、女性96.9)	□ 総合戦略			実績値					
成		R7目標値(男性100未満、女性100未満) R3実績値(R4年11月確定予定)	□ 個別計画		%	達成率					
成果指		大分県ホームページ 数字で見る「大分県の保健・福祉」市町村別健康寿命(お達者年齢	✓ 総合計画		چلا	目標値					
標	2 健康寿命 (お達者年齢)	過去5年平均)より抜粋。 R2実績値(男性79.66歳、女性83.93歳) R7目標値(男性80.51歳、女性85.10歳)	☑ 総合戦略		歳	実績値					
		R7目標値(男性80.51歳、女性85.10歳) R3実績値(男性79.62歳、女性84.11歳)	□ 個別計画		%	達成率					
175	-	R2実績値(男性79.66歳、女性83.93歳) R7目標値(男性80.51歳、女性85.10歳) R3実績値(男性79.62歳、女性84.11歳)			%						

R3 ~ R7 合 計

 E
 評価対象外の理由
 ①評価対象

 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

**G** 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 コロナ禍の影響で、受診者は減少傾向ではあるが、受けやすい体制づくりをし、受診率 向上に向けて取り組んでいる。今和4年度には健康づくり計画策定のための市民アンケー トを実施し、健康づくり計画の見直しを行っていく予定である。健康づくり計画の目標指 標を達成しながら総合計画の成果指標達成に近づけていきたい。

健康診査 ・基本健診 40歳未満の市民 ・被保護世帯

350名

R7

• 歯周疾患健診

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 集団健診では、事前予約制とし感染対策を行いながら事業を実施した。市民が 希望の健診が受けられるように、休日健診、働き盛り健診、障がい者健診等市民 のニーズをいかした健診の体制づくりを整えた。健康教育では、高血圧や糖尿病 の重症化を予防するため、オンラインを活用したり、運動指導士によるDVDを作 成しケーブルテレビで放映した。今後KDBシステム、マップシステムを活用した 資料を作成し、保健指導に活用していく。

I 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

77

71

51,588

257, 940

103, 234

44,827

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 健康づくり支援係 77002 1 務 価 市民生活課 係名 健康づくり増進事業 事 業 細事業 がん検診事業 実施計画事業 がん検診事業 なし 総合計画体系図No.→ 第2次豊後大野市健康づく り計画 策 Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 H26 年度 ~ 款 策 1 保健・医療サービスの充実 検査検診委託料 51, 275 4 年度 R5 項 1 施策展開 ②疾病予防を推進する 画 印刷製本費 165 名 2 コロナ充当 年度 ~ 目 後期基本計画 38 P 過疎計画 総合戦略 期間 通信運搬費 決算 85 託児業務委託料 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 主要死因の1位である悪性新生物の早期発見を 目的に、各種のがん検診を実施し、一人ひと りが健康づくりを進められる環境をつくる 胃がん検診: 40歳以上の男女対象1, 430名・肺がん検診3, 488 名・大腸がん検診 2, 906名・子宮頚がん検診 2, 258名(クーポン受診者除く)・乳がん検診: 2, 158名・前立腺がん検診1, 118名 女性特有のがん検診: 子宮頸がん検診クーポン利用受診者19 名(対象10名) 受診率18.8%・乳がん検診クーポン利用受 診者 38名(対象168名) 受診率2.6% R 3 計画 51, 588 51,588 51,588 R3 当初予算 51,588 決 算 額 46, 882 2,055 44, 827 R 4計画 51, 588 51, 588 R4 当初予算 51,646 51,646 決 算 額 R 5 計画 51,588 51,588 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 R6計画 51, 588 51,588 R6 当初予算

決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

51,588

257, 940

103, 234

46,882

2,055

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		□ 総合戦略		ы	目標値	8	8	8	8	8
子宮頚がん・乳がん検診(   クーポン券)受診勧奨	子宮頚がん・乳がん検診(クーポン券) 周知回数(個別通知・間接通知)		7	Ш	実績値	8				
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, as a second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsible to the second responsibilities to the second responsibilities to the second responsibilities to the second responsibilities to the second responsibilities to the second responsibilities to the second responsibilities to the second responsibilities to the second responsibilities to the second responsibilities to the second responsibilities to the second responsibilities to the second responsibilities to the second responsibilities to the second responsibilities to the second responsibilities to the second re			%	達成率	100.0				
		□ 総合戦略		0/_	目標値	100	100	100	100	100
要精密者への受診勧奨	要精密者への受診勧奨率	□ 個別計画	100	/0	実績値	100				
		[ 10別計画		%	達成率	100.0				
		□ 総合計画		0/	目標値	30	30	40	50	50
子宮頚がん・乳がん検診(   クーポン券)受診状況		□ 総合戦略	26. 1	/0	実績値	21. 2				
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	20 1 (20 1 30) He ii 30)	□ 個別計画		%	達成率	70. 7				
	精密检查受診率	□ 総合計画		0/	目標値	95	95	100	100	100
精密検査受診状況	5大がんそれぞれの精密受診者の和/5大	□ 総合戦略	88. 7	/0	実績値	86. 5				
	かんてもにてもいり安有省快省有剱の相	☑ 個別計画		%	達成率	91. 1				
要 ニン	子宮頚がん・乳がん検診( クーポン券)受診状況	要精密者への受診勧奨率  要精密者への受診勧奨率  子宮頚がん・乳がん検診 ( クーポン券) 受診状況  「大宮頚がん・乳がん検診 (クーポン券) 受診率(受診者数/配布者数)  特密検査受診率	子宮頚がん・乳がん検診 (	要精密者への受診勧奨 要精密者への受診勧奨率	子宮類がん・乳がん検診(カーボン券) 受診勧奨       子宮類がん・乳がん検診(クーボン券) (個別計画       7         要精密者への受診勧奨率       一 総合戦略 (個別計画       100         要精密者への受診勧奨率       一 総合戦略 (別計画       100         子宮類がん・乳がん検診(カーボン券) 受診率(受診者数/配布者数)       一 総合戦略 (力・ボン券) 受診率(受診者数/配布者数)       26.1         情密検査受診率 (受診者数/配布者数)       一 総合戦略 (力・ボン券) (個別計画       26.1         特密検査受診率 (ランボルぞれの特密受診者の和/5大がんそれぞれの特密受診者の和/5大がんそれぞれの専権変検査者数の和       26.1       26.1         がんそれぞれの専権変検査者数の和       26.1       26.1	子宮頚がん・乳がん検診 (		子宮頚がん・乳がん検診(クーポン券)       子宮頚がん・乳がん検診(クーポン券)         個別計画       7         東精密者への受診勧奨       要精密者への受診勧奨率         総合戦略   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   1	子宮頚がん・乳がん検診(クーポン券)       一個別計画       7         東精密者への受診勧奨       要精密者への受診勧奨率       一個別計画       100         要精密者への受診勧奨率       一個別計画       100         要精密者への受診勧奨率       一個別計画       100         要精密者への受診勧奨率       一個別計画       100         要精密者への受診勧奨率       一個別計画       100         実績値       100         実績値       100         大宮頚がん・乳がん検診(クーポン券)       総合計画         受診率(受診者数/配布者数)       26.1         個別計画       26.1         特密検査受診率       一級合計画         特密検査受診率       100         特密検査受診率の有力の要核変給を考表の和       26.1         機合戦略       88.7         要積値       95         96       実積値         96       実積値         96       実積値         96       実積値         96       実績値         96       実績値         96       実績値         96       実績値         96       実績値         86.5       実績値	

R3 ~ R7 合 計

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	   評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  $	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	/25点

## 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市民が、がん検診を受けやすいように、大腸がんの郵送健診や託児付きレディ - ス健診など健診体制を整えた。精密未受診者の方には、個別の電話かけを行い 受診勧奨を促した。本市における悪性新生物による死亡率が高いことから、今後 においてもがん検診の体制整備、普及啓発につとめていく必要がある。

主要死因の1位である悪性新生物の早期発見を目的に、各種のがん検診を実施しているため、今後も事業の継続が必要である。受診勧奨や受けやすい体制づくりを行っており、受診者が増えるように今後も取り組んでいく必要がある。

令和5年度の事業の方向性

事業番号 枝番 (令和 3	4
78002 1 <b>(令和 3</b>	4
事 業 環境衛生事業	
総合計画体系図No.→ ( 230 )	

	事業番号	枝番		3 年度			_		4114					)			m 1+2 /4-7	-am	1			(様式1)
	78002	1	(令和	3 年度 🥻	<b>天 算</b>	) 4	事 彩	予	莱	評	価	那			課局名	ţ	環境衛生	三課	係名	塚	莧롂	ř生係 
事	業環	環境衛生事業	É		ż	細事業	公衆	衛生事業					実施計	十画事	14 狂犬羽	<b></b>   丙子防	事業				子 度	なし
		画体系図No										hh- o	у. ш. И	7 [.m	2 十四 (女士	ادبا						
会計	<del>├</del>	政 策		こくらしと多	安心を	実感で	きるまた	5			個	画		发大里	野市環境基	<b>季計</b>	1		度 主な歳		当	4初予算額
款	4	施策	- >1()2(1)								別計	期間	¶ R2	年	度 ~ R (	5 年月			システム	保守委託料		385
項	1	施策展開		生を推進す							画名						消耗品					202
目	3	後期基本	計画 60	P	過疎	計画	i	総合戦略		コロナ充当		期間	1	年	度 ~	年月	J	重搬費			-	125
決算		事業目的	・内容・実	橨									в事	業計	画額・決	<b>車額等</b>	印刷	以本費			Ļ	50
		事業の目的	と内容		年			主な活	5動実績						事業費割	it  _			財源内		<del></del>	位:千円)
< 1	事業の目的	1>			度	<ul><li>予防</li></ul>	注射の写	実施(1,4				┩┟	- 0			玉	県支出会	き 地	方債	その他	-	一般財源
1 大の	大病予防	法に基づく	予防注射の 飼い方等へ	対応及びの対応を	D2	<ul><li>犬の</li></ul>	登録 (1	32頭)、	異動、列	E亡等の届 し、台帳〜	出処理		R 3 i			62				765	+	
行う		300, 7000	M1 22 4	~> \1 \\ \C	R3	を実施	)	の飼い方々			-/(/)	ш	当初音			62				765	+	
					_	· \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	<i>/</i> (, <i>/</i> (°	→ EM ( .>)	**シロ旧	X1 //L		┦╂	決 算 R 4 i			45				645	+	
					R4							Ⅱ	当初			62 66				762	+	
					1\4							- 11	決 算		,	00				701	0	
					_							┨╂	八 并 R 5 ii		7	62				762	)	
					R5							Ⅱ	当初音		'	02				702	-	
<	令和3年度	きの取組内容 かんしょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	文(計画) >		110							- 11	決 算									
• 予	防注射の領	実施		-m								╢	R 6		7	62				762	2.	
• (	システムの	異動、死亡 の保守管理	等の届出処 を委託し、	埋 台帳へ入	R6							Ш	当初 <sup>-</sup>		'					,		
	・実施) い犬、犬の	の飼い方へ	の苦情対応									ш	決 算									
												╢	R 7 i	計画	7	62				762	2	
					R7							Ш	当初音	予算								
													決 算	額								
												71	計画	顮	3, 8	10				3, 810	)	
							R3	~ R	7 合 i	Ħ			当初音	予算	1,5	28				1, 528	3	
												╝	決 算	額	6	45				64	5	
	T			T									lw		who put I							
		評価指標名	5	指	宗旭の	説明(	算出方法	(寺)	_	計画指標	+	2 美彩	責値 単	1꼬	達成度 目標値	R3		R4	R5	R6	:00	R7
С	1 狂犬症	予防注射頭	***	過去5年	間のエ	Z均注射	丽粉			総合戦略		1, 5	三 豆	頁	実績値		600 447	1,600	1, 60	JU 1, 6	000	1,600
	1 11/0/19	1 10/11/11/19	350	過五3千	山ウンゴ	-~) (LL3)	兴奴			個別計i	画	1, 0	_	%	達成率		90. 4					
活動									$\top$		火		+		目標値						$\dashv$	
指標	2 _														実績値							
										] 個別計i	쁴		9	%	達成率							
							-		ĪĒ	総合計	画				目標値							
D	1 —									総合戦略					実績値							
成果										個別計ī	_		9	%	達成率						_	
指														-	目標値		_				4	
標	2 —									総合戦闘				14	実績値							

Ε 評価対象外の理由 0 評価対象

(対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	13 点	3 点	13点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点	/25点	— 点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

法合に基づくもの及び市民の生活環境を改善するために必要不可欠な事業であり、精査しながら対応していく必要がある。 大の登録頭数、注射頭数は入口と同じで全体数が減少しているため、今後も減少が続くと思われる。 また、令和4年6月から大のマイクロチップ義務化(ベットショップやブリッグ・かど大猫を販売する事業者のみ義務化 )が法改正により施行された。これに伴い国は登録等のワンストップ化のサービスを進めていますが、手数料等の徴収の問 関もあり大分県内の市町村はどこもまだ加入をしていない。他市の状況や条例の適用等をふまえ、今後も加入については検 討をしていく。 なお、現在大の登録についてシステムを導入し、現在、保守委託料契約を結んで使用していますがこれを廃止して、今後 はkintoneを利用し、犬のワンストップ化サービスに対応できるようシステムを構築する予定。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善業等を踏まえた課長職等の所見 法令に基づくもの及び市民の生活環境を改善するため必要不可欠な事業である。 大の登録及び注射は全体数が減少傾向が続くと考えられる。 また、令和4年6月の大のマイクロチップ義務化が法改正により施行されました。これに伴い国は登録等のワンストップ化サービスを推進しているが、手数料等の徴収問題関係により県内市町村未加入状態である。他市の状況や条例適用等を踏まえ、今後の加入要検討である。 なお、業務改善の一環として、大の登録システムをkintone利用に移行させる。 現在の保守委託料の削減を図る。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

14, 336

7,835

6, 596

	(146-15-15)
事業番号   枝番   (令和 3 年度計画) 総合計画実施計画書 (兼進捗管理)	(様式1)
78002 2 (令和 3 年度決算 ) 事 務 事 業 評 価 調 書 課局名 環境衛生課 係名 環	竟衛生係
	7 201
	度なし
総合計画体系図M.→ ( 230 )	火和豆体红
会計   一般   政 策   Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち   「個   個   個   四   四   四   四   四   四   四	当初予算額
款 4   施 策 5 環境衛生の推進	3, 762
項 1     施策展開 ④公衆衛生を推進する       日 2     日 3       日 3     日 40 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	106
日   3     佐期基本計画 60 P     過解計画   過解計画   3   期间 **♥ ~ **♥	
   次算   86	
事業の目的と内容 年 主な活動実績 事業費計 事業費計	(単位:千円)
□   □   □   □   □   □   □   □   □   □	一般財源
〈事業の目的〉 三重町三重原地域周辺の養豚業者からと思 ・悪臭防止法に基づいた臭気指数の測定 7回 (2,926千円) R3計画 3,868	3, 868
われる悪臭問題の解決に向け平成21年9月から「三重原地域環境問題代表者会議」を開催 R3 い地域住民へ臭気測定のモニタリング調査を委託( 106千円) 当初予算 3,868 当初予算 3,868	3, 868
して協議を重ねており、解決に向け悪臭防止 法及び本市の基準に基づいた臭気指数の調査 ・循環型自然消臭法試験導入業務委託の実施(3,56 4千円) ・ 2 類 額 6,596	6, 596
	3, 868
また、悪臭の発生状況について地域住民からの意見を聞くためにモニタリング調査とし R4 当初予算 3,967	3, 967
て三重原区から10名選任してもらい、毎月 報告をいただく。	
R 5計画 2,200	2, 200
R5 当初予算	
<令和3年度の取組内容(計画)>	
・悪臭防止法に基づいた臭気指数の測定 (養医業者及び際味の変化性の変化性の対抗)	2, 200
・地域住民へ臭気測定のモニタリング調査を R6 当初予算	_,
委託	
R7計画 2,200	2, 200

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	8	8	5	5	5
С	1 臭気指数の測定回数	地域住民からの要望及び予算による	個別計画	8	Ш	実績値	7				
活					%	達成率	87. 5				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画			目標値					
D	1 -		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成 果 指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

14, 336

7,835

6, 596

デ価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	17点	4 点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点	/25点	—— 点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

□ 【担当味びの思え・課題・以音乗寺』 次う後の事業の進め力寺
令和3年度については2ヶ月に1回の1事業者への臭気測定については予定通り実施できた。
また、新たな臭気方法として大分県から紹介を受けた大分大学発のペンチャー企業が協力して実施している「循環型自然消臭法」について事業の導入部分となるステップA (3 か月) に取組、年度内にこの事業の
肝となる「有機消臭土」を予定どおり完成することができた。
令和4年度以降は臭気調査の継続と「循環型自然消臭法」の養緊業者の取組の推移を確認していくこととしていたが、令和4年4月に行われた代表者会議において1 養豚業者より廃業の表明がなされたため、悪臭防止法に基づく臭気測定の策施の有無、養豚業者の「循環型自然消臭法」の継続の取組については困難となり、今後は、廃止にむけての確認と情報収集に務め、臭気の改善に向け市として支援を行っていく必要がある

#### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

## 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

B. 見直しの上で継続-4 縮小

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 環境衛生係 78002 3 (令和 3 年度決算) 事 務 価 環境衛生課 係名 事 業 細事業 公衆衛生事業 実施計画事業 食品衛生協会補助事業 環境衛生事業 なし 総合計画体系図No.-策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 年度 食品衛生協会補助金 4 5 環境衛生の推進 年度 ~ 200 項 1 施策展開 ④公衆衛生を推進する 名 3 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 60 P 過疎計画 総合戦略 決算 86 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 !後大野市食品衛生協会の令和3年度の事業に トし、補助金の交付を行った。 R 3 計画 200 200 R3 当初予算 200 200 決 算 額 200 200 ている。 食中毒などの食品事故の防止のために巡回 R 4 計画 200 200 展げ事などの最近事故の内にのにめに 指導、食品衛生安全情報普及事業、衛生教育 事業等さまざまな活動を行っている協会の安 定化を図り、食品に起ける衛生上の危害を 防止し、公衆衛生の向上及び推進に寄与する ことを目的として補助金を交付する。 R4 当初予算 200 200 決 算 額 R 5 計画 200 200 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 豊後大野市食品衛生協会の令和3年度の事業に R6計画 200 200 対し、補助金の交付を行う。 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 200 200 R7 当初予算 決 算 額 計画額 1,000 1,000 当初予算 R3 ~ R7 合 計 400 400 決 算 額 200 200 R4 R7 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R5 R6 目標値 □ 総合戦略 C 実績値 □ 個別計画 % 達成率 目標値 □ 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 総合計画 目標値 豊後大野市食品衛生協会の主な活動によ 件 D 食中毒の発生抑制 総合戦略 実績値 個別計画 % 達成率 ᄨ 目標値 総合計画 指標 実績値 総合戦略 個別計画 % 達成率 **証価対象外の理由** り 証 価 対角 (対象外事業は F~「爛去記 入 可)

	評価対象外の理由 0 評価対象			(刈豕外事	. 耒 は F ~ 1 個	不能人 可)
	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
ТШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	—— 点	16 点	—— 点	16 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ渦の中で食品衛生協会に加盟する飲食業等の事業所は大変苦労をしており、その中で食中毒を起こさない、コロナの感染症を拡大させないようさまざま取組については市としても今後とも支援していく必要がある。	食中毒を起こさせないため、またコロナ感染症を拡大させないようさまざまな 取組を今後とも支援していく。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 環境衛生係 78003 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 環境衛生課 係名 事 業 細事業 飲料用水施設改善補助事業 実施計画事業 飲料用水施設改善補助事業 環境衛生事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 189 ) 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 年度 飲料用水施設改善補助金 13, 330 4 2 上下水道の整備 年度 ~ 項 施策展開 ①上水道等を整備する 1 名 3 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 54 P 過疎計画 総合戦略 決算 86 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 市民の健康増進と公衆衛生の確保及び生活 ・飲料用水施設改善補助金の交付(8件) R 3 計画 13, 330 13,330 環境の改善を図るため、市内の公営水道区域 外の飲料用水施設の新設及び修繕に係る費用 の一部を助成する。 R3 当初予算 13, 330 13, 330 決 算 額 3,774 3,774 R 4 計画 13, 330 13, 330 R4 当初予算 13,300 13, 300 決 算 額 R 5 計画 13, 330 13, 330 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・飲料用水施設改善補助金の交付(10件) R6計画 13, 330 13, 330 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 13, 330 13, 330 R7 当初予算 決 算 額 計画額 66,650 66,650 当初予算 26,630 R3 ~ R7 合 計 26,630 決 算 額 3,774 3,774

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	10	10	10	10	10
С	1 補助事業実施数	過去の実績を踏まえ下限を設定する。	□ 個別計画	19	14	実績値	8				
活					%	達成率	80.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値					
D	1 -		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	— 点	/25点	点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

補助件数については地元からの申請に基づくため、年度にばらつきが見られる。また、現在の市補助要綱では1/3補助(対象事業費400万円)だが、補助率等について議会で市長が見直しすことを答弁しており、令和5年度からの適用に向け、補助率等を含めた要綱改正を令和4年度中に行う予定である。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

地元申請に基づくため、年度間で件数・金額にばらつきが見られる。現在は1/3補助(対象事業費400万円)だが、令和5年度からの補助率変更を含めた要綱改正を令和4年度中に行う予定である。問い合わせも多く、希望する需要が多いのではないかと考えられる。また、次年度から補助率が見直された場合には、より希望件数増となる可能性がある。

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 環境衛生係 78005 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 環境衛生課 係名 事 業 環境衛生事業 細事業 環境衛生事務費 実施計画事業 自動車騒音監視業務委託事業 なし 総合計画体系図No.→ 第3次豊後大野市環境基本計 策 VI 豊かな自然を未来に残し伝えるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 <sup>年度</sup> ~ R6 款 策 2 環境保全の推進 期間 自動車騒音監視業務委託料 2,530 4 年度 R 2 項 1 施策展開 ①環境保全対策を推進する 画 名 目 3 コロナ充当 期間 年度 ~ 後期基本計画 100 P 過疎計画 総合戦略 決算 86 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 **<事業の目的>** 豊後大野市内における自動車騒音の状況に ・自動車騒音監視業務委託(7路線 12区間、実測4地点) R 3 計画 2,530 2,530 豊後天野市内における目動車騒音の状況に ついて、騒音規制法第18条第1項の規定にス 場所を開始を開始を開始を開始を表示し、 テムを使用して常時監視を実達成の把握、対象路 が開始を開始を開始を開始を表示を使用を行い環境基準の連成の把握、 が関係を表示を使用を表示を表示を表示を での一般を表示を表示を表示を表示を を表示を表示を表示を表示を表示を とする。 (権限移譲により平なっている。) R3 当初予算 2,530 2, 530 決 算 額 2,618 2,618 R 4 計画 2,500 2,500 R4 当初予算 2,629 2,629 決 算 額 R 5 計画 2,500 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ·自動車騒音監視業務委託 (7路線) R6計画 2, 200 2, 200 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 2,200 2,200 R7 当初予算 決 算 額 計画額 11,930 11,930 R3 ~ R7 合 計 当初予算 5, 159 5, 159 決 算 額 2,618 2,618

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		路	目標値	7	11		5	5 4
С	1 対象路線数	実施計画により5年ローテーションで対象路線を調査している	個別計画	4	線	実績値	7				
活		3.77 July 2 4.72 2 1 1 2			%	達成率	100.0				
活動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値					
D	1 -		□ 総合戦略	·		実績値					
成			□ 個別計画	i	%	達成率					
成果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	象						()	対象外事態	<b>美はF~I椎</b>	未記入 可)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	■で無)				一次	な評価 (係:	長)	二次評価	(課長等)
		計画場合/300代点(193点で	可叫				評価	点 評価	点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているか	\	1 → 2 →	· 3 · ⇒	→ 4 → 5		3 点		3 点	

2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 3点 評 優先度低い 優先度高い 2 4 5 事業計画どおりに事業を進めることができたか 5点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 16 点 5点 16点 推移していない ⇒ 推移した 3 4 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 点 /25点 /25点 推移していない 推移した

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
: 法令に基づくものであり必須事業である。道路交通センサスの状況による計画 を見直し、入札を行い事業費の削減に務めていく。
5

I 令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 環境衛生係 78006 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 環境衛生課 係名 事 業 細事業 小規模給水施設整備事業 実施計画事業 小規模給水施設整備事業 環境衛生事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 年度 修繕料 2 上下水道の整備 年度 ~ 200 4 項 1 施策展開 ①上水道等を整備する 名 期間 年度 ~ 年度 目 3 後期基本計画 54 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 決算 86 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 平成30年度に小規模給水施設水源確保等支援事業(大分県補助)で整備した三重町松谷地区・小切畑地区の給水施設の修繕を行う。 ・三重町松谷地区の給水施設の補修(1箇所) R 3 計画 200 200 R3 当初予算 200 200 決 算 額 158 158 R 4計画 200 200 R4 当初予算 200 200 決 算 額 R 5 計画 200 200 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・三重町松谷地区の給水施設の補修(1箇所) R6計画 200 200 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 200 200 R7 当初予算 決 算 額 計画額 1,000 1,000 当初予算 R3 ~ R7 合 計 400 400 決 算 額 158 158

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値					
С	1 -		□ 個別計画			実績値					
活					%	達成率					
動指			総合戦略			目標値					
標	2 =		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値					
D	1 地元への施設の移管又は協 定による地元管理への移行	施設の補修による状況を見守りつつ、地 元への移管を検討する必要があるため。	□ 総合戦略			実績値					
成	7C1=00 07070111 17771	元 329日と1次的 532. 安か 572 32.	□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対			•			•	(3	対象外事業に	<b>↓F~Ⅰ欄</b> ≉	記入 可)

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点  $\rightarrow$  2  $\rightarrow$  3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3 点 なっている なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 3点 評 優先度低い 優先度高い 3 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった できた 価

4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 点 点 13点 13 占 推移していない ⇒ 推移した <del>→</del> 3 → 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 3点 /25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 平成30年度に大分県の小規模給水施設整備事業を活用して実施した事業の修繕であり、 県の小規模集落に対する新たな補助事業(R4~R6)が決定したことから、その内容と の均衡をたもつためにも令和4年度の状況をみつつ、地元移管を検討する必要がある。 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

平成30年度大分県小規模給水施設整備事業実施分の修繕である。(R4~R6)大分県小規模集落等水源整備支援事業との均衡を保つためにも、令和4年度の状況により、他地区と同様に地元移管を進める。

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-4 縮小

なし

24, 834

8,863

8, 526

当初予算額

環境衛生係

係名

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 (令和 3 年度決算) 事 環境衛生課 79001 1 務 価 事 業 葬斎場事業 細事業 葬斎場管理運営事業 実施計画事業 葬斎場管理運営事業 総合計画体系図No.→ ( 229 ) 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 別計 葬斎場運転管理業務委託料 款 期間 年度 4 5 環境衛生の推進 年度 ~ 項 施策展開 ④公衆衛生を推進する 1 修繕料 名 目 後期基本計画 60 P コロナ充当 期間 年度 ~ 4 過疎計画 総合戦略 光熱水費 決算 87 A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容 主な活動実績 度 ・葬斎場運転管理の業務委託 ・警備、浄化博、エレベータ、火葬炉等の保守管理、 点検業務の委託 ・燃料、光熱水費の支払、消耗品の購入及び修繕発生 時の対応 <事業の目的> 人生の終焉となる葬斎場について、 人生の終焉となる舜倉場について、霊地 埋葬に関する法律及び条例、規則に則り、維 持管理を適正に行う。 R3 ・日杵市(野津町分)からの事務委託による精算業務 R4

R3 ~ R7 合 計

R5

R6

R7

<令和3年度の取組内容(計画)> 葬斎場運転管理の業務委託

	B 事業計	画額・決算額	燃料費			4, 634
1				財源内	讨訳	(単位:千円)
		事業費計	国県支出金	地方債	その他	一般財源
	R3計画	56, 928			17, 025	39, 903
	当初予算	56, 928			17, 025	39, 903
	決 算 額	48, 252			16, 210	32, 042
ı	R 4計画	56, 928			17, 025	39, 903
ı	当初予算	56, 234			18, 379	37, 855
ı	決 算 額					
ı	R 5計画	56, 928			17, 025	39, 903
ı	当初予算					
ı	決 算 額					
ı	R6計画	56, 928			17, 025	39, 903
ı	当初予算					
ı	決算額					
ı	R 7 計画	56, 928			17, 025	39, 903
ı	当初予算					
ı	決 算 額	-				
ı	計画額	284, 640			85, 125	199, 515
	当初予算	113, 162			35, 404	77, 758
	決 筧 額	48, 252			16, 210	32, 042

								R5	R6	R7
		総合戦略		件	目標値	820	820	820	820	820
<b>火葬業務件数</b>	目標としては定めるものではないが、予 測される指標として算出。	個別計画	861	†	実績値	831				
				%	達成率	101.3				
		総合戦略			目標値					
_		□ 個別計画			実績値					
				%	達成率					
		総合計画			目標値					
_		□ 総合戦略			実績値					
		□ 個別計画		%	達成率					
		□ 総合計画			目標値					
_		□ 総合戦略			実績値		·			
		□ 個別計画		%	達成率					
				総合戦略	□ 総合戦略 □ 個別計画  96 □ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画 96 □ 総合計画 □ 総合計画 □ 総合計画 □ 総合戦略		総合戦略	総合戦略	総合戦略	総合戦略

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(109点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \hline retarrow center & \hline \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	13 点	3 点	13点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点	/25点	— 点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

法令等により市が実施主体であることが定められており、必須の事業となっている。 施設については建設から5年を経過しており、今後も計画的な補修修繕及び維持管理に 務め、委託業者と連携を密にして遺営を行う必要がある。 新型コロナウイルス感染者の火葬対応、世界的な半導体不足による修繕の部品調達など が課題となっているが、その時々の状況で対応を行っていく。

### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

法令等により市が実施主体であることが定められており、必須の事業である。 施設については建設後5年経過し、今後も計画的な補修修繕及び維持管理に努 め、委託業者と連携を密にして運営を行う。 新型コロナウイルス感染者火葬対応や世界的半導体不足による修繕部品調達な どが課題で、その内容によって対応を行う。

### 令和5年度の事業の方向性

81	001					4	及	AI 15	4 /	NO F	7 6		天加	四百四四	書(		199	日 垤.	'						_		(	
事		1	(	令和	<b>a</b> 3	年	度	決り	I)	事	7	务	事	業	評	価	Ē	周 :		課局	各	環境	衛生護	果	係名	環境	竟衛	i 生係
	業	青掃総務事	事業						細事	業 -	一般	廃棄	物適コ	E処理	事業			実施記	十画事	事業一	般廃棄	物適」	E処理事	業		終年		なし
会計 -		一面体系図N				ا خ /	1, 4	+ A.	2. 生 卍	ホモフ	. 1-1	+				7.	曹	後 大野	市一	·般廃棄	幼幼和翔	1	Δ1n 1	<i>_</i>	: <i>→ +</i> 、-=:	L D Th	11/	
款	一般 4				・			女心,	ど夫恐	できる	) ;;	9				值	基	本計画					デ和 3 消耗品費		主な歳と	11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.	=	i 初予算額 3
項	2	施策展	_		<sup>見爾王</sup> 乗物対			こすス								一言	令	和3年月	医一角	<sub>F度</sub> ~ 般廃棄4		<b>∌</b> 1.	通信運搬					
	1	後期基							疎計画	Тг	7	総合	<b>戦略</b>		コロナ充	- 1 2	, 画	【実施	計画	〔〕 F度 ~	DЭ	1 1	地口生机	X PA				
	89	E/WI4	2-1-H			<u> </u>		~=	-укит ш			топ	- L				****	I( c	)		NЭ							=
		4 事業目	的•	内容	・実績	<u>t                                     </u>		T	1									В專	業計	画額・	決算額	等			財源内証	7	(畄4	位:千円)
		事業の目	的と	内容	!			年度				主	な活	動実績					\	事業	費計	国県	支出金	地フ	50 //s P 3 a 方債	その他	_	一般財源
	業の目的	り> ・理及び清	掃に	関す	ス注律	ま乃で	木		• -	·般廃到 動物の	乗物!	処理	業の評価の記	午可更? ##	斯事務	8件		R 3	計画		36					16	5	20
市の条	例、規	則に基づ を行う。						R3		`B0100∨	ンクム	. 用火火型。	生 21	11				当初 <sup>:</sup>	予算		36					16	5	2
			H/m a	元點	л ин <del>2</del>	· / - :												決 算	額		17					16	,	
また、	印理伯	いの小動	14910)	グレ有次	処理を	E11 >	0											R 4	计画		36					4		3
								R4										当初 <sup>-</sup>	予算		36					4	1	3:
																		決算	額									
																		R 5	計画		36					16	5	20
								R5										当初 <sup>:</sup>	予算									
		度の取組[																決 算	額									
	廃棄物 物の死	処理業の 骸処理	許可	更新-	事務													R 6	計画		36					4	ŀ	32
								R6										当初 <sup>-</sup>	予算									
																		決 算	額									
																		R 7	計画		36					16	i	20
								R7										当初 <sup>:</sup>	予算									
																		決算	額									
																		計画	額		180					56	5	12
											R3	~	R7	合	計			当初 <sup>-</sup>	予算		72					20	)	52
																		決算	額		17					16	;	

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
	An elsewheat to som like a second second		総合戦略		件	目標値	8	2	8	2	8
С	1 一般廃棄物処理業の許可更 新件数	現在許可されている業者数 (2年更新) (新規申請の審査を含む)	│	3	IT	実績値	8				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		│ ── │			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/5)の代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restance & & \\ \hline restance & & \\ \hline \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	18 点	5点	18点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 #我! た	点	/25点	点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

### H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

一般廃棄物処理業許可更新事務については、関係法令に基づくもので、粛々と進める必要がある。今後の課題としては令和9年度の新環境センター稼働に向けて、令和8年度で本市の一般廃棄物処理基本計画が終了するため、新たに策定が、必要となる。 小動物死骸処理の土日祝日時間外対応は、他市では委託しているところもあるが、本市では職員で対応としており、今後の検討課題と考えられる。

### 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 (令和 3 年度決算) 事 課局名 環境衛生係 81002 1 務 価 環境衛生課 係名 事 業 清掃総務事業 細事業 塵芥処理事業 実施計画事業 段ボールコンポスト支給事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 223 ) 豊後大野市一般廃棄物処理 基本計画 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 H 2 4 <sup>年度</sup> ~ R 8 消耗品費 400 4 5 環境衛生の推進 年度 令和3年度一般廃棄物処理 計画【実施計画】 項 施策展開 ②循環型社会を形成する 2 名 コロナ充当 期間 R3 年度 ~ 目 後期基本計画 60 P 過疎計画 総合戦略 RЗ 決算 89 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額·決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 段ボールコンポストセットについては100セットを59人へ 給付した。モニタリング調査のアンケート結果については50 名中53名の回答があり、取組が簡単だったが約5割、今後も 取組たいが約5割であった。「混ぜるのが大変」、「夏場の 臭いや虫の発生」などの気になるほもあれば、「いい堆肥が できた」、「ごみの減量化ができた」などの意見があった。 <事業の目的> 家庭から排出される生ごみの減量の推進及 R 3 計画 400 400 ホルー シャロ される生こみの 減量の推進及 びリサイクル に関する市民の 意識の 高揚を図るため。 R3 当初予算 400 400 決 算 額 198 198 R 4計画 400 400 R4 当初予算 484 484 決 算 額 R 5 計画 400 400 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 段ボールコンポストセットの給付(100基)し、モニタリング調査を行う。 R6計画 400 400 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 400 400 R7 当初予算 決 算 額 計画額 2,000 2,000 当初予算 R3 ~ R7 合 計 884 884 決 算 額 198 198

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値					
С	1 —		□ 個別計画			実績値					
活					%	達成率					
動 指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		ト	目標値	7, 277	7, 178	7, 080	6, 981	6, 883
D	1 ごみの排出量(家庭系ごみ)	豊後大野市一般廃棄物処理基本計画	□ 総合戦略	7, 818	ン	実績値	7, 725				
成			✔ 個別計画		%	達成率	106. 2				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 0 評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	—— 点	15 点	—— 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2点	∕25点	2点	∕25点

## 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

ボストの給付については、これまで畑で使用していたコンオ 《スターに変わり新たに令和3年度から取組を開始》

#### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

### 令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 環境衛生係 81002 2 (令和 3 年度決算) 事 価 環境衛生課 係名 事 業 清掃総務事業 細事業 塵芥処理事業 実施計画事業 不法投棄対策事業 なし 総合計画体系図No.→ 豊後大野市一般廃棄物処理 基本計画 策 VI 豊かな自然を未来に残し伝えるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 H 2 4 <sup>年度</sup> ~ R 8 消耗品費 149 2 環境保全の推進 4 第3次豊後大野市環境基本 項 2 施策展開 ①環境保全対策を推進する 手数料 185 計画 名 コロナ充当 R 2 年度 ~ R 6 目 後期基本計画 100 P 過疎計画 総合戦略 決算 89 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 不法投棄の撲滅に向けた啓発と発生時の処 不法投棄防止対策等支援事業(看板20本作 R 3計画 334 49 285 成) ・不法投棄された廃棄物の処理【家電リサイクル分(テレビ、冷蔵庫、洗濯機)、タイヤほか】 理を関係機関と連携して行う。 R3 当初予算 49 285 334 決 算 額 232 49 183 R 4 計画 285 334 49 R4 当初予算 334 49 285 決 算 額 R 5 計画 334 49 285 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ·不法投棄防止対策等支援事業(看板20本作 R6計画 334 49 285 成) , 不法投棄された廃棄物の処理 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 285 334 49 R7 当初予算 決 算 額 計画額 1,670 245 1,425 98 R3 ~ R7 合 計 当初予算 668 570 決 算 額 232 49 183 指標値の説明 (算出方法等) 評価指標名 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R6 R7

				総合戦略			目標値					
С	1 —			個別計画			実績値					
活						%	達成率					
動指				総合戦略			目標値					
標	2 —			個別計画			実績値					
				旧加市四		%	達成率					
		不注恐奪については依然として二桁会で	~	総合計画		件	目標値	13	12	11	10	9
D	1 不法投棄発生件数	不法投棄については依然として二桁台で 推移しており、目標として一桁台を設定		総合戦略	14	14	実績値	17				
成		した。		個別計画		%	達成率	130.8				
果指				総合計画			目標値					
標	2 —			総合戦略			実績値					
				個別計画		%	達成率					
Е	評価対象外の理由 0評価対			•			•		( <b>x</b>	対象外事業に	<b>まF~I欄</b> ≉	未記入 可)

-次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 3点 評 優先度低い 優先度高い 2 4 5 事業計画どおりに事業を進めることができたか 3点 3点 できなかった できた 価 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 点 点 11点 11 占 推移していない ⇒ 推移した  $\rightarrow$  2  $\rightarrow$  3  $\rightarrow$  4 5 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 9 占 /25占 /25点

		推移していない ⇒ 推移した	
_			
	G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見	
不沒	不法投棄防止に対する啓発及び発見後に処理等の取組を継続して行っているが、実際の 去投棄発生件数は本年度は増加する結果となった。 発見された不法投棄は本年度より前から発生したものも多く、不法投棄撲滅の取組は地 な啓発活動が必要である。	しかしながら、実際の不法投棄発生件数は増加する結果となった。	,

令和5年度の事業の方向性

なし

222,670

-般財源

68, 168

68, 168

49, 210

68, 168

68, 555

68, 168

68, 168

68, 168

340,840

136, 723

49,210

(対象外事業はF~I欄未記入 可)

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 係名 工務係/管理係 83001 1 (令和 3年度決算) 務 価 上下水道課 事 業 細事業 実施計画事業 浄化槽設置整備事業 生活排水処理事業 浄化槽設置整備事業 総合計画体系図No.→ 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 生活排水処理施設整備構想 処理浄化槽設置整備事業費補 別計 期間 H28 年度 ~ R8 款 施 策 2 上下水道の整備 年度 4 項 2 施策展開 ②生活排水処理を推進する 名 B 2 後期基本計画 54 **P** 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 決算 90 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 <事業の目的> 単独浄化槽やくみ取り便槽を合併処理浄化槽 へ転換することにより、河川や用水路などの 効用水城の水質保全、公共衛生が向上し、住 民の生活環境の向上が図られる。 単独浄化槽、くみとり便槽から合併処理浄化 嘈への転換補助事業 R 3 計画 222,670 154, 502 基数220基 R3 当初予算 222,670 154, 502 決 算 額 190, 326 141, 116 R 4計画 222,670 154, 502 R4 当初予算 224, 220 155, 665 決 算 額 R 5計画 154, 502 222,670 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 単独浄化槽、くみとり便槽から合併処理浄化 槽への転換補助事業

$\subseteq$	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		基	目標値	200	200	200	200	200
С	1 合併処理浄化槽転換基数	年度末転換完了基数	☑ 個別計画	228	左	実績値	220				
活					%	達成率	110.0				
動指			│ │ │ │ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		%	目標値	68. 4	70. 3	72. 3	74. 3	76. 4
D	1 汚水処理人口普及率	汚水処理人口/住民基本台帳人口×100	□ 総合戦略	64.5	/0	実績値	66. 6				
成			□ 個別計画		%	達成率	97. 4				
成果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

-次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点合計 評価点 評価点 → 2 3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 5点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 5点 評 5点 優先度低い 優先度高い 3 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 5点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 5点 24 点 24 点 推移していない ⇒ 推移した → 3 → 4 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 /25点 推移した

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R6

R7

前年度より設置基数は減少したものの、設置基数220基で、生活排水処理処理構想で標としている年間200基は超えている。 しかし、生活排水処理処理構想で目標としている汚水処理人口普及率の年度目標より約 %下回っていることから、予算限度いっぱいの250基設置に向けて取組みを進めてい 必要がある。

制度の周知を行ない、更なる事業推進を行なっていく。

0 評価対象

目標基数250基

Ε

評価対象外の理由

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

!後大野市生活排水処理施設整備構想」では令和7年度末の生活排水処理率76 |を目標としている。

.4%を目標としている。 令和3年度は合併処理浄化槽への転換が計画の88%と高い水準であった。 しかし、年度末の生活排水処理率は66.6%であり目標達成には年度設置予定基数 の250基をクリアしていかねばならない。

令和4年度より汲み取り槽からの転換についても配管、撤去に係る補助要件が追

啓発活動を行い事業の推進に努めたい。

R6計画

当初予算 決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

222,670

222,670

1, 113, 350

446, 890

190, 326

154, 502

154, 502

772, 510

310, 167

141, 116

令和5年度の事業の方向性

154, 742

341, 355

145,613

62,400

2, 401, 333

703, 381

369, 448

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 清掃センター係 84001 1 (令和 3年度決算) 務 価 環境衛生課 係名 事 業 細事業 般廃棄物処理事業 実施計画事業 般廃棄物処理事業 般廃棄物処理事業 なし 計画体系図No.-総合 豊後大野市一般廃棄物処理 基本計画 会計 一般 政 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 施 策 期間 H24 年度 ~ ごみ収集・処分業務委託料 5 環境衛生の推進 年度 226, 104 4 R8 令和3年度一般廃棄物処理計 項 2 施策展開 ①廃棄物対策を充実する 画 清掃センター施設管理委託料 120, 113 画 名 コロナ充当 B 3 後期基本計画 60 P 過疎計画 総合戦略 年度 ~ 56, 268 R3 R3 決算 91 修繕料 36, 024 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 -般財源 <事業の目的> -般廃棄物処理事業(ごみ収集・処分業務) ・計画区域内における一般廃棄物を生活環境の保全 上支障が生じないうちに収集、運搬、処分をおこな R 3 計画 511, 215 154, 742 356, 473 R3 当初予算 356, 473 った。 ・市民の健康で文化的な生活と環境保全の確保と廃 棄物の減量及び資源の循環的な利用による環境負荷 D低減が図られた。 511, 215 154, 742 決 算 額 515,061 145, 613 369, 448 R 4 計画 511, 215 511, 215 R4 当初予算 595, 921 62, 400 186, 613 346, 908 決 算 額 R 5計画 511, 215 511, 215 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・計画区域内における一般廃棄物を生活環境 の保全上支障が生じないうちに収集、運搬、 処分する。 R6計画 511, 215 511, 215 の保主工文庫が主じないりらに収集、産廠、 処分する。 ・市民の健康で文化的な生活と環境保全の確保と廃棄物の減量及び資源の循環的な利用による環境負荷の低減を図る。 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 511, 215 511, 215

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値					
С	1 —		個別計画			実績値					
活					%	達成率					
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —					実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
/ar	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
価	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点	9点	— 点	9点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	—— 点	/25点	点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

課題 新型コロナウイルス感染拡大防止により外出自粛となったため、家の片付け等により不燃 ごみ粗大ごみが増加し、給付金の支給による影響なのか家電の買換による使用済小型家電 の持込みも増加した。 改善策 コロナウイルスに関連しての一時的な増加と思われるが、ごみの分け方・出し方保存版等 を活用して分別強化を促進するとともに、生ごみの水切り等を呼びかけた。また、使用済 小型家電の減量を行うため宅配収集業者の活用を住民に周知した。

#### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

新型コロナウイルス感染拡大防止により外出自粛となったため、家庭での可燃ごみの増加と、家の片付け等による不燃ごみ粗大ごみが増加した。給付金の支給による影響なのか家電の買換による使用済小型家電の持込みも増加している状況である。 コロナウイルスに関連しての一時的な増加と思われるが、ごみの分け方・出し方保存版等を活用して市民便利講座の開催等で分別強化を促進するとともに、生ごみの水切り等を呼びかけた。また、使用済小型家電の減量を行うため宅配収集業者の活用を住民に周知を図った。

令和5年度の事業の方向性 I

A. 現状のまま継続

当初予算 決 算 額

計画額

当初予算

決 算 額

2, 556, 075

1, 107, 136

515,061

84002 事業 一点	1 (令和		41 🛏	/ 190		一曲美	ミ施言	十四日	<b>香</b> (オ	使進捗	官	埋)								(1	様式1)
事業 一点	- \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	3 年度	決 算	)事	務	<b>F</b>	<b>F</b>	業	評	価	調	書	課局	名	環均	竟衛生調	果	係名	清掃も	マン:	ター係
	投廃棄物処理事業			細事業	一般原	廃棄物:	処理施	設整値	<b>備事業</b>		実	施計画	事業	一般廃棄	<b>E物</b> 処	理施設團	を備事業	4	終年		なし
総合計画	「体系図No.→ ( 218 )									7											-
会計 一般	政 策 Ⅲ 豊か	なくらしとタ	安心を	実感でき	るまち	ó				個   差	豊後フ 甚本言	大野市- 計画	-般廃	乗物処5	里	令和 3	年度	主な歳出	<b>出名称</b>	当	初予算額
款 4	<b>施 策</b> 5 環境衛	断生の推進										H24			年度	ごみ収集	(単・処分	業務委託	料		226, 10
項 2	施策展開 ①廃棄物	対策を充実	する				1					3年度一 実施計画		<b>E物処</b> 理	計	清掃セン	ター施	设管理委	託料		120, 113
<b>a</b> 3	後期基本計画 60	P _	過政	計画	i	総合戦闘	略	] ][	ロナ充当			R3		R3	年度	光熱水費	ř				
決算 91 <b>A</b>	事業目的・内容・写	<b>毛織</b>									В	事業計	┢画観	・決算額	等						
	事業の目的と内容		年			± #:	活動乳	宇結				<u> </u>		業費計			貝	才源内部	5	(単位	立:千円)
			度	3-1-1	n 17 n						<b>↓</b> ∟		77	下具可	国県	支出金	地方	債	その他	_	-般財源
<b>&lt;事業の目的&gt;</b> 一般廃棄物処理	<b>&gt;</b> !事業(ごみ収集・タ	心分業務)		ごみ処理ために影	设備・機	器の通	質切な(	呆全・管	管理及び	修繕	F	3計画	i	57, 915					7, 800		50, 115
			R3	を行い、 定的かつ	ごみり	処理に	支障を	きたっ	すことな	く安	븰	<b>á初予算</b>		57, 915					7,800		50, 115
				ACH \$10	- 1153/961	., ., ., .	100 (2.10	- 7-20			決	いいまでは、	į	54, 780							54, 780
											F	84計画	i	24, 200					23, 214		986
			R4								븰	<b>á初予算</b>		24, 200					23, 214		986
											決	額 算	i								
											F	35計画	i	24, 200					23, 214		986
			R5								븰	4初予算	:								
	の取組内容(計画) >										決	等 額	i								
・計画区域内に の保全上支障が	おける一般廃棄物を 生じないうちに収集	と生活環境 集、運搬、									F	86計画	i	24, 200					23, 214		986
処分する。 ・市民の健康で	文化的な生活と環境	意保全の確	R6								놸	á初予算									
保と廃棄物の減 よる環境負荷の	:量及び資源の循環的	方な利用に									決	等 額	į								
× 2000	MACIDO										F	7 計画	i	24, 200					23, 214		986
			R7								놸	á初予算									
											決	禁 算 額	į								
											計	十 画 額	i 1	54, 715					100, 656		54, 059
					R3	~ F	R7 含	計			놸	4初予算		82, 115					31, 014		51, 101
											決	等 額	į	54, 780							54, 780

	評価指標名	指標値の説明(昇出力法寺)	<b>谷計</b> 画指標	R 2 美積値	甲1型	進队及	K3	K4	КĐ	Κb	R/
			総合戦略			目標値					
С	1 —		│			実績値					<u> </u>
活			<u> </u>		%	達成率					
動指			総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	—— 点	10 点	—— 点	10点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	— 点	∕25点	点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

意見 既存のごみ焼却DCSシステムが製造中止となり、修繕補償期間の5年が経過することから後継機への交換 工事が必要となった。 R9年度の新環境センター稼働開始までに、交換や修繕を必要とする箇所はさらに増えると思われる。 課題 可燃処理施設は20年を経過しており、経年劣化による修繕が目立っている。また、機械設備も同様に 修繕が必要となっているが、製造中止の物が多く、新環境センター稼働開始までに高額な支出が予想さ れる。

可燃処理施設は20年を経過しており、R9年度の新環境センター稼働開始までには機械設備の部品交換や修繕を必要とする箇所はさらに増える可能性があり、今後の検討課題と考えられる。

## 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

なし

227, 334

3,825

3, 120

127

当初予算額

白鹿浄化センター係

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 環境衛生課 85001 1 (令和 3年度決算) 価 係名 事 業 般廃棄物処理事業 細事業 般廃棄物処理事業 実施計画事業 般廃棄物処理事業 計画体系図No.→ 総合 豊後大野市一般廃棄物処理 基本計画 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 別計 款 施 策 期間  $_{\rm H24}$  年度 ~ 包括運転管理委託料 4 5 環境衛生の推進 年度 R8 令和3年度一般廃棄物処理計 項 施策展開 ③汚水処理対策を充実する 2 白鹿浄化センター施設管理委託料 画【実施計画】 名 目 4 後期基本計画 60 P コロナ充当 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ 過疎計画 総合戦略 R3 決算 92 火災等保険料 △ 車業日的・内突・宝績 p. 真囊計画類, 決質頻繁

年	<b>ナ</b> れば動中は				財源内	訳	(単位:千円)
度	= 7 12 1111		争耒貸訂	国県支出金	地方債	その他	一般財源
	・収集、搬入されたし尿及び浄化槽汚泥を、微生物処理や膜分離装置等で適正に処理を行った。	R 3計画	234, 564			26, 384	208, 180
R3	・処理過程で発生する脱水汚泥は発酵後に袋詰め を行い堆肥化(農地環元)を行った。	当初予算	234, 564			26, 384	208, 180
	・施設運転管理業務を民間(西日本JKO)に委託。	決 算 額	233, 116			26, 028	207, 088
		R 4計画	301, 025			85, 782	215, 243
R4		当初予算	301, 025			85, 782	215, 243
		決 算 額					
		R 5計画	301, 025			85, 782	215, 243
R5		当初予算					
		決 算 額					
		R 6計画	301, 025			85, 782	215, 243
R6		当初予算					
		決算額					
		R 7 計画	301, 025			85, 782	215, 243
R7		当初予算					
		決 算 額					
		計画額	1, 438, 664			369, 512	1, 069, 152
	R3 ~ R7 合 計	当初予算	535, 589			112, 166	423, 423
		決 算 額	233, 116			26, 028	207, 088
	R3 R4 R5	度       主な活動美報         R3       ・収集、搬入されたし尿及び浄化槽汚泥を、微生物処理や廃分離装置等で適正に処理を行った。・な行い堆肥化(農地還元)を行った。・施設運転管理業務を民間(西日本JKO)に委託。         R4         R5         R6         R7	年度       主な活動実績         R3       ・収集、搬入されたし保及び浄化槽汚泥を、微生物処理や脱分雕装置等で適正に処理を行った。・施設運転管理業務を民間(西日本JKO)に委託。         R4       当初予算額         R5       当初予算決算額         R6       当初予算決算額         R7       異名 へ R7 合計         R3 → R7 合計       当初予算決算額         B へ R7 合計       当初予算決算額	年度       主な活動実績       事業費計         R3       ・収集、搬入されたし尿及び浄化槽汚泥を、微生物処理や協分雕装置等で適正に処理を行った。か完定する配水汚泥は発酵後に袋詰めを行い堆肥化(農地還元)を行った。・施設運転管理業務を民間(西日本JKO)に委託。       R3 計画 234,564 当初予算 234,564 当初予算 233,116 R4計画 301,025 当初予算 301,025 当初予算 301,025 当初予算 決算額 R5計画 301,025 当初予算 決算額 R6計画 301,025 当初予算 決算額 R6計画 301,025 当初予算 決算額 R7計画 301,025 当初予算 決算額 R7計画 301,025 当初予算 決算額 R7計画 301,025 当初予算 決算額 R7計画 301,025 当初予算 決算額 R7計画 301,025 当初予算 決算額 R7計画 301,025 当初予算 決算額 R7計画 301,025 当初予算 決算額 R7計画 301,025 当初予算 決算額 R7計画 301,025 当初予算 決算額 R7計画 301,025 当初予算 決算額 R7計画 301,025 当初予算 決算額 R7計画 301,025 当初予算 決算額 R7計画 301,025 当初予算 決算額 R7計画 301,025 当初予算 535,589	年度     主な活動実績     事業費計 国県支出金       R3     ・収集、搬入されたし尿及び浄化槽汚泥を、微生物処理や保分離装置等で適正に処理を行った。・施設運転管理業務を民間(西日本JKO)に委託。・施設運転管理業務を民間(西日本JKO)に委託。     R3 計画 234,564 当初予算 234,564 当初予算 233,116       R4     ※ 算額 233,116       R5     R 4 計画 301,025 当初予算 301,025 当初予算 決算額 R 5 計画 301,025 当初予算 決算額 R 6 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決済 301,025 当初予算 決済 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決算額 R 7 計画 301,025 当初予算 決済 301,025 当初予算 決済 301,025 当初予算 決済 301,025 当初予算 決済 301,025 計画 301,025 当初予算 決済 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画 301,025 計画	年度       主な活動実績       事業費計       財源体 国県支出金       地方債         R3       ・収集、搬入されたし尿及び浄化槽汚泥を、微生物処理を行った。 ・物処理や股分離装置等で適正に処理を行った。 ・施設運転管理業務を民間(西日本JKO)に委託。       R3計画 234,564 当初予算 234,564 当初予算 301,025 当初予算 301,025         R4       第額 233,116         R5       R5計画 301,025 当初予算 決算額         R6       R6計画 301,025 当初予算 決算額         R7       R7計画 301,025 当初予算 決算額         R7 計画 301,025 当初予算 決算額       R7計画 301,025 当初予算 決算額         R7 計画 301,025 当初予算 決算額       計画額 1,438,664 当初予算 535,589	本の集・版入されたし尿及び浄化槽汚泥を、微生物処理地食行った。   一般理過程で発生する脱水汚泥は発酵を後に袋詰める行い・施設運転管理業務を民間(西日本JKO)に委託。   一般理過程で発生する脱水汚泥は発酵を後に袋詰める行い・施設運転管理業務を民間(西日本JKO)に委託。   一般理過程で発生する脱水汚泥に発酵を後に袋詰める行い・施設運転管理業務を民間(西日本JKO)に委託。   一般理過程で発生する脱水汚泥に発酵を変素が   一般理過程で発生する脱水汚泥に発酵を変素が   一般理過程で発生する脱水汚泥に発酵を変素が   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理を行った。   一般理解を存むする   一般理を行った。   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理を行った。   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理を行った。   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理を行った。   一般理解を存むする   一般理を行った。   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を存むする   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する   一般理解を表する

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値					
С	1 —		□ 個別計画			実績値					
活					%	達成率					
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
果			総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
_		<u> </u>									

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	4点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	—— 点	11 点	—— 点	11点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5  推移していない ⇒ 推移した	— 点	/25点	—— 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

課題 施設や機器の老朽化が進んでいたため令和2年度までに大規模な改修をおこない、それ以外の修繕は更新 時期に合わせて行うこととしていた。また、簡易な修繕は運転時に確認されるため施設運転管理業務委 託の契約範囲内で行っている。 更新時期を向かえる、中央制御室電子機器配電盤や汚泥処理槽などは高額な更新費用が必要で、更新時 期が重なるため予算の確保が必要となる。 改善策 施設運転管理業務委託先の契約期間が3年であることから、現時点での長期計画は難しい。また、他社と の契約となった場合同様に更新工事に係る長期設計は難しい為、随意契約を行うか、契約期間を最低5年 に延長し長期の更新計画を設計する必要がある。

### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和2年度までに大規模な改修をおこない、それ以外の修繕は更新時期に合わせて行うこととしており、簡易な修繕は運転時に確認されるため施設運転管理業務委託の契約範囲内で行っている。 また、更新時期を向かえる中央制御室電子機器配電盤や汚泥処理槽などは高額な更新費用が必要で、更新時期が重なるため予算の確保が必要となることから今後の検討課

題である。 施設運転管理業務委託先の契約期間が3年であり、他社との契約となった場合に更新 工事に係る長期設計は難しい為、随意契約を行うか、契約期間を最低5年に延長し長 期の更新計画を設計する必要がある。

令和5年度の事業の方向性 I

135

3	¥番号	枝番	]	(令和 3 年度計画) 総合計画実施計画 (令和 3 年度決算) 事 務 事 業													画相	#	(兼	進	步令	管理	里)												(様式1	,	
	86003	1		( 4	和	3	年月	医流	夬 舅	Į)	:	事	₹.	务	事	Į.	業		評		西	ij	周	書	i	課局	名	Ī	商]	匚観光	課	係	名	剎	<b>圣済</b>	振興係	
事	業	雇用団·	体等助	」成事	<b>事業</b>					細	事業	雇	<b>運用</b>	労政	事業	É							実加	拖計画	事:	<b>*</b>	豊後大 崔	野地	地区:	労働者	福祉的	協議会	補助		終了 年度		•
	総合計	画体系	図No.→	( :	111 )							•																						•			
会計	一般	政	策	I	豊かれ	な生	活を	支え	えるし	ノご	とが	ある	まり	ò							個									令和						当初予算	1001
款	5	施	策	6 J	雇用環	境	の向」	Ŀ													別計	期間	間		年度	~		年月	度	豊後大 助金	野地区	. 労働者	1福祉	協議会	補	1	5
項	1	施策	展開	31	勧労者	福祉	止を店	1上	する												画																
目	1	後	胡基本	計画	ī 34	F	•		過	疎計	画		]	総合	戦略	š [		긔	ロナ充	当	名	期間	間		年度	~		年月	度								
決算		* 事業	- H 66	. nto	. d	P 486																	В	事業	ᄔᇡ	7 45	. <b>法</b> 值	# <b>5</b> 90									
						<b>C FIEL</b>			年					-	<b>⊢</b> +~	活動	. <del></del>	±					↖	<del>丁木:</del>			養計					財源	内訴	ļ.	()	単位:千円	ľ
		事業(				度																	争え	<b>卡</b> 莫司	匤	県	支出金	地	方債		その他	ļ.	一般財源	F			
豊後	大野地区									労福	働き	音福祉 二関す	上協。 -る	議会 活動	がヨ	E催』 ドラコ	又は ンテ	協す	賛す。 ア活動	る労働に	動者 対し		R	3 計画	ΞĪ.		13	35								13	3
者福	後大野地区労働者福祉協議会(以下「完 福祉協議会」という。)が労働者福祉 と図ることを目的に行う事業に要する 記して、補助金を交付する。					祉の[ ろ経す	白書	R3	7	予算	の新	囲	内で	補助	力金	を支	出	した。		•		当	初予算	軍		13	35								13	3	
						رحلت الا	_															決	算割	頁		13	5								13	3	
																							R	4 計画	回		13	5								1	3
									R4														当	初予算	Į		13	5								13	3
																							決	算額	Ą												
																							R	5 計画	ΞĪ		13	35								13	3
									R5														当;	初予算	軍												
<	令和3年	度の取	組内容	引(計	画)>																		決	算 額	Ą												
																						1	R	6 計画	ΞĪ.		13	35								13	3
		福祉協議会が主催又は協賛する気関する活動やボランティア活動にの範囲内で補助金を支出する。					- / j (		R6														当;	初予算	Į												
																							決	算 割	頁												
																					H	R	7 計画	<u> </u>		13	35								13	3	
									R7														当	初予算	Į												-
																							決	算 割	頁												
																						11	計	画割	頁		67	'5					Ť		$\dashv$	6	7
											F	₹3	~	R	7	合	計					当	初予算	1		27	'0								27	-	

	<ul><li>①ゴミ拾い活動、②ボウリング大会、③ミニバレー</li></ul>							***	R6	R7
	ボール大会、④ハンドメイド教室、⑤福祉研修会	総合戦略		□	目標値	5	5	5	5	5
労働者福祉活動の回数	①ゴミ拾い活動、②ボウリング大会、③ミニバレーボール大会、①ハンドメイド教室、⑤福祉研修会 以上5つの活動を年度内に実施する。 ※合和2年度はコロナ禍のため活動なし(支出なし) 令和3年度もコロナ禍であったが福祉研修会の み実施	□ 個別計画		I	実績値	1				
	)、令和3年度もコロナ禍であったが福祉研修会の み実施			%	達成率	20.0				
					目標値					
=					実績値					
				%	達成率					
	労働者福祉のためのスポーツ大会、研修	総合計画		ı	目標値	390	390	390	390	390
労働者福祉活動の参加者数	云、子首云寺の参加有数 ※合和2年度はコロナ禍のため活動なし(	□ 総合戦略		八	実績値	350				
	文出なし)、令和3年度もコロナ禍であっ たが福祉研修会を実施	□ 個別計画		%	達成率	89. 7				
		□ 総合計画			目標値					
=		□ 総合戦略			実績値					
		□ 個別計画		%	達成率					
	-	- 労働者福祉のためのスポーツ大会、研修会、学習会等の参加者数 ※令和2年度はコロナ禍のため活動なし (支出なし)、 令和3年度もコロナ禍であっ	一 総合戦略	☆合戦略	一 総合戦略	日標値   実績値   大働者福祉のためのスポーツ大会、研修会、学習会等の参加者数   一個別計画   日標値   実績値   1	日標値   実績値	日標値   実績値	日標値   実績値   実績値	日標値   実績値   実績値

E 評価対象外の理由 O評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		2 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		2 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		2 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	2 点	11点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 コロナ禍であったため、活動指標は満たされなかったが、福祉研修会への参加者数(成果 指標)は目標値に近い数値となっている。令和4年度は令和3年度よりも多くの活動指標を クリアし、労働者福祉の向上を図っていただきたい。 コロナ禍で活動が停滞しており評価が難しいため、今後の活動状況を分析して事 業の方向性を見極めることとする。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

決算額

135

-	事業番号	枝番	(令和:	3 年度1	计画	( ) ( )	合記	計画集	₹施言	十画:	書(兼	進	捗飠	<b></b>	₫)								(様式1)
	86003	2	(令和(	3 年度》	央 算	) 事	<b>.</b>	務	事	業	評	価	i	問		課局名	i	商工	[観光]	Į.	係名	経済	<b>脊振興係</b>
事	業	雇用団体等原	助成事業			細事業	雇用	労政事	業					実施	計画	<b>事業</b> 豊朋業	巴地域	シル	バー人ホ	オセン	ター補助	事終年	
会計		†画体系図№ 政 策	1	生活を支え	5 Z I	ブレボオ	んこせ	+_				_	Т					<b>—</b> 1 [	△和 2	午亩	主な歳と	山夕私	当初予算額
款	5	施策			こるし	~ C // 0	りつよ	9				個 別		19		年度 ~		-	豊肥地垣		バー人材も		12,000
項	1	施策展開			する							計画	-	-,					助金				12,000
	1		<b>               </b>			<b>非計画</b>	<b>V</b>	総合戦	略	7 3	ロナ充当	名				年度 ~		年度					
決算		ZWIE-	01	.	~_~	гигш		10 1 12			.,,,,,,,	L	7771					_					
		4 事業目的	・内容・実	<b>績</b>	ı _								_	В	事業計	十画額・注	<b>央算額</b>	等			財源内部	1	(単位:千円)
		事業の目的	りと内容		年度			主な	活動到	実績						事業發	對	国県	支出金		方債	その他	一般財源
<:	事業の目的	<b>勺&gt;</b> 曲 mm lub lab ×	ルバー人材・	h > . /2		年度末:	会員数	(421人	(うち	豊後大	野市297	人)	tor	R 3	3 計画	Ī 12	,000	<u> П</u> /К/	~==	-0,	7 (2	5, 399	6,601
<b>」</b> (り	( トーレンル	ハー人材で	ンター」と	いり。)	R3	で、請加 は212,1	負事業 166,22	ミの受注 26円。 京	件数は 比業延 <i>。</i>	:3, 789 人数は	)件、受注 :32, 905丿	E金額 し。	額	当初	刀予算	12	,000					5, 399	6,601
に行	う事業(	高年齢者就	に資するこ 業機会確保	事業や雇										決	算 額	+	,000					5, 399	6, 601
	発支援事  を交付す		る経費につい	いて、補										R4	1計画	Ī 12	,000					5, 399	6, 601
					R4									当衫	刀予算	12	, 000					5, 379	6, 621
														決	算 額	Į							
														R 5	5計画	Ī 12	, 000					5, 399	6, 601
					R5									当衫	刀予算	[							
<	令和3年	度の取組内	容(計画) >											決:	算 額	Į							
竹田を徴	市から均  1	等割及び高	齢者人口割の	の負担金人材セン										R 6	3計画	Ī 12	,000					5, 399	6, 601
タル	へ補助金	を支出する	てシルバー 。なお、補助 竹田市分含	助金の額	R6									当初	刀予算	Ε							
額を	国も補助	している。	, LI KIII II II II	0) CH										決	算 額	Į							
														R7	7 計画	Ī 12	, 000					5, 399	6, 601
					R7									当初	刀予算	Ε							
														決	算 額	Į							
														計	画額	60	, 000					26, 995	33, 005
							R3	~	₹7 倉	計				当初	刀予算	24	,000					10, 778	13, 222
														決	算 額	12	,000					5, 399	6, 601
	Ī	In the law												[	w.u.l	AM . D			1				
	1	評価指標	Ó	指标	宗10の	説明(算	出方法	<b>公</b> 寺)		合言	T画指標	R	2 美	領値.	単位	達成度		R3	R4	-	R5	R6	R7
c	1 受注件	: *\r		豊肥地区			センタ	アーが受	注し		総合戦略	各	3,8	220	件	目標値 実績値		3, 840 3, 789		860	3, 880	3, 90	3, 920
	- 文任日	* 奴		た請負事	業件数	<b></b>					個別計画	<b>■</b>	٥, ٥	529	%	達成率		98. 7					
活動											<b>₩</b> Δ₩₽	·		$\dashv$		目標値	+	JU. 1		_			
指標	2 _										総合戦略				-	実績値							
											個別計画	ÐĬ		ļ	%	達成率							
			,							V	総合計画	ĒĪ.		T	,	目標値		500	)	500	530	55	600
D	1 シルバ	バー人材セン	/ターの会	シルバー産齢者数	人材も	マンターに	こ登録	もしてい	る高		総合戦	各		458	<u></u>	実績値		42	1				
				1								-I		1	~ /	達成家	1	04 (	. 1			i	

		14 1001-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-									
			総合戦略		件	目標値	3, 840	3, 860	3, 880	3, 900	3, 920
С	1 受注件数	豊肥地区シルバー人材センターが受注し た請負事業件数	│	3, 829	Ė	実績値	3, 789				
活					%	達成率	98. 7				
動指標			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		I	目標値	500	500	530	550	600
D		シルバー人材センターに登録している高 齢者数	□ 総合戦略	458	<b>\</b>	実績値	421				
成		Hr H W	□ 個別計画		%	達成率	84. 2				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
$\equiv$		1.2.	•					(4	<b>1.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4</b>	+ C	-=7.7 =7.

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価)

評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点  $\begin{array}{cccc}
\hline
c & & & & \\
c & & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c & & \\
c &$ なっていない 1 → ∠ 優先度低い · 2 → 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 4 点 4 点  $\mathbb{E}$  優先度低い  $\rightarrow$  優先度高い  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$  できなかった  $\rightarrow$  できた  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 評 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 16 点 16 点 3点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 /25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 シルバー人材センターは、高齢者の能力の活用・生きがいづくりの場として必要 な組織であり、引き続き補助を行う必要がある。

豊肥地域の過疎高齢化や改正高年齢雇用安定法(事業主に対して65歳までの雇用確保と70歳までの就業確保の努力義務)施行の影響による会員数の減少(全国的にも減少傾向)や、会員の平均年齢の上昇があるなか、地域への上質で低廉な労働力の供給あるいは高齢者の生きがいの場の確保に貢献している。

### 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 農業委員会事務局 農地管理係 87001 1 (令和 3年度決算) 務 価 係名 事 業 細事業 農業委員会事業 実施計画事業 農業委員会事業 農業委員会事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 施 策 期間 農地利用最適化推進委員報酬 6 1 農業の振興 年度 ~ 年度 10,440 項 ⑤農地利用の最適化を推進する 1 施策展開 農業委員会委員報酬 5, 352 名 コロナ充当 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 24 P 過疎計画 総合戦略 期間 1,817 決算 94 大分県農業会議会費 707 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 -般財源 <事業の目的> 農業委員・農地利用最適化推進委員の報酬、 費用弁償等、農業委員会事業の事務管理費 権利移動:61件、転用:40件、利用権1 R 3 計画 20,707 16, 435 0.4件 R3 4, 272 当初予算 16, 435 20, 707 決 算 額 17, 490 3, 353 24 14, 113 R 4 計画 16, 435 20,707 4, 272 R4 当初予算 21, 101 16,714 4, 387 決 算 額 R 5 計画 20,707 4, 272 16, 435 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 農業委員会事業 農地法第3条許可 (審査及び許可) 農地法第4条許可 農地法第5条許可 R6計画 20,707 4, 272 16, 435 R6 当初予算 農地移動適正化あっせん(売買、貸借) 各種証明書の発行(買受適格証明、非農地証 明、耕作証明等) 決 算 額 R 7計画 20,707 4,272 16, 435 明、析1F記の守戸 農地利用の最適化(担い手への集積・集約化 ・耕作放棄地の発生防止・解消・新規参入の 2.3%) R7 当初予算 促進) 農業委員会だよりの発行(年2回) 市及び県へ要望書の提出 決 算 額 計画額 103, 535 21,360 82, 175 農業者団体との意見交換会

			八百人根但	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		□ 総合戦略			目標値	1				
農業者団体との意見交換会	意見交換会を開催する	□ 個別計画	1		実績値	1				
				%	達成率	100.0				
		□ 総合戦略			目標値	2				
農業委員会だよりの発行	年2回	□ 個別計画	2		実績値	2				
				%	達成率	100.0				
		□ 総合計画			目標値	12				
農業委員会総会の開催	農業委員会総会を12回開催する	□ 総合戦略	12		実績値	12				
		□ 個別計画		%	達成率	100.0				
		総合計画			目標値					
_		□ 総合戦略			実績値					
		□ 個別計画		%	達成率					
	農業委員会だよりの発行	農業委員会だよりの発行 年2回 農業委員会総会の開催 農業委員会総会を12回開催する	世 (世 ) 日   日   日   日   日   日   日   日   日   日	世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 ) 世 (世 )	個別計画   96	個別計画   96 達成率   1標値   実績値   96 達成率   12   1	個別計画   96 達成率   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   10	一個別計画   96 達成率   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   100.0   1	個別計画   96 達成率 100.0   目標値 2   実績値 2	個別計画   % 達成率 100.0   目標値 2   実績値 2

R3 ~ R7 合 計

当初予算

決 算 額

8,659

3, 353

33, 149

14, 113

24

41,808

17, 490

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

		評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長寺)
		計画項目/50の代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	- [	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		4 点	
B	Ŧ	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
l di		3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	4 点		4 点	
111	_	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	18 点	4点	20 点
		5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	/25点	4 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

主な支出は、農業委員・農地利用最適化推進委員の報酬、費用弁償である。 農地利用の最適化の推進のためには、農業委員と農地利用最適化推進委員が相互に連携し 、目標達成に向けてそれぞれの使命を十分果たし、農業委員会事務局と協力して取り組む

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

農業委員は農地法に基づく所有権移転、農地転用等の審査をしている。また、最適化推進委員は「今使われている農地を使えるうちに使える人に算段する」ことを主業務としている。両委員が相互に連携し「農地利用の最適化」の成果を上げるには必要な業務である。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 農業委員会事務局 農地管理係 87003 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 農業委員会事業 細事業 機構集積支援事業 実施計画事業 機構集積支援事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 1 農業の振興 期間 年度 消耗品費 494 6 年度 ~ 項 施策展開 ⑤農地利用の最適化を推進する 1 通信運搬費 78 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 24 P 過疎計画 総合戦略 決算 94 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 調査面積:6, 080ha 遊休面積:346. 2ha 解消面積:15. 7ha R 3 計画 572 (機構来報义後等来 利用状況調査(農地パトロール)により、市 内全域の農地の利用状況を調査し、遊休農地 の所有者に対して利用意向調査を実施する。 また、意向調査の結果により農地中間管理 構への通知及び公告・勧告等の手続きを行う R3 当初予算 572 572 決 算 額 425 421 R 4 計画 500 500 R4 当初予算 1,091 869 222 決 算 額 R 5 計画 500 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 事前調査説明会 7/15・7/27 利用状況調査 (農地ペトロール) 8/1~9/中旬 市内全域の農地の利用状況を調査 遊休農地の所有者に利用意向調査を実施 R6計画 500 500 R6 当初予算 決 算 額 記が 意向調査の結果により農地中間管理機構への 通知及び公告・勧告等の手続き実施 2/中旬 R 7計画 500 500 R7 当初予算 決 算 額 計画額 2,572 2,572 1,441 当初予算 1,663 R3 ~ R7 合 計 222 決 算 額 425 421

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値					
С	1 —		個別計画			実績値					
活					%	達成率					
1動指標			総合戦略			目標値					
標	2 =		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

(対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 評価対象外の理由 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ $corrison \Rightarrow corrison$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline retarrow &                                  $	3 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—— 点	9点	—— 点	11点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	— 点	∕25点	点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

農地利用最適化のため目標を設定し、目標達成に向けて取り組む。 成果目標(農地の集積・集約、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)+活動(日 数)目標を設定する。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

高齢化・後継者不足により遊休農地が増加している。利用状況調査を通して、 後は守る農地の境目を見極める必要がある。

### 令和5年度の事業の方向性

1, 443

603

																																									/# <del>*</del> - <b>*</b> - 1
耳	業番.	클	枝番		(	令和	3	4	- 唐	£ #	# 1	画	)	1	総合	<b>}</b> i	ĦĪ	画	実	拖	計	画	書	( }	ŧ	佳技	步管	拿耳	里)												(様式1)
!	91001		1		( •	令和	3	年	三度	Εž	夬:	箅	)	7	事		務		事		業	ŧ	評	F	偛	5	訓	Ħ	書	il.	果局名	,	農業	<b>Ě振興</b>	課		係名	名	農	文企	画係
事	業	農	政企画	事業	É							í	田事	業	J.	農業	<b></b> 後振	興地	也域	整個	備仮	進	事業	Ė			Ī	実力	施計画	事業	農業振	興地	地域	整備仮	進	事業				了度	なし
			1体系			37	)			_															7 .		Anha .	/	# 77 1	miz	-L- Hh 316 Ir	- ma									
会計	一般		政	策	I	豊カ	いなき	主記	ie:	支え	える	L		とが	ある	5ま	ち								╛╽	個	第4計画	4 次 虰	、豊後大	で野	市農業振	興		令和						븰	<b>á初予算額</b>
款	6	╛Ĺ	施	策	1	農業	の振	興																		別計	期間	1	R3 4	年度	~ R7	年	度	農業版 報酬	5興1	也吸塑	:佣促』	<b></b> 医肠器	義会委員		161
項	1		施策原	展開	4	持続	的か	つ:	安定	的	な	農業	経	営(	つ確	立										画								費用弁	貨						50
目	3		後期	基本	計画	<b>1</b> 2	23	Р	[		ď	疎	計i	画			総	合単	战略	[		コ	ロナ	充当		名	期間	1	ź	年度	~	年	度	農地情	青報う	データ	更新委	5託米	4		495
決算	95	95 A 事業目的・内容・実績																										_	古金型	Limi	額・決算	#65 <b>0</b> 6	-								
	************************************										白	E										_					ן ר	₹	<del>学术</del> 们	T			_			J	財源内	讨訳		(単	位:千円)
	事業の目的と内容									扂	Ŧ						主	な洞	5動	実績	漬								.  -	事業費計	亘	県	支出金	È	地方	債	- 7	その他	Τ.	一般財源	
<1	事業の 的に提	目的)	> )振雕	を図	<u>م</u> ح	上が	心。	I 7	あり	5	Г		農っ	業扱	興力	也均 密	整	備り	足進	協認	議会	き	7月 33㎡	· 1	2月	• 11	1	R	3計画	i	73	37									737
レ認	めらえ	しろせ	地域に	つい	7.	その	世世(	ķσ	整備	曲	R	3	筆	4, 4	38 m		用道	変	更	1筆	£486	om	、農	地区	州移	動9	Ш	当	初予算		73	37									737
を図	し必要	さなな	三、国	世資	源の	きまり合理	的な	:利	用に	_	ı		53	±88,	345	m.	)										Ш	決	算 額	į	60	3									603
奇与	するこ	٠ ٤ .									r																11	R	4計画	i	73	7									737
											R	4															Ш	当	初予算		70	16									706
											ı																Ш	決	算 額	į											
											H																11	R	5計画	i	73	37									737
											R	5															Ш	当	初予算	+											
<:	令和3	年度	の取糸	且内容	李(計	+画)	>				ı																Ш	決	算 額	i											
	業振興		整備	促進	計画	i の作	成及	び	変更	ī	H																-11	-	6計画	-	73	17									737
に関・農	する業 業振興	饕務。 具地域	整備	促進	協議	会の	開催	4			R	6															н		初予算	4											101
											"	٠															ш		算額	_										+	
											H																╢	-	7計画	-	73	7								+	737
											R	,															Н		初予算	_	13	) (								-	101
											<u>۱</u> ^	<b>'</b>															н			+											
											H																41		算額	_		_			╀					+	
1											1																	計	画 額	l	3, 68	35								1	3,685

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			── 総合戦略		口	目標値	4	4	4	4	4
С	1 農業振興地域整備促進協議 会開催	協議会委員数11名 7月・10月・12月・3月に開催	□ 個別計画	3	Ш	実績値	3				
活		2330 2330 2330			%	達成率	75. 0				
動指			□ 総合戦略		口	目標値	4	4	4	4	4
標	2 協議会委員による現地調査	委員数2名 7月・10月・12月・3月に実施	□ 個別計画	2	ш	実績値	3				
					%	達成率	75. 0				
			総合計画		la o	目標値	6,884	6, 884	6, 884	6, 884	6, 884
D	1 農用地区域の維持	農地確保の観点から、市内の農用地区域 内農用地の面積維持を目指す。	□ 総合戦略	6, 884	ha	実績値	6, 884				
成		1302/132E+2 m/Q/#213 E H 1H 7 6	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成 果 指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値				·	
			□ 個別計画		%	達成率					
F	証価計算列の理由 0 証価型	4						(+	+色以声类/-	· C ~ 1 ## #	

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	19 点	4点	19点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 農業振興地域整備促進計画の作成及び変更は市が行う事業であるため必要である。計画の変更(除外)には現地調査を行い、代替用地の有無や、計画の変更(除外)には現地調査を行い、代替用地の有無や、計画の変更に伴い農用地区域内における総合的な利用に支障を及ぼす恐れがないか等の確認を行い、安易な農振農用地からの除外を防いでいる。今後も、農業の健全な発展を図るために農業振興地域整備促進計画の作成及び変更により、優良農地の確保・保全に努めたい。

市の業務として、今後も、農業の健全な発展を図るために農業振興地域整備促進計画の作成及び変更により、優良農地の確保・保全に努める。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

当初予算

決 算 額

1,443

603

4	事業番号	枝番	ı	(令	和(	3 <b>£</b>	手度	医計	- 画	)	総1	合計	一画	実が	計画	画書	(兼	進	步管	會理	E)									(様式1)
	91002	1	(	(令	和(	3 £	手 月	<b>E</b> 決	算	)	事	矛	务	事	業		Ŧ	価	訓		書	課月	<b>高名</b>	農	業振興	課	係名	ž	農政企	企画係
事	業	農政企画	事業							細事業	ŧ	農林	制度資	全金金金	賞還利	子補絹	合事業			実が	吉計画	事業	農林制	度資金	:償還利	子補約	合事業		終了 年度	R3
会計款項目決算	一般 6 1 3 95	計画体系図 政施施策 施後期 A 事業の	策 策 襲開 基本記	I 提 4 持 中	豊かな と業の技 続的な 23	長興 P	安定	三的な	c農	ごとだ 業経営		立.	総合戦		□ □	コロナ	-充当	個別計画名	第画期間期間		R3	年度 ~ 年度 ~	<ul><li>農業振り</li><li>R7</li><li>決算</li><li>業費計</li></ul>	年度 年度	農林制	度資金	度主なは	· 之補給金 可訳	(4	当初予算額
認定対し		が借りた。 金の一部							R3	期末	残高		201, 5	0F	9	市費3	33円)			当礼	3 計画 切予算 算 額	Ĭ		国県 1 1	· <b>支出金</b> 1 1 1	地	方債	₹0 	)他	一般財源
				R4											当神決	4 計画 切予算 算 額	Į.													
期首	令和3年度の取組内容(計画) > 「残高 2,201,517円							R5											当神決	5計画 切予算 算 額 6計画	Į									
	残高 額 666	円(県費	0円 333円	• #	ī費333	3円)			R6											当神決	切予算 算 額 7 計画	Į								
									R7											当神	切予算 額	Į								
												R3	~	R7	合	計				当礼	四 部 37予算 算 額	Ĭ		1 1 1	1 1 1					
		評価指	標名					指標	値の	説明	(算出	方法	等)		-	各計画	指標	R 2	2 実糸	責値	単位			R3	F	R4	R5		R6	R7
С	1 農業組	経営基盤	強化資	金件	寺別					トる償				って、		総	合戦略		11, 5	504	円	目標 実績		66	_					
活	'利子	助成額				県	と市	iが 2	分の	01ず	つ助	成す	る。				別計画	Đị.	11, 8	JU4	%	達成		100.	_					
動指	2 _															_	合戦略					目標実績								
		-															別計画	Đ			%	達成								

				10別計1	믜							
						%	達成率					
	典类奴労甘納強ル次及杜叫			総合計画		件	目標値	1				
D	1 農業経営基盤強化資金特別 利子助成件数	農業経営の安定と経営体の育成を図る。		総合戦闘	各 2	- ' '	実績値	1				
成				個別計i	<u> </u>	%	達成率	100.0				
果 指				総合計画	<u> </u>		目標値					
	2 —			総合戦闘	\$		実績値					
				個別計画	Ī	%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	·  象								(対象外事	業は <b>F~I</b> 椎	表記入 可
			- = T / TT \					-2	欠評価 (係	(長)	二次評価	(課長等)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	:評価)					評価	点 評価	西点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっている	か		なっていない	⇒		る	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか	(同じ成果指標設定事業内での優先度)			1 → 2 - 優先度低い	⇒	優先度高	い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進め	つることができたか			1 → 2 - できなかった	⇒	できた		3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計	画どおり推移しているか		推	1 → 2 - 移していない	⇒	推移した	=	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計	・画どおり推移しているか			1 → 2 - 移していない		→ 4 → 推移した		3 点	∕25点	3 点	/25,
	G 【担当係長の意見・記						長職等の所見				えた課長職等	
資す	業経営基盤強化資金の償還金の利益を表していてきた。 ることができた。 なお、本市において当該事業は	利子助成を行うことで、借受者の農業経営 令和3年度をもって終了)	の安気		償還金の利 た。	子助原	成を行うこ	とで、借受	者の農業	経営の安	定化に資す	ることがで
	I 令和 5 年	F度の事業の方向性			C. 終	了						
			-	248-								

186, 200

74, 480

37, 240

4	事業	番号	;	支番		(	令和	3	年	度	計	画	)	総	合	計画	実友	拖計	画	書(	兼	進打	步乍	雪耳	里)									(1	<b></b>
	910	003		1		(	令和	3	年	度	決	算	)	事		務	事	ヺ	ŧ	評	ſ	Ħ	訓	Ħ	書	課局	名	農	業振興	課	係	名	農區	t企i	画係
																							-				-					-	終	7	
事	-	業	農政	企画	事業	É						i	細事業	Ė	農業	<b>美団体</b>	等支	援事	業					実加	施計画等	事業 農	と 林業 抜	長興公	社運営	補助	事業		年		なし
	. 1	総合					9 )	)															Arte 4	٧/La H	申公 上田	17 十 曲	茶仁田	⇒I							
会計	-	一般	Ĭ,		策	I	豊カ	など	生活	をす	<b></b> ええ・	るし	ごと	があ	るま	ち					_	個	画		豊後大野		<b>亲</b> 恢興	計			度 主な		尓	当	切予算額
款		6	ħ	<u>t</u>	策	1	農業	の振	興												_	別計	期間	1	R3 #	度 ~	R7	年度	農林業	接興公	:社運営	補助金			37, 240
項		1	方	ī策用	開	(1	)多様;	な担	!V\∃	手の	確保	• 7	育成								_	画名													
目		3		後期	基本	計	画 2	:3	Р			過疎	計画	[		総合	戦略			ロナ充	当	П	期間	1	年	度 ~		年度							
決算	[	95	Δ 3	<b>医数</b> 目	的巨	. d	容・	宝都																R	事業計	- 画類 -	沙笛戲	车							
				業の				~**				年					主な活	. ## cb	4生				٦٢	$\overline{}$	<del></del>		費計				財源区	<b></b> 为訳		(単位	: 千円)
				未の	HБ	ے ا	内谷					度						1	: 祚县				_			争未	:負計	国県	支出金	地	方債	その	)他	_	般財源
農地	也の	保全や	ラデ										運営	補助	金の	)交付	i.						Ш	R	3計画	3	37, 240								37, 240
農者	音の	育成の運営を	り場 と補I	である 助する	5豊 5.	後プ	大野市	農材	木業	振興	Į	R3											Ш	当	初予算	3	37, 240								37, 240
		X 1 0	- 1111	,,,,	200						-												Ш	決	算 額	3	37, 240								37, 240
																							Ш	R	4計画	3	37, 240								37, 240
											-	R4											Ш	当:	初予算	3	37, 240								37, 240
																							Ш	決	算 額										
																							71	R	5計画	3	37, 240								37, 240
											-	R5											Ш	当:	初予算										
		和3年									-												Ш	決	算 額										
担り	手の	不増い成れ	遊伊	木農地	也や	荒屋	を農地 とかわ	の増り対	自大、 そくす	息音	j :												11	R	6計画	3	37, 240								37, 240
の廃	をした	つけ、	農地	世の代表	大全	正才・打	とこれ	補助	j • ‡	水が担い		R6											Ш	当	初予算										
公社	り削り	及を定支援を	公 行	_ <del>]</del>	民化	夫朋	I9 句.	辰州	下来1	灰興														決	算 額										
											r												11	R	7 計画	3	37, 240								37, 240
												D7											H	ъ.	如子質		•					1			

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		□ 総合戦略		ы	目標値	2	2	2	2	2
農林業振興公社の運営支援	公社運営を支援するために、年2回、推 進会議を実施する。		1	ī	実績値	1				
				%	達成率	50.0				
		総合戦略			目標値					
_		□ 個別計画			実績値					
				%	達成率					
alle II alle landers as III and I alle I alle I alle	小社運営補助会を交付して完定的が運営	□ 総合計画		千	目標値	37, 240	37, 240	37, 240	37, 240	37, 240
農林業振興公社の安定連宮 の支援	を支援することにより、受託事業を継続	□ 総合戦略	37, 240	円	実績値	37, 240				
	させ、巾内の農業の維持に寄与する。	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
		□ 総合計画			目標値					
_		□ 総合戦略			実績値					
		□ 個別計画		%	達成率					
世に	長林業振興公社の毎宮又抜 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	世 芸	松社運営を支援するために、年2回、推進会議を実施する。 □ 個別計画 □ 総合戦略 □ 個別計画 □ 総合戦略 □ 個別計画 □ 総合戦略 □ 協力計画 □ 総合戦略 □ は大業振興公社の安定運営 □ 公社運営補助金を交付して安定的な運営 ○ を支援することにより、受託事業を継続 □ 総合戦略 □ 個別計画 □ 総合計画 □ 総合戦略	進会議を実施する。 □ 個別計画 □ 総合戦略 □ 個別計画 □ 総合戦略 □ 個別計画 □ 総合計画 □ 総合計画 □ 総合計画 □ 総合戦略 □ 次接 □ 次接 □ 次表 □ 総合戦略 □ は □ 総合戦略 □ は □ 総合戦略 □ は □ 総合計画 □ 総合計画 □ 総合計画 □ 総合計画	## # # # # # # # # # # # # # # # # # #	是林業振興公社の運営支援	公社運営を支援するために、年2回、推 進会議を実施する。	と本業振興公社の運営支援       公社運営を支援するために、年2回、推進会議を実施する。       「個別計画」       1       1       1       実績値 1 96       達成率 50.0       50.0       日標値 実績値 96       実績値 96       達成率 50.0       日標値 実績値 96       達成率 50.0       日標値 96       達成率 50.0       2       日標値 96       達成率 50.0       2       日標値 96       達成率 50.0       2       日標値 96       達成率 50.0       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,240       37,	と本業振興公社の運営支援       公社運営を支援するために、年2回、推進会議を実施する。         個別計画   1   1	と本業振興公社の運営支援       公社運営を支援するために、年2回、推進会議を実施する。         個別計画   1

R3 ~ R7 合 計

| | 評価対象外の理由 | 0 評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市農林業振興公社は、農作業の受託事業やインキュベーションファーム事業等による担い手の育成事業に取り組み、本市農業振興の一翼を担っている。本市の農業の発展と農地の保全の観点から、今後も継続した支援が必要であると考える。課題として、市公社の自主財源である農作業受託収入の減少が危惧されている。特に水稲防除の受託事業について、近年ではドローンによる防除の実施へ移行する集落が増加し、市公社への受託が激減している。水稲防除に代わる新たな収益事業を開拓していく必要がある ドローンの普及によりへリ防除の減少等、自主財源の確保対策について指導していく。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

186, 200

74,480

37, 240

なし

当初予算額

354 133 124

農政企画係

事	業番号	ŧ	支番	(令和	<b>D</b> 3	年	度言	十画	)	総合	计信台	画実	施計區	曹(	兼進	捗恉	理)								
9	1005		1	(令和	3	年	度涉	東	)	事	務	事	業	評	価	調	1	F	課局:	名	農	業振興調	果	係名	島
事	業	農政	企画事	業				į	細事ӭ	<b>業</b>	農政企	画事務	事業				実施計	画事	業農	政企	画事務	務事業			
	総合	計画	本系図No	→ ( 37	)																				
会計	一般	政	策	I 豊	かな生	上活る	を支え	るし	ごと	がある	まち					第4	欠豊後	大野	市農	業振興	計	令和 3	4 年度	主な歳出	名称
款	6	挤	策	1 農業	美の振	興									另言	期間	R3	年度	~	R7	年度	水土里	青報シス	テム利用	負担金
項	1	挤	策展開	<ul><li>④持続</li></ul>	的か	つ安	定的	な農業	<b>栓</b> 経営	め確	₫.				直							燃料費			
目	3		後期基本	本計画	23	Р		過疎	計画		総	合戦略		コロナ充	<b>当</b> │ <sup>2</sup>	期間		年度	~		年度	修繕料			
油質	95																					386 ±45 EI 8	#4.		

A 事業目的・内容・実績			B 事業計	画額・決算額	[等	HT.		35
事業の目的と内容	年	主な活動実績		事業費計		財源内	n訳	(単位:千円)
	度	土な石助夫根		尹未其司	国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 農政企画業務の円滑な推進		農業振興課が所管する公用車2台の管理及び地 理情報システムの運用等。	R 3計画	696				696
	R3		当初予算	696				696
			決 算 額	555				555
			R 4計画	696				696
	R4		当初予算	857				857
			決 算 額					
			R 5計画	696				696
	R5		当初予算					
<令和3年度の取組内容(計画)>			決 算 額					
農業振興課が所管する公用車2台の管理及び地 理情報システムの運用等。			R 6計画	696				696
	R6		当初予算					
			決 算 額					
			R 7 計画	696				696
	R7		当初予算					
			決 算 額					
			計画額	3, 480				3, 480
		R3 ~ R7 合 計	当初予算	1,553				1, 553
			決 算 額	555				555

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		水土里情報センター推進協議会の開催す	総合戦略		Į.	目標値	6	4	4	4	4
С	1 技術習得のための研修会参加	る研修会に参加し、GISの操作技術を	□ 個別計画	4	人	実績値	6				
活	<i>~</i>	習得する。			%	達成率	100.0				
動指		運行前の点検以外に定期的(四半期毎)	総合戦略		□	目標値	4	4	4	4	4
標	2 公用車の定期的な点検	な点検を行うことにより、重大な故障等	個別計画	4	쁘	実績値	4				
		の発生を未然に防ぐ。			%	達成率	100.0				
		農業振興課内(畜産・再生協議会職員を 除く)での技術修得者の割合(農政企画	総合計画		%	目標値	86. 7	80	80	80	80
D	1 水土里情報システムの操作 技術修得者数	除く)での技術修得者の割合(農政企画 係7人・担い手支援係4人・農業振興係4	□ 総合戦略	60	%	実績値	86. 7				
成	2000 14 12 20	人)	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画		千	目標値	100	100	100	100	100
標	2 公用車修繕料の抑制	修繕料の抑制	□ 総合戦略	95	冉	実績値	36				
			□ 個別計画		%	達成率	36. 0				
=											

 E
 評価対象外の理由
 (対象外事業はF~1欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	23 点	5点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

I 令和 5 年度の事業の方向性

事業番号 枝番 (令和3年度	計画	) 約	1合纪	画実	施計画	書(	兼進	步官	寶理)							(様式1)
91006 1 (令和 3 年度	決 算	)事	¥ #	<b>务</b> 事	業	評	価	訓	書	課局名	農	業振興護	R 1	系名	農政	女企画係
事 業 農政企画事業		細事業	農地	中間管理	事業				実施計画	事業 機構集和	責協力	金交付金	全事業		終年	
総合計画体系図No.→ ( 44 )			•					Anhe a	y. 曲 // 1.10		131				•	
会計 一般 政 策 I 豊かな生活を支	えるし	ごとがま	あるまで	5				画		野市農業振興			年度 主		呂称	当初予算額
<ul><li>款 6</li><li>施 策 1 農業の振興</li></ul>	- (He ) . :	-					計	期間	R3 *	<sup>車度</sup> ~ R7	年度	機構集積	貨協力金交付	寸金		9, 00
項 1 施策展開 ⑥農業生産基盤を整	,			40 A White		· + ·	画名	#0.0								
目   3     決算   95       後期基本計画   24   P     □     日   3     日   3     日   3     日   3     日   3     日   4     日   3     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4     日   4 </td <td>過度</td> <td>計画</td> <td>•</td> <td>総合戦略</td> <td></td> <td>コロナ充当</td> <td></td> <td>期間</td> <td>1 1</td> <td>F度 ~</td> <td>年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	過度	計画	•	総合戦略		コロナ充当		期間	1 1	F度 ~	年度					
ウェス									B 事業計	画額・決算額	領等					
事業の目的と内容	年度			主な流	5動実績					事業費計		+11.4		内訳		(単位:千円
<事業の目的>	及	機構集和	協力金	4,821,	900円のな	ē付		41	R 3計画	0.000	<b>国</b> 界	支出金 9,000	地方債	7	の他	一般財源
担い手への農地の集積・集約化を加速させるため、機構を通じた農地の集積・集約化等を	R3	<内訳>・地域集	、 種協力	1金				Ш	当初予算	-,		9,000				
促進する。	IΛΟ	12地区 ・経営車	₹ 2,78 議換協力	31a 4,26 金交付事	8, 400円 業			Ш	決 算 額	-,		4, 822				
		7戸	369a	553, 500F	]			-11	及 并 版 R 4計画	-,		9,000				
	R4							Ш	当初予算	-,		7, 500				
								Ш	決 算 額	-		1,000				
								11	R 5計画	9,000		9,000		+		
	R5							Ш	当初予算			,				
<令和3年度の取組内容(計画)>								Ш	決 算 額							
・地域集積協力金交付事業 地域内の農地の一定割合を機構に貸し付け								11	R 6計画	8,000		8,000				
た地域への協力金	R6							Ш	当初予算							
・経営転換協力金交付事業								Ш	決 算 額							
機構に農地を貸し付けることにより、経営 転換またはリタイアした農業者へのへの協力								Ш	R 7 計画	8,000		8,000				
金(R 5年度廃止)	R7							Ш	当初予算							
								Ш	決 算 額							
									計画額	43, 000		43,000				
			R3	~ R	7 合 i	Ħ			当初予算	16, 500		16, 500				
								ш	決 算 額	4, 822	1	4,822				

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			── 総合戦略			目標値	4	4	4	4	4
С	1 説明会開催による事業の推 進	農地中間管理事業の推進を目的とした説 明会の実施	□ 個別計画	4	口	実績値	7				
活	_				%	達成率	175.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		── ─────個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		ha	目標値	35	35	35	35	35
D	1 担い手への農地集積	農地中間管理事業を利用した新規集積面 積	□ 総合戦略	74	IIa	実績値	40				
成		\$	□ 個別計画		%	達成率	114. 3				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率		·			
E	証価対象外の理由 O 証価対	· · ·	<u> </u>					(+	t 免从事業 (-	FE~ I###	=≘a a ar )

(対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 評価対象外の理由 | 0評価対象 一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計

 $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点  $\begin{array}{cccc}
\hline
c v & 5 & 5 \\
\hline
c v & 5 & 5 \\
\hline
c & 2 & 3 & 4 & 5
\end{array}$ なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 4 点 4 点 評 優先度高い 優先度低い 2 図 2  $\rightarrow$  図 2  $\rightarrow$  図 2  $\rightarrow$  3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 できなかった  $\Rightarrow$  できた 1  $\rightarrow$  2  $\rightarrow$  3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  53. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 4 点 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 5点 21 点 21 点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 /25点 推移した

G	【担当係長の意見	・課題・改善策等】	※今後の事業の進め方等	
			の減少やリタイヤを機に	
た差切する個人	<ul><li>対して協力会なる</li></ul>	かけオステレで 農	抽由問答理機構を通じた	却いモへの

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

を希望する個人に対して協力金を交付することで、農地中間管理機構を通じた担い手 農地集積が図られた。 また、将来の地域内の農地について住民同士が話し合うきっかけとなった。

担い手への農地集積が図られ、将来の地域内の農地について住民同士が話し合うきっかけとなった。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

240

240

1,200

480

42

5, 404

5, 404

27,020

10,861

5, 280

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 農業振興課 農政企画係 91006 2 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 細事業 農地中間管理事業 実施計画事業 事業事務委託事業 農政企画事業 なし 総合計画体系図No.→ 44 第4次豊後大野市農業振興計 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 画 別計 款 施 策 期間 会計年度任用職員報酬 3, 532 6 1 農業の振興 年度 ~ 年度 R3 R7 社会保険料(会計年度任用職員分 項 1 施策展開 ⑥農業生産基盤を整備する 668 名 3 コロナ充当 期間 期末手当(会計年度任用職員分) 目 後期基本計画 24 P 過疎計画 ~ 総合戦略 年度 ~ 438 決算 95 時間外・休日勤務手当 348 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 農地中間管理事業の円滑な事業推進を図る。 ・事業推進員2名を雇用 ・地区説明会の開催 7 ・R3年度集積面積 R 3 計画 5,644 240 7地区 R3 当初予算 240 5,644 5, 404 80.5ha (うち新規39.9ha) 決 算 額 5, 322 5, 280 42 R 4 計画 240 5, 644 5, 404 R4 当初予算 5,697 5, 457 240 決 算 額 R 5 計画 5,644 5, 404 240 R5 当初予算

決 算 額

R6計画

当初予算 決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

5,644

5,644

28, 220

11,341

5, 322

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
	TV ME A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERMIT A PERM		総合戦略		□	目標値	4	4	4	4	4
С	1 説明会開催による事業の推 進	農地中間管理事業の推進を目的とした説明会の実施	□ 個別計画	4	Ш	実績値	7				
活		772			%	達成率	175.0				
活動指			総合戦略			目標値					
標	2 —		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画	i	la o	目標値	35	35	35	35	35
D	1 担い手への農地集積	農地中間管理事業を利用した新規集積面積	□ 総合戦略	74	ha	実績値	40				
成		104	□ 個別計画		%	達成率	114. 3				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価(係長)		二次評価(課長等)	
			評価点合計	評価点	評価点合計	
F	┃1 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内窓となっているか	→ 2 → 3 → 4 → 5 ていない ⇒ なっている 4点		4 点		
評	2 事業の優先度は高いと思うか(同じ成里指煙設定事業内での優先度)	→ 2 → 3 → 4 → 5 :度低い ⇒ 優先度高い 4点		4 点		
価	3 事業計画どおりに事業を進めることができたか	→ 2 → 3 → 4 → 5 なかった ⇒ できた 5点		5 点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか <u>1.</u> 推移し	→ 2 → 3 → 4 → 5 .ていない ⇒ 推移した 5点	23 点	5 点	23 点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか <u>1.</u> 推移し	→ 2 → 3 → 4 → 5 .ていない ⇒ 推移した 5点	∕25点	5 点	∕25点	

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R6

R7

説明会の開催により、地元関係者の理解が深まった。その結果、目標値を上回る農地集

<令和3年度の取組内容(計画)>

事業推進員2名を雇用地区説明会の開催

説明会の開催により、地元関係者の理解が除まった。その結果、目標値を上回る農地集積が図られた。 また、大分県が進める「ねぎ算出額100億円プロジェクト」により、本市では50haの白 ねぎ用農地の確保を県から求められていた。結果として目標の50haを大幅に上回る80haの 農地が集まり、契約等の事務負担もそれに伴い増大したが、事業推進員と担当職員及び関 係機関との連携により期限内に賃貸借契約を結ぶことができた。

大分県が進める「ねぎ算出額100億円プロジェクト」により、目標の50haを大幅に上回る80haの農地が集まり、契約等の事務負担もそれに伴い増大したが、事業推進員と担当職員及び関係機関との連携により期限内に賃貸借契約を結ぶことができた。特定の作物振興を図る場合のモデル的取り組みとなった。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和5年度の事業の方向性

事	業番号		枝番		(	令和	3	年	度	計	画	)	総	合言	+画	実施	計
Ć	92001		1		( -	令和	3	年	度	決	算	)	事	7	务	事	業
事	業	農	業振興	車業							ń	細事	業	営農	普及	サポー	トオ
	総合	計i	画体系圖	⊠No.→	(	10 )											
会計	一般		政	策	I	豊か	な生	上活	を支	ええ	るし	ごと	があ	るま	ち		
款	6		施	策	1	農業の	つ振	興								•	

事	業番号	枝番	(令和	3 年度	計画	( ) 彩	総合言	十画実	施計	画書	(兼	進捗	管	理)									(様式1)
ć	92001	1	(令和	3 年度	决 算	)	事 矛	<b>务</b> 事	業	ŧ 1	評値	<b>5</b>	調	書	課局	名	農	業振興調	果	係名	3	農業技	辰興係
事	業農	業振興事	業			細事業	営農	普及サポ	ペート支	援事	業		実	施計画	i事業 営	農普及	ナポ	ート支払	爰事業	450		終了 年度	なし
<b>△=</b> L		画体系図No		、4.江ナ.士、	3 7 I	>° 1. 32 €	セフナ	+										A 40 1	<i>f</i> =#	= -+·-	5 UL 47	<b>1</b> /-	₩ <del>↓</del> n マ ⁄∽ ¢r
会計	一般	政策	_	生活を支	てるし	~ C 2703 6	めるよ	b				個別	0.88							主な前		孙	当初予算額
款 項	6	施策	75 47.11		₩1.	Ł A 立H	± 1831					計 —	朋間		年度 ~		年度	音及又包	友(助ノ)	員謝礼金	-		270
	3	施策展開	<b>*計画</b> 23	の向上をめ				総合戦略		70-	ナ充当	画名	988		年度		在中						
目 決算	96	仮州奉4	N計画 23	Р	迴以	東計画	~	総百製哈		ДЦ,	ガヨ	, A	期間		年度 ~		年度						
<i>/</i> \ <i>T</i>		事業目的	・内容・実	積	1	1							Ę	事業	計画額·	決算額	等						
		事業の目的	りと内容		年度			主な流	舌動実績	責					事業	費計	国埠	支出金	tth :	財源内 方債	-	の他	#位:千円) 一般財源
< 4	業の目的	> 10 7 7	シー・ケニュレクケリッ	レッ兴曲		営農普	及協力	員の配置	(9名)	を行	jった。		F	3 計画	1	270		<u>ДШш</u>	-0.	/J IX		7 15	270
普及	指導体制の	の確立を図	「市行政等に るとともに	、食農教	R3	内訳は、里い	ピーマ も3名。	ン3名、ト	日ねぎ1	【名、	かんし』	: 2名	<u> </u>	4初予算	Į	270							270
育の	推進に向り	ナた取り組	lみを支援す	る。									l ⊢	き 算 割		60							60
					Н								╌	3.4計画	_	270							270
					R4								⊩	····· á初予算		270							270
													┖┣━	2 算 刻	-								
					Н								F	8.5計画	ī	270							270
					R5								l ⊢	 ≦初予算	-	2.0							210
<=	合和3年度	の取組内!	容(計画) >										Н.	き算割	-								
営農	普及協力員	員 (9名) 酉	記置により、	園芸重点	┢								⊢	8.6計画	-	270							270
里い	も、かんし	しょ、白ね	ある夏秋ピ ぎについて	ーマン、 相談指導	R6								l ⊩	4初予算	_	2.0							2.0
	の強化を図 : ピーマン		白ねぎ(1	名)、か									H	等 第 割									
んし	よ (2名)	、里いも	(3名)		H								ı⊢	<u>、 テー II</u> R フ 計画		270							270
					R7								┡	· 初予算	-	210							210
													١Ь.	等 第 割									
													╌	十画割	_	1, 350							1, 350
							R3	~ R	7 合	計			Ľ	· 一 · · á初予算		540							540
								• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	. н	μ,			l ⊢	き算割		60							60
		評価指標	名	指	標値σ	説明(算	算出方法	去等)		各計画	11 指標	R 2 §	<b>実績</b> 値	単位	達成原		R3	R		R5		R6	R7
	, 世典並	Bネットロ	ーク協議	<b>党農並及</b>	ネット	トワーク	協議会	: 乃で浦紋	se [		総合戦略			回	目標値			2	2		2	2	2
С	1 会及び	連絡会議の	開催	議の開催	<del>小</del> を各1	回として	でカウン	ント		1	固別計画				実績値	_		1					
活動				1					-					%	達成率		50.	0			_		
指	2 _										総合戦略				目標(								
標	2 —										固別計画			%	達成率						-		
				相相 /图	担) ~	るの批准	⊕±1.	なかり	<u>+</u> н Г		総合計画			70	目標値		-	27	27		27	27	27
D	1 営農普	及協力員の	)指導、相	現場(圃談対応、	ラリ ( 栽培も	支術講習	、電話会の開	寺による 催等各1			総合戦略			□	実績値			.1	21			- 41	- 21
成	'談対応位	什奴		としてカ 回)	ワント	<b>、</b> (目標作	値:9名	5×3回=	27   L		固別計画			%	達成率		40.	-					
果									17		総合計画				目標値	_							
指標	2 —										総合戦略				実績値						$\exists$		
										_ `	固別計画			%	達成革	K							

**評価対象外の理由** 0 評価対象 Ε (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	   評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの税点(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	F 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	平 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
個	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restaurch & \Rightarrow & rest. \end{array}$	2点		2 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2点	12 点	2 点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2 点	/25点	2 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

常農普及協力は令和元年度から3年間として委嘱しており、令和3年度が最終年度であった。この間、新型コロナウイルス感染症が発生したことで、従前行っていた圃場に出向いての営農指導等ができなくなるなど、活動が大幅に制限された。このような中で、ビーマンについては、IPM教培にかかる営農指導の徹底を行うなど、協力員の工夫により活動がされたこともあり、今後は、他の品目においてもコロナ禍における指導体制の工夫を検討し、推進を図っていきたい。

たい。 また、白ねぎについては、ねぎ100億円プロジェクト推進事業により技術アドバイザー1名が配置されており、営 農普及協力員と連携し、栽培講習会等共同で行うこととする。

ピーマンにおけるIPM栽培にかかる営農指導の徹底や、白ねぎにおける技術アドバイザーの配置が成果である。今後も、きめの細かいサポートが可能となるよう、手法や頻度等について工夫を図る。

## 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

B. 見直しの上で継続-3 効率化/RPA等

なし

農業振興係

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 農業振興課 92002 1 務 業 価 事 業 農業振興事業 細事業 安全・安心農業推進事業 実施計画事業 安全・安心農業推進事業 総合計画体系図No.→( 策 Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政

策 1 農業の振興

施策展開 ②収益力の向上をめざした生産振興

款 6

項

1

3

第4	欠農業	振興計画	E I		令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
期間	R3	年度 ~	R7	年度	講師謝礼金	40
					消耗品費	10
期間		年度 ~		年度	通信運搬費	20

係名

後期基本計画 23 P □ 過疎計画 目 総合戦略 年度 通信運搬費 決算 96 認定認証取得支援補助金 100 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 安全・安心な農業を推進することにより、 産者と消費者の相互理解を深め、本市の地性を生かした持続型農業の確立を図る。 土壌分析の実施 2団体 土壌分析講習会の開催 1回 R 3 計画 191 191 本市の地域 R3 当初予算 191 191 決 算 額 36 36 R 4 計画 191 191 R4 当初予算 180 180 決 算 額 R 5 計画 191 191 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 協議会の開催土壌分析講習会の開催 R6計画 191 191 ·GAP認定取得等支援 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 191 191 R7 当初予算 決 算 額 計画額 955 955 R3 ~ R7 合 計 当初予算 371 371 決 算 額 36 36

コロナ充当

個

別計

画 名

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		□	目標値	1	1	1	1	1
С	1 土壌分析講習会の開催		□ 個別計画		II.	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		件	目標値	1	1	1	1	1
D	1 GAP認定取得件数		□ 総合戦略		1	実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
果指標			総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
		·	•	•						•	

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

# 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 □ 1担当球攻切忌兄・誘題・以書束寺」 ※今後の事業の進め方等 安全・安心な農業を推進することを目的として、有機農業の実践や縁肥施用による土壌改良に取り組み、土壌分析に取り組むことができた。豊後大野市有機農業権議会、朝地町平井川保全会のメンバーが取り組んでいるが、会員の高齢化等に伴い、本事業に取組む農業者が減少している、安全・安心農業の取り組みは今後も重要と考えており、前述の2回体を中心として、有機農業のネットワークを拡大する必要がある。 国は「みどりの食料システム戦略」の中で、持続型農業の推進を掲げており、国庫事業の活用を検討しながら、持続可能な安全・安心農業の推進を図っていく。 G A P認定取得支援についても、予算計上を行い、市公式HP上で周知を図っているが、新規就農者やJA部会等にも幅広く周知を行っていく。

国は「みどりの食料システム戦略」の中で、持続型農業の推進を掲げているが、未だ充分な財政支援とは言えない状況である。しかし、化学肥料が高騰する現在においては、有機農業への転換のチャンスでもある。 情報収集をしながら、より有効な施策に取り組む。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

事業番号		枝番
92003		1
事業	農	業振興

導	事業番号	枝番		(令和	134	年度	計画	Ī) i	総合	計画	実別	包計证	画書	・(兼	進	捗曾	理)										(様式 1
	92003	1		(令和	3 4	年度 注	決算	<b>r</b> ) :	事	務	事	業	: 1	評(	西	調	1	F	課局名	ļ.	農業	振興課	į	係名	i	農業	振興係
事	業	農業振り	興事業					細事業	環	境保全	型農	業直接	支払	交付金雪	<b>事業</b>	515	実施計	画	事業 環境係	R全型	!農業	直接支	払交	で付金事	業	終了 年度	
会計		計画体系政	図No.→ 策		) いわせる	エた古,	ラスト	しごとが	こちこ	せた				Ī		Arter a	w/ Hh M	ls b=	· @ 31 - Z		7 2	> <b>€</b> ⊓ 2	左氏	き 主な歳	出力	7 批	当初予算
款	6	施	策	1 農業			~ <i>~</i> ∪	J _ C 1/J	· (W) ~	ょり					個別	第4期間			興計画 F度 ~ R7	年月	1 -	1741 S 通信運搬		え 工 仏 励	ιшτ	ባ የነ <u>ነ</u>	17017异
項	1	施策		-			ギニ	た生産技	后酮						計画	791101	R3		F度 ~ R7	77.0	4 H			業直接支	t/. 75/	什会	1, 1
目	3			計画 2				陳計画	V	松合	戦略		70-	ナ充当	名	期間		白	F度 <b>~</b>	年月	-	R死体土	"主版"	未旦汝人	14天	1.1.215	1, 1
決算	96	127	加坐不	1124 2	.0 1		7521	外们四		WO L	1 +2,40		-н.	, ,,,,		MIHI					]  -						
775	00	A 事業	目的	· 内容 ·	実績			1									B 事第	附	画額・決算	額等	<u> </u>			DINE -	-n	<u></u>	
		事業(	り目的	と内容			年度			3	主な活	動実績	責						事業費計	+	旧古	出金	₩1	財源内 方債		の他	単位:千円 一般財派
<1	事業の目	的>	V/ 144 V			alle alle	~		<b>尾施者</b>	: 豊後	(大野	市有機	農業	推進協調	養会	┪┟	R 3 計	-画	1, 20	_	木又	890	٠٣.	/J IQ	Č	07 IE	31 31
		果の高い 交付金の					R3		) 、 阜	明地町	平井川	保全会	会 (5)	戸)		╌	当初予		1, 20			890					3
							110		፲積:	緑肥施	₫用7.4	46ha、	有機	農業4.4	ha	I⊩	決算	-	99			745					2
								+								┩┢	ハ チ R 4計		1, 20	+		140					1, 2
							R4									11	当初予		1, 07			804					2
							1/4									11	決算		1,01	' '		004					
																-11-	<u>ハ チ</u> R 5 計		1 9/	10							1, 20
							R5									11	当初予		1, 20	J2							1, 2
\	会和 2々	F度の取	組由家	(計画)			ΝJ									- 1 ⊩	ヨヤップ 決 算										
		:豊後大				議会										-11-			1.00	20							1.0
、朝	地町平	井川保全	会				DC									11	R 6計		1, 20	)2							1, 20
対象	面積:	禄肥施用	9. 53h	a、有機	農業4.	39ha	R6									11	当初予										
																⊣⊦	決 算 										
																╌	R 7 計		1, 20	02							1, 20
							R7									11	当初予										
																	決 算										
																11	計画		6, 01	10		890					5, 1
									F	₹3 ~	R7	合	計			- 1 ⊩	当初予		2, 27		1	, 694					58
																ال	決算	額	99	96		745					2
	ı					15.	I = 1 + 1						<del></del>	- 15 1-					Nt. P. d	-							
		評価	指標名			指	宗旭(	の説明(	昇出ス	7 法寺)	1			<b>画指標</b>	H	∠美績	値単位	1/	達成度	R3		R4	_	R5	0	R6	R7
c	1 声类	実施主体	- L M	力詳	豊	後大野	市有	機農業者	推進協	議会	(1回)			総合戦略			2 回	1	目標値 実績値		7		2		2	2	2
	- 尹未	天旭土召	x = 07	加武	朝	地町平	井川	保全会	(1回)			Į.	<u> </u>	固別計画			<sup>2</sup> %		達成率	25	50. 0						
活動					+							+					<del> </del>		目標値	36	0.0				-		
指標	2 _													総合戦略				F	実績値								
13K													_ 1	固別計画			%	,	達成率						-		
	<u> </u>				+							T		総合計画			i	$\dagger$	目標値	]	13. 9		14		14	14	
D	1 緑肥	施用、有	機農	業の実施		肥施用 計13.92		53ha、≉	「機農	業 4.	39ha			総合戦略		17.	. 9 ha	a	実績値		1.86				1		
成						птэ. 92	∠11a)					[	_ _ 1	固別計画			%	1	達成率	8	35. 3				T		
果指														総合計画				Ţ	目標値								
標	2 —													総合戦略					実績値								
													_ 1	固別計画			%		達成率								

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1~9点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & & &$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & re$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点	21 点	5 点	21 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点	∕25点	4 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

国の「みどりの食料システム戦略」の事業活用も視野にいれながら、今後の推進 方針を検討する。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

耳	業番号	17	枝番	(	(令和	1 3	年	度言	十画	i)	彩	合名	计通	実別	包計区	事	:(身	<b>走</b> 進	捗飠	<b>雪</b> 理)									(様式1)
	92008		1	(	令和	3	年	度》	<b>史</b> 算	[ )	朞	<b>.</b>	務	事	業	ī	抨	価	割	書	課月	曷名	農	業振興詞	果	係名		農業振	長興係
事	業	農業	<b>業振興</b>	事業						細導	事業	流通	i • 貝	反売戦	略推進	事業				実施計画	事業	流通・月	販売単	<b>战略推進</b>	事業			終了 年度	なし
会計		7	i体系図 政	‰.→ 策	( 12 I 豊:	) かな生	活を	を支え	:al	ご	とがる	あるま	ち					個	第一	4 次農業協	長興計	画		令和 3	年度	主な歳	出名称	: ½	当初予算額
款	6		施	策	1 農業	美の振!	興											別	期間		年度 ~		年度	普通旅費	B.				146
項	1		施策展	開	②収益	対のに	句上	をめ	ざし	た生	:産振	興						計画						消耗品勢	ŧ				100
目	3		後期基	基本言	一画	23 F			過四	東計	画	~	総合	計戦略		コロナ	⊦充当	名	期間	1	年度 ~		年度	ホームイ	ページ等位	作成委託	託料		495
決算	96	] _																					-	ホームイ	ページ保*	守管理	委託料		264
			事業目						年											B 事業計			顕寺		B	排原内	訳	(単	・
		틕	業の目	目的と	∶内容				度					主な活	動実績	ŧ					事	業費計	国県	支出支	地方		その	他	一般財源
(1) 社争	<b>  業の </b>   収益力	<b>3的</b> )	<b>・</b> をめさ	じした	生産2	から流	诵.	眅		•	ホー 264ヨ	ムペー 二田	・ジ伊	录守管:	理委託	(里)	丸君H	P)		R 3計画	Ī	1,020	)						1,020
売、	消費ま	でを	捉えた	:販売	戦略を	を構築	する	うこ	R3			ムペー	・ジキ	\$作成	委託料					当初予算	Į.	1,020	)						1,020
促進	や本市	ΉP	の見道	しを	行うも	<b>も</b> の。	. D 70	K)L			490	[7]								決算額	Į	815	5						815
																				R 4計画	Ī	525	5						525
									R4											当初予算	Ī	524	Į.						524
																				決算額	Į								
																				R 5計画	Ī	525	5						525
									R5											当初予算	Ī								
	令和3																			決算額	Į								
查	ップセ																			R 6計画	Ī	525	5						525
	ームペ ームペ					皀丸く.	んHF	9)	R6											当初予算	Ī								
→里	丸くん 菜畑					とし、	「大	分												決算額	Į								
	ごおお	の」	のHPと	して	見直し	~を行	う													R 7計画	Ī	525	5						525
									R7											当初予算	Ī								
																				決算額	Į								
																				計画額	Į	3, 120	)						3, 120
												R3	~	<sub>R7</sub>	合	計				当初予算	Ī	1,544	1						1, 544
																				決 算 額	Į	815	5						815

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
С	1 トップセールスによる販売 促進		☑ 個別計画		ū	実績値					
活					%	達成率					
動指			総合戦略		口	目標値	3	3	3	3	3
標	2 市HPの見直し(協議、検 討)	業者との打合せ等の回数	✓ 個別計画	1	ū	実績値	3				
	647				%	達成率	100.0				
			✓ 総合計画		億	目標値	82	82	82	82	82
D	1 年間農業生産目標額 82億円		✓ 総合戦略		円	実績値	62				
成			✔ 個別計画		%	達成率	75. 6				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	20 点	4 点	20 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

G 【担当係長の恵見・課題・吹書業等】 ※今後の事業の進め方等 販売促進におけるトップセールスの実施については、令和3年度においてもコロナ禍により実施することができなかったが、2年ぶりに大分大同青果市場において、高糖度かんしょ「甘太くん」の販売促進活動を行うことができた。経済活動も含めて制限緩和がされてきており、コロナ感染拡大状況を見ながら、販売促進活動を再開していくこととする。また、消費者等へのRソールとしてホームページがあるが、市公式Ψと別に開設していた「里丸君Ψ」については、「大分の野業畑ぶんごおおのΨ」として見直し、令和4年度から更新したところである。今後は、内容の充実を図るため、本市特産品を活用した加工品の紹介や農業生産活動の紹介などを計画的に行っていく。

トップセールスの再開と、新規ホームページの充実を図りながら、大分の野菜畑豊後大野をPRしていく。

### 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

3	<b>事業番号</b>	枝番	ŧ	( 4	和:	3 :	年月	ŧi	十画	ī )	) i	総合	言	计图	可多	尾龙	施言	ΗĪ	画	書	(	兼:	焦	步作	<b>亨理</b> )											(	様式1)
	93001	1		(令	和:	3 :	年月	ξž	央 第	[ ]	) :	事	1	務		事		業		ř	Ŧ	ſī	5	i	書		課局	3名	j	農業	<b>Ě振興</b>	課	係	名	担い	手艺	支援係
事	業	担い手	支援事	業						細	事業	ł	担い	・手 フ	アク	シ	ョン	/サ	ポ	— I	、事	業			実施計画	事	業	担い手	育成	戈総	合支援	協議会	À補助 <sup>‡</sup>	事業	終年	了 度	R3
A -1		計画体系		<u> </u>	9 )		·		1			2.1. 10	7									_								_	A ==			15.1. 5	-,	T	
会計		政	策		豊かな			文ス	こるし	<i>ر</i> د	. とか	ある	ま	ち									ᄱ		l次農業振									歳出名		当	初予算額
款	6	施	策		農業の	,	•		*		b												計		間 R3 和3年度島						担い手	-育成総	合支援	協議会社	用助金		1, 03
項	1	2021	展開	0,	様な技		1	)確(		1 7 /								_	_				画名	成	計画												
目	3	後	胡基本	計画	23	Р		<u></u>	過	陳訂	一画	L		総合	合戦	略	L			ロナ	Ω≝	ä	_	期間	間 R3	年	度 ~	R3	年	度							
決算		A 事業	目的	内容	字・実	綾																			B 事業	<b>a</b> ti	画額	・決算	額等	•							
		事業の	の目的	と内	容				年						主力	な活	5動3	実紹	曹								事	業費計					財源			-	立:千円)
	事業の目	的〉							度		旦い月	r 杏 c	.t; 424	<u>. Д</u> .	午径	力	送之	/車	类	<del>141:34</del>	£/★·	生1111	油	4,					_	国県.	支出金	地	方債	そ	の他	-	-般財源
農業	の担いる。		かにこ	支援-	するこ	۶ ځ	を目白	内		1	L、担 L. 材 <i>0</i>	且レバヨ	手ア	'クミ	ショ	ン	サオ	ドー	1	活重	力、	新た	な		R3計画	- 1		1,03									1, 03
C 9	⊘°								R3		CM 0	ノ目に	汉•	惟汀	木石	勁	(CX	19	ත,	又12	支金	115	/=		当初予算	-		1,03	+								1, 03
										-														_	決算を	-		20	4			-					20
									5.4																R 4計画	- 1											
									R4																当初予算	-			-								
										-														_	決 算 名	-						-					
									חר																R 5計画	-											
	A 10 0 h		40 <del></del>	· /= I =					R5																当初予算	_											
	<b>令和3年</b> 担い手ア									-														-	決算額	-											
	農業複	式簿記母	F修会		111 297				ъ.																R6計画	-											
■親	たな人材	材の育成	え・確り	<b>永活動</b>	边				R6																当初予算	_											
	新規就規	ェアへの	参加							-															決算を				_								
	農業経常	就農計画	作成打	計算	旨導				n-																R 7 計画	_			-								
	様な担い企業参			力					R7																当初予算	-			-								
■人	・農地	プランの	推進											_			_							4	決算を	• •			+							_	
■遊	休農地	の活用低	進	官怙"																					計画名			1, 03									1, 03
1 .	辰地们	<b>TI (八八)</b> 前	正正マノラ	マル世				- 1	ı				R3	~	~	R7	7 4	合	計						当初予算	幫		1,03	7					1			1,03

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		口	目標値	15	15	15	15	15
С	1 研修会開催	『農業複式簿記研修会 12回 パソコン農業簿記研修会 3回"	□ 個別計画	15	Ш	実績値	15				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略		名	目標値	170	170	170	170	170
標	2 ″就農相談	『就農相談数 50名 計画等作成指導数 120名"	□ 個別計画	192	10	実績値					
					%	達成率					
			総合計画		名	目標値	10	10	10	10	10
D	1 参加者数	"農業複式簿記研修会 6名   パソコン農業簿記研修会 4名"	□ 総合戦略	10	和	実績値					
成		2 DONNIGHENT TO	□ 個別計画		%	達成率					
果指		″新規就農者数 21経営体	□ 総合計画		名	目標値	120	120	120	120	120
標	2 "新規就農者数	認定者数 103経営体 参入企業数 2経営体	□ 総合戦略	139	Ą	実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	 対象	<u>'</u>					(\$	対象外事業は	<b>F~Ⅰ欄</b> 未	記入 可)

R3 ~ R7 合 計

決 算 額

1,037

204

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 証価占 証価占合計

			пт шили		D 1 1mm 7//	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

→ L記当球式の息見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 合和2年度に実施された事務事業総点検の結果、令和3年度をもって協議会を廃止することとなった。 令和4年度からは、豊後大野市担い手育成支援事業費補助金を創設し各種活動をサポートする。 G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 組織は廃止となったが、市民にとって必要な施策は引き続き予算化し、各種活動のサポートを推進する。

1,037

1,037

204

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ E. 廃 止

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 農業振興課 担い手支援係 93002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 担い手支援事業 細事業 担い手団体補助事業 実施計画事業 認定農業者連絡協議会補助事業 R7 総合計画体系図No.→ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 第4次農業振興計画 別計 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 款 策 1 農業の振興 年度 認定農業者連絡協議会補助金 340 6 項 1 施策展開 ①多様な担い手の確保・育成 画 名 3 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 23 P 過疎計画 総合戦略 決算 97 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 豊後大野市認定農業者連絡協議会の活動費の 一部を補助することにより、認定農業者相互 の親睦と融和を図り、情報交換や研修などを 通じ、会員個々の技術と生活の安定に資する ■ふるさとまつり コロナにより中止 ■研修会の開催 清川支部のみ開催 他支部はコロナにより中止 ■おおいた認定農業者組織ネットワーク研修会へ の参加 コロナによりオンラインにより研修受講 R 3 計画 340 340 R3 当初予算 340 340 決 算 額 319 319 R 4計画 340 340 R4 当初予算 340 340 決 算 額 R 5 計画 340 340 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ″■ふるさとまつり(ジャンボかぼちゃコンテ R6計画 340 340 へ下) ■研修会の開催 ■おおいた認定農業者組織ネットワーク研修 会への参加" 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 340 340 R7 当初予算 決 算 額

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	7	7	7	7	7
С	1 研修会の開催	各支部研修 7回	個別計画		ī	実績値	1				
活					%	達成率	14. 3				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		Þ	目標値	220	220	220	220	220
D	1 会員数の確保		□ 総合戦略	194	名	実績値	180				
成			□ 個別計画		%	達成率	81.8				
果指			☑ 総合計画		経	目標値	370	370	370	370	370
標	2 認定農業者数		□ 総合戦略	362	経営体	実績値	356				
			✔ 個別計画		%	達成率	96. 2				

R3 ~ R7 合 計

E 評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	2 点	14 点	2 点	14点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 世後大野市農業の担い手である認定新規就農者が、自らの経営に資する研修や視察を行う 組織として更なる充実強化を図っていかなければならない。 今年度はコロナにより活動がほぼ出来ていない。 加入していない認定農業者が存在しており、会員確保の取組みが課題である。また、後継者確保の意識の醸成と取組みを進めていかなければならない。

I 令和5年度の事業の方向性

**♪** A. 現:

A. 現状のまま継続

計画額

当初予算

決 算 額

1,700

680

319

1,700

680

319

導	業番号	枝番		(令	和	3	年	度	H i	画	)	総				起放	包言	一画	書	( }	ŧ進	捗旬	音:	理)										(1	様式 1)
	93002	2		(令	和	3	年	度	决:	算	)	事		務		事	;	業	ř	F	価	i	周	書	課	局名		農業	振興	課	係	名	担い	手支	接係
事	<b>業</b> 担	い手支	援事	業						糸	田事業	AIIF	担い	手	団体	補」	助事	業					実	施計画	事業	新農	業者	協議会	会補助	事業			終年		R7
A =1		画体系図				. //.	77 3	· -	> ~	,	1 :	) V J-	7.1								7 —							— I	A T=	0 =	1	AB-11-4	7.74	112.4	La 2 65 d.
会計款	<u>一般</u> 6	<u>政</u> 施	策		豊かな			ビ文.	てる		£ 27.	かめ	るま	; b							個別			欠農業排	長興協 年度 ~			1 1	-		隻 主な 会補助		5 称	==1	初予算額
項	1	施策風		_	業の様な			の稲	:保	· 首	F FT.										計画		ĦJ	R3	牛皮 …	R	.7 -	十茂	利反木	:13 mm	(云州功)	ZIV			190
目	3	後期			23		_				計画		<b>v</b>	総	合戦	略		] :	コロナ	充当	1 2		間		年度 ~	_	4	年度							
決算	97											l										1	_		. — .			_							
_		事業目				積			左	E													B	1集事 				<b>等</b> ⊢			財源	内訳		(単位	立:千円)
		事業の	目的	と内容	<b>≅</b>				扂	ŧ							動爭								事	業費	計	国県3	支出金	地	方債	7	·の他	Ε	-般財源
豊後	事業の目的 大野市新	農業者									農業来に	青年向け	:・翁 ト農業	ff規	就農 術・	者 経	・女 営管	性是理知	と業者 コ識等	Y等/	ぶ、将 習得す		R	3計画	Ī		190								190
<ul><li>女</li></ul>	すること 性農業者	等が、暑	い来り アスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティス	こ向じ	農業	技行	術・	経	R	3	るた ■経 ■先	めの	)各種	重研	修会	: か	開催	した	-				⊢	4初予算			190							L	190
営管施す	理知識等ることを	を習得っ 目的とっ	ナる; ナる。	こめの	各種	研	修を	:実	_		■先	進地	祖祭	喜研	修	71	ロナ	によ	:り中	业		_	Ľ	算額	_		26							<u> </u>	26
									_														┡	4計画	-		190								190
									R	4													⊢	新子算 計算 額			190								190
									H													-	Ľ	5 异 砾	_		190								190
									R	5													⊢	· 可 而 區 · 初 予 算	-		190								
<:	令和3年度	その取組 かんしゅう しゅうかい しょうかん しょうかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんしん しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅう	内容	(計画	<u>a</u> )>					-													┡	等 額											=
″■糸	E営研修会 進地視察	の開催																					R	8 6計画	Ī		190							$\vdash$	190
<b>=</b> /L	<b>严护</b> 顶示	91115							R	6													<b></b>	4初予算	Ε										-
																							決	等 額	Į										
																							R	マ 計画	Ī		190								190
									R	7													┡	4初予算	-									<u></u>	
									L														H	算額										L	
																		_					<u> </u>	上画 額	-		950								950
													R3	3 .	~	R/	2	ì	Ť				⊢	4初予算			380							_	380
									L														决	等 額	Į		26								26
_		評価指	標名			<u> </u>		指	標値	<u>[</u> の	说明	(算	出方	法等	手)		4	各	計画	指標	R	2 実	績値	単位	達月目標			R3	+	R4	RS		R6	+	R7
						<b> </b> ,-		_											総	合戦	略		1	回	日 校 実 終			1	1	1		1		1	1
С	1 経骨研	修全のF				37	2 1 1	PI																											
C 活	1 経営研	修会の	荆催			7	= 1 [	旦										Ш	個	別計	画		-	%	達凡			100.0	+					+	

	評価指標名	指標値の説明(昇出万法寺)	各計画指標	R 2 実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	Кb	R/
			総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
С	1 経営研修会の開催	年1回	個別計画	1	1	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
標	2 先進地視察研修の実施	年1回	個別計画		ш	実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		名	目標値	50	50	50	50	50
D	1 会員数の確保		□ 総合戦略	52	和	実績値	52				
成			□ 個別計画		%	達成率	104.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値			·	·	
			□ 個別計画		%	達成率					
$\equiv$				•		•			•	•	

 E
 評価対象外の理由
 (対象外事業はF~1欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	2 点	14 点	2点	14点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

I 令和5年度の事業の方向性

♪ A. 現状のまま継続

事業番号	枝番		(令	和 3	年	度	計画	ī)	総合	計画	実が	色計画	事(	兼進	捗	管理)								(	様式 1 )
93002	3		(令	和 3	年	度	決り	I)	事	務	事	業	評	価	Ī	周書	課	局名	農	業振興調	果	係名	担	い手才	支援係
事業	担い手支	泛援事	業					細事業	担担	い手団	体補具	助事業				実施計画	画事業	法人連絡	各協議	会補助事	事業			終了 年度	R7
1 1	画体系		`	)										<b>—</b> —										T	
会計 一般	政	策				を支	える	しごとだ	がある	まち					!   ' '	4次農業				令和 3			出名称	当	初予算額
款 6	施		7. 4.	業の振	., .			1. 5						別 一 計	-	間 R3	年度 1	~ R7	年度	法人連絡	各協議会	補助金			25
項 1	施策原		-	様な担		手の商								.,, 色											
目 3	後期	基本語	計画	23	Р		過	陳計画		総合	戦略		コロナ充	当 <u></u>	期	間	年度 -	~	年度						
決算 97	4 事業	目的・	内容	・実績	ŧ											B 事業	計画名	・決算額	領等						
	事業の	日的人	ト内ダ	3			年			⇒	か活	動実績	i					業費計			ļ	財源内	訳		位:千円
<事業の目的	•	пнл		•			度		W = 1 V			30 / 15	•					· A A III	国県	支出金	地方	債	その他		-般財源
豊後大野市集	落営農							研修		の開催 察研修		ロナに	より中山	となっ	,	R3計ī		250							25
の一部を補助 の相互の情報	交換や	研修な	さど自	己研鎖	費を:	通じ	R3	た。補助	金につ	いては	会の網	桑越額:	が、補助	つ金額を	:	当初予算	· .	250							25
、集落営農法 ことを目的と	大の経ってる。	営の多	定的	な発展	長を	図る		上回	ったた	め今年	度はご	支給し	ていない	, 。	_	決算									
																R 4計ī		250							25
							R4									当初予算	算	250							25
															_	決算	額								
																R5計ī	画	250							25
							R5									当初予算									
<令和3年			(計画	i) >											_	決算	額								
"■研修会・村 ■先進地視察	研修															R6計ī	画	250							25
■ふるさとま	つり参	加"					R6									当初予算	算								
																決算	額								
																R7計ī	画	250							25
							R7									当初予算	算								
																決算	額								
															7	計画額	額	1, 250							1, 25
									R	23 ~	R7	合	計			当初予算	算	500							50
																>+ Mr =			1						

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	10	10	10	10	10
С	1 研修会・検討会の開催	研修会・検討会 年10回	□ 個別計画	2	Ш	実績値	3				
活					%	達成率	30.0				
動指			│ │ 総合戦略		回	目標値	1	1	1	1	1
標	2 先進地視察研修	年1回	□ 個別計画		ū	実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		法	目標値	33	33	33	33	33
D	1 会員数の維持		□ 総合戦略	32	人	実績値	32				
成			□ 個別計画		%	達成率	97.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

(対象外事業はF~I欄未記入 可) 評価対象外の理由 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/5つの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \red{0.05cm}  &                                  $	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 #我! ていない ⇒ #我! た	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 集落営農法人相互の情報交換や研修などを通じ、経営の安定的な発展を図ることを目的としており必要な組織。 今年度はコロナにより研修等の取組みが出来ていない。 全ての集落営農法人が加入しているわけでなく、会員数の確保に取組む必要がある。 また、高齢化する中で広域連携や経営統合など課題は山積している。 コロナの状況を考慮しながら、新規会員の確保に努め、高齢化や広域統合等の各 種課題に取り組む。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

	事業番号 93003	枝番   1		3 年度 i		_	総合計画男 事 務 <sup>3</sup>	<b>萨</b>				周周	書	課局名	農業	<b>美振興</b> 詞	果	係名	担い	( <b>様式 1</b> ) 手支援係
事	<b>* *</b> 1	担い手支援	事業			細事業	担い手育成	・確保	事業			実旅	計画	事業 新時代補助事		農業低:	コスト	化対策事	業 終了 年原	
A =1			.→ ( 5 )	. n. w + 1	. 7 1	-01 10	+ ~ + +									^ T= 0			1. 2. 76	v += = #**
会計				生活を支え	とるし	ことか	めるより				III			長興計画				主な歳と	<b>上名孙</b> 、卜化対策	当初予算額
款	6		1 農業の		<i>t</i> =	<b>∠</b>				<del></del> ∤	計 —	削 ]	R3	<sup>年度</sup> ~ R7	年度	事業補助	助金	20,10124	1 10/3/11	2, 25
項	1		引 ①多様な							<del></del>	画名 4									
月 決算	3 97	<b>俊</b> 期基	本計画 23	P	道均	計画	総合戦	格	コロナチ	C 🗎	期	削		年度 ~	年度					
八升		事業目	内・内容・実	綾								В	事業計	画額・決算	額等					
		事業の目	的と内容		年度		主な	活動実	績					事業費討		+1114	116-	財源内部		単位:千円)
<;	事業の目的	ሳ>			及	採択申	請に至らず事	業未実施	布			D (	3 計画	i 0.0		支出金	地人	方債	その他	一般財源
水田	農業経営	体の規模 ことを目	広大と低コス 的とする。	ト化、高	R3	21020	1111-11-11	/(/////////////////////////////////////	_							1, 125				1, 12
1/4.1111			., .		Nο							_	可予算	· ·	00	1, 125				1, 12
					_						_	_	算 額 4 計画							
					R4									<u> </u>						
					Ν4								可予算 算 額	-						
					_						$\dashv$	<u> </u>	チ 節 5計画	1						
					R5							<u> </u>	の予算							
	全和3年1	まの取組点	]容(計画) >		ΝJ								算額							
	導入1経		14 (可四//		_						-		チ 亞 6計画							
					R6							<u> </u>	刃予算							
					11.0							_	算額							
											$\dashv$	-	<u> </u>		+					
					R7								切予算							
												_	算額							
					┢								画額		50	1, 125				1, 12
							R3 ∼ ∣	R7 合	計			当礼	刀予算			1, 125				1, 12
												決	算 額	i						
		評価指標	名	指标	票値の	説明()	算出方法等)		各計画排	旨標	R 2 実	績値	単位	達成度	R3	R	4	R5	R6	R7
									□ 総合	<b>合戦略</b>			台	目標値		1	1	]	Į.	1
С	1 機械導	入		1台					個別	別計画		L		実績値						
活動													%	達成率						-
	2 _								□ 総合	合戦略			-	目標値		-				+
指									□ 個別	別計画		ŀ	%	実績値						
指	_								□ 総合	画信台			70	目標値	1	)	10	10	) 1	0 10
指									_	↑11.口			ha	実績値	1		10	- 1	, 1	0 1
指		i積の拡大		概ね10hal	ИF				1 #67											
指標 PD		<b>通</b> の拡大		概ね10hal	以上				_	別計画		ŀ	%	達成率						
指標DD成果		i積の拡大		概ね10hal	以上			_	□ 個別				%							
指標 <b>D</b> 成果指		i積の拡大		概ね10hal	以上					別計画		-	%	達成率						
指標 <b>D</b> 成果指	1 経営面	i積の拡大		概ね10hal	以上					別計画 3計画			%	達成率目標値						
指標 <b>D</b> 成果指	1 経営面	前積の拡大 象外の理6	Ⅰ Ο評価茨		以上					別計画 計画 計画		-		達成率 目標値 実績値			(対	<b> </b>	は <b>F~I標</b>	未記入 可)
指標 D 成果指標	1 経営面		a ┃ 0評価対	象					□ 個別 □ 総合 □ 総合	別計画 計画 計画		-		達成率 目標値 実績値		次評価				
指標 D 成果指標	1 経営面		3 ○評価交	象		<b>1</b> /5つ	の視点(1~5		□ 個別 □ 総合 □ 総合	別計画 計画 計画				達成率 目標値 実績値		次評価	(係長		は <b>F~I欄</b> 二次評価 評価点	

 $x_0$  なっていない  $\Rightarrow$  なっている  $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$   $x_0$   $\Rightarrow$  2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3 点 3 点 評 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 1点 1点 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 1点 1点 7点 7点 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 1点 /25点 1点 /25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
規模拡大計画が策定できず申請に至らなかった。 予算化の段階で規模等の把握が必要。	予算化の段階で規模等を充分に把握しながら事業を推進する。

I 令和5年度の事業の方向性

**○** C.終 了

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 担い手支援係 2 (令和 3 年度決算) 事 課局名 農業振興課 93003 務 業 価 係名 事 業 担い手支援事業 細事業 担い手育成・確保事業 実施計画事業 農業次世代人材投資事業補助事業 総合計画体系図No.→( 策 Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 当初予算額 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 第4次農業振興計画 別計 策 1 農業の振興 農業次世代人材投資事業補助金 款 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 年度 31,500 6 項 施策展開 ①多様な担い手の確保・育成 1 画 名 目 3 後期基本計画 23 P □ 過疎計画 • 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 決算 97 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額 決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る ことを目的とする。 次世代を担う青年の就農意欲の喚起と、就農 直後の経営確立を支援することを目的とし、 26組29名に資金を交付した。 R 3計画 31,500 31,500 R3 31,500 当初予算 31,500 決 算 額 28, 704 28, 704 R 4計画 25,000 25,000 R4 当初予算 36, 750 36, 750 決 算 額 R 5計画 25,000 25,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 交付予定者32名 R6計画 25,000 25,000 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 25,000 25,000 R7 当初予算 決 算 額 計画額 131,500 131,500 当初予算 68, 250 R3 ~ R7 合 計 68, 250 決 算 額 28,70428,704

_			47 = 1 = 7 = 7 = 7 =		334 1.1	·+	DO.	D.4	D.F.	D.C.	
_	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R 2 実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦	略	組	目標値	5	2		2	2 2
С	1 青年等就農計画作成指導	1組2名	個別計	画		実績値	4				
活					%	達成率	80.0				
動 指			□ 総合戦	略		目標値					
標	2 _		固別計	画		実績値					
					%	達成率					
		次世代人材投資資金の交付対象者及び交付が終了した者の営農継続数 営農継続	総合計 総合計	画	名	目標値	75	79	8	3 8	7 91
D	1 営農継続者数		□ 総合戦			実績値	78				
成 果			□ 個別計	画	%	達成率	104. 0				
指			□ 総合計	画		目標値					
標	2 —		□ 総合戦	略		実績値					
			□ 個別計	画	%	達成率					
Е	評価対象外の理由 0評価対	<b>才象</b>						(5	対象外事業	は <b>F~I欄</b>	未記入 可)
E	評価対象外の理由 0 評価対		=v./æ.\					文評価 (係)		は <b>F~I楣</b> 二次評価	
<u>E</u>	評価対象外の理由 0評価交	才象 評価項目/5つの視点(1~5点で	評価)				評価	v評価 (係)			(課長等)
F	Онт пид			1 → 2 − なっていない			評価 5	v評価 (係)	長)	二次評価	(課長等)
F	1. 市民満足(市民アンケート)	評価項目/5つの視点(1~5点で の向上が期待できる事業内容となっているが		なっていない 1 → 2 -	⇒ → 3 ·	なっている → 4 → 5	評価 5 る 5	マ評価 (係) 点 評価 5 点	長)	二次評価評価点	
	1. 市民満足(市民アンケート) 2. 事業の優先度は高いと思うが	評価項目/5つの視点(1~5点での向上が期待できる事業内容となっているがい(同じ成果指標設定事業内での優先度)		なっていない 1 → 2 - 優先度低い	⇒ → 3 ·	なっている → 4 → 5 優先度高い	評価 5 る 5	文評価 (係: 点 評価 5 点 5 点	長)	二次評価 評価点 5 点 5 点	(課長等)
F 評	1. 市民満足(市民アンケート)	評価項目/5つの視点(1~5点での向上が期待できる事業内容となっているがい(同じ成果指標設定事業内での優先度)		なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった	⇒ 3 · ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	なっている → 4 → 5 優先度高い → 4 → 5 できた	評価 5 る 5 い 5	マ評価 (係) 点 評価 5 点	長)	二次評価評価点	(課長等)
F	1. 市民満足(市民アンケート) 2. 事業の優先度は高いと思うが	評価項目/5つの視点(1~5点での向上が期待できる事業内容となっているがい(同じ成果指標設定事業内での優先度)		なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 -	⇒ 3 · ⇒ 3 · ⇒ 3 · ⇒ 3 · ⇒ 3 ·	なっている → 4 → 5 優先度高い → 4 → 5 できた	デ価 5 る 5 い 5	文評価 (係: 点 評価 5 点 5 点	長)	二次評価 評価点 5 点 5 点	(課長等)
F 評	1. 市民満足(市民アンケート) 2. 事業の優先度は高いと思うが 3. 事業計画どおりに事業を進め	評価項目/5つの視点(1~5点での向上が期待できる事業内容となっているがい(同じ成果指標設定事業内での優先度) かることができたか 十画どおり推移しているか	N .	xっていない $1 \rightarrow 2 - $ 優先度低い $1 \rightarrow 2 - $ できなかった $1 \rightarrow 2 - $	⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	なっている → 4 → 5 優先度高し → 4 → 5 できた → 4 → 5 推移した	評価 5 3 5 5 5 5 5 5 5	マ評価 (係) 点 評価 5 点 5 点 4 点	点合計	二次評価 評価点 5 点 5 点 4 点	(課長等)評価点合計
F 評	1. 市民満足(市民アンケート) 2. 事業の優先度は高いと思うが 3. 事業計画どおりに事業を進め 4. 活動指標の達成状況(率)は話	評価項目/5つの視点(1~5点での向上が期待できる事業内容となっているがい(同じ成果指標設定事業内での優先度)かることができたか 十画どおり推移しているか	N .	x = x + x + x + x + x + x + x + x + x +	⇒ 3 · ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	なっている → 4 → 5 優先度高い → 4 → 5 できた → 4 → 5 推移した → 4 → 5	評価 5 る 5 5 い 5 5 :	文評価 (係) 点 評価 5 点 5 点 4 点 3 点 3 点	長) 点合計 	二次評価 評価点 5点 5点 4点 3点	(課長等) 評価点合計 20 点 /25点
-   新確今定   新確今定	1. 市民満足(市民アンケート) 2. 事業の優先度は高いと思うが 3. 事業計画どおりに事業を進め 4. 活動指標の達成状況(率)は 5. 成果指標の達成状況(率)は 5. 成果指標の達成状況(率)は 度 【担当係長の意見・就農者の就農意欲を大きく後押に大きな成果を上げてきた。 度も交付継続者、交付修了者のに向け事業を行った。	評価項目/5つの視点(1~5点での向上が期待できる事業内容となっているがい(同じ成果指標設定事業内での優先度)かることができたか 十画どおり推移しているか	規就農者の行い確実な	x = x + x + x + x + x + x + x + x + x +	⇒ → 3 · → → 3 · → → → 3 · → → → 3 · → → → →	なっている → 4 → 5 優先度高い → 4 → 5 できた → 4 → 5 推移した  推移した  長職等の所見	評価 5 3 5 5 5 5 5 5 5 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	欠評価(係)       点     評価       5点     5点       4点     3点       3点     5点	長) 点合計 20 点 	二次評価 評価点 5点 5点 4点 3点 3点 た課長職等	(課長等) 評価点合語 20 <sub>点</sub> /25

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 農業振興課 担い手支援係 93003 3 (令和 3 年度決算) 事 価 係名 事 業 担い手支援事業 細事業 担い手育成・確保事業 実施計画事業 企業等農業参入推進事業補助事業 R7 総合計画体系図No.-策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 第4次農業振興計画 別計 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 款 策 企業等農業参入推進事業補助金 7,500 6 1 農業の振興 年度 項 1 施策展開 ①多様な担い手の確保・育成 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 3 後期基本計画 23 P 過疎計画 ~ 総合戦略 決算 97 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 県外の優良な企業的農業経営体の誘致や市 内外の意欲ある他産業企業からの農業参入を 推進することを目的とする。 当初2社の参入企業に対して事業予定であっ たが、採択申請に至らず事業未実施。 R 3 計画 7,500 2,500 R3 当初予算 5,000 2,500 7,500 決 算 額 R 4計画 2,000 4,000 6,000 R4 当初予算 3,000 1,000 2,000 決 算 額 R 5 計画 4,000 2,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 "■県主催企業参入セミナーへの参加 ■参入企業の情報収集" R6計画 6,000 4,000 2,000 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 6,000 4,000 2,000 R7 当初予算 決 算 額 計画額 31,500 21,000 10,500 7,000 R3 ~ R7 合 計 当初予算 10,500 3,500 決 算 額 R4 R5 R7 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R6 目標値 □ 総合戦略 回 セミナーへの参加 C 年1会開催されるセミナーへ参加する。 実績値 個別計画 達成率 % 100.0 目標値 総合戦略 口 実績値 2 企業参入PT会議への参加 年1回 標 個別計画 % 達成率 100.0 総合計画 月標値 社 D 年度毎の参入数 2社 総合戦略 実績値 個別計画 % 達成率 100.0 ᄨ 目標値 総合計画 指 実績値 総合戦略 標 % 達成率 個別計画 Ε 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

-次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 3点 評 優先度低い 優先度高い 2 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 1点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 13 点 3点 13点 推移していない ⇒ 推移した 3 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 3 点 /25点 推移していない 推移した

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
優良企業体の参入は必要不可欠であり、参入の推進には必要な事業である。 今年度は採択申請に至らず事業は実施できていない。 技術、経験を持った企業の参入を推進する必要がある。	県等の関係機関と連携し、経験を有するとともに安定的に経営が出来ている優良企業の参入を、積極的に推進する。

I 令和 5 年度の事業の方向性

☆ A. 現状のまま継続

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 担い手支援係 93003 4 (令和 3 年度決算) 事 務 価 農業振興課 係名 事 業 担い手支援事業 細事業 担い手育成・確保事業 実施計画事業 担い手経営強化対策事業補助事業 R7 総合計画体系図No.→ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 1 農業の振興 期間 年度 担い手経営強化対策事業補助金 6 年度 ~ 17,000 項 1 施策展開 ①多様な担い手の確保・育成 画 名 期間 年度 ~ 年度 目 3 後期基本計画 23 P 過疎計画 ~ 総合戦略 コロナ充当 決算 97 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 1 4 経営体が事業実施し、機械導入に伴い約1 0haの規模拡大を行った。 <事業の目的> 農業の担い手の確保及び育成を図りつつ、経 R 3 計画 17,000 営規模を拡大することを目的とする。 R3 当初予算 17,000 17,000 決 算 額 11,752 11,752 R 4計画 15,000 15,000 R4 当初予算 20,000 20,000 決 算 額 R 5 計画 15,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 機械導入 17件 R6計画 15,000 15,000 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 15,000 15,000 R7 当初予算 決 算 額 計画額 77,000 77,000 当初予算 R3 ~ R7 合 計 37,000 37,000 決 算 額 11,75211,752

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		経営	目標値	15	15	15	15	15
С	1 機械導入件数	事業実施年度における機械導入経営体数	□ 個別計画	18	体	実績値	14				
活					%	達成率	93. 3				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		ho	目標値	60	70	80	90	100
D	1 経営規模の拡大面積	事業実施初年度からの拡大面積実績(H2 8~)	□ 総合戦略	50	ha	実績値	60				
成		- /	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成 果 指			□ 総合計画		頭	目標値	13	15	17	19	21
標	2 経営規模の拡大頭数	事業実施初年度からの拡大頭数実績(H2 8~)	□ 総合戦略	11	央	実績値	11				
			□ 個別計画		%	達成率	84. 6				
E	評価対象外の理由 0評価対			•			•	(\$	対象外事業(	<b>↓F~Ⅰ欄</b> 未	記入 可)

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $\rightarrow$  2  $\rightarrow$  3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっている なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 4 点 4 点 評 優先度低い 優先度高い 2 3 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 17点 3点 17点 推移していない ⇒ 推移した 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 3 点 /25点 推移した

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 認定農業者、認定新規就農者の確保・育成に取組む上で、大きく寄与してきた市単独事業 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

である。 今年度は14経営体が事業実施を行い機械導入を行った。 規模拡大を要件としており、これまで事業の目的を十分に達成していると考える。 課題としては、3年経過後の経営体の経営状況の確認を農業改善計画のヒアリング時等で フォローし、永続的な取組ができているか確認する必要がある。

認定農業者、認定新規就農者の確保・育成に大きく寄与してきた市単独事業である。規模拡大を要件としており、これまで事業の目的を十分に達成していると考える。今後、要件に見直し等柔軟に対応したがら継続する。

令和5年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

	事業番号 93003	枝番	•	令和令和					総1 事			実力		↑画 業	<b>書</b> 評	***	後進 価		管理	里) 書	Γ	課局名		農業	振興態	果	係	名	担い		<b>様式1</b> ) 支援係
事	業	担い手支持	爰事業					細事業	ŧ.	担い	手育店	成•	確保	事業					実	施計画	事	業 親元	就農	給付金	全事業				終年		R7
会計款項			策 I 策 1	3 ) 豊かな 農業の 多様な	振興				がある	るまな	5						作为言	当 判 十 三				単計画 E ~ R	.7 *	1 1	<b>令和 3</b> 親元就農	-	<b>度 主な</b> i 金	装出4			初予算額 3,500
月 決算				23			過	東計画			総合單	戦略		] =	コロナ	充当	1	期	間			. ~		F度							
		A 事業目 事業のE			横		年度				主	なぇ	舌動実	€績					В	<del>事業</del>		<b>郵額・決</b> 事業費	計		支出金	地	財源内方債		の他		位:千円)
農業		<b>内&gt;</b> )就農意欲 I的とする		と就農	:の定着	· &	R3	農業ため	、準位	備型	2名、	、開	始型	2名	の紀	もの定 経営発	着@ 展記	) †	当	3 計画 初予算	草	3,	500 500 000		1, 750 1, 750 2, 500						1, 750 1, 750 2, 500
							R4												R 当	4計回 初予算 算 8	車	5, 0	000		2, 500 2, 500 3, 250						2, 500 3, 250
	会和3年	度の取組	内突(計	-画) >			R5												R 当	5計画初予算	車	5,	000		2, 500						2, 500
"準值	備型認定 開始型認	2名	r 3 - 12 · (B	四/ Z			R6												R 当	6計画 初予算	車	5,	000		2, 500						2, 500
							R7												R 当	算 8 7 計画 初予第	車	5,	000		2,500						2, 500
										R3	~	R	7 合	ì	ł				計当	算 客 画 客 初予算	頁	23, 10, 5, 0	000		1,750 5,000 2,500						11, 750 5, 000 2, 500
																															2, 500
		評価指	標名		<u> </u>	指標	票値の	説明	(算出	方法	5等)	_	$\dashv$	各		指標 合戦	Ť	2実	績値	1		達成度 目標値		<b>R3</b>	R4	2	R5	2	R6	2	<b>R7</b>
C 活	1 研修計	画の作成	ζ		申請	者数/	計画	認定数	汝							別計画				名 %	ļ .	実績値 達成率		2 100. 0	1						
動指	2 経営系	<b>終展計画</b> の	)作成													合戦 別計画				名 %	9	目標値 実績値 産成率		2 2 100. 0		2		2		2	2
D	1 営農組	迷続者数						をの交 営農継		象者	及び?	交付	ガミ		総	合計画	略		3	名	E	主成中 目標値 実績値 幸成率		7		9		9		9	9

	$\sim$	11 III 31 IN: II	THE PROPERTY OF THE STATE OF				~		***	***		***
				総合戦略		名	目標値	2	2	2	2	2
1	2	1 研修計画の作成	申請者数/計画認定数	□ 個別計画		10	実績値	2				
	舌					%	達成率	100.0				
<b>1</b> ±	助 旨			□ 総合戦略		名	目標値	2	2	2	2	2
		2 経営発展計画の作成		□ 個別計画		70	実績値	2				
						%	達成率	100.0				
				総合計画		Þ	目標値	7	9	9	9	9
1	>	1 営農継続者数	親元就農給付金の交付対象者及び交付が 終了した者の営農継続数	□ 総合戦略	3	名	実績値	7				
J.	戉		THE TOTAL BUILDINGS	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
	上			□ 総合計画			目標値					
	票	2 —		□ 総合戦略			実績値					
				□ 個別計画		%	達成率					
Ē	_	<b>証佐社会以の</b> 理由 ○証佐内			<u> </u>		<u> </u>		/-	い色 川 声 巻 /-	+ C 1 100 ±	-== 1 =T\

Ε (対象外事業はF~I欄未記入 可) 評価対象外の理由 | 0評価対象 一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価)

評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 → 4 → 5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない 1 → 2 -なっている → 4 → 5 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 4 点 4 点 評 優先度高い 優先度低い → 4 → 5 できた → 4 → 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 4 点 できなかった 1 → 2 → 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 4点 4点 19 点 19 点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 /25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市農業の課題である後継者確保にとって、非常に意義ある事業である。 今年度は農業大学校研修中の準備型2名と経営開始型2名に交付を行った。 制度の周知が十分とは言えず、既に要件を満たしている経営体も存在する可能性がある。 今後は認定農業者連絡協議会等を通じ、広く制度の周知を行い後継者確保に努める必要がある。	制度の周知を図りながら、対象者の確実な把握に努める。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

事業番号	枝番 (令和	13年.	度計	- 画	) #	総合	計画	実施	包計區	事	(兼)	<b>生</b> 捗乍	<b>亨</b> 理	₽)								(様式1)
93003	6 (令和	3 年	度 決	算	) ]	事	務	事	業	評	佃	訓		書	課局	名	農業	振興課	:	係名	担い	手支援係
事業	担い手支援事業			i	細事業	担い	ハ手育品	戏・荷	確保事	業			実施	吉計画	<b>事業</b> 第	規就	農者負担	且軽減対	策事業	<b>羊補助事</b> 業	終了年度	
	計画体系図No.→ ( 2	)		· .	-01.10	J. w . 1						1			•		1	A == 0		S. J. 1811.		
会計一般	77. 71.	いな生活を	と文ス	るし	ことが	あるま	きち								長興計画		1 1			主な歳出 軽減対策事		当初予算額
款 6 項 1	施 策 1 農業 施策展開 ①多様	な担い手	の確せ	로 . 7	与成							計	ıı þ	R3	年度 ~	R7		金				4, 890
目 3	10311	23 P	V 7 HE D		計画	<b>V</b>	総合単	能略	П	コロナ充	<del></del>	画名 期間	9		年度 ~		年度					
決算 97	区州至州田 2	20 1		252	КШ		400 H T	244				74316	,									
	A 事業目的・内容・	実績		<i></i>	1							r	В	事業計	H画額·	決算!	<b>須等</b>		B:	<b>才源内訳</b>		単位:千円)
	事業の目的と内容			年 度			主	な活	動実績	Į					事業	費計	国県支	出金	地方		その他	一般財源
	<b>的&gt;</b> 農者の就農初期段階に	おける常	· Ħ		就農初	期に連	込要な根 当郊公2	幾械等	等の取るとる	得を支持な農業	爰し、 悪쓰た	農	R 3	3 計画	Ī.	4,890		930			1, 330	2,630
機械の導入に	上要する経費の負担軽 日滑な就農を図ること	経減を図る	こ	R3	未工圧立した		3 DV 40 E	조 1보	7 & 7	な反表	界坦で	hæ.	当初	切予算	Į.	4,890		930			2, 330	1,630
る。	11H. * WWW 5 121.9 C C	. 2 1117	, ,										決:	算 額	Į	761		507				254
													R 4	4 計画	Ī	4, 220		193			166	3, 861
				R4									当初	切予算	Ī	4,890		930			2, 330	1,630
													決:	算 額	Į.							
													R 5	5計画	Ū.	4, 220		193			166	3, 861
				R5									当初	切予算	Ι							
	<b>度の取組内容(計画</b> )) 農計画作成支援	>										_		算額	-							
■常用機械導	[入補助													6計画		4, 220		193			166	3, 861
■農作業サポ ■新規就農者	、一ト又振 f所得安定対策"			R6									"	切予算								
			-											算額	-							
				D.7										7計画		4, 220		193			166	3, 861
				R7										切予算								
			ŀ										-	算額画額	_	21, 770		1,702		_	1, 994	18, 074
						D.	3 ~	<b>p</b> 7	스	<b>1</b> +				切予算		9, 780	1	1, 702			4, 660	3, 260
						1	5	107	п	н				算額	_	761	-	507			4, 000	254
													,,,	2T 10	`	, 01		001				201
	評価指標名		指標	値の	説明(	算出方	法等)		1	各計画指	標	R 2 実約	責値	単位	達成原	隻	R3	R4		R5	R6	R7
									Tr		戦略			名	目標ſ		8		4	4		4 4
C 1 青年等	穿就農計画作成支援	青年等	等就農	計画	1認定申	請者数	数/認定	定数		個別	引計画		12		実績		4					
活										_ 1111	I		4	%	達成		50.0		_			1
動									ΙΓ	松之	※戦略				目標	直		1				

	評価指標名	指標値の説明(昇出万法寺)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	Кb	R/
			総合戦略		名	目標値	8	4	4	4	4
С	1 青年等就農計画作成支援	青年等就農計画認定申請者数/認定数	│	12	71	実績値	4				
活					%	達成率	50.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		名	目標値	20	24	28	32	36
D	1 営農継続者数	補助事業活用者の営農継続数	□ 総合戦略	12	泊	実績値	18				
成			□ 個別計画		%	達成率	90.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
						•					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/5つの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \red{0.05cm}  &                                  $	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 #我! ていない ⇒ #我! た	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 経営開始時の収入が不安定な時期や配偶者の妊娠等、適切なサポートを提供していく。

間において経営開始時の収入が不安定な時期であっても、農業機械導入の導入は必要である。 また、配偶者の妊娠等によりサポートが必要な時期でもあり必要な事業である。 今年度は4経営体に5台の農業機械導入を行った。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

1,875

1, 125

375

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 7 (令和 3 年度決算) 事 農業振興課 担い手支援係 93003 務 業 価 係名 事 業 担い手支援事業 細事業 担い手育成・確保事業 実施計画事業 女性就農者確保対策事業補助事業 総合計画体系図No.→ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 第4次農業振興計画 別計 策 1 農業の振興 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 女性就農者確保対策事業補助金 款 年度 750 6 項 施策展開 ①多様な担い手の確保・育成 1 名 目 3 後期基本計画 23 P コロナ充当 期間 年度 ~ 過疎計画 ~ 総合戦略 決算 97 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 就労環境等の整備を図ることにより、女性就 農者の促進を図ることを目的とする。 1経営体(集落営農法人)のトイレ改修を行い、女性就農者の就労環境の整備を図った。 令和4年度に女性就農者を正規雇用する。 R 3 計画 750 375 375 R3 当初予算 375 375 750 決 算 額 750 375 375 R 4 計画 375 750 375 R4 当初予算 1,500 750 750 決 算 額 R 5 計画 750 375 375 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 女性用トイレ等の整備 R6計画 750 375 375 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 375 750 375

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	1	1	1	1	1
С	1 補助事業の実施	実施件数	個別計画		11	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指標			│ │ │ 総合戦略			目標値					
標	2 —		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		Þ	目標値	1	1	1	1	1
D	1 女性就農者数	正規・又は臨時職員雇用目標数/実績	□ 総合戦略		名	実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
		·		•	•		•			•	

R3 ~ R7 合 計

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

3,750

2, 250

750

1,875

1, 125

375

評価対象外の理由 0評価対象 Ε (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価	1(徐長)	—火評価	(謀長寺)
	計画項目グラフの代点(1~5点で計画)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	Ⅰ1 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか ――――	→ 2 → 3 → 4 → 5 いない ⇒ なっている		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 1 - 優先	→ 2 → 3 → 4 → 5 度低い ⇒ 優先度高い		3 点	
価	Ⅰ3 事業計画どおりに事業を進めることができたか ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	→ 2 → 3 → 4 → 5 たかった ⇒ できた 3点		3 点	
Щ	A 活動指標の達成状況(薬)は計画どおり推移しているか	→ 2 → 3 → 4 → 5 ていない ⇒ 推移した	15 点	3 点	15 点
	15 成単指標の達成状況(薬)は計画どおり推移しているか	→ 2 → 3 → 4 → 5 ていない ⇒ 推移した	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 女性就農者の就労環境整備に関する事業はこれまで希望する多くの声があった。それを補完する事業で効果に大きな期待がかかる。 今年度は1経営体のトイレ改修を行った。 ただし、農地に女性用トイレを整備するには、水環境の大きな壁があり事業実施は限られた経営体に留まる。 対象が限られた経営体になるものの、一定の成果を上げることが出来た。

令和5年度の事業の方向性

R7

A. 現状のまま継続

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 農業振興課 担い手支援係 93003 8 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 担い手支援事業 細事業 担い手育成・確保事業 実施計画事業 農業経営法人化支援交付金事業 RЗ 総合計画体系図No.→ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 策 1 農業の振興 別計 款 期間 年度 農業経営法人化支援交付金 300 6 年度 ~ 項 施策展開 ①多様な担い手の確保・育成 1 名 目 3 後期基本計画 23 P 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 過疎計画 決算 97 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 令和2年度で県事業が廃止されたため、令和 3年度以降執行なし。 令和3年度以降事業実施なし。 R 3 計画 300 300 R3 当初予算 150 150 300 決 算 額 R 4 計画 R4 当初予算 決 算 額 R 5 計画 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ※当初予算編成時は要求していたが、その後 の進捗により、豊後大野市農業経営法人化支 援交付金交付要綱を廃止し、令和3年度以降 事業実施なし。 R6計画 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 R7 当初予算 決 算 額 計画額 300 当初予算 150 150 R3 ~ R7 合 計 300 決 算 額 評価指標名 指標値の説明 (算出方法等) R4 R3 R5 R7 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R6 目標値 □ 総合戦略 C 実績値 □ 個別計画 % 達成率 目標値 □ 総合戦略 実績値 標 □ 個別計画 % 達成率 総合計画 目標値 D 総合戦略 実績値 個別計画 % 達成率 ᄨ 目標値 総合計画 指標 実績値 総合戦略 % 達成率 個別計画 評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/5)の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restance & \rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
ТШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した		9点	—— 点	9点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	点	/25点	— 点	∕25点
	G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】	※評価・改	善策等を踏ま	えた課長職等	€の所見

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】	※今後の事業の進め方等	Н	【担当課長職等の所見】	※評価·	・改善策等を踏まえた課長職等の所見

I 令和5年度の事業の方向性

C.終了

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 農業振興課 担い手支援係 93003 9 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 担い手支援事業 細事業 担い手育成・確保事業 実施計画事業 後継ぎ支援交付金事業 R7 総合計画体系図No.-策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 第4次農業振興計画 別計 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 款 策 1 農業の振興 年度 後継ぎ支援交付金 1,950 6 項 施策展開 ①多様な担い手の確保・育成 1 画 名 3 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 23 P 過疎計画 総合戦略 決算 97 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 認定農業者の後継ぎを確保することを目的と 交付金 4経営体に交付 就農状況報告 5経営体 R 3 計画 1,950 R3 当初予算 1, 950 1.950 決 算 額 750 750 R 4 計画 1, 200 1,200 R4 当初予算 1,200 1,200 決 算 額 R 5 計画 1,200 1,200 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 "■就農相談 R6計画 1,200 1,200 ■就農計画支援 ■交付金の交付 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 1,200 1,200 R7 当初予算 決 算 額 6, 750 計画額 6,750 R3 ~ R7 合 計 当初予算 3, 150 3, 150 決 算 額 750 750 指標値の説明 (算出方法等) R3 R4 R5 R7 評価指標名 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R6 目標値 □ 総合戦略 回 C 就農状況確認 年1回 実績値 □ 個別計画 % 達成率 100.0 目標値 □ 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 総合計画 月標値 11 名 D 営農継続者数 補助事業活用者の営農継続数 総合戦略 実績値 個別計画 % 達成率 100.0 ᄨ 目標値 総合計画 指 実績値 総合戦略 標 個別計画 % 達成率 Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

-次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 2点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 2点 2点 評 優先度低い 優先度高い 2 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 3点 14点 14 点 推移していない ⇒ 推移した 3 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 3 点 /25点 推移していない 推移した

	G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
١	県事業の親元就農給付金との大きな違いがなく、対象年齢の引き上げで新規採択者の見込みがない。 制度の見直しが必要。	制度の見直しが必要と判断する。

I 令和5年度の事業の方向性

☆ A. 現状のまま継続

<del></del>	3 年度計3 年度決							· 不進1		周書	課局	6名	農	業振興調	果	系名	担い	手支援係
事 業 担い手支援事業		糸	田事業	担い手	育成・	確保事	業			実施計画哥	非業	新規就農	支援	交付金马	事業		終 <sup>-</sup> 年月	
総合計画体系図No.→ ( 2 ) 計 一般	な生活を支え	るし	ごとがあ	うるまち				個	第	4次農業振	興計	画		令和 3	3 年度 主	な歳出	名称	当初予算
<b>施 策</b> 1 農業の	)振興							別	期	間 R3 年	度 ~	R7	年度	新規就農	農支援交付	金		1, 2
頂 1 施策展開 ①多様な	は担い手の確保	呆・育	成					計画										
3 後期基本計画 23	3 P 🗌	過疎	計画	マ 総	合戦略		コロナ充	当	期	間 年	度 ~		年度					
第 97 A 事業目的・内容・										B 事業計	画格	. 出售額	<u> </u>					
<u> </u>	~ 19E	年			<b>+</b> +>:	T #L ch #	±		1	D <del>T</del> <del>**********************************</del>			<del> </del>	19	財派	京内訳		· (単位:千円
事業の目的と内容		度				舌動実績	-				争	業費計	国県	支出金	地方債	4	その他	一般財法
<b>&lt;事業の目的&gt;</b> 50歳以上55歳以下の新規就農			起と計農	後の定え	を図る	新規就原 ことをF	農者の就農 目的としま	₿意欲の噂 ≷施した。	Ą	R 3計画		1,200					1, 200	
kの喚起と就農後の定着を図るこ。 ⁻る。	とを目的と	R3	■就農相 ■就農計	談 2 名  画支援	2名				ı	当初予算		1,200					1, 200	
<b>3</b> 0			■交付金	の交付	2名				┛	決算額		1, 200					1, 200	
									ı	R 4計画		1, 200					1,200	
		R4							ı	当初予算		2, 400					2, 400	
										決算額								
									ı	R 5計画		1,200					1,200	
		R5							ı	当初予算								
<令和3年度の取組内容(計画)>	٠								┛	決 算 額								
■就農相談  就農計画支援									ı	R6計画		1,200					1,200	
交付金の交付"		R6							ı	当初予算								
									┛	決算額								
									ı	R 7計画		1, 200					1, 200	
		R7							ı	当初予算								
									╛	決算額								
									1	計画額		6,000					6,000	
				R3	~ R	7 合	計		ı	当初予算		3,600					3,600	
									J	決算額		1,200					1, 200	

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
С	1 就農状況確認	年1回	□ 個別計画	1	ī	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動 指			総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		名	目標値	4	6	8	10	12
D	1 営農継続者数	補助事業活用者の営農継続数	□ 総合戦略	4	Ą	実績値	4				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成 果 指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
F	評価対象外の理由 ○ 評価対	-fa						(+	オ争い車業に	† E ~ 1 増 ‡	=== 1 ar \

 E 評価対象外の理由
 ① 評価対象
 (対象外事業はF~I欄未記入可)

 一次評価(係長)
 二次評価(課長等)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	グ町	1 (水及)		(体及号)
	計画項目グラの代点(1つラ点で計画)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか       1 → 2         なっていな       なっている	→ 3 → 4 → 5 い ⇒ なっている 4点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	→ 3 → 4 → 5 → 優先度高い 4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 1 → 2 できなかっ	→ 3 → 4 → 5 た ⇒ できた 3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	→ 3 → 4 → 5 ない ⇒ 推移した 3点	17点	3 点	17 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 1 → 2 # X I . T ( ) / T	→ 3 → 4 → 5 ない ⇒ 推移した	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 国の支援の対象とならない新規就農者を支援する市独自の事業であり、相談から就農計画の支援、交付金の交付まで一体的にサポートすることができた。 課題は県事業との年齢要件を調整する必要がある。 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策を踏まえた課長職等の所見 市独自の事業として、相談から就農計画の支援、交付金の交付まで一体的にサポートする等、成果を上げている。

I 令和 5 年度の事業の方向性

♪ A. 現状のまま継続

Ą	業番号	枝	番	(	令	和	3	年	度	計	画	i )	á	総名	1	ΗĪ	画記	复加	施言	ΗĪ	画	ŧ	(∄	ŧ	生技	步作	管理	理)													(様	式1)
	93003	1	1	(	令	和	3	年	度	決	算	)	3	<b>\$</b>	3	务	,	事		業	Ē	評	Ē	佃	ī	ī	周	書	į	課局	名	J	農業	挨振興	課		係	名	扌	且い	手支持	援係
事	業	担い	主支援	事業	48/				_			細事	業	担	旦い	手	育成	<u>ر</u> - غ	確保	<b></b>	業						実	施計画	事	業 注	人就	農支	援	交付金	主事業	業				終了年度		R7
		計画体				)		· ·	_	_						,								<b>7</b> F									<b>-</b>									
会計	一般	政		_		豊かな			:文	.え	るし	, E (	こが	ある	ま	ち									11111			v農業振					1	令和				歳出	名称	i	当初	予算額
款	6	施		-		業の		•																4	別 計 -	期	間	R3	年度	~	R7	年月	度	法人家	北農支	支援交	付金					1,80
項	1		<b>策展</b>			様な		_	かる										_					-i I	画名																	
目	3	往	期基	本計	画	23	Ρ	<u>'</u>			過四	東計画	画			総	合戦	略	L			コナ3	充当		ш	期	間		年度	~		年月	度									
決算		A 事	業目	<b>的</b> - 1	内容	・実	績																				В	事業計	计画	額・	決算	額等	,									
		車当	の目	的上	内2	z z				T	年						<b>+</b> ;	かけ	動	宝紹	書								Ī	車業	費計						財源□	内訳				: 千円)
	事業の目		.07 [	нус	דניו	-				┵	度	He	H- N/	otto N	l. I	_						· -	1	. <b>⊢</b>	,,,		L		$\downarrow$	77	民印	国	県	支出金	Ž	地方	債	-	その	他	— A	投財源
集落	営農法人	りろ	継者	確保	を図	るこ	: ح	を目	的			果と	答名し、	1 法	5人 去人	. 1	後継 名に	[否] [交]	催り	ドセ	図る -。	5 C	28	2日	刊		$\vdash$	3計画	4		1,80	0							1,	800		
とす	る。										R3																_	初予算	+		1,80	0							1,	800		
										L																	決	算 額	Į		300	0										30
																											R	4 計画	Ī		1,800	0							1,	800		
											R4																当	初予算	Ī		1, 200	0							1,	200		
										L																	決	算 額	Į													
																											R	5計画	Ī		1,80	0							1,	800		
											R5																当	初予算	Ι													
	令和3年			'	計画	<u>ī</u> )>				L																	決	算 額	Į													
■制	度の周知	ロ・広	報活!	助																							R	6計画	Ī		1,80	0							1,	800		
											R6																当	初予算	Ī													
																											決	算 額	Į													
																											R	7計画	Ī		1,800	0							1,	800		
											R7																当	初予算	Ī													
																											決	: 算額	Į													
										Г																1	計	·画額	Į		9,000	0							9,	000		
1															R3		~	R7	1 4	슼	計						当	初予質	Į.		3 000	0			1				3	000		

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
	佐世兴曲法(40.日人)。 かい		総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
С	1 集落営農法人役員会におけ る制度説明	年1回	個別計画	1	12.4	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動 指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		名	目標値	1	2	3	4	5
D	1 後継者確保数	後継者の営農継続数	□ 総合戦略	1	70	実績値	1				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率		·			
E	評価対象外の理由 0評価対		·					(\$	対象外事業に	<b>は F~ I 欄</b> オ	未記入 可)

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっている → 4 → 5 なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 4 点 4 点 評 優先度高い 優先度低い → 4 **→** 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった 1 → 2 → できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3 点 16 点 3点 16 点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 /25点

G	【担当保養の息見	・	ペラ仮の手	未の進め万寺	
構成員が高齢化し	している集落営農	法人の後継者を確保	する上で、	必要不可欠な事業である	5

「担业区目の会日・細暦・北美学学】

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 雇用就農ができうる法人経営体を育成や広域統合を推進しながら本交付金の有効 活用を図る必要がある。

。 今年度は引き続き1法人1名に交付した。 雇用就農ができうる法人経営体は限られており、現在の交付金がそれを後押しできている か疑問が残るところである。 農地保全や景観維持等、集落営農法人が担う責務は大きく、交付金の拡充も検討の余地が あると考える。

 $\Rightarrow$ 

B. 見直しの上で継続-1 拡充

決 算 額

300

300

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 農業振興課 担い手支援係 93003 12 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 担い手支援事業 細事業 担い手育成・確保事業 実施計画事業 生涯現役世代育成支援交付金事業 R7 総合計画体系図No.-策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 第4次農業振興計画 別計 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 款 策 生涯現役世代育成支援交付金 6 1 農業の振興 年度 1,200 項 1 施策展開 ①多様な担い手の確保・育成 名 期間 目 3 後期基本計画 23 P 過疎計画 ~ 総合戦略 コロナ充当 年度 ~ 決算 97 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 認定農業者連絡協議会、農業大学校への事業 説明を行い、制度の周知を行った。 <事業の目的> 56歳以上65歳以下の新規就農者の就農意 R 3 計画 1,200 欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的と する。 R3 当初予算 1,200 1, 200 決 算 額 R 4 計画 1,200 1,200 R4 当初予算 1,200 1,200 決 算 額 R 5 計画 1,200 1,200 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 "■就農相談 R6計画 1,200 1,200 ■就農計画支援 ■交付金の交付 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,200 1,200 R7 当初予算 決 算 額 計画額 6,000 6,000 当初予算 R3 ~ R7 合 計 2,400 2,400 決 算 額 R7 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R6 目標値 □ 総合戦略 口 "就農相談 2回 制度の周知 1回" C 就農相談兼制度の周知 実績値 □ 個別計画 達成率 % 100.0 目標値 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 総合計画 月標値 名 D 営農継続者数 補助事業活用者の営農継続数 総合戦略 実績値 個別計画 % 達成率 ᄨ 目標値 総合計画 指 実績値 総合戦略 標 % 達成率 個別計画 Ε 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) -次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価)

評価点合計 評価点 評価点合計 評価点  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 評 3点 優先度低い 優先度高い 3 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 2点 2点 14点 14 占 推移していない ⇒ 推移した → 3 → 4 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 3点 /25点 推移した 「担业区目の会日、細師、改美学学】 ツムダの事業の進ん士学 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

G	15日 水及の忘光	外应 以	3米寸1 小 7 1	及07年末07座07月中	
意欲のある退職性 今年度は制度創設				ろうえで必要な事業であ	3.

退職世代の就農意欲の喚起及び就農の定着を図るうえで必要な事業である。 制度の周知を図りながら推進する。

令和5年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

推移していない ⇒ 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和5年度の事業の方向性

成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

A. 現状のまま継続

\_3 →

推移した

3点

/25点

3点

/25点

令和5年度の事業の方向性

【担当係長の意見・課題・改善策等】

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

H 【担当課長職等の所見】

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

※今後の事業の進め方等

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

I 令和5年度の事業の方向性

成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

推移していない ⇒

\_3 →

推移した

3点

/25点

3点

/25点

Ⅰ 令和5年度の事業の方向性

【担当係長の意見・課題・改善策等】

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

H 【担当課長職等の所見】

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

※今後の事業の進め方等

(様式1) (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 枝番 担い手支援係 (令和 3 年度決算) 事 課局名 農業振興課 係名 93004 1 務 価 事 業 担い手支援事業 細事業 担い手支援事務費 実施計画事業 農業次世代人材投資事業 総合計画体系図No.→( 策 Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 当初予算額 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 第4次農業振興計画 別計 策 1 農業の振興 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 普通旅費 款 年度 753 6 項 施策展開 ①多様な担い手の確保・育成 1 消耗品費 150 名 目 3 後期基本計画 23 P □ 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 印刷製本費 148 決算 97 通信運搬費 100 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額 決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 担い手確保・育成業務実施に当たっての事務 担い手確保・育成業務実施に当たっての事務 R 3 計画 753 350 403 費及び農業次世代人材投資資金交付事務等 R3 350 403 当初予算 753 決 算 額 350 350 R 4 計画 700 350 350 R4 当初予算 780 350 430 決 算 額 R 5 計画 350 350 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ″■旅費 R6計画 350 700 350 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 350 700 350 R7 当初予算 決 算 額 計画額 3, 553 1,750 1,803 当初予算 700 R3 ~ R7 合 計 1,533 833 決 算 額 350 350

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			── 総合戦略		部	目標値	1,000	1,000	1,000	1,00	1,000
С	1 インキュベーションファー ムパンフレット作成	500部	□ 個別計画	1, 000	크)	実績値	1,000				
活	, , , , , , ,				%	達成率	100.0				
活動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		── □ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		件	目標値	20	20	20	20	20
D	1 就農相談件数	相談数	□ 総合戦略	20	IT	実績値	23				
成			□ 個別計画		%	達成率	115.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	象						(5	対象外事業	は <b>F~I欄</b>	未記入 可)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	■で無)				<b>ー</b> カ	マ評価 (係:	長)	二次評価	(課長等)
		正   境日/500元点(1~5点で	от IW / 				評価	点 評価	点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているか	1			$\rightarrow$ 4 $\rightarrow$ 5		3 点		3 点	

	   評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価(係長)		二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1~9点と計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
ТШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	/25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
農業次世代人材投資資金交付事務に必要な事務費。	事業実施に必要な事務費である。

I 令和5年度の事業の方向性

☆ A. 現状のまま継続

R7

事業番号	枝番
94001	1

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

爰係

94001	1	(令和 3年度決	算) 事	務	事 業	評	価	調書	課局名	農業振興課	係名	担い	手支担
事業	インキュ	ュベーションファーム事業	細事業	インキュ〜	ベーションフ	ファーム事	業	実施計画	事業 イン	キュベーションファー	ム事業	終了年度	
総合	計画体系	図No.→ ( 2 )											
会計 一般	政	策 I 豊かな生活を支え	るしごとがあ	るまち			/田 等	第4次農業振	興計画	令和 3 年度	主な歳出	名称	当初

	総台	計劃	画体糸╚	⊻No.→	(2)															
会計	一般		政	策	I 豊かな	生活	を支え	るしごとが	ぶあるま	ち		個	第4	欠農業	振興計	画			令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
款	6		施	策	1 農業の持	辰興						別計	期間	R3	年度 ~	•	R7	年度	原材料費	10, 276
項	1		施策原	展開	①多様な技	旦い手	手の確保	!・育成				画							修繕料	300
目	3		後期	基本	計画 23	Р		過疎計画	~	総合戦略	コロナ充当	名	期間		年度 ~	,		年度	農地確保委託料	300
決算	98	ļ_	古 巻	8 AA .	. 内容 . 宝:	lak .								**	計画報		1 <b>11</b> 11		ホームページ保守点検委託料	264

		B 事業計	画額・決算額	(*	· > 1×1 ×19	女山村	264
年	<b>ナか活動中</b> 体		市業弗≒↓		財源内	]訳	(単位:千円)
			尹未貝司	国県支出金	地方債	その他	一般財源
	第9期生の就農支援 2組就農 第10期生の2年目の研修支援 2組	R 3計画	11, 440			11, 440	
R3	第11期生の募集 2組入校	当初予算	11, 440			11, 440	
		決 算 額	3, 501			3, 500	1
		R 4計画	500			500	
R4		当初予算	4, 485			4, 485	
		決 算 額					
		R 5計画	1,500			1,500	
R5		当初予算					
		決 算 額					
		R6計画	1,500			1,500	
R6		当初予算					
		決 算 額					
		R 7計画	1, 500			1,500	
R7		当初予算					
		決 算 額					
		計画額	16, 440			16, 440	
	R3 ~ R7 合 計	当初予算	15, 925			15, 925	
		決 算 額	3, 501			3, 500	1
	R3 R4 R5	度     主な活動美報       第9期生の就農支援 2組就農第10期生の2年目の研修支援第11期生の募集 2組入校       R4       R5       R6       R7	年度       主な活動実績         R3       第9期生の就農支援 2組就農 第10期生の2年目の研修支援 2組 当初予算 決算額 R4計画 当初予算 決算額 R5計画 当初予算 決算額 R5計画 当初予算 決算額 R6計画 当初予算 決算額 R7計画 当初予算 決算額 R7計画 当初予算 決算額 B7計画 当初予算 決算額 B7計画 当初予算 決算額 B7計画 当初予算 決算額 計画額 当初予算 決算額 計画額額	年度       主な活動実績         R3       第9期生の就農支援 2組就農 第10期生の2年目の研修支援 2組 当初予算 11,440 当初予算 11,440 決 算 額 3,501 R 4計画 500 当初予算 4,485 決 算 額 R 5計画 1,500 当初予算 決 算 額 R 6計画 1,500 当初予算 決 算 額 R 6計画 1,500 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,500 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,500 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,500 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,500 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,500 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,500 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,500 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初予算 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当初 1,500 当	R3   P   P   P   P   P   P   P   P   P	R	年度     主な活動実績     事業費計 国県支出金 地方債 その他       R3 第9期生の就農支援 2組就農第10期生の2年目の研修支援 2組第第11期生の募集 2組入校

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R 2 実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略			目標値	50	50	50	50	50
С	1 農地の確保	農地約40a~50a/組	□ 個別計画	63.3	а	実績値	50				
活					%	達成率	100.0				
動指		"おおいた就農・就業フェア (福岡) (東京)	総合戦略		回	目標値	5	5	5	5	5
標	2 就農フェアへの参加	おんせん県おおいた就農応援フェア (大分) (大阪) (東京) おおいた農業法人等合同就農相談会 (大分) "	□ 個別計画	5	ū	実績値	5				
		おおいた農業法人等合同就農相談会(大分)"			%	達成率	100.0				
			総合計画		組	目標値	2	2	3	3	3
D	1 研修生の就農	令和4年度までは2組 令和5年度以降3組	✓ 総合戦略	2	小口	実績値	2				
成			□ 個別計画	i	%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画		組	目標値	2	2	3	3	3
標	2 研修生の確保	3組(定員)	☑ 総合戦略	2	水土	実績値	2				
			□ 個別計画		%	達成率	100.0				

評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2 点		2 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	19 点	3 点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	3 点	∕25点

## 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

□ 【担当味食の思見・味趣・以音味寺』 ※ ではの事本の進の力寺 豊後大野市が全国に誇る就農システムであるインキュベーションファーム事業。 令和3年度までに21組42名が研修を終了し、市内に就農。そのうち1組が離農したが 20組40名が営農を継続し、市内農家の中でも非常に優秀な成績で豊後大野市農業を牽引している。 令和3年度は9期生2組4名が就農し、10期生2組4名が2年目の模擬経営、11期生2組4名が入校し基礎実践研修をスタートさせた。 今後も、本市の新規競農システムとして拡充していく必要がある。 課題としては、就農学校の乱立により研修生の争奪戦となり、毎年確保に苦労している。 また、研修終了後の住居(空き家)の確保も課題である。

令和3年度までに21組42名が研修を終了する等、大きな成果を上げている。今後も、新規就農者確保対策の柱として推進し、他市との差別化を図りながら研修生の確保に努める。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ B. 見直しの上で継続-1 拡充

事業番号		枝番	
95001		1	
事 業	園	芸振頻	事
総合	計画	[体系]	図No
会計 一般		政	策

呷	事業番号	枝番	( 4	令和 3	年度	計画	1) #	総合言	計画実	施計	画書(	近乗	生捗	管理)								(1:	<b>求氏</b> I /
	95001	1	( 4	3 和 3	年度	决 算	) ]	事	務事	業	評	価	ī	周書	F [	課局名	農業	<b>振興</b> 認	果	係名	農業	業振り	興係
事	業	園芸振興事	業				細事業	園芸	産地整備	事業				実施計	画事	業 園芸産	地整備	事業			終年	了 度	なし
会計		計画体系図No.  政 策		10 ) 豊かか4	活を支え	きるし	デレが	あろす	ち			7 [	tote	4 V/4 ## 4#	· 45 @	# <del>- 1</del> - 1 - 1 - 1		会和 ?	年度	主な歳出	H.夕称	当 ż	切予算額
款			-			L 0 L	/ C C //··	W) -D -A	-					4次農業			1 -			園芸産地整		+=1	
	6	施策思問		農業の振		، ۱ مک	ъ. <b>4.</b> т.+с	<b>=</b> 08t				<del></del>	計 —	間 R3	牛皮	~ R7		助金				-	149, 05
項	1	施策展開			向上をめ							<b>—</b> 11.	画名									+	
<u>目</u>	4	後期基準	本計画	i 23 i	P L	過	東計画	~	総合戦略		コロナ充	当	期	削	年度	~	年度					╁	
決算		A 事業目的	5 - 内	容・実績	i									B 事第	計画	額・決算	額等					丄	
		事業の目				年			主から	舌動実績	ŧ					事業費計				財源内部	ł	(単位	:千円)
			מין בי נינו	1台		度										尹未貝司	国県	支出金	地フ	方債	その他	_	般財源
√፤	事業の目  の畑地(	<b>的&gt;</b> 化による米カ	いら高い	収益な園	芸品目		活力あ業)を	ふれる 活用し	園芸産地 て、栽培	2整備事 5施設、	業補助金 生産基盤	え (県	事 械	R 3計	画	149, 05	9 10	4, 994					44, 06
~0	) 生産転割	奥を加速する こ位置づける	5 トレ	*いた。 園	共団地	R3	施設等	の整備	て、栽培  を行うこ   : ピーマ	とがで	きた。	.1 1-	,,,	当初予	算	149,05	9 10	4, 994					44, 06
の育	「成を重」	点的に推進し	ノ、農	業産出額	の向上		争未天白ねぎ	ルボラ	i. Lーヾ ゔ、キウ	イ、同	据及がれ	レレム・	`	決 算	額	45, 48	4 3	4, 258					11, 22
2 W)	ざすもの	/)												R 4計	画	100, 00	0 6	6, 666					33, 33
						R4								当初予	算	91, 64	2 6	4, 620					27, 022
														決 算	額							1	
						Н								R 5計	画	100,00	0 6	6, 666				+	33, 334
						R5								当初予	-+			-,				+	,
<b>~</b> :	<b>会和3</b> 年	■度の取組内	宓(計	画) >										決算								+	
活力	あふれる	る園芸産地	修備事業	業補助金		H							_	ス R 6計		100,00	0 6	6, 666				+	33, 334
• 園 生	芸産地~   産基般	づくりを推進 機械施設等	生する だ	ための栽備に対し	培施設 補助金	R6										100,00	0 6	0, 000					33, 334
	行する。		1 42 15 1	/m (= //, O	1111-55 322	КО								当初予								-	
(対	象品目、	: ピーマン、 ねぎ、きく、	トマ	ト、かぼ	す、か	_							_	決 算	-+							+	
んしねぎ	.よ、日オ `)	ねぎ、きく、	いち、	こ、キウ	イ、玉									R 7 計	-+	100, 00	0 6	6, 666				—	33, 334
	,					R7								当初予	算								
														決 算	額								
														計画	額	549, 05	9 37	1,658					177, 40
								R3	~ R	7 合	計			当初予	算	240,70	1 16	9,614					71,087
														決 算	額	45, 48	4 3	4, 258					11, 226
		評価指標	名		指	標値σ	)説明(1	算出方法	法等)	-   -	各計画指	標	R 2 実	績値 単位	+	主成度	R3	R4	-	R5	R6	<del> </del>	R7
_	百秒	ピーマン生産	左右	6 0倍							] 総合	戦略		億	-	目標値	8. 1	+	8. 1	8. 1	. 8.	. 1	8.
С	1 例、	白ねぎ生産額	至60 . · 預:2.	1億円							✓ 個別	計画		円		実績値	7	'			<u> </u>	4	
活動	ましい 北上立幅・1.4座田									_				%	-	達成率	86. 4	+			_	_	
指											総合	戦略		億	-	目標値	6. 2	1	6. 2	6. 2	6.	. 2	6. 2
標	票 2 さどいも生産額: 1.4億円、 かんしょ生産額: 4.8億円										✔ 個別	計画		円		実績値	6	+			_	_	
										<u> </u>	<b>—</b> :			%	+-	主成率	96. 8	+			<u> </u>	$oldsymbol{\perp}$	
	D 1 图 至里 品 日 7 版						口7年度					計画		億	·	目標値	26. 4	+	26. 4	26. 4	26.	. 4	26.
ט							91,000年 計:312,		花き類:7 円			戦略		円	+	実績値	26. 1	+			-	+	
成果					1 1 1 1	, /10-13	., . 512,	1 1	•	-		計画		%	_	達成率	98. 9	1			<del>                                     </del>	+	
未 指											総合	計画				目標値							

E	評価対象外の理由	0評価対象			(対象外事	業はF~I欄	未記入 可)
		評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)	
		計画項目グランの代点(1~9点で計画)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民7	アンケート) の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高	いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに	事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restance & \rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成物	元況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	21 点	4点	21 点
	5. 成果指標の達成物	元(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

── 総合戦略 ── 個別計画

個別計画

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
県輔助事業である「活力あふれる園芸産地整備事業補助金」を活用して、栽培施設、生産基盤、機 機施設等の整備を行った。当初予定していた一部の事業(トマトハウス等)については、事業主体の 都合により事業取下げもあったが、概ね農業者からの要望に応える取り組みができたと考えている。 今後の課題としては、ウクライナ情勢や円安等の影響により、資材費の高騰が相次いでおり、農業 者の経営を圧迫している状況となっていることから、国、県等の有利な補助事業を有効活用すること を視野にいれて、農業者に対する情報提供を行うとともに、次年度に向けた要望調査を実施したい。 令和4年度事業については、早めに着手するべく各担当と協議、指示している。	

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

B. 見直しの上で継続-1 拡充

実績値 達成率

	事業番号   枝番   (令和 3 年 [																																									
事	業番号	<del>1</del>	枝番		( '	令	和	3	年	唐	Ē	+ 1	ij	)	総	合	計	画	実	施	計	画	書	(	兼	進	捗	僧	理	)											(様式	1)
Ç	95001		2		( 4	1	ū	3	年	度	Ęź	夬 3	Ţ	)	事	F	矜	F	事		業	ŧ		Ŧ		価		調		書	i	課局名	<b>1</b>	農	業振興	課		係名		農業	振興係	
事	業	園	芸振興	事業									斜	事業	ŧ	遠	芸彦	産地	整備	事	業							NIA.	実施	計画	事	<b>業</b> 食	品企業	美連携	<b>達産地</b> 拉	大推道	進事	業補足	助事	終了 年度		l
	総合	合計画	体系図	No.→	(	35	)																																			
会計	一般	╛┕	政	策	Ι	豊	カップ	よ生	:活	を	支え	こる	し、	ごと:	があ	る	まち	5								1	□	育4	次農	農業振	長興	計画							出名科	-	当初予算	算額
款	6	╛┕	施	策	_		業の	,	•																	5		期間	R	3 :	年度	~	R7	年度	財金	:	连地	小小八.	推進事	<b></b>	6,	, 90
項	1	╛┝	施策原	展開	4	持約	売的	カン	つま	え定	的	な農	業	経営	の	確立	-								4	1	亘															
目	4	JL	後期	基本	計画	1	23	F	>			過	疎	計画			ŕ	総合	戦略			=	ロナ	充	当	1	]	朝間			年度	~		年度								
決算	99	_ د	事業	目的	内	容	・実	を締																					в	集計	十画	額・i	<b>决算</b> 着	等								
		3	事業の	日的	レカ	一						年度						⇒	こなえ	壬重	h 宝 ź	結						$\prod$	$\overline{\ }$			事業	掛計				財	源内	訳	(.	単位:千	
	<b>上</b>			Пнэ	C F	170					_	度		7	VA =	n. /++	an '		- • •		, ,	אַנו						╁			1	于不.	PL DI	国県	支出金	_	方債	Ī	その	他	一般財	惊
加工	■業の目 向け野	·菜の	生産	広大り	こ対	す	る機	é械	施	設、	н			・予事	業	<b>†</b> :	1, 6	44,	500	ŋ								I⊢		計画	_	6	, 900		3, 933							96′
加工拓に	「施設等の整備及び加工品の開発、販路 「対して補助金を交付するもの。						路 阴	a	R3	3	<ul><li>新</li></ul>	商品	品開	発令		援	リ (農	と食	きを	考え	える	会	)		I⊢		予算	-		, 900		3, 933							96′			
	<b>刈して冊助並を欠けするも</b> の。								_	県	補具	力金	: 3	15∃	一円									Н		算額	+	1	, 645		1, 062	2						58				
																								l ⊩		計画	+	6	, 900		3, 933	1					2,	96				
												R4	1															l ⊩		予算	+											
													4															Н		算額	+											
																												l ⊩		計画	+	6	, 900		3, 933						2,	96′
			- <b>-</b> ,			_						R	)															I⊢		予算	+											
	育和3₫ 穫用機					画	)>					_	4															I ⊩		算額	+											
· 子	冷設備 商品開	の道	7 (	其)		±1	[空 /	(曲	业人	♠ F	,	_																l ⊩		計画	+	6	, 900		3, 933	-					2,	96′
加工	<sup>岡田開</sup> 連携対	策)	皮小	可吹っ	ς V)	又1	反(	(反:	未」	之印	1	Re	1															H		予算	+											
													_															I ⊢		算額	4							_				
																												I⊢		計画	1	6	, 900		3, 933						2,	96′
						R7																l ⊩		予算	+							_										
							_																ŀ		算額	4					_		_				0.6					
																_			_	7		= -						H		画額	-		, 500		19, 665			_			14,	
																R	3	~	R	1	台	計	•					I⊢		予算	-		, 900	-	3, 933							96
1																												ш	决〔	算額	Į	1	, 645	1	1,062			- 1				583

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
	加工向け野菜の生産拡大に		総合戦略		台	目標値	2	2	2	2	2
С	1 対する機械施設・加工施設等の整備	収穫機械(1台) 加工用野菜の予冷設備(1基)	✓ 個別計画	2	П	実績値	1				
活	寺の整備	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			%	達成率	50.0				
動指			□ 総合戦略		口	目標値	2	2	2	2	2
標	2 加工品の開発・販路開拓に 向けた検討会の開催		☑ 個別計画	2	ī	実績値	4				
					%	達成率	200.0				
		補助金を交付した件数(補助事業を活用	総合計画		件	目標値	2	2	2	2	2
D	1 補助金交付件数	して販売額向上に取り組んだ事業主体の	□ 総合戦略	2	1	実績値	1				
成		数)	□ 個別計画		%	達成率	50.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値		·			·
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	4点		4 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	20 点	4 点	20点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

★ 1元31本式の思見・課題・収香業等】 ※今後の事業の進め方等 食品企業連携産地拡大推進事業に関しては、予冷庫整備は予定どおり実施できたが、里いも 収穫機の導入に関しては、部品調達等の兼ね合いから受注業者から納期遅延願いが出されたた め、令和4年度への繰越となったが、本年5月27日に納品検査が完了し、事業完了した。 また、未利用資源を活用した新商品開発等を令和元年度から3ヶ年事業として実施してきた。 また、未利用資源を活用した新商品開発等を令和元年度から3ヶ年事業として実施してきた。 「農と食を考える会」の取り組みについては、本年3月に行われた総会にて終括的な事業報告 とともに、開発商品の紹介を行うことができた。今後は、HP上で開発商品の紹介を行うなど 、消費者へのPRを行っていく計画である。

## 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

里いも収穫機の導入が完了し、より効率的な収穫が可能となった。 また、未利用資源を活用した新商品開発等を令和元年度から3ヶ年事業として 実施してきたが、新たな課題も見えてきたことから今後の推進方法を検討する。

### 令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 農業振興課 農業振興係 95001 3 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 園芸振興事業 細事業 園芸産地整備事業 実施計画事業 大規模園芸産地形成促進事業補助事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 第4次農業振興計画 大規模園芸産地形成促進事業補助 別計 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 款 策 1 農業の振興 年度 300 6 項 施策展開 ④持続的かつ安定的な農業経営の確立 1 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 4 後期基本計画 23 P 過疎計画 総合戦略 決算 99 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 園芸産地づくり計画策定地域における新規品 目の実証試験等に対する経費を支援するもの 。(令和3年度のみ) 園芸産地づくり計画策定地域における新規品目の実 証試験等に対する経費を支援することができた。 ・三重町深野地区(きく) R 3 計画 300 R3 当初予算 300 300 ※清川町宇田枝地区(玉ねぎ)は事業断念 決 算 額 150 R 4 計画 300 300 R4 当初予算 決 算 額 R 5 計画 300 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・清川町宇田枝地区(玉ねぎ) ・三重町深野地区(きく) R6計画 300 300 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 300 300 R7 当初予算 決 算 額 計画額 1,500 1,500 R3 ~ R7 合 計 当初予算 300 300 決 算 額 150 150

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		口	目標値	2				
С	1 清川町宇田枝地区における 事業実施主体との協議	現地検討会(1回)、事後報告会(1回)	□ 個別計画	2	ī	実績値	2				
活	7 777 333 == 17 = 707400				%	達成率	100.0				
動指			総合戦略		回	目標値	2				
標	2 三重町深野地区における事 業実施主体との協議	現地検討会(1回)、事後報告会(1回)	□ 個別計画	2	ī	実績値	5				
	710701022111 0 1 10110				%	達成率	250.0				
			総合計画		箇所	目標値	2				
D	1 実証試験の実施	清川町宇田枝地区(玉ねぎ) 三重町深野地区(きく)	□ 総合戦略	2	所	実績値	1				
成			□ 個別計画		%	達成率	50.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	19 点	4点	19点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 園芸産地づくり計画策定地域における新規品目の実証試験については、三重町深野地区において「きく」の新品種薄入実証を行うことができたが、清川町宇田枝地区における「玉ねぎ」の実証については、事業主体からの要望もあり、事業取下げとなった。今和4年度以降については、昨年度の実証結果も踏まえ、事業主体と連携し、更なる収益向上に向けたフォローアップに努めるともにのけたフォローアップに努める。※令和4年度は事業要望がなかったため、予算計上していないが、県の事業としては継続してあるため、事業要望があれば予算要求につなげたい。
 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
 事業主体と連携し、更なる収益向上に向けたフォローアップに努めるともに、今後の事業要望について充分な周知を図る。
 今後の事業要望について充分な周知を図る。
 おおおおいる。
 おおおおいます。
 おおおいます。
 おおおいます。
 おおおいます。
 おおおいます。
 おおおは子算要求につなげたい。

I 令和5年度の事業の方向性

☆ A. 現状のまま継続

2,500

500

479

事業	番号	枝番		(令	和	3	年』	变言	上画	i)	総	合計	画実	施	計画	書	(兼	進:	涉訇	(理							(	<b>様式 1</b> )
950	001	4		(令	ī	3	年!	变 涉	<b>美</b>	[ )	事	務	事	Į.	業	評	. 1	西	訓	書	課局名	農	業振興調	果(	系名	農	業振.	興係
事業	<b>*</b>	園芸振興	車業	341						細事業	業	園芸産	至地整備	前事:	業					実施計画	事業 花き経常	営安定	三化対策 写	<b>事業補助</b> 事	業		了度	なし
	松스타	画体系図	71 No →	( 29	)																						^	
会計 -	-般	政	策			生	活を	支え	.るし	ごと	があ	るまち	)					/m	第 /	1次農業排	· 雕計画		令和 3	年度 主	な歳出	<b>名称</b>	当	初予算額
款	6	施	策	1 農	業の	振服	祖											個別	期間	, .,, .,,	年度 ~ R7	年度	花き経営	営安定化対策	<b>我事業補</b>	助金		1,000
-	1	施策原	展開				•	定的;	な農	業経営	その確	₹ <del>1</del> 7.						計画		· Ko	IX I							
	4			計画			-		- /- 4.	東計画	1		8合戦略	各	П :	コロナギ	5.当	名	期間	1	年度 ~	年度						
	99	Δ//							~	жиг ш			V II 7X-1	-				<u> </u>	,,,,,	*							1	
777		事業	目的	• 内容	・実	橨														B 事業i	画額・決算	等					<u> </u>	
		事業の	目的	と内容	7				年度				主な	活動	実績						事業費計	FI	支出金	財源 地方債	内訳	- A 14		加明
<事業	の目的	1>							IX.	事業	実施	主体·	お花屋	最大	んぶん	ごゲ	ルー・	プ	-11	R3計画	i 1,000		500	地力領	7	の他	+-	·般財源 500
花き(おおり			おけ	る新品	種導	入	に伴	う	DΩ	事業	内容	: 種甘	費、言	午諾:	料にカ	かる	経費	助成	Ш		-,							
田がりくる	R 4.07	1m2970							КJ	4名5	起施	守八に	- XI Y 6	الثامالك	找				Ш	当初予算	-,	1	500					500
										-									-11	決算額	-	1	472					479
																			Ш	R 4 計画	. 1,000		500				-	500
									R4										Ш	当初予算								
										<u> </u>									_	決算額	i							
																			Ш	R 5計画	1,000		500					500
									R5										Ш	当初予算	Ī							
		度の取糸																	╝	決算額	i							
事業実施事業内容	容:種	苗費、	許諾精	斜にか	かる	経	費助	成											Ш	R6計画	1,000		500					500
。新品和	重導入	に対す	る協調	議検討					R6										Ш	当初予算			7					
																			Ш	決算額	į							
																				R 7 計画	1,000		500					500
									R7										Ш	当初予算							1	

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	2				
С	1 新品種導入に伴う実証、検討	実証(1回)、結果を受けての検討会(1 回)	個別計画		ī	実績値	2				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		밆	目標値	1				
D	1 新品種の導入		□ 総合戦略		目	実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値		·			
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

5,000

1,000

951

2,500

500

472

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	23 点	5 点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

新型コロナウイルスの影響を受けたキク生産者が、白輪ギクから転換可能なスプレーキク等の品種を導入し、花き経営のリスク分散を行うことを目的として新品種導入を図り、経営安定が図られた。 令和4年度において本事業の実施予定はないため、事業実施主体であるお花屋さんグループの各人と連携し、経営安定に向けたフォローアップに努める。

#### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

輪ギクからスプレーギク等の転換により、経営安定が図られた。 令和4年度において本事業の実施予定はないため、事業実施主体であるお花屋 さんグループの各人と連携し、経営安定に向けたフォローアップに努める。

## 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

			1																	(106.15)
_	事業番号 95001	<b>枝番</b>			3 年 度 3 年 度			総合計 事 教		包計画 業	· 書 ( ) 評	兼進: 価	渉管 調	理) 書	課局名	農業	<b>美振興</b> 謂	果 係:	名農	(様式1) 
事	業	園芸振り	車業				細事業	園芸	産地整備	事業			実	施計画	事業 園芸産	地 (ぶ	どう新苗	古、棚施設)	終年	で なし
		計画体系													l e	1 1			J.	<del></del>
会計	一般	政			な生活を支	えるし	ごとが	あるまり	, D			個			長興計画			年度 主な	歳出名称 <sup>也整備事業補</sup>	当初予算額
款	6	施		農業の		. احمل ا	2. 4L → H	2 GB1				別計	期間	R3	<sup>年度</sup> ~ R7	年度	助金	10000	CLEVIII 7 X III	2, 655
項	1	施策			の向上をぬ				₩ <b>ヘ</b> ₩ <b>L</b> m <b>d</b>		コロナ充当	画名	#0 BB		年度 ~	de de				
決算	4 99	(发.)	基本訂	画 23	Р	迎り	東計画	i	総合戦略		コロア元三	<u>'</u>	期間		年度 ~	年度				1
八升		A 事業	目的・ロ	内容・実	積								_ <u>_</u>	事業	画額・決算	額等				
		事業の	)目的と	内容		年度			主な活	動実績					事業費計		支出金	財源区 財源区 地方債	内訳 その他	(単位:千円) 一般財源
	事業の目			4.1.31.3		~	「ぶど	う」に.	よる新規	品目導力	人に伴う	朋施設	R	3計画	2,65		<u>хшж</u> 1, 770	地力頂	- ( 0 )	19 <b>又 27 7</b> 7 8 8 5
$\sim 0$	生産転	ムシ 加速	すると	ともに	園芸品目 園芸団地	R3	整備実施面	積:12a	ì				╌	初予算		_	1,770			885
づく の育	り計画は成を重	に位置づ 点的に推	けられ 進し、	た大規模 農業産出	園芸産地	110	受益農	家:1戸	「後継者	(就農)			Ⅱ	: 算 額			1,617			809
	ざすも					$\vdash$							-II	4計画			1,770			885
						R4							╌	初予算			1, 110			+
													╌	: 算 額						
						$\vdash$							┩┢	5計画		5	1,770			885
						R5							╌	初予第			1,110			- 000
<:	令和3年	F度の取約	組内容(	計画) >									╌	: 算 額						
活力	あふれる	る園芸産	地整備	事業補助		$\vdash$							┩┢	6計画		5	1,770			885
、生	産基盤、	、機械施	推進する設等の	るための 整備に対	栽培施設  し補助金	R6							╌	初予算	-,		1, 110			1
を交	付する。	,											Ⅱ	: 算 額						-
新規	品目導力	入による <sub>整備</sub> )	規模拡大	大(ぶど	`う新植苗	$\vdash$							-II	7計画		5	1,770			885
144	пллецха	CE VHI /				R7							╌	初予第	2,00	J	1,770			- 000
													Ⅱ	: 算 額						+
														· 画 額	-	5	8,850			4, 425
								<b>R</b> 3	~ R7	수 :	<b>i</b> +		11	初予第	,		1,770			885
								110	107	н .	41		╌	算額		_	1,617			809
	T	57 Jan J	k læ 6			III III		Mr. II. de val	Arr.)	1 6	, a, <del>-, -, -</del> , -	. 1_		жи	***	<b>D</b> 0				
		評価?	指標名		1 指	標値の	)説明(	算出方法	(等)	2	計画指標	R 2	2 実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
С	1 補助	事業申請	車姿		新規品目	導入に	こよる規	模拡大	(ぶどう	新	総合戦	比略		件	目標値 実績値		-			-
	1111111111	于木下的	77177		植苗代、	棚施調	2整備)				個別計	一画		%	達成率	100.0	-			
活動										$\top$	総合単	L m/r			目標値	100.				-
指標	2 _														実績値					
											<b>個別</b> 計	ГШ		%	達成率					
											総合計	画		件	目標値		1			
D	1 補助	金交付件	:数		■補助金を より生産				事業実施( 数)		総合戦	比略		117	実績値		1			
成										V	個別計	画		%	達成率	100.0	)			
果指											総合計	画		-	目標値					
標	2 —										】 総合戦				実績値					
											個別計	画		%	達成率					
E	評価対	対象外の3	理由(	0 評価対	対象													(対象外事	業は <b>F~I</b> i	(未記入 可)
						平価項目	= /5つ	の視占	(1~5点	で評価	)						·次評価			(課長等)
	-										<u>'</u>	1		<b>.</b>	→ 1 -: F	評	西点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市	民満足(	市民アン	/ケート)	の向上が	期待で	きる事業	(内容と	なってい	るか		なって	いない	⇒	→ 4 → 5 なっている		5 点		5 点	
評	2. 事	業の優先	度は高し	\と思うフ	か(同じ成	果指標	設定事業	<b>美内での</b>	優先度)				→ 2 - <b></b>		→ 4 → 5 優先度高い	$\dashv$	4 点		4 点	
1	3 事	業計画 ど	セルーす	世帯大准)	めることが	でキャ	4)					1 -	→ 2 -	→ 3 -	→ 4 → 5		5 点		5 点	1

大分県立農業大学校と連携を図ることが出来た。今度も関係機関と連携しながら事業を推 進する。

3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか

4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

【担当係長の意見・課題・改善策等】

価

H 【担当課長職等の所見】

推移していない ⇒

1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推

推移した

5点

日 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善束等を踏まえた課長職等の所見「ぶどう」による新規品目導入に伴う棚施設整備を実施し、果樹専作農家の経営安定に資する取り組みができた。また、本事業の実施主体は後継者が大分県立農業大学校を卒業して親元就農するケースであり、息子の就農にあわせて規模拡大が図られた。引き続き、豊肥振興局生産流通部の普及員と連携して、後継者(息子)の営農指導等フォローアップを図っていく。

24 点

/25点

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

5点

24 点

/25点

※今後の事業の進め方等

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 農業振興係 課局名 95001 6 (令和 3 年度決算) 事 務 価 農業振興課 係名 事 業 細事業 園芸産地整備事業 実施計画事業 白ねぎ導入・拡大支援対策 園芸振興事業 総合計画体系図No.-策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 第4次農業振興計画 別計 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 款 策 技術支援アドバイザー謝礼金 6 1 農業の振興 年度 22 項 1 施策展開 ②収益力の向上をめざした生産振興 白ねぎ導入拡大支援事業補助金 8,000 名 年度 ~ 目 4 後期基本計画 23 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 決算 99 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 -般財源 <事業の目的> 白ねぎ導入・拡大支援対策に伴う技術支援アドバイザー設置対策による新規事業開設農業者等への技術支援及び機械整備支援を行う 技術支援アドバイザー 1名 22 白ねぎ機械導入 6,518千円 "種苗等助成 13,798千円 225千円 R 3 計画 8, 225 4, 112 4, 113 R3 当初予算 4, 112 4, 113 8, 225 土壌改良 3,550千円 9, 088 決 算 額 23,866 14,778 R 4 計画 4, 113 8, 225 4, 112 R4 当初予算 93, 798 35, 361 58, 437 決 算 額 R 5 計画 8, 225 4, 112 4, 113 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 技術支援アドバイザー 1名 白ねぎ機械導入 8名 R6計画 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 R7 当初予算 決 算 額 計画額 24,675 12, 336 12, 339 当初予算 62,549 R3 ~ R7 合 計 102,023 39, 474 決 算 額 23,866 14,778 9,088

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		技術支援アドバイザー (1名) が行う相	総合戦略		件	目標値	45	60	60		
С	1 技術支援相談対応	談対応件数	個別計画		<u>†</u>	実績値	45				
活		5回/1月あたり×12月			%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略		件	目標値	8	8	8		
標	2 補助事業申請事務	白ねぎ機械導入 8件	□ 個別計画		17	実績値	8				
					%	達成率	100.0				
			総合計画		件	目標値	8	8	8		
D	1 補助金交付件数	補助金を交付した件数(補助事業実施に より生産拡大に取り組んだ件数)	□ 総合戦略		14	実績値	26				
成		5 / 工屋が((一次 / 川町/0/12   1 多人)	✔ 個別計画		%	達成率	325.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率		·		·	
Е	評価対象外の理由 0 評価対	·     象	<u>'</u>					(\$	対象外事業は	t <b>F~Ⅰ欄</b> ≉	記入 可)

-次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点 3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 4点 4点 なっている なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 5点 5点 評 優先度低い 優先度高い 3 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 5点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 24 点 5点 24 点 推移していない ⇒ 推移した → 3 → 4 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 /25点 5点 /25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 機械整備や種苗代、肥料農薬代、土壌改良などハード、ソフト両面による支援 ができた。更なる新規栽培者の確保に努めるとともに、未マッチングの農地に対 する耕作者の確保を行う。

県が主導して始まった「おき100億円プロジェクト推進事業」に取り組み、白おき既存農家の規模拡大、新規栽培者の確保(16名)が図られた。規模拡大や新規栽培を開始するにあたり必要な機械整備や種苗代、肥料農業代、土壌改良などハード、ソフト両面による支援が行われ、令和4年度から順調に栽培が開始されている。今後は、更なる新規栽培者の確保に努めるとともに、未マッチングの農地に対する耕作者の確保を行う。現在、市内において耕作者のマッチングを行っているが、市内で確保できない場合は、市外からの入り作により耕作者の確保を行うこととし、年内までに集積農地のマッチングが完了できるよう進めていく

推移した

I 令和	-5	年	度	の	事	莱	の	方	同	性
------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

A. 現状のまま継続

ı			
事業番号		枝番	
95007		1	
事業	園	芸振頻	車
		- / /	

(様式1) (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) (令和 3年度決算) 事 課局名 農業振興係 務 価 農業振興課 係名 JAおおいたぶんご大野生産部会補助 事業 細事業 団体補助金 実施計画事業 なし 総合計画体系図No.→ 会計 一般 政 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 第4次農業振興計画 JAおおいたぶんご大野生産部会補 別計 \_\_R3 年度 ~ 款 施 策 期間 1, 498 6 1 農業の振興 年度 R7 項 1 施策展開 ②収益力の向上をめざした生産振興 名 後期基本計画 23 P 年度 ~ 目 4 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 決算 99 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 JAおおいたぶんご大野生産部会に所属する各部会の取組を支援し、農業産出額の向上につなげ、農業所得、経営の安定を図る。 J Aおおいたぶんご大野生産部会に対し活動補助 金を交付した。 部会毎に安全で安心な食糧を安定的に供給する体 制づくりに向けて活動を行った。 R 3 計画 1,498 1,498 R3 当初予算 1,498 1,498 決 算 額 1, 498 1, 498 R 4 計画 1, 498 1,498 R4 当初予算 1,498 1,498 決 算 額 R 5 計画 1,498 1,498 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 JAおおいたぶんご大野生産部会に対し活動 補助金を交付する。 R6計画 1, 498 1,498 ・豊後大野フェア (トップセールス) ・農業委員会、農業団体との意見交換会 ・豊後大野市ふるさと祭りへの参加 ・安全で安心な食糧を安定的に供給する体制 を確立し、消費者に信頼される農産物づくり と地産地消活動を行う。 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,498 1,498 R7 当初予算 決 算 額 計画額 7, 490 7,490 当初予算 R3 ~ R7 合 計 2,996 2,996 決 算 額 1,498 1,498

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		IAおおいたが市場にて行う販売促進の	総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
С	1 トップセールスによる販売 促進	JAおおいたが市場にて行う販売促進の際に市長が同行してトップセールスを行	個別計画		ш	実績値					
活	,	う回数			%	達成率					
動指	IAどんごむむの生産郊今		□ 総合戦略		口	目標値	3	3	3	3	3
標		総会(1回)、役員会(2回)	□ 個別計画	2	Ш	実績値	2				
	催				%	達成率	66. 7				
			✓ 総合計画		億	目標値	82	82	82	82	82
D	1 年間農業産出額 82億円		✓ 総合戦略		円	実績値	62				
成			✓ 個別計画		%	達成率	75. 6				
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	16 点	3 点	16 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

#### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

コロナ禍において販売促進活動が計画どおりに実施できなかった、令和4年7月の福岡大同青果市場トップセールスが計画されている。WITHコロナの中で、実行可能な事業を支援していく。

#### 令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 農業振興課 農業振興係 95007 2 務 価 係名 事 業 園芸振興事業 細事業 団体補助金 実施計画事業 葉たばこ生産協議会補助事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 第4次農業振興計画 別計 策 1 農業の振興 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 款 年度 葉たばこ生産協議会補助金 180 6 項 1 施策展開 ②収益力の向上をめざした生産振興 名 後期基本計画 23 P コロナ充当 期間 年度 ~ 目 4 過疎計画 総合戦略 決算 99 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 葉たばこ生産協議会の育成強化と耕作技術と 経営の改善、強化を図り、産地収益力の向上 に資するため、協議会育成活動等に要する経 費について補助するもの。 ピクリン缶の収集及び缶つぶし(適正処理 R 3 計画 180 180 ・生産コスト低減の検討 R3 当初予算 180 180 ·健苗育成(共同育苗実施) 決 算 額 180 180 R 4計画 180 180 R4 当初予算 110 110 決 算 額 R 5 計画 180 180 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・ピクリン缶の収集及び缶つぶし(適正処理 R6計画 180 180 ・生産コスト低減の検討 R6 当初予算 ・健苗育成 決 算 額 R 7計画 180 180 R7 当初予算 決 算 額 計画額 900 900 R3 ~ R7 合 計 当初予算 290 290 決 算 額 180 180

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	3	3	3	3	3
С	1 総会、役員会の開催		□ 個別計画	2	ī	実績値	6				
活					%	達成率	200.0				
動指			総合戦略		回	目標値	1	1	1	1	1
標	2 ピクリン缶回収及び処分作 業		□ 個別計画	1	ī	実績値	1				
	, i				%	達成率	100.0				
		葉たげこについてけ 制度上 新規作付	総合計画		億	目標値	2	2	2	2	2
D	1 葉たばこ販売金額の維持	葉たばこについては、制度上、新規作付けが認められていないため、現状の販売	□ 総合戦略	2	円	実績値	1.8				
成		金額維持を目標とする。	✔ 個別計画		%	達成率	90.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
F	証価対象外の理由 ○ 証価対	· <b>台</b>	-					(+	t 争从事業1-	+E~!##	=== a

(対象外事業はF~I欄未記入 可) 評価対象外の理由 | 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	23 点	5 点	21点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	/25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

令和3年度のJT廃作奨励により耕作者が減少したため、令和4年度補助金の減額した。共同育苗や農薬缶適正処理が計画どおりに実施されており、今後も支援を行う。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

【担当課長職等の所見】

葉たばこ生産協議会に対して、品質の統一を図ることを目的とした共同育苗の実施や農薬空き缶(ピクリン缶)の共同適正処理などに取り組むことに対して補助金を交付した。 共同育苗や農薬缶適正処理が計画どおりに実施されており、今後も支援を行っていく。 また、令和3年度においては、JTの廃作奨励が行われたことで耕作者が減少したため、令和4年度の補助金については、協議会役員と協議のうえ、減額することとした。

#### 令和5年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

寻	業番号		枝番		( •	令和	和	3	年	度	E #	H [	囙	)	総	合	計	画	実	施言	HŒ	<u> </u>	ŧ	()	ŧi	℄捌	计值	理)											(1	様式 1 )
9	95009		1		( 1	<b>齐</b>	O	3	年	度	2	夬ĵ	Į.	)	事	Į.	矜	ş	事		業		評		価	i	誹		۱ ا	課局	3名	農	業	振興語	果	係名	名	農	<b>Ě振</b>	興係
事	業	園芸	<b>卡振</b> 頻	事業									糸	事	ŧ	戦	略品	品目產	<b>歪地</b>	化フ	°П	ジェ	ク	ト支	援	事業	16.	実施計	画事	業	线略品	目産均	也们	Lプロ:	ジェク	ト支援	事業		了 度	R5
			体系图				_		_	<u> </u>	1. 5														T F	-													T	
会計		<u> </u>	<b></b>	策						を3	支え	こる	L.	ごと	かる	5る:	まち	)								100		次農業							3 年度 目産地(1				当	初予算額
款	6	H	をなる	策	_		能の	,	•	4	12.	۱ مل	2.	ムカ	r: +1=21	GRt									1 1	5 I	期間	R3	年	度 ~	R7	年度		事業補具				1 22		37
項	4	-	施策原 後期		ŭ				÷	18 -	~) —	_	_	生産計画	1	<b>兴</b>	4/	総合単	± mÆ	Г	_	70	ナ弁	2 214		画名	期間	1	<i>/</i> =	度 ~		年度	ŀ							
決算	99		1友分	<b>本</b> 平	司口四	1	43				ᆜ	ᄱ	坏	51四			160	8 <b>二</b> 书	人中台	L		ᆲ	ול לו		J L		刑旧	ı	-	及 ~		十尺	F							
八升		Α	事業	目的	内	容	・実	橨																			7 6	B 事業	Ħ	画額	決算	領等	L						_	
		事	業の	目的	۲	容	!				-	年度						主	な記	5動	実績	Ī								事	業費計	国间	<b>∃</b> . ₹	支出金	地方	財源内		の他	_	· 千円 ・般財源
<1	業の目	的>	Str. Lile	// . T7 ×	100		1:	. // .	2									安整係				l					11	R3計	画		375	-	ベン	СПТ	267.	人民		عار ده		37
に図	重点品											R3	3	<ul><li>カュ</li></ul>	ん	しよ	貯屑	(庫)	文修	1	件						H	当初予	-		375	;								37
るも	の。																										H	決 算			90									g
													1														Ш	R 4計	画		500									50
												R4	ı,														П	当初予	算		1, 150									1, 15
																											П	決 算	額											
																											Ш	R 5計	画		500	)								50
												R	5														Ш	当初予	算											
	令和3年							_	v. :																		Ш	決算	額											
]	秋なす新		<b>杖</b> 培	<b> 首</b>	文整:	備!	事業	L	夫7	よす	_																Ц	R 6計	画											
<ul><li>カン</li></ul>	箇所予定 んしょ則		庫改作	多事美	É							Re	6														Ц	当初予	算											
3万	予定																										Ш	決 算	額											
																											Ц	R7計	-											
												R7	1														Н	当初予	-											
												L							_								4 6	決 算												
																_	•					=1					H	計画			1, 375	+							-	1, 37
																R	3	~	R7	1 6	ì	計					П	当初予			1, 525	+								1, 52
																											П	決算	頟		90	1					l			9

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	5	5	5		
С	1 補助事業申請事務	夏秋なす施設整備 (2件) かんしょ貯蔵庫改修 (3件)	□ 個別計画		17	実績値	1				
活					%	達成率	20.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		件	目標値	5	5	5		
D	1 補助金交付件数	補助金を交付した件数(補助事業実施に より生産拡大に取り組んだ件数)	□ 総合戦略		17	実績値	1				
成		0 7 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	□ 個別計画		%	達成率	20.0				
成 果 指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値		·			
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 (対象外事業はF~I欄未記入可)

 デ価項目/5つの視点(1~5点で評価)
 一次評価(係長)
 二次評価(課長等)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価	1(徐長)	— 火評価	(謀長寺)
	計画項目グラフの代点(1~5点で計画)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	Ⅰ1 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか ――――	→ 2 → 3 → 4 → 5 いない ⇒ なっている		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 1 - 優先	→ 2 → 3 → 4 → 5 度低い ⇒ 優先度高い		3 点	
価	Ⅰ3 事業計画どおりに事業を進めることができたか ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	→ 2 → 3 → 4 → 5 たかった ⇒ できた 3点		3 点	
Щ	A 活動指標の達成状況(薬)は計画どおり推移しているか	→ 2 → 3 → 4 → 5 ていない ⇒ 推移した	15 点	3 点	15 点
	15 成単指標の達成状況(薬)は計画どおり推移しているか	→ 2 → 3 → 4 → 5 ていない ⇒ 推移した	∕25点	3 点	∕25点

I 令和5年度の事業の方向性

♪ A. 現状のまま継続

											• • •	_																				(様式 1)
事業番号	枝番																				-	理)		-					1			
95009	2	(	( 令:	和 3	} £	手月	更为	决!	算	)	事		務	耳	<b>F</b>	業	ā	Ŧ	佂	5	調	書	Ē	果局名	J	農業	<b>Ě振興</b> 詞	果	係名	4	農業技	<b>辰興係</b>
事業	園芸振興	事業							糸	田事美	ŧ	戦	各品	目産	也化フ	r <sub>П</sub> ;	ジェク	クト	支援	事業	Silv	実施計画	事業	₹ 重量9	<b></b> 野菜省	力	化支援	事業			終了 年度	
	+画体系图																															
会計 一般	政	<i>&gt;</i> \<		豊かな!			支;	える	し	ごと	があ	るま	きち							1111	第 4	次農業	振興	計画			令和 3	年度	主な詞	表出名:	称 :	当初予算額
款 6	施	策	1 農	業の抜	長興	ļ													4	別 計 –	期間	R3	年度	~ R7	年月	度	重量野芽	菜省力(1	比支援事	F業補助	力金	50
項 1	施策原			益力の		_	とめ	_	_		1	_							4	画名												
<b>目</b> 4	後期	基本計	一画	23	Р			遁	疎	計画		<b>'</b>	総	合戦	各 [		コロナ	-充当	á	П	期間	1	年度	~	年月	度						
決算 99	4 事業	目的・	内容	・実績																		B 事業	計画	額・決算	<b>車額等</b>	,						
	事業の	日的人	- 内2	ż.				年						主だ	活動	宝績					$\mathbb{I}$			事業費	+				財源内	訳	重)	単位:千円)
<事業の目的		סניום	- 1 3 1	-				度		· °	-					<b>∕</b> √134					41		\		国	]県	支出金	地方	債	その	D他	一般財源
高齢化等によ	り重量					手の作	作			ハリ	<b>ー</b> ス	<b>,</b> —;		3基導	· /\						н	R3計画	-	5	00							50
業の軽減を図	るため	の栓質	′ど州	19079 名	5			R	3												н	当初予算	_		00							50
								L													41	決算を			04							20
								L	_												н	R 4 計画	-		00							50
								R4	4												н	当初予算	-	3	48							34
								L													┨┠	決算を										
								L	_												H	R 5計画	_	5	00							50
	<del>-</del> 4		/= I <del>-</del>	- \				R	5												н	当初予算										
< 令和3年								L	_												┨┠	決算を										
パワースーツ			-	Н				_	٠												H	R 6計画										
								R	b												н	当初予算	-									
								L	_												41	決算を										
								R <sup>1</sup>	,												н	R 7 計画	_									
								К	′												H	当初予算	_									
								H													4 6	決算額	•		00						<del>-  </del>	1 50
												_ ·	,			_	<b>=</b> ⊥				н	計画を	-	1, 5								1, 50
												R:	5 1	~ F	₹7 ‡	<b>≡</b> î	計				H	当初予算	_		48							84
								L													IJL	決算額	摂	2	04							20

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		件	目標値	3	3	3		
С	1 補助事業申請事務	コンテナ積み込みクレーン導入(1件) パワースーツ導入(2件)	個別計画		1	実績値	3				
活		47			%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		件	目標値	3	3	3		
D	1 補助金交付件数	補助金を交付した件数(補助事業実施に より生産拡大に取り組んだ件数)	□ 総合戦略		1	実績値	3				
成		00 ) III 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 /	✔ 個別計画		%	達成率	100.0				
成 果 指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	<del></del>		•			•	(\$	対象外事業に	ま <b>F~I欄</b> を	<b>未記入 可)</b>

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 F なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 4点 4 点 評 優先度低い 優先度高い → 4 <u>→ 5</u> 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 4 点 19 点 4点 19 点 推移していない ⇒ 推移した  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 

	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点	/25点	4 点	/25点
ĺ	G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】	※評価・改	善策等を踏ま	えた課長職等	手の所見
	園芸重点推進品目のうち、重量野菜であるかんしょ、里いもの生産振興を図るため、農作業の省力化をめざしたパワースーツの導入推進を図り、かんしょ農家3名が導入した。収穫の際の積み込み時に省力化がされるため、使用者の評価は良好であった。また、コンパクトクレーンについても法人が導入に向けて検討していたが、他品目(白ねぎ)へ注力したいとのことで事業要望の取下げとなった。 令和4年度においては、評判のよかったパワースーツの導入予定台数を5基への増やし、更なる省力化を進めていくこととする。改めて、JA各部会へ周知徹底を図る。	にが導入を推進する。	<b>こ</b> し、コンパ	クトクレーン	についても	生人を中心

I 令和 5 年度の事業の方向性

⇒ B. 見直しの上で継続-1 拡充

寻	業番号	枝番		( 4	和	3	年	度	H i	画	)	総合	信信	一画	実加	布計	画	書	兼	<b>售</b> 捗	管	理)									(様式	1)
	95009	3		(令	和	3	年	度:	决!	j	)	事	<b>矛</b>	务	事	亨	ŧ	評	Ø	i 1	調	書	課月	<b></b>	農	業振興詞	果	係名	各	農業	振興係	
事	業	園芸振興	事業							細	事業	¥	と   北略	品目	産地	化プロ	ロジ	エク	>支援	事業	実	ミ施計画	事業	労働環境	竟改善	補助事業	<b></b>	•		終了年度		25
		画体系図	]No.→																													_
会計	一般	政	策	I :	豊かれ	な生	三活を	r支.	える	しこ	ごとカ	ぶある	まり	5					4	1100		次農業振				令和 3					当初予	算額
款	6	施	-		農業の							( and the							4	計	間	R3 *	年度 ~	R7	年度	労働環境	竟改善	支援事業	<b>Ě補助</b>	金		30
項	1	施策風			益力		_	_				振興	,							画名												
目	4	後期	基本語	計画	23	F	2		遊	疎言	十画	L	] i	総合	戦略		-	ロナ充	当	期	間	-	年度 ~	,	年度							
決算		事業目	的・	内容	字・写	旲橨															E	3 事業計	画額	・決算	領等							
		事業の	目的。	と内	容				年度					Ė	上な活	動実	.績						事	業費計		±	Life.	財源内			単位:千	
<1	事業の目的	ሳ>							15	-	商易	トイレ	/設計	置	0箇月	fr					F	3計画		200	_	支出金	地	方債	そ	の他	一般則	<b>才源</b> 30
圃場ため	<b>事業の目的</b> 等で行う の経費を	農作業等補助する	等の労 ち	分働時	環境改	女善	を行	う	R		H1 90		HAI	<u> </u>	VШ//	1					$\vdash$			300	1							30
/200	*//EAC	1111-53 / 6	2						K.	3											$\vdash$	当初予算 央 算 額		300								30
									H	-										_	$\vdash$	ス チ 顔	-	300								30
									R4	4											┢	当初予算	-	438								43
									ľ	•											⊢	大 算 額	1	100								-10
									H	+											H	R 5計画	-	300								30
									R	5											⊢	当初予算	1									
<:	令和3年	度の取組	内容	(計画	画) >																┢	央 算 額	-									
簡易	トイレ設	置 3億	節所						H												Н	₹6計画	+									_
									R	6											븰	当初予算										
																					Ħ	央 算 額	į									
									r	T											F	R 7 計画	i									
									R	7											븰	当初予算										
																					Ħ	央 算 額	į									
									Г												ā	計画額	į	900								90
												ı	₹3	~	R7	合	Ē	ŀ			븰	当初予算		738								73
																					Ħ	央 算 額	į									
		評価指	標名			Τ		指	標値	の訪	胡	(算出	方法	等)		T	各	計画指	標	R2実	緩値	直単位	達成	度	R3	R	4	R5	T	R6	R	7
						Ť										T		<b>經</b> 合	戦略			/tl-	目標	値		3	3		3			_
С	1 補助事	業申請	事務			育	商易	トイ	レ設	2置	支援	(3件	‡)						計画			件	実績	値								
活						$\perp$											Ш	间分	前凹			%	達成	率								
動																		松石	半水				目標	傾								

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		総合戦略		仕	目標値	3	3	3		
1 補助事業申請事務	簡易トイレ設置支援 (3件)	個別計画		-	実績値					
				%	達成率					
		□ 総合戦略			目標値					<u> </u>
2 _		□ 個別計画			実績値					
				%	達成率					
		総合計画		IH-	目標値	3	3	3		
1 補助金交付件数		□ 総合戦略		14	実績値					
	3.7 工产ID/(10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/1	✔ 個別計画		%	達成率					
		総合計画			目標値					
2 —		□ 総合戦略			実績値					
		□ 個別計画		%	達成率					
	1 補助事業申請事務 2 — 1 補助金交付件数	1 補助事業申請事務     簡易トイレ設置支援(3件)       2 -     1 補助金を交付した件数(補助事業実施により生産拡大に取り組んだ件数)	1 補助事業申請事務       簡易トイレ設置支援(3件)       総合戦略         2 -       総合戦略         1 補助金交付件数       補助金を交付した件数(補助事業実施により生産拡大に取り組んだ件数)       総合戦略         ビ 個別計画         2 -       総合戦略         ビ 個別計画         2 -       総合戦略         ビ 総合戦略       総合戦略         総合戦略       総合戦略	1 補助事業申請事務       簡易トイレ設置支援(3件)       一総合戦略	1 補助事業申請事務     簡易トイレ設置支援(3件)     一総合戦略 個別計画     件       2 -     一総合戦略 個別計画     中       1 補助金交付件数     補助金を交付した件数(補助事業実施により生産拡大に取り組んだ件数)     一総合戦略 図 個別計画     件       2 -     総合戦略 図 個別計画     %       2 -     総合戦略 図 の計画 図 総合計画 図 総合計画 図 総合戦略	1 補助事業申請事務     簡易トイレ設置支援(3件)     一     総合戦略 回個別計画     件     実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値	1 補助事業申請事務     簡易トイレ設置支援(3件)     一個別計画     件 接値 字鏡値 字鏡値 字鏡	1 補助事業申請事務     簡易トイレ設置支援(3件)     総合戦略	1 補助事業申請事務     簡易トイレ設置支援(3件)     総合戦略 回別計画     件 接値 3 3 3 3 字 接値 96 達成率 96 達成率 97 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	1 補助事業申請事務     簡易トイレ設置支援(3件)     総合戦略

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2 点		2 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	1点	10 点	1点	10点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	1点	/25点	1点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 あった。 令和4年度においても、当初から数件の相談を受けており、農家への周知が浸透してきたと 判断しており、引き続き推進を図っていきたい。(令和4年10月申請予定者1名、6月現在検討 中が2名という状況)

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 簡易トイレ設置事業については申請が上がっていないが、農家の意識変革も見られることから、引き続き推進を図る。

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

 $\Rightarrow$ 

4,000

哥	<b>事業番号</b>		枝番		( •	令和	3	年	度!	HŒ	画 )	i	総合	計信	画実	施	計画	書	(兼	進	步管	理)								(2	様式 1
	96001		1		( 1	和	3	年	度	决 Ĵ	車 )	4	事	務	Į	į.	業	評		価	調	書	誀	局名	農	業振興	課	係名	農業	再生:	協議会
事	業	経	営所得	安定	対領	等交	付金	企事	<b></b>		細	事業	糸	<b>E</b> 営所	得安	定対	策等持	<b>推進事</b>	業		Silv	<b>実施計</b> 画	事業	経営所得	导安定	対策等	推進事業	業		了度	なし
	総合	計画	体系区	]No.→	(	19 )															-			•					•		
会計	一般		攺	策	I	豊か	な生	三活を	*支	える	しご	とが	ある	まち							豊後ビジ		水田山	又益力強化	Ł			主な歳出		当	初予算
款	6		施	策	1 )	農業の	の振	興													期間		年度	~	年度	経営所金	得安定対	策等推進	事業補助		20,0
項	1		施策風	開	(2)J	収益フ	りの	向上	をめ	ざし	た生	上産技	辰興							画											
目	5		後期	基本	計画	1 2	3 F	0		過	疎計	画		総	合戦	佫		コロナチ	产当	名	期間		年度	~	年度						
決算	100	]_	-	- 44	_	nën r	-																		= **						
			事業目				天模			年	· T										ר ר	<u>ラ テ来</u> ! \		復・決算者	<del>貝守</del>	•		財源内部	1	(単位	立:千円
		특	業の	目的	と	容				度					主な	活重	力実績							<b>事業費計</b>	国県	支出金	地方	債	その他	Τ-	-般財》
<b>&lt;</b> 2	<b>事業の</b> 目 所得安	<b>的</b> 之	・ 第筌2	か付っ	全事	業の:	宝旃	(*	· Ø		経	営列	斤得多 四 <i>作</i> 地	定定対	策等	の実	施仕会	主教			76	R 3計画	i i	20,000		20,000					
生産	調整等	)	>K 11 >	~13.	ur 2	,,,,,,	/\nE	(//-		R3	3	• 7	く田清	年用の	直接	支払	交付	金事務	zle.			当初予算	Į	20,000		20,000					
												• 7	K田・ (収フ	畑作 減少	経宮原	ŋ得 緩和	女正》 対策)	対策事	撈			夬 算 客	Ą	15, 596		15, 596					
																					╗	R 4計画	<b>I</b>	15,000		14,000					1, 0
										R4	ı											当初予算	Ţ	15, 050		15, 050					
																					H	夬 算 客	Į.								
										F	1										╁	R 5 計画	3	14, 000		13,000					1, 0
										R.S	5										H	当初予算	ī			,					
<	令和3年	王度(	の取組	内容	* (計	·画) >	>														II⊢	央 算 客									
経営	所得安	定対	策等0	つ実力	· 征						+										4 F	ス チ II R 6 計画		13, 000		12,000					1, 0
	畑作物 水田活	用の	直接。	ナおっ	ケイナ	全事	答			Re											I⊩	当初予算	4	10,000		12,000					1,00
	水田・火田・火田・火田・火田・火田・火田・火田・火田・火田・火田・火田・火田・火田	畑作	経営所	斤得:	安定	対策!	事務			W.C											Ι⊩	ラヤジンチ  決 算 客	-								
1	(-1,0,7,0)	VX 2	40 E-10	X TH	1) //	′															111	大 异 仓	팃		1						

R 7 計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

13,000

75,000

35,050

15, 596

12,000

71,000

35,050

15,596

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		ы	目標値	1	1	1	1	1
С	1 説明会の開催	説明会の回数	個別計画	1	口	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
D	1 米の生産調整の達成率	達成率	□ 総合戦略	100	/0	実績値	100				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 Ε (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/5つの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \red{0.05cm}  &                                  $	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 #我! ていない ⇒ #我! た	3 点	∕25点	3 点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

米の生産調整である需要に応じた主食用水稲の作付け計画は達成できた。 経営所得安定対策推進事務において、営農計画書及び交付申請書の配布と回収、電算入力、転換作物の現地確認と電算入力等の業務及び農政局への報告及び申請業務は問題無く完了した。 また、令和4年度から業務改善の中で水田協力員の廃止に伴い、営農計画書及び交付申請書の配布、受付業務の円滑化、可視化、効率化を図るため、営農管理支援システムを各会場で利用できる環境を整え、農業者にとっても利便性の高い業務を行うようにする。

R7

国の方針を見極めつつ、業務改善を図りながら適切な人員を配置し、申請者の利便性を高める。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

# 令和5年度の事業の方向性

1,390

576

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 評 農政企画係 97001 1 務 業 価 農業振興課 係名 事 業 中山間地域等直接支払事業 細事業 中山間地域等直接支払推進事業 実施計画事業 中山間地域等直接支払推進事業 なし 総合計画体系図No.→ 第4次豊後大野市農業振興 計画 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 施 策 1 農業の振興 期間 消耗品費 640 6 年度 ~ 年度 R3 R7 項 施策展開 ⑦地域資源を活かした農村づくり 1 画 通信運搬費 242 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 中山間データ更新委託料 目 6 後期基本計画 24 P 過疎計画 ~ 総合戦略 154 決算 101 燃料費 100 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 中山間地域等、耕作の条件不利地において、集落協定等を締結し、5年間以上継続して、 農業生産活動等を行う農業者等に対し、田・ 畑別、傾斜別に単価を設定して直接支払交付 各協定を対象とした説明会を開催するよう準備を進めたが、コロナ 構化より中止とた。代わりに資料化を行い、電話や画像とで協定 からの質疑に完えることで制度の関かを図った。また、前線及びホー ムページで本間を紹介し新規の取録を募った。 その他、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書 類による審査を行った。 R 3 計画 1, 155 587 568 R3 当初予算 568 587 1, 155 決 算 額 1, 144 568 576 金を交付する。 R 4計画 500 1,000 500 R4 当初予算 1,587 803 784 決 算 額 R 5 計画 1,000 500 500 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 各協定を対象とした説明会を年1回開催するとともに、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募る。また、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行う。 R6計画 1,000 500 500 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 500 1,000 500

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		・協定役員等を対象とした制度説明会の	総合戦略		口	目標値	3	3	3	3	3
С	1 説明会の開催及び広報活動	開催 1回  ・市報での制度紹介 1回	□ 個別計画	3	피	実績値	3				
活		・ホームページでの制度紹介 1回			%	達成率	100.0				
動指		・全協定農用地を対象とした現地調査	□ 総合戦略		口	目標値	2	2	2	2	2
標	2 実施状況の確認	2,386ha (R2年度実績) 1回 ・全集落協定を対象とした実績受取協議	□ 個別計画	2	Ш	実績値	2				
		174協定(R2年度実績) 1回			%	達成率	100.0				
			□ 総合計画		la o	目標値	2, 388	2, 390	2, 390	2, 391	2, 391
D	1 協定農用地	・協定農用地の面積	□ 総合戦略	2, 386	ha	実績値	2, 419				
成			✔ 個別計画	i	%	達成率	101.3				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値		·			·
			□ 個別計画		%	達成率		·			

R3 ~ R7 合 計

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

5, 155

2,742

1, 144

2,568

1,352

568

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	20 点	5 点	20 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 第5期対策2年目が終了し、第4期対策からの変更点もあったが、実績報告の受取協議などを見ると、制度について概ね周知ができていると思われる。しかし、未だに集落協定内での争議で苦情や相談を受けることから、本制度の徹底や地域内での合意形成の重要性を協定役員等に対して説明していきたい。

R7

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

集落協定内での争議で苦情や相談が多い、未然に防止することも視野に入れながら、民主的な協定運営をしてもらうよう働きかける。

令和5年度の事業の方向性

205, 706

103, 555

事業番号	<del>를</del>	枝番		(令和	Д 3	年	度	計	画)	) #	総合	計画	実施	西計i	画書	- ( )	東進	捗'	管理	理)									(様式1)
97002		1		(令和	1 3	年	度	決	箅 )	) ]	ļ.	務	事	業	ŧ į	平	価	Ī	調	書	課月	<b></b>	農	業振興	課	係名	3	農政	企画係
+ *	I		1.45 6-6-			NII.			Δm	<del></del> .u.	1		1 - b toto	<del></del>		/ I A				++=1	+ 444	ula . I . BB I	114 L-P- An	Λ· → t- Lob → -	h// l.	V == 746	. 1	終了	2 2 1
事業			· ·	直接支	払事	兼			粬	事業	甲	山間地	域等画	1.接文	、払父	付金			美	施計画 <del>·</del>	争耒	中川间:	地攻等	等直接支	払父付:	金事業		年度	
会計 一般		体系区 政	No.→ 策	( 46 I 豊)	) 10.72/	上江	た古	ラス	1 ~	゛レポ	なるせ	t +_					ΤГ	第	4 1/2	マ豊後大	一野市	農業振	쥂	△f⊓	2 年度	<b>→</b> +>±	&出名称		当初予算額
	<b>⊣</b> ⊢		,,,				坐又	んる		//-	めるョ	50						計	画					中山間					
款 6 項 1	╛┝	施策風	策	1 農業 ⑦地域		., ,	1	+- E	±++.	ベノル							一直	t	[日]	R3 4	年度 ~	R7	年度	中川间	地東寺區	1. 按义化	4父刊 金		398, 619
	ℲͰ			0 - 7	., ,,,,							6/3 A	₩b.mæ		70.	ナ充当	I iii		BB.										
	4 L	佐 别	基 <b>本</b> i	計画	24	Р	~	j 10	疎計	↑凹	~	総合	戦略	Ш	<b>ДН</b> :	ア元ヨ	╛┖	别	间	2	年度 ~		年度						
決算 101	$^{\perp}_{A}$	事業目	的	内容・	実制	ŧ													В	事業計	画額	・決算	領等						
	1	業の	目的	と内容				左				Ė	上な活	動実網	責						事	業費計		3 <del>1.</del> A		財源内			単位:千円)
<事業の	目的)	<u> </u>						15	-	各協定	と対象と	した説明	会を開催	けるよ	う準備を	進めた	が、コ	ュナ	_	3計画	-	000 010		支出金	地方	頂	その	也	一般財源
中山間也	加域等	耕植	乍の乳	条件不利	月地に	おり	いて	_	祖か.	によりい	P止した そに答え ○本制度	。代わり ることで た紹介!	会 管料 に 管料 に 変 に 変 の の し の し の し の し の し の し の し の し の し	付を行   知を図	い、電話 った。ま	や面談: た、市	などで 報及び	協定 トー	┢		_	398, 619		298, 963					99, 656
、集落協定 農業生産活 畑別、傾余	動等	を行っ	農業	者等に	へ対して対し	:///L (	日 ·	R	3 類	その他、 による	各協定 Y査を行	による実 った。	施状況を	確認す	るため母	地調査	及び証	0.書	-	初予算	-	398, 619	-	298, 963					99, 656
畑別、個別金を交付す	おりに	- 単価で	と設力	E U ( I	主接ス	C140	<11	_										_		: 算額	-	414, 218		310, 663					103, 555
								_											┢	4計画	_	414, 500	+	310, 875					103, 625
								R	4											初予算		424, 196	i :	318, 146					106, 050
								L											H	: 算 額	_								
								ı											-	5計画	<u> </u>	415, 000	) :	311, 250					103, 750
								R	5										当	初予算									
<令和3						1 BB /L	и. ъ-	L											決	: 算額	į								
各協定を るとともに	· 对家 - 、市	せした 報及て	こ記り	H云を年 -ムペ-	- 1 但 - ジて	1開作	直り												R	6計画	i .	415, 000	) :	311, 250					103, 750
と紹介し、記された、記された、記された、記された、記された。	規の協定	取組を による	シ募る	5。 恒状況を	· 確認	はする	うた	R	6										当	初予算									
め現地調査	及び	証拠書	<b>碁類</b> に	こよる審	香査を	行:	· .												決	算額	į								
																			R	7計画	i -	415, 000	) :	311, 250					103, 750

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		・協定役員等を対象とした制度説明会の	総合戦略		口	目標値	3	3	3	3	3
С	1 説明会の開催及び広報活動	開催 1回 ・市報での制度紹介 1回	│ │ │ │ │ 個別計画	3	ī	実績値	3				
活		・ホームページでの制度紹介 1回			%	達成率	100.0				
動指		<ul><li>全協定農用地を対象とした現地調査</li></ul>	│ │ 総合戦略		口	目標値	2	2	2	2	2
標	2 実施状況の確認	2,386ha (R2年度実績) 1回 ・全集落協定を対象とした実績受取協議	□ 個別計画	2	ы	実績値	2				
		174協定(R2年度実績) 1回			%	達成率	100.0				
			□ 総合計画		la co	目標値	2, 388	2, 390	2, 390	2, 391	2, 391
D	1 協定農用地	協定農用地の面積	□ 総合戦略	2, 386	ha	実績値	2, 419				
成			✔ 個別計画		%	達成率	101.3				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値		·			
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	23 点	5 点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 R3年度は新規協定と新たに加算に取り組む協定があり、全体の面積及び交付金額が増加した。引き続き、本制度への取組参加について周知をしていきたい。また、集落協定を対象とした説明会について、新型コロナウイルス感染症対策によりR3年度及びR4年度は中止とし、制度説明の文書を発送することでそれに代えた。新型コロナの状況が落ち着けば、再び説明会を開催し制度の周知を図りたい。 説明会の開催が出来なかったため、今後も、より分かりやすい制度説明文書の 作成に努める。

令和5年度の事業の方向性

R7

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

2, 058, 119

822,815

414, 218

1, 543, 588

617, 109

310,663

事	業番号	枝番	(	令和	3 :	年度	計i	画	) ;	総合	計	画実	施計	一画	i書(	兼進	捗	管	理)										(様式 1)
98	8001	1	(	令和	3 :	年度	決	Į.	) ]	事	矜	事		業	評	価	į	調	書	課	局名	3	農	<b>Ě振興</b>	課	係名	名	農政	企画係
事	業	農業施設	管理事	業				細	事業	農	業族	拉設管理	里事業					身	<b>尾施計画</b>	事業	農	業施証	设管理	事業				終了 年度	
会計款項目決算	一般 6 1 7	施 施 策展	策 1	世かり 農業の 地域資	振り源を	(活か)	した唐		づくり			※合戦略	3	] :	コロナ充当	個別計画名	画期		Ro	野市 年度	~	R7	年度	三重農理委託	村環境科学	度 主なが 改善セン	ノター打	旨定管	当初予算名 2,00 1,30 1,46
决昇	102	事業目	的:	内容・実	穫		-											E	3 事業	画	頓・	決算額	等	十歳農	付公園	管理委託			37
		事業の	目的と	内容			月月月					主な	活動爭	€績						III.	事業	費計	国県	支出金	抽	財源内 方債		の他	単位:千円) 一般財源
く事 梅報の	業の目的	9> :管理運営	サた回:	z			$\top$	農	業施設の 【対象施 ・ 典社母	維持管理 設】 輸改業セン	ンター	①二重應料	· 假始改能+	シンター	- (指定管理)		┪	F	× R 3 計画	ī	(	6, 050		<b>Z</b> = =	۔ ت	73 BC		164	5, 88
加収	ノ.適 9.7/よ	日生建育	5 전 1의 1	g) 0			R	3	千歳農村 ・農村公 ・農林水	現境の著され 環境の著さ 一般で の の で の で の で で の で の で の で の で う の で う の う の	センタ・ お辻河川 折 ①		宋先以古 方中央農村 売所	公園	<ul><li>(指定管理)</li><li>③千歳農村公</li></ul>	廟	1	ì	当初予算	Ĭ	(	6, 011						152	5, 85
								ARE.	· 千品篇	杜德德沙湖	ロセン	ター(空調機 青設置工事	55 15 7 K T/B	日ボーチ	-柱) 2,119,	700円		ž	央 算 額	Ą	19	9, 333						169	19, 16
																		F	R 4 計画	ij	(	6, 050						164	5, 88
							R	4										Н	当初予算	_	12	2, 721		5,000				168	7, 55
							H										┥	Н	央 算 額 R5計画	_	-	6, 050						164	5, 88
							R	5									1	⊩	当初予算	_	,	, 000						104	3,00
<令	和3年月	度の取組	内容(	計画)>														ž	央 算 額	Ą									
	<ul><li>記の維力象施設</li></ul>						Г										1	F	R 6計画	Ī	(	6, 050						164	5, 88
• 農	長村環境	改善セン	/ター				R	ô										ì	当初予算	Ĭ									
(2	)千歳農	境改善セ 村環境改	マンター 対義セン	- (指定 ノター	管理	且)												ž	央 算 額	Ą									
• 農	是村公園	河原公園															1	F	R 7 計画	Ī .	(	6, 050						164	5, 88
(2		央農村公					R	7										È	当初予算	Ĭ									
• 農	農林水産	物直壳形 産物直売	F F THE				L										_	Н	央 算 額	_									
(1	ノーが入れて	生10月1日月	L/71															H	十画額	-		), 250						820	29, 43
										R	3	~ R	:7 合	ī	†		1	┢	当初予算	-		3, 732		5,000				320	13, 41
																		χ	央 算 額	Į	19	9, 333						169	19, 16
		評価指	標名			打	<b>旨標値</b>	の訪	:明(:	算出力	方法	等)		各	計画指標	₹ R	2実	績	直単位	達	成度		R3	R	4	R5		R6	R7
					法	定検査	£等各	施影	どの点	検を記	実施	し、施	設		<b>松</b> 春	th m.tr				FI:	標値		1	0	10		10	10	) 1

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		法定検査等各施設の点検を実施し、施設 の安全かつ適正な管理に努める。※浄化 構法定検査×3、浄化槽維持管理×3、 遊具点検×1、水質検査×1、消防設備	総合戦略		件	目標値	10	10	10	10	10
С	1 農業施設の管理	槽法定検査×3、浄化槽維持管理×3、	□ 個別計画	10		実績値	10				
活		点検×1、自家用電気工作物点検×1			%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	300	300	300	300	300
D	1 農業用施設修繕料の抑制	修繕の効果を検証し、適切な予算執行に 努め、必要な分のみ修繕を行う。	□ 総合戦略	127	円	実績値	2, 414				
成		77.7. 2.2. 3.7. 1.7. End en 7.	□ 個別計画		%	達成率	804. 7				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率			·		
E	評価対象外の理由 0評価対	·  象		•		•		<b>(</b> \$	対象外事業は	t <b>F~ I 欄</b> 未	記入 可)

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点  $\begin{array}{cccc}
\hline
\text{Civar} & \Rightarrow & \text{torva} \\
 & \Rightarrow & \text{2} & \rightarrow & 3 & \rightarrow & 4 & \rightarrow & 5
\end{array}$ なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3 点 3 点 評 優先度低い 優先度高い → 2 → → 4 → 5 できた → 4 → 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった ⇒ 1 → 2 → 3 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3 点 3点 14 点 15点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 2点 /25点 3点 /25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
農業振興課で管理している施設は、いずれも建設から相当な年数が経ち老朽化している。令和3年度においては、玄関ポーチ柱や空調設備の修繕、既設浄化槽の被損による浄化槽の設置工事等、多額の費用が発生した。施設毎に利用状況や必要性等を検証し、長寿命化や維持更新の計画を作成するとともに、場合によっては施設の廃止(管理換えや売買譲渡を含む。)について検討する。	S.

I 令和 5 年度の事業の方向性

事	業番号			枝番		(	f
Ç	99001			1		( :	Ŷ
事	業	追	í	の駅等	<b></b> 管理	運	当
	総合	計	画	体系	⊠No.→	(	ć
会計	一般			政	策	Ι	
款	6			施	策	5	領
項	1			施策原	展開	3	匍
目	8			後期	基本	計画	EJ
決算	103						

総合計画実施計画書 (兼准捗管理)

総合戦略

過疎計画

~

7	木田勺	121	<b>H</b>	( 7 和 5 千 皮 前	m / 140		て 川田 日 田		水炬	沙日生							
ç	99001	1		(令和 3年度決	算) 事	務	事業	評	価	調書	課局名	商	工観光課	係名	経済	振興係	
事	業	道の駅	で等管理	]運営事業	細事業	道の駅等管	理事業			実施計画	事業 道の	駅等管理	里事業		終了年度		し
	総合	計画体系	系図№.→	. ( 98 )	•												
会計	一般	政	策	I 豊かな生活を支える	るしごとがあ	るまち			個	豊後大野市観ン	光振興ビ	ジョ	令和 3 年度	主な歳出名	3称	当初予算	額
款	6	施	策	5 観光の振興							<sup>⊭度</sup> ~ R	7 年度	道の駅おおの駐 費	車場整備工	事請負	16,	342
項	1	施货	策展開	③観光拠点の整備・活	·用	•		•			•		指定管理料(4馬	訳)		6,	449
П	8	往	加其木	計画 39 p □	温硅計画	□ 総会能	- NE	□□士帝坐	.  名	期間 组	E度 ~	年度	道の駅隹安イベ	ント補助金		1	000

コロナ充当

期間

年度 ~

道の駅集客イベント補助金

A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 -般財源 〈事業の目的〉 一般道路の利用者等に対し、良好な休憩の場及 び道路情報を提供するとともに、観光等の情報発 信や地場産品の販売等を通じ、広域的な交流の促 進及び市内の産業振興を図るための拠点として、 道の駅等を設置している。 ○指定管理料の支出 ○道の駅 (5駅) 合同イベントの実施による誘客 ○道の駅おおのの駐車場改修工事 ○必要に応じ適宜修繕 ○コロナ禍に対応した指定管理施設緊急運営負担金 ・キニ R 3 計画 39, 242 38, 242 1,000 R3 当初予算 33, 242 34, 242 決 算 額 71,678 30 71,648 (理の駅) 道の駅みえ、道の駅きよかわ、道の駅原尻の滝、 道の駅あさじ、道の駅おおの (里の駅) やすらぎ交差点 R 4 計画 75, 889 75, 889 R4 当初予算 75,889 1,000 36, 189 38,700 決 算 額 ※令和2年度に長寿命化計画を策定したので、その結果に基づいて令和4年度以降に改修となるため、令和4年度以降の計画額は増となる。 R 5計画 50,000 50,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決算額 ○指定管理料の支出 R6計画 50,000 50,000 ○道の駅(5駅)合同イベントの実施による ○這の駅おおのの駐車場改修工事 R6 当初予算 ○必要に応じ適宜修繕 決 算 額 R 7計画 50,000 50,000 R7 当初予算 決 算 額 計画額 265, 131 1,000 264, 131 当初予算 39,700 R3 ~ R7 合 計 1,000 110, 131 69, 431 決 算 額 71,678 30 71,648

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			── 総合戦略		社	目標値	6	6	6	6	6
С	1 道の駅等管理事業	指定管理者数 (道の駅・里の駅)	□ 個別計画	6	11.	実績値	6				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		万	目標値	70	72	75	78	82. 5
D	1 レジ客数	道の駅(観光入込客数の1/2)	□ 総合戦略	65	人	実績値	63				
成			✔ 個別計画		%	達成率	90.0				
果指			✔ 総合計画		億	目標値	4. 5	4. 6	4.7	4.8	5
標	2 農産物販売額	道の駅	□ 総合戦略	4. 3		実績値	4. 1				
			個別計画		%	達成率	91. 1				

評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 0 評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	16 点	3 点	19点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 【担当課長職等の所見】 道の駅の設置者である市として引き続き施設の適正な維持・管理を行う必要がある。また、経年劣化による施設の修繕費が今後、増加していくことが予想される

市民共通

> 令和5年度の事業の方向性 I

570

570

2,850

1, 140

(対象外事業はF~I欄未記入 可)

570

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 100001 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 農業振興課 係名 畜産振興係 事 業 細事業 組織育成対策事業 実施計画事業 和牛振興会補助事業 畜産業振興事業 なし 総合計画体系図No.-策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 施 策 期間 年度 和牛振興会補助金 570 6 1 農業の振興 年度 ~ 項 2 施策展開 ③畜産業を支援する 名 年度 目 後期基本計画 23 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 決算 104 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 **<事業の目的>**和牛振興会の実施する研修会、振興大会等の 飼養技術研修会の実施 R 3 計画 570 各種研修会への参加 全共候補牛巡回指導 等 経費を含む運営に対し支援し、本市の和牛繁 殖農家の飼養技術の向上と生産意欲の高揚を 図ることを目的とする。 R3 当初予算 570 570 決 算 額 570 570 R 4 計画 570 570 R4 当初予算 570 570 決 算 額 R 5 計画 570

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	2	2	2	2	2
С	1 研修会等の実施	研修会等の実施回数	個別計画		凹	実績値	5				
活					%	達成率	250.0				
活動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
果指標			総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

-次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点合計 評価点 評価点 → 2 3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっている なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 評 3点 優先度低い 優先度高い 2 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 5点 14点 14 占 推移していない ⇒ 推移した → 3 → 4 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 /25点 推移した

## 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R5

R6

R7

<令和3年度の取組内容(計画)>

令和3年度計画

飼養技術研修会 和牛振興大会

Ε

評価対象外の理由

0 評価対象

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

新型コロナウイルスの影響で和牛振興大会の開催は見送ったが、飼養技術研修会の実施、 各種研修会への参加、全共候補牛巡回指導等の活動は実施した。和牛農家の現状での課題 は、後継者不足、高齢化による農家戸数の減少である。後継者に関しては、大規模農家 子弟が就農するものの新規就農者は厳しい状況にある。今後もヘルパー制度の活用や農業 大学校生への働き掛けを行ないながら新規就農者の確保に努めるとともに、和牛振興会の 組織強化を通じ個々の農家の経営規模拡大、経営基盤強化を進め後継者の就農を促進する

飼養技術研修会の実施、各種研修会への参加、ヘルパー制度の活用や農業大学 校生への働き掛けを行ないながら新規就農者の確保に努めるとともに、和牛振興 会の組織強化を通じ個々の農家の経営規模拡大、経営基盤強化を進め後継者の就 農を促進する。

570

570

570

2,850

1,140

570

当初予算

決 算 額

R6計画

当初予算

決 算 額 R 7 計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

## 令和5年度の事業の方向性

1	事業番号	枝番										_							書(	兼進	_													式 1)
	100001	2		( 🕯	和	3	年	度	<b>!</b>	・算	: )	事	•	務		事	業	ţ	評	価	į	調	書	課	局名		農業	<b>É振興</b> 記	果	係:	名	畜産	振興	係
事	業	畜産業振	興事	業							細事	業	組組	織育	成玄	策	事業					ᢖ	<b>尾施計画</b>	事業	酪農絲	組合补	甫助⋾	事業				終了年度		なし
会計		計画体系図	]No.→ 策				生活	をき	支え	.るし	ごと	があ	つるま	まち						7 [	固							令和 3	年月	度 主な	歳出名	5称	当初	予算額
款	6	施	策	1 )	豊業	の振	興													5	削期	間		年度 🖍	~	年	度	酪農組合	<b>}補助</b>	J金				5
項	2	施策压	展開	37	畜産	業を	支	援す	る											Ī	回													
目	1	後期	基本	計画	Ī 2	23	Р			過	東計画			総	合戦	略		Ξ	ロナ充当	<b>á</b>	期	間		年度 🗸	~	年	度							
決算		A 事業	■的・	内	容・	実組	ŧ															E	3 事業計	计画套	1・決1	库額等								
		事業の								年					<b>+</b> /	な活	動実績	唐					\		業費記	t+ _				財源区	小訳	(		千円)
	事業の目		ш.,,						_	度	飼養	: t±: 2	E7II.	佐스			203 2 4	_				L	1-	4		E	国県	支出金	地	方債	そ	· の他	一般	財源
酪農	組合の	実施するで 爰し、本i	研修会	会等 女典	の経	費を	含铁	む遺術の	Ē	R3	即便	:1X1	ר ועד נין	少云	· V) 大	こが止						Н	33計画			50								50
向上る。	と生産が	意欲の高	易を図	35	こと	を目	的	とす	-	КJ												⊢	当初予算 央 算 額	-		50 50								50 50
.00									ı												_	Н	ス <u>チ ヴ</u> ス 4 計画	+		50								5
									١	R4												Н	、			50								50
									١												- 1	┢	央 算 額	-										
									ı												$\dashv$	Н	R 5 計画	+		50								50
									١	R5											- 1	ì	当初予算	Į.										
<	令和3年	度の取組	内容	(計	画)	>			١												- 1	ž	央 算 額	Į										
	13年度記 技術研修								١													F	₹6計画	Ī		50								50
2.124	.12/11/9/16	, ,							١	R6											- 1	ì	当初予算	Į.										
									ı													ž	央 算 額	Į										
																						F	₹ 7 計画	Ī		50								50
									١	R7											- 1	È	当初予算	<u> </u>										
																					_	ž	央 算 額	Į										
									١													H	計画 額	-		50								250
									١				R	3	~	R7	合	計	-		- 1	┢	当初予算	-		.00								100
																						χ	央 算 額	Į		50								50
		評価指	標名						指標	値の	説明	(算	出方	法等	手)			各	計画指標	F	2 実	績	直単位		-	F	3	R4	1	R5		R6		R7
	4 3500 11	A 4-4					·	· · ·	4-4-								[		総合單	战略			回		票値		]		1		1	1	1	]
	1 研修:	会等の実	疶				研偵	<b></b>	等0	)実力	<b>包回数</b>	ζ					[		個別言	+画					遺値		]				-		-	
活動						$\dashv$											+	_		$\pm$			%		ず で で で で で で で で で で で り で り で り り り り	1	100.0	)			$\dashv$		+	
指	2 _																								景値 責値			1			-		-	
12K																			個別言	+画			%		<b>戊率</b>			1						

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 D 成果指	1 研修会等の実施 2 _ 1 _ 2 _	研修会等の実施回数	総合戦略 個別計画 総合計画 総合計画 総合計画 総合計画 総合計画 総合計画 総合計画 総合		я % %	目標値	1 1 1 100.0		1	1	1 1
E	評価対象外の理由 0評価対	·\$	□ 個別計画	i	%	達成率			(対象外事	業は <b>F~I#</b>	■未記入 可)
		評価項目/5つの視点(1~5点で		1			評価	マ評価 点 !	(係長)評価点合計	二次評価評価点	(課長等) 評価点合計
F 評		の向上が期待できる事業内容となっているが 、(同じ成果指標設定事業内での優先度)	), ta	こっていない	⇒ • 3 -	→ 4 → 5 なっている → 4 → 5 優先度高い		3 点 3 点		3点	
価	3. 事業計画 どおりに事業を進め 4. 活動指標の達成状況(率)は計		7	1 → 2 <del>-</del> きなかった 1 → 2 -	→ 3 - → 3 -	→ 4 → 5 できた → 4 → 5	- ;	3 点	10	3点	10
	5. 成果指標の達成状況(率)は計			移していない 1 → 2 <del>-</del> 移していない	• 3 -	推移した → 4 → 5 推移した		点	12 点 /25点	点	12 点 /25点
コロー減少	ナ渦ではあったが飼養技術研修	課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 会を実施した。本市の酪農業最大の課題はいた。今後とも酪農家の支援を継続してい	農家戸数の			- <b>職等の所見</b> 戸であるが、			≸策等を踏ま; 奥も含めて支		
	I 令和5年	F 度 の 事 業 の 方 向 性	-296-	A. 現状	つま	ま継続					

事業番号	枝番	•	令和 令和					_	_	総合 事	ini 表		実別 事	色計 業		F (; 評	兼進: 価		官均 周	里) 事	鲤	局名	典	業振興	1津里	係名	2	玄莊	(様式1 
					+ :	χ.	<b>~</b> ;			·						ПT	Щ	D.		_	Ë			,,,,,	enx.	176.7	<u> </u>	終了	7
	<b>畜産業振</b>							祁	田事業	谷	八八	進会	可東-	事業 (					天儿	他計画·	事耒	各共進	云刈界	手業				年月	ま なし
総合計 一般	上画体系図 政		26 ) I 豊か:	た4	: 汪か	士	ラス	1.	ーレが	あス	‡ t						7 [							会和	3 年月	度 主な崩	- 出夕新	ī.	当初予算
款 6	施	-14	農業の			^	, C D			0,0	5.						_ 個 別		間	4	∓度 ~	_	年度		出品補		жш-ш-п	ır	3,0
項 2	施策团		3)畜産業			トス	)										計画	-											-,-
<b>1</b>	後期	基本計	画 23	F	5	П	追	疎	計画		] ;	総合軍	线略		70	け充当	1 2		間	4	年度 ~	-	年度						
夬算 104											_																		
	事業[	的・	内容・写	民機			年	. 1											梬	事業計	画都	・決算	額等	<u> </u>		財源内	ョ		(単位:千円
	事業の	目的と	内容				度					主	な活	動実績	漬						事	業費計	国県	支出金	地	方債	その		一般財源
<b>&lt;事業の目的</b> 市・県共進会		出品す	ろ経費は	大ご	し支	揺	Г		新型コ 用牛の	ロナ	- ウ. 剄.	イル:	ス感気	杂症蔓 五止	延防	5止の3	ため肉	٦	R	3計画		3, 08	5						3, 08
し、出品農家	の負担	圣減と	共進会参	多加	に対	す	R	3	催され	4頭	出品	した	-0 1151.7	1.11.	I/J I	ν > μρ.	מלו לייילי	١	当:	初予算		3, 08	5						3, 08
○ 応 職 ∨ 기 向 汐	1.5 DI 2)		нијс :	י יש	0													۱	決	算 額		9	I						
																		1	R	4計画		3, 08	5						3, 0
							R	4										١	当	初予算		5, 53	5						5, 53
																		╛	決	算 額									
																		١	R	5計画		3, 08	5						3, 08
							R	5										١	当:	初予算									
< 令和 3 年 令和 3 年度計		内容(	計画)>															_	決	算 額	_								
新型コロナウ	イルス原																	۱	_	6計画	+	3, 08	5						3, 08
用牛の部、乳 催	十の部	1.中正、	, 肉牛0.	ノ部	のみ	荆	R	ŝ										۱	$\overline{}$	初予算	+								
							_											4	H	算額	1								
							D.	,										۱	_	7計画	-	3, 08	5						3, 08
							R	'										١	H	初予算									
							H											4	H	算額 画額	1	15 40	-						15, 4
										_	<b>⊃</b> γ	~	7 ص	合	<b>=</b> +			1	-	四 码 初予算	-	15, 425 8, 620	-						8, 62
										-		-	14.7		пІ			1	H	算額	+	8, 62	+						8, 02

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値					
С	1 -		□ 個別計画			実績値					
活					%	達成率					
動指			総合戦略			目標値					
標	2 =		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		頭	目標値	4	24	24	24	24
D	1 事業量	県共進会出品頭数	□ 総合戦略	4	珙	実績値	4				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値		·			
			□ 個別計画		%	達成率					
									16 U ± # /		

(対象外事業は**F~I欄**未記入 可) 評価対象外の理由 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(199点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ $to \tau \cap t \cap t \cap t \rightarrow t \rightarrow t \rightarrow t \rightarrow t \rightarrow t \rightarrow t \rightarrow t$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline retarrow &                                  $	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—— 点	14 点	—— 点	14 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
R3年度はR2年度と同様に新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため肉用牛の部、乳部は中止、肉牛の部のみ開催され4頭出品した。しかしながら、共進会は農家の和牛改推進と生産意欲向上に欠かせないものであるため、今後とも支援を行う。	

令和5年度の事業の方向性

	※番号	•	校番 1		予和 3				86 百計 日本 第一務	男夫的 事	也計型 業			価	罗官 調	'理 <i>)</i> 書	課	局名	農業	<b></b> 上版興	課	係名	畜		長興係
古	**	<i>-</i>	大米七田				1			HI GO THE V	Zór alla.					= <del>-</del>	古典	<b>本本₩</b> +		34.年米			1 1	終了	<i>4</i> >1
争	業		全業振興 体系図No		26 )			細事業	畜産業	版興事	<b>勞</b> 實				ž	<b>美</b> 他計世	争果	畜産業技	灰典爭	務爭兼				年度	なし
会計	一般		政 策			上活を支	こえるし	しごとが	あるまち					個						令和	3 年度	主な歳	出名称	ž	当初予算額
款	6	j	施策	1 .	農業の振	興								別計	期間		年度 ~	~	年度	畜産セ	ンター運	営負担	金		1,000
項	2		施策展開		畜産業を		_						1	画名						燃料費	L. In tel			$\downarrow$	283
目 決算	1 104	L	後期基2	計画	23	P L		陳計画	総·	合戦略		ᄀᄆ	ナ充当	Ľ	期間		年度 ・	~	年度	和牛検	查場管理	委託料		+	254
<b>人</b> 并	104	Α	事業目的	・内	容・実績	t	1	1							- L	B 事業	計画額	・決算	領等			L NET -L-		ᆜ	:
		事	業の目的	りとは	容		年度			主な活	動実績	Ę					事	業費計	国県	支出金	地方·	オ源内 倩	<u>訳</u> その他		(位:千円) 一般財源
	業の目センタ			1生給	査場の管	理を行		畜産セ	ンター運′ ' 262千円	営負担会	金 70	2千日	Э		7	R 3 計画	<u> </u>	2, 330	+		- 273		Ç 17 1 <u>D</u>	$\dagger$	2, 330
うこ	こと とによ いとす	り、	円滑な音	産業	振興を図	ること	R3	於村貫	202   F	1 守					i	当初予算	Į	2, 330							2, 330
GH	1,100	ە بە													,	決算を	頁	2, 113							2, 113
															Ⅱ⊢	R 4 計画	-	2, 330	+					$\perp$	2, 330
							R4								11	当初予算	-	2, 630						+	2, 630
															<b>-  </b>  -	決 算 客 R 5 計画	_	2 220						+	2 220
							R5								Ⅱ⊢	当初予算	_	2, 330						+	2, 330
<4	3和3年	₹度(	の取組内	容(計	画)>										3	決算客	· 頁							-	
	3年度		営負担金	1.	000千円										11	R 6計画	ΞĪ.	2, 330							2, 330
和车	<b>负查場</b>	管理	委託料	2547	千円 等		R6								1	当初予算	軍								
															-1⊩	決 算 客								$\downarrow$	
							R7								Ⅱ⊢	R 7 計画	-	2, 330						+	2, 330
							K/								I⊩	当初予算 決 算 客	_							+	
															-1 F	計画客		11, 650						+	11,650
									R3 ~	~ R7	合	計			1	当初予算	Į	4, 960							4, 960
															ž	決 算 客	頁	2, 113							2, 113
		1	評価指標:	名		Ħ	f標値(	の説明(賞	算出方法等	£)	1	各計i	画指標	R 2	2 実績	値 単位	達用	<b></b>	R3	F	84	R5	R6		R7
													総合戦	佫				票値							
C	1 —												個別計i	■		%		遺値						_	
活動											+		<b>₩</b> Δ₩	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		70		票値						$\dashv$	
指標	2 _												総合戦® 個別計i				実終	責値							
												_		<u> </u>		%		<b>述率</b>							
D	1 —											_	総合計ī 総合戦태					票値						$\dashv$	
成													個別計i			%		<b>支配</b>						$\dashv$	
果指												] :	総合計画	Đ			目相	票値							
	2 —											_	総合戦闘					責値						_	
													個別計画	Đ		%	達用	<b>戊率</b>							
E	評価:	対象	外の理由	0	評価対象	象															(対象	外事	業は <b>F~I</b>	欄未	記入 可)
						į	評価項	目/5つ	の視点( ๋	1~5点	で評価	<b>E</b> )							_	-次評価 価点	(係長) 評価点		二次評価	_	課長等) 平価点合計
F	1. 市	民満	足(市民	アンク	ケート) (	の向上が	期待で	きる事業	(内容とな	っている	るか					→ 3 ·			-	3点	2112311		3点	Ť	
評									美内での優					1 -	→ 2	\ → 3 ·	→ 4		1	3点	]	f	3点	-	
aT*					業を進める		-							1 -		→ 3 ·	→ 4		$\vdash$	4点		}	4点	-	
価					(率)は計画				1)					1 -	→ 2	± ⇒ 3 ·	→ 4		4_	- 点		,	—— 点	-	10
					(率)は計画								推			い ⇒ → 3 ·		移した → 5		- 点 - 点		<sup>0</sup> 点 	— 点	-	10 点 /25点
	J. 戍												推	移して	ていな	(\ ⇒	推	移した							
				算で					後の事業の			れる	5効					の所見】 内率的な事				踏まえ	えた課長職	等の	)所見

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

_	事業番号 	枝番		令和								_		兼	_ `	_	_	_		7	rtts	₩ 1⊏; Œ	n ⇒m	<i>I</i>	<del>,</del> 1	de de		式1)
1	100006	1	(	令和	3 年	度 决	异	)	事	務	事	• •	業	評・	価	ij	周 ——	書	課局	名	農	業振興	具課	係:	ř	畜産	振興	! 係
事	業	畜産業振	長興事 美	É			ŕ	田事業	全	国和4	上能力	力共進	会対領	爭業			実施	計画	事業 刍	上国共	進会優	<b>注補牛</b> 桶	雀保補 <sup>J</sup>	助金		終了年度		R3
ا = ا		計画体系図			、小江ナ	·±3	フヿ	÷ 1. ، ، ا	ミモフ	++												Δīn	2 Æ	<b>由 ナ</b> か	<b>毕山</b> 夕	<b>1</b> /-	V/ +T	7 mm
会計款	一般 6	施		I 豊かな		C X X	るし	_ 21)	100 S	より					個別		38		<b>作曲 -</b> .		年度	全国和	口牛能力	度 主な り り 共進会			ヨ彻	予算額
項	2	施策原		1 農業の 3 畜産業		ナス									計	_	₽J		年度 ~		平及	保事	<b></b> 核補助					2, 550
目	1			→ 回 全 采 ・ <b>画</b> 23		_	過疎	計画		<b>₩</b> .∠	戦略	<u> </u>	1 70	け充当	画名		調		年度 ~		年度							
決算		12.79	坐平	112 20		<u> </u>	迴味	山岡		100	1 +X #D	1		17 76 =		79311	H)				+100							
*****		A 事業	目的・	内容・実	<u>積</u>		. 1									_	В	事業計	<u> </u>  画額	決算	領等			P1:E-			M /T	7 EV
		事業の	目的と	内容			年度				主なえ	活動実	<b>ミ績</b>						事第	養計	国埠	支出金	÷ #	財源内 地方債		の他		: 千円)
</td <td>事業の目</td> <td>的&gt;</td> <td>. ~ ^ E</td> <td></td> <td>L 11.346 /</td> <td>_</td> <td></td> <td>若雌5</td> <td>頭、月</td> <td>巴育素</td> <td>牛4頭</td> <td>頁を確</td> <td>保する</td> <td>計画で</td> <td>あっ</td> <td></td> <td>R3</td> <td>計画</td> <td>i i</td> <td>2, 550</td> <td>-</td> <td>ХШЗ</td> <td>2 20</td> <td>57.7 反</td> <td>ζ,</td> <td>07 165</td> <td>ניו</td> <td>2, 550</td>	事業の目	的>	. ~ ^ E		L 11.346 /	_		若雌5	頭、月	巴育素	牛4頭	頁を確	保する	計画で	あっ		R3	計画	i i	2, 550	-	ХШЗ	2 20	57.7 反	ζ,	07 165	ניו	2, 550
				国和牛能/ 目的とす				たが、った。		3頭、	肥育	素牛2	頭の研	催保にと	どま			可予算		2, 550								2, 550
																		算額		590								590
						F											<u> </u>	計画	_									
							R4										当初	]予算	Ĭ									
																	決;	算額	Į.									
																	R 5	計画	ij									
							R5										当初	]予算	Ĭ									
<:	令和3年	度の取約	且内容	(計画) >													決;	算 額	Ą									
	及び肥育 3年度計		確保に	対し助成	する。												R 6	計画	ij.									
若雌	150, 0	00円×55			000		R6										当初	]予算	Ĭ									
肥育	茶午 4	50,000円	J × 4與	=1,800,	000円												決;	算 額	Į									
																	R 7	7計画	Ī									
							R7										当初	]予算	Ĭ									
																	決;	算額	Į.									
																	計i	画額	Ą	2, 550	)							2, 550
									R	23 ~	R	7 合	計				当初	]予算	Ĭ	2, 55	)							2, 550
																	決:	算 額	Į.	590	)							590
		評価拮	標名			指標	値の	説明	算出ス	方法等)	)		各計	画指標	R 2	2 実終	績値 🧵	単位	達成	_	R3		R4	R5		R6		R7
														総合戦略	各				目標					1				
С	1 —													個別計画	E I		F	04	実績					-	-			
活動												$\dashv$	_				$\dashv$	%	達成基					+			+	
指	2 _													総合戦略	各			-	実績					+				
示	Ī -													個別計画	ΞĪ.		┟	%	達成					+			+	
												+		総合計画	1		$\dashv$		目標	_		9					+	
D	1 事業量	t			確保豆	頁数								総合戦略				頭	実績	直		5		1				
成														個別計画	亘		Ī	%	達成	率	55	_						
成果													П	総合計画	11				目標	直								

1 -	' 尹禾里		惟沐识效		心口状吧			大根胆	9				
成					個別計画		%	達成率	55. 6				
果指					総合計画			目標値					
標	2 —				総合戦略			実績値					
					個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由	0評価対	対象								(対象外事	業は <b>F~I</b> #	未記入 可)
			部席侍日 / F への切上 / 1 - F 上 オ	: = π /π: \						欠評価	(係長)	二次評価	(課長等)
			評価項目/5つの視点(1~5点で	: 計1四)					評価	点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民ア	<b>フ</b> ンケート)	の向上が期待できる事業内容となっている。	か	1 な	→ 2 → っていない	→ 3	→ 4 → ·		3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高	いと思うだ	か(同じ成果指標設定事業内での優先度)			→ 2 → <b>E</b> 先度低い	→ 3	→ 4 → 優先度高		3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに	こ事業を進め	<b>かることができたか</b>			→ 2 → きなかった	3 →	→ 4 → できた	5	2 点		2 点	
Щ	4. 活動指標の達成状	状況(率)は言	†画どおり推移しているか			→ 2 → ßしていない		→ 4 → 推移した		点	10 点	点	10 点
	5. 成果指標の達成物	状況(率)は言	†画どおり推移しているか			→ 2 → 多していない		→ 4 → 推移した		2 点	/25点	2 点	∕25点
			課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等			H 【担:	当課長	職等の所見	見】 ※評値	・改善	策等を踏ま	えた課長職等	等の所見
本前な証し	業は5年に1度開催され 度に実施している。 業であるため、今後 、事業内容や実施年月	ιる全国和 今回は計画 も継続して 度も含めて	牛能力共進会に向けての対策事業であり、 どおりには実施できなかったが、全共に向 いく。また、事業内容に関してはR3の取り 見直しを図りたい。	全共の けての り組み	)開催 )重要 R3 を検 。	の取り組み	ょを検	証し、より	(有効な事)	業内容や	や実施年度	も含めて見直	正しを図る

令和5年度の事業の方向性

⇨

D. 休 止

事業番号   校番   (令和 3 年 度	红雨	· \ •66	»△≞	. iii. eb ·	<del>bk:</del> ≘⊥ ï	ਜ਼ <b>ਂ</b>	/ 羊 半	E ALE	<b>445.1⊞</b> \							(様式 1)
100008 1 (令和 3 年度									ませ <i>り</i> 調 書	課局名	農	業振興詞	果	係名	畜産	全振興係
事 業 畜産業振興事業		細事業		ハた和牛	-を核と	した豊朋		力発	実施計画	事業 味力発信	言事業	4			終年	了 度 R3
総合計画体系図№→ ( <sup>26</sup> ) 会計 一般 政 策 I 豊かな生活を支 款 6 施 策 1 農業の振興 項 2 施策展開 ③畜産業を支援する	)		あるまち	5				固削計画名		年度 ~	年度		・ <b>年度</b> : こ和牛を 事業			当初予算
1	過度	東計画	#	総合戦略	<b>V</b>	コロナ充		期		<sup>年度</sup> ~ <b>十画額・決算</b> 額	年度 <b>復等</b>					
事業の目的と内容	年度			主な流	舌動実績	ŧ				事業費計	用匠	支出金	地方位	オ源内記 信	沢 その他	(単位:千円 一般財源
<b>&lt;事業の目的&gt;</b> 新型コロナウイルス感染症の影響により消費						携し「は			R3計画	i 1,000		900	2673	ĮĘ.	(0)	10
が低迷している畜産物の消費拡大を図ること を目的とする。	R3	」の理1 た。	「丁、 ^ ク	メンノフ	, j —(j)	イベン	ト開惟	L	当初予算	1,000		900				10
CHUCYS.									決算額	1,000		1,000				
									R 4 計画	Ī						
	R4								当初予算							
									決算額		-					
	R5								R 5計画 当初予算							
   <令和3年度の取組内容(計画)>	ΝĐ								決 算 額							
熊本県、大分県、竹田市と連携し「お肉列車									R 6計画							
」の運行等のイベント開催する。	R6								当初予算							
									決 算 額	i						
									R 7計画	ī						
	R7								当初予算	Ī						
									決算額	Ī						
									計画額	1,000		900				10
			R3	~ R	7 合	計			当初予算			900				10
									決算額	1,000		1,000				

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値					
С	1 —		□ 個別計画			実績値					
活					%	達成率					
動指			総合戦略			目標値					
標	2 =		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	1,000				
D	1 事業量	事業費 (市負担金)	□ 総合戦略		円	実績値	1,000				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
_	部屋共名員の理士   0 部屋に	1 A						/-1	1 45 11 + 461		

 E 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	   評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次	平価(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	評価。	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 1. なっ	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	点	3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	→ 2 → 3 → 4 → 5 先度低い ⇒ 優先度高い	点	3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 1 でき	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	点	5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推移	→ 2 → 3 → 4 → 5 していない ⇒ 推移した	点 16点	— 点	16 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか <u>1</u> 推移	→ 2 → 3 → 4 → 5 していない ⇒ 推移した	点 /25点	5 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 豊肥振興局の呼びかけにより阿蘇市、大分県、竹田市と竹田・豊後大野・阿蘇広域観光味力推進協議会を設立し、コロナ渦で消費が低迷する大分豊後牛の消費拡大を図るため、「お肉列車」の運行、スタンブラリーのイベントを開催し成果を上げた。R4も協議会で事業実施するが「お肉列車」は取り止め、スタンプラリー中心の観光客誘致事業となるため主管課は商工観光課となります。

I 令和5年度の事業の方向性

(様式1) (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 枝番 課局名 (令和 3 年度決算) 事 農業振興課 畜産振興係 101002 1 務 価 係名 事 業 乳·肉用牛改良促進事業 細事業 種雄牛造成推進事業 実施計画事業 種雄牛造成推進事業 なし 総合計画体系図No.→( 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 種雄牛造成推進事業補助金 款 策 1 農業の振興 年度 150 6 年度 ~ 項 施策展開 ③畜産業を支援する 2 名 目 後期基本計画 23 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 決算 105 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 肉用牛改良組合が認定する指定牛に指定交配を行うに当たり、指定交配種付け助成を行うことにより、種雄牛造成の推進と畜産農家の和牛改良意識の高揚を図ることを目的とする 対象牛がおらず実績は0頭です。 R 3 計画 150 150 R3 当初予算 150 150 決 算 額 R 4 計画 150 150 R4 当初予算 150 150 決 算 額 R 5 計画 150 150 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 雨用牛改良組合が認定する指定牛に指定交配 を行うに当たり、1頭30千円の指定交配種付け 助成を行う。 令和3年度計画 助成頭数5頭 R6計画 150 150 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 150 150 R7 当初予算 決 算 額 計画額 750 750 当初予算 R3 ~ R7 合 計 300 300 決 算 額 R4 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R5 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) R6

-				 						
			○ 総合戦略		目標値					
С	1 —		個別計画		実績値					
活				%	達成率					
動指			総合戦略		目標値					
標	2 —		_		実績値					
			□ 個別計画	%	達成率					
			総合計画	市石	目標値	5	5	5	5	5
D	1 事業量	助成頭数	□ 総合戦略	頭	実績値					
成			□ 個別計画	%	達成率					
果指			□ 総合計画		目標値					
標	2 —		□ 総合戦略		実績値					
			□ 個別計画	%	達成率					
		7.	<u> </u>					니스니 = 싹/-		

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	1点		1点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	—— 点	8点	—— 点	8点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	1点	/25点	1点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
R3は対象牛がいなかったが、必要な事業であるため継続したい。	大分らしい種雄牛の造成に向け、関係機関と一体となって取り組む。

令和5年度の事業の方向性

-	事業番号 01003	枝番			; 年 度 ii ; 年 度 ii		_		計画実 務 事				進捗	管調	理) 書	課局名		農業	振興課		係名	畜産	( <b>様式1</b> )
事	業	乳・肉用牛	<b>上改良</b> (	足進事業		i	細事業	優良	此生確保	保対策事	業			身	<b>『施計画</b>	事業 優良	雌牛研	雀保対	策事業			終年	
会計		計画体系図No		22 )	生活を支え	・スト	デレがえ	あスす	<b>5</b>										令和 3	在度 =	これ 歩り	H.夕称	当初予算額
款	6			農業の扱		_ 0 0		2005					個別	期間		年度 ~	年		E良雌牛				10,000
項	2	施策展開	_		· 支援する								計 — 画					1 -					
目	1	後期基	本計画	<b>5</b> 23	P	過頙	計画		総合戦略	Š	יםב	ナ充当	名;	期間		年度 ~	年	度					
決算		A 事業目(	的。内	変・宝績	*									F	3 車登1	計画額・決	首類領						
		事業の目				年			主か	活動実績	5			֓֞֓֞֓֞֓֓֞֓֓֡֓֓֡֡֡֡֓֓֡֡֡֡֡֡֡֡֡֡֡֡֡֡֡֡֡	<del></del>	事業費				財	源内部	5	(単位:千円)
	事業の目的		14767	10		度	①玄紘生	- 指定/				で自宅保具	フルァ カ <del>ト</del>	╽		<del>                                     </del>	E	国県支	出金	地方值	責	その他	一般財源
和牛	繁殖農家	その雌牛導	入及び 飼養頭	自家保証	留に対し	D2	し1頭あた	とり100日 の導入が	- 円を助成 サ円を助成 とび自家保	種価牛の導 留に対し15	頂あた	: り50千円	を助成	F	マ 3 計画								10,000
を目	的とする	により、	Trul. The Thi	(3A V ) PE ]	17 2028	R3	令和3年 ①86頭 ②52頭	·皮実績							当初予算 央 算 額								10,000
							0							┨┝	ス <u>チ 句</u> ス 4 計画								10,000
						R4								I⊢	~ 当初予算	,							10, 000
														۱H	央 算 割								
														F	R 5 計画	10,	000						10,000
						R5								ì	当初予算	Ĭ							
		度の取組内			当 ひょぎ									ž	央 算 割	Į.							
自家	保留に対	『定牛及び』  し1頭あた  入及び自	<u>- り100</u>	千円を助	力成									ΙĿ	₹6計画		000						10,000
50千	以外の得 円を助成 3年度計	Š	<b>豕</b> 休笛	(CX) UI	頭のたり	R6								ΙĿ	当初予算								
①50 ②10	頭	ΙЩ												┨┝	央 算 割 R 7 計画	1	000						10,000
Ø10	0.與					R7								I⊢	4 / 計區 当初予算	10,	000						10, 000
						11.7								I⊢	大 算 割								
														╸	十画割	-	000						50, 000
								R3	~ F	27 合	計			ì	当初予算	20,	000						20,000
														ž	央 算 割	11,	200						11, 200
C 活動指標	1 — 2 — 1 事業量	評価指格	票名		指植	票値の	説明(拿	章出方法	去等)			総合戦略 固別計画 総合戦 間別計画 による 一般 になる はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいか		<b>実績(</b>	% %	達目 実達目 実達目 実達日実達日実達日実達日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実達 日実 きんしょう しゅうしゅう しゅうしゅう		150 138 92. 0	R4	150	R5	R6	R7
成果											_	固別計画 総合計画	+		9/0	選成率 目標値		92.0		-			
指標	2 —										_	©ロョロ 総合戦略				実績値							
											_	固別計画			%	達成率							
E	評価対	象外の理由	± 0	評価対	象															(対象	外事業	は <b>F~I</b> #	未記入 可)
			_		2.77	T - F -	1/5-	<b>Ω#ι</b>	(1 -	上一元年四年	E)						ī	— <u>г</u>	た評価 (	係長)	T	二次評価	(課長等)
										点で評価	1)		1 .	2		<u> </u>		評価	点	平価点名	計	評価点	評価点合計
F	1. 市民	R満足(市 B	民アンゲ	ケート)	の向上が期	待で	きる事業	内容と	こなってし	ハるか		t	こってし	いない	<b>`</b> ⇒	→ 4 → なってい	る		3 点			3 点	
評	2. 事業	きの優先度!	は高い。	と思うか	(同じ成界	指標	設定事業	其内での	0優先度)				憂先度 <sup>6</sup>	低い	⇒		い		4 点			4 点	
価	3. 事業	美計画どお!	りに事	業を進め	ることがて	きた	か					7	きなか	いった	⇒	→ 4 → できた			4 点			4 点	
Щ	4. 活動	カ指標の達成	戓状況	(率)は計	画どおり推	移し	ているか	`							<i>y</i> ⇒ 3 -	<u>→ 4 →</u> 推移した		_	点	15	点	— 点	15点

100	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	—— 点 4点	15 点 /25点	—— 点 4点	<sup>15</sup> 点 /25点
予算の当	G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 は計画頭数には届かなかったが、農家が高育種価牛の導入保留に努めたため事業費は 算額を上回った。この事業は県の増頭事業の補完事業として実施しており、一戸あたり 平均飼養頭数の増加に大きく影響している事業であると認識していますので、今後も継 ていきたい。	H 【担当課長職等の所見】 飼養頭数の増加に大きく影響し 、増頭要件を見直しながら、今後	ている事業		えた課長職等 系・高育種(	

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

(様式1) (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 枝番 課局名 (令和 3 年度決算) 事 価 農業振興課 畜産振興係 101004 1 務 係名 事 業 乳·肉用牛改良促進事業 細事業 優良乳用牛導入事業 実施計画事業 優良乳用牛導入事業 なし 総合計画体系図No.→( 策 Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 優良乳用牛導入事業補助金 款 策 1 農業の振興 期間 年度 1,350 6 年度 ~ 項 施策展開 ③畜産業を支援する 2 名 目 後期基本計画 23 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 決算 105 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 高能力な初任牛を県外から購入し個々の経営 R3導入実績無し。 R 3 計画 1,350 1,350 内の改良増殖に対し支援し、経営の安定強化 を図ることを目的とする。 1, 350 R3 当初予算 1,350 決 算 額 R 4 計画 1,350 1,350 R4 当初予算 1,200 1,200 決 算 額 R 5 計画 1,350 1,350 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 導入金額が600千円以上のものに対し、購入価格の30%以内で助成する。助成上限1頭あたり R 6計画 1,350 1,350 300千円 令和3年度計画5頭 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,350 1,350 R7 当初予算 決 算 額 計画額 6,750 6,750 当初予算 2,550 R3 ~ R7 合 計 2,550 決 算 額 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R7 R6 目標値 □ 総合戦略 C 実績値 □ 個別計画 % 達成率 活 動 目標値 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率

						~= /70	1				
			総合		頭	目標値	5	5		5	5 5
D	1 事業量	助成頭数	□ 総合	戦略	2	<b>美</b> 模但					
成			□ 個別	計画	%	達成率					
果指			□ 総合	計画		目標値					
	2 —		□ 総合	戦略		実績値					
			□ 個別	計画	%	達成率					
E	評価対象外の理由 0 評価対	· l 象						(:	対象外事業	集は <b>F~I橌</b>	未記入 可)
							<b>ー</b> カ	マ評価 (係:	長)	二次評価	(課長等)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	計(曲)				評価	点 評価	点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているか	١,	なってし	\ない ⇒		<u>-</u> る	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか	い (同じ成果指標設定事業内での優先度)		優先度	低い ⇒		<u>ر،</u>	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進め	oることができたか		できなか	トった ⇒	→ 4 → できた	- :	2 点		2 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計	<b>十画どおり推移しているか</b>		推移して	いない ⇒	→ 4 → 推移し†	= -	点	10 点	— 点	10 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計	†画どおり推移しているか			2 → 3 いない ⇒	→ 4 → 推移し <i>t</i>		2 点	/25点	2点	∕25点
	G 【担当係長の意見・	課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等		Н	【担当課	長職等の所見	見】 ※評価	i・改善策等	等を踏ま <i>え</i>	た課長職等	 手の所見
	は導入実績がありませんでしたが 、今後も継続していきたい。	《、戸数の減少が著しい酪農家を支える重要	を事業と	戸数0	の減少が著	しい酪農家	を支える重	要な事業。	として、🕹	今後も継続	する。
	I 令和 5 ±	F 度 の 事 業 の 方 向 性	I	<b>⇒</b> A.	現状の	まま継続					

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 (令和 3 年度決算) 事 農業振興課 畜産振興係 102002 1 務 価 係名 事 業 経営基盤強化対策事業 細事業 畜産経営基盤強化事業 実施計画事業 畜産経営基盤強化事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 畜産経営基盤強化事業補助金 款 策 1 農業の振興 期間 年度 14, 415 6 年度 ~ 項 2 施策展開 ③畜産業を支援する 名 目 後期基本計画 23 P コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 過疎計画 総合戦略 決算 106 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 国及び県の補助事業に該当するものを除き、 畜産農家又は営農集団に、施設の新築、改造 及び増築、家畜排せつ物処理施設の設置及び 機械導入並びに飼料生産用機械導入に要する 経費を支援し、畜産農家の経営基盤強化を目 的とする。 施設整備10件 機械整備11件 R 3 計画 14, 415 14, 415 R3 14, 415 当初予算 14, 415 決 算 額 10, 232 10, 232 R 4 計画 15,000 15,000 R4 当初予算 15, 765 15,765決 算 額 R 5 計画 15,000 15,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 事業費01/2を補助、補助上限700千円 令和3年度計画 施設整備17件 R6計画 15,000 15,000 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 15,000 15,000 R7 当初予算 決 算 額 計画額 74, 415 74, 415 R3 ~ R7 合 計 当初予算 30, 180 30, 180 決 算 額 10,232 10, 232 指標値の説明 (算出方法等) 評価指標名 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R6 R7 目標値 総合戦略 実績値

		1	個別!	L ses		大根吧					
活動			[ ] 10分] 8	T凹	%	達成率					
動指			総合	践略		目標値					
	2 =		□ 個別			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合i	計画	件	目標値	28	30	3	0 30	30
D	1 事業量	助成件数	□ 総合	<b>戦略</b> 23	11	実績値	21				
成			□ 個別	計画	%	達成率	75.0				
果指			□ 総合詞	計画		目標値					
	2 —		□ 総合質	线略		実績値					
			□ 個別割	計画	%	達成率					
E	評価対象外の理由 () 評価対	<b>才</b> 象						(5	対象外事業	ŧは <b>F~I欄</b>	未記入 可)
							— zi	マ評価 (係も	EΙ	二次評価	(神巨笙)
		証価項目 / 5 つの担占 / 1 ~ 5 占え	s = 17 (#F )				_ ~		<b>X</b> /	一次計画	(林文寺)
		評価項目/5つの視点(1~5点で 	(評価)				評価		点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	評価項目/5つの視点(1~5点での向上が期待できる事業内容となっている。		1 → 2 - なっていない	⇒	なっている	評価 5 5				
F 評					⇒	なっている	評価 5 5	点 評価		評価点	
評		の向上が期待できる事業内容となっている。 (同じ成果指標設定事業内での優先度)		なっていない 1 → 2 -	⇒ 3 · ⇒ 3 ·	なっている → 4 → ! 優先度高し	評価 5 5 5 5 7 7	点評価		評価点	
	2. 事業の優先度は高いと思うが	の向上が期待できる事業内容となっている。 か(同じ成果指標設定事業内での優先度) かることができたか		なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 -	⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ÷ 3 · ÷	なっている → 4 → 1 優先度高し → 4 → 1 できた	評価 5 5 5 7 7 7 7 7	点 評価 3 点 4 点		評価点 3点 4点	評価点合計
評	2. 事業の優先度は高いと思うが 3. 事業計画どおりに事業を進む	の向上が期待できる事業内容となっている。 か (同じ成果指標設定事業内での優先度) かることができたか 十画どおり推移しているか		なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった 1 → 2 -	⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ □ ⇒ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	なっている → 4 → 5 優先度高し → 4 → 5 できた → 4 → 5 推移した	評価 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 7 7	点 評価 3 点 4 点 4 点	点合計	評価点 3点 4点 4点	
評 価	2. 事業の優先度は高いと思うが 3. 事業計画どおりに事業を進む 4. 活動指標の達成状況(率)は記 5. 成果指標の達成状況(率)は記 G 【担当係長の意見・	の向上が期待できる事業内容となっている。 か (同じ成果指標設定事業内での優先度) かることができたか + 画どおり推移しているか + 画どおり推移しているか	to .	なっていない 1 → 2 - 優先度低い 1 → 2 - できなかった 1 → 2 - 推移していない 推移していない	⇒ 3 · ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ ⇒ 3 · ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	なっている → 4 → 9 優先度高し → 4 → 9 できた → 4 → 9 推移した → 4 → 9	評価 5 5 5 5 5 5 5 5 5 6 7 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	点 評価 3 点 4 点 4 点 4 点	15 点	評価点 3点 4点 4点 ——点	評価点合計 15 点 /25点

I 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

500

2,750

1,250

388

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 (令和 3 年度決算) 事 農業振興課 畜産振興係 102003 1 務 価 係名 事 業 経営基盤強化対策事業 細事業 乳用牛保留事業 実施計画事業 乳用牛保留事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 26 策 Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 策 1 農業の振興 別計 乳用牛保留事業補助金 款 期間 年度 750 6 年度 ~ 項 施策展開 ③畜産業を支援する 2 名 後期基本計画 23 P コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 過疎計画 総合戦略 決算 106 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 ≪事業の目的> 乳牛飼養農家で生産された乳用牛を自家保留 し、育成牛として飼養管理に要する経費の一 部を支援し、経営の安定化を図ることを目的 とする。 自家保留1頭につき50千円助成 令和3年度実績9頭 R 3 計画 750 750 R3 当初予算 750 750 決 算 額 526 138 388 R 4計画 500 500 R4 当初予算 500 500 決 算 額 R 5 計画 500 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 自家保留1頭につき50千円助成 令和3年度計画15頭 R6計画 500 500 当初予算 R6 決 算 額

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値					
С	1 —		□ 個別計画			実績値					
活					%	達成率					
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		頭	目標値	15	10	10	10	10
D	1 事業量	助成頭数	□ 総合戦略	7	妈	実績値	9				
成			□ 個別計画		%	達成率	60.0				
成果指標			総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	  象						<b>(</b>	対象外事業に	<b>↓F~Ⅰ欄</b> ≉	記入 可)

R3 ~ R7 合 計

R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

500

2,750

1,250

526

138

3点

/25点

3点

/25点

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3$ → 4 → 5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 3点 評 優先度低い 優先度高い 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 3点 3点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 点 点 12 点 12点 推移していない ⇒ 推移した → 3 → 4

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
本事業は農家戸数の減少著しい酪農家を支える重要な事業と位置づけています。また、県の後継牛緊急確保特別対策事業の受け皿になっていることから、事業規模は小さいですが、今後も継続していきたい。	事業規模は小さいが、今後も継続していく。

令和5年度の事業の方向性

成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

R7

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 農業振興課 畜産振興係 102009 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 経営基盤強化対策事業 細事業 肉用牛大規模経営体育成事業 実施計画事業 肉用牛大規模経営体育成事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 26 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 肉用牛大規模経営体育成事業補助 **策** 1 農業の振興 別計 款 期間 年度 3,500 6 年度 ~ 項 施策展開 ③畜産業を支援する 2 画 名 後期基本計画 23 P コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 過疎計画 総合戦略 決算 106 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 将来の中心的な役割を担う認定農業者が実施 する、畜舎や堆肥舎等の建設や改造並びに附 帯設備や機械の整備に対して支援し、中核的 大規模経営体を育成することを目的とする。 畜舎修繕1件 R 3 計画 3,500 3,500 1, 167 2,333 R3 当初予算 3,500 決 算 額 2,807 1,870 937 R 4 計画 3, 500 3, 500 R4 当初予算 決 算 額 R 5計画 3,500 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 畜舎修繕1件 畜舎新築1件 R6計画 3,500 3,500 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 3,500 3,500 R7 当初予算 決 算 額 計画額 17,500 17,500 2, 333 R3 ~ R7 合 計 当初予算 3,500 1, 167 決 算 額 2,807 1,870 937  $egthinspace{1.5em}$ 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) R5 R6

$\rightarrow$	#1 IE 2E 18: E	3E   M   E - 7   E - 7   7   7   7   7   7		 	~~~~					
			○ 総合戦略		目標値					
С	1 —		□ 個別計画		実績値					
活				%	達成率					
動指			総合戦略		目標値					
標	2 =		個別計画		実績値					
				%	達成率					
			総合計画	件	目標値	2	2	2	2	2
D	1 事業量	事業実施件数	□ 総合戦略	14	実績値	1				
成			□ 個別計画	%	達成率	50.0				
果指			□ 総合計画		目標値					
標	2 —		□ 総合戦略		実績値					
			□ 個別計画	%	達成率					

評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/5つの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \text{restance} & \Rightarrow & \text{rest.} \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した		16 点	—— 点	16点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 #我  ナ	4 点	∕25点	4 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 ※今後の事業の進め方等 本事業は県単事業であり、補助要件が大規模経営体のため、大規模経営体の少ない本市で は事業要望のあった年のみの取り組みとなるが、大規模経営体を支える事業として、今後 も取組んで行きたい。 年齢要件もあり、若手の大規模にとって非常に有効な事業である。新規就農者 も含めて、引き続き協力に推進する。

令和5年度の事業の方向性

	事業番号	枝番	<ul><li>( 令和 ;</li><li>( 令和 ;</li></ul>				_	計画実 務 事			(兼道 価	_	・管: 調	理) 書	課局	名	農	業振興調	課	係名	音		( <b>様式 1</b> 
事	業	経営基盤強化	上対策事業			細事	業 肉用	牛生産基	を盤拡大	て緊急支払	爰事業		実	施計画	事業	終殖雌4	丰安定	生産対策	策事業	ŝ		終了 年度	なし
		】 計画体系図№																					
会計		政策	I 豊かな		とえる	しごと	があるま	5				個別	<b>4000</b>							E 主な歳 繋拡大緊	出 <b>名称</b> 急支援事		当初予算
款	6	施策展開	1 農業の		7						<u> </u>	計 -	期間		年度 ~		年度	補助金			-1042	-	6, 3
項 目	2		③ 畜産業を 計画 23			<b>疎計画</b>	Тп	総合戦略		コロナ充	<b>→</b> 12	曲名	期間		年度 ~		年度						
決算		及州至年	- 11四 23	F L		以味可凹		松口料帕		JH / /L	<u>-</u> ] [		# <b>7</b> 1111		+12		+/2						
/\	100	A 事業目的	・内容・実	横	1.								В	事業	計画額	決算額	領等	<u></u>			-0	( ))	
		事業の目的	と内容		年度			主なえ	活動実	績			$\prod$		事業	<b>養計</b>	国阜	支出金	tth -	財源内 方債	<u>訳</u> その他		単位:千円 一般財源
<1	事業の目	的>	の奴曲の	±17 ≠ ±155	$\vdash$	繁殖	雌牛の増	頭1頭あ	たり10	5千円補助	Л		R	3計画	<u> </u>	6, 300		3, 150	-0,	7 152	( 0) [		3, 15
L,	「おお」	増頭を行う際 いた豊後牛」	のうち、よ	り高品質	R:		13年度実	:績56頭						初予算	Į	6, 300		3, 150					3, 15
な牛 強化	·肉であっ するこ	る「おおいた とを目的とす	和牛」の生 る。	産基盤を									決	: 算 割	頁	5, 880	-	2, 940					2, 9
					$\vdash$								R	4計画	EI .	6, 300		3, 150					3, 1
					R	4							坐	初予算	<b>拿</b>	6, 300		3, 150					3, 15
													決	: 算 割	頁								
					F								R	5 計画	i i	6, 300		3, 150					3, 15
					R	5							坐	初予算	<b>拿</b>								
<:	令和3年	F度の取組内容	字(計画)>										決	. 算 割	頁								
		である「おおいた和牛」の生産 である「おおいた和牛」の生産 ることを目的とする。 和3年度の取組内容(計画)> 年の増頭1頭あたり105千円補助 年度計画 6 0頭	助									R	6計画	ΞĪ.	6, 300		3, 150					3, 15	
14 11	10 121				R	6							坐	初予算	<b></b>								
													決	: 算 額	頁								
					Г								R	7計画	ΞĪ.	6, 300		3, 150					3, 15
					R	7							<b></b>	i初予算	<b></b>								
					L								決	等 額	頁								
													計	- 画 割	頁	31, 500		15, 750					15, 75
							R3	~ R	7 合	計			坐	初予算	草	12,600		6, 300					6, 30
													決	: 算 割	頁	5, 880		2,940					2, 94
<u> </u>		評価指標名	3	- 1	指標値	の説明	(算出方)	去等)		各計画指	標	R 2	実績値	単位			R3	R	4	R5	R	ô	R7
_										□ 総合	戦略				目標								
	1 —									□ 個別	計画			%	実績								
活動									- 1		-			90	目標								
指	2 _										戦略				実績								
125										□ 個別	計画			%	達成								
	İ								<del>-  </del>	総合	計画			1	目標		6	50	60	(	60	60	(
D	1 事業	量		助成頭貓	数					□ 総合	戦略		68	頭	実績	直	5	56					
成										□ 個別	計画			%	達成	率	93.	3					
果指									] [		計画				目標					-			
煙	2 _			1					1 1	2 総合	半水			1	実績	古		1			1		1

/0													
動指					総合戦略			目標値					
標	2 _				個別計画			実績値					
					间加引品		%	達成率					
					総合計画		古古	目標値	60	60	6	0 60	60
D	1 事業量		助成頭数		総合戦略	68	頭	実績値	56				
成					個別計画	i	%	達成率	93. 3				
成果指標					総合計画			目標値					
標	2 —				総合戦略			実績値					
					個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由	0評価対								(	対象外事業	<b>┊はF~Ⅰ欄</b> :	未記入 可)
		<u> </u>		: = \tau / = \					-2	マ評価 (係	長)	二次評価(	課長等)
			許価項目/50の税点(1~5点)	計加)					評価	点 評価	点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民7	アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているが	jγ	な	1 → 2 → つていない	3 -	→ 4 → 5 なっている		3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高	高いと思うか	い (同じ成果指標設定事業内での優先度)		1	1 → 2 → 憂先度低い	3 -	→ 4 → 5 優先度高し		5 点		5 点	
	0 事業計画 じわけい	- 本 类 ナ ゾ ょ	ンフェルボズキャム			1 → 2 →	3 -	→ 4 → E	5	4 ±		4 =	

-	The state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the s	なっていない ⇒ なっている	O AM		0 ///	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$	5点		5点	
計	2. 手术の優先及は同じて心力が、同じ成木指标改定手术門での優先及/	優先度低い ⇒ 優先度高い	JM G		m G	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$	4 点		4 点	
価	0. 手木田自己のグルチボと足のもことが、くこだが	できなかった ⇒ できた	7 ///		7 ///	
ІШ	  4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$	— 点	10 .	— 点	16 .
	1. 治動指標の足域内が(中/18計画とおう証例のでする)	推移していない ⇒ 推移した	7110	16 点	7110	16点
	  5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$	4点	/25点	4 点	/25点
		推移していない ⇒ 推移した	1 ////	, 20 MK	1 ////	, 20 MK
		Τ				
	G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】	※評価・改	善策等を踏ま	えた課長職等	の所見
本事	業は県単の増頭事業であり、補助要件に高育種価要件があるため、市内農家の高育種	引き続き、高育種価牛の導入を	:推進する。	-	-	
価牛	の導入推進に好影響を与えていますので、今後も継続していきたい。					

令和5年度の事業の方向性

																									/+ <del>* - *</del> - 4 \
_	*業番号 	<b>枝番</b>		-	ì和 和 和						↑画実 殇 事		書画	(乗え 価		_	_	課局名	典	<b>業振興</b>	======================================	係名	z a	产均	( <b>様式 1</b> )  長興係
			.76.0			, <del>,</del> ,	- 150, 1									-	_					IN 1		終了	
爭		経営基盤 +画体系図			- //-				細事業		牛生産基	·盤拡大 9	終急支払	<b>发</b> 事業		美施語	計画-	<b>事業</b> 子牛市	場店性	化对策-	<b>事</b> 莱			年度	R3
会計	一般	政	策			生活	を支え	えるし	ごとが	あるま	5			T.	個					令和 ;	3 年月	度 主な詞	歳出名称	ì	当初予算額
款	6	施	策	1 農	業の担	辰興									別期間計		4	年度 ~	年度	肉用牛 補助金	生産基	盤拡大緊	※急支援事業	(SI)	1,800
項	2	施策原	展開	③畜	産業を	と支払	爰する								画										
目	1	後期	基本	計画	23	Р		過政	画信		総合戦略		コロナ充	当	名期間	1	4	年度 ~	年度						
決算	106	4 事業	目的	• 内容	・実	橨										В事	集計	画額・決算	額等						
		事業の	目的	と内容	容			年度			主なえ	舌動実績						事業費計		+1114	111	財源内			位:千円)
<1	事業の目的	勺>						及	R3実	績413頭						R 3 i	計画	1, 80	-	<b>支出金</b> 1,200	地	方債	その他	+	一般財源 600
雄牛	ム育種価の利用促	進を支	援し、	、「お	3おい;	た豊	後牛	R3								当初·			-	1, 200					600
た和		り高品 産基盤	質な4 を強	牛肉て 化する	である。	「お: を目:	おい 的と									決 算		1		2, 478					1, 239
する	0															R 4	計画								
		13年度の取組内容(計画) > 育種価評価等により選抜、供用 有種雄牛の人口授精を行った場 頭あたり9千円を助成する。					R4								当初 <sup>-</sup>	予算									
		育種価評価等により選抜、供用 有種雄牛の人口授精を行った場													決 算	[額	i								
		の生産基盤を強化することを 3年度の取組内容(計画) > 種価評価等により選抜、供用 種雄牛の人口授精を行った場													R 5	計画	i								
								R5								当初									
						用開炉	始さ									決算			-					_	
れた殖雌	県有種雄牛1頭あた	牛の人	口授料円を即	青を行 助成す	ったする。	場合、	繁	R6								R 6 i									
					- 0			ΝŪ								決 第									
								┢								R 7									
								R7								当初 <sup>-</sup>	予算								
																決 算	額	i							
																計画	<b>i</b> 額	1, 80	00	1,200					600
										R3	~ R	7 合	計			当初 <sup>:</sup>	予算	1,80	00	1,200					600
																決算	額	3, 7	.7	2, 478					1, 239
		評価打	旨標名	1			——————————————————————————————————————	票値の	説明(	算出方法	去等)	T &	<b>5計画指</b>	6標 ┃	R 2 実終	青値 単	位	達成度	R3	T R	84	R5	R6		R7
							-					<u> </u>		戦略			ī	目標値							
С	1 —													引計画				実績値							
活													」旧りか	1011		ģ	%	達成率							
動指													総合	戦略			-	目標値							
標	2 —												個別	引計画			%	実績値							
													総合	計画			T	目標値	20	0					
D	1 事業量	ţ				助成	対象	頭数					総合	戦略	:	266	頁 -	実績値	41	3					
成													個別	引計画		ģ	%	達成率	206.	5					
果指:														計画			-	目標値							
標	2 —													戦略			%	実績値							
		~ =				-							] 1四か	計画			,0	连从十							\
E	評価対	象外の理	里田	60	平価対	象																	業は <b>F~I</b>		
							評	価項目	/5	の視点	(1~5	点で評価	)							-次評価 価点		長)	二次評価点	_	課長等) 評価点合計
F	1. 市民	満足(ī	市民ア	<b>フ</b> ンケ	- F)	の向	上が期	月待で	きる事	業内容と	なってし	るか		なっ	ていな	<b>را</b> =	⇒	→ 4 → 5 なっている		3 点			3 点	ā	
評	2. 事業	の優先原	度は高	いと	思うか	(同	じ成身	<b>製指標</b>	設定事	業内での	優先度)			優	先度低し	.۱ =	⇒	→ 4 → 5 優先度高い		3 点			3 点	ā	
価	3. 事業	計画ど	おりに	事業	を進め	るこ	とがで	<b>ごきた</b>	か					でき	きなかっ	<i>t</i> = =	⇒	→ 4 → 5 できた		5 点			5 点	ā	
	4. 活動	指標のi	幸成 お	光记 (落	医士(河	画げ	おりま	生秘 1	ている	h١					<b>→</b> 2	<b>→</b> ,	J –	→ 4 → 5		- 点	Ī	1.0	— 点	5 I	16 ⊨

4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

本事業は、県単の県有種雄牛授精推進事業でR1から実施され、毎年補助件数を伸ばし事 業成果を上げました。R3をもって廃止。

推移していない ⇒

 $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない  $\Rightarrow$  推移した

推移した

- 点

16点

/25点

- 点

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 県有種雄牛の拡大に有効であるが、R3をもって廃止となった。今後も県の予算化と併せて、推進する。

16 点

/25点

3	事業番号	枝番		令和						· .				_			兼	<b>佳</b> 抄	曾	理)	_ 1									様式1)
	102014	1	(	令和	3	年	度:	決 3	Į)	号	<b>.</b>	務	4	1	業	評	Ø	4	調	1	F	課局名	農	業振興	課	係	名	畜産	€振.	興係
事		<b>E</b> 営基盤			Ė				細	事業	酪鳥	農支	援対策	<b>食設備</b>	整備	事業			517	実施計	画事	事業 酪農支	援対策	<b>策設備整</b>	孫備事	業		終 年		なし
会計		·画体系图 政		21 ) I 豊か	な生	三活を	と支	える	しご	とがる	あるま	まち					<b>-</b> 11	-						令和	3 年	き また	歳出	名称	当	初予算額
款	6	施		農業の	り振	興											7	個別	期間		年	度 ~	年度					業補助金		600
項	2	施策原	展開 ③	3)畜産業	きを	支援	する	1									]	計 – 画 夕												
目	1	後期	基本計	画 23	3 1	>		過	疎計	画		総	合戦略	\$	] =	ロナ充語	当	名	期間		年	度 ~	年度							
決算		事業	目的・	内容・夏	実績			1											1 F	B 事 #	計	画額・決算	額等						<u>L</u>	
		事業の	目的と	内容				年度					主な	活動領	€績						/	事業費計	国具	見支出金	t t	財源 也方債	内訳	その他		立: 千円) -般財源
	事業の目的 経営の基	]> 盤強化	と経営	或覚に値	憂わ	た非	lli	Г	事	業実	績無	し。							11	R 3計	画	600	-	400	+	277 20		Ç 12		200
手の	)確保を促 )化施設整	進する	ため、	新技術を	を利るこ	用しとに	た	R3	3										I	当初予	算	600	)	400	)					200
り酢	農の発展	に資す	ること	を目的。	とす	る。													┨┠	決算										
								D.											H	R 4計		600	)	400	)					200
								R4	1										Ιŀ	当初予 決 算										
								H											11	<u> </u>		600	)	400	)					200
								RS	5										lt	当初予	算									
	令和3年					_\														決 算	額									
者系	対策用換	気扇 8 7	台設置	(農家類	汉 1	尸)		l											Iŀ	R 6計		600	)	400	)					200
								Re	i										H	当初予										
								H											╂	決 算 R 7 計		600	)	400	)		-			200
								R7	,										Iŀ	当初予		000		400						200
								l											I	決 算	額									
								Г											П	計画	額	3, 000	)	2,000	)					1,000
								l			R	3 -	~ F	27 合	計				Ιŀ	当初予		600	)	400	)					200
																			JL	決算	額									
	ı	評価指	°.↓≖. ⊅				4th.	<b>↓</b> ≖ /±	0.54	明(算	<del></del>	·+ **			kr =	l sett.	Læs I			14 W I		達成度	R3		R4	R	-	R6		D7
		计叫付	日保石		$\frac{1}{1}$		拍	示旭	いが	·97 (§	<b>+</b> ш/Л	広寺	+ /					r. 2	<b>天</b> 頼	. 心 平1	_	目標値	иo		114	K	J	NO	1	R7
С	1 —															総合						実績値								
活動					$\downarrow$											四刀竹	1 M			%	-	達成率							$\downarrow$	
指	2 _																				-	目標値 実績値							+	
175																個別	計画			%	_	達成率								
					İ									T		総合	計画			F	i	目標値		1		1	1		1	1
	1 事業量				India	事業等	実施	農家	戸数	ζ						総合				Ĺ		実績値				-			+	
成果					+									$\dashv$		個別 総合	-			%		達成率 目標値							+	
指標	2 —															総合					F	実績値								

С	1 —		□ 総合戦略	i		日標値 実績値					-	4
活	1 —		□ 個別計画	i	%	達成率						-
動指標			□ 総合戦略	:		目標値						٦
標	2 _		□ 個別計画			実績値						
					%	達成率						
			□ 総合計画	i	Ħ	目標値	1	1	1	1		1
D	1 事業量	事業実施農家戸数	□ 総合戦略	i	广	実績値						
成			□ 個別計画	i	%	達成率						
果指標			□ 総合計画			目標値						
標	2 —		□ 総合戦略			実績値						
			□ 個別計画		%	達成率						
			•		,							$\exists$

(対象外事業は**F~I欄**未記入 可) E 評価対象外の理由 O評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2 点		2 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	—— 点	10 点	—— 点	10点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2 点	/25点	2 点	∕25点

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 今後も気温上昇が予想されるが、対象者が2戸であるため、要望をしっかりと 把握しながら推進する。 G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 本事業は県の酪農暑熱対策事業である。R3に事業要望が1件ありましたが諸事情により実施には至りませんでした。酪農における暑熱対策は大変重要であるため、今後も要望があれば事業実施したい。

I 令和 5 年度の事業の方向性

なし

当初予算額

3,000

1,328

600

基盤整備係

係名

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 枝番 (令和 3年度決算) 事 課局名 農林整備課 価 105001 1 実施計画事業 農道維持管理事業 事 業 農道維持管理事業 細事業 農道維持管理事業 総合計画体系図No.→( 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 令和 3 年度 主な歳出名称 会計 一般 政 個別計 策 1 農業の振興 期間 農道維持補修工事請負費 款 年度 ~ 年度 6 項 施策展開 ⑥農業生産基盤を整備する 3 通信運搬費 名 目 1 後期基本計画 24 P ✓ 過疎計画 □ 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 農業水利施設管理道路管理委託料

決算   107   A 事業目的・内容・実績			B 事業計	画額・決算都	光熱水雪	₿		504
事業の目的と内容	年	主な活動実績	\	事業費計		財源区	<b></b> 村訳	(単位:千円)
	度			<b>学</b> 术良司	国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 農道の適正な維持管理により、農耕車両及び 一般通行車両等通行者が安全に通行できる状		・農道除草作業委託 (1路線 延長L=1.440m)	R3計画	6, 334			1, 076	5, 258
一般通行車両等通行者が安全に通行できる状態を確保する。	R3	(1路線 延長L=1,440m) ・農道維持補修工事 ・農業水利施設管理道路管理委託	当初予算	6, 334			1, 076	5, 258
AND THE PROPERTY OF		成未小門施以自在追加自在安加	決算額	5, 332			1, 017	4, 315
			R 4計画	6, 334			1,076	5, 258
	R4		当初予算	7, 801			2, 062	5, 739
			決算額					
			R 5計画	6, 334			1,076	5, 258
	R5		当初予算					
<令和3年度の取組内容(計画)>			決算額					
・農道除草作業委託 (1路線 延長L=1,440m)			R 6計画	6, 334			1,076	5, 258
・農道維持補修工事 ・農業水利施設管理道路管理委託	R6		当初予算					
及未小門旭以日生追聞日生安癿			決 算 額					
			R 7 計画	6, 334			1,076	5, 258
	R7		当初予算					
			決 算 額					
			計画額	31, 670			5, 380	26, 290
		R3 ~ R7 合 計	当初予算	14, 135			3, 138	10, 997
			決 算 額	5, 332			1,017	4, 315

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	6, 334	6, 334	6, 334	6, 334	6, 334
С	1 農道維持管理事業	総事業費	□ 個別計画	6, 334	円	実績値	5, 332				
活					%	達成率	84. 2				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	6, 334	6, 334	6, 334	6, 334	6, 334
D	1 農道維持管理事業	総事業費	□ 総合戦略	6, 334	円	実績値	5, 332				
成			□ 個別計画		%	達成率	84. 2				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(109点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 遠隔地の市管理農道における土砂撤去、除雪、溶解剤散布等の維持管理及び農道施設の点 機等対応。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 枝番 (令和 3 年度決算) 事 課局名 農林整備課 基盤整備係 105002 1 務 価 係名 事 業 農道維持管理事業 細事業 原材料支給事業 実施計画事業 原材料支給事業 なし 総合計画体系図No.→( 策 Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 原材料費 (地元申請支給分) 款 策 1 農業の振興 期間 年度 ~ 年度 18,000 6 項 施策展開 ⑥農業生産基盤を整備する 3 画 名 目 後期基本計画 24 P ✓ 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 決算 107 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額·決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 R 3計画 18,000 900 ・材料文稿 農業用施設に対する原材料支給 (2戸以上の共同で施行されるもの) るため、に場、農道、用排水施設などの農業 生産基盤を整備し、生産性向上による農業の 競争力強化を図ります。 R3 当初予算 17, 100 900 18,000 38件 決 算 額 12, 785 12, 100 685 R 4 計画 18,000 17, 100 900 R4 当初予算 18,000 17, 100 900 決 算 額 R 5計画 18,000 17, 100 900 R5 当初予算 決 算 額 <令和3年度の取組内容(計画)> 原材料支給 R6計画 18,000 17, 100 900 ・ 機業用施設に対する原材料支給 (2戸以上の共同で施行されるもの) 45地区×400千円 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 900 18,000 17, 100 R7 当初予算 決 算 額 計画額 90,000 85, 500 4,500 当初予算 1,800 R3 ~ R7 合 計 36,000 34, 200 決 算 額 12,78512, 100 685 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R6 R7 目標値 18,000 18,000 18,000 18,000 18,000 □ 総合戦略 円 С 1 原材料費 総事業費 18,000 実績値 12,785 個別計画 達成率 71.0 活動的 目標値 4/1 △ 2/14 me

一 価対象外の理由	総事業費 の評価対象			個別計画 総合計画 総合計画 総合計画 総合計画 総合計画 総合計画 総合計画 との計画	18,000	% 千円 %	実達目実達目実達領域標績成標績成標績成標績成標績成標績成	18, 000 12, 785 71. 0	18, 000	0 18,0	00 18,000	18,000
価対象外の理由	0評価対象			総合計画総合戦略個別計画総合計画総合戦略	18,000	千 円 %	目標値 実績値 目標値 実績値	12, 785	18, 000	0 18,0	00 18,000	18,000
価対象外の理由	0評価対象			総合戦略 個別計画 総合計画 総合戦略	18,000	· %	実績値 達成率 目標値 実績値	12, 785	18, 000	0 18,0	18, 000	18,000
価対象外の理由	0評価対象			個別計画 総合計画 総合戦略	18,000	%	達成率目標値実績値					
価対象外の理由				総合計画総合戦略			目標値	71.0				-
価対象外の理由				総合戦略		%	実績値					
価対象外の理由						%						
				個別計画		%	達成率					
							足が十					
	評価								(	(対象外事	業は <b>F~I欄</b>	未記入 可)
	評価							I ,	マ評価(係	: E \	二次評価	(無 E 体 )
		項目/5つの視点(1~	・5 点で評価)					評価		(長) 西点合計		(課長寺)
市民満足(市民)	アンケート)の向上が期待	できる事業内容となって	ているか		→ 2 → ていない		→ 4 → ! なってい?	5 .	3点		3点	
事業の優先度は	高いと思うか(同じ成果排	標設定事業内での優先原	度)	1			→ 4 → ! <b>優先度高</b> l	5	3 点	F	3 点	
事業計画どおり	こ事業を進めることができ	たか		1		3 -	<u></u> 後儿及同じ → 4 → ! できた		3 点	F	3 点	
活動指標の達成物	犬況(率)は計画どおり推利	らしているか		1		3 -	→ 4 → ! 推移した		3 点	15 点	3点	15点
成果指標の達成物		らしているか		1		3 -	# 4 → ! 推移した	5 .	3 点	/25点	3 点	/25 <sub>1</sub>
G 【担当係	長の意見・課題・改善策	等】 ※今後の事業の進	・大士生				職等の所見		. 小羊竿	生た外士	えた課長職等	の証目
	農業用施設に対し必要							業の継続が		サで組み	たた 休 文 帆 寸	07万元
307 IN 09 (	及来/17/2012年	· なりかしこへ加 / ジテス!	100/11/20/02/02/02		EN 9421	I HIS C	)	**** NETIVE 14	۵۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰۰			
				1								

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 農林整備課 課局名 基盤整備係 104001 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 農業農村整備事業 細事業 市営土地改良事業 実施計画事業 農業基盤整備促進事業 なし 総合計画体系図No.→( 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 **E備促進事業計画書作成** 別計 款 施 策 1 農業の振興 期間 年度 農業基盤整 業務委託料 6 年度 ~ 8,400 項 施策展開 ⑥農業生産基盤を整備する 3 画 農業基盤整備促進事業工事請負費 24,600 名 目 後期基本計画 24 P コロナ充当 期間 年度 ~ 過疎計画 総合戦略 決算 108 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援する 農業体質強化基盤整備事業 ・農地耕作条件改善事業 農業用施設の更新・改修 1.0式 R 3 計画 33,000 22,770 7,770 なけた保持の ため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生 産基盤を整備し、生産性向上による農業の競 争力強化を目的とする。 R3 当初予算 22, 770 2, 460 7,770 33, 000 決 算 額 43,710 29,946 2,882 10,882 R 4 計画 51,500 34, 500 2,800 9,800 4,400 R4 当初予算 63, 780 47, 270 4, 200 12, 310 決 算 額 R 5 計画 51,500 34, 500 9,800 4,400 2,800 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 · 農業体質強化基盤整備事業 R6計画 51,500 34, 500 9,800 4,400 2,800 展来に対照に基金証品等等 ・農地耕作条件改善事業 農業用施設の更新・改修 暗渠排水工事 揚水施設整備工事 農道舗装工事 1.0式 R6 当初予算 1.0式 1.0式 決 算 額 1.0式 R 7計画 51,500 34, 500 9,800 4,400 2,800 R7 当初予算 決 算 額 18, 970 計画額 239,000 160,770 39, 200 20,060 R3 ~ R7 合 計 当初予算 70,040 20,080 96, 780 6,660 決 算 額 43,710 29,946 2,882 10,882

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	33, 000	51, 500	51, 500	51, 500	51, 500
С	1 農業基盤整備促進事業費	総事業費	□ 個別計画	53, 229	円	実績値	43,710				
活					%	達成率	132.5				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 =		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	33,000	51, 500	51, 500	51, 500	51, 500
D	1 農業基盤整備促進事業費	総事業費	□ 総合戦略	53, 229	円	実績値	43,710				
成			□ 個別計画		%	達成率	132.5				
果			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0 評価対	· <del>(</del> 4						(40	#象外事業は	t <b>F ~ Ⅰ 欄</b> 未	·記入司)

評価対象外の理由 0評価対象

	   評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価	fi (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの抗点(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 1 - なって	<u> </u>		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 1 - 優先	→ 2 → 3 → 4 → 5 度低い ⇒ 優先度高い 4点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 1 - できな	→ 2 → 3 → 4 → 5 かった ⇒ できた 4点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか       1 - 推移し	→ 2 → 3 → 4 → 5 ていない ⇒ 推移した 4点	20 点	4点	20 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 1 - 推移し	→ 2 → 3 → 4 → 5 ていない ⇒ 推移した 4点	∕25点	4 点	∕25点

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 ○課題 土地改良施設は老朽化により更新時期を迎えているが、更新事業とその分担金が大きな 課題となっている。 ヘ対等 土地改良施設の更新事業は、国・県の補助事業を活用し、施設管理者の負担の 軽減を図る。 スペート 国・県の補助事業を活用し、施設管理者の負担の軽減を図る。

令和5年度の事業の方向性

-	事業番号	枝番		(令	和(	3 年	F ß	₹Ħ	画	· )	総1	슼뒮	上画	実	施	計運	ī <b>4</b>	<b>!</b> ( <del>!</del>	兼道	Ĺ捗¹	管	理)										(‡	様式 1 )
1	104001	2		(令	和(	3 年	F 月	₹ 決	算		事	矛		事		業		· 評	佃	_	調	1	F	課局	名	農林	木整備記	果	係:	名	基盤	整	備係
事	業	農業農村	整備	事業						細事業	ī	市営:	土地	也改良	も事業	<b></b>					実	施計	画	事業	圣営体	育成土:	地利用詞	周整推	推進事業	48	終		なし
	総合計	一画体系区	]No.→						1						_	_																	
会計	一般	政	策					支え	るし	ごとか	ぶある	るまな	5							固							令和 3 経営体育					当	初予算額
款	6	施	策		業の技			-106- 640	. 1										<b>⊣</b> 1	別期計	間		ź	F度 ~		年度	委託料	7 / ()	.26497131	川正1正	严于术		1, 150
項	3	施策展			業生産			-		- 1		7 .	40 A	Wh man	.T r	_		1 10	<b>-</b> 1 I	画 名 # # # # # # # # # # # # # # # # # #													
月 決算	1 108	<b>发</b> 期	基本i	計画	24	Р	Į	<b>v</b>	道以	計画	L		総台	戦略	i L		<u> ПП.</u>	ナ充当	IJL	期	间		2	F度 ~		年度							
八开		事業目	的:	- 内容	・実	橨															E	3 事 3	ŧH	画額	・決算	領等							
		事業の	目的	と内乳	容				年度				Ξ	主な	活動	実績					`			事	業費計	田旧	支出金	+#h	財源区 方債		の他		位:千円) -般財源
<;	事業の目的	1>		we tra to		1.10		1	<i>^</i>	・大名	分県	農業	経営	高度	更化5	支援	事業				F	국 3 計	-画		1, 150		<b>УШ</b>	냰	刀頂	٠	OFILE		230
ため	農業者の 、ほ場、	農道、月	刊排力	水施部	となど	の農	業/	Ė	R3	-	【字	田枝:	地区								⊩	当初予	_		1, 150	-	920						230
産基	盤を整備 強化を目 り農地集積	し、生産 的とする	産性育 る。 a	句上に あわせ	こよる, とて中	農業 心経	の覚	竟 本			農推	地集 進協	積区 議会	]作成 :業務	(委言	托 托		1. 0式 1. 0式	. 7. 7		⊢	央 算	-		1, 045	+	800						245
へのる農	)農地集積 と地集積促	率に応じ 進事業	じて§ への耳	事業費 取組を	負担 上推進	を助 しま	成った。	<del>-</del>						.,,,,,					-	_	F	₹4計	画		1, 150	+	920						230
								- 1	R4												실	当初予	算		3, 100	)	2, 480						620
								- 1													Ħ	夬 算	額										
								ı													F	⋜ 5 計	画		2, 300	)	1,840						460
								- 1	R5												븰	当初予	算										
	令和3年							L													Ħ	央 算	額										
· 大	:分県農業 土地利用	調査調整	医事業	費	業																F	२ 6 計	画		2,300	)	1,840						460
	農地集 推進協	積図作店 議会業務	戈委計 务委計	£ £	1. ( 1. (			- 1	R6												븰	当初予	算										
								L													Ħ	央 算	額										
																					⊩	マ 7 計			2, 300	)	1,840						460
								- 1	R7												F	当初予											
								ŀ												_	⊢	央 算											
								- 1				_ ^		_	_						H	计画			9, 200	+	7, 360						1, 840
								- 1				R3	~	R	/ 1	合言	<b>5</b> †				⊢	当初予			4, 250	+	3, 400						850
															_						Ъ	夬 算	谼		1, 045	)	800						245
		評価指	標名					指標	値の	説明	(算出	方法	等)		_	存	計画	画指標	Ę	₹2実	績値	直単位	立	達成	度	R3	R	4	R5		R6		R7
	\$4 mm 11	· + + - ·	alest a r	TI = CO ++	tr 144-												]	総合単	略			千		目標	値	1, 15	0 1,	, 150	2,	300	2, 30	0	2, 300
С	1 経宮体	育成土地	也不归户	十調點	全推	総	事業	費									] {	個別言	画	1,	100	-	-	実績	-	1,04							
活動																⊢			4			%		達成		90.	9			-		+	
指	2 _																] {	総合単	略				ŀ	目標 実績								+	
標	-																] {	個別言	画			%	+	達成						-		+	

	計逥指标石	拍标他の説明(昇山万広寺)	谷 司 凹 拍 保	RZ美粮胆	中四	连队及	кo	Ν4	КЭ	ΝO	R/
	勿兴化太子 1. 地利田部散州		□ 総合戦略		壬	目標値	1, 150	1, 150	2, 300	2, 300	2, 300
С	1 経営体育成土地利用調整推 進事業	総事業費	┃ ┃    個別計画	1, 100	円	実績値	1,045				
活					%	達成率	90. 9				
動指			│ │ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		千	目標値	1, 150	1, 150	2,300	2, 300	2, 300
D	1 経営体育成土地利用調整推進事業	総事業費	□ 総合戦略	1, 100	円	実績値	1,045				
成			□ 個別計画		%	達成率	90. 9				
果			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
						· ·					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \red{0.05cm}  &                                  $	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 #我! ていない ⇒ #我! た	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

・大分県農業経営高度化支援事業(土地利用調査調整事業費:宇田校地区)は集積業務委託は農地集積率アップのため必要であり、推進協議会委託については農地集積促進に欠かせない事業である。

・大分県農業経営高度化支援事業は農地集積率アップのため必要な事業である。

令和5年度の事業の方向性

4	事業番号	枝番	]	(令和	3 年度	計画	ī)	総合	計画	実施調	計画:	書(	兼進	捗訇	理)	)							(様式 1
]	04001	3		(令和	3 年度	決貨	[ )	事	務	事	業	評	価	訓	1	ŧ	課局名	農材	整備詞	果	係名	基盤	整備係
事		農業農村					細事業	市省	営土地は	改良事業	<b></b>				実施計	一画	事業 農業用	ため池/ 業	ザー	ドマッ	プ作成	業務 終年	
会計		計画体系I 政	図No.→ 策		な生活を支	「ラス」	~ L 7	ぶあろう	‡ ħ				ΤГ						<b>今和</b> (	2 年度	主な歳	出名称	当初予算額
款	6	施	策	1 農業の		- N O 1	J C C /		* · ·						₹		年度 ~	- mm	農業用7	ため池/		マップ作成	5, 10
項	3				産基盤を	整備す	ろ						計画	t					業務委託	<b>托料</b>			5, 10
<u>「</u>	1			計画 24			陳計画		総合単	能略 「	7 3	ロナ充動	- I 🕏		a a		年度 ~	年度					
決算		IX /V	14577	112 21	'   [	_ ~=.	*III		410 H 1	X-1		-,,,,,,	<u> </u>	7411-									
		A 事業	目的	内容・乳	起積		1							r	<b>В </b>	集	画額・決算	<b>頂等</b>					() ()
		事業の	目的	と内容		年度			主	な活動	実績						事業費計	国県3	九出全	₩	財源内	訳 その他	(単位:千円) 一般財源
, < ?	事業の目的	的>	1 10 7	*II	a such hohe s	-				ップ作用	<b>戈委託</b>			<b></b>	R 3 i	一	i 5, 100		<b>5,</b> 100	ریاد	J IQ	( 0)	川文 共7 川赤
時に	危険とな	くる場所	や避難	誰する場別	ん濫等した 所を地図上	R3		当初 国補正		地区 地区					当初			1	5, 100				
に示	し、事前 により	前に危険 自主的	な状態	まを市民! #や善段/	こ知らせる からの備え									Ш	決算		· ·	+	1, 900				
の強	花に活用	するこ	とを	的とする	5.	$\vdash$	-							╢	八 升 R 4 i		,	1	5, 500				
						R4								- 11	当初		-,		5, 500				
						1/4								Ш	決 算								
						$\vdash$																	
						R5								Ш	R 5 i								
	<b>∧</b> 1⊓ 0 <i>f</i> =	<b>中の取</b> 4	· a - th - th	/=1 <del>-=</del> 1 >		кэ								Ш	当初到								
	<b>〒和3年</b> 池ハザー			!(計画)>   漆託		$\vdash$									決 算								
R3	当初国補正	12地 17地	区	N 5X H L										Ш	R6								
Ka	国棚止	17坪				R6								Ш	当初引								
						$\perp$								_	決 算	. 額	i						
															R 7 i	十画	Ī						
						R7								Ш	当初于	予算							
						L								_	決 算	額	į						
															計画	額	10,600	1	0,600				
								R	3 ~	R7 1	合 計			Ш	当初予	予算	5, 100		5, 100				
															決 算	額	11,900	1	1,900				
	T				1 .														1 -				
		評価3	指標名		j ł	旨標値の	り説明	(算出方	[法等)		各記	计画指标	票 R	2 実績	_	$\rightarrow$	達成度	R3	R		R5	R6	R/
С	1 農業用	目ため池	ハザ・	ードマッ	W = # 1	ás.						総合	戦略	0.0	60 日 60	'⊢	目標値	5, 100		, 500	1, 50	00	
	プ作成	<b>以業務委</b>	託料		総事業領	₹						個別割	計画	3, 9	60 F	-	実績値	11, 900	1				
活動													-		7	0	目標値	233. 3					
指	2 _											総合	戦略			-	実績値						
175	_											個別	計画		9/	6	達成率						
												総合	計画		=	+	目標値	5, 100	5	, 500	1, 50	00	
D	1 農業用	月ため池	ハザ	ードマッ	総事業費	₽						総合		3.9	960 P	<u>.</u> -	実績値	11, 900	1	, 000	1,00	,0	
成	フ作用	<b>戈業務委</b>	: 計料		NO T /K3	•						個別記		0, 0	9	-	達成率	233. 3	+				
果												総合言	-				目標値						
指標	2 —											総合單				F	実績値						
										個別記			9/	6	達成率								
E	評価対	象外の3	理由	0評価	対象												<b>'</b>			(対	象外事		未記入 可)
						₹/≖ +≠	B / 5 :		占 / 4	. E ± ~	=17 /3E \							L -	次評価	(係長	(-)	二次評価	(課長等)
						计個垻	日/ 5	ノの代系	# ( I ~	- 5 点で	計1四)							評値	点	評価点	信合計	評価点	評価点合言
F	1. 市民	·満足(	市民ア	ンケート	)の向上か	期待で	きる事	業内容	となっ	ているカ	,				→ 3 د ا		→ 4 → 5 なっている	-	4点			4 点	
評	2. 事業	(の優先	度は高	いと思う	か(同じが	果指標	設定事	業内で	の優先	度)			1	→ 2	→ 3	3 -	→ 4 → 5	1	4点		ŀ	4 点	
рТ					カマー トカ									E度低し → 2		<b>→</b>	優先度高い → 4 → 5	$\vdash$			ŀ		1

		4. ;	活動指	票の達成状況	況(率)は	計画どお	らり推移して	こいるか		推移してい	ない ⇒	推移した	4 点	20 点	4 点	20 点
		5. J	成果指	標の達成状況	況(率)は	計画どま	おり推移して	いるか		1 → 2 推移してい		→ 4 → 5 推移した	4 点	/25点	4 点	/25点
			G	【担当係長	の意見・	・課題・ご	改善策等】	※今後の事業の進め	)方等	Н	【担当課長	職等の所見】	※評価・改	善策等を踏ま	えた課長職等	手の所見
R	3 ⅓	補正	(R 4 Å	桑越) によ	り、防災	災重点た	め池ハザー	ドマップ作成委託業	務終了。	R4繰越業	務で完了。					

I 令和 5 年度の事業の方向性

**☆** C. 終 了

(様式1) (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 枝番 課局名 農林整備課 (令和 3 年度決算) 事 基盤整備係 104001 4 務 価 係名 事 業 農業農村整備事業 細事業 市営土地改良事業 実施計画事業 農道施設点検業務委託事業 なし 総合計画体系図No.→( 策 Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 農道施設点検業務委託料 款 策 1 農業の振興 期間 年度 ~ 年度 10,000 6 項 施策展開 ⑥農業生産基盤を整備する 3 名 目 後期基本計画 24 P ✓ 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 決算 108 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額 決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 農道点検委託 広域農道大分中部線 トンネル1件 L=1,080m 橋梁1件 L= 34.5m **<事業の目的>** 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援する R 3 計画 10,000 3, 100 ため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生産基盤を整備し、生産性向上による農業の競争力強化を図ります。 R3 3, 100 当初予算 6,900 10,000 決 算 額 7, 764 5,044 1,082 1,638 R 4 計画 R4 当初予算 決 算 額 R 5 計画 R5 当初予算 決 算 額 <令和3年度の取組内容(計画)> 農道点検委託 R6計画 は 広域農道大分中部線 (トンネル1件・橋梁1件) ※5年に1回の施設点検 当初予算 R6 【令和8年度予定】 決 算 額 R 7計画 R7 当初予算 決 算 額 計画額 10,000 6,900 3, 100 当初予算 R3 ~ R7 合 計 6,900 3, 100 10,000 決 算 額 7,764 5,044 1,082 1,638 指標値の説明 (算出方法等) R4 R5 R7 評価指標名 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R6 目標値 10,000 □ 総合戦略 C 農道点検委託料 総事業費 実績値 7, 764 □ 個別計画 % 達成率 77.6 活 動 目標値 □ 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率

D	1 農道点検委託料	総事業費	<ul><li>□ 総合</li><li>□ 総合</li></ul>			目標値 実績値	10, 000 7, 764				
成			□ 個別	計画	%	達成率	77. 6				
果指			□ 総合	計画		目標値					
標	2 —		□ 総合	戦略		実績値					
			□ 個別	計画	%	達成率					
E	評価対象外の理由 0 評価対	対象							(対象外事	業は <b>F~I</b> #	未記入 可)
		部体でロノロのの切上(1 ロナイ	== /== \				-2	欠評価(化	系長)	二次評価	(課長等)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	計1四)				評価	点 評	価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているだ	)\	なっていない	⇒	→ 4 → なってい	<u>-</u> อ	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思う	か(同じ成果指標設定事業内での優先度)		優先度低い	⇒	→ 4 → 優先度高	L)	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進	めることができたか		1 → 2 → できなかった	⇒	できた		3 点		3 点	
щ	4. 活動指標の達成状況(率)は	計画どおり推移しているか		1 → 2 → 推移していない	⇒	推移した	:	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は	計画どおり推移しているか		1 → 2 → 推移していない		→ 4 → 推移した		3 点	/25点	3 点	∕25点
	G 【担当係長の意見・					長職等の所見			<b>養等を踏ま</b>	えた課長職等	手の所見
農道	施設点検も定期的(5年に1回	1) に行うものとする。		農道施設点検	は定見	期的(5年	に1回) に	行う。			

D. 休 止

令和5年度の事業の方向性

4	¥番号	枝番	(令	全和 3	年度記	计画	i) #	総合	計画実	施計	画:	書(茅	<b>東進</b>	捗	管理	)									(様	(式 1 )
1	04001	5	(令	和 3	年度》	夬 算	:) <b>!</b>	事	務引	<b>F</b> 3	業	評	価	Ē	調		課局名	i	農林	整備詞	果	係名	3	基盤	整備	孫
事	業	農業農村	整備事業				細事業	市省	営土地改月	良事業					実施	計画	事業 農地	也集積	報告書	作成美	業務委	託事業		終五年		R3
会計		計画体系図		11 ) 豊かな牛	・汗を古ら	, Z I	デレボ	なるさ	E +_				1 [	1						>.€π 2	3 年度	+ +> ±	を山 夕	松	业 tr	]予算額
款	6 6			皇業の振り		ころし	/ _ C //	(V) (V) 0	. 0				個別		問		年度 ~				資報告書				שלים ו	90
項	3	施策展		業生産基		備す	る						計画	-	100					X-0/K1	X IV II E	111 ////	C177 5C F			
目	1	後期	基本計画	24 F	· ·	過政	東計画		総合戦闘	各	] ]	ロナ充当	一夕		間		年度 ~		年度							
決算							I												_							
		A 事業目				年									B	栗	十画額・2		<del>等</del>			財源内	訳		(単位	: 千円)
			目的と内容	容		度			主な	活動実	<b>経</b> 積						事業費	計	国県支	出金	地方	債	そ	の他	<b>—</b> я	般財源
既		者の意欲向							告書作成》 2 期地区	業務委	託				R 3	計画	Ī	900		720						180
生産	基般を集	易、農道、 整備し、生	産性向	トによる	農業の	R3									当初	予算	[	900		720						180
競争	力強化を農地集制	を図ります	「。あわせ じて事業費	せて中心 費負担を	経営体 助成す									_	決争			836		600						236
る農	地集積伽	足進事業へ	への取組を	を推進し	ます。	5.4									R 4											
						R4									当初		-									
														-	ス 3 R 5		`-									
						R5									当初											
<:	令和3年	度の取組	内容(計画	画) >											決争											
		告書作成業 2 期地区	美務委託											1	R 6	計画	Ī									
豆豆	仅八打 2	2 州北区				R6									当初	予算	Ε									
															決〔	章 額	į									
															R 7	計画	Ī									
						R7									当初	予算	Ε									
															決争		1									
															計画			900		720						180
								R	3 ~ F	87 合	計				当初			900		720						180
															決〔	早 谷	ŧ	836		600						236
		27 (m. 16.	I= 0		45.4	# I+ a		*******	and offer)		hr =		· I_		د ا بدر د	w 11.	\*_£		<b>D</b> 0					D0		D7.
		評価指	標名		指柱	票値σ	説明(	算出方	法等)		各計	画指標	R	2 実	績値 5	单位	達成度 目標値		R3	R	4	R5		R6	_	R7
С		集積報告書	<b>小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小</b>	務委 ※	総事業費							総合戦	略				実績値		900						-	
活	' 託料				0.1.7634							個別計	画		F	%	達成率		92. 9							
動指												総合戦	略				目標値									
	2 _											個別計					実績値									
																%	達成率	<u> </u>					_		<u> </u>	
D	1 農地鎮	集積報告書	<b>小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小</b>	務委 "	総事業費							総合計総合戦				_	目標値 実績値		900						-	
成	' 託料			757	50 尹未其							個別計			-	%	達成率		92. 9						-	
果												総合計	-				目標値									
指標	2 —											総合戦	略				実績値									
												個別計	画			%	達成率									
E	評価対	対象外の理	由 0 部	評価対象	Ę																(対	象外事	業は	~ I 欄	未記	入 可)
			·		<b>≣</b> 亚	価値	目 / 5つ	の知っ	≒ (1∼5	占で部	価)								_;	欠評価	(係長	)	;	欠評価	(課長	等)
	1 +5	豆港口 /士	足ついた	~							, µш/		1 -	→ 2	2 →	3 -	→ 4 →	5	評価	-	評価点	合計	評	画点 。 点	評価	点合計
F		民満足(市  業の優先度											なって	こいた → 2	ない 2 →	⇒ 3 -	なってし → 4 →	vる 5		3点3点3点				3点3点		
評		*の後元及 禁計画どお						ACP3 C	<b>▽</b> /	•			1 -	→ 2	2 →	3 -	優先度高 → 4 →	5		3点				3点		
価								65				-			oた 2 →		できた → 4 →					_				1.5
		動指標の達										-	推移し	てい	ない	⇒	推移し → 4 →	t:		3点		15点		3点		15点
	つ. 成身	果指標の達	以	半川は計画	11 とおり推	E核し	しいるた	٦,				- 1	推移し				推移し			3 点		/25点		3 点	Ì	/25点

令和5年度の事業の方向性

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

農地集積報告書作成業務委託(豊後大野2期地区)はR3で終了。

 $\Rightarrow$ C. 終 了

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

農地集積報告書作成業務委託(豊後大野2期地区)はR3で終了。

∕25点

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 (令和 3 年度決算) 事 農林整備課 基盤整備係 104001 6 務 価 係名 事 業 農業農村整備事業 細事業 市営土地改良事業 実施計画事業 農業経営高度化促進事業交付事業 総合計画体系図No.→( 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 1 農業の振興 別計 農業経営高度化促進事業交付金 款 策 期間 年度 27,000 6 年度 ~ 項 施策展開 ⑥農業生産基盤を整備する 3 名 目 後期基本計画 24 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 決算 108 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援す 農業経営高度化促進事業交付金 三重東部地区 集積要件によりキャッシュバック R 3 計画 27,000 21,600 5, 400 既行展来日の息戦同工で利成級展を父の農業 るため、長場、農道、用排水施設などの農業 生産基盤を整備し、生産性向上による農業の 競争力強化を図ります。あわせて中心経営体 への農地集積率に応じて事業負担を助成す る農地集積促進事業への取組を推進します。 R3 当初予算 21,600 5,400 27,000 決 算 額 26, 080 20,864 5, 216 R 4 計画 R4 当初予算 決 算 額 R 5 計画 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 農業経営高度化促進事業交付金 三重東部地区 利用集積率 89.87% 要件:集積率89.87% 以内の交付(キャッシュバック) R6計画 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 R7 当初予算 決 算 額 計画額 27,000 21,600 5, 400 当初予算 R3 ~ R7 合 計 21,600 5, 400 27,000 決 算 額 26,080 20,8645, 216 A 計画比攝 B o 由维持 光片 法计库

	評価指標名	指標値の説明(昇出万法寺)	各計画指標	R 2 実績値	単位	莲风度	R3	K4	R5	Кb	R/
С	1 農業経営高度化促進事業交付金	総事業費	総合戦略		千円	目標値 実績値	27, 000 26, 080				
活	,,				%	達成率	96.6				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 —		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	27,000				
D	1 農業経営高度化促進事業交 付金	総事業費	□ 総合戦略		円	実績値	26, 080				
成果	1 4 352		□ 個別計画		%	達成率	96. 6				
果			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	象	·			<u> </u>		(\$	対象外事業に	ま <b>F~I欄</b> ≉	未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \r$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】	※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】	※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
農業経営高度化促進事業交付金(キャッシュバック:	三重東部地区)R3終了。	農業経営高度化促進事業交付金	(キャッシュバック:三重東部地区) R3終了。

令和5年度の事業の方向性 I

 $\Rightarrow$ C. 終 了

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 農林整備課 課局名 農林企画係 104003 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 農業農村整備事業 細事業 土地改良区育成事業 実施計画事業 土地改良区運営補助事業 なし 総合計画体系図No.→( 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 施 策 1 農業の振興 期間 年度 土地改良区運営補助金 11,831 6 年度 ~ 項 3 施策展開 ⑥農業生産基盤を整備する 画 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 24 P 過疎計画 総合戦略 決算 108 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 市が補助金を交付することにより、土地改良 区は土地改良財産を適正に維持管理し、各農 家の農業生産性の維持向上につなげ、農業所 得・経営の安定を図る。 豊後大野市土地改良推進協議会に加入している、若しくは市内に事務所を有し、恒常的に 職員を雇用する13土地改良区に対し運営補助 R 3 計画 11,831 11,831 R3 当初予算 11,831 11,831 金を合計で11,831,000円交付した。 決 算 額 11,831 11,831 R 4 計画 11, 708 11,708 R4 当初予算 11,708 11,708 決 算 額 R 5 計画 11,585 11,585 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 豊後大野市土地改良推進協議会に加入している、若しくは市内に事務所を有し、恒常的に職員を雇用する土地改良区に対し運営補助金を交付する。
・ 投行書送付・・ 概算払 11, 462 R6計画 11, 462 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 11,462 11,462 ・ ・ 実績報告 ・ 精算 R7 当初予算 決 算 額 計画額 58, 048 58,048 当初予算 23, 539 R3 ~ R7 合 計 23, 539 決 算 額 11,831 11,831

	評価指標名	指標値の説明 (算出方法等)	各計	画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
				総合戦略		千	目標値	11,831	11, 708	11, 585	11, 462	11, 462
С	1 交付金額	土地改良区に交付した補助金額		個別計画	11, 954	円	実績値	11,831				
活				旭加司巴		%	達成率	100.0				
活動指標				総合戦略			目標値					
標	2 —			個別計画			実績値					
				凹刀引凹		%	達成率					
		補助会を奈付した供物 (補助金の奈付を		総合計画		件	目標値	13	13	13	13	13
D	1 交付件数	補助金を交付した件数(補助金の交付を 受け土地改良財産を適正に維持管理して		総合戦略	13		実績値	13				
成		いる土地改良区数)		個別計画		%	達成率	100.0				
成果指標				総合計画			目標値					
標	2 —			総合戦略			実績値					
				個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 () 記	評価対象		·	·		·		<b>(</b> \$	対象外事業に	<b>はF~Ⅰ欄</b> ≉	記入可)

-次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 → 2 3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない なっている 4 点 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 4 点 評 優先度低い 優先度高い → 2 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 4点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 4点 19 点 4点 19点 推移していない ⇒ 推移した 3 4 5 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 4点 /25点 4点 /25点 推移していない 推移した

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
土地改良区は、市の基幹産業である農業の振興に必要不可欠な土地改良財産を適正に維持 管理しており、今後も継続的に事業実施していく必要がある。	今後も継続的に事業実施していく必要がある。

I 令和5年度の事業の方向性

1,773 1,718

237

#	業番号		枝番		( :	令和	3	年	度	計	画	)	総	合	计画	実	包計	画	書 (	兼	隹掦	一管	理)									(様	式1)
1	04003		2		( 1	<b>介和</b>	3	年	度	決	算	)	事		務	事	薄	ŧ	評	偛	5	調	書		課局名	農	林整備	課	係名	名	農材	北企画	I係
事	業	農	<b>業農村</b>	整備	事業	É					á	細事	業	土地	也改良	と と 区 育	成事業	<b></b>				517	実施計画	事	業 土地改良	良区事	業補助	事業			終年		なし
	総合	計画	i体系図I	No.→	(	45 )																											
会計	一般		政	策	Ι	豊か	な生	:活	を支	てえる	3 L	ごと	があ	るま	ち						個						令和 (	3 年度	主な記	歳出名和	<b></b>	当初	予算額
款	6		施	策	1 )	農業の	の振	興														期間		年度	₹ ~	年度	土地改.	良区事業	<b>柴補助</b> 金	È			237
項	3		施策展	開	6)	豊業生	生産.	基盘	をを	整備	する	5									画												
目	1		後期基	基本	計画	ī 2	4 F	>		] :	過疎	計画	i		総合	戦略		٦	ロナ充動	当	名	期間		年度	₹ ~	年度							
決算	108			**	_	nên i										•								<b>4</b> 1 5		= Adr							
			事業目				<b>天模</b>			T	年											٦٢	<del>5 学来</del>	AT I	画額・決算額	日寺	,		財源内	n訳		(単位	: 千円)
		ŧ	業の国	∄的	と	]容					度				3	主な活	動実	績				Ш			事業費計	国県	全出支具	地ブ	5債	その	他	<b>—</b> А	设財源
- <■	<b>業の目</b> 改良施	的に設施	· 持管理	適」	E化	事業	を実	施-	する			<ul><li>結 幹額</li></ul>	方井 水路	・路士	:地改 7間月	(良区) 排水	が実が 終にす	をするけ	る井上 る土地	・野砂良	尻施	1Г	R 3計画	画	237								237
土地上り	改良区	等に	対し、 施設σ	市/	が補	助を保持	行う	こ (価	とに田年		R3	設維	注持管	理通	正化けした	△事業	に対し	負:	担率に	応じ	た		当初予算	算	237								237
数を	確保する	る。 る。	//EI/	- DAGE	, C	NK1.1	0,	1101/	13	۱		冊步	) <u>TE</u> (2	. XT	1 0/0	-0						1	決 算 額	頂	237								237
																						Ш	R 4計画	画	582								582
										ŀ	R4												当初予算	算	1, 481								1, 481
																							決算額	湏									
																						Ш	R 5計画	画	318								318
											R5												当初予算	算									
	3和3年																						決算額	湏									
・緒幹線	方井路: 水路と	土地 野間	改良区 用排水	がほ	を施こお	する; ける	井上 土地	· 里 改日	导尻急施	Г												П	R 6計画	画	318								318
設維	持管理ì	商正	化事業	にす	オレ	負担	率に	<b>応</b> 1	じた		R6												当初予算	算									
·新	金を交付 現事業 求後支持	要望	有無の	確認	忍					L													決算額	頂									
пĦ	小汉又1	141								Г												П	R 7計画	画	318								318
											R7												当初予算	算									
																							決 算 額	頂									

	評価指標名		指標値の説明(算出方法等)	各計	画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
					総合戦略		千	目標値	237	582	318	318	318
С	1 交付金額		交付した補助金額		個別計画	309	円	実績値	237				
活					四分百四		%	達成率	100.0				
動指				П	総合戦略			目標値					
標	2 —				個別計画			実績値					
					四加田	<u> </u>	%	達成率					
			I had be a first a second of the same		総合計画		件	目標値	2	2	2	2	2
D	1 交付事業件数		補助金を交付した事業の件数(機能が維持された土地改良施設の件数)		総合戦略	3	11	実績値	2				
成			77 ( 37 ) 24 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37 ) 37 ( 37		個別計画		%	達成率	100.0				
果指					総合計画			目標値					
標	2 —				総合戦略			実績値					
					個別計画		%	達成率					
E	E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)												

R3 ~ R7 合 計

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{$ F 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3 点

		11 「中ツ部を映体の記り」	\V == /= ¬b	<b>羊佐生+0k+</b>	ニャ 調 声 撃 体	) H
	5.	推移していない ⇒ 推移した	4 点	/ 25点	4 15	/ 25点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 -> 2 -> 3 -> 4 -> 5	4点	∕25点	4点	/25点
	4. 心刬相様の建成が、平川は計画とのが推修しているが	推移していない ⇒ 推移した	4 从	19 点	4 从	19 点
Ш	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 -> 2 -> 3 -> 4 -> 5	4点		4点	10
価	3. 争未計画とおりに争未を進めることができたが	できなかった ⇒ できた	4 👭		4 /4	
	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 -> 2 -> 3 -> 4 -> 5	4点		4 点	
評	2.	優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
==	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 -> 2 -> 3 -> 4 -> 5	4 년		4 <b>占</b>	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※記 市は、土地改良区営で実施する土地改良施設維持管理適正化事業について、改良区の負担率に応じた補助をしているが、市内の土地改良施設の不良箇所を減らしていくことで、施設の長寿命化のみならず、災害や事故を未然に防ぐことにも繋がるため、今後も継続して推進する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

計画額

当初予算

決 算 額

1,773

1,718

237

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3年度決算) 104004 1 務 価 係名 事 業 農業農村整備事業 細事業 県営等上地改良事業 実施計画事業 県営等上地改良事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 県営中山間地域総合整備事業負担 別計 款 施 策 期間 年度 6 1 農業の振興 年度 ~ 75, 200 **県営経営体育成基盤整備事業負担** 項 ⑥農業生産基盤を整備する 3 施策展開 画 17,500 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 県営ため池等整備事業負担金 目 後期基本計画 24 P 過疎計画 総合戦略 12, 295 県営農業水利施設保全合理化事業 負担金 決算 108 6, 371 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 -般財源 <事業の目的> 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援す 県営中山間地域総合整備事業 県営経営体育成基盤整備事業 県営ため池等整備事業 県営農業水利施設保全合理化事業 R 3 計画 40, 284 114,996 31, 212 既行辰菜有の总依両上や析成就辰を又接するため、佳場、農道、川排水施設などの農業 生産具盤を整備し、生産性向上による農業の 競争力強化を図ります。あわせて中心経営体 への農地集積率に応じて事業費負担を助成す る農地集積促進事業への取組を推進します。 R3 当初予算 40, 284 114, 996 43,500 31, 212 決 算 額 135, 430 47,000 38, 774 49,656 R 4計画 95, 285 5,015 173, 466 73, 166 R4 当初予算 124,641 62,900 25,630 36, 111 決 算 額 R 5 計画 111, 791 57,702 51,052 3,037 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 東宮中山間地域総合整備事業負担金 豊後大野東部地区 豊後大野西部 2 期地区 豊後大野地区 県営後大野地区 県営経体育成基盤整備事業負担金 宇田枝地区 県営ため池等整備事業負担金 自水ため池 県営農業水利施設保全合理化事業負担金 事業実施 1 0 地区 R6計画 124, 170 62,730 58, 138 3, 302 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 136, 400 67,687 65, 150 3, 563 R7 当初予算 決 算 額 計画額 660,823 326, 904 278,718 55, 201 当初予算 76, 395 R3 ~ R7 合 計 239, 637 106, 400 56, 842 決 算 額 135, 430 47,000 38,774 49,656

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		T.	目標値	114, 996	173, 466	111, 791	124, 170	136, 400
С	1 県営事業負担金	総事業費	個別計画	75 248	[1]	実績値	135, 430				
活					%	達成率	117.8				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
				%	達成率						
			総合計画		T.	目標値	114, 996	173, 466	111, 791	124, 170	136, 400
D	1 県営事業負担金	総事業費	□ 総合戦略	75, 248	וין	実績値	135, 430				
成			□ 個別計画		%	達成率	117.8				
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値		·	·		
			□ 個別計画		%	達成率					
							<u>-</u>				

評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restrance & & \\ \hline restrance & & \\ \hline \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	20 点	4 点	20 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	4 点	/25点	4 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 上地改良施設の更新事業は、国・県の補助事業を活用し、施設管理者の負担の軽減を図る。 上地改良施設は老朽化により更新時期を迎えているが、更新事業とその分担金が大きな課 題となっている。 国・県の補助事業を活用し、施設管理者の負担の軽減を図る。

令和5年度の事業の方向性

なし

110,600

286

252

190

-般財源

27,650 27,650

26, 419

24, 976

24, 750

25,750

26,500

27, 250

132, 126

52, 400

26, 419

54

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 農林整備課 (令和 3 年度決算) 事 課局名 農林企画係 104005 1 務 業 価 係名 事 業 農業農村整備事業 細事業 多面的機能支払交付金事業 実施計画事業 多面的機能支払交付金事業 総合計画体系図No.→ 第4次豊後大野市農業振興計 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 画 別計 款 施 策 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 多面的機能支払交付金 6 1 農業の振興 年度 生物多様性ぶんごおおの戦 項 ⑦地域資源を活かした農村づくり 3 施策展開 画 時間外・休日勤務手当 略 名 コロナ充当 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R3 目 後期基本計画 24 P 過疎計画 V 総合戦略 決算 108 水土里情報システム利用負担金 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 《事業の目的》 農業や農村が持つ多面的な機能の維持や、機 能の発揮を図るための地域の共同活動を支援 し、地域資源の適切な保全管理を推進する。 活動組織に対し交付金支出 全組織を対象とした事務説明会を開催 組織からの相談を受け付け、助言及び指導を実施 活動報告書の審査受領 事業拡大のための広報活動 新規実施希望地区に対する事業の説明 現地調査 R 3計画 111,460 83,810 R3 当初予算 83, 810 111, 460 決 算 額 106, 409 79,936 54 R 4計画 100, 762 75, 786 R4 当初予算 100, 106 75, 356 決 算 額 R 5 計画 103,860 78, 110 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 

R3 ~ R7 合 計

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦 <b>町</b>	\$	千	目標値	110,600	99, 902	103, 000	106,000	109,000
С	1 交付金額	取組組織に対する農地維持・資源向上( 共同・長寿命化)の交付金額	個別計画	106, 287	円	実績値	105, 648				
活		3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		1	%	達成率	95. 5				
動指標			│ │ │ 総合戦略	ş İ		目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
				•	%	達成率					
		協定農用地面積(地域が共同活動を行い	□ 総合計画	Ī	ho	目標値	2, 101	1, 934	1, 994	2, 052	2, 110
D	1 取組面積	地域資源を適切に保全管理する農用地面	□ 総合戦闘	2,055	ha	実績値	2,056				
成		積)	✔ 個別計画	Ī	%	達成率	97. 9				
成果指標			□ 総合計画	i		目標値					
標	2 —		□ 総合戦略	i		実績値					
			□ 個別計画	i	%	達成率					

R6計画

当初予算 決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

106,860

109,860

532, 802

211,566

106,409

80, 360

82,610

400,676

159, 166

79,936

評価対象外の理由 Ε 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点	5 (1	一次許仙	1(除女)	—火計皿	(林女寺)
	計画項目/5 2の代別	(一~5点で計画)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内で	の優先度) 1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	17 点	3 点	17 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R6

R7

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 活動を終了する組織があるため協定農用地面積が減少する見込みであるが、新規 拡充に努める。

令和3年度までで5年間の活動期間が満了する組織が多く、継続せず活動を終了する組織が予想を上回ったため、令和4年度の活動組織数や協定農用地面積が減少する見込み。主な原因は、地域の高齢化に伴う事務局や役員のなり手不足と分析しているので、実施が可能と考えられる地域を抽出するなどして新規拡充に努める。

令和5年度の事業の方向性

放   放   放   放   放   放   放   放   放   放	を主な歳出名称       委託料       職員報酬       テムリース料       財源内訳       方債     その他       120       120	度
総合計画体系図版→ ( 206 )   公計 一般   政策   III 豊かなくらしと安心を実感できるまち	年E ま主な歳出名称 委託料 職員報酬 テムリース料 <b>財源内訳</b> 方債 その他 120	度 当初予算額 138,000 1,749 1,146 620 (単位:千円) 一般財源 43,569
会計 一般       政策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち       個別期間 R2 年度~ R11 年度       中華 (日本) 日本度の取組内容(計画) トラジーを表現       本業日の・内容・実績       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現を表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現を表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現を表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現を表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取組内容(計画) トラジーを表現している。       日本度の取出している。       日本度の取出している。       日本度の取出している。       日本度の取出している。       日本度の取出している。       日本度の取出している。       日本度の取出している。       日本度の取出している。       日本度の取出している。       日本度の取出している。       日本度の取出している。       日本度の取出している。       日本度の取出している。       日本度の取出している。       日本度の取出している。       日本度の取出している。       日本度の取出	委託料 職員報酬 テムリース料 <b>財源内訳</b> 方債 その他 120	138,000 1,749 1,146 620 (単位:千円) 一般財源 43,569
放	委託料 職員報酬 テムリース料 <b>財源内訳</b> 方債 その他 120	138,000 1,749 1,146 620 (単位:千円) 一般財源 43,569
項 3   施策展開 ②地籍調査を推進する   過疎計画	職員報酬 デムリース料 <b>財源内訳</b> <b>方債</b> その他 120	1,749 1,146 620 (単位:千円) 一般財源 43,569
日   2   後期基本計画   58 P   過疎計画   総合戦略	アムリース料       財源内訳       方債     その他       120       120	1,146 620 (単位:千円) 一般財源 43,569
本業の目的と内容   年度   主な活動実績   事業費計   国県支出金   地   本業費計   国県支出金   地   東京の目的と   地籍調査とは、主に市町村が主体となって、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査。 「世籍」の情報が行政の様々な場面で活用されている。   R3 計画   144,279   100,590   当初予算   144,279   100,590   上海町は (E, E, F, E, E, I) 0.05   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.65   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.65   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.65   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, E, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, F, II - I) 0.60   上海町は (E, E, II - I) 0.60   上海町は (E, E, II - I) 0.60   上海町は (E, E,	方債 その他 120 120	(単位:千円) 一般財源 43,569
事業の目的と内容   年度   主な活動実績   事業費計   国県支出金 地   国県支出金 地   国界支出金 地   国際では、主に市町村が主体となって、	方債 その他 120 120	一般財源 43,569
大学	方債 その他 120 120	一般財源 43,569
R4計画 230,000 172,500 当初予算 50,934 33,000 決 算 額 R5 <令和3年度の取組内容(計画)> ・三重町内田 (FII-2, G, H) 0.03	120	,
R4計画 230,000 172,500 当初予算 50,934 33,000 決 算 額 R5 <令和3年度の取組内容(計画)> ・三重町内田 (FII-2, G, H) 0.03		43 569
R4計画 230,000 172,500 当初予算 50,934 33,000 決 算 額 R5 <令和3年度の取組内容(計画)> ・三重町内田 (FII-2, G, H) 0.03		10,000
R4計画 230,000 172,500 当初予算 50,934 33,000 決 算 額 R5 <令和3年度の取組内容(計画)> ・三重町内田 (FII-2, G, H) 0.03	147	35, 709
R5       次算額         R5       当初予算         ・三重町内田 (FII-2, G, H) 0.03       次算額	120	57, 380
R5 計画 270,000 202,500 当初予算	120	17, 814
R5 当初予算		
<令和3年度の取組内容(計画) >       決算額         ・三重町内田(FII-2, G, H) 0.03       P6計画 280,000 210,000	120	67, 380
・三重町内田 (FII-2, G, H) 0.03		
	120	69, 880
・清川町臼尾(F II − 2, G, H) 0.17       R6         ・千歳町船田(F II − 2, G, H) 0.14       B6		
• 三重町内田(C, E, FI, FⅡ-1) 0.6         2		
• 大野町片島(C, E, FI, FⅡ-1) 0.7         5            R7計画       220,000       165,000	120	54, 880
▶ 千歳町船田(E, FI, FII-1) 0.38       R7         計2.15km ※換算面積(km)       ※換算面積(km)		
・リモートセンシング技術を用いた山村部の       地籍調査準備作業		
· 法務局送付 at 画 観 1,144,279 850,590	600	
R3 ~ R7 合 計 当初予算 195, 213 133, 590	240	
決 算 額   136,446   100,590	147	35, 709

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		第7次十箇年計画調査対象面積537.71㎞	□ 総合戦略		%	目標値	50. 23	50.85	51.62	52. 41	53. 07
С	1 調査済面積(進捗率)	に対して、調査済面積(累計)が閉める	☑ 個別計画	49. 5	/0	実績値	49. 93				
活		割合を算出。			%	達成率	99. 4				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
		第7次十箇年計画調査対象面積537.71km	✓ 総合計画		%	目標値	50. 23	50.85	51.62	52.41	53. 07
D	1 調査済面積(進捗率)	に対して、調査済面積(累計)が閉める	□ 総合戦略	49. 5	/0	実績値	49. 93				
成		割合を算出。	✔ 個別計画		%	達成率	99. 4				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline                                  $	3 点		3 点	
ТШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	/25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
・安定的な事業実施に広範な知識や経験が必要となるため、研修等を活用し各担当の専門 性を高める。	新たな調査手法等を活用して推進する必要がある。
・高齢化等により年々調査が困難化している。調査を迅速・円滑に行うため、新たな調査 手法等を活用する。	
テムサを追加する。 ・過去の成果についての間合せが、調査が進捗するに従い増加するため、調査中の業務に 支障とならないよう体制を検討する必要がある。	

# I 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

事業番号		枝番
106001		1
+ **	٠.	411.6

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(令和 3 年 度 決 算 ) 事 務 事 業 評 価 調 書 課局名 農林整備課 係名 林業振興係

<u> </u>		, i i i				,							<u> </u>		,,,,,,,						****
事	業	公有林管理整備事業						実施計画事業 公有林塾				整備委託事業 終了 年度									
<b>∆</b> =1		計画体系図No.→ ( 68 )	, 4. 江 +. 士 à	. 7 1	~ 1. at	<b>キッナナ</b>			_							Am 1	左曲	<b>+</b> +, 4	LUD TA		小和マケの
会計款	<u>一般</u> 6	政     策     I     豊かな       施     策     2     林業の	生活を支え	こるし	C 27/31	めるより			-			、野市森 H29 4				<b>令和 3</b> 森林地図					当初予算額 1,037
項	4	- 11/101	<sub>灰典</sub> 森林を整備 <sup>、</sup>	する					-	計画	lle)	H29 -	T/Q -	R8	<del></del>	託料 公有林下	刈る針	EL		-	384
目	1	後期基本計画 26			計画	総合戦略		コロナ充	当	名	間	4	年度 ~			重機借上		7			200
決算															— I	原材料費					100
	-	A 事業目的・内容・実	積	年							B	事業計	画額	・決算者	等			オ源内	記		単位:千円)
		事業の目的と内容		度		主な活	動実績	ŧ					事	業費計	国県ス	支出金	地方		その作		一般財源
	<b>事業の</b> 目	<b> 的&gt;</b> 正管理及び継続的な整備	を行い		森林の	計画的な整備・1  図情報の更新を	保全を	推進する	うため	) ; <del>k</del> k	R	3 計画	i	1,791						2	1, 789
		向上と山林の健全化を図		R3	赤が地の下刈	等を行い、森林	の健全	化を図り	った。	141	当	初予算		1,791						2	1, 789
											決	算 額	į	1, 501							1, 501
											R	4計画	Ī	1, 791						2	1, 789
				R4							当	初予算		20, 234						2	20, 232
											決	算 額	į								
											-	5計画	+	1, 791						2	1, 789
				R5							_	初予算	-								
		<b>拝度の取組内容(計画)&gt;</b> 報システムによる効率、	効果的な								-	算額	-	. =0.							. =00
公有	林管理	を行う。また、公有林の り支障が出ている箇所の	下刈りや	R6							-	6計画 初予算	+	1, 791						2	1, 789
53	とによ	り、適切な管理を行う。		ΙΛΟ							_	算額						-			
											-	7計画	1	1, 791				-		2	1, 789
				R7							$\vdash$	初予算		1, 101				-			1,100
											決	算 額	į								
											計	画額	į	8, 955						10	8, 945
						R3 ~ R7	合	計			当	初予算		22, 025						4	22, 021
											決	算 額	Į	1,501							1, 501
	J	評価指標名	指標	票値の	説明(拿	算出方法等)	<u></u>	各計画指	標	R 2 実	2績値	i 単位	達成	度	R3	R4		R5		R6	R7
								総合	戦略			壬	目標		1, 791	1,	791	1, 79	91	1, 791	1,791
С	1 公有	林管理整備事業	総事業費					個別	計画	1,	990		実績		1,501				_		
活動							+-	¬				%	達成目標		83. 8	1			+-		
指標	2 _						-		戦略				実績								
								値別	計画			%	達成	率							
								総合	計画			千	目標	値	1, 791	20,	234	6,00	00 (	6,000	6,000
D	1 公有	林管理整備事業	総事業費						戦略	1	, 990		実績	-	1,501	+			+		
成果							┵		計画計画			%	達成目標		83. 8	1			+		
指標	2 —								戦略				実績	-							
								_	計画			%	達成	率							
E	評価	対象外の理由 0評価対	十象														(対象	·	<u></u> 業はF~		未記入 可)
		- 11 11-12													_	次評価	(係長)	一	—————————————————————————————————————	平価	(課長等)
			評	価項目	/5つ	の視点(1~5点	で評価	<u>f</u> i)									評価点	合計	評価。		評価点合計
F	1. 市	民満足(市民アンケート)	の向上が期	待で	きる事業	<b>美内容となってい</b>	るか		_			→ 3 - →		<u>→ 5</u> ている		3 点			3	点	
評	2. 事	業の優先度は高いと思うか	ヽ(同じ成果	指標	設定事業	(美内での優先度)			1		2 -	→ 3 -	→ 4			4点			4	4 点	
	3. 事	業計画どおりに事業を進め	うることがで	きただ	か か				1	→ :	2 -	→ 3 -	→ 4	→ 5		3 点		f	3	点	
価	-	動指標の達成状況(率)は計				) <b>\</b>			1	<b>→</b> :	2 -	⇒ → 3 -	→ 4			3点	4.	. F		3点	16
	-	果指標の達成状況(率)は計								多してい   → :		→ 3 -		}した → 5		3点		<sup>6</sup> 点  ^25点		3点	16 点 /25点
	5. 成								推利	多してい	ない	• ⇒	推利	るした		り从		20点		) A	/ Z0 H
市庆	に多く:	<b>G</b> 【担当係長の意見・表存在する公有林の管理を						-図ろこ	市							価・改善 円握につ					の所見 間査委託を
とやしか	、公有が しなが	けばりる公有体の目程を 林の下刈りを計画的に行 ら、市が所有する公有林 が今後の課題。	い、森林のは多く、手	<b>健全</b> (つかっ	、 化を図る がの公者	ることは重要。 す林もあることか	へ <sub>が</sub> で ら、 <sub>亡</sub>	計帳整備						を行う。	. >0761			14 J.H.	- F/Q/	/µر. ۰	· 아마도 성 비타인

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

I 令和5年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 農林整備課 (令和 3 年度決算) 事 課局名 係名 林業振興係 107002 1 務 価 事 業 森林等整備事業 細事業 竹林再生事業 実施計画事業 竹林再生事業 なし 総合計画体系図No.→( **策** I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市森林整備計画 策 2 林業の振興 別計 竹林再生事業補助金 款 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R8 1,598 6 項 施策展開 ②林業生産基盤を整備する 4 名 目 2 後期基本計画 26 P 圆疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 決算 111 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額 決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 竹材・たけのこ生産地として持続的管理が見 込める荒廃竹林の再生や竹チップ等の利活用 を推進し、森林の保全と竹資源の有効活用を 図る。 令和3年度については、県予算の豊肥地区へ の配分が無く、事業実施できなかった。 R 3計画 1,598 R3 1,598 1,598 当初予算 決 算 額 R 4計画 1,600 1,600 R4 当初予算 1,377 1, 377 決 算 額 R 5計画 1,600 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 竹林生産 1.20ha R6計画 1,600 1,600 たけのこ生産 0.20ha 当初予算 R6 決 算 額 R 7 計画 1,600 1,600 R7 当初予算 決 算 額 計画額 7, 998 7,998 当初予算 2,975 2,975 R3 ~ R7 合 計 決 算 額 評価指標名 指標値の説明 (算出方法等) 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R7 R3 R4 R5 R6

				総合戦略		<u>+</u>	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
С	1 竹林再生事業	総事業費		個別計画	762	円	実績値					
活						%	達成率					
動指				総合戦略			目標値					
標	2 =			個別計画			実績値					
						%	達成率					
				総合計画			目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
D	1 竹林再生事業	総事業費		総合戦略	762		実績値					
成				個別計画		%	達成率					
果指				総合計画			目標値					
	2 —			総合戦略			実績値					
				個別計画		%	達成率					
_	== m + 1 + 1 + m + - = = = m +											
Е	評価対象外の理由 0 評価対	<b>才象</b>							(5	対象外事業	はF~I禰	未記入 可)
_	評価対象外の理由 ()評価文		==v.m.\						マ評価(係)		は <b>F~I禰</b> 二次評価	
<u> </u>	評価対象外の理由   () 評価菜	対象 評価項目/5つの視点(1~5点で	評価)					評価	マ評価 (係		二次評価	
F	O M I Buty				→ 2 → っていない		→ 4 → 5	評価	マ評価 (係	<b>E</b> )	二次評価	(課長等)
	1. 市民満足(市民アンケート)	評価項目/5つの視点(1~5点で		な 1	っていない	⇒		評価 5 5	マ評価 (係) 点 評価	<b>E</b> )	二次評価評価点	(課長等)
F 評	1. 市民満足(市民アンケート)	評価項目/5つの視点(1~5点での向上が期待できる事業内容となっているがの(同じ成果指標設定事業内での優先度)		な 1 個 1	っていない → 2 → 憂先度低い → 2 → きなかった	⇒ 3 · 3 · ⇒ ⇒	なっている → 4 → 5 優先度高い → 4 → 5 できた	評価 5 5 5 7 8	ス評価 (係) 点 評価 3 点	<b>E</b> )	二次評価評価点 3点	(課長等)
F	1. 市民満足(市民アンケート) 2. 事業の優先度は高いと思うが	評価項目/5つの視点(1~5点での向上が期待できる事業内容となっているが の向上が期待できる事業内容となっているが い(同じ成果指標設定事業内での優先度)		な 1 1 で 1 推和	っていない   → 2 → 優先度低い   → 2 → きなかった   → 2 → 多していない	⇒ 3 · 3 · ⇒ ⇒ · 3 · ⇒ ⇒ · 3 · ⇒	なっている → 4 → 5 優先度高し → 4 → 5 できた → 4 → 5 推移した	評価 計価 5 5 5 5 6 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	Z評価 (係: 点 評価 3 点 3 点	<b>E</b> )	二次評価 評価点 3 点 3 点	(課長等)
F 評	1. 市民満足(市民アンケート) 2. 事業の優先度は高いと思うだ 3. 事業計画どおりに事業を進め	評価項目/5つの視点(1~5点での向上が期待できる事業内容となっているがい(同じ成果指標設定事業内での優先度) かることができたか 十画どおり推移しているか		な 1 0 1 で 1 推和	っていない   → 2 → 優先度低い   → 2 → きなかった   → 2 → 多していない	⇒ 3 · 3 · ⇒ ⇒ 3 · 3 · ⇒	なっている → 4 → 5 優先度高し → 4 → 5 できた → 4 → 5	評価 5 5 5 5 5 6 7 7	マ評価 (係: 点 評価 3 点 3 点 1 点	長)	二次評価 評価点 3 点 3 点 1 点	評価点合計
F 評	1. 市民満足(市民アンケート) 2. 事業の優先度は高いと思うが 3. 事業計画どおりに事業を進る 4. 活動指標の達成状況(率)は記	評価項目/5つの視点(1~5点での向上が期待できる事業内容となっているがい(同じ成果指標設定事業内での優先度)かることができたか 計画どおり推移しているか 計画どおり推移しているか		な 1 0 1 で 1 推和	っていない → 2 → 優先度低い → 2 → きなかった → 2 → 多していない → 2 →	⇒ · 3 · · ⇒ · 3 · · ⇒ · 3 · · ⇒ · 3 · · ⇒	なっている → 4 → 5 優先度高し → 4 → 5 できた → 4 → 5 推移した → 4 → 5	評価 5 5 5 5 5 6 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	文評価 (係) 点 評価 3 点 3 点 1 点 3 点 3 点	13 点 /25点	二次評価 評価点 3 点 3 点 1 点 3 点	(課長等) 評価点合計 13 点 /25点

なし

23,697

9,697

9,697

20,000

20,000

89,697

31, 470

17,302

(対象外事業はF~I欄未記入 可)

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 価 課局名 農林整備課 林業振興係 107004 1 (令和 3 年度決算) 事 務 係名 造林事業 事 業 森林等整備事業 細事業 実施計画事業 浩林事業 総合計画体系図No.→ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市森林整備計画 別計 期間 H29 年度 ~ R8 款 策 造林事業補助金 6 2 林業の振興 年度 項 4 施策展開 ②林業生産基盤を整備する 名 2 年度 ~ 目 後期基本計画 26 P 過疎計画 総合戦略 ~ コロナ充当 期間 決算 111 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 再造林/41.39ha、付帯施設/21,600m、下刈 200.97ha、保育間伐/2.22ha、間伐/53.52haに 対して補助金交付を行い、森林の健全化を図 <事業の目的> 森林の保全及び価値の向上を図るための基盤 R 3 計画 23,697 整備事業を行う 14,000 R3 当初予算 23, 697 るための施業が実施できた。 決 算 額 17, 302 17, 302 R 4計画 20,000 20,000 R4 当初予算 21,773 21,773 決 算 額 R 5計画 20,000 20,000

当初予算

決 算 額

R6計画

当初予算 決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

20,000

20,000

103, 697

45, 470

17, 302

14,000

14,000

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
С	1 造林事業	総事業費	個別計画	32, 880	円	実績値	17, 302				
活					%	達成率	86. 5				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
D	1 造林事業	総事業費	□ 総合戦略	32, 880	円	実績値	17, 302				
成			□ 個別計画		%	達成率	86. 5				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

-次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点 3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっている なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 4 点 4 点 評 優先度低い 優先度高い 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 2点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 3点 15点 15 点 推移していない ⇒ 推移した 3 → 4 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 3点 /25点 推移していない 推移した

-	【担当係長の意見・	理题.办养生生】	※今後の事業の進め方等
G	【担ヨ体女の息兄・		ペラ仮の手未の進の刀守

R5

R6

R7

<令和3年度の取組内容(計画)>

植栽等 78.44ha、下刈 124.18ha、獣害防止施設 16,720m、保育間伐 6.00ha、間伐113.22ha

評価対象外の理由 0評価対象

Ε

市内の森林整備に関し、森林経営計画の促進と造林事業補助金の交付は不可欠であり、今後も事業を推進していく。 整備を行う市内事業体については、増えていない状況であるが、市外の事業体が市内の森 林整備を行うま況が増えいている状況。それに伴い、事業費も増加することから、補助率 や財源についても検討していく必要性がある。

森林整備を行う面積か増えているため事業推進が必要であるが事業費も増加する ことから、補助率や財源について検討が必要。

令和5年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

【担当課長職等の所見】

	<b>技工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工</b>	- ' ' '	3 年度 i								進	步管 調	—·	課	司名 一	農	林整備	課	係名	i	林業振	(様式1) 長興係
事	業森林等	<b>整備事業</b>		i	細事業	森	林等整備	事業関係	係団体	補助事	業	Vied	実施計画	画事業	大野川	漁業協	易同組合	補助事	業		終了 年度	なし
会計	総合計画体	714	な生活を支え	えるし	ごとか	ぶある言	まち				個				備計画		-		度 主な歳		; <u></u>	当初予算額
款	6 施	策 2 林業の	振興								別計	期間	H29	年度 ~	R8	年度	大野川	漁業協	同組合補	助金		630
項			営体を支援	する							画名											
目 1		:期基本計画 26	P _	過政	軟計画		総合戦闘	格		ナ充当		期間		年度 ~	,	年度						
決算	1111 A 事	業目的・内容・身	<b>毛續</b>										B 事業	計画額	・決算	額等						
		の目的と内容		年			± †;	活動実	!結				<u></u>		業費計				財源内	訳	(単	位:千円)
		:WEDICHE		度	L man						Com	<b>↓</b> ↓	_		木貝미	国県	支出金	地	方債	その	他	一般財源
森林		値の向上を図るた	とめの基盤			川漁業† 付を行	協同組合し った。	に対し、	₹, 63	30十円の	補助	<sup>j</sup>	R 3計i	画	630	0						630
整備	事業を行う			R3								İ	当初予:	算	630	0						630
												ž	決 算	額	630	)						630
													R 4計i	画	630	)						630
				R4								Ė	当初予	算	630	)						630
												3	決 算	額								
												П	R 5計i	画	630	0						630
				R5								i	当初予	算								
<4	合和3年度の耳	双組内容(計画)>										ž	決 算	額								
大野	川漁業協同組	合	630千円									Ī	R 6計i	画	630	0						630
				R6								3	当初予	算								
												3	決 算	額								
												11	R 7計i	画	630	)						630
				R7								3	当初予	算								
												3	決 算	額								
												1	計画:	額	3, 150	)						3, 150
						R	3 ~ F	R7 合	計				当初予:	算	1, 260	-						1, 260
												;	決 算	額	630	)						630
	評値	<b>西指標名</b>	指	漂値の	〕説明	(算出方	_ <b></b>		各計	画指標	R2	2 実績	値単位	達成		R3		R4	R5		R6	R7
								-		総合戦略			千	目標			30	630		30	630	630
С	1 大野川漁業	協同組合補助事	大野川漁	業協同	引組合神	補助金	交付要綱					63	10 円	実績			30					
活	*								Ш	個別計画	1		%	達成	本	100	. 0					
活動指										総合戦略	š			目標	傾							
	2 —									個別計画				実績	植							
										텔까티뜨	1		%	達成	本							
	十 冊 1117年 元	か 日 如 人 母 叫 幸								総合計画	Ī		壬	目標	植	6	30	630	65	30	630	630
D	1 人野川馮莱 業	協同組合補助事	大野川漁	業協同	引組合补	補助金	交付要綱		_	総合戦略		63	30 円	実績			30					
成 果										個別計画	+		%	達成		100	. 0					
指	۰								_	総合計画				目標								
標	2 —									総合戦略				実績								
			1							個別計画	Ī		%	達成	平		1					

標	2 —				総合戦略		実績値				
					個別計画	%	達成率				
E	評価対象外の理由	0評価対	象						(対象外事	薬業はF~Ⅰ欄	未記入 可)
			評価項目/5つの視点	(1~5 占で証価)				一次評	価 (係長)	二次評価	(課長等)
			計画項目/5フの税点	(1~5点で評価)				評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民7	マンケート)	の向上が期待できる事業内容と	なっているか	1 → なってい	2 → 3 ない ⇒	→ 4 → 5 なっている	3 #	i	3 点	
評	2. 事業の優先度は高	高いと思うか	い(同じ成果指標設定事業内での	優先度)	1 → 優先度(		→ 4 → 5 優先度高し		ī	3 点	
/ <del>==</del>	3. 事業計画どおりに	事業を進め	)ることができたか		1 → できなか	2 → 3 oた ⇒	→ 4 → 5 できた	4 点	į	4 点	
価	4. 活動指標の達成物	状況(率)は計	h画どおり推移しているか		1 → 推移してい	2 → 3	→ 4 → 5 推移した	4 点	18点	4点	18点
	5. 成果指標の達成物	状況(率)は計			1 →	2 -> 3	→ 4 → 5	4 点	i /25点	4 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
カワウの処理、工場の水利使用、稚鮎の放流に関して、補助金交付を行っている。内水面 事業の推進において重要な事業であり、今後も継続を行っていく。	内水面事業の推進において重要な事業であり、今後も継続を行っていく。

I 令和 5 年度の事業の方向性

4	工業番号	枝番		(令和	3	年度	計画	i )	総合	· iii i	画実	施計	画:	<b>*</b> (	兼道	生捗 '	管理	里)									(様式1)
1	07005	2		(令和					事	務				— 評	価		調		課局	名	農林	整備	課	係名	名	林業	振興係
事		森林等團						細事業	森	林等	整備事	<b>事業関係</b>	系団化	体補助	事業		実	施計画	i事業 作	業班原	星用安定	ご推進	事業補	前助事業	367	終了 年度	
会計		計画体系 政	図No.→ 策			活を支	えるし	ごとフ	がある	まち					7 [	<b>_</b>	後士	-野市3	森林整備	計画	-	令和 (	3 年度	ま 主な詞	歳出名	名称	当初予算額
款	6	施		2 林業(	の振り	興										別期			年度 ~	R8	-		-	定推進事			20
項	4	施策原	展開	<ul><li>①林業績</li></ul>	経営	体を支援	きする								l	計 画											
目	2	後期	基本	計画 2	6 F		過	東計画		総	合戦略	<b>S</b>	ات	ロナ充憲	<b>当</b> _ <sup>2</sup>	名期	間		年度 ~		年度						
決算		A 事業	目的・	内容・	実績												В	事業	計画額・	決算額	<b>須等</b>						
		事業の	目的。	と内容			年				主な	活動実	績							費計		A		財源内			単位:千円)
	事業の目的						度	大野	郡森林	組合	、佐佰	白広域系	な林紀	組合に	対し	て	D	3計画	ī .	206	国県支	乙出金	地	方債	₹	の他	一般財源 206
	の保全及 事業を行		の向上	こを図る	ため	の基盤	R3	、森	林組合 る補助	作業	班員の	)林業i	<b>B職</b>	共済の	掛金	Ë	-	初予算		206							206
																	H	算額		172	-						17:
																$\neg$	R	4計画	1	206							20
							R4										当	初予算	Į	206							206
																	決	算 額	Ą								
																	R	5計画	Ī.	206							206
							R5										⊩	初予算									
	令和3年 組合作業					金に対		-								_	┢	算額	-	000							224
する	助成			_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	•		R6										$\vdash$	6計画 初予算	-	206							206
							No										-	算額	-								
																$\dashv$	H	7 計画		206							206
							R7										当	初予算	Į								
																	決	算額	Ą								
																	計	画額	Ą	1, 030							1, 030
									R	3 -	~ R	7 合	計				H	初予算		412 172							412 172
		=T./TT.4	Lim b			415	<u>↓</u>	2 =¥ DD	/ ter ulu	L \ + ***	· \		Ay =		ж I.		Art International	34 /L	達成原	<del>-</del> 1	D0		. 1	DE		DC.	
		評価技	日保石		+	拍	信担0	がい	(算出力	力法令	Ŧ)		合訂			RZ美	:頼旭	千	達成B	_	R3 206	R	206	R5	206	R6	R7 206
С	1 作業到	E雇用安	定推進	生事業補	量	豊後大野 紫補助金	市林	業作業 <sup>医網</sup>	班員雇	用安	定推進			総合			108	I mi	実績値		172		200		200	20	200
活	功事者	₹			7	<b>长州</b> 奶亚	.X113	<b>女</b> 州叫					Ш	個別	計画			%	達成率	<u>k</u>	83. 5						
動指														総合	戦略				目標値								
標	2 —													個別	計画			%	実績値								
					-								П	総合	計画			千	目標値	_	206		206	-	206	200	3 206
D	1 作業現	阻雇用安	定推进	進事業補		<b>皇後大野</b>			班員雇	用安	定推進	<b>生事</b>		総合			108	l m	実績値		172	<del>                                     </del>	200		300	200	200
成	助事者	R			Я	<b>美補助金</b>	父171 至	<b>安利</b> 帕						個別	計画			%	達成革	<u> </u>	83. 5						
果指														総合詞	計画				目標値	<u> </u>							
標	2 —													総合				-	実績値	_							
														個別割	計画			%	達成革	<u>K</u>							
E	評価対	象外の理	里由	0 評価	対象	Ŕ																	文)	寸象外事	業は	F~I欄	未記入 可)
						Ē	価項	目/5	つの視	点(	1 ~ 5	点で評	価)								— - : 評価	次評価 5点		E) 点合計		次評価 呼価点	(課長等) 評価点合計
F	1. 市民	に満足(i	市民ア	ンケート	ト) σ.	)向上が	期待で	きる事	業内容	<b>ぎとな</b>	ってし	るか			なっ	ていた	ない	⇒		いる	<u> </u>	3 点				3 点	
評	2. 事業	(の優先)	度は高	いと思う	うか	(同じ成:	果指標	設定事	業内で	の優	先度)				優:	先度低	١١	⇒		高い		3 点				3 点	
価	3. 事業	(計画ど	おりに	事業を進	進める	らことが	できた	か							でき	なかっ	った	⇒	→ 4 - でき	た	<u> </u>	3 点				3 点	
1	4. 活動	h指標の	幸成:状	況(座)に	士計正	īどおり:	推移し	ている	か						14.75	2		· ა -	→ 4 -		4	3 点	l	15 -	Ì	3 点	15 ⊨

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

豊後大野市在住で年間150日以上就労した森林組合作業班員(いわゆる1人親方)の林業 退職共済の掛金に対する補助を行う事業である。森林組合においては、森林組合作業班員 の確保に苦慮している状況であり、今後も支援していく。

4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

推移した

推移していない ⇒

1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推

3点

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

森林組合作業班員の林業退職共済の掛金に対する補助を行い、森林組合作業班員 の確保に支援をしていく。

15 点

/25点

3点

15 点

/25点

	事業番号	枝番		•		年度															_		-44-		-	1		11.386	(様式1)
	107005	3		(令和	3	年度	そ 決	算	) -	事	1	務	事	業		評	伳		崩	書	Ī	課局名	農	林整備	課	係名	3		振興係
事	業	森林等整	備事	業				á	細事業		森林	等整位	備事	業関係	団体	補助	事業		実	拖計画	事	株業再生	<b></b> 上県産	<b>E材利用</b>	促進	事業補助	事業	終了 年度	
会計		計画体系図 政				生活を	寸え ろ	5 L	ごとが	ぶあ。	ろま	ち					7 Г	曲	2 <u>4</u> . +	- 眠士2	木壮	整備計画		<b></b>	3 年	■度 主な崩	計出名	称	当初予算額
款	6			2 林刻			,,,,,				<b>2</b> 0.						7 1	別期				空哺司画 ~ R8	年度			産材利用の			5, 45
項	4	施策展	-+			体を支	接す	る									Hi	計 — 画				110		Mr.					
目	2	後期	基本言	計画	26	Ρ [		過疎	計画	[		総合	戦略		口口	ナ充当	í :	名期	間		年度	~	年度						
決算		A 事業目	的•	内容	・実績	ŧ													В	事業	計画	額・決算額	等						
		事業の	目的と	と内容	ž			年度				主	な活	動実績	責					_		事業費計		3 + 11. 4	1 .	財源内			単位:千円)
_ </td <td>事業の目的</td> <td>的&gt;</td> <td></td> <td>,</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>泛</td> <td>事業実</td> <td>実施</td> <td>iして</td> <td>いない</td> <td>۱,</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R</td> <td>3 計画</td> <td>Eī .</td> <td>5, 459</td> <td></td> <td><b>支出金</b> 5,459</td> <td>+</td> <td>也方債</td> <td>そ</td> <td>の他</td> <td>一般財源</td>	事業の目的	的>		,			-	泛	事業実	実施	iして	いない	۱,						R	3 計画	Eī .	5, 459		<b>支出金</b> 5,459	+	也方債	そ	の他	一般財源
	の保全及 事業を行	なび価値の すう	)向上	を図	るため	りの基準		R3											<u> </u>	初予算	-	5, 459	ļ	5, 459					
																			決	算 名	頁								
																		П	R	4 計画	亘								
							١	R4											当	初予算	₽								
							-											_	H	算名	_								
								R5											-	5 計画 初予算	-								
< '	令和3年	度の取組	内容	(計画	)>		ľ	NJ											H	算客	_								
		ラフトの				<b>青</b> 入補助	h —											_	H	6計画	_								
							1	R6											当	初予算	草								
																		_	H	算客	_								
																			-	フ計画	-								
								R7											H	初予算	-								
							F												H	<b>声</b> 仓		5, 459		5, 459					
											R3	~	R7	合	計				H	初予算	-	5, 459	1	5, 459	+				
																			決	算 名	頁								
		評価指	標名		Ţ		指標(	直の	説明(	(算と	出方》	去等)			各計	<b>画指標</b>		R 2 実	績値	単位	适	<b></b> 直成度	R3		R4	R5	Ţ	R6	R7
_																総合単	战略				_	標値							
C	1 —															固別計	一画			%	-	E 積値 を成率							
活動指																総合単	trex			,,,		標値							
指標	2 —															心口书 固別言					身	<b>ミ績値</b>							
														1	_					%		<b>建成率</b>							
D	1 —														_	総合計 総合単					_	目標値 長績値							
成															_	固別言				%		直成率							
果指															] ;	総合計	一画				E	標値							
標	2 —														_	総合戦				0/		<b>製養値</b>					-		
																固別計	一曲			%	迫	<b>直成率</b>							
E	評価対	象外の理	由	0 評	価対	象																				(対象外事	業はF	-~ I 欄	未記入 可)
_							評価	項目	/55	- つの:	視点	(1~	 ~ 5 点	ー iで評値	<u>-</u>			·					_	一次評値 平価点	-	(長) 西点合計			(課長等) 評価点合計
_	1. 市民		民ア	ンケー	- <b>-</b>	の向 F:	が期待	すで	きる事	業戊	内容と	なっ	てい	るか								4 → 5	i ii	#1四点 2点	ā <del>†</del> 1	四点口缸	áť'	四点 2点	计测从方针
F		の優先度															1	→ 2	2 →		→ 1	よっている 4 → 5		3点	-			3点	
評										ボバ	1 C U.	/  変元	汉/							⇒ 3 -		優先度高い 4 → 5	-						
価		計画どお								L-							でき	なかっ	った	⇒		できた 4 → 5		1点	-			1点	
		指標の達															推移	してい	ない	⇒		推移した 4 → 5	-	<b>一</b> 点	-	6点		- 点	6点
	5. 成果	! 指標の達	成状	况(率)	)は計	画どお	り推利	ğι.	ている	か								してい				推移した		<b>一</b> 点	<u>L</u>	∕25点	_	- 点	∕25点
- J JIF		G 【担当													· -	- 4/14:	i≠: ·1			当課長	長職 4	等の所見】	*	評価・改	養策	等を踏ま	えた訳	果長職等	の所見
体のきな	交付申請 かった。	自走式破 情に対し事 まであるた	業体	評価	が低く	、補助	力金の	交付	wは至行 けが行っ	領国われ	当貨の	ソ争業	: ごめ :ため	、事業	1、 号 と実施	· 東 i で	廃止	:の方	[F]										

 $\Rightarrow$ 

E. 廃 止

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 農林整備課 林業振興係 107008 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 森林等整備事業 細事業 簡易作業路整備事業 実施計画事業 簡易作業路整備事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市森林整備計画 別計 簡易作業路整備事業補助金 款 施 策 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R8 2,500 6 2 林業の振興 年度 項 施策展開 ①林業経営体を支援する 4 名 2 後期基本計画 26 P ~ コロナ充当 期間 年度 ~ 目 過疎計画 総合戦略 決算 111 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 森林の保全及び価値の向上を図るための基盤 幅員2.0m以上の15路線、5,000mの作業路開設 に伴い、500円/mの補助金交付を行った。 R 3 計画 2,500 整備事業を行う 2,500 R3 当初予算 2, 500 決 算 額 2,500 2,500 R 4 計画 2,500 2,500 R4 当初予算 決 算 額 R 5 計画 2,500 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 市内要望延長:5,000m 補助率:500円/m 補助対象:一路線延長100m以上で幅員2.0m以 上とする。 R6計画 2,500 2,500 R6 当初予算 上とする。 事業:5,000m×500円=2,500,000円 決 算 額 R 7計画 2,500 2,500 R7 当初予算 決 算 額 10,000 計画額 12,500 2,500 2,500 R3 ~ R7 合 計 当初予算 2,500

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	2, 500	2,500	2, 500	2,500	2,500
С	1 簡易作業路整備事業	総事業費	個別計画	5, 000	円	実績値	2,500				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
指標	2 =		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		千	目標値	2,500	2,500	2, 500	2, 500	2, 500
D	1 簡易作業路整備事業	総事業費	□ 総合戦略	5, 000	円	実績値	2, 500				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

決 算 額

2,500

2,500

E 評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	   評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 1 な	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	l → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 1 で	l → 2 → 3 → 4 → 5 きなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	l → 2 → 3 → 4 → 5 多していない ⇒ 推移した	4 点	18 点	4 点	18 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 多していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

森林経営計画における国・県による作業道整備補助金、椎茸栽培に関する低コスト簡易作業路緊急整備事業補助金など、作業道整備に関する補助金は他の事業でもあり、また令和2年度には、森林経営管理制度における作業道開設補助金も新設したところである。簡易作業路整備事業補助金については、これらの補助金と重複する部分もあり、今後の事業実施については検討する。

作 作業道整備に関する補助金は他の事業でもあり、事業実施については検討を要する。

I 令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 (令和 3 年度決算) 事 農林整備課 林業振興係 107009 1 務 価 係名 事 業 森林等整備事業 細事業 森林整備計画活動推進事業 実施計画事業 森林整備計画活動推進事業 なし 総合計画体系図No.→( 策 Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 当初予算額 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 豊後大野市森林整備計画 別計 普通旅費 款 策 2 林業の振興 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R8 年度 37 6 項 施策展開 ②林業生産基盤を整備する 4 画 消耗品費 15 名 目 2 後期基本計画 26 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 決算 111 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 森林の保全及び価値の向上を図るための基盤 整備事業を行う 豊後大野市森林整備計画見直しに伴う事務費 R 3 計画 52 52 R3 52 当初予算 52 決 算 額 15 15 R 4 計画 R4 当初予算 決 算 額 R 5 計画 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ■旅費 37千円 森林整備計画に関する研修 18,200円×2名=36,400円 R6計画 当初予算 R6 決 算 額 ■需用費(消耗品) ・森林法制度関係図書代 ・事務用品代 15千円 R 7計画 R7 当初予算 決 算 額 計画額 52 52 当初予算 52 R3 ~ R7 合 計 52 決 算 額 15 15 指標値の説明 (算出方法等) 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R6 R7 評価指標名 目標値 52 □ 総合戦略 С 1 森林整備計画活動推進事業 総事業費 円 実績値 15 □ 個別計画 達成率 28.9 活 動 目標値 □ 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率

					%	<b>達</b>					
			□ 総合	計画	千	目標値	52				
D	1 森林整備計画活動推進事業	総事業費	□ 総合	·戦略 11	円	実績値	15				
成			□ 個別	計画	%	達成率	28. 9				
果指			□ 総合	計画		目標値					
	2 —		□ 総合	戦略		実績値					
			□ 個別	計画	%	達成率					
E	評価対象外の理由 0 評価対	対象						(ξ	対象外事態	<b>業はF~Ⅰ欄</b>	未記入 可)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	== /= \ == /= \				一次	:評価(係县	長)	二次評価	(課長等)
		計画項目/500代点(1~5点で	計1四/				評価,	点 評価	点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているだ	יי	1 → 2 - なっていない	→ 3 ⇒	→ 4 → ·		点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うだ	か(同じ成果指標設定事業内での優先度)		1 → 2 - 優先度低い	→ 3 →	→ 4 → 優先度高	- 9	点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進め	<b>かることができたか</b>		1 → 2 - できなかった	→ 3 →	→ 4 → できた	5 3	点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は言	†画どおり推移しているか		1 → 2 - 推移していない		推移した	3	点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は言	†画どおり推移しているか		1 → 2 - 推移していない		→ 4 → 推移した		点	/25点	3 点	/25点
	G 【担当係長の意見・	課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等		H 【担	当課县	長職等の所見	見】 ※評価	・改善策等	<b>手を踏ま</b> え	えた課長職等	の所見
豊後度と	大野市森林整備計画見直しを行 なっており、5年後に再度見直	い、新たな計画を策定した。計画の見直し しを行う。	は5年に1	5年後に豊後	大野市	市森林整備	計画の見直	しを行う。			

D. 休 止

令和5年度の事業の方向性

-	事業番号 107013	枝番		3 年度 i 3 年度 i		_		十画実加 務事	包計 運	<b>書</b> (兼 評	進	步信部	_ :	) <b>*</b>	課局名	j	農林	木整備詞	課	係:	名	林業	(様式1
事	業	森林等整備	事業		;	細事業	全国	育樹祭支	援事業			Ī	実施言	计画	<b>事業</b> 全国市	育樹祭	支	援事業		•	•	終了年度	
会計		計画体系図№ 策		な生活を支え	5 Z I	<b>デレ</b> がす	なる士	+_							•		71	今和 7	) 在時	き 主な	<b>毕山</b> 夕	7 <del>1/1</del>	当初予算
款	6	施策	•		とるし	~ C C 13+0	いつよ	9			個別	期間	5	á	<b>⊭度~</b>	年	ı.	調理業績			<b></b>	3 <b>ተ</b> /ኦ	370 17 异1
項	4	施策展開	- 11714	派典 産基盤を整	備する	5					計画	MILE	-9				ì	記念品化					5
目	2	後期基	本計画 26			計画		総合戦略		コロナ充当	I 名	期間		4	F度 ~	年	度	費用弁付					2
決算						l l											_	普通旅	費				
			<u>り・内容・実</u> 	- 報	年							7	<u>В <del>ў</del></u>	栗計	画額・決力					財源内	讨訳	(	単位:千円
		事業の目	的と内容		度			主な活	動実績						事業費詞	it E	県	支出金	地	方債		の他	一般財源
<b>く!!</b> 豊か	<b>事業の目</b> な国の系	<b>的&gt;</b> 条づくり大会	∖ および □	第45回		令和4年	年度に会とし	行われる! て、第2	第 4 5 [ 1 回豊》	回全国育樹のな国の森	祭の づく	7[	R 3	計画	1,5	22						1,500	4
全国	育樹祭」	を支援する	5		R3	り大会	が行わ	れ、開催:	地とし゛	て昼食の提	供、	Ш	当初 <sup>-</sup>	予算	1, 5	22						1,500	2
						полочии	· > HC III	211 > 120	,			41	決 算	[額	1, 1	93						1, 100	(
												Ш	R 4		1, 0	00							1, 0
					R4							Ш	当初 <sup>-</sup>			50							15
												41	決 算			_							
					חר							Ш	R 5										
	△和った	中へ取組 中	容(計画) >		R5							Ш	当初音										
■旅	費 9	4千円										╢	決 算 R 6 i		1								
全国■旅	育樹祭視  費(費月	見察(北海道 月弁償)	札幌市) 280千円		R6							Ш	当初 <sup>-</sup>										
	用料及で 託料 1.	ド賃借料 , 142千円	5千円		110							Н	決 算										
	記念品作調理委託	≅製委託料 £料										╢	R 7										
					R7							Ш	当初	予算									
												Ш	決 算	[額									
												11	計画	顮	2, 5	22						1,500	1, 02
							R3	~ R7	合	計		Ш	当初	予算	1,6	72						1, 500	17
													決 算	[額	1, 1	93						1, 100	ę
		評価指標	名	指	票値の	説明(算	出方法	去等)	2	各計画指標	R 2	実績	責値 単	位	達成度	R	3	R	4	R5		R6	R7
	l		_	[	_	_				総合戦略	ķ	_			目標値		, 52		,000				
С	1 全国社	育樹祭支援	事業	総事業費						個別計画	ij		L	,	実績値		, 19	-			_		
活動				1					+		$\vdash$		+ 9	%	達成率 目標値		78.	4					+
指	2 _													-	実績値								
亦	[									個別計画	Ū		9	%	達成率								1
				<del>i                                      </del>						総合計画	ij		+		目標値	1	, 52	2 1	, 000		1		
D	1 全国	育樹祭支援:	事業	総事業費						総合戦略	Š				実績値		, 19						

標	2 _					個別計画			実績値					
								%	達成率					
_						総合計画			目標値	1,522		00		
D	1 全国育樹祭支援事業	<b></b>	総事業費			総合戦略			実績値	1, 193				
成果					$\perp$	個別計画		%	達成率	78. 4				
指	•					総合計画			目標値					
標	2 —					総合戦略		%	実績値 達成率					_
						個別計画		%0	连队华					
E	評価対象外の理由	0 評価対	<b>才象</b>									(対象外事	業は <b>F~I棉</b>	未記入 可)
			54.45.0							-2	欠評価 (1	係長)	二次評価	(課長等)
			計価項目	/ 5つの税点(1~5点	(で評1回)					評価	点 評	価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民ア	ンケート)	の向上が期待でき	る事業内容となっている	るか		→ 2 → っていない		→ 4 → 5 なっている		3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高	いと思うか	い(同じ成果指標語	と定事業内での優先度)			→ 2 → - - - - - - - - - -	• 3 · ⇒	→ 4 → 5 優先度高し		3 点		3 点	
/ <del></del>	3. 事業計画どおりに	事業を進め	りることができたか	`			→ 2 → きなかった		→ 4 → ! できた	5	3 点	Ì	3 点	
価	4. 活動指標の達成状	:況(率)は計	†画どおり推移して	こいるか			→ 2 → 3していない		→ 4 → ! 推移した		3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状	:況(率)は計	†画どおり推移して	こいるか			→ 2 → 3していない		→ 4 → ! 推移した		3 点	/25点	3 点	∕25g
_	G 【担当係县	長の意見・	課題・改善策等】	※今後の事業の進め方	等		H 【担	当課長	長職等の所見		面・改善領	策等を踏ま	えた課長職等	手の所見
	4年度に豊後大野市大 祭が行われる予定であ			「平成森林公園」にて 協力する。	第45回	全国開	崔地として	継続し	して協力す	る。				
	I 令	和 5 年	年度の事業	の方向性		⇨	C. 終	了						
				<u> </u>	-3									

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 農林整備課 林業振興係 108001 1 (令和 3 年度決算) 事 価 係名 低コスト簡易作業路緊急整備事業補助 事業 事 業 椎茸生産支援対策事業 細事業 椎茸生産基盤整備事業 実施計画事業 なし 総合計画体系図No.→( 62 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市森林整備計画 別計 スト簡易作業路緊急整備事 款 策 2 林業の振興 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R8 400 6 項 施策展開 ②林業生産基盤を整備する 4 名 2 後期基本計画 26 P コロナ充当 期間 年度 ~ 目 ✔ 過疎計画 総合戦略 決算 112 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 椎茸原木搬出用の簡易作業路を開設すること で、省力化・低コスト化を図り、椎茸の品質 向上と生産規模の拡大に取り組む。 2路線、800mに対し、500円/mの補助金交付 を行った。 R 3 計画 400 80 320 R3 当初予算 320 80 400 決 算 額 400 320 80 R 4計画 80 400 320 R4 当初予算 300 60 240 決 算 額 R 5 計画 400 320 80 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 市内要望延長 800m R6計画 400 320 80 補助率 (県単事業)400円/m+(市義務負担)100円/m=500 当初予算 R6 決 算 額 補助対象 R 7計画 80 400 320 〒100 M 36 一路線延長100m以上で、対象面積0.1ha当たり 、概ね100mまでとする。 R7 当初予算 決 算 額 事業費 800m×500円=400,000円 計画額 2,000 1,600 400 R3 ~ R7 合 計 当初予算 560 700 140 決 算 額 400 320 80

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	400	400	400	400	400
С	1 低コスト簡易作業路緊急整 備事業補助事業	総事業費	個別計画	600	円	実績値	400				
活	VIII 3 SICINI250 3 SIC				%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
	her a state of the all the state of the all the		総合計画		千	目標値	400	400	400	400	400
D	1 低コスト簡易作業路緊急整 備事業補助事業	総事業費	□ 総合戦略	600	円	実績値	400				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価 (係長)		二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  $	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	19 点	4 点	19点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 #我! ていない ⇒ #我! た	4 点	∕25点	4 点	∕25点

**G** 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 椎茸原木の搬出等の作業効率を上げるための簡易作業路整備に対する補助制度であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続していく。 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 雄芸原本の拠出等の節見作業攻敗備補助制度は散雄芸産地である本声において

椎茸原木の搬出等の簡易作業路整備補助制度は乾椎茸産地である本市において、 重要な事業であると考えており、今後も継続が必要。

I 令和5年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 業 評 課局名 農林整備課 林業振興係 108001 2 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 実施計画事業 しいたけ増産体制整備総合対策事業補助事業 事 業 椎茸生産支援対策事業 細事業 椎茸生産基盤整備事業 なし 総合計画体系図No.→(60 策 Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市森林整備計画 → 上ゥ威田名桥しいたけ増産体制整備総合対策業補助金 策 2 林業の振興 別計 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R8 款 6,000 6 項 施策展開 ②林業生産基盤を整備する 4 名 2 後期基本計画 26 P ☑ 過疎計画 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 総合戦略 決算 112 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額·決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 椎茸生産施設等を整備することで、省力化・ 低コスト化を図り、椎茸の品質向上と生産規 模の拡大に取り組む。 トウス(2棟)、乾燥機(2台)、重機講習 (2名)に対して補助を行った。 R 3計画 6,000 2,000 R3 4,000 2,000 当初予算 6,000 決 算 額 5, 516 3, 737 1,779 R 4 計画 2,000 6,000 4,000 R4 当初予算 9,061 6,061 3,000 決 算 額 R 5計画 4,000 2,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ハウス R6計画 6,000 4,000 2,000 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 2,000 6,000 4,000 R7 当初予算 決 算 額 計画額 30,000 20,000 10,000 当初予算 10,061 R3 ~ R7 合 計 5,000 15,061 決 算 額 5,516 3,737 1,779  $egthinspace{1.5em}$ 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) R6 R7

	11 12 13 15 1	3E   M   E - 7   E - 7   7   7   7   7   7				~~~~					
			□ 総合戦略		千	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
С	1 しいたけ増産体制整備総合 対策事業補助事業	総事業費	個別計画	636	円	実績値	5, 516				
活	74714 3 7141111774 3 714				%	達成率	91.9				
動 指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
D	1 しいたけ増産体制整備総合 対策事業補助事業	総事業費	□ 総合戦略	636	円	実績値	5, 516				
成	71710 1. 201111923 1. 200		□ 個別計画		%	達成率	91. 9				
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)	
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点		
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点		
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		3 点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	16 点	3 点	16点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点	

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 乾しいたけ生産者の生産基盤強化を行う施設整備に対する補助金であり、日本一の乾椎茸 産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続していく。 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

乾しいたけ生産者の生産基盤強化の補助は重要な事業であり、今後も継続が必要

令和 5 年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 農林整備課 林業振興係 108001 3 務 価 係名 乾しいたけ新規参入者支援事業補助事 業 事 業 椎茸生産支援対策事業 細事業 椎茸生産基盤整備事業 実施計画事業 なし 総合計画体系図No.→( 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市森林整備計画 別計 乾しいたけ新規参入者支援事業補 期間 H29 年度 ~ R8 款 策 2 林業の振興 3,675 6 項 施策展開 ②林業生産基盤を整備する 4 画 名 2 後期基本計画 26 P コロナ充当 期間 年度 ~ 目 過疎計画 総合戦略 決算 112 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 生産機械・施設等の整備に係る経費について 助成することで、椎茸生産の担い手の確保・ 育成に取り組む。 乾燥機(1台)、作業車(1台)、チェーン ソー(2台)、ぽだ木造成 1,500本×3名に対して補助を行った。 R 3 計画 3,675 1,575 1,575 R3 当初予算 2, 100 3.675 決 算 額 2, 212 1, 323 889 R 4計画 1,575 3, 675 2, 100 R4 当初予算 1,200 600 決 算 額 R 5 計画 2, 100 1,575 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 乾燥機 R6計画 3,675 2, 100 1,575 林内作業車 R6 当初予算 ほだ木造成 7名 決 算 額 R 7計画 3,675 2,100 1,575 R7 当初予算 決 算 額 計画額 18, 375 10,500 7,875 2,700 R3 ~ R7 合 計 当初予算 4,875 2, 175 決 算 額 2, 212 1,323 889 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R7 R6 目標値 3, 675 3,675 3,675 3,675 3, 67 □ 総合戦略 乾しいたけ新規参入者支援 事業補助事業 C 総事業費 円 実績値 2, 212 □ 個別計画 達成率 % 60. 2 目標値 総合戦略 実績値 標 □ 個別計画 % 達成率 総合計画 目標値 3,675 3,675 3,675 3,675 3,675 乾しいたけ新規参入者支援 白 D 総事業費 総合戦略 1,800 実績値 2, 212 事業補助事業 個別計画 % 達成率 60. 2 ᄨ 目標値 総合計画 指 実績値 総合戦略 標 個別計画 % 達成率 Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	一次評価 (係長)		(課長等)	
	許価項目/5つの税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点		
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点		
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & results & r$	3 点		3 点		
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	16 点	3 点	16 点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	∕25点	3 点	∕25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 乾椎茸生産新規参入者の参入しやすい支援体制の整備を行う補助制度であり、日本一の乾 椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続していく。

I 令和 5 年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 林業振興係 課局名 108001 4 (令和 3 年度決算) 事 価 係名 事 業 椎茸生産支援対策事業 細事業 椎茸生産基盤整備事業 実施計画事業 ファーマーズスクール事業補助事業 なし 総合計画体系図No.→(61 **策** I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市森林整備計画 別計 策 2 林業の振興 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R8 款 3, 200 6 年度 項 施策展開 ②林業生産基盤を整備する 4 画 名 目 2 後期基本計画 26 P コロナ充当 期間 年度 ~ ☑ 過疎計画 総合戦略 決算 112 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 独立準備型2名、親元準備型1名に対して、 補助を行った。 <事業の目的> 椎 車生産に係る研修経費について助成することで、就業体制を整備し、椎 車生産の担い手 の確保・育成に取り組む。 R 3 計画 3, 200 1,600 R3 1,600 当初予算 1,600 3, 200 決 算 額 2,300 1, 150 1, 150 R 4 計画 1,600 3, 200 1,600 R4 当初予算 2,300 1, 150 1, 150 決 算 額 R 5 計画 1,600 1,600 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ... - マスツ収配四谷(計画) > しいたけ版ファーマーズスクール設置支援事業 R6計画 3, 200 1,600 1,600 当初予算 R6 独立就業給付金 親元就業給付金 決 算 額 R 7計画 1,600 3, 200 1,600 R7 当初予算 決 算 額 計画額 16,000 8,000 8,000 当初予算 2,750 R3 ~ R7 合 計 2,750 5,500 決 算 額 2,300 1, 150 1, 150

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		T.	目標値	3, 200	3, 200	3, 200	3, 200	3, 200
С	1 ファーマーズスクール事業 1 補助事業	総事業費	個別計画	2, 300	IJ	実績値	2, 300				
活	1111/24 4 2/14				%	達成率	71. 9				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 =		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		T.	目標値	3, 200	3, 200	3, 200	3, 200	3, 200
D	1 ファーマーズスクール事業 1 補助事業	総事業費	□ 総合戦略	2, 300	Ţij	実績値	2, 300				
成果	1111-74 3 714		□ 個別計画		%	達成率	71. 9				
果			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0 評価対	象	-					(対	対象外事業は	F~ I 欄未	記入可)

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 → 2  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 4 点 4 点 評 優先度低い 優先度高い **→** 2 4 **→** 5 事業計画どおりに事業を進めることができたか 3点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3 点 3点 16 -16 -

	推移していない ⇒ 推移した		小人		一、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二
5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点
1	推移していない → 推移した				
G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】	※評価・改	善策等を踏ま	えた課長職等	の所見
新規権  群生産者の担い手行成を行う補助事業であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、担い手行成のための重要な事業であると考えており、今後も継続していく。	新規権茸生産者の担い手育成を行。 。	<b>すう補助事業</b>	であり、継続	していく必	要性がある

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 農林整備課 林業振興係 108002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 椎茸生産支援対策事業 細事業 椎茸種駒補助事業 実施計画事業 椎茸種駒補助事業 なし 総合計画体系図No.→( 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市森林整備計画 別計 椎茸種駒補助金 款 策 2 林業の振興 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R8 6, 528 6 項 施策展開 ②林業生産基盤を整備する 4 通信運搬費 10 名 目 2 後期基本計画 26 P ✓ 過疎計画 コロナ充当 期間 年度 ~ 総合戦略 決算 112 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 椎茸種駒の購入者に補助金を交付することで 、椎茸の増産を図り、生産者の生活と経営の 安定に資する。 95名、5, 239, 900駒に対して補助を行った。 R 3 計画 6,538 6, 538 6,538 R3 当初予算 6,538 決 算 額 5, 250 5, 250 R 4 計画 6, 300 6,300 R4 当初予算 5,884 5,884 決 算 額 R 5 計画 6,000 6,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 (74,400駒-20,000駒) ×1円×120人 (直近3か年の平均の申請者数、10人以下切上 げ) R6計画 5,700 5,700 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 5,400 5,400 R7 当初予算 決 算 額 計画額 29, 938 29, 938 R3 ~ R7 合 計 当初予算 12, 422 12,422 決 算 額 5, 250 5, 250

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	6, 538	6, 300	6,000	5, 700	5, 400
С	1 椎茸種駒補助事業	総事業費	□ 個別計画	5, 255	円	実績値	5, 250				
活					%	達成率	80.3				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 =		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	6, 538	6, 300	6,000	5, 700	5, 400
D	1 椎茸種駒補助事業	総事業費	□ 総合戦略	5, 255	円	実績値	5, 250				
成			□ 個別計画		%	達成率	80. 3				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
F	<b>■ 1</b>										

(対象外事業はF~I欄未記入 可) 評価対象外の理由 | 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)	
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点		
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点		
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		3 点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	16 点	3 点	16点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点	

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 乾しいたけ生産量の安定化と生産者確保のため2万駒以上の植菌者に対する補助制度であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続していく。 日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であり継続する必要がある

令和5年度の事業の方向性

事業番号     枝番     (令和3年度)       108003     1       (令和3年度)		) 総合計画実施計画書(兼進捗 ) 事 務 事 業 評 価	·管理) 調 書	課局名	農林整備	課 係:	名	林業振	(様式 1 ) 興係
事 業 椎茸生産支援対策事業		<b>細事業</b> 椎茸生産支援対策事業関係団体補助事業	実施計画	事業 椎茸振卵	興会補助事業	•		終了 年度	なし
<ul><li>総合計画体系図No.→( 62 )</li><li>計 一般 政 策 I 豊かな生活を支</li></ul>	えるし	ごとがあるまち	<b>·</b> · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	林整備計画	令和 (	3 年度 主な;	歳出名称	当	i初予算客
<b>施 策</b> 2 林業の振興		<del></del>	期間 H29 4	F度 ~ R8	年度 椎茸振	興会補助金			70
頁 4 施策展開 ②林業生産基盤を整		<u> </u>							
3 2 後期基本計画 26 P 🗍	過政	計画   一 総合戦略   一 コロナ充当   一 其	期間 4	F度 <b>~</b>	年度				
算 112 A 事業目的・内容・実績			B 事業計	・画額・決算額	<b>等</b>				
事業の目的と内容	年度	主な活動実績		事業費計		財源内			位:千円)
<事業の目的>	/X	豊後大野市椎茸振興会に対して700千円の補助	R 3計画	700	国県支出金	地方債	その他	<u>u</u> –	-般財源 70
茸生産関係団体の活動支援を通じて椎茸産 の振興を図り、生産農林家の所得の向上と	R3	を行った。	当初予算						70
営の安定に資する。			決算額						70
			R 4計画	700					70
	R4		当初予算	700					70
			決 算 額						
			R 5計画	700					70
	R5		当初予算						
<令和3年度の取組内容(計画)>			決算額						
後大野市椎茸振興会補助金 700千円			R 6計画						700
	R6		当初予算						
			決算額						
	R7		R 7計画 当初予算						70
	K/		決算額						
			計画額						3, 50
		R3 ~ R7 合 計	当初予算	-,					1, 40
			決算額						70

	評価指標名	評価指標名 指標値の説明(算出方法等)				達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	700	700	700	700	700
С	1 椎茸振興会補助事業	豊後大野市椎茸振興会補助金交付要綱	個別計画	700	円	実績値	700				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		千	目標値	700	700	700	700	700
D	1 椎茸振興会補助事業	豊後大野市椎茸振興会補助金交付要綱	□ 総合戦略	700	円	実績値	700				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0 評価対	寸象	·					(文)	象外事業は	: <b>F~I欄</b> 未	記入 可)
							<b>一</b> カ	マ評価 (係長	<u> </u>	次評価(課	長等)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 3点 なっていない 1 → 2 → なっている → 4 → 5 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3 点 3 点 評 優先度低い 優先度高い → 2 → → 4 → 5 できた → 4 → 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 4点 できなかった ⇒ 1 → 2 → 3 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 4 点 4点 18 点 18 点 推移した 4 → 5 推移していない ⇒ 1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 4 点 /25点 /25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
日本一の乾椎茸産地である本市において、その生産を支える豊後大野市椎茸振興会の存在は重要と考えており、今後も支援していく。	豊後大野市椎茸振興会の活動は重要であり今後も支援していく。

I 令和 5 年度の事業の方向性

事業番号 枝番 (令和3年	<b>庄</b> 针 丽	ត \ <b>£</b> 2	<b>&amp;스</b> 丰i	新安妆	佐을부대	inder (:	<b>並</b> 准	ᄔ	<b>*</b>	81								(様式1)
109002 1 (令和 3 年				事	業	評	不压		昌坦 凋	E/ 書	課局	名	農材	整備課	Į	係名	林業	振興係
事 業 有害鳥獣等被害対策事業		細事業	有害鳥	獣被害!	防止対策					— 西計画等	事業有	害鳥曹	狀被害隊	方止対策	事業	-	終了年度	
<ul> <li>総合計画体系図№→ (52)</li> <li>会計 一般</li> <li>政策 I 豊かな生活</li> <li>款 6</li> <li>施策展開 ⑧有害鳥獣対策</li> <li>損基本計画 24 P</li> <li>決算 113</li> </ul>	<b>きを強化す</b>			合戦略		コロナ充当	画	画期	間 [ 後大! 間 H	野市鳥 R2 <sup>年</sup> 野市森 [29 <sup>年</sup>	F度 ~	R4	年度		被害阿	<b>主な歳!</b> 坊止対策事	<b>出名称</b> 华補助金	当初予算8 11,00 30 5
A 事業目的・内容・実績 事業の目的と内容	年			ナか江	新中结				K	<u>事業計</u> 、		<b>次异</b> 額				財源内記	R (	単位:千円)
	度		,		動実績						争未	:負計	国県	支出金	地フ	5債	その他	一般財源
<b>&lt;事業の目的&gt;</b> 有害鳥獣による農林産物の被害防止を目的	6.3	電気柵ネット	(120セッ (10件) イヤーメ	ハト)、 、ワイ:	防護柵 ヤーメ:	(1件) ソシュ柵	、防護 (51件	1	RS	3計画	1	1, 444		3, 659				7, 78
して設置するものに対し、購入経費を助成ることで、本市における農林産物被害の	成す R3 経減	;  ) 、ワ て補助	イヤーメ を行った。	ッシュキ	冊支柱	(40件)	に対し	<i>,</i>	_	刃予算		1, 444	1	3, 659				7, 78
に資する。								4	_	算 額	1	9, 098		2, 958				6, 14
								-	R 4	4計画	1	1, 444		3, 659				7, 78
	R4								当初	刃予算	1	3, 444		4, 479			5, 000	3, 96
< 令和3年度の取組内容(計画) >	R5	;							R 5 当初	算 額 5計画 切予算 算 額	1	1, 444		3, 659				7, 78
電気柵・防護柵・ワイヤーメッシュに対す補助	ナる R6	i							R 6 当初	5 計画 可予算 算 額	1	1, 444		3, 659				7, 78
	R7	,							当衫	7 計画 切予算 算 額		1, 444		3, 659				7, 78
								٦	計	画 額		7, 220	1	8, 295				38, 92
			R3 -	~ R7	合:	計		1	当礼	刃予算	2	24, 888		8, 138			5, 000	11, 75
								1	決	算 額		9, 098		2, 958				6, 14
評価指標名	指標値	の説明(第	算出方法等	<b>F</b> )	名	計画指標	₹ R	2実	績値.	単位	達成原	隻	R3	R4		R5	R6	R7
					T	総合単	战略			千二	目標信	直	11, 444	11,	444	11, 44	11, 44	11, 44

$\overline{\ }$	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R 2 実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦	略	千	目標値	11, 444	11, 444	11, 44	4 11, 44	4 11, 444
С	1 有害鳥獸被害防止対策事業	総事業費	□ 個別計	8,993	円	実績値	9, 098				
活動					%	達成率	79. 5				
動 指			□ 総合戦	略		目標値					
	2 =		┃	画		実績値					
					%	達成率					
			── 総合計	画	壬	目標値	11, 444	11, 444	11, 44	4 11, 44	11, 444
D	1 有害鳥獣被害防止対策事業	総事業費	□ 総合戦			実績値	9, 098				
成 果			□ 個別計	画	%	達成率	79. 5				
指			□ 総合計	画		目標値					
標	2 —		□ 総合戦	略		実績値					
			□ 個別計	画	%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	象						(5	対象外事業	ŧは <b>F~I欄</b>	大記入 可)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	=v/=x \				一次	ː評価 (係:	長)	二次評価	(課長等)
		評価項目/5つの税息(1~5点で	· 計1四 /				評価)	点 評価	点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているだ	j\ -	1 → 2 - なっていない	⇒	→ 4 → 5  なっている	3	点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか	(同じ成果指標設定事業内での優先度)		1 → 2 - 優先度低い	→ 3 ·	→ 4 → 5 優先度高い		点		4 点	
ΙŒ	3. 事業計画どおりに事業を進め	)ることができたか	-	1 → 2 − できなかった	→ 3 · ⇒	→ 4 → 5 できた	3	点		3 点	
価	4. 活動指標の達成状況(率)は言			1 → 2 −		→ 4 → 5		点	16 占	3 点	ع 16

1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市内の農地において、シカ、イノシシ等の鳥獣害被害は継続して発生しており、有害鳥獣 の捕獲と被害防止を一体的に進めていくことが重要。そのため、今後も事業実施を継続し 有害鳥獣の捕獲と被害防止は一体的に進めていくことが重要であり、今後も事業 実施の継続が必要である。 また、サルの群れによる被害が多く見られるようになり、今後の課題である。 ていく。 また、サルの群れによる被害が多く見られるようになり、今後の課題である。

令和5年度の事業の方向性

5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

推移していない ⇒

16 点

/25点

3点

推移した

16 点

/25点

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 農林整備課 林業振興係 109003 1 (令和 3 年度決算) 事 価 係名 事 業 有害鳥獣等被害対策事業 細事業 有害鳥獣捕獲事業 実施計画事業 有害鳥獣捕獲事業補助事業 なし 総合計画体系図No.→( 豊後大野市鳥獣被害防止計 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 画 別計 策 1 農業の振興 R2 年度 ~ R4 款 期間 有害鳥獣捕獲事業補助金 54,000 6 項 施策展開 ⑧有害鳥獣対策を強化する 4 豊後大野市森林整備計画 名 2 後期基本計画 24 P コロナ充当 目 過疎計画 総合戦略 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R8 決算 113 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 有害鳥獣等の被害対策強化と電気柵等の設置 ノシシ 3,097頭、シカ3,586頭、サル23頭 小動物810頭の捕獲に対して補助を行った。 R 3 計画 54,000 35, 408 18, 592 指導を行い農林産物を被害から守る R3 当初予算 35, 408 18,592 54,000 決 算 額 54, 047 38, 885 15, 162 R 4 計画 54,000 18, 592 35, 408 R4 当初予算 54,000 15,000 3,820 35, 180 決 算 額 R 5 計画 54,000 35, 408 18,592 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 3,460頭 シカ 3,460頭 イノシシ 3,170頭 サル 44頭 R6計画 54,000 35, 408 18, 592 44頭 754頭 当初予算 R6 小動物 決 算 額 R 7計画 18, 592 54,000 35, 408 R7 当初予算 決 算 額 計画額 270,000 177,040 92,960 当初予算 70, 588 R3 ~ R7 合 計 108,000 15,000 22, 412 決 算 額 54,047 38,885 15, 162

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000
С	1 有害鳥獣捕獲事業補助事業	総事業費	□ 個別計画	46, 180	円	実績値	54, 047				
活					%	達成率	100.1				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	54,000	54,000	54,000	54, 000	54,000
D	1 有害鳥獣捕獲事業補助事業	総事業費	□ 総合戦略	46, 180	円	実績値	54, 047				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.1				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
			·								:

(対象外事業は**F~I欄**未記入 可) Ε 評価対象外の理由 0評価対象

	   評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	1(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの税点(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	19 点	4 点	19点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	4 点	/25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 市内の農地において、シカ、イノシシ等の鳥獣害被害は継続して発生しており、有害鳥獣 の捕獲と被害防止を一体的に進めていくことが重要。そのため、今後も事業実施を継続し

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 害鳥獣の捕獲と被害防止を一体的に進めていくことが重要であり、事業実施の 付音のinvinumというに 継続は必要。 また、サルの群れによる被害が多く見られるようになり、今後の課題である。

これ、。 また、サルの群れによる被害が多く見られるようになり、今後の課題である。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 農林整備課 林業振興係 109004 1 (令和 3 年度決算) 事 務 業 評 価 係名 有害鳥獣等被害防止対策事業関係団体 補助事業 事 業 有害鳥獣等被害対策事業 細事業 実施計画事業 猟友会補助事業 なし 総合計画体系図No.→( 豊後大野市鳥獣被害防止計 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 策 1 農業の振興 別計 R2 <sup>年度</sup> ~ R4 款 期間 猟友会補助金 2,500 6 項 施策展開 ⑧有害鳥獣対策を強化する 4 豊後大野市森林整備計画 名 目 2 コロナ充当 後期基本計画 24 P 過疎計画 総合戦略 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R8 決算 113 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 豊後大野市猟友会に対して、2,500千円の補助 を行った。 <事業の目的> 有害鳥獣等の被害対策強化と電気柵等の設置 R 3 計画 2,500 2,500 指導を行い農林産物を被害から守る R3 当初予算 2,500 2,500 決 算 額 2,500 2,500 R 4 計画 2,500 2,500 R4 当初予算 2,500 2,500 決 算 額 R 5 計画 2,500 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 豊後大野市猟友会補助金 2,500千円 R6計画 2,500 2,500 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 2,500 2,500 R7 当初予算 決 算 額 計画額 12,500 12,500 当初予算 R3 ~ R7 合 計 5,000 5,000 決 算 額 2,500 2,500

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		千	目標値	2, 500	2,500	2, 500	2, 500	2, 500
С	1 猟友会補助事業	豊後大野市猟友会補助金交付要綱	□ 個別計画	2,500	円	実績値	2,500				
活					%	達成率	100.0				
動 指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		千	目標値	2, 500	2, 500	2,500	2, 500	2, 500
D	1 猟友会補助事業	豊後大野市猟友会補助金交付要綱	□ 総合戦略	2, 500	円	実績値	2, 500				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果 指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対						•	( <del>*</del>	対象外事業は	· F~ I 欄未	記入 可)

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 → 4 → 5 → 2 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 4 点 4 点 評 優先度低い 優先度高い 2 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 4点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 4点 19 点 4点 19点 推移していない ⇒ 推移した 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 4点 /25点 4点 /25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市における有害鳥獣捕獲事業に支援をいただく重要な組織であり、市としても支援していくことが重要。継続して、事業実施を行う。	有害鳥獸捕獲事業に支援をいただく重要な組織であり、継続して事業実施を行う。

令和5年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

推移していない

推移した

	事業番号     枝番     (令和3年       109004     2     (令和3年		-	総合計画実施 事 務 事			管理 調	里) 書	課局	名	農林	整備課	係	名	林業捌	( <b>様式 1</b> ) 長興係
事	有害鳥獣等被害対策事業		細事業		防止対策事業関		_	施計画	事業鳥	獣被害	<b>三</b> 対策協	議会補助	力事業		終了年度	なし
会計		を支える	しごとがる	あるまち		個 画	i		鳥獣被害			-	年度 主な		称	当初予算額
款 項 目	6     施     策     1 農業の振興       4     施策展開     ⑧有害鳥獣対象       2     後期基本計画     24     P		する 強味計画	□ 総合戦略	□ コロナ充当	画豊	後大	、野市和	<sup>年度</sup> ~ 森林整備 <sup>年度</sup> ~	計画		······································	<b>计策協議会</b>	補助金		500
決算	113 A 事業目的・内容・実績		l l			<u> </u>	В	本章	計画額・	決質額						
	事業の目的と内容	年度		主な活動	事績		Š	<del></del>		費計		шД	財源区	_		位:千円)
<: 	事業の目的>		箱わな	購入、初心者狩猟	講習会、緩衝帯	整備	R	3 計画	ī	500	国県支	.田玉	地方債	そ0	ク他	一般財源 500
有 指導	鳥獣等の被害対策強化と電気柵等の まを行い農林産物を被害から守る		、サル 3 置用資	用捕獲檻運用に係 材移動運搬費に対	る通信費、防護権 して830千円の補	冊設 i助を	-	初予算		500						500
			行った	0			H	算 額	_	830						830
		<u> </u>					$\vdash$	4 計画	-	500						500
		R	4				-	初予算		830						830
							-	算 額	-							
		_					R	5 計画	Ī	500						500
		R	5				当	初予算	Ε							
<	令和3年度の取組内容(計画)>						-	算 額	_							
鳥獣	被害対策協議会 500千円	_					-	6計画	-	500						500
		R	6				当	初予算	Į.							
							決	算 額	1							
		_					<u> </u>	7計画	-	500						500
		R	7				当	初予算	Į.							
							_	算 額								
								画額		2, 500						2, 500
				R3 ~ R7	合 計		-	初予算		1,330						1, 330
							H	算額	_	830						830
	評価指標名		の説明(智	章出方法等)	各計画指標	D 2 ≢	:结值	単位	達成馬	F	R3	R4	R5		R6	R7
<u> </u>	BT IMITED NY.	10 100 100		+ш/ЛД-47	1_		ANG INC	千	目標値		500		<u> </u>	500	500	500
С	1 鳥獣被害対策協議会補助事 豊後	6大野市福	前助金等交	付規則	総合戦略		500		実績値		830	0.	50	000	000	000
活	兼		.,,		個別計画	Ī		%	達成率	K	166. 0					
活動指					□ 総合戦略	ζ			目標値	1						
標	2 _				個別計画				実績値	1						
						1		%	達成率	K						
					□ 総合計画	Ī		千	目標値	1	500	5	00	500	500	500
D	1 鳥獣被害対策協議会補助事 豊後	後大野市補	前助金等交	付規則	□ 総合戦略	S	500	円	実績値	1	830					
成 果					個別計画	+		%	達成率	_	166. 0					
指					総合計画				目標値	_						
標	2 —				総合戦略			04	実績値	_						
	<u> </u>				□ 個別計画	II.		%	達成率	-				l		
E	評価対象外の理由 0評価対象												(対象外導	業は <b>F</b>	<b>~Ⅰ欄</b> ≉	記入 可)
		≣亚/末 ті	百日 ノミへ	の視点(1~5点で	▽(価)							文評価 (f	<u>系長)</u>	二岁	マ評価(詞	果長等)
1		計皿力	4D/ U J	い元ホ(1.ここに	~ p 1' IW /						評価	点 誀	価点合計	評値	五点 1	平価点合計

 
 優先度低い
 ⇒
 優先度高い

 1 → 2 → 3 → 4 → 5
 できなかった
 ⇒
 できた

 1 → 2 → 3 → 4 → 5
 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 4点 18 点 4点 18点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 /25点 推移した G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 有害鳥獣被害対策において、鳥獣被害対策協議会による防護柵設置や箱わな購入、初心者 狩猟講習会助成、緩衝帯整備等は重要な事業であり、今後も継続を行う。 有害鳥獣被害対策において重要な事業であり、今後も継続を行う。

令和5年度の事業の方向性

1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか

2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)

3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか

評

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

 $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 

なっていない ⇒

 $\begin{array}{cccc}
\hline
cvscv & \Rightarrow & cvscvs \\
 & 2 & \rightarrow & 3 & \rightarrow & 4 & \rightarrow & 5
\end{array}$ 

3点

4 点

3点

4 点

3点

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 農林整備課 林業振興係 302001 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 森林経営管理事業 細事業 森林環境讓与税基金管理事業 実施計画事業 森林環境譲与税基金管理事業 なし 総合計画体系図No.→( 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市森林整備計画 別計 策 2 林業の振興 款 期間 H29 <sup>年度</sup> ~ R8 森林環境讓与税基金積立金 47, 949 6 年度 項 施策展開 ③未整備森林を整備する 4 名 2 後期基本計画 26 P コロナ充当 期間 年度 ~ 目 過疎計画 総合戦略 決算 114 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 整備森林の整備を促進し、健全な育成と、公 益的機能の増進を図り、地域林業の振興を図 る。 森林環境譲与税として48,073千円が譲与された。また、クヌギ林整備における売払い収入が99,884円あり、森林環境譲与税とあわせて 基金積立を行った。 R 3 計画 47,949 47, 948 47,948 R3 当初予算 47,949 決 算 額 48, 173 100 48,073 R 4 計画 62,052 62,053 R4 当初予算 62,054 62,052 決 算 額 R 5 計画 62,053 62,052 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 森林環境讓与税(一般財源) 47,948千円 森林環境讓与税基金預金 1千P R6計画 76, 155 76, 154 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 76, 155 76, 154 R7 当初予算 決 算 額 計画額 324, 365 324, 360 R3 ~ R7 合 計 当初予算 110,003 110,000 決 算 額 48,173100 48,073

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合単	路	千	目標値	47, 949	62, 053	62, 0	53 76, 15	76, 155
С	1 森林環境譲与税基金管理事業	森林環境讓与税	┃	47, 951	円	実績値	48, 173				
活	71-				%	達成率	100.5				
動指			□ 総合単	路		目標値					
	2 —		┃	一画		実績値					
					%	達成率					
	本井県安装上公井入然畑市		□ 総合計	画	千	目標値	47, 949	62, 053	62, 0	53 76, 15	76, 155
D	1 森林環境譲与税基金管理事業	森林環境譲与税	□ 総合単	格 47,951	円	実績値	48, 173				
成			□ 個別計	画	%	達成率	100.5				
果指			□ 総合計	-画		目標値					
標	2 —		□ 総合戦	略		実績値					
			□ 個別計	-画	%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	t象						(5	対象外事:	業は <b>F~I根</b>	未記入 可)
	,						一次	(評価 (係	長)	二次評価	(課長等)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	:評価)				評価	点 評価	点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているが	<sub>ታ</sub> ›	なっていない	⇒	→ 4 → 5 なっている	- 3	点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか	い (同じ成果指標設定事業内での優先度)		1 → 2 → 優先度低い	→ 3 ·	→ 4 → 5 優先度高い	4	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進め	)ることができたか		1 → 2 → できなかった	⇒	できた	4	1 点		4 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計	†画どおり推移しているか		1 → 2 → 推移していない	⇒	推移した	4	1 点	19 点	4点	19 点
1				1 . 0		. 4 . E					1

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 森林環境譲与税として48,073千円が譲与された。今後も譲与額は増額される予定であり、 適切に基金管理を行う。 譲与された森林環境譲与税は基金として適切に管理を行う。

令和5年度の事業の方向性

成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

A. 現状のまま継続

1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推

/25点

/25点

事	業番号		枝番		(令和 3 年
3	02002		1		(令和 3 年
事	業	森	林経'	営管理	事業
	総合	計画	画体系	図No.→	( 63 )
会計	一般		政	策	I 豊かな生活
款	6		施	策	2 林業の振興

∓度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

課局名	農林整備課	係名	林業振興作

3	02002		1		(令和 3 年	平度 決	算)	事	務事	業	評	価	調	1	F	課	局名	農	農林整備課	係名	林	業振	興係
事	業	柔	·	営管理	事業		細事業	森村	木経営管理	里事業				実施計	画事	丰業	森林	経営管	理事業			終了 年度	なし
	総合	合計	画体系	図No.→	( 63 )		•	•															1
会計	一般		政	策	I 豊かな生活	舌を支え	るしごとた	ぶあるま	きち			個	豊後	长大野市	「森	林惠	を備計	画	令和 3 年度	主な歳出	名称	当	初予算額
款	6		施	策	2 林業の振興	ļ.						別計	期間	H29	年	度 ~	R	8 年度	未整備森林調	<b>查業務委託</b>	料		13, 120
項	4		施策	展開	③未整備森林	を整備す	<sup>-</sup> る					画							森林経営管理美	英務委託料			13, 100
目	2		後其	胡基本	計画 26 P		過疎計画		総合戦略	5	コロナ充当	名	期間	i	年	度 ~	-	年度	森林作業道整体	<b>前事業補助</b>	金		9, 000
決算	114	1																	荒廃森林整備	事業委託料			6, 000

<sup> 次昇  114</sup>     <b>A 事業目的・内容・実績</b>			B 事業計	画額・決算額	第 荒廃森	林整備事業委託	:料	6,00
事業の目的と内容	年度	主な活動実績		事業費計		財源内	訳 (	(単位:千円)
	1			尹未其司	国県支出金	地方債	その他	一般財源
<事業の目的> 未整備森林の整備を促進し、健全な育成と、		森林環境譲与税の使途として示されている① 森林整備、②人材育成・担い手支援、③木材 利用の促進、④普及啓発、⑤実行体制整備に	R 3計画	48, 839	890		47, 949	
公益的機能の増進を図り、地域林業の振興を 図る。	R3	利用の促進、④普及啓発、⑤実行体制整備に 従い、事業実施を行った。	当初予算	48, 839	890		47, 949	
KT 0.0		ルマ、 事未大応を行うた。	決 算 額	33, 510	1, 304		32, 206	
			R 4計画	62, 053	890		61, 163	
	R4		当初予算	70, 803	915		69, 888	
			決 算 額					
			R 5 計画	62, 053	890		61, 163	
	R5		当初予算					
<令和3年度の取組内容(計画)>			決 算 額					
①未整備森林調查業務 ②森林経常管理事業 ③未整備森林管理用GIS ④林道等改修事業 ⑤森林作業道整備事業			R6計画	76, 155	890		75, 265	
③未整備森林管理用GIS ①林道等改修事業	R6		当初予算					
⑤森林·作業道·整備事業 ⑥荒廃森林整備事業			決 算 額					
⑦再造林担い手確保支援事業			R 7計画	76, 155	890		75, 265	
⑧林業就業環境改善事業 ⑨林業作業員育成支援事業 ⑩おおいた材利用促進協議会負担金	R7		当初予算					
11)地域産材利活用事業			決 算 額					
型地域库材利品用事業 ②製材業等労働環境改善対策事業 ③普及啓発	¥ R3 ∼ R7 合 計		計画額	325, 255	4, 450		320, 805	
⑭林業振興協議会運営費 ⑮事務員費			当初予算	119, 642	1,805		117, 837	
9事務員實 9事務費				33, 510	1, 304		32, 206	

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	48, 839	62, 053	62, 053	76, 155	76, 155
С	1 森林経営管理事業	総事業費	□ 個別計画	40, 059	円	実績値	33, 510				
活					%	達成率	68.6				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	48, 839	62, 053	62, 053	76, 155	76, 155
D	1 森林経営管理事業	総事業費	□ 総合戦略	40, 059	円	実績値	33, 510				
成			□ 個別計画		%	達成率	68.6				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代紙(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	16 点	3 点	16 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 令和4年度以降、森林環境譲与税譲与金が更に増額される見込みであり、未整備森林の整備を更に加速していく必要性がある。 林業振興協議会およびプロジェクトチーム、林業事業体の意見も取り入れながら、有効な方策を事業化していく。

I 令和 5 年度の事業の方向性

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 令和4年度以降、森林環境議与税譲与金が更に増額される見込みであり、未整備 森林整備等を更に加速していく必要性がある。

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) (令和 3 年度決算) 事 課局名 農林整備課 基盤整備係 112001 1 務 価 係名 事 業 治山林道整備事業 細事業 林道維持管理事業 実施計画事業 林道維持管理事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 橋梁点検業務委託料 款 策 期間 年度 6 2 林業の振興 年度 ~ 9,000 項 施策展開 ②林業生産基盤を整備する 4 林道維持補修工事請負費 8,000 名 目 3 後期基本計画 26 P コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 過疎計画 総合戦略 6, 053 決算 115 林道維持作業委託料 270 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 低コストでの優良材生産を可能にするため、植栽・除伐・間伐・枝打ち・下刈りといった森林整備を効率的に実施できるように林道・作業道の整備を推進するなど、造林を支援します。 林道維持補修工事請負費 R 3 計画 23, 788 5, 400 18,388 術型維行補厚工事間負責 橋梁点検業務委託料 トンネル1件・橋梁1件・詳細設計1件 18,388 R3 当初予算 5, 400 23, 788 草刈等委託料 決 算 額 22, 103 5, 320 16, 783 R 4 計画 18,000 18,000 R4 当初予算 22,659 17, 259 5, 400 決 算 額 R 5 計画 18,000 18,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 林道維持補修工事請負費 R6計画 18,000 18,000 林道補修 橋梁点検業務委託料 トンネル1件・橋梁1件 草刈等委託料 除草作業委託等 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 18,000 18,000 R7 当初予算 決 算 額 計画額 95, 788 5,400 90, 388 10,800 R3 ~ R7 合 計 当初予算 46, 447 35, 647 決 算 額 22, 103 5,320 16,783

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	23, 788	18,000	18, 000	18,000	18,000
С	1 林道維持管理事業	総事業費	個別計画	20, 845	円	実績値	22, 103				
活					%	達成率	92. 9				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	23, 788	18,000	18,000	18, 000	18,000
D	1 林道維持管理事業	総事業費	□ 総合戦略	20, 845	円	実績値	22, 103				
成			□ 個別計画		%	達成率	92. 9				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E 評価対象外の理由 0評価対象
 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 林道施設点検は必ず5年に一度は行うものなので、計画的に予算化して点検を行うものとする。

I 令和5年度の事業の方向性

**☆** A. 玛

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 農林整備課 基盤整備係 112003 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 治山林道整備事業 細事業 管理林道整備事業 実施計画事業 管理林道整備事業 なし 総合計画体系図No.→( 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 林道積算システム使用料 款 策 期間 年度 420 6 2 林業の振興 年度 ~ 項 施策展開 ②林業生産基盤を整備する 4 画 三宅山線開設推進協議会負担金 30 名 3 後期基本計画 26 P コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 過疎計画 総合戦略 決算 115 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 低コストでの優良材生産を可能にするため、植栽・除伐・間伐・枝打ち・下刈りといった森林整備を効率的に実施できるように林並・作業道の整備を推進するなど、造林を支援します。 林道積算システム使用料 林道積算システム 1: R 3 計画 450 450 R3 当初予算 450 450 決 算 額 420 420 R 4計画 420 420 R4 当初予算 450 450 決 算 額 R 5 計画 420 420 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 林道積算システム使用料 林道積算システム 1式 R6計画 420 420 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 420 420 R7 当初予算 決 算 額 計画額 2, 130 2, 130 R3 ~ R7 合 計 当初予算 900 900 決 算 額 420 420

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	450	420	420	420	420
С	1 林道積算システム使用料	総事業費	□ 個別計画	450	円	実績値	420				
活					%	達成率	93. 3				
活動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	450	420	420	420	420
D	1 林道積算システム使用料	総事業費	□ 総合戦略	450	円	実績値	420				
成			□ 個別計画		%	達成率	93. 3				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0 評価対	    象	<u> </u>				<u> </u>	(対	対象外事業に	<b>ま<b>F~I欄</b>未</b>	記入可)
							1 %	7部1本(1を月	=\   .	一· <b>左</b> 郭/燕 / 章	用巨体\

一次評価 (係長) 次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 → 2 → 3 → 4 → 5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 3点 評 優先度低い 優先度高い 3 2 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 3点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 15 点 3点 15点 推移していない ⇒ 推移した → 3 → 4 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 3点 /25点 推移した

 G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

 事業継続するために林道積算システムを継続して契約することが必要になる。
 事業継続するために林道積算システムを継続して契約することが必要になる。

I 令和 5 年度の事業の方向性

⇒ B. 見直しの上で継続-5 統合

	事業番号		<b>校番</b>	(令和 (				_	計画 美 務 事		_		価	罗官調		課用	6名	農林	木整備	課	係名	i 基	盤專	整備係
Ę	業	治	山林道整備	事業			細事業	治山	1事業					SIX	実施計画	事業	台山事美	業					終了 年度	なし
会計款			画体系図No.→ 政 策 施 策	( 57 ) I 豊かな 2 林業の		支える	しごとが	あるま	ち				個別	期間		年度 ~		年度	<b>令和</b> 治山工			出名称	ž	当初予算額 8,000
項目	4 3	╛┢	施策展開	②林業生產 計画 26	産基盤を	_	する		総合戦略		コロナ	-充当	計画名	期間		年度 ~		年度	治山事原材料		设計委託	料		500 500
決算	115		事業目的 事業の目的	・ <b>内容・実</b>	複	白	F		÷ +\2	舌動実績				7 5	B 事業計	T	• <b>決算</b> 額 業費計	領等	大分県	治山林	道協会負 <b>財源内</b>		(単	242
	<b>事業の</b> 気コス ]	目的)	>	産を可能に	するため		治山工	事請負	_ • • •					┪	R3計画		9, 242		支出金	地	方債	その他		一般財源 9,242
た系 ・ f	异林整備	旨を交	物率的に実施	打ち・下刈 拖できるよ るなど、造	うに林道	í		流末排	水路整備	L=65. 8	3m			╌	当初予算 決 算 額		9, 242 3, 672	+						9, 242 3, 672
	<b>~</b> 7 o					R	4							╌	R4計画 当初予算		1, 242 6, 063							1, 242 6, 063
						ŀ								-I F	決 算 額 R 5 計画	-	1, 242	2						1, 242
			の取組内容	序(計画) >		R	5							Ⅱ⊢	当初予算 決 算 額									
治し		松地  量設	( 地区 対計委託料 E料 1式			R	6							1	R6計画 当初予算	<u>E</u>	1, 242	2						1, 242
						_	7							╬	決算額 R7計画	Ī	1, 242							1, 242
						R	′							;	当初予算決算額	Į								14.010
								₽3	- R	7	<b>1</b> +			╌	計 画 額  当初予算		14, 210 15, 305	+					-	14, 210 15, 305
														╌	決算額		3, 672							3, 672
			評価指標名	İ	1	指標値	の説明(	算出方法	法等)	4	計画	指標	R 2	2 実績	値 単位	達成		R3	F	R4	R5	R6		R7
C 活	1 治口	1事業	类		総事業	費						総合戦略 固別計画		57	千 円 %	実績 達成	値	9, 243 3, 673 39.	2	1, 242	1, 2	42 1,	242	1, 242
動指標	2 _											総合戦 田 国別計画				目標実績	-							
	<u> </u>											8合計画	画		% 千	達成 目標	値	9, 24	2 1	1,242	1, 2	42 1,	242	1, 242
D 成果	1 治	1事第	<b>美</b>		総事業	費						8合戦田 国別計画	ı	57	70 円 <b>%</b>	達成目標	率	3, 67						
指標	2 —										- ] 終	会計區 会戦 日別計画	各		%	実績達成	値							
E	評価	i対象	外の理由	0 評価対	· * * * *												ı		ı	(文)	象外事:	業は <b>F~I</b>	欄未	未記入 可)
							<b>.</b>			F = = 17	.,							Ι-	-次評価	i(係長	<u>(</u> )	二次評価	西 (記	課長等)
		- R #	‡D (+B=	アンケート)					(1~5)		)	- 1	1 →	· 2	→ 3 -	→ 4	→ 5	評	価点	評価)	<b>点合計</b>	評価点	÷	評価点合計
F 評	-			いと思うか						້ອ <i>ນ</i> າ		-	1 →	· 2	,\ ⇒ → 3 -	→ 4	ている → 5 度高い	-	3点	-		3点	-	
価				事業を進め									1 → できな	→ 2 かった	→ 3 - = ⇒ → 3 -	→ 4 で	→ 5 きた		3点			3点	-	
	4. 7	動指		状況 (率) は計 		り推移	しているた						移して	ていな	→ 3 -	推和 → 4	多した → 5		3点	-	15点	3 点		<sup>15</sup> 点 /25点
	5. F	果指	は 一	()U (—) 10 H	画どおり	り推移	しているカ	か <u></u>				推			(\ ⇒	推利	りした	L			/25点	3 点	`_	
	5. д			長の意見・記					業の進めて	5等		推	移して	ていな	い ⇒ 担当課長			※評		善策等		3点		D所見

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

4,371

2,240

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 経済振興係 115001 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 商工観光課 係名 事 業 消費生活相談事業 細事業 消費生活相談事業 実施計画事業 消費生活相談事業 なし 総合計画体系図No.→( 248 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 消費生活相談業務委託料 款 策 7 交通安全・防犯対策の推進 期間 年度 1,467 年度 ~ 項 1 施策展開 ③消費者対策を充実する 消耗品費 300 名 2 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 専門相談員育成委託料 目 後期基本計画 64 P 過疎計画 総合戦略 132 決算 116 燃料費 118 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 消費者安全法第10条第2項の規定に基づき 電話や来庁による相談受付を実施した。 また、毎月弁護士に消費生活相談に関する指 導を受けた。 R 3 計画 2, 240 2, 240 豊後大野市消費生活センターを設置してい R3 当初予算 2,240 2, 240 決 算 額 2, 240 2, 240 R 4計画 2, 131 2, 131 R4 当初予算 2, 131 2, 131 決 算 額 R 5 計画 2,240 2,240 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 電話や来庁による相談受付を実施する。 また、毎月弁護士に消費生活相談に関する指 R6計画 2, 240 2, 240 また、毎月角 導を受ける。 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 2, 240 2, 240 R7 当初予算 決 算 額 計画額 11,091 11,091

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	80	80	80	80	80
С	1 相談件数	市消費生活センターで受けた相談件数	個別計画	61	14	実績値	104				
活					%	達成率	130.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
D	1 被害回復額	消費生活相談センターを介して相談者が クーリングオフ等で救済された金額	□ 総合戦略	2, 765	円	実績値	3, 609				
成		y y y y y y y y y y y y y y y y y y y	□ 個別計画		%	達成率	120.3				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

当初予算

決 算 額

4, 371

2,240

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	17点	3 点	16点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 【担当課長職等の所見】

消費者安全法により市町村には消費生活センターを設置する努力義務があり、本市においては「豊後大野市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例」を制定して消費生活相談業務をおこなっているため、継続した取り組みが必要である。

消費者安全法により市町村には消費生活センターを設置する努力義務があり、本 市においては「豊後大野市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例」を 制定して消費生活相談業務を実施している。消費者を守るために事業の継続は必 要である。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 価 経済振興係 114001 1 (令和 3 年度決算) 事 務 商工観光課 係名 商工業振興事業 事 業 細事業 商工業推進事業 実施計画事業 商工会補助事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 年度 商工会補助金 17,700 4 商業・サービス業の振興 年度 ~ 項 1 施策展開 ①経営基盤を強化する 名 2 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 30 P 過疎計画 ~ 総合戦略 決算 117 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 商工会が行う小規模事業者に対する指導事業及び商工業の振興と安定を図るための事業 に要する経費について、補助金を交付する。 ・会員事業所からの相談受付及び経営指導 ・コロナ関連の支援金、給付金等の申請支援 ・創業セミナーの開催 R 3 計画 17,700 17,696 17,696 R3 当初予算 17,700 決 算 額 17,700 4 17,696 R 4 計画 17, 396 17, 400 R4 当初予算 17,400 17, 396 決 算 額 R 5 計画 17, 100 17,096 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 補助金の交付により、経営指導員の取組を支援することで、小規模事業者の経営の改善及び商工業の振興を図る。・会員事業所からの相談受付及び経営指導・創業セミナーの開催 R6計画 17, 100 17,096 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 17, 100 4 17,096 R7 当初予算 決 算 額 計画額 86, 400 20 86, 380 当初予算 8 R3 ~ R7 合 計 35, 100 35,092 決 算 額 17,70017,696

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		市商工会窓口で相談を受けたり会員の店	□ 総合戦略		件	目標値	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900
С	1 経営等に関する指導件数	舗や事業所等を巡回して経営指導した件	個別計画	3,847	1	実績値	4, 231				
活		数			%	達成率	108.5				
動指			□ 総合戦略		件	目標値	40	40	40	40	40
標	2 創業相談	市商工会で創業相談や創業支援をした件 数	□ 個別計画	45	17	実績値	71				
					%	達成率	177. 5				
		豊後大野市商工会の会員数(喜齢化築で	✓ 総合計画		Į.	目標値	850	865	875	885	896
D	1 商工会員数	豊後大野市商工会の会員数(高齢化等で事業所数が減少する中、現在の会員規模	□ 総合戦略	834	<u></u>	実績値	849				
成		を維持できるようにする)	□ 個別計画		%	達成率	99. 9				
果指		経済センサス(5年に1度の調査)で把握	✔ 総合計画			目標値					1,537
標	2 事業所数	される事業所数	□ 総合戦略			実績値	1, 497				
		※令和3年経済センサスが最新	□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	16 点	3 点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	3 点	/25点	3 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

通常の経営指導やコロナ禍における各種補助金・給付金等の申請支援あるいは融資相談等により、会員事業所の経営改善に貢献しており、担当の経営指導員が会員事業者を伴走型でサポートする体制が確立している。高齢化や人口の減少等で会員数の維持拡大は容易ではないが、今後も事業者に寄り添った経営指導あるいは創業支援・後継者支援等により、本市商工業の発展を図っていただきたい。

等 市内小規模事業者の経営維持や改善を図るための経営指導や各種補助金(持続化型 補助金、ものづくり補助金等)の支援や創業セミナーの開催等により市内商工業の振興が図られており事業の継続が必要である。

I 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

4	業番号	枝番	(	令和	3 :	年月	F #H	- 画	· )	綏	:合:	₽÷i	画事	施計	- 画	書(	兼准	捗	管:	理)										(柞	<b>谦式 1</b> )
	14001	2	•	令和						事		務	事		T 業	評	価	-	周	書	課	局名		商	工観光	課	係	名	経済	振り	興係
事	業	商工業振	興事業	É					細事	<b>業</b>	商コ	に業	推進事	業					実	施計画	事業	中小	企業	美振興	資金融	資関連	車事業		終 <sup>-</sup> 年J		なし
会計款	総合計 一般 7	画体系図 政 施	策	76 ) 【豊か7 商業・						があ	うるま	ち					- 個別:	期	間	i	年度 ~	~		年度	<b>令和</b> 中小企				名称	当礼	初予算額 30,00
項目	2	施策風 後期	基本計	D経営基 画 30	盤を P	-	する コ		計画		V	総	合戦略		] =	ロナ充当	直	i	間	:	年度 🖍	~		年度	融資制	度資金	保証料	補助金	È		85
決算	117	<b>事業</b> 事業の			<b>毛積</b>			年度					主なえ	舌動実	<b>淫績</b>				B	事業計	T	<b>建</b> 类类			<u> </u>	Lub.	財源	_			江:千円)
<1	業の目的	ሳ>					-	汉	指定	金融	独機関	<b>目</b> (	大分銀	行、	県信	用組合	、豊和	1	E	3計画	ī	30	850	凷児	支出金	地	方債	1	その他 30,000	_	·般財源 85
、中	大野市中 小企業者	等に対し	て必	要な施領	音を計	まず る	5	R3	銀行が豊	)に 後大	11 で野市	万中	円ずつ 小企業	預託	し、資金	用組合 指定金 を市内	融機関 事業者	]	H	初予算	-		850						30,000		850
の促	により、 進を図り	、もつ゛	て本市の	び経営基 の商工業	基盤の	の強化 発展に	5		に貸補助			5際	に必要	ミとな	る保	証料を	、市か	ŝ	Н	等 額			350						30,000		35
資す	ることを	目的と	する。				ı												R	24計画	Ī	30,	850						30,000		85
								R4											业	4初予算	Ε	30,	850						30,000		850
																			決	等 額	Į										
																		٦	R	₹5計画	Ī	30,	850						30,000		850
								R5											봘	首初予算	Ε										
	和3年					** o #*	_												決	等 額	Į										
定め	大野市中 る融資資	金として	(1千)	万円ずつ	30	の取	扱												R	86計画	Ī	30,	850						30,000		850
豊後	機関に預 大野市中	小企業批	長興資金	金を金融	峨陽	固がす	ī	R6											봘	4初予算	Ε										
な	業者に貸 同規則第	19冬で7	とめる	由助金 と	1.7	こなん	÷ L											_	Ë	等 額	4—										
する度末	。なお、 に市に返	預託金に還される	は年度) る。	当初に支	Z出l	_、年	Ξ.												⊢	7計画	`-	30,	850						30, 000		850
								R7											Н	4初予算											
																			H	等額	-							+			
											- 0		_	, ,					Н	上画 額		154,							150, 000		4, 25
											RJ	5	~ R	/ 台	. E1				Н	新子算 計算 額			700 350						60, 000 30, 000		1, 700
																			0	5 异 仓	ŧ	30,	350					<u> </u>	30, 000		301
		評価指	標名				指標	順σ.	説明	(算	出方	法等	€)		各	計画指標	₹ R	2実	績値	単位	達用	戊度		R3	F	R4	R:	5	R6		R7
					Τ,					L			-1.14		П	総合單	战略			社	目相	票値			3	3		3		3	
С	1 取扱金	融機関の	の数		年数		初に	_独言	七金を	支出	占した	こ金	融機関	<b>!</b> の	П	個別言			3	3		責値			3						
																				~		P									

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		社	目標値	3	3	3	3	3
С	1 取扱金融機関の数	年度当初に預託金を支出した金融機関の 数	□ 個別計画	3	<del>[</del> ]	実績値	3				
活		7			%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		件	目標値	3	3	3	3	3
D	1 資金貸付件数	取扱金融機関が貸し付けた豊後大野市中 小企業振興資金の件数	□ 総合戦略		1	実績値	3				
成		TAMAKE TIME	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値				·	
			□ 個別計画		%	達成率					
		<u> </u>									$\overline{}$

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

豊後大野市中小企業振興条例に基づき、産業振興対策及び創業者支援として、市内の中小企業者等が事業資金の融資を受けやすくするための預託金と保証料補助金であり、今後も本市の産業振興及び創業支援のために必要である。

豊後大野市中小企業振興条例に基づき、産業振興対策及び創業者支援として、市内の中小企業者等が事業資金の融資を受けやすくするための預託金と保証料補助金であり、今後も本市の産業振興及び創業支援のために必要である。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 経済振興係 114001 3 (令和 3 年度決算) 事 務 価 商工観光課 係名 商工業振興事業 事 業 細事業 商工業推進事業 実施計画事業 商業活性化支援事業補助事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 4 商業・サービス業の振興 期間 年度 商業活性化支援事業補助金 年度 ~ 44,000 項 1 施策展開 ①経営基盤を強化する 名 2 ~ コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 30 P 過疎計画 総合戦略 決算 117 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 ○レインボーシティ商品券(プレミア率20% の販売 <事業の目的> 市内景気の回復に向けた消費喚起及び地域 の商工業者の振興による地域経済の活性化の ため、豊後大野市商工会が実施するプレミア ム商品券事業に要する経費に対して補助金を 交付する。 R 3 計画 44,000 ○飲食専用商品券(プレミアム率30%)の販 R3 当初予算 44,000 44,000 決 算 額 42, 254 42, 250 R 4計画 147, 400 147, 400 R4 当初予算 147, 400 147, 400 決 算 額 R 5 計画 11,000 11,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ○レインボーシティ商品券(プレミア率20% )の販売 R6計画 11,000 11,000 ,、ハ吸元 ○飲食専用商品券(プレミアム率30%)の販 売 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 11,000 11,000 R7 当初予算

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		プレミアム付き商品券及び飲食店専用券 のプレミアム分の金額の総額(令和5年	総合戦略		千	目標値	39,000	129, 000	10,000	10,000	10,000
С	1 商品券等プレミアム分の額	のプレミアム分の金額の総額(令和5年   度以降は感染症対応地方創生臨時交付金	□ 個別計画	52, 128	円	実績値	38, 890				
活		がないものとして目標値を設定)			%	達成率	99. 7				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 =		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	219,000	609,000	60,000	60,000	60,000
D	1 域内の消費喚起	市民等が購入したプレミアム付き商品券 や飲食店専用券の経済効果(換金額)	□ 総合戦略	312, 769	円	実績値	218, 443				
成		(以及用 引加分平) 在 [ ]	□ 個別計画		%	達成率	99.8				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値			·		
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

決 算 額計 画 額

当初予算

決 算 額

224, 400

191,400

42, 254

191, 400

191, 400

42, 250

33,000

**E** 評価対象外の理由 0 評価対象
 (対象外事業は**F~I欄未記入**可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
100	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	16 点	3 点	16 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

## G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

コロナ禍における商工業者支援策として商工業者からの要望に応じて実施し、一定の経済 効果が出ている。今後も、コロナ禍や物価高騰に対応するために国県の交付金・補助金を 最大限活用しながら、市内事業者の経営支援や市民の生活支援に役立てたい。 ※感染率対応地方創生臨時交付金や大分県消費喚起プレミアム商品券事業補助金がない場 合は縮小を検討する。

## H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

特にコロナ禍においては域内の消費喚起や事業所の支援としては、プレミアム率を上乗せすること等でより成果が表れた事業となった。今後も域内の消費を喚起し市内事業所を支援するのために必要な事業である。なお、実施回数やプレミアム率については、情勢等を考慮する必要がある。

## I 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

B. 見直しの上で継続-4 縮小

_	<b>-</b> # # # D	44.77	1		. In	•		<b>-</b> 1 :			A	- I		<del>-</del>	T 4	<b>.</b> / <del>.</del>	<b>- ~</b>	나는 선	<b>6: T</b> E									(様=	式1)
	事業番号 114001	<b>枝番</b>					平 度 年 度				_	計画 務	事	也計址 業		售 ( <b>)</b> 評	価	抄官	_	書	課局名	Ē	<b></b>	光課	係名	名	経済	振興係	
事	業	商工業扱	長興事						紐	事業	商	匚業推	進事	業					実施	計画	<b>事業</b> 小規助事		者経営	営改善資	金利子補	育給補	育 終了 年度		なし
会計		計画体系[	図No.→ 策	· `	6 ) 豊かれ	な生	活を支	える	しこ	ごとが	あるま	; t <sub>5</sub>					1 [						令:	和 3 年	度 主な	歳出名	名称	当初予	予算額
款	7	施	策				ービス				-, • -						個別	期間			年度 ~	年月	小;		者経営改善				8, 942
項	1	施策	展開	①経	営基	盤を	強化	ナる									計画						WH	III 19/1 JEC					
目	2	後期	基本	計画	30	Р			疎	計画	~	総合	戦略		7	け充当	名	期間	1		年度 ~	年月							
決算		· ·	п <b>м</b> .	. m #	. d	- 4sk											. <u> </u>		- 1		上面蜡。约	<b>被</b> 被							
		A 事業				・模		白	E						_				<del>~</del>	<u>学来</u> [	画額・決				財源内	引訳	(	単位:	千円)
		事業σ	目的	と内容	容			厚				Ξ	Eな注	動実績	į			$\rfloor \lfloor$			事業費	計	県支呂	出金	也方債	7	の他	一般	財源
力	事業の目的 対模事業	き者の経						Г		当該利 るもの	子補約  である	合は、 るが、	コロ	ナ禍前 3年度に	から	実施し	てい 禍に対	` 당	R 3	3 計画	i 8,9	942						8	8, 942
事業	株式会社 者経営改	<b>企資差</b>	の融資	督を受	シけた	- /l\‡	見模事		3 J	芯した	様々な	よ低利	率融	資があ	った	ため、 責や当該	小規	<u>.</u>	当初	刀予算	8,9	942						8	8, 942
業者子の	に対し、 一部につ	借り入 いて、	れた層利子	融資に 補給補	こかか 前助令	いる値 えをる	賞還利 交付す	L	i	補給σ	給付額	質が例	年よ	り伸び	なか	いった。	(133	_	決:	算額	į 4, 9	919							4, 919
る。								ı										Ш	R 4	1計画	6, 1	168							6, 168
								R	4											刀予算		168						(	6, 168
								┡	_									_		算額	1								
									_									Ш		5計画		000						(	9, 000
	^ 1= o <del>/=</del>	± 0 15-4		. /=! =	=\			R	5									Ш		刀予算									
	令和3年 -債務者の						まづき	$\vdash$	-									-		算額	+	200							
補助	する。							R	6									Ш		3計画 刃予算		)00						,	9, 000
								Γ.	0									Ш		算 額									
								$\vdash$	-									╢		子 65 7 計画		000							9, 000
								R	7									Ш		刀予算		)UU						-	9, 000
								"										Ш		算額									
								H										┪╏		画額		110						4:	2, 110
								ı			R	} ~	R7	合	計			Ш		刀予算	,	-							5, 110
								ı										Ш	決:	算 額	-								4, 919
		評価技	诣標名	i			指	<b>指標値</b>	の記	说明(	算出方	法等)		1	各計	画指標	R	2 実糸	責値	単位	達成度	RS		R4	R5		R6	1	R7
						株	式会社	 上日オ	政	策金融	公庫に	こよる	小規	模		総合戦	略			件	目標値		50	5	0	50	50	)	50
С	1 新規借	<b> 計入件数</b>					業者組融資化		(善)	資金の	市内	事業者	への	新		個別計	画		46		実績値		29						
活動						1//	2113477													%	達成率		8.0						
指	2 _															総合戦	略			ŀ	目標値 実績値								
標	_															個別計	画		-	%	達成率								
						+									1	総合計	画		+	千	目標値	300,	000	300,00	0 300, 0	000	300, 000	300	0,000
D	1 新規信	<b></b>				株事	式会社業者紹	:日本 (学)	政策	策金融 資金の	公庫に	こよる 事業者	小規	漠   こ	_	総合戦		290, 0	000	占	実績値	125,					000,000		-,
成						資	額									個別計	画			%	達成率	4	1.8						
果指																総合計	画				目標値								
標	2 —															総合戦	略				実績値								
																個別計	画			%	達成率								
E	評価対	象外の理	里由	0 診	平価対	対象																			(対象外事	業は	F~I欄	未記入	、可)
								क <i>।च</i>		<b>75</b> :-		- / -			F\								一次	評価(係	長)	Ξ	次評価	(課長等	寿)
							ì	半1曲耳	目月	/50	ツ倪点	R (1.	<b>~</b> 5 点	で評価	11)	,						╧	評価点	京 評価	西点合計	Ē	平価点	評価点	信合計
F	1. 市民	R満足(1	市民ア	アンケ	<b>−</b> ト)	) の	向上が	期待	でき	る事	業内容	となっ	てい	るか			なって	ていな	い	⇒	→ 4 → ! なってい	<b>ర</b>	3	点			3 点		
評	2. 事業	の優先	度は高	いと	思うだ	か(	同じ成	果指	標設	定事	集内で	の優先	度)								→ 4 → ! 優先度高し		4	点			4 点		

١,	価	3. 事業計	<b>画とおりに事業を進めることかできた</b>	(7)	できなかった ⇒	できた	4点		4 点	
1		4. 活動指	標の達成状況(率)は計画どおり推移し	ているか	1 → 2 → 3 推移していない ⇒	→ 4 → 5 推移した	3 点	17 点	3 点	17点
		5. 成果指	標の達成状況(率)は計画どおり推移し	ているか	1 → 2 → 3 推移していない ⇒	→ 4 → 5 推移した	3 点	/25点	3 点	/25点
Г		G	【担当係長の意見・課題・改善策等】	※今後の事業の進め方等	H 【担当課長	長職等の所見】	※評価・改	善策等を踏ま	えた課長職等	₹の所見
V.	١ (:	コロナとは	した各種融資が令和4年度も実施中で 直接関係ない)融資が必要な事業者 必要なため、引き続き実施する必要	であるが、それらの融資条件に合わながいるほか、過去に融資を受けた事業がある。	市内小規模事業者7 資金)に対して、7	が、事業継続 ! 市が行う利子補	- 経営の安定 兼給は事業者	を図るために の支援として	利用する融 必要である。	資(マル経

I 令和 5 年度の事業の方向性

3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか

京   1																													/±±-	<del></del>
###   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が   10上の形成の手が											_				_		_		_	) 書	課局名		商工	観光調	果	係名	名	経済		
## 1	事	業	商工業	振興事	事業					¥	田事業	商工業	<b>美推進事</b>	業					実施	計画		づく	り生産	性向上	上緊急	原促進事	業補			R4
日   2   現場	-	一般	施	策	I 4 南	豊かた	サー	-ビス	業の	振興	Į	るまち	)				別	期間		ź	平度 <b>~</b>	4		ものづく	(り生			-	当初 <sup>-</sup>	
本事を目的・八倍・発揮   東京の目的と内容   東京の目的と内容   東京の目的と内容   東京の目的と内容   東京の目的と内容   東京の目的と内容   東京の目的と内容   東京の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	目	2				*//-		1				#	総合戦略	~		け充当		期間		£	∓度 <b>~</b>	£	手度							
「日のものづくり・商業・サービス生産性の主性を制御のを採用した機関のを活用したでは、		111					横						主な流	舌動実績	績				В	集計		計		出金	抽:					
20   1   1   1   1   1   1   1   1   1	国カ	実施す	るもの								産性向上	:促進裤	制助金を	活用し	た設	は備投資	等の	1	R 3	計画	8, '			-	-0.	77 [X				
R4	行う	中小企	業、小規	見模事	業者	等の負	担る	・軽減	. "			三了した	こものに	本市補	前助金	きを7件交	付し	Ш			<u> </u>			-						
RA	する業者	ことを 「等に対	目的と し、豊和	と大野	中小が	企業、	小り生	見模事 上産性	_									41			1	-		-						
次 算 様   R6   R7   R7   R7   R8   R7   R8   R9   R8   R9   R8   R9   R8   R9   R8   R9   R8   R9   R8   R9   R8   R9   R8   R9   R8   R9   R8   R9   R8   R9   R8   R9   R8   R9   R8   R9   R8   R9   R9				<b></b> 再助金	を予り	算の範	担け	引にお										Ш			,	-								
R									,	4								Ш			1	300	14	1, 000						6,000
本名									$\vdash$									╢												
大学 報   10									R	25								Ш			-									
### 2 -   日本・マービス生産性肉上   日本・マービス生産性肉上   日本・マービス生産性肉上   日本・マービス生産性肉上   日本・マービス生産性肉上   日本・マービス生産性肉上   日本・マービス生産性肉上   日本・マービス生産性肉上   日本・マービス生産性肉上   日本・マービス生産性肉上   日本・マービス生産性肉上   日本・マービス生産性肉素・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	<	令和3年	F度の取	組内犯	容(計i	画) >			ı									Ш												
下名									H									11		-	1									
R7 R7 計画 当初予算	<b>座性</b> 事業	同上促z が完了	些舗明5 したも6	をを活りに本	用し7	に設備 助金を	校员	き等の	R	16								Ш			-									
第四指標名   指標値の説明(算出方法等)   名計画指標   R2実積値   単位   達成度   R3   R4   R5   R6   R7   R7   R7   R7   R8   R8   R9   R7   R8   R9   R8   R9   R9   R9   R9   R9	0								ı									Ш			-									
大字 報   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   1									H									11	R 7	計画										
計画 額 28,750   17,000   11,750   11,750   11,750   17,000   11,750   11,750   17,000   11,750   11,750   17,000   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,750   11,									R	27								Ш	当初	予算										
R3 ~ R7 合計   当初予算 28,750 17,000   11,750   11,750   決算額 8,265 3,000   5,265   5,265   28,750   17,000   11,750   決算額 8,265 3,000   5,265   5,265   28,750   17,000   11,750   決算額 8,265 3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   5,265   28,265   3,000   28,265   3,000   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265   3,265									ı									Ш	決り	章 額										
上京									r									11	計画	画 額	28,	750	17	7,000					1	1,750
評価指標名   指標値の説明(算出方法等)   各計画指標   R 2 実績値 単位   達成度   R3   R4   R5   R6   R7     国のものづくり補助金採択									ı			R3	~ R	7 合	計			Ш	当初	予算	28,	750	17	7,000					1	1,750
国の令和元年度補正子算及び令和2年度補									ı									Ш	決り	章 額	8, 2	265	3	3,000						5, 265
C 1 国のものづくり補助金採択 性数			評価	5指標4	名		T	并	旨標値	直の記	説明(算	 出方法 <sup>:</sup>	等)		各計	画指標	R 2	. 実総	責値	単位	達成度	ı	R3	R4	4	R5		R6		R7
Try		-	1 m "	2 M LA	- n	PQ TL	国下	の令和 予算 t	元年	三度	補正予算 り・商業	及び令・サー	和2年度 ビス牛	[補]		総合戦略	Š			(生	目標値		10							
****	С			くり補	即金	採択	性市	向上仍	企進権 性者σ	助っ	金を申請	し、採4年度=	択され7	を事し	_	個別計画	ī		5				15						1	
指標 2 -	活動												1.0.	- T L			1		$\perp$	%			150.0						1	
図別計画   96 達成率   1	指													[		総合戦略	Š										$\perp$		1	
D I 市補助金交付件数     国の「ものづくり・商業・サービス生産性向上 促進補助金」に事業採択され、事業実施後、国への実績報告書や国庫補助金額確定通知書等必要を指定市に提出した事業者に対して、事業費の1/6 (最大125万円)を給付する。     総合戦略	標													[		個別計画	Ī		-	06							-		$\vdash$	
D     1 市補助金交付件数     促進補助金」に事業採収され、事業実施後、国への実績報告書や国庫補助金額確定通知書等必要な書類を市に提出した事業者に対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者の対して、事業者のも、事業者の、事業者の、事業者の、事業者の、事業者の、事業者の、事業者の、事業者の	$\vdash$	<u> </u>					田	n F#	のべ	/ h		- トー ビっ	生产料品	<u> </u>	$\overline{}$	終合計 電	ī		+	70		<u> </u>	Л		19		<u> </u>		+	
一個別計画   一個別計画   一個別計画   大阪成本   175.0   一個別計画   大阪成本   175.0   一個別計画   上版   大阪成本   175.0   一級合計画   上版   大阪成本   175.0   一級合計画   上版   大阪成本   175.0   一級合計画   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   大阪成本   上版   上版   上版   上版   上版   上版   上版   上	D	1 市補	助金态	计件数	ť		促i	<b>進補助</b>	金11	こ事	業採択され	1、事業	等海後、	国	_				1	件					14				+	
集     指標       2 —     総合計画       総合財略     実績値       個別計画     % 達成率	ᄨ	14 110	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	711 20	-		要費	な書類 の1/6	を計り を制り (最大	こ提 :125	田てた事業 万円)を終	業者に対	でで、	<b>菲</b> 業	_				- T	%							-		$\dagger$	
指標 2 — 総合戦略 実績値 実績値 96 達成率 96 達成率 96 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	果										, 9/	/ %	-	1	=-		+		$\dashv$		目標値								t	
個別計画 96 達成率	指標	2 —																			実績値									
E 評価対象从の理由 ○部(無対色 (対象以事業はE~【欄+記】可)							$\perp$													%	達成率								L	
日本 一种 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	E	評価が	対象外の	理由	0 1	評価対	计象																		₹)	対象外事	業は <b>F</b>	~ I 欄	未記入	(可)

Е	評価対象外の理由	0 評価対象			(対象外事	業はF~I棉	未記入 可)
		評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
		計画項目グラフの税無(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民7	アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & $	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高	らいと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに	事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成物	状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	17点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成物	状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4点	/25点	3 点	∕25点

·	
G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
感染症対応地方創生臨時交付金を充当した臨時的な補助事業であるため、令和4年度まで現行通り継続する。	感染症対応地方創生臨時交付金を充当した臨時的な補助事業であり令和4年度までの事業となる。なお、令和5年度以降も国が補助事業を継続する場合は、市の補助制度についても検討する必要がある。

I 令和 5 年度の事業の方向性

**☆** C.終 了

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 経済振興係 114002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 商工観光課 係名 事 業 商工業振興事業 細事業 特産品販路拡大事業 実施計画事業 求評・商談会委託事業 なし 総合計画体系図No.→( 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 求評・商談会等実施委託料 款 策 期間 年度 880 4 商業・サービス業の振興 年度 ~ 項 1 施策展開 ②商業・サービス業を活性化する 名 2 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 30 P 過疎計画 ~ 総合戦略 決算 117 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 中小企業・小規模企業活性化基本条例第11 ○オンライン商談会の開催 コロナ禍におけるギフト需要に特化した商 談会にしたため成約数が伸びた。 R 3 計画 880 中小企業・小規模企業活性化基本条例第11 条の地域資源の利活用による産業の発展及び 創出という基本方針にのっとり、中小企業者 等の特産品の販路を拡大するために、市商工 会等にオンライン等による求評・商談会実施 事業を委託する。 R3 当初予算 880 880 決 算 額 880 880 R 4計画 1,870 1,870 R4 当初予算 1,870 1,870 決 算 額 R 5 計画 1,870 1,870 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ○オンライン商談会の開催 R6計画 1,870 1,870 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,870 1,870 R7 当初予算 決 算 額 計画額 8, 360 8,360 当初予算 2,750 2,750 R3 ~ R7 合 計 決 算 額 880 880

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値	1	1	1	1	1
С	1 商談会開催回数	オンライン等による商談会の開催	□ 個別計画	1	口	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		── ─────個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		件	目標値	6	7	8	9	10
D	1 成約件数	商談成約件数	□ 総合戦略	6	11	実績値	24				
成			□ 個別計画		%	達成率	400.0				
成 果 指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
			·								

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	18 点	4 点	18点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	4 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 【担当課長職等の所見】 ブランド認証商品等の販路拡大や本市のPRのために必要な事業で、新たにオン ライン商談会という形式での実施により成果が上がってきているため、今後も本 市の魅力発信のために継続する必要がある。

本市特産品製造事業者と市商工会の経営指導員が協議を重ねながら準備を進め、結果を出している。コロナ禍であるが、オンライン商談という新しいやり方で、効果的に実施できている。今後も本市の魅力発信のために継続していきたい。

令和5年度の事業の方向性

51, 185

21, 185

9, 162

事	業番号	ļ	枝番	( 4	7和	3	年	度	計	画	)	総合	自信合	画実的	医計画	画書	( )	東進	捗1	管理	1)								(様式1)
1	14002		2	( 4	和	3	年	度	決	算	)	事	務	事	業	: 1	平	価	ī	周	書	課局名	商	工観光	課	係名	i á	圣済	振興係
事	業	商	工業振興 雪	事業						糸	田事第	<b>E</b> 4	特産品別	版路拡:	大事業					実施	計画等	事業 ブラン	ド認訓	E・特産i	品PR	事業		終了 年度	
	総合	計画	体系図No	→ ( :	31 )																								
会計	一般		政 策	Ι	豊か	な生	活:	を支	える	らし	ごとフ	がある	らまち					1	1					令和 :	3 年度	主な崩	战出名称		当初予算額
款	7		施策	4 7	簡業	・サ	— Ľ	ごスミ	業の	振興	Į							另言	期間	間	年	度 ~	年度	PRイ	ベント等	実施委	託料		3,000
項	1		施策展開	27	新業	・サ	ービ	[ス美	単を	活性	化す	`る						匝	ij					県公式:		ンショ	ップ販促	事	2, 500
目	2		後期基本	画信	30	0 F	-		] ;	過疎	計画	•	/ 総1	合戦略		םם:	ナ充当	1 1 8	期間	間	年	度 ~	年度	消耗品	費				1,000
決算	117	]_	事業目的	. rtn s	# . ·	中华														<b>D</b> 1	主告計	画額・決算額	<b>有效</b>	普通旅	費				890
						大模			Τ.	年				<b></b>	EL chiá	<u> </u>				Ċ	<u> 字未癿</u>		N T			財源内	訳	(	単位:千円)
			事業の目的	JEN	谷				J	叓				主な活								事業費計	国県	全出支	地方	債	その他	1	一般財源
市内	₣業の目 で生産	<b>目的</b> に	・ た、農林	水産!	物等	を活	用し	た	Γ		認証	品を5	商品選	審査会を 定した	_					R3	3計画	10, 795							10, 795
加工認証	品等の するか	商品	を豊後大て、広く	野市	ブラ. 発信:	ンド	2 L	して	ı	3	○京を	王百貨	貨店で! たり	豊後大野 関後 関番を 記書を終	野市ブ	ラン	ド認証レ本市	品フ	エカ	当初	7予算	10, 795							10, 795
、消	費拡大	、地	て、太大会が大大会の大大会の大大会の大大会の大大会の大大会の大大会の大大会の大大会の大	振興、	地	域経の財	済の	が活り			発信	に関っ	する協定	定書を終	希結す	るな。	どした	-0	.,,	決:	算 額	9, 162							9, 162
	せる。		ひに、豆	(文人)	E]   1		) J .c	<u>.</u> I⊢1	Г											R 4	1計画	10, 390							10, 390
									F	₹4										当初	7予算	10, 390							10, 390
									ı											決:	算 額								
									Г											R 5	5計画	10,000							10,000
									ı	₹5										当初	7予算								
			の取組内容			>			ı											決:	算 額								
			認証品の デパート			ト会	場等	争で	Γ										1	R6	計画	10,000							10,000
	市産品		インショ	・・・ツプト	旧化3	主 坐	<b>丞</b> 割	 F (	F	₹6										当初	7予算								
本市	産品へ	の割	ー 引クーポ 等実施委	ン付り	与)	ァベ	≥<  1	. (	ı											決:	算 額								
OP	K4*	✓ r	守天肥安	pΕ					Γ											R 7	7計画	10,000							10,000
									ı	R7										当初	7予算								
									1											245	告 宛								

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
С	1 ブランド認証審査会数	豊後大野市ブランド認証制度の審査会開 催回数	個別計画	1	凹	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指		市外・県外のデパートやイベント会場等における特産 品フェア等(例:新宿高野フェア、日本野菜ソムリエ	総合戦略		口	目標値	1	2	3	3	3
標	2 特産品フェア参加回数	コンベンション、大分都市広域圏イベント)で、本市 が経費の一部を負担して特産品を出展した回数(数日	□ 個別計画		Ш	実績値	2				
		間連続で行われるものも1回でカウントする)			%	達成率	200.0				
		市内で生産された農林水産物等を活用し	□ 総合計画		П	目標値	15	20	30	40	50
D	1 ブランド認証品数	た加工品等の商品を、豊後大野市ブラン	✓ 総合戦略	9	白白	実績値	14				
成		ドとして認証した数	□ 個別計画		%	達成率	93. 3				
果指			□ 総合計画		千	目標値	10,000	15,000	17,000	18,000	20,000
標	2 ブランド認証品販売実績額	豊後大野市ブランド認証商品の各年度内 販売実績額の合計	□ 総合戦略		円	実績値	14,000				
		7.7.7.	□ 個別計画		%	達成率	140.0				

R3 ~ R7 合 計

計画額

当初予算

決 算 額

51, 185

21, 185

9, 162

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/5)の代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	18 点	4 点	18点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	3 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

令和2年度に創設した豊後大野市ブランド認証制度も2年度目となり、ロゴマークの作成や特設ホームページの開設、追加の認証商品の誕生など、様々な活動ができ、コロナ禍で特産品販売が難しい状況においても、県公式オンラインショップでの本市産品への割引付与や大分市の歩行者天国での農産物販売、県外の百貨店でのPR等により、市外の方へ本市の魅力を発信できた。今後も引き続きブランド認証や特産品のPRを進めていきたい。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

プランド認証制度創設から2年が経過し認証商品数も増えてきている。また、商品がメディア等に取り上げられたことでPRの機会が増えるなど効果が現れてきている。本市のPRや商品の販路拡大のために引き続きブランド認証品等の特産品のPRに努める必要がある。

# 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

事業番号	<del></del>	3 年度計		-								<u></u>			- here	N##	1		(様式1)
114003		3 年度 🥉	と 算	)	<b>₽</b> ₹	<b>务</b> 事	業	評	価	調	書	iii.	果局名	商	工観光記	课	係名	経済	振興係
事業	<b></b> 百工業振興事業		វ៉ា	細事業	商業	集積地管	理事業				実施計画	事業	商業集	積地管	<b>党理事業</b>			終了	
総合計 一般	画体系図No.→( 82 )   政 策 I 豊かな	:生活を支え	こるし	ごとがは	あるま	<u></u> ち			1 []						令和 3	3 年度	₹ 主な歳	出名称	当初予算额
款 7		サービス業							個 別	期間	]	年度	~	年度				<b></b> 也設管理委	1, 41
項 1	施策展開 ②商業・	サービス業績	を活性	生化する					計画						光熱水乳	費			62
目 2	後期基本計画 30	Р 🗌	過疎	計画		総合戦略		コロナ充当	自名	期間	]	年度	~	年度	修繕料				30
<b>快算</b> 117	・事業目的・内容・実	48		•							D ==	計画	額・決算	頻笙	施設等值	使用料			25
	事業の目的と内容	rse.	年			± #: 4	動実績			7	<u> </u>		事業費計				財源内語	沢	(単位:千円)
<事業の目的			度	oleff Life mb-e	an oder Vale			14≥n. /:	en u. 1	┛┡	_	\	尹未良。	国県	支出支	地:	方債	その他	一般財源
豊後大野市	リン の特性をいかした魅力 し、地域間交流の推進	ある地域				とにぎわ の維持管			朝地ザ	Ш	R3計i	-	2, 80					1, 691	1, 118
つくりを日相わいの場を創	し、地域间交流の推進 出するとともに、利便 業地を形成する。	及いにさ 性に優れ	R3							Н	当初予算	-	2, 80	-				1, 691	1, 118
に魅力める商	<b>業地を形成する。</b>									-11	決算	-	4, 05	-				3, 777	27
			R4							╌	R4計i 当初予i	+	5, 60	_				1, 640 1, 020	3, 96 4, 58'
			11.4							╌	決算	-	5, 00	''				1,020	4, 50
										-11	R 5計i	-	2, 80	19				1, 321	1, 48
			R5							H	当初予算	+	2,0					1,021	1, 10.
<令和3年	度の取組内容(計画)>									Iŀ	決算者	額							
	とにぎわいの拠点施設 の維持管理を行う。	(朝地サ								11	R6計i	画	2, 80	9				1, 321	1, 48
, , v , <u>m</u> , ,	*//作い日 <b>在</b> と日フ。		R6							Ш	当初予算	章							
										Ш	決算	額							
										П	R7計i	画	2, 80	9				1, 321	1, 488
			R7							Ш	当初予算	算							
										4 6	決算								
										╂	計画	-	16, 8	13				7, 294	9, 54
					R3	~ R7	合言	it		H	当初予算		8, 4	_				2, 711	5, 70
											決算	狼	4, 0	53				3, 777	270
	評価指標名	指標	票値の	説明(算	<b>拿出方法</b>	去等)	各	·計画指標	R 2	実績	植 単位	達	成度	R3	R	4	R5	R6	R7
<b>C</b> 1 貸付可	能区画数	朝地町の			わいの	拠点施設		総合単			6 件		標値		6	6		6	6

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		件	目標値	6	6	6	6	6
С	1 貸付可能区画数	朝地町の「交流とにぎわいの拠点施設」 の共同店舗区画数	□ 個別計画	6	11	実績値	6				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 —		── ─────個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		件	目標値	6	6	6	6	6
D	1 貸付実行区画数	朝地町の「交流とにぎわいの拠点施設」 の共同店舗を貸し付けた区画数	□ 総合戦略	6	11	実績値	6				
成		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
		I. fr	•				•	/ 1	1.6. U ± # U		L=2.2\

(対象外事業はF~I欄未記入 可) 評価対象外の理由 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/5つの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  $	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 #我! ていない ⇒ #我! た	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 豊後大野市交流とにぎわいの拠点施設条例に基づいて、適切に施設管理し、貸付審査委員 会も適宜開催できた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 豊後大野市交流とにぎわいの拠点施設条例に基づいて、適切な施設の維持管理が 必要である。今後、施設の経年劣化による修繕等が発生し経費が増加することが 予想される。

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 経済振興係 14001 1 務 価 商工観光課 係名 事 業 企業誘致推進事業 細事業 企業誘致推進事業 実施計画事業 企業誘致推進事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 施 策 期間 年度 指定立地企業助成金 13, 411 3 工業の振興 年度 ~ 項 1 施策展開 ①企業誘致を推進する 情報関連企業誘致促進事業補助金 4,000 名 2 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 28 P 過疎計画 ~ 総合戦略 776 決算 118 普通旅費 300 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 ○大分県企業立地推進課との連絡調整 ○企業ガイドブックの作成・配布 ○立地企業の事業所・工場等への訪問 ○立地企業の工場増設等への支援 <事業の目的> 地域活力の向上や雇用の場の創出のために R 3 計画 18,510 18,505 企業誘致や立地企業の工場増設等を推進す R3 当初予算 18,505 18,510 立地企業の本社訪問 (隔年:R3年度実施) 決 算 額 13, 902 5 13, 897 R 4 計画 5 17, 463 17, 468 R4 当初予算 5,061 5,056 決 算 額 R 5 計画 5,061 5 5,056 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ○大分県企業立地推進課との連絡調整 ○企業ガイドブックの作成・配布 ○立地企業の事業所・工場等への訪問 ○立地企業の工場増設等への支援 ○立地企業の本社訪問(隔年) R6計画 5,061 5,056 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 5,061 5 5,056 R7 当初予算 決 算 額 計画額 51, 161 25 51, 136 当初予算 23, 561 R3 ~ R7 合 計 23, 571 10 決 算 額 13,902 5 13,897

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		口	目標値	30	30	30	30	30
С	1 立地企業訪問回数	立地企業の工場等を訪問した回数	□ 個別計画	30	Ш	実績値	35				
活					%	達成率	116.7				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
		<b>誘劲企業の数及び企業立地促進条例第3</b>	✓ 総合計画		社	目標値	7	7	8	9	10
D	1 立地企業数等	誘致企業の数及び企業立地促進条例第3 条の指定を受けて事業所を新設又は増設	✓ 総合戦略	6	江	実績値	7				
成		した企業数(累積)	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

E 評価対象外の理由 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restance & \rightarrow & rest. \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	19 点	3 点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	4 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

立地企業については、助成金による設備投資支援や過疎地域自立促進特別措置法による固定資産税の減免さえあれば、工場の増設や設備投資、それに伴う従業員の増員等が見込めることがあるので、引き続き地場企業との情報交換を続けるとともに、大分県企業立地推進課等関係機関と連携を図りながら誘致を進める。

立地企業を訪問し、意見交換をするなどして情報の収集や市の情報提供に努めている。また、企業誘致を促進するための補助制度は引き続き継続する必要がある

I 令和5年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

事	業番号		枝番		(	令和	3	年	度	計	画	)	総
1	16001		1		( -	令和	3	年	度	決	算	)	事
		観	光振卵	車業							ş	細事第	ŧ
総		計画	画体系[	図No.→	(	93 )							
会計	一般		政	策	Ι	豊か	な生	上活	を支	ええ	るし	ごと	があ
会計   一般     款   7			施	策	5	観光0	り振	興					
項	1		施策	展開	(2)	観光情	青報	発信	を	強化	する	5	
目	3		後期	基本	計画	<b>■</b> 32	2	Р			過疎	計画	

4	¥番号	枝番 (令和	3 年度言	十画	· ) #	総合計	画実加	<b>も計画</b>	書(兼	连進	步管	理)							(様式1)
1	16001	<del></del>	3 年度 🤅			事 務		業		価	調	書	課局名	商	工観光詞	果	係名	観光	振興係
事	業	観光振興事業			細事業	観光情	報発信	PR事業	ž.		実	施計画	事業 観光	ポスター	・パン	フレッ	ト作成事	業 終了 年度	
会計		計画体系図No.→ ( 93 ) 政 策 I 豊かっ	な生活を支え	こるし	ごとが	あるまち					豊後ス	大野市衛	見光振興ビ	ジョ	令和 3	3 年度	主な歳出	名称	当初予算額
款	7	施 策 5 観光の	振興									H30	<sup>年度</sup> ~ R	7 年度	印刷製	<b>本費</b>			707
項	1	施策展開 ②観光情	報発信を強	化する	<b>5</b>					画									
目	3	後期基本計画 32	Р 🗌	過政	東計画		合戦略		コロナ充当	名	期間		年度 ~	年度					
決算	119	A 事業日的 - 内容 - 草	- 4:00										画額・決	r 45 46					
		A 事業目的・内容・実	: 199L	年							<u>ר</u> קר	<del>- 学术</del> (- -					財源内訳		単位:千円)
		事業の目的と内容		度			主な活	動実績					事業費割	国県	支出金	地方	请 ·	その他	一般財源
●後	事業の目 大野市	<b>的&gt;</b> の地域資源や観光情報を	市内外へ		観光パ	ンフレット	、を作成し	レ 市内外に	く発信する: こ配付設置	ため、 した。	F	3計画	i 7	07					707
広く	発信す	るため、観光パンフレッ 度の向上及び市内への割	・ ト等を作	R3	おでかり	けマップ 旅 修正増	修正増刷	15,000	部	0	뇔	á初予算	7	07					707
0	, bryvn)	支切的工及0.1月11.40分	24.5 D.O		阿蘇く	じゅう高手	穂広域~	マップ印刷	削 1,625部 リー台紙 5,	000部	Ħ	ま 算 額	i 8	90					890
											F	34計画	Ī 7	07					707
				R4							븰	<b>á初予</b> 算	6	31					631
											Ħ	9 算額	į						
											F	35計画	ī 7	07					707
				R5							븰	4初予算							
< 2	令和3年	F度の取組内容(計画) >									Ħ	等 算 額	į						
• 観	光パン	フレットの増刷 プの増刷									F	₹6計画	i 7	07					707
• 広	域観光	マップの増刷		R6							뇔	4初予算							
											Ħ	9 算額	į						
											F	7 計画	i 7	07					707
				R7							놸	<b>á初予</b> 算	[						
											Ħ	9 算額	į						
					1						Ē	十 画 額	i 3, 5	35					3, 535
						R3	~ R7	合 i	it		븰	4初予算	1, 3	38					1, 338
											Ħ	9 算額	į 8	90					890
																	·		
		評価指標名	指標	票値の	説明(	算出方法等	等)	各	計画指標	R 2	実績値	単位	達成度	R3	R		R5	R6	R7
	4 . 0 .	- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	市内外の	見光図	8内所.	観光施設	と等での	,, ロ	総合戦闘	各		箇	目標値		25	30	35	3	8 40
C	ロバン	フレット設置箇所	ンフレッ			ALL DIVID COM	,		個別計画	Đị	20		実績値		25				1
活動								+		+		%	達成率 目標値	100.	0	-			
指	2 _		1						総合戦田	各		1 -	実績値		+				+
1示			1						個別計画	Đị .		%	達成率						1
			<del>                                     </del>					V	総合計画	<u> </u>		70 F	目標値	14	10	144	150	150	6 165

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		箇所	目標値	25	30	35	38	40
С	1 パンフレット設置箇所	市内外の観光案内所、観光施設等でのパンフレット設置箇所	個別計画	20	所	実績値	25				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 =		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		万	目標値	140	144	150	156	165
D	1 観光入込客数	観光入込客数(道の駅レジ客数2倍)	□ 総合戦略	130	人	実績値	128				
成			□ 個別計画		%	達成率	91.4				
果指			□ 総合計画		件	目標値	50,000	65, 000	80,000	90, 000	100,000
標	2 観光ポータルサイトアクセス件数	ぶんご大野里の旅公社のホームページア クセス件数(令和2年度改修)	□ 総合戦略	9, 515	11	実績値	70, 056	·		·	·
			□ 個別計画		%	達成率	140. 1			·	

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	19 点	3 点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

紙の観光マップ等はデジタル社会の時代においても誘客のツールとして必要。印刷部数は、どれも概ね1年で消費する部数を印刷している。毎年印刷を行うのは、観光に関する情報は変更が随時発生するため、毎年細かい修正を行いつつ印刷する必要がある。

新の観光マップ等はデジタル社会の時代においても誘客のツールとして必要。印刷部数は、どれも概ね1年で消費する部数を印刷している。観光情報は、随時更新していかなければならないため、毎年修正して増刷をする必要があり継続して取組む必要がある。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

7,565

3,026

1,322

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 (令和 3 年度決算) 事 観光振興係 116001 2 務 業 価 商工観光課 係名 事 業 観光振興事業 細事業 観光情報発信PR事業 実施計画事業 広告事業 なし 総合計画体系図No.→ 93 豊後大野市観光振興ビジョ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 H30 <sup>年度</sup> ~ R7 ンインフォメーション 款 策 839 5 観光の振興 ルツトタリ 広告委託料 項 施策展開 ②観光情報発信を強化する 1 画 i ナビおおいた業務委託料 374 名 3 後期基本計画 32 P コロナ充当 期間 年度 ~ 目 過疎計画 総合戦略 300 決算 119 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 ≪事業の目的> 豊後大野市の各種イベントや観光情報を市内 外へ広く発信するため、メディア等を活用し た情報発信を行い、市民や市外からの来訪を 促すとともに豊後大野市のPRやイメージア ップを図る。 本市の各種イベントや観光情報を市内外へ広く発信するために、メディア等を活用した情報発信を行った。 ・ホットタウンインフォメーション広告委託 放送回数147回 ・・ナビおおいた業務委託 情報掲載計187回 ・九州王国プレミアム広告 記事掲載1回 R 3 計画 1,513 1,513 R3 当初予算 1,513 1,513 決 算 額 1,322 1,322 R 4 計画 1, 513 1, 513 R4 当初予算 1,513 1,513 決 算 額 R 5 計画 1,513 1,513 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・ラジオ番組内でのスポットCM放送業務 ・インターネット、テレビ、ラジオを活用し た情報発信業務 ・雑誌等での広告業務 R6計画 1,513 1,513 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,513 1,513

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	25	30	35	35	35
С	1 観光情報等の告知回数	メディアでの観光・イベント情報等の告 知回数	個別計画	20	븨	実績値	25				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		万	目標値	140	144	150	156	165
D	1 観光入込客数	観光入込客数(道の駅レジ客数2倍)	□ 総合戦略	130	人	実績値	128				
成			□ 個別計画		%	達成率	91. 4				
果指	4		□ 総合計画		件	目標値	50,000	65, 000	80,000	90,000	100,000
指標	2 観光ポータルサイトアクセ ス件数	ぶんご大野里の旅公社のホームページア クセス件数(令和2年度改修)	□ 総合戦略	9, 515	1	実績値	70, 056				
			□ 個別計画		%	達成率	140. 1				

R3 ~ R7 合 計

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

7, 565

3,026

1,322

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	4点		4 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	19 点	4 点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	4 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 本市への誘客を促進するためには、メディア、雑誌等を活用した情報発信が必要であり事業を継続する必要がある。

本市の各種イベントや観光情報を市内外へ広く発信するために、メディア等を活用した情報発信を行う必要がある。 FMラジオ、AMラジオ、インターネット、TV、雑誌と多様なメディアを活用した情報発信により、 市外からの来訪を促すとともに豊後大野市のPRが図れた。

令和5年度の事業の方向性

事	業番号		枝番	Ė	( -	令和	3	年	度		
1	16002		1		( 4	令和	3	年	度		
事	業	観	光振	興事業							
	総合	計画	画体系	図No.→	(	93 )					
会計	一般		政	策	Ι	豊か	な生	上活	をこ		
款	7		施	策	5	観光の	り振	興			
項	1		施策	展開	2	観光情	青報	発信	言を		
目	3		後其	胡基本	計画	32	2	Р			
決算	119		-		_	nta i					
		<u>'A</u>		<b>目的</b> の目的			天ヤ				
<事業の目的> 豊後大野市の観光振興ビジョンの実現を1											

度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

]	16002	1	(令和(			)事	¥ 務 事	莱	評	価 調	ı	書	課局名	商	L観光i	果	係名	<b></b>	見光振興係
事	業	観光振興事業			糸	事業	観光振興事業				実施	計画	事業 情報発	信支援	事業				終了 なし
会計		計画体系図No 政 策		生活を支え	こるし、	ごとがま	あるまち			個					令和 3	年度	主な歳	出名称	当初予算
款	7	施策	5 観光の	<b>辰興</b>						別期間	1	:	年度 ~	年度	会計年度	度任用罪	職員報酬		11, 9
項	1	施策展開	②観光情報	収発信を強	化する					計 画					自動車等	等借上*	타		2, 9
目	3	後期基本	計画 32	Р 🗌	過疎	計画	□ 総合戦略 [		ロナ充当	名期間	1		年度 ~	年度	住宅賃貸	貨借料			2, 5
決算	119	A 事業目的	. 内容 . 宇			•					D 1	***	画額・決算	#596	社会保険)	食料(会	会計年度	任用職員	分 2, 1
					年		<b>ナ</b> れても	. ch /#			<del>\</del>	<u>7*1</u>					財源内	訳	(単位:千円
		事業の目的	りと内谷		度		主な活動						事業費計	国県	支出金	地力	方債	その他	一般財源
豊		市の観光振興				令和3年 隊員が着	F度は1名の隊員が 賃任したことで隊員 協力隊が地域での活	退任し	、新たに となった	3名の <u>。</u> .それ	R 3	計画	23, 38	2					23, 38
おこ	し協力	振興を推進し 隊」を募集す	る。隊員各	自の活動		イスブ	ックで随時情報発信	を行っ	た。また	隊フェ 、3月	当初	]予算	23, 46	0					23, 40
によ	り地域	を活性化に寄	与し定住に	繋げる。		には分れ	113年度の活動報告会	会を開催	置した。			算額		1					7 14, 7
												計画	,	-					23, 3
					R4							D予算	1	1					19, 48
					-+							算額	1	0					
					R5							計画 0予算	1	2					23, 38
	全和 3年	F度の取組内?	次(計画) >>		ΝĐ							算額							
• 協	力隊毎の	のメインミッ	ション		$\vdash$							計画		9					23, 38
交流	型ツー	市の地域資源 リズム商品の	<b>造成</b>		R6							7	,						20,00
• 豊	後大野	市の魅力情報	発信・観光:	振興業務								算 額							
											R 7	7計画	23, 38	2					23, 38
					R7						当初	]予算							
										[	決:	算 額	i						
											計	画 額	116, 91	0					116, 9
							R3 ~ R7	合 計			当初	]予算	42, 94	1					42, 9
											決:	算額	14, 76	1					7 14, 7
	T	評価指標名	7	T +5+															
		計画指標化	<u> </u>	fe f	西店の言	当四 / 怪	[山士:  佐	l ⁄z ≡	江南北海	In a = 4	±/去 i	出 /-:	法武庄	D2	D/	4 T	DE	l D	. I D7
С	1 活動	却生今の宝佐			票値の記	说明(第	[出方法等)	各語	计画指標	R 2 実績	責値	単位	達成度	R3	R4	-	R5	R	<u> </u>
活		報ロ云り天肌	ī	地域おこ	し協力	隊員の	<b>正出方法等</b> ) 活動について年1	各語	総合戦	略		単位	達成度 目標値 実績値		R4	1	R5	1 R	6 R7
動指		報告会の実施	i	地域おこ回自ら発信	し協力	隊員の		各調		略	責値 j		目標値		1	-	R5	_	<u> </u>
標		<b>報ロ云の</b> 表心	ī	回自ら発信	し協力言を行	隊員のう	活動について年1	各ii	総合戦	略	1	四 - %	目標値		1 1 0	-		_	<u> </u>
	2 豊後	大野市の情報		回自ら発( 地域おこ) スブック	し協力信を行 は協力に協力に	隊員のう う 隊の活動 S等を治			総合戦局個別計	略 画 略	1	П - %	目標値 実績値 目標値 実績値	100. 1	1 1 0 4 7	1		1	1
	2 豊後			回自ら発作	し協力信を行 は協力に協力に	隊員のう う 隊の活動 S等を治	活動について年1 動を通じ、フェイ		総合戦制総合戦制を制制を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	路画路	1	四 - %	目標値 実績値 目標値 実績値 実績値 実績値 実績 値	100. 1 1 121.	1 1 0 4 7 4	1		1 24	24
		大野市の情報		回自ら発作 地域おこ スプック・ の情報発作	し協力に と協力に といる。 といる。 という。	隊員のう う 隊の活動 S 等をえ	活動について年1 動を通じ、フェイ		総合戦局の計会の機会を対している。	略 画 略 画	29	П - %	目標値 実績 座標値 実績値 実積値 実積値 実積値 実積値 車標値	100. 1 1 121.	1 1 0 4 7 4	1		1	1
D				回自ら発作 地域おこ スプック・ の情報発作	し協力に した言を した言を 地域お	隊員のう う 隊の活動 S 等をえ	活動について年1 動を通じ、フェイ 舌用し豊後大野市		総合戦にの場合戦には、一般の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	格 画 略 画 画 略	1	П - % П - %	目標値 実績値 目標値 実績値 実績値 実績値 実績 値	100. 1 1 121.	1 1 0 4 4 7 4 1	1		1 24	24
D 成果		大野市の情報		回自ら発作 地域おこり の情報発作 3年間の5	し協力に した言を した言を 地域お	隊員のう う 隊の活動 S 等をえ	活動について年1 動を通じ、フェイ 舌用し豊後大野市		総合戦局の計会の機会を対している。	格 画 画 画 略 画	29	回 % 回 - %	目標値 実績成 標値 実積 原標値 率 値 値 率 値 値 率 値 値 率 値 値 率 値 値	100. 1 1 121.	1 1 0 4 4 7 4 1	1		1 24	24
D 成		大野市の情報		回自ら発作 地域おこり の情報発作 3年間の5	し協力に した言を した言を 地域お	隊員のう う 隊の活動 S 等をえ	活動について年1 動を通じ、フェイ 舌用し豊後大野市		総合戦計総合計総合計総合計総合計総合計総合計	K B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	29	回 % 回 - %	目標値 実積成率 目標値 率 達 標値 座標値 座標値 座標値 座標値 実成 値 を 実成 を また また また また また また また また また また また また また	100. 1 1 121.	1 1 0 4 4 7 4 1	1		1 24	24
D 成果指	1 協力	大野市の情報		回自ら発作 地域おこり の情報発作 3年間の5	し協力に した言を した言を 地域お	隊員のう う 隊の活動 S 等をえ	活動について年1 動を通じ、フェイ 舌用し豊後大野市		総合戦制総合財制総合財制総合財制総合財制総合財制総合財制総合財制に対している。	格画       邮画       画       Manage of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the co	29	回 % 回 - %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目	100. 1 1 121.	1 1 0 4 4 7 4 1	1		1 24	24
D 成果指	1 協力	大野市の情報		回自ら発生 地域おこり の情報発信 3年間の対定住に繋げ	し協力に した言を した言を 地域お	隊員のう う 隊の活動 S 等をえ	活動について年1 動を通じ、フェイ 舌用し豊後大野市		総合戦制総合計制総合計制総合計制総合計制総合計制総合戦制	格画       邮画       画       Manage of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the co	29	回 - % 回 - %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実	100. 1 1 121.	1 1 0 4 4 7 4 1	24	:	1 224 1 1	24
D 成果指標	1 協力	大野市の情報	発信	回自ら発信地域おこり スプック情報発信 3年間の対定住に繋ば	した 協S 協S 地域S 地域S	隊員の 隊の活動 S 等を う。 こし協力	活動について年1 助を通じ、フェイ 舌用し豊後大野市 力隊任期満了後、		総合戦制総合計制総合計制総合計制総合計制総合計制総合戦制	格画       邮画       画       Manage of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the co	29	回 - % 回 - %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実	100. 1 1 121.	1 1 0 4 4 7 4 1	24 (対	常外事	1 1 1 1 1 1 ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	24 3
D 成果指標	1 協力	大野市の情報	発信	回自ら発信地域おこり スプック情報発信 3年間の対定住に繋ば	した 協S 協S 地域S 地域S	隊員の 隊の活動 S 等を う。 こし協力	活動について年1 動を通じ、フェイ 舌用し豊後大野市		総合戦制総合計制総合計制総合計制総合計制総合計制総合戦制	格画       邮画       画       Manage of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the control of the co	29	回 - % 回 - %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実	100. 1 1 121. 100.	1 1 1 0 0 4 4 7 7 4 1 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	24 (対	: (	1 1 1 1 1 1 ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	24 : 3 3 1 欄未記入 可価 (課長等)
D 成果指標	1 協力 2 一 評価5	大野市の情報 隊員の定住 対象外の理由	○ 評価対	回自ら発生地域おこれの情報発行の情報発行を住に繋げ	し言 しや言 地ず <b>価 値</b>	隊員のi 隊の活動 S等をi こし協力	活動について年1 助を通じ、フェイ 舌用し豊後大野市 力隊任期満了後、		総合計能給個別計能能的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的	格 画 画 略 画 画 格 画 画 格 画	29 2	回 - %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実	100. 1 1 121. 100.	1 1 1 0 0 4 4 7 7 4 1 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	24 (対 (係長	: (	1 1 1 1 1 1 二 次評	24 3 3 4 1 欄未記入 可 価 (課長等) 評価点合
D 成果指標 E	2 - 評価3	大野市の情報 隊員の定住 対象外の理由 民満足(市民:	発信 0 評価対 アンケート)	回自ら発信地域おころの情報発信報発信を関する。	しまを 協力 N 行 は 力 N 行 ば お る て ず は ず る る て る る る る る る る る る る る る る る る る	隊員の 家等を シララ。 こし協力	活動について年1 動を通じ、フェイ 活用し豊後大野市 力隊任期満了後、		総合計能給個別計能能的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的	略 画 略 画 画 略 画 画 略 画 画 を 画 の な の の の の の の の の の の の の の	29 2	回 - %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達は は値率値値率値値率値値率値値率 を 4 つい→ 5 5 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	100. 1 1 121. 100.	1 1 0 4 7 4 1 1 1 0 0	24 (対 (係長	: (	1 24 1 1 二次評価点	24
D 成果指標 E	1 協力 2 一 評価5	大野市の情報 隊員の定住 対象外の理由 民満足(市民: 業の優先度はお	発信 0 評価対 アンケート) 高いと思うか	回自ら発信 地域おこれ の情報発信 3年間の対定住に繋に の向上が場	しは言をしなっています。 した言をしなるという。 した言をしなる。 した言をしなる。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 してい。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 してい。 してい。 している。 している。 している。 している。 して。 して。 して。 して。 して。 して。 して。 して。 して。 して	隊員の 診等を シラ。 こし協立 <b>フラフの</b> <b>季る事業</b>	活動について年1 動を通じ、フェイ 活用し豊後大野市 力隊任期満了後、 の視点(1~5点で 内容となっているが		総合別制総合別計制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制	格 画 画 略 画 画 M A 画 T c c T 受 T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M E g T c M	29 2 2 1	回 - %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日ままが1 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	100. 1 1 121. 100.	1 1 0 0 4 4 7 7 4 1 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	24 (対 (係長	: (	1 24 1 1 二次評 評価点 3 4	24 3 3 1 欄未記入 可価 (課長等) 評価点合点
D 成果指標 E	1 協力 2 一 評価 1. 市. 2. 事: 3. 事:	大野市の情報 隊員の定住 対象外の理由 民満足(市民: 業の優先度は記 業計画どおり(	発信 0 評価対 アンケート) 高いと思うか に事業を進め	回自ら発信 地域ブラック おっぱん おっぱん おっぱん おっぱん おっぱん おっぱん おっぱん おっぱん	しま した した に した に 力 N 行 は 力 N 行 は が る の の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	隊 隊	活動について年1 動を通じ、フェイ 舌用し豊後大野市 力隊任期満了後、 の視点(1~5点で 内容となっているが 内での優先度)		総合別制総合別計制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制制	略 画 画 略 画 画 略 画 1 な 1 優 1 で 2 定 2 に 2 こ で 2 に 2 こ で 2 に 2 こ で 2 に 2 こ で 2 に 2 こ で 2 に 2 こ で 2 に 2 こ で 2 に 2 こ で 2 に 2 こ で 2 に 2 こ で 3 に 2 こ で 3 に 2 こ で 3 に 2 こ で 3 に 2 こ で 3 に 2 こ で 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3	29 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	回 - %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達日実達日実達日実達 4 な 4 な 4 な 4 5 る 5 らい	100. 1 1 121.	1 1 0 4 7 4 1 1 1 0 0 -次評価 3 点 4 点 4 点	24 (対 (係長 評価点	(象外事)	1 24 1 1 二次評価点 3 4 3 4	24 3 3 3 (課長等) (課任点合) 点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点
D 成果指標 E F 評	1 協力 2 一 評価5 1. 市. 2. 事: 3. 事: 4. 活:	大野市の情報 隊員の定住 対象外の理由 民満足(市民: 業計画どおり( 業計画どおり)	発信  O 評価  アンケート) 高いと思うか  に事業を進め  状況(率)は言	回自ら発信 地域 おっとがて 3年間の 1年に 繁に タード 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年	しい しい しい にい たい にい にい にい にい にい にい にい にい にい に	隊員の 隊の活等を ション に グラン で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で と ション で と ション で と ション で と ション で と ション で と ション で と ション で と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を を と を を を を を を を を を を を を を	活動について年1 動を通じ、フェイ 舌用し豊後大野市 力隊任期満了後、 の視点 (1~5点で 内容となっているが 内での優先度)		総合財制総合別計制総合の別計制を総合別の合理を対象をは、対象ののでは、対象ののでは、対象ののでは、対象ののでは、対象ののでは、対象ののでは、対象ののでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	略 画 画 略 画 画 略 画 画 A 画 T なって 優 1 でき 1 移 1 でき 1 移 1 でき 1 移 1 でき 1 移 1 して 1 移 2 な 2 低 2 か 2 に 2 か 2 に 2 か 2 に 2 か 2 に 2 か 2 に 2 か 2 い な 3 に 4 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5	29 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	回 % % / %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達日実達日実達日実達日ままが、標績成標績成標績成本・1 ていまっちる 5 なっ 4 なっ 4 先来できまった。5 なっちん 5 なっちん 5 なっちん 5 なっちん 5 なっちん 5 たっちん 5 なっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たっちん 5 たん 5 たん 5 たん 5 たん 5 たん 5 たん 5 たん 5	100. 1 1 121.	1 1 0 0 4 4 7 7 4 1 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	24 (対 (係長)評価点	18 点	1 24 1 1 二次評 評価点 3 4 3 3 4 3 3 4	24 3 3 4 3 4 3 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
D 成果指標 E F 評	1 協力 2 一 評価5 1. 市. 2. 事: 3. 事: 4. 活:	大野市の情報 隊員の定住 対象外の理由 民満足(市民: 業の優先度は記 業計画どおり(	発信  O 評価  アンケート) 高いと思うか  に事業を進め  状況(率)は言	回自ら発信 地域 おっとがて 3年間の 1年に 繁に タード 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年	しい しい しい にい たい にい にい にい にい にい にい にい にい にい に	隊員の 隊の活等を ション に グラン で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で ション で と ション で と ション で と ション で と ション で と ション で と ション で と ション で と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を と を を と を を を を を を を を を を を を を	活動について年1 動を通じ、フェイ 舌用し豊後大野市 力隊任期満了後、 の視点 (1~5点で 内容となっているが 内での優先度)		総個別総合別計 計戦計 計戦計計戦計計戦計計戦計計 戦計計	略 画 画 略 画 画 略 画 画 A 画 T なって 優 1 でき 1 移 1 でき 1 移 1 でき 1 移 1 でき 1 移 1 して 1 移 2 な 2 低 2 か 2 に 2 か 2 に 2 か 2 に 2 か 2 に 2 か 2 に 2 か 2 い な 3 に 4 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5	29 29 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	回 - %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日実達日まます。	100. 1 1 121.	1 1 0 4 7 4 1 1 1 0 0 -次評価 3 点 4 点 4 点	24 (対 (係長)評価点	(象外事)	1 24 1 1 二次評価点 3 4 3 4	24 3 3 4 3 4 3 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
D 成果指標	1 協力 2 - 評価7 1. 市. 2. 事: 3. 事: 4. 活: 5. 成:	大野市の情報 隊員の定住 対象外の理由 民満足(市民: 業の優先度はお 業計画どおり! 動指標の達成! 果指標の達成! 保護には、 のではない。	アンケート) 高いと思うか に事業を進め 状況(率)は記 状況(率)は記	回自ら発行 地域ブロック はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた	し記を した記を した記を 也がる した記を 也がる した記を もある した記を もある はのる はのる はのる はのる はのる はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はの。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 はのる。 との。 との。 はのる。 との。 との。 との。 との。 との。 との。 との。 との	I	活動について年1 動を通じ、フェイ 活用し豊後大野市 力隊任期満了後、 の視点(1~5点で 内容となっているが 内での優先度)		総個別給金品別合作的	略 画 画 略 画 画 略 画 画 略 画 画 略 画 画 略 画 画 を 画 画 を 画 画 を コーナー でいる できる さん できる できる かい できる かい できる かい できる かい できる はい できる はい できる はい できる はい できる はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	1 29 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	回 % % / % / %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達日実達 日実達 日実達 コールー は 「	100. 1 121. 100. 評平	1 1 0 4 7 4 1 1 1 1 0 一次評価 3 点 4 点 3 点 4 点 4 点 3 点	24 (対 (係長,評価点	象外事 :) !a合計 18 点 /25点	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 3 3 3 3 3 3 3	24 3 3 3 1 (課長等) (課係の所見
D 成果指標         E         F 評 価         地地	1 協力 2 一 1 . 市 2 . 事 4 . 活 5 . 成	大野市の情報 隊員の定住 対象外の理由 民満足(市民: 業計画どおり! 動指標の達成! 果指標の達成! ほびの達成!	発信	回自 地域で のは のは のは のは のは のは のは のは のは のは	しま		活動について年1 動を通じ、フェイ 活用し豊後大野市 力隊任期満了後、 の視点(1~5点で 内容となっているが 内での優先度)		総個別総合の別別計算報計計報計計報計計報計計報計計報計計報計計	略 画 画 略 画 画 略 画 画 略 画 画 略 画 画 W 画 画 W 画 画 W 画 画 W 画 → T → T → E M = T → T → E M = T → T → T → E M = T → T → T → E M = T → T → T → T → E M = T → T → T → T → T → T → T → T → T → T	1 29 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	回 - % 人 - % - 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 - 3 3 3 3 3 3 - 3 3 - 3 3 - 3 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達日実達 日実達 日実達 コールー は 「	100. 1 1 121. 100. 100.	1 1 0 4 7 4 1 1 1 1 0 一次評価 3 点 4 点 3 点 4 点 4 点 3 点	24 (対 (係長,評価点	象外事 :) !a合計 18 点 /25点	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 3 3 3 3 3 3 3	24

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

哥	業番号		枝番		( 4	和	3	年!	变 計	- 画	)	総合	i信台	画実	施言	∤画‡	<b>*</b> (3	兼	₤捗⁴	管理	里)								(様式1)
1	16003		1		( <del>4</del>	和	3	年!	痩 決	算	)	事	務	事	;	業	評	佃		調		課局名	R	有工観光	課	係名	3	見光:	振興係
事	業	観光	≟振興 ҈	事業						i	田事業	ŧ :	ジオプ	ロジェ	クト	推進	事業			実加	施計画	事業 ジオ	プロジ	ェクト推	進事業			終了 年度	
		計画	体系図N	lo.→	_	89 )																		1			•		•
会計	一般	Ī	文 :	策	VI	豊か	な自	然を	未来	に残	し伝え	えるす	きち						固 ク:		いた豊後 :計画	大野ジオ	パー	令和	3 年度	主な劇	战出名称		当初予算額
款	7	ħ	包 :	策	1 3	ジオ・	自	然との	の共生	Ė								<b></b>	別期	間 I	H29 4	F度 ~ R	2 年度	ジオパ	ーク推送	進協議会	負担金		5, 80
項	1	ħ	拖策展	開	200	ジオノ	٠ <u>-</u> :	ク基ス	本計画	画の推	推								画						度任用單				2, 90
目	3		後期基	本	計画	98	3 F	>	~	過疎	計画	•	2 総	合戦略		] ]	ロナ充当	á	期	間	ź	F度 ~	年度	務委託	料		成・設置		2, 05
決算	119	. م <sup>ا</sup>	事業目	色。	内	<b>包</b> .5	<b>卓緒</b>													В	事業計	・画額・決	直類等	おおい 金	たジオノ	パーク推	進事業負	担	75
			業のE				~ 104			年				主なえ	千番	白结				$\overline{}$	<del></del>	事業費				財源内	]訳	()	単位:千円)
		7	木の口	1 ロソ						<b>—</b>																			
	E-#4-0-	1265								度			31.00-6	). He l				toto i	ta. I.			,	国	県支出金	地ブ	5債	その他	!	一般財源
ジオ	<b>手業の</b> 目 パーク	基本	計画に		ゔき	ジオ・			保		ジオノするが	ペーク	訪問者案内看	を拠点板を市	±h:∋n	9025eH	サイト 設置し	等へ; た。,,,	を内また	R	3計画	,	国	県支出金 1,000	地ブ	5債	その他 6, (	-	一般財源 5,807
ジオ護・	パーク 保全を	基本する	計画に ととも	K.	づき	ー ジオ・ 圣へ(	の啓	発•	保普才		するが、専門的	こめの ナパー 内活動	案内看 ク専門 を行っ	板を雇	施設 内14 用し、	やジオ か所に が ジオパ	設置し 研究や 一ク活	た。災動を	またなど	-	3計画初予算		国 307		地力	方債		000	
ジ護及サイ	パーク 保全 動 と 道	基すりの	計画に と 世代 を し し に を し た に た に た に た に た に た ら に う た う に う た う た う た う た う た う た う と う た う と う と	に継ん	づき市すた	ジオ・ジスへいる。「体験	か 啓 ま 乗	発・ 、ジ 	<u>オ</u> 「		するが、専門的	こめの ナパー 内活動	案内看 ク専門 を行っ	板を雇	施設 内14 用し、	やジオ か所に が ジオパ	設置し研究や	た。災動を	またなど	当		12, 8	国 807 807	1,000		方債	6, 0	000	5, 807
ジ護及サイ	パーク 保全に しと 型」	基すりの	計画に と 世代 を し し に を し た に た に た に た に た に た ら に う た う に う た う た う た う た う た う た う と う た う と う と	に継ん	づき市すた	ジオ・ジスへいる。「体験	か 啓 ま 乗	発・ 、ジ 	<u>オ</u> 「		するが、専門的	こめの ナパー 内活動	案内看 ク専門 を行っ	板を雇	施設 内14 用し、	やジオ か所に が ジオパ	設置し 研究や 一ク活	た。災動を	またなど	当 <sup>;</sup> 決	初予算	12, 8 12, 8 12, 8	国 807 807 875	1, 000 1, 000		方債	6, 0	000	5, 80° 5, 80°
ジ護及サ交流	パーク 保全に しと 型」	基すりの	計画に と 世代 を し し に を し た に た に た に た に た に た ら に う た う に う た う た う た う た う た う た う と う た う と う と	に継ん	づき市すた	ジオ・ジスへいる。「体験	か 啓 ま 乗	発・ 、ジ 	<u>オ</u> 「		するが、専門的	こめの ナパー 内活動	案内看 ク専門 を行っ	板を雇	施設 内14 用し、	やジオ か所に が ジオパ	設置し 研究や 一ク活	た。災動を	またなど	当 決 R	初予算	12, 8 12, 8 12, 8 9, 7	307 307 375	1,000 1,000 1,235		方債	6, 0 6, 0	000	5, 80° 5, 80° 5, 64° 4, 20
ジ護及サ交流	パーク 保全に しと 型」	基すりの	計画に と 世代 を し し に を を に を を に を を に を に る に る に る ら る に る を ろ を る を る を る を る を る を る を る を る を	に継ん	づき市すた	ジオ・ジスへいる。「体験	か 啓 ま 乗	発・ 、ジ 	<u>オ</u> 「	R3	するが、専門的	こめの ナパー 内活動	案内看 ク専門 を行っ	板を雇	施設 内14 用し、	やジオ か所に が ジオパ	設置し 研究や 一ク活	た。災動を	またなど	当 決 R 当	初予算 算 額 4計画	12, 8 12, 8 12, 8 9, 7	307 307 375	1,000 1,000 1,235 500		方債	6, 0 6, 0 5, 0	000	5, 80° 5, 80° 5, 64° 4, 20
ジ護及サ交流	パーク 保全に しと 型」	基すりの	計画に と 世代 を し し に を を に を を に を を に を に る に る に る ら る に る を ろ を る を る を る を る を る を る を る を る を	に継ん	づき市すた	ジオ・ジスへいる。「体験	か 啓 ま 乗	発・ 、ジ 	<u>オ</u> 「	R3	するが、専門的	こめの ナパー 内活動	案内看 ク専門 を行っ	板を雇	施設 内14 用し、	やジオ か所に が ジオパ	設置し 研究や 一ク活	た。災動を	またなど	当 決 R 当 決	初予算 算 額 4計画 初予算	12, 8 12, 8 12, 8 9, 7	307 307 375 707	1,000 1,000 1,235 500		方債	6, 0 6, 0 5, 0	000	5, 80° 5, 80° 5, 64° 4, 20
ジ護及サ交流	パーク 保全に しと 型」	基すりの	計画に と 世代 を し し に を を に を を に を を に を に る に る に る ら る に る を ろ を る を る を る を る を る を る を る を る を	に継ん	づき市すた	ジオ・ジスへいる。「体験	か 啓 ま 乗	発・ 、ジ 	<u>オ</u> 「	R3	するが、専門的	こめの ナパー 内活動	案内看 ク専門 を行っ	板を雇	施設 内14 用し、	やジオ か所に が ジオパ	設置し 研究や 一ク活	た。災動を	またなど	当決R当決R	初予算 算 額 4計画 初予算 額	12, 8 12, 8 12, 8 9, 7	307 307 375 707	1,000 1,000 1,235 500 500		方债	6, 0 6, 0 5, 0 6, 0	000	5, 80° 5, 80° 5, 64° 4, 20° 4, 61°
ジ護及サ交図	パ保動ト型。 和3年 和3年	基すりの商 本る次駅品 <b>を</b>	計画と代金にもにもにをがる。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	に継絡し	うき市 すった 対 は (計)	ジオへのでは、	かま かまかれ かまかれ かまかれ かっぱん かいまん かいまん かいまん かいまん かいまん かいまん かいまん かいま	発・ 、ジ 	<u>オ</u> 「	R3	するが、専門的	こめの ナパー 内活動	案内看 ク専門 を行っ	板を雇	施設 内14 用し、	やジオ か所に が ジオパ	設置し 研究や 一ク活	た。災動を	またなど	当 決 R 当 決 R	初予算 算 額 4計画 初予算 算 額 5計画	12, 8 12, 8 12, 8 9, 7 11, 1	307 307 375 707	1,000 1,000 1,235 500 500		方债	6, 0 6, 0 5, 0 6, 0	000	5, 80° 5, 80° 5, 64° 4, 20° 4, 61°
ジ護及サ交図・・・・	パ保動ト型。	基すりの商 <b>度</b> 教の <b>度</b> 教の	計と世やを ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	に継絡し 内の全	ぎ市すた地域計画の	- ジスへ ほん ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	のま検のア	発・ 、ジ 	<u>オ</u> 「	R3	するが、専門的	こめの ナパー 内活動	案内看 ク専門 を行っ	板を雇	施設 内14 用し、	やジオ か所に が ジオパ	設置し 研究や 一ク活	た。災動を	またなど	当 決 R 当 決 R 当 決	初 算 都 算 新 事 額 画 算 額 画 算 額 画 算	12, 8 12, 8 12, 8 9, 7 11, 1	307 307 375 707 111	1,000 1,000 1,235 500 500			6, 0 6, 0 5, 0 6, 0	0000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 00	5, 80° 5, 80° 5, 64° 4, 20° 4, 61°
ジ 護及 サ 交 図 ・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	パ保動ト型。 - 令をよ道の - 令をよ道の - 令をよ道の - 令をよ道の - 令をよ道の - 令をよ道の	基すりの商 <b>車</b> 、トな本る次駅品 <b>6</b> 教の発	計と世やを 取 活護のにもにを成 組動保た	に継絡し 内の全め	で きずり は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	- ジスへ 1 オへ 1 体育 ( ) 推介 ) 推介 ) ・	のま検の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	発・ 、ジ 	<u>オ</u> 「	R3	するが、専門的	こめの ナパー 内活動	案内看 ク専門 を行っ	板を雇	施設 内14 用し、	やジオ か所に が ジオパ	設置し 研究や 一ク活	た。災動を	またなど	当決R当決R当決R	初算 4 初算 5 初算 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	12, 8 12, 8 12, 8 9, 7 11, 1	307 307 375 707 111	1,000 1,000 1,235 500 500		方债	6, 0 6, 0 6, 0 5, 0 6, 0	0000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 000 00	5, 807 5, 807 5, 646 4, 20 4, 611 4, 207

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R 2 実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		ジオガイドを養成するため、ジオガイド	□ 総合戦	略	□	目標値	1	1	1	1	1
С	1 ジオガイド養成講座の開催	養成講座を開催する(開催1回は約20	個別計	1	쁘	実績値	1				
活		コマ)		ш	%	達成率	100.0				
動指		Onto NIC TO A DEST / onto NIC	□ 総合戦	略	□	目標値	1	1	1	1	1
標	2 ジオパークフレンドショッ プ事業説明会等開催数	フレンドショップ事業説明会・既存事業 所との会議数	□ 個別計	1	<u>I</u>	実績値					
	- 1 News 21 ed 4 halles 200			<u> </u>	%	達成率					
	and a second depth of the second		✓ 総合計	画	į,	目標値	105	110	120	125	130
D	<ul><li>1 ジオガイド認定者数(累積)</li></ul>	初級ジオガイド認定者数	✔ 総合戦	略 97	人	実績値	97				
成	,		□ 個別計	画	%	達成率	92. 4				
果指			✓ 総合計	画	事業所	目標値	37	39	41	43	45
指標	2 ジオパークフレンドショッ プ事業所数(累積)	ジオパーク活動に賛同する事業所と推進 協議会との協定数	✔ 総合戦	格 35	那	実績値	34				
			□ 個別計	画	%	達成率	91. 9				

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	18 点	3 点	18点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

## 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

令和3年度は4年に1度の再認定審査の年度であった。結果は、これまでの活動が認められ、再認定となり大きな成果となった。活動指標については、担当職員の病休により一部事業の実施が困難となり、フレンドショップ関連事業が停滞した。成果指標については、新型コロナウィルス感染症拡大の影響によりガイド養成講座が途中で中止となり、新規初級ガイド認定者は0人となった。今後、市職員が減少していく中、求められる活動を維持していくことが困難になることが懸念される。

#### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

ジオパークの基本理念である、「教育」・「保護・保全」・「持続可能な発展」 を基本として各種事業に取組んでいる。特に教育活動は高い評価を得ている。引 き続き効果等を検証しながら各種事業に取組む必要がある。

12,807

54, 735

23,918

12,875

当初予算 決 算 額 R 7 計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

1,000

3,500

1,500

1,235

6,000

27,000

12,000

4, 207

5,807

24, 235

10,418

5,640

# 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

特別	<u> </u>	工業番号 16004	-	番		3 年度記3 年度記		_	於合計画実施 基 務 事	施計 第	••	書 ( ) 評	東進 <sup>:</sup>	步 f 訓	_	里)	課局	名	商工	観光調	<b>果</b>	係名	<u>.</u>	観光	( <b>様式1</b> ) 振興係
1	事	業				- 1	1		1	-						施計画	事業工	コパー						終了	<i>t</i> a1
数									> 140	~_ 1.7									, ,,,,,,	- 7 //4				牛皮	
	会計	一般	政	策	VI 豊かた	よ自然を未来	そに残	し伝える	るまち				個						-	令和 3	年度	主な崩	出名科	7	当初予算額
1   対象機関   0.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2.00   2	款	7	施	策	1 ジオ・	自然との共	生							期間	間	:	年度 ~							16 A	3, 598
大学   10	項	1	施	策展開	③ユネス	コエコパー	ク事	業の推進					画								崩エコ	コパーク	推進協	義会	1,000
本集日前の・内容・実施			í	<b>後期基</b> 本	計画 98	P	過政	計画	☑ 総合戦略		٦	ロナ充当		期間	間	:	年度 ~							7	550
	決算		Α¥	業目的	・内容・実	續									В	事業計	∤画額・	決算額			エコノ	ハーク英	連イへ	ント	465
日本の日刊			事	業の目的	と内容				主な活	動実	績						事業	費計							
日本 シェア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	<1	事業の日	的>				及	エコパ				周游3	- おおか	-	_	0=1=	-				地ブ	方債		-	
カー・スタイン (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き)	ユネ	スコエ	コパー	·クの普 iや、ユ	及啓発や自	然に触れ パークエ	D2	計6箇月でオン	所設置した。ま ラインシポジウ	た。これを	ジオリ盟保	パークと	共同											_	
Pa	スニ	上で	衵兵	├ • 個 •	大崩ユネス	コエコパ	Nο	か、エ	コパークの仕組	みやら	生物:	多様性0			<u> </u>		-							-	
会科家に引き継ぐことを目的とする。	ーク	の善]	及啓発	や、曹	後大野市の	宝である		(こと生力年)	とほののファ	Æ11.	J / L			-	<u> </u>					1,002				, 000	
大学   10   10   10   10   10   10   10   1							R4											-		300			4	782	
R 5 計画															<u> </u>		+	1,000	,	5, 500				, 102	0, 011
本名の東海の南部内容(計画)   11 (語合物質電子の大変)   12 (語音を設置)   13 (語音を設置)   14 (語音を設置)   15 (語音を設置)   15 (語音を設置)   15 (語音を設置)   15 (語音を設置)   15 (語音を設置)   15 (語音を設置)   15 (語音を設置)   15 (語音を設置)   15 (語音を設置)   15 (語音を設置)   15 (語音を設置)   15 (語音を設置)   15 (記言を記言を認定)   15 (記言を記言を認定)   15 (記言を記言を認定)   15 (記言を記言を認定)   15 (記言を記言を記言を記言を記言を記言を記言を記言を記言を記言を記言を記言を記言を記														-				6. 500							6, 500
R 6 計画							R5								_			-,							0,000
日本会の11年   1月   1月   1月   1月   1月   1月   1月	< '	令和3年	<b>F度の</b>	取組内容	字(計画) >										決	算 額	i								
・主持・多様性調像報告書作品変形															R	6計画	i	6, 500							6, 500
R7	• 그	ネスコニ	エコバ	ーク体	感ツアー業	務委託	R6								当;	初予算	:								
田	· ±	物多体1	生酮伯	(報古書	TF风安式										決	算 額	i								
京都   京本   京本   京本   京本   京本   京本   京本															R	7計画	i	6, 500							6, 500
計画 額 32,942 2,031 4,000 26,911   当初予算 17,535 5,331 8,782 3,422   決算 額 5,099 1,882 3,000 217   対象分類 5,099 1,882 3,000 217   対象分類 5,099 1,882 3,000 217   対象分類 5,099 1,882 3,000 217   対象分類 5,099 1,882 3,000 217   対象分類 5,099 1,882 3,000 217   対象分類 5,099 1,882 3,000 217   対象分類 5,099 1,882 3,000 217   対象分類 5,099 1,882 3,000 217   対象分類 5,099 1,882 3,000 217   対象分類 5,099 1,882 3,000 217   対象分類 5,099 1,882 3,000 217   対象分類 5,099 1,882 3,000 217   対象分類 5,099 1,882 3,000 217   対象分類 5,099 1,882 3,000 217   対象分類 5,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 217   対象分類 6,099 1,882 3,000 21   対象分類 6,099 1,882 3,000 21   対象分類 6,099 1,882 3,000 21   対象分類 6,0							R7								当;	初予算									
R3 ~ R7 合 計															決	算 額	i								
決算 額 5,099 1,882 3,000 217     決算 額 5,099 1,882 3,000 217     京都															計	画額	i 3:	2, 942	4	2, 031			4	, 000	26, 911
評価指標名 指標値の説明(第出方法等)									R3 ~ R7	合	計				当;	初予算	1	7, 535		5, 331			8	, 782	3, 422
C 1 エコパーク普及啓発イベント、自然学習															決	算額	į	5, 099	1	, 882			3	,000	217
C 1 エコパーク普及啓発イベント、自然学習																									
エコパーク普及啓発イベント、自然学習			評	価指標名	3	指標	票値の	説明(算	[出方法等)		各詞	十画指標	R	2 実終	漬値	単位	達成度	Ę	R3	R4	ļ	R5		R6	R7
日本の実施回数		1	18 F	* 並 巫 祕	要えべい	7 7 %L	ケがにて	よ 可女父 ノ	べいし 白焼労	ZZ		総合戦	.略			□					4		4	4	4 4
最初	С					会の実施	可数	(合光1)	ペント、日 松子	白		個別計	画		1								-		
指摘   2 -										-	_		-			%		_	100.0				-		
個別計画   96 達成率   2   2   2   2   2   2   3   4   5   3   4   5   3   4   5   4   5   4   5   4   5   4   5   5	指	2 _																_							1
D       1       エコパーク普及啓発活動、自然学習会の参加者数 (累積)       レン 総合戦略 (累積)       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16       16 <td< td=""><td>175</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>個別計</td><td>画</td><td></td><td></td><td>%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></td<>	175											個別計	画			%					1				1
上   上   上   上   上   上   上   上   上   上											<b>v</b>	総合計	画					_	70		340	4	60	580	700
個別計画   96 達成率   81.4     2 -   総合計画   2 -   総合計画   目標値   実績値   実績値   実績値   実績値     実績値	D								<b>勋、自然学習会</b>	の	•	総合戦	.略		15		実績値	Ī	57						
指標   2 -		,,,,				S .46 H 2A	V/15/15	**		$\perp$		個別計	画			%		_	81. 4						
■	指											総合計	画					_							
E 評価対象外の理由 0評価対象       (対象外事業はF~I欄未記入可)         一次評価(係長) 二次評価(課長等)         評価項目/5つの視点 (1~5点で評価)       一次評価(係長) 二次評価(課長等)         評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点         評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点         なっているい ⇒ なっている なっている なっているい ⇒ なっている なっている はまる なっているい ⇒ なっている はまる は まる は まる は まる は まる は まる は まる は ま	標	2 —																_							
F       ・ 次評価 (係長)       ・ 次評価 (係長)       ・ 次評価 (係長)       ・ 次評価 (保長)       ・ 次評価 (保長)       ・ 次評価 (保長)       ・ 次評価 (保長)       ・ 次評価 (保長)       ・ 京田 点合計         1・市民満足 (市民アンケート) の向上が期待できる事業内容となっているか       1・2・3・4・5 なっていない ⇒ なっている をっている。       4点       3点         2・事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)       1・2・3・4・5 できなかった ⇒ できた できなかった ⇒ できた       4点       4点         3・事業計画どおりに事業を進めることができたか       1・2・3・4・5 できなかった ⇒ できた       4点       4点         4・活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか       1・2・3・4・5 推移していない ⇒ 推移した       3点       18点         5・成里指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか       1・2・3・4・5 推移していない ⇒ 推移した       3点       18点											Ш	値別計	画			%	连队华	^							
評価項目 / 5 つの視点 (1 ~ 5 点で評価)    F	E	評価対	対象外	の理由	0評価対	付象															(対	象外事	業は <b>F</b> ・	~ I 欄	未記入 可)
F 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか						評	価項目	1/5つ0	の視点(1~5点	気で評	価)														
F 1. 市民満定(市民アクケート)の同上が期待できる事業内容となっているが なっていない ⇒ なっている 4点 3点 1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い 4点 4点 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた 1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた 1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた 1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた 1 → 2 → 3 → 4 → 5 がきながった ⇒ できた 1 → 2 → 3 → 4 → 5 が 18点 4点 18点 18点 18点 18点 18点 18点 18点 18点 10分割 10分割 10分割 10分割 10分割 10分割 10分割 10分割			g#5	/+	71.4							Т	1 -	→ 2	: →	3 -	→ 4 -	→ 5			評価点	信台点			評価点合計
2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)   優先度低い ⇒ 優先度高い   4点   1 → 2 → 3 → 4 → 5   4点   4点   4点   4点   4点   4点   4点	F									<b>るか</b>			なって	こいな	ï۱۱	⇒	なって	いる							
(4) (18 点 18 点 18 点 18 点 18 点 18 点 18 点 18	評	2. 事	業の優	先度は	高いと思うだ	か(同じ成集	指標	設定事業	内での優先度)				優先	度低し	۱١.	⇒	優先度	高い		4 点		Į		4 点	
4. 活動指標の達成状況 (率) は計画どおり推移しているか	/ <del>=</del>	3. 事	業計画	iどおりI	こ事業を進め	<b>かることがて</b>	きた	か					できた	いかっ	た	⇒	でき	<i>t</i> =	<u>L</u>	4 点				4 点	
5 成里投煙の達成状況(家)付計画どおり堆積  ブロスか 1 → 2 → 3 → 4 → 5 3 点 /25点 3 点 /25点	ПШ	4. 活動	動指標	の達成	伏況(率)は記	十画どおり推	移し	ているか				:								3 点		18点		4点	18 点
		5. 成	果指標	の達成	伏況(率)は言	十画どおり推	移し	ているか	,				1 -	→ 2	: →	3 -	→ 4 -	→ 5		3 点		···· }		3 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和2年度に引き続き、新型コロナウィルス感染症拡大の影響により実施できなかった事業があったが、看板整備など環境の整備は着実に進んでいる。令和4年度は生物多様性ぶんごおおの戦略の見直しを実施する。	「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会」で「保全」、「学術研究」、「持続可能な発展」に関する各種事業に取組んでいる。また、市独自でも看板の作成やイベントの開催等によりエコーパークの普及啓発活動を行っている。引き続き協議会の事業に取組むとともに、市独自の事業を継続していく必要がある。

I 令和 5 年度の事業の方向性

⇨

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 観光振興係 116005 1 (令和 3 年度決算) 事 務 評 価 商工観光課 係名 事 業 観光振興事業 細事業 体験連続型観光プログラム事業 実施計画事業 体験プログラム造成事業委託事業 なし 総合計画体系図No.→( 94 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 策 5 観光の振興 別計 体験プログラム造成事業委託料 款 施 期間 年度 年度 ~ 4,500 項 1 施策展開 ②観光情報発信を強化する 名 3 後期基本計画 32 P コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 過疎計画 総合戦略 決算 119 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 観光客の滞在時間を延長するための体験プロ グラムを実施することで、交流人口の拡大と 地域経済の活性化を図る。 事業の実施により市内宿泊施設及びその周辺の飲食店等域内での消費を促し、地域経済の活性化に繋がった。令和3年度も新型コロナウィルス感染症拡大の影響を大きく受け、要件を緩和するなど対策を行ったが、目標には届かなかった。 R 3 計画 4,500 R3 当初予算 4,500 4,500 決 算 額 2, 432 2,000 432 R 4 計画 4, 500 4,500 R4 当初予算 4,500 4,500 決 算 額 R 5 計画 4,500 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・体験プログラム事業の実施 ・関係団体と連携し、ホームページやSNS 等で告知する R6計画 4,500 4,500 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 4,500 4,500 R7 当初予算 決 算 額 計画額 22, 500 22,500 当初予算 R3 ~ R7 合 計 9,000 9,000 決 算 額 2, 432 2,000 432

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		ы	目標値	4	4	4	4	4
С	1 事業の告知回数	ホームページやSNS等で告知を行う	個別計画	2	口	実績値	2				
活					%	達成率	50.0				
活動指標			総合戦略			目標値					
標	2 —		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		泊	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
D	1 体験プログラム助成泊数	1人1泊1,000円助成×助成泊数	□ 総合戦略	730	10	実績値	1, 298				
成			□ 個別計画		%	達成率	32. 5				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 () 評価対象
 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2 点	14 点	3点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	2 点	/25点	3 点	/25点

**G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等** 長引くコロナの影響により、令和2、3年度の利用者は大きく落ち込んだが、令和4年度はWITHコロナに入ったため、利用者数は回復すると見られる。先ずはコロナ以前の水準まで回復を目指したい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

市内での宿泊者を増やし市内経済の活性化を図るために必要な事業である。新型 \* コロナの影響で2年、3年度は実績値が低かったが、スポーツツーリズムでの需要 は大きく市内への誘客を促進するためにも今後も事業を継続する必要がある。

I 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 評 観光振興係 116005 2 務 価 商工観光課 係名 事 業 観光振興事業 細事業 体験連続型観光プログラム事業 実施計画事業 二次交通対策事業委託事業 総合計画体系図No.→( 94 ) 策 Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 策 5 観光の振興 別計 二次交通対策事業委託料 款 施 期間 年度 500 年度 ~ 項 施策展開 ②観光情報発信を強化する 1 名 3 後期基本計画 32 P コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 □ 過疎計画 総合戦略 決算 119 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、利用者は低迷したいる。おんせん県おおいたツーリズム商談会で紹介するなど利用促進を図ったが実績は伸び悩んだ。 <事業の目的> 市内に点在する公共交通機関の行き届かない 観光地に対し、民間の交通機関の利用を促進 し各観光地間を結びつけることで、観光客の 誘客、利便性の向上及び滞在時間の延長を図 る。 R 3 計画 500 500 R3 当初予算 500 500 決 算 額 155 155 R 4 計画 R4 当初予算 決 算 額 R 5 計画 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決算額 ・里の旅タクシーを運行する ・ホームページやSNS等で告知する R6計画 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 R7 当初予算 決 算 額 計画額 500 R3 ~ R7 合 計 当初予算 500 500 決 算 額 155 155 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) 各計画指標 R2実績値 単位 達成度 R3 R4

業の告知回数	ホームページやSNS等で告知を行う	総合戦略	2	口	目標値実績値	4				
業の告知回数	ホームページやSNS等で告知を行う	□ 個別計画	2							
				%	達成率	75. 0				
		────────────────────────────────────			目標値	10.0				
					実績値					
		□ 10別計画		%	達成率					
		総合計画		ы	目標値	20				
次交通走行回数	令和元年度の運行回数 (17回) を目安と する	□ 総合戦略	12	凹	実績値	9				
	7 · S	□ 個別計画		%	達成率	45. 0				
		□ 総合計画			目標値					
		□ 総合戦略			実績値					
		□ 個別計画		%	達成率					
	八人旭九门口外	9 &	次交通走行回数       令和元年度の運行回数 (17回) を目安とする       総合戦略 個別計画         総合計画 総合計画 日 総合戦略 日 個別計画	する	(中国				図別計画   % 達成率	図別計画   96 達成率   12

評価対象外の理由 | 0 評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	2 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \re$	2 点		2 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	2 点	12 点	2 点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 #我! ていない ⇒ #我! た	2 点	∕25点	2 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 実績の伸び悩みは新型コロナウィルス感染症拡大の影響を受けたことも事実だが、PR方法等に工夫が不足していることも要因と考えられる。事業の見直しが必要であり、今年度で終了した。 本市は、二次交通対策が脆弱であるため観光客を誘客するためにこの事業に取組んできたが、利用者が少ないことなどの理由から令和3年度で本事業は終了した

令和5年度の事業の方向性

C. 終 了

	<b>業番号</b> 17002		和 3 年度		_	合計画実施 5 務 事	業		_	調	#	課局	名	商	工観光記	果	係名	観光	:振興係
事	業	観光振興補助事業			細事業	観光イベント補助	助金			実	施計画	事業	見光イ〜	ベント	補助事業	É		終了年度	
ᄉᆗ	総合語	計画体系図No.→ ( 93	り 豊かな生活を支え	<b>ラフ</b> 1	<b>デ</b> しがせ	. Z ± +									<b>△</b> ∓⊓ 2	左曲	ξ 主な歳出	夕析	少如又答应
会計款	7	-21 211		んるし	~ C 13.0	かるより			個別#	期間		年度 ~		年度	観光イク			i 在 你	当初予算額 32,19
項	1	790	光の振興 光情報発信を強	(化す	ス				計一	נחומ		T-12.		+/2	地元ノL・1		1111797 375		32, 13
目	3	後期基本計画	1 =	.,_,	東計画	総合戦略		ロナ充当	夕	期間		年度 ~		年度					
決算	121	EME-FILE	02	~=-	маты	- 10 H 10 H		75-											
		A 事業目的・内容	· 実績	<b>/</b> -	1					ı₽	事業計	画額	・決算額	<b>等</b>			財源内訳		(単位:千円)
		事業の目的と内容	\$	年度		主な活動	実績					事	業費計	国県	支出金	地		その他	一般財源
<b>&lt;</b> 事	業の目的	<b>約&gt;</b> ミ施される観光イベ	いト竿に補助		新型コリ	コナウィルス感染: ベントは令和2年	症拡大の	の影響に。	- b	R	3計画	Ī	32, 194					32, 100	94
		長興を図る	. A ( - 11119)	R3	縮小がね	マントはデ和2年 目次いだ。それにいる。イベント補	伴い作り	女者粉 むず	をた	当	初予算	Ε	32, 194					32, 100	94
					込んでい	ハる。イベント補! 止数13	助金刈!	<b> 秋 手</b> 来	20	決	・ 算額	Į	17, 183					17, 100	8
										R	4計画	Ī	31, 715					31, 715	
				R4						当	初予算	Ξ	34, 172					33, 000	1, 172
										決	等額	Į							
										R	5計画	Ī	31,077					31,077	
				R5						当	初予算	Ε							
		度の取組内容(計画								決	等額	Į							
	イベント 体数 20	、に対し、補助金を )	文刊りる。刈							I⊢	6計画		31, 077					31,077	
				R6						I⊢	初予算	-							
				<u> </u>						ΙĖ	等額								
				D7						⊩	7計画	-	31, 077					31, 077	
				R7						I⊢	初予算	-							
				H						H	· 算額 · 画額		57, 140					157.040	0
						R3 ~ R7	스 닭			H	回 码 码 初 予 算		57, 140 66, 366					157, 046	1 26
						K3 13 K7				╌	: 算額	-	17, 183					65, 100 17, 100	1, 260
											V 91 11.	`	11, 100					11,100	
		評価指標名	指	標値の	説明(第	[出方法等)	各言	<del> </del>  画指標	R 2 9	<b>実績値</b>	単位	達成	度	R3	R4	4	R5	R6	R7
	_				_			総合戦略			団	目標			0.0	20	20	20	0 20
	1 イベン	/ ト補助金対象団体	数 イベント	補助金	金対象団	<b>本数</b>		個別計画		19	$\vdash$	実績			20				
活動							<del> </del>				%	達成目標		100.	0				-
指	2 _							総合戦略				実績							
175								個別計画			%	達成							
							V	総合計画			万	目標	値	1	.0	15	20	2	1 2:
D	1 観光/	イベント集客数	補助金対	象イイ	ベント開作	崔による集客数		総合戦略		7. 7	1 1	実績	値	5.	3				
成								個別計画			%	達成	率	53.	0				
果指								総合計画				目標							
標	2 —							総合戦略				実績							
								個別計画			%	達成	率						

E	評価対象外の理由	0評価対象			(対象外事	業はF~I#	未記入 可)
		評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
		計画項目/500代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民ア	アンケート) の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高	いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに	事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline                                  $	3 点		3 点	
ТШ	4. 活動指標の達成状	元(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	18 点	4点	18点
	5. 成果指標の達成状	記(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を
コロナの影響により中止などが続くと、各イベント主催者の士気にも影響し、そのまま中止や解散となる恐れがある。 時代はWITHコロナに入ったと見られるため、令和4年度は開催できるよう働きかけも必要と考える。	コロナの影響で多くのイベントが2年間中止となった。 バー不足等で令和4年度も開催できないイベントもあ。 令和6年度からのイベント補助金の在り方については、 するため、令和5年度までは現状での継続となる。

E踏まえた課長職等の所見 。また、実行委員会のメン る。 、令和5年度に方向性を決定

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

13,800

69,000

27,600

13,800

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 観光振興係 117004 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 商工観光課 係名 事 業 観光振興補助事業 細事業 里の旅公社補助事業 実施計画事業 里の旅公社補助事業 なし 総合計画体系図No.→( 豊後大野市観光振興ビジョ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 H30 <sup>年度</sup> ~ R7 款 施 策 5 観光の振興 里の旅公社補助金 年度 13,800 項 1 施策展開 ①里の旅の商品化 画 名 3 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 32 P 過疎計画 総合戦略 決算 121 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 ぶんご大野里の旅公社に運営補助金を補助した。公社では補助金により各種事業を展開した。主な事業・情報発信事業・観光まちづくり活性化事業・観光案内所運営事業 **<事業の目的>** 豊後大野市の本質的価値である「豊かな水と 13,800 R 3 計画 章校入町町の本負的価値でめる「章がな水と 恵の大地」の恩恵をうけた観光資源を活かし た豊後大野市ならではの旅のスタイル「里の 旅」を提供することを通じて、豊後大野市観 光振興ビジョンの実現を目指す組織に対し補 助を行う。 R3 当初予算 13,800 13,800 決 算 額 13,800 13,800 R 4 計画 13,800 13,800 R4 当初予算 13,800 13,800 決 算 額 R 5 計画 13,800 13,800 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ぶんご大野里の旅公社へ運営補助金を交付する。 R6計画 13,800 13,800 R6 当初予算 決 算 額

R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

13,800

69,000

27,600

13,800

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R 2 実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略	i	回	目標値	120	130	140	150	160
С	1 ホームページ・SNSでの 情報発信回数	ホームページの更新回数及びSNSでの 情報発信回数(月10回)	□ 個別計画	55	ш	実績値	142				
活	117 1878 181 - 384	11 10 2 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		1	%	達成率	118.3				
動指			□ 総合戦略		口	目標値	2	2	2	2	2
標	2 ツーリズム推進会議実施回数	観光関連事業者が参加するツーリズム推 進会議の実施回数(令和3年度設立)				実績値					
	200				%	達成率					
		ぶんご大野里の旅公社のホームページア	□ 総合計画	i	件	目標値	50,000	65,000	80,000	90,000	100,000
D	1 ホームページアクセス件数	クセス件数(セッション数)/令和2年	□ 総合戦略	9, 515	14	実績値	70, 056				
成		度改修	□ 個別計画	i	%	達成率	140. 1				
果指			□ 総合計画			目標値	150	170	190	210	230
標	2 会員数	ぶんご大野里の旅公社の会員数(正会員 ・賛助会員)	□ 総合戦略	128	人	実績値	151				
		277427	□ 個別計画		%	達成率	100. 7				
		-									

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	19 点	4点	20 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

# 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

令和2年度より指定管理業務が終了したことにより、情報発信や事業者連携に注力する体 制となった。

制となった。 情報発信については、発信数の増加により公社ホームページのアクセス数、SNSのフォロワー数は増加している。 事業者連携については、令和4年度にツーリズム推進会議の立ち上げが予定されており、 連携の進展に期待したい。

里の旅公社は、観光振興ビジョンの実現に向け市と連携して取組む組織として、 観光関連事業者との連携によるツーリズム商品の造成や情報発信等の業務を担っ ており、公社運営のための補助金は継続して交付する必要がある。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

### 令和5年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

【担当課長職等の所見】

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 観光振興係 118001 1 務 価 商工観光課 係名 観光施設管理事業 事 業 細事業 観光施設一般管理事業 実施計画事業 観光施設一般管理事業 なし 総合計画体系図No.→ 豊後大野市観光振興ビジョ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 期間 H30 <sup>年度</sup> ~ R7 款 策 5 観光の振興 リバーパーク犬飼指定管理委託料 7,670 俚楽の郷伝承体験館指定管理委託 項 1 施策展開 ③観光拠点の整備・活用 4, 300 名 期間 年度 ~ 目 4 後期基本計画 32 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 用作公園管理委託料 2, 547 決算 122 祖母山九合目山小屋管理委託料 2,900 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 -般財源 〈事業の目的〉 休憩、観光情報の取得、飲食、お土産品の購入などを行うことが出来る観光拠点の整備、活用を行うことで、市の来訪者の満足度を高め、ひいてはリピート客の増加による交流人 市内観光施設利用者の安全確保と利便性を図 るため、施設の維持管理を適切に行った。管 理対象施設数 観光施設・トイレ等 33 R 3 計画 35, 444 312 34, 929 34, 929 R3 当初予算 312 35, 444 203 指定管理施設 4 計37 決 算 額 37, 802 318 230 37, 254 口の増加を図る。 R 4計画 34, 929 35, 444 312 203 R4 当初予算 34, 344 241 33, 786 317 決 算 額 34, 929 R 5 計画 35, 444 312 203 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 市内の4観光施設の指定管理業務 R6計画 35, 444 312 34, 929 203 用作公園外観光施設管理 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 35, 444 312 203 34, 929 R7 当初予算 決 算 額 計画額 177, 220 1,560 1,015 174, 645 当初予算 629 68, 715 R3 ~ R7 合 計 69, 788 444 決 算 額 37,802 318 230 37, 254

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
С	1 定期的な施設の点検	各観光施設について定期的な点検等を年 1回行う	□ 個別計画	1	Ш	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		Į.	目標値	15, 500	15, 500	16,000	16, 100	16, 200
D	1 4つの観光施設の利用者数	市内4つの指定管理を行っている観光施 設の利用人数	□ 総合戦略	15, 476	八	実績値	23,000				
成		BC > 1 1/147 C38C	□ 個別計画		%	達成率	148. 4				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
		<u> </u>	·					-			

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \text{restance} & \Rightarrow & \text{rest.} \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	21 点	5 点	21 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 【担当課長職等の所見】

施設の適正な維持管理により、交流人口の増加や地域活性化が図られている。施設は市町 村合併前に設置されたものも多く、老朽化しているため、今後維持管理費の増加も見込ま れる。各施設の必要性を検討し、整理する必要がある。

市として、施設の適正な管理に努めなければならないが、一方で合併前に建設された観光トイレや公園等があり、各施設は経年劣化による不具合の発生が多く毎年修繕費が増加の傾向にある。管理する施設及び事業の継続について検討する必要がまま

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-1 拡充

なし

当初予算額

35,000

25,000

2,680

2, 183

観光振興係

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) (令和 3 年度決算) 事 課局名 商工観光課 118002 1 務 価 係名 事 業 観光施設管理事業 細事業 観光施設整備事業 実施計画事業 観光施設整備事業 総合計画体系図No.→ (97 策 Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 豊後大野市観光振興ビジョ 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 別計 款 策 5 観光の振興 期間 H30 <sup>年度</sup> ~ R7 項 施策展開 ③観光拠点の整備・活用 1 画 用作公園整備工事請負費 名 目 4 後期基本計画 32 P □ 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 年度 ~ リバーパーク犬飼施設改修工事請 負費 決算 122

		D 尹未町	四银 次异型	( <del>*</del>			
年	<b>ナか活動字練</b>		市業弗計		財源内	訳	(単位:千円)
1			尹未貝司	国県支出金	地方債	その他	一般財源
	観光施設の整備、修繕を行った。令和3年度 主た事業・三ノ兵たかよしパーク解休工事・	R 3計画	76, 429	9, 619	33, 200	4,000	29, 610
R3	用作公園トイレ整備工事・指定管理施設備品	当初予算	76, 421	9, 619	33, 200	4,000	29, 602
	開バ・ケバーバーラ 八岡旭以以修工事	決 算 額	61, 132	7, 200	16, 200	4, 010	33, 722
		R 4計画	19, 249				19, 249
R4		当初予算	38, 588	20, 500		2,000	16, 088
		決 算 額					
		R 5計画	11,600				11,600
R5		当初予算					
		決 算 額					
		R6計画	11,600				11,600
R6		当初予算					
		決 算 額					
		R 7 計画	11,600				11,600
R7		当初予算					
		決 算 額					
		計 画 額	130, 478	9, 619	33, 200	4,000	83, 659
	R3 ~ R7 合 計	当初予算	115, 009	30, 119	33, 200	6, 000	45, 690
		決算額	61, 132	7, 200	16, 200	4,010	33, 722
	度 R3 R4 R5	度	年度       主な活動実績         R3       観光施設の整備、修繕を行った。令和3年度主な事業・三ノ品なかよしパーク解体工事・開作公園トイレ整備工事・指定管理施設備品購入・リバーバーク大飼施設改修工事         R4       当初予算決算額         R5       2         R6       当初予算決算額         R7       2         R8       2         R9       2         R9       2         R9       3         R9       3         R9       3         R9       3         R9       3         R9       3         R9       3         R9       3         R9       3         R9       3         R9       3         R9       3         R9       4         R9       3         R9       4         R9       4         R9       4         R9       4         R9       4         R9       4         R9       4         R9       4         R9       4         R9       4         R9       4         R9       4         R9       4     <	年度       主な活動実績       事業費計         R3       観光施設の整備、修繕を行った。令和3年度主な事業・三ノ岳なかよしパーク解体工事・開作公園トイレ整備工事・指定管理施設備品購入・リバーパーク犬飼施設改修工事       R3計画 76,429         R4       当初予算 76,421       決 算 額 61,132         R4 計画 19,249       当初予算 38,588         決 算 額       R 5計画 11,600         当初予算 決 算 額       R 6計画 11,600         当初予算 決 算 額       R 7計画 11,600         当初予算 決 算 額       R 7計画 11,600         当初予算 決 算 額       R 7計画 11,600         当初予算 決 算 額       R 7計画 11,600         当初予算 決 算 額       計 画 額 130,478         当初予算 115,009	集度     主な活動実績       R3     観光施設の整備、修繕を行った。令和3年度主な事業・三ノ岳なかよレパーク解体工事・用作公園トイレ整備工事・指定管理施設備品購入・リパーパーク大飼施設改修工事     R3計画 76,429 9,619 9,619 当初予算 76,421 9,619 当初予算 38,588 20,500 決算額 R5計画 11,600 当初予算 38,588 20,500 決算額 R5計画 11,600 当初予算 決算額 R6計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 11,600 当初予算 決算額 R7計画 115,009 30,119	年度     主な活動実績     事業費計 国際支出金 地方債 国見支出金 地方債 国見支出金 地方債 国見支出金 地方債 国見支出金 かよしパーク解体工事・ 指定管理施設備品購入・リバーパーク 大飼施設改修工事       R4     R3計画 76,429 9,619 33,200 当初予算 76,421 9,619 33,200 決算額 61,132 7,200 16,200 R 4計画 19,249 当初予算 38,588 20,500 決算額 R 5計画 11,600 当初予算 決算額 R 6計画 11,600 当初予算 決算額 R 6計画 11,600 当初予算 決算額 R 7 計画 11,600 当初予算 決算額 R 7 計画 11,600 当初予算 決算額 R 7 計画 11,600 当初予算 決算額 R 7 計画 11,600 当初予算 決算額 R 7 計画 11,600 当初予算 決算額 R 7 計画 11,600 当初予算 決算額 R 7 計画 11,600 当初予算 決算額 R 7 計画 11,600 当初予算 決算額 R 7 計画 11,600 当初予算 決算額 R 7 計画 11,600 当初予算 決算額 R 7 計画 11,600 当初予算 決算額 R 7 計画 33,200 当初予算 115,009 30,119 33,200 当初予算 115,009 30,119 33,200	The property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the property of the proper

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
С	1 定期的な施設の点検	各観光施設について定期的な点検等を年 1回行う	□ 個別計画		II.	実績値	1				
活		2			%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		Į.	目標値	15, 500	15, 500	16,000	16, 100	16, 200
D		市内4つの指定管理を行っている観光施 設の利用人数	□ 総合戦略	15, 476	八	実績値	23,000				
成			□ 個別計画		%	達成率	148. 4				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E 評価対象外の理由 0 評価対象
 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	21 点	4 点	21 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

#### G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

観光施設の整備により、交流人口の増加や地域活性化が図られている。施設は市町村合併 前に設置されたものも多く、老朽化しているため、今後維持管理費の増加も見込まれる。 各施設の必要性を検討し、整理する必要がある。また、整備に当たっては優先順位を付け るなど年度毎の費用の平準化を図る。 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

横 機光施設の整備により、交流人口の増加や地域活性化が図られている。施設は市町村合併前に建設されたものも多く、経年劣化による老朽化が進んでいるため、今後維持管理費の増加も見込まれる。そのため、各施設の必要性を検討し、整理する必要がある。また、整備に当たっては優先順位を付けるなど年度毎の費用の平準化を図っていく必要がある。

### I 令和5年度の事業の方向性

♪ B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

事	業番号		枝番		( :
1	20001		1		( 🕯
事	業	土	木総務	務事業	
	総合	計画	画体系 🛭	図No.→	( :
会計	一 船		잰	笛	Ш

1	20001	1	(令和	3 年度》	<b>大 弄</b>	<i>)</i> =	粉	7	未	評	曲	訓	,		課局名		<b></b>		係名	2	設企	八四万
事		土木総務事業			i	細事業	土木行	政事務	事業				実施詞	十画马	<b>本業</b> 法定夕	公共物	橋梁点	検委割	<b></b>		§了 F度	なし
会計	総合 一般	計画体系図№		なくらしとす	さ小た	生成でき	シス士た				7 [	1					△和	2 年日	度 主な崩	- 山夕 - 1	业	初予算額
款	8	施策	+				: 3 4 9				個別	期間	1	da da	·度 ~	年度			橋梁点検		-	10,879
項		施策展開	- /4/ 1	ットワーク	の発1	III.					別計	79711	ı		- DE - T	牛皮	仏だバ	-Z-3440)	加米小り	安山村		10, 019
目	1		計画 52		<b>2</b> 風 75	計画	□ ±ω.	合戦略		コロナ充当	画名	期間	1	de de	·度 ~	年度						
決算	123	及粉型4	*計画 52	- L	迴叼		No	口书》四	Ш.	JH / /L=	<u>'</u>	7971H	ı		- 15E	+/X						
八升		A 事業目的	・内容・実	積		1							В≢	業計	画額・決算	額等						
		事業の目的	りと内容		年度			主な活	動実績						事業費計		支出金	444	財源内		_	位:千円)
<=	業の目	的>			12	令和3	年度に20幅	喬梁中、	中九州横	断道路の	大野~	-11	R 3	計画	10, 8'		又山並	坦	方債	その他	+	-般財源 10,879
		ふして暮らせ るため、中九			R3	朝地間の	)跨道橋に 、地元及	ついて、 び国士る	6橋梁の 5通省と0	点検を実 り事前協調	施予定 義に時間	1	当初		10, 8	-						10, 879
三重	新殿バイ	イパスを跨道 E期的に(54	している法	定外公共	11.0	を要し、 った。	業務発注	に遅延か	ゞ生じた/	こめ繰越	事業とな	î.	決第		10, 6	9						10, 073
10000	画木でん	C29]H J(C (0-	L(CIEI) W	NIC 7 '0'	_							┨╂	水 <del>河</del> R 4 i		0.00	7.4					+	8, 374
					R4							Ш	当初		8, 37	-						8, 374
					114							Ш	決第		0, 0	4						0, 514
					_							╢	R 5								+	
					R5							Ш	当初									
< 4	≘和3年	度の取組内	∞(計画) >		110							╂	決第									
· 令		: 20橋梁中、		点検を実施	Н							┨╂	R 6									
済・令	和3年度	: 20橋梁中、	6橋梁の点	検を実施	R6							Ⅱ	当初									
												Ⅱ	決第									
					_							┨╂	R 7		14, 60	08					+	14, 608
					R7							Ш	当初	予算	,							
												Ш	決 第	額								
						l						71	計画	i 額	33, 86	51						33, 861
							R3 ~	~ R7	合 言	+		Ш	当初	予算	19, 2	53						19, 253
												Ш	決 第	額								
		評価指標	Ż	上	亜値の	锁阳 (管	[出方法等	E)	一人	計画指標	<u> </u>	2 宇紹	養値 単	位	達成度	R3		R4	R5	R6		R7
_		יאוםנשודם		781	示[[][0]	DU-91 (34	-шлд-	-	<del>-</del>		+		-	箌	目標値		0	20		27	27	27
С	1 法定夕	<b>小</b> 公共物橋梁	点検箇所	法定外公	共物格	<b>新梁点検</b> 値	箇所数			総合単			20 月 月		実績値		6	20		21	21	21
活						***************************************			$\Box$	個別言	一画			6	達成率	30.	0					
動指										総合単	比略				目標値							
	2 _									個別言					実績値							
				<u> </u>									9	%	達成率							
Ľ	4 253.654	th- ¥4.		NA PARES OF	n.az e-	son Like				総合言			<u>.</u> [ 1	牛 –	目標値		6	7		7	$\dashv$	13
D	1 実施作	十数		法定外公司	<b>兴物</b> 稽	<b>第</b> 架点検	<b></b>			総合單 個別言			13	%	実績値						+	
成 果				+					$\frac{1}{\Box}$	1回別 ii 総合 ii			+		目標値						-	
指標	2 —									総合単				+	実績値						$\dashv$	
										個別言			9	6	達成率							
Е	証価が	†象外の理由	0評価対	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·														( 5	计争从事	業は <b>F~I</b>	<b>#</b>	≘ ३ <b>त</b> )
_	пшл	3 外 7 0 2 田	り計画メ	引 豕																		
				評	価項目	/5つ0	の視点( ๋	1~5点	で評価)							評	-次評価 価点		長) 点合計	二次評価	_	提等) 価点合計
F	1. 市瓦	民満足(市民	アンケート)	の向上が其	目待で	きる事業	内容とな	ってい	るか		なって	いな	<i>ا</i> ا :	⇒	4 → 5 なっている		5 点			4 点		
評	2. 事業	美の優先度は	高いと思う	か(同じ成界	指標	設定事業	内での優	先度)			1 - 優先/			3 → ⇒	4 → 5 優先度高い	_	5 点			4 点		
	3. 事業	(計画どおり	に事業を進	めることがて	ききた	か					1 -	→ 2	→ ;	3 →	4 → 5		1点			2点		
価		助指標の達成									1 -	→ 2		3 →	できた 4 → 5		1点		10	2点		1.4
					-						推移し <sup>*</sup> 1 -				推移した 4 → 5	1			13点		_	14点
	5. 成界	<b>県指標の達成</b>	状況(率)は	計画どおり推	移し	ているか					推移し				推移した		1点		/25点	2点		/25点
				課題・改善			後の事業の		-		F				戦等の所見					えた課長職		
三重用が	新殿バイ ある。今	いして暮らせ いれる いれる いる いる いる いる いる いる いる いる いる いる いる いる いる	している法 き、地元及	定外公共物 び国土交通	の極	型を 定期	的に (54	年に1回	) 点格~	ナろ 心	に準じ	て点	検を	行つ	は、市道で ている。 ぐ道路につ	Fに重要	な道路	である	5、中九	州横断道罩	各及て	が 県道三
											検を行 点検業 あるた	務に	つい	ては	。 通行規制の を行う必要	協議が ぎがある	必要で	あり、	不測の	日数を要っ	上る豆	可能性が

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 建設企画係 120001 2 (令和 3 年度決算) 事 務 価 建設課 係名 法定外公共物GISデータ作成業務委 託事業 事 業 細事業 土木行政事務事業 実施計画事業 土木総務事業 総合計画体系図No.→ 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 - 一 o 成 山 右 杯 法定外公共物 G I S データ作成業 務委託料 別計 期間 R3 年度 ~ 款 策 8 1 交通ネットワークの整備 年度 8,369 R5 項 1 施策展開 ①市道を整備する 画 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 52 P 過疎計画 総合戦略 決算 123 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 令和3年度に豊後大野市7町の内、緒方町、朝 地町、犬飼町の3町の法定外公共物をGIS化 システムに反映した。しかし、朝地町のごく一 部については、令和4年度に持ち越しとなった。 **<事業の目的>** 国有財産から譲与された法定外公共物位置 R 3 計画 8, 369 8,369 図が、現在、紙媒体であることから、データ 化することで本庁及び支所の業務をスムーズ に行い、窓口対応の効率化を図る。 R3 当初予算 8,369 8,369 決 算 額 8, 369 8, 369 R 4計画 5, 615 5,615 R4 当初予算 5,615 5,615 決 算 額 R 5 計画 7,459 7, 459 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・令和2年度: 位置図のデータ化 ・令和2年度: 位置図のデータ化 ・令和3年度: 7地区中、3地区(緒方、朝地、 犬飼)をG I S化してシステムに反映 ・令和4年度: 7地区中、1地区(三重)をG I S化してシステムに反映 ・令和5年度: 7地区中、3地区(清川、大野、 千歳)をG I S化してシステムに反映 R6計画 R6 当初予算 1地区(三重)をGI 決 算 額 R 7計画 R7 当初予算 決 算 額 計画額 21, 443 21,443 当初予算 R3 ~ R7 合 計 13, 984 13, 984 決 算 額 8,369 8,369

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			── 総合戦略		筃	目標値	7	7	7		
С	1 法定外公共物GISデータ 作成箇所	法定外公共物GISデータ作成箇所数( 令和5年度末)	□ 個別計画	7	所	実績値	3				
活	11 794 11771				%	達成率	42.9				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		地	目標値	3	1	3		
D	1 実施地区数	法定外公共物GISデータ作成実施地区 数(令和5年度末)	□ 総合戦略		区	実績値	3				
成		34 ( ) N = 1 32 19	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
	37 m + 1 45 H = 27 /m + 1							/-1	14.11		L== 1 \

評価対象外の理由 0評価対象 Ε (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	5 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	18 点	3 点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	/25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

国有財産から譲与された法定外公共物位置図が、現在、紙媒体であることから、データ 化することで本庁及び支所の業務をスムーズに行い、窓口対応の効率化を図ることが必用 である。今後も引き続き、計画的な実施に向け努力する。

国有財産から譲与された法定外公共物の図面について、現在、紙媒体で管理している。今後の管理、利用を考えるとデジタルデータ化は必須であり、これにより問い合わせ等の対応の効率化を図ることが可能となる。今後も引き続き、計画的に実施することが重要と考える。

令和5年度の事業の方向性

37, 300

186, 500

74,600

37, 298

4	事業番号	枝番	( •	令和 3	年度	計画	1)	総合	計i	画実加	布計画	画書 (	兼流	進捗	管	理)									(様式1)
1	22001	1	( 🕯	令和 3	年 度	決り	Į)	事	務	事	業	評	偛	5 1	調	書	課局	<b>高名</b>	3	建設課		係名	i	道路	保全係
事	業	市道維持	管理事業	<del></del> É			細事	<b>美</b> 単	独維	持補修	事業				実	施計画	事業	市道維持	持管理	!委託事業	É			終了 年度	
	総合	計画体系図	☑No.→ (	176 )											-										l .
会計	一般	政	策Ⅲ	豊かなく	くらしと	安心	を実感	できる	まち					個						令和 3	年度	主な歳	出名科	<b>,</b>	当初予算額
款	8	施	策 1	交通ネッ	トワー	クの虫	<b>E</b> 備							別期	間	£	<b>⊭度~</b>		年度	市道維持	宇管理委	託料			37, 300
項	2	施策原	<b>展開</b> ①i	市道を整	備する									計一画											
目	2	後期	基本計画	52 I	РГ	過	疎計画		総	合戦略		コロナ充		夕	間	£	<b>⋷度~</b>		年度						
決算	125													!											
	1	A 事業	目的・内	容・実績	t		1								₽	事業計	画額	・決算額	等	<u> </u>					
		事業の	目的と内	]容		年度				主な活	動実績	į			`		事	業費計				<b>け源内</b>			単位:千円)
	<b>1 米 小 口</b>	Ah \				及		0 5 5	· -	> <del></del>	frui Valde	- t-1	→ 17 th . I .	715	┢				国県	:支出金	地方	債	その	他	一般財源
市道	事業の目 [におい]	て、通行	こ支障を	きたす倒	木(支		行和 採作	3 年度 業等作	業委	追路囬 託60件	・側海? 、17, ?	清掃、支 729千円 ・障害者	く 障不 、まり	1文 こ、	R	3計画		37, 300							37, 300
障木	:) 処理、 隆雨時(	路面・り	路肩が危 必要な側	険な堆積 溝清掃な	『土砂除 とど多岐	R3	業者	<ul><li>・シル 市省首</li></ul>	バー	人材セ 業務委	ンター 託につ	・障害者 いては1:	∱施設 05路≨	に 息	坐	初予算		37, 300							37, 300
にわ	たり市i 遂行す	道利用者	の安全確	溝清掃な 保の観点	から業					あります		( (121	оодда	W.	決	算額		37, 298							37, 298
137 (2	1211 y /	n) 0													R	4計画		37, 300							37, 300
						R4									坐	初予算		37, 300							37, 300
															決	: 算額									
															R	5計画		37, 300							37, 300
						R5									<b>*</b>	初予算									
<:	令和3年	度の取約	内容(計	·画) >											_	: 算額									
自治	委員のは	也元要望	書により	予算の範	i囲内で	-									H	6計画	1	37, 300							37, 300
順次	作業委託	£を行う。					1								١,,	. <b>Э</b> пт <u>га</u>	1	51,000	1						01,000

R3 ~ R7 合 計

	評価指標名	指標値の説明 (算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	37, 300	37, 300	37, 300	37, 300	37, 300
С	1 地元要望	作業委託業務	個別計画	29, 300	円	実績値	37, 298				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	37, 300	37, 300	37, 300	37, 300	37, 300
D	1 市道維持管理委託	総事業費	□ 総合戦略	37, 467	円	実績値	37, 298				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
=											

当初予算 決 算 額 R 7 計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

37,300

186, 500

74,60037, 298

評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可) Ε

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの税点(「ララ点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
133	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	20 点	3 点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R6

R7

市道作業委託業務については自治区の要望に基づき事業実施しておりますが、年々増加しており予算の範囲内で対応しております。 草刈り作業委託業務につきましては、過疎高齢化等により今後も自治区での対応が厳しくなっているのが現状であります。また、近年の人件費、燃料費等の高騰も影響しており委託料の増額も視野にいれ検討しなければならない。 過疎集落等に地域おこし協力隊など活用し、自助的な市道維持管理を考えていきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

市道の管理については市の責務であり、今後の適正な道路環境を保持するため、 継続して事業を行うことが必要である。

## 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

なし

300,000

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3年度決算) 事 道路保全係 122001 2 務 価 建設課 係名 事 業 細事業 単独維持補修事業 実施計画事業 市道維持補修工事事業 市道維持管理事業 総合計画体系図No.→ 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 年度 市道維持補修工事請負費 8 1 交通ネットワークの整備 年度 ~ 項 2 施策展開 ①市道を整備する 名 2 年度 ~ 目 後期基本計画 52 P ~ 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 決算 125 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 <事業の目的> 道路機能の保全を目的に地元要望により計画 令和3年度維持補修工事事業実績は169件、27 9,662千円であり、1件市道拡幅工事が繰越事 業であります。本事業におきましても自治区 R 3 計画 300,000 150,000 的に改修、補修を行い、市道利用者の交通事 故防止や日常生活の安全性、快適性を向上さ R3 当初予算 300,000 123,500 150,000 要望により予算の範囲内で事業実施しており 決 算 額 279,662 95,000 91,000 R 4計画 95, 000 300,000 150,000 R4 当初予算 300,000 109, 200 150,000

R5 <令和3年度の取組内容(計画)> 令和元年度 事業実施 227件 令和2年度 事業実施 211件 R6 R7

-般財源 26,500 26, 500 93, 662 55,000 40,800 決 算 額 R 5 計画 95,000 150,000 55,000 当初予算 決 算 額 R6計画 150,000 55,000 300,000 95,000 当初予算 決 算 額 R 7計画 300,000 95,000 150,000 55,000 当初予算 決 算 額 246, 500 計画額 1,500,000 503, 500 750,000 当初予算 600,000 232, 700 300,000 67, 300 決 算 額 279,662 95,000 91,000 93,662

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千日	目標値	300, 000	300,000	300, 000	300, 000	300, 000
C	1 地元要望	維持補修工事	□ 個別計画	300, 000	円 %	実績値 達成率	279, 662 93. 2				
活動指					70	目標値	33. 2				
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
-					%	達成率					
D	1 市道維持補修工事	工事費	<ul><li>総合計画</li><li>総合戦略</li></ul>		千.	目標値 実績値	300, 000 279, 662	300, 000	300, 000	300, 000	300, 000
成	. 山海州川沙工寺	上于具	□ 個別計画	· ·	%	達成率	93. 2				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 Ε 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	18 点	3 点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市道の維持管理は、市の責務であり通行の安全を確保するため継続して事業を実施することが必要である。

T担当床での思元・訴題・は音末等』 ※7度の事業の進めが有 市道維持管理事業要望については、令和3年度分358件(作業委託業務分含む)と毎年増加し ている状況であります。 また、要望内容についても多岐にわたっており予算の範囲内で旧町村ごとに担当者を配置し速 やかに業務を行っております。 事業内容については舗装補修、排水路改修・整備、路肩補修工事等を主に実施しております。 課題は自治区要望が多い為、年度内にすべての工事実施が不可能であり次年度以降へ持ち越す 案件が製件あります。 今後は市道維持管理要望が多い自治区には優先順位を伺い適宜実施し、大きな事業費の要望に ついては何力年事業に分けて実施していきます。

令和5年度の事業の方向性 I

33, 200

6, 400

6, 352

6, 300

事	業	番号	枝番		(令	和	3	年度	ŧ	一画	)	総1	合計	画実	施	計画	書	( •	東道	捷	管	理)									(様式1)
1	220	001	3		(令	和	3	年度	ŧ	算	)	事	務	事	Į.	業	1	Ŧ	価	1	調	書	課局名		菱	建設課		係名	i j	直路	保全係
事	業	<u>.</u>	→>¥+0#-	-t: ///: +D	中米						細事第	<u>.</u> I	134 XH 6H	持補値	6tr	Alle					Į,	= #= 1 == =	事業 道路列	52.±± 1/	<b>←</b> -₩-	<b>建田東</b>	liki			終了	なし
<b>→</b>	-		7道維								神サオ		平	E1寸1相16	多事:	耒					7	∈ 旭 司 四 号	<b>P未</b> 坦昭2	<b>史</b> 護刊	上未	無助事?	<b></b>			年度	[ '4C
<b>△</b> =1		総合計	画体系		-		3.Z	ו ה	1.4	2.7	生成。	スモン	るまち						ΤГ						7	AID 0	3 年度 3	<b>→</b>	111.47.54	1	小加マケホ
会計			政	策	+		_					(,5 4	りより							固引期						1- 11-			四石仦		当初予算額
款		3	施	策			_	トワー		の整	崩								<b>-</b>    1	it	間	4	度 ~	年	度	追路変記	<b>獲作業補</b> 即	切金			6, 400
項	2		施策		①市							_							-1 I	画 名 #											
目 :: 4年		2	後見	明基本	計画	52	F	<b>'</b>	<b>'</b>	過政	計画	L	総	合戦略	Š	Ш	לחב	充当	J L	一	間	年	度 ~	年	度						
決算	12		* 事業	目的	・内容	・実	續														E	3 事業計	画額・決算	車額等	•						
			重業(	り日代	と内容	₹				年				主な	活動	宝结							事業費調	+			財	源内	訳	(	単位:千円)
	علاد =		,.	/ Ц н .	J C P 1 T	-				度		- 1 - 1	1. 7. 37					ee alle a			L		于木具印	' E	国県	支出金	地方值	責	その作	<u>b</u>	一般財源
牛活	道的	の目的	道は名	地元	自治区	に補	助	金をを	泛		ては	172地		i区に』 市道草							F	R 3 計画	6, 4	00							6, 400
付し  イパ	草メスト	引り作 与な役	業をま 割の計	願い 道や	してい高齢化	いる。 ໃ等に	まよ	た、/ る作業	ベ 能	R3	ます	D									È	当初予算	6, 4	00							6, 400
困難	かÉ	治区	におし	てけ	市役所 保全と	r祭注	(D)	坐老官	当												ž	夬 算 額	6, 3	52							6, 352
を担	つて	こいる	0	9K76	水土こ	. <u> </u>	. 1	<b>У</b> /ТЕГ	~												F	R 4計画	6, 4	00							6, 400
										R4											<u> </u>	当初予算	6, 3	00					6,	300	
																					ž	夬 算 額									
																					F	R 5 計画	6, 4	00							6, 400
										R5											1	当初予算									
<=	令和	3年	隻の取	組内容	事(計画	<u>(</u>															ž	夬 算 額									
		三度(		.≘#. I/c-	業 17	7 시니스 15															F	R 6計画	7, 0	00							7,000
日代日	ı∆ (	- よの	坦蹈多	·唆TF	未 17	ONE	_			R6											ì	当初予算									
																					ž	夬 算 額									
																				$\dashv$		R 7 計画	7, 0	00				+			7, 000
									- 1	R7											_	当初予管	1,0								.,

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		地	目標値	169	169	169	169	169
С	1 道路愛護作業	地元草刈り作業	□ 個別計画	169	区	実績値	169				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
指標	2		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		地	目標値	169	169	169	169	169
D	1 実施件数	作業実施地区数	□ 総合戦略	169	区	実績値	169				
成果			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率				·	·
E	評価対象外の理由 0 評価対	  象	<u> </u>					(\$	対象外事業に	<b>↓F~Ⅰ欄</b> 未	記入可)

R3 ~ R7 合 計

決算額 計画額

当初予算

決 算 額

33, 200

12,700

6, 352

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 4 点 なっていない ⇒ なっている 1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い 評 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 4 点 4 点 優先度低い

価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	22 点	3 点	17 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	3 点	∕25点
	G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】	※評価・改	善策等を踏ま	えた課長職等	₹の所見
自維持	治区による道路愛護作業については過疎高齢化にもかかわらず市民のみなさまに市道 管理につとめていただき貴重な業務であります。市としても市民の自助的な事業であ	市道の維持管理は市民の皆さんに 続して事業を実施することが重要	. 負うところ: . 少子高齢	が多く、道路 化の中、また	愛護作業に 燃料費の高	

無行官性にうとめていただき員単な業務であります。 旧としても旧民の自助的な事業でありますので、支援していきたい。 課題は、市の財政面からも少子高齢化により人手不足の集落等に支援出来るような方法を 模索していきたい。 現在は業者草刈り委託業務で対応している。

ると事業を継続するためには、補助金額の増額等の検討が必要と考える。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

70,000 14, 000

13,849

14,000

#	業番	号	枝番		(令	<b>FID</b> 3	} ±	年月	度	計	画	)	紛	合â	計画	寅実	施言	一画	書(	(兼:	進扎	步管	(理								(	<b>漾式 1</b> )
1	2200	1	4		(令和	Д 3	} ±	年月	隻:	決	算	)	事	Į.	務	事		業	評	ſi	6	訓	1	ŧ	課局名		建設課	f:	系名	道路	各保	全係
_			- >>6 611. 1-	a hoho wer	n — + » M/s							·m == .	AU4.		v.l. v.n. l	4 14 14							<b></b>		F ## 1-17 1.7	مار تکمار ۱۰	4 n. ± 44	<u>-</u>		終	7	4.1
事			了道維持								1	田事:	耒	甲	独維Ŧ	寺補修	事業						美施計	囲	<b>事業</b> 支障木位	又採作	即争兼				度	なし
A =1			画体系图				,	٠ .	1 /	H- 3	2	d d	2	L	LL											_	A 7= (		L. Alberto A	. 14	T	
会計	一般	ž	政	策	Ⅲ豊		_		_		_		(° 6	さる	まり					_	個		_					年度 主	よ蔵出名	ⅰ柳	3	初予算額
款	8		施	策	1 交ì	_ ' ′				1の	整何	前								_	計-	期間	1	年	度 ~	年度	支障木(	戈採補助金				14, 000
項	2		施策原		①市i			1	ঠ 									7 -			画名		_									
目	2	_	後期	基本	計画	52	Р		Ш	ù	過疎	計画	Ĭ	Ш	総合	計戦略	L		ロナ充	当		期間	1	年	度 ~	年度						
決算	125		事業	目的	・内容	- 実	實																B 事類	計	画額・決算額	事						
			事業の	日的	と内容					4	₹					主な活	壬動写	2緒							事業費計			****	内訳		_	注:千円)
- 7	T# A	A	•							J.	茰	Λ ·г.	- 0	ter oto		,			· · ›	). e. e	. 1114	┩┟			7/1/201	国県	全出支	地方債	そ	の他	_	·般財源
道路	上に	長り	i> 出し又 木等の	は交	通に支	章を入	及に	ぎす	お			区、	13,	84	9千円	であり	0、1	多くの	いてに	区に	地広く	Ш	R 3計	_	14, 000							14,000
せれ 通安	のあ <sup>、</sup> 全対策	も竹 策を	木等の 行う。	官埋	処埋を	はいば	自占	各の	父	F	3	事業	(活)	用し	てい7	こだい	てお	りま	す。			Ш	当初予	算	14, 000							14,000
										L												41	決算	額	13, 849							13, 849
																						Ш	R 4計	画	14, 000							14,000
										R	4											Ш	当初予	算	14, 000					14,000	)	
										L												Ш	決 算	額								
																						Ш	R 5計	画	14,000							14,000
										F	₹5											Ш	当初予	算								
			隻の取糸			>																Ш	決 算	額								
令和	3年月	度	70地区	(予)	定)																	Ш	R 6計	画	14, 000							14,000
										R	6											П	当初予	算								
																						Ш	決 算	額								
																						11	R 7計	画	14, 000							14,000
										F	27											П	当初予	算								

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
			総合戦略		地	目標値	70	70	70	70	70	
С	1 道路愛護作業	支障木伐採作業	個別計画	53	区	実績値	75					
活					%	達成率	107. 1					
動指			│ │ 総合戦略			目標値						
標	2 _		□ 個別計画			実績値						
					%	達成率						
			□ 総合計画		地	目標値	70	70	70	70	70	
D	1 実施件数	作業完成件数	□ 総合戦略	53	区	実績値	70	70	70	70	70	
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0	100.0	100	100	100	
果指			□ 総合計画			目標値						
標	2 —		□ 総合戦略			実績値						
			□ 個別計画		%	達成率		·				
E	評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業は <b>F~I 欄</b> 未記入 可)											

R3 ~ R7 合 計

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 → 4 → 5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 4点 4点 なっている 4 → 5 なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 3 点 4 点 評 優先度高い 優先度低い **→** 2 4 → 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 4 点 できなかった 1 → 2 → できた 4 → 5 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 22 点 3点 18点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 推移していない ⇒ 4 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 /25点 /25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
支障木伐採事業は令和元年度より事業実施しておりますが年々多くの自治区にご利用いただいております。 山間部地域の住民の方等には20万円が補助金上限でありますので、事業進捗がままならないとおもわれますが、 今後もみなさんに幅広くご利用いただくよう予算の確保に努めてまいります。	市道の通行の安全の確保のため必要な事業であり、重点的に実施する必要がある。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

70,000

28,000

13,849

82,560

32,808

事業番号		枝番
122002		1
<b>市 </b>	+->	<b>米%#</b> +

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(令和	3 年度決算)	事	務	事	業	評	価	調	書	課局名	建設課	係名	道路保全係

事	業	市道維	排管理	事業	細事業	道路ストック点検補修事業		身	<b>ミ施計画事業</b>	道路ストッ	ク点検補修事業	終了 年度	なし
	総合	計画体	系図No.→	( 175 )									
会計	一般	政	策	Ⅲ 豊かなくらしと安/	心を実感でき	るまち	個				令和 3 年度 主な歳出名	称	当初予算額
款	8	施	策	1 交通ネットワークσ	整備			期間	年度 🗸	~ 年度	調査設計監理委託料		138, 000
項	2	施針	<b>€展開</b>	①市道を整備する			画				道路ストック総点検業務委託	<b>毛料</b>	74, 000

目 2 後期基本計画 52 P ~ 過疎計画 コロナ充当 道路ストック補修工事請負費 総合戦略 28,000 決算 125 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 《事業の目的》 橋梁・トンネル長寿命化修繕計画に基づき 健全度、管理状況を踏まえ効率的かつ合理的 な維持管理により、更新費用の平準化と維持 管理コストの低減を図り安心・安全を確保す る。 国県支出金 地方債 その他 一般財源 令和3年度事業実績は定期点検(緒方町)150 橋、Ⅲ判定橋梁調査設計業務17橋、 越生トンネル補修工事については繰越し事業 で現在施工中であります。 R 3 計画 240,000 54,700 47,316 R3 当初予算 47,316 240,000 137, 984 54, 700 決 算 額 194, 398 116, 590 45,000 32, 808 R 4計画 45,900 235,000 53, 580 135, 520 R4 当初予算 246,000 62, 300 35, 244 148, 456 決 算 額 R 5 計画 137, 984 54,700 47, 316 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 定期点検(緒方町)150橋 調査設計業務 17橋 トンネル補修工事 1トン R6計画 54, 700 47, 316 240,000 137, 984 1トンネル R6 当初予算 決 算 額 R 7 計画 240,000 137, 984 54,700 47, 316 R7 当初予算 決算額 計画額 1, 195, 000 687, 456 272, 380 235, 164

当初予算

決 算 額

486,000

194, 398

286, 440

116,590

117,000

45,000

R3 ~ R7 合 計

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		橋	目標値	17	15	12	8	8
С	1 橋梁長寿命化修繕計画	調査設計・補修工事	個別計画	10	们向	実績値	17				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略		トン	目標値	1	2	5	1	1
	2 トンネル長寿命化修繕計画	調査設計・補修工事	□ 個別計画	2	ネル	実績値	1				
		%	達成率	100.0							
			総合計画		橋	目標値	17	15	12	8	8
D	1 実績件数	業務実施数	□ 総合戦略	3	们向	実績値	17				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画		トン	目標値	1	2	5	1	1
標	2 実績件数	業務実施数	□ 総合戦略	1	ネル	実績値	1				
			□ 個別計画		%	達成率	100.0				

評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 0 評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	4 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	18 点	3 点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

橋梁・トンネルのメンテナンスについては5年に1度長寿命化修繕計画ならびに定期点検業務を実施しており、健全度、管理状況を踏まえ効率的かつ合理的な維持管理を図り、補修費用の平準化とコストの低減を図っております。 課題としては橋梁・トンネルともに安全性の観点より、速やかに補修等を行う必要がある物件が山積しております。

しております。 事業費も高額であり補助事業を活用しながら補修工事を行い安全性の確保を図ってまい

なたが、事業費も高額であり補助事業を活用しなから加速します。 ります。 今後、再任用職員の方など活用し橋長、高さが小さな橋梁については自主点検など行えるよう にコスト縮減を考えていきたい。

道路の重要な構造物である橋梁、トン林については、5年に1度の定期点検が義務づけられており、継続して事業を実施していく必要がある。また、点検結果をもとに長寿命化修繕計画を策定しており、それに基づき計画的に修繕事業に着手する必要がある。

### 令和5年度の事業の方向性

当初予算額

道路建設係

係名

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 (令和 3 年度決算) 事 123001 1 務 価 建設課 事 業 道路橋梁新設事業 細事業 道路橋梁新設事業 実施計画事業 市道牛首線道路改良事業 総合計画体系図No.→ ( 174 豊後大野市過疎地域自立促 進計画 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 別計 策 │1 交通ネットワークの整備 期間 H21 <sup>年度 ~</sup> R3 款 8 年度

道路橋梁新設改良工事請負費 300,000 項 施策展開 ①市道を整備する 2 画 調査設計監理委託料 1,000 名 目 3 後期基本計画 52 P ~ 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 立木伐採委託料 過疎計画 2,000 決算 126 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点 や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができ るように整備する。 舗装新設工事L=360m 法面保護工事A=2974㎡ R 3計画 303,000 156,800 134, 500 1,748 9,952 R3 当初予算 156, 800 1,748 303,000 134, 500 9, 952 決 算 額 143, 714 72,072 61, 100 9,891 651 R 4 計画 R4 当初予算 決 算 額 R 5 計画 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 道路改良工事L=393 m 舗装新設工事L=640 m 法面保護工事A=4202 ㎡ R6計画 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 R7 当初予算 決 算 額 計画額 303,000 156,800 134, 500 9,952 1,748 当初予算 1,748 R3 ~ R7 合 計 156,800 303,000 134, 500 9, 952 決 算 額 143,714 72,072 61, 100 9,891 651

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		千	目標値	280,000				
С	1 補助事業の確保	補助対策事業費額 (年度末)	☑ 個別計画	114, 837	円	実績値	280,000				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	280,000				
D	1 補助事業の確保	補助対策事業費額(令和3年度末)	□ 総合戦略	114, 837	円	実績値	280,000				
成			✓ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(109点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	5 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	19 点	3 点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 事業最終年度であり年度内完了を目指していたが繰越工事が発生した。 令和4年7月末までに事業完了を目指す。 令和4年7月末までに事業完了し、供用開始する。

令和5年度の事業の方向性

C. 終 了

1	23001	2	(令和	3 年度 🤅	<b>上算</b>	)事	務事	業	評値	西	調	# [	課局名	葅	設課		係名	道路	<b>S建設係</b>
事	業	道路橋梁新	設事業		i	細事業	道路橋梁新設事	業			実施語	計画事	<b>業</b> 市道南	部幹線)	道路改良	身事業		終 <sup>-</sup> 年』	
会計	総合 一般	計画体系図№ 第	1	くらしとま	ご心を	生咸でき	スまち			豊	豊後大野	市過	陳地域自立	:促	<b>今和 3</b>	<b>年度</b>	主な歳	出名称	当初予算
款	8	施第	-	ットワーク			049			個進	進計画		≢ ~ R12	1	調査設計			.ш.п.п.	36, 00
項	2	施策展開			- 111					計 画	I	,	KIZ						-
目	3	後期基	<del></del>	P	過政	計画	総合戦略		コナ充当	夕	期間	年月	ŧ ~	年度					
決算	126	A 車番目6	h.m	44		ı	<u> </u>				- T		不畅 . 沙管	#6 MG					
			<b>り・内容・実</b> か l 中容	794	年		<b>十</b> 十 八 玉 利	中生				未削	画額・決算				財源内	訳	(単位:千円
- 7	E#00	事業の目	的と内容		度	No. El Sp. 31	主な活動	人人					事業費計	国県	支出金	地方	債	その他	一般財源
地域		生を高め、鳥	居住地から各			測量設計	·L=960m				R 3		36, 00	0 1	3, 390	21	1,400		1, 21
や中るよ	心部へ、うに整化	・快週で安全 備する。	全な移動や歩	行かでき	R3						当初		36, 00		3, 390		1,400		1, 21
											決算		28, 77	-			5, 900		12, 87
					D.A						R 4		47, 00		0, 528		4, 600		1, 87
					R4						当初 決 第	-	34, 20	J	7, 616	26	5, 200		1, 38
											<i>⊼ ≇</i>		102,00	0 2	2, 848	75	5, 100		4, 05
					R5						当初		102,00	0 2	2, 040	16	5, 100		4,00
<=	令和3年	度の取組内	容(計画) >								決算								
	設計L=9										R 6	-	102, 00	0 2	2, 848	75	5, 100		4, 05
					R6						当初				,				
											決算	額							
											R 7	計画	160, 00	0 3	5, 840	117	7, 900		6, 26
					R7						当初	予算							
											決算	額							
											計画	額	447, 00	0 10	5, 454	324	4, 100		17, 44
							R3 ~ R7	合 計			当初	予算	70, 20	0 2	1,006	46	6,600		2, 59
											決算	額	28, 77	0		15	5, 900		12, 87
		評価指標	名	指	票値の	説明(算)	出方法等)	各語		R 2 9	実績値	近	達成度	R3	R4	1	R5	R6	R7
_				<u> </u>				П	総合戦略			_	目標値	10,800	1	800	40, 80	_	_
С	1 補助	事業の確保		補助対策	事業隻	費額 (年度	末)		個別計画				実績値	23, 911					
活動									ᄪᄱᄞᄜ				達成率	221. 4					
指									総合戦略	·			目標値						
標	2 —								個別計画	i	ŀ,		実績値 達成率						
									総合計画	<u> </u>	_	_	目標値	10, 800	1.9	800	40, 80	00 40, 80	0 64,00
D	1 補助	事業の確保		補助対策	<b>事業</b> 者	7額(令和	17年度末)		総合戦略	l			実績値	23, 911		, 000	40,00	40,00	04,00
成		. Are parts			. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(14.15	1 22.19	~	個別計画				達成率	221. 4					
果									総合計画	_			目標値		L				
华				1					総合戦略	1			実績値						
指	2 —								#6 LI +X#0	l									

E	評価対象外の理由	0評価対象			(対象外事	業は <b>F~I</b> 椎	未記入 可)		
				一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)		
		評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
F	1. 市民満足(市民ア	アンケート) の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		4 点			
評	2. 事業の優先度は高	いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		4 点			
価	3. 事業計画どおりに	事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		4 点			
Щ	4. 活動指標の達成状	況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	21 点	3 点	18点		
	5. 成果指標の達成状	況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	/25点		
	G 【担当係-	長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】	※証価・改		ラた理集職等	年の所目		
計画次年		RODEAT ARE WERRY AT WATERWAY	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 引き続き、計画的に事業を実施する。						

I 令和 5 年度の事業の方向性

⇨

1	23001	3	(令和 3	年度》	央 算	)事	務 事	業	評(	6	調		課局名		建	設課		係名	道路	S建設係
事	業 道路	各橋梁新設	<b>设事業</b>		i	細事業	道路橋梁新設事	事業			実力	施計画	事業   市道	久原	柳瀬・	伏野親	「田線道	鱼路改良	事 終 年月	
計		体系図No.一 政 策	· ( 174 ) Ⅲ 豊かな	くらしとま	ど心を	実感でき	きるまち			曹	後大	野市道	過疎地域自	立促	·   [4	令和 3	年度	主な歳	出名称	当初予算額
欠	8 h	施策	1 交通ネッ	ットワーク	の整備	備				別期	計画 間	П Н23	年度 <b>~</b> R	8 4	年度 〕	直路橋梁	新設改	良工事語	<b>青負費</b>	120,00
Į	<u> </u>	施策展開	①市道を整		-> 1E.	113				計 画		1120	IX	0		間査設計				4, 00
			計画 52		温祥	計画	総合戦略		ロナ充当	名期	間		年度 ~			多転補償		10-11		4, 00
_ :算	126	区初至十	-1112 02	.	ALL PAY	VII III	100 11 12241		-770-	74,	11-7				— ⊢	2大伐採				2, 00
		事業目的	・内容・実績	<b>技</b>	1	ı					В	事業	十画額・決	算額					_	ļ
	事	業の目的	と内容		年度		主な活	動実績			\		事業費	計		-111.		け源内記 /ま		(単位:千円
<1	事業の目的>	•			汉	道路改	良・舗装工事L=2	40m			Б	っ計画	101 1		国県支		地方		その他	一般財源
域	の拠点性を	高め、居	住地から各生な移動や歩行		D0	A PH 94.	N 1111 2X 1. FL 2	10111			-	3計画				, 400		, 700		4, 10
£	うに整備す	る。	(\$1990 \ 91	11%. 66	R3						H	初予算				, 400		, 700		4, 10
					_						H	算額	<u> </u>	-+	25	5, 200		, 200		14, 24
											R	4計画	60,0	000	13	3, 440	44,	, 200		2, 36
					R4						当	初予算	49, 5	500	10	976	36	, 500		2, 02
											決	算額	Į.							
											R	5 計画	100,0	000	22	2, 400	73,	, 700		3, 90
					R5						当	初予算	Ε							
	令和3年度 <i>0</i>										決	算額	Į							
i路	改良・舗装	工事L=240	)m								R	6計画	110,0	000	24	1,640	81,	, 000		4, 36
					R6						当	初予算	Ε							
											決	算 額	Į							
											R	7計画	Ī 60, 0	000	13	3, 440	44,	, 200		2, 36
					R7						当	初予算	[							
											決	算 額	1							
					┢						H	画額	•	200	124	, 320	319	, 800		17, 08
							R3 ~ R7	수 計			H	初予算	,			, 376		, 200		6, 12
								н н			H	算額				5, 200		, 200		14, 24
	_	評価指標名		46.2	<b>≖/</b> ‡ 0			h =			/st /+-	34.14.	******		DO.	l na		Dr.	l no	
$\geq$	Ē	評価指標名	1	1百代	祟胆の	説明(昇	出方法等)	谷書	十四指標	R2美	積但	_	達成度		R3	R4	_	R5	R6	R7
0	1 + 出 古 米	0 T# 10		4± 111.//c:	ar 사는 대	145 (左	oto desi \		総合戦略		000	千円円	目標値		5, 860	24,	000	40, 000	0 44,00	24,00
	1 補助事業	が催保		補助対策	事業質	?観(牛	<b></b> 医額)	~	個別計画	24,	000	%	実績値 達成率		0,000					
5 h												90	理风举 目標値		348. 0					
旨	2 _								総合戦略				実績値							
票	2 —								個別計画			%	達成率							
									総合計画					0	F 000	0.4	000	10.00	0 44 00	0 04 00
D	1	on Table		<b>堵</b> 田 为 您 。	<b>丰米</b> 井	-	fn 7 年 年十)		総合戦略	0.4	000	千.	目標値 実績値		5, 860	24,	000	40, 00	0 44,00	0 24,00
	1 補助事業	りが出水		<b>開助刈</b> 東章	<b>尹</b> 耒貝	では、「中)	和7年度末)		個別計画	24,	, 000	%	達成率		0, 000 348. 0					
į									総合計画			70	 目標値		340.0					
Í	2 —								総合戦略				実績値						+	
F	2 —											%	達成率							
		u === :		<i>h</i>					個別計画			/"	在水平			l			<u> </u>	1
	評価対象外	外の理由	0 評価対	**************************************																未記入 可
				評・	価項目	1/50	の視点 (1~5点	で部価)							_ <u>`</u>	欠評価	(係長)		二次評価	
				ш	IM-74 Г	1/ 0//	,, Drw ( 1 0 W	で計画)							評価	<u>+</u>	評価点	A = J	評価点	評価点合語

L		The state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the s									
Ī		評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	「係長)	二次評価	(課長等)				
		計画項目グラフの税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_2 + x_3 + x_4 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5 + x_5$	5 点		4 点					
	評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点	=	4点					
	_	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5点	=	3 点					
	価	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	21 点	4点	18 点				
		5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	/25点	3 点	∕25点				

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
計画どおり事業実施できた。 次年度以降も計画的に行う必要がある。	引き続き、計画的に事業を実施する。

I 令和 5 年度の事業の方向性

150,000

5,000

3,000

4,600

4,600

17, 381

3, 180

3, 384

3, 180

3, 180

14, 140

7, 984

17,381

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 (令和 3 年度決算) 事 建設課 係名 道路建設係 123001 4 務 価 事 業 道路橋梁新設事業 細事業 道路橋梁新設事業 実施計画事業 市道中原河屋線道路改良事業 総合計画体系図No.→ ( 174 豊後大野市過疎地域自立促 進計画 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 個別計 期間 H24 <sup>年度</sup> ~ R6 道路橋梁新設改良工事請負費 款 8 1 交通ネットワークの整備 年度 項 施策展開 ①市道を整備する 2 移転補償費 名 目 3 後期基本計画 52 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 調査設計監理委託料 決算 126 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点 や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができ るように整備する。 道路改良工事L=235m 舗装新設工事L=65㎜ R 3計画 158,000 67, 200 R3 当初予算 67, 200 86, 200 158,000 決 算 額 130,600 25, 219 88,000 R 4 計画 80,000 17, 920 58, 900 R4 当初予算 84,500 18,816 62, 300 決 算 額 R 5 計画 80,000 17,920 58,900 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 道路改良工事L=235m 舗装新設工事L=235m R6計画 80,000 17,920 58,900 当初予算 R6 決 算 額 R7計画 R7 当初予算

R3 ~ R7 合 計

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	32, 400	32,000	32, 000	32,000	
С	1 補助事業の確保	補助対策事業費額 (年度末)	☑ 個別計画	85, 073	円	実績値	130,000				
活					%	達成率	401.2				
動指標			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	32, 400	32,000	32,000	32, 000	
D	1 補助事業の確保	補助対策事業費額(令和6年度末)	□ 総合戦略	85, 073	円	実績値	130,000				
成			✓ 個別計画		%	達成率	401.2				
成果指標			□ 総合計画			目標値			•		
標	2 —		□ 総合戦略			実績値			·		
			□ 個別計画		%	達成率					

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

398,000

242,500

130,600

120,960

86,016

25, 219

262, 900

148,500

88,000

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可) Ε

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価		
	許伽須日グランの代点(1~9点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ $x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_0 \rightarrow x_$	5 点		4 点		
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		4 点		
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		4 点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	21 点	3 点	18点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえ	えた課長職等の所見
計画どおり事業実施できた。 次年度以降も計画的に実施する必要がある。 引き続き、計画的に事業を実施する。	

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 道路建設係 123001 5 (令和 3 年度決算) 事 務 価 建設課 係名 事 業 道路橋梁新設事業 細事業 道路橋梁新設事業 実施計画事業 市道米山馬背畑線道路改良事業 総合計画体系図No.→( 174 豊後大野市過疎地域自立促 進計画 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 移転補償費 45,000 8 1 交通ネットワークの整備 年度 ~ 年度 R2 R8 項 施策展開 ①市道を整備する 2 画 調査設計監理委託料 17,000 名 3 コロナ充当 期間 年度 ~ 土地等購入費 目 後期基本計画 52 P ~ 過疎計画 総合戦略 10,000 決算 126 立木伐採委託料 3,000 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点 や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができ るように整備する。 橋梁設計 一式 R 3 計画 76,000 1,700 R3 当初予算 42,000 32, 300 1,700 76,000 決 算 額 21, 264 2, 184 18, 100 980 R 4 計画 58, 900 3, 180 80,000 17, 920 R4 当初予算 61,600 13,664 45,500 2,436 決 算 額 R 5 計画 80,000 17,920 58,900 3, 180 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 移転補償費 一式 橋梁設計 一式 R6計画 50,000 11, 200 36,800 2,000 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 50,000 11,200 36,800 2,000 R7 当初予算 決 算 額 223, 700 計画額 336,000 100, 240 12,060 R3 ~ R7 合 計 当初予算 55, 664 137,600 77,800 4, 136 決 算 額 21, 264 2, 184 18, 100 980 指標値の説明 (算出方法等) 評価指標名 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R6 R7

			П	総合戦略		千	目標値	22, 800	32,000	32,000	20,000	20,000
С	1 補助事業の確保	補助対策事業費額 (年度末)	_ _	個別計画	12,000	円	実績値	75,000				
活					%	達成率	329.0					
動指				総合戦略			目標値					
標	2 —			個別計画			実績値					
				旧加门间		%	達成率					
				総合計画		千	目標値	22,800	32,000	32,000	20,000	20,000
D	1 補助事業の確保	補助対策事業費額(令和7年度末)		総合戦略	12,000	円	実績値	75,000				
成			~	個別計画		%	達成率	329.0				
果				総合計画			目標値					
指標	2 —			総合戦略			実績値					
				個別計画		%	達成率					·
E	E 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入可)											

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 4点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 4 点 5点 評 優先度低い 優先度高い 2 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 4点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 21 点 3点 18点 推移していない ⇒ 推移した 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 3点 /25点 推移していない 推移した

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
計画どおり事業実施できた。 次年度以降も計画的に実施する必要がある。	引き続き、計画的に事業を実施する。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 道路建設係 123001 6 (令和 3 年度決算) 事 務 価 建設課 係名 事 業 細事業 道路橋梁新設事業 実施計画事業 市道中学校宇土線道路改良事業 道路橋梁新設事業 総合計画体系図No.→( 豊後大野市過疎地域自立促 進計画 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 土地等購入費 8 1 交通ネットワークの整備 年度 ~ 年度 8,000 R2 R8 項 2 施策展開 ①市道を整備する 画 調査設計監理委託料 3,000 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 3 後期基本計画 52 P ~ 過疎計画 総合戦略 移転補償費 3,000 決算 126 不動産鑑定登記委託料 1,000 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** (単位:千円) 財源内訳 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 **⟨事業の目的⟩** 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点 用地交渉を実施 R 3 計画 15,000 14, 200 800 R3 当初予算 800 15,000 14, 200 決 算 額 R 4計画 14, 784 2, 316 42,900 60,000 R4 当初予算 8,000 7,600 400 決 算 額 R 5計画 14, 784 42,900 2,316 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 起業地買収・補償 一式 R6計画 60,000 14, 784 42,900 2, 316 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 30,000 7,392 21,400 1,208 R7 当初予算 決 算 額 計画額 225,000 51,744 164, 300 8,956 1,200 R3 ~ R7 合 計 当初予算 23,000 21,800 決 算 額 R3 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) 各計画指標 R 2 実績値 単位 達成度 R4 R5 R7 R6 目標値 24,000 24,000 24,000 12,000 □ 総合戦略 C 補助事業の確保 補助対策事業費額(年度末) 14, 350 円 実績値 個別計画 ~ 達成率 % 目標値 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 総合計画 月標値 24,000 24,000 24,000 12,000 甴 D 補助事業の確保 補助対策事業費額(令和7年度末) 総合戦略 14, 350 実績値 ~ 個別計画 % 達成率 ᄨ 目標値 総合計画 指 実績値 総合戦略 標 % 達成率 個別計画

Ε 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) -次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 5点 3点 評 優先度低い 優先度高い 2 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 2点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 19 点 2点 12点 推移していない ⇒ 推移した 4 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 2点 /25点 推移していない 推移した

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
一部の地権者に事業協力が得られなかった。 継続交渉を行う必要がある。	関係者の理解が得られるよう交渉する。

I 令和5年度の事業の方向性

➡ B. 見直しの上で継続-4 縮小

1	23001	7 (令和	3 年度 🤉	夬 算	)事	務 事	業評	価	調	書	課局	<b></b>	建	設課		係名	道路	建設值	係
事	業	道路橋梁新設事業		i	細事業	道路橋梁新設事	業			実施計画	事業	<b></b> 市道木浦	的線道	路改良	事業		終了年度		R7
会計		計画体系図No.→ ( 174 ) 政 策 Ⅲ 豊かれ	よくらしと多	安心を	実感でき	さるまち			豊後	大野市	過疎地:	域自立仮	Ē (4	令和 3	年度	主な歳出	名称	当初引	予算額
款	8	<b>施 策</b> 1 交通ネ	ットワーク	の整体	備			5		「囲 I R3	年度 ~	R7	年度 貳	剛査設計	監理委	託料		4	28, 00
項	2	施策展開 ①市道を	整備する					Ī	画										
目	3	後期基本計画 52	P	過政	計画	総合戦略	□ コロナ充	当 1	名 期間		年度 ~		年度						
夬算		A 事業目的・内容・実	種							B 事業	計画額	・決算額	<b>等</b>						
		事業の目的と内容		年度		主な活動	协実績				事	業費計				才源内訳 		単位:	
<1	事業の目的	的>		及	測量設計	HL=800m			┪	R3計画	fi	28,000	国県支	.田金 , 712	地方· 16	1頁 400	その他	一般	<b>!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!</b>
地域 や中	の拠点性 心部へ、	tを高め、居住地から名 快適で安全な移動や歩 ftする。	ト生活拠点 ミ行ができ	R3					11	当初予算	_	28, 000		, 712	-	400			88
るよ	うに整備	背する。							11	決 算 客	-	3, 424	- 10	, , , , ,		200			22
										R 4 計画	_	44, 000	ç	, 856		, 400			1, 74
				R4					H	当初予算	<b>章</b>	33, 200		, 392		, 500			1, 30
									H	決 算 客	湏								
										R 5 計画	<b>■</b>	91,000	20	, 384	67,	, 000			3, 61
				R5						当初予算	草								
<=	令和3年	度の取組内容(計画) >								決 算 客	頂								
則量	設計L=40	00 m								R 6計画	<b>1</b>	21,000	27	, 104	89,	200			4, 69
				R6						当初予算	<b>章</b>								
									[	決算を	湏								
										R 7 計画	<b>■</b>	85, 000	19	, 040	62,	, 600		;	3, 36
				R7					Ш	当初予算	草								
									_	決算を	湏								
									11	計画客		69, 000	87	, 096	267,	, 600		1	4, 30
						R3 ~ R7	合 計		11	当初予算	-	61, 200	18	, 104		900			2, 19
										決算を	识	3, 424			3,	, 200			22
$\leq$		評価指標名	指相	票値の	説明(算	[出方法等)	各計画指	標 F	R2実績	値 単位	達成	度	R3	R4		R5	R6		R7
							□ 総合	戦略		壬	目標	値	8,400	17,	600	36, 400	48, 40	0 3	4, 00
С	1 補助事	<b>事業の確保</b>	補助対策	事業費	骨額 (年月	度末)	✔ 個別	計画		円	実績		19, 129						
活 動							<u> </u>			%	達成		227. 7						
指	2 _						□ 総合	戦略			目標								
悰	2 —						□ 個別	計画		%	達成								
			†				総合	計画		千	目標	_	8, 400	17.	600	36, 400	48, 400	) 3	4, 00
D	1 補助事	事業の確保	補助対策	事業費	智 (令和	17年度末)		戦略			実績		19, 129	1.,		,	-5, 20,	1	., .,
成 果			<u> </u>				┏別	計画		%	達成		227. 7						
指							□ 総合	計画			目標	値							
標	2 —							戦略			実績								
			<u> </u>				□ 個別	計画		%	達成	率							
E	評価対	象外の理由 0評価対	対象												(対象	外事業に	ţ <b>F~I欄</b>	未記入	(可)
			===	/# +F C	- / - 0 /	D 担占 (1~5占7	たまで(本)						-2	欠評価	(係長)		二次評価	(課長等	等)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 4点 なっている 4 → 5 なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 5点 4 点 評 優先度高い 優先度低い → 2 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 3点 できなかった 1 → 2 → 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3 点 19 点 3点 17点 推移した 4 → 5 推移していない ⇒ 1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 3 点 /25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改	<b>女善策等を踏まえた課長職等の所見</b>
測量設計の年度内完了を目指していたが、地元協議等により繰越が生じた。 遅れを取り戻すため、次年度予定業務の同時進行調整を図る。 引き続き、計画的に事業を実施する。	

I 令和 5 年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 道路建設係 123001 9 (令和 3 年度決算) 事 務 価 建設課 係名 市道肝煎中央・肝煎鬼塚線道路改良事 業 事 業 道路橋梁新設事業 細事業 道路橋梁新設事業 実施計画事業 総合計画体系図No.→( 174 豊後大野市過疎地域自立促 進計画 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 1 交通ネットワークの整備 期間 年度 ~ 調査設計監理委託料 20,000 8 年度 R3 R7 項 2 施策展開 ①市道を整備する 名 3 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 52 P 過疎計画 総合戦略 決算 126 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点 や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができ るように整備する。 路線測量L=370m R 3 計画 20,000 1,000 R3 当初予算 1,000 20,000 19,000 決 算 額 8,764 8,300 464 R 4 計画 19,000 1,000 20,000 R4 当初予算 41,000 38,900 2, 100 決 算 額 R 5 計画 60,000 57,000 3,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 路線測量L=370m 詳細設計L=370m R6計画 60,000 57,000 3,000 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 3,000 60,000 57,000 R7 当初予算 決 算 額 計画額 220,000 209,000 11,000 R3 ~ R7 合 計 当初予算 61,000 57, 900 3, 100 決 算 額 8,764 8,300 464 各計画指標 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R7 R6 目標値 20,000 20,000 60,000 60,000 60,000 □ 総合戦略 С 起債事業の確保 起債対象事業費額(年度末) 実績値 20,000 ✓ 個別計画 % 達成率 100.0 目標値 □ 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 総合計画 月標値 20,000 20,000 60,000 60,000 60,000 D 起債事業の確保 起債対象事業費額(令和7年度末) 総合戦略 実績値 20,000 個別計画 % 達成率 100.0 ᄨ 目標値 総合計画 指標 実績値 総合戦略 達成率 個別計画 % 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

_							
		評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)	
		計画項目/5つの税点(1~5点で計画)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1.	市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		4 点	
評	2.	事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		3 点	
価	3.	事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
Щ	4.	活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	19 点	3 点	16 点
	5.	成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
年度内完了を目指していたが、地元協議等により繰越が生じた。 遅れを取り戻すため、次年度予定業務の同時進行調整を図る。	引き続き、計画的に事業を実施する。

I 令和5年度の事業の方向性

(様式1) (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 枝番 課局名 (令和 3 年度決算) 事 係名 道路建設係 123001 10 務 価 建設課 事 業 道路橋梁新設事業 細事業 道路橋梁新設事業 実施計画事業 市道漆生横尾線道路改良事業 R10 総合計画体系図No.→ ( 174 豊後大野市過疎地域自立促 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 進計画 別計 <sup>年度</sup> ~ R7 款 策 期間 調査設計監理委託料 8 1 交通ネットワークの整備 年度 3,000 R3 項 施策展開 ①市道を整備する 2 画 名 3 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 52 P ~ 過疎計画 総合戦略 決算 126 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点 や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができ るように整備する。 路線検討 一式 R 3 計画 3,000 200 R3 当初予算 2,800 200 3,000 決 算 額 473 473 R 4 計画 55, 500 2, 168 40,900 12, 432 R4 当初予算 決 算 額 R 5計画 37,500 8,400 27,600 1,500 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 路線検討 一式 R6計画 121,000 27, 104 89, 200 4,696 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 5, 388 138,000 30,912 101,700 R7 当初予算 決 算 額 計画額 355,000 78,848 262, 200 13,952 R3 ~ R7 合 計 当初予算 3,000 2,800 200 決 算 額 473 473 各計画指標 R2実績値 単位 達成度 R3 R4 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) R5 R6 R7

_									
			総合戦略		目標値	22, 200	15, 000	48, 400	55, 200
С	1 補助事業の確保	補助対象事業費額 (年度末)	- ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		実績値				
活				%	達成率				
動指			□ 総合戦略		目標値				
標	2		個別計画		実績値				
				%	達成率				
			総合計画		目標値	22, 200	15,000	48, 400	55, 200
D	1 補助事業の確保	補助対象事業費額(令和7年度末)	□ 総合戦略		実績値				
成			□ 個別計画	%	達成率				
果指			□ 総合計画		目標値				
標	2 —		□ 総合戦略		実績値				
			□ 個別計画	%	達成率				
	=7/T-1/4-W 0-77/ 77/T-1						1 A . 1 - AL . 1		

評価対象外の理由 0評価対象 Ε (対象外事業はF~I欄未記入 可) 一次評価 (係長) 二次評価 (課長等)

評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 1 → 2 → 3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 2点 評 優先度低い 優先度高い 2 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 3点 2点 できなかった できた 価 4 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 12点 3点 10点 推移していない ⇒ 推移した 3 → 4 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 /25点 推移した

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
事業化に向けての路線検討実施を行った。 事業化に向けての根拠整理(必要性等)が必要。	小学校跡地の利用を考慮し事業化に向けての資料整理を行う。

令和5年度の事業の方向性 I

D. 休 止

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 道路保全係 124002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 建設課 係名 事 業 河川総務事業 細事業 準用河川管理事業 実施計画事業 準用河川管理事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 準用河川維持工事請負費 款 策 期間 年度 8 8 防災対策の充実 年度 ~ 2,000 項 施策展開 ③災害対策を強化する 3 名 目 後期基本計画 66 P コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 過疎計画 総合戦略 決算 127 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 **<事業の目的>** 市管理河川の堆積土砂除去や軽微な護岸補修 令和3年度準用河川茜川河川維持工事はコン クリートエV=23.0m3で実施済み。 R 3 計画 2,000 2,000 工事等、災害防除と景観に配慮した事業である。 R3 当初予算 2,000 2,000 決 算 額 1, 287 1, 287 R 4計画 2,000 2,000 R4 当初予算 2,000 2,000 決 算 額 R 5 計画 2,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 準用河川茜川河川維持工事実施済み。 R6計画 2,000 2,000 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 2,000 2,000 R7 当初予算 決 算 額 計画額 10,000 10,000 R3 ~ R7 合 計 当初予算 4,000 4,000 決 算 額 1, 287 1, 287

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		□ 総合戦略		千	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
I 維持補修要望	医事補修金額		2, 000	円	実績値	1, 287				
				%	達成率	64. 4				
		□ 総合戦略			目標値					
=					実績値					
				%	達成率					
		総合計画		筃	目標値	2	2	2	2	2
維持補修工事	実施箇所数	□ 総合戦略	1, 584	所	実績値	2	2	2	2	2
		□ 個別計画		%	達成率	100.0	100.0	100	100	100
		□ 総合計画			目標値					
_		□ 総合戦略			実績値					
		□ 個別計画		%	達成率					
糸	- 推持補修工事	生持補修工事 実施箇所数	E事補修金額       個別計画         総合戦略       個別計画         総合戦略       個別計画         総合計画       総合戦略         個別計画       総合戦略         一個別計画       総合計画         総合計画       総合戦略	□   □   □	生持補修要望     医事補修金額     2,000     円       総合戦略     個別計画     %       機合計画     総合計画     協合計画       機合計画     総合計画     総合計画       総合計画     総合計画       総合計画     総合計画	医事補修金額       二級合戰略 國別計画       2,000       一円 突積值         総合戰略 個別計画       目標值 実績值         総合計画 性持補修工事       総合戰略 個別計画       1,584       箇目標值 実績值         総合計画 総合計画 総合計画       総合計画 総合計画 総合報略       目標值 実績值	E事補修金額     2,000     円     実績値     1,287       総合戦略     達成率     64.4       個別計画     %     達成率       総合財幣     96     達成率       上持補修工事     総合財幣     1,584     所     実績値       個別計画     2     実績値     2       協合財幣     1,584     所     実績値     2       %合計画     総合計画     目標値     2       %合計画     総合財幣     目標値     実績値	E事補修金額     2,000     円     実績値     1,287       総合戦略     総合戦略     目標値     実績値       協別計画     %     達成率       総合計画     総合戦略     1,584     目標値     実績値       協別計画     総合戦略     1,584     所     実績値     2     実績値       個別計画     総合戦略     1,584     所     達成率     100.0     100.0       総合計画     総合戦略     実績値     実績値	E 事補修金額     2,000     日     実績値     1,287       総合戦略	E 事補修金額     2,000     日     実績値     1,287       総合戦略

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)	
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)	評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	4 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	5 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	22 点	3 点	15点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	/25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

準用河川維持補修工事については唯一市が管理する河川でありますので、地元要望により堆積土砂撤去及び軽微な補修工事を行っております。今後も、少ない予算でありますが市民の要望に添うように活用していきます。 また、大規模な案件につきましては、災害復旧事業を活用し対応していきます。 準用河川市については、市が管理する河川であり今後も継続して事業をする必要がある。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 道路保全係 (令和 3 年度決算) 事 建設課 係名 124003 1 務 価 事 業 河川総務事業 細事業 普通河川管理事業 実施計画事業 普通河川管理事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 257 ) 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 当初予算額 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 個別計 策 8 防災対策の充実 期間 普通河川流末排水整備工事請負費 款 年度 ~ 年度 12,400 8 項 施策展開 ②災害危険区域を整備する 3 画 名 目 後期基本計画 66 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 決算 127 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額 決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 県営治山事業の市管理分流末排水路整備事業 である。 令和3年度北平川流末排水路整備工事L=90.6 mについては、大分県砂防事業の完成が遅れ た為、繰越し事業において工事中であります R 3 計画 12,400 12,400 R3 12,400 当初予算 12,400 決 算 額 R 4 計画 R4 当初予算 決 算 額 R 5 計画 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 排水構造物設置工事L=100m程度実施予定。 R6計画 当初予算 R6 決 算 額 R 7 計画 R7 当初予算 決 算 額 計画額 12, 400 12,400 12, 400 12, 400 当初予算 R3 ~ R7 合 計 決 算 額

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
			□ 総合戦태	各	千	目標値	12, 400					
С	1 普通河川管理	事業費	┃	12,400	円	実績値						
活					%	達成率						
活動指			□ 総合戦	各		目標値						
標	2 _		□ 個別計[	a i		実績値						
				-	%	達成率						
			□ 総合計員	画	+	目標値	12, 400					
D	1 普通河川管理	事業費	□ 総合戦闘	各	円	実績値						
成			□ 個別計員	画	%	達成率						
果指標			□ 総合計画	ΞĪ.		目標値						
標	2 —		□ 総合戦闘	各		実績値						
			□ 個別計画	画	%	達成率						
E	評価対象外の理由 ()評価対	t象							(対象外事	業はF~Ⅰ欄	未記入 可)	
			₩ / <b></b> \				一次	評価(	係長)	二次評価	(課長等)	
		計画項目/5つの税点(1~5点で	計順/				評価)	点言	P価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているか	,	1 → 2 → なっていない	→ 3 -	→ 4 → 5 なっている	3	点		3 点		
評       2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)       1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い       3 点												
	3 事業計画どおりに事業を進め	ウスニレができたか			. 3 -	→ 4 → 5	1	占		1占		

価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5       できなかった ⇒ できた       1点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した — 点 7点 — 点 7点	点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した — 点 /25点 — 点 /25	点
	G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見	٦
普通 事等	河川管理事業については通年予算化しておりませんが、大分県や関係機関との関連工 の際には、予算要求していきたい。	県営砂防事業で実施した箇所の流末の整備事業であり、今後、この事業を実施するか県と協議が必要と思われる。	,

I 令和5年度の事業の方向性

当初予算額 748

749

749

749

3,743

1, 497

507

4	¥番号		枝番		( 4	內和	3	年	度	計	画	)	総	合言	计画	j実	施言	十画	書	(兼	進	捗	管理	里)									(様式
]	24004		1		( 4	和	3	年	度	決	算	)	事		務	事		業	F	F	価		調	書	課	局名		建設課		係名	呂	道路	8保全係
事	業	河,	川総務	事業							i	細事	業	河川	総發	事務	費						実	施計画	事業	河川プー	ール管	理委託	事業			終 <sup>-</sup> 年原	
	総合	計画	画体系図N	10.→	( 2	58 )							!										-										
会計	一般		政	策	Ш	豊か	なく	ĊĠ	しと	安	ふを	実感	でき	るま	ち						個							令和 3	3 年度	主なげ	歳出名	 5称	当初予
款	8	╽┝	施	策	8 [	方災	対策	のす	宝												別	IЩ	間	4	F度 ·	~	年度	河川プー	ール管理	<b> </b>	4		
項	3	1 -	施策展	開		(害)	****			整備	する										計画												
E E	1	╂┝	後期基			/	6 1		Г			計画	1	_	松△	戦略	Г	7	コロナ	<b>杂</b>	名	. 1	間	4	E度 ·	_	年度						
決算	127	l L	区和名	64	11 122	0	0 1				四以		l		₩0 口	一大川口			JH /	,L=	<u> </u>	75	31FJ				7.2						
八开	121	A	事業目	的·	内	容•	実績	ŧ															В	事業計	画名	・決算額	事						
		3	事業の目	台的	レ広	灾					年度					トから	£ 16h 9	主結			事業費計							財源内	1訳		(単位:千		
				1 11 2	_ [*]	т-					度	主な活動実績													*未良吅	国県	支出金	地方	f債	そ	·の他	一般則	
<	事業の目  山川河	<b> 的</b> ) 川フ	> プールを	安心	宏	全に	利用	ルー	てい	Г		令和した		度に	つい	ては	堆積	生化	炒除去	を行	いま		R	3計画		748							
ただ を行	く為、	堆積	責土砂除	去及	とび	怪微	な補	修	匚事		R3	0,0	-0										当	初予算		748							
Æ 11	<i>)</i> 。									ı													決	算 額		507							
										t													R	4 計画		748							
										Т	R4												当	初予算		749							
										ı													決	算 額						$\neg$			
										H												_		5計画	<del>                                     </del>	749							
										ı	R5												<b>—</b>		<del>                                     </del>	749					_		
	^ <del>-</del> ·		4-		/=·					1	C													初予算	<u> </u>						-		
	令和3年 利田時							<del>\</del> #:∓	- 本本	L													-	算額	1		<u> </u>				<u> </u>		
	夏期利用時ならびに水しぶき大会前に堆積砂除去を1~2回行う予定です。								₹.L.	Т													R	6計画		749							

R3 ~ R7 合 計

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	748	749	749	749	749
С	1 維持補修工事	堆積土砂除去	個別計画	748	円	実績値	507				
活					%	達成率	67. 8				
活動指標			総合戦略			目標値					
標	2		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		千	目標値	748	749	749	749	749
D	1 実績	実施数	□ 総合戦略	748	円	実績値	507				
成			□ 個別計画		%	達成率	67.8				
成果指標			総合計画			目標値					
標	2		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
Е	評価対象外の理由 0 評価対	<b> </b>						<b>文</b> )	対象外事業に	<b>ドー・I欄</b> 未	記入 可)

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 3点 評 優先度低い 優先度高い → 4 **→** 2 **→** 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 15 点 21 点 3点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 /25点 3点 /25点

G	【担当係長の意見	・課題・改善策等】	※今後の事業の進め方等	等
			<sup>9</sup> 帰省している子供たちの	
て活用していた	だく為の予算であり	り、お盆には自山川	水しぶき大会も盛大に彳	<b>亍われており</b>

R6

R7

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

ます。 課題については、河川プールがかなり老朽化しており、今後も安全確保の為には補修工事 等が必要であると考えられます。 市としましては、地元白山地区の同意をいただき大分県との管理委託契約を解除させてい ただき予算の縮小・廃止を考えます。

令和 5 年度の事業の方向性

白山河川プールについては県と管理委託契約により市が管理している。今後、施設 の老朽化等を考慮し管理委託契約を解除する方向で検討する。

 $\Rightarrow$ B. 見直しの上で継続-4 縮小

当初予算 決 算 額 R 7 計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

749

3, 743

1,497

507

<b>車 要</b> 鱼属对地岛墙外垒市类 <b>如車要</b> 古帝鱼属对地岛墙外垒市类 <b>字旋补高車要</b> 古帝鱼属烈地岛墙外垒市类	各保全係 了なし
## #   では、	
会計 一般 款 8       政 策 Ⅲ 豊小なくらしと安心を実感できるまち       期間 年度 ~ 年度       中度 全度       中度 全度       中度 全度       期間 年度 ~ 年度       中度 全度       中度 全方の他のできます。       中度 全方の他のできます。       中度 全方の他のできます。       中度 全方の他のできます。       日 1 日 1 日 1 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2	
日   1   後期基本計画   66   P   過疎計画   総合戦略   コロナ充当   名   期間   年度 ~ 年度   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	当初予算額 88,000 16,500
事業の目的と内容     年度     主な活動実績     事業費計     財源内訳       (本事業の目的) 急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命・ 財産を守るため、災害の未然防止を図るため 事業実施する。     令和3年度市営急傾斜地崩壊対策事業実績については測量設計業務委託8件11、247千円、対策工事15件81、620千円であります。     日間 104,500 	10,000
<ul> <li>(事業の目的〉 急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命・ 関産を守るため、災害の未然防止を図るため事業実施する。</li> <li>R3計画 104,500 40,000 52,900 8,80 当初予算 104,500 40,000 52,900 8,80 決算 額 92,867 40,750 41,400 8,16 R4 計画 104,500 33,750 47,000 21,17 当初予算 104,500 40,000 52,800 8,80 決算 額</li> </ul>	(単位:千円)
R4     第 額 92,867 40,750 41,400 8,16       R4計画 104,500 33,750 47,000 21,17       当初予算 104,500 40,000 52,800 8,80       決 算 額	2,800
决 算 額	-,
P5計画 104 500 92 750 47 000 91 17	,
R5 R5 学	2, 575
令和3年度 市営急傾斜地崩壊対策事業 15件(発注予定) R6 R6 R6 R6 R6 R6 R6 R6 R6 R6 R6 R6 R6	2, 575
R7     決算額       R7     日本       BR7     日本       BR7     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本     日本       日本 </td <td>2, 575</td>	2, 575
R3 ~ R7 合計     決算額       計画額     522,500     175,000     240,900     93,50       当初予算     209,000     80,000     105,700     17,60       決算額     92,867     40,750     41,400     8,16	5, 700

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	104, 500	104, 500			
С	1 事業要望	要望件数	□ 個別計画	72, 750	円	実績値	92, 867				
活					%	達成率	88. 9				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	104, 500	104, 500			
D	1 工事実績	市営急傾斜地崩壊対策事業完了件数	□ 総合戦略	55, 649	田	実績値	92, 867				
成			□ 個別計画		%	達成率	88. 9				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	·象	·	<u> </u>		<u> </u>		(\$	対象外事業に	<b>まF~I欄</b> ≉	未記入 可)

1 → ∠ 優先度低い · 2 → 5点 4 点 評 便先度低い ⇒ 優先度高い 1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた 1 → 2 → 3 → 4 → 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 18 点 3 点 17点 3点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 /25点 推移した

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
市営急傾斜地崩壊対策事業については、市民のみなさまの生命・財産を守る為の必要不可欠な事業であり、大分県補助金を活用し毎年10件以上の事業実施をしております。しかし、事業申請される市民の方が多く、申請待ちの方がかなりおられます。今後も予算の確保に留意し申請待ち件数の削減を図るため速やかに事業実施してまいります。

I 令和 5 年度の事業の方向性

**⇔** A.

_			
#	業番号		枝番
1	27001		1
事	都	市計画	
	計i	画体系	
会計	一般		政

4	業番号	枝番 (	令和 3	年度言	十 画	) 兼	8合言	<del> </del> 画実	施計	画書	(兼)	≛捗′	管理	∄)								(村	<b>羨式 1</b> )
1	27001	1 (*	令和 3	年度》	央 算	) 耳	耳 矛	<b>务</b> 事	業	評	価	i <b>1</b>	淍	書	課局名	3	建	設課		係名	都市計	-画美	<b>建築係</b>
事	業	都市計画総務事業	<u></u> 業			細事業	都市	計画総務	等業				実旅	<b>拖計画</b>	事業空	き家等	除却補	助事業			終 <sup>-</sup> 年J		なし
	総合	計画体系図No.→(	261 )																			^	
会計	一般	政 策 Ⅲ	[ 豊かな	くらしと多	そ心を	実感で	きるま゛	ち				地間県	域住:	宅等整 )	儲計画	(大分	ŕ	3 和 3	年度	主な歳出	名称	当初	刃予算額
款	8	施 策 8	防災対策	その充実 かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ											⊭度 ~	R7	年度 名	≧き家等	対策補	助金			20,000
項	4	施策展開 ③	災害対策	を強化す	る							画											
目	1	後期基本計画	画 66	P	過政	村画		総合戦略		コロナ充	产当	名期	間	4	⊭度 ~	:	年度						
決算	129	A 事業目的・内	容・実績	i									в	事業計	画額・波	<b>決算額</b>	*						
		事業の目的と内		~	年			主か	舌動実約	ŧ				<u> </u>	事業		-		ļ	財源内訳		(単位	: 千円)
	<b>上米</b>		770		度	V	\1 \1 \m				5± 10 ±					RIII	国県支	出金	地方	債	その他	-	般財源
倒壊		れのある老朽危険				たため	、補正	30件を大 予算で増	額した	が、目標	標を上	口	-	3 計画	1	5,000		, 500					7, 500
冬件	を満た。	周辺道路や近隣に す空家の解体に対	けし補助を	行うこ	R3	る実績指摘に	となっ より対	た。国費 象外 t る	さについ ものが	ては会え	計検査 ため減	の 額	-	切予算	1	5,000		, 500					7, 500
とで	、安全	<ul><li>・安心なまちづく</li></ul>	、りを行う	) <sub>o</sub>	_	となっ	た					_	<u> </u>	算額	+	5, 523	5	, 828					12, 695
					<u>.</u> .								<u> </u>	4計画		, 000		, 500					7, 500
					R4								_	切予算	1	, 000	10	, 000			10,000		
					_							_		算額									
					DE								<u> </u>	5計画	1	5,000	7	, 500					7, 500
	^ <b>=</b>	- <b>库</b>	1 = 1 >		R5								-	切予算	+								
		<b>■度の取組内容</b> (計 家除却費補助 3			_							_	<u> </u>	算額	+			500					7 500
					R6								<u> </u>	6 計画 切予算	1	5, 000	- 1	, 500					7, 500
					ΝŪ								_	算額	1								
					_							-	<u> </u>	チャスフォンファックランファック かいしょう かいしょう かいしゅう かいしゅう アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア		5, 000	7	, 500					7, 500
					R7								-	7 m 四 切予算	10	, 000	- '	, 500					1, 500
					١٠,								_	算額	1								
					┢								H	画額	1	i, 000	37	, 500					37, 500
							R3	~ R	7 合	計				切予算	-	5,000		, 500			10,000		7, 500
													-	算 額	1	, 523		, 828			,		12, 695
															•	•		•		•			
		評価指標名		指相	票値σ	説明(拿	章出方法	法等)		各計画指	旨標	R 2 実	績値	単位	達成度		R3	R4		R5	R6		R7
										総台	)戦略			件	目標值		40		30	30	3	0	30
С	1 老朽;	危険空家除却		老朽危険	空家角	解体補助	を行っ	た件数		 	別計画		36		実績値	_	45						
活動													_	%	達成率	_	112. 5					+	
指	2									総合	含戦略				目標値	_						+	
標	2 —										別計画		}	%	実績値	_						+	
	l								- 1					/0	生水平	1					ı	- 1	

	計測指標有	拍标他の説明(昇山万広寺)	谷計画拍标	RZ美粮胆	甲四	连队及	Nο	Ν4	СЛ	ΝŪ	K/
			□ 総合戦略		件	目標値	40	30	30	30	30
C	1 老朽危険空家除却	老朽危険空家解体補助を行った件数	個別計画	36	' '	実績値	45				
活					%	達成率	112.5				
動 指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		件	目標値	40	30	30	30	30
D	1 老朽危険空家除却	老朽危険空家の除却を行った件数	□ 総合戦略	36	1	実績値	45				
成			□ 個別計画		%	達成率	112. 5				
果			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
_											

E 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	18 点	3 点	17点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	/25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 当初予算の30件については早い段階で申請数が上回っていたため、9月補正により増額し40件とした。
11月の会計検査において、不良住宅のみが対象との指摘を受けたため、補助対象については住宅のみとしている。3年度については倉庫等を含め45件の申請があったが、4年度からは倉庫等が対象とならないため、30件の予定としている。ただし、倉庫についての問い合わせが多く、対象としてほしいとの要望は多い。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

	<b>業番号</b> 27001	<b>技番</b> 2	<ul><li>( 令和</li></ul>					<sup>総合計し</sup> 事 務	当実別 事	画計画 業	· 書(兼 · 評	進] 西	步官 調		課局	<b>高名</b>	3	建設課		係名	都市計	( <b>様式 1</b> 十画建築係
事	業	都市計画総	務事業				細事業	都市計	画総務	事業			9	実施計画	事業	未来カフ	フェ活	動支援事	F業補助	<b>力事業</b>	終年	
会計	総合	計画体系図№.			舌を支え	えるし	ごとが	あるまち					-					令和 3	年度	主な歳	出名称	当初予算
款	8	施策	-									個別	期間		年度 ~		年度	未来カフ				1, 2
項	4	施策展開										計画										
目	1	後期基	<b>本計画</b> 3	0 P		過政	計画	総	合戦略		コロナ充当	名	期間		年度 ~		年度					
<del></del>	129		L _L						ı													
		A 事業目的		<b>天積</b>		年							٦ ۲	3 事業i -			<b>夏等</b>	<u> </u>	ļ	財源内語	沢	<del>!</del> (単位:千円
		事業の目	的と内容			度			主な活	動実績					事:	業費計	国県	支出金	地方		その他	一般財源
<b>&lt;事</b>	業の目	<b>的&gt;</b> ノごおおのラ	未来カフェ	の活動	か支		新型コが出来	ロナウイ	ルスの ため ュ	影響によ 重業が行	り十分な	舌動	7	R 3 計画	Ī	1,200					1, 200	
爰し	、中心市	万街地の活性	生化を目指	す	, , , ,	R3	会員と	協議の結	果、次年	羊度以降	も十分な	舌動	i	当初予算	Ĭ	1, 200					1, 200	
							かるこ	こととした。	りない	こめ、一	「旦争来を)	小正	ž	夬 算 額	Ą	246					200	4
													16	R 4計画	Ī.	1,200					1,200	
						R4							3	当初予算	Ĭ							
													;	夬 算 額	Ą							
													16	R 5 計画	ij.							
						R5							1	当初予算	Ĭ							
<	3和3年	度の取組内	容(計画)	>									ž	夬 算 額	Ą							
		<sup>1</sup> 心とした気 ラスの運営											11	R 6計画	ij.							
イベ	ントの開	ラベの座を 引催	ä			R6							1	当初予算	Ĭ							
													;	夬 算 額	Į.							
													11	R 7 計画	<u> </u>							
						R7							1	当初予算	Ĭ							
													3	夬 算 額	Į.							
														計画額	Ą	2, 400					2, 400	
								R3	~ R7	合 言	t		-	当初予算	Ĭ	1, 200					1, 200	
													-11-	夬 算 額	+	246	1				200	4
		評価指標	名		指	票値の	説明(	算出方法等	(	各	計画指標	R 2	2 実績	値 単位			R3	R4		R5	R6	R7
											総合戦略	Š			目標							
	1 —										個別計画	Ī		6.	実績							
活動										+-		-		%	達成				_			
指	0										総合戦略	Š			目標				_			
標	۷ —										個別計画	Ī		04	実績				-			
				+						+	総合計画	1		%	達成				<del>-  </del>		1	-
D	1 —										総合計画総合戦略	1			目標 実績							
	. –										総合 戦略 個別計画	1		%	達成				-+			
成 果											総合計画	_		/	目標				-			
指				- 1							本の口間世	1			口 1示	112						

成					個別計画	%	達成率					
果指					総合計画		目標値					
標	2 —				総合戦略		実績値					
					個別計画	%	達成率					
E	評価対象外の理由	0評価対	·  象							(対象外事	業は <b>F~I</b> 棚	未記入 可)
			評価項目/5つの視点(1~5点で	≣π /æ \				-2	た評価 (イ	系長)	二次評価	(課長等)
			評価項目/5つの税点(1~5点で	計1四)				評価	点 評	価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民7	<b>ア</b> ンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているだ	)\	1 → 2 なっていな	,\ ⇒	→ 4 → なってい	<u>る</u>	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高	いと思うか	、(同じ成果指標設定事業内での優先度)		1 → 2 優先度低し		→ 4 → 優先度高	_	3 点		2 点	
価	3. 事業計画どおりに	事業を進め	りることができたか		1 → 2 できなかっ	: ⇒	→ 4 → できた	5	3 点		2 点	
Щ	4. 活動指標の達成物	代況(率)は計	†画どおり推移しているか		1 → 2 推移していた		推移した		点	9 点	—— 点	7点
	5. 成果指標の達成物	代況(率)は計	†画どおり推移しているか		1 → 2 推移していた		→ 4 → 推移した		点	/25点	点	/25点
	G 【担当係	長の意見・	課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等		Н	担当課	長職等の所見	引】 ※評値	頭・改善領	<b>後等を踏ま</b>	えた課長職等	の所見
な姿	勢が見られなくなって	ていた。	会員のモチベーションが下がり、事業に対 来なかったため、会員と協議し、事業の休			いるが、	,今後の活	動について	必要があ	られば協議	を行う。	

令和5年度の事業の方向性

。 未来カフェの名称は都市再生整備計画にも記載があるため残しておく必要があるため休止 としたい。

 $\Rightarrow$ 

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 都市計画建築係 127001 3 (令和 3 年度決算) 事 価 建設課 係名 事 業 細事業 市計画総務事業 実施計画事業 赤嶺バイパス交差点概略検討 都市計画総務事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 調查設計委託料 8 4 商業・サービス業の振興 年度 ~ 年度 2,000 項 4 施策展開 ③中心市街地を活性化する 名 B 後期基本計画 30 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 決算 129 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 進入路に関して検討したが画期的なものはなかった。今回提案のあったもので検討を重ね、第3工区の開発が具体的となるまで休止す <事業の目的> 赤嶺バイパスの商業ゾーン入口付近の混雑解 R 3 計画 2,000 2,000 消のため国道、県道を含め、進入路の検討を 行う。 R3 当初予算 2,000 2,000 決 算 額 1,870 1,870 R 4 計画 R4 当初予算 決 算 額 R 5 計画 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 国道、県道及び市道からの進入路の検討。 R6計画 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 R7 当初予算 決 算 額 計画額 2,000 2,000 当初予算 R3 ~ R7 合 計 2,000 2,000 決 算 額 1,870 1,870 各計画指標 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R5 R6 R7 目標値 赤嶺バイパス交差点概略県 等 □ 総合戦略 C 進入路検討業務一式 実績値 □ 個別計画 達成率 % 100.0 動 目標値 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 総合計画 月標値 D 総合戦略 実績値 個別計画 % 達成率 ᄨ 目標値 総合計画 指 実績値 総合戦略 標 % 達成率 個別計画 Ε 評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) -次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 → 2 3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっていない なっている

2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

今回検討したが、県道との接続は困難であるため、既存市道を一部拡幅する案が現実的となった。 しかしながら、進入路の根本的な解決にはなっていない。今後は第3工区の開発が具体的 となった時点で再度検討することとし、現状でしばらく様子を見ることとしたい。

令和5年度の事業の方向性

3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか

4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

評

価

優先度低い

できなかった

2

推移していない ⇒

D. 休 止

3 → 4

→ 3 → 4

【担当課長職等の所見】

2点

3点

3点

11点

/25点

2点

4点

県道、国道の接続について検討を行ったが、困難であるため、第3工区の開発が 具体的となった時点で再度検討する。

11 占

/25点

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

優先度高い

できた

推移した

推移した

5

12 <sup>'</sup> 事	_	枝番	(	令和	3 4	₣度	計	画)	総合	ョ恄	画実	拖計i	画書	(兼	進捗	管理	里)								(核	<b>美式 1</b> )
事	7001	4	(	令和	3 4	₣度	決	算)	事	務	事	業		¥ fi	<b>5</b> 1	調	書	課局	3名	廷	と設課		係名	都市	計画類	<b>建築係</b>
	業	18市計画約	総務事	業				細事	業	祁市計画	<b></b> 新総務	事業				実加	施計画:	事業	宅地耐震	化推	<b>進事業</b>				§了 F度	なし
1		画体系図M													l itte	40 J.	.丽z 十六	e likati	<b>電ル#</b> ソ	f <del>.</del>					1	
	一般			Ⅰ 豊かれ					できる	まち					個計	画計	画		震化推進	11		年度 主		名称	当初	<b>刀</b> 予算額
款	8		-+	土地利											ĒΤ	间	R3 4	年度 ~	R4	年度	大規模品	<b>注土調査委</b>	<b></b>			1, 80
項	4	施策展		都市計		_	_			7 400	<b>~ ∺4 m</b> Φ		コロナ	<del>**</del> **	画名	188		te de		fr dir						
決算	1 129	(医别名	*本計	画 58	Р	L		<b>随疎計画</b>	1 _	_ #6°E	合戦略	Ш	111)	兀ヨ	为	間		年度 ~		年度						
八开		事業目	的·p	物容・身	種											В	事業計	画額	・決算額	(等					<u> </u>	
		事業の目	的と	内容			名 月				主な活	5動実網	責			\		事	業費計	田田:	±шА		原内訳	スの仏		:千円
<事:	業の目的	1>					_		見模盛 :	上の 2 ž	欠スク	リーニ	ング言	一画策员	ま	P	3計画	i	1,800	国乐.	支出金 900	地方債		その他	-	般財源 90
豊後大 性の確	に野市内 幹認を行	にある大 う。	規模型	<b>基土造</b> 质	え地の	安全	: R	でに3 グ部	は完了し 間査を行	上の 2 ½ した。 5 すうた &	引き続 カ. 3	き、2 月補正	次スクで事業	リーニ 学費を確	ン 『保	-	初予算	· .	1,800		900					90
							"	し、	事業は	こ着手で	する。	, , , , , , ,	//	.,,	.,,,		算 額	-	1, 430		715					71
							Н									_	4計画		1, 100		110					- '1
							R	4								-	初予算									
																-	算額									
							F									-	5計画									
							R	5								当	初予算									
<令	和3年月	隻の取組に	内容(i	計画) >												決	算 額	i								
	   盛土造   画の策	成地2箇	所の貿	第2次ス	・クリ	-=										R	6計画	i								
~ / ні	四少米	<i>X</i> L					R	6								当	初予算									
																決	算 額	į								
							Г									R	7計画	i								
							R	7								当	初予算									
																決	算 額	į								
							Г									計	画 額	i	1,800		900					90
										R3 ~	R7	7 合	計			当	初予算		1,800		900					90
																決	算 額	į	1,430		715					71

					/0	たが十					
			□ 総合言	十画		目標値					
D	1 —		□ 総合單	战略		実績値					
成			□ 個別言	十画	%	達成率					
果指			□ 総合計	+画		目標値					
標	2 —		□ 総合単	战略		実績値					
			□ 個別言	+画	%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	対象							(対象外事	業は <b>F~I梢</b>	未記入 可)
								v評価 (·	係長)	二次評価	(課長等)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	評価)				評価	点 割	価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	)の向上が期待できる事業内容となっているか	γ,	1 → 2 → なっていない		→ 4 → なってい	-	3 点		4点	
評	2. 事業の優先度は高いと思う	か(同じ成果指標設定事業内での優先度)		1 → 2 → 優先度低い	3 →	→ 4 → 優先度高	_	2 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進	めることができたか		1 → 2 → できなかった	3 -	→ 4 → できた		4 点		4 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は	計画どおり推移しているか		1 → 2 → 推移していない		→ 4 → 推移した	_	4 点	13 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は	計画どおり推移しているか		1 → 2 → 推移していない		→ 4 → 推移した	_	点	∕25点	<u></u>	∕25点
	G 【担当係長の意見・	課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等		H 【担	当課長	職等の所見	見】 ※評価	・改善	策等を踏ま	えた課長職等	の所見
の案調査	内があったため、3月補正で予 を行い安全性を調査する	・クリーニング計画を策定した。国より加速 ・算を確保し、令和4年度にかけて2次スク があった場合は対策工事の検討を行い、個人 いても検討する必要がある。 記観察表により経過観察を行う必要がある。	リーニング	引き続き計画	的に事	<b>事業を推進</b>	する。				

I 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

事業	<b>養番号</b>		枝番
303	3001		1
事	業	都	市再生
	総合	計画	1体系

4	事業番号 枝番	(令和	3 年度	画	)総	合計	画実施	画信記	書(兼	進捗	管理	里)							(₹	様式 1)
3	303001 1	(令和	3 年度》	夬 算	)事	務	事	業	評	西	調	書	課局名		建設	果	係名	名 都市	計画類	建築係
事	<b>業</b> 都市再生整			i	細事業	都市再	生整備事	事業			実	施計画	事業 三重	町駅周	別整備	事業			終了 年度	なし
会計	総合計画体系図N 一般 政 分		よ生活を支え	ラスト	デレがオ	あスまち					×17 -1	4. 邮件 (出	:31 ==:		会和	3 任	度 主か	歳出名称	坐力	初予算額
款	H 1		サービス業			りつより				110		生整備	i計画 <sup>拝度</sup> ∼ R	4 年		設計委託		<b>双山</b> 石市	=1	8,000
項	4 施策展	7. 4.7	リーレス素 街地を活性							<b>計</b>				4 **			2整備工事	r 註		110, 000
目			Р		計画		合戦略		ロナ充当	夕		子生整備 		0 年	-	購入費	2盆湘土寺	市田只有		80, 000
決算		本計画 30		迴叼	(1)	No	口料店		ロノルヨ	,	471111	K5 "	<sup>拝度</sup> ~ R	9 -		件八貝				80,000
八升	A 事業目	的・内容・実	横		ı						В	事業計	画額 決	算額等	; L					
	事業の目	的と内容		年度			主な活	動実績					事業費	計量	県支出	金 地	財源内	r訳 その他	_	立:千円) -般財源
   曹後	事業の目的> 会大野市の中心地と	して『交通結	節点機能		JR用:	地の測量	に時間が	ぶかかり	、購入の	協議 転業	R	3 計画	198, 0	-	60, 6	_	30, 400	4		6, 950
の形	成』・『誰もが集 資源の活用』によ	える空間の形	成』・『	R3	の進捗				、繰越と		当	初予算	198, 0	000	60,6	50 ]	30, 400			6, 950
地域め、	人が集い人とひと できる都市環境づく	が一ながりり	機能を同  わいが創		た。						決	算 額	18,8	334	8, 2	39	7,800			2, 795
出气	ざる都巾塚現つく	りを日指す。									R	4 計画	236, 0	000	118, 0	00	112,000			6,000
				R4							当	初予算	38, 3	390	17, 0	00	16, 100			5, 290
											決	算 額								
											R	5計画	180,0	000	90, 0	00	85, 500			4, 500
				R5							当	初予算								
<	令和3年度の取組内	n容(計画) >									決	算 額								
	「広場整備工事 「広場用地測量										R	6計画	150, 0	000	75, 0	00	71, 200			3, 800
	広場用地買収			R6							当	初予算								
											決	算 額								
											R	7 計画	100, 0	000	50, 0	00	47, 500			2, 500
				R7							当	初予算								
											決	算 額								
											計	画 額	864, 0	000	393, 6	50 4	146, 600			23, 750
						R3	~ R7	合 計	-		当	初予算	236, 3	390	77, 6	50 1	46, 500			12, 240
											決	算 額	18, 8	334	8, 2	39	7,800			2, 795
	評価指標	·····································	15:	悪値の	記田 (管	拿出方法等	É)	久	計画指標	Проз	実績値	単位	達成度	R	2	R4	R5	R6		R7
	קים נשון ום	к.п	101	ж IE • 7	D(9) (7	+шллд ч	17			1	人根に	+12	目標値		1	12	+	110		
С	1 イベントの開催		都市再生	整備計	画にお	ける成果	:指標		総合戦略	i		□-	実績値		1	12				
活	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		12回/年	-					個別計画	i		%	達成率							
動指									総合戦略				目標値							
損標	2 _												実績値							
									個別計画			%	達成率							
			l	DE AC					総合計画	i		,	目標値		(	25, 300				
D	1 JR三重町駅の 数	年間乗降客	都市再生 625,300人			ける成果	指標		総合戦略	i			実績値							
成			,,	. '				V	個別計画	$ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{eta}}}$		%	達成率							
果指			都市再生	故心さ	一面リテナン	ける武田	七油		総合計画			%	目標値			90	1			
	2 駅周辺商店街利	用率	90%(R4)		国でも	いる风禾	1日1示		総合戦略				実績値				1			
<u></u>									個別計画	<u> </u>		%	達成率							
Е	評価対象外の理由	0 評価対	対象													(	対象外事	業は <b>F~ I</b>	欄未訂	記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2 点	12 点	3 点	18 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
用地については測量の立会いが新型コロナウイルスの影響により遅れたため、用地の確定が遅れ、協議書の取り交わしまで出来なかった。4年度中の買収を行う。 エ東区の3万世間でした場合のラブダントン・たちは、広日戦後が優地とかった。7年	用地の買収を早期に行い、計画的に事業を推進する。
工事については駅前上赤嶺線の完了後となったため、広場整備が繰越となったこちらも4 年度に事業を完了させる	

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

事業番号	枝番
128001	1

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(会和3年度決質) 東路 東 堂 延 価 調 章 課局名 建設課 係名 都市計画建築係

<u> </u>	1280	01	1		(予和	3	平 及	<b>大</b> 异	) =	<b>₽ 17</b> .	· 尹	未	ā	f	1Щ	D/	미		誄戶	111	X	主政研		1糸名	1 £	1011111	<b>四</b> 建柴保
事	業	2	公園管理事	事業					細事業	公園管	管理事業						実施	<b>拖計画</b>	事業 2	公園管理	1事業					終了年度	
		総合計	画体系図No	0.→	( 197 )											_			Į.							<u>-</u>	
会計	_	般	政	策	Ⅲ豊か	なく	らしと	安心を	実感で	きるまち	)				個							令和 (	3 年度	主な常	战出名	陈	当初予算額
款	8			-	3 住宅	,,,,	*								別計	期間	1		年度 ~		年度	都市公	園監理委	<b>季託料</b>			1, 574
項	4		施策展開		②公園						T				画名							,	没改修工	事請負	費		1,000
目	2	<u> </u>	後期基	本記	計画 5	6 F		過政	村画		総合戦略	Ш	コロナ	充当	Ľ	期間	1		年度 ~		年度	修繕料					712
決算	13		事業目(	的•	内容・	実績											В	事業計	画額	・決算額	等	大原つ	つじ公園	國管理委	託料		720
			事業の目	的	느内容			年度			主な活	動実績	Ī						事業	<b>養計</b>		±		財源内			単位:千円)
<:	事業の	の目的	5>					及	公園管	理につい	ヽては例	手どお	りであ	っるが	、大	-11	D '	3 計画	1	5, 084	国県	支出金	地方	頂	₹0	の他	一般財源 5,084
		全で	快適に使	用て	ぎきるよ	う、:	公園の	R3	原総合	公園にナ	大型複合i	佐具が	整備さ	いれた	0			初予算		5, 084							5, 084
								110										算額		4, 703						540	4, 163
																-		4計画		5, 084							5, 084
								R4									当礼	初予算	Į.	5, 264							5, 264
																	決	算 額	Į								
																7	R!	5 計画	Ī	5, 084							5, 084
								R5								Ш	当礼	初予算	<u>r</u>								
<	令和	3 年原	度の取組内	内容	(計画) >	>											決	算 額	Į.								
			原総合公[ 、下赤嶺]														R (	6計画	Ī.	5, 084							5, 084
、平	吹児	童公川公	園)					R6								Ш	当礼	初予算	Į.								
																	決	算 額	Į.								
																Ш	R.	7 計画	Ī.	5, 084							5, 084
								R7									当社	初予算	Ī								
									4	_	算額																
							•	=1					画額	1	25, 420							25, 420					
										КJ	~ R7	台	āŤ					初予算		10, 348						F 40	10, 348
																_	决	算額	1	4, 703						540	4, 163
			評価指標	票名		1	指	標値の	)説明(算	拿出方法	等)	í	各計画	指標	Rź	2 実糸	責値	単位	達成		R3	R	4	R5	<u>_</u>	R6	R7
c	1 -	_											総	合戦	各				目標· 実績·	_					-		
活													固	別計画	Ð		ŀ	%	達成								
動指													<b>一级</b>	合戦 🗈	<u>۸</u>				目標	恒							
	2 –	-											_	別計画					実績	直							
														ם ו חניני				%	達成	率					<u> </u>		
D														合計画					目標						_		
	1 -	-												合戦 別計画			ŀ	%	実績産						+		
成果						+						╅		合計画	+		$\dashv$	,,	目標	_					+		
指標	2 -	-											_	合戦	各				実績	値							
													個	別計画	囙			%	達成	率							
E	評	価対	象外の理由	±	0評価	対象	ŧ																(対	象外事	業は <b>F</b>	~ I 欄	未記入 可)
				!																	_	-次評価	(係長	)		2評価	(課長等)
							評	価項目	1/5つ	の視点(	(1~5点	で評価	i)									価点	評価点		評価		評価点合計
F	1.	市民	満足(市月	民ア	ンケート	·) の	向上が	胡待で	きる事業	内容とな	なってい	るか		ļ.,	1 - なって				→ 4 ·	→ 5 ている		4 点				4 点	
評	2.	事業	の優先度に	は高	いと思う	か(	(同じ成	果指標	設定事業	内での	憂先度)			L	1 - 優先!				→ 4 ·	→ 5 隻高い		4 点				4 点	
	3.	事業	計画どおり	りに	事業を追	₤める	ことが	できた	か						1 -	→ 2	$\rightarrow$	3 -	→ 4 ·	→ 5		4点		f		3 点	
価	4	活動	指標の達用	寸 壮	湿(率)に	計画	ī どおり:	生移	ているか	`						→ 2	$\rightarrow$	3 -	→ 4 ·			- 点		10.		- 点	11 .
															移し <sup>*</sup> 1 -				推移 → 4	した → 5				12点			11点
	5.	<b>以</b> 果	指標の達用	<b>火</b> 状	沈(卒)は	は計画	12291	性移し	ているか	`					移して					した		- 点		/25点		- 点	/25点
4-125	业人	<b>公</b> 周									の進め方		i fin-i- 1	z I					職等の			価・改			えた課	長職等	の所見
もの	と思	われ												ま	、原総	管理	国区/	の大型 分が不	明確力	は共も言	は、関	適切な	目理を1 の協議	11 り。 を行う	0		
であ	り、	明確	ついてもれ にする必 園につい	要が	ある。																						
			園について協議が			, / <u>L</u> . J	・凸て口及値	LC10	( N. O. W.	、	日子パポ	4 ·1 = 05	·、¬1	×													
1																											

 $\Rightarrow$ 

B. 見直しの上で継続-1 拡充

I 令和 5 年度の事業の方向性

事業番号		枝番
129001		1
事 業	住	<b>宅管</b> 理

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(令和 3 年 **度 決 算** ) 事 務 事 業 評 価 調 書 <sup>課局名</sup> 建設課

係名 建設企画係

Ь							-							<u> </u>	l						
事	業	住宅管理事	業			細事業	住宅管理事業					実力	施計画	事業 住宅	管理事	<b>事業</b>				終了 年度	
A =1		計画体系図No			<i></i>		L			<b>7</b> 1	ш	<b>滋</b> 士	・眠古ん	公営住宅等	巨丰		<i>T</i> = 0 <i>t</i>		45.11. A	I	V += = # +=
会計		4		かなくらしと		と実感で	きるまち			41	個 命	化計	·画			- 1 ⊢-		F度 主な		杯	当初予算額
款	8	施策展開		宅環境等の整ℓ 営住宅を整備 <sup>−</sup>						4	計 —	間	H28	<sup>年度</sup> ~ R∃	3 年	$\dashv$ $\vdash$		管理委託		. zite	69, 169
項 目	5 1	<b>∮</b>	***   ①	56 P 「	_	陳計画	総合戦略		コロナ充当	4	画名 #	間		年度 ~	年		宮仕七寺 :繕料	維持補修	L爭請多	段	27, 673 7, 059
決算	<u> </u>	後州至	本計画	90 P	] 101	米計画			JU ) 10 =	<u> </u>	#h	[]EJ		+皮~	-	<b>-</b>   ⊢		401			2, 373
W\31	102	A 事業目	内・内容	・実績		1						В	事業計	十画額・決	算額等	, L	災等保険				
		事業の目	的と内容	!	年度		主な活動	実績				`		事業費	計	國県支	山春	財源区			単位:千円) 一般財源
	事業の目				/2	大分県	住宅供給公社(豊後大野市	i営住宅	<b>ご</b> 管理センタ		主宅管	P	3 計画	110,	-+	3宗又	山並 .	地方債	_	<b>の他</b> 0, 281	一般知识
P.	住まい	を確保しに	くい障が	低所得の市民 い者、高齢者	R3	埋事務の 維持管理 また、	住宅供給公社(豊後大野市 委託し、入居管理(36件) として修繕(293件)、エ3 住宅長寿命化計画の見直し 理戸数の見直しと計画的な	、退五 事(6件 を行い	芸管理(64件)を行った 、市営住宅	の統則	複設の 経合を	-	初予算							0, 281	
、子	育て世	帯などに対	して、安	全で快適に生	11.5	含め、管	理戸数の見直しと計画的な	建替及	び維持管理	に努る	がた。	F	算額	,					-	5, 322	19, 359
ま	た、住	(宅長寿命化)	計画の見	直しを行い、 戸数の見直し	$\vdash$						_	H	4計画							-	19, 559
と計	画的な	建替及び維	寺管理に	努める。	R4							-	初予算	,						0, 281 9, 982	
					11.4							-	算額		702					3, 302	
					$\vdash$						-	$\vdash$	5計画	-	281				1.1	0, 281	
					R5							-	初予算		201				11	0, 201	
<u></u>	今和 3 f	年度の取組内		) >	11.5							-	算額								
<ul><li>住</li></ul>	宅管理			/ 行、指定管理	$\vdash$							H	6計画	1	201				1.1	0, 281	
委託・入		: 毎月随時、	入居者	募集を行い、	R6							-	初予算	,	201				11	0, 201	
書類	審査・	抽選等を実力	衐	退去検査等を	11.0							-	算額								
実施		持管理・補信			$\vdash$						-	H	7計画		281				1.1	0, 281	
	場及び			の維持管理・	R7							-	初予算	. 110,	201				11	0, 201	
· 住	宅使用	料・浄化槽の	東用料の	徴収事務:滞								-	算額								
<b>州石</b> 収事		(住七使用)	斗• / <b>尹</b> 112/	槽使用料の徴	$\vdash$						$\dashv$	_	画額		105				55	1, 405	
							R3 ~ R7	合 :	計			H	初予算	,						0, 263	
								_	н і			H	算額						-	5, 322	19, 359
																	ı				
		評価指標	名	指	f標値 <i>0</i>	D説明()	算出方法等)	2	各計画指標	票	R 2 実	績値	単位	達成度	R		R4	R5	-	R6	R7
С	1		h- 44 /- 4=		e /-+ □□ \		(F F-1-)		総合單	戦略		100	%	目標値		100	10	0	100	100	100
	四四四	住宅使用料	<b>以</b> 納夫額	田呂住名	3便用7	<b>科以納</b> 榮	(年度末)	V	個別語	計画		100	%	実績値 達成率		98. 8 98. 8					+
活動								╁	7 40 4 8	vb ==4				目標値		100	10	0	100	100	100
指標	2 東営	住宅使用料	(滞納繰	越 市営住宅	使用料	斗(滞納	繰越分)収納率(		」 総合單			100	%	実績値		11. 5	10		100	100	100
	分)	収納実績		年度末)				<u> </u>	個別 間別 間	計画			%	達成率		11. 5					
								Γ	総合詞	計画			0/	目標値		98. 9	ç	9	9. 1	99. 2	99.3
D	1 収納	実績		市営住宅	医使用料	斗収納率	(年度末)		総合軸	戝略		98. 8	%	実績値		98.8					
成								V	個別 個別	計画			%	達成率		99. 9					
果指				古份住宅	: 估 田 4	SL (港納	繰越分)収納率(		総合記				%	目標値		12. 3	12.	4 1	2. 5	12.6	12.7
標	2 収納	実績		年度末)	JX/111	J (1111/14.1	(		総合単		1	12. 2		実績値		11.5					
								V	<b>個別</b> 言	計画			%	達成率		93. 5					
E	評価	対象外の理由	0 評	価対象														(対象外事	業は <b>F</b>	~ I 欄	未記入 可)
				Ī	平価項	目/5つ	の視点(1~5点で	評価	j)								マ評価 (依				(課長等)
	1 #	足漢兄 / 本目		- L ) の向 L が	加件で	きる事業	美内容となっているが	65		1	<b>→</b>	2 -	3 -	→ 4 →	5	評価	点評	価点合計	評化		評価点合計
F	-							,,,			ってい			なってい → 4 →						4点	
評							美内での優先度) 			優	先度低	L١	⇒	優先度高 → 4 →	١,		点			5点	
価	3.事	業計画どおり	りに事業を	と進めることが	できた	か				で	きなか	った	⇒	できた → 4 →		(	3 点			4点	
	4. 活	動指標の達成	<b>技状況(率</b>	)は計画どおり	推移し	ているか	١			推移	してい	ない	⇒	推移した	:	(	3 点	19 点		3 点	19 点
	5. 成	果指標の達成	<b>艾状況(率</b>	)は計画どおり	推移し	ているか	١				→ いてい			→ 4 → 推移した		(	3 点	/25点		3 点	/25点
							後の事業の進め方等				н			:職等の所見				等を踏ま	えた説	長職等	の所見
的て市	不安と 帯 た 全 と 全 と 毛 管	な生活を送る に対して、気 宅使用料等の 理センター。	る低所得の 安全で快い で徴収事を と連携し、	の市民や、住	まいを る住引き び悪質	確保しに を提供する 続納者に	管理センターと連 くい障がい者、高 つくい障がい者、高 ついとでは、随時面ができる。 が、 でかっては、随時面が でいては、随時面が ができる。	齢者	、 子育	天夕	分県住	宅供	給公社	と連携し	適切な	<b>企管理</b>	、運営を	行う。			

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

I 令和 5 年度の事業の方向性

事業番号	枝番	,	令和	2	年:	#	<b>24</b> 11	si \	£	<u>۵</u>	<del>=</del> ↓	iai 5	<b>=</b> +	te ≣∔	iai <b>s</b>	<b>+</b> (:	<b>*</b> #	: <b>-</b> tut- 1	盔	<b>1111</b>									(様:	式 1)
131001	1		┲┲и 令和						-	_	務		モル 事	UDI 業		r(. 評	不延	_	当調		課	局名	<b></b>	<b>建設課</b>		係	名	都市記		
事 業	 住宅・建築 業	物安	全スト	ック	形成	(事		細	事業	住生	老・	建築	5物分	安全ス	トッ	 ク形	成事刻	É	3	    施計画	事業	木造住	宅耐震	診断・こ	ひ修 雪	事業補足	助事業	終年		なし
総合	計画体系図No.	.→ (	262 )							ı									_			l .								
会計 一般	政 第	₹ III	豊かた	こく	らし	؛ ځ	安心	を実	感で	きるま	まち	)					_ 1	整	備	県建築物 計画				令和 3 木造住3					当初一	予算額
款 8	施第		防災対			_											-   F	刂 期 十——	間	R3	年度 ~	~ R7	年度	金	七顺原	E154例 •	以修申	·耒柵助		6, 10
項 5	施策展開		災害対			とす	-る										_   E	z I					:							
<b>目</b> 2	後期基	本計画	<u>■ 66</u>	F	•		過	疎計	画		彩	総合戦	略	Ш		ナ充当	<u> </u>	期	間		年度 ~	~	年度							
決算 133	A 事業目的	内・内	容・実	續															E	3 事業語	十画名	i 決算	額等							
	事業の目	的上口	力容				年					<b>‡</b> 7	な活	動実	唐						4	業費計				財源	<b>为訳</b>		(単位:	千円)
<事業の目		-,-					度		Lend-3A		11.		-	20,20	ж.				L		_		+	支出金	地	方債	そ	の他		財源
市民の安全・ 和56年以前	安心な暮ら	うしを ちたす	支える	た	め、	昭	l.,	而	震改	断補助修補助	助	4 件 1 件							H	R 3 計画	+	6, 10		4, 575						1, 52
化を促進する		ルバニオ	ではも	5寺	(ノ)   円	展	R	3											Н	当初予算	_	6, 100		4, 575						1, 52
							┡											_	Н	夬 算 額	+	1, 390		1,042						34
							L												⊩	R 4 計画		6, 100		4, 575						1, 52
							R4	1											F	当初予算	+	6, 100	)	4, 575						1, 52
							┡	_										_	Н	夬 算 額	+									
																			H	R 5 計画	-	6, 10	)	4, 575						1, 52
	± = = 40 ±	<b>-</b> /-	> >				R	)											⊩	当初予算	_									
< 令和3年 耐震診断補助		]谷(言	†曲)>				⊢	-										_	Н	央 算 額	+									
耐震改修補助																			H	R6計画	-	6, 10	)	4, 575						1, 52
							Re	)											H	当初予算	+									
							⊢											_	H	央 算 額	+		1							1 50
							R	,											H	R7計画	+	6, 100	)	4, 575						1, 52
							K.												H	当初予算	+									
							┢											_	Н	夬 算 額 計 画 額	-	00 50		075						7, 62
							ı			ъ.	2		D 7	合	<del>=</del> ⊥				Н	当初予算	_	30, 500		22, 875						
							ı			K.	3	~	K /		āΙ				⊢	ラヤップ 昇 央 算 額	+-	12, 200		9, 150						3, 05
																			0	大 异 戗	ŧ	1, 590	,	1,042						34
	評価指標	名				指	標値	の説	明(拿	算出方	法	等)			各計	画指標	₹ F	2実	績	値 単位	達用	戊度	R3	R	4	R5		R6		R7
Ī														T	7	総合単	战略			İ	目相	票値		Ĺ						_
<b>C</b> 1 -																個別言					実終	責値								
活														- [ '		ぱか百	, IIII			%	達月	戊率								

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略	<u> </u>		目標値					
С	1 —		┃			実績値					
活			10万月11日	1	%	達成率					
動指			□ 総合戦闘	Ķ.		目標値					
	2 _		個別計画			実績値					
			101分月百千世	1	%	達成率					
		大分県建築物安全ストック整備計画の事	□ 総合計画	Ī	<i>[H</i> -	目標値	10	10	1	0 10	0 10
D	1 耐震診断件数	業計画数値 耐震診断 10件/年	□ 総合戦闘	<b>§</b> 6	件	実績値	4				
成		间/及设存 10177 十	✔ 個別計画	Ū	%	達成率	40.0				
成果指		大分県建築物安全ストック整備計画の事	□ 総合計画	Ī	/th.	目標値	5	5		5	5 5
標	2 耐震改修件数	業計画数値 耐震改修 5件/年	□ 総合戦略	3 2	件	実績値	1				
		10176 9719 0117 1	☑ 個別計画	Ī	%	達成率	20. 0				
E	評価対象外の理由 0 評価対	· l l 象						(5	対象外事業	集は <b>F~I楣</b>	未記入 可)
		-T/T-T-D / C-> 0 H-	=#./#T.\				一次	評価 (係:	長)	二次評価	(課長等)
		評価項目/5つの視点(1~5点で	晋半1曲)				評価。	点 評価	i点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)	の向上が期待できる事業内容となっているか	j)\	1 → 2 → よっていない	· 3 ·	→ 4 → 5 なっている		4 点		3 点	-
評	2. 事業の優先度は高いと思うか	い (同じ成果指標設定事業内での優先度)		1 → 2 → 優先度低い	· 3 ·	→ 4 → 5 優先度高い		4 点		3 点	
		7-113-411		1 → 2 →	· 3 -	→ 4 → 5					

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)					
	計画項目グラフの発展(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline $	4 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline                                  $	3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—— 点	13 点	—— 点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2 点	∕25点	3 点	∕25点
			=	**************************************		

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 電話等にて問い合わせは多いが、なかなか事業に結びついていない。 市内で診断できる業者が限られているので、事業に対する取組をお願いしていく。 事業の周知を図りながら、事業を実施していく必要がある。

I 令和 5 年度の事業の方向性

事	業番号	枝番	(	· 🗻	<b>£</b> ⊓ 3	₹ 4	F DB		- 画		级。	≙ <del>-</del>	上面	宇龙	⊭ ≣+	雨車	t (:	兼進	蛛鱼	<b>答</b> :	TIII )										(様式1)
	1001	2		-							事			事	ID U 集		r(. 評	価		日· 凋	書	課月	<b></b> 司名		建設	課		係名	都市	計画	可建築係
事	<b>業</b> 信	主宅・建	築物多	安全ス	ストッ	クラ	形成	事		細事	業	住宅	· 建	築物を	安全ス	トッ	ク形	成事業	i di	実	施計画	事業	危険フ	`ロック	'塀等	除却	事業補具	力事業		冬了 E度	なし
会計	1.	·画体系図					. 1	1. /	1. 7	. <del>(1)</del>	できる	7 -	L.						宏	۱, J	安全な	真ら	1 をも	<i>i</i> ラ	Δ1		年度 主	<b>+</b> √45 I	li A Th	1	/ <del>- 1</del>
芸訂款	8	<u>政</u> 施			災対領			_	'心を	: 夫恐	024	) X (	р 						る   期	住す間	· 安全な まいづく R3 <sup>4</sup>	年度 ~	, D2	年度	-		平度 土			╀	当初予算額 1,00
項	5	施策展			害対策				5									計画		,,	Кэ		Κí		700		2 2 31 G	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	110-53-32		
目	2	後期	基本計	画	66	Р		_	過政	東計画			総合	戦略		JD:	ナ充当	1 2		間	3	年度 ~		年度							
決算	133	**	1 AA	rin sizo		is de la companya de la companya de la companya de la companya de la companya de la companya de la companya de															***	L race des	24.44	455 445							
		・事業目 事業の							年					· +>:I	新中	æ				r	事業計		業費計				財法	原内部	5	(単	i位:千円)
2 to	#^ \ \							_	度	eta /e	t fore 1			いる	動実績	谟						₹	未良司	国県	支出	金	地方債		その他	-	一般財源
市民の	美の日的	]> 避難路研	催保の	ため	、災害	害時	等に	-		美海	無し									⊩	3計画		1,00	-		50				-	250
団場の	かってれ かを行う	のあるっ 。	7 12 19	クザ	寺の	<b></b>	h(CX	.J	R3											┢	初予算	-	1,00	00	7	50				$\perp$	250
								ı											-	⊢	等額 4計画	+	1,00	10	7	50		-		+	25
								١	R4											⊩	初予算		1,00	_		50					250
								١												⊢	: 算額	-	2,00			00					
																			1	R	5計画	i	1,00	00	7	50					250
								١	R5											<b></b>	初予算										
		度の取組				u.														決	算額	į									
厄険フ	'ロック:	塀等除去	資イ用	叨	1 0 1	午		١												⊢	6計画	<u> </u>	1,00	00	7	50					250
								١	R6											F	初予算										
																			4	H	・算 額 ・7計画		1 00	.0		50		_			05/
								١	R7											┡	初予算		1, 00	10	7	50					250
								١												F	: 算額	-									
																			┪	計	- 画 額	į	5, 00	0	3, 7	50				Ť	1, 25
								١				R3	~	R7	合	計				<b></b>	初予算		2,00	0	1, 5	00					500
																				決	:算額	į									
		評価指	標名					指標	値の	説明	(算出	方法	等)			各計區	画指標	R	2実	績値	単位	達成	度	R3		R4		R5	R6		R7
															T	_ s	<b>₩</b> ₩₩	<b>V</b> 0.4				目標	値		T					T	

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	
			□ 総合戦 <b>闘</b>	\$		目標値						
С	1 —		□ 個別計画			実績値						
活				2	%	達成率						
動指			□ 総合戦略	\$		目標値						
標	2 =		□ 個別計画			実績値						
				4	%	達成率						
	1 危険ブロック塀等除却件数	大分県建築物安全ストック整備計画に記載された事業計画 10件/年	総合計画	1 1	件	目標値	10	10	1	0 1	0 10	
D			□ 総合戦闘		1	実績値						
成		\$C40/C42/CHI	✔ 個別計画	<u> </u>	%	達成率						
成果指			□ 総合計画	ū		目標値						
標	2 —		□ 総合戦略	3		実績値						
			□ 個別計画	Ī.	%	達成率						
E 評価対象外の理由 0 評価対象       (対象外事業はF~I欄未記入可)												
		評価項目/5つの視点(1~5点で評価)						一次評価 (係長)			二次評価 (課長等)	
		評価)				評価点	評価	点合計	評価点	評価点合計		
F	1. 市民満足(市民アンケート)	<ul><li>市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか</li><li>1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている。</li></ul>					3	点		3 点		
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い			点		3 点		
価	3. 事業計画どおりに事業を進め	事業計画どおりに事業を進めることができたか				$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \r$				3 点		
100	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか			$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$			-	点	19 🗷	— 点	12 =	

1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 推移した H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 今年度は実績なしとなった。 1月の地震以降数件の問い合わせがあったが、年度内の事業完了が見込めないため事業化できなかった。 間い合わせはあるが、要件を満たしていない場合であったり、解体後のフェンス等には補助がないため、事業化できないケースもあった。 事業の広報・啓発等を行い、事業化を促す。 事業についての周知を行い、実施する必要がある。

令和5年度の事業の方向性

5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

推移していない ⇒

推移した

12 点

/25点

12 点

/25点

# # 住宅・建築物安全ストック形成事 総合計画体系図No→(257) 会計 一般 政 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心・ 款 8 施 策 8 防災対策の充実 項 5 施策展開 ②災害危険区域を整備す		物安全ストック形成事業	11/2						
会計     一般     政策     Ⅲ 豊かなくらしと安心       款 8     施策     8 防災対策の充実	を実感できるまち		<b></b>	実施計画事	<b>業</b> がけ地近 助事業	接等危険住宅	它移転補助事		了 渡 なし
1 - 1 - 11 1	-5 -	言	問別対無	ク整備計画 間 R3 年	築物安全スト <sup>度</sup> ~ R7	がけ地域業費補助	3 年度 主な肩 近接等危険住宅 助金		<b>当初予算</b> 8
決算 133 A 事業目的・内容・実績	疎計画	格 □ コロナ充当   「*	期		度 ~ 画額・決算額	等	財源内	===	(単位:千円)
事業の目的と内容		活動実績			事業費計	国県支出金	地方債	その他	一般財源
<b>&lt;事業の目的&gt;</b> 市民の安全を確保するため、がけ地等に隣接	がけ地近接等危険住	宅解体補助 1件		R 3計画	975	731			24
した危険住宅の移転に対し補助を行い、安全 R3 な地域への居住を促す。	3			当初予算	975	731			24
				決 算 額	975	731			24
				R 4計画	5, 185	3, 888			1, 29
R4	<b>!</b>			当初予算					
 			_	決 算 額 R5計画	F 105	0.000			1.00
R5				当初予算	5, 185	3, 888			1, 29
<令和3年度の取組内容(計画)>				決 算 額					
がけ地近接等危険住宅解体補助 1件			$\dashv$	R 6計画	5, 185	3, 888			1, 29
R6	;			当初予算	,	,			,
				決 算 額					
				R 7計画	5, 185	3, 888			1, 29
R7	,			当初予算					
				決 算 額					
				計画額	21, 715	16, 283			5, 43
	R3 ~ F	R7 合 計		当初予算	975	731			24
				決 算 額	975	731			24

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略			目標値					
С	1 —		□ 個別計画			実績値					
活					%	達成率					
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
	A CONTROL OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE PART OF THE P	大分県建築物安全ストック整備計画に記	総合計画			目標値		1	1	1	1
D	1 がけ地近接等危険住宅移転 件数	載された計画数値 がけ地近接等危険住宅の移転に対する補	□ 総合戦略			実績値					
成	,,,,,	助1件	✔ 個別計画		%	達成率					
果指		大分県建築物安全ストック整備計画に記 載された計画数値	□ 総合計画			目標値	1	1	1	1	1
標	2 がけ地近接等危険住宅解体 件数	載された計画数値  がけ地近接等危険住宅の除却に対する補	□ 総合戦略			実績値	1				
		助1件	✔ 個別計画		%	達成率	100.0				

 E 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		2 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	—— 点	13 点	—— 点	11点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

建設から解体までを年度内に終えなければならないため事業期間が厳しい前年度に設計まで終わっている状態でないと間に合わない。
ハザードエリアからの移転が条件であるため、なかなか事業に結びつかない。相談があってからでは新築は間に合わないので、時間があれば翌年度の施工を進める。

I 令和 5 年度の事業の方向性

事業番号		枝番
130001		1
事業	市	営住'

-	業番号	7	枝番			年度			総合			4114			_	_	<b>里</b> ) ——		ı			1		1 1		(様式1)
	.30001		1	(令和	1 3	年度	決 勇	L )	事	務	事	莱	評	価	ā	周	<b>*</b>	課局名		建	設課		係名	都市	計順	<b>町建築係</b>
事	業		営住宅整備		`			細事業	市信	営住宅	E整備事	業				実施	<b>拖計画</b>	事業 市営	住宅	整備事	業				終了 年度	R8
会計		7	i体系図No 政 策		<u>)</u> かなく	らしと	安心を	実感で	できるま	まち					市信	営住	宅等長	寿命化計	一画	-	令和 3	年度 三	Èな歳	出名称	3	当初予算額
款	8		施策	3 住宅	環境	等の整備	Ħ							- 15	引期			<sup>≢度</sup> ~ R		年度 言	周査設計	十委託料				18,600
項	5		施策展開	①市営	住宅	を整備す	-る							Ī	<b>쁴</b> ∣⊫.	域住 地域		修備計画	(大分	7	<b></b>	E建替工事	¥請負3	B.		427, 000
目	2		後期基本	計画	56 F	P [	過過	東計画		総合	戦略		コロナ充	:当 "				<b>⊭度~</b> F	R 7	年度 利	多転補償	賞費				4, 446
決算	134	]	事業目的	. 内寂 .	宝籍											В	車業計	画額・決	- 首哲		肖耗品費	ř				500
			業の目的		~=		年				主な活動	计字结				Š	<del></del>	事業費				財	源内	沢	(肖	単位:千円)
	<b>***</b> の日			JC PIA			度	+==	A				0 1	- = //					ıΠI	医県支	出金	地方值	責	その他		一般財源
入居		全で	安心でき					了)	住宅3月					o 戸 (5	元		3 計画				5,000	225,				1, 275
	び改修		計画をも う。	C (⊂ II) ½	当住七	の産省	R3		住宅2類 住宅3類								初予算				5,000	225,	000			1, 275
															$\dashv$		算額	· '	-		1,672	100	000			217, 848
							R4										4計画	,			2, 500	102, 79,				1, 300
							Ν4										算額		201	75	, 750	19,	700			001
							$\vdash$								$\dashv$		5計画		300	175	5,000	175,	000			1, 300
							R5									_	初予算		500	110	, 000	110,	000			1,000
<	令和 3 4	年度の	の取組内容	空(計画)	>												算額									
			期建替工 5戸(R		5 <del>1</del> 12 \										$\dashv$	R	6 計画	151,	300	75	5, 000	75,	000			1, 300
市営	市原住	宅2	期駐車場 期建替実	整備	<b>킥</b> 1보 <i>)</i>		R6									当神	初予算									
山 呂	旭原生	七3	<b>州</b> 建省天	旭成訂												決	算 額									
																R.	7計画	301,	300	150	, 000	150,	000			1, 300
							R7									当社	初予算									
																決	算 額									
																_	画額	1, 460,	975		, 500	727,	000			6, 475
									R	3 ~	R7	合 言	†				初予算	611,			, 750	304,	700			2, 082
																决	算額	439,	520	221	, 672					217, 848
	T		=			11-	læ l± a	W P.F.	/ Principals	- N. A. A. A.		1 4	=1 14	· I.		·+ · I	W / L	) <b>+</b> - <b>! !</b> -		<b>D</b> 0			- Dr.			
			評価指標名	<u> </u>		抽	標個0	り説明	(算出方	法寺	1	合	計画指		R 2 実	領但	単位	達成度 目標値		R3	R4	+	R5	R6		R7
С	1 —													戦略			-	実績値								
活												$\Box$	個別	計画		ŀ	%	達成率								
動指												Тп	総合	戦略				目標値								
標	2 —												個別	計画				実績値								
												1-					%	達成率						+		
D	1 —													計画			_	目標値 実績値								
成	l'													計画		ŀ	%	達成率								
果														計画				目標値								
指標	2 —												総合	戦略				実績値								
													個別	計画			%	達成率								
E	評価	対象	外の理由	0 評値	<b></b> 面対象	ŧ																(対象	外事第	ŧは <b>F∼</b> Ι	欄月	た記入 可)
							平価項	目/5·	つの視点	点(1	~5点	で評価)										(係長)		二次評値	_	
														T 1	→ 2	2 →	3 -	→ 4 →	5	評価		評価点名	計	評価点	+	評価点合計
F	1. 市	氏満	足(市民)	アンケー	F) 0.	)同上が	期待で	きる事	業内容	となっ	っている	か		なっ	ていな	い	⇒	なってい	る		4 点		-	3 点	ŧ	
評	2. 事	業の	優先度は高	高いと思	うか	(同じ成	果指標	設定事	業内で	の優労	<b>上</b> 度)			優先	先度低	い	⇒		ĺ١		4 点			3 点	į	
/無	3. 事	業計	画どおり	こ事業を	進める	ことが	できた	か						でき	なかっ	) t=	⇒	→ 4 → できた			3 点			3 点	į	
価	4. 活	動指	標の達成物	伏況(率)	は計画	īどおり	推移し	ている	か					1		2 →	3 -	→ 4 → 推移し <i>f</i>	5	_	点	11	点	<b>—</b> 点	į	9点
	5. 成	果指	標の達成物	<b>伏況(率)</b>	は計画	īどおり	推移し	ている	か					1		2 →	3 -	→ 4 →	5		点		25点	<b>—</b> 点	į	/25点
	!	_	<b>【</b> 中 业 / 5	<b>Eの辛</b>	3.#8	酒 . ユ·辛	<u>#</u> #1		- 公小市	業の	# <del>/ -</del> ^	<b>±</b>		推移				推移した		>× ≣	π.⊐ <i>h</i> ≐	主体学ナ	9k±=	ナ細目啦	· 华 /	D III B
令和	3年度	で2	【担当係 期工事が	完了し引	き続	き 3 期 ]	[事に	着手す	る。					継続				職等の所. 業を推進			山・以	当水寺を	増まれ	た課長職	x 寺 ()	ソガ 兄
既存じ期	住宅の いる。 の建設	解体につ	から造成 いて 4 階 遅れを取	までの期 建て20	期間が <del>.</del> ) 戸か	長くなっ	ってき	ており	、全体																	

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

alle.	業番号	枝番	(	令	和	3 年	度	計画	i)	総合	計画	11実加	拖計	画	<b>*</b> (	兼	生捗	管	理)									(様	(式 1
]	32001	1	(	令和	和	3 年	度	決 算	[ )	事	務	事	ヺ	ŧ	評	佃	i	調	書	課局	名	消防ス	おお   おお   お   お   お   お   お   お   お	務課	係名	3	総	務係	ξ.
事	業	常備消防運	営	事業					細事業	教	育研修	修事業						実	[施計画	事業 教	育研修	修事業				,	終了年度		なし
		計画体系図No		( 263						1	1 ).							•					A ==			<i>-</i>			- ** +*
会計	一般	l								できるま	まち						個別	+n 88								<b></b>		当初	予算額
款 項	9	施策展開	-+				本制の本制を										計一	朝間	3	年度 ~		年度	研修会		歪				4, 044
目	1	後期基	_				4前を		東計画		松之	合戦略			ロナ充語	<b>—</b> i I	画名	朝間	4	年度 ~		年度	普通旅病院実		<b>大米</b> [				557 370
決算	135	区州至	· 1	1 124	00	г		<u> 100 U</u>	米山凹		100 0	コ 井及岬口			н / /С:	<u> </u>	,	411b1				+100	手数料		1617		-		38
		A 事業目	的•	内容	・実	績		T	1									Æ	事業計	画額・	決算額	領等	1 3007-1		84次五十	- <del>-</del> 0		₩ / <del>+</del>	: 千円)
		事業の目	的と	内容	7			年度				主な活	動実	績						事業	費計	国県	支出金	地之	財源内 方債	その			· TD) 設財源
<b>《</b> 》	事業の目	<b>的&gt;</b> 隊員、救急	サム	十华	の姿	故た	<i>I</i> + I*	Г	職員	固々の領	知識な	や技術	の向_	上を[	図るた	め、	消	F	3計画	i	5, 018	-							5, 018
め職	負個々(	の知識や技 の知識や技 を推進する。	術の	向上	を図	るた	めに	R3	)、	校入校 各種資	(20年	导(9:	秋思》 名)、	叉印:	エ研修の他研	: ( I F修 (	名 2	븰	当初予算	:	5, 018	3							5, 018
、13	1里4月16	と1性性りる。	)						名) ·	を実施。								Ħ	と 算 額	i	4, 683	3							4, 683
																		F	R 4計画	i	5,000	)							5,000
								R4										뇔	当初予算		6, 899	)							6, 899
																		汐	陳 算 額	i									
																		I⊢	85計画	-	5,000	)							5,000
	^ <del>-</del>			/= I <del></del>				R5										I⊢	当初予算 - *** ***	-									
	育和3年 学校入村	₣度の取組戍 校	1谷	計画	I) <i>&gt;</i>			_										۱H	9 額								_		
救急	救命士4資格取	研修						R6										I⊢	R 6計画 当初予算	-	5, 000	,							5,000
								Ko										I⊢	と 算 額	-									
																		I⊢	、		5, 000	)					_		5,000
								R7										뇔	当初予算		-,								
																		Ħ	と 算 額	į									
																		Ē	十画 額	i 2	5, 018	3							25, 018
										R	3 ~	- R7	合	計				필	当初予算	1	1,917	7							11, 917
																		爿	陳 算 額	i	4, 683	;							4, 683
		評価指標	名				指	標値の	D説明	(算出方	法等	)		各計	一直指	摽	R 2 §	実績値	直単位	達成原	ŧ	R3	F	R4	R5		R6		R7
														П	総合	戦略			. 名	目標値	直	2	4	24		24	24	1	24
С	1 実働	救命士				実賃	协救命	士数						_ _	個別	計画		24	4	実績値	_	2							
活動													_			_			%	達成率		91.	_						
指標	2 掛合	士複数乗車				歩命	士複	粉垂百	<b></b>						総合	戦略		66	6 %	目標(		6		60		60	60	)	60
175	- 1X HI	工版数本平				12.14	1 1 1 1 2 1	2X/K-						<b>'</b>	個別:	計画			%	達成率	_	101.						+	
															総合	計画				目標値	直								
D	1 市民	の安全安心	の確	保											総合!	戦略				実績値	直								
成果															個別	-			%	達成型	_								
指	2 —														総合				1 -	目標(	_							-	
標	_														総合國別				%	達成四									
=	=	い色りの押け	. T	0.376	· /	1.4%									旧刀引					~	'   			/+	.A	*/		+ =7	3 =1\
E	計加入	対象外の理由	1	0 評	·恤メ	丁家																							入 可)
							評	価項	目/5~	つの視点	点(1	~ 5点	で評	価)									-次評価 価点		(E) 点合計	二次	評価(		長等) i点合計
F	1. 市.	民満足(市月	ミア	ンケー	- <b>ト</b> )	の向	上が拝	期待で	きる事	業内容	となっ	ってい	るか						→ 3 -			+ **	3 点	a⊤(W)	w ⊟ ⊞1		3 点	р⊤∥Ш	W H BI
評	2. 事	業の優先度に	は高	ハと見	思う <i>t</i>	か (同	じ成り	果指標	設定事	業内で	の優先	 先度)				1	$\rightarrow$	2 -	→ 3 -	→ 4 -	→ 5	-	3 点			:	3 点		
	3.事	業計画どおり	) (=:	事業を	を進め	かるこ	とがつ	できた	か							1	$\rightarrow$	2 -	→ 3 - ⇒	→ 4 -	→ 5		3 点	1		:	3 点		
価	4. 活	動指標の達成	<b>戈状</b> :	兄(率	) はi	+画と	おり扌	住移し	ている	か						1	$\rightarrow$	2 -	→ 3 <del>-</del>		→ 5		3 点		15 点	;	3 点		15点
	5. 成:	果指標の達成	<b>龙状</b> :	兄(率	) は 言	+画と	おり扌	作移し	ている	か		-				1	$\rightarrow$	2 -	→ 3 -		→ 5	-	3 点		/25点	;	3 点		/ 25点
		C 【相当														-							(無 . 25	•					

救急救命士等の資格をはじめ職員個々の知識や技術の向上を図ることが出来た。 今後も教育については、年齢構成等を考え計画的に実施したい。 職員が、より高度な教育を受けられるために消防大学校の入校も計画したい。

消防、救急の現場活動に対しては資格や知識、技術の向上は必要不可欠なものであり、今後も計画的に入校や資格取得、その他の研修を実施する。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

	事業番号		<b>計和 3</b> ↑和 3			_	於合計画実施 ፮ 務 事		進価	捗管 調		: [	果局名	消防本	部総系	条課 【係	名	総	(様式 1)  際係
		常備消防運営事業			1	細事業	車両・資機材整		- Ilmi				車両・					終了年度	<i>t</i> 21
会計款項目決算	ー般 9 1 1 1 135	施 策 9 消 施策展開 ②消 後期基本計画	豊かなく 肖防・救急 肖防施設を 68 P	急体制の	充実	実感でき		□ コロナ充当	個別計画名	期間期間		年度	~	年度	令和 3 車輌購力 消耗品費 幾械器具 医薬材料	ł l.費	歳出名	称	当初予算額 5,348 2,354 2,038 1,800
		事業目的・内容			年					$\neg  \vdash$	B 事業		額・決算	領等 <u>□</u>		財源[	<b>为訳</b>	1)	単位:千円)
		事業の目的と内	容		度		主な活動	実績		$\sqcup L$		,	事業費計	国県3	出金	地方債		の他	一般財源
火災		民を守り迅速なネ				円滑な消じめ、消	肖防活動を行うた 肖防・救急・救助	め、作業車購入 等の資機材購入	をはを実		R 3計	画	11, 545	i					11, 545
め、整備	消防施設・ 背を進め、	や消防車両、資材 災害活動における	幾材等の る機動力の	計画的 の確保	R3	施。					当初予	算	11, 545	i					11, 545
と性る。	能向上を	災害活動における 図り、円滑な消	防活動を	推進す						_ [:	決 算	額	11,824	:	1,906				9, 918
										Ⅱ	R 4計	画	9, 797						9, 79
					R4						当初予	算	6, 036	i					6, 036
										_  !	決 算	額							
										Ⅱ	R 5計	画	56, 197	'		48, 800			7, 397
					R5					Ш	当初予	算							
		その取組内容(計画) ************************************	画)>							_  !	決 算	額							
• 淮	業車の購 防資機材	(ホース等)の脚	<b></b>							Ш	R6計	画	57, 997	4	8, 100				9, 897
· 救	(急資機材 (助資機材	(救急包帯等) (空気呼吸器等)	の購入 の購入		R6						当初予	算							
										_  :	決 算	額							
										Ш	R7計	画	49, 697			41,000			8, 697
					R7						当初予	算							
										_	決 算	額							
										1	計画	額	185, 233	4	3, 100	89, 800			47, 333
							R3 ~ R7	合 計		Ш	当初予	算	17, 581						17, 581
											決 算	額	11, 824	:	1,906				9, 918
		評価指標名		指棋	票値の	説明(第	耳出方法等)	各計画指標	R	2 実績	値 単位	達	成度	R3	R4	I R5		R6	R7
								□ 総合戦	佫		台	-	標値	1			1	2	2
С	1 車両整	備	車	1両整備数	数			✔ 個別計員	画		2	-	<b>積値</b>	1					
活動									+		%	+	成率	100.0					
指								□ 総合戦	佫				標値						
標	2 _							□ 個別計員	画		04	_	積値						
-	<u> </u>							<u> </u>	ŧi		%	-	標値		<u> </u>				
D	1 車両整	備数						総合戦				_	操值 :積值						
	一一门正	VIII 25A						個別計			%	+	成率						1
成果								総合計画	+		+	-	標値						
指標	2 —							□ 総合戦■				-	積値		1				
								□ 個別計画			%	達	成率						
E	証価がも	象外の理由 ()言	評価対象	ı				•			•		1			(対象州ョ	重生/十二	- ~ 1 週 -	未記入 可)
느	コードリングラ		17  川刈多											_	== :				
				評	価項目	1/5つ0	の視点 (1~5点で	で評価)								(係長)		欠評価(	

1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

更新計画に基づき、作業車の購入ができた。今後も計画的に消防車・救急車・各種資機材の更新をして行きたい。

令和5年度の事業の方向性

2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)

3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか

4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

評

価

 $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 

なっていない ⇒

推移していない ⇒

1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推

H 【担当課長職等の所見】

推移した

3点

3 点

3点

3点

更新計画に基づき購入を実施した。今後も計画的に車両、資機材の更新や、点検 整備を定期的に実施し常に適切な消防力を維持する。

15 点

/25点

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

3点

3 点

3点

15 点

/25点

事業番号 枝番 (令和	3 年度計	一画	)統	合計	画実加	布計画	書(	兼進	步乍	管理)								(	(様式1)
132003 1 (令和	3 年度決	集	事	系	事	業	評	価	訓	書	課	局名	消防	本部総務	务課	係名		総務	係
事 業 常備消防運営事業			細事業	管理)	運営事業					実施計画	事業	消防 1	19番	f通報通訓	尺業務委	託事業		冬了 手度	なし
総合計画体系図No.→ ( 269 ) 会計 一般 政 策 Ⅲ 豊か	なくらしと安	* P. 7.	. 生成公子	· 7 + 1				7 [						令和 3	左曲	÷ + , 45,	니스타	1/	+n マ ಞ છ
			子恩 じる	いつより	2			個 別	期間	18	年度 ~		年度				<b>五石</b>		i初予算額
	救急体制の芸		田む行る					<del>-</del> 計	捌旧	BJ	年度 ~		年度	刊9711	19 金田	秋地武男	<b>尺份安</b> 武科		19
日 1 後期基本計画 68			計画		総合戦略		コロナ充当	画名	期間	iji	年度 ~	_	年度						
注	<u> </u>	加加	木町四	i	10 HX III		JH / /L=	1 L	79711	ĦJ	T/Q 1	-	+/2						
A 事業目的・内容・3	<b>ミ綾</b>								<b>-</b> 11	B 事業	計画都	・決算	領等			L VIE =		()))	
事業の目的と内容		年度			主な活	動実績					事	業費計	国庫	支出金	地方	オ源内記 倩	r その他	_	位:千円) 一般財源
<b>&lt;事業の目的&gt;</b>	2014 17-1-1-1-1-1-1-1		消防行	女の円	骨な推進	を図るた	め、資	機材の	71	R3計ī	画	196		V II II	-673	i R	( 47   12	$\top$	190
消防行政の円滑な推進を図るため、 (署)の管理、通信施設及び資機を	すの維持管	R3	購入・料運営を製	推持管 実施。	理、各種	施設点榜	整備、	業務の	Ш	当初予算	算	196	;						196
理、業務の運営などを行い、消防活 かつ的確に実施できるよう総合的な	s動が迅速 は体制の強								Ш	決算	額	196	5						19
化を図る。									11	R 4計ī	画	196	;						19
		R4							Ш	当初予算	算	196	i						196
									Ш	決算	額								
										R 5計i	画	196	5						190
		R5							Ш	当初予算	算								
<令和3年度の取組内容(計画)>										決算	額								
業務の運営									Ш	R6計i	画	196	5						196
		R6							Ш	当初予算	算								
									_	決算	額								
									Ш	R7計i	_	196	5						196
		R7							Ш	当初予算									
									41	決算	•								
									Ш	計画都		980							98
				R3	~ R7	合言	†			当初予算		392						-	392
										決算	頚	196	5						196

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値					
С	1 消防119番通報業務	消防119番通訳数	☑ 個別計画		11	実績値					
活					%	達成率					
動指			│ │ │ 総合戦略			目標値					
標	2 _		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画			目標値					
D	1 市民の安全・安心の確保		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 Ε (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/5つの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  \\ \hline \red{0.05cm}  &  &  $	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 #我! ていない ⇒ #我! た	3 点	∕25点	3 点	∕25点

## G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

今後も消防本部(署)の管理、通信施設及び資機材の維持管理に努めます。通信 指令設備については、令和6年4月から県下消防指令業務共同運用開始を目指して 進行中です。消防車両等の老朽化による故障が懸念されるが、点検整備を定期的 に実施します。

# 令和5年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 消防本部総務課 (令和 3 年度決算) 事 総務係 132005 1 務 価 係名 事 業 常備消防運営事業 細事業 感染症予防対策事業 実施計画事業 感染症予防対策事業 総合計画体系図No.→( 267 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 策 9 消防・救急体制の充実 別計 款 期間 年度 消耗品費 5, 466 9 年度 ~ 項 施策展開 ②消防施設を整備する 1 機械器具費 200 名 後期基本計画 68 P □ 過疎計画 ~ コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 総合戦略 決算 135 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額 決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止対 策として感染防止資機材(感染防止衣等)を 購入。 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止対 策として資機材を整備し、感染予防の徹底を 図るもの。 R 3計画 5,666 R3 当初予算 5,000 666 5, 666 決 算 額 5, 274 4,800 474 R 4 計画 2,000 2, 023 4,023 R4 当初予算 4,023 2,000 2,023 決 算 額 R 5 計画 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 感染防止衣等の購入 R6計画 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 R7 当初予算 決 算 額 計画額 9,689 7,000 2,689 2,689 R3 ~ R7 合 計 当初予算 7,000 9,689 決 算 額 5, 274 4,800 474

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		%	目標値	100				
С	1 資機材整備	資機材整備率	☑ 個別計画	100	/0	実績値	100				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値					
D	1 市民の安全・安心を守る		□ 総合戦略			実績値					
成果			□ 個別計画		%	達成率					
果指			総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
	57 m + 1 45 m + 1 = 37 m + 1								1 45 11 + 461		

評価対象外の理由 0評価対象 Ε (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(199点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止対策としてリユース型感染防止衣を整備し、 隊員の感染予防を図ることが出来た。 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

新型コロナウイルス感染症に伴い、リユース型感染防止衣を60着(上下)及び各 署所に専用の洗濯機を4台設置し、感染予防の徹底を図った。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 消防本部総務課 総務係 132006 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 係名 事 業 常備消防運営事業 細事業 南分署建設事業 実施計画事業 南分署建設事業 総合計画体系図No.→( 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 当初予算額 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 南分署庁舎建設 別計 期間 R3 年度 ~ R4 年度 地質調査業務委託料 款 策 9 消防・救急体制の充実 9 2,600 項 施策展開 ②消防施設を整備する 1 南分署建設工事実施設計委託料 6,040 名 目 後期基本計画 68 P コロナ充当 期間 年度 ~ 過疎計画 総合戦略 決算 135 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 火災等から市民を守り迅速な災害活動を行う ため消防庁舎の整備を進め、円滑な消防活動 を推進する。 南分署建設に伴う建設工事実施設計委託及び 地質調査業務委託を実施。 R 3 計画 8,640 2,940 R3 5,700 2,940 当初予算 8,640 決 算 額 7, 593 5, 100 2, 493 R 4 計画 95,000 15,000 110,000 R4 当初予算 76, 400 72,000 4,400 決 算 額 R 5 計画 128,800 128,800 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 消防施設の充実 R6計画 ・地質調査業務委託 ・建設工事実施設計委託 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 R7 当初予算 決 算 額 計画額 247, 440 100,700 146, 740 7, 340 R3 ~ R7 合 計 当初予算 85, 040 77, 700 決 算 額 7, 593 5, 100 2, 493 各計画指標 R5 R7 評価指標名 指標値の説明(算出方法等) R 2 実績値 単位 達成度 R3 R4 R6 目標値 100 100 □ 総合戦略 % С 南分署庁舎整備 庁舎整備率 100 実績値 100 ✓ 個別計画 % 達成率 100.0 目標値 □ 総合戦略 実績値 標 個別計画 % 達成率 総合計画 目標値 D 市民の安全・安心を守る 総合戦略 実績値 個別計画 % 達成率 ᄨ 目標値 総合計画 指標 実績値 総合戦略 達成率 個別計画 %

E	評価対象外の理由	0評価対象			(対象外事	業はF~I#	未記入 可)
		評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
		計画項目グラフの税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民ア	ンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高	いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに	事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
Щ	4. 活動指標の達成状	況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	15 点	3 点	15 点
	5. 成果指標の達成状	況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	∕25点	3 点	/25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
水災等から市民を守り迅速な災害活動を行うため消防庁舎の整備を進め、円滑な消防活動を推進する。 建設課と協議を行い、庁舎建設を円滑に進めたい。	建設工事実施設計委託及び地質調査業務委託を実施完了。建設課と協議をしながら令和5年6月の開庁に向けて取組む。

I 令和5年度の事業の方向性

C.終了

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 消防本部総務課 (令和 3年度決算) 価 消防保安係 133001 1 務 係名 事 業 細事業 消防団活動事業 実施計画事業 消防団活動事業 非常備消防運営事業 なし 総合計画体系図No.→ 会計 一般 政 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 施 策 期間 年度 消防補償等組合負担金 9 9 消防・救急体制の充実 年度 ~ 23, 277 項 1 施策展開 ①消防・救急体制を強化する 画 消防団員報酬 28, 317 名 2 B 後期基本計画 68 P 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 25, 580 決算 136 消防協会負担金 3, 651 B 事業計画額·決算額等 A 事業目的・内容・実績 (単位:千円) 財源内訳 年 事業の目的と内容 主な活動実績 度 "団員定数1,080人、1団、4方面団、37分団で組織される消防団の運営管理、並びに各種災害に迅速な活動ができるよう団員の充実強化を図る。 実団員数 973人 実団員数 13回 訓練回数 13回 訓練回数 2回 国県支出金 地方債 その他 -般財源 <事業の目的> 各種災害現場において機能が十分発揮できる R 3 計画 94, 112 94, 108 よう、消防団活動能力の充実強化を図る。 R3 当初予算 94, 108 94, 112 74, 608 決 算 額 74, 669 61 R 4計画 94, 108 94, 112 R4 当初予算 94,616 94,612 決 算 額 R 5計画 94, 112 94, 108 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ″団員定数1,080人、1団、4方面団、37分団で 組織される消防団の運営管理、並びに各種災 害に迅速な活動ができるよう団員の充実強化 R6計画 94, 112 94, 108 R6 当初予算 音に近遅な活動かできるよ を図る。 ・消防団員報酬 ・費用弁償(無動手当等) ・消防協会負担金 ・分団連営補助金 ・消防補償等組合負担金 決 算 額 R 7計画 94, 112 4 94, 108 R7 当初予算

	評価指標名	指標値の説明 (算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7									
			総合戦略		Y	目標値	973													
С	1 消防団員数	消防団員数 (年度当初)	個別計画	991	人	実績値	973													
活					%	達成率	100.0													
活動指			総合戦略		口	目標値	6													
標	2 訓練回数	訓練回数(年間)	□ 個別計画	4	ī	実績値	2													
					%	達成率	33. 3													
			総合計画		Į.	目標値	53													
D	1 消防団員新入団員数	新入団員数	□ 総合戦略	33	人	実績値	53													
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0													
成果指			✔ 総合計画			目標値	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026									
標	2 消防団員の確保	消防団員数	□ 総合戦略	991		実績値	973													
			□ 個別計画		%	達成率	94.8													
E	評価対象外の理由 0 評価支	<u></u>  象				•	•	(文	評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業は <b>F~I欄</b> 未記入 可)											

R3 ~ R7 合 計

決算額計画額

当初予算

決 算 額

470, 560

188, 728

74,669

20

8

61

470, 540

188, 720

74,608

-次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点 → 2 3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3点 なっている なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 3点 評 優先度低い 優先度高い 2 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 3点 15点 15 点 推移していない ⇒ 推移した → 3 → 4 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 3点 /25点 3点 /25点 推移した

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

平成30年に組織再編を行い団員定数も実団員数に近い定数を設定した。 しかしながら、年々退団者が増え実団員数は大きく下回った。

各種訓練を重ね、団員の技能等の向上を図り、地域防災力の強化を目指すとともに、団員 の危機を減らすため安全装備品の充実を図る。 さらには、消防団の存在意義を地域住民に理解してもらい、新規入団者獲得のため粘り強 く勧誘を行う。

消防団員の活動に対する安全装備品は、今後も充実強化を図る。消防団員数については、現在減少傾向にあるので、今後も加入促進に取組む。各種訓練については、現在新型コロナウイルス感染対策のため訓練を最小限にしたが、各種災害に対応できるよう団員の充実強化に取組む。

I 令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-1 拡充

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 消防本部総務課 消防保安係 134001 1 (令和 3年度決算) 務 価 係名 事 業 消防施設整備事業 細事業 消防水利・資機材等整備事業 実施計画事業 消防水利・資機材等整備事業 なし 総合計画体系図No.→ 会計 一般 政 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 策 期間 年度 消防施設整備工事請負費 9 9 消防・救急体制の充実 年度 ~ 33,800 項 1 施策展開 ②消防施設を整備する 画 車輌購入費 23,672 名 3 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 後期基本計画 68 P 過疎計画 総合戦略 消防団詰所整備工事請負費 20,000 決算 137 消防団詰所整備工事設計委託料 3,000 B 事業計画額·決算額等 A 事業目的・内容・実績 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 -般財源 <事業の目的> 消防施設、設備等の整備を行い、消防水利、 資機材等の充実強化を図る 火水階有鑑化事業 (3基) 内花等の従入や板落防止を図るため 砂飲水槽整理業 (3基) 採到の定点を図るため 料の定点を図るため 利用設計所解化等 (1本) 法所の集約化を図る 引起計所解析等 (1本) 法所の集約化を図る 引起計所報信事業 (1本) 法所の集約化を図る 計計監所製作業に近づき場所の建特之を行う 連続開発前針に基づき場所の建特と行う 返立地地設計度の分析と同志では 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示といる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示をいる。 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 基本の表示を、 R 3 計画 87,929 25, 935 22,094 R3 当初予算 25, 934 22, 095 87, 929 39, 900 決 算 額 82, 426 25, 916 33, 700 22,810 R 4計画 49,000 25, 288 84, 266 9, 978 R4 当初予算 56, 496 19,800 22, 504 14, 192 決 算 額 R 5 計画 73, 300 9,978 30,000 33, 322 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 "①防火水槽有蓋化事業(3基) ゴミ・汚泥等の流入や転落防止を図るため有蓋 化を図る ②耐震性貯水槽整備事業(3基) 消防水利の充足を図るため耐震性貯水槽を設置 R6計画 84, 266 9,978 49,000 25, 288 R6 当初予算 決 算 額 (日め) (1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 - 1975年 R 7計画 93, 300 9,978 49,000 34, 322 当初予算 ④消防団詰所整備事業 (1棟) 決 算 額 消防団詰所更新計画に基づき詰所の建替えを行 9 ⑤石油貯蔵施設立地対策等交付金事業(1台) 消防団車両更新計画に基づき車両の更新を行う ⑥電源立地対策交付金事業 (2台) 消防団車両更新計画に基づき車両の更新を行う 消 計画額 423, 061 65,847 216,900 140, 314 R3 ~ R7 合 計 当初予算 40, 126 44, 599 144, 425 59, 700 決 算 額 82, 426 25,916 33, 700 22,810 

	評価指標名	指標値の説明(昇出万法寺)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	K4	R5	Кb	R/
			□ 総合戦略			目標値	10	13	12	13	13
C	1 施設整備数	施設整備数 (防火水槽、消防団詰所等)	個別計画	13		実績値	9				
活					%	達成率	90.0				
動指		the matter Market ( ) 0. Only 1. The last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last of the last	┃ □ 総合戦略		台	目標値	3	1	1	1	1
標	2 車両整備数	車両整備数(ポンプ車、小型ポンプ積載車)	□ 個別計画	1		実績値	3				
					%	達成率	100.0				
			□ 総合計画			目標値					
D	1 —		□ 総合戦略			実績値					
成			□ 個別計画		%	達成率					
果			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
		-									

評価対象外の理由 0評価対象 Ε (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	13 点	3 点	12点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点	/25点	点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 消防施設整備の充実。 補助金を有効に活用し、緊急性及び優先度の高いものから整備を行い、地域消防力の向上 を図る。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 【担当課長職等の所見】

市民の安心安全な暮らしを守るため、消防団車両更新計画に基づき、順次車両の 更新を行う。消防水利については、緊急性及び、優先度の高いものから、整備を

令和5年度の事業の方向性

なし

当初予算額

(単位:千円)

一般財源 1,510 1,510

1, 315

1,510

1,462

1,510

1,510

1,510

7,550

2,972

1, 315

1, 133

216

136

25

防災対策係

							_								••-								
-	35001	<b>枝</b>	番	( 令和 ( 令和							を施計事 第	画書(	<b>兼進</b> 価		調調	書	課局名		総務語	果	係	名	防
事	業	災害に	1強い	まちづくり	推進	事業	ŧ	細事業	防災	災対策事	業				実	施計画事	事業 防災	アド	バイザー	舌用事業	<b>390</b>		斜白
	総合	計画体	系図No	→ ( 253 )																			
会計	一般	政	策	Ⅲ豊か	なく	らしと多	で心を	実感で	きるま	きち				5					令和	3 年原	度 主な;	歳出名和	尓
款	9	施	策	8 防災	対策の	充実							另	ij	期間	年	度 ~	4	会計 会計	年度任用	職員報酬	Ж	
項	1	施金	<b>策展開</b>	①防災体	本制を	強化す	る						計画	Ī					社会)	保険料(	会計年度	度任用職	員分
目	4	後	期基本	<b>計画</b> 6	6 P		過疎	計画		総合戦	略	コロナ充	当 2	其	期間	年	度 ~	4	年度 期末	手当(会	計年度信	£用職員	分)
決算	138	Δ <b>=</b>	数日的	・内容・	宝籍										В	車業計	画額・決	首類:	費用	弁償(会	計年度任	£用職員	分)
				りと内容	<u> </u>		年			÷+	活動実	生			ווֹ	<del></del>	事業費		<del>प</del>		財源内	讨訳	
		• • •					度			土/。	<b>卜心别天</b>	<b>不</b> 其					尹未复;	ēΙ	国県支出	金地	方債	その	)他
<b>&lt;事</b> 防災	■業の目 講話等	<b>的&gt;</b> を通じ	て防災	啓発を行	V۱. F	方民の		自主隊	5災組約	能等に講	習や講話	舌を 2 8 回	目行った	-	R	3計画	1, 5	510					
防災	〈事業の目的〉 方災講話等を通じて防災啓発を行い、市 方災意識を高め、防災訓練、防災活動を トス						R3	0							当	初予算	1, 5	510					

R3 ~ R7 合 計

R4

R5

R6

R7

<令和3年度の取組内容(計画)>

自主防災組織等に講習や講話を行う。

決 算 額

R 4 計画

当初予算

決 算 額 R 5計画

当初予算

決算額

R6計画

\_ 当初予算

決 算 額 R 7 計画

当初予算 決 算 額計 画 額

当初予算

決 算 額

1, 315

1,510

1,462

1,510

1,510

1,510

7,550

2,972

1, 315

	評価指標名	指標値の説明 (算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	15	16	17	18	19
С	1 講習件数	団体へ出向いて行った講習等の件数	個別計画	14	11	実績値	28				
活					%	達成率	186. 7				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		件	目標値	15	16	17	18	19
D	1 講習申請件数	団体からの講習等の申請件数	□ 総合戦略	14	1	実績値	28				
成			□ 個別計画		%	達成率	186. 7				
成果指標			総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

 E
 評価対象外の理由
 ① 評価対象

 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(109点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \r$	4 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	24 点	5 点	25 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 防災講話等を通じて市民の防災啓発、防災意識の高揚を図ることは非常に大切なことから 継続する。

I 令和 5 年度の事業の方向性

	35001	<b>枝番</b>	•	î和 3 和 3					総合事	s計 務				書 ( <b>第</b> 評	ŧ進 価	捗飠 訓		里) 書	課局	3名		総務	課		系名	防災		<b>式 1</b> ) 
事	<b>*</b> %	害に強い	ょちづ	くり推	進事	業		細事	ŧ ß		( ) ( ) ( ) ( )	4						古計画	事業	自主防	災組締	找活動	事業費	計 補助事	業	終了年度		なし
会計	総合計	画体系図N 政			くら	1 ا	左心	を実感	できる	、まち											1	숙제	1 3 4	∓度 主	た歳出	夕称	当却	]予算額
款	9			5.災対領			X-10-		(0.0	, , ,					個  別		9		年度 ~		年度	-		L織活動				2, 67
項	1	施策展		災体制			-る								計画	-												
目	4	後期基	本計画	66	Р		過	疎計画		糸	合戦略	i	٦	ロナ充当	名		il i		年度 ~		年度							
決算		古世日	More de se	a . eb 4														**	<b>以前</b> 参	. At 100	<b>参</b>							
		事業目					年				<b>→</b> +\:	T = 1 m 4	*				<u> </u>	<del>学来。</del> 、	計画額					財派	内訳	(	単位	: 千円)
		事業の目	断と内	谷			度		- 1	n I . //		活動実績		1.71.1.7		_			争	業費計	国県	支出	金	地方債	-	その他	— 舟	般財源
自主	<b>事業の目的</b> 防災組織	等が行う					l	0	の自主	EI防災	を組織に	1補助金	<u>ま</u> の	交付を行	丁つた		R3	3 計画	Ū	2,67	0	1, 1	35			1,000		535
	に対し補 実を図る。		付し、目	主主的	<b>火組</b> 維	談等	R3	3										切予算	-	2, 67	0	1, 1				1,000		535
							_									_		算額	_	68	-		48		_			33
																		4 計画	_	2, 67		1, 1	_			1,000		53
							R4	+										切予算	-	2, 67	0	1, 0	06					1, 664
							H									-	-	算 額 5 計画		0.07	0	1 1	25		-	1 000		
							R5	,										切予算		2, 67	<u> </u>	1, 1	30			1,000		538
< 2	令和3年度	の取組に	物容(計画	<b>画)&gt;</b>			"											算額	-									
防災	訓練・啓	発事業補	助金の交	を付。			H									-		3千 113	*	2, 67	0	1, 1	35			1,000		535
防災	資機材整個	<b>備事業補</b> .	助金のタ	2付。			Ré	;										切予算		2, 0.		-, -	-			1,000		
							l											算 額	-									
																7	R7	7 計画	Ī.	2, 67	0	1, 1	35			1,000		535
							R7	,									当初	切予算	Ĭ									
							l										決	算 額	Ą									
							Г										計	画額	Ą	13, 35	0	5, 6	75			5,000		2, 67
							l		ı	R3	~ R	7 合	計				当衫	切予算	Ĭ	5, 34	0	2, 1	41			1,000		2, 199
																	決	算額	Ą	68	5	3	48					337
		評価指棋	<b>新</b> 夕			+6	抽店	の説明	/答山	<del></del>	*		<b>Ø</b> ≡	计画指標	- T-s	0 == 4	≢/法	¥ /÷	法氏	# T	R3		R4		₹5	R6	1	D7
$\vdash$		可测角包	T 12			拍	示吧	ᄼᄼᇝᇉᄞᆟ	(尹山	刀 広	ज/	<u> </u>				<b>4 天</b> 和	_		目標		1/10	7		8	9	1	0	R7
С	1 補助金	申請件数			交付	申請	数					- 1:	_	総合戦				団体	実績			8		0	J	1		
														個別計	画		Ì	%	達成		114						1	
活動指												ı		総合戦	略		1		目標	値								
標	2 _												_	個別計					実績	値								
													_					%	達成	-+				<u> </u>				
														総合計	画			寸	目標	値		3		3	3	:	3	;

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		団体	目標値	7	8	9	10	11
С	1 補助金申請件数	交付申請数	□ 個別計画	6	体	実績値	8				
活					%	達成率	114. 3				
活動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					i
			総合計画		寸	目標値	3	3	3	3	3
D	1 新規自主防災組織結成数	新規に結成した自主防災組織数	□ 総合戦略	3	体	実績値	13				1
成			□ 個別計画		%	達成率	433. 3				1
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					<u> </u>
			□ 個別計画		%	達成率					
	= T   T   4   4   4   4   4   4   4   4								14.11		

E 評価対象外の理由 O評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	4 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restance & \rightarrow & rest. \end{array}$	4 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	23 点	5 点	<sup>25</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 地域防災力の向上はこれからも必須であり、直接的な自主防災組織への助成は必要である ことから継続する。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) (令和 3 年度決算) 事 課局名 総務課 係名 防災対策係 135001 3 価 事 業 災害に強いまちづくり推進事業 細事業 防災対策事業 実施計画事業 防災行政無線整備事業 総合計画体系図No.→( 259 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 策 8 防災対策の充実 別計 防災行政無線整備工事請負費 款 期間 年度 ~ 年度 1,062,778 9 防災行政無線整備工事施工管理委 項 施策展開 ③災害対策を強化する 1 12, 456 名 後期基本計画 66 P 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 年度 目 4 過疎計画 決算 138 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 防災行政無線のデジタル化整備 防災行政無線更新工事を行った。 R 3計画 1,075,234 1,021,400 53,834 53, 834 R3 当初予算 1,021,400 1,075,234 決 算 額 1, 075, 234 1,021,300 53, 934 R 4 計画 R4 当初予算 決 算 額 R 5 計画 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 防災行政無線工事及び施工監理 R6計画 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 R7 当初予算 決 算 額 計 画 額 1,075,234 1,021,400 53,834 R3 ~ R7 合 計 当初予算 1,075,234 53,834 1,021,400 決 算 額 1,075,234 1,021,300 53, 934 指標値の説明 (算出方法等) 評価指標名 各計画指標 R4 R5 R6 R7 R 2 実績値 単位 達成度 R3 目標値 100 □ 総合戦略 % С 1 工事の完了 工事の進捗状況 21.5 実績値 100 □ 個別計画 % 達成率 100.0 目標値 □ 総合戦略 実績値 標 個別計画 達成率 % 目標値 総合計画 100 % D 実績値 1 子局の設置 防災行政無線子局の設置割合 総合戦略 100 個別計画 % 達成率 100.0 ᄨ 目標値 総合計画 指標 実績値 総合戦略 達成率 個別計画 % 評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1~9点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \red{0.05cm}  & \r$	5 点		5 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点	25 点	5 点	25 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点	∕25点	5 点	∕25点

	G	【担当係長の意見・課題・改善策等】	※今後の事業の進め方等	Н	【担当課長職等の所見】	※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
完了。				完了		

I 令和5年度の事業の方向性

C.終了

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 総務課 係名 防災対策係 135001 4 (令和 3 年度決算) 事 務 価 事 業 災害に強いまちづくり推進事業 細事業 防災対策事業 実施計画事業 地震・津波等防災・減災対策推進事業 なし 総合計画体系図No.→( 259 策 Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 当初予算額 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 別計 策 8 防災対策の充実 消耗品費 款 期間 年度 ~ 年度 1, 182 9 項 施策展開 ③災害対策を強化する 1 機械器具費 660 名 目 4 後期基本計画 66 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 決算 138 A 事業目的・内容・実績 B 事業計画額·決算額等 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 避難所で使用する備蓄品の購入を行った。 建替等で避難所表示板の無かった指定避難所 表示板の作成を委託した。 **<事業の目的>** 避難所等の消耗品、備品の充実を計る。 R 3計画 1,842 1, 120 1, 120 722 R3 当初予算 1,842 決 算 額 1,097 375 722 R 4 計画 1, 120 1,842 722 R4 当初予算 1,000 333 667 決 算 額 R 5 計画 722 1, 120 R5 当初予算 決 算 額 <令和3年度の取組内容(計画)> 消耗品の購入。備品の購入。 R6計画 1,842 722 1, 120 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 1, 120 1,842 722 R7 当初予算 決 算 額 計画額 9, 210 3,610 5,600 当初予算 1,055 1, 787 R3 ~ R7 合 計 2,842 決 算 額 1,097 375 722 R 2 実績値 単位 評価指標名 指標値の説明 (算出方法等) 各計画指標 R4 R5 達成度 R3 R6 R7 備蓄計画に沿った備蓄品の 購入 目標値 100 100 100 100 100 □ 総合戦略 % С 計画購入量 100 実績値 □ 個別計画 % 達成率 100.0 目標値 □ 総合戦略 実績値 標 個別計画 達成率 % 目標値 総合計画 100 100 100 100 % 実績値 D 1 各避難所への配備 ΙП 計画配備量 総合戦略 100 100

	. U MTXE// . ^ / HL/H		可凹肚佣里		WO II +X#	100		人似但	100				
成					個別計画	ū	%	達成率	100.0				
果指					総合計画	ī		目標値					
標	2 —				総合戦略	š		実績値					
					個別計画	Ī	%	達成率					
E	評価対象外の理由	0評価対	<b>対象</b>								(対象外事	業は <b>F~I椎</b>	未記入 可)
			部原符ロフロのの根本 / 1 「」	= <b>-</b> == ( <b>-</b> )					- <i>y</i>	マ評価(	係長)	二次評価	(課長等)
			評価項目/5つの視点(1~5点	えで評価)					評価	点	平価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民ア	'ンケート)	の向上が期待できる事業内容となってい	るか	7,	1 → 2 - よっていない	→ 3 ·	→ 4 → ! なってい		4 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高	いと思うか	い(同じ成果指標設定事業内での優先度)			1 → 2 - 優先度低い	→ 3 ·	→ 4 → ! 優先度高し		4 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに	事業を進め	りることができたか		7	1 → 2 - ごきなかった	→ 3 ·	→ 4 → ! できた	5 ;	3 点		5 点	
Щ	4. 活動指標の達成状	(深) (率) は計	†画どおり推移しているか		推	1 → 2 - 移していない		→ 4 → ! 推移した		点	21 点	5 点	25 点
	5. 成果指標の達成状	(深) (率) は計	†画どおり推移しているか			1 → 2 - 移していない		→ 4 → ! 推移した		5 点	/25点	5 点	∕25点
	G 【担当係	長の意見・	課題・改善策等】 ※今後の事業の進めた	等		H 【担	当課長	長職等の所見	】 ※評価	i・改善	策等を踏ま	えた課長職等	等の所見
	事業費の1/2~1/ ならないことから継続		補助があること、備蓄品の購入等は今後	€も継続し	ンなけ 備	蓄計画に沿	って、	今後も備	蓄品の購入	は必要	であること	から継続	

I 令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

	<b>事業番号</b>	枝番				_	。 合計画実施					里)							T .	(様ま	
1	35001	5	(令和:	3 年度	決 算	**************************************	務事	業	評(	<b>6</b>	調	書	課局	<b>高名</b>	糸	務課		係名	防災	(対策	系
事	業	災害に強いま	きちづくり丼	推進事業		細事業	防災対策事業				実力	施計画	事業	土砂災害	<b>デハザ</b> 、	ードマッ	プ作成	文事業	終年		なし
会計		計画体系図№ 策	· ( 255 ) III 豊かな	くらしと	安心を	:実感でき	るまち			<b></b>						令和 3	年度	主な歳と	出名称	当初于	予算客
款	9	施策	8 防災対策	策の充実						個別期	間		年度 ~		年度	防災マッ	プ等作	成委託料	ł		2, 70
項	1	施策展開	②災害危險	険区域を整	備す.	る				計 画											
目	4	後期基本	計画 66	Р 🗌	過頭	東計画	総合戦略		ロナ充当	名期	間	:	年度 ~		年度						
決算		. ***		444							_			N. 40-40	- Adr						
		A 事業目的		板	年						$\stackrel{\blacksquare}{\sim}$	<u> 争来们</u> 、		- 決算額	( <del>-)</del>		Į	才源内部	5	(単位:	千円)
		事業の目的			度		主な活動	力実績					事:	業費計	国県:	支出金	地方	債	その他	一般	財源
大分	事業の目 ・県の土配	的> 少災害警戒地	域調査によ	り対象地		28区均マップの	或の新規警戒地域 の作成を委託し完	を反映成した。	したハザー ハザード	- ド フッ	R	3計画	Ī	2, 706		1, 353					1, 35
	なった値	箇所について 住民への周	最新のハサ	ードマッ	R3		系行政区に配布し		, ,		当	初予算	Ξ	2,706		1, 353					1, 35
, ,-	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	11.70	74. C [L] 0/3								決	算 額	Į	2, 508		1,875			550		8
											R	4 計画	Ī	2,706		1, 353					1, 35
					R4						当	初予算	Ξ	2, 200		1,650					55
											決	算 額	Į								
											R	5計画	Ī	2,706		1, 353					1, 35
					R5						当	初予算	Ξ								
		度の取組内容									決	算 額	Į								
		序戒地域を反□ ≶託する。	映したハザ	ードマッ							R	6計画	Ī	2,706		1, 353					1, 35
	1179402	, , ,			R6						当	初予算	Ξ								
											決	算 額	Į								
											R	7計画	Ī	2, 706		1, 353					1, 35
					R7						当	初予算	Ε								
											決	算 額	Į								
											計	画 額	Į	13, 530		6, 765					6, 76
							R3 ~ R7	合 計			当	初予算	Ε	4, 906		3,003					1, 90
											決	算 額	Į	2, 508		1,875			550		8
	T	( U. ( d		T	I = 1 + -			1				Iwa I	Nation 17	1		T					
	1	評価指標名	<u> </u>	指	惊旭()	が明(昇	[出方法等)	谷部	計画指標	R Z 美	- 傾他	甲位	達 及 目標		R3	R4	100	R5	R6	+	1.0
С	1 ハザー	ードマップへ	の豆麻	県の基礎	調査領	適所をハ	ザードマップへ反		総合戦略		100	%	実績		100	+	100	100	) 10	00	10
	' ' ' ' '	F \ 27*	<b>*</b> // <b>以</b> 吹	映する					個別計画		100	%	達成		100.0					+	
活動									4// △ ≌೬™₽			"	目標		100.	,	-			+	
指標	2 _								総合戦略				実績								
									個別計画			%	達成								
									総合計画			0/	目標	値	100	)	100	100	) 10	0	10
D	1 ハザー	ードマップの 掲載	作成・HP				ップの作成 の新規分追加		総合戦略		100	%	実績	値	100	)					
成	-27	-y 17N		77111 / 19	1. ,	. , ,	~ A21 A2E/J XE/JH		個別計画			%	達成	率	100.0	)					
果指									総合計画				目標	値							

			総合戦略		%	目標値	100	100	100	100	100
С	1 ハザードマップへの反映	県の基礎調査箇所をハザードマップへ反 映する	個別計画	100	/0	実績値	100				
活		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	旧加市四		%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 —		個別計画			実績値					
			旭加山田		%	達成率					
			総合計画		0/	目標値	100	100	100	100	100
D	1 ハザードマップの作成・HP への掲載	紙ベースのハザードマップの作成 市IIPハザードマップへの新規分追加	総合戦略	100	%	実績値	100				
成果	771477		個別計画		%	達成率	100.0				
果			総合計画			目標値					
指標	2 —		総合戦略			実績値					
			個別計画		%	達成率					

E 評価対象外の理由 O評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	3 点	21 点	5点	<sup>25</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	/25点	5 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市民への災害情報の提供は必須であり、国県補助も充実していることから継続する。 ハザードマップ作成、住民周知については、自治体の責務と考えるため継続

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

4	事業番号	枝番	(	(令和	П 3	年度	計画	)	総合	計画	実施	計画	書(	兼道	<b></b>	管理	!)								(様式1)
]	35001	6	(	(令和	1 3	年度》	夬 算	)	事	務	事	業	評	価	i <b>!</b>	調	書	課局名	ì	総務課		係名	ž	防災	対策係
事		災害に強い				<b>基事業</b>	i	細事業	防	災対策	事業					実施	計画	事業 避難所	エコノ	ミーク	ラスタ	対策事業	Ē	終了年度	
会計		+画体系図N 政				らしと多	ケ心を	宇威で	できる	まち				ΠГ						<b>介和</b>	3 年 5	度 主な詞	表出名	称	当初予算額
款	9		-+	8 防災			~	J ( ) ( )						T	個 別 期	間		年度 ~	年度	消耗品			жш п	13	3, 08
項	1		_			<u>- パー</u> を強化す	る								計 — 画										
目	4	後期基	基本計	+画 6	66 P	P _	過政	計画		総合	戦略		ロナ充	当	名期	間		年度 ~	年度						
決算			۸۸ -	rh sta											1			上面的一种的	465 645						
		4 事業目			天模		年				ナンエモ	. <del></del>				abla	<del>7 * 1</del>	一直額・決算				財源内	訳	(	(単位:千円)
L.,	= # - = /	事業の目	まりと	- 四谷			度				な活動							事業費計	国県	支出金	地	方債	そ(	の他	一般財源
避難		<b>9&gt;</b> '泊でのエ	コノ	ミーク	ララス;	症候群				ストッ 所に配			00足	上購入	L	R 3	計画	i 3,08	0	3, 026					5
对床	を行う。						R3									_	予算	-	-	3, 026					5
							_								_	_	算額	+	2	343					68
							D4										計画								
							R4									_	可予算 算 額								
															_	_	計画	+							
							R5									<u> </u>	7 可 區 ] 予 算								
<	令和3年	度の取組内	内容	(計画)	>											_	算額								
医療	用弾性ス	トッキン	グを	1400足	2購入	する。										-	計画								
							R6									当初	]予算	[							
																決:	算 額	i							
																R 7	'計画	ī							
							R7									当初	]予算	Ī							
																決:	算額	į							
																計i	画額	i 3,08	0	3, 026					5
									R	₹3 ~	R7	合 討	•			_	]予算		-	3, 026					5
																<i>.</i> .	算額	1,03	2	343					68
		評価指標	漂名			指相	漂値の	説明	(算出フ	方法等)		各	計画指	標	R 2 実	績値	単位	達成度	R3		R4	R5		R6	R7
													総合	戦略			足	目標値	1, 40	_					
С	1 弾性ス	トッキン	グの	購入	賺	<b></b> 青入数							個別	計画		-		実績値	1, 40						
活動					+							<del>  _</del>				-	%	達成率 目標値	100.	0					
指	2 _												総合					実績値							
													個別	計画		f	%	達成率							
													総合	計画			%	目標値	10	00					
D	1 各避難	断への配	2備		全	避難所	等への	配備					総合	戦略		L	/0	実績値	10	00					
成果					_								個別	_			%	達成率	100.	0					
指	2												総合				-	目標値		-					
標	2 —												総合個別			-	%	実績値							
E	評価対	象外の理師	<b>±</b> T	0 評価	<b>一</b>	3							凹加	可四			/0	足水干			(\$	対象外事	業は <b>F</b>	- ~ I 相	
	, m, r, j			O HI III	四八多		/m -= -	1./-		F / -		-m/m·							Τ -	-次評価					(課長等)
						評	1曲項目	<b>∃</b> ∕5′	ンの視	点(1~	り点で	:評価)							_	価点		点合計		西点	評価点合訂
F	1. 市民	満足(市)	民ア	ンケー	ト) の	向上が其	月待で	きる事	業内容	子となっ	ている	<i>5</i> \						→ 4 → 5 なっている	+	3 点				5点	
評	2. 事業	の優先度	は高い	いと思	うか(	(同じ成界	<b>具指標</b>	設定事	業内で	での優先	度)			1 優:	→ :	2 →	3 -	→ 4 → 5 優先度高い		3 点				5 点	
1	3. 事業	計画どお	りに	事業をi	進める	ことがて	できた	ή۱						1	→ Z	2 →	3 -	→ 4 → 5		5点				5点	

価						6547	10				
	4.	活動指	標の達成状況(率)は計画どおり推移して	こいるか	1	1 → 推移して	2 → 3 → 4 → 5 いない ⇒ 推移した	5 点	21 点	5 点	<sup>25</sup> 点
	5.	成果指	標の達成状況(率)は計画どおり推移して	こいるか	1	1 → 推移して	2 → 3 → 4 → 5 いない ⇒ 推移した	5 点	/25点	5 点	∕25点
		G	【担当係長の意見・課題・改善策等】	※今後の事業の進め方等		н	【担当課長職等の所見】	※評価・改	善策等を踏ま	えた課長職等	手の所見
完了	0				3	完了					

I 令和5年度の事業の方向性

C. 終 了

3	事業番号	枝番		(令	和	3	年	度	計画	画)	i	総合	計	画	美加	苞計	一画	書	( )	₹進	捗	管耳	埋)							1			(休:	式 1 )
	135004	1		(令	和	3	年	度:	决匀	算 )		事	矜	Ş	事	4	業	1	Ē	価	ā	周	書	課	局名		総	務課		係名	名	防災	対策	係
事	業	災害に強	いま	ちづ	くり扌	隹追	事	業		細	事業	避業		斤新西	<u>j</u> = 1	ロナ	ウィ	イルス	対策	货推進	丰事	実	施計画	事業	避難原業	斤新型	<b>빞</b> 그ㄷ	ナウィ	イルス	対策推	推事	終了年度		R4
		画体系図																				_												
会計	-	政			豊かな				安心	を実	感て	ぎきる	まち	)						個							-    -			き 主なが	歳出名科	<b>F</b>	当初 <sup>-</sup>	
款	9	施			災対															別 計	F	剒	3	年度 ~		年	度	肖耗品藝	P.					8, 9
項	1	施策团			害対		_	_		74.5			۸ ا	/\ A \\	h m de		1		+ 1/	画名	-					_	_							
目 決算	138	<b>伎</b> 期	基本:	計画	66		,		追	疎計	画	L	<b>*</b>	総合戦	「略			コロナ	九当	┚┕	期	削	3	年度 ~		4	度							
八开		4 事業	]的・	内容	・実	橨			,												_	В	事業計	画額	i · 決力	額等	•							
		事業の	目的	と内容	容				年度					主	な活	動実	€績							事	業費請	+	割旧す	出金	Hh -	財源内 方債	り訳 その		(単位: 一郎	千円 財服
<:	事業の目的	勺>	7° ) = -1	L- 1- V2	. 1. >		-L.L	\nA	~	退	至難月	斤にま	ける	5 <del>2</del> 1	1ナ>	対策	消未	毛品等	の購	青入を	-	R	3計画		8, 9	_		3, 455	. تاء	/] [艮	( 0)	IIE	עניו	45
難別	が安心し での生活	に支障る	を来る	さない	いよう	避	また 難所	避に	R		iった	ِ (۸°	ーティ	ションテ	ント、	抗原	「検	査キッӀ	.) 。		-	┢	初予算	+	8, 9			3, 455						45
おり	るコロナ	対策のう	充実を	と図る	٥.				ı												-	_	算 額	+	8, 0			3, 143						4, 91
									Г												┪	R	4計画		1, 7	71		1,200						5
									R4	4											-	当	初予算		1, 7	71	1	1,200						57
									ı												-	決	: 算額	i										
									Г												1	R	5計画	i										
									R!	5											-	当	初予算											
	令和3年						n++- →														_	決	: 算額	i										
避期	所におけ	るコロフ	广对录	2/月村	E品等	(/)	購入	•0	ı												-	R	6計画											
									Re	ô											-	当	初予算											
									L												_	_	: 算 額	1										
									l												-	┢	7計画	+										
									R	1											-	┢	初予算	+										
									H												_	┝	: 算額	+-										1 0/
									ı			-			D.7	_		e.L			-	┢	一画額	+	10, 6			9, 655						1, 02
									ı			-	(3	~	K/		Ē	ŧΤ			-	H	·初予算 : 算 額	+	10, 6			9, 655 3, 143						1, 02 4, 91
									L												_	人	子		0, 0	31	,	0, 145						4, 91
abla		評価指	標名			Ī		指	標値	の説	明(	算出:	方法	等)		Т	各	計画	指標	R	2実	績値	単位	達瓦	戊度	R	23	R	4	R5		R6		R7
																Ī		総	合戦	略			%	目標	票値		100							
С	1 コロナ	対策備	蓄品∅	り購え	\	业	公要(	備蓄	品の	購刀						1			別計			100		実績	-		100							
活動						1										$\dashv$		,		1			%	達成		1	00.0						+	
指揮	2																	総	合戦	略				目標									-	
大型	1/																							主衫	百11日									

	評価指標名	指標値の説明(昇出万法寺)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R/
			□ 総合戦略		%	目標値	100				
С	1 コロナ対策備蓄品の購入	必要備蓄品の購入	個別計画	100	70	実績値	100				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		%	目標値	100				
D	1 各避難所へのコロナ対策備 蓄品の配備	必要備蓄品の配備	□ 総合戦略	100	70	実績値	100				
成	,,		□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
指標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
	_					•			•		

E 評価対象外の理由 ()評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	25 点	5 点	<sup>25</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	/25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 市民が安心して避難所に来れるよう、また避難所での生活に支障を来さないよう避難所に おけるコロナ対策の充実を図ることは必要であるので継続する。 - 避難所における新型コロナウイルス感染症対策は必要であることから継続

令和5年度の事業の方向性

270

612

208

1,976

事	業番号		枝番	1	( -	令和	3	年』	复計	. 画	)	総合	計画	画実加	包計	画	• (	兼	進捗	管	理)								(	(様式1)
1	38002		1		( 4	<b>介和</b>	3	年!	度 決	算	)	事	務	事	ヺ	ŧ	評	佃	i	調	書	課局名	ž	学	校教育記	課	係名	3 学	交教	有係
										I		1								Τ.								1 46	:了	
事	業	教	育振り	興事業	É					i	細事業	学	校教育	育力向.	上対領	<b>食事</b> 美	<b></b>			実	施計画	事業学	校教育	育力向	上対策	事業			度	なし
<b>∧</b> =1		1		図No.—	<del>-</del>	322 )	4. 5	1. 224	× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	//h →	±4.4							<b>-</b> 1	44	5 1 V	・典谷士	野市総	<b>今数</b> ?	<b></b>	A 1 n . 0	·		5.11.25 Th	14/	, in 7 at ta
会計	一般	Į ⊨	政	策	+					似と	育むま	; b							個計	画							王な扇	战出名称	=	4初予算額
款	10	┦┝	施	策	4-	学校都												-∤	計一	明間	R 3 4	<sup>車度</sup> ~ F	R 7	年度	印刷製					118
項	1	┞	施策		1	教育内		1			I		1 60 4	. wh ===					画名。						消耗品到	•	74.7.7	dal		70
目	3	l L	後具	月基本	計世	I 8₄	1 P	<u>'</u>	Ш	過頃	計画	V	総合	計戦略	Ш	긔니	コナ充当	à	其	期間		⊭度 ~		年度	学級集団		榜委託	:料		51
決算	141	A	事業	目的	・内	容・	実績													_B	事業計	画額:	決算額	等	講師謝礼	1金				29
		3	事業の	)目的	」とは	容				年				主な活	動実	績						事業	費計		A I		<b></b> 排原内		_	位:千円)
< 3	業の目	的、	>							度	学校教	育基本	方針と1.	て、「:	定体的;	か自己	実現」(	りでき	る子	_	0.51.7			国県	支出金	地方	債	その他	+	一般財源
曹後	大野市	数言	:季昌	会か	ら地	域全に対	体に	情報	の 空	DO	どもの	育成 (-	ヘプタコ かな学力	、 教育成 対 が が が が が が が が が が が が が	を推っを掲り	進して「	います。 主体的	· 対話	的で	IĖ	3計画		270					270	-	
を行	やうこを 一修と目	、によ	り、た	管内的	エルの小	中学	校の	教育	力	R3	深い字調査の	は果を	美規に回 もとに研 ター作品	]けた授う 「修を深る	で改善された。 ないました。 ないました	を行っ 職員の たため	ていま。 力量向。 保護者	<sub>す。</sub> 上を行 ▽ strl	うと	⊩	初予算	1	270					270	_	
の月刊	上を日	作し	. C &	日印	2 0	(夫)	1世9・	の事	来		広報活!	助を行	っていま	す。	1 6 07	-91	小殴出。	C // C	٠,	<u> </u>	等額	<u> </u>	208					208	+	
										D.4										I⊢	4計画	1	270					270	_	1 050
										R4										I⊢	初予算	1	2, 318					343	2	1, 976
									ŀ											ΙĖ	等額	<del>                                     </del>								
										DE										⊩	5計画	1	270					270	)	
	\ T= 0 #		o =-	·n	5 /= I					R5										II	初予算									
	<b>令和3年</b> 後大野							ンド	ポー										_	I⊢	等額	1	0.77.0					.=-	_	
スタ・	一の作 学校 1	成			,					R6										⊩	6計画	1	270					270	)	
満足	要や意識を	欲等	を質	間紙	こよ	り測定	量する	る学	級	ďΰ										⊩	初予算	1								
	校教育			ため	の研	修			ŀ											I⊫	算額								-	

決 算 額 R 7 計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

270

1,350 2, 588

208

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
С	1 グランドポスターの作成	回数 (年1回の作成)	☑ 個別計画	1	븨	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
標	2 学級集団診断の実施	回数(中学1年生に対して年1回の実施)	✓ 個別計画	1	1	実績値	1				
					%	達成率	100.0				
		W	総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
D	1 学力の分析の実施率	学校教育力向上の状況分析18校の実施 率	□ 総合戦略		70	実績値	100				
成		·	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \hline retarrow center & \hline \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	25 点	5 点	25 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	5 点	∕25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

豊後大野市教育委員会から地域全体に情報の発信や研修、学校生活の生徒に対する調査等を行うことにより、管内の小中学校の教育力の向上を目指ことを目的として実施する事業については、実績から見て達成できた。なお、指導主事による学校教育力向上のための事業であり、調査、研修、啓発等を行っており継続が必要。

豊後大野市教育委員会から地域全体に情報の発信や研修、学校生活の生徒に対する調査等を行うことにより、管内の小中学校の教育力の向上を目指ことを目的として実施する事業については、実績から見て達成できたと評価する。

令和5年度の事業の方向性

23,830

9, 385

4,656

3	事業番号	÷	枝番		( 4	和	3	年	度		一画	i)	*	合	計画	実	施	計画	書	( )	兼	鱼抱	步管	理)									(	(様式1)
	138004		3		(令	和	3	年	度	<b>.</b> 3	: 第	: )	耳	Į.	務	事		業	1	抨	佃	i	調		Ī	果局名		学校教育	課	係	名	学	校教	育係
事	業	教:	育振興事	業								細事	業	教	育振興	車業								実施計画	事業	* スクー	ルン	/ーシャル!	ワー	カー活り	用事業		§了 F度	なし
	総台	動信	i体系図No.	<b>→</b>	( 3	33 )	)																			•								•
会計	一般		政 第	Ē	V	豊か	な心	アト	学え	が意	欲を	で育む	ょまり	ó									第 4 計画	・次豊後ナ ii	大野	市総合教	有	令和 3	3 年	度 主な	歳出名	称	当	初予算額
款	10		施策	N.	1 =	校	教育	05	充実	:														R 3	年度	~ R	7 年	会計年月	度任	用職員報	酬			7, 705
項	1		施策展開	F	②耄	女育(	本制	をす	た実	する	5											画						社会保障)	倹料	(会計年	度任用	職員分		1, 162
目	3		後期基	本記	計画	8	4 F	Р			過	東計画	画		総合	計戦略	[		,	⊦充当	i	名	期間		年度	~	年	費用弁伯	賞					250
決算	141	]_	事業目的	h .	rth 9	te.	安維																	B 事業記	4番	額. 法管	相等	費用弁何	賞(:	会計年度	任用職	員分)		183
							大概				年					·	T #51	/-					٦٢	<u> </u>				•		財源	内訳		(単	位:千円)
		ŧ	事業の目	时。	と内	谷					度					主な流	古虭	美績					Ш			事業費計	<u> </u>	県支出金	ż	也方債	そ	の他	-	一般財源
	<b>事業の</b> 目 め、不		<b>&gt;</b> 、暴力行	為力	など.	児	童生	徒の	か問	顯		一蒜才	その相	談や.	それ	じめ等 に対応	する	教員	1 校ご	T.	相談	P.		R 3 計画	Ī	9, 30	0	4, 534						4, 766
行動	筌につ	ハて	は、極め	TA	區庸.	ナベ	き状	況し	ごあ	n	R3	助言	音を行 つ他に	い必要	要に応 学校に	じて、 て研修	関係会を	機関	と連担 し、非	隽を行 教員の	った育成	を実		当初予算	Ĭ	9, 30	0	4, 534						4, 766
は、は、	児童生	徒の	な課題間での児童	とる	とも	に、署か	家庭れて	1	女人 君	関暗		施し 相談		実績	: 2227	件							П	決算額	Ą	9, 30	7	4,651						4,656
の問	題が複	維(こ)	格み合っ	てい	13	もの	と推	察	され	る													11	R 4計画	1	9, 30	0	4, 534						4, 766
一完備	州寺の	받니다	育分野に 的な知識 々な環境	ベント	文1/1/	タ 用	1.	. 4	// 围	4	R4												Ш	当初予算	Ĭ	9, 90	8	5, 289						4, 619
20	ネット	ワー	へな歴現 クを活用 う専門家	ľ	C. I	問題	を抱	え	る児	童													Ш	決 算 額	Ą									
エルワ	一力一	を配	置し、教	育村	目談	体制	を整	備	する	0													Ħ	R 5 計画	ij.	9, 30	0	4, 534						4, 766
										١	R5												Ш	当初予算	Ĭ									
<	令和3	年度	の取組内	容	(計i	画) >	>			١													Ш	決 算 額	Ą									
	) 課題 働きか		える児童	首生	徒	ぶお	かれ	たり	景境	i													11	R 6計画	ij	9, 30	0	4, 534						4, 766
(2		機関	等とのさ	ネッ	·	フー	クの	構	築、		R6												Ш	当初予算	Ĭ									
(3			おけるラ	F	- J1	本制	の構	築、	、支	:													H	決 算 額	Ą									
			教職員等	争に	対	ナる	支援	• 1	相談	5													11	R 7 計画	ij	9, 30	0	4, 534						4, 766
(5		員等	への研修								R7												H	当初予算	Ĭ									
(6 施	)人件	費の	支払いる	支ひ	「国庫	軍補.	助請	求(	の実														H	決算額	Ą						1			
																									_						_			

当初予算 決算額 計画額

当初予算

決 算 額

46,500

19, 208

9,307

22,670

9,823

4,651

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		Y	目標値	2	2	2	2	2
С	1 国庫補助を利用し、人材確 保を行う	雇用人数	☑ 個別計画	2	八	実績値	2				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
D	1 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程 の達成率	□ 総合戦略	100	70	実績値	100				
成		TO ALMA I	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値	·				
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε 0評価対象 一次評価 (係長)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		久計画	(床政)	一久叶叫	(林及寺)
	計画項目グラフの代点(1~5点で計画)	割	评価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 1. なっ	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	→ 2 → 3 → 4 → 5 先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 1 でき	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
Ш	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	→ 2 → 3 → 4 → 5 していない ⇒ 推移した	5 点	25 点	5 点	25 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推移	→ 2 → 3 → 4 → 5 していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

□ L担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
いじめ、不登校、暴力行為など、児童生徒の問題行動等については、極めて憂慮すべき状況にあり、教育上の大きな課題である。その状況や背景には、児童生徒の心問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等の児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に終み合っているものと推察される。このため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、児童生徒がおかれた様々な環境へ働き掛け、関係機関等とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒に支援を行う専門家である児本性のメットワークを活用して、関重を抱える児童生徒に支援を行う専門家である見なできた。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

日 【担当試験職等の別兄】 ※計画・改善素等を踏まれた試験職等の別兄 いじめ、不登校、暴力行為など、児童生徒の問題行動等については、児童生徒の古さま状況にあり、教育上の大きな課題である。その状況や背景には、児童生徒の心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等の児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡み合っているものと推察される。このため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、児童生徒がおかれた様々な環境へ働き掛け、関係機関等とのネットワークを活用して、児童生徒があれた様々な環境へ働き掛け、関係機関等とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒に支援を行う専門家であるスクールソーシャルワーカーを配置し、教育相談体制を整備する事業については、実績から見て達成できたと評価する。

令和5年度の事業の方向性

事業番号		枝番
138004		5
車 娄	*/r	女 把 服

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼准券管理)

于不田 7	1А Ш	( 13 TH	V — 13C 1	. 12 / 4	40 H H H			_ \		7 p -	<b>エ</b> /					
138004	5	(令和	3 年度》	と算) 🛚	事務	事	業	評	価	調	書	課局名	学校教育課	係名	学校教	育係
					1					Т.			_		終了	
事業	教育振興	!事業		細事業	教育振り	興事業				実	施計画引	₿業  小中	一貫コーディネーター	活用事業	左 中	な

<b>l</b> 0.→ ( 321 )					
策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むます	5	第4次豊後大個計	、野市総合教育	令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算
策 1 学校教育の充実	5	Dil	<sup>年度</sup> ~ R 7 <sup>年度</sup>	会計年度任用職員報酬	2, 2
開 ①教育内容を充実する		画		社会保険料(会計年度任用職員分)	4
<b>基本計画</b> 84 P □ 過疎計画	☑ 総合戦略 □ コロナ充当 □	名 期間	年度 ~ 年度	期末手当	2
<b>始,内泰,李绛</b>		p ##4	上面额。沙葡萄笛	費用弁償 (会計年度任用職員分)	1
り・171分・天積			「凹破 次昇観寺	•	
1	<ul><li>策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまた</li><li>策 1 学校教育の充実</li><li>開 ①教育内容を充実する</li></ul>	策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち  策 1 学校教育の充実  関 ①教育内容を充実する  基本計画 84 P □ 過疎計画 ✓ 総合戦略 □ コロナ充当	策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち  策 1 学校教育の充実  開 ①教育内容を充実する  基本計画 84 P □ 過疎計画 ✔ 総合戦略 □ コロナ充当	策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち

			B 事業計	画額・決算額	費用弁(	賞(会計年度作	E用職員分)	120
	年	<b>ナ</b> ム江動史体				財源内	n訳	(単位:千円)
事業の目的と内容 	度	主な活動実績		事業費計	国県支出金	地方債	その他	一般財源
<b>&lt;事業の目的&gt;</b> 会計年度任用職員として小中一貫コーディネ		教職員はもとより保護者会での説明を2地区、自治会 説明を3地区で実施し、一貫校への取り組みを啓発し	R 3計画	3, 122				3, 122
ーターを採用し小中一貫校の設置を進めてい く。	R3	た。 その他にも郷土学に対しての学習資料の作成や、校舎 建築に対するアンケート、9年間を見通した教育目標	当初予算	3, 122				3, 122
・豊後大野市の将来を担う児童生徒の育成の ため 小中一貫教育、郷土学を柱にした教育		建築に対するアンケート、9年間を見通した教育目標 の作成等を実施しコーディネーターとして活動した。	決 算 額	2, 872				2, 872
改革を推進する。			R 4計画	3, 122				3, 122
・小中一貫教育を実施していくことで、地域 に学校を残し持続可能な地方の創造を図る。	R4		当初予算	3, 120				3, 120
			決 算 額					
			R 5計画	3, 122				3, 122
	R5		当初予算					
<令和3年度の取組内容(計画)>			決算額					
・ 市内小中学校の教職員、PTA、地域住民への			R 6計画	3, 122				3, 122
説明会を通じて啓発活動を実施する。 ・CS(学校運営協議会)を各学校年5回実施す	R6		当初予算					
る。 ・校舎建築、増改築、補修などの施設設備の 充実に関する計画立案を進める。			決 算 額					
で 大き 大き で			R 7計画	3, 122				3, 122
・特色ある学校づくりの実践に取り組む。 ・9年間を見通した教育目標、教育課程の作成、年間計画などの作成を促進する。 ・小中一貫教育に関わる教職員の業務内容の	R7		当初予算					
成、年間計画などの作成を促進する。 ・小中一貫教育に関わる教職員の業務内容の			決算額					
点検整理を行い働き方改革の一貫に資する。			計画額	15, 610				15, 610
		R3 ~ R7 合 計	当初予算	6, 242				6, 242
			決 算 額	2, 872				2,872

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		Y	目標値	1	1	1	1	1
С	1 小中一貫コーディネーター の 配置	会計年度任用職員の人数	☑ 個別計画		人	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			✓ 総合計画		校	目標値	1	2	4	5	7
D	1 小中一貫校の設置	小中一貫校の数(累積 ハード及びソフト含む)※基本計画	✔ 総合戦略		12	実績値	1				
成		1,000	✔ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	25 点	5 点	<sup>25</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

# G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

会計年度任用職員として小中一貫コーディネーターを採用し小中一貫校の設置を進めていく。 ・豊後大野市の将来を担う児童生徒の育成のため小中一貫教育、郷土学を柱にした教育改革を推進する。 ・小中一貫教育を実施していくことで、地域に学校を残し持続可能な地方の創造を図る。 については、実績から見て達成できた。なお、小中一貫校の設置を進めていくために必要であり、基本計画の令和7年の7校設置に向けて継続していく。

会計年度任用職員として小中一貫コーディネーターを採用し小中一貫校の設置を 進めていく事業については、実績から見て達成できたと評価する。

## 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

_					
事業番号		枝番		(	令
138005		1		( =	<del>^</del>
事業	教	育振興	車業		
総合	計画	画体系 🛭	⊠No.→	(	32
스計 _화	П	뀺	#	17	Ħ

	138005	1 (令和	3 年度 2	夬 算	)事	務事	業	評	価	調	書	課局名	学校	教育課	係:	名	学校	教育係
事	業	教育振興事業			細事業	外国語指導助手	事業			実	施計画	事業 外国語	指導助手	手事業			終了年度	
<u> </u>		+画体系図No.→ ( 327 )	. 3 1 32 56 7	5 M 3					1 [ ]	笠 4 ツ	b 曲 24 +	、野市総合巻	杏	A == 0		15-11-4		
会計			これと学ぶ意	意欲を	育むまり	5			個	計画				会計年度任	年度 主な 壬用職員報			当初予算額
款	10	施 策 1 学校教		7					- 計-	期间	R 3 <sup>4</sup>	<sup>車度</sup> ~ R	7 年度	導助手)	斗 (会計年度			14, 780
項	3	施策展開 ①教育内: 後期基本計画 84	容を充実す		計画	総合戦略		コロナ充当	画名	期間		<b>∓度 ~</b>	1 1	)	召致事業負担		177.77	2, 160
月 決算	ļ	夜朔季本計凹 δ4	Р Ц	迴以	おおり	松口製船	Ш -	1口) 元ヨ	Ш	州旧		+及 ~			6以争来只1	3.3		1, 158
八升		4.事業目的・内容・実	積							В	事業計	画額・決算	額等	費用弁償				
		事業の目的と内容		年度		主な活動	<b>実績</b>					事業費計	. 国间 =	を出金	財源区 地方債	_	の他	単位:千円) 一般財源
<1	事業の目的	勺>		~	4月当	初は2名体制で行	ってい	るが、コ	コロナ		3計画	19, 06		人山亚	地力頂	٠	, 07 IE	19,065
学校	でに導入し	『は、外国語を「英語」 こているなか、語学指導	等を行う	R3		こより新規ALTの こ2名来日となり、				╌	初予算	19, 06						19, 065
り、	通常4名	₹事業(JETプログラ よの外国語指導助手(A	LT)を		。市内	小中学校の英語授	業の補	助を行っ	た。	ı⊢	: 算額	1						14, 438
配置	し英語をている。	楽しく学ぶことができ	る環境を	_						┨┢	4計画							19, 065
なお		交付税措置があり、英	語教育の	R4						<u></u>	初予算	19,00						19, 002
1 III-VE	11 / 0									決	: 算額							
										R	5計画	19, 06	5					19, 065
				R5						<b>*</b>	初予算							
<:	令和3年原	度の取組内容(計画)>								決	算 額							
		により新規ALTの来 当初は2名体制で行っ								R	6計画	19, 06	5					19, 065
, 9	月に2名	来目予定となっている ~5校を回り、小中学	0	R6						坐	初予算							
授業	の補助を	行う。	DC -> JCHIII							決	:算額							
										R	7計画	19, 06	5					19, 065
				R7						当	初予算							
										┫┢	算額							
										11	- 画額	,						95, 325
						R3 ~ R7	合計	t		ı⊢	i初予算 :算 額	<u> </u>						38, 067 14, 438
	1	評価指標名	T															
		計画担保石	1 151	亜店の	N=出 (学	[山士注集]	夕	计面长插	In a	中结局	1 出 八	凌战度	D2	D/I	DE		D6	D7
С	1 市内小		指	票値の	説明(第	工出方法等)	各	計画指標	1	実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	-	R6	R7
活	1 / 1 / 2 来 / 十	中学校における英語	4名の配		説明(第	[出方法等)		総合戦	略	<b>実績値</b> 2	人	達成度目標値実績値	R3 4		R5	4		R7
動指		、中学校における英語 前助のための人材確保			説明(第	<b>[出方法等</b> ]	各 □ □	総合戦	略		人	目標値	4		_	-		1
		、中学校における英語 前助のための人材確保			説明(第	江出方法等)		総合戦	略画		人	目標値	4		_	-		1
	2	、中学校における英語 前助のための人材確保 			説明(算	江出方法等)		総合戦個別計	略画略		人—————————————————————————————————————	目標値 実績値 単標値 実績値 実績値	4		_	-		1
		中学校における英語 開助のための人材確保			説明(算	<b>『出方法等</b> )		総合戦個別計総合戦個別計	略 画 略 画		人	目標値 実績値 産標値 実績値 実績値 実績値 実成率	4 4 100.0		4	4	,	4 4
	2	間切のための人材確保 質の授業が楽しい」と	4名の配	置				総合戦	略画画画		% %	目標値 実績値 単標値 実績値 実績値	4		_	-		4 4
標  D	2 —	間切のための人材確保 質の授業が楽しい」と		置				総合戦個別計総合戦個別計総合戦	略画略画画略	2	% %	目標値 実成標値 実積値 実成で値 実積値 達成率 目標値	4 4 100.0		4	4	,	4 4
標 <b>D</b> 成果	2 — 1 「英語 2 答える	間のための人材確保 所の授業が楽しい」と 5児童	4名の配	置 ト等の	)実施よ	3		総合戦器の制制を対象の対象の対象の対象の対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	略画略画	2	人 - % % %	目標値 実成値 実積値 実積値 実積値 実積値 事標値 事標値 実積値	91 91.6		4	4	,	4 95
標 <b>D</b> 成	2 1 「英語	間切のための人材確保 質の授業が楽しい」と	4名の配	置 ト等の	)実施よ	3		総合戦活総合計総合計総合計総合計総合計	略画略画画	2	人 % %	目実達目実達目実達目実達目実績成標値 率値 値率値 値率値 値率値 極率値 標点 標 値	91 91.6		92	93	9.	4 95
標 D 成果指	2 1 「英語	明めための人材確保 野の授業が楽しい」と 別の授業が楽しい」と	4名の配	置 ト等の	)実施よ	3		総合関制総合関制計能の対象の関係を対象の対象の対象の対象の対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	略画略画画略	2	人 - % % %	目実達目実達 目実 達成標 値値率値値率値値率値値率値値率値値率値値率値	91 91.6 100.7		92	93	9.	4 95
標 D 成果指	2 — 1 「英語 答える 2 「英語 2 答える	明めための人材確保 野の授業が楽しい」と 別の授業が楽しい」と	4名の配 アンケー アンケー ※1年生	置 ト等の	)実施よ	3		総合財制総合別計を設定を対しています。	略画略画画略	2	人 % % % %	目実達目実達目実達目実達目実績成標値 率値 値率値 値率値 値率値 極率値 標点 標 値	91 91.6 100.7 81.9		92	93 71	9.	4 95
標 D 成果指標	2 — 1 「英語 答える 2 「英語 2 答える	間切のための人材確保 質の授業が楽しい」と 5児童 質の授業が楽しい」と 生徒(1年生)	4名の配 アンケー アンケー ※1年生	下等0.	つ実施よう	3		総合財制総合別計総合別計制総合別計制総合別計制を合別計計	略画略画画略	2	人 % % % %	目実達目実達目実達目実達目実績成標値 率値 値率値 値率値 値率値 極率値 標点 標 値	91 91.6 100.7 67 81.9	次評価(	92 69 (対象外事	4 93 71 3 3 業は =	9· 7: <b>F~I 標</b>	4 95 75
標 D 成果指標	2 - 1 「英語名 2 答える 2 「英語名 2 答える 評価対	間切のための人材確保 質の授業が楽しい」と 5児童 質の授業が楽しい」と 生徒(1年生)	4名の配 アンケー アンケー ※1年生 対象	ド等 <i>の</i> (価項E	)実施よう )実施よう )実施よう	る る の視点(1~5点で	V	総合財制総合別計総合別計制総合別計制総合別計制を合別計計	略画 画略画画略画	90	人 % % % % %	目実達目実達目実達目実達 目実達成標績成標績成標績成標績成標績成標績成標績成 標績 本 → 5	91 91.6 100.7 67 81.9 122.2	次評価(	92 69 (対象外事	4 93 71 3 3 業は =	9· 7: <b>F~I欄</b> 次評価	4 4 95 3 75 未記入 可) (課長等)
標 D 成果指標 E	2 — 1 「英語名 2 「英語名 2 「英語名 2 「	雨のための人材確保 唇の授業が楽しい」と ら児童 の授業が楽しい」と 生徒 (1年生) <b>象外の理由</b> 0評価文	4名の配 アンケー アンケー ※1年生 対象 <b>p</b>	置 ト等の 価項目	の実施よう の実施よう ヨ/5つ0 きる事業	る の視点(1~5点で 内容となっている)	V	総合財制総合別計総合別計制総合別計制総合別計制を合別計計	略画 略画 る ↑ な ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑	90 90 2 vstv 2	人 % % % % % % %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達は標値を は値率値値率値値率値値率 はでする。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 91.6 100.7 67 81.9 122.2	次評価 (記画点 )	92 69 (対象外事	4 93 71 3 3 業は =	9· <b>F~I標</b> - 次評価 - 4点	4 4 95 3 75 未記入 可) (課長等)
標 D 成果指標 E	2 - 1 「英語る 2 答える 2 答える 評価対 1. 市民 2. 事業	雨のための人材確保 香の授業が楽しい」と 香の授業が楽しい」と 生徒(1年生) 象外の理由 0評価文 高の優先度は高いと思うが	4名の配 アンケー アンケー ※1年生 対象 評 の向上が其	置ト等の 価項目 価項目	の実施よっ の実施よっ ヨ/5つ0 きる事業 設定事業	る の視点(1~5点で 内容となっている)	V	総合財制総合別計総合別計制総合別計制総合別計制を合別計計	略 画 画 略 画 画 A T T T T T T T T T T T T T T T T T	90 90 90 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -	人 % % % % % % → 3	目実達目実達目実達目実達目実達 目実達 目実達 目実達 目実達 目実達 日実達 日実達 日ま で → 1 → 1 → 1 → 2 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 ← 4 → 4 →	91 91.6 100.7 67 81.9 122.2	次評価 ( ) 4 点 4 点	92 69 (対象外事	4 93 71 3 3 業は =	9 7: <b>F~I標</b> 次評価 4点 4点	4 4 95 3 75 未記入 可) (課長等)
標 D 成果指標 E	2 — 1 「英語る 2 「茶語る 2 「茶さる 2 「茶さる 3 . 事業 3 . 事業	明めための人材確保 の授業が楽しい」と の授業が楽しい」と 生徒(1年生) 多外の理由 0評価文 の優先度は高いと思うが 計画どおりに事業を進る	4名の配 アンケー アンケー ※1年生 対象 の向上が其 か (同じ成別	下等の 「毎項目 「毎項目 「毎できた」	の実施よう の実施よう ヨ/5つの きる事業 か	る の視点 (1~5点で 内容となっている; 内での優先度)	V	総合財制総合別計総合別計制総合別計制総合別計制を合別計計	略 画 略 画 画 略 画 1 な 1 優 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で	2 - vs v 2 - (E v - v) - v - v - v - v - v - v - v - v	人	目実達目実達目実達目実達目実達目実達日実達日実達日実達日実達日実達のサーバー度 4 な 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	91 91.6 100.7 67 81.9 122.2	次評価 ( )	92 69 (対象外事	4 93 71 3 3 業は =	9. <b>F~I欄</b> 次評価 4点 4点 4点	4 95 未記入 可) (課長等) 評価点合計
標 D 成果指標 E F 評	2 - 1 「英語る 2 「答える 2 「答える 2 「答える 1 . 市民 2 . 事業 4 . 活動	雨のための人材確保 香の授業が楽しい」と 香の授業が楽しい」と 生徒(1年生) 象外の理由 0評価文 高の優先度は高いと思うが	4名の配 アンケー アンケー ※1年生 対象 評の向上が其 か (同じ成身 かることがで 十画どおり掛	下等の 「毎項目 「毎報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報	D実施よう D実施よう ヨ/5つの きる事業 設定事業 か ているか	る の視点 (1~5点で 内容となっている; 内での優先度)	V	総個 総個 総総個 総総個 総総個別 会 別 合計 戦計計 戦計 戦計 戦計	略 画 画 略 画 画 略 画 1 な1 優 1 で 1 移 1 T 1 T 1 乗 1 T 1 T 1 乗 1 T 1 T 1 T 1 T	2 - 1/3	人 % % % % % % % 3	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達日実達日実達日実達日実達日ままが、	91 91.6 100.7 67 81.9 122.2	次評価 ( ) 4 点 4 点	92 69 (対象外事	93 71 三	9 7: <b>F~I標</b> 次評価 4点 4点	4 4 95 3 75 未記入 可) (課長等)
標 D 成果指標 E F 評	2 - 1   下英元	雨のための人材確保 再の授業が楽しい」と 5児童 毎の授業が楽しい」と 5生徒(1年生) 多外の理由 0評価文 高足(市民アンケート) 高度先度は高いと思うが 計画どおりに事業を進め が計画どおりに事業を進め が指標の達成状況(率)は記	4 名の配 アンケーアン1年生 対象 評 の 向 に	ト等の	つ実施よう ラ実施よう ラ実施よう きる事業 か ているか ているか	る の視点 (1~5点で 内容となっている) 内での優先度)		総個 総個 総総個 総総個 総総個別 会 別 合計 戦計計 戦計 戦計 戦計	略 画 画 略 画 画 略 画 1 な 1 優 1 き 1 を 1 仕 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	2 - いない 2 - 低い 2 - いった 2 - いなし 2 -	人	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達は値値率値値率値値率値値率を100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは	91 91.6 100.7 67 81.9 122.2	次評価(記4点4点4点4点4点4点	92 69 (対象外事係長)平価点合計 20点 /25点	4 93 71 三 評	9. <b>F~I標</b> 次呼点 4点 4点 4点 4点	4 95 4 95 未記入 可) (課長等) 評価点合計
標 D 成果指標 E F 評 価 票後	2 — 1 「 英元 3 .	雨のための人材確保 唇の授業が楽しい」と を見てを を見てを をは、1年生) 多外の理由 0評価文 の優先度は高いと思うが 計画どおりに事業を進め がは、一次では、100円である。	4名の配付 アンケーアンケー アンケー 学 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年	一番でででは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいではでは、またいでは、またいでは、またいではでは、またいではでは、またいではでは、またいではでは、またいではではでは、またいではでは、またいではではではでは、またいではではではでは、またいではではではでは、またいではではではでは、またいではではではでは、またいではではではではでは、またいではではでは	②実施よ ②実施よ ②実施よ きる事業 か でいるか ※今後 資人して	る の視点 (1~5点で 内容となっている。 内での優先度) 後の事業の進め方等 いるなか、語学指	マション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	総 個 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 総 総 個 の 会 合 別 合 計 戦 計 計 戦 計	略 画 画 略 画 画 略 画 1 な 1 優 1 で 1 移 → C 1 大 元 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大 C 1 大	2 - vs v 2 - vo t 2 - vo t 2 - vo t 2 - vo t 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t 1 2 - vo t	人 % % % % % % % % % % % % %	目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達目実達日実達日実達日実達日実達日ままが、	4 4 100.0 91 91.6 100.7 67 81.9 122.2	次評価 ( ii 4 点 4 点 4 点 4 点 4 点 4 点 4 点 4 点 4 点	92 (対象外引 係長) 平価点合計 20点 /25点 策等を踏ま	4 93 71 三 三 えたこ でい	9 F~I標 グア	4 4 95 4 95 3 75 imm 点合計 20 点 /25点 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合計 imm 点合 imm 点合 imm 点合 imm 点合 imm 点合 imm 点合 imm 点合 imm 点合 imm 点合 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm 点点 imm imm

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

当初予算額

年度 主な歳出名称

-		
事業番号		枝番
138006		1
事業	教	育振卵
事 業	教	<b>育振</b>

(令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

(会和 3 年度 決 算 ) 事 務 事 掌 評 価 調 書 課局名 学校教育課 係名 学校教育係

(1741 - 1 22 27	ъг. \ <b>"</b>	170	T .	~ μι	limi	1473	_	m111113 III	1 12 24 13 1814	I	1 1/2/2/	13 1/10
									•			
業	細事業	特色ある	学校づく	り推進事業		実	<b>尾施計画事</b>	業 特色	ある学校づくり推進事業	業	終了年度	なし

	総合	計画体系図No	( 328 )					
会計	一般	政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち	個	第4次豊後	後大野市総合	教育	令和 3
款	10	施 策	1 学校教育の充実	別計		<sup>年度</sup> ~ R	7 年度	特色ある金
項	1	施策展開	②教育体制を充実する	直				
目	3	後期基本	計画 84 P □ 過疎計画 🗹 総合戦略 □ コロナ充当	]  名	期間	年度 ~	年度	

る学校づくり推進事業補助 2,460 決算 141

A 事業目的・内容・実績			B 事業計	画額・決算額	等			
事業の目的と内容	年	<b>ナ</b> か汗動字練		事業費計		財源内	引訳	(単位:千円)
争未の日的と内台	度 生な活動美額			尹未貝司	国県支出金	地方債	その他	一般財源
		各学校において、特色を作るため。それぞれの形で、取り組みを行った。 郷土学については、コミュニティ・スクールをはじめとする地域の方々な どの協力の下、ジオパークと関連付けたジオ学習や地域の伝統文化、地域	R 3計画	2, 460			2, 400	60
中一貫教育、学力向上、英語教育などをテーマとした取組を各学校が推進している。	R3	新士学については、コミュニティ・スケールをはじめとする地域の方々な どの協力の下、ジオペークと開催付けたジオ学習や地域の伝統文化、地域 の特色などについて学習し、また、農業体験や、地域に花を植文交流を行 い推進した。小中一貫教育には、小学校と中学校式共通の学校教育目標を 設定し、義務教育9年間の指導の一貫性を確保した。 なお、結果については、ココナー地で実施できなかったシンポジウムを動画 なお、結果については、ココナー地で実施できなかったシンポジウムを動画	当初予算	2, 460			2, 400	60
・学校を地域コミュニティの核として、地域 一体で小中一貫教育校の設置を進め、連結型		なお、結果については、コロナ禍で実施できなかったシンポジウムを動画 開催とし、ICT機器を利用した取り組みも展開した。	決 算 額	2, 341			2, 300	41
小中一貫教育で培った ふるさとを愛する子			R 4計画	2, 460			2, 400	60
ども」に「将来もこのまちに住みたい」とい う心情を育み、「持続可能なまちづくり」に	R4		当初予算	2, 460			2, 400	60
つなげていくことを目指していく。 (各小中学校に対する補助事業)			決 算 額					
			R 5計画	2, 460			2, 400	60
	R5		当初予算					
<令和3年度の取組内容(計画)>			決 算 額					
・郷土学では、コミュニティ・スクールをは じめとする地域の方々などの協力の下、ジオ			R 6計画	2, 460			2, 400	60
パークと関連付けたジオ学習や地域の伝統文化、地域の特色などについて学習し、「ふる	R6		当初予算					
さとおおの」を愛する子どもの育成を図る。・小中一貫教育では、小学校と中学校が共通			決 算 額					
の学校教育目標を設定し、義務教育9年間の			R 7計画	2, 460			2, 400	60
指導の一貫性を確保していく。また、小・中 学校合同の学校行事を計画的に進めることに	R7		当初予算					
よって、児童・生徒の異年齢集団の日常的な 交流活動を通して、豊かな心の醸成を図る。			決 算 額					
・特色ある学校づくりの発表の場として学校 教育シンポジウムを開催することで、広く市			計画額	12, 300			12,000	300
民の方々に発信する。		R3 ~ R7 合 計	当初予算	4, 920			4, 800	120
			決 算 額	2, 341			2, 300	41

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		%	目標値	18	18	18	18	18
С	1 特色ある学校づくりを実施	実施校	☑ 個別計画	18	/0	実績値	18				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
D	1 補助事業実施率	実施率(実施学校数/全学校数)	□ 総合戦略		70	実績値	100				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果 指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	25 点	5 点	<sup>25</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 平成25年度より開始した事業で、郷土学、小中一貫教育、学力向上、英語教育などをデマとした取組を各学校が推進している事業については、実績から見て達成できた。 ※令和4年に内容を精査し、令和5年に向けて、全体的な検討を行う。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

平成25年度より開始した事業で、郷土学、小中一貫教育、学力向上、英語教育などをテーマとした取組を各学校が推進する事業については達成できたと評価する

I 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

4, 796

1,554

4	業番号		枝番		( :	令和	3	年	馬	EH	画	i)	*	合	計画	画実:	施言	十画	書	(兼	進	步管	理)									(様	式1)
1	38011		1		( 1	和	3	年	馬	₹ ¥	: 算	( )	耳	Į.	務	事		業	評	1	西	調	書	į	課局名	学	校教育	課	係名	各	学校	教育	係
事	業	教	育振興 事	事業								細事	業	教	育バ	ス運行	管理	事業				:	実施計画	事	業教育バス	ス運行	<b>「管理事</b>	業			終年		なし
	総合	計画	i体系図N	0.→	( :	323 )																L											
会計	一般		政	策	V	豊か	な心	75	学.	ぶ意	欲を	を育む	でまで	ó							個	第4計画	次豊後	大野	予市総合教育	育	令和	3 年度	主主な記	歳出名和	<b></b>	当初	予算額
款	10		施	策	1 :	学校	教育	の	充実	₹														年度	• ~ R 7	年度	会計年	度任用	職員報酬	H			540
項	1		施策展	荆	1) \$	教育に	内容	を;	充実	まする	5										画		燃料費									485	
目									ロナ充	色当	名	期間		年度	₹ ~	年度	修繕料						440										
決算	141	_	事業目	άħ.	. nta	·	中结																D <b>古</b> 書	카교	画額・決算額		自動車	等借上	料				220
							大樓				年					-> L- >-	- = -	<b>-</b> .+				٦٢				श् <b>च</b>	-		財源内	訳		(単位:	千円)
	事業の目的と内容					度					主な流						$\perp \!\!\! \perp$			事業費計	国県支出金		地方債 その他		他	一般	財源						
各学	<b>■業の目</b> 校にお	ける	、社会	見当	学や	、市	内外	の	文化	Ł		会	計年月	年任月	日離日	:び、道 ( ( 時糸	合))	の確	保が	できた	-		R3計画	画	2, 213								2, 213
財等	の見学 必要と	や、かっ	各学校た際に	間で	での	交流	のた 会で	め保	、ノ	< ├	R3	コ!	ロナヤ	骨の 5 った 7	中で、 が、ハ	社会見	見学等	幹計画 軍用に	が中」 関し	止にた ては、	るれ 児童	犬 雀	当初予算	算	2, 213								2, 213
るバ	える台	の安	全を確	保ĺ	運	行管	理を	行	٥̈́٠.			• /	生徒の	り安全	全を確	保して	つつ道	重用が	でき	た。			決算	頂	1,554								1,554
																						Ш	R 4 計画	画	2, 213								2, 213
											R4											Ш	当初予算	算	2, 583								2, 583
										ı												⅃Լ	決算	頂									
																						Ш	R 5計画	画	2, 213								2, 213
											R5											Ш	当初予算	算									
	令和3年																					⅃Լ	決算	頂									
	2 台の <sup>2</sup> 会計年									į												Ш	R 6計画	画	2, 213								2, 213
											R6											Ш	当初予算	算									
																						∐	決算	頂									
																	П	R 7 計画	画	2, 213		•						2, 213					
						R7												当初予算	算														
																		Ш	決算額	頂													

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		台	目標値	2	2	2	2	2
С	1 教育バス2台の確保し安全 な運行を行う	教育バス2台の安全な運用	□ 個別計画	2		実績値	2				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
D	1 児童・生徒等を乗せた安全 な運行業務	無事故達成率	□ 総合戦略	100	/0	実績値	100				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
標	2 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程 の達成率(社会見学等)	□ 総合戦略	100	70	実績値	100				
			□ 個別計画		%	達成率	100.0				

R3 ~ R7 合 計

計画額

当初予算

決 算 額

11,065

4, 796

1,554

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの代点(109点と計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline                                  $	5 点		5 点	
Ш	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	25 点	5点	<sup>25</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	/25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

各学校における、社会見学や、市内外の文化財等の見学や、各学校間での交流のため、バスが必要となった際に、教育委員会で保有するバス2台の安全を確保し運行管理を行う事業については、実績から見て達成できた。

各学校における、社会見学や、市内外の文化財等の見学や、各学校間での交流のため、バスが必要となった際に、教育委員会で保有するバス2台の安全を確保し運行管理を行う事業については、実績から見て達成できたと評価する。

令和5年度の事業の方向性

_						
事業番号	枝番	(	令和	3	年	度
138012	1	(	令和	3	年	度
事業	教育振興	車業				
総合	計画体系図	⊠No.→ (	320 )			

計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理)

令和 3 年 度 決 算 ) 事 務 事 業 評 価 調 書 課局名 学校教育課 係名 学校
------------------------------------------------

						<u> </u>		
事	業	教育振興事業	細事業	キャリア教育推進事業	実施計画事業	キャリア教育推進事業	終了 年度	なし
	総合	計画体系図No.→ ( 320 )		•				

 
 個別期間 R 3 年度 ~ R 7 年度
 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 会計 一般 政 款 10 施 策 1 学校教育の充実 会計年度任用職員報酬 2, 274 社会保険料(会計年度任用職員分 項 施策展開 ①教育内容を充実する 1 画 446 名 目 3 後期基本計画 84 P ☐ 過疎計画 ✔ 総合戦略 コロナ充当 282 油質

			B 事業計	画額・決算都	講師謝神	1金		126
事業の目的と内容	年度	主な活動実績		事業費計		財源内	n訳	(単位:千円)
				尹未其司	国県支出金	地方債	その他	一般財源
<b>&lt;事業の目的&gt;</b> 児童生徒が、将来自分らしい生き方を実現す		小中学校におけるキャリア教育の推進 ○小中学校「職楽講話」実施 ・小学校「職楽講話」実施 ・小学校高学年「職楽講話」講師派遣 / 講師派遣 : 1校1人実施	R 3計画	3, 378			3, 000	378
るため、職業講話による仕事に対する理解を 深めるとともに 「原のWA7A」「ジオ学習」「社会	R3	<ul> <li>・中学校1年生「職業講話」講師派遣/講師派遣:2校8人実施 ・中学校「匠の知込人」体験学習実施 講師派遣:5校15人の字筋 対象児童・年徒については5校93人</li> </ul>	当初予算	3, 378			3, 000	378
→ 乗び日的プラ 児童生徒が、将来自分らしい生き方を実現するため、職業講話による仕事に対する理解を 深めるとともに、「匠のWAZA」「ジオ学習」「社会 見学」等、体験的な「半学」の実施によって将 来的を考える機会とし、さらに、豊後大野市 を愛する郷土愛を育成する。		・中学校におけるネッリア教育の推進 ・ 小学校高学年 順業講話: 講師原證: 講師原證: : 1校1人実施 ・ 小学校高学年 順業講話: 講師原證: 講師原證: : 1校1人実施 ・ 小学校高学年 順業講話: 講師原證: : 2校8人実施 ・ 小学校 16: 70 歳24人 16 株 17 また。 ・ 小学校 16: 70 歳24人 16 株 17 また。 ・ 一学校 16: 18 株 17 また。 ・ 一学校 16: 18 大 17 また。 ・ 一学校 18: 18 大 19: 18  18: 18 大 19: 18 また。 ・ 一学校 18: 18 大 19: 18 18: 18 大 19: 18 また。 ・ 本 17 また。 ・ 本 18: 18: 18: 18: 18: 18: 18: 18: 18: 18:	決 算 額	3, 167			2, 967	200
を愛する郷土愛を育成する。			R 4計画	3, 378			3,000	378
	R4		当初予算	3, 586			3, 200	386
			決算額					
			R 5計画	3, 378			3,000	378
	R5		当初予算					
<令和3年度の取組内容(計画)>			決 算 額					
小中学校におけるキャリア教育の推進  (1)小中学校「職業講話」実施			R6計画	3, 378			3,000	378
①小学校高学年「職業講話」講師派遣 2人×5校	R6		当初予算					
②中学校1年生「職業講話」講師派遣 4人×7校			決 算 額					
(2) 小学校「匠のWAZA」体験学習実施			R 7計画	3, 378			3,000	378
①「匠のWAZA」もの作り指導者派遣 ②「匠のWAZA」体験学習指導者派遣	R7		当初予算					
• ①②併せて5人×5校 • 児童20人×5校程度実施予定 (3)中学校「職場体験学習」推進			決 算 額					
(3)中学校「職場体験学習」推進 (4)小中学校の「郷土学」の推進			計画額	16, 890			15, 000	1,890
		R3 ~ R7 合 計	当初予算	6, 964			6, 200	764
			決 算 額	3, 167			2, 967	200

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	18	18	18	18	18
С	1 職業関係学習実施校数	小中学校で実施した校数(職業講話+匠のWAZA+職場体験学習等)	■ 個別計画		ī	実績値	13				
活		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	▶ 個別計画		%	達成率	72. 2				
動指			総合戦略		校	目標値	18	18	18	18	18
	2 郷土学実施校数	郷土学の実施校数	│ │ │ │ 個別計画		100	実績値	18				
					%	達成率	100.0				
	小学校の授業や行事をキャ		総合計画		%	目標値	90	92. 5	95	97. 5	100
D	1 リアの視点で見直しをした	小学校で見直しを行った率	□ 総合戦略	88. 6	70	実績値	90. 9				
成	Ŋı		✔ 個別計画		%	達成率	101.0				
果指	中学校の授業や行事をキャ		□ 総合計画		%	目標値	90	92. 5	95	97.5	100
標	2 リアの視点で見直しをした	中学校で見直しを行った率	□ 総合戦略	96. 4	/0	実績値	89. 3				
	カュ		✔ 個別計画		%	達成率	99. 2				

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	25 点	5 点	<sup>25</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 児童生徒が、将来自分らしい生き方を実現するため、職業講話による仕事に対する理解を 深めるとともに、「匠のWAZA」「ジオ学習」「社会見学」等、体験的な「郷土学」の実施によって 将来的を考える機会とし、さらに、豊後大野市を愛する郷土愛を育成する事業については 、実績から見て達成できた。 但し、大規模小学校については、消耗品の不足により実施できていない。

### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

児童生徒が、将来自分らしい生き方を実現するため、職業講話による仕事に対する理解を深めるとともに、「匠のWAZA」「ジオ学習」「社会見学」等、体験的な「郷土学」の実施によって将来的を考える機会とし、さらに、豊後大野市を愛する郷土愛を育成する事業については、実績から見て達成できたと評価する。

令和 5 年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

400

133

125

51

9

事業番号 枝番 (令和3年度)	計 画	) #	総合言	計画	真	拖計	画	書 (	兼:	進技	步乍	理)								(様式1)
138012 2 (令和 3 年度)	央 算	) [	<b>j</b>	務	事	牚	ŧ	評	ſī	6	訓	書	課局名	2	学校教育	課	係名	各	学校	教育係
事 業 教育振興事業		細事業	++	ャリア	ア教育	推進事	事業				Ī	実施計画	事業郷土の	り先輩	事業				終了年度	
総合計画体系図No.→ ( 320 )											444		ma 1.00 A		1					-
会計   一般   政   策   V   豊かな心と学ぶま	意欲を	育むま	ち								第4計画	Ⅰ次豊後大 貳	:野市総合	枚育	令和	3 年度	主な	歳出名称		当初予算額
款   10     施   策   1 学校教育の充実										別計	期間	1 R 3 4	<sup>≇度</sup> ~ R	7 年度	講師謝	礼金				140
項 1 施策展開 ①教育内容を充実す	る									画					実費弁	償				85
目 3 後期基本計画 84 P □	過政	計画	~	総合	3戦略			ロナ充	当	名	期間	1 4	<b>⊭度~</b>	年度						
   注算   141   A 事業目的・内容・実績												D 有类型	画額・決算							
	年										7						財源内	n訳		(単位:千円)
事業の目的と内容	度			=	主な活	動実	績						事業費詞	国	県支出金	地	方債	その	也	一般財源
		実施日・ 7月 6	日(火)	清川	中学校 中学校:	全校生征	徒、 3	三重中学	ዸ校3年	生	71	R 3 計画	2	25					200	25
野市出身で活躍されている先輩を中学校に特 別講師として招聘し、講話(特別授業)を通	R3	7月12 、緒方中	学校全档	校生徒							- 11	当初予算	2	25					200	25
して、市立小中学校児童・生徒が将来につい して、市立小中学校児童・生徒が将来につい		7月14	日 (水)	十成	甲字校3	主权生化	使、フ	<b></b> 、	F校全t	父生体		決 算 額	1	42					133	9
して、市立小中学校児童・生徒が将来について考えるきっかけづくりにするとともに、将来の夢や希望を目指して取り組もうとする意											11	R4計画	2	25					200	25
欲的な態度を醸成する。	R4										Ш	当初予算	2	26					200	26
											Ш	決 算 額								
											┪╽	R 5計画	2	25					200	25
	R5										Ш	当初予算								
   <令和3年度の取組内容(計画)>											Ш	決 算 額								
講師 (株)minsora代表取締役											╢	R 6計画		25					200	25
高山 久信さん 実施日・対象	R6										Н	当初予算							200	
7月 6日(火) 清川中学校全校生徒 +清川小学校6年生	11.0										Н	決算額								
三重中学校3年生 7月12日(月) 大野中学校全校生徒											╢	及 并 俄 R 7 計画	1	25					200	25
朝地中学校全校生徒	R7										Ш	当初予算	_	40					200	25
緒方中学校全校生徒 7月14日(水)千歳中学校全校生徒	IX /										ш									
大飼中学校全校生徒 ※7中学校・1小学校499名												決算額計画額		05				1	000	125

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		校	目標値	7	7	7	7	7
С	1「郷土の先輩特別授業」の実 施	中学校での講話(特別授業)の実施校数	☑ 個別計画	7	11	実績値	7				
活					%	達成率	100.0				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
		<b>講託 (特別授業) を関いて極速について</b>	□ 総合計画		%	目標値	60	60	60	60	60
D	1 生徒の評価	講話 (特別授業) を聞いて将来について 考えるきっかけとなったと答える率 (ア	□ 総合戦略		70	実績値	67				
成		ンケート)	□ 個別計画		%	達成率	111.7				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

当初予算

決 算 額

1, 125

451

142

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可) Ε

	   評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの抗点(「でも点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか なっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか でき	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推移	1 → 2 → 3 → 4 → 5 移していない ⇒ 推移した	5 点	25 点	5 点	<sup>25</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推移	1 → 2 → 3 → 4 → 5 移していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

新型コロナウイルスの対応が必要な中、計画にあった、一部小学校が不参加等もあり、実施が難しい状況の中ではあったが中学生に対してはおおむ計画通りの実施ができた。 受講した中学生に行ったアンケートで、将来を考えるきっかけとなったと答える生徒が67%あり、おおむね事業としては成功したといえる。

豊後大野市「郷土の先輩特別授業」は、豊後大野市出身で活躍されている先輩を中学校に特別講師として招聘し、講話(特別授業)を通して、市立小中学校児童・生徒が将来について考えるきっかけづくりにするとともに、将来の夢や希望を目指して取り組もうとする意欲的な態度を醸成する事業については、実績から見て達成できたと評価する。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

事業番号	枝番
406001	1

	事	業番号	:	技番		(令和	3	年	度	計画	画 )	1	総1	合計圓	実	包計區	画書(	兼記	隹捗	管理	里)						(村	兼式1)
	40	06001		1		(令和	3	年	度:	决匀	車 )	) ]	事	務	事	業	評	佂	6	調	書	課	局名	学校教育課	係名	学校	<b>炎教育</b>	育係
	事	業	小中	学校	ΙC	T環境整	修備	事業			細	事業	,	小中学校	ξIC	T環境	整備事業	Š.		実	施計画	事業	小中学校 I	CT環境整備事	業	終年		なし
		総合	計画	体系区	]No.→	( 326 )																						
会	計	一般	Ī	女	策	V 豊か	なん	75	学ぶ	意欲	を育	むま	ち						個智	第4次 中面	、豊後大	野市	「総合教育	令和 3 年度	主な歳出	名称	当礼	刀予算額
赤	欠	10	方	te	策	1 学校	教育	のす	产実											間	R 3 *	<b>拝度 ~</b>	~ R 7 <sup>年度</sup>	学校教育ICT支	·援員業務委	託料		7,865
																		_	āI					7 1			-	

項 施策展開 ①教育内容を充実する 1 画 庁用器具費 11,880 名 目 後期基本計画 84 P 総合戦略 • 年度 ~ 3 過疎計画 ~ コロナ充当 期間 1,000 決算 144 消耗品費 50 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 -般財源 <事業の目的>
GIGAスクール構想をはじめとした各種補助事業を有効活用し、学校のICT環境の整備・充実を図り、情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実を図る。また、課題の発見と解決に向けた主体的かつ協働的なデジを充実するとともに、児童生徒の情報活用能力を育成するために、ICTを活用した教育を推進する。 6[64スタール構想に近づき、市内の小中学校に対して、107教育に必要な授 葉女技や帰末の整備友び107機器の維持管理を実施した。 修練費(タンフト修練等)。字校教育 1 C T 支援員業務委託料(1名:、 66 勤務)指導着向けに端末を活用した授業支速や各種アプリの使用に関す 5 衝撃を56回乗。ソフトウェア導入作業変元料・フィルタリングフフトの R 3 計画 20, 795 6,000 14,795 14, 795 R3 当初予算 6,000 20, 798 ・ ・庁用器具費 教職員に対してタブレット端末等整備を実施 計購入数237台 決 算 額 19, 312 11, 100 8, 212 R 4計画 14, 224 14, 224 R4 当初予算 42, 412 42, 412 決 算 額 14, 224 14, 224 R 5 計画 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 教職員に対して必要なタブレット配布を行う ともに、ネットワーク環境の見直しや、ICTV 修の実施、授業での活用等利用する活用等、 さらなる情報教育の充実を図る。 14, 224 R6計画 14, 224 ICT研 R6 当初予算 決 算 額 R 7 計画 14, 224 14, 224 R7 当初予算 決算額 計画額 77,691 6,000 71,691 R3 ~ R7 合 計 当初予算 63, 207 6,000 57, 207

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	4	4	4	4	4
С	1 各校でのICT研修実施	1校あたりのICT研修の実施回数	☑ 個別計画	2	ī	実績値	3. 1				
活					%	達成率	77. 5				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
	rombb III is the and Silk 18 as is		総合計画		%	目標値	80	82	83	84	85
D	1 ICT機器を使って授業ができ る教職員の割合	ICT機器を使って授業ができる教職員の 割合	□ 総合戦略	95	/0	実績値	79. 1				
成			✔ 個別計画		%	達成率	98. 9				
果指			□ 総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
標	2 高速大容量の通信ネットワ ー クの整備	GIGA対応している普通教室・特別教室割 合	□ 総合戦略	99	/0	実績値	100				
			✔ 個別計画		%	達成率	100.0				

決 算 額

19,312

11, 100

評価対象外の理由 Ε 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	4点		4 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4点	20 点	4点	20 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	4 点	/25点	4 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

#### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

GIGAスクール構想をはじめとした各種補助事業を有効活用し、学校のICT環境の整備・充実を図り、情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実を図る事業については実績から見て達成できた。また、課題の発見と解決に向けた主体的かつ協働的な学びを充実するとともに、児童生徒の情報活用能力を育成するために、ICTを活用した教育を推進事業については実績から見て達成できた。

て達成できた。 ※令和4年度より、振興事業等で分離しているICTの予算として統合した。

GIGAスケール構想をはじめとした各種補助事業を有効活用し、学校のICT環境の整備・充実を図り、情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実を図る。また、課題の発見と解決に向けた主体的かつ協働的な学びを充実するとともに、児童生徒の情報活用能力を育成するために、ICTを活用した教育を推進事業については実績から見て達成できたと評価する。 ※令和4年度より、振興事業等で分離しているICTの予算として統合

## 令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-1 拡充

11,948

4,964

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 (令和 3 年度決算) 事 学校教育課 学校教育係 143001 1 務 業 価 係名 事 業 教育支援センター運営事業 細事業 教育支援センター運営事業 実施計画事業 学校教育指導員活用事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 333 ) 第4次豊後大野市総合教育 計画 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 策 1 学校教育の充実 期間 R 3 <sup>年度</sup> ~ R 7 <sup>年度</sup> 会計年度任用職員報酬 款 4, 456 10 項 施策展開 ②教育体制を充実する 1 画 期末手当 557 名 4 後期基本計画 84 P コロナ充当 期間 年度 ~ 費用弁償 (会計年度任用職員分) 目 過疎計画 総合戦略 298 決算 145 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 <事業の目的> 学校教育指導員をを配置することにより、教育支援センターかじか運営を円滑かつ効率的に行う。 国県支出金 地方債 その他 一般財源 4名確保し教育支援センターかじかに通所する子どもたちの支援を行った。 ・学習活動 ・相談活動 R 3計画 5, 311 5, 311 R3 当初予算 5,311 5,311 (資格なし、1日6時間勤務) 体験学習等 決 算 額 4, 964 4,964 R 4 計画 5, 311 5, 311 R4 当初予算 6,637 6,637 決 算 額 R 5計画 5,311 5,311 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 教育支援センターかじかに通所する子どもたちの支援を行う。また、学校や保護者の相談活動を行う。個別支援が必要な子どもの対応 R6計画 5, 311 5, 311 R6 当初予算 をする。 ・学習活動 ・相談活動 ・体験学習 など 決 算 額 R 7計画 5, 311 5, 311 R7 当初予算

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略			目標値	4	4	4	4	4
С	1 学校教育指導員の配置	雇用人数(適正人数の配置)	☑ 個別計画	3	人	実績値	4				
活					%	達成率	100.0				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 _		個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		%	目標値	31	32	33	34	35
D	1 通室児童生徒割合	かじか教室運営事業と同じ	□ 総合戦略		/0	実績値	31				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
成果指標	2 —		総合計画総合戦略			目標値	100.0				

R3 ~ R7 合 計

(対象外事業は**F~I欄**未記入 可) Ε 評価対象外の理由 0評価対象

	   評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの抗点(「でも点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか なっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか でき	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推移	1 → 2 → 3 → 4 → 5 移していない ⇒ 推移した	5 点	25 点	5 点	<sup>25</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推移	1 → 2 → 3 → 4 → 5 移していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 学校教育指導員をを配置することにより、教育支援センターかじか運営を円滑かつ効率的 に行うについては、実績から見て達成できた。 学校教育指導員をを配置することにより、教育支援センターかじか運営を円滑か つ効率的に行うについては、実績から見て達成できたと評価する。

令和5年度の事業の方向性

A. 現状のまま継続

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

26, 555

11,948

4,964

567

1, 255

#	業番	<del>-</del>	枝番		(令	和	3 <b>£</b>	手度	計	画	)	総合	合計	画実	施	計画	書	兼	進	步乍	理)								(様式1)
1	4300		2		(令和	和	3 <b>£</b>	∓	決	算	)	事	務	事	<b>.</b>	業	評	ſ	Щ	訓	書	課局名	学	校教育詞	果	係名	i 学	校孝	效育係
事	業	教	育支担	受セン	ター道	<b>正</b> 営 :	事業			i	細事業	± Z	教育支	援セン	ノタ・	一運営	事業			Ī	実施計画等	事業 かじかす	效室道	軍営事業	•			終了 年度	なし
	\$44	수計	画体系[	☑ Nn →	( 333	)														L									
会計	一般		政	策			ያ ረኮ ጀ	ヒ学。	ぶ意	次を	育むま	きち						$\Box$	/m			野市総合教	育	令和 3	3 年度	主な意		뇔	当初予算額
款	10	7	施	策	1 学	校教	音の	充実	:									7	個別計	計画期間		度~R 7	年度	消耗品套	費			$\top$	210
項	1	1	施策	展開	②教1													_	計画		IC 3	IX 1		講師謝ネ	1.金			+	36
8	4	1	後其	基本		84	-	Г	-		計画	Г	7 終	合戦略	<u>ጳ</u>		コロナ充	当	名	期間	<b>1</b> 年	度 ~	年度	1171-1-1127	-			+	
決算	145	-  L	ι	100-1-		01				~_~	· i i i i			7 1 12 1	-				<u> </u>	7431-	<u> </u>							+	
., 171	- 110	A	事業	目的	• 内容	・実	橨													— r	B 事業計	画額・決算額	<b>須等</b>					ᆂ	
			事業の	目的	と内容	F				年 度				主な	活動	<b>j</b> 実績						事業費計		支出金		排原内			位:千円)
<1	業の	目的	>						-	-	・業務									┪┟	R3計画	0.46		美文田宝	地方·	頂	その他	+	一般財源
不登	校のノ	中	学生に		る支援じかの			的と		Б0	教育相学校訪問	日談(3 月29回 月11回	k所31人、 児童生行	、電話相 徒のため ツ活動19	談97件 の開室	(年) 家庭談 (日数177 (5分/学翌7)	5問317回 日 学習: 回答	指導177	日	Н		246	-					+	246
①教	育支持	きセ	ノター		<ul> <li>不登</li> </ul>	校児	童生	徒の	)	R3	・不登れ	児童生	E徒数( S(小学)	うち通室生10名	生)	学生5.0	5問317回 日 学習: 回等 )名(中学 こった児童	生1.4	名)	Н	当初予算	246	-					+	246
(2)不	登校文	†策·	センタ	- •	験活動 ・市内	の不	登校	を児童	í –		・文援を 小学生4	名中	ニ甲で字4 学生2名	校に登校	できる	よりにな	こった児童	(生体数		41	決算額	1, 255	1					_	1, 255
生徒携	の把捌	量、1	固別の	対応領	策構築	市教	委と	: の通												Ш	R 4計画	246						_	246
③相	談支払	受セ!	ノター ゲ	· ·	・不登 や教職	校児	童生	:徒0		R4										Ш	当初予算	321						$\bot$	321
4)学	習支持	受セ:	ノター		・個に	売じ	た学	智	_											41	決算額								
⑤教	職員研	F修	検対策 センタ		・いじ	め不	登校	をに関	3											Ш	R 5計画	246							246
する	研修家	ミ施							-	R5										Ш	当初予算								
			の取績	且内容	を(計画	)>															決算額								
	務内容 育相認		於所、	雷話村	泪談)															Ш	R 6計画	246							246
家	注 定訪問 校訪問	]								R6											当初予算								
児:		07	こめの	開室日	∃数																決算額								
調	理実習	i																		11	R 7計画	246							246
	ポーツ 外学習		力							R7										Ш	当初予算							1	

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		件	目標値	300	300	300	300	300
С	1 アウトリーチ件数	家庭を訪問した件数	☑ 個別計画	290		実績値	317				
活			▼ ■から		%	達成率	105. 7				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		— □ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		%	目標値	35	36. 5	38	39. 5	41
D	1 通室児童割合	通室児童÷不登校児童生徒	□ 総合戦略		/0	実績値	35. 7				
成			✔ 個別計画		%	達成率	102.0				
成 果 指			□ 総合計画		%	目標値	28	29	30	31	32
標	2 通室生徒割合	通室生徒÷不登校生徒	□ 総合戦略		/0	実績値	28				
			✔ 個別計画		%	達成率	100.0				

R3 ~ R7 合 計

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

1,230

1, 255

567

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	25 点	5 点	<sup>25</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	/25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 不登校の小中学生に対する支援拡充を目的とした教育支援センターかじかの運営費については、実績から見て達成できた。 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

不登校の小中学生に対する支援拡充を目的とした教育支援センターかじかの運営 費については、実績から見て達成できたと評価する。

令和5年度の事業の方向性

事業番号		-			総合計画実施			··		1			1	1		(様式1)
143001	3 (4	令和 3 年	年 度 決	:算)	事務事	業評	西 調	書	課局	<b>3名</b>	学校	<b>文教育課</b>		係名	学校	教育係
事業	教育支援センター	一運営事業		細導	教育支援セン	ター運営事業		実施計画	事業	教育支援	受コー	ディネー	ター活月	月事業	終了 年度	なし
総合計 一般	計画体系図No.→ ( 政 策 V	333 ) 豊かな心。	レ学ぶ音	欲を育	かまち		第4	次豊後	大野市	総合教育	É	令和 3	年度 主	か歳出る	3.称	当初予算額
款 10		学校教育の		B(C)	3		個制制	Í IR3	年度 ~	R 7	l L	会計年度			- 13	6,82
項 1	施策展開 ②			5			計 画	10		10 1		社会保険料	斗 (会計	年度任用	職員分	1, 33
<b>a</b> 4	後期基本計画	■ 84 P		過疎計	画 総合戦略	□ コロナ充当	名期間		年度 ~		年度	期末手当				84
決算 145	. ***				1					NL 80-00	-	費用弁償	(会計年	度任用職	員分)	36
	A 事業目的・内			年				B 事業					財法	原内訳	<u>í</u> )	単位:千円)
	事業の目的と内	内容		度	主な活	動実績			事	業費計	国県:	支出金	地方債	そ	·の他	一般財源
<b>&lt;事業の目的</b> 教育支援コー	-ディネーターを	:配置するこ	ことに		名を確保し、通室生の 訪問等、アウトリー		学	R 3計画	<u> </u>	9, 363						9, 36
つ効率的に行	て援センターかじ う	か運営を円	円滑か	R3		-		当初予算	草	9, 363						9, 363
(資格有、ファ	ルタイム)							決算を	-	8,828						8, 82
							- 11	R 4 計画	_	9, 363						9, 36
				R4			11	当初予算		9, 218						9, 218
			-					決 算 名	-							
				DE				R 5計画		9, 363						9, 363
/ 仝和っ年!	<b>中の取組由</b> 索/討	L面)~		R5			- 1 ⊩	当初予算								
	<b>度の取組内容</b> (計 コーディネータ <sup>、</sup>		-					決 算 額 R6計画	-	9, 363						9, 363
<ul><li>・通室生の支</li><li>トリーチを行</li></ul>	接のみならず、 う。	学校訪問、	アウ	R6				当初予算		9, 303						9, 300
				NO			- 11	決 算 客	_							
			-					R 7計画	-	9, 363						9, 363
				R7			11	当初予算	-	0,000						0,000
							- 11	決 算 額	_							
				_				計画を	湏	46, 815						46, 81
					R3 ~ R7	合 計		当初予算	草	18, 581						18, 581
								決算額	湏	8, 828						8, 828
<u> </u>			J 132	lt 0 5 V		62TH	I	- <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>   <b></b>	\* <u>.</u>	<del></del> .	- PO	T 54		n. T	- Po	l 57
+	評価指標名		担保	心の説	明(算出方法等)	各計画指標		11世 年1立	達 成 目標		R3	R4	3	R5 3	R6	R7
C 1 教育支	<b>変援コーディネー</b>	-ター   雇	用人数			総合戦略		2 人	実績			+	3	3	3	<u> </u>
活	Ĺ	/Æ.	/11/ (3)			✔ 個別計画	Ī	%	達成		100.0	+				
動						────────────────────────────────────			目標	値						
指 標 2 _									実績	値						
						10万月青丁世	!	%	達成	率						
						□ 総合計画	Ī	%	目標	値	3	1	32	33	34	35
		カュ	じか教室	運営事	業と同じ	□ 総合戦略	f		実績		3	1	32	33	34	38
<b>D</b> 1 通室児	見童生徒割合	l"				個別計画	īl	%	達成	率	100.0	100	. 0	100	100	100
成	己童生徒割合						1	-				<b>-</b>		<del></del>	100	1
成果指	君童生徒割合					□ 総合計画	i		目標						100	
成	· 童生徒割合						i	%	目標 実績 達成	値						

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 → 4 → 5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 5点 なっている → 4 → 5 なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 5点 5 点 評 優先度低い 優先度高い → 2 → → 4 → 5 できた → 4 → 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 5点 できなかった ⇒ 1 → 2 → 3 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 5点 25 点 25 点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 /25点 /25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
教育支援コーディネーターを配置することにより、教育支援センターかじか運営を円滑かつ効率的に行う実績から見て達成できた。	教育支援コーディネーターを配置することにより、教育支援センターかじか運営 を円滑かつ効率的に行う実績から見て達成できたと評価する。

I 令和 5 年度の事業の方向性

事業番号 257001	<b>枝番</b>			和; 和;					i ) : )	総事	_	†画 殇	実施事	可针函 業	) 書 iē 評	兼道 価		_	E) 書	課月	司名	学科	交教育詞	課	係名	3	学校教	( <b>様式 1</b> )  数育係
	学校一					-		T	細事					理事業	- н				- 二		臨時講			,,,	1		終了	なし
	画体系図								和尹。	木	小子	1X :	加又目,	生尹未			ľ	大川	四日日	尹未	四十二十二	叫伯加	尹禾				年度	なし
会計 一般					心	と学	ぶ意	欲を	:育む	まち						٦,	第4間計画		豊後力	大野市	総合教	育	令和 3	3 年月	き 主な崩	<b>数出名</b> 和	± ₹	当初予算額
款 10	施	策	1 学	校教	育の	)充5	起									T 1			R 3	年度 ~	R 7	年度	会計年月	度任用	職員報酬	H		20,00
項 2	施策展	開	②教	育体制	制を	充美	ミする	5								l li	画						期末手					2, 44
<b>目</b> 1	後期基	基本語	計画	84	Р		<b>'</b>	過	東計画	[		総合	戦略		コロナ充	当 <sup>"</sup>	名 期間	1		年度 ~	•	年度	社会保険	) 険料(	会計年度	任用職	員分	3, 56
<b>夬算</b> 146 <b>A</b>	事業目	的.	内容	・実	繣													в	事業語	計画額	- 決算	類等	費用弁付	償(会	計年度任	用職員	分)	1, 20
	事業の							年				<b></b>	か活	動実績	Ė				<u> </u>		業費計				財源内	訳	(単	位:千円)
<事業の目的		H # 7 C		-				度	· #3.55	1 J. War (1	のべよ						<b></b>  }			1		+	支出金		方債	その	他	一般財源
普通学級での?	受業や特								菅尾 工	学校1	人 百校 2人	枝小学	校1人	(内時短	1名)	to ministra	". I		3 計画		27, 206	-			24, 700			2, 500
徒の支援を行 用職員の雇用	ン教貝片	と計で	140	た云	#TT	F及1	Ξ:	R3	二里 清川小 大野小	₹小字15 ・学校 0 ・学校 0	(2人) (人) (人) 千	(内時程 方小学 歳小学	12名) 校2人 校2人	新田小 (内時短 (内時短	1名) 学校2人( 1名) 朝 2名) 犬	ハ吟短1 地小学校 飼小学校	名) 1人 1人		切予算	_	27, 206				24, 700			2, 506
							ŀ										_	-	算額		26, 399				23, 800			2, 59
								D.A									H		4 計画		27, 206				24, 700			2, 50
								R4									┈┃┠		切予算 算 額		26, 997				25, 700			1, 29
							-										╢	-	<del>昪 翰</del> 5計画		27, 206	2			24, 700			2, 506
								R5									H		切予算	_	21,200	)		4	24, 700			2, 300
<令和3年度	の取組	内容	(計画	ī) >				NO									Iŀ		算額	-								
○配置人数(の	べ人数)				at: AT												┨	-	6計画		27, 206	3			24, 700			2, 500
菅尾小学校 百枝小学校	1人(う	ち短	時間	臨時記臨時記	<b>再</b> 師	112	i)	R6											切予算	_	21,500				21, 100			2,00
三重第一小学村名)																		決	算 額	Į.								
三重東小学校: 新田小学校:	2人(う	ち短ち短	時間 時間	臨時i 臨時i	<b>黄</b> 即 黄師	12名 11名	á) á)										_	R ·	7 計画	3	27, 206	3		:	24, 700			2, 500
緒方小学校	O人 2人 (う	ち短	時間	臨時詞	冓師	12	<b>(</b> 1)	R7										当神	切予算	Į								
大野小学校 (	1人(う 0人																	決	算 額	Ą								
千歳小学校 犬飼小学校	2人(う 1人(う	ち短ち短	時間時間	臨時i 臨時i	冓師 冓師	i 2 名 i 0 名	(i)		•								ПI	計	画額	Ą	136, 030	)		1:	23, 500			12, 53
											R3	~	R7	合	計			当礼	切予算	Į	54, 203	3		-	50, 400			3, 803
																	_][	決	算 額	Ą	26, 399	)			23, 800			2, 599
大野小学校 ( 千歳小学校 :	)人 2人(う	ち短	時間	臨時記	講師.	i 2 名	<u>(</u>				R3	~	R7	合	計			計 当	画 額切予算	Į	54, 203	3			50, 400			3, 8
$ egin{array}{c} $	評価指	標名					指標	値σ	説明	(算と	出方法	去等)		- 1	各計画指	標	R 2 実績	責値	単位	達成	き	R3	R	4	R5		R6	R7
															_	戦略			_	目標		1	_			$\dashv$		·
<b>C</b> 1 専門ス	タッフ等	等の通	鱼正西	置	人	数	(実績	[値:	のべ,	人数)					_			10	人	実績	植	1						·
活														ا	」 100 別	計画			%	達成	这率	100.	0					
動指					_									Г	] 総合	戦略				目標	植							
i= 10																- 1				<b>—</b> 43	E 1:35		1		ì	ı		in .

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		Y	目標値	14				
С	1 専門スタッフ等の適正配置	人数 (実績値:のべ人数)	✔ 個別計画	10	人	実績値	14				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
D	1 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程 の達成率	□ 総合戦略	100	70	実績値	100				
成		- XEM I	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値				·	
			□ 個別計画		%	達成率					
			·						•	•	

E 評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	「(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(109点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	25 点	5 点	25 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

**G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等** 普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任 用職員の雇用については、実績から見て達成できた。 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

至 普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和 5 年度の事業の方向性

886

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 学校教育課 課局名 学校教育係 257003 1 (令和 3 年度決算) 事 務 業 価 係名 事 業 小学校一般管理事業 細事業 フッ化物洗口推進事業 実施計画事業 フッ化物洗口推進事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 324 第4次豊後大野市総合教育 計画 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 策 1 学校教育の充実 別計 款 施 期間 学校薬剤師報酬 178 10 R 3  $^{\text{fg}}$  ~ R 7  $^{\text{fg}}$ 項 2 施策展開 ①教育内容を充実する 画 消耗品費 800 名 後期基本計画 84 P コロナ充当 期間 年度 ~ 目 過疎計画 総合戦略 決算 146 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 児童に対して、「むし歯0」をめざし、フッ 化物洗口を行い、むし歯予防対策の強化を図 る。なお、実施については、保護者の同意が 必要となる。 1週間に1回フッ化物洗口液を使用してうが R 3 計画 978 978 1週間に1回フットロックにつかいに いを行う。 小学校 1,311人 の実施 フッ化物洗口用消耗品の購入 1 1 校 749千円(消耗品) R3 当初予算 978 978 決 算 額 886 886 R 4 計画 978 978 R4 当初予算 721 721 決 算 額 R 5 計画 978 978 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 1週間に1回フッ化物洗口液を使用してうが R6計画 978 978 いを行う。 小学校 1,311人 の実施予定 フッ化物洗口用消耗品の購入予算 11校 800千円 (消耗品) R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 978 978 R7 当初予算 決 算 額 4,890 計画額 4,890

94 95
1 0.9
_ _ _

当初予算

決 算 額

1,699

886

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可) Ε

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	評価項目/5つの税点(1~5点で評価)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
B	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
fā	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
14	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	22 点	4 点	22 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	5 点	∕25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 児童に対して、「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行い、むし歯予防対策の強化を図る。なお、実施については、保護者の同意が必要となる。については、実績から見て達成できた。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 児童に対して、「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行い、むし歯予防対策の 強化を図る。なお、実施については、保護者の同意が必要となる。については、 実績から見て達成できたと評価する。

令和5年度の事業の方向性

事業番号	枝番			令和											_							理)	Γ			× 1 .	. lat. L		1	. 1	261.		式1)
145002	1		(4	和	3	年	度	決	算	)	事	4	務	4	F.	業	;	評	価	ı	調	書	課	局名		学校	教育語	<b></b>	係	2	学校	教育	係
事業力	学校教	育振	興事	業					紐	事業	,	小学	栏校	教育	振興	車業					実	施計画	事業	小学村	交教育	育振興	事業				終了 年度		なし
	画体系図				2. 0	1. 1	<u>بر</u> ۲۰۰	*** \(\right)		S. J.									7 -	笋	1 1/1	火豊後ス	上眠さ	i級会制	か苔	<b>–</b>	A 1 n 0	<i>f</i> = #		<b>E</b> 11. 72	r.	W +n :	7 M 4
会計 一般 款 10	施	策		豊かたが				思砂	(を)	₹U3	k り									固計	画						令和 3 消耗品费		(王な)	裁出名?	柳		予算額 11,00
項 2	施策展			学校教 数育内				- ス											7 1	計画	[H]	R 3	牛皮 .	· K	7 +		図書	Į.					3, 77
国 2				i 84		_			過疎記	計画	Г	7	総1	合戦	各	П		ナ充論	<b>⊣</b> 11.	夕	間		年度	~	年	11 H	自動車等	6借上	料				1, 72
<b>决</b> 算 148	2777			. 01					21.0				,,,,,	_ ,,,,,,												<b>-</b>	教材備品						1, 20
A	事業目	的	内:	容・実	电槽			Τ,													B	事業	計画製	・決り	<b>車額等</b>	<b>F</b> L			財源内	a iiR	- (	単位·	千円)
	事業の	目的	と内	容					手 使					主な	活!	動実績	ŧ						事	業費詞	+ =	国県支	出金	地	方債		D他		財源
<b>&lt;事業の目的</b> 学校の運営の	<b>&gt;</b> 中で ii	上にま	か否	に必要	巨か	数は	オ借	Т	í	小学校 動の充	の教	育振! 実施	興の	ため耄	材材	よどの	物品の	購入	章、教	育活	R	3 計画	i i	19, 0	19						3, 500	1	15, 519
品や、消耗品教育、学習を	,社会身	見学∜	等の.	バス作	告り	上	ず等	F	3	*講	師謝福	<b>記</b>	(総)	合学習 科書、	l) 教标	・記念 オ等) -、土	品代 ・通信	(新入	学生、	卒業 験乗	当	初予算	Į	19, 0	19						3, 500	1	15, 519
秋月、十日で:	水 <del>坪</del> りる	ノザラ	₹							<b>担)・</b>	借上和	卧 (/	バス、	、タク	シー	一、土	地) •	教材1	<b>用品</b> •	凶害	決	: 算 割	頁	17, 5	38						3, 500	1	14, 038
																					R	4計画	亘	19, 0	19						3,500	1	15, 51
								R	4												当	初予算	Į	17, 8	80						3, 200	1	14, 680
																					決	: 算 額	Ą										
																					R	5計画	Ī.	19,0	19						3,500	1	15, 519
								F	25												当	初予算	Į										
<令和3年度						L )-	12 8:5-	L													決	: 算 割	Ą										
消耗品・教材化	用品の類	<b>事人</b> か	200	ハス信	当り	上门	) 寺														R	6計画	亘	19,0	19						3,500	1	15, 519
								R	16												当	初予算	Į										
								L												_	Ë	: 算 割	-										
								١.	_												-	7計画	-	19, 0	19						3, 500	1	15, 519
								h	27												$\vdash$	初予算	_										
								L												_	Н	算割								-			
												<b>-</b> ^		_	. 7	_	=1					- 画 割	-	95, 0							7, 500		77, 59
												КJ	` ^	~ F	₹ /	合	計				$\vdash$	初予算	-	36, 8							6, 700		30, 199
								L													决	、 异	Ħ	17, 5	38						3, 500	1	.4, 038
																					決	、算 割	頁	17, 5	38						3, 500	1	14, 0
	評価指	標名					指	標値	の	说明	(算出	方	法等	)			各計	画指	<b>#</b>	₹2実	績値	単位	達月	成度	R	3	R4	1	R5		R6		R7
Ì																Г	7	総合	线略			千	目相	票値	4	, 823	Ì						
C 1 一般教	材及び図	図書の	の整	備	ſ	備品	購入	費	(教	対備。	品+区	[書]	)					個別割		6,	038	白	実績	責値	4	, 823							
活																		四刀官	1 29			%		戊率	1	00.0					-		
動 指																		総合	线略					票値									
標 2 —																Г	7	個別詞	十画				実績	責値									

	評価指標名	指標値の説明(昇出万法寺)	各計画指標	R2実績値	単1型	達成度	R3	K4	R5	Кb	R/
С		Mr D PH + th / Mr L L Mr D CO. th.	□ 総合戦略		千円	目標値	4, 823				
	1 一般教材及び図書の整備	備品購入費(教材備品+図書)	✓ 個別計画	6, 038		実績値	4, 823				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 —		│			実績値					
					%	達成率					
			✔ 総合計画		冊	目標値	157	158	159	160	160
D	1 図書年間貸出冊数	児童一人当たり年平均※基本計画	□ 総合戦略	168	Ē	実績値	161				
成			□ 個別計画		%	達成率	102.6				
果指			□ 総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
標	2 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程 の達成率	□ 総合戦略	100	%	実績値	100				
			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
E	評価対象外の理由 0評価対					·		(\$	対象外事業に	<b>F~I欄</b> ≉	₹記入 可)

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 5点 F 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 5点 5点 評 優先度高い 優先度低い → 2 →  $\begin{array}{c} \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \text{ret.} \\ \rightarrow 4 \rightarrow 5 \end{array}$ 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 5点 できなかった ⇒ 1 → 2 → 3 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 25 点 5点 5点 25 点 推移していない ⇒ 推移した 1 → 2 → 3 → 4 推移していない ⇒ 推 5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 /25点 /25点 5点

学校の運営の中で、主に教育に必要な教材備品や、消耗品、社会見学等のバス借り上げ等 の教育を振興する事業については、実績から見て達成できた。 学校の運営の中で、主に教育に必要な教材備品や、消耗品、社会見学等のバス借り上げ等 り上げ等の教育を振興する事業については、実績から見て達成できたと評価する。	G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
	学校の運営の中で、主に教育に必要な教材備品や、消耗品、社会見学等のバス借り上げ等の教育を振興する事業については、実績から見て達成できた。	学校の運営の中で、主に教育に必要な教材備品や、消耗品、社会見学等のバス借り上げ等の教育を振興する事業については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和 5 年度の事業の方向性

事業番号	枝番 (令和3年度)	計画	') 兼	&合 i	計画写	と施言 かんしゅう かんしゅう しんかん かんしん しんかん かんしん しんかん しんかん しんかん しんか	┼画書	(兼	進捗	一管理	理)								(様式1)
145005	1 (令和 3 年度)	夬 算	-						. —	調	書	課局名		学校教育	課	係名	i	学校都	教育係
事業均	学校教育振興事業		細事業	理科	斗教育設	備等整	備事業			実	施計画	事業 理科	教育	設備等整備	事業			終了 年度	なし
総合計	画体系図No.→ ( 328 )																		
会計 一般	<b>政 策</b> V 豊かな心と学ぶ意	意欲を	育むま	ち					個言	第4次 計画	で豊後大	:野市総合	教育	令和	3 年	度 主な歳	出名科	, i	当初予算額
款 10	施 策 1 学校教育の充実										R 3 *	F度 ~ R	7	年度 教材備	品				1,009
項 2	施策展開 ②教育体制を充実す	る							画										
<b>目</b> 2	後期基本計画 84 P 🗌	過政	東計画		総合戦	略	לםב [	充当	名	期間	£	F度 ~		年度					
<b>決算</b> 148	事業目的・内容・実績										主命制	・画額・決	管轄	SEE .					
	事業の目的と内容	年			<b>+</b> /	は活動す	<b>上手</b>			1 r	<u> 字末川</u>	事業費	計		ı	財源内	-		単位:千円)
<事業の目的		度	++.1	25450				14/		<b>↓</b>				国県支出金	1	也方債	その	他	一般財源
学校における	理科及び算数に関する教育(以		山内小	子-校9	仪、27日	前日の5	更新を実	: 旭		H	3計画	,	009	504	ļ				505
め、理科教育:	育」という。) の振興を図るた 振興法に基づき、小学校に対し	R3								I⊢	初予算		009	504	ļ				505
ため、国から	実施するための設備整備をする その経費の一部補助を受けて、										算額		979	379	<u> </u>				60
各小学校の理	科教育の振興に努める。									R	4計画	1,	009	504					50
		R4								I⊨	初予算		697	348					349
										決	算額								
										R	5計画	1,	009	504					505
		R5								当	初予算								
	の取組内容(計画)>									決	算額								
	中、9校が理科設備の更新補助の とめ計画的に設備導入を図る。									R	6計画	1,	009	504					509
		R6								当	初予算								
										決	算 額								
										R	7計画	1,	009	504					505
		R7								当	初予算								
		L								決	算 額								
										計	画額	5,	045	2, 520					2, 52
				R3	} ~	R7 合	計			当	初予算	1,	706	852					854

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		セッ	目標値	27				
С	1 理科教育備品整備	整備数	✓ 個別計画	35	ト	実績値	27				
活					%	達成率	100.0				
動指			○ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
D	1 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程 の達成率	□ 総合戦略	100	/0	実績値	100				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成 果 指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
F	証価対象外の理由 ○ 証価対	· <b>台</b>						(+	t 免从 車 業 l-	+ F ~ T <b>週</b> ‡	<u> </u>

決算額

979

379

600

(対象外事業は**F~I欄**未記入 可) 評価対象外の理由 | 0評価対象

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長寺)
	計画項目グランの代点(1・・・・ラ点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 2	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 1 で	1 → 2 → 3 → 4 → 5 きなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推移	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	25 点	5 点	<sup>25</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか <u>1</u> 推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 移していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

### G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

学校における理科及び算数に関する教育(以下、「理科教育を実施するための設備整備をするめ、理科教育振興法に基づき、小学校に対して理科教育を実施するための設備整備をするため、国からその経費の一部補助を受けて、各小学校の理科教育の振興事業については実績から見て達成できた。 ※各学校で5ヵ年で更新計画を行っている1/2国庫補助事業であり継続していく。

### H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

学校における理科及び算数に関する教育(以下、「理科教育」という。)の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、小学校に対して理科教育を実施するための設備整備をするため、国からその経費の一部補助を受けて、各小学校の理科教育の振興事業については実績から見て達成できたと評価する。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

(様式1) 事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 (令和 3 年度決算) 事 学校教育課 学校教育係 259001 5 務 価 係名 事 業 中学校一般管理事業 細事業 中学校一般管理事業 実施計画事業 臨時講師活用事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 330 第4次豊後大野市総合教育 計画 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 策 1 学校教育の充実 期間 R 3 年度 ~ R 7 年度 会計年度任用職員報酬 款 施 6, 775 10 項 施策展開 ②教育体制を充実する 3 画 期末手当 844 名 社会保険料(会計年度任用職員分 後期基本計画 84 P コロナ充当 期間 年度 ~ 目 1 ✔ 過疎計画 総合戦略 1, 337 決算 149 費用弁償 (会計年度任用職員分) 360 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 普通学級での授業や特別支援の必要な児童生 徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任 用職員の雇用 (人数) 1人(内時短1名) 1人 0人 1人 1人 1人 1人 R 3 計画 9,316 816 R3 8,500 当初予算 816 9,316 決 算 額 10, 227 9,300 927 R 4 計画 8,500 816 9, 316 R4 当初予算 9,238 8,700 538 決 算 額 R 5 計画 9,316 8,500 816 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 R6計画 9,316 8,500 816 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 9,316 8,500 816 R7 当初予算 決 算 額 計画額 46, 580 42,500 4,080 当初予算 R3 ~ R7 合 計 1,354 18, 554 17, 200 決 算 額 10,227 9,300 927

門スタッフ等の適正配置	人数 (実績値:のべ人数)	総合戦略 ✓ 個別計画	4	人	目標値実績値	4				
門スタッフ等の適正配置	人数 (実績値:のべ人数)		4	八	宝结店	4				
					天視胆	4				
				%	達成率	100.0				
		□ 総合戦略			目標値					
		□ 個別計画			実績値					
				%	達成率					
		総合計画		0/	目標値	100	100	100	100	100
で有課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	□ 総合戦略	100	/0	実績値	100				
	- XEM	□ 個別計画	i	%	達成率	100.0				
		□ 総合計画			目標値			·		
		□ 総合戦略			実績値					
		□ 個別計画		%	達成率					
į.	育課程の達成	京課程の達成 文科省の学習指導要領に則った教育課程 の達成率	□   個別計画   □   総合計画   □   総合計画   □   総合計画   □   総合計画   □   総合計画   □   総合計画   □   総合計画   □   総合戦略   □   □   総合計画   □   総合戦略	□ 個別計画 □ 総合計画 □ 総合計画 □ ※合計画 □ ※全計画 □ ※全計画 □ ※ ・	図別計画   96   96   96   96   96   96   96   9	実績値	実績値	大利省の学習指導要領に則った教育課程	(個別計画)       実績値         (物)       達成率         (対すの学習指導要領に則った教育課程の達成率)       (地合戦略)         (個別計画)       (地合戦略)         (個別計画)       (地合戦略)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)         (地方では、)       (地方では、)	図別計画   実績値

 E 評価対象外の理由 0 評価対象
 (対象外事業はF~I欄未記入可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/5)の代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \hline retarrow center & \hline \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	25 点	5 点	25 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	5 点	∕25点	5 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任 用職員の雇用については、実績から見て達成できた。 H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

任 普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会 計年度任用職員の雇用については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和5年度の事業の方向性

814

396

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 学校教育課 課局名 学校教育係 259002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 業 価 係名 事 業 中学校一般管理事業 細事業 フッ化物洗口推進事業 実施計画事業 フッ化物洗口推進事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 324 第4次豊後大野市総合教育 計画 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 策 1 学校教育の充実 別計 款 期間 消耗品費 400 10 R 3  $^{\text{fg}}$  ~ R 7  $^{\text{fg}}$ 項 3 施策展開 ①教育内容を充実する 画 学校薬剤師報酬 77 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 84 P 過疎計画 総合戦略 決算 149 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 生徒に対して、「むし歯0」をめざし、フッ 化物洗口を行い、むし歯予防対策の強化を図 る。なお、実施については、保護者の同意が 必要となる。 1週間に1回フッ化物洗口液を用いてうがい R 3 計画 477 477 ロークを 中学を。 531人 の実施 フッ化物洗口用消耗品の購入 7校 351千円(消耗品) R3 当初予算 477 477 決 算 額 396 396 R 4 計画 477 477 R4 当初予算 337 337 決 算 額 R 5 計画 477 477 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 1週間に1回フッ化物洗口液を用いてうがい R6計画 477 477 を行う。中学校 中学校 531人 の実施 フッ化物洗口用消耗品の購入 7校 400,000円 (消耗品) R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 477 477 R7 当初予算

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		保護者に事業の説明を行い重要性を理解	総合戦略		%	目標値	76	77	78	79	80
С	1 実施率の向上	保護者に事業の説明を行い重要性を理解 してもらい、実施生徒の割合を増やす (保護者の同意が必要なため)	□ 個別計画	75. 3	/0	実績値	68. 3				
活		(保護有の回息か必要なだめ)			%	達成率	89. 9				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		本	目標値	1.6	1.4	1. 2	1	0.9
D	1 虫歯の本数の減小	12歳児むし歯平均本数(前年度数値, 小 中成果同じ)	□ 総合戦略	1. 7	4	実績値	1.46				
成		1 ///	✓ 個別計画		%	達成率	_				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

2, 385

814

396

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	3 点		3 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点	19 点	3 点	19 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

生徒に対して、「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行い、むし歯予防対策の 強化を図る事業については、実施率をあげる必要があると評価する。

生徒に対して、「むし歯0」をめざし、フッ化物洗口を行い、むし歯予防対策の強化を図る事業については保護者の同意が得られず実施ができていないが、はじめて間もない事業であり、長期的な視点での対応が必要。また、コロナ禍により推進ができなかった。

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

-																																		L+
-	<b>業番号</b> 48002		<b>支番</b> 2		•	和和									計画 務	実ī 事		·画 集	書( ) 評	極	_	管理 周	里) 書	110	果局名		学校	教育調	<del></del>	係:	名	学校		様式 1)  育係
事	業	中学	校教	育振り	興事	業					斜	事業	ŧ	中等	学校拳	女育振	興事	業				実	施計画	事業	常活重	助指導	算員活	·用事業	¥.	-		終 <sup>-</sup> 年月		なし
会計		合計画位 政				33 ) 豊かれ	غان	と学	:£:	意欲	をす	育む:	まち							個	第計	4 4 画	く豊後ス	大野	市総合	教育	_	全和 3	年度	き 主な	歳出名	呂称	当往	初予算額
款	10	施	<u> </u>	策	1 =	学校教	(育)	の充:	夷											月計	期	間 F	R 3	年度	~ R	7 年	度	計年度	ぜん 用	職員報酬	洲			336
項	3		策展			女育体		_	実す	-る										通名	:						萝	門弁價	î					30
14 600	2	ļĿ	後期	基本言	+画	84	F	,		追	疎	計画			総合	戦略		اد	コナ充当		期	間		年度	~	年	度							
決算	151	A	業目	的•	内和	タ・写	種															В	事業	計画	額・決算	<b>车額等</b>	, L							
		事	業の日	1的2	- 内	容				4						主な温	動実	!績						17	事業費詞	+		1		財源内	-			立:千円)
	事業の目		-14 /							唐		加江	動の	\ EF A					負担軽減	÷	7	_		_		E	見県支		地	方債	そ	の他	_	般財源
部活	動の質め部活	的向_								L		るた	め部	<b>『活動</b>	が指導	真を	会計	年度	12年第	151	~ ZI	⊢	3 計画	-		66		224						142
	する(			云司	+/:	支江力	1月10人	貝こ		R	1	<ul><li>犬</li></ul>	した飼中	学校	交、卓	球部	1/	名				H	初予算	-		66		224						142
										L		・年	間 2	1 (	) 時間	一(補	助対	象時間	間)		_	<u> </u>	算額	+		36		224						112
										L												⊢	4 計画	-		66		224						142
										R	1											⊢	初予第		3	66		224						142
										H											_	H	算額	+										
										,	_											-	5計画	+	3	66		224						142
	Δ4π ο Δ	<u>+ # ^</u>	Ho 40	th sta	/ <del>=</del> ⊥;	<b>≖</b> / <b>&gt;</b>				R	٥											⊢	初予第	+										
	令和34 飼中学					<b>当)</b> ク				H	-										_	⊢	算額	+	0	cc		004						1.40
· 年	間21	0 時間	引(補	i助対	象	寺間)				R												-	6計画	-	3	66		224						142
										K	)											H	初予第	-										
										H											_	H	算額	+										
										R	,											⊢	7計画	-	3	66		224						142
										Т	<b>'</b>											H	初予第											
										H											_	Н	算額	-		0.0		100						71
										ı				D.		ъ.	7 🛆	<del>=</del> ⊥				H	一画 額	-	1, 8	_	1	, 120						710
										ı				R	, ~	R	7 合	āΤ				┢	初予第			32 36		448 224						284
																						^	并的	Ħ.	J	30		224					<u> </u>	112
$\overline{}$		評	<b>严価指</b>	標名			Τ		指	標値	の	兑明	(算	出方	法等	)		各計	画指標	R	2実	績値	単位	達	成度	R	3	R4		R5		R6		R7
							Ť										j		総合戦	1			,		標値		1							
С	1 会計	年度任	壬用耶	員の	(採	用	挖	採用ノ	人数	:									個別計			1	人	実	<b>軽積値</b>		1							
活動							$\downarrow$										_	П	ן פונית בבו				%		成率	1	00.0						Ļ	
動指																			総合戦	略					標値									
標	2 _																		個別計	画					積値						_		$\perp$	
							+										+		<b>公人</b> き!	ida I			%		<b>「</b> 成率				1.5		1.5		-	
Ь	1 教員	の子。	どもに	_向き	合	う時	Į,	平均	习増	加時	間	(目	標:	月平	<b>平均1</b> :	5時間	以		総合計総合戦			15	時間		標値		15		15		15	1	5	15
	' 間の	増加						_)											超別計			15	%	_	根準	1	15 00. 0				$\dashv$		+	
成果							+										$\dashv$		総合計	_					標値	1	JU. 0				+		+	
指標	2 —																		総合戦						<b>製養値</b>								$\dagger$	
							ĺ												個別計				%	達	成率								T	
E	証価:	対象外	の珊	<u>н</u> Т	0 =	評価を	计在	1										_		_					I.				(+	†象州車	(業)+	F~I根	<u>.</u>	2 አ ብነ
	四丁1四.	ハコメスプ	い生	щ	υĒ		內為	Ç																					( )	ュゕハト手	木は	· - 1 10	<b>1</b>	U/ 11/

	5日间约3			(7,33,77,7	- 1	4-1-HDF 1 37
	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート) の向上が期待できる事業内容となっているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ $to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land to 7 \land t$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline retarrow & \Rightarrow & retarrow & \end{array}$	5 点		5 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点	25 点	5 点	25 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点	∕25点	5 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等  H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

部活動の質的向上及び教職員の負担軽減を図るため部活動指導員を会計年度任用 職員とし雇用する(県補助金)については、実績から見て達成できたと評価する

令和5年度の事業の方向性

-	事業番号 技番 (令和 3: 148002 3 (令和 3:			総合計画実施 事 務 事	計画業	i書(st 評	_	管調	理)	課局名	学	交教育	課	係名	学校	(様式 1) ( 数育係
	事 <b>業</b> 中学校教育振興事業		細事業	中学校教育振興	-14	м.	, IIII		<b>上</b> 孫施計画	事業 中学権				1	終年	7 /21
会計	総合計画体系図No.→ ( 326 )   一般	、レヴ ご音)	た杏ねま	t.				育4~	次曹後大	野市総合	教育	会和	? 存度	主な歳		当初予算額
款	<del>                                     </del>		を目むま	<u> </u>			個   計	十画				消耗品		土は尿	田石柳	当初了昇額 26,379
項	10 施 策 1 学校教育の 3 施策展開 ①教育内容を						- 計	4J I ⊨ J	К3	<sup>年度</sup> ~ R	7 <sup>4</sup> / <sub>2</sub>	図書	Ą			2, 237
目	2 後期基本計画 84 P		<b>疎計画</b>	総合戦略		コロナ充当		朝間		年度 ~	年度	自動車	等借 上	lsl-		865
決第			25411	10 L TAPE				v111				教材備				800
	A 事業目的・内容・実績		_					l	事業計	画額・決	<b>車額等</b>	42/11/10	нн	84次5 中	<b>=</b> □	<b>!</b>
	事業の目的と内容			主な活動	実績					事業費	計量県	支出金	地元	財源内 方債	<u>ボ</u> その他	(単位:千円) 一般財源
< <	事業の目的>	******	中学校の変を実施し	教育振興ため教材などの物 た	7品の購	入等、教育》	舌動の充実	F	3計画	32,0		~		7 0	2, 200	29, 859
品名	交の運営の中で、主に教育に必要な た、消耗品、社会見学等のバス借り_ ・	致的 Mi 上げ等 R	3 行、総合	度任用職員報酬(部活動指 学習等)・記念品代(卒業 通信運搬費(職業体験)・ は、タクシー)。 男	i導員) (生)・i	<ul> <li>講師謝礼会 消耗品費(する)</li> </ul>	金(修学旅 教科書、教	놸	<b>当初予算</b>	32,0	59				2, 200	29, 859
教育	育、学習を振興する事業		借上料( 金(中体)	西信運搬賃(職業体款) バス、タクシー)・教材備 連、中文連主催の県大会り	品・図 は上の出	帯映作(Wis 書・各種大名 場にかかる引	米体駅)・ 会出場補助 費用一式)	決	と 算 額	30, 1	55				2, 200	27, 955
								F	R 4計画	32,0	59				2, 200	29, 859
		R	4					놸	<b>á初予算</b>	13, 8	62				1,800	12, 062
								決	と 算 額	i						
								F	35計画	32,0	59				2, 200	29, 859
		R	5					놸	当初予算							
	令和3年度の取組内容(計画)>	1 18 44						決	と 算額	i						
消耗	E品・教材備品の購入及びバス借り_	上げ等						F	₹6計画	32,0	59				2, 200	29, 859
		R	6					븰	当初予算							
		_						決	と 算 額	i						
								I⊢	7 計画	02,	59				2, 200	29, 859
		R	7					l ⊢	<b>á初予算</b>	-						
		_						۱⊢	と 算 額	1						
				D2 D7	_ =	-1		ΙĖ	十画額	,-					11,000	149, 295
				R3 ~ R7		Т		l ⊩	当初予算 快算額	<u> </u>	_				4, 000 2, 200	41, 921 27, 955
								0	7 异 创	30, 1	99				2, 200	21,955
	評価指標名	指標値	[の説明(第	<b>拿出方法等</b> )	各	計画指標	R 2 9	実績値	直単位	達成度	R3	F	₹4	R5	R6	R7
						総合戦			千	目標値	2, 74	-				
C	1 一般教材及び図書の整備 備	<sub>情品購入費</sub>	(教材備品	+図書)		個別討	1画 3	8, 890	$\vdash$	実績値	2, 74					_
活動					<del>  _</del>				%	達成率 目標値	100.	0				_
指標	2 =					総合戦	略			実績値						_
lyk.						個別討	画		%	達成率						
					V	総合討	画		m	目標値		1	32	(	33 3	34 35
D	1 図書年間貸出冊数 児	見童一人当た	り年平均	※基本計画		総合戦	略	26	6 #	実績値		30				
成						個別討	画		%	達成率	96.	8				
果指		r利名の学習	<b>投</b> 道更領	に則った教育課程		総合計			.   %	目標値	10		100	10	00 10	0 100
標	2 教育課程の達成	四日子女员	(二列) 万亿权 自 (水) 宝		総合戦		100	,	実績値	100	-					
						個別計	画		%	達成率	100.	0				
E	評価対象外の理由 0評価対象	₹											(文	象外事	業は <b>F~I</b> 権	未記入 可)
評価項目/5つの視点(1~5点						)						−次評価 価点		(E) 点合計	二次評価評価点	(課長等) 評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の	美内容となっている:	か					→ 4 → 5 なっている		5点			5点			
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(	美内での優先度)	なっていな			2 -	→ 3 -	→ 4 → 5 優先度高U	5			ļ	5 点			
価	3. 事業計画どおりに事業を進める	ことができ	たか		俊先度1			2 -	→ 3 -	→ 4 → 5 できた		5 点			5 点	
1Ш	4. 活動指標の達成状況(率)は計画	『どおり推移	しているか	^			1 → 推移してに			→ 4 → 5 推移した		5点		25 点	5 点	25 点

I 令和 5 年度の事業の方向性

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任 用職員の雇用については、実績から見て達成できた。

5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

/25点

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会 計年度任用職員の雇用については、実績から見て達成できたと評価する。

/25点

778

780

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 学校教育課 (令和 3 年度決算) 事 課局名 学校教育係 148004 1 務 業 価 係名 事 業 中学校教育振興事業 細事業 理科教育設備等整備事業 実施計画事業 理科教育設備等整備事業 なし 総合計画体系図No.→( 328 第4次豊後大野市総合教育 計画 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 策 1 学校教育の充実 別計 款 施 期間 R 3 <sup>年度</sup> ~ R 7 <sup>年度</sup> 教材備品 10 1,203 項 3 施策展開 ②教育体制を充実する 画 名 2 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 84 P 過疎計画 総合戦略 決算 151 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 学校における理科及び算数に関する教育(以 市内中学校3校、47品目の更新を実施 R 3 計画 1,203 602 学校におりる空村及い鼻数に関する取目へい下、「理科教育」という。) の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、中学校に対して理科教育を乗施するための設備整備をするため、国からその経費の一部補助を受けて、各中学校の理科教育の振興に努める。 R3 当初予算 601 602 1,203 決 算 額 1, 199 419 780 R 4計画 1, 203 602 601 R4 当初予算 351 176 175 決 算 額 R 5 計画 1,203 601 602 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 市内7中学校中、3校が理科設備の更新補助の 意向があったため計画的に設備導入を図る。 R6計画 1,203 601 602 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,203 601 602

		指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		セッ	目標値	47				
C 1	理科教育備品整備	整備数	✓ 個別計画	32	ット	実績値	47				
活					%	達成率	100.0				
動 指 標 2			□ 総合戦略			目標値					
標 2	! —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
<b>D</b> 1	教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程 の達成率	□ 総合戦略	100	/0	実績値	100				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成果指標2			□ 総合計画			目標値		·	•		
標 2	! —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

6,015

1,554

1, 199

3,005

776

419

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

		評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長寺)
		計画項目/50の代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	- [	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
B	Ŧ	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
ſï		3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
11	_	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	25 点	5点	25 点
		5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	/25点	5 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

学校における理科及び算数に関する教育(以下、「理科教育」という。)の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、中学校に対して理科教育を実施するための設備整備をするため、国からその経費の一部補助を受けて、各中学校の理科教育の振興事業については実 学校になり。この め、理科教育振興法に基つさ、コラ (G) ため、国からその経費の一部補助を受けて、各中学校いエコーない 績から見て達成できた。 ※各学校で5ヵ年で更新計画を行っている1/2国庫補助事業であり継続していく。

#### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

学校における理科及び算数に関する教育(以下、「理科教育」という。)の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、中学校に対して理科教育を実施するための設備整備をするため、国からその経費の一部補助を受けて、各中学校の理科教育の振興事業については実績から見て達成できたと評価する。

# 令和5年度の事業の方向性

事	業番号	ļ	枝番		( 4	令和	1 3	: :	年	度	Ħ	t i	囙	)	紛	合	計	画	j実	施	計	画	書	(	兼	進	捗	管	理)												(†	<b>様式 1</b> )
2	61001		1		( 4	和	3	:	年	度	Ħ	ŧ ĵ	Ţ	)	事	ţ.	彩	ķ	事	Į.	ヺ	ŧ	ā	Ŧ	1	西	Ī	調	書	Ī	課局	名	学	校	教育詞	果	係	名		学校	き教	育係
事	業	幼	稚園-	·般管	理事	業							糸	事	業	幼	稚	刺一	·般管	9理	事業	É						実	施計画	事	<b>業</b> 绒	稚園 子ど	教諭も・	(会 子育	計年月 て支払	度)活 爰分)	用事	業	(地	終年		なし
	総合	計画	1体系図	No.→			)				_														_		Lex	_													,	
会計	一般		政	策	V	豊/	かなん	ŗ	と労	ÉŠ	諺	欲	を	旨む	まな	>										個	計	画	欠豊後大					수	3和 3	年度	主まな	歳	出名和	<b></b>	当	初予算額
款	10		施	策	1 -	学校	教育	10	)充	実																別計		間	R 3 4	年度	~	R 7	年度	숲	計年月	度任用 <sup>1</sup>	職員報	酬				6, 13
項	4		施策原	展開	2	<b>教育</b>	体制	りを	:充	実~	すれ	る													_	画名	+	ラ	キラこと	じも	プラ	シン		1 //	末手	-	A 31 6-		e tri wk			760
目	1		後期	基本	計画	į (	84	Р	L		]	過	疎	計画			á	総合	戦略	3		_	コロナ	充닄	当	П	期	間	R 2 4	年度	~	R 6	年度	(1)	上会保障	英料 (:	会計年	·度仁	上用職	貝分		1, 21
決算	152	_ ۸	事業	目的	· 内:	容•	実統	ŧ																				В	事業計	十画	額・	決算	額等	费	用弁例	賞(会	計年度	任月	用職員	分)		36
			事業の									年	:					-	主な	注重	油宝	结									重業	費計					財源	内記	Я		(単位	江:千円)
- 7	<b>上米</b> の 口			Пнэ	C P 3	-					4	度		+T2 )	20. /	п-к							. )			٠,	_	L		$\downarrow$			国	具支	出金	地	方債		その	他	_	·般財源
1 園	<b>手業の目</b> につき	幼科	園教											6.	千点	轰幼	稚	劇に	も会	十年	度信	- 里 E.用.	・オ ]職貞	るを	12	含す	:	-	3計画	+		8, 473	3	2	, 214							6, 259
ては	組んで、会計	年度	[任用]	職員?	全1:	名面	1置5		てい	る		R3	3	つ計	`3∶	名性	置	した	-0									⊢	4初予算	+		8, 473	3	2	, 214							6, 259
	かり保 金を活				野に <sup>、</sup>	つレ	いてに	<b>ま、</b>	県	;D	١		_														_	H	等 額	4		7, 839	)	3	, 056							4, 783
											١																	Ė	4計画	`		8, 473	3		, 214							6, 25
											١	R4	1															⊢	初予算	+		8, 171		2	, 122					65		5, 984
											١		_														_	Ë	等 額	+								_				
											١																	⊢	₹5計画	1		8, 473	3	2	, 214							6, 259
											١	R	5															┢	初予算	+												
	<b>令和3</b> 年 してい							59	巨体	: 1	١		_														_	H	等 額	+								_				
てい	る。令	和3	年度	t、 Ξ	E重	・お	おり	5 8	さく	6																		⊢	86計画	+		8, 473	3	2	, 214							6, 259
・一世の	歳幼稚 。(計	園に3名	.会計 <sup>2</sup> 。)	+皮1	士用早	敞貝	[を]	Lą	59	つ	١	Re	6															⊢	的予算	+												
											١																_	H	等 額	+												
												_															-	⊢	7計画	1		8, 473	3	2	, 214							6, 259
												R7	'														-	F	4初予算	╁												
																											4	-	算額	_			1					1				
																											-	-	上画 額	4		2, 365	+		, 070							31, 295
																F	3	~	R	7	合	Ē	†				-	F	4初予算	+		6, 644			, 336					65		12, 243
																											╝	決	等額	į		7, 839	)	3	, 056							4, 783

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		Į.	目標値	3				
С	1 幼稚園教諭(会計年度任用 職員)の配置	人数(雇用した会計年度任用職員)	☑ 個別計画	2	人	実績値	3				
活					%	達成率	100.0				
動指		V.T de la contra	総合戦略		園	目標値					
	2 幼稚園型預かり保育実施数	必要に応じて実施 (目標値なし)	□ 個別計画		M	実績値	4				
					%	達成率					
			総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
D	1 教育課程の達成	文科省の幼稚園教育要領に則った教育課 程の達成率	□ 総合戦略	100	/0	実績値	100				
成		III - XEPA I	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値		·			
			□ 個別計画		%	達成率					

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	   評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの抗点(「でも点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか なっぱん	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか でき	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推移	1 → 2 → 3 → 4 → 5 移していない ⇒ 推移した	5 点	25 点	5 点	<sup>25</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 推移	1 → 2 → 3 → 4 → 5 移していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

1 園につき幼稚園教諭3名体制で幼児教育に取り組んでいる。正規職員が2名の園については、会計年度任用職員を1名配置している。預かり保育に係る人件費については、県の補助金を活用している。。この雇用事業については、実績から見て達成できた。

1 園につきが報報を認識する体制で幼児教育に取り組んでいる。正規職員が2名の園につきが相関教育。工規職員が2名の園については、会計年度任用職員を1名配置している。預かり保育に係る人件費については、県の補助金を活用している。できたと評価する。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 社会教育係 153002 1 務 価 社会教育課 係名 事 業 青少年健全育成事業 細事業 子ども文化・芸能事業 実施計画事業 子ども文化・芸能事業 なし 総合計画体系図No.→( 345 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市総合教育計画 別計 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 款 策 出演団体謝礼金 60 10 2 生涯学習の推進 項 5 施策展開 ①生涯学習を推進する 消耗品費 20 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 86 P 過疎計画 総合戦略 通信運搬費 決算 154 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 **〈事業の目的>** 化・郷土芸能の継承に取り組んでいる青少 第11回ふるさとまつりメインステージにおいて発表の場を提供する予定であったが、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止した R 3 計画 85 5 年団体に発表する機会を提供し、取組の励みとしてもらう。 5 R3 当初予算 85 80 決 算 額 R 4 計画 5 85 80 R4 当初予算 85 80 5 決 算 額 R 5 計画 85 80 5 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 文化・郷土芸能の継承に取り組む青少年団体に発表の場を提供する。 ・子ども文化芸能大会1回予定 (ふるさとまつりを予定) ・出演3団体予定 R6計画 85 80 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 5 85 80 R7 当初予算 決 算 額 計画額 425 400 25 当初予算 170 10 R3 ~ R7 合 計 160 決 算 額

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		出演を依頼する団体数	総合戦略		寸	目標値	3	3	3	3	3
С	1 出演依頼団体数	※令和3年実績値0はコロナ禍で中止した	個別計画		体	実績値					
活		ため			%	達成率					
動指		開催回数	総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
標	2 開催回数	※令和3年実績値0はコロナ禍で中止した	☑ 個別計画		ш	実績値					
		ため			%	達成率					
		出演する団体数	総合計画		寸	目標値	3	3	3	3	3
D	1 出演団体数	※令和3年実績値0はコロナ禍で中止した	□ 総合戦略		体	実績値					
成		ため	□ 個別計画		%	達成率					
果指		出演する人数	□ 総合計画			目標値	30	30	30	30	30
標	2 出演人数	※令和3年実績値0はコロナ禍で中止した	□ 総合戦略		人	実績値					
		ため	□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	    象		•	•	•	•	<b>(</b> \$	対象外事業は	t <b>F~ I 欄</b> 未	記入可)

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計  $\rightarrow$  2  $\rightarrow$  3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 3 点 なっていない なっている 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 3点 3点 評 優先度低い 優先度高い 3 - 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか できた できなかった 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 4点 18 点 4点 18点 推移していない ⇒ 推移した 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 4点 /25点

G	【担当係長の意見	・課題・改	善策等】 ※	(今後の事業の進め方等	ŧ
	こついては、コロ			表する機会を提供し、 かった。	取組の励み

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

コロナ禍により、伝統芸能を発表する場を確保することができなかった。 発表の場の確保ができない場合は、DVD等に活動内容を収録し、学校に配布す るなどの工夫が必要である。

令和5年度の事業の方向性

	事	業番号		枝番		(	令和	3	年	度	Ħ	画	)	総	合	計画	実	施	計画	書	<b>(</b> )	ŧ,	焦	步管	理)
	15	53003		1		(	令和	3	年	度	決	算	)	事	F	務	事	F	業	語	i	佃	5	調	書
	事	業	青	少年候	建全育	成	事業					i	細事	業	放	課後	子ども	教	室事業	É					実施計画
		総合	計画	画体系 🛭	☑No.→	(	345 )																		
会	計	一般		政	策	V	豊か	なさ	いと	学る	意	欲を	育む	まち	)								個	豊後	(大野市)
非	款	10		施	策	2	生涯:	学習	の扌	推進													別計	期間	R3
Į	項	5		施策原	展開	(1	生涯4	学習	を打	推進 <sup>*</sup>	する												画		
E	Ħ	1		後期	基本	計i	画 8	6	Р			過政	計画	Ī		総合	<b>合戦</b> 略	ķ		コロナ	充当	11	名	期間	

年度

R3

R4

R5

R6

R7

R3 ~ R7 合 計

決算 154

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

〈事業の目的〉 小学生を対象に、放課後の安心・安全な活動 場所(居場所)を設け、地域の方々の参画を 得て、創作活動や地域学習とともに宿題の見 守り等に取り組み、心豊かな子どもの育成を 図ス

<令和3年度の取組内容(計画)>

マやは3年度の取組内容(計画)グラ校と地域の力をマッチングさせる協育コーディネーターを小学校区単位に配置・三重町小学校5校区にコーディネーター配置・その他6つの小学校区の各公民館に委託・協力者を募集・放課後子ども教室では学習の見守りと各種体験活動を行う。(工作、茶道、読み聞かせ、科学実験、太鼓体験、郷土学習、座禅、軽スポーツ等)

)事務事業評価	Ī	周書	課局名	社	会教育課	係名	社会	会教育係
田事業 放課後子ども教室事業		実施計画事	<b>本</b> 放課後子	ことも	教室事業		終 <sup>-</sup> 年月	
育むまち	豊	後大野市総	合教育計画		令和 3 年度	き 主な歳と	出名称	当初予算額
	川期	間 R3 年	度 ~ R7	年度	校区コーディ	ネーター調	射礼金	3, 675
	回				放課後チャレ	ンジ教室委	託料	780
計画 総合戦略 コロナ充当	期	間 年	度 ~	年度	協力者謝礼金			360
		R 享養計	画額・決算額	鉱	消耗品費			250
<b>ナ</b> か江新中体		<u>□ ∓жн</u>		17	•	財源内部	R	(単位:千円)
主な活動実績			事業費計	国県	支出金 地方	方債	その他	一般財源
地域の方々と交流しながら、子どもの実体験を育ため県補助事業を活用し、市内全小学校児童を対	象	R 3計画	5, 105		953		3, 600	552
に、工作教室、環境学習、絵手紙、郷土料理、陶 教室、大正琴、ジオ学習、安全講話等のチャレン 活動と宿題の見守り等、年間287回の学級を開催し	芸ジ	当初予算	5, 105		953		3, 600	552
活動と宿題の見守り等、年間287回の学級を開催した。 (登録児童:274名)	L	決算額	4,632		681		3, 600	351
	- 1	R 4計画	5, 105		953		3,600	552
	- 1	当初予算	5, 105		953		3,600	552
	╝	決 算 額						
	- 1	R 5計画	5, 105		953		3,600	552
	- 1	当初予算						
	╝	決 算 額						
	- 1	R 6計画	5, 105		953		3,600	552
	- 1	当初予算						
	╝	決算額						
	7	R 7計画	5, 105		953		3,600	552
		当初予算						

4,765

1,906

681

18,000

7, 200

3,600

2,760

1, 104

351

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		校	目標値	11	11	11	11	11
С	1 実施対象校区数	放課後子ども教室を実施する校区数 (市内全校区数:11)	✓ 個別計画	11	区	実績値	11				
活		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	▶ 個別計画		%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略		Į.	目標値	300	300	300	300	300
標	2 登録人数	放課後子ども教室 対象児童登録人数	□ 個別計画	279	人	実績値	274				
					%	達成率	91.3				
			□ 総合計画		口	目標値	300	495	495	495	495
D	1 開催回数	開催回数(延べ回数) ※放課後開催・土曜日開催の合計	□ 総合戦略	246	쁘	実績値	287				
成		WANTE TABLE IN IT IS IN	✔ 個別計画		%	達成率	95. 7				
果指			□ 総合計画		7	目標値	8,000	13,000	13,000	13,000	13,000
	2 参加人数	参加人数(延べ人数) ※放課後開催・土曜日開催の合計	□ 総合戦略	4, 237	八	実績値	7, 151				
			☑ 個別計画		%	達成率	89. 4				

計画額

当初予算

決 算 額

25, 525

10,210

4,632

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restrance & & \\ \hline restrance & & \\ \hline \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	23 点	4 点	<sup>23</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 コロナ感染症の防止を図るため、一部事業を実施できなかったが、児童の放課後 の安心・安全な活動場所(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、さまざま な体験活動を通じ「生きる力」の醸成を図ることができた。

小学生を対象に、放課後の安心・安全な活動場所(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、創作活動や地域学習とともに宿題の見守り等に取り組み、心豊かな子どもの育成を図る。については、実績から見て達成できた。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 社会教育課 社会教育係 153004 1 務 価 係名 事 業 青少年健全育成事業 細事業 成人式事業 実施計画事業 成人式 なし 総合計画体系図No.→( 343 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市総合教育計画 別計 策 2 生涯学習の推進 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 款 記念品代 330 10 項 施策展開 ①生涯学習を推進する 5 消耗品費 126 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 86 P 過疎計画 総合戦略 成人式実行委員会委員謝礼金 70 決算 154 成人式ビデオレター編集委託料 50 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 新成人の新しい門出を祝福するとともに、新成人が成人としての義務と責任を自覚し、郷土への誇りと愛情を再確認する場を提供する。 ※令和4年度から「二十歳を祝う会」へ R 3 計画 606 当初予算 6 R3 606 600 決 算 額 530 500 30 R 4 計画 6 606 600 R4 当初予算 611 600 11 決 算 額 R 5 計画 606 600 6 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 新成人の中から実行委員を募集し、企画・運 営に関して実行委員会形式での成人式を実施 する。 R6計画 606 600 6 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 6 606 600 R7 当初予算 決 算 額 計画額 3,030 3,000 30 当初予算 1,217 17 R3 ~ R7 合 計 1,200 決 算 額 530 500 30

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		開催回数	○ 総合戦略		□	目標値	1	1	1	1	1
С	1 開催回数	※令和2年実績値0はコロナ禍で延期した ため	個別計画		I	実績値	1				
活		/_ «)			%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
		参加人数	総合計画		Į.	目標値		330	330	330	330
D	1 参加人数	※令和2年実績値0はコロナ禍で延期した	□ 総合戦略		八	実績値					
成		ため	□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
			· •		,						

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline retarrow const. & \Rightarrow & retarrow const. \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	25 点	5 点	25 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	5 点	∕25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

新成人の新しい門出を祝福するとともに、新成人が成人としての義務と責任を自覚し、 土への誇りと愛情を再確認する場を提供する。 については達成できた。※令和5年以降は「20歳を祝う会」に改称予定

コロナ禍により延期した前回の成人式を8月にオンラインを活用して実施し、多くの新成人がオンラインを通して参加したことを評価するとともに、今回の成人式も万全な感染対策を講じて、無事に実施することができた。令和4年4月施行の民法改正による成人年齢の引き下げに関して、学校教育課及び三重総合高校と連携し成人としての認識を醸成するよう努めること。

令和5年度の事業の方向性

		1	7			_	_				_		***			_				_	_	, .		<b>4</b> 1.													(	様式 1 )
	業番号	枝番	-	-	和									-						-					-		埋) <del></del> -	===		1	41	^ +/- <del>-</del>	· ->m	1-1		41		
1	53004	2		( 7	和	3	牛.	度	决	. ,	μ.	)	事	•	矜	5	事		業	•	評		佃	ı	割	周	=	詸	局名		任	会教育	`課	13	名	仕	会教'	育係
事	業	青少年	建全育	「成事	業						紐	事業	ŧ	成	人式	弋事美	業									実	施計画	事業	成人	式	(R2年	度分)					§了 F度	R3
		计画体系	図No.→	_													_						7 -													•		
会計	一般	政	策	V	豊かな	ţ/Ľ	と与	£\$;	:意	欲る	を育	iti	まち	)										Ш			で野市総	合着	女育計	画			3 年	度 主な	歳出:	名称	当	初予算額
款	10	施	策	-	上涯学	_																	41	計上	期間	間	R3 *	F度 ′	- F	27	年度	記念品						18
項	5		展開	1	上涯学 <sup>2</sup>			進~						_									-i I	画名								通信運						8
14 675	1	後	胡基本	計画	86	F	)	L	<u></u>	過i	疎言	一画			¥	総合単	线略	l	<b>v</b>	コ	ロナ3	充当	IJL	_	期間	間	ź	F度 ·	~		年度		にビデオ		11007127			16
決算	154	A 事業	目的	• 内:	容・実	橨																				В	事業計	画都	・決	算額	等	成人式	こライフ	配信業	務委計	細	<u> </u>	55
		事業の	の目的	と内	容					年度						主	な流	舌動	実約	責								事	業費	計					内訳			立:千円
<1	業の目的	<b>λ</b> 1 >							╁	渂		和3年	手成	人式	を新	型コロ	a+1	カイノ	レス版	成选	拡大隊	方止:	対策を	> 議	4	_	0.51.5	L			国県	支出金		方債	₹	その他	+-	-般財源
令和	3年1月10 をコロナ	0日に厚	催予	定で、	あった	令ブ	和3年	F.成		ъ.	į Ji	て8月	月15 対象	日に	期催 会場	型コロ した。 場入場 こ郵送	を制	限す	るた	め	200	_				<u> </u>	3計画	-		064		1,000	-					- 6
の感	を 染拡大防 催する。								ı	R3	-	記念	品等 信 l	を生た。 た。	ま可に	こ郵送 ついて て開催	ては	式典 コロ	の模	は接る	シユーを行っ	ナコった	・ーフ	でフ ≥場		-	初予算			064		1,000	+					6
(二)刑	性りる。								╁		+	(エイ	} t	(F)	にて	て開催	でき	た。		1771	211	- ,-		~	-		: 算 額 4計画	<del>                                     </del>	1,	047		1,000	,					4
									1	R4																<u> </u>	初予算	-										
									ı	Ν4																-	: 算額											
									ŀ		T															H	5計画	+									+	
1									1	R5																┢	初予算	<del> </del>										
< 4	3和3年	度の取	組内容	家(計	画) >				1																		算額	-										
令和:	3年成人	式を新	型 고 ㅁ	ナウ	イルス		染护	大大	ţ -		Ť															H	6計画	1										
成人	対策を講 式対象者	の会場	入場	を制	I催する 限する	た	め		1	R6																-	初予算	1										
• 入	念品等を 揚できな	い対象	者に	句け	て、式	典	の模	様	1																	決	算額											
	ーチュー 対応を行		イブ	記信	する				t		t															R	7計画						1					
									1	R7																当	初予算											
																										決	算額								1			
									t								_								1	計	画額		1,	064		1,000	)					6
														R	3	~	R	7	合	計						当	初予算		1,	064		1,000	)					6
									1																	決	: 算額		1,	047		1,000	)					4

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	1				
С	1 開催回数	開催回数 ※令和2年度分のみ	□ 個別計画		ī	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
活動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		Į.	目標値					
D	1 参加人数	参加人数(ネット視聴者を含む) ※令和2年度分のみ	□ 総合戦略		<b>\</b>	実績値					
成		X 10 11 12 1 233 3 3 3	□ 個別計画		%	達成率					
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					
E	評価対象外の理由 0評価対	<del></del>	_	•		•		(5)	対象外事業に	ま <b>F~I欄</b> ま	未記入 可)

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 5点 なっている 4 → 5 なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 5点 5点 評 優先度低い 優先度高い 4 → 5 できた 4 → 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 5点 できなかった 1 → 2 -価 23 点 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 4 点 23 点 4点 推移していない ⇒ 推移した 25点

	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	推移して	<u>∠ → さ</u> いない =	• → •	推移した	4 点	/25点	4 点	/
	G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	Н	【担当訓	果長職	等の所見】	※評価・改	善策等を踏ま	えた課長職等	手の所見
等の	3年1月10日に開催予定であった令和3年成人式をコロナ禍のため延期し、ライブ配信 感染拡大防止対策を講じて令和3年8月15日に開催する。については、実績から見て達 きた。	和3年8月	月15日にi め実行委員	通常開 員によ	昇催をするよ こるライブ配	う準備を進信等に急遽	めていたが、 切り替えて開	ナ禍のためを デルタ株の。 開催した。ラシと評価する。	感染が拡 イブ配信

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ C. 終 了

3,600

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 社会教育係 153007 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 社会教育課 係名 事 業 青少年健全育成事業 細事業 中学校国際交流事業 実施計画事業 中学校国際交流事業 なし 総合計画体系図No.→( 344 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市総合教育計画 別計 策 2 生涯学習の推進 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 款 施 国際交流補助金 10 1,800 項 5 施策展開 ①生涯学習を推進する 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 86 P 過疎計画 総合戦略 決算 154 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 市内の中学2・3年生を海外に派遣し、現地での ホームステイによる文化交流を通して、異文化 への興味・関心を高めるとともに、国際感覚の 豊かな人材を育成する予定であったが、新型コ ロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 **<事業の目的>** 市内の中学2年生~3年生を海外(韓国/プサン R 3 計画 1,800 IIIハの中子2+年で3・1年を60時(韓国) リンで 広城市機長郡長安中学校) へ派遣し、現地で のホームステイによる文化交流を通して、異 の表して、国際 感覚の豊かな人材を育成することを目的とする。 R3 当初予算 1,800 1,800 決 算 額 R 4 計画 1,800 1,800 R4 当初予算 1,800 1,800 決 算 額 R 5 計画 1,800 1,800 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 市内中学2年生〜3年生20名(最低15名)によ る訪韓ホームステイ及び韓国・長安中学校パ ートナーによる来日ホームステイ R6計画 1,800 1,800 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,800 1,800 R7 当初予算

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		訪韓ホームステイ派遣回数	総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
С	1 派遣回数	※令和3年実績値0はコロナ禍で中止した	□ 個別計画		II.	実績値					
活		ため			%	達成率					
動指		来日ホームステイ受入回数	総合戦略		口	目標値	1	1	1	1	1
標	2 受入回数	※令和3年実績値0はコロナ禍で中止した	□ 個別計画		Ш	実績値					
		ため			%	達成率					
		訪韓ホームステイ参加人数(引率除く)	総合計画		I	目標値	20	20	20	20	20
D	1 訪韓人数	※令和3年実績値0はコロナ禍で中止した	□ 総合戦略		人	実績値					
成		ため	✔ 個別計画		%	達成率					
果指		本日ホートステイ参加 J 粉 (引	□ 総合計画			目標値	20	20	20	20	20
標	2 来日人数	来日ホームステイ参加人数(引率除く) ※令和3年実績値0はコロナ禍で中止した	□ 総合戦略		人	実績値	·	·			·
		ため	✔ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

9,000

3,600

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可) Ε

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの視点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \red{0.05cm}  &                                  $	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	19 点	4 点	19点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	4 点	∕25点	4 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

市内の中学2年生~3年生を海外(韓国/ブサン広域市機長郡長安中学校)へ派遣し、現地でのホームステイによる文化交流を通して、異文化への興味や関心を高めるとともに、国際感覚の豊かな人材を育成することを目的とする。については、コロナ禍により実施できなかった。※令和2年度~3年度

令和2年度、3年度は、交流先の韓国プサン広域市機長郡長安中学校と協議した 結果コロナ禍により実施できなかった。

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

200

80

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 (令和 3 年度決算) 事 課局名 社会教育係 153008 1 務 業 価 社会教育課 係名 事 業 青少年健全育成事業 細事業 青少年健全育成大会事業 実施計画事業 青少年健全育成大会事業 なし 総合計画体系図No.→( 343 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市総合教育計画 別計 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 款 策 記念品代 79 10 2 生涯学習の推進 年度 項 施策展開 ①生涯学習を推進する 5 画 協力者謝礼金 70 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 86 P 過疎計画 総合戦略 30 決算 154 青少年育成市民会議委員謝礼金 22 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 豊後大野市の児童・生徒の健やかな成長を願い l1月6日(土)、エイトピアで約286名の参加により、「豊後大野 市次代を担う『豊後大野っ子』を育てる市民のつどい」を開催し R 3 計画 258 58 、学校・家庭・地域が連携して、活力と実行 力のある青少年健全育成活動へと発展させる ことを目的とする。 た。 「第24回ことばの森フェスタ」の作品発表、表彰。 講演「笑って前向きに! ~ 素敵な大人の青中を見せましょう ~」講師 (オフィス星野トーオン高知校) 中山 まさとも氏による講演を実施した。 58 R3 当初予算 258 200 決 算 額 280 200 80 R 4 計画 58 258 200 R4 当初予算 258 200 58 決 算 額 R 5 計画 258 200 58 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 おおいた教育の日(11月1日)関連行事として 「豊後大野市次代を担う豊後大野っ子を育 てる市民のつどい」を開催する。(主催:豊 後大野市青少年健全育成市民会議) R6計画 258 200 58 R6 当初予算 決 算 額 令和3年度の予定 日時 令和3年11月6日(土)12:45~ 場所 エイトピアおおの 大ホール 内容 開会行事 ことばの森フェスタ 青少年の活動発表 譲渡会 R 7計画 58 258 200 R7 当初予算 決 算 額 講演会 計画額 1, 290 1,000 290 当初予算 116 R3 ~ R7 合 計 516 400

評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		□ 総合戦略		ы	目標値	1	1	1	1	1
開催回数	「次代を担う豊後大野っ子を育てる市民」のつどい」の開催回数	☑ 個別計画	. 1	ш	実績値	1				
				%	達成率	100.0				
		│ │ │ 総合戦略			目標値					
-		□ 個別計画			実績値					
				%	達成率					
	参加人数(内訳:市PTA連合会120、三重総合高校PTA 20、教育委員4、社会教育委員13、民生主任児	□ 総合計画		Į.	目標値	268	268	268	268	268
参加人数	童委員15、厚生文教常任委員議員8、退職校長会20 、校長会18、豊後大野市教育協会5、青少年健全育	□ 総合戦略	254	八	実績値	286				
	成委員15、青少年健全育成会議支部30 計268人)	□ 個別計画	i	%	達成率	106.7				
		□ 総合計画			目標値					
-		□ 総合戦略			実績値					
		□ 個別計画		%	達成率					
7	- 参加人数	参加人数 (内訳: 市PTA連合会120, 三重総合高校P 11 20, 教育委員4, 社会教育委員13、民生主任児童委員15、厚生文教常任委員議員8、退職校長会20、校長会18、豊後大野市教育協会5、青少年健全育成委員15、青少年健全育成会議支部30 計268人)	インス	### のつどい」の開催回数	「次代を担う豊後大野っ子を育てる市民 のつどい」の開催回数	「次代を担う豊後大野っ子を育てる市民のつどい」の開催回数	「次代を担う豊後大野っ子を育てる市民	「次代を担う豊後大野っ子を育てる市民	「次代を担う豊後大野っ子を育てる市民	「次代を担う豊後大野っ子を育てる市民

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	25 点	5 点	<sup>25</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	5 点	/25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 豊後大野市の児童・生徒の健やかな成長を願い、学校・家庭・地域が連携して、活力と実行力のある青少年健全育成活動へと発展させることを目的とする。については、実績から見て達成できた。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 青少年健全育成市民会議と連携した子どもたちの安心・安全な見守り及び「次代を担う豊後大野っ子を育てる市民のつどい」を開催し、家庭協育力の向上を図ることができた。

令和5年度の事業の方向性

決 算 額

280

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 社会教育係 152001 2 (令和 3 年度決算) 事 務 価 社会教育課 係名 事 業 細事業 社会教育総務事業 実施計画事業 PTA連合会補助事業 社会教育総務事業 なし 総合計画体系図No.→( 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市総合教育計画 別計 款 策 期間 PTA連合会補助金 543 10 2 生涯学習の推進 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 年度 項 5 施策展開 ①生涯学習を推進する 名 年度 ~ B 後期基本計画 86 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 決算 155 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 **<事業の目的>** 市PTA連合会が行う、 整枚大野市社会教育等団体活動補助金 化代生: 市P TA 連合会、交付金額、543,000円(参考)市PTA連合会 3年度行事予定: 市戸定期総会 . 市防煙・薬物防止教室・駅津連理率会 (6回) ・市中投資会(6回) ・市内保 三重総合高校との意見交換会・差別をなくす市民のごじい、駅户・九坪 日野研光会・市、市前教を上の要望に係る意見交換会、親等ペタンカナ と、PTA情報者研修会・「おおいた教育の日」推進大会・駅中教育問題態 後全・養後大野・ガージとい、その他 R 3 計画 543 543 R3 当初予算 543 543 決 算 額 543 543 R 4計画 543 543 R4 当初予算 543 543 決 算 額 R 5 計画 543 543 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 豊後大野市社会教育等団体活動補助金交付先:市PTA連合会交付金額:543,000円(参考)市PTA連合会R3年度行事予定・市P定期総会・市防煙・薬物防止教室・県P連理事会(6回)・市P常任委員会(3回)・市内内会長研修会・三頭総合高校との意見交換会・差別をなくす市民のつどい・県P・ルP・日ア研究大会・市・市教委との要望に係る意見交換会・市・市教委との要望に係る意見交換会・親善ペタンク大会・PTA指導者研修会・「おおいた教育の日」推進大会・県P教育問題懇談会・豊後大野っ子つどいその他 豊後大野市社会教育等団体活動補助金 R6計画 543 543 当初予算 R6 決 算 額 R 7計画 543 543 R7 当初予算

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		千	目標値	543	543	543	543	543
С	1 市PTA連合会への補助	補助金額	□ 個別計画	543	田	実績値	543				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		口	目標値	20	25	25	25	25
D	1 主催イベント回数	PTA連合会が行うイベントの回数(諸会議・研修会・その他)	□ 総合戦略	25	ī	実績値	17				
成		IN THE A COLLY	□ 個別計画		%	達成率	85. 0				
成 果 指			□ 総合計画		1	目標値	100	111	111	111	111
標	2 参加イベント回数	PTA連合会が参加するイベントの回数( 市P連合主催イベントは除く)	□ 総合戦略	111	□	実績値	91	·			
			□ 個別計画		%	達成率	91. 0				
Е	評価対象外の理由 0 評価対	    象						(対	対象外事業は	t <b>F~ I 欄</b> 未	記入 可)

R3 ~ R7 合 計

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

2,715

1,086

543

2,715

1,086

543

-次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点 3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 5点 なっている なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 5点 5点 評 優先度低い 優先度高い 2 4 5 事業計画どおりに事業を進めることができたか 5点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 24 点 5点 24 点 推移していない ⇒ 推移した <del>→</del> 3 → 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか /25点 /25点 推移した

G	【担当係長の意見・	課題・改善策等】	※今後の事業の進め方等

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

市PTA連合会が行う、児童・生徒の健全育成と福祉の推進、生涯学習実現のための研修 及び実践活動、もって家庭教育力を高め、学校教育や地域・関係機関等の連携融合を図る 団体活動の助成のため、補助金を交付する。については、実績から見て達成できた。

社会教育関係団体として、家庭教育をはじめさまざまな学びの場を創出し、青少 年の健全育成を図っている。補助金も適正に交付している。

### 令和5年度の事業の方向性

	事業番号	枝番											_		集)書[ 	_	_	_	里)		I	LI A			T		LI A	(様式1)
	152001	3		( 令和	Д 3	年!	艾汐	<b>.</b> J	L )	事	矜	手		業	評	価	Ā	周	書	課局名		社会	教育記	果	係名	í	社会	教育係
事	業業	社会教育	総務	事業					細事第	*	土会教	教育総務	務事業					実	施計画	事業 女性	団体等	<b>等活動</b>	<b>力費補</b> 場	助事業	É		終了 年度	
会計		+画体系図 政	No.→ 策			、レ学	・ご音	- Wr 7	を育むこ	± +_						Г		<i>m</i> 1	mr -l-44	N A ## -===1		7.	<b>△</b> ∓π 2	) Æ F	度 主な崩	量山夕	私	当初予算額
款	10	施		2 生》				.19/\ 1	t HU.	ょり						個另	H			総合教育計 <sup>年度</sup> ~ R		- 1 ⊢			動費補助		ተທ	300
項	5	施策展	-	2 王(i ①生涯				5						_		計画	+	ie)	K3	K	1 -		X ILLEI F	T- 47 III	20134 1111-0	7 315		300
	1	-		十画					疎計画	Г	] #	総合戦略	ş	1	コロナ充当	2		間		年度 ~	年	度						
決算														_		_						<b>-</b>    -						
		4 事業目	的・	内容	・実績	t		年										B	事業計	↑画額・決		<b>F</b> –			財源内	訳	(	単位:千円)
		事業の	目的。	と内容				<b>世</b>					活動実							事業費	計	支県国	出金	地	方債	-	の他	一般財源
大	<b>事業の目的</b> 女性団体	<b>内&gt;</b> ぶが、家庭	生生活	たらで	びに掛	域社	슺		"豊後力 交付先	、野市社会 :市地域	会教育	等団体活動 日体連合会,	補助金 交付金額	Ä: 14	47,000円(参考	) 地	域	R	3計画	i :	300							300
の角	展のため	に行う、	学習	活動	や実践	活動	を	R3	K3平度	17争7年	• 走界	が 一	事芸 (作	ц) •	県婦連行事参	II (3)	回	当	初予算	: ;	300							300
293)4)	() D/C%	\(\=\III\2\)	22,	.11 )	ω <sub>0</sub>				<ul><li>九州</li><li>各種</li><li>ごみ</li></ul>	地区地域 研修参加 空き缶拾	婦人大 1・交通 い・そ	マ会(全国大 重安全運動 この他	(4回)					決	算 額	į :	147							147
																		R	4計画	ī ;	300							300
								R4									- 1	当	初予算		300							300
																		決	算額	į								
																	- 1	R	5計画	i :	300							300
								R5									- 1	当	初予算									
	<b>令和3年</b> 大野市社																_	┢	算額	-								
交付	大野 市位   先 : 市地   金額 : 20	域婦人因	]体連		用的)亚												- 1	-	6計画		300							300
	考) 地域	婦人団体	連終	協議会	슾			R6									- 1		初予算									
	期総会	:度行事う	7.正														_	-	算額	+								
• 県	事会(7回 婦連行事	参加(3	回)		A > 4			R7									- 1	-	7計画	`	300							300
· 名	州地区地 種研修参	:加		全国大	(会) 参	沏		K/									- 1		初予算 算 額									
• 5	通安全運 み空き缶		)														$\dashv$	H	声 額	- 1	-00							1, 500
• そ	の他										₽3	~ R	7	. 1	<del> </del>		- 1	-	初予算	-, -	500							600
												1	, п	•	11		- 1	H	算額	-	147							147
														_					J. 113	1 .								111
		評価指	標名		Т		指標	[値(	の説明	(算出	方法	等)		- 名	計画指標	R	2実	績値	単位	達成度	F	13	R4	4	R5		R6	R7
		- 10			$\dashv$										1 60 6 90	Ť			Ŧ	目標値		150		300		00	30	1
С	1 女性団	個体への神	甫助			補助金	沒額											129	白	実績値		147						
活															川田が話し	4			%	達成率		98.0						
動指															総合戦	各				目標値								
標	2 —														個別計i	画				実績値						_		
					+								<u> </u>	_	総合計	ļ ŧī			%	達成率 目標値		1		11		11	1	1 11
D	1 主催ィ	<b>イベント</b> [	可数			女性目	体が	行	うイベ	ントの	)回数	汝			) 総合戦 総合戦			6	回	実績値		3		11		11	1	11

	17 本1日 (四) 11	161家位の配列(井田ガムサ)	とこれに	八乙大根區	1	迁队及	NO	ПТ	INO	Ito	I(/
			総合戦略		千	目標値	150	300	300	300	300
C	1 女性団体への補助	補助金額	□ 個別計画	129	円	実績値	147				
汪					%	達成率	98.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 =		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画			目標値	4	11	11	11	11
D	1 主催イベント回数	女性団体が行うイベントの回数 (諸会議・研修会・その他)	□ 総合戦略	6	口	実績値	3				
成		(HAM VIDA CVIE)	□ 個別計画		%	達成率	75. 0				
成 果 指			□ 総合計画			目標値	8	14	14	14	14
標	2 参加イベント回数	女性団体が参加するイベントの回数 (主催イベントを除く)	□ 総合戦略	19	口	実績値	8				
		(	□ 個別計画		%	達成率	100.0				

一次評価 (係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点 評価点合計 評価点 評価点合計 → 4 → 5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 5点 F なっている → 4 → 5 なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度) 5点 5点 評 優先度低い 優先度高い → 4 → 5 → 2 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 5点 24 点 24 点 推移していない ⇒ 推移した 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ /25点 4点

L	5. 成本指標の建成状況(十/18計画と 85 9 12 9 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	推移していない ⇒ 推移	多した	T AM	/ 20/iii	тж	, 20%
F			-				
	G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の	の所見】	※評価・改	善策等を踏ま	えた課長職等	₹の所見
	市内女性団体が、家庭生活ならびに地域社会の発展のために行う、学習活動や実践活動を助成するために補助金を交付する。については、実績から見て達成できた。	三重町、千歳町、犬飼町の 健全育成や子どもの見守 した。補助金の交付も適	りなど、	社会教育関係	る婦人団体連 係団体として		

令和5年度の事業の方向性

Ε

評価対象外の理由 0評価対象

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 社会教育係 154002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 社会教育課 係名 事 業 公民館管理運営事業 細事業 公民館運営事業 実施計画事業 公民館運営事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市総合教育計画 別計 公民館運営審議会委員報酬 款 策 2 生涯学習の推進 期間 180 10 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 項 ②公民館機能を充実する 5 施策展開 費用弁僧 140 名 目 2 コロナ充当 期間 年度 ~ 大分県公民館連合会負担金 後期基本計画 86 P 過疎計画 総合戦略 90 決算 156 消耗品費 20 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 公民館を市民の生涯学習拠点として、また利 用しやすい貸館としての運用に努めることを 目的とする。 ・公民館における各種事業の企画実施について調査 審議するため公民館運営審議会委員を13名配置した R 3 計画 474 474 ・ 市内外の社会教育施設や関係機関、関係団体と連携を取りながら、様々な課題に対応した学習内容の充実を図った。 R3 当初予算 474 474 決 算 額 101 101 R 4 計画 474 474 R4 当初予算 474 474 決 算 額 R 5 計画 474 474 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・公民館における各種事業の企画実施につい て調査審議するため公民館運営審議会委員を1 R6計画 474 474 に同盟者成が、るためな民間建設者を設定を ・市内外の社会教育施設や関係機関、関係団体と連携を取りながら、様々な課題に対応した学習内容の充実を図る。 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 474 474 R7 当初予算 決 算 額 計画額 2, 370 2,370 当初予算 R3 ~ R7 合 計 948 948 決 算 額 101 101

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		ı	目標値	13	13	13	13	13
С	1 公民館運営審議会委員数	公民館運営審議会委員の人数	□ 個別計画	13	人	実績値	13				
活					%	達成率	100.0				
動指			□ 総合戦略		口	目標値	2	2	2	2	2
標	2 公民館運営審議会 開催回数	公民館運営審議会の開催回数	□ 個別計画	3	ī	実績値	2				
	15.14 (Date - 554				%	達成率	100.0				
		公民館関係職員(公民館運営審議会委員	総合計画		口	目標値	3	8	8	8	8
D	1 公民館関係職員 研修参加回数	・指定管理者職員・担当職員等)の研修	□ 総合戦略	6	ш	実績値	2				
成		参加回数	□ 個別計画		%	達成率	66. 7				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					`
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)	
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点		
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点		
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restance & \rightarrow & rest. \end{array}$	4 点		4 点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	23 点	5 点	23 点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	4 点	/25点	4 点	∕25点	

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 公民館を市民の生涯学習拠点として、また利用しやすい貸館としての運用に努めることを 目的とする。については、実績から見て達成できた。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

コロナ禍により九州ブロック・大分県公民館研究大会への参加ができず、学ぶ機会を確保できなかった。 公民館運営審議会を年2回開催し、公民館の運営計画等について意見を聞いた。

令和5年度の事業の方向性

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 社会教育係 154003 1 (令和 3 年度決算) 事 務 業 価 社会教育課 係名 事 業 公民館管理運営事業 細事業 自治公民館整備支援事業 実施計画事業 自治公民館整備支援事業 なし 総合計画体系図No.→( 349 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市総合教育計画 別計 策 2 生涯学習の推進 款 施 期間 自治公民館建設・改修補助金 10 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 6,000 項 施策展開 ②公民館機能を充実する 5 画 名 2 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 後期基本計画 86 P 過疎計画 総合戦略 決算 156 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 自治公民館を地域住民が集い、学ぶ拠点として活用するとともに、そこでの生涯学習活動を促進するため、自治公民館の新築や改修などの環境整備に対して補助を行う。 各自治公民館の新築・改修にかかる補 【改修】 6件 ・緒方町上滞迫区 緒方町野仲区 ・大野町沢田区 緒方町草深野区 ・三重町中小坂区 三重町前内田区 ・改修にかかる補助(補助率:20%) 6,000 R 3 計画 6,000 6,000 R3 当初予算 6,000 \_\_\_\_ 【新築】 1件 ・緒方町<u>上</u>自在区 決 算 額 3,635 3,635 R 4 計画 3,000 3,000 R4 当初予算 3,000 3,000 決 算 額 R 5 計画 3,000 3,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 各自治公民館の新築・改修経費に対し補助を R6計画 3,000 3,000 行う。 ※R3年度は新築1件あり(緒方町上自在300万 円補助予定) R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 3,000 3,000 R7 当初予算 決 算 額 計画額 18,000 18,000 当初予算 R3 ~ R7 合 計 9,000 9,000 決 算 額 3,635 3,635

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			□ 総合戦略		回	目標値	7	7	7	7	7
С	1 自治公民館整備支援事業周 知回数	自治公民館整備支援事業の周知回数(延 べ数)	個別計画	7	Ш	実績値	7				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
	2 _		│ ── │			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		%	目標値	100	100	100	100	100
D	1 補助金交付率	補助金交付申請数に対する補助金交付割合	□ 総合戦略	100	/0	実績値	100				
成		I	□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成果指			□ 総合計画		千	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
標	2 補助金交付金額	補助金交付金額	□ 総合戦略	1, 562	円	実績値	3, 635	·			
			□ 個別計画		%	達成率	121. 2				
				•		_					$\overline{}$

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)	
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	3 点		3 点		
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点		
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	4 点		4 点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	20 点	4 点	20 点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	4 点	/25点	4 点	∕25点	

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 自治公民館を地域住民が集い、学ぶ拠点として活用するとともに、そこでの生涯学習活動を促進するため、自治公民館の新築や改修などの環境整備に対して補助を行う。については、実績から見て達成できた。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 【担当課長職等の所見】

自治公民館は、地域住民の学びとコミュニティの拠点及防災の避難所等として活用されており、自治公民館の活動を支えるため改修工事等に対して補助金の交付を交付している。

令和5年度の事業の方向性

B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

389, 664

177, 168

(様式1) 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 (令和 3年度決算) 課局名 社会教育係 154005 1 務 価 社会教育課 係名 公民館管理運営事業 事 業 細事業 公民館等指定管理事業 実施計画事業 公民館等指定管理事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市総合教育計画 別計 款 施 策 期間 公民館等指定管理委託料 10 2 生涯学習の推進 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 年度 194, 885 項 5 施策展開 ②公民館機能を充実する 画 名 2 目 後期基本計画 86 P 過疎計画 総合戦略 コロナ充当 期間 年度 ~ 決算 156 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 -般財源 指定管理者「ここからプラス」に指定管理委託契約済( 基本協定33.1.13結結、期間R3~R7年度)委託内容 業務実施体制の整備・施設維持管理業務・社会教育事業 に関する業務・丸ポーツ振興事業に関する業務・施設連 党業務・公民館重営審議会、公民衛利用者、スポーツ団 体、地域団体、学校の代表者による連絡会・自主事業 <事業の目的> 指定管理者制度導入による市民サービスの向 R 3 計画 194, 885 194, 885 R3 当初予算 194, 885 194, 885 決 算 額 177, 168 177, 168 R 4計画 194, 779 194, 779 R4 当初予算 194, 779 194, 779 決 算 額 R 5計画 194,671 194,671 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 指定管理者「ここからプラス」に指定管理委託契約済(基本協定R3.1.13締結、期間R3~R7年度) R 6計画 194, 562 194, 562 R6 当初予算 委託内容 ・業務実施体制の整備 ・施設維持管理業務 ・社会教育事業に関する業務 ・スポーツ振興事業に関する業務 ・ た時間受業務 決 算 額 R 7計画 194, 452 194, 452

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		指定管理委託料	総合戦略		千	目標値	194, 885	194, 779	194, 671	194, 562	194, 452
С	1 指定管理委託料	(指定管理者募集要項 基準価格)	個別計画		円	実績値	177, 168				
活		※令和3年新規			%	達成率	90. 9				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 =		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
		主催学級・講座数 385講座/指定期間最 終年度(指定管理者募集要項	総合計画		個	目標値	305	325	345	365	385
D	1 主催学級・講座数	終年度(指定管理者募集要項  教育委員会が設定する数値目標)	□ 総合戦略	279	回	実績値	402				
成		MINNEY WELL	□ 個別計画		%	達成率	131.8				
果指		公民館利用者数 R元年度に対し、毎年度1%増 (参考)令和元年度実績数値(延べ数) ・青	□ 総合計画		,	目標値	93, 378	94, 312	95, 256	96, 209	97, 172
標	2 公民館利用状況	少年団体99団体/3,688人・女性団体30団体/1,44 0人・成人団体4,664団体/61,737人・高齢者団体	□ 総合戦略	65, 783	人	実績値	73, 171				
		38団体/7,002人・その他251団体/18,586人 計5,082団体/92,453人	□ 個別計画		%	達成率	78. 4				
Е	評価対象外の理由 0 評価対	· 计象						<del>(</del>	対象外事業は	t <b>F ~ Ⅰ 欄</b> 未	記入 可)

R3 ~ R7 合 計

当初予算

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

973, 349

389, 664

177, 168

-次評価(係長) 二次評価 (課長等) 評価項目/5つの視点(1~5点で評価) 評価点合計 評価点 評価点合計 評価点 → 2 3  $\rightarrow$  4  $\rightarrow$  5 1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか 5点 なっている なっていない 2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度) 4 点 4 点 評 優先度低い 優先度高い 2 4 5 3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか 5点 できなかった できた 価 4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 5点 23 点 5点 23 点 推移していない ⇒ 推移した <del>→</del> 3 → 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 4点 /25点 /25点 4点 推移した

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

・施設運営業務 ・公民館運営審議会、公民館利用者、スポーツ団体、地域団体、学校の代表者による連絡

会 ・自主事業

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

指定管理者制度導入による市民サービスの向上と、公民館施設の利用者増を目指すととも に、施設使用料、自主事業による収入増等と、指定管理者の努力による効果的・効率的で 柔軟な公民館運営を目的とする。については、実績から見て達成できた。

コロナ禍により学習成果を発表する機会が提供できなかったが、感染対策を講じ ながら公民館利用者が安心して生涯学習に取り組めるよう努めていた。市民のニ ーズを把握し、高齢者に対するスマートフォン活用講座等を開催するなど新規事 業に努められたい。

令和5年度の事業の方向性

2,664

773

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3 年度決算) 事 社会教育係 155001 1 務 価 社会教育課 係名 事 業 人権教育 · 部落差別解消推進事業 細事業 人権教育·部落差別解消推進講座事業 実施計画事業 人権教育・部落差別解消推進講座事業 なし 総合計画体系図No.→ ( 380 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市総合教育計画 策 6 人権尊重社会の実現 別計 款 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 消耗品費 480 10 項 施策展開 ①人権が尊重される地域社会を実現する 5 講師謝礼金 265 名 3 □ 過疎計画 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 総合戦略 231 決算 157 普通旅費 96 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 より深く人権意識を身につけてもらい若い世 代のリーダーの育成を図ることを目的に、公 民館利用団体等を対象に人権講座を開催し、 人権意識の高揚を図る。 各町公民館でPTAや一般公募の市民を対象 に同一受講者による人権連続講座(5回)を開 催した。 R 3 計画 1,363 1,363 1,363 R3 当初予算 1,363 決 算 額 773 773 R 4 計画 1, 363 1, 363 R4 当初予算 1,301 1,301 決 算 額 R 5 計画 1,363 1,363 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 各町公民館でPTAや一般公募の市民を対象 に同一受講者による人権連続講座(5回)を開 催する。 R6計画 1,363 1,363 R6 当初予算 決 算 額 R 7計画 1,363 1,363 R7 当初予算

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	45	90	90	90	90
С	1 人権講座 開催回数	人権講座(連続講座を含む) 開催回数(延べ回数)	☑ 個別計画	59	Ш	実績値	46				
活					%	達成率	102. 2				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		I	目標値	1,000	3,800	3,800	3, 800	3,800
D	1 人権講座 受講者数	人権講座(連続講座を含む) 受講者数(延べ人数)	□ 総合戦略	1,908	八	実績値	954				
成		ZII7 11 30 (Z. 7/30)	✔ 個別計画		%	達成率	95. 4				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値			·	·	·
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

6,815

2,664

773

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)	
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計	
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	5 点		5 点		
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点		
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	4 点		4 点		
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	24 点	5 点	<sup>24</sup> 点	
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点	

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

より深く人権意識を身につけてもらい若い世代のリーダーの育成を図ることを目的に、公 民館利用団体等を対象に人権講座を開催し、人権意識の高揚を図る。については、実績から見て達成できた。

コロナ禍ではあったが、部落差別の解消教育をはじめとするさまざまな人権問題の解決に関する学びを止めることはできないことから、連続講座の開催を実施することができた。しかし、県等が主催する講座の中止等により、学びのアップデートをする機会が失われた。

令和5年度の事業の方向性

なし

461

461

461

461

461

461

461

461

461

2, 305

922

461

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 社会教育課 社会教育係 155002 1 (令和 3 年度決算) 事 務 業 価 係名 事 業 人権教育 · 部落差別解消推進事業 細事業 人権を学ぶ子ども会事業 実施計画事業 人権を学ぶ子ども会事業 総合計画体系図No.→ ( 381 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市総合教育計画 策 6 人権尊重社会の実現 別計 人権を学ぶ子ども会運営委託料 款 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 10 項 施策展開 ①人権が尊重される地域社会を実現する 5 画 名 3 □ 過疎計画 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 総合戦略 決算 157 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> あらゆる差別の歴史と実態を学ぶことにより、差別を見抜き、差別を解消するための実践 力のある子どもを育成することを目的とする 三重東小学校、三重中学校、大野小学校、大野中学校で人権 を学ぶ子ども会を開設し、より深く人権を学ぶため放課後の 時間帯を利用した活動に取り組んだ。豊肥地区解放文化祭は 11月27日(1)緒方中学校を会場に2年ぶりの 開催となった 。上記の人権を学ぶ子ども会をはじめ、豊後大野市高校生人 権学習会、豊後大野市内中学校、竹田中学校による解放劇 の取組みや研究発表の実践報告を行った。 R 3 計画 461 R3 当初予算 461 決 算 額 461 R 4 計画 461 R4 当初予算 461 決 算 額 R 5 計画 461 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 ・市内の児童・生徒を対象に、三重東小学校、大野小学校、三重中学校、大野中学校で放会課後の時間を利用した「人権を学ぶ子ども会許し、「差別に負けない」「差別を許さない」「人の気持ちが分かる」子どもたちの音の表の表 R6計画 461 R6 当初予算

R3 ~ R7 合 計

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		寸	目標値	4	4	4	4	4
С	1 団体数	「人権を学ぶ子ども会」開設数	☑ 個別計画	4	体	実績値	4				
活					%	達成率	100.0				
動指標			総合戦略			目標値					
標	2 =		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		,	目標値	30	45	45	45	45
D	1 参加者数	「人権を学ぶ子ども会」参加者数	□ 総合戦略	45	八	実績値	31				
成			✓ 個別計画		%	達成率	103. 3				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

決 算 額

R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

461

2, 305

922

461

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i (係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	25 点	5 点	<sup>25</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	5 点	/25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 【担当課長職等の所見】 市人権・部落差別解消教育研究協議会に委託し子どもたちの差別を見抜き差別を 許さないという学びができた。さらに豊肥地区解放文化祭に参加しあらゆる差別 に対する深い学びの中で一体感と達成感を経験することができた。 あらゆる差別の歴史と実態を学ぶことにより、差別を見抜き、差別を解消するための実践 力のある子どもを育成することを目的とする。については、実績から見て達成できた。

令和5年度の事業の方向性

R7

の育成を図る。

155002 2 <b>(令和 3</b> 事 業 人権教育・部落差別解消 総合計画体系図№ (381) 会計 一般 政 策 V 豊かな 款 10 施 策 6 人権尊重	心と学ぶ意味 重社会の実現 算重される地 アープ で	<ul><li>(算)</li><li>細事業</li><li>(欲を育む)</li><li>記し域社会を</li><li>過疎計画</li><li>年度</li><li>市内校</li></ul>	人権を学ぶ子ど	<b>業 評</b> も会事業 □ コロナ充当	個別計画名	調 豊後間 間	<b>書</b> 実施計画3 大野市総 R3 <sup>年</sup>	課局名  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本」  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本  「本本	作学 年度 年度	令和 3			終了年度	
事業 人権教育・部落差別解消 総合計画体系図Nω→ (381) 政策 (豊かな 款 10 施策展開 ①人権が尊 損 5 施策展開 ①人権が尊 後期基本計画 94 決算 157 本業目的・内容・実 事業の目的と内容 「事業の目的と内容 「事業の目的と内容 「事業の目的と内容 「事業の目的と内容 「事業の目的と内容 「事業の目的と内容 「事業の目的と内容 「事業の目的と内容 「事業の目的と内容 「事業の目的と内容 「事業の目的」であるとともを対象に、「高礎とかなりの高校生を対象に、の基準に、の基準に、の基準に、の基準に、の基準に、の表で、の表で、の表で、の表で、の表で、の表で、の表で、の表で、の表で、の表で	が が が が を が を を を を を を を を を を を を を	細事業 欲を育む。 見 地域社会を 画 市高校	集 人権を学ぶ子ど まち 実現する	も会事業	個別計画名	豊後期間期間	<b>大野市総</b> R3 年	高校生 <i>)</i> 合教育計画 度 ~ R7	作学 年度 年度	習会事業	年度 主な	歳出名	終了年度	当初予算額
総合計画体系図Nc→ (381) 会計 一般 取 策 V 豊かな 款 10 項 5 目 3 決算 157	心と学ぶ意味 重社会の実現 算重される地 アープ で	欲を育む。 見 地域社会を 過疎計画 年度 市内校	まち 実現する 総合戦略	□ コロナ充当	別計画	豊後 期間 期間	大野市総 R3 <sup>年</sup>	合教育計画 度 ~ R7	年度	令和 3	年度 主な		年度	当初予算額
会計 一般	重社会の実現 算重される地 P	記 地域社会を 過 <b>疎計画</b> 年度 市内存	実現する     総合戦略     主な活動		別計画	期間期間	R3 #	re ~ R7	年度					
款 10 施 策 6 人権尊重	重社会の実現 算重される地 P	記 地域社会を 過 <b>疎計画</b> 年度 市内存	実現する     総合戦略     主な活動		別計画	期間期間	R3 #	re ~ R7	年度					
項 5 日 3 決算 157  A 事業目的・内容・実 事業の目的と内容  《事業の目的》・市内出身の高校生を対象に、「高・学習会」を開設し、人権を譲載の基地に、人権を尊重する意欲・態度・技能を実践的な行動につながる人権教育を  《令和3年度の取組内容(計画)》市内在住の高校生を対象とした「豊により、養別を見抜き・差別を解消。	享重される地 P	地域社会を 過疎計画 年度 市内高校	<ul><li>□ 総合戦略</li><li>主な活動</li></ul>		計 画	期間	年	·度 ~	年度	人権を学	生ぶ子ども会	運営委託	<b>E料</b>	38
日 3   後期基本計画 94   後期基本計画 94	P	<b>海疎計画 年度</b> 市内校	<ul><li>□ 総合戦略</li><li>主な活動</li></ul>		画									
決算 157 A 事業目的・内容・実 事業の目的と内容  「高神と別から、市内出身の高校生を対象に、「高神と別から、「高神とのでするとともに、人権を尊重する意欲・態度・技能をで実践的な行動につながる人権教育をは、大権を尊重する。  「本神とでは、一、大権を対象とした「豊に、大権を対象とした「豊に、大権を対象とした「豊に、大権を対象とした。」  「本神・大神・大神・大神・大神・大神・大神・大神・大神・大神・大神・大神・大神・大神	で生人権を培育他の 育成し、	年度 市内高校	主な活動											
▲ 事業目的・内容・実 事業の目的と内容  <事業の目的と内容  ・市内出身の高校生を対象に、「高 学習会」を開設し、人権意識の基礎、 豊かな人間酸しを放っるととも能を、 豊かな人間を覚を育成・態度・技能を 実践的な行動につながる人権教育を <令和3年度の取組内容(計画)> 市内在住の高校生を対象とした「豊 高校生人権学習会」を開設し部態を とするあらゆる差別の歴史と実態を とするあらゆる差別の歴史と実態を により、差別を解答	交生人権 を培い、 自他の 育成し、	市内高校		実績		] F	B 事業計	画額・決算額	等					
事業の目的と内容  ・市内出身の高校生を対象に、「高神と内容」 ・市内出身の高校生を対象に、「高神と力を開設し、人権意識の基準に、人権を導重する意欲・態度・技能を実践的な行動につながる人権教育を「生物などのであるを対象とした「豊富校生人権学習会」を開設し部落態とするあらゆる差別の歴史と実態をとき、変別を解消	交生人権 を培い、 自他の 育成し、	市内高校		実績		ֹדו ר	J TAN		<u> </u>					
〈事業の目的〉 ・市内出身の高校生を対象に、「高学習会」を開設し、人権意識の基礎 豊かな人間感覚を育成するとともに、人権を尊重する意欲・態度・技能を 実践的な行動につながる人権教育を 「一大を尊重がある」を開設し、「一、「一、「一、」 「一、「一、」「一、「一、」「一、「一、」「一、「一、」「一、「一、」」「一、「一、」」「一、「一、「一、」」「一、「一、「一、」」「一、「一、」」「一、「一、」」「一、「一、「一、」」「一、「一、」」「一、「一、」」「一、「一、」」「一、「一、」」「一、「一、」」「一、」」「一、「一、」」「一、」」「一、」」「一、」」「一、」」「一、」「一、	交生人権 を培い、 自他の 育成し、	市内高校		大棋				古米弗扎			財源	内訳	(.	単位:千円
・市内出身の高校生を対象に、「高学習会」を開設し、人権意識の基準のなり間感覚を育成するとともに、人権を尊重する意欲・態度・技能を実践的な行動につながる人権教育を「会して、「会して、「会して、「会して、「会して、」を開設して、「会して、「会して、」を開設して、また、会して、「会して、」を開設して、また、会して、「会して、」を開います。	を培い、 , 自他の 育成し、	高校	在住の高校生を対象			<u>l</u> L		事業費計	国県	:支出金	地方債	その	の他	一般財源
学習会」を開設し、人権意識の基礎、豊かな人間感覚を育成するとともを、 豊かな人間感覚を育成するとともを、 大権を専重する意欲・態度・技能を、 実践的な行動につながる人権教育を「 <b>〈令和3年度の取組内容(計画)〉</b> 市内在住の高校生を対象とした「豊高校生人権学習会」を開設し部落を とするあらゆる差別の歴史と実態を とするあらゆる差別を解消 により、差別を見抜き・差別を解消	を培い、 , 自他の 育成し、		生人権学習会」を開	とした「豊後ナ 設し部落差別す	で野市 が始め	F	R 3計画	384						38
実践的な行動につながる人権教育を   < 令和3年度の取組内容(計画) > 市内在住の高校生を対象とした「豊高校生人権学習会」を開設し部落差別とするあらゆる差別の歴史と実施を2 により、差別を見抜き・差別を解答	育成し、		るあらゆる差別の歴り、差別を見抜き・	史と実態を学る	ぶこと	ì	当初予算	384						38
< 令和3年度の取組内容(計画) > 市内在住の高校生を対象とした「豊信 高校生人権学習会」を開設し部落差とするあらゆる差別の歴史と実態をよる。		の実	り、産所を免扱さ 践力のある生徒の育月	左別を解作りる 成を図った。	) (= \(\alpha\)	à	決 算 額	107						10
市内在住の高校生を対象とした「豊行高校生人権学習会」を開設し部落差別とするあらゆる差別の歴史と実態を含により、差別を見抜き・差別を解消。	এও.					F	R 4計画	384						38
市内在住の高校生を対象とした「豊行高校生人権学習会」を開設し部落差別とするあらゆる差別の歴史と実態を含により、差別を見抜き・差別を解消。		R4				ì	当初予算	384						38
市内在住の高校生を対象とした「豊行高校生人権学習会」を開設し部落差別とするあらゆる差別の歴史と実態を含により、差別を見抜き・差別を解消。						à	決 算 額							
市内在住の高校生を対象とした「豊行高校生人権学習会」を開設し部落差別とするあらゆる差別の歴史と実態を含により、差別を見抜き・差別を解消。	<u> </u>					ī	R 5 計画	384						38
市内在住の高校生を対象とした「豊行高校生人権学習会」を開設し部落差別とするあらゆる差別の歴史と実態を含により、差別を見抜き・差別を解消。		R5				1	当初予算							
高校生人権学習会」を開設し部落差別とするあらゆる差別の歴史と実態を により、差別を見抜き・差別を解消						ž	決 算 額							
とするあらゆる差別の歴史と実態を学により、差別を見抜き・差別を解消で						1   1	R 6計画	384						38
により、差別を見抜き・差別を解消での実践力のある生徒の育成を目指す。	学ぶこと	R6				ì	当初予算							
	するため					ž	決 算 額							
	-					┨┝	R 7 計画	384						38
		R7				}	当初予算							
						I۱	決 算 額							
	┢					┨┝	計画額	1, 920				1		1, 92
			R3 ~ R7	合 計		ΙĿ	当初予算	768				+		76
			10	н н		ΙĿ	決算額	107						10
							<u> </u>							
評価指標名	指標	値の説明	(算出方法等)	各計画指標	R 2	実績	値 単位	達成度	R3	R4	R:	5	R6	R7
				総合戦	略		団	目標値		1	1	1	1	

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		寸	目標値	1	1	1	1	1
С	1 団体数	「高校生人権学習会」開設数	□ 個別計画	1	体	実績値	1				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		Į.	目標値	10	10	10	10	10
D	1 参加者数	高校生人権学習会 参加者数	□ 総合戦略	7	人	実績値	9				
成			✔ 個別計画		%	達成率	90.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率		·			

E 評価対象外の理由 O 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	「(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目ともつの代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_{0} \rightarrow \\ x_$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	21 点	5 点	21 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点	∕25点	3 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

市内出身の高校生を対象に、「高校生人権学習会」を開設し、人権意識の基礎を培い、豊かな人間感覚を育成するとともに、自他の人権を尊重する意欲・態度・技能を育成し、実践的な行動につながる人権教育を図る。については、実績から見て達成できた。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
156001	1

3	事業番号	枝番	(令	和 3	年度	目	画	) #	8合	計画	実が	包計i	画書	・(兼	進技	步管	9理	)									(様式1)
	156001	1	(令	和 3	年度	₹ 決	算	) 4	ļ.	務	事	業	ŧ 1	評 化	西	誹	問	書	課局	<b>高名</b>	社会	教育記	課	係:	名	文化	<b>公財係</b>
事	業 業	資料館運	営事業				i	細事業	資料	料館運営	営事刻	業				Ī	実施	計画	事業	資料館道	軍営事美	¥		•	-	終了年度	
	総合言	十画体系区	No.→ ( 37	1 )			1		ı																		
会計	一般	政	策V豊	豊かなん	心と学。	ぶ意	欲を	育むま	ち						個	計画	珂			総合教	育	令和 3	年度	主主な	歳出名	称	当初予算額
款	10	施	<b>策</b> 5 文	化財等	学の保存	戸・刹	迷承								別計	期間	R	3 :	年度 ~	R 7	年度	光熱水質	費				3, 411
項	5	施策風	見開 ①資	料館の	展示・	収慮	護・食	自外活動	かた:	実と文作	化財	保護の	り推進		画							文化財和	多送委	託料			2, 807
目	4	後期	基本計画	92	P [		過疎	計画	~	総合単	战略		JD:	ナ充当	名	期間	1		年度 ~		年度	清掃委請	托料				1,870
決算	158	A 事業E	的・内容	・実績													в	<b>事業計</b>	十画額	・決算額		廃棄処分	分等委	託料			1,000
			目的と内容				年			±	か汗	動実統	害			7	$\leq$			業費計				財源区	勺訳	(	単位:千円)
	古米の口が			<u> </u>			度	EE 11-	) = af-a					のま)。	es ilea	4			<del></del>	木貝미	国県	支出金	地	方債	そ	の他	一般財源
資料		施設と1	て、各公					集・公	開・詞	要な資料 調査や、	展表	示公開	を行	った。こ	また	Ш	R 3	計画	Ī	12, 981						2	12, 979
	に等へ又化 に化意識の		よる機会や 図る	情報を	と提供し	-	R3	ジオパ ふるさ		の拠点が 習の支払						Ш	当初	予算	[	12, 981						2	12, 979
						-		点施設	として	ての学習	習なる	どを行	rった。	)		╢		算額	-	8, 169						37	8, 132
																Ш		計画	_	13,000						1	12, 999
							R4									Ш		予算		9, 195						2	9, 193
						ŀ										╢		算額	-								
																Н		計画	-	11,000	)					1	10, 999
							R5									Н		]予算	-								
			【 <b>内容(計画</b> 重営や、開		ミけろ属	e -										╢		算額	_								
示、	公開、整	理の準備					Б.									Н		計画		11,000	)					1	10, 999
、市	i民の学習	支援(5	見地ガイド	、団体	講座な	r 2	R6									Н		予算	_								
• /]	中学校教		W提供など けるジオパ	一ク当	全習の支	₹ -										╢		算額									
援等・大	:分県や各	市町村の	)関係機関	と連携	隻し、戸	F	D.7									Н		計画		11,000	)					1	10, 999
蔵品	の相互貸	借による	5学習活動	支援			R7									Н		]予算	_								
						┝										4 6		算額									
									_	•			-1			н		画 額	_	58, 981						6	58, 975
									R.	3 ~	R/	台	計			н		予算	-	22, 176						4	22, 172
																IJ	决!	算額	Į	8, 169						37	8, 132
		評価指	標名			指標	値の	説明(第	算出方	法等)		1	各計画	11 括標	R 2	実績	責値 🖺	単位	達成		R3	R		R5	_	R6	R7
	<ul><li>地域σ</li></ul>	)歴史文4	とに関する	唐	+c	nte et	* 1.f 1-1	. M		→ m == *	шич	<u>.</u> [	1	総合戦略	i			件	目標	<u>.</u>	4		4		4	4	1 4
C	報発信	1	□.= ∧, / a	- 113	巾氏講	坐夫	・他件	・数・企	囲展	示の開作	<b>佳</b> 件	数   [	<b>v</b> 1	固別計画	i		⊢	%	実績達成		75.0						1
活動												+			<u> </u>		+	70	達成 目標		75. (	,					+
指標	2 _													総合戦略				件	実績								
175													<b>v</b> 1	固別計画	1		H	%	達成			1					1
												1	v #	総合計画	i		1		目標		1,000	) 1	, 000	1,	000	1,000	1,000
D	1 資料館	自入館者	数		令和3	年7	月開	館以後	の入食	馆者数。			_ `	総合戦略				人	実績		12, 404			,		,	2,100
ct;														田別計画	1		F	%	達成		1. 240. 4	_					

活						%	達成率	75. 0				
動 指				合戦略		件	目標値					
標	2 —			別計画		14	実績値					
				加加四		%	達成率					
			レ総	合計画		ı	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
D	1 資料館入館者数	令和3年7月開館以後の入館者数。	□ 総	合戦略		八	実績値	12, 404				
成			□ 個.	別計画		%	達成率	1, 240. 4				
果指			✓ 総·	合計画		<b>佐</b>	目標値	103	103	103	100	100
標	2 講座・学校支援等実施件数	小中学校ふるさと学習支援や地域学習の 件数、(ジオパーク活動を含む)	□ 総·	合戦略	80	14	実績値	119				
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	□ 個:	別計画		%	達成率	115. 5				

評価対象外の理由 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グランの代点(1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
ТШ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	22 点	4 点	22点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等
活動指標の「講座・学校支援等実施件数」について、新しく開館した初年度ということもあり、資料館での見学学習活動が多く要請があったことが大きな要因となっている。コロナ感染助止のためやむをえず自粛期間もあったが、目標は達成することができている。2年目以降も学校からの要請が減少することが予想されるため、いかに維持していくかが課題と思われる。「市民講座実施件数・企画展示の開催作数」について、コレナ感染対策による「ガイド養成講座」の中断などもあり計画がごにくい状況があったため、目標までは達成できていなかった。コロナ対策も踏まえながら新たな事業実施に向けた工夫が必要である。
成果指標1の「資料館入館者数」について、新しく開館した初年度ということで当初予想を大きく越える入館者があり、目標を達成することができている。2年目以降もいかに入館者数の減少に歯止めをかけ、維持していくかが課題と思われる。

新型コロナウイルス蔓延防止対策のため、一部達成できなかった指標もあるが、 新資料館開館に伴う入館者の増加、小中学校の見学による入館者数の増加があり、資料館運営事業は大きな成果があったといえる。今後、入館者の減少は想定されることであるので、企画展示やPR活動などを行い、今までに収集した歴史資料・情報を市民に還元することが求められる。

## 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

なし

87,086

4, 527

2,676

1,437

30,000

30,000

153, 250

34, 687

35, 361

62,500

65,000

1,200

545

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 係名 157005 1 (令和 3 年度決算) 事 務 価 社会教育課 文化財係 事 業 細事業 指定文化財等調査保護事業 (単独) 実施計画事業 指定文化財等調査保護事業 (単独) 文化財保護事業 373 総合計画体系図No.→( 第4次豊後大野市総合教育計画 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 別計 款 施 策 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 旧緒方村役場庁舎改修工事請負費 10 5 文化財等の保存・継承 年度 項 5 施策展開 ①資料館の展示・収蔵・館外活動の充実と文化財保護の推進 画 工事監理委託料 名 目 4 ☑ 過疎計画 総合戦略 期間 年度 ~ 指定文化財管理委託料 決算 159 修繕料 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 事業費計 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 <事業の目的> 指定文化財を始め埋蔵文化財の調査保護を行 い、情報公開を進める中で、市民の保護意識 の高揚を図る 市内の指定文化財の維持管理や環境整備など の保護業務を行い、また補修に対する援助を R 3 計画 95, 750 33, 250 R3 当初予算 33, 250 95, 750 62, 500 決 算 額 36, 561 1,200 35, 361 R 4計画 30,000 30,000 R4 当初予算 3,937 2,500 決 算 額 R 5 計画 30,000 R5 当初予算

決 算 額

R6計画

当初予算 決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

30,000

30,000

215, 750

99, 687

36, 561

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦闘	4	件	目標値	2	2	2	2	2
С	1 文化財を国指定にするため の調査、指定件数	文化財の調査・記録保存や市民への調査 実績公開件数	 ✓ 個別計画	3	П	実績値	1				
活			E MESSIATE		%	達成率	50.0				
動指			│ 総合戦 <b>闘</b>	ş i	件	目標値			1	1	1
標	2 文化財保存活用地域計画の 策定	文化財保存活用地域計画の策定数				実績値					
	/K/C		1	%	達成率						
			✓ 総合計画	ī	件	目標値	505	505	502	502	502
D	1 文化財指定件数	指定・登録文化財の件数	□ 総合戦闘	505		実績値	505				
成			✔ 個別計画	Ī	%	達成率	100.0				
成果指標			□ 総合計画	i		目標値					
標	2 —		□ 総合戦略	i		実績値					
			□ 個別計画	i	%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	4 点		4 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	23 点	4 点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

<令和3年度の取組内容(計画)>

・指定文化財の保存復元の実施、及び保存修理の支援による維持管理を図る ・樹木伐採や除草などの環境整備や、看板や手摺等補修による文化財の利活用の促進

R6

R7

登録有形文化財緒方村役場庁舎の改修工事についてやむをえず一部令和4年度に繰越したが、事業の遂行はできている。活動指標1の文化財調査公開件数は、コロナ対策などで現地説明などの公開事業ができず目標の達成はできなかったが、それ以外の活動指標や成果指標は達成できているため、今後も継続して取組む。

登録有形文化財緒方村役場庁舎の改修工事については、令和4年度への繰越し事業となったが6月21日に引渡しが完了したので、目標は達成できた。活動指標1の文化財調を公開件数は、新型コロナ蔓延防止対策のため埋蔵文化財発掘調を現地説明を実施しなかった。これはやむを得ない措置である。それ以外の活動指標や成果指標は達成できており、文化財保護は自治体の責務であるので、今後も 継続して取組む。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和5年度の事業の方向性

11,065

2,620

162

事	業番号		枝番		(令和	3	年	度	計	画	)	総合	目信	事実施	計	画	• (	兼	焦扎	步管	理)									(様式1)
1	58001		1		(令和	3	年	度	決	算	)	事	務	事	ヺ	ŧ	評	個	6	訓	書	課局名		社会	教育訓	果	係名	ı	図書	館係
事	業	図書	許館管:	理運	営事業					糸	田事業	<u> </u>	書館館	官外事業	É						実施計画	事業 移動図	図書館	事業					終了 年度	なし
	総合	計画	体系図	No.→	( 351	)																I.						I		
会計	一般	Ī	汝	策	V 豊/	かなん	いと	学る	意名	次を	育むま	きち							111111	豊後	(大野市総	合教育計画	画	令	和 3	年度	主な歳	出名称	3	当初予算額
款	10	1	包	策	2 生涯	学習	の扌	隹進										╝	別 計	期間	R3 4	<sup>車度</sup> ~ R′	7 年	度修	繕料					95
項	5	1	拖策展	開	③図書	館利	用を	と推	進す	る								╝	画					手	数料					53
目	5		後期	基本	計画	86	Р		] :	過疎	計画		総合	戦略		][	コナ充当	当	名	期間	] 4	<b>≇度 ~</b>	年	度自	動車推	書保険	料			35
決算	160	Δ:	<b>玄</b> 士 E	i Ati -	・内容・	宝額															R 車量計	画額・決算	1 4 1 4 1	É	動車重	重量税				58
					と内容	A49	•			年				主な活	新中	섩				7	7 7 7 7 1	事業費言	T	<u> </u>		ļ	財源内	訳	(当	単位:千円)
										度										∐և		争未复高	<sup>T</sup> 3	県支	出金	地方	債	その他		一般財源
図書	<b>■業の目</b> 館の補	<b>的&gt;</b> 完的	機能と	: L-	て、移動 関係施認 或住民^	加図書	館	の運			新図語	彗館開 図書館	閉館のた 官車の道	こめ本食 重行は存 足進を行	自業系 木止し	务に』 した。	直点を	置き	`	Ш	R 3計画	2	53							253
行と等に	社会教 団体貸	育施 出を	設、着 行い、	有情 地地	関係施設 或住民〜	と、名 への話	種[	団体 支援	1	R3	団体(	ぎ出の	7利用の	足進を行 いできた	責い、 ÷	地址	成住民	に訪	書	Ш	当初予算	2	53							253
を行	う。								L		~ IX ·	- / a	,		-0					Ⅱ	決算額	10	62							162
									١											Ш	R 4計画	2, 70	03							2, 703
									١	R4										Ш	当初予算	2, 30	67							2, 367
									L											Ⅱ	決算額									
									۱											Ш	R 5計画	2, 7	03							2, 703
										R5										Ш	当初予算									
					(計画)				L											Цĺ	決 算 額									
移動年度	凶書館( から休)	の運 止。	行は、 令和4	建 程 1年月	替工事の 度より再	)ため 「開。	(分)	扣2	Ι											Ш	R 6計画	2, 7	03							2, 703
団体	貸出の位	足進							П	R6										П	当初予算									
																				П	沖 笛 頞									

R 7 計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

2,703

11,065

2,620

162

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		Y	目標値		2, 500	2, 500	2, 500	2, 500
С	1 移動図書館利用者延べ人数	移動図書館利用者の年間延べ人数(令和 4年度より再開)	□ 個別計画		人	実績値					
活		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			%	達成率					
動指		移動図書館の利用を希望する市内の幼稚	□ 総合戦略		カュ	目標値		14	14	14	14
標	2 移動図書館ステーション数	園、こども園、保育園をステーションと し定期的に巡回運行をする。(令和4年	□ 個別計画		所	実績値					
		度より再開)		%	%	達成率					
		市内の幼稚園、こども園、保育園をステーションにすることで、図書館に行けな	総合計画		冊	目標値		7, 500	7, 500	7, 500	7, 500
D	1 移動図書館の貸出冊数	ーションにすることで、図書館に行けな    い園児に対して読書の推進をする。(令	□ 総合戦略		1111	実績値					
成		和4年度より再開)	□ 個別計画		%	達成率					
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/5)の代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	3 点		3 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない ⇒ 推移した	5 点	19 点	5点	19点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	3 点	∕25点	3 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R7

移動図書館車の運行は、巡回先を市内の認定こども園、保育園、幼稚園の14か所とし令和 4年度より再開する。 団体貸出については、図書館が遠くて来ることが難しい方に対する読書支援のためすべて の公民館図書室に実施するようお願いしたが4館のみの実施となった。

### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

新図書館開館後、館内の運営を充実させて、来館者も旧図書館に比べ、3 倍近くとなった。今後は、移動図書館車の運行を充実し、市内の認定こども園、保育園、幼稚園の14か所を巡回し、子どもたちが読書に親しむ環境を充実されたい。また、団体貸出は、図書館が遠くで来ることが難しい方に対する読書支援のために重要であると捉えている。すべての公民館図書室と連携ができるよう取り組まれたい。

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

なし

62,000

2,710

当初予算額

(単位:千円)

一般財源

32, 000

2,000

25,000

25,000

25,000

132,000

32,000

2,000

32,710

32,710

23, 300

27, 710

52,710

27,710

27,710

27,710

143, 550

85, 420

23, 300

図書館係

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 (令和 3 年度決算) 事 課局名 158002 1 務 価 社会教育課 係名 事 業 図書館管理運営事業 細事業 図書館館内事業 実施計画事業 図書購入事業 総合計画体系図No.→( 351 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 豊後大野市総合教育計画 別計 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 款 施 策 図書 10 2 生涯学習の推進 項 5 施策展開 ③図書館利用を推進する 画 消耗品費 名 コロナ充当 期間 年度 ~ 目 5 後期基本計画 86 P 過疎計画 総合戦略 決算 160 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 市民のニーズに応じた情報・資料の収集し提供することがで 歳書・整備及び地域資料の収集(図書 21, 218冊、CDブック (1点、DVD 328点) ・新聞 5紙、接註 136タイトル ・相互貨作(図書館間の図書貸出) ・レファレンス(調査・相談)件数 2, 829件 ・子約件数 1, 940件 <事業の目的> 新しい情報、資料の計画的な蔵書整備が行わ れ、市民の多様な資料要求に敏速に対応し、 常に新しい情報・資料を提供する。 R 3 計画 64,710 R3 当初予算 64,710 決 算 額 64, 706 39, 406 R 4計画 52, 710 R4 当初予算 52,710 決 算 額 R 5 計画 52,710 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 市民のニーズに応じた情報・資料の収集及び R6計画 52,710

R3 ~ R7 合 計

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各語	計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			П	総合戦略		冊	目標値	18,000	15,000	15, 000	15,000	15,000
С	1 図書購入冊数	購入する図書及び地域資料の冊数		個別計画	23, 368	11117	実績値	21, 218				
活				旧から凹		%	達成率	117. 9				
動指		   合和10年度を目標に新図書館の蔵書可能	Ιп	総合戦略		₩	目標値	86,000	88,000	90,000	95, 000	100,000
標	2 蔵書冊数	令和10年度を目標に新図書館の蔵書可能 冊数167,000冊に到達するよう計画的に		個別計画	84, 597	1111	実績値	102, 239				
		蔵書を整備		四か日四		%	達成率	118.9				
		市民1人当たりの貸出冊数。計画的に蔵	٧	総合計画		曲	目標値	3	4	4	5	5
D	1 市民1人当たりの貸出冊数	書の整備を行うことで、貸出冊数の増加		総合戦略	0.7	IIII	実績値	4. 17				
成		につながる。		個別計画		%	達成率	139. 0				
成果指標				総合計画			目標値					
標	2 —			総合戦略			実績値					
				個別計画		%	達成率					

当初予算

決 算 額

R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

52,710

275, 550

117, 420

64,706

39, 406

評価対象外の理由 Ε 0 評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点		4 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	24 点	5点	24 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	/25点	5 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

提供

・地域資料の収集

蔵書の整備(新聞、雑誌、図書、DVDの

・地域資材の収集 ・相互貸借 (図書館間の図書貸出) ・レファレンス (調査相談) サービスの充実 ・予約、リクエスト

R6

R7

蔵書計画に沿って図書の購入ができた。 新図書館の開館1周年に合わせて実施した来館者アンケートの結果(集計中)では、『資料の充実度』の問いに対し「満足」「やや満足」の回答が約92%と高い評価を得ている。また、『レファレンスサービスの利用』の問いに対しサービスの認知度は60%で実際の利用は24%ではあるが、利用した方の満足度は98%と高い評価となった。 今後も市民のリクエスト等を参考に、図書の購入をする。

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

蔵書計画に沿って選書を行ない図書の購入ができたことを評価する。 新図書館の開館1周年に合わせて実施した来館者アンケートの結果をもとに、充 実した資料の選書を継続していただきたい。 レファレンスサービスに関しては、県図書館等と連携しており、満足度の高いサ ービスを提供していることを評価する。

## 令和5年度の事業の方向性

-		
事業番号		枝番
158003		1
事業	図:	書館行

4	事業番号	枝番	(令和	3 年度言	十画	) #	総合	計画	実が	E計i	画書	・(兼	進	捗飠	管理	∄)								(	(様式1)
	158003	1	(令和	3 年度 🤅	<b>史</b> 算	) ]	事	務	事	業	: 1	評(	西	ī	周	#	課局名		社会	教育訓	果	係名	図	書館	館係
事	業	図書館管:	理運営事業		į	細事業	図	書館教	育事業	Ě					実施	計画	事業 図書	書館教	(育事業	É				了度	なし
	総合	計画体系図	No.→ ( 353 )				ı																		
会計	一般	政	<b>策</b> V 豊かれ	な心と学ぶ意	賃欲を	育むま	ち						個	豊	後大!	野市総	総合教育部	十画		令和 3	年度	₹ 主な歳と	出名称	当	初予算額
款	10	施	<b>第</b> 2 生涯学	習の推進									別計	期間	間 F	R3 4	年度 ~ ]	R 7	年度	講師謝礼	L金				240
項	5	施策展	開 ③図書館	利用を推進	する								画						ì	肖耗品費	ť				100
目	5	後期	基本計画 86	P	過疎	計画		総合単	线略		JD:	ナ充当	名	期間	間	4	年度 ~		年度	印刷製本	費				100
決算		A 事業日	的・内容・実	: 446											<u>.</u>	<b>**</b> *	十画額・爿	. 管箱	· ·	食糧費					13
				- 194	年			<u> </u>	<b>4.7</b>	红山乡	*				Ň	<del>7 **</del> *			- T-			財源内部	5	(単	位:千円)
			目的と内容		度			±	な店	動実網	頁			╝.			事業費	E at	医県支	出金	地:	方債	その他	-	一般財源
様々	事業の目 ・な学習権	総会の提供	<b>共と読書を通じ</b>	た人づく		図書館とがで	の利きた	用につた	よがる	教育	事業の	の実施す	つる、	_	R3	3 計画	ī	453							453
りを	推進する	る。	'ショップ、 <b></b> お		R3		, f (	親子を言	含む)	を対	象と	した事業	É	П	当初	刃予算		453							453
等の	)教育事業		図書館利用の					を対象と	とした	事業	13	回 132名	参	ЫП	決	算 額	į	293							293
り組	103													1	R 4	4計画	ī	453							453
					R4									П	当衫	刃予算	:	453							453
														П	決	算 額	į								
														1	R 5	5計画	i	453							453
					R5									П	当衫	刃予算									
<	令和3年	度の取組	内容(計画)>											П	決	算 額	i								-
		目につなが 対象とした	る教育事業の	実施										1	R 6	6計画	i	453							453
	般市民を	が歌るした を対象とし	- 尹未 ルた事業		R6									П	当衫	刀予算									
														П	決	算 額	i								
														1	R 7	7 計画	i	453							453
					R7									П	当衫	刀予算									
														П	決	算 額	i								
														┪	_	画額		265							2, 265
							F	₹3 ~	R7	슴	計			П	-	切予算	-,	906							906
									,	_	μ,			П	_	算 額	-	293							293
	•						foto . I .									wul									
	<del> </del>	評価指	<b></b> 保名	1	-	説明(					合計區	<b>画指標</b>	IR.	2 美	績値.	単位	達成度	1	R3	R4		R5	R6	1.0	R7
С	1 7 183	↓ 54.6 古*	4の同巻	子どもやませや映画	見子を 上映会	:対象と :、季節	: した 5行事	本の読る	み聞だ する。	), [		総合戦略	Š			回	目標値 実績値	1	12		12	12	ž	12	12
	1 723	も対象事業	ミクツ凹数	同時に図る	書館に	ある関	連区	書の紹	介をす	F [	_ 1	固別計画	Ī		┟	%	達成率	-	18					$\dashv$	
活動					# L 1	たナハ	きさっ	問ふ、止っ	는 마마 근	+			+		$\dashv$	70	目標値	1	150. 0		6	6	:	6	6
指標	2	対象事業0	)同数	一般を対象上映会、	≨節行	事を実	施す	る。		-		総合戦略	Š			回一	実績値	1	13	-	U		,	U	- 0
175	- 71127	□冰ず禾♡	ノロ外	同時に図記る。	昏館に	ある関	連図	番の紹介	<b>小をす</b>		1	固別計画	Ī		- }	%	達成率	1	216. 7					$\dashv$	
				<del> </del>						+		総合計画	i		$\dashv$		目標値	1	100	1	100	100	) 1	00	100
D	1 参加	者の利用者	イカード 登録	教育事業を教育事業を	多加者 こ参加	・の利用  された	者カ  方が	ード登録	禄率。 爰も区			総合戦略				%	実績値	1	95	-			†		
成	伞			書館の利用				6			_	固別計画			ŀ	%	達成率	1	95. 0	<del> </del>				$\dashv$	
果				1						17		総合計画	+		$\dashv$		目標値	1						1	
指標	2 —										_ £	総合戦略	,				実績値	1					1		

% 達成率 個別計画 Ε 評価対象外の理由 (対象外事業はF~I欄未記入 可) 0評価対象

□ 総合戦略

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の代点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline \red{0.05cm}  &                                  $	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	23 点	5 点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 #我  ナー	4 点	∕25点	4 点	∕25点

# 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

コロナ禍だったため行事の中止や延期もあったが、感染症予防対策を講じながら行事内容を工夫して実施することができた。また、新たに「野菜づくり講習会」や「ぬいぐるみおとまり会」、日頃は撮影禁止の図書館での「新成人対象:図書館で記念写真を撮ろう!」など実施し、今まで図書館の利用がなかった方に興味を持っていただき新規利用者の登録につなげることができた。新図書館の開館1周年にあわせて実施した来館者アンケートの結果(集計中)では、『行事の充実度』の問いに対し「満足」「やや満足」の回答が91%と高い評価を得ている。今後も図書館に興味を持っていただけるような行事を計画し、新たな利用につなげる。

コロナ感染症予防対策を講じながら様々な行事を工夫して実施していたことから、今まで図書館の利用がなかった方に興味を持っていただき新規利用者の登録に つなげることができたことを評価する。

### I 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

なし

図書館係

			<b>校番</b>		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •						総事							位		梦 1 記	
事	業	2	書館管	理運	営事業				i	細事業	AIL VI	図書館	馆運営	事業							実施計
	総合	計	画体系図	]No.→	( 356 )																
会計	一般		政	策	V 豊カ	な心	いと学	:ぶ意	欲を	育むる	まち								個	豊	後大野 「
款	# *** 図書館管理運営事業				別計	期	間 R3														
項	5		施策展	開	③図書館	馆利。	用を打	進進す	上る									1	画		
目	1				名	期	I														
決算	160			- **							<u> </u>			- 1 -				J 1			
		Α				夹模	<u>'</u>		年度				主な	は活動	力実績	E C					B 事!
市民のはまた、	の学習 向上を  、図書	二図館	ーズの釒 る。 の取組 <sup>々</sup>	や活動					R3	<ul><li>図書</li><li>・図書</li><li>・ 広手</li><li>・ デシ</li></ul>	辞館施 うや市 み等に	設の環 民のニ より利	竞整備 ーズに足 目につた	いじた4 ながる[	図書館	情報の	発信が	でき	きた。		R 3 計 当初予 決 算
																				1	R 4 計

. <del></del>	豊後大	で野市	総合	教育	計画		令和	3	年度		主な歳出名称	当初予算額
	期間	R3	年度	~	R7	年度	会計年	度	任用耶	哉	員報酬	12, 779
- III							図書館	シ	ステ』	ム柞	幾器リース料	11, 56
5	期間		年度	~		年度	光熱才	ぐ費				3, 27
	1		&L IX	45	24 <b>46</b> 46		電子図	書	館使月	Ħ	화	2, 96

社会教育課

係名

書課局名

実施計画事業 図書館運営事業

A 事業目的・内容・実績			B 學業計	画額・決算額	等			
事業の目的と内容	年	主な活動実績		事業費計		財源内	n訳	(単位:千円)
争未の日的と内容	度			争未負訂	国県支出金	地方債	その他	一般財源
		・図書館協議会を年2回開催 ・図書館施設の環境整備	R 3計画	51,888			1, 224	50, 664
能の向上を図る。 また、図書館の取組や活動など情報を発信し	R3	図言時地域の深発生制 ・季節や市民のニーズに応じた特設コーナーの設置 (48回) ・広報等により利用につながる図書館情報の発信ができた。 ・デジタルサイネージの活用し、行事や新刊本等の紹介がで	当初予算	51,888			1, 224	50, 664
、利用促進に努める。		きた。	決算額	51, 316	1,300		202	49, 814
			R 4計画	50, 557			24	50, 533
	R4		当初予算	54, 207			208	53, 999
			決 算 額					
			R 5計画	50, 557			24	50, 533
	R5		当初予算					
<令和3年度の取組内容(計画)>			決 算 額					
<ul><li>・図書館協議会の開催(年2回)</li><li>・図書館施設の環境整備</li></ul>			R 6計画	50, 557			24	50, 533
・セルフ貸出機や自動返却機の活用による利 用者のプライバシー保護	R6		当初予算					
・季節や市民のニーズに応じた特設コーナー の充実			決 算 額					
・電子図書館サービスの利用促進			R 7 計画	50, 557			24	50, 533
・ルーラル図書館の利用促進 ・大分合同新聞DVD版の利用促進	R7		当初予算					
・広報活動(市報、ホームページ、ケーブルテレビ等)			決 算 額					
・デジタルサイネージの活用 ・図書館通帳の発行			計画額	254, 116			1, 320	252, 796
		R3 ~ R7 合 計	当初予算	106, 095			1, 432	104, 663
			決 算 額	51, 316	1,300		202	49, 814

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		口	目標値	2	2	2	2	2
С	1 図書館協議会の開催回数	図書館の円滑な運営を図るため、図書館 協議会を年2回開催する。	個別計画	3	ī	実績値	2				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			□ 総合計画		Į.	目標値	38,000	40,000	40,000	50,000	50,000
D	1 来館者数 (延べ数)	図書館の来館者数(令和3年1月末開館)	□ 総合戦略	17, 119	人	実績値	78, 946				
成			✔ 個別計画		%	達成率	207.8				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline retarrow const. & \Rightarrow & retarrow const. \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	25 点	5 点	25 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	5 点	∕25点	5 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 主に会計年度任用職員の報酬や図書館システム関係の経費、施設の維持管理費。 来館者数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあったが目標値の2倍の78,946人であっ

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見 電子図書館の利用の促進やSNS等を活用した図書館サービスの情報提供等に努められたい。

ん。 今後も新型コロナウイルス感染症が蔓延することが心配されることから、電子図書館の利 用を促進できるような講座等の開催について検討する必要がある。

I 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
160001	1
事業ス	ポー

4	事業番号	+ 1	支番	(令和:	3 年度	計員	画):	総合計画実施	医計画	書(兼	進捗'	管理	里)								(様式1)
1	60001		1	(令和	3 年度	決〔	草) :	事 務 事	業	評(	西言	凋	書	課局名	í	社会	教育課		係名	スポー	ツ推進係
事	業	スポ	ーツ推進	進総務事業			細事業	スポーツ推進約	総務事業	Ė		実別	拖計画	<b>事業</b> 各:	也区ス	ポーツ	振興会	補助事	業	終了年度	
会計		計画位置	本系図No	( 357 ) V 豊かな	小小レ学	ご音分	た否ねす	£			utto .	20 L.	m>4	ω Λ *d>-	al and		÷€⊓ ?	在度 =	主な歳出	夕称	当初予算額
款	10	が		3 スポー		*心1八	2 H O 2				個別期			総合教育 ## ~					長興会補助		8,640
項	6	<del>ا</del> ⊢	5 条	①生涯ス		推准す	トろ				計			<sup>年度</sup> ~ スポーツ			70,557	4. > 1/2	W > 4 1111 5	77 112	0,040
目 目	1	<del>ا</del> ⊢	後期基本	<u> </u>		_	疎計画	総合戦略		コロナ充当	名期		150	年度 ~	R9 4	年度					
決算		<u>                                    </u>				~		- TO 11 1X-11							I CO						
				・内容・実	積	年	:					梬	事業	計画額・2		<b>₩</b>		財	排原内訳		単位:千円)
		事	業の目的	と内容		度		主な活	動実績					事業	費計	国県支	出金	地方信		その他	一般財源
	<b>事業の目</b> 呈がスオ		を通じて	こ、明るく、	豊かな	#	①三重 事業を実	「スポーツ振興会:8事業を 尾施③緒方町スボーツ振興: ☆:10事業を実施⑤大男	: 実施②清 会: 12事業	川町スボーツ振興 纟を実施④朝地	会:9 町 な	R:	3 計画	<b>1</b> 8	, 640						8, 640
活の	実現に	資する	るために	各町にスポ できる健康	一ツ振興	! R:	3   施⑥千嘉	≒:10事業を実施⑤大野 銭町スボーツ振興会:5事業 类を実施	F町スポーツ排 を実施⑦	長興会:13事業 犬飼町スポーツ振	を実 類会	当	初予算	¥ 8	, 640						8, 640
体力	づくり	を目的	内とした	スポーツ行	事、教室		市内全体症の影響	₹で7115事業を企画した; ₩により43事業が中止と	が、新型= :なった。	コロナウイルス	感染	決	算 額	<b>A</b>	, 916						4, 916
	振興会	で予算	算の範囲	円滑な運営 内で補助金	を交付す							R ·	4 計画	8	, 640						8,640
る。						R4	4					当	初予算	¥ 8	, 640						8, 640
												決	算 額	Ą							
												R:	5 計画	1 8	, 640						8, 640
						R	5					当	初予算	Į							
				を(計画)を	n liblet a							決	算 額	Ą							
関係	機関や	団体と	上連携を	が中心とな図り地域の	特性を活	·						R	6計画	<b>1</b> 8	, 640						8, 640
かし力づ	た活動	計画で 目的に	と 策定する こ、誰も	る。健康づ が生涯スポ	くりと体 ーツに親	Re	5					当	初予算	Į							
しむ	機会を を開催	提供~	できるよ	うスポーツ	行事、教							決	算額	Ą							
												_	7 計画		, 640						8, 640
						R7	7					_	初予算	-							
													算額								
													画額		, 200						43, 200
								R3 ~ R7	合 言	t		-	初予算	-	, 280						17, 280
												決	算額	頁 4	, 916						4, 916
	ı	8:			Т .	ᅛᆓ	O-200 (		T 87	ᅴᇙᄡᄺ	I a a eta	A# (+)	w /1	****		no T	D.A.		Dr. I	DC.	T 57
	<u> </u>	E <sup>2</sup>	平価指標名		1 3	日信他	の説明()	算出方法等)	+	計画指標	R 2 実	襭憴	甲恒	達成度目標値		R3 72	R4	1.5	R5	R6	R7
С	1 生涯	スポ	ーツへの	参加	スポー	ツ振興	会主催の	)スポーツ行事等の	ヮ   🗆	総合戦略		51	回	実績値		72	1	.15	115	11:	5 115
	. 17.17.		, .,,	<i>≫</i> /Jµ	開催数					個別計画	i	01	%	達成率		100. 0					
活動									$\vdash_{\sqcap}$	総合戦略				目標値							
指標	2 _													実績値							
										個別計画			%	達成率							
										総合計画			同	目標値		72	1	115	115	115	5 115
D	1 生涯	スポ	ーツへの	参加	スポー	ソ振興	会主催の	スポーツ行事等の		総合戦略		51	回	実績値		72					
成										個別計画			%	達成率		100.0					
果指										総合計画				目標値							
標	2 —				1					総合戦略	1			実績値							1

% 達成率 個別計画 Ε 評価対象外の理由 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可) 0評価対象

□ 総合戦略

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	_	-次評価(係長	)  二次	評価	(課長等)
	許価項目/5つの税点(1~5点で評価)	評化	価点 評価点	京合計 評価	点	評価点合計
F	【1 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか ─────	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
割	【2.事業の優先度は高いと思うか(同じ成里指煙設定事業内での優先度)	→ 2 → 3 → 4 → 5 度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
個		$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか 1 - 推移し	→ 2 → 3 → 4 → 5 ていない ⇒ 推移した	4点	23 点	4 点	23 点
	15   成単指標の達成状況(薬)は計画とおり推移   でいるか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	4 点	/25点	4 点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 G

事業評価> 合和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ行事、教室や研修会等の関係を中止せざるを得ない状況であったことから、コ ナナ前の支援とおりには関係ができない状態であった。また、緩吸対策を施したスポーツ行事等の企画・運営は定着定してきたが、スポーツ行事、数室や 修修会が中止、援助となっスポーツを行う返還の低下が必配される。

- 今後の進め方(温暖・改善策等) ウイズコロナ及ビアフターコロナの社会におけるスポーツ活動を推進するため、各町スポーツ振襲会及び事務局のここからプラスと連携し、既に開催さ たイベントや大などの破壊艦手的均振ノウッウを収集し、主義スポーツに親しみやすいスポーツ行事、教芸や研修会等の新たな企画・選昇を進めて行

。また、地域の関係機関、団体の協力は不可欠と捉えており、地域スポーツ活動への協議・協力関係の更なる構築をめざす。 さらに、スポーツニーズは参様化していることから、地域ごとにスポーツ活動の実情を把握し、課題やニーズに対応するとともに、特に若者から高齢者 人気のスポーツを支援することで、健康活向の拡大度図る変更あると捉えている。

### H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

スポーツ活動を推進するため、関係機関と連携し、生涯スポーツに親しみやすい スポーツ行事、教室や研修会等の新たな企画・運営を進めて行く必要がある。そ のためには、スポーツニーズ及び実情の把握に努め、情報の発信を強化する必要

## 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

64, 120 25, 315

6, 139

寻	業番号	÷	枝番	(	令和	3	年	度	計	画	)	総合	计信台	画実別	色計画	書	(兼	隹捗	管	理)							(様式1)
1	60001		2	(	令和	3	年	度	決	算	)	事	務	事	業	評	ſ	6	調	書	課局名	社	会教育詞	果	係名	スポ	ーツ推進係
事	業	スプ	ポーツ推済	隹総	務事業	<b></b>				ş	細事業	<b>*</b>	スポー	ツ推進	総務事業	Ě			身	<b>ミ施計画</b>	事業スポー	ツ協会	補助事	ř			87 度 なし
	総合	計画	「体系図№	→ (	361	)															•					•	,
会計	一般		政 策	7	7 豊カ	ンない	いと	学》	ぶ意名	次を	育む	まち						個豊	豊後	大野市総	合教育計画		令和 3	年度 3	主な歳	出名称	当初予算額
款	10		施策	3	スポ	ーツ	か	振興										別計	期間	R3 #	<b>⊯度~</b> R7	年度	スポー	ツ協会補助	助金		12, 380
項	6		施策展開	(3	競技	スポ	·— )	ソを	振興	する	5							画	豊後 画	大野市ス	ポーツ推進	計					
目	1		後期基本	計	画 8	8	Р			過疎	計画		総·	合戦略		コロナ充	当		期間	H30 #	<sup>⊭度</sup> ~ R9	年度					
決算	161																										
		Α_	事業目的	· p	7容・	実和	<u> </u>			<b>/</b>									┐┍┋	3 事業計 \	·画額・決算 	鎖等	ļ	B <sub>2</sub>	加加	₽	(単位:千円)
		틕	事業の目的	りと	内容					年 度				主な活	動実績						事業費計	国県	支出金	地方化		その他	一般財源
	業の目		<b>&gt;</b> ·ツを推進	: 1	*P	πH	L	σĖ			①市民 ②第1	体育大会 4回豊後	: (7月か 大野市小	ら11月0 中学生水液	D期間に 9 k記録会/	種目を開作 18種目に別	熊) 男子30名	女子	F	3計画	12, 380	)					12, 380
上と	スポー	ツ精	フを推進 神の高揚 i民生活の	iと、	心身	共に	1健	全て	;										실	当初予算	12, 380	)					12, 380
的に	組織さ	れた	豊後大野	市:	スポー	ツ協	会	の種	î		⑤第7 ⑥春季	5回大分県体・第	県民体育 64回県	大会・スト	(中止) (競走大会 キー競技 )合同駅伝 回開催)	参加取下に 競走大会	f (中止)		ž	央 算 額	6, 139	-					6, 139
極的	な事業	の推	進と円滑	なi	軍営を	図る	った	めの	) _		(7)スポ	ーツ指導	者研修会	の開催 (4	回開催)				ł⊢	R 4 計画	12, 935	_					12, 93
る。	(-),	, ,	2F-12 #GE	11 3	( 1111-5/3	- AL C	- ~	11)		R4									I⊢	当初予算	12, 935	1					12, 935
									1	117									┖	中 算 額		<u>'</u>					12, 330
									┢										H⊢		-	-					10.005
									1										I⊢	35計画	12, 935	)					12, 935
									1	R5									ı⊢	当初予算							
-			の取組内? 一ツ協会						┡										ΗË	英 算 額							
①市	民体育	大会	一ク勝云	が別り	た可四 こ7月	から	1	1月											I⊢	₹6計画	12, 935	5					12, 935
②第	間に開 14回:	豊後	大野市小	中含	学生水	泳証	録	会	1	R6									븰	当初予算							
(3)第	7 4回	大分	県民スポ 大野市少	-	ソ大会				L										ä	央 算 額							
⑤第	75回	<b>大分</b>	県民体育	大		スキ	一競	技	Г						·				F	R 7計画	12, 935	5					12, 935

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		県民スポーツ大会の成績	□ 総合戦略		位	目標値	9	9	9	9	8
С	1 競技力の向上	(市スポーツ協会加盟28種目部別の競	□ 個別計画		111.	実績値					
活		技団体)			%	達成率					
動指			□ 総合戦略		名	目標値	140	140	140	140	140
標	2 スポーツ少年団指導者の育成	公認スポーツ少年団指導者数	□ 個別計画	137	41	実績値	119				
	795				%	達成率	85. 0				
		<b>見足スポーツ大会の成績</b>	総合計画		位	目標値	9	9	9	9	8
D	1 競技力の向上	県民スポーツ大会の成績 (市スポーツ協会加盟28種目部別の競	□ 総合戦略		11/.	実績値					
成		技団体)	□ 個別計画		%	達成率					
成果指			□ 総合計画		%	目標値	45	45	45	45	50
標	2 スポーツ少年団への加入率	加入者数/児童生徒数	☑ 総合戦略	36. 1	70	実績値	33. 3	·			
			□ 個別計画		%	達成率	74. 0				

R3 ~ R7 合 計

Ε 評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目グラフの抗点(「でラ点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline  & & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & & & \\ \hline  & & &$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
Щ	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	23 点	4 点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 G

《事業計価》 新門コーナウイルス感染症の影響によりスポーツ行事、数室や研修会等の開催を中止せざるを得ない状況であったことから、コロナ前の 実績とおりには開催できなかった。 また、感染対策を施したスポーツ行事等の企画・運営は定着してきたが、スポーツを行事、数室や研修会等が中止、延期となりスポーツを行う返職の低下から、施ごれる。

, ⑥春季県体・第64回県内一周大分合同駅伝 競走大会 ⑦スポーツ指導者研修会の開催

<今後の進め方(課題・改善策等> カイスロウナ及びアフターコロナの社会におけるスポーツ活動を推進するため、スポーツ協会を中心に、競技スポーツ活動、スポーツ少年団活動の支援を行う。 はた、人口減少に作う競技人口の減少や競技力の低下、スポーツ指導者の確保などの課題解決に向けて、関係機関、団体が連携して取組める環境づくりの方葉を終討していく必要がある。

#### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

スポーツ協会の事業に関して、コロナ感染防止対策により中止あるいは廃止となった事業もあったが、競技力の維持または向上を図るために、関係機関と連携して、コロナ禍における事業の実施方法等を共有することが必要であると考える。また、中体連の地域移行やスポーツ少年団指導者の資格制度の改正等による補助金の見直しを検討する必要がある。

### 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

64, 120

25, 315

6, 139

9,000 3,600

872

			_																													/4 <del>*</del> _	
事	業番号	枝	番	(	令	和	3	年	度	計	画	)	総	合	計画	画実	.施	計画	書	(美	進	步乍	(理)	)								(様ま	ζ1
1	60001	3		(	令	和	3	年	度	決	算	)	事	:	務	耳	ļ.	業	評	i	価	訓	1		課局名	社	会教育	課	係名	ž	スポー	ーツ推済	焦係
事	業	スポー	·ツ推	進総	務	事業					i	細事	<u></u> 業	ス	ポー	ツ推済	<b>生総</b>	務事業	K.			Ī	実施計	┼画፥	事業 各種ス	ポーツ	/大会出	場補助	事業	•	終年		なし
	総合	計画体系	<b>系図No.</b> -			_																											
会計	一般	政	策	. 1	V 豊	是かり	な心	75	学る	意	次を	育む	まち	)							個	豊後	大野	市総	合教育計画		令和	3 年度	主な詞	表出名	称	当初引	•算
款	10	施	策	3	ス	ポー	-ツ	の振	興												別計	期間	NO	'	F度 ~ R7	年度	各種ス	ポーツフ	大会出場	湯補助:	金		1,8
項	6	施領	(展開	(3	3競	技ス	ぱぱ	ーツ	を	振興	する	5									画	豊徳画	长大野	市ス	ポーツ推進	計							
目	1	後	期基	本計	画	88		Р			過政	画信	Ī		総1	合戦略	各		コロナ3	充当	名		H30	) <sup>4</sup>	<sup>⊭度</sup> ~ R9	年度							
決算		A 事	は 日 が	i - 6	力突	- 5	1 4 4																B 🛎	拿計	・画額・決算	頃等							
			の目的				~ 100				年					÷ +>	江新	<b>加実績</b>						<u>-ти</u>	事業費計				財源内	訳		(単位:	千円
			O H	1) C	기구	*					度											∐և	_		争未負訂	国県	支出金	地フ	方債	そ	の他	一般	財派
市	<b>手業の目</b> 民のスプ	ピーツ	水準の	)向.	Ŀ,	振興	単を	図る	うた			~`8	9人才	ば九.	州大의	会以	トの	13日 大会に	1出場	個人	、延	Ш	R 3 🖥	計画	1,800	)							1, 80
	市民等なた場合の										R3	4	国・	. 西	日本:	大会	7 ₺	日体39 日体延	人			Ш	当初于	予算	1,800	)							1, 80
	を交付		-/1, 0	•	, )		بخوت	,, ,	~ 1113				د ۱۱۱۷	( <del>Z</del>			OLS	11件处	1007			Ш	決 算	額	872	2							8
										Γ												Ш	R 4 i	计画	1,800	)							1,8
											R4											Ш	当初于	予算	1,800	)							1, 80
																						Ш	決 算	額									
										r												11	R 5言	计画	1,800	)							1, 80
											R5											П	当初于	予算									
<=	令和3年	度の取	組内	容(	計画	j) >																Ш	決 算	額									
国力の明	、県、2	公益財団	団法人 東田立	(日)	本ス	ポー	-ツ	協会	<b>き</b> の	r												11	R 6 i	計画	1,800	)							1, 80
若して	団体(属 くは共作 の代表と	当し、ご	サロ司県大会	等!	以上	の子	が選り	子を	· ~経		R6											Ш	当初引	予算									
(1)	九州大	会	口場す	<b>る</b> フ	八会	とす	5	0														Ш	決 算	額									
	西日本 全国大	숲								F												╢	R 7 i	十画	1, 800	)							1, 80
(4)	世界大	숲								1	D7											Н	44 tn 3	2. 笛	-,	1							_

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		選手数	目標値	39	70	70	70	70
С	1 全国大会・西日本大会	出場選手数	個別計画		数	実績値	39				
活					%	達成率	100.0				
動指			│ │ 総合戦略		選手数	目標値	50	88	88	88	88
標	2 九州大会	出場選手数	□ 個別計画		数	実績値	50				
					%	達成率	100.0				
			□ 総合計画		選手数	目標値	39	70	70	70	70
D	1 全国大会・西日本大会	出場選手数	□ 総合戦略		数	実績値	39				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
成果指			□ 総合計画		選手数	目標値	50	88	88	88	88
標	2 九州大会	出場選手数	□ 総合戦略		数	実績値	50				
			□ 個別計画		%	達成率	100.0				

R3 ~ R7 合 計

決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

9,000

3,600

872

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	23 点	4 点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

〈事業評価〉 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ大会の中止が相次ぎ九州大会以上出場の実績はなかったが、令和3年度は、13団体・個人、延~89人が九州大会以上の大会に出場することができた。 市長へ表報訪問をし激励を受けることや新聞等に掲載されることにより、選手・指導者の競技意欲にもつながっていると捉えている。

〈今後の進め方(課題・改務策等〉 競技スポーツに取り組む選手の不断の努力は、人間の可能性の極限を追求する有意義な営みであり、スポーツ大会で活躍する選手の姿は、市民に夢と感動を与えスポーツへの関心を高めるとともに、活力ある地域社会の形成に寄与している。 〈参良も競技スポーツに取り組む選手、指導者へ、九州大会以上に入責した場合に感謝状を贈呈するスポーツ顕彰制度と九州大会以上に 出場する団体・個人への補助金制度を継続し、スポーツ競技宣称の喚起を促して行く。

競技スポーツに取り組む選手、指導者へ、九州大会以上に出場する団体・個人に対し、補助金または激励費を市長から渡すことにより、スポーツ競技に対する意欲の向上に繋がっていることを評価する。 義務教育課程の児童・生徒が県予選を経て九州大会以上の大会に出場する場合は、教育委員会で激励のことばをかけることも検討されたい。

※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

### 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

【担当課長職等の所見】

3, 150

数   10   施策展開   ①生涯スポーツを推進する   一 過疎計画   総合戦略   □□中充当   一																										
事業 スポーツ推進総務事業 細事業 スポーツ推進総務事業 実施計画事業 削事業 から型地域スポーツクラブ活動支援補 終了 なし 参合計画体系関係 ( 357 )	事業番号	枝番	]	(令	和 3	年 度	計	画	) 彩	合合	画実	₹施ま	計画	書(	(兼)	<b>೬</b> 捗	管理	里)								(様式1)
### ***	160001	4		(令和	ig 3	年 度	決	算	)	¥ ₹	务 耳	事	業	評	佃		調		課局名	礻	土会教育	課	係名	スホ	: :>	ツ推進係
会計         一般         数 10         版 策 3 スポーツの振興         機 第 3 スポーツの振興         機 第 3 スポーツの振興         場	事業	スポーツ	ツ推進	総務事	業			糸	田事業	スポ	 ーツ推i	進総務	务事業				実	施計画	<b>事業</b> 総合型 助事業	地域	スポーツ	クラブ活	動支持	爰補		なし
数   10   施策展開   ①生涯スポーツを推進する   一 過疎計画   総合戦略   □□中充当   一	総合	計画体系	図No.→																•		1					
項 6	会計 一般	政	策	V 豊	かな心	ゝと学ぶ	ぶ意谷	次を	育むま1	5						ш	是後大	で野市総	合教育計画	Í						当初予算額
項 6 施策展開 ①生涯スポーツを推進する 目 1 後期基本計画 88 P	款 10	施	策	3 ス7	ポーツ	の振興										i+					総合型: 援補助	地域スホ <sup>、</sup> 金	ーツク	フフ店動き	۷	3, 150
書業の目的と内容       年業目的・内容・実績         本業の目的と内容       年度       主な活動実績       事業の目的と内容       財源内款       (単位: 千円)         本事の目的と内容       年度       主な活動実績       事業の目的と内容       日度       財源内款       (単位: 千円)         本事の目的と内容       内容・実績       事業の目的と内容       日度       日本が出域に基づき、市民が出域に基づき、市民が出域に基づき、市民が出域によった。       日本・大・ファラケスト: 10事業を実施(の事業中止)、会員数30名であるとともに、会員相互の親陸通じ、地域のであたいをいきスポーツクラブネト: 10事業を実施(の事業中止)、会員数30名であるとともに、会員相互の親陸通じ、地域のであるとともに、会員相互の親陸通じ、地域の活動が実施であるととは、会員相互の親陸通じ、地域のであるととは、会員相互の親陸通じ、地域のでは、会員なの事情及び育成を図るため、予算の方の設立準備及び育成を図るため、予算の範囲内で補助金を交付する。       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3       R3 <td>項 6</td> <td>施策</td> <td>展開</td> <td>①生》</td> <td><b></b> 医スポ</td> <td>ーツを</td> <td>推進</td> <td>する</td> <td>)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>画</td> <td>豊後ナ 町</td> <td>で野市ス</td> <td>ポーツ推進</td> <td>韭計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	項 6	施策	展開	①生》	<b></b> 医スポ	ーツを	推進	する	)							画	豊後ナ 町	で野市ス	ポーツ推進	韭計						
A 事業目的・内容・実績       事業の目的と内容     度     主な活動実績     事業計画額・決算額等       本業の目的> スポーツ基本法の基本理念に基づき、市民が地域における文化・スポーツ活動等の振興を図り、会員数10名ではりを育成するとともに、会員私可名の設立準備との連帯に資することを目的に、必要とする地域に総合型地域スポーツクラブネスト: 10事業を実施(10事業中止)、会員数196名を対しる。会員がでは、10事業を実施(10事業中止)、会員数196名を対しる。会員をですることを目的に、必要とする地域に総合型地域スポーツクラブ・10事業を実施(10事業中止)、会員数196名を対した。必要とする地域に総合型地域スポーツクラブの設立準備及び育成を図るため、予算の範囲内で補助金を交付する。     R3 計画 3、150	目 1	後期	基本	計画	88 F		_ ;	過疎	計画		総合戦闘	格		ロナ充	当			H30 4	F度 ~ R9	年度	E					
事業の目的と内容   年度   主な活動実績   事業費計   国県支出金   地方債   その他   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一般財源   「本本   一部   一般財源   「本本   一部   一部   一部   一部   一部   一部   「本本   一部   一部   一部   「本本   一部   一部   「本本   一部   一部   「本本   一部   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一部   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   一述   「本本   「本本   一述   「本本   一述   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本   「本本	決算 161	, <b>*</b>	<b>п</b> 66 .	. rb ski	. 安 <b>维</b>												В	古金科	- 画館 - 法管	细维						
事業の目的と内容         度         土々活動美額         国県支出金         地方債         その他         一般財源           <事業の目的と 不式一ツ基本法の基本理念に基づき、市民 が地域における文化・スポーツ活動等の振興 を図り、会員及び青少年の健全な心身を育成 するとともに、会員相互の親睦通じ、地域の 活性化・地域社会の連帯に貸することを目的 に、必要とする地域に総合型地域スポーツクラブ、お歌たの設立準備及び育成を図るため、予算の 範囲内で補助金を交付する。         R3         100 2 数がたりきいきスポーツクラブ、おりの活動が実施で きなかった。         2 数 3 、 150         第 3 、 150         3 、 150           K4         R4         R4         R4         R5         R4         R5         R6         R6         R6         R7         国県支出金 地方債 その他 一般財源 日東支出金 地方債 その他 一般財源 日東支出金 地方債 その他 一般財源 日東支出金 地方債 その他 一般財源 日東大会員数300名。 当初予算 3 、 150         R 3 計画 3 、 150         3 、 150         3 、 150         3 、 150         3 、 150         3 、 150         3 、 150         3 、 150         3 、 150         3 、 150         3 、 150         3 、 150         3 、 150         3								年				. 'T #L	m/#				ľ	<u> 于末川</u> \		T			排原内	訳	(単	単位:千円)
R3		事業 <i>0.</i>	)目的	と内谷	ŧ						王な	:沽動:	美積						<b>事</b> 業費計	国	県支出金	地方	債	その他		一般財源
が地域における文化・スポーツ活動等の振興を図り、会員及び青少年の健全な心身を育成するとともに、会員相互の親陸通じ、地域の活性化・地域社会の連帯に資することを目的に、必要とする地域に総合型地域スポーツクラブの数立準備及び育成を図るため、予算の範囲内で補助金を交付する。  R3 ②網地プレンドタラブ: 19事業を実施(10事業中止)、会員数106 素型コロナウイルス感染症の影響により例年とおりの活動が実施で	<b>&lt;事業の目</b> スポーツ	<b>]的&gt;</b> 基本法の	基本된	理念に	基づき	、市民	1		②おがたい	<b>\きいきス</b>	プ:11事業 ポーツク	葉を実施 ラブネス	芭(5事業 スト:10∃	中止)、 事業を実	会員数 施(5事	00名     	R	3計画	3, 15	0					Т	3, 150
活性化・地域社会の連帯に資することを目的 に、必要とする地域に総合型地域スポーツク ラブの設立準備及び育成を図るため、予算の 範囲内で補助金を交付する。  R4  R5  R5  A5  A5  A5  A5  B7  R4  R5  R6  R6  R6  R6  R6  R6  R6  R6  R6	が地域にお	ける文化	・ス7 小年	ポーツ	活動等な心身	の振興を育成	<u> </u>	R3	③朝地プレ 名	ンドクラ							当	初予算	3, 15	0						3, 150
に、必要とする地域に総合型地域スポーツクラブの設立準備及び育成を図るため、予算の 範囲内で補助金を交付する。       R4       第 3,150       3,150         当初予算       3,150       3,150         決算額       R5計画       3,150         (今和3年度の取組内容(計画) > みえスポーツクラブ、おがたいきいきスポーツクラブネスト、特定非営利活動法人朝地フレンドクラブの特性を活かした活動計画を策定し会員の体力向上を健康増進を図る。       R6       R6         R6       当初予算       当初予算	するととも	に、会員は社会の	相互	の親睦	通じ、	地域の	)		新型コロブきなかった	⊦ウイルス ≛。	.感染症の影	影響によ	より例年。	どおりの	活動がま	施で	決	算 額	3, 15	0						3, 150
<ul> <li>範囲内で補助金を交付する。</li> <li>R4</li> <li>B</li></ul>	に、必要と	する地域	に総合	<b>今型地</b>	域スポ	ーツク											R	4計画	3, 15	0						3, 150
R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R6 R5 R6 R5 R6 R5 R6 R5 R6 R5 R6 R5 R6 R5 R5 R5 R6 R5 R5 R5 R6 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5					ため、	予算の	F	R4									当	初予算	3, 15	0						3, 150
R5 B5 当初予算																	決	算額								
<令和3年度の取組内容(計画)>       決 算 額         みえスポーツクラブ、おがたいきいきスポーツクラブネスト、特定非営利活動法人朝地フレンドクラブの特性を活かした活動計画を策定し会員の体力向上と健康増進を図る。       R6         48       当初予算																	R	5計画	3, 15	50					T	3, 150
みえスポーツクラブ、おがたいきいきスポーツ クラブネスト、特定非営利託動法人朝地フレンド クラブの特性を活かした活動計画を策定し会員の 体力向上と健康増進を図る。       R6         86       当初予算							ı	R5									当	初予算							T	
クラブネスト、特定非営利活動法人朝地フレンド クラブの特性を活かした活動計画を策定し会員の 体力向上と健康増進を図る。	<令和3年	年度の取組	祖内容	(計画	)>												決	算 額							1	
クラブの特性を活かした活動計画を策定し会員の 体力向上と健康増進を図る。 R6 当初予算	みえスポークラブネスト	-ツクラブ ト 特定非	、おか 営利店	がたいき	といきない。	スポーツフレント	ソ ご										R	6計画	3, 15	0						3, 150
T//PIII C KENNIA C C M VI	クラブの特性	生を活かし	た活動	助計画を	を策定し	会員の	5	R6									当	初予算							1	
	(1) 定期的	なクラブ	舌動等			程											決	算額							1	
(3) 会員相互の親睦を図るための行事の開催 2.150 2.150 2.150	(3) 会員相	互の親睦る	を図る	ための	行事の	開催	F										R	7 計画	3, 15	0					$\dashv$	3, 150
(4) 起吸住氏の人が一つ活動や起吸づくりに負するボランティア活動 (5) 会員の健康・体力相談事業	するボランテ	ティア活動	J		19以 ノ \	ソに貝		R7									当	初予算	,						$\dashv$	
(3) 云貝の煙味 下が加歌手来 (6) 他の機関、団体などが開催するスポーツ行 事等への参加	(6) 他の機	関、団体/	などが	ザ来 開催す	るスポ	ーツ行											決	算額							$\dashv$	
争夺************************************	(7)		(記令)	単借の+	シみにょ	火雨かす	ir –										<b>—</b>		15, 75	0						15, 750
2.7.7.00日的建成及び成立半開めために必要な事	業	TENKY U	.UX 77.1	戸(用り)/	このノバール	い女/よう	F			R3	~ F	<b>₹</b> 7 †	合 計	ŀ			当	初予算	<u> </u>	_					+	6, 300

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		名	目標値	720	720	720	720	720
С	1 地域スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブの会員数	□ 個別計画	628	泊	実績値	636				
活					%	達成率	88.3				
動指			□ 総合戦略			目標値					
標	2 —		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		名	目標値	720	720	720	720	720
D	1 地域スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブの会員数	□ 総合戦略	628	41	実績値	636				
成			□ 個別計画		%	達成率	88.3				
成 果 指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					·

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{2} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3} \rightarrow & x_{3$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	4 点	23 点	4 点	23 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

・半来評価> 合和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ行事、教金や研修会等の開催を中止せざるを得ない状況であったことから、コ ロナ前とおりには開催さない状況であった。また、感象分類を施したスポーツ行事等の企画・連営は定着してきたが、スポーツ行事、教金や研修会が中 に、延期となりエペーンを行う意識の低下が心配される。

(今後の進め方(課題・改善策等)> スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造を基本理念とする総合型地域スポーツクラブの育成支援に取り組むとともに、自立に向けた活動を引

・ 2 を終くした近か水ゆぬペスキーノイが何也を添か生めとうの飲む主が極いたが、力が自成大致に取り続けてくられ、日本に向ければから 差を支援して行くが、 運動部活動の地域修行に関し、令和らも年度の開始から今和7年度末をめどに休日の運動部活動から良降的に地域移行していくことがスポーツ庁より示さ でいる。本市では、学校と地域のニーズを踏まえた総合型地域スポーツララブ等との連携に関する調査研究 日的は、朝地フレンドラスを関われて 子校が、今3年度学校部活動が卓サポート事業(新たな学校部活動が料に向けたを調査研究(部活動地域移行室)」に取り組んでいる。今後も国・県の動 行社財子などとは、学校を再送く運搬し新たなスポーツの環境の機能等値で進める。

#### 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

中学校運動部活動を地域移行していく方向であることから、市内に3つある総合型スポーツクラブへの説明と情報共有を図り、受け皿の体制を構築するよう努めること。

### 令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ 

A. 現状のまま継続

決 算 額

3, 150

1,750

1,750

1,750

8,750

3, 500

1,750

事業番号 枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 課局名 (令和 3年度決算) 事 社会教育課 スポーツ推進係 160001 5 務 業 価 係名 事 業 スポーツ推進総務事業 細事業 スポーツ推進総務事業 実施計画事業 スポーツ推進委員 なし 総合計画体系図No.→ 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市総合教育計画 別計 款 施 策 期間 R3 年度 ~ R7 報酬 10 3 スポーツの振興 豊後大野市スポーツ推進計 項 6 施策展開 ①生涯スポーツを推進する 画 画 名 コロナ充当 期間 H30 <sup>年度</sup> ~ R9 目 後期基本計画 88 P 過疎計画 総合戦略 決算 161 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 一般財源 〈事業の目的〉 スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第3 2条第2項の規定に基づき、市内7町にスポーツ 推進委員を35名配置し、生涯スポーツの推進 に寄与することを目的とする。 R 3 計画 1,750 1,750 R3 当初予算 1,750 1,750 決 算 額 1,750 1,750 R 4計画 1,750 R4 当初予算 1,750 1,750 決 算 額 R 5 計画 1,750 1,750 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 スポーツ推進委員は、スポーツの普及・振 興を図るためスポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図る研修会を開催するとともに、市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営に携わり生涯スポーツの普及を図る。

R6計画

当初予算 決 算 額 R 7計画

当初予算 決 算 額 計画額

当初予算

決 算 額

1,750

1,750

8,750

3,500

1,750

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		1.1	総合戦略		名	目標値	35	35	35	35	35
С	1 推進委員の配置	市内7町に35名のスポーツ推進委員を 配置し、生涯スポーツの普及を図る。	│	35	10	実績値	35				
活					%	達成率	100.0				
動指標			□ 総合戦略			目標値					
標	2 =		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
		地域のスポーツに関わる指導者の資質の 向上と育成に努め、スポーツ・リーダー	総合計画		□	目標値	12	12	12	12	12
D	1 会議・研修会の開催	向上と育成に努め、スポーツ・リーダー  としてのレベルアップを図るため、会議	□ 総合戦略	9	Ш	実績値	10				
成		・研修会開催する。	□ 個別計画		%	達成率	83. 3				
成果指標			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/3)の代点(1~3点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0} \rightarrow & x_{0$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline restraction & \hline \end{array}$	5 点		5 点	
11111	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5点	24 点	5 点	24 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移した	4 点	∕25点	4 点	∕25点

#### 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 G

R6

R7

事業評価> 地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、研修会開催すると もに、スポーツ振興会事業や市内で開催される各種スポーツイベントの企画立業・運営、指導に携わり生涯スポーツの普及に努めてい

今後の進め方(課題・必善策等) > 地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、研修会開催すると もに、スポーツ発験会事案や市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営、指導に携わり生涯スポーツの普及を推進する また、地域スポーツ振興の担い手であるスポーツ推進委員と連携し、運動部活動の地域移行や人口減少にともなう生涯スポーツの普及 方策など諸課題についても協議を進めて行く。

## 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

スポーツ推進委員と連携し、情報共有をしていることは評価する。運動部活動の 地域移行や人口減少にともなう生涯スポーツの普及の方策など諸課題についても 協議を進めること。

### 令和5年度の事業の方向性

147,000

55,000

27,000

枝番 (令和3年度計画) 総合計画実施計画書(兼進捗管理) 事業番号 課局名 (令和 3年度決算) スポーツ推進係 161001 1 務 価 社会教育課 係名 事 業 スポーツ施設管理事業 細事業 スポーツ施設管理事業 実施計画事業 大原総合体育館指定管理委託事業 なし 総合計画体系図No.→ 策 V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 会計 一般 政 令和 3 年度 主な歳出名称 当初予算額 豊後大野市総合教育計画 別計 款 施 策 期間 R3 <sup>年度</sup> ~ R7 委託料 10 3 スポーツの振興 27,000 項 6 施策展開 ②スポーツ施設を整備する 画 スポーツ推進計画 名 2 コロナ充当 目 後期基本計画 88 P 過疎計画 総合戦略 期間 H30 年度 ~ R9 決算 162 A 事業目的・内容・実績 **B 事業計画額・決算額等** 財源内訳 (単位:千円) 年 事業の目的と内容 主な活動実績 度 国県支出金 地方債 その他 -般財源 **<事業の目的>** 本市における生涯スポーツ活動の拠点として )プール、ド・ )施設利用者数 体育館、研修室 R 3 計画 27,000 27,000 49, 267人 本市における生涯スポーツ活動の拠点として、また市民の健康づくりとスポーツ振興及び 世代間の交流活動等を支援する施設として、原総合体育館を設置している。 管理運営については、指定管理者である「 豊後大野市スポーツ振興協議会」に委託しスポーツの普及振興に関する事業推進、施設の 適切な維持管理を実施する。 ○施設刊用有級 49,207人 ②体育館、研修室 ○施設利用者数 45,149人 計 94,416人 R3 当初予算 27,000 27,000 27,000 決 算 額 27,000 R 4計画 30,000 30,000 R4 当初予算 28,000 28,000 決 算 額 R 5計画 30,000 R5 当初予算 <令和3年度の取組内容(計画)> 決 算 額 である。 ・ である。 ・ である。 ・ である。 ・ である。 ・ である。 ・ である。 ・ である。 ・ である。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 R6計画 30,000 30,000 R6 当初予算 決 算 額

R 7計画

当初予算 決 算 額

計画額

当初予算

決 算 額

30,000

147,000

55,000

27,000

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
			総合戦略		ı	目標値	94, 416	118, 500	119, 700	121,000	122, 300
С	1 施設利用者数	プール、トレーニング室、体育館、研修 室の延べ利用者数	個別計画	76, 785	人	実績値	94, 416				
活					%	達成率	100.0				
動指			総合戦略			目標値					
標	2 _		□ 個別計画			実績値					
					%	達成率					
			総合計画		千	目標値	27, 607	30, 426	30, 734	31, 067	31, 401
D	1 施設利用料等	施設運営総収入利益	□ 総合戦略	21, 465	円	実績値	27,607				
成			□ 個別計画		%	達成率	100.0				
果指			□ 総合計画			目標値					
標	2 —		□ 総合戦略			実績値					
			□ 個別計画		%	達成率					

R3 ~ R7 合 計

評価対象外の理由 0評価対象 Ε (対象外事業はF~I欄未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)		一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)
	計画項目/50の祝点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか(同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{cccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline \hline retarrow const. & \Rightarrow & retarrow const. \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	25 点	5 点	25 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5	5 点	∕25点	5 点	∕25点

【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

利用の促進を図るためホームページの作成を検討すること。

<課題、改善策等>

U 応収の週別な管理連宮 ②施設の効率的な運営及び利用促進 ③市民のためのスポーツの自主事業の実施 ④職員のための各種教育訓練の実施 ⑤新型コロナウイルスの感染予防の徹底

R7

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、スポーツ大会、イベントの開催、大学の合宿の受け入れ等ができず利用者数を増やすことができなかった。また、まん延防止等重点措置適用においての臨時休館による影響も大きかった。今後は、利用促進のための広報活動の推進、スポーツツーリズムによる合宿や大会の誘致を図っていく必要がある。

令和5年度の事業の方向性

事	事業番号										
1	62001		1								
		_									
事	業	絲	食共同								
	総合	計	画体系[								
会計	会計 一般										

																_				_							/1*-E
事	業番号		枝番		(令	和:	3 4	手月	ŧ	画	)	総	合計	画実	施計ī	画書	( )	<b>走</b>	步官	理)							(様式1)
16	2001		1		(令	和:	3 4	羊月	天法	. 算	)	事	務	事	業		平	価	訓	書	課局名	学	校教育訓	果 係	名 学	校組	給食係
事	業	給:	<b>食</b> 共同	調理	世場運営	営事業	É				細事	業	給食共	同調理	場運営	事業				実施計画	事業 給食共	同調理	里場運営事	事業		終了 年度	なし
		1 —	i体系区																								
会計	一般	ł⊢	政	策				_ •	- ,-	欲を	: 育ま	りまち	)					個			野市総合計			年度 主な	歳出名称	- 1	当初予算額
款	10	┥┢	施	策		校教	-											別計	期間	R 3 4	<sup>年度</sup> ~ R 7	年度	賄材料費	₹     共同調理場	田田坐攻禾⇒		135, 962
項	6	_	施策团	展開	②教	育体制	制を	·充争	きする	5		1						画名					子 (V 和 1)	及共同調理場員	<b>洞</b> 理来伤安市	t.	108, 636
目	3	L	後期	基本	計画	84	Р			過政	東計画	Đ (	総	合戦略		コロナ	<b>☆当</b>	1	期間	4	年度 ~	年度	光熱水費	ř			26, 589
決算	163	A	事業目	自的	・内容	・実	績													B 事業計	├画額・決算	額等	機械器具	<b>具費</b>			70, 366
					<u>・・・</u> 」と内容					年				主か日	5動実網	青					事業費計			財源	<b>为訳</b>	<u>í</u> )	単位:千円)
/ m	#			шнэ	J C 17 17	-				度	- 6/	A.ILE	1-3H-7H-1H-7H						┩╽		于木良町	国県	支出玄	地方債	その他		一般財源
給食に	業の目地元	食材	を活り	用し.	、生産	者や	地域	もの1	食		市内4食	で 日の幼稚 (関係)	調理場運  歯児、小  教職員含む	呂爭業(元 学校児童、 ♪)	:至相我 <sup>0</sup> 、中学校	ク美胞)	の給食	数…2,7	4	R3計画	396, 06	1			164, 6	24	231, 437
文化を					ととも	に、	食に	_関	チ	R3	回市理の	i内・児 )安全性	具内産食材 上や衛生面	の活用〇) の向上〇)	施設のド 給食配送	ライシ 業務の	ステム	による訳 託(豊肥	問	当初予算	396, 06	1			164, 6	24	231, 437
											地域の指	ジルバ 導のま	ヾー人材セ 薬施	ンター) (	)給食調理	里業務⊄	)外部委	託〇食	41	決 算 額	380, 17	2			157, 00	31	223, 111
																			Ш	R 4計画	310, 00	0			125, 3	22	184, 678
									١	R4									Ш	当初予算	402, 02	2	4, 400		130, 6	51	266, 971
																			_	決 算 額	i						
																			Ш	R 5 計画	310, 00	0			122, 8	15	187, 185
										R5									Ш	当初予算							
					事(計画	<u>ī</u> )>													╝	決 算 額	i						
●給食 市内の	幼稚	園児	、小鱼	学校	児童、	中学	校生	:徒~	\										Ш	R 6計画	310,00	0			120, 3	59	189, 641
の給食 調理場	.数…2 .施設。	2,74 の状	4食( 況…	関係	《教職』 学校給	員含む 食共	و) 同調	理均	易	R6									Щ	当初予算							
<ul> <li>西部</li> </ul>	学校	給食	共同語	周理	場の2ヵ 用○施	<b>を設</b>													Ш	決 算 額	i						
シテム 給食配	によ.	る調	理の	安全的	性や衛	生面	の向	]上(	)										П	R 7 計画	310, 00	0			117, 9	52	192, 048
肥地域	シル	伤い	人材	とか	ター○	元: 給食	調理	日業を	至努	R7									П	当初予算							
の外部	安託																			決算額	i						
									ſ										71	計画額	1, 636, 06	1			651, 0	72	984, 989
													R3 -	~ R7	合	計			Ш	当初予算	798, 08	3	4, 400		295, 2	75	498, 408
																			П	決 算 額	380, 17	2			157, 0	61	223, 111

	評価指標名	指標値の説明(算出方法等)	各計画指標	R2実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
		三重管内 100回 西部管内 100回	□ 総合戦略		口	目標値	200	200	200	200	200
С	1 食の指導	計画によるもの(各管内週2回~3回)	✓ 個別計画	196	ш	実績値	210				
活		200回以上		達成率	105.0						
動指			□ 総合戦略		%	目標値	100	100	100	100	100
	2 給食の実施数	管内給食実施施設 24カ所	□ 個別計画	100	70	実績値	100				
					%	達成率	100.0				
			総合計画		%	目標値	75	75	75	75	75
D	1 学校給食における地場産品 の 使用割合	大分県産品調査による 75%以上	□ 総合戦略	77	%	実績値	75				
成	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		✔ 個別計画		%	達成率	100.0				,
果指			□ 総合計画		0/	目標値	97	97	97	97	97
標	2 学校給食費の収納率	現年度分収納率 97%以上	□ 総合戦略	97.4	%	実績値	97. 2				
			✔ 個別計画		%	達成率	100. 2				
			✔ 個別計画		%	達成率	100. 2				

E 評価対象外の理由 ()評価対象 (対象外事業は**F~I欄**未記入 可)

	評価項目/5つの視点(1~5点で評価)	一次評価	i(係長)	二次評価	(課長等)	
	計画項目/50の税点(1~5点で計画)		評価点	評価点合計	評価点	評価点合計
F	1. 市民満足(市民アンケート)の向上が期待できる事業内容となっているか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline & & & & & & & & & & & & \\ \hline & & & &$	5 点		5 点	
評	2. 事業の優先度は高いと思うか (同じ成果指標設定事業内での優先度)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
価	3. 事業計画どおりに事業を進めることができたか	$\begin{array}{ccccc} 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \\ \hline restraction & \Rightarrow & rest. \end{array}$	5 点		5 点	
	4. 活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	$1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$ 推移していない $\Rightarrow$ 推移した	5 点	25 点	5 点	<sup>25</sup> 点
	5. 成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 排移していない ⇒ 排移した	5 点	∕25点	5 点	∕25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等 ①コロナに伴い、給食費を払えない家庭が、漸増している。滞納額が多くなる前に対応が 必要。世帯訪問の実施 ②滞納に対する法的措置にスムーズに移行できる体制整備が必要。支払督促等制度の利用 ③計画的な修繕の実施

これまで同様に安心安全な給食を安定して提供を行う。 滞納に対しての体制整備が必要である。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和5年度の事業の方向性

 $\Rightarrow$ A. 現状のまま継続

課係名	款	項	目	事業細事業	政策 施策	総合計画体系図	後期基本	評価対象外の理由
事業番号		枝	番	実施計画事業	施策展開	ナンバー	計画ページ	計画対象外が発出
総務課総務係	2	1	1	総務一般管理事業 自衛官募集事務事業 自衛官募集事務事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実 ①防災体制を強化する	254	66	<ul><li>2 国等からの委託をうけて実施する事業 (年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/ 全額国等負担)</li></ul>
総務課総務係	2	1	1	総務一般管理事業 総務一般事務費 行政区運営交付金事業	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 1 地域コミュニティ活動の推進 ①地域コミュニティを育成する	289	74	9 その他 (評価が困難な事務事業)
総務課総務係	2	1	1	総務一般管理事業 総務一般事務費 自治連合会交付金事業	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 1 地域コミュニティ活動の推進  ①地域コミュニティを育成する	289	74	9 その他 (評価が困難な事務事業)
総務課総務係	2	1	1	総務一般管理事業 感染症予防対策事業 感染症対策事業	<ul><li>Ⅲ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li><li>1 保健・医療サービスの充実</li><li>②疾病予防を推進する</li></ul>	118	38	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 (負担金補助 金含む)
まちづくり推進課企画調整係	2	1	7	旧緒方工業跡地整備事業 旧緒方工業跡地整備事業 旧緒方工業跡地整備事業	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 4 主体的で計画的な行財政運営の推進 ③社会インフラの老朽化等への適切な対応	319	80	8 公共施設 (箱物) の新築や大規模改修
まちづくり推進課企 画調整係 16001	2	1	8	土地利用対策事業 土地利用対策事業 土地利用対策事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 4 土地利用・景観の整備 ①都市計画区域を整備する	204	58	7 事務管理費/特定の事務事業に属さない消耗品費や旅 費等
総務課総務係 283009	2	1	14	庁舎等整備事業 - 庁舎等整備事業 - 庁舎等整備事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実 ①防災体制を強化する	254	66	8 公共施設 (箱物) の新築や大規模改修
市民生活課戸籍住民係	2	3	1	戸籍住民基本台帳事業 - 一般旅券発給事業 - 般旅券発給事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進 ①適正な情報管理を強化する	273	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業 (年金、国 政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/ 全額国等負担)
市民生活課戸籍住民係	2	3	1	戸籍住民基本台帳事業 - 外国人登録事業 - 外国人登録事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進 ①適正な情報管理を強化する	271	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業 (年金、国 政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/ 全額国等負担)
市民生活課戸籍住民係	2	3	1	戸籍住民基本台帳事業 - 人口動能調查事業 - 人口動能調查事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進 ①適正な情報管理を強化する	272	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業 (年金、国 政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/ 全額国等負担)
選挙管理委員会事務 局選挙係 30001	2	4	1	遷举管理委員会事業 選挙管理委員会事業 選挙管理委員会事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進 ②広聴・広報活動を充実する	277	71	1 職員人件費、市議会議員報酬、特定の事務事業に属さ ない委員会委員報酬
選挙管理委員会事務 局選挙係 32001	2	4	3	市長·市議会議員選挙事業 市長·市議会議員選挙事業 市長・市議会議員選挙事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進 ②広聴・広報活動を充実する	277	71	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
まちづくり推進課企画調整係	2	5	1	統計調查事業 統計調查事業 統計調查事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進 ①適正な情報管理を強化する	272	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業 (年金、国 政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/ 全額国等負担)

課係名	款	項	目	事業	政策 **-rate	総合計画	後期基本	der for hi fe di on
事業番号		枝	番	細事業 実施計画事業	施策展開	体系図 ナン バー	計画ページ	評価対象外の理由
社会福祉課福祉監査係	3	1	1	民生・児童委員関係事業 民生・児童委員関係交付金	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 2 地域福祉の充実	127	40	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
41001			1	民生・児童委員活動費等交付事業	②災害時における地域福祉を支援する			
社会福祉課福祉監査係	3	1	1	民生・児童委員関係事業 民生・児童委員関係事務費	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 2 地域福祉の充実	127	40	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
41003		:	1	民生・児童委員関係事務事業	②災害時における地域福祉を支援する			
社会福祉課障がい支 援係	3	1	2	地域生活支援事業 福祉ホーム運営補助金	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実	158	46	9 その他 (評価が困難な事務事業)
43012		:	1	福祉ホーム運営補助事業	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	地域生活支援事業 その他地域生活支援事務費	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実	158	46	9 その他 (評価が困難な事務事業)
43014		;	3	施設入所者就職支度金給付事業	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			
社会福祉課障がい支 援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 ・ 障害福祉サービス事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
44011		:	2	高額介護サービス事業	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			
社会福祉課障がい支 援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 - 障害福祉サービス事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
44011		;	3	特定障害者特別給付事業	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			
社会福祉課障がい支 援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業	■ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
44011		4	4	計画相談支援給付事業	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			
社会福祉課障がい支 援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 ・ 障害福祉サービス事業	■ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実	158	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 函難 (生活保護、児童手当など)
44011			6	障害児通所給付高額介護サービス事業	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			
社会福祉課障がい支 援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業	<ul><li>■ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li><li>5 障がい者福祉の充実</li></ul>	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
44011		,	7	障害児通所給付相談支援給付事業	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			
社会福祉課障がい支 援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 ・ 摩害福祉サービス事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実	158	46	9 その他 (評価が困難な事務事業)
44011			8	児童発達支援等利用者負担給付事業	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実			
社会福祉課障がい支 援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 その他障害福祉サービス事務費	<ul><li>■ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li><li>5 障がい者福祉の充実</li></ul>	160	46	9 その他 (評価が困難な事務事業)
44012		:	1	身体障害者福祉協議会補助事業	②地域生活支援拠点等の整備と充実			
市民生活課国保年金係	3	1	3	国民年金事務取扱事業 国民年金事務取扱事業	<ul><li>II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li><li>6 社会保障の充実</li></ul>	167	48	2 国等からの委託をうけて実施する事業 (年金、国 数・県設選美、指定統計、外国人登録、旅券発給など/
45001		:	1	国民年金事務取扱事業	③国民年金制度の健全な運営を推進する			全額国等負担)
市民生活課国保年金係	3	1	6	国民健康保険特別会計繰出事業 国民健康保険特別会計繰出事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 6 社会保障の充実	164	48	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 (負担金補助 金含む)
49001		:	1	国民健康保険特別会計繰出事業	②国民健康保険制度の健全な運営を推進する			

課係名	款	項	目	事業細事業	政策施策	総合計画体系図	後期基本	評価対象外の理由
事業番号		枝	番	実施計画事業	施策展開	ナンバー	計画ページ	BI BILATON I VON
高齢者福祉課介護保 険係 53001	3	2	4	介護保険事業 介護サービス利用者支援事業 介護サービス利用者支援事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 4 高齢者福祉の充実 ①介護サービスを充実する	143	44	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
高齢者福祉課介護保 険係 53002	3	2	4	介護保険事業 介護保険特別会計繰出金 介護保険特別会計繰出金事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 4 高齢者福祉の充実 ①介護サービスを充実する	143	44	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 (負担金補助 金含む)
市民生活課国保年金 係	3	2	6	後期高齢者医療療養給付等事務事業 後期高齢者医療療養給付等事務事業 後期高齢者医療療養給付等事務事業	<ul> <li>Ⅲ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li> <li>6 社会保障の充実</li> <li>④後期高齢者医療制度の健全な運営を推進する</li> </ul>	171	48	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 (負担金補助 金合む)
子育で支援課家庭支 援係 409002	3	3	1	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 1号補正給付事業(低所得の子育で世帯)	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	2 国等からの委託をうけて実施する事業 (年金、国 政 - 県政選挙 - 指定統計、外国人登録、旅券発給など/ 全額国等負担)
子育で支援課家庭支 援係 56001	3	3	1	児童福祉総務事業 特別児童扶養手当取扱交付金 特別児童扶養手当取扱交付金事業	<ul><li>Ⅲ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li><li>3 結婚・出産・子育て支援の充実</li><li>①子育て支援サービスを充実する</li></ul>	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育て支援課家庭支援係 56002	3	3	1	児童福祉総務事業 児童措置費負担金徴収事務 児童措置費負担金徴収事務事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育て支援課こども 支援係 56005	3	3	1	児童福祉総務事業 児童福祉事務費 子育て支援従事者メキルアップ事業補助事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	134	42	9 その他 (評価が困難な事務事業)
子育て支援課こども 支援係 56005	3	3	1	児童福祉総務事業 児童福祉事務費 保育補助者雇上強化事業	■ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	9 その他 (評価が困難な事務事業)
子育て支援課こども 支援係 57013	3	3	1	子ども・子育て支援事業 保育対策等促進事業 施設等利用給付事業	■ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	135	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育て支援課家庭支 援係 57015	3	3	1	子ども・子育で支援事業 子育て世代包括支援センター事業 不妊治療助成事業	<ul> <li>■ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li> <li>3 結婚・出産・子育て支援の充実</li> <li>①子育て支援サービスを充実する</li> </ul>	133	42	2 国等からの委託をうけて実施する事業 (年金、国 致・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/ 全額国等負担)
子育て支援課こども 支援係 57017	3	3	1	子ども・子育て支援事業 感染症予防対策事業 (地域子育て支援拠点) 感染症予防対策事業 (地域子育て支援拠点)	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	129	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育て支援課こども 支援係 57018	3	3	1	子ども・子育で支援事業 感染症予防対策事業 (病児・病後児保育) 感染症予防対策事業 (病児・病後児保育)	<ul> <li>■ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li> <li>3 結婚・出産・子育て支援の充実</li> <li>②保育サービスを充実する</li> </ul>	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育て支援課こども 支援係 57021	3	3	1	子ども・子育て支援事業 感染症予防対策事業(延長保育) 感染症予防対策事業(延長保育)	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)

課係名	款	項	目	事業細事業	政策施策	総合計画体系図	後期基本	評価対象外の理由
事業番号		枝	番	実施計画事業	施策展開	ナンバー	計画ページ	計画対象外の生田
子育で支援課こども 支援係 57022	3	3	1	子ども・子育で支援事業 感染症予防対策事業 (一時預かり保育) 感染症予防対策事業 (一時預かり保育)	<ul><li>Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li><li>3 結婚・出産・子育て支援の充実</li><li>②保育サービスを充実する</li></ul>	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育て支援課こども 支援係 58002	3	3	1	児童手当事業 児童手当事業 児童手当事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育て支援課こども 支援係 59002	3	3	1	放課後児童健全育成事業 感染症予防対策事業 感染症予防対策事業	<ul><li>Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li><li>3 結婚・出産・子育て支援の充実</li><li>①子育て支援サービスを充実する</li></ul>	132	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育て支援課こども 支援係 61006	3	3	2	教育・保育施設運営事業 感染症予防対策事業 感染症予防対策事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育て支援課家庭支 援係 63001	3	3	3	児童扶養手当給付事業 児童扶養手当給付事業 児童扶養手当給付事業	<ul><li>Ⅲ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li><li>3 結婚・出産・子育て支援の充実</li><li>①子育て支援サービスを充実する</li></ul>	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育で支援課家庭支援係 64001	3	3	3	母子家庭等自立支援事業 母子生活支援施設措置事業 母子生活支援施設措置事業	<ul><li>Ⅲ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li><li>3 結婚・出産・子育て支援の充実</li><li>①子育て支援サービスを充実する</li></ul>	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育で支援課家庭支援係 64002	3	3	3	母子家庭等自立支援事業 母子・父子家庭自立支援給付金事業 母子・父子家庭自立支援給付金事業	<ul><li>Ⅲ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li><li>3 結婚・出産・子育て支援の充実</li><li>①子育て支援サービスを充実する</li></ul>	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育で支援課家庭支援係 64003	3	3	3	母子家庭等自立支援事業 母子寡婦福祉資金貸付金徵収事務 母子寡婦福祉資金貸付金徵収事務	<ul><li>Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li><li>3 結婚・出産・子育て支援の充実</li><li>①子育て支援サービスを充実する</li></ul>	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育で支援課家庭支 援係 64006	3	3	3	母子家庭等自立支援事業 母子・父子自立支援事業 母子・父子自立支援事業	<ul><li>Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li><li>3 結婚・出産・子育て支援の充実</li><li>①子育て支援サービスを充実する</li></ul>	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育で支援課家庭支 援係 65001	3	3	3	ひとり親家庭医療助成事業 ひとり親家庭医療費助成事業 ひとり親家庭医療費助成事業	<ul><li>Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li><li>3 結婚・出産・子育て支援の充実</li><li>①子育て支援サービスを充実する</li></ul>	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育て支援課こども 支援保 66004	3	3	4	児童館管理運営事業 感染症子防対策事業 感染症子防対策事業	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	132	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育で支援課緒方保育園 67004	3	3	5	公立教育·保育施設管理運営事業 感染症予防対策事業 (緒方保育園) 感染症予防対策事業 (緒方保育園)	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
子育で支援課緒方保 育園 67005	3	3	5 I	公立教育・保育施設管理運営事業 感染症予防対策事業(地域子育て支援拠点) 感染症予防対策事業(地域子育て支援拠点)	II 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	129	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)

課係名	款	項	目	事業	政策	総合計画	後期基本	died for the for the second
事業番号		枝	番	細事業 実施計画事業	施策展開	体系図 ナン バー	計画ページ	評価対象外の理由
社会福祉課福祉監査 係 70001	3	5	1	災害救助事業 災害緊急援助事業 災害緊急援助事業	<ul> <li>■ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li> <li>2 地域福祉の充実</li> <li>②災害時における地域福祉を支援する</li> </ul>	128	40	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 因難 (生活保護、児童手当など)
70001			1	八百糸心及刃于朱	②次音所における地域間単と又及する			
社会福祉課福祉監査係	3	5	1	災害救助事業 災害被災者住宅再建支援事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 2 地域福祉の充実	128	40	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
70002		:	1	災害被災者住宅再建支援事業	②災害時における地域福祉を支援する			
市民生活課親子健康係	4	1	1	母子保健事業 - 保健衛生総務事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実	122	38	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
71007			1	骨髄移植ドナー支援事業助成事業	③地域医療環境を充実する			PAR (THENRY ) CE 1 - 8 C)
市民生活課親子健康係	4	1	1	母子保健事業 保健衛生総務事業 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実 ③地域医療環境を充実する	122	38	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 因難 (生活保護、児童手当など)
		,			OPENISON NOT COLOR TO SE			
子育て支援課こども 支援係 73002	4	1	1	子ども医療費助成事業 未熟児養育医療費助成事業 未熟児養育医療費助成事業	<ul><li>■ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち</li><li>3 結婚・出産・子育て支援の充実</li><li>①子育で支援サービスを充実する</li></ul>	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 因難 (生活保護、児童手当など)
73002			1	小水儿女 日 6 5 万 列	WINCXW/ CAEAAA			
市民生活課健康づくり支援係	4	1	1	地域医療推進事業 医療提供体制強化支援事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実	118	38	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
74004			1	病院事業特別会計	②疾病予防を推進する			
市民生活課健康づくり支援係	4	1	2	予防接種事業 新型コロナウイルスワクチン予防接種事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実	117	38	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
76005			1	新型コロナウイルスワクチン予防接種事業	②疾病予防を推進する			
環境衛生課環境衛生 係	4	1	3	環境衛生事業 奥嶽川水質監視事務委託事業	VI 豊かな自然を未来に残し伝えるまち 2 環境保全の推進	403	100	2 国等からの委託をうけて実施する事業 (年金、国 政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/ 全額国等負担)
78001			1	奥嶽川水質監視事務委託事業	①環境保全対策を推進する			
上下水道課工務係/ 管理係	4	1	5	水道事業 水道事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備	187	54	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 (負担金補助 金会む)
80001			1	水道事業	①上水道等を整備する			
上下水道課工務係/管理係	4	2	2	生活排水処理事業 浄化槽法に関する事務	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備	192	54	2 国等からの委託をうけて実施する事業 (年金、国 数・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/ 全額国等負担)
83003			1	浄化槽法に関する事務事業	②生活排水処理を推進する			上原[4] 于月世/
上下水道課工務係/ 管理係	4	2	2	生活排水処理事業 農業集落排水事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備	192	54	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 (負担金補助 金含む)
83004		:	1	農業集落排水事業	②生活排水処理を推進する			
上下水道課工務係/管理係	4	2	2	生活排水処理事業 公共下水道事業	III 豊かなくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備	192	54	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 (負担金補助
83005			1	公共下水道事業	②生活排水処理を推進する			金含む)
上下水道課工務係/管理係	4	2	2	生活排水処理事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備	192	54	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 (負担金補助
83006		:	1	浄化槽市町村整備推進事業	②生活排水処理を推進する			金含む)

課係名	款	項	目	事業	政策	総合計画	後期基本	
事業番号		枝	番	細事業 実施計画事業	施策展開	体系図 ナン バー	計画ページ	評価対象外の理由
上下水道課工務係/ 管理係 83007	4	2	2	生活排水処理事業 生活排水事務費 生活排水事務事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備 ②生活排水処理を推進する	193	54	7 事務管理費/特定の事務事業に属さない消耗品費や旅 費等
農業委員会事務局農地管理係	6	1	1	農業委員会事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち			2 国等からの委託をうけて実施する事業 (年金、国
87002			1	機業者年金事務取扱事業 農業者年金事務取扱事業	1 農業の振興 ⑤農地利用の最適化を推進する	38	24	政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/ 全額国等負担)
農業委員会事務局農 地管理係 87004	6	1	1	農業委員会事業 農地売買支援事業 農地売買支援事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興 ⑤農地利用の最適化を推進する	38	24	2 国等からの委託をうけて実施する事業 (年金、国 政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/ 全額国等負担)
農業振興課農業振興係	6	1	4	園芸振興事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち			5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 (負担金補助
95003			1	大規模園芸リース団地整備事業 プランドを育む園芸産地育成支援事業	1 農業の振興 ②収益力の向上をめざした生産振興	10	23	金含む)
農業振興課農業振興係	6	1	4	園芸振興事業 野菜価格安定対策事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興	10	23	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 (負担金補助 金含む)
95004			1	野菜価格安定対策事業	②収益力の向上をめざした生産振興			
農業振興課農業振興係	6	1	4	園芸振興事業 団体負担金	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興	10	23	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 (負担金補助 金含む)
95006			1	団体負担金事業	②収益力の向上をめざした生産振興			
農業振興課農業振興 係 95010	6	1	4	園芸振興事業 園芸振興事務費 園芸振興事務事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興 ②収益力の向上をめざした生産振興	10	23	7 事務管理費/特定の事務事業に属さない消耗品費や旅 費等
商工観光課観光振興	7	1	3	観光誘客促進事業	<ul><li>■ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち</li></ul>			
405002			1	誘客対策強化事業 誘客対策強化事業	5 観光の振興 ④新しい観光のあり方への取組	101	32	9 その他 (評価が困難な事務事業)
建設課建設企画係	8	2	1	道路橋梁総務事業 道路橋梁総務事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 1 交通ネットワークの整備	175	52	9 その他 (評価が困難な事務事業)
121001			1	道路台帳作成整備委託事業	①市道を整備する			
建設課建設企画係	8	2	1	道路橋梁総務事業 道路橋梁総務事業	<ul><li>Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち</li><li>1 交通ネットワークの整備</li></ul>	178	52	4 国界が河川、道路等を直轄で行う事業で、市がその経 費の一部を法律等で負担しなければならない負担金事業
121001		:	2	県営道路事業負担金事業	②国道・県道の整備を促進する			
建設課道路保全係	8	2	2	市道維持管理事業 市道維持管理事務費	<ul><li>Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち</li><li>1 交通ネットワークの整備</li></ul>	177	52	7 事務管理費/特定の事務事業に属さない消耗品費や旅 費等
122003			1	市道維持管理事務事業	①市道を整備する			
建設課道路保全係 277002	8	3	1	急傾斜地崩壞対策事業 - 県営急傾斜地崩壞対策事業 - 県営急傾斜地崩壞対策事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実 ②災害危険区域を整備する	257	66	4 国県が河川、道路等を直轄で行う事業で、市がその経費の一部を法律等で負担しなければならない負担金事業
学校教育課教育総務 係	10	1	1	教育委員会運営事業	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり			
136001			1	教育委員会運営事業 教育委員会運営事業	2 協働によるまちづくりの推進 ①協働の仕組みづくりと意識を高める	295	76	1 職員人件費、市議会議員報酬、特定の事務事業に属さない委員会委員報酬

課係名	款	項	目	事業	政策	総合計画	後期基本	in to be the second
事業番号		枝	番	細事業 実施計画事業	施策展開	体系図 ナン バー	計画ページ	評価対象外の理由
学校教育課教育総務 係 137001	10	1	2	教育委員会事務局事業 事務局運営事業 人権・部落签別解消教育研究大会補助事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ①教育内容を充実する	324	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
学校教育課教育総務 係	10	1	2	教育委員会事務局事業事務局運営事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	339	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
137001 学校教育課教育総務 係	10	1	2	三重総合高校の明日を拓く会補助事業 教育委員会事務局事業 事務局運営事業	<ul><li>⑤高等学校を支援する</li><li>V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち</li><li>1 学校教育の充実</li></ul>	340	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
137001		Ş	3	教育振興特別奨学金給付事業	⑤高等学校を支援する			
学校教育課教育総務 係 137001	10	1	2	教育委員会事務局事業 事務局運営事業 奨学金返還支援補助事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する	338	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
学校教育課教育総務 係 137002	10	1	2	教育委員会事務局事業 基金運営管理事業 基金運営管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	333	84	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
学校教育課学校教育 係 138001	10	1	3	教育振興事業 日本スポーツ振興センター事業 日本スポーツ振興センター事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ③安心安全な教育環境をつくる	336	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
学校教育課学校教育	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち           1 学校教育の充実	324	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
138004		1	1	学校教育振興協議会補助事業	①教育内容を充実する	324	04	び CVIE(ITIIIIが四種な予防事末)
学校教育課学校教育 係 138004	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業 中学校体育連盟補助事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ①教育内容を充実する	324	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
学校教育課学校教育	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち           1 学校教育の充実	330	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
138004		4	4	教員業務サポートスタッフ活用事業	②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育 係 138004	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業 「生理の貧困」対策事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する	337	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
学校教育課学校教育		,	)	* 工社》與四〕	<b>少ルナネテミルステン</b>			
138004	10	1	3 7	教育振興事業 教育振興事業 著作物使用料	<ul><li>V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち</li><li>1 学校教育の充実</li><li>②教育体制を充実する</li></ul>	333	84	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	333	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
138004		8	3	学力向上指導員	②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育	10	1	3	教育振興事業 魅力ある学校づくり推進事業 魅力ある学校づくり推進事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	321	84	2 国等からの委託をうけて実施する事業 (年金、国 政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/ 全額国等負担)
138013		1	I	魅力ある学校づくり推進事業	①教育内容を充実する			

課係名	款	項	目	事業細事業	政策施策	総合計画体系図	後期基本	評価対象外の理由
事業番号		枝	番	実施計画事業	施策展開	ナンバー	計画ページ	計画対象外が発血
学校教育課学校教育 係 138016	10	1	3	教育振興事業 OITA仕事発見・夢発見事業 OITA仕事発見・夢発見事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	328	84	2 国等からの委託をうけて実施する事業 (年金、国 政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/ 全額国等負担)
130010			1	OTTREPAN SAMPR	WANT PINCE JUST 1 TO			
学校教育課学校教育係	10	1	3	就学援助事業 要保護児童生徒援助事業 要保護児童生徒援助事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する	337	84	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
139001 学校教育課学校教育 係	10	1	3	安 /	<ul><li></li></ul>			
139002		1	1	特別支援教育就学奨励事業 特別支援教育就学奨励事業	1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する	337	84	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
学校教育課学校教育係	10	1	3	就学援助事業 就学援助事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	337	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
139003		1	1	就学援助事業	④就学環境を充実する			
学校教育課教育総務係	10	1	3	遠距離通学運営事業 スクールバス運行管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	337	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
140001		1	1	スクールバス運行管理事業	④就学環境を充実する			
学校教育課教育総務 係	10	1	3	遠距離通学運営事業 遠距離通学事業	<ul><li>V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち</li><li>1 学校教育の充実</li></ul>	337	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
140002		1	1	遠距離通学事業	④就学環境を充実する			
学校教育課学校教育係	10	2	1	小学校一般管理事業 小学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	330	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
257001		1	1	学校教育援助員活用事業	②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	2	1	小学校一般管理事業 小学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	330	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
257001		2	2	学校司書活用事業	②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	2	1	小学校一般管理事業 小学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	330	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
257001		3	3	学校主事活用事業	②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	2	1	小学校一般管理事業 小学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	330	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
257001		4	4	学校図書主事活用事業	②教育体制を充実する			
学校教育課教育総務係	10	2	1	小学校施設維持管理事業 小学校施設維持管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	334	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
258001		1	1	小学校施設維持管理事業	③安心安全な教育環境をつくる			
学校教育課学校教育係	10	3	1	中学校一般管理事業 中学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	330	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
259001		1	1	学校教育援助員活用事業	②教育体制を充実する			
学校教育課学校教育係	10	3	1	中学校一般管理事業 中学校一般管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	330	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
259001		2	2	学校司書活用事業	②教育体制を充実する			

課係名	款	項	目	事業	政策	総合計画	後期基本	ded for the for the second
事業番号 枝番		細事業 実施計画事業	施策 施策展開	体系図 ナン バー	計画ページ	評価対象外の理由		
学校教育課学校教育 係 259001	10	3	1	中学校一般管理事業 中学校一般管理事業 学校主事活用事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	330	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
学校教育課学校教育	10	3	1	中学校一般管理事業 中学校一般管理事業 学校図書主事活用事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	330	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
259001 学校教育課教育総務 係	10	3	1	字权図書主事店用事業 中学校施設維持管理事業 中学校施設維持管理事業	②教育体制を元美する  V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち  1 学校教育の充実	334	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
260001		:	1	中学校施設維持管理事業	③安心安全な教育環境をつくる			
学校教育課学校教育 係 148002	10	3	2	中学校教育振興事業 中学校教育振興事業 各種大会等出場補助事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ①教育内容を充実する	324	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
学校教育課学校教育 係 261001	10	4	1	幼稚園一般管理事業 幼稚園一般管理事業 子育てのための施設等利用給付事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	332	84	2 国等からの委託をうけて実施する事業 (年金、国 政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/ 全額国等負担)
学校教育課教育総務		4		THE COLUMN THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE	WAN PINCLEY V			
全62001	10	4	1	幼稚園施設維持管理事業 幼稚園施設維持管理事業 幼稚園施設維持管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ③安心安全な教育環境をつくる	334	84	9 その他 (評価が困難な事務事業)
社会教育課社会教育係	10	5	1	社会教育総務事業 社会教育総務事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 2 生涯学習の推進	341	86	9 その他 (評価が困難な事務事業)
152001		:	1	社会教育指導員活用事業	①生涯学習を推進する			
社会教育課社会教育係	10	5	2	公民館管理運営事業 	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 2 生涯学習の推進 ②公民館機能を充実する	347	86	9 その他 (評価が困難な事務事業)
154001		:	1	公民館施設管理事業				
社会教育課社会教育係	10	5	2	公民館管理運営事業 - 感染症予防対策事業 - 威染症予防対策事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 2 生涯学習の推進 ②公民館機能を充実する	347	86	9 その他 (評価が困難な事務事業)
154004			1	<b>燃</b> 采焦 [] 切对 東 尹 来	②公氏師機能を元夫する			
社会教育課社会教育係	10	5	2	公民館管理運営事業 感染症予防対策事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 2 生涯学習の推進	347	86	9 その他 (評価が困難な事務事業)
154004		:	2	公民館図書室蔵書	②公民館機能を充実する			
社会教育課文化財係 157001	10	5	4	文化財保護事業 国宝重要文化財等保存整編費事業 (埋蔵文化財) 国宝重要文化財等保存整編費事業 (埋蔵文化財)	<ul><li>V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち</li><li>5 文化財等の保存・継承</li><li>①資料館の展示・収蔵・館外活動の充実と文化財保護の推進</li></ul>	372	92	9 その他 (評価が困難な事務事業)
社会教育課文化財係	10	5	4	文化財保護事業 埋藏文化財調査事業 (単独)	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 5 文化財等の保存・継承	372	92	9 その他 (評価が困難な事務事業)
157002			1	埋藏文化財調查事業 (単独)	①資料館の展示・収穫・館外活動の充実と文化財保護の推進			
社会教育課文化財係	10	5	4	文化財保護事業 国宝重要文化財等保存整編費事業 (文化的景觀)	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 5 文化財等の保存・継承	372	92	9 その他 (評価が困難な事務事業)
157006		:	1	国宝重要文化財等保存整備費事業 (文化的景觀)	①資料館の展示・収蔵・館外活動の充実と文化財保護の推進			

課係名	款	項	目	事業	政策	総合計画	後期	
事業番号		枝	番	細事業 実施計画事業	施策 施策展開	体系図ナンバー	基本 計画 ページ	評価対象外の理由
社会教育課スポーツ 推進係	10	6	2	スポーツ施設管理事業 スポーツ施設管理事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 3 スポーツの振興	360	88	9 その他 (評価が困難な事務事業)
161001		2		豊後大野市スポーツ施設の整備等に関する基本計画策定業務	②スポーツ施設を整備する			
社会教育課スポーツ 推進係 161001	10	6	2	スポーツ施設管理事業 スポーツ施設管理事業 全天候型体育施設整備事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 3 スポーツの振興 ②スポーツ施設を整備する	359	88	9 その他 (評価が困難な事務事業)
社会教育課スポーツ 推進係	10	6	2	スポーツ施設管理事業 感染症予防対策事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 3 スポーツの振興	359	88	9 その他 (評価が困難な事務事業)
161002		:	1	感染症予防対策事業	②スポーツ施設を整備する			
社会教育課スポーツ 推進係	10	6	2	スポーツ施設管理事業 大原総合運動公園大型複合遊具等整備事業	<ul><li>V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち</li><li>3 スポーツの振興</li><li>359</li><li>②スポーツ施設を整備する</li></ul>	88	9 その他 (評価が困難な事務事業)	
161003		:	1	遊具等整備事業				
学校教育課学校給食係	10	6	3	給食共同調理場運営事業 給食共同調理場コロナ対策環境整備事業	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実	331	84	8 公共施設(箱物)の新築や大規模改修
162005		:	1	環境整備事業	②教育体制を充実する			
農林整備課基盤整備係	11	1	1	農業用施設災害復旧事業 農業用施設災害復旧事業 農業用施設災害復旧事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興 ⑥農業生産基盤を整備する	41	24	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
163001			1					
農林整備課基盤整備係	11	1	1	農業用施設災害復旧事業 農地等災害復旧支援事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興	41	24	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
163003			1	農地等災害復旧支援事業	⑥農業生産基盤を整備する			
農林整備課基盤整備係	11	1	2	林業用施設災害復旧事業 林業用施設災害復旧事業	I 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 2 林業の振興	57	26	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
164001		:	1	林業用施設災害復旧事業	②林業生産基盤を整備する			
建設課道路保全係	11	2	1	道路橋梁河川災害復旧事業 補助災害復旧事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実 ③災害対策を強化する	260	66	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
165001		:	1	補助災害復旧事業				
建設課道路保全係	11	2	1	道路橋梁河川災害復旧事業 単独災害復旧事業	<ul><li>Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち</li><li>8 防災対策の充実</li><li>③災害対策を強化する</li></ul>	260	66	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
165002		:	1	単独災害復旧事業				
建設課道路保全係	11	2	1	道路橋梁河川災害復旧事業 災害復旧事務費	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実	262	66	7 事務管理費/特定の事務事業に属さない消耗品費や旅 費等
165003			1	災害復旧事務事業	③災害対策を強化する			
財政課財政係	12	1	1	借入元金償還事業 借入元金償還事業	IV 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 4 主体的で計画的な行財政運営の推進	314	80	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減 困難 (生活保護、児童手当など)
167001		:	1	借入元金償還事業	②健全な財政運営と財政基盤の強化			